

目次

科目名	科目区分	教員氏名	頁
暮らしのなかの憲法【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	重村 博美	1
暮らしのなかの憲法【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	二宮 貴美	5
現代経済の課題【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	安高 優司	9
国際経済入門【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	福井 太郎	13
国際社会と日本【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	星河 武志・丸山 佐和子	18
健康とスポーツの科学【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	大島 寛	22
キャリアデザイン【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	谷口 智彦	27
環境と社会【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	井田 民男	32
技術と倫理【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	東崎 康嘉	37
生命の科学【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	角谷 晃司	42
芸術鑑賞入門【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	島田 有紀	47
現代の社会論【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	浅居 孝彦	53
環境科学【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	平井 研	59
地域と環境の地理学【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	戸井田 克己	65
地域と環境の地理学【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	石原 肇	71
生命の科学【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	和田 哲幸	77
生命の科学【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	中村 恭子	82
生命の科学【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	八軒 浩子	87
技術と倫理【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	平野 繁樹	92
芸術鑑賞入門【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	松岡 知華	97
芸術鑑賞入門【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	井面 舞	103
暮らしのなかの憲法【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	重村 博美	109
暮らしのなかの憲法【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	二宮 貴美	113
現代経済の課題【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	安高 優司	117
国際経済入門【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	福井 太郎	120
国際社会と日本【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	星河 武志・丸山 佐和子	125

目次

科目名	科目区分	教員氏名	頁
環境と社会【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	井田 民男	129
技術と倫理【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	東崎 康嘉	134
生命の科学【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	角谷 晃司	139
芸術鑑賞入門【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	島田 有紀	144
心理と行動【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	佐藤 望	150
環境科学【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	田端 敬三	153
食生活と健康【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	菱井 早香	159
地域と環境の地理学【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	戸井田 克己	164
地域と環境の地理学【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	石原 肇	170
生命の科学【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	和田 哲幸	176
生命の科学【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	中村 恭子	181
生命の科学【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	八軒 浩子	186
技術と倫理【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	藤田 隆	191
技術と倫理【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	谷田 公二	196
芸術鑑賞入門【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	松岡 知華	201
現代社会と法【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	村中 洋介	207
技術と倫理【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	道岡 武信	211
暮らしのなかの憲法【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	重村 博美	216
キャリアデザイン【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	長尾 裕子	220
キャリアデザイン【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	湯口 恭子	225
キャリアデザイン【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	土肥 眞琴	230
キャリアデザイン【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	砂留 洋子	235
環境と社会【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	富田 義弘	240
環境と社会【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	水野 諭	245
環境と社会【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	山本 純之	250
環境と社会【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	富田 義弘	255

目次

科目名	科目区分	教員氏名	頁
環境と社会【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	水野 諭	260
心理と行動【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	中道 希容	265
心理と行動【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	風井 浩志	268
心理と行動【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	小原 宏基	271
心理と行動【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	風井 浩志	274
心理と行動【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	塩崎 麻里子	277
環境科学【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	田端 敬三	280
食生活と健康【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	菱井 早香	286
現代社会と法【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	村角 明彦	291
現代社会と法【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	西塚 直之	295
現代社会と法【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	村角 明彦	299
現代社会と法【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	村宮 淳子	303
現代社会と政治【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	大西 弘子	307
現代社会と政治【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	大西 弘子	313
心と体の健康【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	田邊 智	319
基礎数学【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	梶原 康史	323
基礎数学【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	梶原 康史	326
科学的問題解決法【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	芳原 新也	329
科学的問題解決法【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	芳原 新也	333
世界近現代史【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	和田 英男	337
世界近現代史【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	阿 路思	341
世界近現代史【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	和田 英男	345
国際化と異文化理解【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	高橋 梓	349
日本語の技法【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	寺西 裕一	353
日本語の技法【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	石橋 明子	356
日本語の技法【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	石橋 明子	359

目次

科目名	科目区分	教員氏名	頁
日本語の技法【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	寺西 裕一	362
日本語の技法【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	石橋 明子	365
日本語の技法【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	田中 教子	368
データリテラシー入門【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	溝渕 昭二	371
ビジネスモデルとマネジメント【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	森山 真光	376
技術と倫理【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	木村 裕一	380
国際社会と日本【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	松下 聖	384
国際社会と日本【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	松下 聖	388
健康とスポーツの科学【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	栗山 晶代	392
健康とスポーツの科学【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	柄木田 健太	397
健康とスポーツの科学【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	栗山 晶代	402
心と体の健康【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	田邊 智	407
国際化と異文化理解【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	阿部 慎太郎	411
国際化と異文化理解【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	阿部 慎太郎	415
国際化と異文化理解【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	高橋 梓	419
ビジネスモデルとマネジメント【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	富田 佳宏	423
ビジネスモデルとマネジメント【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	橋本 和彦	427
キャリアデザイン【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	土肥 眞琴	431
ビジネスモデルとマネジメント【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	森山 真光	436
データリテラシー入門【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	山内 康弘	440
データリテラシー入門【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	谷口 智彦	445
データリテラシー入門【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	森本 健志	450
データリテラシー入門【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	佐野 こずえ	455
データリテラシー入門【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	川崎 直人	460
データリテラシー入門【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	八角 聡仁	465
データリテラシー入門【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	保本 正芳	470

目次

科目名	科目区分	教員氏名	頁
データリテラシー入門【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	金澤 雄介	475
データリテラシー入門【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	田邊 義隆	480
データリテラシー入門【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	鶴田 格	485
現代の社会論【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	有田 亘	490
現代の社会論【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	有田 亘	496
データリテラシー入門【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	井田 泰人	502
暮らしのなかの憲法【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	重村 博美	507
暮らしのなかの憲法【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	重村 博美	511
暮らしのなかの憲法【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	重村 博美	515
暮らしのなかの憲法【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	重村 博美	519
キャリアデザイン【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	松本 誠一	523
キャリアデザイン【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	李 超	528
心理と行動【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	小原 宏基	533
地域と環境の地理学【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	片岡 博美	536
現代社会と法【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	村宮 淳子	542
世界近現代史【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	阿 路思	546
ビジネスモデルとマネジメント【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	森山 真光	550
ビジネスモデルとマネジメント【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	富田 佳宏	554
暮らしのなかの起業入門【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	文能 照之	558
キャリアデザイン【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	長尾 裕子	562
キャリアデザイン【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	浅田 真理子	567
キャリアデザイン【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	李 超	572
心理と行動【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	中道 希容	577
地域と環境の地理学【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	片岡 博美	580
ビジネスモデルとマネジメント【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	榊原 可人	586
心と体の健康【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	辻 和哉	590

目次

科目名	科目区分	教員氏名	頁
データリテラシー入門【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	谷口 智彦	594
データリテラシー入門【KICSオンデマンド科目】	(通信)メディア科目	井田 泰人	599
データリテラシー入門【KICSオンデマンド科目】	(通信)メディア科目	井田 泰人	604
データリテラシー入門【KICSオンデマンド科目】	(通信)メディア科目	福田 健太郎	609
データリテラシー入門【KICSオンデマンド科目】	(通信)メディア科目	福田 健太郎	614
データリテラシー入門【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	森本 健志	619
データリテラシー入門【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	佐野 こずえ	624
データリテラシー入門【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	鶴田 格	629
データリテラシー入門【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	井田 泰人	634
ビジネスモデルとマネジメント【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	榊原 可人	639
暮らしのなかの憲法【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	二宮 貴美	643
国際化と異文化理解【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	大喜 祐太	647
日本語の技法【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	森久 国雄	651
日本語の技法【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	小原 貴子	654
日本語の技法【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	河崎 絵美	657
日本語の技法【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	藤井 和子	660
暮らしのなかの起業入門【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	芝先 恵介	663
住みよい社会と福祉【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	馬淵 敦士	667
暮らしのなかの憲法【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	二宮 貴美	671
国際化と異文化理解【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	大喜 祐太	675
日本語の技法【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	山王丸 有紀	679
日本語の技法【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	森久 国雄	682
日本語の技法【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	小原 貴子	685
日本語の技法【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	河崎 絵美	688
日本語の技法【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	藤井 和子	691
暮らしのなかの起業入門【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	文能 照之	694

目次

科目名	科目区分	教員氏名	頁
暮らしのなかの起業入門【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	芝先 恵介	698
住みよい社会と福祉【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	広瀬 美千代	702
住みよい社会と福祉【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	馬淵 敦士	706
暮らしのなかの憲法【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	西塚 直之	710
暮らしのなかの憲法【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	西塚 直之	714
現代経済の課題【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	仲井 翔	718
現代経済の課題【KICSオンデマンド科目】	共通教養科目	仲井 翔	722

科目名 :	暮らしのなかの憲法【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Constitution in Everyday Life				
担当者 :	重村 博美				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	前期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

「憲法」と聞いて、みなさんはどのような印象をおもちですか。私たちは普段、憲法の内容を意識して生活することは、ほとんどないかと思えます。しかし、その実、憲法は、国の最高法規として、一人ひとりのもつ大事な権利や自由を定め、そしてそれらを守る仕組みを定めている、私たちにはなくてはならない大切な法律です。

そこで本授業では、憲法の基本的な枠組みや考え方を理解していただけるよう、具体的事例（裁判例を含む）の検討を行います。とはいえ、本授業は、暗記中心の学習ではありません。現実に生じている様々な事象の検討を通じて、それら問題を法的にどのように解決すべきか、みなさんには、その法的解決に向けた考え方を習得していただくこととなります。

なお、メディア受講に際しては、受講前の教科書熟読が必須となります。そして受講時は、各自、必要に応じてノートをとってください。と同時に、必要に応じて、条文を参照してください。条文の参照方法は、第1回の授業で説明をしています。

ちなみに、みなさん方の受講に際しては、大学からの受講案内でも示されているように、予め一定の期間を設定して、受講確認がなされる予定です。レポート作成・提出においても、メディア受講は前提（必須）条件となります（単位取得に際しては、10回以上：10回を含む、受講をしていることが必要です。）。加えて、話者の話の内容が判別可能な速度で視聴してください。詳細は、各担当者の案内に従ってください。各自、受講計画を立て、自覚的に、受講いただくことを、切に希望しております。

* 本メディア授業は、下記参考文献『判例で学ぶ日本国憲法』（有信堂）をベースに作成をしています。ただし、本授業は、過去に作成された「第2版」のもので作成しており、2024年春に刊行予定の「第3版」のものとは、内容において一部異なります（異なる部分は、当該文献の第5章・本メディア授業第9回「表現の自由」です。それ以外は、基本的な部分での違いはありません）。

* この授業はコンテンツ作成者重村が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講生は、この授業を受講することにより、①日本国憲法の基本的人権ならびに統治機構の概要を説明し、②憲法問題に対して自身の見解を示すことができるようになります。

■ 成績評価方法および基準

レポート課題（全3回） 60%

学期末試験（レポート課題） 40%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をGoogle Classroomに掲載します。

■ 教科書

指定しない

■ 参考文献

[ISBN]9784842010885 『判例で学ぶ日本国憲法[第三版]』(西村裕三編, 有信堂高文社: 2024)
2024年3月刊行予定

[ISBN]9784865281132 『立憲主義について 成立過程と現代(放送大学叢書)』(佐藤 幸治, 左右社: 2015)

[ISBN]9784000616072 『憲法 第八版』(芦部 信喜, 岩波書店: 2023)

[ISBN]9784641227613 『憲法学読本 第3版』(安西 文雄, 有斐閣: 2018)

[ISBN]9784641115453 『憲法判例百選I 第7版(別冊ジュリスト)』(長谷部 恭男, 有斐閣: 2019)

[ISBN]9784641115460 『憲法判例百選II 第7版(別冊ジュリスト)』(長谷部 恭男, 有斐閣: 2019)

■ 関連科目

「現代社会と法」など

■ 授業評価アンケート実施方法

本学の規定に準拠して実施します。

■ 研究室・メールアドレス

18号館南棟 shigemura@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

火曜日 2限

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 概要 憲法とはなにか(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 教科書の該当箇所を読み(1・18章)、内容の把握をする

予習時間: 60分

復習内容: 授業内容について自身でまとめる

復習時間: 120分

法律の学習を始めるために必要となる法学・憲法の基礎的事項を学ぶ

セクション1 法とは何か セクション概要 法とは何かについて学ぶ

セクション2 憲法とは何か セクション概要 憲法とは何かについて学ぶ

セクション3 日本国憲法概説 セクション概要 憲法制定過程と基本原則を学ぶ

第2回 立法権と行政権(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 教科書の該当箇所を読み(14・15章)、内容の把握をする

予習時間: 60分

復習内容: 授業内容について自身でまとめる

復習時間: 120分

三権分立のうち、立法権と行政権を学ぶ

セクション1 三権分立とは? セクション概要 三権分立の概説を学ぶ

セクション2 日本の統治機構・立法権 セクション概要 国会の組織と役割を学ぶ

セクション3 日本の統治機構・行政権 セクション概要 内閣の組織と役割を学ぶ

第3回 司法権(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 教科書の該当箇所を読み(16章の1と2)、内容の把握をする

予習時間: 60分

復習内容: 授業内容について自身でまとめる

復習時間: 120分

概要 三権分立のうち、司法権について学ぶ

セクション1 司法権とは? セクション概要 司法権の範囲と限界について学ぶ

セクション2 裁判所組織について セクション概要 裁判所組織と審級について学ぶ

セクション3 裁判官 セクション概要 裁判官の身分保障について学ぶ

第4回 司法審査権(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 教科書の該当箇所を読み(16章の3)、内容の把握をする

予習時間: 60分

復習内容: 授業内容について自身でまとめる

復習時間: 120分

概要 司法審査権について学ぶ

セクション1 司法審査権の目的と方法 セクション概要 司法審査権の目的と方法について学ぶ

セクション2 違憲審査基準 セクション概要 違憲審査基準について学ぶ

セクション3 司法積極主義・消極主義 セクション概要 司法積極主義・消極主義について学ぶ

第5回 基本的人権総論(授業形式: 講義および演習)

予習内容：教科書の該当箇所を読み（1章の3と4）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 基本的人権の総論部分を学ぶ

セクション1 人権の歴史 セクション概要 人権が確立していった過程を学ぶ

セクション2 人権の分類 セクション概要 日本国憲法の人権規定を概括的に学ぶ

セクション3 人権の限界 セクション概要 基本的人権の限界について学ぶ

第6回 幸福追求権（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（2章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 幸福追求権を軸に主張される権利や自由について学ぶ

セクション1 幸福追求権とは？ セクション概要 幸福追求権の概説を学ぶ

セクション2 プライバシーの権利 セクション概要 プライバシーの権利について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 プライバシーの権利の判例から学ぶ

第7回 法の下での平等（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（3章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 憲法が意味する平等とは何かを学ぶ

セクション1 憲法の平等保障規定 セクション概要 日本国憲法が規定する平等規定について学ぶ

セクション2 平等とは？ セクション概要 憲法が示す「平等」の意味について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 平等権に関する基本事例から学ぶ

第8回 信教の自由・政教分離（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（4章の2）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

概要 信教の自由が保障する範囲と政教分離について学ぶ

セクション1 信教の自由とは？ セクション概要 信教の自由が規定された背景を学ぶ

セクション2 政教分離 セクション概要 政教分離原則について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 政教分離の基本事例から学ぶ

第9回 表現の自由（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（5章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 表現の自由がなぜ「優越的地位」にあるといわれるのか学ぶ

セクション1 表現の自由とは？ セクション概要 表現の自由の優越的地位の原則について学ぶ

セクション2 マス・メディアの取材・報道の自由 セクション概要 マス・メディアの取材・報道の自由について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 取材・報道の自由の基本事例から学ぶ

第10回 学問の自由・教育を受ける権利（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（6・10章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 大学における「学問」とはどういうものか学ぶ

セクション1 学問の自由とは？ セクション概要 学問の自由の保障の範囲と限界を学ぶ

セクション2 大学の自治 セクション概要 大学の自治について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 学問の自由の基本判例から学ぶ

第11回 経済活動の自由（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（7章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 私有財産制度について憲法から学ぶ

セクション1 経済活動の自由とは？ セクション概要 経済活動の自由について内容を学ぶ

セクション2 財産権の保障 セクション概要 財産権の保障について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 財産権の保障の基本事例から学ぶ

第12回 人身の自由（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（8章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 刑事疑義者・被告人の権利について学ぶ

セクション1 罪刑法定主義とは？ セクション概要 罪刑法定主義について学ぶ

セクション2 人身の自由 セクション概要 人身の自由の内容について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 人身の自由の基本事例から学ぶ

第13回 生存権（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（9章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 憲法が保障する「健康で文化的な最低限度の生活」とは何かを学ぶ

セクション1 生存権とは？ セクション概要 生存権の法的性格について学ぶ

セクション2 日本の社会保障制度 セクション概要 社会保障制度の種類と内容を概括的に学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 生存権の基本事例から学ぶ

第14回 労働基本権（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（11章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 労働三権について学ぶ。ここでは特に、公務員の労働基本権について学ぶ

セクション1 勤労の権利とは？ セクション概要 労働三権について学ぶ

セクション2 公務員の労働基本権 セクション概要 公務員の労働基本権について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 公務員の労働基本権の基本事例から学ぶ

第15回 参政権（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（13章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 選挙の基本原則について学ぶ

セクション1 参政権とは？ セクション概要 参政権の概要について学ぶ

セクション2 選挙制度の基本原則 セクション概要 選挙の5つの基本原則を学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 基本原則に関する基本事例から学ぶ

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 :	暮らしのなかの憲法【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Constitution in Everyday Life				
担当者 :	二宮 貴美				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	前期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :	理工応用化学科:学修・教育到達目標(A)に主体的に関与 理工電気電子通信工学科:学習・教育到達目標D1の達成に付随的に関与 理工社会環境工学科:ディプロマ・ポリシーの(A)、(G)に主体的に関与、(C)、(I)に付随的に関与				

■授業概要

「憲法」と聞いて、みなさんはどのような印象をおもちですか。私たちは普段、憲法が存在を意識して生活することは、ほとんどないかと思います。しかし、その実、憲法は、国の最高法規として、一人ひとりのもつ大事な権利や自由を定め、そしてそれらを守る仕組みを定めている、私たちにはなくてはならない大切な法律です。

そこで本授業では、憲法の基本的な枠組みや考え方などを理解していただけるよう、具体的事例（裁判例を含む）の検討を行います。とはいえ、本授業は、暗記中心の学習ではありません。現実には生じている様々な事象の検討を通じて、それら問題を法的にどのように解決すべきか、みなさんには、その法的解決に向けた考え方を習得していただくこととなります。

なお、メディア受講に際しては、受講前の教科書熟読が必須となります。そして受講時は、各自、必要に応じてノートをとってください。と同時に、必要に応じて、条文を参照してください。条文の参照方法は、第1回の授業で説明をしています。

ちなみに、みなさん方の受講に際しては、大学からの受講案内でも示されているように、予め一定の期間を設定して、受講確認がなされる予定です。レポート作成・提出においても、メディア受講は前提（必須）条件となります（単位取得に際しては、10回以上：10回を含む、受講をしていることが必要です。）。加えて、話者の話の内容が判別可能な速度で視聴してください。詳細は、各担当者の案内に従ってください。各自、受講計画を立て、自覚的に、受講いただくことを、切に希望しております。

*本メディア授業は、下記参考文献『判例で学ぶ日本国憲法』（有信堂）をベースに作成をしています。ただし、本授業は、過去に作成された「第2版」のもので作成しており、2024年春に刊行予定の「第3版」のものとは、内容において一部異なります（異なる部分は、当該文献の第5章・本メディア授業第9回「表現の自由」です。それ以外は、基本的な部分での違いはありません）。

*この授業はコンテンツ作成者重村が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。

■授業形態

メディア授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講生は、この授業を受講することにより、①日本国憲法の基本的な人権ならびに統治機構の概要を説明し、②憲法問題に対して自身の見解を示すことができるようになります。

■成績評価方法および基準

レポート課題（全3回）60%

学期末試験（レポート課題）40%

■試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をGoogle Classroomに掲載します。

■教科書

指定しない

■参考文献

[ISBN]9784842010885 『判例で学ぶ日本国憲法[第三版]』（西村裕三編, 有信堂高文社：2024）

2024年3月刊行予定

[ISBN]9784865281132 『立憲主義について 成立過程と現代（放送大学叢書）』（佐藤 幸治, 左右社：2015）

[ISBN]9784000616072 『憲法 第八版』（芦部 信喜, 岩波書店：2023）

[ISBN]9784641227613 『憲法学読本 第3版』（安西 文雄, 有斐閣：2018）

[ISBN]9784641115453 『憲法判例百選I 第7版（別冊ジュリスト）』（長谷部 恭男, 有斐閣：2019）

[ISBN]9784641115460 『憲法判例百選II 第7版（別冊ジュリスト）』（長谷部 恭男, 有斐閣：2019）

■関連科目

「現代社会と法」など

■授業評価アンケート実施方法

本学の規定に準拠して実施します。

■研究室・メールアドレス

ninomiya_kimi@kindai.ac.jp

■オフィスアワー

メールにより対応する

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 概要 憲法とはなにか（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（1・18章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

法律の学習を始めるために必要となる法学・憲法の基礎的事項を学ぶ

セクション1 法とは何か セクション概要 法とは何かについて学ぶ

セクション2 憲法とは何か セクション概要 憲法とは何かについて学ぶ

セクション3 日本国憲法概説 セクション概要 憲法制定過程と基本原則を学ぶ

第2回 立法権と行政権（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（14・15章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

三権分立のうち、立法権と行政権を学ぶ

セクション1 三権分立とは？ セクション概要 三権分立の概説を学ぶ

セクション2 日本の統治機構・立法権 セクション概要 国会の組織と役割を学ぶ

セクション3 日本の統治機構・行政権 セクション概要 内閣の組織と役割を学ぶ

第3回 司法権（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（16章の1と2）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 三権分立のうち、司法権について学ぶ

セクション1 司法権とは？ セクション概要 司法権の範囲と限界について学ぶ

セクション2 裁判所組織について セクション概要 裁判所組織と審級について学ぶ

セクション3 裁判官 セクション概要 裁判官の身分保障について学ぶ

第4回 司法審査権（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（16章の3）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 司法審査権について学ぶ

セクション1 司法審査権の目的と方法 セクション概要 司法審査権の目的と方法について学ぶ

セクション2 違憲審査基準 セクション概要 違憲審査基準について学ぶ

セクション3 司法積極主義・消極主義 セクション概要 司法積極主義・消極主義について学ぶ

第5回 基本的人権総論（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（1章の3と4）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 基本的人権の総論部分を学ぶ

セクション1 人権の歴史 セクション概要 人権が確立していった過程を学ぶ

セクション2 人権の分類 セクション概要 日本国憲法の人権規定を概括的に学ぶ

セクション3 人権の限界 セクション概要 基本的人権の限界について学ぶ

第6回 幸福追求権（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（2章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 幸福追求権を軸に主張される権利や自由について学ぶ

セクション1 幸福追求権とは？ セクション概要 幸福追求権の概説を学ぶ

セクション2 プライバシーの権利 セクション概要 プライバシーの権利について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 プライバシーの権利の判例から学ぶ

第7回 法の下での平等（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（3章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 憲法が意味する平等とは何かを学ぶ

セクション1 憲法の平等保障規定 セクション概要 日本国憲法が規定する平等規定について学ぶ

セクション2 平等とは？ セクション概要 憲法が示す「平等」の意味について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 平等権に関する基本事例から学ぶ

第8回 信教の自由・政教分離（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（4章の2）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 信教の自由が保障する範囲と政教分離について学ぶ

セクション1 信教の自由とは？ セクション概要 信教の自由が規定された背景を学ぶ

セクション2 政教分離 セクション概要 政教分離原則について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 政教分離の基本事例から学ぶ

第9回 表現の自由（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（5章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 表現の自由がなぜ「優越的地位」にあるといわれるのか学ぶ

セクション1 表現の自由とは？ セクション概要 表現の自由の優越的地位の原則について学ぶ

セクション2 マス・メディアの取材・報道の自由 セクション概要 マス・メディアの取材・報道の自由について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 取材・報道の自由の基本事例から学ぶ

第10回 学問の自由・教育を受ける権利（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（6・10章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 大学における「学問」とはどういうものか学ぶ

セクション1 学問の自由とは？ セクション概要 学問の自由の保障の範囲と限界を学ぶ

セクション2 大学の自治 セクション概要 大学の自治について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 学問の自由の基本判例から学ぶ

第11回 経済活動の自由（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（7章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 私有財産制度について憲法から学ぶ

セクション1 経済活動の自由とは？ セクション概要 経済活動の自由について内容を学ぶ

セクション2 財産権の保障 セクション概要 財産権の保障について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 財産権の保障の基本事例から学ぶ

第12回 人身の自由（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（8章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 刑事疑義者・被告人の権利について学ぶ

セクション1 罪刑法定主義とは？ セクション概要 罪刑法定主義について学ぶ

セクション2 人身の自由 セクション概要 人身の自由の内容について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 人身の自由の基本事例から学ぶ

第13回 生存権（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（9章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 憲法が保障する「健康で文化的な最低限度の生活」とは何かを学ぶ

セクション1 生存権とは？ セクション概要 生存権の法的性格について学ぶ

セクション2 日本の社会保障制度 セクション概要 社会保障制度の種類と内容を概括的に学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 生存権の基本事例から学ぶ

第14回 労働基本権（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（11章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 労働三権について学ぶ。ここでは特に、公務員の労働基本権について学ぶ

セクション1 勤労の権利とは？ セクション概要 労働三権について学ぶ

セクション2 公務員の労働基本権 セクション概要 公務員の労働基本権について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 公務員の労働基本権の基本事例から学ぶ

第15回 参政権（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（13章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 選挙の基本原則について学ぶ

セクション1 参政権とは？ セクション概要 参政権の概要について学ぶ

セクション2 選挙制度の基本原則 セクション概要 選挙の5つの基本原則を学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 基本原則に関する基本事例から学ぶ

■ホームページ

■実践的な教育内容

科目名 :	現代経済の課題【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Problems of Modern Economics				
担当者 :	安高 優司				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	前期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

「授業形態：オンデマンド」

初めて経済学を学ぶ人のために、経済学をわかりやすく解説します。また、日本や世界の経済がどのような課題を抱えているかを考えます。

この授業は、コンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。各回の作成者は授業計画の内容に記載のとおりです。

本授業の制作担当：安高優司・山内康弘（両者とも経済学部）

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

「学習・教育目標」

- ・経済の仕組みを理解すること
- ・現代の日本経済が抱えるさまざまな問題を把握すること

「到達目標」

- ・新聞やニュースに出る経済関連の話題が理解でき、自分の意見が述べられること。

この授業は経済学部の定めるディプロマポリシーの達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

レポート課題 100%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

GoogleClassroomなどのコミュニケーションツールを用いて解説や結果を通知します。

■ 教科書

[ISBN]9784087474077 『痛快! 経済学 (集英社文庫)』 (中谷 巖, 集英社 : 2002)

■ 参考文献

[ISBN]9784532353278 『佐和教授 はじめての経済講義』 (佐和 隆光, 日本経済新聞出版社 : 2008)

[ISBN]9784532110147 『はじめての経済学〈上〉 (日経文庫)』 (元重, 伊藤, 日本経済新聞出版 : 2004)

■ 関連科目

-

■ 授業評価アンケート実施方法

本学の規定に準拠して実施します。

■ 研究室・メールアドレス

ataka@eco.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

水曜3限

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

各回とも以下のとおり。

予習内容：予習：テーマに関する新聞記事やネット記事などを読んでおくこと

予習時間：30分

復習内容：復習：授業で出てきた概念や用語を教科書等の文献で再確認しておくこと

復習時間：60分

第1回 経済学とは何か（担当：安高優司）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書や参考文献等の該当部分を自習しておく。

予習時間：60分

復習内容：レジュメを見直して内容の理解度を確認する。

復習時間：30分

概要 経済学とはどのような学問であるのかを概説する。

セクション1 経済学のめざすもの セクション概要 経済学という言葉の意味や目的を知る。

セクション2 一物一価の法則 セクション概要 一物一価という考え方を知る。

セクション3 代替品 セクション概要 代替品の重要性を考える。

第2回 需要と供給を学ぶ（担当：安高優司）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書や参文献等の該当部分を自習しておく。

予習時間：60分

復習内容：レジュメを見直して内容の理解度を確認する。

復習時間：30分

概要 経済学の基本である市場価格がどのようにして決まるかを理解する。

セクション1 市場とは何か セクション概要 市場の意味と機能を概説する。

セクション2 市場価格の決まり方 セクション概要 需要曲線と供給曲線の意味を理解する。

セクション3 需要の価格弾力性 セクション概要 価格弾力性の意味と市場への影響を知る。

第3回 経済学の誕生（担当：安高優司）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書や参文献等の該当部分を自習しておく。

予習時間：60分

復習内容：レジュメを見直して内容の理解度を確認する。

復習時間：30分

概要 アダム・スミスから始まった経済学の成り立ちを学ぶ。

セクション1 古典派経済学 セクション概要 古典派経済学とその基本的考え方を知る。

セクション2 比較優位の原理 セクション概要 比較優位の考え方を学ぶ。

セクション3 社会主義経済 セクション概要 資本主義と社会主義の違いを理解する。

第4回 新古典派経済学への進化（担当：安高優司）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書や参文献等の該当部分を自習しておく。

予習時間：60分

復習内容：レジュメを見直して内容の理解度を確認する。

復習時間：30分

概要 古典派経済学から新古典派経済学へと科学として進化した経済学の発展を理解する。

セクション1 科学とは何か セクション概要 科学に進化するという意味を理解する。

セクション2 新古典派経済学と限界革命 セクション概要 新古典派の「限界」という考え方を理解する。

セクション3 新古典派の最大化問題 セクション概要 新古典派経済学の基本的な考え方を理解する。

第5回 ケインズの登場（担当：安高優司）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書や参文献等の該当部分を自習しておく。

予習時間：60分

復習内容：レジュメを見直して内容の理解度を確認する。

復習時間：30分

概要 市場を重視する新古典派経済学と、それを修正するケインズ経済学が誕生した背景を学ぶ。

セクション1 新古典派とケインズ セクション概要 新古典派に対するケインズの考え方を知る。

セクション2 マクロ経済学の概念 セクション概要 GDPの概念と計算方法を理解する。

セクション3 豊かさや幸せの関係 セクション概要 経済的豊かさの意味を考える。

第6回 市場は万能ではない（担当：安高優司）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書や参文献等の該当部分を自習しておく。

予習時間：60分

復習内容：レジュメを見直して内容の理解度を確認する。

復習時間：30分

概要 ケインズ経済学（マクロ経済学）の基本的な考え方を理解する。

セクション1 不況はなぜおこる セクション概要 実物経済における不況のメカニズムを理解する。

セクション2 財政政策による景気対策 セクション概要 財政政策の仕組みを学ぶ。

セクション3 金融政策と中央銀行 セクション概要 金融政策の仕組みを学ぶ。

第7回 政府にも限界がある（担当：安高優司）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書や参文献等の該当部分を自習しておく。

予習時間：60分

復習内容：レジュメを見直して内容の理解度を確認する。

復習時間：30分

概要 ケインズ経済学の限界と市場主義への揺り戻しの要因を把握する。

セクション1 税金の徴収 セクション概要 税金の種類と徴収方法を知る。

セクション2 国税と地方税 セクション概要 国税と地方税の違いを理解する。

セクション3 財政赤字と財政再建 セクション概要 財政赤字の現状と解消の可能性を考える。

第8回 効率性と改革（担当：安高優司）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書や参文献等の該当部分を自習しておく。

予習時間：60分

復習内容：レジュメを見直して内容の理解度を確認する。

復習時間：30分

概要 政府の関与が肥大化した経済に対して、効率化が求められるようになった状況を理解する。

セクション1 効率性とは何か セクション概要 経済学における「効率」の意味を考える。

セクション2 官から民へ セクション概要 国営企業民営化の経緯と目的を考える。

セクション3 構造改革とは何か セクション概要 構造改革は何を目指したのかを考える。

セクション4 パレート効率性と改革 セクション概要 経済学的な効率と現実の改革について考える。

第9回 雇用形態の多様化（担当：安高優司）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書や参文献等の該当部分を自習しておく。

予習時間：60分

復習内容：レジュメを見直して内容の理解度を確認する。

復習時間：30分

概要 低成長時代に入り、雇用のあり方や働き方が変化してきた状況を把握する。

セクション1 日本型雇用慣行 セクション概要 日本の雇用制度の特徴を知る。

セクション2 日本型雇用慣行の変化 セクション概要 従来の雇用慣行に生じている変化を理解する。

セクション3 ニート・フリーター現象 セクション概要 非正規雇用問題や働き方改革について考える。

第10回 高齢化と社会保障（担当：山内康弘）（授業形式：講義および演習）

予習内容：インターネットや文献を探して該当する情報を収集しておく。

予習時間：60分

復習内容：レジュメを見直して内容の理解度を確認する。

復習時間：30分

概要 年金・医療・介護を中心に公的な社会保障の意義について理解する。

セクション1 社会保障とは何か セクション概要 社会保障の意義について考える。

セクション2 公的年金の概念 セクション概要 長生きのリスクとしての年金の意義を把握する。

セクション3 医療・介護の経済学 セクション概要 医療・介護の特徴と保険の意義を理解する。

第11回 少子化と子育て支援（担当：山内康弘）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書や参文献等の該当部分を自習しておく。

予習時間：60分

復習内容：インターネットや文献を探して該当する情報を収集しておく。

復習時間：30分

概要 少子高齢化が進むなかでの子育て支援を考える。

セクション1 少子化と子育て支援 セクション概要 少子化の実態と子育て支援について考える。

セクション2 貧困と低所得層支援 セクション概要 貧困の実態と支援方法について考える。

セクション3 これからの社会保障 セクション概要 今後の社会保障のあり方について考える。

第12回 日本の地域経済問題（担当：安高優司）（授業形式：講義および演習）

予習内容：インターネットや文献を探して該当する情報を収集しておく。

予習時間：60分

復習内容：レジュメを見直して内容の理解度を確認する。

復習時間：30分

概要 現代日本の地域経済が抱える問題を理解する。

セクション1 人口減少 セクション概要 人口減少の実態と問題点を把握する。

セクション2 東京への人口・経済力の集中 セクション概要 東京一極集中の実態と問題点を把握する。

セクション3 地方消滅・地方創生 セクション概要 地方の生き残り方策について考える。

セクション4 日本の産業構造と地域格差 セクション概要 地域の産業構造の違いと地域格差を考える。

第13回 戦後日本経済を振り返る①（担当：安高優司）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書や参考文献等の該当部分を自習しておく。

予習時間：60分

復習内容：レジュメを見直して内容の理解度を確認する。

復習時間：30分

概要 戦後復興期から高度成長期にかけての日本経済の発展を概観する。

セクション1 戦後復興期～高度成長期 セクション概要 戦後の日本経済の高度成長までを概観する。

セクション2 安定成長期 セクション概要 ニクソンショック、オイルショックなどを振り返る。

セクション3 バブル経済とその崩壊 セクション概要 バブル景気とその崩壊の過程を理解する。

第14回 戦後日本経済を振り返る②（担当：安高優司）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書や参考文献等の該当部分を自習しておく。

予習時間：60分

復習内容：レジュメを見直して内容の理解度を確認する。

復習時間：30分

概要 安定成長期からバブル崩壊を経て低成長に至る日本経済の推移を概観する。

セクション1 バブル崩壊の影響 セクション概要 バブル後の日本経済の変化を把握する。

セクション2 平成不況と金融危機 セクション概要 金融危機による平成不況の長期化を振り返る。

セクション3 平成不況からの脱却 セクション概要 平成不況からの脱却から最近までを振り返る。

第15回 日本経済のこれから（担当：安高優司）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書や参考文献等の該当部分を自習しておく。

予習時間：60分

復習内容：レジュメを見直して内容の理解度を確認する。

復習時間：30分

概要 これからの日本経済がめざすべき方向を考える。

セクション1 人口急増と大量生産 セクション概要 人口増加による地球環境の悪化を認識する。

セクション2 持続可能な社会をめざして セクション概要 大量消費社会の見直しの必要性を考える。

セクション3 日本に期待される役割 セクション概要 これからの日本経済の目指す方向を考える。

レポート課題

受講した内容に関するレポート課題を受講期間内に複数回実施する。

■ ホームページ

■ 実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 :	国際経済入門【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Introductory International Economics				
担当者 :	福井 太郎				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	前期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

-現実の世界では、活発な貨幣や資本の国際移動によって、先進国間はもちろんのこと先進国と発展途上国のあいだにおいても経済的な結びつきが非常に強まっている。従って、国際的な経済関係は非常に重要なものとなっている。本講義では、国際貿易の理論的側面を理解することを目的としている。さらに、現実の国際的な課題に加えて、新しい国際経済秩序を各自が模索していくことを目標とする。

この授業は、コンテンツ作成者の福井太郎が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

-受講者は、この授業を履修することによって、

①日本と国際社会の経済的関係を理解することができる。

本講義は、ディプロマポリシー 1 の修得に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

中間レポート 30%

期末レポート 70%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験期間終了後に「試験の要点と解説」を掲示板に掲載します。

■ 教科書

通信授業科目用テキスト『国際経済論』（福井太郎 近畿大学通信教育部）[ISBN] 無 価格：1,000円（税込）

■ 参考文献

■ 関連科目

-

■ 授業評価アンケート実施方法

-

■ 研究室・メールアドレス

B館 7G

taro@eco.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

前期：火曜2限

後期：火曜3限

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 基礎的な知識（授業形式：講義および演習）

予習内容：新聞などで国際経済の知識を得る

予習時間：50分

復習内容：今回の授業の範囲を教科書で復習する。

復習時間：50分

概要 国際経済学についての基礎的な概念を理解する。

セクション1 経済主体と市場の関係 セクション概要 "経済学の基礎の中で、最も重要な概念である「経済主体と市場の関係」について理解する。

経済学の基礎の中で、最も重要な概念である「経済主体と市場の関係」について理解する。

セクション2 市場と企業・国境の存在 セクション概要 "経済主体が経済取引を行う市場を、「競争」の観点から理解する。国際経済学で使用する「国境」の概念を理解する。

経済主体が経済取引を行う市場を、「競争」の観点から理解する。

国際経済学で使用する「国境」の概念を理解する。"

セクション3 基本的な貿易 セクション概要 "財やサービスが、なぜ国境を越えて取引されるのか？について理解する。"

第2回 貿易利益、国際貿易の形態1（授業形式：講義および演習）

予習内容：前回の授業の範囲を教科書で見直す。

予習時間：50分

復習内容：今回の授業の範囲を教科書で復習する。

復習時間：50分

概要 貿易利益と国際貿易の形態について理解する。

セクション1 貿易利益 セクション概要 貿易が各国にとって、経済的な利益になることを理解する。

セクション2 シルク=ロード型貿易 セクション概要 なぜ、財やサービスが国境を超えるのか？を理解する。

セクション3 南北貿易 セクション概要 産業革命が貿易の姿を変えることを理解する。

セクション4 水平貿易 セクション概要 現代の豊かさが、貿易の姿を変えることを理解する。

第3回 国際貿易の形態2（直接投資）、リカードモデル1（基本モデル、生産者行動と閉鎖経済均衡）（授業形式：講義および演習）

予習内容：前回の授業の範囲を教科書で見直す。

予習時間：50分

復習内容：今回の授業の範囲を教科書で復習する。

復習時間：50分

概要 国際貿易の形態2（直接投資）とリカードモデル1（基本モデル、生産者行動と閉鎖経済均衡）を理解する。

セクション1 直接投資 セクション概要 "現代のサプライチェーン（原料から製品までの生産プロセス）が、貿易の姿を変える。"

セクション2 リカードモデル1（基本モデル） セクション概要 リカードモデルの基本モデルを理解する。

セクション3 リカードモデル1（生産者行動と閉鎖経済均衡） セクション概要 閉鎖経済における、長期均衡を導出する。

第4回 リカードモデル2（貿易パターンの決定）（授業形式：講義および演習）

予習内容：前回の授業の範囲を教科書で見直す。

予習時間：50分

復習内容：今回の授業の範囲を教科書で復習する。

復習時間：50分

概要 リカードモデル2（貿易パターンの決定）を理解する。

セクション1 労働投入係数の比とは？ セクション概要 "均衡相対価格は労働投入係数の比率 \diamond に等しいが、その経済的意味とは？"

セクション2 比較優位の定義 セクション概要 比較優位の定義を、「機会費用」の概念を用いて理解する。

セクション3 比較優位が確立されるまで セクション概要 "比較優位が確立されるまでの経緯を知ることによって、比較優位の理解を深める。"

第5回 リカードモデル3（特化と貿易パターン、貿易と所得分配、数値例1）（授業形式：講義および演習）

予習内容：前回の授業の範囲を教科書で見直す。

予習時間：50分

復習内容：今回の授業の範囲を教科書で復習する。

復習時間：50分

概要 "リカードモデル3（特化と貿易パターン、貿易と所得分配、数値例1）を理解する。"

セクション1 特化と貿易パターン セクション概要 "閉鎖経済から自由貿易へ移行することで、国内の生産構造がどのように

変化するか?を理解する。"

セクション2 貿易と所得分配 セクション概要 貿易が、国際間の所得分配に与える影響を理解する。

セクション3 数値例1 セクション概要 "具体的な数値を導入して、比較優位に基づいた貿易パターンをより深く理解する。"

第6回 リカードモデル4 (数値例2)、 H-O-Sモデル1 (要素賦存と比較優位、要素価格均等化定理) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 前回の授業の範囲を教科書で見直す。

予習時間: 50分

復習内容: 今回の授業の範囲を教科書で復習する。

復習時間: 50分

概要 "リカードモデル4 (数値例2) とH-O-Sモデル1 (要素賦存と比較優位、要素価格均等化定理)を理解する。"

セクション1 数値例2 セクション概要 "具体的な数値を導入して、比較優位に基づく自由貿易をより深く理解する。"

セクション2 要素賦存と比較優位 セクション概要 要素賦存の差異によって生じる貿易の貿易パターンを理解する。

セクション3 要素価格均等化定理 セクション概要 "自由貿易の開始によって、各国の要素価格に与える影響を理解する。"

第7回 H-O-Sモデル2 (ストルパー=サミュエルソン定理)、貿易政策1 (衰退産業の保護、戦略的貿易政策) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 前回の授業の範囲を教科書で見直す。

予習時間: 50分

復習内容: 今回の授業の範囲を教科書で復習する。

復習時間: 50分

概要 "H-O-Sモデル2 (ストルパー=サミュエルソン定理) と貿易政策1 (衰退産業の保護、戦略的貿易政策)を理解する。"

セクション1 ストルパー=サミュエルソン定理 セクション概要 自由貿易が、国内の所得分配に与える影響を理解する。

セクション2 衰退産業の保護 セクション概要 "衰退産業が、貿易政策によって保護される理由を理解する。"

セクション3 戦略的貿易政策 セクション概要 貿易政策の戦略的運用が、貿易に与える影響を理解する。

第8回 貿易政策2 (幼稚産業保護論、アンチダンピングとセーフガード) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 前回の授業の範囲を教科書で見直す。

予習時間: 50分

復習内容: 今回の授業の範囲を教科書で復習する。

復習時間: 50分

概要 "貿易政策2 (幼稚産業保護論、アンチダンピングとセーフガード)を理解する。"

セクション1 幼稚産業保護論 セクション概要 "国内産業を保護して、育成することを目的とした貿易政策を理解する。"

セクション2 アンチダンピング セクション概要 "ダンピングに対する対抗措置であるアンチダンピングについての理解を深める。"

セクション3 セーフガード セクション概要 "セーフガードについての理解を深め、アンチダンピングとの違いを理解する。"

第9回 貿易政策手段に関する分析1 (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 前回の授業の範囲を教科書で見直す。

予習時間: 50分

復習内容: 今回の授業の範囲を教科書で復習する。

復習時間: 50分

概要 貿易政策手段に関する分析1を理解する。

セクション1 関税 セクション概要 関税についての理解を深める。

セクション2 非関税障壁 セクション概要 非関税障壁についての理解を深める。

セクション3 余剰分析 セクション概要 余剰分析を理解する。

セクション4 自由貿易の余剰分析1 セクション概要 "余剰分析を用いて、閉鎖経済から自由貿易の移行した場合の輸入国の経済状態の変化を理解する。余剰分析を用いて、閉鎖経済から自由貿易の移行した場合の輸入国の経済状態の変化を理解する。"

第10回 貿易政策手段に関する分析2

(自由貿易の余剰分析2, 政策手段の余剰分析、最適関税率) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 前回の授業の範囲を教科書で見直す。

予習時間: 50分

復習内容: 今回の授業の範囲を教科書で復習する。

復習時間: 50分

概要 "貿易政策手段に関する分析2 (自由貿易の余剰分析2, 政策手段の余剰分析、最適関税率)を理解する。"

セクション1 自由貿易の余剰分析2 セクション概要 "余剰分析を用いて、閉鎖経済から自由貿易の移行した場合の輸出国の経済状態の変化を理解する。"

セクション2 政策手段の余剰分析 セクション概要 "余剰分析を用いて、保護政策を実施した場合の輸入国の経済状態の変化を理解する。"

セクション3 最適関税率 セクション概要 大国の場合の保護政策が、経済厚生に与える影響を理解する。

第11回 国際収支、国民所得（授業形式：講義および演習）

予習内容：前回の授業の範囲を教科書で見直す。

予習時間：50分

復習内容：今回の授業の範囲を教科書で復習する。

復習時間：50分

概要 国際収支と国民所得を理解する。

セクション1 国際収支 セクション概要 "国の対外的な経済取引の全体像を理解する。"

セクション2 国際収支の発展段階説 セクション概要 国際収支の各項目の変化とその国の経済状態の関係を理解する。

セクション3 国際収支と国民所得 セクション概要 国際収支と国民所得の関係を理解する。

第12回 国際通貨制度（授業形式：講義および演習）

予習内容：前回の授業の範囲を教科書で見直す。

予習時間：50分

復習内容：今回の授業の範囲を教科書で復習する。

復習時間：50分

概要 国際通貨制度を理解する。

セクション1 国際金本位制 セクション概要 第2次世界大戦前の国際通貨体制を理解する。

セクション2 ブレトン・ウッズ体制 セクション概要 "第2次世界大戦後の国際通貨体制を理解する。"

セクション3 外貨準備 セクション概要 ブレトンウッズ体制において制度上必要であった、外貨準備に対する理解を深める。

第13回 外国為替と為替レートの決定理論（授業形式：講義および演習）

予習内容：前回の授業の範囲を教科書で見直す。

予習時間：50分

復習内容：今回の授業の範囲を教科書で復習する。

復習時間：50分

概要 外国為替と為替レートの決定理論を理解する。

セクション1 外国為替と為替レートの決定理論を理解する。セクション概要 "国際決済を支える、外国為替について理解を深める。"

セクション2 為替レートの決定理論（中期）セクション概要 貿易が為替レートに与える影響を理解する。

セクション3 為替レートの決定理論（短期・長期）セクション概要 "短期や長期における為替レートの決定について理解を深める。"

第14回 S-LM-BPモデル1（IS曲線、LM曲線、BP曲線の導出）（授業形式：講義および演習）

予習内容：前回の授業の範囲を教科書で見直す。

予習時間：50分

復習内容：今回の授業の範囲を教科書で復習する。

復習時間：50分

概要 IS-LM-BPモデル1（IS曲線、LM曲線、BP曲線の導出）を理解する。

セクション1 IS曲線の導出 セクション概要 "財市場の均衡条件式であるIS曲線を理解する。"

セクション2 LM曲線の導出 セクション概要 貨幣市場の均衡条件式であるLM曲線を理解する。

セクション3 BP曲線の導出 セクション概要 "国際収支の均衡条件式であるBP曲線を理解する。"

第15回 IS-LM-BPモデル2

（固定為替相場制と変動為替相場制における経済政策の効果）（授業形式：講義および演習）

予習内容：前回の授業の範囲を教科書で見直す。

予習時間：50分

復習内容：今回の授業の範囲を教科書で復習する。

復習時間：50分

概要 "IS-LM-BPモデル2（固定為替相場制と変動為替相場制における経済政策の効果）を理解する。"

セクション1 "固定為替相場制における経済政策1 セクション概要 固定為替相場制における財政政策の効果について理解を深める。

セクション2 "固定為替相場制における経済政策2 セクション概要 固定為替相場制における金融政策と平価の変更の効果について理解を深める。

セクション3 "変動為替相場制における経済政策 セクション概要 変動為替相場制における財政政策と金融政策の効果につい

て理解を深める。

■ ホームページ

■ 実践的な教育内容

-

科目名	国際社会と日本【KICSオンデマンド科目】				
英文名	International Society and Japan				
担当者	星河 武志・丸山 佐和子				
開講学科	共通教養科目				
単 位	2単位	開講年次		開講期	前期
科目区分	共通教養科目				
備 考	理工応用化学科：学修・教育到達目標（B）に主体的に関与 理工機械工学科：機械工学コース学習・教育目標：A-1, JABEE基準1.2：(a)(b)に関与 理工電気電子通信工学科：学習・教育到達目標D2の達成に主体的に関与 理工社会環境工学科：ディプロマ・ポリシーの(A)、(G)、(J)に主体的に関与、(K)に付随的に関与				

■ 授業概要

この講義の目標は、グローバル化の進展する世界経済の現状と諸課題について理解し、分析するための知識とスキルを身につけることです。この講義は大きく2つの部分に分かれます。前半の講義（2～8回）では、企業活動のグローバル化と、関連する貿易政策の枠組みについて解説します。後半の講義（9～15回）では、金融政策や為替の仕組み、国際通貨制度といった枠組みについて解説します。

この授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当授業が授業を実施します。各回の作成者は授業計画の内容に記載の通りです。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

この科目の到達目標は以下の3点です。

- ① グローバリゼーションを経済的側面から理解する
- ② 企業や個人、日本を取り巻く世界経済の実態と、関連する国際的な制度を理解する
- ③ 国際社会や世界経済の状況を分析するのに必要な知識とスキルを身につける

この科目の修得は、本学が定めるディプロマポリシー2の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

中間レポート① 25%

中間レポート② 25%

期末レポート 50%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

レポートの改善点等（よくある間違い、評価が高かったポイントなど）をGoogleClassroomで解説します。

■ 教科書

[ISBN]9784812214312 『国際日本経済論—グローバル化と日本の針路』（熊倉 正修, 昭和堂：2015）

-

■ 参考文献

[ISBN]9784641177192 『国際経済学をつかむ 第2版 (テキストブックス[つかむ])』（石川 城太, 有斐閣：2013）

[ISBN]4641165610 『入門・日本経済 第6版』（浅子 和美, 有斐閣：2020）

このほか、経済産業省の『通商白書』や内閣府の『世界経済の潮流』（旧経済企画庁『世界経済白書』）といった白書・報告書なども参考にしてください。

■ 関連科目

-

■ 授業評価アンケート実施方法

本学の規定に準拠して実施します。

■ 研究室・メールアドレス

(丸山) 研究室：B館5階 5B, メール：maruyama@eco.kindai.ac.jp

(星河) 研究室：B館7階 7E, メール：hoshikawa@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

(丸山) 水曜 2 限

(星河) 水曜 3 限

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 経済のグローバル化と日本 (担当：丸山佐和子) (授業形式：講義および演習)

予習内容：教科書の第1章および第2章を読み、「生産活動」「生産要素」「市場」について確認する

予習時間：30分

復習内容：講義の内容を復習し、経済のグローバル化とはどのようなものかを自分の言葉で説明する

復習時間：60分

- ・グローバル化とは
- ・第2回から第8回までの講義概要
- ・経済学の基礎知識

第2回 日本と世界の経済成長 (担当：丸山佐和子) (授業形式：講義および演習)

予習内容：教科書の第1章および第2章を読み、「SNA」「GDP」「三面等価」について確認する

予習時間：30分

復習内容：講義の内容を復習し、日本の経済成長率の推移を自分の言葉で説明する

復習時間：60分

- ・GDPとは
- ・GDPでみる世界の経済
- ・日本の経済成長と景気循環

第3回 企業の生産活動と海外展開 (担当：丸山佐和子) (授業形式：講義および演習)

予習内容：教科書の第2章および第5章を読み、「会社」「日本的経営」「産業構造」について確認する

予習時間：30分

復習内容：講義の内容を復習し、日本の産業構造の変化を自分の言葉で説明する

復習時間：60分

- ・企業とは
- ・企業活動と産業
- ・企業活動のグローバル化

第4回 日本の貿易構造と海外直接投資 (担当：丸山佐和子) (授業形式：講義および演習)

予習内容：教科書の第5章および第7章を読み、「貿易構造」「海外直接投資」「要素集約度」について確認する

予習時間：30分

復習内容：講義の内容を復習し、企業が海外で生産を行うことのメリットを考える

復習時間：60分

- ・日本の貿易構造の変化
- ・1980年代の日本企業の海外進出
- ・グローバル・バリューチェーンの形成

第5回 貿易政策と世界貿易体制 (担当：丸山佐和子) (授業形式：講義および演習)

予習内容：教科書の第9章、第17章および第18章を読み、「サービス貿易」「関税」「WTO」について確認する

予習時間：30分

復習内容：講義の内容を復習し、「最恵国待遇」と「内国民待遇」を自分の言葉で説明する

復習時間：60分

- ・貿易政策とは
- ・GATT/WTOの基本ルール
- ・WTOの機能

第6回 地域統合と貿易自由化 (担当：丸山佐和子) (授業形式：講義および演習)

予習内容：教科書の第18章を読み、「自由貿易協定」「TPP」「貿易自由化」について確認する

予習時間：30分

復習内容：講義の内容を復習し、日本がFTA/EPAを結ぶことのメリットとデメリットを説明する

復習時間：60分

- ・地域統合とは
- ・日本のFTA/EPA
- ・地域統合のメリット・デメリット

第7回 EUと欧州単一市場（担当：丸山佐和子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の第16章および第18章を読み、「民主主義」「関税同盟」「原産地規制」について確認する

予習時間：30分

復習内容：講義の内容を復習し、欧州単一市場の「4つの移動の自由」を自分の言葉で説明する

復習時間：60分

- ・EUの仕組み
- ・欧州単一市場の機能
- ・英国のEU離脱

第8回 企業活動から見えるグローバリゼーション（担当：丸山佐和子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：これまでの授業の各回の主なトピックを確認し、わからない点をピックアップする

予習時間：30分

復習内容：これまでの授業のレジュメ・ノートを確認し、主要なキーワードを自分の言葉で説明する

復習時間：60分

- ・戦後の世界経済の変化
- ・日本企業の活動のグローバル化
- ・グローバリゼーションの下での通商政策

第9回 通貨と決済システム（担当：星河武志）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の第3章を読み、「通貨」「決済システム」「中央銀行」について確認する

予習時間：30分

復習内容：講義の内容を復習し、決済システムと中央銀行の役割を自分の言葉で説明する

復習時間：60分

- ・第9回から第14回までの講義概要
- ・銀行と決済システム
- ・中央銀行の役割
- ・国際間の決済

第10回 国際収支とマクロ経済（担当：星河武志）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の第4章を読み、国際収支と「GDP」「ISバランス」「政府財政」の関係について確認する

予習時間：30分

復習内容：講義の内容を復習し、国際収支はマクロ経済とどのように関連があるかを自分の言葉で説明する

復習時間：60分

- ・GDPと経常収支
- ・ISバランスと経常収支
- ・政府財政と経常収支

第11回 外国為替市場（担当：星河武志）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の第11章および第13章を読み、「外国為替レート」「購買力平価」「実質為替レート」について確認する

予習時間：30分

復習内容：講義の内容を復習し、為替レートと購買力平価とはどのようなものかを自分の言葉で説明する

復習時間：60分

- ・外国為替レート
- ・購買力平価（1財のケース）
- ・購買力平価・実質為替レート

第12回 為替レートと金利（担当：星河武志）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の第11章および第12章を読み、「金利」「先物」「金利平価」について確認する

予習時間：30分

復習内容：講義の内容を復習し、金利平価とはどのようなものかを自分の言葉で説明する

復習時間：60分

- ・為替レートと先物取引
- ・金利平価
- ・債券価格

第13回 為替レートと金融政策（担当：星河武志）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の第14章を読み、「金融政策」「為替レート」「マネタリーモデル」について確認する

予習時間：30分

復習内容：講義の内容を復習し、マネタリーモデルとはどのようなものかを自分の言葉で説明する

復習時間：60分

- ・金融政策
- ・貨幣数量説
- ・為替レートのマネタリーモデル

第14回 通貨制度の選択と外国為替市場介入（担当：星河武志）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の第19章を読み、「通貨制度」「外国為替市場介入」「日本の通貨政策」について確認する

予習時間：30分

復習内容：講義の内容を復習し、通貨制度の仕組みとはどのようなものかを自分の言葉で説明する

復習時間：60分

- ・金本位制
- ・固定相場制
- ・通貨制度の選択

第15回 金融の側面から見えるグローバリゼーション（担当：星河武志）（授業形式：講義および演習）

予習内容：これまでの授業の各回の主なトピックを確認し、わからない点をピックアップする

予習時間：30分

復習内容：これまでの授業のノートを確認し、主要なキーワードを自分の言葉で説明する

復習時間：60分

- ・国際資本移動
- ・資本移動規制と租税回避
- ・金融のグローバル化

定期試験は実施しません

（中間・期末レポートには、それぞれ提出期限を設定します。詳細はGoogleClassroomで確認してください。）

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 :	健康とスポーツの科学【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Health and Sports Sciences				
担当者 :	大島 寛				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	前期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :	理工応用化学科：学修・教育目標（B）に付随的に関与 理工電気電子通信工学科：学習・教育到達目標D1の達成に付随的に関与 理工社会環境工学科：ディプロマ・ポリシーの(A)に主体的に関与、(C)に付随的に関与				

■ 授業概要

本講義では、生涯にわたり健康的でより豊かな生活の実現に必要な知識や技能を生活の中で実現する方法について学ぶ。文明がいちだんと発達する中で、健康障害が指摘され、現代社会に関わりながら学生生活を送る皆さんにとって、本講義は年齢や専門に関わりなく、必須の教養科目であると考えている。本講義の目的は、現代社会において心身の調和を図り、健康・体力を保持増進するとともに、生活における健康と運動の意義、運動とからだや心の健康の関係、健康的な生活を送るための行動を科学的に理解し、生活に応用する能力を身につけることである。

この授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。各回の作成者は授業計画の内容に記載のとおりです。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

現代社会における様々な健康スポーツ事象をもとに、自己の身体的・精神的・社会的健康の獲得についてどのように関わっているのかを視点にさまざまな角度から学び理解する。さらにスポーツ活動は健康の増進・維持を図ることであり、生きがい感を得ることができ、身体運動を体験することで「身体」の再認識とスポーツを通じたコミュニケーションが健康スポーツ科学に課せられたもう一つの役割であることを学び理解する。

この科目の修得は、本学の定めるディプロマ・ポリシー1、ディプロマ・ポリシー4の達成に関与している。

■ 成績評価方法および基準

レポートと各回の受講および確認テストの回答 100%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

レポートを出した翌回の授業時間にGoogleクラスルームで解説する

■ 教科書

特になし

■ 参考文献

各回の資料に記載する

■ 関連科目

生涯スポーツ1、生涯スポーツ2

■ 授業評価アンケート実施方法

学部実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

■ オフィスアワー

担当教員にあらかじめメール連絡ください。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 現代生活と健康：健康とは何か（担当：西田先生）（授業形式：講義および演習）

予習内容：健康とはどのようなものかを自らの経験等を基にして考えるとともに、世界保健機関HP等を参照し、世界的な健康の定義について事前に調べノートにまとめる。

予習時間：60分

復習内容：座りすぎがもたらすリスクについて授業内容をふり返り、自分や家族の座位時間について確認し、どのように座りすぎを減らしていくかの考えをノートにまとめる。

復習時間：60分

平均寿命や健康寿命、疾病状況や死亡原因など健康という概念を理解する上で必須となる各種資料を確認し、健康を包括的に捉える。また、心身の健康を育むために望ましい行動を理解する。

- ・健康をどのように捉えるか
- ・健康被害をもたらす行動
- ・健康とスポーツとの相互関係

第2回 現代生活と疾病：感染症と慢性疾患（担当：佐川先生）（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で示される資料をもとに自身の1日のエネルギー消費量を調べる。

予習時間：60分

復習内容：授業資料を参考に、新型コロナウイルスの感染経路と感染対策についてあらためて考える。

復習時間：60分

わが国において1750年以前は結核などの感染症による死者が多かったが、現在では生活習慣病に代表される慢性疾患によるものが多くを占めている。このような現状に対応すべく国が策定している健康増進策について概観する。また感染症の原因となる病原体と感染経路、予防法について理解する。

- ・わが国の疾病構造と健康増進政策
- ・現代生活と慢性疾患
- ・感染症の種類とその予防

第3回 食と健康：健康的な食生活を営む（担当：佐川先生）（授業形式：講義および演習）

予習内容：1週間の食事内容を書き出す。

予習時間：60分

復習内容：食事バランスガイドを用いて自身の食事内容をチェックし、不十分な場合はその改善策を考える。

復習時間：60分

健康日本21（二次）と日本人の食事摂取基準をもとに日本人の食生活の特徴について理解し、食事バランスガイドを用いて自身の食事内容をチェックする。またストレスなどによって生じる摂食障害について学ぶ。また食事管理が徹底されるアスリート食を参考に自身の食事内容の改善点を探る。

- ・栄養素とその働き
- ・日本人の食事から自身の食事を見直す
- ・現代生活と摂食障害
- ・スポーツ栄養の実践

第4回 健康のための運動：メンタルヘルスの改善・向上（担当：西田先生）（授業形式：講義および演習）

予習内容：心の健康とはどのようなものか自らの経験等を基にして考えるとともに、心の健康が悪化したときの状態やその改善方法について事前に調べノートにまとめる。

予習時間：60分

復習内容：運動実践と心の健康との関係について授業内容をふり返り、習慣的な運動を実践するためには、どのような工夫が必要かについての考えをノートにまとめる。

復習時間：60分

メンタルヘルスの問題は人々の生活に多面的に悪影響を与えることおよび習慣的な運動実践はポジティブなメンタルヘルスに貢献することを理解し、積極的な健康行動を促進できるようになる。

- ・現代人のメンタルヘルスの実態について
- ・運動によるメンタルヘルス改善・向上
- ・アクティブなライフスタイルへの行動変容

第5回 現代生活と健康障害 一運動不足による健康被害一（担当：熊本先生）（授業形式：講義および演習）

予習内容：あなたの日頃の生活習慣（睡眠時間、朝食の有無、間食の有無、身体活動量など）について考える。

予習時間：60分

復習内容：あなたの現在および思い出せる限りの昔の身長と体重から、それぞれの体格指数BMIを計算し、その変遷について考察する。

復習時間：60分

現代社会で生活する私たちにどのような健康上の問題が起きているのか。およそ20歳前後の大学生が学んでおくべき、現代日本人において健康障害（もはや健康被害というべき状態）について学修する。

- ・生活習慣病とは
- ・メタボリックシンドローム
- ・ロコモ・サルコペニア・骨粗鬆症・フレイル

第6回 健康のための運動 一わが国の健康づくり施策一（担当：熊本先生）（授業形式：講義および演習）

予習内容：これまでの身体活動量と心身の健康との関係について考える。

予習時間：60分

復習内容：現在の一週間あたりの身体活動量を計算する。また、週あたりの目標（23メッツ・時）に足りない場合は、毎日の生活で無理なく何ができるのかを考える。

復習時間：60分

生活習慣病のリスクを回避し、健康的にこの生を全うしていくための、毎日・毎週の身体活動量について学修する。

- ・「健康づくりのための身体活動基準2013」
- ・毎日の身体活動量
- ・運動の身体活動量

第7回 体力づくりのための運動：筋の構造と機能、筋収縮のエネルギー代謝（担当：田邊先生）（授業形式：講義および演習）

予習内容：ヒトの体のどこに、どのような筋肉があるのかを調べる。

予習時間：60分

復習内容：有酸素運動と無酸素運動の違いについて復習するとともに、普段、自分が行っている運動が有酸素運動なのか、それとも無酸素運動なのかを考える。

復習時間：60分

骨格筋の構造や筋収縮のメカニズムを学ぶとともに、筋の収縮に必要なエネルギー代謝について学習する。また、加齢にともなう筋力の変化や、高齢者におけるレジスタンストレーニングとサプリメント摂取による筋量の変化について理解する。

- ・筋の構造と機能
- ・筋収縮のエネルギー代謝
- ・加齢と筋力

第8回 体力づくりのための運動：体力とは何か（担当：橋本先生）（授業形式：講義および演習）

予習内容：これまで自分の行ってきた体カトレーニングについて振り返り、何のためにどのように行ってきたかを整理する。

予習時間：60分

復習内容：今後、どのような体カトレーニングを行いたいかを考え、実際にトレーニングメニューを作成する。

復習時間：60分

「体カ」のとらえ方を理解し、「体カトレーニング」を計画し、実際に行う上で必要な知識、方法について理解を深める。

- ・体力とは
- ・体カトレーニングの原理・原則
- ・体カトレーニングのあり方

第9回 スポーツのためのトレーニング：レジスタンストレーニング（担当：岡田先生）（授業形式：講義および演習）

予習内容：ウエイトトレーニングをフォームの重要性について調べる。

予習時間：60分

復習内容：動画を視聴し、自身のトレーニングフォームを確認する。

復習時間：60分

レジスタンストレーニング（主にフリーウエイト）に安全で効果的な方法を学ぶと共に、より専門的な知識やテクニックの実技を通して習得する。特にビッグ3（ハンγκクリーン・スクワット・デットリフト）を中心に、より実戦的な筋力・筋肥大・筋パワーの向上を目指し、競技力向上に役立てるトレーニング法について学ぶ。

- ・ハンγκクリーン
- ・スクワット

- ・デットリフト

第10回 スポーツのためのトレーニング：エンデュランストレーニング（担当：田中ひかる先生）（授業形式：講義および演習）

予習内容：全身持久性体力、最大酸素摂取量を予測する方法、健康のための持久性トレーニングの効果およびエンデュランストレーニングについて予習する。

予習時間：60分

復習内容：全身持久性体力を把握した上で、有酸素運動について理解し、健康・スポーツにおける持久性トレーニングの効果を復習する。

復習時間：60分

エンデュランス（持久性）トレーニングは、持久性運動能力が特に必要とされるスポーツはもちろん、すべてのスポーツに必要な不可欠である。本講義は、全身持久性体力を把握した上で、有酸素運動について理解する。そして、健康・スポーツにおける持久性トレーニングの効果を理解し、個人にあった持久性トレーニングを考え、実践できるようにする。

- ・全身持久性体力とは
- ・有酸素運動について
- ・エンデュランストレーニング

第11回 スポーツのためのトレーニング：メンタルトレーニング（担当：田中ゆふ先生）（授業形式：講義および演習）

予習内容：スポーツにおいて必要なメンタルとは何かについて調べる。特に、動機づけ、目標設定の効果、リラクゼーション、集中力、ポジティブシンキングについて調べる

予習時間：60分

復習内容：授業内容について要点をノートにまとめ整理すること。心理的競技能力、動機づけ、目標設定の効果、逆U字理論、自律神経系の機能、リラクゼーション、集中力、ポジティブシンキングについて詳細に説明できるようにすること。さらには、実際のスポーツや日常生活で実践してみて感想を書きとめる。また、授業で紹介した内容以外の効果的な手法についても検討する。

復習時間：60分

スポーツで良いパフォーマンス発揮をするために重要となる心理面について、その重要性和種々のトレーニング方法や理論について説明をする。特に、「やる気」の高め方、リラクゼーション、ポジティブシンキング、集中力について理解し、競技だけでなく日常生活でも実践できるようになることを目標とした講義を展開する。

- ・スポーツメンタルトレーニングとは？
- ・目標設定と動機付け
- ・様々なメンタルトレーニングの技法

第12回 スポーツ傷害と応急処置（担当：田中ひかる先生）（授業形式：講義および演習）

予習内容：スポーツ傷害および、熱中症の予防と対策や、BLSの重要性について調べる。

予習時間：60分

復習内容：スポーツ傷害の予防と対応策を考える。運動時に多い熱中症の予防と対策について理解し、さらには、一次救命（BLS）の重要性とアルゴリズムについて理解し、実践できるようにする。

復習時間：60分

スポーツ傷害はスポーツ外傷と、スポーツ障害の総称であり、その予防と対応策を考える。運動時に多い熱中症の予防と対策について理解し、さらには、一次救命（BLS）の重要性とアルゴリズムについて理解し、実践できるようにすることを目的とする。

- ・スポーツ傷害とその対策
- ・熱中症とその対策
- ・一次救命処置（BLS）-CPRとAED-

第13回 スポーツと社会（担当：光山先生）（授業形式：講義および演習）

予習内容：日本において、国がどのように競技力向上を目指しているかを調べる。

予習時間：60分

復習内容：オリンピック、パラリンピック開催がもたらすメリット・デメリットを考える。

復習時間：60分

国は、スポーツ政策や、大規模なスポーツ大会を通じて、人々が、誰とでも気軽にスポーツに親しみ、スポーツを楽しむことのできる社会や環境の充実に掲げている。

- ・生涯スポーツ
- ・オリンピック・パラリンピック
- ・スポーツ庁・ナショナルトレーニングセンター

第14回 スポーツとビジネス（担当：大島先生）（授業形式：講義および演習）

予習内容：12球団の財務状況の動向を調べる。

予習時間：60分

復習内容：日本ハムのビジネスについて参考文献から理解する。

復習時間：60分

スポーツによって生まれる価値を商品やサービスにして販売し、収益を生み出す活動＝スポーツビジネスを学習する。スポーツが地域貢献や持続可能な開発目標（SDGs）も踏まえながら社会に貢献していることを理解する。

- ・プロ野球のビジネスモデル
- ・ファンサービスとスポーツコミュニティの改善・向上
- ・スポーツビジネスと経営理念の変容

第15回 スポーツの倫理（担当：光山先生）（授業形式：講義および演習）

予習内容：身近なスポーツにおいて、どのような競技スポーツ、レクリエーションスポーツがあるか調べる。

予習時間：60分

復習内容：日々の生活で、どのようにリーダーシップが取れるかを考える。

復習時間：60分

学校の正課授業である「体育」と課外授業としての「部活動」、そして、「スポーツ」のそれぞれの目的や定義の違いを考え、コーチング現場において時代に合った指導者が取るべきリーダーシップを考える。

- ・学校体育（課外活動）とスポーツ
- ・競技スポーツとレクリエーションスポーツ
- ・現場での指導者がとるべき時代に合ったリーダーシップ

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 :	キャリアデザイン【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Career Design				
担当者 :	谷口 智彦				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	前期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :	理工応用化学科：学修・教育目標（A）に付随的に関与 理工機械工学科：機械工学コース学習・教育目標：A-3, JABEE基準1.2：(a)(b)に関与 理工電気電子通信工学科：学習・教育到達目標D1の達成に付随的に関与 理工社会環境工学科：ディプロマ・ポリシーの(J)に主体的に関与、(A)、(B)に付随的に関与				

■ 授業概要

今後の職業人は、自律したキャリアを歩む必要があります。そのためには、自分自身の価値観や仕事の経験、社会での就労形態などを客観的に見つめ、分析し、自発的なキャリア形成をする力を養っておかなければなりません。また、組織にもそうした自発的なキャリアを歩む個人を上手にマネジメントすることで、貴重な人材資源を活用することが求められています。

本授業は、そうした考え方を学ぶための理論的な解説や事例の検討などで構成します。

なお、この授業はコンテンツ作成者谷口智彦が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

現代の社会経済環境を認識し、自ら自律的にキャリア形成が行える視点を身につけ、さらに経営的観点からも人材を捉えることで企業等の組織で活躍できる人材として必要な基本的な知識を習得することを目的とします。

■ 成績評価方法および基準

授業に関するレポートや課題提出等（担当教員の指示に従うこと） 100%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

担当教員がレポートや課題の提出などの要点や解説等を掲示板等を利用して掲載するなど提示します。

■ 教科書

『近大生のためのキャリアデザイン－KICSキャリアデザイン補助教材－（電子書籍）』

<http://www.amazon.co.jp/dp/B09RFDDCJD>

『近大生のためのキャリアデザイン－KICSキャリアデザイン補助教材－（ペーパーバック）』

<https://www.amazon.co.jp/dp/B09S244GSJ>

オンデマンド動画の内容をテキスト化したものです。各回の確認テスト及び授業のレポート課題、将来の就活時など、授業内容を再度見返したい場合に活用できます。

電子書籍はAmazon Kindleアプリにより、スマホ、タブレット、PC等で読むことが可能です。

■ 参考文献

[ISBN]9784532110017 『人材マネジメント入門 日経文庫B76』（守島 基博, 日本経済新聞出版：2004）

[ISBN]9784569619415 『働くひとのためのキャリア・デザイン（PHP新書）』（金井 壽宏, PHP研究所：2002）

[ISBN]9784833419093 『「見どころのある部下」支援法（ワークス人と組織選書）』（谷口智彦, プレジデント社：2009）

[ISBN]9784833491181 『「いっしょに働きたくなる人」の育て方－マクドナルド、スターバックス、コールドストーンの人材』

研究 (ワークス人と組織選書)』(見館 好隆, プレジデント社: 2010)

■ 関連科目

-

■ 授業評価アンケート実施方法

本学の規程に準拠して実施します

■ 研究室・メールアドレス

21号館8階821研究室・tomohiko.taniguchi@bus.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

水曜3限

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

-

第1回 キャリアデザインを学ぶ (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 各自の将来の進路について考えをまとめておく

予習時間: 30分

復習内容: 授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間: 60分

概要 キャリアデザインの授業の目標、進め方、また学ぶ理由など概要を説明します

セクション1 授業の目的と進め方 セクション概要 簡単な自己紹介、および授業の目的と進め方などを説明します

セクション2 キャリアデザインという言葉の意味 セクション概要 「キャリアデザイン」という言葉が意味することを簡単に説明します

セクション3 キャリアデザインを学ぶ理由 セクション概要 なぜキャリアデザインを学ぶ必要があるのか理解します

第2回 キャリアとは何か (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間: 30分

復習内容: 授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間: 60分

概要 キャリアの定義およびキャリアをデザインすることの意味を説明します

セクション1 キャリアの語源 セクション概要 キャリアの語源からその意味を解説します

セクション2 キャリアの定義 セクション概要 主な論者のキャリアの定義を紹介します

セクション3 キャリアをデザインすることの意味 セクション概要 キャリアをデザインするために何をすべきかを説明します

第3回 自分に合った職業・仕事とは何か (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間: 30分

復習内容: 授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間: 60分

概要 自分に合った職業・仕事を選ぶ際の考え方を説明します

セクション1 自分に合った職業・仕事とは何か セクション概要 自分に合った職業や仕事を見つけるにはどう考えればよいか説明します

セクション2 仕事選びの基本的な考え方 セクション概要 仕事選びの理論的な考え方の基本を紹介します

セクション3 職業や仕事の特徴 セクション概要 商品などとの選び方における違いから職業や仕事の特徴を説明します

第4回 「自分のこと」を知る (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間: 30分

復習内容: 授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間: 60分

概要 「自分のこと」を探索するための基本的な考え方を説明します

セクション1 「自分」とは何か セクション概要 「自分」の定義や捉え方を説明します

セクション2 仕事を選ぶうえで自分への問い セクション概要 仕事を選ぶうえで、「自分」をどのように考えればよいか、その問いを提示します

セクション3 「自分」を探るための様々なヒント セクション概要 自分を探るための性格診断などその他の方法を説明します

第5回 社会・雇用環境を知る（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間：30分

復習内容：授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間：60分

概要 今後の日本の社会・雇用環境と就職に関係する指標を説明します

セクション1 日本の社会・雇用環境はどうなるのか セクション概要 日本の人口などこれからの雇用環境がどうなるのかを説明します

セクション2 就職と関係する指標を理解する（1） セクション概要 失業率や非正規社員比率など就職に関係する指標を解説します

セクション3 就職と関係する指標を理解する（2） セクション概要 就職内定率や有効求人倍率など就職に関係する指標を理解します

第6回 労働とお金の関係を理解する（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間：30分

復習内容：授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間：60分

概要 働く環境の中でも特にお金に関する知識を説明します

セクション1 働くうえで重要なお金 セクション概要 社会人の働く理由を説明し、特にお金の位置づけについて確認します

セクション2 賃金の差はどこにあるのか セクション概要 賃金の差がどのような条件で変わるのかについて説明します

セクション3 生涯で必要になるお金 セクション概要 働き始めてから結婚や子育てなど生活に必要なお金について説明します

第7回 業界・職業を知る（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間：30分

復習内容：授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間：60分

概要 業種・業界、職業について、また実際の企業の採用選考のスケジュールを説明します

セクション1 業種・業界について セクション概要 業種や業界の知識、またその調べ方を説明します

セクション2 職業について セクション概要 職業の数や視野の広げ方について説明します

セクション3 就職活動について セクション概要 企業の採用選考、就職活動のスケジュールについて説明します

第8回 職種を知る（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間：30分

復習内容：授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間：60分

概要 自分に合った仕事を選ぶときの職種の考え方について説明します

セクション1 職種について セクション概要 職種とは何かについて説明します

セクション2 文系の職種 セクション概要 文系学部の卒業者が一般に就く職種について説明します

セクション3 理系の職種 セクション概要 理系学部の卒業者が一般に就く職種について説明します

第9回 キャリアの基礎理論を学ぶ（1）（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間：30分

復習内容：授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間：60分

概要 キャリアの基礎理論として「ライフスパン理論」を取り上げ説明します

セクション1 職業における発達とは セクション概要 発達の概念について説明し、それが職業における発達（職業的発達）とどう関連するのかについて説明します

セクション2 ライフスパン理論 セクション概要 職業的発達について体系的に整理したライフスパン理論について説明

します

セクション3 ライフスパン理論の意味合い セクション概要 ライフスパン理論が大学生にとってどのような意味合いがあるのか説明します

第10回 キャリアの基礎理論を学ぶ(2) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間: 30分

復習内容: 授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間: 60分

概要 キャリアの基礎理論として「キャリアトランジション理論」を取り上げ説明します

セクション1 人生における変化 セクション概要 人生における変化として「転機」について説明します

セクション2 キャリアトランジション理論 セクション概要 人生(キャリア)の変化に適応するための理論として、キャリアトランジション理論について説明します

セクション3 トランジション理論の意味合い セクション概要 トランジション理論が人生においてどのような意味合いがあるのか説明します

第11回 企業とは何か(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間: 30分

復習内容: 授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間: 60分

概要 企業の活動について基本的な捉え方を説明します

セクション1 企業の活動 セクション概要 企業とは何か、また企業が行う活動とはどういったものかについて簡単に説明します

セクション2 企業ごとの違い セクション概要 それぞれの企業の違いはどこにあるのかについて説明します

セクション3 企業における人材 セクション概要 企業において人材がどのような位置づけにあるのか、その意味合について説明します

第12回 企業における人材の活用(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間: 30分

復習内容: 授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間: 60分

概要 企業で働く人材を企業はどう活用するのかについて説明します

セクション1 人材マネジメントとは セクション概要 企業における人材の活用(マネジメント)について説明します

セクション2 人材の獲得と効果を高める要素 セクション概要 人材マネジメントを行うための7つの要素のうち、人材の獲得と人材の活用の中の効果を高める3つの要素について説明します

セクション3 効率を高める要素と人材の尊重 セクション概要 人材マネジメントの中の効率を高める2つの要素と人材の尊重について説明します。また、人材マネジメントがキャリアに与える意味についても解説します

第13回 働くまでの企業との接点(インターンシップ等)(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間: 30分

復習内容: 授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間: 60分

概要 働くまでに企業と接する機会とそうした経験から学ぶことについて説明します。またインターンシップについて説明します

セクション1 企業との接点と活用 セクション概要 学生生活の中で企業と接する機会(企業との接点)とその活用について説明します

セクション2 経験と学習 セクション概要 経験と学習について基本的な考え方を説明します

セクション3 インターンシップ経験 セクション概要 インターンシップの概要とインターンシップ経験での学びについて説明します

第14回 働くまでの企業との接点(アルバイト等)(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間: 30分

復習内容：授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間：60分

概要 アルバイト経験と学びについて説明します

セクション1 アルバイトの位置づけ セクション概要 大学生にとってアルバイトがどのような位置づけにあるのかを説明します

セクション2 アルバイト経験 セクション概要 アルバイトで成長を促す経験とは何かを説明します

セクション3 アルバイトで学ぶこと セクション概要 アルバイト経験を通じて何を学ぶのか説明します

第15回 総まとめ（授業形式：講義および演習）

予習内容：これまでの授業に関わる復習を自分なりに行き、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間：30分

復習内容：これまで授業のまとめとして、自分の進路や将来について考えたことを、整理し、まとめを記述してください。

復習時間：60分

概要 これまでの学びを総合的に考えるために体系的なまとめを説明します

セクション1 まとめ（1） セクション概要 キャリアデザインの授業の全体像を確認し、第1回から第4回までの授業のまとめを説明します

セクション2 まとめ（2） セクション概要 第5回から第8回、また第11回と第12回のまとめを説明します

セクション3 まとめ（3） セクション概要 第9回と第10回、また第13回と第14回のまとめを説明します

■ホームページ

『近大生のためのキャリアデザイン－KICSキャリアデザイン補助教材－（電子書籍）』

<http://www.amazon.co.jp/dp/B09RFDDCJD>

『近大生のためのキャリアデザイン－KICSキャリアデザイン補助教材－（ペーパーバック）』

<https://www.amazon.co.jp/dp/B09S244GSJ>

■実践的な教育内容

-

科目名 :	環境と社会【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Environment and Society				
担当者 :	井田 民男				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	前期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

地球上において生物は、環境からの影響を受けながら、お互いの相互作用の中で生命活動を営んでいる。この生態系の中にあつて、現代では人間社会の活動が環境に悪影響を及ぼすようになってきた。大気・土壌・水質汚染の問題、衣食住、社会環境の変化など(様々な要因)がこれまで動植物の生命、健康に影響を与えてきた。さらに産業の発展や我々の生活環境の変化は地球温暖化に確実に影響を与えている。2015年9月世界中の政府が合意した国連のSustainable Development Goals(SDGs;持続可能な開発目標)として17のゴールを掲げ、2030年の目標達成に向け動き出している。本講義ではこれら多岐にわたる環境と社会問題を取り上げ、特に最近の社会の環境変化がどのように影響を与えているのかを学び、サイエンスとして幅広い視野でそれらについて学び、持続可能な社会形成に向けた取り組みの在り方や問題意識をもって解決策を学習する。

この授業はコンテンツ作成者の井田民男が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。

■ 授業形態

メディア授業(全授業回)

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業(クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用)

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

"地球環境の成り立ちや生態系の基礎知識を学びつつ、人間活動がもたらした環境問題を理解する。さらに、人間が生み出した科学技術が社会や環境に及ぼした影響を理解する。将来に向けて問題意識を持ち、理工学的な視点からの解決策を導くための基盤を作ることを目標とする。さらに、

人の健康、生命の尊さを重んじ、理工の視点から課題の原因と現状について理解を深め、将来に向けて問題意識をもって解決策を提案・発信できるようになることを目標とする

1) 地球規模の課題として、大気汚染、水質、化学物質、最近問題のプラスチックごみの海洋生物への影響などの把握、さらに地球温暖化に伴う気候変動対策の現状や世界の取り組みについて学ぶ。

2) 人を取り巻く社会環境の問題として、都市への人口の集中化、職場環境、危険薬物、衣食住の視点より健康の問題やその改善の取り組みの現状を理解する。

3) 日常生活の中で耳にする機会の多い環境問題についての概要を正しく理解し、自分なりの「持続可能な社会」に対する考えを持つ。

この科目は、SDGsの主にNo. 2、4、7、8、9、11、12、13、14、15、16、17の成長目標の達成に関与しています。

受講者はこの授業を履修することによって、幅広い専門領域における課題の意味を広い歴史観や深い人間観の中で位置付けようとする教養を、身に付けることができるようになります。また、地球規模の環境問題を学習することにより、異質な価値や文化を理解し自国の伝統や文化の意味を再発見する国際感覚を身に付けていることができるようになります。この科目の修得は、本学が定めるディプロマポリシー3と4の達成に関与しています。

さらに、この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的1の達成に関与しています。

この科目の単位修得は電気電子工学科エレクトロニクス・情報通信コースで設定した学習・教育到達目標D1の達成に付随的に関与、ならびに電気電子工学科のディプロマポリシーの2-1の達成に関与している。(電気電子工学科)

この科目の修得は、産業理工学部の定めるディプロマポリシーの2-1の達成に関与しています。(産業理工学部)

■ 成績評価方法および基準

小レポート課題及び小テスト(複数回合計=40点) 40%

大レポート課題1(20点) 20%

大レポート課題2(20点) 20%

大レポート課題3 (20点) 20%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

レポートの要点をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■ 教科書

[ISBN]9784339066609 『環境と社会 - 人類が自然と共生するために -』 (井田 民男,川村 淳浩,杉浦 公彦 コロナ社 : 2022)

■ 参考文献

[ISBN]9784339066616 『バイオコークス - 再生可能エネルギー社会の礎となる新しい固体バイオエネルギー -』 (井田 民男, コロナ社 : 2022)

[ISBN]9784121026040 『SDG s (持続可能な開発目標) (中公新書)』 (蟹江 憲史, 中央公論新社 : 2020)

[ISBN]9784759819403 『環境科学入門 第2版: 地球と人類の未来のために』 (川合真一郎, 化学同人 : 2018)

[ISBN]9784782707791 『エネルギーの科学—人類の未来にむけて』 (安井伸郎, 三共出版 : 2018)

[ISBN]9784759815320 『環境倫理入門—地球環境と科学技術の未来を考えるために』 (近畿化学協会化学教育研究会, 化学同人 : 2012)

■ 関連科目

資源とエネルギー、技術と倫理、科学的問題解決法、バイオエネルギー工学、熱力学の基礎、熱力学、鑄造工学、熱流体力学、エネルギー物質科学、水素エネルギー工学、太陽エネルギー工学、バイオエネルギー工学

■ 授業評価アンケート実施方法

学部実施に準拠する。

■ 研究室・メールアドレス

各担当者の連絡先は、Classroomにて掲示する。

■ オフィスアワー

メールにて随時受け付ける。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

この講義を履修することにより、人の活動と環境のかかわりを理解する。そして、将来社会人として地球規模の環境から身近で発生する人を取り巻く環境を含め、地球上の動植物の生存に向け多種多様な環境問題について学び、その指標であるSDGsを達成するため世界中の情報の共有化やそれらの改善に取り組む姿勢を養うことを目的としているため、ニュース、新聞等の最新情報をその原因は何かを考え、科学的な解決策を考えながら読んだり、聞いたりしながら社会を学習する。また、この科目は、資源とエネルギー、技術者倫理と大きく関わっているので、その関連性も考えて学習すること。

予習内容：シラバスより「環境と社会」の講義内容の全体像を把握する。

予習時間：60分

復習内容：第1回の講義を聞き、全体像を把握する。

復習時間：60分

第1回 環境と社会を巡って～その1～ (授業形式：講義および演習)

予習内容：持続可能な開発目標SDGsを規範について学習する。

予習時間：60分

復習内容：持続可能な開発目標SDGsを規範について再学習する。

復習時間：60分

概要 環境と社会に関する諸問題の解決を目指す科学の講義として位置付ける。世界的な取り組みである「持続可能な開発目標SDGsを規範として、幅広い視野でそれらの現状の理解と改善策に向けた科学の在り方を学習する。

セクション1 環境と社会の目指すところ セクション概要 環境と社会に関連した授業目標、達成目標を理解する。

セクション2 SDG s セクション概要 SDGsに関与する環境と社会に関する項目を理解する。

セクション3 科学と文化 セクション概要 科学・文化の始まりについて理解し、持続可能な社会の在り方について理解する。

第2回 環境と社会を巡って～その2～ (授業形式：講義および演習)

予習内容：これまで地球上で発生してきた種々の環境問題が社会に及ぼしてきた歴史的な事柄から環境問題について学習する。

予習時間：60分

復習内容：エネルギーと環境の同時解決を図ったCO2リサイクルシステムについて再学習する。

復習時間：60分

概要 環境と社会はエネルギー基盤の上で食糧、人口、経済が入り組んだ複雑な問題を抱えている。特に、人口動態がその鍵を握っている。ここでは、人口動態予測とエネルギーと環境の同時解決を図ったCO2リサイクルシステム社会、さらに技術の中立性について学習する。

セクション1 人口増加とその予測 セクション概要 世界の人口増加の要因とその予測分析を理解する。

セクション2 CO2リサイクルシステム セクション概要 エネルギーと環境を同時に解決するアイデアと技術開発について学習する。

セクション3 科学と社会 セクション概要 中立な技術開発とその在り方について学習する。

第3回 地球システムを巡って（授業形式：講義および演習）

予習内容：地球システムについて学習する。

予習時間：60分

復習内容：地球システムについて再学習する。

復習時間：60分

概要 サイエンスにおける環境と社会を理解するための地球システムについて学習する。

セクション1 持続可能な再生可能エネルギー セクション概要 持続可能なエネルギーの科学について学習する。

セクション2 再生可能エネルギーの科学1 セクション概要 再生可能エネルギーの科学について学習する。

セクション3 再生可能エネルギーの科学2 セクション概要 エネルギー転換、エクセルギーについて学習する。

第4回 自然に影響を及ぼしている環境問題と社会を巡って（授業形式：講義および演習）

予習内容：環境問題と社会について学習する。

予習時間：60分

復習内容：環境問題と社会について再学習する。

復習時間：60分

概要 自然に影響を及ぼしているエネルギー開発が及ぼす環境への影響と社会について学習する。

セクション1 エネルギーと社会のゆくえ セクション概要 地球の有限性とその行方について学習する。

セクション2 再生可能エネルギーによる自然環境への影響1 セクション概要 風力・洋上エネルギーによる自然環境の現状と課題を学習する。

セクション3 再生可能エネルギーによる自然環境への影響2 セクション概要 バイオエネルギーによる自然環境の現状と課題を学習する。

第5回 生体に影響を及ぼしている環境問題と社会を巡って（授業形式：講義および演習）

予習内容：生体に影響を及ぼしている環境問題と社会について学習する。

予習時間：60分

復習内容：生体に影響を及ぼしている環境問題と社会について再学習する。

復習時間：60分

概要 技術開発が生体に影響を及ぼしている環境問題と社会について学習する。

セクション1 沈黙の春から学ぶ セクション概要 化学物質の自然環境への影響と社会の変貌について学習する。

セクション2 海洋汚染と保全工学 セクション概要 海洋プラスチック、海洋汚染について学習する。

セクション3 放射能汚染と保全工学 セクション概要 放射能汚染と環境保全について学習する。

第6回 地球環境保全に向けた環境と社会を巡って（授業形式：講義および演習）

予習内容：地球環境保全に向けた環境と社会について学習する。

予習時間：60分

復習内容：地球環境保全に向けた環境と社会について再学習する。

復習時間：60分

概要 地球環境保全に向けた環境と社会について学習する。

セクション1 マテリアル循環とエネルギー セクション概要 プラスチック製品等のマテリアル循環とエネルギーについて学習する。

セクション2 環境保全とISO セクション概要 環境保全とISOの意義について学習する。

セクション3 法工学 セクション概要 法工学の必要性和意義について学習する。

第7回 エネルギー資源を取り巻く環境と社会を巡って（授業形式：講義および演習）

予習内容：エネルギー資源を取り巻く環境と社会について学習する。

予習時間：60分

復習内容：エネルギー資源を取り巻く環境と社会について再学習する。

復習時間：60分

概要 エネルギー資源を取り巻く環境と社会について学習する。

セクション1 エネルギー備蓄 セクション概要 持続可能な社会を支えるエネルギー備蓄について学習する。

セクション2 バイオエネルギー セクション概要 持続可能なバイオエネルギーの基礎特性について学習する。

セクション3 核融合エネルギー セクション概要 持続可能な核融合エネルギーの基礎特性について学習する。

第8回 技術開発を取り巻く環境と社会を巡って（授業形式：講義および演習）

予習内容：技術開発を取り巻く環境と社会について学習する。

予習時間：60分

復習内容：技術開発を取り巻く環境と社会について再学習する。

復習時間：60分

概要 技術開発を取り巻く環境と社会について学習する。

セクション1 科学とは セクション概要 科学を根幹から見つめ直し、その必要性と独創性について学習する。

セクション2 地球規模課題対応国際科学技術協力 セクション概要 我が国が取り組むSATREPSを基に科学技術について学習する。

セクション3 ムーンショット型研究開発 セクション概要 我が国が取り組むムーンショットを基に科学技術について学習する。

第9回 環境倫理と技術開発（授業形式：講義および演習）

予習内容：環境倫理について学習する。

予習時間：60分

復習内容：環境倫理について再学習する。

復習時間：60分

概要 環境倫理と技術開発の在り方について学習する。

セクション1 環境哲学 セクション概要 環境哲学の理念とい学問を学習する。

セクション2 環境倫理 セクション概要 環境哲学の理念と学問を学習する。

セクション3 環境倫理と技術開発 セクション概要 環境倫理と技術開発の学問を学習する。

第10回 共生の生態学（授業形式：講義および演習）

予習内容：社会が向かうべき共生の生態学について学習する。

予習時間：60分

復習内容：社会が向かうべき共生の生態学について再学習する。

復習時間：60分

概要 社会が向かうべき共生の生態学について学習する。

セクション1 共生の生態学とは セクション概要 共生の生態学の基礎を学習する。

セクション2 共生システム セクション概要 共生システムの基礎を学習する。

セクション3 共生へ向かって セクション概要 共生の在り方、特に障害者教育について学習する。

第11回 環境保全に向けた社会の在り方（授業形式：講義および演習）

予習内容：エネルギーと環境を取り巻く社会が向かうべく未来の像について学習する。

予習時間：60分

復習内容：エネルギーと環境を取り巻く社会が向かうべく未来の像について再学習する。

復習時間：60分

概要 エネルギーと環境を取り巻く社会が向かうべく未来の像について学習する。

セクション1 持続可能なエネルギー セクション概要 化石エネルギーからバイオエネルギーへのシフトについて学習する。

セクション2 炭素循環 セクション概要 地球システムが有する炭素循環に組み込まれるカーボンニュートラルの概念を学習する。

セクション3 未来自動車 セクション概要 スターリングエンジンについて学習する。

第12回 持続可能な社会形成に向けた取り組み（廃棄物と社会）（授業形式：講義および演習）

予習内容：日常生活、社会活動において廃棄を資源化について学習する。

予習時間：60分

復習内容：日常生活、社会活動において廃棄を資源化について再学習する。

復習時間：60分

概要 日常生活、社会活動において廃棄を資源化することは、重要な課題である。その取り組みについて学習する。

セクション1 廃棄物 セクション概要 廃棄物の現状と課題について学習する。

セクション2 廃棄物処理 セクション概要 廃棄物処理の現状と課題について学習する。

セクション3 廃棄物資源化 セクション概要 廃棄物の資源化の基礎について学習する。特に、食品ロスと汚泥資源の有効活用の取り組みについて学習する。

第13回 持続可能な社会形成に向けた取り組み（水素と社会）（授業形式：講義および演習）

予習内容：水素社会の在り方について学習する。

予習時間：60分

復習内容：水素社会の在り方について再学習する。

復習時間：60分

概要 水素社会の到来は、世界の祈願であり、目指すべく究極の社会基盤であり、その科学について学習する。

セクション1 水素エネルギー セクション概要 水素エネルギーの基礎を学習する。

セクション2 従来型燃料電池 セクション概要 従来型燃料電池の基礎を学習する。

セクション3 新型燃料電池 セクション概要 新型燃料電池の基礎を学習する。

第14回 持続可能な社会形成に向けた取り組み（農業と社会）（授業形式：講義および演習）

予習内容：食糧確保について学習する。

予習時間：60分

復習内容：食糧確保について再学習する。

復習時間：60分

概要 食糧確保は、世界の最大の課題である。食を科学し、その解決策について学習する。

セクション1 農業と気象 セクション概要 農業と気象について学習する。

セクション2 生物環境と農業 セクション概要 温室や植物工場について学習する。

セクション3 農業とエネルギー セクション概要 農業とエネルギーについて学習する。

第15回 持続可能な社会形成に向けた取り組み（バイオエネルギーと社会）（授業形式：講義および演習）

予習内容：バイオマス資源について学習する。

予習時間：60分

復習内容：バイオマス資源について再学習する。

復習時間：60分

概要 持続可能かつ再生可能なエネルギーである次世代固形バイオ燃料であるバイオコークスについて学習する。

セクション1 次世代固体バイオ燃料：バイオコークス セクション概要 次世代固体バイオ燃料：バイオコークスについて学習する。

セクション2 実用化に向けたバイオコークス セクション概要 実用化に向けたバイオコークスについて学習する。

セクション3 長期備蓄型再生可能エネルギー セクション概要 持続可能な長期備蓄型再生可能エネルギーについて学習する。

■ホームページ

近畿大学バイオコークス研究所 <https://www.kindai.ac.jp/bio-coke/>

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 :	技術と倫理【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Technology and Ethics				
担当者 :	東崎 康嘉				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	前期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :	理工応用化学科：学修・教育到達目標（B）に主体的に関与 理工機械工学科：機械工学コース学習・教育目標：A-3, JABEE基準1.2：(a)(b)に関与 理工電気電子通信工学科：学習・教育到達目標D1の達成に主体的に関与 理工社会環境工学科：ディプロマ・ポリシーの(A)、(B)に主体的に関与、(F)に付随的に関与				

■ 授業概要

近年、自動車会社及び自動車部品メーカー等による品質不正問題や、先端技術を他国へ漏らす技術流出問題など、技術者の道徳的倫理が問われる問題が多く発生している。(今後とも技術競争の苛烈さが増して技術が高度化していく中で、最も根本的な技術者としての道徳的倫理観が蔑ろにされる状況が危惧される。)

これからの技術者は、持続的な生活基盤を支える環境やエネルギーに配慮し、関連する法規を遵守しながら、自ら生み出す製品の社会的な影響を十分に理解する必要がある。その上で、社会に対して安全で信頼性の高い技術を開発し提供していくことが求められる。

本講では、今後、専門分野を深く修得していく上で、健全な科学技術者のあるべき姿を考え、それを実践していくための正しい道徳観・倫理観を涵養・修得することを主眼とする。この授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施する。各回の作成者は授業計画の内容に記載している。技術と倫理では、理工学部履修要項に準拠し、1/3以上の欠席すなわち5回以上の未受講があった場合は不合格とする。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

グローバル化と標準化が進む現代の科学技術世界において、これからの科学技術者の在り方、基本として持つべき科学技術倫理観を養うことができる。下記に具体的な項目を示す

- 1) 企業の中で必要とされる技術者倫理を身につけることができる
- 2) 製造物責任法を知ることができる
- 3) 科学技術者として必要な倫理を知ることができる
- 4) 品質問題、環境問題、安全問題と情報問題と技術者倫理の関係を知ることができる
- 5) 知的財産権について知ることができる
- 6) リスク問題の対処法を知ることができる

本科目は修得は、学科の定めるディプロマポリシーの達成に関与しています（例）機械工学科ディプロマポリシー 1. 1））。

■ 成績評価方法および基準

レポート 30%

定期課題レポート 70%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

レポート課題の提出締切終了後に「レポート課題の要点と解説」をGoogle Classroomに掲載します。

■ 教科書

[ISBN]9784759819779 『技術者による実践的工学倫理 第4版 先人の知恵と戦いから学ぶ』（（一社）近畿化学協会 工学倫理研究会, 化学同人：2019)

■参考文献

-

■関連科目

「技術倫理と知的財産」

■授業評価アンケート実施方法

期間内で実施します

■研究室・メールアドレス

38号館 tozaki@mech.kindai.ac.jp

38号館N602 fujita@mech.kindai.ac.jp

38号館N504 tanida@mech.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

月曜日1限

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 工学倫理をはじめるとあって（東崎）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書 I 部第1章を読む

予習時間：30分

復習内容：工学倫理がなぜ必要かをまとめる

復習時間：30分

概要 科学技術者の社会における役割と、これから学習していく工学倫理の内容について説明ができる

セクション1 工学倫理を学習する理由 セクション概要 工学倫理を学習する理由を明確にし、その後工学倫理が関連した事件と大学で工学倫理の学習がスタートして経緯を理解する。

セクション2 技術者倫理と技術倫理 セクション概要 工学倫理、技術倫理、技術者倫理の定義を学習し、その違いを明確に理解することができる

セクション3 専門技術者と技術（者）倫理 セクション概要 技術者に求められる素養を理解し、技術者に求められている倫理性も理解することができる。

第2回 技術者倫理が問われる場合（東崎）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書 I 部第2章を読む

予習時間：30分

復習内容：技術者倫理・技術倫理が問われる場合の違いを理解する

復習時間：30分

概要 技術は危険なものであり、技術者倫理が問われる場合はいろいろあることを認識し、過去の教訓を説明することができる

セクション1 技術評価とは 技術は危険なものであるが、受益者（公衆）はその技術がもたらす利便性と危険性を比較して、技術評価をしていることを理解する

セクション2 技術者倫理が問われる場合 技術者倫理が問われる場合はいろいろあることを認識し、それぞれの事例を教訓として学ぶ必要がある

セクション3 最も単純な倫理違反 「工学倫理」の理解が不足し、品質不正、食品偽装、論文ねつ造などの倫理問題が発生していることを学ぶ

第3回 技術者と倫理（東崎）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書 I 部第3章を読む

予習時間：30分

復習内容：技術者に求められる倫理をまとめる

復習時間：30分

概要 日本の技術の特徴、日米の技術者の違いを理解し、どうして技術に高い倫理性が求められるかを説明できる

セクション1 日本の技術 「大衆人気商品」につぎ込んだ小遣いが、「成熟した商業技術」の開発資金となった また、新幹線のように、信頼性と安全性を兼ね備えた技術もあることが説明できる

セクション2 日米の技術者 米国はPEとPh.D、日本は理学修士・工学修士が中心に技術開発を担ってきた過去の技術者が、築きあげた大衆からの尊敬と信頼を維持することが大切であることを知る

セクション3 技術者と倫理 「危険なものを安全に使いこなす知恵」を正しくつかわないと、恐ろしい結果がまっているために、技術者に高い倫理性が求められていることを知る

第4回 専門職と組織人の倫理（東崎）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書Ⅰ部第4章を読む

予習時間：30分

復習内容：組織人であるために必要な事項を書き出す

復習時間：30分

概要 専門職と組織人とは何かを理解し、それぞれの役割と大切にしなければならないことが説明できる

セクション1 専門職であるということ 技術者には専門的能力に加え、高い倫理性が要求される それに反すると大衆の信頼を失い業務ができなくなることを知る

セクション2 技術と信頼 専門職とは「大衆には理解できない職務」を任されている職で信頼されることが必要であることを理解する

セクション3 組織人であるということ 技術者は組織に属して活動する 組織ではなんでも報告・連絡・相談する“ほうれんそう”が大切であることを知る

第5回 倫理問題への対応（東崎）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書Ⅰ部第5章を読む

予習時間：30分

復習内容：公益通報者保護法をまとめる

復習時間：30分

概要 日本の企業の中で行われている倫理問題の対応の現状とその活動、さらには国際的舞台上でのとりくみについて説明ができる

セクション1 日本企業のとりくみ 「小集団活動」を基本とし、「危険予知」「ヒヤリハット」などの手法を用いて、日常活動を点検しあう日本の方式が、工学倫理に対して有効であることを理解する

セクション2 工学倫理にも小集団活動を 倫理意識の徹底、不倫理行動の撲滅、危険予知やヒヤリハット活動を小集団で行うことが重要であることを知る

セクション3 国際的な舞台上でのとりくみ 国際的な工学倫理に単純な正解はない 相手国の事情だけで片づく話でもないグローバル・スタンダードで片づけられる話でもない 違いを理解し合うこと、そしてここでも、話し合うことが大切であることを理解する

第6回 製造物責任と技術者（東崎）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書Ⅰ部第6章を読む

予習時間：30分

復習内容：日本・EC・アメリカのPL制度を比較しまとめる

復習時間：30分

概要 技術者との関連が深いPL法（製造物責任法）の仕組みついて理解し、PL法といかに技術者が対応すべきかを説明できる

セクション1 製造物責任法（PL法）とは PL法では、欠陥をこうむったことさえ立証できれば、損害賠償を請求できるのが特徴であることを理解する

セクション2 企業の海外でのPL訴訟事例とPL法成立経緯 米国には懲罰的賠償制度により、巨額の損害賠償となる 日本では、細川内閣の出現で、製造側、消費者側の妥協がはかられ、PL法が成立することになったことを知る

セクション3 各国との比較とPL法制定後の状況 日米欧でPL法はおおむね内容は共通であるが、「懲罰的賠償」は米国のみ認められている また、米国では弁護士が、被害者に競ってPL訴訟を提案したりすることを知る

第7回 実践的技術者倫理のすすめ（東崎）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書Ⅰ部第7章を読む

予習時間：30分

復習内容：事例研究の注意点をまとめる

復習時間：30分

概要 技術者人生の中で、工学倫理にかかわるような事件に巻き込まれないようにする方法を説明できる

セクション1 実践的技術者倫理 実験などを安全に効率よく実施するための5S活動や、安全推進キーファクター5Mを知る

セクション2 事例から学ぶ1 事例研究とグループ討論が工学倫理を学ぶために、効果的な学習方法であることを知る

セクション3 事例から学ぶ2 事例紹介では、工学倫理の基本は、「危険なものを安全に使いこなす仕事」をしているという明確な自覚を持つことであると再確認することが重要と理解する

第8回 安全と工学倫理（東崎）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書Ⅱ部第1章を読む

予習時間：30分

復習内容：安全推進のキーファクター5Mをまとめる

復習時間：30分

概要 企業で発生する可能性のある安全問題の事例を取り上げ、公衆の安全に対する科学技術者の責任について説明ができる

セクション1 技術者と安全 実験などを安全に効率よく実施するための5S活動や、安全推進キーファクター5Mを知る

セクション2 各種安全活動 1972年に制定された労働安全衛生法が労働災害の死亡者数を減少させるのに、貢献したことを理解する

セクション3 品質保証と排出物質の安全 PRTR法（化学物質排出把握管理促進法）やRC（レスポンスフル・ケア）活動の内容を理解する

第9回 リスクの評価と工学倫理（東崎）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書Ⅱ部第2章を読む

予習時間：30分

復習内容：技術者がかかわるリスクの例をまとめる

復習時間：30分

概要 環境、安全等、人々をとりまくリスクは多様である これらのリスクに対する科学技術者の責任について記述できる

セクション1 リスクとは リスクの大きさは、被害規模×発生確率 であることを知る

セクション2 リスクとはマネジメントとリスク評価 ①本質安全設計②安全寿命設計③フェイルセーフ設計④損傷許容設計の五つが信頼性設計の代表的な考え方であることを知る

セクション3 リスクへの対応・評価と工学倫理 ①リスクの保有②リスクの削減③リスクの分散④リスクの移転⑤リスクの回避 のいずれかを選択することがリスクへの対応方法であることを理解する

第10回 環境・資源・エネルギー問題（東崎）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書Ⅱ部第3章（～142p）を読む

予習時間：30分

復習内容：環境を考える三つの主張を書き出す

復習時間：30分

概要 世界で大きな問題となっている環境・資源・エネルギー問題について、現在までの状況と技術者がとるべき姿勢について説明できる

セクション1 歴史から見る環境問題 環境容量とは、環境の浄化能力の限界値を表す指標で、許容される排出総量を与える場合と、自然の浄化能力の限界値から考える場合の二つがあることを理解する

セクション2 現在の環境問題 第二次世界大戦後の汚染問題の状況変化を理解する

セクション3 資源とエネルギー問題 世界の一次エネルギー消費量は、1965年から年平均2.6%で増加を続け、2015年には130億トン（toe）を越えた この50年間で、3.5倍の驚異的な伸びを示していることを知る

第11回 資源循環型社会と地球規模の環境問題（東崎）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書Ⅱ部第3章（143p～）を読む

予習時間：30分

復習内容：京都議定書とパリ協定の違いをまとめる

復習時間：30分

概要 資源循環型社会の概念と地球規模の環境問題に対する技術者の使命について説明できる

セクション1 資源循環型社会の概念と倫理問題 廃棄物管理と資源循環のポイントは「3Rイニシアティブ」と「3P（汚染者負担原則、Polluter-Pays Principle）」であることを理解する

セクション2 地球規模の環境問題 地球温暖化ガス係数やオゾン層破壊とフロンとの関係などを理解する

セクション3 地球温暖化問題 温暖化の基本対策は、「緩和」と「適応」の二つであることを知る

第12回 技術者と法規（東崎）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書Ⅱ部第4章を読む

予習時間：30分

復習内容：技術者に関係のある法規をまとめる

復習時間：30分

概要 法規と倫理の関係を整理し、「倫理」問題における法律の役割を考え、法規の役割を説明できる

セクション1 法規とは 技術関係の法規は、「危険なものを安全に使いこなす」ことの専門職である技術者が参画してつくってきた貴重な知恵の集積であることを理解する

セクション2 法規と注意義務 一般の過失と業務上過失に対する刑の違いを知る

セクション3 技術者をとりまく法規の概観 技術者は、自分に関係の深い法規をよく理解しておいて、そのほかのものは必要に応じて調べるのが現実的だ その法規の専門家などによく相談することも大切だ 以上のことを理解する

第13回 知的財産と工学倫理（藤田）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書Ⅱ部第5章を読む

予習時間：30分

復習内容：「発明」「考案」「意匠」の違いをまとめる

復習時間：30分

概要 知的財産権について学習し、その後知的財産権問題の事例を紹介し、知的財産問題と工学倫理の関係を説明できる

セクション1 知的財産権制度について 知的財産権の制度の趣旨を理解し、日本における知的財産政策を理解する

セクション2 知的財産権の国際問題と職務発明 知的財産権の国際的な問題を理解し、組織の中で行う職務発明についての理解を深める

セクション3 不正競争防止法について 公平な競争を阻害する行為の禁止を定めた不正競争防止法に基づく各事例を通して、知的財産保護に対する理解を深める

第14回 バイオテクノロジーと工学倫理（谷田）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書Ⅲ部第1章を読む

予習時間：30分

復習内容：ES細胞とiPS細胞の違いをまとめる

復習時間：30分

概要 人類に計りしれない恵をもたらす可能性があるバイオテクノロジーの持つ危険性とその技術の受け入れ方についての工学倫理の観点から説明できる

セクション1 バイオテクノロジーとは 人類が生物環境や生命を操作する技術を手に入れ始めたことを学ぶ 次に法規がどのような観点で整備されているのか理解する。そのうえで、技術者や人類がどのように技術を受け入れるか考える

セクション2 生命倫理とは 生命倫理を理解し、ヘルシンキ宣言を理解する。そして、個人情報とインフォームドコンセントの重要性を理解する

セクション3 近畿大学の生命倫理規定とは 具体的な生命倫理規定を理解する

第15回 情報技術と工学倫理（谷田）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書Ⅲ部第2章を読む

予習時間：30分

復習内容：ICTの特性についてまとめる

復習時間：30分

概要 最近重要となってきた情報問題の事例を取り上げ、技術者の立場から、情報技術の在り方について説明ができる

セクション1 情報通信技術とは 情報通信技術の広さを学ぶ、次に法規がどのような観点で整備されているのか理解する。そのうえで、技術者や人類がどのように技術を受け入れるか考える

セクション2 ICTに関係する条約と法規とは 情報処理技術に関する法規を理解し、何が犯罪となるのか理解する。情報管理方法を理解する

セクション3 ICTの進歩とこれからの社会へ ICTの将来を考える。事例を知る（温故知新）そして、倫理観取得への心得を学ぶ

定期試験

定期試験は、課題を定めたレポートとする

■ ホームページ

■ 実践的な教育内容

-

科目名 :	生命の科学【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Science of Life				
担当者 :	角谷 晃司				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	前期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

ヒトゲノムの解読により我々を含む生命体の謎が解き明かされつつある。また、生命科学を通して生命体の「誕生」、「疾病」そして「死」など、様々な現象が明らかとなってきた。この講義では、近年飛躍的に進歩している生命科学の分野において、我々の身近に関わる、細胞、遺伝子、代謝、食、がんなどについて知っておかなければならない事を、生物学を学んでいない学生に対しても理解できる範囲で紹介する。

この授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。各回の作成者は授業計画の内容に記載のとおりです。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講者はこの授業を履修することによって、医学、薬学、農学、理学を問わず、一般新聞に掲載されるサイエンス記事が理解できるようになることが目標である。

この科目の修得は、本学の定めるディプロマポリシー2.の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

15回すべての講義動画を視聴した学生のみ評価の対象であり、第1回レポート課題 30%

第2回レポート課題 30%

第3回レポート課題 30%

ディスカッションへの参加 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

「レポート課題の提出締切後に「レポート課題の要点と解説」をGoogleClassroomに掲載します。」

■ 教科書

適時プリント配布

■ 参考文献

[ISBN]9784758120005 『生命科学 改訂第3版』（東京大学生命科学教科書編集委員会, 羊土社）

[ISBN]9784807903436 『ウォーレス現代生物学 上』（R.A. ウォーレス, 東京化学同人）

[ISBN]9784807903443 『ウォーレス現代生物学 下』（R.A. ウォーレス, 東京化学同人）

[ISBN]9784315520620 『細胞の分子生物学 第6版』（Bruce Alberts, ニュートンプレス）

[ISBN]9784410281488 『フォトサイエンス生物図録』（数研出版編集部, 数研出版：2023）

■ 関連科目

なし

■ 授業評価アンケート実施方法

学部実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

角谷 晃司 6号館 4階 kakutani@msa.kindai.ac.jp
中村 恭子 38号館 9階 kyoko@phar.kindai.ac.jp
八軒 浩子 7号館 4階 hhachi@phar.kindai.ac.jp
和田 哲幸 7号館 4階 tetsu@phar.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

平日9時～18時、上記研究室で受け付けます。メールでの質問、歓迎します。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 生物の基本概念と基本構造 (担当: 角谷 晃司) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 生物の基本概念と基本構造について予習を行う。

予習時間: 60分

復習内容: 授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間: 60分

概要 生物のもつ2つの対立した特性、多様性と共通性を知ること、生物とは何かをという基本概念と基本構造を学ぶ。

セクション1 生命の多様性と共通性について

セクション概要 異なる生物もすべて生きているのは何故かを考える。

セクション2 細胞とは

セクション概要 細胞の中にある細胞小器官について説明する。

セクション3 原核生物と真核生物の違い

セクション概要 原核生物と真核生物の違いについて説明する。

第2回 生殖細胞 (担当: 角谷 晃司) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 生殖細胞について予習を行う。

予習時間: 60分

復習内容: 授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間: 60分

概要 精子と卵子などの生殖細胞の形成過程やホルモンの働きについて理解する。

セクション1 生殖細胞について

セクション概要 精子と卵子が作られる生殖器について説明する。

セクション2 精子と卵子の形成について

セクション概要 精子と卵子の形成過程を説明する。

セクション3 女性ホルモンの働き

セクション概要 女性ホルモンの働きを説明する。

第3回 生命の多様性 (担当: 角谷 晃司) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 生命の多様性について予習を行う。

予習時間: 60分

復習内容: 授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間: 60分

概要 生物が世代と共に環境に適応する変化(進化)のしくみについて理解する。

セクション1 ヒトの受精と発生

セクション概要 ヒトの受精とヒトの発生初期について説明する。

セクション2 染色体と性の決定

セクション概要 性を決定する染色体について説明する。

セクション3 多様性を生む減数分裂について

セクション概要 体細胞分裂と減数分裂の違いについて説明する。

第4回 生命の設計図 (担当: 八軒 浩子) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: DNAからタンパク質が作られるセントラルドグマについて予習を行う。

予習時間: 60分

復習内容: 授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間: 60分

概要 生命体の設計図と言われるDNAの複製機構、DNAからタンパク質が作られるしくみについて解説する。

セクション1 遺伝子の本体DNA

セクション概要 遺伝子の本体であるDNAについて説明する。

セクション2 DNAの複製

セクション概要 DNAの複製について説明する。

セクション3 遺伝子とタンパク質

セクション概要 DNAの遺伝情報をもとにタンパク質が合成される過程について説明する。

第5回 遺伝子組換え (担当: 八軒 浩子) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 制限酵素やベクターなどを用いる遺伝子組換え技術について予習を行う。

予習時間: 60分

復習内容: 授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間: 60分

概要 遺伝子組換えについて説明する。

セクション1 遺伝子組換え技術

セクション概要 遺伝子組換え技術について説明する。

セクション2 遺伝子操作

セクション概要 遺伝子組換えによる医薬品や作物などについて説明する。

セクション3 遺伝子治療

セクション概要 遺伝子治療について説明する。

第6回 再生医療 (担当: 八軒 浩子) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 幹細胞について予習を行う。

予習時間: 60分

復習内容: 授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間: 60分

概要 機能不全に陥った生体組織などの機能を再建する再生医療について説明する。

セクション1 幹細胞

セクション概要 幹細胞であるES細胞、iPS細胞について説明する。

セクション2 クローン動物の作製

セクション概要 クローン動物について説明する。

セクション3 再生医療

セクション概要 再生医療について説明する。

第7回 代謝経路の基礎 (担当: 中村 恭子) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 食物を摂取した後どのように体内でタンパク質、糖質および脂質が代謝されるのかについて予習を行う。

予習時間: 60分

復習内容: 授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間: 60分

概要 食物がどのように消化されるのかを理解し、特に糖代謝についてどのように制御されているかそして糖尿病について学ぶ。

セクション1 食物分子の分解

セクション概要 タンパク質、糖質および脂肪の消化について学ぶ。

セクション2 糖代謝 (1)

セクション概要 血糖値の制御について学ぶ。

セクション3 糖代謝 (2)

セクション概要 糖尿病について学ぶ。

第8回 細胞周期とがん (担当: 中村 恭子) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 一つの細胞が二つに増殖する過程について予習を行う。

予習時間: 60分

復習内容: 授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間: 60分

概要 細胞がどのように増殖するのか、正常細胞とがん細胞の違いを理解し、がんの成り立ちを学ぶ。

セクション1 細胞周期とは

セクション概要 細胞周期について学ぶ。

セクション2 細胞周期の制御およびチェックポイント機構

セクション概要 細胞周期の制御およびチェックポイント機構に関わる因子について学ぶ。

セクション3 がんの成り立ち

セクション概要 正常細胞、がん細胞およびがんの成り立ちについて学ぶ。

第9回 遺伝の仕組み (担当: 中村 恭子) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 遺伝とはどういうことかについて予習を行う。

予習時間: 60分

復習内容: 授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間: 60分

概要 ヒトおよび植物の遺伝について理解し、特にヒトでの様々な遺伝の種類について学ぶ。

セクション1 ヒトおよび植物の遺伝

セクション概要 ヒトおよび植物の遺伝について学ぶ。

セクション2 優性形質および劣性形質

セクション概要 ヒトにおける優性形質および劣性形質について学ぶ。

セクション3 遺伝性腫瘍

セクション概要 遺伝性腫瘍について学ぶ。

第10回 生体の恒常性 (担当: 和田 哲幸) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 栄養素とは何かについて予習を行う。

予習時間: 60分

復習内容: 授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間: 60分

概要 ヒトはなぜ食べるのか? 健康を考えるうえで、まず思い出すのが“食事”です。健康を維持するための食について理解します。

セクション1 なぜヒトは食べるのか?

セクション概要 なぜヒトは食事をする必要があるのかについて簡単に説明する。

セクション2 栄養素とは何?

セクション概要 3大栄養素の役割について簡単に説明する。

セクション3 消化とは? 吸収とは?

セクション概要 消化と吸収について簡単に説明する。

第11回 生体の恒常性 (担当: 和田 哲幸) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 消化器官の構造と役割について予習を行う。

予習時間: 60分

復習内容: 授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間: 60分

概要 ヒトはなぜ食べるのか? 消化と吸収に関わる消化器系の役割とそのはたらきについて理解する。

セクション1 食べること

セクション概要 口腔から直腸までの消化管のはたらきについて説明する。

セクション2 美味しく食事する!

セクション概要 味を感じる仕組みについて説明する。

セクション3 健康を維持するために

セクション概要 健康長寿を目指す、バランスの取れた食事って?

第12回 生体の恒常性 (担当: 和田 哲幸) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 薬物乱用とは何か、簡単に調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間: 60分

概要 薬物乱用防止について、薬物の本当の怖さとその問題点を理解する。

セクション1 薬物乱用とは何?

セクション概要 薬物乱用について説明する。

セクション2 薬物乱用の規制

セクション概要 法規制の対象となる薬物について説明する。

セクション3 医療用麻薬って何?

セクション概要 医療用麻薬について説明する。

第13回 神経と情報伝達 (担当: 和田 哲幸) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 神経と情報伝達について予習を行う。

予習時間: 60分

復習内容: 授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間: 60分

概要 生体における情報伝達について理解する。

セクション1 恒常性の維持

セクション概要 恒常性の維持について概説する。

セクション2 生体における情報伝達手段 (1)

セクション概要 ホルモンによる体内調節について概説する。

セクション3 生体における情報伝達手段 (2)

セクション概要 神経伝達物質による情報伝達について概説する。

第14回 生体の防御・免疫（担当：角谷 晃司）（授業形式：講義および演習）

予習内容：生体防御のしくみについて予習を行う。

予習時間：60分

復習内容：授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間：60分

概要 生体防御機構である免疫について理解する。

セクション1 免疫にかかわる細胞

セクション概要 免疫にかかわる細胞の種類と自然免疫について概説する。

セクション2 獲得免疫

セクション概要 細胞性免疫と体液性免疫について概説する。

セクション3 免疫にかかわる疾患と治療

セクション概要 花粉症やエイズなど免疫にかかわる疾患とワクチンについて概説する。

第15回 がん（担当：中村 恭子，八軒 浩子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：がんの基礎知識について予習を行う。

予習時間：60分

復習内容：授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間：60分

概要 がんの基礎知識および遺伝子治療について学ぶ。

セクション1 がんの基礎知識

セクション概要 がんとその治療法について学ぶ。

セクション2 遺伝子治療（1）

セクション概要 遺伝子治療および遺伝子治療用ベクターの種類について学ぶ。

セクション3 遺伝子治療（2）

セクション概要 がん遺伝子治療について学ぶ。

レポート課題

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 :	芸術鑑賞入門【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Introduction to Appreciation of Art				
担当者 :	島田 有紀				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	前期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

芸術鑑賞とはどのようにすればいいのでしょうか。

もちろん感性を使って鑑賞するのも大切です。しかし芸術は感性だけでなく様々な視点を持つことにより、より深くその面白さを理解することができます。

本授業では日本美術の作品（絵画、工芸、芸能）を取り上げ、その流れを把握すると同時に当時の社会背景や文化、また作品の技法や受容などと共に考察し芸術鑑賞の楽しさを学びます。

授業は作品の図版や文献資料、映像資料などを用いて進めていきます。

コンテンツ作成：島田有紀

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

PBL（課題解決学習）・ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

自主学習支援（e-learning等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

"日本美術作品の鑑賞に必要な基本的な視点を習得することによって、芸術に親しむことを目標とする。この科目の修得は、本学が定めるディプロマポリシー 3の達成に関与しています。"

■ 成績評価方法および基準

中間試験①、② 40%

学期末期試験レポート 40%

学生間ディスカッション 20%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■ 教科書

特に指定しない。

授業ごとに適宜資料を配布。

■ 参考文献

[ISBN]9784568400656 『増補新装 カラー版日本美術史』（辻 惟雄, 美術出版社：2003）

[ISBN]9784568400625 『カラー版 日本美術史年表』（辻 惟雄, 美術出版社：2002）

[ISBN]9784568400830 『増補新装 カラー版 東洋美術史』（前田耕作, 美術出版社：2012）

■ 関連科目

-

■ 授業評価アンケート実施方法

学部実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

■ オフィスアワー

-

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 作品はどう見るのか（講義形式：講義及び演習）

予習内容：自身が作品を見る際にどのような点に関心があるのかについてまとめておく。

予習時間：30分

復習内容：授業配布の資料をもとに、作品鑑賞の要点を確認しておく。

復習時間：60分

概要 作品が制作された時代背景や文化、文献などがどのように関わっているのか、また絵に描かれているモチーフの読み解き方など、絵画鑑賞の基本を学ぶ。

セクション1 芸術はなぜわからないのか

セクション概要 現在、なぜ芸術がわかりにくいとなっているのかについて

セクション2 時代による作品傾向

セクション概要 古代から近代までの日本美術の流れについて

セクション3 作品から読み解く情報

セクション概要 作品から何がわかるのかについて

第2回 20世紀のアート市場はどのように成立をしたのか（講義形式：講義及び演習）

予習内容：現代芸術の概要について予習する。

予習時間：30分

復習内容：授業配布の資料をもとに、現代芸術の位置づけや作品の売買、ポップアートについて確認し、それらを踏まえて多様化する現代芸術の作品鑑賞をする。

復習時間：60分

概要 米国の連邦美術計画などをとりあげ、20世紀以降いかに現代芸術の市場が広がっていったかを学ぶ。

セクション1 西洋美術の流れ

セクション概要 紀元後から近代までの西洋美術の流れについて

セクション2 原風景-伝統的芸術観

セクション概要 伝統的芸術観と共同体について

セクション3 理念なき形式-アメリカ的芸術

セクション概要 アメリカの現代芸術はどのように作られたかについて

セクション4 政治と芸術-ヘゲモニックな芸術利用

セクション概要 現代において芸術とはどのように捉えることができるのかについて

第3回 絵巻物にみる物語表現（講義形式：講義及び演習）

予習内容：日本の物語の概要について予習する。

予習時間：30分

復習内容：授業配布の資料をもとに、絵巻物の特徴やなぜそのような造形になるのか時代背景について確認し、現代の作品（映画や漫画など）とどのように関係し変化したのかを考えながらそれらに関連する作品鑑賞をする。

復習時間：60分

概要 日本美術の中の絵巻物を見ていく。絵巻物は日本独自の絵画表現であり、物語を題材にしたものが多い。その絵巻物の見方や描き方の基本、その独自性について学ぶ。

セクション1 絵巻とは

セクション概要 絵巻の基本や鑑賞方法について

セクション2 《源氏物語絵巻》について

セクション概要 段落式絵巻物について

セクション3 《信貴山縁起絵巻》について

セクション概要 連続式絵巻物について

セクション4 《鳥獣人物戯画》について

セクション概要 詞書のない絵巻物について

第4回 肖像画にみる人物表現（講義形式：講義及び演習）

予習内容：様々な国の肖像画の概要について予習する。

予習時間：30分

復習内容：授業配布の資料をもとに、人物表現の特徴やなぜそのような造形になるのか時代背景、受容について確認し、現代の人物イメージ表現、女性像（SNSに見られるものなど）とどのように関係し変化したのかを考えながらそれらに関連する作品鑑賞をする。

復習時間：60分

概要 西洋の肖像画とは異なり、日本の肖像画には写実表現が少ない。ではなぜ実在の人物を写實的に描かないのか。また日本の人物表現はどのような特徴があるのかを学ぶ。

セクション1 似絵と肖像画とは

セクション概要 似絵と肖像画の基本について

セクション2 似絵の人物表現

セクション概要 人物像の異なる表現について

セクション3 浮世絵の人物表現①

セクション概要 浮世絵の美人画の全身像表現について

セクション4 浮世絵の人物表現②

セクション概要 浮世絵の美人画の顔表現について

第5回 風俗画にみる日本文化①（講義形式：講義及び演習）

予習内容：近世の日本文化の概要について予習する。

予習時間：30分

復習内容：授業配布の資料をもとに、風俗画の特徴やなぜそのような造形になるのか時代背景について確認し、現代の文化や風俗表現（YouTubeやSNSなど）とどのように関係し変化したのかを考えながらそれらに関連する作品鑑賞をする。

復習時間：60分

概要 近世になり日本のなかで風俗画が多く制作されるようにある。では、その風俗画とはどのような成り立ちを持つのか、また当時の人々はどのように生活していたのかなどを学ぶ。

セクション1 洛中洛外図とは

セクション概要 洛中洛外図の基本や鑑賞方法について

セクション2 町をみる洛中洛外図

セクション概要 “都”を描く洛中洛外図について

セクション3 意味を持つ洛中洛外図

セクション概要 “権力”を描く洛中洛外図について

第6回 風俗画にみる日本文化②（講義形式：講義及び演習）

予習内容：近世の日本文化の概要について予習する。

予習時間：30分

復習内容：授業配布の資料をもとに、風俗画の特徴やなぜそのような造形になるのか時代背景について確認し、現代の文化や風俗表現（YouTubeやSNSなど）とどのように関係し変化したのかを考えながらそれらに関連する作品鑑賞をする。

復習時間：60分

概要 近世になり日本のなかで風俗画が多く制作されるようにある。では、その風俗画とはどのような成り立ちを持つのか、また当時の人々はどのように生活していたのかなどを学ぶ。

セクション1 洛中洛外図からの展開

セクション概要 風俗画と洛中洛外図の関係について

セクション2 場所が特定できる風俗画

セクション概要 場所が描かれる風俗画について

セクション3 場所が不特定の風俗画①

セクション概要 出来事が描かれる風俗画について①

セクション4 場所が不特定の風俗画②

セクション概要 出来事が描かれる風俗画について②

第7回 油彩画にみる西洋受容（講義形式：講義及び演習）

予習内容：近代の西洋画、日本画の概要について予習する。

予習時間：30分

復習内容：授業配布の資料をもとに、西洋画の特徴や西洋文化の受容や時代背景について確認し、現代の文化や写実表現（写真やCGなど）とどのように関係し変化したのかを考えながらそれらに関連する作品鑑賞をする。

復習時間：60分

概要 日本では近代から本格的に用いられる西洋の技法、油彩画。では現代では多く国内で見られる油彩画が当時どのように描かれ広まったかを学ぶ。

セクション1 油彩画と日本

セクション概要 近代の油彩画と日本の西洋受容について

セクション2 油彩画の受容と作品①

セクション概要 油彩画の写実性と日本のモチーフの関係について

セクション3 油彩画の受容と作品②

セクション概要 油彩画の色彩表現の変化について

セクション4 油彩画と日本画

セクション概要 油彩画が与えた日本画への影響

第8回 陶磁器にみる日本の意匠（講義形式：講義及び演習）

予習内容：日本の代表的な陶磁器について予習する。

予習時間：30分

復習内容：授業配布の資料をもとに、陶磁器の受容や時代背景について確認し、現代の身の回りにある陶磁器と意匠や受容を含めどのように関係し変化したのかを考えながらそれらに関連する作品鑑賞、または使用をする。

復習時間：60分

概要 日本の各地域では特徴的な陶磁器が制作されている。では、どのような陶磁器作品が制作がされ、受容されたのかを学ぶ。

セクション1 室町時代のやきもの

セクション概要 室町時代に流行する輸入のやきものについて

セクション2 桃山時代のやきもの

セクション概要 桃山時代に流行する国産のやきものについて

セクション3 江戸時代のやきもの

セクション概要 江戸時代のやきものと欧州について

第9回 漆器にみる日本の意匠（講義形式：講義及び演習）

予習内容：日本の代表的な漆器について予習する。

予習時間：30分

復習内容：授業配布の資料をもとに、漆器の受容や時代背景について確認し、現代の身の回りにある漆器と意匠や受容を含めどのように関係し変化したのかを考えながらそれらに関連する作品鑑賞、または使用をする。

復習時間：60分

概要 日本の中で漆器は独自の技法や意匠が生まれ定着をする。では、どのような漆器作品が制作がされ、受容されたのかを学ぶ。

セクション1 漆器とは

セクション概要 日本の漆器の基本について

セクション2 平安～鎌倉時代の漆器

セクション概要 和様の意匠の漆器について

セクション3 室町～桃山時代の漆器

セクション概要 流派と漆器の意匠について

セクション4 江戸時代の漆器

セクション概要 個性的な意匠の漆器について

第10回 服飾にみる意匠① 日本の着物（講義形式：講義及び演習）

予習内容：日本の代表的な着物について予習する。

予習時間：30分

復習内容：授業配布の資料をもとに、着物の受容や時代背景について確認し、現代の身の回りにある着物と意匠や受容、コーディネートを含めどのように関係し変化したのかを考えながらそれらに関連する作品鑑賞、または使用をする。

復習時間：60分

概要 日本の着物が、時代や身分によってによってどのような意匠になっていくのかを学ぶ。

セクション1 平安時代の着物

セクション概要 公家の装束について

セクション2 鎌倉～室町時代の着物

セクション概要 中世の武家の装束について

セクション3 桃山時代の着物

セクション概要 近世の武家の装束について

セクション4 江戸時代の着物

セクション概要 市井の人々の着物について

第11回 服飾にみる意匠② 洋装（講義形式：講義及び演習）

予習内容：日本の代表的な洋服について予習する。

予習時間：30分

復習内容：授業配布の資料をもとに、洋服の受容や時代背景について確認し、現代の身の回りにある洋服のデザインや流行とどのように関係し変化したのかを考えながらそれらに関連する作品鑑賞、または使用をする。

復習時間：60分

概要 近代に入り、洋装が社会背景や身分制度と関わりつつどのように変化をしてきたのかを学ぶ。

セクション1 18世紀以降のファッション

セクション概要 18世紀以降のファッションの変化について

セクション2 需要が広がる既製服

セクション概要 既製服の成立と需要について

セクション3 シャネル①

セクション概要 シャネルデザインの特徴について

セクション4 シャネル②

セクション概要 シャネルデザインの特徴について

セクション5 継承されるファッション

セクション概要 ファッションデザインの継承と革新について

第12回 信仰にみる神仏表現（講義形式：講義及び演習）

予習内容：日本の信仰について予習。

予習時間：30分

復習内容：授業配布の資料をもとに、信仰の受容や時代背景について確認し、現代の信仰表現とどのように関係し変化（来迎図のドローン表現など）したのかを考えながらそれらに関連する作品鑑賞をする。

復習時間：60分

概要 日本の信仰に関する造形がどのように表現され受容されたのかを学ぶ。

セクション1 極楽浄土と地獄 浄土教

セクション概要 浄土教の極楽浄土と地獄表現について

セクション2 装飾と信仰 法華経

セクション概要 法華経の装飾と修行について

セクション3 神と仏 本地垂迹

セクション概要 本地垂迹説と信仰について

セクション4 水墨画と禅 禅宗

セクション概要 禅の修行と水墨画について

第13回 能楽、文楽にみる日本の芸能（講義形式：講義及び演習）

予習内容：日本の芸能史の概要について予習すること。

予習時間：30分

復習内容：授業配布の資料をもとに、芸能の受容や時代背景について確認し、現代の芸能とどのように関係し変化したのかを考えながら原作（漫画やボーカロイド）などを踏まえそれらに関連する作品鑑賞をする。

復習時間：60分

概要 能、狂言、文楽を中心に日本の芸能を学ぶ

セクション1 能の鑑賞

セクション概要 能についての基本や衣装、演目について

セクション2 狂言の鑑賞

セクション概要 狂言についての基本や衣装、演目について

セクション3 文楽の鑑賞

セクション概要 文楽についての基本や人形、演目について

第14回 歌舞伎にみる日本の芸能（講義形式：講義及び演習）

予習内容：日本の芸能史の概要について予習すること。

予習時間：30分

復習内容：授業配布の資料をもとに、芸能の受容や時代背景について確認し、現代の芸能とどのように関係し変化したのかを考えながら原作（漫画やボーカロイド、ゲーム）や現代の芸能（アイドルや演劇）などを踏まえそれらに関連する作品鑑賞をする。

復習時間：60分

概要 歌舞伎を中心に江戸時代の日本の芸能を学ぶ。

セクション1 歌舞伎とは

セクション概要 歌舞伎の成り立ちや基本について

セクション2 歌舞伎と芝居小屋

セクション概要 歌舞伎独特の演出と芝居小屋について

セクション3 古典の歌舞伎

セクション概要 伝統的な古典歌舞伎について

セクション4 現代の歌舞伎

セクション概要 革新的な新作歌舞伎について

第15回 宝塚歌劇団にみる日本の芸能（講義形式：講義及び演習）

予習内容：日本の芸能史の概要について予習すること。

予習時間：30分

復習内容：授業配布の資料をもとに、芸能の受容や時代背景について確認し、現代の芸能とどのように関係し変化したのかを考えながら原作（漫画や映画、ゲーム）や現代の芸能（ミュージカルやアイドル、演劇）などを踏まえそれらに関連する作品鑑賞をする。

復習時間：60分

概要 宝塚歌劇団を中心に近代の日本の芸能を学ぶ。

セクション1 近代と宝塚歌劇団

セクション概要 近代と宝塚歌劇団と成り立ちについて
セクション2 阪急電鉄と宝塚大劇場
セクション概要 劇場のある場所と劇場の効果について
セクション3 宝塚歌劇団の特色①
セクション概要 伝統を基とした劇団の独自性について
セクション4 宝塚歌劇団の特色②
セクション概要 演目の継承と革新性について

.

■ ホームページ

■ 実践的な教育内容

-

科目名 :	現代の社会論【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Modern Synousiacs				
担当者 :	浅居 孝彦				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	前期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

本講義は、総合社会学部・社会マスメディア系専攻の教員等がオムニバス形式で社会学やマスメディア論といった各教員の専門領域から「現代の社会」を論じます。この授業を通じて、社会学やマスメディア論といった視点から現代の社会の「とらえ方」を学ぶことを目的とします。

本講義は「オンデマンド型」（録画配信）により行います。

※この授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。各回の作成者は授業計画の内容に記載のとおりです。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

以下の3つを目標とします。

1. 社会学の視点から現代の社会における諸問題・課題をとらえ、考えることができる。
2. マスメディア論の視点から現代の社会における諸問題・課題をとらえ、考えることができる。
3. 社会学、マスメディア論双方の視点から、これからの社会のあり方を考えることができる。

■ 成績評価方法および基準

課題レポート（2回） 60%

ディスカッション（2回） 10%

学期末レポート（1回） 30%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

レポート課題の提出締切後に「レポート課題の要点と解説」を Google Classroom に掲載します。

■ 教科書

授業中に適時紹介します。

■ 参考文献

授業中に適時紹介します。

■ 関連科目

-

■ 授業評価アンケート実施方法

本学の規程に準拠して実施します。

■ 研究室・メールアドレス

asai_takahiko@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

質問等は随時対応します。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 現代における世俗化と宗教―「スカーフ」論争に着目して（安達 智史）（授業形式：講義および演習）

予習内容：今回扱うトピックに関して自己学習をする。

予習時間：60分

復習内容：シンキングタイムの考察をしたり、動画を見返すことで復習する。

復習時間：60分

概要 本講義では、「現代社会における世俗化と宗教の関係」をめぐる理解を深めることを目的としている。そのため、「文明の衝突」「イスラモフォビア」「スカーフ論争」といった、今日の西洋社会におけるイスラームをめぐる問題について議論をおこなう。具体的には、女性たち自身の「声」に基づきつつ、女性ムスリム（＝イスラーム教徒）のスカーフ着用／未着用の意味について解説する。そこから、現代西洋社会のムスリムの若者が、世俗的空間にいかに対応しているのかについて論じる。以上を通じて、「ポスト世俗化」と呼ばれる、グローバル社会化に求められる新たな社会認識についての理解を促す。

セクション1 世俗化、宗教、スカーフ論争

セクション概要 本講義全体のテーマである「世俗化」と「宗教」をめぐる問題について理解を共有する。具体的には、ムスリム女性が着用するヒジャブをめぐる問題（＝スカーフ論争）に焦点を合わせながら、近代西洋社会においてムスリムがいかに対応されているのかを説明する。

セクション2 多文化社会イギリスとムスリム

セクション概要 本講義の対象となる、「多文化社会」イギリスの現状について説明する。

セクション3 ヒジャブ「着用」の意味

セクション概要 ムスリム女性のスカーフ着用が、彼女たち自身から、どのように説明されているのかを議論する。それにより、西洋近代とイスラームが、いかに両立しているのかを解説する。

セクション4 ヒジャブ「未着用」の意味

セクション概要 スカーフを着用しないことが、イスラームのなかでいかに正当化されているのかを説明する。そこから全体をまとめ、「ポスト世俗化」という新たな認識枠組みの重要性を解説する。

第2回 移民から見る現代社会（岡野 英之）（授業形式：講義および演習）

予習内容：今回扱うトピックに関して自己学習をする。

予習時間：60分

復習内容：シンキングタイムの考察をしたり、動画を見返すことで復習する。

復習時間：60分

概要 日本における「移民問題」として外国人労働者を考える。

セクション1 国際的には「移民」はどのように定義されているのか。

セクション概要 移民とは、どのような人々のことか。国際的な定義を考える。

セクション2 日本ではどのような外国人が暮らしているのか。

セクション概要 日本ではどのような外国人が暮らしているのか。

セクション3 日本はどのように労働力を確保しているのか。「技術実習」「留学」、日系ブラジル人

セクション概要 日本はどのように労働力を確保しているのか。

第3回 「アニメ聖地巡礼」「ゾンビ」を研究し、そこから得られた成果を活かして「VRコンテンツ」を作成している件（岡本 健）（授業形式：講義および演習）

予習内容：今回扱うトピックに関して自己学習をする。

予習時間：60分

復習内容：シンキングタイムの考察をしたり、動画を見返すことで復習する。

復習時間：60分

概要 自分が興味のある現代文化や現代社会における現象を学術的に研究することの面白さと、そこから得られた成果を応用して実践する例を示します。

セクション1 コンテンツツーリズム研究（アニメ聖地巡礼）

セクション概要 社会現象を調査する方法やそこから得られる成果を学ぶ

セクション2 メディア・コンテンツ研究（ゾンビ）

セクション概要 メディア・コンテンツを分析する方法やそこから得られる成果を学ぶ

セクション3 コンテンツを創って社会に作用する実学

セクション概要 研究した成果を実践に活かす試みから「実学」について学ぶ

第4回 国際ジャーナリズムに近づく（金井 啓子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：今回扱うトピックに関して自己学習をする。

予習時間：60分

復習内容：シンキングタイムの考察をしたり、動画を見返すことで復習する。

復習時間：60分

概要 ジャーナリズムとは何なのでしょう。なぜ必要なのでしょう。情報はどうすればより効果的に伝わるのでしょうか。

外資系の通信社で記者・エディター・ニュース翻訳者を務めた経験を持つ担当者がお話をします。

セクション1 常識を疑う

セクション概要 「私の常識=皆の常識」なのか？自分が当たり前だと思っていることが、日本国内や海外でどのくらい通用するのか、実例を挙げながら確認していきます。

セクション2 効果的に情報発信するには

セクション概要 どうすれば自分が発信したい情報を受け取ってほしい相手に受信してもらえるのか？情報発信をするにあたって知っておくべきことを、ジャーナリズムを参考にしながら学んでいきます。

セクション3 海外に目を向ける

セクション概要 海外に興味を持ったり外国語を学ぶと、どのようなメリットがあるのかということ、実生活に結び付けながら考えていきます。

第5回 家族の社会学（齋藤 暁子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：今回扱うトピックに関して自己学習をする。

予習時間：60分

復習内容：シンキングタイムの考察をしたり、動画を見返すことで復習する。

復習時間：60分

概要 私たちが当たり前と思っている家族について社会学の視点から考えてみる

セクション1 家族とは何か

セクション概要 家族を定義してみよう

セクション2 現代の家族

セクション概要 統計データや先行研究から現代の家族の特徴をとらえる

セクション3 家族へのアプローチ

セクション概要 現代家族のとらえ方を家族社会学の議論から紹介する

第6回 放送について（杉浦 徹）（授業形式：講義および演習）

予習内容：今回扱うトピックに関して自己学習をする。

予習時間：60分

復習内容：シンキングタイムの考察をしたり、動画を見返すことで復習する。

復習時間：60分

概要 放送（テレビ・ラジオ）に関する基礎的な知識を学ぶ

セクション1 日本のテレビの歴史

セクション概要 技術的な発展を中心としたテレビの歴史

セクション2 放送に関わる法律と放送の種類

セクション概要 法的なルールと放送の種類について

セクション3 番組表と視聴率

セクション概要 放送局の番組編成について

セクション4 放送局のビジネス

セクション概要 放送局の収益方法について

セクション5 放送の役割と気をつけるべきこと

セクション概要 放送の役割とコンプライアンス等について

第7回 環境をアートで考える（鈴木 光祐）（授業形式：講義および演習）

予習内容：今回扱うトピックに関して自己学習をする。

予習時間：60分

復習内容：シンキングタイムの考察をしたり、動画を見返すことで復習する。

復習時間：60分

概要 人類の活動が地球の環境を後戻りできないほど攪乱している状況を学び、その中で生きるということについて考える。

セクション1 環境の不可逆性

セクション概要 地球の環境がももにはもどらないことを考える

セクション2 人新世を表現する

セクション概要 人新世を考えるための表現

セクション3 未来のあり方を考える

セクション概要 攪乱された環境の中でモノのあり方を考える

第8回 自由な社会に生きる難しさ（鈴木 伸太郎）（授業形式：講義および演習）

予習内容：今回扱うトピックに関して自己学習をする。

予習時間：60分

復習内容：シンキングタイムの考察をしたり、動画を見返すことで復習する。

復習時間：60分

概要 自由な社会に生きていても、それだけで幸せになるわけではない。むしろ、自由な社会でこそ、それぞれの人が自分の人

生に期待したことが裏切られる機会が増えると言える。私たちはそのような現代風な苦悩について理解を深め、期待が時々裏切られることについて、一種の免疫を手に入れて、上手に対処する術を身につけることが大切である。

セクション1 選択の自由の拡大

セクション概要 誰もが自由を望む。しかし、自由には悩みがつきまとう。例えば1日自由な時間を過ごしていいとなったら、何をしよう？個人差はあるが、自由な1日の始まりに際して、さんざん迷ってしまうような人もいる。なぜかと言えば、1つのことをしたら、他のことはできない。楽しいと思ってどこかに出かけても、実は期待通したほど楽しくなかったということもある。そうしたら、1日を無駄にしてしまったことを悔やむ気持ちになる。そういうことにならないようにするにはどうしたらいいのだろうか？休日の過ごし方について言えることは、買い物についても同じように言える。基本的には職業や結婚相手のような重大な選択についても同じように言える。思い通りに選択しても、自分の予想と違うとか、期待通りにならない、などのことはいくらでも起こりうる。「失敗してしまったら困る」と思う分だけ、迷いや悩みが生ずる。自由な社会に生きるには、自由な選択を上手に生かしていく知恵が必要である。

セクション2 期待と現実のギャップ

セクション概要 何かを買ったときに、それが期待通りのものではなかったという経験は誰にでもある。残念だし、お金が無駄になったと思うと辛い気持ちにもなる。どんな選択に際しても、誰もが期待を抱くが、期待通りにならない場合の辛さは、場合によって異なる。期待が当然と思われる度合いに応じて、裏切られるときに苦しくなったり、ネガティブな気持ちに陥ったりする。スマホを買ったら不良品だったという場合などは、怒りが湧いてくる。当然合格すると思って受けた大学が不合格になったときには、大変なショックに見舞われるかもしれない。同じ不合格でも、「記念受験」のつもりなら、期待があまり高くないので、あまり落胆せずに冷静に受け止められるだろう。健康で長生きすることが当然と思っていたのに、若くして健康を害してしまった場合も、健康を損ねた事実にもまして、人生に対する当然の期待が裏切られたことによって、深い悲しみに襲われるだろう。このような怒りや落ち込みや悲しみは、現代社会特有の苦悩である。人生が順調に進んでいると、人生に対する期待が高まるので、それだけ期待通りにいかない場合の落胆が大きくなる。このようなメカニズムをよく認識しているかどうかによって、落胆や苦悩に対する耐性が違ってくる。豊かで自由な社会の中で苦悩を抱えるというのは矛盾するようだが、決してそうではない。豊かで自由であることに伴う苦悩があることをよく認識する必要がある。

セクション3 豊かな社会を生きるスキル

セクション概要 自分に納得の行く選択をするために大事なことは、自分の抱く気持ちにできるだけ敏感になることである。理詰めで考えただけでは、決断は難しい。自分の気持ちが決断の後押しをしてくれる。現代では、理詰めを考えることが重視されてしまっているため、「自分は率直に言って何が好きか」ということがすぐに分からなくなっている人も少なくない。自分が好きかどうか、自分に必要なものかそうでないかが曖昧なまま、いろいろな雑多なものを部屋に溜め込んでいる人も多い。豊かな社会に生きる私たちは、基本的な期待を抱いて人生に臨んでいる。その期待が裏切られたときに感じる苦しさについても、現代特有の苦悩の現れとして冷静に受け止める必要がある。そして、自らの期待の高さが苦悩を生んだということを認識する必要がある。他の人とそのことについて話し合ったりすることは、自分の狭い現実の解釈を乗り越えるきっかけにもなるだろう。

第9回 差別が差別を生むメカニズム (辻 電平) (授業形式：講義および演習)

予習内容：今回扱うトピックに関して自己学習をする。

予習時間：60分

復習内容：シンキングタイムの考察をしたり、動画を見返すことで復習する。

復習時間：60分

概要 統計情報に基づいて、特定の人々に不利な扱いがなされることを「統計的差別」という。たとえば、男女別の就業割合の統計を見ると、女性の就業割合は年齢層を問わず男性より低い。そこで、労働者の採用や昇進において、男性を優遇しようとするのは、企業としては合理的な選択かもしれないが、差別でもある。では、このような差別はどのようにして維持されるのだろうか？そのメカニズムを簡単なモデルを構築して考える。そして、モデルから考えられる差別からの出口とは？

セクション1 統計的差別とは何か。労働市場における統計的差別の現状

セクション概要 統計的差別について、その定義と解説を行う。また、例として、労働市場における男女の扱いの違いについて現状を解説する。

セクション2 採用における男女差別のメカニズムを考えるモデル

セクション概要 採用の統計的差別に関するモデルについて説明し、差別が差別を生むメカニズムについて理解する。

セクション3 モデルから考える採用の男女差別からの出口

セクション概要 作成したモデルを使って、どのようにすれば統計的差別が解消できるかを考えていく。

第10回 倫理から現代の社会をみる (西尾 雄志) (授業形式：講義および演習)

予習内容：今回扱うトピックに関して自己学習をする。

予習時間：60分

復習内容：シンキングタイムの考察をしたり、動画を見返すことで復習する。

復習時間：60分

概要 現代社会の特徴のひとつは、グローバル化です。このグローバル社会における倫理のあり方を、公正さをめぐるサルと人間、人間の持つ利他性やボランティアを通して検討します。それにあたり、ケースメソッドの手法を交えて考えるので、みなさんも実際に考えてみてください。

セクション1 公正さをめぐるサルと人間

セクション概要 公正とはなにか？公正さは人間界のみにあるものか？サルは公正さを求めるのか、動物行動学の観察も踏まえて考える。

セクション2 人間は利己的？ 利他的？

セクション概要 人間は利己的か、それとも利他的か？ 人間はどのようなときに利他的に振る舞い、どのようなときに利己的に振る舞うのか。そしてその違いはなにか、進化論的な視点も交えて考える。

セクション3 グローバル時代の倫理のあり方

セクション概要 グローバル時代の倫理のあり方を、愛と仲間とボランティアを通して考える。

第11回 現代の就職・採用試験事情（西口 善則）（授業形式：講義および演習）

予習内容：今回扱うトピックに関して自己学習をする。

予習時間：60分

復習内容：シンキングタイムの考察をしたり、動画を見返すことで復習する。

復習時間：60分

概要 大学卒業と同時に多くの人は就職し、社会人となる。そのために行わなければならないのが就職活動である。近年の就職戦線は年々早期化し、その内容も複雑で様々な選考・試験が導入されている。この就職活動を突破しなければ志望企業には就職できない。そこで、この回ではこの就職戦線の実態を紹介し、効果的な就職活動を行うためには何が必要か。何をすべきかをアドバイス・指導していく。

セクション1 近年の就職戦線

セクション概要 就職戦線の全体像を把握する。①近年の就職状況はどうなっているのか。②就職活動の時期はいつか。③どんな流れになっているのか。

セクション2 採用試験の種類と傾向

セクション概要 採用試験において各社が導入している各種選考・試験を把握する。①エントリーの仕方や書類選考について。②筆記試験の種類とその傾向について。③面接試験の種類とその傾向について。

セクション3 就職活動に向けてすべきこと

セクション概要 就職活動に向けてこれから何をすべきか。各種選考・試験に向けてこれから準備・対策すべきこと、心構えなどを理解する。

第12回 新聞から世の中を見る（二木 一夫）（授業形式：講義および演習）

予習内容：今回扱うトピックに関して自己学習をする。

予習時間：60分

復習内容：シンキングタイムの考察をしたり、動画を見返すことで復習する。

復習時間：60分

概要 世の中に関心を持つための新聞の読み方を知る。

セクション1 その日一番のニュース

セクション概要 手っ取り早く社会を知るには、新聞の顔の「社説」と「1面コラム」。

セクション2 時代を俯瞰する「鳥の目」

セクション概要 平成がどんな時代かを考えるのに役立つのは特集記事。

セクション3 問題を深掘りする「虫の目」

セクション概要 隠れた問題を掘り起こし読者に知らせるのも新聞の役割。

第13回 有事対応から（松本 行真）（授業形式：講義および演習）

予習内容：今回扱うトピックに関して自己学習をする。

予習時間：60分

復習内容：シンキングタイムの考察をしたり、動画を見返すことで復習する。

復習時間：60分

概要 2011年3月の東日本大震災を事例に、災害等の有事において地域社会がどう対応してきたかをいくつかの視点で考えます。

セクション1 震災前後のいわき市薄磯区

セクション概要 津波被災があった福島県いわき市薄磯区の震災前後の状況を確認します。

セクション2 「まち」のコンセプトを決める

セクション概要 本セクションでは薄磯区の復興まちづくりの過程でどのような活動や問題が生じたのか。区会・復興協議委員会という住民主体の組織への参与観察を通じて確認します。

セクション3 「まち」をつくる

セクション概要 本セクションでは薄磯区のハードの復興がある程度定まった（2015年度）後に生じた諸問題を確認します。

第14回 ことばのデザイン（山本 良二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：今回扱うトピックに関して自己学習をする。

予習時間：60分

復習内容：シンキングタイムの考察をしたり、動画を見返すことで復習する。

復習時間：60分

概要 文章をうまく書ける人、わかりやすく話せる人、そういう人たちは「ことばのデザイン」がじょうずなのだと思えます。この授業では、「キャッチフレーズ」を例にしてことばのデザインについての基本を学びます。

セクション1 ことばをデザインするとは？

セクション概要 その必要性和重要性について

セクション2 その2つのプロセス

セクション概要 「何」を、「どのように」言うか？

セクション3 実例紹介とまとめ

セクション概要 実例をもとに考える

第15回 現代社会における自然と怪奇現象（パトリック・ソフィア・リカフィカ）（授業形式：講義および演習）

予習内容：今回扱うトピックに関して自己学習をする。

予習時間：60分

復習内容：シンキングタイムの考察をしたり、動画を見返すことで復習する。

復習時間：60分

概要 我々人間とその周囲に存在する自然・怪奇現象を理解する思考を身につける講義である。現代国際社会において不可欠である多様な視点、批判的思考、科学的知識、人類・地球・宇宙の関係、人間と自然に関連する知識など高度な能力を身につける。

セクション1 科学の世界

セクション概要 基礎科学をはじめ自然における様々な現象・事象を科学の観点から疑問視し、常識と科学的知識をもって積極的に理解を得る。

セクション2 批判的に考える現代人

セクション概要 科学の知識を生かし疑似科学と非科学も考え、様々な現象と批判的な思考を磨くようにする。

セクション3 人類の視野を拡大

セクション概要 天文学について学習し、人間を含む自然や未知の宇宙の意味を深め、幅広い知識を身につける。

-

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 :	環境科学【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Scientific Study of Environment				
担当者 :	平井 研				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	前期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

この授業コンテンツは農学部教員6名により作成されたものです。海洋、河川、森林、草原などの自然環境やそこにくらす生き物の特徴について解説するとともに、農学部独自の視点を加え、漁業、農業、林業など人類が自らの必要物獲得のために環境を利用してきた活動をも視野にいれています。講義は基礎編、水圏（海洋や河川）の環境、森林と環境、農業・牧畜と環境、環境と生態リスクの5つのパートに分かれ、それぞれの分野を専門とする教員が担当します。この授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。各回の作成者は授業計画の内容に記載のとおりです。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

このコンテンツを学習することによって、私たちがとりまく身近な自然環境や生態系についての基礎知識を得るとともに、農業、漁業、林業など人類が自然環境を利用してきた形態について理解することができます。この科目の修得は、本学が定めるディプロマポリシー 2の達成に貢献しています。

■ 成績評価方法および基準

小レポート2回（30%×2回） 60%

期末レポート 40%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

レポートの解説等はGoogle classroomを利用して行う。

■ 教科書

指定しない

■ 参考文献

授業中に指示する

■ 関連科目

-

■ 授業評価アンケート実施方法

本学の規定に準拠して実施します。

■ 研究室・メールアドレス

前期担当・田端 敬三 0825N6@kindai.ac.jp 、 平井 研 210764@nara.kindai.ac.jp

後期担当・田端 敬三 0825N6@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

すべてメールでやり取りを行う。（オフィスアワーは設定しない）

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 基礎編①環境科学とは何か？地球環境とはどのようなものか？（江口充担当）（授業形式：講義および演習）

予習内容：上記テーマに関して関心のあるところを調べておく。

予習時間：60分

復習内容：授業内容について復習しておく。

復習時間：60分

概要 環境科学では環境と人間の関り方を学ぶ。ニュース等で最近よく聞く地球温暖化（詳細は第6回）、酸性雨、オゾン層破壊などの環境問題について触れながら環境科学とはどのような学問分野であるのかを紹介する。併せて環境科学に通底する「環境と倫理」という考え方についての理解を深める。

セクション1 イースター島の教訓：環境と人間の関り

セクション概要 イースター島はかつて緑豊かな島であったが数百年前の人間の入植とともに森林破壊が進み現在に到っても回復していない。環境科学は人間活動が自然環境（生態系）に甚大な影響を与えていることを、我々が認識し始めるところからスタートする。

セクション2 自然の攪乱と人為的干渉

セクション概要 地震、津波、隕石の衝突などの自然の攪乱は地球環境（生態系）が長い年月の間に経験してきたものであり、環境もそれに対応してきている。これを環境（生態系）に対する自然の攪乱と呼ぶ。一方、オゾンホール形成、酸性雨、環境ホルモン（内分泌攪乱物質）などの環境問題は人間活動により最近発生してきた問題である。これを環境（生態系）に対する人為的干渉と呼ぶ。地球の温暖化は長い地球の歴史の中で考えると自然の攪乱ともいえるが、近年、人間活動の活発化により加速されている地球の温暖化は人為的干渉ともいえる。東日本大震災の津波は自然の攪乱であるが、同時に発生した福島原子力発電所の被害と放射能汚染は人為的干渉と言える。この自然の攪乱と人為的干渉を理解しておくことが環境科学を学ぶ上で重要になる。

セクション3 環境と倫理

セクション概要 我々は地球が有限であることを認識しなければいけない。さらに、自分たちの世代だけではなく、未来世代に対して現代世代は責任があること、さらには人間だけではなく環境に存在するありとあらゆる生物種を保護する責務があることを理解する。

第2回 基礎編②生物多様性とは何か（渡邊俊担当）（授業形式：講義および演習）

予習内容：上記テーマに関して関心のあるところを調べておく。

予習時間：60分

復習内容：授業内容について復習しておく。

復習時間：60分

概要 生物界の共通性と多様性の存在は、共通祖先の性質に由来し、また、それは膨大な時間をかけて進行した生物進化と地球環境の歴史の産物であることを理解する。さらには生物多様性の保全の意義を考える。

セクション1 生物界の多様性と共通性

セクション概要 生物は多種多様である。しかし、姿かたちの違いとは裏腹に共通な性質も備えている。まずは、生物界の多様性と共通性を確認する。

セクション2 生物多様性の歴史

セクション概要 生物界の共通性と多様性の存在は、共通祖先の性質に由来し、さらには膨大な時間をかけて進行した生物進化と地球環境の歴史の産物であることを理解する。

セクション3 生物多様性保全の思想的歴史

セクション概要 生物多様性の保全への取り組みを平易に解説することで、このような動きの背景にある基本的な考え方を紹介する。

第3回 基礎編③人類の環境利用の歴史：食料獲得の観点から（鶴田格担当）（授業形式：講義および演習）

予習内容：上記テーマに関して関心のあるところを調べておく。

予習時間：60分

復習内容：授業内容について復習しておく。

復習時間：60分

概要 過去1万年以上の歴史にわたって人類がいかに食料を獲得してきたかという観点から、環境利用の歴史を振り返る。

セクション1 新石器革命以前

セクション概要 新石器革命以前の人類が海、山、森でどのように食料を獲得してきたかを考察する。とくに日本の縄文時代の事例を中心にとりあげて検討する。

セクション2 農業にみる環境利用

セクション概要 新石器革命以降の農業の発展の歴史とその環境利用の特徴について焼畑農業などに焦点を当てながら解説する。

セクション3 現代的な農業・漁業の展開と環境負荷

セクション概要 産業革命以降の食料生産の工業化の歴史を振り返り、現代的な農業や水産業が与える環境負荷について考える。各産業の個別の変化とともに、20世紀以降のグローバルな食料流通の展開をも視野に入れて検討する。

第4回 水圏（海洋・河川・湖沼）の環境①水圏生態系と環境問題（江口充担当）（授業形式：講義および演習）

予習内容：上記テーマに関して関心のあるところを調べておく。

予習時間：60分

復習内容：授業内容について復習しておく。

復習時間：60分

概要 "水圏環境（海洋、河川、湖沼）における水質形成や物質循環のメカニズムを理解し、海洋における環境問題（沿岸域の有機汚濁、海洋プラスチック問題など）への理解を深める。"

セクション1 水圏生態系における物質循環

セクション概要 水圏環境での物質循環プロセスと微生物の役割について紹介する。

セクション2 人間生活と沿岸域の環境問題

セクション概要 様々な人間の生産活動に起因する水圏、特に沿岸域の水質悪化のメカニズムについて理解を深める。

セクション3 海とSDGs

セクション概要 完全養殖とSDGsの関係について紹介し、海洋プラスチック問題や地球のきれいな水に関する問題点をSDGsと関連付けて紹介する。

第5回 水圏（海洋・河川・湖沼）の環境②河川・海洋環境とウナギ（渡邊俊担当）（授業形式：講義および演習）

予習内容：上記テーマに関して関心のあるところを調べておく。

予習時間：60分

復習内容：授業内容について復習しておく。

復習時間：60分

概要 海と川は水圏としてまとめられる。しかし、塩分が違うこれらの環境を魚が行き来するには、浸透圧調節の壁がある。このような壁を乗り越えてでも「なぜ魚は海と川を回遊するか？」をニホンウナギの海と川の大回遊を題材として考える。

セクション1 陸水環境

セクション概要 湖沼と河川の環境を理解し、陸水環境の多様性を認識する。

セクション2 回遊

セクション概要 多くの水圏生物は成長段階や環境変化に応じて生息域を移す。この生息域間の移動が特定の季節や生活史のある段階に対応して定期的にかかる場合、回遊と呼ぶ。この回遊の定義と回遊の多様性を理解する。

セクション3 ニホンウナギの回遊

セクション概要 ニホンウナギの海と川との大回遊を説明し、本種の保全についても考える。

第6回 森林と環境①気候変動と森林（松本光朗担当）（授業形式：講義および演習）

予習内容：上記テーマに関して関心のあるところを調べておく。

予習時間：60分

復習内容：授業内容について復習しておく。

復習時間：60分

概要 森林は大気中の二酸化炭素濃度を調整し気候変動を緩和する機能を持つ。しかし、実態としては熱帯林の破壊などにより排出源にもなっている。このメカニズムと森林管理の実態、対策について解説する。

セクション1 気候変動の現状と将来

セクション概要 気候変動のメカニズムと森林の関係性を解説する。

セクション2 気候変動と熱帯林の破壊

セクション概要 熱帯林の破壊による二酸化炭素の排出について現状と対策を解説する。

セクション3 気候変動と国内の森林管理

セクション概要 国内での森林管理を通じた対策について解説する。

第7回 森林と環境②森林の多面的機能と森林政策（松本光朗担当）（授業形式：講義および演習）

予習内容：上記テーマに関して関心のあるところを調べておく。

予習時間：60分

復習内容：授業内容について復習しておく。

復習時間：60分

概要 森林は国土保全、生物多様性保全、気候変動緩和といった多面的機能を持ち、多面的機能の発揮を目的とした森林管理が行われている。その概要を解説するとともに、具体的な森林管理や政策を紹介する。

セクション1 世界と日本の森林の現状

セクション概要 森林の現状を世界と日本を比較しながら解説する。

セクション2 森林の多面的機能

セクション概要 森林の多面的機能について概説する。

セクション3 多面的機能発揮のための政策

セクション概要 森林の多面的機能の発揮のために実施されている森林政策について紹介する。

第8回 森林と環境③森林保全のための新たな取り組み（松本光朗担当）（授業形式：講義および演習）

予習内容：上記テーマに関して関心のあるところを調べておく。

予習時間：60分

復習内容：授業内容について復習しておく。

復習時間：60分

概要 環境保全を含めた森林の多面的機能の発揮のため、新たに行われ始めた森林管理の政策や取り組みを紹介する。

セクション1 森林経営管理制度と森林環境税

セクション概要 森林管理を進めるために導入された森林経営管理制度とそれを支える森林環境税・譲与税について解説する。

セクション2 森林認証と炭素クレジット

セクション概要 適切な森林管理を認証する仕組みである森林認証と気候変動対策に繋がる炭素クレジット制度を解説する。

セクション3 森林の新しい利用と森林環境教育

セクション概要 森林の新しい角度から活用する方法と国民の森林の理解を促す森林環境教育について解説する。

第9回 農業・牧畜と環境①農地における土壌生態系（飯嶋盛雄担当）（授業形式：講義および演習）

予習内容：上記テーマに関して関心のあるところを調べておく。

予習時間：60分

復習内容：授業内容について復習しておく。

復習時間：60分

概要 農地は、作物生育が良好になるように人為的に改変された土壌環境をもつ。農地土壌の生態系、生物多様性、物質循環について概説するとともに、過剰施肥による環境への影響を考察する。

セクション1 農地土壌の特徴

セクション概要 農地における土壌生態系を、とくに根圏と非根圏環境の違いにより理解する。

セクション2 生物多様性と物質循環

セクション概要 農地における土壌生物の多様性と物質循環を理解する。

セクション3 土壌をめぐる環境問題

セクション概要 過剰施肥による環境への影響について、作物の栽培事例を基に考察する。

第10回 農業・牧畜と環境②農地における環境ストレス（飯嶋盛雄担当）（授業形式：講義および演習）

予習内容：上記テーマに関して関心のあるところを調べておく。

予習時間：60分

復習内容：授業内容について復習しておく。

復習時間：60分

概要 土壌環境が不適になると作物の生産性が低下し、耕作が放棄されることがある。代表的な土壌環境ストレスとして、塩類集積、土壌侵食、洪水と干ばつ被害を取り上げ、それらの特徴と対策を概説する。

セクション1 塩類集積

セクション概要 かんがいによる塩類集積のメカニズムとその対策を理解する。

セクション2 土壌侵食

セクション概要 土壌侵食の農業へのインパクトとその対策を概説する。

セクション3 洪水と干ばつ

セクション概要 農地における洪水と干ばつ被害と、それらへの対策を概説する。

第11回 農業・牧畜と環境③農地開発と環境保全（飯嶋盛雄担当）（授業形式：講義および演習）

予習内容：上記テーマに関して関心のあるところを調べておく。

予習時間：60分

復習内容：授業内容について復習しておく。

復習時間：60分

概要 気候変動が進行しつつある現代の農地開発を、農地環境の持続性と水環境保全の視点から概説する。さらに、今後の新たな農地開発を、豊かさの追求と倫理の視点から考察する。

セクション1 農地の持続性

セクション概要 農地の持続性を概説するとともに、農地の継続的な開発が必然であったことを理解する。

セクション2 気候変動と水環境

セクション概要 気候変動下における氾濫原の農地開発を、とくに水環境変動の視点から概説する。

セクション3 農地開発と保全

セクション概要 農地開発と環境保全に関する今後の課題を考察する。

第12回 農業・牧畜と環境④草原の生態系と牧畜（鶴田格担当）（授業形式：講義および演習）

予習内容：上記テーマに関して関心のあるところを調べておく。

予習時間：60分

復習内容：授業内容について復習しておく。

復習時間：60分

概要 世界最大の生態系の一つである草原を、人類は狩猟や採集そして牧畜のために利用してきた。ここでは、牧畜という生活様式に焦点をあてながら草原利用の過去、現在、将来について検討する。

セクション1 草原の生態系その利用

セクション概要 草原の生態系の特質と草原固有の生物、さらに人為的な介入による草原の維持について考察する。

セクション2 牧畜という生活様式

セクション概要 世界の乾燥地・半乾燥地における牧畜民の生活様式について解説する。

セクション3 現代的な畜産とその環境負荷

セクション概要 現代的な畜産が与える環境負荷と、それを減らすために放牧への回帰が始まっている事実について解説する。

第13回 環境と生態リスク①化学物質と環境汚染（早坂大亮担当）（授業形式：講義および演習）

予習内容：上記テーマに関して関心のあるところを調べておく。

予習時間：60分

復習内容：授業内容について復習しておく。

復習時間：60分

概要 化学物質は我々にさまざまな恩恵をもたらすが、同時に環境負荷の主要因でもある。ここでは、化学物質とかしこく付き合っていく上で重要な「安全・安心・リスク」の3つの概念について解説する。

セクション1 環境問題における化学物質

セクション概要 環境問題における化学物質の基本的事項について概説する。

セクション2 安全・安心・リスクとは？

セクション概要 環境リスクを考える際に求められる視点と各種用語を解説する。

セクション3 リスクコミュニケーションとNIMBY

セクション概要 合理的選択としてのリスクコミュニケーションの重要性とその難しさについて、NIMBY (Not In My BackYard) 問題の事例を踏まえながら解説する。

第14回 環境と生態リスク②環境アセスメント（早坂大亮担当）（授業形式：講義および演習）

予習内容：上記テーマに関して関心のあるところを調べておく。

予習時間：60分

復習内容：授業内容について復習しておく。

復習時間：60分

概要 環境における化学物質のリスクを考える場合、環境毒性学の理解が不可欠である。ここでは、環境毒性学の成り立ちと現状について、事例を交えながら解説する。

セクション1 環境毒性学と公害

セクション概要 環境毒性学が生まれた背景について、公害問題とからめて解説する。

セクション2 生物濃縮・残留性物質

セクション概要 生物濃縮や残留性、高毒性として有名な化学物質のうち、DDT、PCB、ダイオキシン類を事例に、歴史的な背景と生態影響（発ガン性、環境ホルモン作用など）について解説する。

セクション3 POPsへの対応と生活水にひそむリスク

セクション概要 POPs（難分解性有機汚染物質）の定義と各種対策を説明するほか、身近なトピックとして生活水（生活排水・飲料水）の環境リスク問題を解説する。

第15回 環境と生態リスク③外来生物と生物多様性（早坂大亮担当）（授業形式：講義および演習）

予習内容：上記テーマに関して関心のあるところを調べておく。

予習時間：60分

復習内容：授業内容について復習しておく。

復習時間：60分

概要 化学物質以外の環境負荷要因として「外来生物問題」がある。そして、実は化学物質と外来生物は同じ土俵にあるものである。このなぞについて、とくに外来生物の生態リスクに主眼を置いて、事例を交えながら解説する。

セクション1 化学物質と外来生物の共通性

セクション概要 生物多様性国家戦略からみた、外来生物（生態）と化学物質（環境）リスクの共通性について解説するとともに、外来生物の定義や特徴を学ぶ。

セクション2 外来生物の生態学的攪乱

セクション概要 外来生物の生態学的攪乱の実態とその対策について、事例を交えながら解説する。

セクション3 外来生物とのかしこい付き合い方

セクション概要 外来生物法を通して考える、外来生物とのかしこい付き合い方について解説する。

-

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 :	地域と環境の地理学【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Local and Environmental Geography				
担当者 :	戸井田 克己				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	前期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

この授業は、法学部、経済学部、経営学部、文芸学部、総合社会学部、国際学部の共通教養科目です。この科目では、環境、すなわち自然環境（地形、気候など）や人文環境（経済、産業、文化、歴史、観光、都市など）との関連を視点にして、日本や世界の諸地域、諸問題について学びます。

この授業は、3人の授業者がオムニバス形式で行います。第1回～第6回は「文化地理」をメインにして戸井田が、第7回～第9回は「経済地理」「行動地理」をメインにして片岡が、第10回～第15回は「都市地理」をメインにして石原が講義します。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講者はこの科目を修得することによって、1) 文化地理学、経済地理学、行動地理学、都市地理学の初歩を学ぶとともに、2) 地理学の重要概念である「地域」と「環境」というものへの理解を深めます。そして、3) 現代日本および現代世界の諸問題を地理学的な視点から考察できる力の基礎を養います。

この科目の修得は、本学の定めるディプロマポリシー 2 の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

レポート課題等 100%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

課題に関する提出物の総評を授業運営ツールでの掲示によって行います。

■ 教科書

特になし。

■ 参考文献

特になし。

■ 関連科目

特になし。

■ 授業評価アンケート実施方法

本学の規程に準拠します。

■ 研究室・メールアドレス

戸井田 (toida@socio.kindai.ac.jp)

石原 (ishihara@socio.kindai.ac.jp)

片岡 (kataokah@kindai.ac.jp)

■ オフィスアワー

戸井田（前期：水曜・3限、後期：水曜・2限）

石原（月曜・2限）

片岡（前期：金曜5限&後期：水曜3限。（諸事由により多々変更あり！！随時B館の掲示板あるいは研究室ドアの掲示物で確認すること！）

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 日本の環境（授業形式：講義および演習）

予習内容：概要と各セクションについて

予習時間：30分

復習内容：今回の授業内容について

復習時間：30分

概要 日本が位置する地域と環境について学ぶ。まず日本の国土の位置と広がりを確認してから、隣国との領土問題について押さえる。また、日本列島を取り巻く潮の流れ（海流）に着目して、海洋国家としての日本の姿についてとらえていく。

セクション1 位置と広がり

セクション概要 日本は東経135度を標準時子午線とし、東西約2時間の時間幅がある。首都東京は北緯約40度にあり、南北約3000kmの幅をもつ。領土は世界62位（約38万km²）だが、水域は世界6位の大きさがある。

セクション2 地域区分—西と東・表と裏

セクション概要 日本の諸地域を大きくくると、西日本と東日本、表日本と裏日本の区分のほか、周圈的な区分も可能である。日本をいくつかの観点から地域区分して、それぞれの地域性を考える。

セクション3 列島を取り巻く海流

セクション概要 島国日本には、沿岸を洗ういくつかの海流（暖流、寒流）がある。日本の風土や歴史は、それらの海流から大きな影響を受け育まれてきたものである。

第2回 日本人の主食・米（授業形式：講義および演習）

予習内容：概要と各セクションについて

予習時間：30分

復習内容：今回の授業内容について

復習時間：30分

概要 日本人の主食である米について学ぶ。日本語には米にかかわる多くの語彙があり、日本人との関係の深さを示している。米は、収穫量や栄養価の面で他の穀物にはない優れた性質があり、環境保全の面でも幅広い役割を果たしている。

セクション1 イネ—コメ—メシと日本人

セクション概要 日本語には米にまつわる呼称が多く、日本人の米との深いかかわりを示している。日本人の主食である米を、語彙の面から考察する。

セクション2 稲作の文化

セクション概要 米（水稻）は連作できるだけでなく、籾1粒当たりの収量が多く、たんぱく質にも富んでいる。これらのことが日本文化の基盤を形作る要因となってきた。

セクション3 稲作—もう一つの役割

セクション概要 稲作には、水循環を遅くし、土壌侵食を防ぐ環境保全機能がある。また、村社会や祭りを維持し、緑の美しい景観を保持する文化・社会保全の機能もある。

第3回 里山とともに生きる（授業形式：講義および演習）

予習内容：概要と各セクションについて

予習時間：30分

復習内容：今回の授業内容について

復習時間：30分

概要 日本人と里山の関係について学ぶ。「昔、おじいさんは山へ柴刈に」という昔話に定番の出だしは、日本人と里山のかかわりの深さを伝えている。里山は「人と自然が共生する場」であり、人は里山を利用することで、里山は人に利用されることで、ともに様々な恩恵を受けてきた。

セクション1 昔、おじいさんは山へ柴刈に

セクション概要 柴刈（シバカリ）とは燃料採取のことで、山で柴刈をしないとかつては炊事も暖もとれなかった。里山は燃料のほか、多くの資源取得の場であった。

セクション2 間伐の意義と役割

セクション概要 里山には間伐が必要不可欠である。ただ放置するだけの森林では、森の生態系が維持されず、ひいては川や海の漁場にも魚たちが集まってこない。

セクション3 森林の公益的機能

セクション概要 森林には水源涵養や土砂災害防止の機能がある。また、生物多様性を維持する場であり、地球温暖化防止にも寄与する。グリーンツーリズムにより、心身を保養する機能もある。

第4回 焼畑にみる知恵（授業形式：講義および演習）

予習内容：概要と各セクションについて

予習時間：30分

復習内容：今回の授業内容について

復習時間：30分

概要 焼畑（ヤキハタ）にみる先人の知恵について考える。焼畑の原型は地味の悪い熱帯地域にあり、そこで生きていくための知恵ある耕作の工夫である。焼畑は、同様に不利な環境下にある日本の山間部などでも行われてきたが、その方法や心得について学ぶ。

セクション1 焼畑の原型は熱帯

セクション概要 焼畑は樹木を焼いた後の灰を肥料とする農法で、土のやせた熱帯を起源とする。日本でも、同様に地味のやせた山間部などで行われてきた知恵ある農法の一つである。

セクション2 焼畑の方法

セクション概要 焼畑は4年を一単位とするものが多く、1年目に穀類、2年目にイモ類、3年目にマメ類といった具合に、年々作物を替えて輪作する。また、1年目の畑をアラコ、2年目をカーシなどと呼ぶ。

セクション3 焼畑の心得

セクション概要 秋に樹木を伐採し、乾燥させたのち、翌春に火入れする。延焼防止のためのホソケミチ（火退け道）の確保や、ヤリヤキ（槍焼き）などの手法を用いるとともに、呪術儀礼によって成功を願う。

セクション4 資料映像①の視聴

セクション概要 NHKビデオ・ニッポンの里山から、「野焼きでよみがえる大草原（熊本県阿蘇山）」を観る。野焼きで燃え残った灰を養分に草が育ち、それを餌に牛が飼育される。

第5回 牧畑にみる知恵（授業形式：講義および演習）

予習内容：概要と各セクションについて

予習時間：30分

復習内容：今回の授業内容について

復習時間：30分

概要 牧畑（マキハタ）にみる先人の知恵について考える。牧畑は近年まで日本海の島嶼部などにみられたが、現在では途絶えてしまった。しかし、その歴史的慣性は今日、牛肉の子牛産地として継承されている。また、ヨーロッパの畑作と類似点があり、その原型である三圃式農法を彷彿させる。

セクション1 牧畑の方法

セクション概要 牧畑は牧と畑を複合した農牧形態であり、牛馬の糞を肥料とする農法である。日本で最後まで残存した隠岐では、牧畑を4区画に分け、作物を輪転させて食料と役牛・役馬を取得した。

セクション2 牧畑のその後

セクション概要 隠岐の牧畑も昭和40年代には終了したが、隠岐はその後も子取り牛の飼育地として、全国の肥育農家に子牛を提供している。「神戸牛」「松阪牛」などのブランド牛も、隠岐生まれである。

セクション3 ヨーロッパ三圃式農法と牧畑

セクション概要 ヨーロッパ三圃式農法は、農耕と家畜飼育を組み合わせたものであり、牧畑に似ている。11世紀の三圃革命で人口が増え、ヨーロッパは十字軍の派遣を始めたほか、やがて大航海時代を迎える。

セクション4 資料映像②の視聴

セクション概要 NHKビデオ・ニッポンの里山から、「花咲く島の放牧地（島根県西ノ島町）」を観る。牛馬が草を食べることで美しい草原が保たれ、様々な生き物が共生している。

第6回 地名が語る環境と地域（授業形式：講義および演習）

予習内容：概要と各セクションについて

予習時間：30分

復習内容：今回の授業内容について

復習時間：30分

概要 地名と環境、地名と地域との関係について学ぶ。土地につけられた刻印である「地名」は、住人たちの了解のもとに、様々な語彙の中から生き残った文化遺産である。その場所がどういった性質を持つ土地であるかを示唆するが、中には現代人がすでに忘れてしまった、災害への警鐘のこもるものもある。

セクション1 地名と環境

セクション概要 地名には、その土地の自然環境や人文環境を反映したものが多い。大阪の道が「筋」と「通」からなり、京都の道が「通」からだけなるのも、両者の自然・人文環境の違いに基づいている。

セクション2 災害地名のいくつか

セクション概要 大阪の地名から「十三」「放出」「河内」など、全国の地名から「シマ」「クラ」「ヒラ」などを取り上げて、災害地名のいくつかについて考えてみる。

セクション3 地名からみる地域性

セクション概要 全国の「谷（タニ）地名」と「沢（サワ）地名」の分布から、地名にみる日本の地域性を考える。両者の漸移帯に「谷（ヤ）地名」が分布する理由についても検討する。

第7回 中心地を地理学する！（経済地理学）（授業形式：講義および演習）

予習内容：概要と各セクションについて

予習時間：30分

復習内容：今回の授業内容について

復習時間：30分

概要 わたしたちが普段行っている「買い物」という行為をとおして、都市（中心地）の立地について理解する。また、「財の到達範囲」や「高次財」・「低次財」をはじめとした中心地理論の基礎的概念や語句を学ぶ。

セクション1 あなたは即答できますか??

セクション概要 経済地理学における重要な基礎理論の一つである立地論とは何かを学ぶ。同時に、立地論の一つである中心地理論の基本的概念や重要語句についても学ぶ。

セクション2 おやつをどこまで買いに行こうかな?

セクション概要 わたしたちが何気なく行っている買い物という行為を振り返り、そこにある「距離」について、あらためてその存在を認識してもらうとともに、「財の到達範囲」、「高次財」・「低次財」をはじめとして、中心地理論の基本的概念や重要語句について学ぶ。

セクション3 さまざまな財を供給する中心地の最適な立地は?

セクション概要財の到達範囲は財の種類により違うため、中心地の立地も供給する財の種類により異なることを学ぶ。以上より、クリスタラーが著した「供給原理に基づく中心地システム」を理解する。

第8回 工業を地理学する！（経済地理学）（授業形式：講義および演習）

予習内容：概要と各セクションについて

予習時間：30分

復習内容：今回の授業内容について

復習時間：30分

概要 わたしたちの身の回りの工業製品について、それらが生産される場所を考えることにより、工業（工場）の立地について理解する。また、「立地三角形」や「原料指数」等、工業立地論の基本的概念や語句を学ぶ。

セクション1 ポテチはどこからやってくる??

セクション概要 わたしたちが普段食べるおやつ「ポテチ」という側面に着目し、ウェーバー工業立地論を理解する。あわせて、工業（工場）の立地に必要な要因等についても学ぶ。

セクション2 立地三角形とは??

セクション概要 ウェーバー工業立地論の第一段階に関する基本的概念について学ぶ。あわせて、「立地三角形」や「原料指数」といった概念を理解する。

セクション3 労働係数とは??集積のメリットとは??

セクション概要 ウェーバー工業立地論の第二・第三段階に関する基本的概念について学ぶ。加えて、立地条件による工業の分類も理解する。

第9回 生活行動を地理学する（授業形式：講義および演習）

予習内容：概要と各セクションについて

予習時間：30分

復習内容：今回の授業内容について

復習時間：30分

概要 わたしたちの毎日の行動を、行動地理学的な視点から捉え直し、生活活動時間・空間について理解する。また、観光やエスニシティ、ジェンダーをはじめとした事象についても行動地理学的観点から分析することにより、それらが契機となり生じる地域の課題を考察する。

セクション1 なぜ通勤自粛になったの? セクション概要 コロナ禍の中で行われた「通勤自粛」という事象を取り上げ、都市における人々の日常生活行動をあらためて考えると同時に、「行動地理学とは何か」について学ぶ。

セクション2 通勤はいつから始まったの? セクション概要 通勤という行為の始まりを理解すると同時に、「パス」や「プリズム」といった行動地理学に用いられる基本的概念や重要語句について学ぶ。あわせて、各人の生活活動空間を行動地理学的視点から分析する。

セクション3 行動地理学からわかること セクション概要 観光地における人々の行動、女性の生活活動空間、外国人労働者の生活活動空間を行動地理学的視点から理解し分析することにより、それら事象が契機隣生じる地域の課題について考察する。

第10回 SDGsと地球温暖化防止（授業形式：講義および演習）

予習内容：概要と各セクションについて

予習時間：30分

復習内容：今回の授業内容について

復習時間：30分

概要 2015年に国連で「持続可能な開発目標（SDGs）」が策定された。同年に「パリ協定」も採択されている。地球規模の問題である温暖化の現状を理解し、日本で行われている取組みを把握する。

セクション1 SDGsとは

セクション概要 「持続可能な開発目標（SDGs）」の概要を説明する

セクション2 地球温暖化とその影響

セクション概要 地球規模の問題として温暖化のメカニズムとその影響を説明する

セクション3 地球温暖化防止対策と課題

セクション概要 「パリ協定」と日本で取られている対策の現状を把握する。

第11回 大気環境の保全（授業形式：講義および演習）

予習内容：概要と各セクションについて

予習時間：30分

復習内容：今回の授業内容について

復習時間：30分

概要 日本の大気汚染の歴史的経過を地域環境の改善から確認した上で、近年、新たな課題となっているPM2.5について、気候との関係から東アジアでの対策が必要となっていることを理解する。

セクション1 公害の歴史

セクション概要 四大公害とそのうちの大気汚染公害として位置付けられる四日市ぜんそくを取り上げ説明する。

セクション2 大気汚染の対策と改善

セクション概要 工場への規制のみならず道路や自動車への規制等大気汚染対策の概観を解説する。

セクション3 PM2.5と東アジア

セクション概要 地域の対策が進んだ中、新たな課題としてのPM2.5について、現状と課題を解説する。

第12回 都市の自然環境保全（授業形式：講義および演習）

予習内容：概要と各セクションについて

予習時間：30分

復習内容：今回の授業内容について

復習時間：30分

概要 高度経済成長により日本の三大都市圏は急激な成長を遂げた。大都市圏における自然環境をどのように保全すべきか、緑地保全や都市緑化の観点から考える。

セクション1 都市の緑地構成要素

セクション概要 都市化が進展する中で、どのように緑地としての森林・農地・公園が変化してきたかを把握する。

セクション2 都市農地の保全

セクション概要 都市農地の持つ多面的機能を理解し、保全に向けた課題を把握する。

セクション3 再開発と緑化

セクション概要 再開発に伴う緑化や緑地空間の創出の現状を把握する。

第13回 火山との共生（授業形式：講義および演習）

予習内容：概要と各セクションについて

予習時間：30分

復習内容：今回の授業内容について

復習時間：30分

概要 火山活動は人々の暮らしへ著しい影響を与える一方、様々な恩恵も与えてくれる。実際の火山災害対策の事例も交えながら、共生していくためのモニタリングについても考える。

セクション1 火山の分布

セクション概要 日本は火山国であり、どのように分布しているか把握する。

セクション2 火山ガス災害対策の事例 前編

セクション概要 2000年三宅島火山災害を例に、火山ガス対策がどのように行われたか解説する。

セクション3 火山ガス災害対策の事例 後編

セクション概要 2000年三宅島火山災害を例に、泥流対策等がどのように行われたか解説する。また、火山防災体制について理解する。

第14回 中心市街地の活性化（授業形式：講義および演習）

予習内容：概要と各セクションについて

予習時間：30分

復習内容：今回の授業内容について

復習時間：30分

概要 日本での急激な都市化とモータリゼーションの進展は中心市街地の空洞化をもたらせた。人口減少が進み、中心市街地活性化や買物弱者対策が求められており、現状と対策を解説する。

セクション1 中心市街地の課題

セクション概要 日本での中心市街地が空洞化をもたらされた要因を探る。

セクション2 コンパクトシティ

セクション概要 中心市街地の活性化に向けたコンパクトシティの実現への取組みと課題を理解する。

セクション3 買物弱者対策

セクション概要 高齢社会の到来により買物弱者対策が必要になってきていることを理解する。

第15回 行政の地理（授業形式：講義および演習）

予習内容：概要と各セクションについて

予習時間：30分

復習内容：今回の授業内容について

復習時間：30分

概要 平成の大合併により約3,300あった市町村が約1,300程度までに減少した。合併の規模は都道府県によって異なる。合併による都市構造にどのような変化があったかを理解する。

セクション1 平成の大合併

セクション概要 平成の大合併における都道府県別にみた合併の状況を把握する。

セクション2 都市構造の変化

セクション概要 大規模な市町村合併が行われた場合、都市の構造が変化することを理解する。

セクション3 ローカルガ・バナンス

セクション概要 人口減少や少子高齢化が進む中で、地域の自治を進める上での課題についてふれる。

-

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 :	地域と環境の地理学【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Local and Environmental Geography				
担当者 :	石原 肇				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	前期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

この授業は、法学部、経済学部、経営学部、文芸学部、総合社会学部、国際学部の共通教養科目です。この科目では、環境、すなわち自然環境（地形、気候など）や人文環境（経済、産業、文化、歴史、観光、都市など）との関連を視点にして、日本や世界の諸地域、諸問題について学びます。

この授業は、3人の授業者がオムニバス形式で行います。第1回～第6回は「文化地理」をメインにして戸井田が、第7回～第9回は「経済地理」「行動地理」をメインにして片岡が、第10回～第15回は「都市地理」をメインにして石原が講義します。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講者はこの科目を修得することによって、1) 文化地理学、経済地理学、行動地理学、都市地理学の初歩を学ぶとともに、2) 地理学の重要概念である「地域」と「環境」というものへの理解を深めます。そして、3) 現代日本および現代世界の諸問題を地理学的な視点から考察できる力の基礎を養います。

この科目の修得は、本学の定めるディプロマポリシー 2 の達成に關与しています。

■ 成績評価方法および基準

レポート課題等 100%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

課題に関する提出物の総評を授業運営ツールでの掲示によって行います。

■ 教科書

特になし。

■ 参考文献

特になし。

■ 関連科目

特になし。

■ 授業評価アンケート実施方法

本学の規程に準拠します。

■ 研究室・メールアドレス

戸井田 (toida@socio.kindai.ac.jp)

石原 (ishihara@socio.kindai.ac.jp)

片岡 (kataokah@kindai.ac.jp)

■ オフィスアワー

戸井田（前期：水曜・3限、後期：水曜・2限）

石原（月曜・5限）

片岡（前期：金曜5限&後期：水曜3限。（諸事由により多々変更あり！！随時B館の掲示板あるいは研究室ドアの掲示物で確認すること！）

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 日本の環境（授業形式：講義および演習）

予習内容：概要と各セクションについて

予習時間：30分

復習内容：今回の授業内容について

復習時間：30分

概要 日本が位置する地域と環境について学ぶ。まず日本の国土の位置と広がりを確認してから、隣国との領土問題について押さえる。また、日本列島を取り巻く潮の流れ（海流）に着目して、海洋国家としての日本の姿についてとらえていく。

セクション1 位置と広がり

セクション概要 日本は東経135度を標準時子午線とし、東西約2時間の時間幅がある。首都東京は北緯約40度にあり、南北約3000kmの幅をもつ。領土は世界62位（約38万km²）だが、水域は世界6位の大きさがある。

セクション2 地域区分—西と東・表と裏

セクション概要 日本の諸地域を大きくくると、西日本と東日本、表日本と裏日本の区分のほか、周圈的な区分も可能である。日本をいくつかの観点から地域区分して、それぞれの地域性を考える。

セクション3 列島を取り巻く海流

セクション概要 島国日本には、沿岸を洗ういくつかの海流（暖流、寒流）がある。日本の風土や歴史は、それらの海流から大きな影響を受け育まれてきたものである。

第2回 日本人の主食・米（授業形式：講義および演習）

予習内容：概要と各セクションについて

予習時間：30分

復習内容：今回の授業内容について

復習時間：30分

概要 日本人の主食である米について学ぶ。日本語には米にかかわる多くの語彙があり、日本人との関係の深さを示している。米は、収穫量や栄養価の面で他の穀物にはない優れた性質があり、環境保全の面でも幅広い役割を果たしている。

セクション1 イネ—コメ—メシと日本人

セクション概要 日本語には米にまつわる呼称が多く、日本人の米との深いかかわりを示している。日本人の主食である米を、語彙の面から考察する。

セクション2 稲作の文化

セクション概要 米（水稻）は連作できるだけでなく、籾1粒当たりの収量が多く、たんぱく質にも富んでいる。これらのことが日本文化の基盤を形作る要因となってきた。

セクション3 稲作—もう一つの役割

セクション概要 稲作には、水循環を遅くし、土壌侵食を防ぐ環境保全機能がある。また、村社会や祭りを維持し、緑の美しい景観を保持する文化・社会保全の機能もある。

第3回 里山とともに生きる（授業形式：講義および演習）

予習内容：概要と各セクションについて

予習時間：30分

復習内容：今回の授業内容について

復習時間：30分

概要 日本人と里山の関係について学ぶ。「昔、おじいさんは山へ柴刈に」という昔話に定番の出だしは、日本人と里山のかかわりの深さを伝えている。里山は「人と自然が共生する場」であり、人は里山を利用することで、里山は人に利用されることで、ともに様々な恩恵を受けてきた。

セクション1 昔、おじいさんは山へ柴刈に

セクション概要 柴刈（シバカリ）とは燃料採取のことで、山で柴刈をしないとかつては炊事も暖もとれなかった。里山は燃料のほか、多くの資源取得の場であった。

セクション2 間伐の意義と役割

セクション概要 里山には間伐が必要不可欠である。ただ放置するだけの森林では、森の生態系が維持されず、ひいては川や海の漁場にも魚たちが集まってこない。

セクション3 森林の公益的機能

セクション概要 森林には水源涵養や土砂災害防止の機能がある。また、生物多様性を維持する場であり、地球温暖化防止にも寄与する。グリーンツーリズムにより、心身を保養する機能もある。

第4回 焼畑にみる知恵（授業形式：講義および演習）

予習内容：概要と各セクションについて

予習時間：30分

復習内容：今回の授業内容について

復習時間：30分

概要 焼畑（ヤキハタ）にみる先人の知恵について考える。焼畑の原型は地味の悪い熱帯地域にあり、そこで生きていくための知恵ある耕作の工夫である。焼畑は、同様に不利な環境下にある日本の山間部などでも行われてきたが、その方法や心得について学ぶ。

セクション1 焼畑の原型は熱帯

セクション概要 焼畑は樹木を焼いた後の灰を肥料とする農法で、土のやせた熱帯を起源とする。日本でも、同様に地味のやせた山間部などで行われてきた知恵ある農法の一つである。

セクション2 焼畑の方法

セクション概要 焼畑は4年を一単位とするものが多く、1年目に穀類、2年目にイモ類、3年目にマメ類といった具合に、年々作物を替えて輪作する。また、1年目の畑をアラコ、2年目をカーシなどと呼ぶ。

セクション3 焼畑の心得

セクション概要 秋に樹木を伐採し、乾燥させたのち、翌春に火入れする。延焼防止のためのホソケミチ（火退け道）の確保や、ヤリヤキ（槍焼き）などの手法を用いるとともに、呪術儀礼によって成功を願う。

セクション4 資料映像①の視聴

セクション概要 NHKビデオ・ニッポンの里山から、「野焼きでよみがえる大草原（熊本県阿蘇山）」を観る。野焼きで燃え残った灰を養分に草が育ち、それを餌に牛が飼育される。

第5回 牧畑にみる知恵（授業形式：講義および演習）

予習内容：概要と各セクションについて

予習時間：30分

復習内容：今回の授業内容について

復習時間：30分

概要 牧畑（マキハタ）にみる先人の知恵について考える。牧畑は近年まで日本海の島嶼部などにみられたが、現在では途絶えてしまった。しかし、その歴史的慣性は今日、牛肉の子牛産地として継承されている。また、ヨーロッパの畑作と類似点があり、その原型である三圃式農法を彷彿させる。

セクション1 牧畑の方法

セクション概要 牧畑は牧と畑を複合した農牧形態であり、牛馬の糞を肥料とする農法である。日本で最後まで残存した隠岐では、牧畑を4区画に分け、作物を輪転させて食料と役牛・役馬を取得した。

セクション2 牧畑のその後

セクション概要 隠岐の牧畑も昭和40年代には終了したが、隠岐はその後も子取り牛の飼育地として、全国の肥育農家に子牛を提供している。「神戸牛」「松阪牛」などのブランド牛も、隠岐生まれである。

セクション3 ヨーロッパ三圃式農法と牧畑

セクション概要 ヨーロッパ三圃式農法は、農耕と家畜飼育を組み合わせたものであり、牧畑に似ている。11世紀の三圃革命で人口が増え、ヨーロッパは十字軍の派遣を始めたほか、やがて大航海時代を迎える。

セクション4 資料映像②の視聴

セクション概要 NHKビデオ・ニッポンの里山から、「花咲く島の放牧地（島根県西ノ島町）」を観る。牛馬が草を食べることで美しい草原が保たれ、様々な生き物が共生している。

第6回 地名が語る環境と地域（授業形式：講義および演習）

予習内容：概要と各セクションについて

予習時間：30分

復習内容：今回の授業内容について

復習時間：30分

概要 地名と環境、地名と地域との関係について学ぶ。土地につけられた刻印である「地名」は、住人たちの了解のもとに、様々な語彙の中から生き残った文化遺産である。その場所がどういった性質を持つ土地であるかを示唆するが、中には現代人がすでに忘れてしまった、災害への警鐘のこもるものもある。

セクション1 地名と環境

セクション概要 地名には、その土地の自然環境や人文環境を反映したものが多い。大阪の道が「筋」と「通」からなり、京都の道が「通」からだけなるのも、両者の自然・人文環境の違いに基づいている。

セクション2 災害地名のいくつか

セクション概要 大阪の地名から「十三」「放出」「河内」など、全国の地名から「シマ」「クラ」「ヒラ」などを取り上げて、災害地名のいくつかについて考えてみる。

セクション3 地名からみる地域性

セクション概要 全国の「谷（タニ）地名」と「沢（サワ）地名」の分布から、地名にみる日本の地域性を考える。両者の漸移帯に「谷（ヤ）地名」が分布する理由についても検討する。

第7回 中心地を地理学する！（経済地理学）（授業形式：講義および演習）

予習内容：概要と各セクションについて

予習時間：30分

復習内容：今回の授業内容について

復習時間：30分

概要 わたしたちが普段行っている「買い物」という行為をとおして、都市（中心地）の立地について理解する。また、「財の到達範囲」や「高次財」・「低次財」をはじめとした中心地理論の基礎的概念や語句を学ぶ。

セクション1 あなたは即答できますか??

セクション概要 経済地理学における重要な基礎理論の一つである立地論とは何かを学ぶ。同時に、立地論の一つである中心地理論の基本的概念や重要語句についても学ぶ。

セクション2 おやつをどこまで買いに行こうかな?

セクション概要 わたしたちが何気なく行っている買い物という行為を振り返り、そこにある「距離」について、あらためてその存在を認識してもらうとともに、「財の到達範囲」、「高次財」・「低次財」をはじめとして、中心地理論の基本的概念や重要語句について学ぶ。

セクション3 さまざまな財を供給する中心地の最適な立地は?

セクション概要財の到達範囲は財の種類により違うため、中心地の立地も供給する財の種類により異なることを学ぶ。以上より、クリスタラーが著した「供給原理に基づく中心地システム」を理解する。

第8回 工業を地理学する！（経済地理学）（授業形式：講義および演習）

予習内容：概要と各セクションについて

予習時間：30分

復習内容：今回の授業内容について

復習時間：30分

概要 わたしたちの身の回りの工業製品について、それらが生産される場所を考えることにより、工業（工場）の立地について理解する。また、「立地三角形」や「原料指数」等、工業立地論の基本的概念や語句を学ぶ。

セクション1 ポテチはどこからやってくる??

セクション概要 わたしたちが普段食べるおやつ「生産」という側面に着目し、ウェーバー工業立地論を理解する。あわせて、工業（工場）の立地に必要な要因等についても学ぶ。

セクション2 立地三角形とは??

セクション概要 ウェーバー工業立地論の第一段階に関する基本的概念について学ぶ。あわせて、「立地三角形」や「原料指数」といった概念を理解する。

セクション3 労働係数とは??集積のメリットとは??

セクション概要 ウェーバー工業立地論の第二・第三段階に関する基本的概念について学ぶ。加えて、立地条件による工業の分類も理解する。

第9回 生活行動を地理学する（授業形式：講義および演習）

予習内容：概要と各セクションについて

予習時間：30分

復習内容：今回の授業内容について

復習時間：30分

概要 わたしたちの毎日の行動を、行動地理学的な視点から捉え直し、生活活動時間・空間について理解する。また、観光やエスニシティ、ジェンダーをはじめとした事象についても行動地理学的観点から分析することにより、それらが契機となり生じる地域の課題を考察する。

セクション1 なぜ通勤自粛になったの? セクション概要 コロナ禍の中で行われた「通勤自粛」という事象を取り上げ、都市における人々の日常生活行動をあらためて考えるとともに、「行動地理学とは何か」について学ぶ。

セクション2 通勤はいつから始まったの? セクション概要 通勤という行為の始まりを理解するとともに、「パス」や「プリズム」といった行動地理学に用いられる基本的概念や重要語句について学ぶ。あわせて、各人の生活活動空間を行動地理学的視点から分析する。

セクション3 行動地理学からわかること セクション概要 観光地における人々の行動、女性の生活活動空間、外国人労働者の生活活動空間を行動地理学的視点から理解し分析することにより、それら事象が契機隣生じる地域の課題について考察する。

第10回 SDGsと地球温暖化防止（授業形式：講義および演習）

予習内容：概要と各セクションについて

予習時間：30分

復習内容：今回の授業内容について

復習時間：30分

概要 2015年に国連で「持続可能な開発目標（SDGs）」が策定された。同年に「パリ協定」も採択されている。地球規模の問題である温暖化の現状を理解し、日本で行われている取組みを把握する。

セクション1 SDGsとは

セクション概要 「持続可能な開発目標（SDGs）」の概要を説明する

セクション2 地球温暖化とその影響

セクション概要 地球規模の問題として温暖化のメカニズムとその影響を説明する

セクション3 地球温暖化防止対策と課題

セクション概要 「パリ協定」と日本で取られている対策の現状を把握する。

第11回 大気環境の保全（授業形式：講義および演習）

予習内容：概要と各セクションについて

予習時間：30分

復習内容：今回の授業内容について

復習時間：30分

概要 日本の大気汚染の歴史的経過を地域環境の改善から確認した上で、近年、新たな課題となっているPM2.5について、気候との関係から東アジアでの対策が必要となっていることを理解する。

セクション1 公害の歴史

セクション概要 四大公害とそのうちの大気汚染公害として位置付けられる四日市ぜんそくを取り上げ説明する。

セクション2 大気汚染の対策と改善

セクション概要 工場への規制のみならず道路や自動車への規制等大気汚染対策の概観を解説する。

セクション3 PM2.5と東アジア

セクション概要 地域の対策が進んだ中、新たな課題としてのPM2.5について、現状と課題を解説する。

第12回 都市の自然環境保全（授業形式：講義および演習）

予習内容：概要と各セクションについて

予習時間：30分

復習内容：今回の授業内容について

復習時間：30分

概要 高度経済成長により日本の三大都市圏は急激な成長を遂げた。大都市圏における自然環境をどのように保全すべきか、緑地保全や都市緑化の観点から考える。

セクション1 都市の緑地構成要素

セクション概要 都市化が進展する中で、どのように緑地としての森林・農地・公園が変化してきたかを把握する。

セクション2 都市農地の保全

セクション概要 都市農地の持つ多面的機能を理解し、保全に向けた課題を把握する。

セクション3 再開発と緑化

セクション概要 再開発に伴う緑化や緑地空間の創出の現状を把握する。

第13回 火山との共生（授業形式：講義および演習）

予習内容：概要と各セクションについて

予習時間：30分

復習内容：今回の授業内容について

復習時間：30分

概要 火山活動は人々の暮らしへ著しい影響を与える一方、様々な恩恵も与えてくれる。実際の火山災害対策の事例も交えながら、共生していくためのモニタリングについても考える。

セクション1 火山の分布

セクション概要 日本は火山国であり、どのように分布しているか把握する。

セクション2 火山ガス災害対策の事例 前編

セクション概要 2000年三宅島火山災害を例に、火山ガス対策がどのように行われたか解説する。

セクション3 火山ガス災害対策の事例 後編

セクション概要 2000年三宅島火山災害を例に、泥流対策等がどのように行われたか解説する。また、火山防災体制について理解する。

第14回 中心市街地の活性化（授業形式：講義および演習）

予習内容：概要と各セクションについて

予習時間：30分

復習内容：今回の授業内容について

復習時間：30分

概要 日本での急激な都市化とモータリゼーションの進展は中心市街地の空洞化をもたらせた。人口減少が進み、中心市街地活性化や買物弱者対策が求められており、現状と対策を解説する。

セクション1 中心市街地の課題

セクション概要 日本での中心市街地が空洞化をもたらされた要因を探る。

セクション2 コンパクトシティ

セクション概要 中心市街地の活性化に向けたコンパクトシティの実現への取組みと課題を理解する。

セクション3 買物弱者対策

セクション概要 高齢社会の到来により買物弱者対策が必要になってきていることを理解する。

第15回 行政の地理（授業形式：講義および演習）

予習内容：概要と各セクションについて

予習時間：30分

復習内容：今回の授業内容について

復習時間：30分

概要 平成の大合併により約3,300あった市町村が約1,300程度までに減少した。合併の規模は都道府県によって異なる。合併による都市構造にどのような変化があったかを理解する。

セクション1 平成の大合併

セクション概要 平成の大合併における都道府県別にみた合併の状況を把握する。

セクション2 都市構造の変化

セクション概要 大規模な市町村合併が行われた場合、都市の構造が変化することを理解する。

セクション3 ローカルガ・バナンス

セクション概要 人口減少や少子高齢化が進む中で、地域の自治を進める上での課題についてふれる。

-

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 :	生命の科学【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Science of Life				
担当者 :	和田 哲幸				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	前期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

ヒトゲノムの解読により我々を含む生命体の謎が解き明かされつつある。また、生命科学を通して生命体の「誕生」、「疾病」そして「死」など、様々な現象が明らかとなってきた。この講義では、近年飛躍的に進歩している生命科学の分野において、我々の身近に関わる、細胞、遺伝子、代謝、食、がんなどについて知っておかなければならない事を、生物学を学んでいない学生に対しても理解できる範囲で紹介する。

この授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。各回の作成者は授業計画の内容に記載のとおりです。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

医学、薬学、農学、理学を問わず、一般新聞に掲載されるサイエンス記事が理解できるようになることが目標である。この科目の修得は、本学の定めるディプロマポリシー1.の達成に参与しています。

■ 成績評価方法および基準

15回すべての講義動画を視聴した学生のみ評価の対象であり、第1回レポート課題 30%

第2回レポート課題 30%

第3回レポート課題 30%

ディスカッションへの参加 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

「レポート課題の提出締切後に「レポート課題の要点と解説」をGoogleClassroomに掲載します。」

■ 教科書

適時プリント配布

■ 参考文献

[ISBN]9784758120005 『生命科学 改訂第3版』（東京大学生命科学教科書編集委員会, 羊土社）

[ISBN]9784807903436 『ウォーレス現代生物学 上』（R.A. ウォーレス, 東京化学同人）

[ISBN]9784807903443 『ウォーレス現代生物学 下』（R.A. ウォーレス, 東京化学同人）

[ISBN]9784315520620 『細胞の分子生物学 第6版』（Bruce Alberts, ニュートンプレス）

[ISBN]9784410281488 『フォトサイエンス生物図録』（数研出版編集部, 数研出版：2023）

■ 関連科目

なし

■ 授業評価アンケート実施方法

学部実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

角谷 晃司 6号館 4階 kakutani@msa.kindai.ac.jp
中村 恭子 38号館 9階 kyoko@phar.kindai.ac.jp
八軒 浩子 7号館 4階 hhachi@phar.kindai.ac.jp
和田 哲幸 7号館 4階 tetsu@phar.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

平日9時～18時、上記研究室で受け付けます。メールでの質問、歓迎します。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 生物の基本概念と基本構造 (担当: 角谷 晃司) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 生物の基本概念と基本構造について予習を行う。

予習時間: 60分

復習内容: 授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間: 60分

概要 生物のもつ2つの対立した特性、多様性と共通性を知ること、生物とは何かをとという基本概念と基本構造を学ぶ。

セクション1 生命の多様性と共通性について

セクション概要 異なる生物もすべて生きているのは何故かを考える。

セクション2 細胞とは

セクション概要 細胞の中にある細胞小器官について説明する。

セクション3 原核生物と真核生物の違い

セクション概要 原核生物と真核生物の違いについて説明する。

第2回 生殖細胞 (担当: 角谷 晃司) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 生殖細胞について予習を行う。

予習時間: 60分

復習内容: 授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間: 60分

概要 精子と卵子などの生殖細胞の形成過程やホルモンの働きについて理解する。

セクション1 生殖細胞について

セクション概要 精子と卵子が作られる生殖器について説明する。

セクション2 精子と卵子の形成について

セクション概要 精子と卵子の形成過程を説明する。

セクション3 女性ホルモンの働き

セクション概要 女性ホルモンの働きを説明する。

第3回 生命の多様性 (担当: 角谷 晃司) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 生命の多様性について予習を行う。

予習時間: 60分

復習内容: 授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間: 60分

概要 生物が世代と共に環境に適応する変化(進化)のしくみについて理解する。

セクション1 ヒトの受精と発生

セクション概要 ヒトの受精とヒトの発生初期について説明する。

セクション2 染色体と性の決定

セクション概要 性を決定する染色体について説明する。

セクション3 多様性を生む減数分裂について

セクション概要 体細胞分裂と減数分裂の違いについて説明する。

第4回 生命の設計図 (担当: 八軒 浩子) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: DNAからタンパク質が作られるセントラルドグマについて予習を行う。

予習時間: 60分

復習内容: 授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間: 60分

概要 生命体の設計図と言われるDNAの複製機構、DNAからタンパク質が作られるしくみについて解説する。

セクション1 遺伝子の本体DNA

セクション概要 遺伝子の本体であるDNAについて説明する。

セクション2 DNAの複製

セクション概要 DNAの複製について説明する。

セクション3 遺伝子とタンパク質

セクション概要 DNAの遺伝情報をもとにタンパク質が合成される過程について説明する。

第5回 遺伝子組換え (担当: 八軒 浩子) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 制限酵素やベクターなどを用いる遺伝子組換え技術について予習を行う。

予習時間: 60分

復習内容: 授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間: 60分

概要 遺伝子組換えについて説明する。

セクション1 遺伝子組換え技術

セクション概要 遺伝子組換え技術について説明する。

セクション2 遺伝子操作

セクション概要 遺伝子組換えによる医薬品や作物などについて説明する。

セクション3 遺伝子治療

セクション概要 遺伝子治療について説明する。

第6回 再生医療 (担当: 八軒 浩子) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 幹細胞について予習を行う。

予習時間: 60分

復習内容: 授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間: 60分

概要 機能不全に陥った生体組織などの機能を再建する再生医療について説明する。

セクション1 幹細胞

セクション概要 幹細胞であるES細胞、iPS細胞について説明する。

セクション2 クローン動物の作製

セクション概要 クローン動物について説明する。

セクション3 再生医療

セクション概要 再生医療について説明する。

第7回 代謝経路の基礎 (担当: 中村 恭子) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 食物を摂取した後どのように体内でタンパク質、糖質および脂質が代謝されるのかについて予習を行う。

予習時間: 60分

復習内容: 授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間: 60分

概要 食物がどのように消化されるのかを理解し、特に糖代謝についてどのように制御されているかそして糖尿病について学ぶ。

セクション1 食物分子の分解

セクション概要 タンパク質、糖質および脂肪の消化について学ぶ。

セクション2 糖代謝 (1)

セクション概要 血糖値の制御について学ぶ。

セクション3 糖代謝 (2)

セクション概要 糖尿病について学ぶ。

第8回 細胞周期とがん (担当: 中村 恭子) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 一つの細胞が二つに増殖する過程について予習を行う。

予習時間: 60分

復習内容: 授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間: 60分

概要 細胞がどのように増殖するのか、正常細胞とがん細胞の違いを理解し、がんの成り立ちを学ぶ。

セクション1 細胞周期とは

セクション概要 細胞周期について学ぶ。

セクション2 細胞周期の制御およびチェックポイント機構

セクション概要 細胞周期の制御およびチェックポイント機構に関わる因子について学ぶ。

セクション3 がんの成り立ち

セクション概要 正常細胞、がん細胞およびがんの成り立ちについて学ぶ。

第9回 遺伝の仕組み (担当: 中村 恭子) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 遺伝とはどういうことかについて予習を行う。

予習時間: 60分

復習内容: 授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間: 60分

概要 ヒトおよび植物の遺伝について理解し、特にヒトでの様々な遺伝の種類について学ぶ。

セクション1 ヒトおよび植物の遺伝

セクション概要 ヒトおよび植物の遺伝について学ぶ。

セクション2 優性形質および劣性形質

セクション概要 ヒトにおける優性形質および劣性形質について学ぶ。

セクション3 遺伝性腫瘍

セクション概要 遺伝性腫瘍について学ぶ。

第10回 生体の恒常性 (担当: 和田 哲幸) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 栄養素とは何かについて予習を行う。

予習時間: 60分

復習内容: 授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間: 60分

概要 ヒトはなぜ食べるのか? 健康を考えるうえで、まず思い出すのが“食事”です。健康を維持するための食について理解します。

セクション1 なぜヒトは食べるのか?

セクション概要 なぜヒトは食事をする必要があるのかについて簡単に説明する。

セクション2 栄養素とは何?

セクション概要 3大栄養素の役割について簡単に説明する。

セクション3 消化とは? 吸収とは?

セクション概要 消化と吸収について簡単に説明する。

第11回 生体の恒常性 (担当: 和田 哲幸) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 消化器官の構造と役割について予習を行う。

予習時間: 60分

復習内容: 授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間: 60分

概要 ヒトはなぜ食べるのか? 消化と吸収に関わる消化器系の役割とそのはたらきについて理解する。

セクション1 食べること

セクション概要 口腔から直腸までの消化管のはたらきについて説明する。

セクション2 美味しく食事する!

セクション概要 味を感じる仕組みについて説明する。

セクション3 健康を維持するために

セクション概要 健康長寿を目指す、バランスの取れた食事って?

第12回 生体の恒常性 (担当: 和田 哲幸) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 薬物乱用とは何か、簡単に調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間: 60分

概要 薬物乱用防止について、薬物の本当の怖さとその問題点を理解する。

セクション1 薬物乱用とは何?

セクション概要 薬物乱用について説明する。

セクション2 薬物乱用の規制

セクション概要 法規制の対象となる薬物について説明する。

セクション3 医療用麻薬って何?

セクション概要 医療用麻薬について説明する。

第13回 神経と情報伝達 (担当: 和田 哲幸) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 神経と情報伝達について予習を行う。

予習時間: 60分

復習内容: 授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間: 60分

概要 生体における情報伝達について理解する。

セクション1 恒常性の維持

セクション概要 恒常性の維持について概説する。

セクション2 生体における情報伝達手段 (1)

セクション概要 ホルモンによる体内調節について概説する。

セクション3 生体における情報伝達手段 (2)

セクション概要 神経伝達物質による情報伝達について概説する。

第14回 生体の防御・免疫 (担当: 角谷 晃司) (授業形式: 講義および演習)

予習内容：生体防御のしくみについて予習を行う。

予習時間：60分

復習内容：授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間：60分

概要 生体防御機構である免疫について理解する。

セクション1 免疫にかかわる細胞

セクション概要 免疫にかかわる細胞の種類と自然免疫について概説する。

セクション2 獲得免疫

セクション概要 細胞性免疫と体液性免疫について概説する。

セクション3 免疫にかかわる疾患と治療

セクション概要 花粉症やエイズなど免疫にかかわる疾患とワクチンについて概説する。

第15回 がん(担当：中村 恭子, 八軒 浩子) (授業形式：講義および演習)

予習内容：がんの基礎知識について予習を行う。

予習時間：60分

復習内容：授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間：60分

概要 がんの基礎知識および遺伝子治療について学ぶ。

セクション1 がんの基礎知識

セクション概要 がんとその治療法について学ぶ。

セクション2 遺伝子治療(1)

セクション概要 遺伝子治療および遺伝子治療用ベクターの種類について学ぶ。

セクション3 遺伝子治療(2)

セクション概要 がん遺伝子治療について学ぶ。

レポート課題

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 :	生命の科学【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Science of Life				
担当者 :	中村 恭子				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	前期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

ヒトゲノムの解読により我々を含む生命体の謎が解き明かされつつある。また、生命科学を通して生命体の「誕生」、「疾病」そして「死」など、様々な現象が明らかとなってきた。この講義では、近年飛躍的に進歩している生命科学の分野において、我々の身近に関わる、細胞、遺伝子、代謝、食、がんなどについて知っておかなければならない事を、生物学を学んでいない学生に対しても理解できる範囲で紹介する。

この授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。各回の作成者は授業計画の内容に記載のとおりです。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講者はこの授業を履修することによって、医学、薬学、農学、理学を問わず、一般新聞に掲載されるサイエンス記事が理解できるようになることが目標である。

この科目の修得は、本学の定めるディプロマポリシー2.の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

15回すべての講義動画を視聴した学生のみ評価の対象であり、第1回レポート課題 30%

第2回レポート課題 30%

第3回レポート課題 30%

ディスカッションへの参加 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

「レポート課題の提出締切後に「レポート課題の要点と解説」をGoogleClassroomに掲載します。」

■ 教科書

適時プリント配布

■ 参考文献

[ISBN]9784758120005 『生命科学 改訂第3版』（東京大学生命科学教科書編集委員会, 羊土社）

[ISBN]9784807903436 『ウォーレス現代生物学 上』（R.A. ウォーレス, 東京化学同人）

[ISBN]9784807903443 『ウォーレス現代生物学 下』（R.A. ウォーレス, 東京化学同人）

[ISBN]9784315520620 『細胞の分子生物学 第6版』（Bruce Alberts, ニュートンプレス）

[ISBN]9784410281488 『フォトサイエンス生物図録』（数研出版編集部, 数研出版：2023）

■ 関連科目

なし

■ 授業評価アンケート実施方法

学部実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

角谷 晃司 6号館 4階 kakutani@msa.kindai.ac.jp
中村 恭子 38号館 9階 kyoko@phar.kindai.ac.jp
八軒 浩子 7号館 4階 hhachi@phar.kindai.ac.jp
和田 哲幸 7号館 4階 tetsu@phar.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

平日9時～18時、上記研究室で受け付けます。メールでの質問、歓迎します。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 生物の基本概念と基本構造 (担当：角谷 晃司) (授業形式：講義および演習)

予習内容：生物の基本概念と基本構造について予習を行う。

予習時間：60分

復習内容：授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間：60分

概要 生物のもつ2つの対立した特性、多様性と共通性を知ること、生物とは何かをという基本概念と基本構造を学ぶ。

セクション1 生命の多様性と共通性について

セクション概要 異なる生物もすべて生きているのは何故かを考える。

セクション2 細胞とは

セクション概要 細胞の中にある細胞小器官について説明する。

セクション3 原核生物と真核生物の違い

セクション概要 原核生物と真核生物の違いについて説明する。

第2回 生殖細胞 (担当：角谷 晃司) (授業形式：講義および演習)

予習内容：生殖細胞について予習を行う。

予習時間：60分

復習内容：授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間：60分

概要 精子と卵子などの生殖細胞の形成過程やホルモンの働きについて理解する。

セクション1 生殖細胞について

セクション概要 精子と卵子が作られる生殖器について説明する。

セクション2 精子と卵子の形成について

セクション概要 精子と卵子の形成過程を説明する。

セクション3 女性ホルモンの働き

セクション概要 女性ホルモンの働きを説明する。

第3回 生命の多様性 (担当：角谷 晃司) (授業形式：講義および演習)

予習内容：生命の多様性について予習を行う。

予習時間：60分

復習内容：授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間：60分

概要 生物が世代と共に環境に適応する変化（進化）のしくみについて理解する。

セクション1 ヒトの受精と発生

セクション概要 ヒトの受精とヒトの発生初期について説明する。

セクション2 染色体と性の決定

セクション概要 性を決定する染色体について説明する。

セクション3 多様性を生む減数分裂について

セクション概要 体細胞分裂と減数分裂の違いについて説明する。

第4回 生命の設計図 (担当：八軒 浩子) (授業形式：講義および演習)

予習内容：DNAからタンパク質が作られるセントラルドグマについて予習を行う。

予習時間：60分

復習内容：授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間：60分

概要 生命体の設計図と言われるDNAの複製機構、DNAからタンパク質が作られるしくみについて解説する。

セクション1 遺伝子の本体DNA

セクション概要 遺伝子の本体であるDNAについて説明する。

セクション2 DNAの複製

セクション概要 DNAの複製について説明する。

セクション3 遺伝子とタンパク質

セクション概要 DNAの遺伝情報をもとにタンパク質が合成される過程について説明する。

第5回 遺伝子組換え (担当: 八軒 浩子) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 制限酵素やベクターなどを用いる遺伝子組換え技術について予習を行う。

予習時間: 60分

復習内容: 授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間: 60分

概要 遺伝子組換えについて説明する。

セクション1 遺伝子組換え技術

セクション概要 遺伝子組換え技術について説明する。

セクション2 遺伝子操作

セクション概要 遺伝子組換えによる医薬品や作物などについて説明する。

セクション3 遺伝子治療

セクション概要 遺伝子治療について説明する。

第6回 再生医療 (担当: 八軒 浩子) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 幹細胞について予習を行う。

予習時間: 60分

復習内容: 授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間: 60分

概要 機能不全に陥った生体組織などの機能を再建する再生医療について説明する。

セクション1 幹細胞

セクション概要 幹細胞であるES細胞、iPS細胞について説明する。

セクション2 クローン動物の作製

セクション概要 クローン動物について説明する。

セクション3 再生医療

セクション概要 再生医療について説明する。

第7回 代謝経路の基礎 (担当: 中村 恭子) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 食物を摂取した後どのように体内でタンパク質、糖質および脂質が代謝されるのかについて予習を行う。

予習時間: 60分

復習内容: 授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間: 60分

概要 食物がどのように消化されるのかを理解し、特に糖代謝についてどのように制御されているかそして糖尿病について学ぶ。

セクション1 食物分子の分解

セクション概要 タンパク質、糖質および脂肪の消化について学ぶ。

セクション2 糖代謝 (1)

セクション概要 血糖値の制御について学ぶ。

セクション3 糖代謝 (2)

セクション概要 糖尿病について学ぶ。

第8回 細胞周期とがん (担当: 中村 恭子) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 一つの細胞が二つに増殖する過程について予習を行う。

予習時間: 60分

復習内容: 授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間: 60分

概要 細胞がどのように増殖するのか、正常細胞とがん細胞の違いを理解し、がんの成り立ちを学ぶ。

セクション1 細胞周期とは

セクション概要 細胞周期について学ぶ。

セクション2 細胞周期の制御およびチェックポイント機構

セクション概要 細胞周期の制御およびチェックポイント機構に関わる因子について学ぶ。

セクション3 がんの成り立ち

セクション概要 正常細胞、がん細胞およびがんの成り立ちについて学ぶ。

第9回 遺伝の仕組み (担当: 中村 恭子) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 遺伝とはどういうことかについて予習を行う。

予習時間: 60分

復習内容: 授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間: 60分

概要 ヒトおよび植物の遺伝について理解し、特にヒトでの様々な遺伝の種類について学ぶ。

セクション1 ヒトおよび植物の遺伝

セクション概要 ヒトおよび植物の遺伝について学ぶ。

セクション2 優性形質および劣性形質

セクション概要 ヒトにおける優性形質および劣性形質について学ぶ。

セクション3 遺伝性腫瘍

セクション概要 遺伝性腫瘍について学ぶ。

第10回 生体の恒常性 (担当: 和田 哲幸) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 栄養素とは何かについて予習を行う。

予習時間: 60分

復習内容: 授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間: 60分

概要 ヒトはなぜ食べるのか? 健康を考えるうえで、まず思い出すのが“食事”です。健康を維持するための食について理解します。

セクション1 なぜヒトは食べるのか?

セクション概要 なぜヒトは食事をする必要があるのかについて簡単に説明する。

セクション2 栄養素とは何?

セクション概要 3大栄養素の役割について簡単に説明する。

セクション3 消化とは? 吸収とは?

セクション概要 消化と吸収について簡単に説明する。

第11回 生体の恒常性 (担当: 和田 哲幸) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 消化器官の構造と役割について予習を行う。

予習時間: 60分

復習内容: 授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間: 60分

概要 ヒトはなぜ食べるのか? 消化と吸収に関わる消化器系の役割とそのはたらきについて理解する。

セクション1 食べること

セクション概要 口腔から直腸までの消化管のはたらきについて説明する。

セクション2 美味しく食事する!

セクション概要 味を感じる仕組みについて説明する。

セクション3 健康を維持するために

セクション概要 健康長寿を目指す、バランスの取れた食事って?

第12回 生体の恒常性 (担当: 和田 哲幸) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 薬物乱用とは何か、簡単に調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間: 60分

概要 薬物乱用防止について、薬物の本当の怖さとその問題点を理解する。

セクション1 薬物乱用とは何?

セクション概要 薬物乱用について説明する。

セクション2 薬物乱用の規制

セクション概要 法規制の対象となる薬物について説明する。

セクション3 医療用麻薬って何?

セクション概要 医療用麻薬について説明する。

第13回 神経と情報伝達 (担当: 和田 哲幸) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 神経と情報伝達について予習を行う。

予習時間: 60分

復習内容: 授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間: 60分

概要 生体における情報伝達について理解する。

セクション1 恒常性の維持

セクション概要 恒常性の維持について概説する。

セクション2 生体における情報伝達手段 (1)

セクション概要 ホルモンによる体内調節について概説する。

セクション3 生体における情報伝達手段 (2)

セクション概要 神経伝達物質による情報伝達について概説する。

第14回 生体の防御・免疫（担当：角谷 晃司）（授業形式：講義および演習）

予習内容：生体防御のしくみについて予習を行う。

予習時間：60分

復習内容：授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間：60分

概要 生体防御機構である免疫について理解する。

セクション1 免疫にかかわる細胞

セクション概要 免疫にかかわる細胞の種類と自然免疫について概説する。

セクション2 獲得免疫

セクション概要 細胞性免疫と体液性免疫について概説する。

セクション3 免疫にかかわる疾患と治療

セクション概要 花粉症やエイズなど免疫にかかわる疾患とワクチンについて概説する。

第15回 がん（担当：中村 恭子，八軒 浩子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：がんの基礎知識について予習を行う。

予習時間：60分

復習内容：授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間：60分

概要 がんの基礎知識および遺伝子治療について学ぶ。

セクション1 がんの基礎知識

セクション概要 がんとその治療法について学ぶ。

セクション2 遺伝子治療（1）

セクション概要 遺伝子治療および遺伝子治療用ベクターの種類について学ぶ。

セクション3 遺伝子治療（2）

セクション概要 がん遺伝子治療について学ぶ。

レポート課題

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 :	生命の科学【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Science of Life				
担当者 :	八軒 浩子				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	前期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

ヒトゲノムの解読により我々を含む生命体の謎が解き明かされつつある。また、生命科学を通して生命体の「誕生」、「疾病」そして「死」など、様々な現象が明らかとなってきた。この講義では、近年飛躍的に進歩している生命科学の分野において、我々の身近に関わる、細胞、遺伝子、代謝、食、がんなどについて知っておかなければならない事を、生物学を学んでいない学生に対しても理解できる範囲で紹介する。

この授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。各回の作成者は授業計画の内容に記載のとおりです。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講者はこの授業を履修することによって、医学、薬学、農学、理学を問わず、一般新聞に掲載されるサイエンス記事が理解できるようになることが目標である。

この科目の修得は、本学の定めるディプロマポリシー2.の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

15回すべての講義動画を視聴した学生のみ評価の対象であり、第1回レポート課題 30%

第2回レポート課題 30%

第3回レポート課題 30%

ディスカッションへの参加 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

レポート課題の提出締切後に「レポート課題の要点と解説」をGoogleClassroomに掲載します。

■ 教科書

適時プリント配布

■ 参考文献

[ISBN]9784758120005 『生命科学 改訂第3版』（東京大学生命科学教科書編集委員会, 羊土社 : 2009）

[ISBN]9784807903436 『ウォーレス現代生物学 上』（ウォーレス, 東京化学同人 : 1991）

[ISBN]9784807903443 『ウォーレス現代生物学 下』（ウォーレス, 東京化学同人 : 1992）

[ISBN]9784315520620 『細胞の分子生物学 第6版』（ALBERTS, ニュートンプレス : 2017）

[ISBN]9784410281488 『フォトサイエンス生物図録』（数研出版編集部, 数研出版 : 2023）

■ 関連科目

なし

■ 授業評価アンケート実施方法

学部実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

角谷 晃司 6号館 4階 kakutani@msa.kindai.ac.jp
中村 恭子 38号館 9階 kyoko@phar.kindai.ac.jp
和田 哲幸 7号館 4階 tetsu@phar.kindai.ac.jp
八軒 浩子 7号館 4階 hhachi@phar.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

平日9時～18時、上記研究室で受け付けます。メールでの質問、歓迎します。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 生物の基本概念と基本構造 (担当: 角谷 晃司) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 生物の基本概念と基本構造について予習を行う。

予習時間: 60分

復習内容: 授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間: 60分

概要 生物のもつ2つの対立した特性、多様性と共通性を知ること、生物とは何かをという基本概念と基本構造を学ぶ。

セクション1 生命の多様性と共通性について

セクション概要 異なる生物もすべて生きているのは何故かを考える。

セクション2 細胞とは

セクション概要 細胞の中にある細胞小器官について説明する。

セクション3 原核生物と真核生物の違い

セクション概要 原核生物と真核生物の違いについて説明する。

第2回 生殖細胞 (担当: 角谷 晃司) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 生殖細胞について予習を行う。

予習時間: 60分

復習内容: 授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間: 60分

概要 精子と卵子などの生殖細胞の形成過程やホルモンの働きについて理解する。

セクション1 生殖細胞について

セクション概要 精子と卵子が作られる生殖器について説明する。

セクション2 精子と卵子の形成について

セクション概要 精子と卵子の形成過程を説明する。

セクション3 女性ホルモンの働き

セクション概要 女性ホルモンの働きを説明する。

第3回 生命の多様性 (担当: 角谷 晃司) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 生命の多様性について予習を行う。

予習時間: 60分

復習内容: 授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間: 60分

概要 生物が世代と共に環境に適応する変化(進化)のしくみについて理解する。

セクション1 ヒトの受精と発生

セクション概要 ヒトの受精とヒトの発生初期について説明する。

セクション2 染色体と性の決定

セクション概要 性を決定する染色体について説明する。

セクション3 多様性を生む減数分裂について

セクション概要 体細胞分裂と減数分裂の違いについて説明する。

第4回 生命の設計図 (担当: 八軒 浩子) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: DNAからタンパク質が作られるセントラルドグマについて予習を行う。

予習時間: 60分

復習内容: 授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間: 60分

概要 生命体の設計図と言われるDNAの複製機構、DNAからタンパク質が作られるしくみについて解説する。

セクション1 遺伝子の本体DNA

セクション概要 遺伝子の本体であるDNAについて説明する。

セクション2 DNAの複製

セクション概要 DNAの複製について説明する。

セクション3 遺伝子とタンパク質

セクション概要 DNAの遺伝情報をもとにタンパク質が合成される過程について説明する。

第5回 遺伝子組換え (担当: 八軒 浩子) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 制限酵素やベクターなどを用いる遺伝子組換え技術について予習を行う。

予習時間: 60分

復習内容: 授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間: 60分

概要 遺伝子組換えについて説明する。

セクション1 遺伝子組換え技術

セクション概要 遺伝子組換え技術について説明する。

セクション2 遺伝子操作

セクション概要 遺伝子組換えによる医薬品や作物などについて説明する。

セクション3 遺伝子治療

セクション概要 遺伝子治療について説明する。

第6回 再生医療 (担当: 八軒 浩子) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 幹細胞について予習を行う。

予習時間: 60分

復習内容: 授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間: 60分

概要 機能不全に陥った生体組織などの機能を再建する再生医療について説明する。

セクション1 幹細胞

セクション概要 幹細胞であるES細胞、iPS細胞について説明する。

セクション2 クローン動物の作製

セクション概要 クローン動物について説明する。

セクション3 再生医療

セクション概要 再生医療について説明する。

第7回 代謝経路の基礎 (担当: 中村 恭子) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 食物を摂取した後どのように体内でタンパク質、糖質および脂質が代謝されるのかについて予習を行う。

予習時間: 60分

復習内容: 授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間: 60分

概要 食物がどのように消化されるのかを理解し、特に糖代謝についてどのように制御されているかそして糖尿病について学ぶ。

セクション1 食物分子の分解

セクション概要 タンパク質、糖質および脂肪の消化について学ぶ。

セクション2 糖代謝 (1)

セクション概要 血糖値の制御について学ぶ。

セクション3 糖代謝 (2)

セクション概要 糖尿病について学ぶ。

第8回 細胞周期とがん (担当: 中村 恭子) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 一つの細胞が二つに増殖する過程について予習を行う。

予習時間: 60分

復習内容: 授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間: 60分

概要 細胞がどのように増殖するのか、正常細胞とがん細胞の違いを理解し、がんの成り立ちを学ぶ。

セクション1 細胞周期とは

セクション概要 細胞周期について学ぶ。

セクション2 細胞周期の制御およびチェックポイント機構

セクション概要 細胞周期の制御およびチェックポイント機構に関わる因子について学ぶ

セクション3 がんの成り立ち

セクション概要 正常細胞、がん細胞およびがんの成り立ちについて学ぶ。

第9回 遺伝の仕組み (担当: 中村 恭子) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 遺伝とはどういうことかについて予習を行う。

予習時間: 60分

復習内容: 授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間: 60分

概要 ヒトおよび植物の遺伝について理解し、特にヒトでの様々な遺伝の種類について学ぶ。

セクション1 ヒトおよび植物の遺伝

セクション概要 ヒトおよび植物の遺伝について学ぶ。

セクション2 優性形質および劣性形質

セクション概要 ヒトにおける優性形質および劣性形質について学ぶ。

セクション3 遺伝性腫瘍

セクション概要 遺伝性腫瘍について学ぶ。

第10回 生体の恒常性 (担当: 和田 哲幸) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 栄養素とは何かについて予習を行う。

予習時間: 60分

復習内容: 授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間: 60分

概要 ヒトはなぜ食べるのか? 健康を考えるうえで、まず思い出すのが“食事”です。健康を維持するための食について理解します。

セクション1 なぜヒトは食べるのか?

セクション概要 なぜヒトは食事をする必要があるのかについて簡単に説明する。

セクション2 栄養素とは何?

セクション概要 3大栄養素の役割について簡単に説明する。

セクション3 消化とは? 吸収とは?

セクション概要 消化と吸収について簡単に説明する。

第11回 生体の恒常性 (担当: 和田 哲幸) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 消化器官の構造と役割について予習を行う。

予習時間: 60分

復習内容: 授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間: 60分

概要 ヒトはなぜ食べるのか? 消化と吸収に関わる消化器系の役割とそのはたらきについて理解する。

セクション1 食べること

セクション概要 口腔から直腸までの消化管のはたらきについて説明する。

セクション2 美味しく食事する!

セクション概要 味を感じる仕組みについて説明する。

セクション3 健康を維持するために

セクション概要 健康長寿を目指す、バランスの取れた食事って?

第12回 薬物乱用 (担当: 和田 哲幸) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 薬物乱用とは何か、簡単に調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間: 60分

概要 薬物乱用防止について、薬物の本当の怖さとその問題点を理解する。

セクション1 薬物乱用とは何?

セクション概要 薬物乱用について説明する。

セクション2 薬物乱用の規制

セクション概要 法規制の対象となる薬物について説明する。

セクション3 医療用麻薬って何

セクション概要 医療用麻薬について説明する。

第13回 神経と情報伝達 (担当: 和田 哲幸) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 神経と情報伝達について予習を行う。

予習時間: 60分

復習内容: 授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間: 60分

概要 生体における情報伝達について理解する。

セクション1 恒常性の維持

セクション概要 恒常性の維持について概説する。

セクション2 生体における情報伝達手段 (1)

セクション概要 ホルモンによる体内調節について概説する。

セクション3 生体における情報伝達手段 (2)

セクション概要 神経伝達物質による情報伝達について概説する。

第14回 生体の防御・免疫（担当：角谷 晃司）（授業形式：講義および演習）

予習内容：生体防御のしくみについて予習を行う。

予習時間：60分

復習内容：授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間：60分

概要 生体防御機構である免疫について理解する。

セクション1 免疫にかかわる細胞

セクション概要 免疫にかかわる細胞の種類と自然免疫について概説する。

セクション2 獲得免疫

セクション概要 細胞性免疫と体液性免疫について概説する。

セクション3 免疫にかかわる疾患と治療

セクション概要 花粉症やエイズなど免疫にかかわる疾患とワクチンについて概説する。

第15回 がん（担当：中村 恭子，八軒 浩子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：がんの基礎知識について予習を行う。

予習時間：60分

復習内容：授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間：60分

概要 がんの基礎知識および遺伝子治療について学ぶ。

セクション1 がんの基礎知識

セクション概要 がんとその治療法について学ぶ。

セクション2 遺伝子治療（1）

セクション概要 遺伝子治療および遺伝子治療用ベクターの種類について学ぶ。

セクション3 遺伝子治療（2）

セクション概要 がん遺伝子治療について学ぶ。

レポート課題

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 :	技術と倫理【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Technology and Ethics				
担当者 :	平野 繁樹				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	前期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :	理工学部機械工学科：機械工学コース学習・教育目標：A-3, JABEE基準1.2 : (a)(b)に関与、 理工学部電気電子通信工学科：学習・教育到達目標D1の達成に主体的に関与				

■ 授業概要

近年、自動車会社及び自動車部品メーカー等による品質不正問題や、先端技術を他国へ漏らす技術流出問題など、技術者の道徳的倫理が問われる問題が多く発生している。(今後とも技術競争の苛烈さが増して技術が高度化していく中で、最も根本的な技術者としての道徳的倫理観が蔑ろにされる状況が危惧される。)

これからの技術者は、持続的な生活基盤を支える環境やエネルギーに配慮し、関連する法規を遵守しながら、自ら生み出す製品の社会的な影響を十分に理解する必要がある。その上で、社会に対して安全で信頼性の高い技術を開発し提供していくことが求められる。

本講では、今後、専門分野を深く修得していく上で、健全な科学技術者のあるべき姿を考え、それを実践していくための正しい道徳観・倫理観を涵養・修得することを主眼とする。この授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施する。各回の作成者は授業計画の内容に記載している。技術と倫理では、理工学部履修要項に準拠し、1/3以上の欠席すなわち5回以上の未受講があった場合は不合格とする。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

グローバル化と標準化が進む現代の科学技術世界において、これからの科学技術者の在り方、基本として持つべき科学技術倫理観を養うことができる。下記に具体的な項目を示す

- 1) 企業の中で必要とされる技術者倫理を身につけることができる
- 2) 製造物責任法を知ることができる
- 3) 科学技術者として必要な倫理を知ることができる
- 4) 品質問題、環境問題、安全問題と情報問題と技術者倫理の関係を知ることができる
- 5) 知的財産権について知ることができる
- 6) リスク問題の対処法を知ることができる

本科目は修得は、学科の定めるディプロマポリシーの達成に関与しています（例）機械工学科ディプロマポリシー 1. 1)）。

■ 成績評価方法および基準

レポート 30%

定期課題レポート 70%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

レポート課題の提出締切終了後に「レポート課題の要点と解説」をGoogle Classroomに掲載します。

■ 教科書

[ISBN]9784759819779 『技術者による実践的工学倫理 第4版 先人の知恵と戦いから学ぶ』（（一社）近畿化学協会 工学倫理研究会, 化学同人：2019)

-

■ 参考文献

■ 関連科目

「技術倫理と知的財産」

■ 授業評価アンケート実施方法

期間内で実施します

■ 研究室・メールアドレス

38号館 tozaki@mech.kindai.ac.jp

38号館N602 fujita@mech.kindai.ac.jp

38号館N504 tanida@mech.kindai.ac.jp

38号館N604 hirano@mech.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

月曜日1限

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 工学倫理をはじめるとあって（東崎）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書Ⅰ部第1章を読む

予習時間：30分

復習内容：工学倫理がなぜ必要かをまとめる

復習時間：30分

概要 科学技術者の社会における役割と、これから学習していく工学倫理の内容について説明ができる

セクション1 工学倫理を学習する理由 セクション概要 工学倫理を学習する理由を明確にし、その後工学倫理が関連した事件と大学で工学倫理の学習がスタートして経緯を理解する。

セクション2 技術者倫理と技術倫理 セクション概要 工学倫理、技術倫理、技術者倫理の定義を学習し、その違いを明確に理解することができる

セクション3 専門技術者と技術（者）倫理 セクション概要 技術者に求められる素養を理解し、技術者に求められている倫理性も理解することができる。

第2回 技術者倫理が問われる場合（東崎）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書Ⅰ部第2章を読む

予習時間：30分

復習内容：技術者倫理・技術倫理が問われる場合の違いを理解する

復習時間：30分

概要 技術は危険なものであり、技術者倫理が問われる場合はいろいろあることを認識し、過去の教訓を説明することができる

セクション1 技術評価とは 技術は危険なものであるが、受益者（公衆）はその技術がもたらす利便性と危険性を比較して、技術評価をしていることを理解する

セクション2 技術者倫理が問われる場合 技術者倫理が問われる場合はいろいろあることを認識し、それぞれの事例を教訓として学ぶ必要がある

セクション3 最も単純な倫理違反 「工学倫理」の理解が不足し、品質不正、食品偽装、論文ねつ造などの倫理問題が発生していることを学ぶ

第3回 技術者と倫理（東崎）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書Ⅰ部第3章を読む

予習時間：30分

復習内容：技術者に求められる倫理をまとめる

復習時間：30分

概要 日本の技術の特徴、日米の技術者の違いを理解し、どうして技術に高い倫理性が求められるかを説明できる

セクション1 日本の技術 「大衆人気商品」につぎ込んだ小遣いが、「成熟した商業技術」の開発資金となった また、新幹線のように、信頼性と安全性を兼ね備えた技術もあることが説明できる

セクション2 日米の技術者 米国はPEとPh.D、日本は理学修士・工学修士が中心に技術開発を担ってきた過去の技術者が、築きあげた大衆からの尊敬と信頼を維持することが大切であることを知る

セクション3 技術者と倫理 「危険なものを安全に使いこなす知恵」を正しくつかわないと、恐ろしい結果がまっているために、技術者に高い倫理性が求められていることを知る

第4回 専門職と組織人の倫理（東崎）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書Ⅰ部第4章を読む

予習時間：30分

復習内容：組織人であるために必要な事項を書き出す

復習時間：30分

概要 専門職と組織人とは何かを理解し、それぞれの役割と大切にしなければならないことが説明できる

セクション1 専門職であるということ 技術者には専門的能力に加え、高い倫理性が要求される それに反すると大衆の信頼を失い業務ができなくなることを知る

セクション2 技術と信頼 専門職とは「大衆には理解できない職務」を任されている職で信頼されることが必要であることを理解する

セクション3 組織人であるということ 技術者は組織に属して活動する 組織ではなんでも報告・連絡・相談する“ほうれんそう”が大切であることを知る

第5回 倫理問題への対応（東崎）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書Ⅰ部第5章を読む

予習時間：30分

復習内容：公益通報者保護法をまとめる

復習時間：30分

概要 日本の企業の中で行われている倫理問題の対応の現状とその活動、さらには国際的舞台上でのとりくみについて説明ができる

セクション1 日本企業のとりくみ 「小集団活動」を基本とし、「危険予知」「ヒヤリハット」などの手法を用いて、日常活動を点検しあう日本の方式が、工学倫理に対して有効であることを理解する

セクション2 工学倫理にも小集団活動を 倫理意識の徹底、不倫理行動の撲滅、危険予知やヒヤリハット活動を小集団で行うことが重要であることを知る

セクション3 国際的な舞台上でのとりくみ 国際的な工学倫理に単純な正解はない 相手国の事情だけで片づく話でもないグローバル・スタンダードで片づけられる話でもない 違いを理解し合うこと、そしてここでも、話し合うことが大切であることを理解する

第6回 製造物責任と技術者（東崎）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書Ⅰ部第6章を読む

予習時間：30分

復習内容：日本・EC・アメリカのPL制度を比較しまとめる

復習時間：30分

概要 技術者との関連が深いPL法（製造物責任法）の仕組みについて理解し、PL法といかに技術者が対応すべきかを説明できる

セクション1 製造物責任法（PL法）とは PL法では、欠陥をこうむったことさえ立証できれば、損害賠償を請求できるのが特徴であることを理解する

セクション2 企業の海外でのPL訴訟事例とPL法成立経緯 米国には懲罰的賠償制度により、巨額の損害賠償となる 日本では、細川内閣の出現で、製造側、消費者側の妥協がはかられ、PL法が成立することになったことを知る

セクション3 各国との比較とPL法制定後の状況 日米欧でPL法はおおむね内容は共通であるが、「懲罰的賠償」は米国のみに認められている また、米国では弁護士が、被害者に競ってPL訴訟を提案したりすることを知る

第7回 実践的技術者倫理のすすめ（東崎）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書Ⅰ部第7章を読む

予習時間：30分

復習内容：事例研究の注意点をまとめる

復習時間：30分

概要 技術者人生の中で、工学倫理にかかわるような事件に巻きこまれないようにする方法を説明できる

セクション1 実践的技術者倫理 実験などを安全に効率よく実施するための5S活動や、安全推進キーファクター5Mを知る

セクション2 事例から学ぶ1 事例研究とグループ討論が工学倫理を学ぶために、効果的な学習方法であることを知る

セクション3 事例から学ぶ2 事例紹介では、工学倫理の基本は、「危険なものを安全に使いこなす仕事」をしているという明確な自覚を持つことであると再確認することが重要と理解する

第8回 安全と工学倫理（東崎）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書Ⅱ部第1章を読む

予習時間：30分

復習内容：安全推進のキーファクター5Mをまとめる

復習時間：30分

概要 企業で発生する可能性のある安全問題の事例を取り上げ、公衆の安全に対する科学技術者の責任について説明ができる

- セクション1 技術者と安全 実験などを安全に効率よく実施するための5S活動や、安全推進キーファクター5Mを知る
セクション2 各種安全活動 1972年に制定された労働安全衛生法が労働災害の死亡者数を減少させるのに、貢献したことを理解する
セクション3 品質保証と排出物質の安全 PRTR法（化学物質排出把握管理促進法）やRC（レスポンスブル・ケア）活動の内容を理解する

第9回 リスクの評価と工学倫理（東崎）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書Ⅱ部第2章を読む

予習時間：30分

復習内容：技術者がかかわるリスクの例をまとめる

復習時間：30分

概要 環境、安全等、人々をとりまくリスクは多様である これらのリスクに対する科学技術者の責任について記述できる

セクション1 リスクとは リスクの大きさは、被害規模×発生確率 であることを知る

セクション2 リスクとはマネジメントとリスク評価 ①本質安全設計②安全寿命設計③フェイルセーフ設計④損傷許容設計の五つが信頼性設計の代表的な考え方であることを知る

セクション3 リスクへの対応・評価と工学倫理 ①リスクの保有②リスクの削減③リスクの分散④リスクの移転⑤リスクの回避 のいずれかを選択することがリスクへの対応方法であることを理解する

第10回 環境・資源・エネルギー問題（東崎）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書Ⅱ部第3章（～142p）を読む

予習時間：30分

復習内容：環境を考える三つの主張を書き出す

復習時間：30分

概要 世界で大きな問題となっている環境・資源・エネルギー問題について、現在までの状況と技術者がとるべき姿勢について説明できる

セクション1 歴史から見る環境問題 環境容量とは、環境の浄化能力の限界値を表す指標で、許容される排出総量を与える場合と、自然の浄化能力の限界値から考える場合の二つがあることを理解する

セクション2 現在の環境問題 第二次世界大戦後の汚染問題の状況変化を理解する

セクション3 資源とエネルギー問題 世界の一次エネルギー消費量は、1965年から年平均2.6%で増加を続け、2015年には130億トン（toe）を越えた この50年間で、3.5倍の驚異的な伸びを示していることを知る

第11回 資源循環型社会と地球規模の環境問題（東崎）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書Ⅱ部第3章（143p～）を読む

予習時間：30分

復習内容：京都議定書とパリ協定の違いをまとめる

復習時間：30分

概要 資源循環型社会の概念と地球規模の環境問題に対する技術者の使命について説明できる

セクション1 資源循環型社会の概念と倫理問題 廃棄物管理と資源循環のポイントは「3Rイニシアティブ」と「3P（汚染者負担原則、Polluter-Pays Principle）」であることを理解する

セクション2 地球規模の環境問題 地球温暖化ガス係数やオゾン層破壊とフロンとの関係などを理解する

セクション3 地球温暖化問題 温暖化の基本対策は、「緩和」と「適応」の二つであることを知る

第12回 技術者と法規（東崎）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書Ⅱ部第4章を読む

予習時間：30分

復習内容：技術者に関係のある法規をまとめる

復習時間：30分

概要 法規と倫理の関係を整理し、「倫理」問題における法律の役割を考え、法規の役割を説明できる

セクション1 法規とは 技術関係の法規は、「危険なものを安全に使いこなす」ことの専門職である技術者が参画してつくってきた貴重な知恵の集積であることを理解する

セクション2 法規と注意義務 一般の過失と業務上過失に対する刑の違いを知る

セクション3 技術者をとりまく法規の概観 技術者は、自分に関係の深い法規をよく理解しておいて、そのほかのものは必要に応じて調べるのが現実的だ その法規の専門家などによく相談することも大切だ 以上のことを理解する

第13回 知的財産と工学倫理（藤田）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書Ⅱ部第5章を読む

予習時間：30分

復習内容：「発明」「考案」「意匠」の違いをまとめる

復習時間：30分

概要 知的財産権について学習し、その後知的財産権問題の事例を紹介し、知的財産問題と工学倫理の関係を説明できる

セクション1 知的財産権制度について 知的財産権の制度の趣旨を理解し、日本における知的財産政策を理解する

セクション2 知的財産権の国際問題と職務発明 知的財産権の国際的な問題を理解し、組織の中で行う職務発明についての理解を深める

セクション3 不正競争防止法について 公平な競争を阻害する行為の禁止を定めた不正競争防止法に基づく各事例を通して、知的財産保護に対する理解を深める

第14回 バイオテクノロジーと工学倫理（谷田）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書Ⅲ部第1章を読む

予習時間：30分

復習内容：ES細胞とiPS細胞の違いをまとめる

復習時間：30分

概要 人類に計りしれない恵をもたらす可能性があるバイオテクノロジーの持つ危険性とその技術の受け入れ方についての工学倫理の観点から説明できる

セクション1 バイオテクノロジーとは 人類が生物環境や生命を操作する技術を手に入れ始めたことを学ぶ 次に法規がどのような観点で整備されているのか理解する。そのうえで、技術者や人類がどのように技術を受け入れるか考える

セクション2 生命倫理とは 生命倫理を理解し、ヘルシンキ宣言を理解する。そして、個人情報とインフォームドコンセントの重要性を理解する

セクション3 近畿大学の生命倫理規定とは 具体的な生命倫理規定を理解する

第15回 情報技術と工学倫理（谷田）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書Ⅲ部第2章を読む

予習時間：30分

復習内容：ICTの特性についてまとめる

復習時間：30分

概要 最近重要となってきた情報問題の事例を取り上げ、技術者の立場から、情報技術の在り方について説明ができる

セクション1 情報通信技術とは 情報通信技術の広さを学ぶ、次に法規がどのような観点で整備されているのか理解する。そのうえで、技術者や人類がどのように技術を受け入れるか考える

セクション2 ICTに関係する条約と法規とは 情報処理技術に関する法規を理解し、何が犯罪となるのか理解する 情報管理方法を理解する

セクション3 ICTの進歩とこれからの社会へ ICTの将来を考える。事例を知る（温故知新）そして、倫理観取得への心得を学ぶ

定期試験

定期試験は、課題を定めたレポートとする

■ ホームページ

■ 実践的な教育内容

-

科目名 :	芸術鑑賞入門【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Introduction to Appreciation of Art				
担当者 :	松岡 知華				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	前期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

芸術鑑賞とはどのようにすればいいのでしょうか。

もちろん感性を使って鑑賞するのも大切です。しかし芸術は感性だけでなく様々な視点を持つことにより、より深くその面白さを理解することができます。

本授業では日本美術の作品（絵画、工芸、芸能）を取り上げ、その流れを把握すると同時に当時の社会背景や文化、また作品の技法や受容などと共に考察し芸術鑑賞の楽しさを学びます。

授業は作品の図版や文献資料、映像資料などを用いて進めていきます。

コンテンツ作成：島田有紀

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

PBL（課題解決学習）・ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

自主学習支援（e-learning等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

日本美術作品の鑑賞に必要な基本的な視点を習得することによって、芸術に親しむことを目標とする。この科目の修得は、本学が定めるディプロマポリシー 3の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

中間試験①、② 40%

学期末期試験レポート 40%

学生間ディスカッション 20%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

課題の要点と解説をGoogle Classroomに掲載します。

■ 教科書

特に指定しない。

授業ごとに適宜資料を配布。

■ 参考文献

[ISBN]9784568400656 『増補新装 カラー版日本美術史』（辻 惟雄, 美術出版社：2003）

[ISBN]9784568400625 『カラー版 日本美術史年表』（辻 惟雄, 美術出版社：2002）

[ISBN]9784568400830 『増補新装 カラー版 東洋美術史』（前田耕作, 美術出版社：2012）

■ 関連科目

-

■ 授業評価アンケート実施方法

学部実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

matsuoka_chika[at]kindai.ac.jp

※ [at] は @ に置き換えてください。

■ オフィスアワー

質問等はGoogle Classroomもしくはメールで受け付けます。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 作品はどう見るのか（講義形式：講義及び演習）

予習内容：自身が作品を見る際にどのような点に関心があるのかについてまとめておく。

予習時間：30分

復習内容：授業配布の資料をもとに、作品鑑賞の要点を確認しておく。

復習時間：60分

概要 作品が制作された時代背景や文化、文献などがどのように関わっているのか、また絵に描かれているモチーフの読み解き方など、絵画鑑賞の基本を学ぶ。

セクション1 芸術はなぜわからないのか

セクション概要 現在、なぜ芸術がわかりにくいとなっているのかについて

セクション2 時代による作品傾向

セクション概要 古代から近代までの日本美術の流れについて

セクション3 作品から読み解く情報

セクション概要 作品から何がわかるのかについて

第2回 20世紀のアート市場はどのように成立をしたのか（講義形式：講義及び演習）

予習内容：現代芸術の概要について予習する。

予習時間：30分

復習内容：授業配布の資料をもとに、現代芸術の位置づけや作品の売買、ポップアートについて確認し、それらを踏まえて多様化する現代芸術の作品鑑賞をする。

復習時間：60分

概要 米国の連邦美術計画などをとりあげ、20世紀以降いかに現代芸術の市場が広がっていったかを学ぶ。

セクション1 西洋美術の流れ

セクション概要 紀元後から近代までの西洋美術の流れについて

セクション2 原風景-伝統的芸術観

セクション概要 伝統的芸術観と共同体について

セクション3 理念なき形式-アメリカ的芸術

セクション概要 アメリカの現代芸術はどのように作られたかについて

セクション4 政治と芸術-ヘゲモニックな芸術利用

セクション概要 現代において芸術とはどのように捉えることができるのかについて

第3回 絵巻物にみる物語表現（講義形式：講義及び演習）

予習内容：日本の物語の概要について予習する。

予習時間：30分

復習内容：授業配布の資料をもとに、絵巻物の特徴やなぜそのような造形になるのか時代背景について確認し、現代の作品（映画や漫画など）とどのように関係し変化したのかを考えながらそれらに関連する作品鑑賞をする。

復習時間：60分

概要 日本美術の中の絵巻物を見ていく。絵巻物は日本独自の絵画表現であり、物語を題材にしたものが多い。その絵巻物の見方や描き方の基本、その独自性について学ぶ。

セクション1 絵巻とは

セクション概要 絵巻の基本や鑑賞方法について

セクション2 《源氏物語絵巻》について

セクション概要 段落式絵巻物について

セクション3 《信貴山縁起絵巻》について

セクション概要 連続式絵巻物について

セクション4 《鳥獣人物戯画》について

セクション概要 詞書のない絵巻物について

第4回 肖像画にみる人物表現（講義形式：講義及び演習）

予習内容：様々な国の肖像画の概要について予習する。

予習時間：30分

復習内容：授業配布の資料をもとに、人物表現の特徴やなぜそのような造形になるのか時代背景、受容について確認し、現代の人物イメージ表現、女性像（SNSに見られるものなど）とどのように関係し変化したのかを考えながらそれらに関連する作品鑑賞をする。

復習時間：60分

概要 西洋の肖像画とは異なり、日本の肖像画には写実表現が少ない。ではなぜ実在の人物を写實的に描かないのか。また日本の人物表現はどのような特徴があるのかを学ぶ。

セクション1 似絵と肖像画とは

セクション概要 似絵と肖像画の基本について

セクション2 似絵の人物表現

セクション概要 人物像の異なる表現について

セクション3 浮世絵の人物表現①

セクション概要 浮世絵の美人画の全身像表現について

セクション4 浮世絵の人物表現②

セクション概要 浮世絵の美人画の顔表現について

第5回 風俗画にみる日本文化①（講義形式：講義及び演習）

予習内容：近世の日本文化の概要について予習する。

予習時間：30分

復習内容：授業配布の資料をもとに、風俗画の特徴やなぜそのような造形になるのか時代背景について確認し、現代の文化や風俗表現（YouTubeやSNSなど）とどのように関係し変化したのかを考えながらそれらに関連する作品鑑賞をする。

復習時間：60分

概要 近世になり日本のなかで風俗画が多く制作されるようにある。では、その風俗画とはどのような成り立ちを持つのか、また当時の人々はどのように生活していたのかなどを学ぶ。

セクション1 洛中洛外図とは

セクション概要 洛中洛外図の基本や鑑賞方法について

セクション2 町をみる洛中洛外図

セクション概要 “都”を描く洛中洛外図について

セクション3 意味を持つ洛中洛外図

セクション概要 “権力”を描く洛中洛外図について

第6回 風俗画にみる日本文化②（講義形式：講義及び演習）

予習内容：近世の日本文化の概要について予習する。

予習時間：30分

復習内容：授業配布の資料をもとに、風俗画の特徴やなぜそのような造形になるのか時代背景について確認し、現代の文化や風俗表現（YouTubeやSNSなど）とどのように関係し変化したのかを考えながらそれらに関連する作品鑑賞をする。

復習時間：60分

概要 近世になり日本のなかで風俗画が多く制作されるようにある。では、その風俗画とはどのような成り立ちを持つのか、また当時の人々はどのように生活していたのかなどを学ぶ。

セクション1 洛中洛外図からの展開

セクション概要 風俗画と洛中洛外図の関係について

セクション2 場所が特定できる風俗画

セクション概要 場所が描かれる風俗画について

セクション3 場所が不特定の風俗画①

セクション概要 出来事が描かれる風俗画について①

セクション4 場所が不特定の風俗画②

セクション概要 出来事が描かれる風俗画について②

第7回 油彩画にみる西洋受容（講義形式：講義及び演習）

予習内容：近代の西洋画、日本画の概要について予習する。

予習時間：30分

復習内容：授業配布の資料をもとに、西洋画の特徴や西洋文化の受容や時代背景について確認し、現代の文化や写実表現（写真やCGなど）とどのように関係し変化したのかを考えながらそれらに関連する作品鑑賞をする。

復習時間：60分

概要 日本では近代から本格的に用いられる西洋の技法、油彩画。では現代では多く国内で見られる油彩画が当時どのように描かれ広まったかを学ぶ。

セクション1 油彩画と日本

セクション概要 近代の油彩画と日本の西洋受容について

セクション2 油彩画の受容と作品①

セクション概要 油彩画の写実性と日本のモチーフの関係について

セクション3 油彩画の受容と作品②

セクション概要 油彩画の色彩表現の変化について

セクション4 油彩画と日本画

セクション概要 油彩画が与えた日本画への影響

第8回 陶磁器にみる日本の意匠（講義形式：講義及び演習）

予習内容：日本の代表的な陶磁器について予習する。

予習時間：30分

復習内容：授業配布の資料をもとに、陶磁器の受容や時代背景について確認し、現代の身の回りにおける陶磁器と意匠や受容を含めどのように関係し変化したのかを考えながらそれらに関連する作品鑑賞、または使用をする。

復習時間：60分

概要 日本の各地域では特徴的な陶磁器が制作されている。では、どのような陶磁器作品が制作がされ、受容されたのかを学ぶ。

セクション1 室町時代のやきもの

セクション概要 室町時代に流行する輸入のやきものについて

セクション2 桃山時代のやきもの

セクション概要 桃山時代に流行する国産のやきものについて

セクション3 江戸時代のやきもの

セクション概要 江戸時代のやきものと欧州について

第9回 漆器にみる日本の意匠（講義形式：講義及び演習）

予習内容：日本の代表的な漆器について予習する。

予習時間：30分

復習内容：授業配布の資料をもとに、漆器の受容や時代背景について確認し、現代の身の回りにおける漆器と意匠や受容を含めどのように関係し変化したのかを考えながらそれらに関連する作品鑑賞、または使用をする。

復習時間：60分

概要 日本の中で漆器は独自の技法や意匠が生まれ定着をする。では、どのような漆器作品が制作がされ、受容されたのかを学ぶ。

セクション1 漆器とは

セクション概要 日本の漆器の基本について

セクション2 平安～鎌倉時代の漆器

セクション概要 和様の意匠の漆器について

セクション3 室町～桃山時代の漆器

セクション概要 流派と漆器の意匠について

セクション4 江戸時代の漆器

セクション概要 個性的な意匠の漆器について

第10回 服飾にみる意匠① 日本の着物（講義形式：講義及び演習）

予習内容：日本の代表的な着物について予習する。

予習時間：30分

復習内容：授業配布の資料をもとに、着物の受容や時代背景について確認し、現代の身の回りにおける着物と意匠や受容、コーディネートを含めどのように関係し変化したのかを考えながらそれらに関連する作品鑑賞、または使用をする。

復習時間：60分

概要 日本の着物が、時代や身分によってによってどのような意匠になっていくのかを学ぶ。

セクション1 平安時代の着物

セクション概要 公家の装束について

セクション2 鎌倉～室町時代の着物

セクション概要 中世の武家の装束について

セクション3 桃山時代の着物

セクション概要 近世の武家の装束について

セクション4 江戸時代の着物

セクション概要 市井の人々の着物について

第11回 服飾にみる意匠② 洋装（講義形式：講義及び演習）

予習内容：日本の代表的な洋服について予習する。

予習時間：30分

復習内容：授業配布の資料をもとに、洋服の受容や時代背景について確認し、現代の身の回りにおける洋服のデザインや流行とどのように関係し変化したのかを考えながらそれらに関連する作品鑑賞、または使用をする。

復習時間：60分

概要 近代に入り、洋装が社会背景や身分制度と関わりつつどのように変化をしてきたのかを学ぶ。

セクション1 18世紀以降のファッション

セクション概要 18世紀以降のファッションの変化について

セクション2 需要が広がる既製服

セクション概要 既製服の成立と需要について

セクション3 シャネル①

セクション概要 シャネルデザインの特徴について

セクション4 シャネル②

セクション概要 シャネルデザインの特徴について

セクション5 継承されるファッション

セクション概要 ファッションデザインの継承と革新について

第12回 信仰にみる神仏表現（講義形式：講義及び演習）

予習内容：日本の信仰について予習。

予習時間：30分

復習内容：授業配布の資料をもとに、信仰の受容や時代背景について確認し、現代の信仰表現とどのように関係し変化（来迎図のドローン表現など）したのかを考えながらそれらに関連する作品鑑賞をする。

復習時間：60分

概要 日本の信仰に関する造形がどのように表現され受容されたのかを学ぶ。

セクション1 極楽浄土と地獄 浄土教

セクション概要 浄土教の極楽浄土と地獄表現について

セクション2 装飾と信仰 法華経

セクション概要 法華経の装飾と修行について

セクション3 神と仏 本地垂迹

セクション概要 本地垂迹説と信仰について

セクション4 水墨画と禅 禅宗

セクション概要 禅の修行と水墨画について

第13回 能楽、文楽にみる日本の芸能（講義形式：講義及び演習）

予習内容：日本の芸能史の概要について予習すること。

予習時間：30分

復習内容：授業配布の資料をもとに、芸能の受容や時代背景について確認し、現代の芸能とどのように関係し変化したのかを考えながら原作（漫画やボーカロイド）などを踏まえそれらに関連する作品鑑賞をする。

復習時間：60分

概要 能、狂言、文楽を中心に日本の芸能を学ぶ

セクション1 能の鑑賞

セクション概要 能についての基本や衣装、演目について

セクション2 狂言の鑑賞

セクション概要 狂言についての基本や衣装、演目について

セクション3 文楽の鑑賞

セクション概要 文楽についての基本や人形、演目について

第14回 歌舞伎にみる日本の芸能（講義形式：講義及び演習）

予習内容：日本の芸能史の概要について予習すること。

予習時間：30分

復習内容：授業配布の資料をもとに、芸能の受容や時代背景について確認し、現代の芸能とどのように関係し変化したのかを考えながら原作（漫画やボーカロイド、ゲーム）や現代の芸能（アイドルや演劇）などを踏まえそれらに関連する作品鑑賞をする。

復習時間：60分

概要 歌舞伎を中心に江戸時代の日本の芸能を学ぶ。

セクション1 歌舞伎とは

セクション概要 歌舞伎の成り立ちや基本について

セクション2 歌舞伎と芝居小屋

セクション概要 歌舞伎独特の演出と芝居小屋について

セクション3 古典の歌舞伎

セクション概要 伝統的な古典歌舞伎について

セクション4 現代の歌舞伎

セクション概要 革新的な新作歌舞伎について

第15回 宝塚歌劇団にみる日本の芸能（講義形式：講義及び演習）

予習内容：日本の芸能史の概要について予習すること。

予習時間：30分

復習内容：授業配布の資料をもとに、芸能の受容や時代背景について確認し、現代の芸能とどのように関係し変化したのかを考えながら原作（漫画や映画、ゲーム）や現代の芸能（ミュージカルやアイドル、演劇）などを踏まえそれらに関連する作品鑑賞をする。

復習時間：60分

概要 宝塚歌劇団を中心に近代の日本の芸能を学ぶ。

セクション1 近代と宝塚歌劇団

セクション概要 近代と宝塚歌劇団と成り立ちについて

セクション2 阪急電鉄と宝塚大劇場

セクション概要 劇場のある場所と劇場の効果について

セクション3 宝塚歌劇団の特色①

セクション概要 伝統を基とした劇団の独自性について

セクション4 宝塚歌劇団の特色②

セクション概要 演目の継承と革新性について

.

■ ホームページ

■ 実践的な教育内容

-

科目名 :	芸術鑑賞入門【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Introduction to Appreciation of Art				
担当者 :	井面 舞				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	前期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

芸術鑑賞とはどのようにすればいいのでしょうか。

もちろん感性を使って鑑賞するのも大切です。しかし芸術は感性だけでなく様々な視点を持つことにより、より深くその面白さを理解することができます。

本授業では日本美術の作品（絵画、工芸、芸能）を取り上げ、その流れを把握すると同時に当時の社会背景や文化、また作品の技法や受容などと共に考察し芸術鑑賞の楽しさを学びます。

授業は作品の図版や文献資料、映像資料などを用いて進めていきます。

コンテンツ作成：島田有紀

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

PBL（課題解決学習）・ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

自主学習支援（e-learning等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

"日本美術作品の鑑賞に必要な基本的な視点を習得することによって、芸術に親しむことを目標とする。この科目の修得は、本学が定めるディプロマポリシー 3の達成に関与しています。"

■ 成績評価方法および基準

レポート課題①、② 40%

学期末期試験レポート 40%

学生間ディスカッション 20%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■ 教科書

特に指定しない。

授業ごとに適宜資料を配布。

■ 参考文献

[ISBN]9784568400656 『増補新装 カラー版日本美術史』（辻 惟雄，美術出版社：2003）

[ISBN]9784568400625 『カラー版 日本美術史年表』（辻 惟雄，美術出版社：2002）

[ISBN]9784568400830 『増補新装 カラー版 東洋美術史』（前田耕作，美術出版社：2012）

■ 関連科目

-

■ 授業評価アンケート実施方法

学部実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

■ オフィスアワー

-

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 作品はどう見るのか（講義形式：講義及び演習）

予習内容：自身が作品を見る際にどのような点に関心があるのかについてまとめておく。

予習時間：30分

復習内容：授業配布の資料をもとに、作品鑑賞の要点を確認しておく。

復習時間：60分

概要 作品が制作された時代背景や文化、文献などがどのように関わっているのか、また絵に描かれているモチーフの読み解き方など、絵画鑑賞の基本を学ぶ。

セクション1 芸術はなぜわからないのか

セクション概要 現在、なぜ芸術がわかりにくくなっているのかについて

セクション2 時代による作品傾向

セクション概要 古代から近代までの日本美術の流れについて

セクション3 作品から読み解く情報

セクション概要 作品から何がわかるのかについて

第2回 20世紀のアート市場はどのように成立をしたのか（講義形式：講義及び演習）

予習内容：現代芸術の概要について予習する。

予習時間：30分

復習内容：授業配布の資料をもとに、現代芸術の位置づけや作品の売買、ポップアートについて確認し、それらを踏まえて多様化する現代芸術の作品鑑賞をする。

復習時間：60分

概要 米国の連邦美術計画などをとりあげ、20世紀以降いかに現代芸術の市場が広がっていったかを学ぶ。

セクション1 西洋美術の流れ

セクション概要 紀元後から近代までの西洋美術の流れについて

セクション2 原風景-伝統的芸術観

セクション概要 伝統的芸術観と共同体について

セクション3 理念なき形式-アメリカ的芸術

セクション概要 アメリカの現代芸術はどのように作られたかについて

セクション4 政治と芸術-ヘゲモニックな芸術利用

セクション概要 現代において芸術とはどのように捉えることができるのかについて

第3回 絵巻物にみる物語表現（講義形式：講義及び演習）

予習内容：日本の物語の概要について予習する。

予習時間：30分

復習内容：授業配布の資料をもとに、絵巻物の特徴やなぜそのような造形になるのか時代背景について確認し、現代の作品（映画や漫画など）とどのように関係し変化したのかを考えながらそれらに関連する作品鑑賞をする。

復習時間：60分

概要 日本美術の中の絵巻物を見ていく。絵巻物は日本独自の絵画表現であり、物語を題材にしたものが多い。その絵巻物の見方や描き方の基本、その独自性について学ぶ。

セクション1 絵巻とは

セクション概要 絵巻の基本や鑑賞方法について

セクション2 《源氏物語絵巻》について

セクション概要 段落式絵巻物について

セクション3 《信貴山縁起絵巻》について

セクション概要 連続式絵巻物について

セクション4 《鳥獣人物戯画》について

セクション概要 詞書のない絵巻物について

第4回 肖像画にみる人物表現（講義形式：講義及び演習）

予習内容：様々な国の肖像画の概要について予習する。

予習時間：30分

復習内容：授業配布の資料をもとに、人物表現の特徴やなぜそのような造形になるのか時代背景、受容について確認し、現代の人物イメージ表現、女性像（SNSに見られるものなど）とどのように関係し変化したのかを考えながらそれらに関連する作品鑑賞をする。

復習時間：60分

概要 西洋の肖像画とは異なり、日本の肖像画には写実表現が少ない。ではなぜ実在の人物を写實的に描かないのか。また日本の人物表現はどのような特徴があるのかを学ぶ。

セクション1 似絵と肖像画とは

セクション概要 似絵と肖像画の基本について

セクション2 似絵の人物表現

セクション概要 人物像の異なる表現について

セクション3 浮世絵の人物表現①

セクション概要 浮世絵の美人画の全身像表現について

セクション4 浮世絵の人物表現②

セクション概要 浮世絵の美人画の顔表現について

第5回 風俗画にみる日本文化①（講義形式：講義及び演習）

予習内容：近世の日本文化の概要について予習する。

予習時間：30分

復習内容：授業配布の資料をもとに、風俗画の特徴やなぜそのような造形になるのか時代背景について確認し、現代の文化や風俗表現（YouTubeやSNSなど）とどのように関係し変化したのかを考えながらそれらに関連する作品鑑賞をする。

復習時間：60分

概要 近世になり日本のなかで風俗画が多く制作されるようにある。では、その風俗画とはどのような成り立ちを持つのか、また当時の人々はどのように生活していたのかなどを学ぶ。

セクション1 洛中洛外図とは

セクション概要 洛中洛外図の基本や鑑賞方法について

セクション2 町をみる洛中洛外図

セクション概要 “都”を描く洛中洛外図について

セクション3 意味を持つ洛中洛外図

セクション概要 “権力”を描く洛中洛外図について

第6回 風俗画にみる日本文化②（講義形式：講義及び演習）

予習内容：近世の日本文化の概要について予習する。

予習時間：30分

復習内容：授業配布の資料をもとに、風俗画の特徴やなぜそのような造形になるのか時代背景について確認し、現代の文化や風俗表現（YouTubeやSNSなど）とどのように関係し変化したのかを考えながらそれらに関連する作品鑑賞をする。

復習時間：60分

概要 近世になり日本のなかで風俗画が多く制作されるようにある。では、その風俗画とはどのような成り立ちを持つのか、また当時の人々はどのように生活していたのかなどを学ぶ。

セクション1 洛中洛外図からの展開

セクション概要 風俗画と洛中洛外図の関係について

セクション2 場所が特定できる風俗画

セクション概要 場所が描かれる風俗画について

セクション3 場所が不特定の風俗画①

セクション概要 出来事が描かれる風俗画について①

セクション4 場所が不特定の風俗画②

セクション概要 出来事が描かれる風俗画について②

第7回 油彩画にみる西洋受容（講義形式：講義及び演習）

予習内容：近代の西洋画、日本画の概要について予習する。

予習時間：30分

復習内容：授業配布の資料をもとに、西洋画の特徴や西洋文化の受容や時代背景について確認し、現代の文化や写実表現（写真やCGなど）とどのように関係し変化したのかを考えながらそれらに関連する作品鑑賞をする。

復習時間：60分

概要 日本では近代から本格的に用いられる西洋の技法、油彩画。では現代では多く国内で見られる油彩画が当時どのように描かれ広まったかを学ぶ。

セクション1 油彩画と日本

セクション概要 近代の油彩画と日本の西洋受容について

セクション2 油彩画の受容と作品①

セクション概要 油彩画の写実性と日本のモチーフの関係について

セクション3 油彩画の受容と作品②

セクション概要 油彩画の色彩表現の変化について

セクション4 油彩画と日本画

セクション概要 油彩画が与えた日本画への影響

第8回 陶磁器にみる日本の意匠（講義形式：講義及び演習）

予習内容：日本の代表的な陶磁器について予習する。

予習時間：30分

復習内容：授業配布の資料をもとに、陶磁器の受容や時代背景について確認し、現代の身の回りにある陶磁器と意匠や受容を含めどのように関係し変化したのかを考えながらそれらに関連する作品鑑賞、または使用をする。

復習時間：60分

概要 日本の各地域では特徴的な陶磁器が制作されている。では、どのような陶磁器作品が制作がされ、受容されたのかを学ぶ。

セクション1 室町時代のやきもの

セクション概要 室町時代に流行する輸入のやきものについて

セクション2 桃山時代のやきもの

セクション概要 桃山時代に流行する国産のやきものについて

セクション3 江戸時代のやきもの

セクション概要 江戸時代のやきものと欧州について

第9回 漆器にみる日本の意匠（講義形式：講義及び演習）

予習内容：日本の代表的な漆器について予習する。

予習時間：30分

復習内容：授業配布の資料をもとに、漆器の受容や時代背景について確認し、現代の身の回りにある漆器と意匠や受容を含めどのように関係し変化したのかを考えながらそれらに関連する作品鑑賞、または使用をする。

復習時間：60分

概要 日本の中で漆器は独自の技法や意匠が生まれ定着をする。では、どのような漆器作品が制作がされ、受容されたのかを学ぶ。

セクション1 漆器とは

セクション概要 日本の漆器の基本について

セクション2 平安～鎌倉時代の漆器

セクション概要 和様の意匠の漆器について

セクション3 室町～桃山時代の漆器

セクション概要 流派と漆器の意匠について

セクション4 江戸時代の漆器

セクション概要 個性的な意匠の漆器について

第10回 服飾にみる意匠① 日本の着物（講義形式：講義及び演習）

予習内容：日本の代表的な着物について予習する。

予習時間：30分

復習内容：授業配布の資料をもとに、着物の受容や時代背景について確認し、現代の身の回りにある着物と意匠や受容、コーディネートを含めどのように関係し変化したのかを考えながらそれらに関連する作品鑑賞、または使用をする。

復習時間：60分

概要 日本の着物が、時代や身分によってによってどのような意匠になっていくのかを学ぶ。

セクション1 平安時代の着物

セクション概要 公家の装束について

セクション2 鎌倉～室町時代の着物

セクション概要 中世の武家の装束について

セクション3 桃山時代の着物

セクション概要 近世の武家の装束について

セクション4 江戸時代の着物

セクション概要 市井の人々の着物について

第11回 服飾にみる意匠② 洋装（講義形式：講義及び演習）

予習内容：日本の代表的な洋服について予習する。

予習時間：30分

復習内容：授業配布の資料をもとに、洋服の受容や時代背景について確認し、現代の身の回りにある洋服のデザインや流行とどのように関係し変化したのかを考えながらそれらに関連する作品鑑賞、または使用をする。

復習時間：60分

概要 近代に入り、洋装が社会背景や身分制度と関わりつつどのように変化をしてきたのかを学ぶ。

セクション1 18世紀以降のファッション

セクション概要 18世紀以降のファッションの変化について

セクション2 需要が広がる既製服

セクション概要 既製服の成立と需要について

セクション3 シャネル①

セクション概要 シャネルデザインの特徴について

セクション4 シャネル②

セクション概要 シャネルデザインの特徴について

セクション5 継承されるファッション

セクション概要 ファッションデザインの継承と革新について

第12回 信仰にみる神仏表現（講義形式：講義及び演習）

予習内容：日本の信仰について予習。

予習時間：30分

復習内容：授業配布の資料をもとに、信仰の受容や時代背景について確認し、現代の信仰表現とどのように関係し変化（来迎図のドローン表現など）したのかを考えながらそれらに関連する作品鑑賞をする。

復習時間：60分

概要 日本の信仰に関する造形がどのように表現され受容されたのかを学ぶ。

セクション1 極楽浄土と地獄 浄土教

セクション概要 浄土教の極楽浄土と地獄表現について

セクション2 装飾と信仰 法華経

セクション概要 法華経の装飾と修行について

セクション3 神と仏 本地垂迹

セクション概要 本地垂迹説と信仰について

セクション4 水墨画と禅 禅宗

セクション概要 禅の修行と水墨画について

第13回 能楽、文楽にみる日本の芸能（講義形式：講義及び演習）

予習内容：日本の芸能史の概要について予習すること。

予習時間：30分

復習内容：授業配布の資料をもとに、芸能の受容や時代背景について確認し、現代の芸能とどのように関係し変化したのかを考えながら原作（漫画やボーカロイド）などを踏まえそれらに関連する作品鑑賞をする。

復習時間：60分

概要 能、狂言、文楽を中心に日本の芸能を学ぶ

セクション1 能の鑑賞

セクション概要 能についての基本や衣装、演目について

セクション2 狂言の鑑賞

セクション概要 狂言についての基本や衣装、演目について

セクション3 文楽の鑑賞

セクション概要 文楽についての基本や人形、演目について

第14回 歌舞伎にみる日本の芸能（講義形式：講義及び演習）

予習内容：日本の芸能史の概要について予習する。

予習時間：30分

復習内容：授業配布の資料をもとに、芸能の受容や時代背景について確認し、現代の芸能とどのように関係し変化したのかを考えながら原作（漫画やボーカロイド、ゲーム）や現代の芸能（アイドルや演劇）などを踏まえそれらに関連する作品鑑賞をする。

復習時間：60分

概要 歌舞伎を中心に江戸時代の日本の芸能を学ぶ。

セクション1 歌舞伎とは

セクション概要 歌舞伎の成り立ちや基本について

セクション2 歌舞伎と芝居小屋

セクション概要 歌舞伎独特の演出と芝居小屋について

セクション3 古典の歌舞伎

セクション概要 伝統的な古典歌舞伎について

セクション4 現代の歌舞伎

セクション概要 革新的な新作歌舞伎について

第15回 宝塚歌劇団にみる日本の芸能（講義形式：講義及び演習）

予習内容：日本の芸能史の概要について予習する。

予習時間：30分

復習内容：授業配布の資料をもとに、芸能の受容や時代背景について確認し、現代の芸能とどのように関係し変化したのかを考えながら原作（漫画や映画、ゲーム）や現代の芸能（ミュージカルやアイドル、演劇）などを踏まえそれらに関連する作品鑑賞をする。

復習時間：60分

概要 宝塚歌劇団を中心に近代の日本の芸能を学ぶ。

セクション1 近代と宝塚歌劇団

セクション概要 近代と宝塚歌劇団と成り立ちについて
セクション2 阪急電鉄と宝塚大劇場
セクション概要 劇場のある場所と劇場の効果について
セクション3 宝塚歌劇団の特色①
セクション概要 伝統を基とした劇団の独自性について
セクション4 宝塚歌劇団の特色②
セクション概要 演目の継承と革新性について

.

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 :	暮らしのなかの憲法【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Constitution in Everyday Life				
担当者 :	重村 博美				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

「憲法」と聞いて、みなさんはどのような印象をおもちですか。私たちは普段、憲法の内容を意識して生活することは、ほとんどないかと思えます。しかし、その実、憲法は、国の最高法規として、一人ひとりのもつ大事な権利や自由を定め、そしてそれらを守る仕組みを定めている、私たちにはなくてはならない大切な法律です。

そこで本授業では、憲法の基本的な枠組みや考え方を理解していただけるよう、具体的事例（裁判例を含む）の検討を行います。とはいえ、本授業は、暗記中心の学習ではありません。現実に生じている様々な事象の検討を通じて、それら問題を法的にどのように解決すべきか、みなさんには、その法的解決に向けた考え方を習得していただくこととなります。

なお、メディア受講に際しては、受講前の教科書熟読が必須となります。そして受講時は、各自、必要に応じてノートをとってください。と同時に、必要に応じて、条文を参照してください。条文の参照方法は、第1回の授業で説明をしています。

ちなみに、みなさん方の受講に際しては、大学からの受講案内でも示されているように、予め一定の期間を設定して、受講確認がなされる予定です。レポート作成・提出においても、メディア受講は前提（必須）条件となります（単位取得に際しては、10回以上：10回を含む、受講をしていることが必要です。）。加えて、話者の話の内容が判別可能な速度で視聴してください。詳細は、各担当者の案内に従ってください。各自、受講計画を立て、自覚的に、受講いただくことを、切に希望しております。

* 本メディア授業は、下記参考文献『判例で学ぶ日本国憲法』（有信堂）をベースに作成をしています。ただし、本授業は、過去に作成された「第2版」のもので作成しており、2024年春に刊行予定の「第3版」のものとは、内容において一部異なります（異なる部分は、当該文献の第5章・本メディア授業第9回「表現の自由」です。それ以外は、基本的な部分での違いはありません）。

* この授業はコンテンツ作成者重村が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講生は、この授業を受講することにより、①日本国憲法の基本的人権ならびに統治機構の概要を説明し、②憲法問題に対して自身の見解を示すことができるようになります。

■ 成績評価方法および基準

レポート課題（全3回） 60%

学期末試験（レポート課題） 40%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をGoogle Classroomに掲載します。

■ 教科書

指定しない

■ 参考文献

[ISBN]9784842010885 『判例で学ぶ日本国憲法[第三版]』(西村裕三編, 有信堂高文社: 2024)
2024年3月刊行予定

[ISBN]9784865281132 『立憲主義について 成立過程と現代(放送大学叢書)』(佐藤 幸治, 左右社: 2015)

[ISBN]9784000616072 『憲法 第八版』(芦部 信喜, 岩波書店: 2023)

[ISBN]9784641227613 『憲法学読本 第3版』(安西 文雄, 有斐閣: 2018)

[ISBN]9784641115453 『憲法判例百選I 第7版(別冊ジュリスト)』(長谷部 恭男, 有斐閣: 2019)

[ISBN]9784641115460 『憲法判例百選II 第7版(別冊ジュリスト)』(長谷部 恭男, 有斐閣: 2019)

■ 関連科目

「現代社会と法」など

■ 授業評価アンケート実施方法

本学の規定に準拠して実施します。

■ 研究室・メールアドレス

18号館南棟 shigemura@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

火曜日 2限

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 概要 憲法とはなにか(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 教科書の該当箇所を読み(1・18章)、内容の把握をする

予習時間: 60分

復習内容: 授業内容について自身でまとめる

復習時間: 120分

法律の学習を始めるために必要となる法学・憲法の基礎的事項を学ぶ

セクション1 法とは何か セクション概要 法とは何かについて学ぶ

セクション2 憲法とは何か セクション概要 憲法とは何かについて学ぶ

セクション3 日本国憲法概説 セクション概要 憲法制定過程と基本原則を学ぶ

第2回 立法権と行政権(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 教科書の該当箇所を読み(14・15章)、内容の把握をする

予習時間: 60分

復習内容: 授業内容について自身でまとめる

復習時間: 120分

三権分立のうち、立法権と行政権を学ぶ

セクション1 三権分立とは? セクション概要 三権分立の概説を学ぶ

セクション2 日本の統治機構・立法権 セクション概要 国会の組織と役割を学ぶ

セクション3 日本の統治機構・行政権 セクション概要 内閣の組織と役割を学ぶ

第3回 司法権(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 教科書の該当箇所を読み(16章の1と2)、内容の把握をする

予習時間: 60分

復習内容: 授業内容について自身でまとめる

復習時間: 120分

概要 三権分立のうち、司法権について学ぶ

セクション1 司法権とは? セクション概要 司法権の範囲と限界について学ぶ

セクション2 裁判所組織について セクション概要 裁判所組織と審級について学ぶ

セクション3 裁判官 セクション概要 裁判官の身分保障について学ぶ

第4回 司法審査権(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 教科書の該当箇所を読み(16章の3)、内容の把握をする

予習時間: 60分

復習内容: 授業内容について自身でまとめる

復習時間: 120分

概要 司法審査権について学ぶ

セクション1 司法審査権の目的と方法 セクション概要 司法審査権の目的と方法について学ぶ

セクション2 違憲審査基準 セクション概要 違憲審査基準について学ぶ

セクション3 司法積極主義・消極主義 セクション概要 司法積極主義・消極主義について学ぶ

第5回 基本的人権総論(授業形式: 講義および演習)

予習内容：教科書の該当箇所を読み（1章の3と4）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 基本的人権の総論部分を学ぶ

セクション1 人権の歴史 セクション概要 人権が確立していった過程を学ぶ

セクション2 人権の分類 セクション概要 日本国憲法の人権規定を概括的に学ぶ

セクション3 人権の限界 セクション概要 基本的人権の限界について学ぶ

第6回 幸福追求権（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（2章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 幸福追求権を軸に主張される権利や自由について学ぶ

セクション1 幸福追求権とは？ セクション概要 幸福追求権の概説を学ぶ

セクション2 プライバシーの権利 セクション概要 プライバシーの権利について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 プライバシーの権利の判例から学ぶ

第7回 法の下での平等（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（3章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 憲法が意味する平等とは何かを学ぶ

セクション1 憲法の平等保障規定 セクション概要 日本国憲法が規定する平等規定について学ぶ

セクション2 平等とは？ セクション概要 憲法が示す「平等」の意味について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 平等権に関する基本事例から学ぶ

第8回 信教の自由・政教分離（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（4章の2）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

概要 信教の自由が保障する範囲と政教分離について学ぶ

セクション1 信教の自由とは？ セクション概要 信教の自由が規定された背景を学ぶ

セクション2 政教分離 セクション概要 政教分離原則について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 政教分離の基本事例から学ぶ

第9回 表現の自由（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（5章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 表現の自由がなぜ「優越的地位」にあるといわれるのか学ぶ

セクション1 表現の自由とは？ セクション概要 表現の自由の優越的地位の原則について学ぶ

セクション2 マス・メディアの取材・報道の自由 セクション概要 マス・メディアの取材・報道の自由について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 取材・報道の自由の基本事例から学ぶ

第10回 学問の自由・教育を受ける権利（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（6・10章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 大学における「学問」とはどういうものか学ぶ

セクション1 学問の自由とは？ セクション概要 学問の自由の保障の範囲と限界を学ぶ

セクション2 大学の自治 セクション概要 大学の自治について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 学問の自由の基本判例から学ぶ

第11回 経済活動の自由（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（7章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 私有財産制度について憲法から学ぶ

セクション1 経済活動の自由とは？ セクション概要 経済活動の自由について内容を学ぶ

セクション2 財産権の保障 セクション概要 財産権の保障について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 財産権の保障の基本事例から学ぶ

第12回 人身の自由（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（8章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 刑事疑義者・被告人の権利について学ぶ

セクション1 罪刑法定主義とは？ セクション概要 罪刑法定主義について学ぶ

セクション2 人身の自由 セクション概要 人身の自由の内容について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 人身の自由の基本事例から学ぶ

第13回 生存権（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（9章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 憲法が保障する「健康で文化的な最低限度の生活」とは何かを学ぶ

セクション1 生存権とは？ セクション概要 生存権の法的性格について学ぶ

セクション2 日本の社会保障制度 セクション概要 社会保障制度の種類と内容を概括的に学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 生存権の基本事例から学ぶ

第14回 労働基本権（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（11章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 労働三権について学ぶ。ここでは特に、公務員の労働基本権について学ぶ

セクション1 勤労の権利とは？ セクション概要 労働三権について学ぶ

セクション2 公務員の労働基本権 セクション概要 公務員の労働基本権について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 公務員の労働基本権の基本事例から学ぶ

第15回 参政権（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（13章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 選挙の基本原則について学ぶ

セクション1 参政権とは？ セクション概要 参政権の概要について学ぶ

セクション2 選挙制度の基本原則 セクション概要 選挙の5つの基本原則を学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 基本原則に関する基本事例から学ぶ

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 :	暮らしのなかの憲法【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Constitution in Everyday Life				
担当者 :	二宮 貴美				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :	理工応用化学科:学修・教育到達目標(A)に主体的に関与 理工電気電子通信工学科:学習・教育到達目標D1の達成に付随的に関与 理工社会環境工学科:ディプロマ・ポリシーの(A)、(G)に主体的に関与、(C)、(I)に付随的に関与				

■授業概要

「憲法」と聞いて、みなさんはどのような印象をおもちですか。私たちは普段、憲法が存在を意識して生活することは、ほとんどないかと思います。しかし、その実、憲法は、国の最高法規として、一人ひとりのもつ大事な権利や自由を定め、そしてそれらを守る仕組みを定めている、私たちにはなくてはならない大切な法律です。

そこで本授業では、憲法の基本的な枠組みや考え方などを理解していただけるよう、具体的事例（裁判例を含む）の検討を行います。とはいえ、本授業は、暗記中心の学習ではありません。現実に生じている様々な事象の検討を通じて、それら問題を法的にどのように解決すべきか、みなさんには、その法的解決に向けた考え方を習得していただくこととなります。

なお、メディア受講に際しては、受講前の教科書熟読が必須となります。そして受講時は、各自、必要に応じてノートをとってください。と同時に、必要に応じて、条文を参照してください。条文の参照方法は、第1回の授業で説明をしています。

ちなみに、みなさん方の受講に際しては、大学からの受講案内でも示されているように、予め一定の期間を設定して、受講確認がなされる予定です。レポート作成・提出においても、メディア受講は前提（必須）条件となります（単位取得に際しては、10回以上：10回を含む、受講をしていることが必要です。）。加えて、話者の話の内容が判別可能な速度で視聴してください。詳細は、各担当者の案内に従ってください。各自、受講計画を立て、自覚的に、受講いただくことを、切に希望しております。

*本メディア授業は、下記参考文献『判例で学ぶ日本国憲法』（有信堂）をベースに作成をしています。ただし、本授業は、過去に作成された「第2版」のもので作成しており、2024年春に刊行予定の「第3版」のものとは、内容において一部異なります（異なる部分は、当該文献の第5章・本メディア授業第9回「表現の自由」です。それ以外は、基本的な部分での違いはありません）。

*この授業はコンテンツ作成者重村が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。

■授業形態

メディア授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogle Classroom等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講生は、この授業を受講することにより、①日本国憲法の基本的な人権ならびに統治機構の概要を説明し、②憲法問題に対して自身の見解を示すことができるようになります。

■成績評価方法および基準

レポート課題（全3回） 60%

学期末試験（レポート課題） 40%

■試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をGoogle Classroomに掲載します。

■教科書

指定しない

■参考文献

[ISBN]9784842010885 『判例で学ぶ日本国憲法[第三版]』(西村裕三編, 有信堂高文社: 2024)
2024年3月刊行予定

[ISBN]9784865281132 『立憲主義について 成立過程と現代(放送大学叢書)』(佐藤 幸治, 左右社: 2015)

[ISBN]9784000616072 『憲法 第八版』(芦部 信喜, 岩波書店: 2023)

[ISBN]9784641227613 『憲法学読本 第3版』(安西 文雄, 有斐閣: 2018)

[ISBN]9784641115453 『憲法判例百選I 第7版(別冊ジュリスト)』(長谷部 恭男, 有斐閣: 2019)

[ISBN]9784641115460 『憲法判例百選II 第7版(別冊ジュリスト)』(長谷部 恭男, 有斐閣: 2019)

■関連科目

「現代社会と法」など

■授業評価アンケート実施方法

本学の規定に準拠して実施します。

■研究室・メールアドレス

ninomiya_kimi@kindai.ac.jp

■オフィスアワー

メールにより対応する

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 概要 憲法とはなにか(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 教科書の該当箇所を読み(1・18章)、内容の把握をする

予習時間: 60分

復習内容: 授業内容について自身でまとめる

復習時間: 120分

法律の学習を始めるために必要となる法学・憲法の基礎的事項を学ぶ

セクション1 法とは何か セクション概要 法とは何かについて学ぶ

セクション2 憲法とは何か セクション概要 憲法とは何かについて学ぶ

セクション3 日本国憲法概説 セクション概要 憲法制定過程と基本原則を学ぶ

第2回 立法権と行政権(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 教科書の該当箇所を読み(14・15章)、内容の把握をする

予習時間: 60分

復習内容: 授業内容について自身でまとめる

復習時間: 120分

三権分立のうち、立法権と行政権を学ぶ

セクション1 三権分立とは? セクション概要 三権分立の概説を学ぶ

セクション2 日本の統治機構・立法権 セクション概要 国会の組織と役割を学ぶ

セクション3 日本の統治機構・行政権 セクション概要 内閣の組織と役割を学ぶ

第3回 司法権(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 教科書の該当箇所を読み(16章の1と2)、内容の把握をする

予習時間: 60分

復習内容: 授業内容について自身でまとめる

復習時間: 120分

概要 三権分立のうち、司法権について学ぶ

セクション1 司法権とは? セクション概要 司法権の範囲と限界について学ぶ

セクション2 裁判所組織について セクション概要 裁判所組織と審級について学ぶ

セクション3 裁判官 セクション概要 裁判官の身分保障について学ぶ

第4回 司法審査権(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 教科書の該当箇所を読み(16章の3)、内容の把握をする

予習時間: 60分

復習内容: 授業内容について自身でまとめる

復習時間: 120分

概要 司法審査権について学ぶ

セクション1 司法審査権の目的と方法 セクション概要 司法審査権の目的と方法について学ぶ

セクション2 違憲審査基準 セクション概要 違憲審査基準について学ぶ

セクション3 司法積極主義・消極主義 セクション概要 司法積極主義・消極主義について学ぶ

第5回 基本的人権総論（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（1章の3と4）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 基本的人権の総論部分を学ぶ

セクション1 人権の歴史 セクション概要 人権が確立していった過程を学ぶ

セクション2 人権の分類 セクション概要 日本国憲法の人権規定を概括的に学ぶ

セクション3 人権の限界 セクション概要 基本的人権の限界について学ぶ

第6回 幸福追求権（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（2章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 幸福追求権を軸に主張される権利や自由について学ぶ

セクション1 幸福追求権とは？ セクション概要 幸福追求権の概説を学ぶ

セクション2 プライバシーの権利 セクション概要 プライバシーの権利について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 プライバシーの権利の判例から学ぶ

第7回 法の下での平等（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（3章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 憲法が意味する平等とは何かを学ぶ

セクション1 憲法の平等保障規定 セクション概要 日本国憲法が規定する平等規定について学ぶ

セクション2 平等とは？ セクション概要 憲法が示す「平等」の意味について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 平等権に関する基本事例から学ぶ

第8回 信教の自由・政教分離（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（4章の2）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 信教の自由が保障する範囲と政教分離について学ぶ

セクション1 信教の自由とは？ セクション概要 信教の自由が規定された背景を学ぶ

セクション2 政教分離 セクション概要 政教分離原則について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 政教分離の基本事例から学ぶ

第9回 表現の自由（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（5章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 表現の自由がなぜ「優越的地位」にあるといわれるのか学ぶ

セクション1 表現の自由とは？ セクション概要 表現の自由の優越的地位の原則について学ぶ

セクション2 マス・メディアの取材・報道の自由 セクション概要 マス・メディアの取材・報道の自由について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 取材・報道の自由の基本事例から学ぶ

第10回 学問の自由・教育を受ける権利（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（6・10章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 大学における「学問」とはどういうものか学ぶ

セクション1 学問の自由とは？ セクション概要 学問の自由の保障の範囲と限界を学ぶ

セクション2 大学の自治 セクション概要 大学の自治について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 学問の自由の基本判例から学ぶ

第11回 経済活動の自由（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（7章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 私有財産制度について憲法から学ぶ

セクション1 経済活動の自由とは？ セクション概要 経済活動の自由について内容を学ぶ

セクション2 財産権の保障 セクション概要 財産権の保障について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 財産権の保障の基本事例から学ぶ

第12回 人身の自由（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（8章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 刑事疑義者・被告人の権利について学ぶ

セクション1 罪刑法定主義とは？ セクション概要 罪刑法定主義について学ぶ

セクション2 人身の自由 セクション概要 人身の自由の内容について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 人身の自由の基本事例から学ぶ

第13回 生存権（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（9章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 憲法が保障する「健康で文化的な最低限度の生活」とは何かを学ぶ

セクション1 生存権とは？ セクション概要 生存権の法的性格について学ぶ

セクション2 日本の社会保障制度 セクション概要 社会保障制度の種類と内容を概括的に学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 生存権の基本事例から学ぶ

第14回 労働基本権（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（11章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 労働三権について学ぶ。ここでは特に、公務員の労働基本権について学ぶ

セクション1 勤労の権利とは？ セクション概要 労働三権について学ぶ

セクション2 公務員の労働基本権 セクション概要 公務員の労働基本権について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 公務員の労働基本権の基本事例から学ぶ

第15回 参政権（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（13章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 選挙の基本原則について学ぶ

セクション1 参政権とは？ セクション概要 参政権の概要について学ぶ

セクション2 選挙制度の基本原則 セクション概要 選挙の5つの基本原則を学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 基本原則に関する基本事例から学ぶ

■ホームページ

■実践的な教育内容

科目名 :	現代経済の課題【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Problems of Modern Economics				
担当者 :	安高 優司				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

「授業形態：オンデマンド」

初めて経済学を学ぶ人のために、経済学をわかりやすく解説します。また、日本や世界の経済がどのような課題を抱えているかを考えます。

この授業は、コンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。各回の作成者は授業計画の内容に記載のとおりです。

本授業の制作担当：安高優司・山内康弘（両者とも経済学部）

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

「学習・教育目標」

- ・経済の仕組みを理解すること
- ・現代の日本経済が抱えるさまざまな問題を把握すること

「到達目標」

- ・新聞やニュースに出る経済関連の話題が理解でき、自分の意見が述べられること。

この授業は経済学部の定めるディプロマポリシーの達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

レポート課題 100%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

GoogleClassroomなどのコミュニケーションツールを用いて解説や結果を通知します。

■ 教科書

[ISBN]9784087474077 『痛快! 経済学 (集英社文庫)』 (中谷 巖, 集英社 : 2002)

■ 参考文献

[ISBN]9784532353278 『佐和教授 はじめての経済講義』 (佐和 隆光, 日本経済新聞出版社 : 2008)

[ISBN]9784532110147 『はじめての経済学〈上〉 (日経文庫)』 (元重, 伊藤, 日本経済新聞出版 : 2004)

■ 関連科目

-

■ 授業評価アンケート実施方法

本学の規定に準拠して実施します。

■ 研究室・メールアドレス

ataka@eco.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

水曜3限

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

各回とも以下のとおり。

予習内容：予習：テーマに関する新聞記事やネット記事などを読んでおくこと

予習時間：30分

復習内容：復習：授業で出てきた概念や用語を教科書等の文献で再確認しておくこと

復習時間：60分

第1回 経済学とは何か（担当：安高優司）（授業形式：講義および演習）

概要 経済学とはどのような学問であるのかを概説する。

セクション1 経済学のめざすもの セクション概要 経済学という言葉の意味や目的を知る。

セクション2 一物一価の法則 セクション概要 一物一価という考え方を知る。

セクション3 代替品 セクション概要 代替品の重要性を考える。

第2回 需要と供給を学ぶ（担当：安高優司）（授業形式：講義および演習）

概要 経済学の基本である市場価格がどのようにして決まるかを理解する。

セクション1 市場とは何か セクション概要 市場の意味と機能を概説する。

セクション2 市場価格の決まり方 セクション概要 需要曲線と供給曲線の意味を理解する。

セクション3 需要の価格弾力性 セクション概要 価格弾力性の意味と市場への影響を知る。

第3回 経済学の誕生（担当：安高優司）（授業形式：講義および演習）

概要 アダム・スミスから始まった経済学の成り立ちを学ぶ。

セクション1 古典派経済学 セクション概要 古典派経済学とその基本的考え方を知る。

セクション2 比較優位の原理 セクション概要 比較優位の考え方を学ぶ。

セクション3 社会主義経済 セクション概要 資本主義と社会主義の違いを理解する。

第4回 新古典派経済学への進化（担当：安高優司）（授業形式：講義および演習）

概要 古典派経済学から新古典派経済学へと科学として進化した経済学の発展を理解する。

セクション1 科学とは何か セクション概要 科学に進化するという意味を理解する。

セクション2 新古典派経済学と限界革命 セクション概要 新古典派の「限界」という考え方を理解する。

セクション3 新古典派の最大化問題 セクション概要 新古典派経済学の基本的な考え方を理解する。

第5回 ケインズの登場（担当：安高優司）（授業形式：講義および演習）

概要 市場を重視する新古典派経済学と、それを修正するケインズ経済学が誕生した背景を学ぶ。

セクション1 新古典派とケインズ セクション概要 新古典派に対するケインズの考え方を知る。

セクション2 マクロ経済学の概念 セクション概要 GDPの概念と計算方法を理解する。

セクション3 豊かさや幸せの関係 セクション概要 経済的豊かさの意味を考える。

第6回 市場は万能ではない（担当：安高優司）（授業形式：講義および演習）

概要 ケインズ経済学（マクロ経済学）の基本的な考え方を理解する。

セクション1 不況はなぜおこる セクション概要 実物経済における不況のメカニズムを理解する。

セクション2 財政政策による景気対策 セクション概要 財政政策の仕組みを学ぶ。

セクション3 金融政策と中央銀行 セクション概要 金融政策の仕組みを学ぶ。

第7回 政府にも限界がある（担当：安高優司）（授業形式：講義および演習）

概要 ケインズ経済学の限界と市場主義への揺り戻しの要因を把握する。

セクション1 税金の徴収 セクション概要 税金の種類と徴収方法を知る。

セクション2 国税と地方税 セクション概要 国税と地方税の違いを理解する。

セクション3 財政赤字と財政再建 セクション概要 財政赤字の現状と解消の可能性を考える。

第8回 効率性と改革（担当：安高優司）（授業形式：講義および演習）

概要 政府の関与が肥大化した経済に対して、効率化が求められるようになった状況を理解する。

セクション1 効率性とは何か セクション概要 経済学における「効率」の意味を考える。

セクション2 官から民へ セクション概要 国営企業民営化の経緯と目的を考える。

セクション3 構造改革とは何か セクション概要 構造改革は何を目指したのかを考える。

セクション4 パレート効率性と改革 セクション概要 経済学的な効率と現実の改革について考える。

第9回 雇用形態の多様化（担当：安高優司）（授業形式：講義および演習）

概要 低成長時代に入り、雇用のあり方や働き方が変化してきた状況を把握する。

セクション1 日本型雇用慣行 セクション概要 日本の雇用制度の特徴を知る。

セクション2 日本型雇用慣行の変化 セクション概要 従来の雇用慣行に生じている変化を理解する。

セクション3 ニート・フリーター現象 セクション概要 非正規雇用問題や働き方改革について考える。

第10回 高齢化と社会保障（担当：山内康弘）（授業形式：講義および演習）

概要 年金・医療・介護を中心に公的な社会保障の意義について理解する。

セクション1 社会保障とは何か セクション概要 社会保障の意義について考える。

セクション2 公的年金の概念 セクション概要 長生きのリスクとしての年金の意義を把握する。

セクション3 医療・介護の経済学 セクション概要 医療・介護の特徴と保険の意義を理解する。

第11回 少子化と子育て支援（担当：山内康弘）（授業形式：講義および演習）

概要 少子高齢化が進むなかでの子育て支援を考える。

セクション1 少子化と子育て支援 セクション概要 少子化の実態と子育て支援について考える。

セクション2 貧困と低所得層支援 セクション概要 貧困の実態と支援方法について考える。

セクション3 これからの社会保障 セクション概要 今後の社会保障のあり方について考える。

第12回 日本の地域経済問題（担当：安高優司）（授業形式：講義および演習）

概要 現代日本の地域経済が抱える問題を理解する。

セクション1 人口減少 セクション概要 人口減少の実態と問題点を把握する。

セクション2 東京への人口・経済力の集中 セクション概要 東京一極集中の実態と問題点を把握する。

セクション3 地方消滅・地方創生 セクション概要 地方の生き残り方策について考える。

セクション4 日本の産業構造と地域格差 セクション概要 地域の産業構造の違いと地域格差を考える。

第13回 戦後日本経済を振り返る①（担当：安高優司）（授業形式：講義および演習）

概要 戦後復興期から高度成長期にかけての日本経済の発展を概観する。

セクション1 戦後復興期～高度成長期 セクション概要 戦後の日本経済の高度成長までを概観する。

セクション2 安定成長期 セクション概要 ニクソンショック、オイルショックなどを振り返る。

セクション3 バブル経済とその崩壊 セクション概要 バブル景気とその崩壊の過程を理解する。

第14回 戦後日本経済を振り返る②（担当：安高優司）（授業形式：講義および演習）

概要 安定成長期からバブル崩壊を経て低成長に至る日本経済の推移を概観する。

セクション1 バブル崩壊の影響 セクション概要 バブル後の日本経済の変化を把握する。

セクション2 平成不況と金融危機 セクション概要 金融危機による平成不況の長期化を振り返る。

セクション3 平成不況からの脱却 セクション概要 平成不況からの脱却から最近までを振り返る。

第15回 日本経済のこれから（担当：安高優司）（授業形式：講義および演習）

概要 これからの日本経済がめざすべき方向を考える。

セクション1 人口急増と大量生産 セクション概要 人口増加による地球環境の悪化を認識する。

セクション2 持続可能な社会をめざして セクション概要 大量消費社会の見直しの必要性を考える。

セクション3 日本に期待される役割 セクション概要 これからの日本経済の目指す方向を考える。

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 :	国際経済入門【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Introductory International Economics				
担当者 :	福井 太郎				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

-現実の世界では、活発な貨幣や資本の国際移動によって、先進国間はもちろんのこと先進国と発展途上国のあいだにおいても経済的な結びつきが非常に強まっている。従って、国際的な経済関係は非常に重要なものとなっている。本講義では、国際貿易の理論的側面を理解することを目的としている。さらに、現実の国際的な課題に加えて、新しい国際経済秩序を各自が模索していくことを目標とする。

この授業は、コンテンツ作成者の福井太郎が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

-受講者は、この授業を履修することによって、

①日本と国際社会の経済的関係を理解することができる。

本講義は、ディプロマポリシー 1 の修得に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

中間レポート 30%

期末レポート 70%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験期間終了後に「試験の要点と解説」を掲示板に掲載します。

■ 教科書

通信授業科目用テキスト『国際経済論』（福井太郎 近畿大学通信教育部）[ISBN] 無 価格：1,000円（税込）

■ 参考文献

■ 関連科目

-

■ 授業評価アンケート実施方法

-

■ 研究室・メールアドレス

B館 7G

taro@eco.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

前期：火曜3限

後期：火曜3限

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 基礎的な知識（授業形式：講義および演習）

予習内容：新聞などで国際経済の知識を得る。

予習時間：50分

復習内容：今回の範囲を教科書で復習する。

復習時間：50分

概要 国際経済学についての基礎的な概念を理解する。

セクション1 経済主体と市場の関係 セクション概要 "経済学の基礎の中で、最も重要な概念である「経済主体と市場の関係」について理解する。

経済学の基礎の中で、最も重要な概念である「経済主体と市場の関係」について理解する。

セクション2 市場と企業・国境の存在 セクション概要 "経済主体が経済取引を行う市場を、「競争」の観点から理解する。国際経済学で使用する「国境」の概念を理解する。

経済主体が経済取引を行う市場を、「競争」の観点から理解する。

国際経済学で使用する「国境」の概念を理解する。"

セクション3 基本的な貿易 セクション概要 "財やサービスが、なぜ国境を越えて取引されるのか？について理解する。"

第2回 貿易利益、国際貿易の形態1（授業形式：講義および演習）

予習内容：前回の範囲を教科書で見直す。

予習時間：50分

復習内容：今回の範囲を教科書で復習する。

復習時間：50分

概要 貿易利益と国際貿易の形態について理解する。

セクション1 貿易利益 セクション概要 貿易が各国にとって、経済的な利益になることを理解する。

セクション2 シルク=ロード型貿易 セクション概要 なぜ、財やサービスが国境を超えるのか？を理解する。

セクション3 南北貿易 セクション概要 産業革命が貿易の姿を変えることを理解する。

セクション4 水平貿易 セクション概要 現代の豊かさが、貿易の姿を変えることを理解する。

第3回 国際貿易の形態2（直接投資）、リカードモデル1（基本モデル、生産者行動と閉鎖経済均衡）（授業形式：講義および演習）

予習内容：前回の範囲を教科書で見直す。

予習時間：50分

復習内容：今回の範囲を教科書で復習する。

復習時間：50分

概要 国際貿易の形態2（直接投資）とリカードモデル1（基本モデル、生産者行動と閉鎖経済均衡）を理解する。

セクション1 直接投資 セクション概要 "現代のサプライチェーン（原料から製品までの生産プロセス）が、貿易の姿を変える。"

セクション2 リカードモデル1（基本モデル） セクション概要 リカードモデルの基本モデルを理解する。

セクション3 リカードモデル1（生産者行動と閉鎖経済均衡） セクション概要 閉鎖経済における、長期均衡を導出する。

第4回 リカードモデル2（貿易パターンの決定）（授業形式：講義および演習）

予習内容：前回の範囲を教科書で見直す。

予習時間：50分

復習内容：今回の範囲を教科書で復習する。

復習時間：50分

概要 リカードモデル2（貿易パターンの決定）を理解する。

セクション1 労働投入係数の比とは？ セクション概要 "均衡相対価格は労働投入係数の比率 \diamond に等しいが、その経済的意味とは？"

セクション2 比較優位の定義 セクション概要 比較優位の定義を、「機会費用」の概念を用いて理解する。

セクション3 比較優位が確立されるまで セクション概要 "比較優位が確立されるまでの経緯を知ることによって、比較優位の理解を深める。"

第5回 リカードモデル3（特化と貿易パターン、貿易と所得分配、数値例1）（授業形式：講義および演習）

予習内容：前回の範囲を教科書で見直す。

予習時間：50分

復習内容：今回の範囲を教科書で復習する。

復習時間：50分

概要 "リカードモデル3（特化と貿易パターン、貿易と所得分配、数値例1）を理解する。"

セクション1 特化と貿易パターン セクション概要 "閉鎖経済から自由貿易へ移行することで、国内の生産構造がどのように

変化するか?を理解する。"

セクション2 貿易と所得分配 セクション概要 貿易が、国際間の所得分配に与える影響を理解する。

セクション3 数値例1 セクション概要 "具体的な数値を導入して、比較優位に基づいた貿易パターンをより深く理解する。"

第6回 リカードモデル4 (数値例2)、 H-O-Sモデル1 (要素賦存と比較優位、要素価格均等化定理) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 前回の範囲を教科書で見直す。

予習時間: 50分

復習内容: 今回の範囲を教科書で復習する。

復習時間: 50分

概要 "リカードモデル4 (数値例2) とH-O-Sモデル1 (要素賦存と比較優位、要素価格均等化定理) を理解する。"

セクション1 数値例2 セクション概要 "具体的な数値を導入して、比較優位に基づく自由貿易をより深く理解する。"

セクション2 要素賦存と比較優位 セクション概要 要素賦存の差異によって生じる貿易の貿易パターンを理解する。

セクション3 要素価格均等化定理 セクション概要 "自由貿易の開始によって、各国の要素価格に与える影響を理解する。"

第7回 H-O-Sモデル2 (ストルパー=サミュエルソン定理)、貿易政策1 (衰退産業の保護、戦略的貿易政策) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 前回の範囲を教科書で見直す。

予習時間: 50分

復習内容: 今回の範囲を教科書で復習する。

復習時間: 50分

概要 "H-O-Sモデル2 (ストルパー=サミュエルソン定理) と貿易政策1 (衰退産業の保護、戦略的貿易政策) を理解する。"

セクション1 ストルパー=サミュエルソン定理 セクション概要 自由貿易が、国内の所得分配に与える影響を理解する。

セクション2 衰退産業の保護 セクション概要 "衰退産業が、貿易政策によって保護される理由を理解する。"

セクション3 戦略的貿易政策 セクション概要 貿易政策の戦略的運用が、貿易に与える影響を理解する。

第8回 貿易政策2 (幼稚産業保護論、アンチダンピングとセーフガード) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 前回の範囲を教科書で見直す。

予習時間: 50分

復習内容: 今回の範囲を教科書で復習する。

復習時間: 50分

概要 "貿易政策2 (幼稚産業保護論、アンチダンピングとセーフガード) を理解する。"

セクション1 幼稚産業保護論 セクション概要 "国内産業を保護して、育成することを目的とした貿易政策を理解する。"

セクション2 アンチダンピング セクション概要 "ダンピングに対する対抗措置であるアンチダンピングについての理解を深める。"

セクション3 セーフガード セクション概要 "セーフガードについての理解を深め、アンチダンピングとの違いを理解する。"

第9回 貿易政策手段に関する分析1 (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 前回の範囲を教科書で見直す。

予習時間: 50分

復習内容: 今回の範囲を教科書で復習する。

復習時間: 50分

概要 貿易政策手段に関する分析1を理解する。

セクション1 関税 セクション概要 関税についての理解を深める。

セクション2 非関税障壁 セクション概要 非関税障壁についての理解を深める。

セクション3 余剰分析 セクション概要 余剰分析を理解する。

セクション4 自由貿易の余剰分析1 セクション概要 "余剰分析を用いて、閉鎖経済から自由貿易の移行した場合の輸入国の経済状態の変化を理解する。余剰分析を用いて、閉鎖経済から自由貿易の移行した場合の輸入国の経済状態の変化を理解する。"

第10回 貿易政策手段に関する分析2

(自由貿易の余剰分析2, 政策手段の余剰分析、最適関税率) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 前回の範囲を教科書で見直す。

予習時間: 50分

復習内容: 今回の範囲を教科書で復習する。

復習時間: 50分

概要 "貿易政策手段に関する分析2 (自由貿易の余剰分析2, 政策手段の余剰分析、最適関税率) を理解する。"

セクション1 自由貿易の余剰分析2 セクション概要 "余剰分析を用いて、閉鎖経済から自由貿易の移行した場合の輸出国の経済状態の変化を理解する。"

セクション2 政策手段の余剰分析 セクション概要 "余剰分析を用いて、保護政策を実施した場合の輸入国の経済状態の変化を理解する。"

セクション3 最適関税率 セクション概要 大国の場合の保護政策が、経済厚生に与える影響を理解する。

第11回 国際収支、国民所得（授業形式：講義および演習）

予習内容：前回の範囲を教科書で見直す。

予習時間：50分

復習内容：今回の範囲を教科書で復習する。

復習時間：50分

概要 国際収支と国民所得を理解する。

セクション1 国際収支 セクション概要 "国の対外的な経済取引の全体像を理解する。"

セクション2 国際収支の発展段階説 セクション概要 国際収支の各項目の変化とその国の経済状態の関係を理解する。

セクション3 国際収支と国民所得 セクション概要 国際収支と国民所得の関係を理解する。

第12回 国際通貨制度（授業形式：講義および演習）

予習内容：前回の範囲を教科書で見直す。

予習時間：50分

復習内容：今回の範囲を教科書で復習する。

復習時間：50分

概要 国際通貨制度を理解する。

セクション1 国際金本位制 セクション概要 第2次世界大戦前の国際通貨体制を理解する。

セクション2 ブレトン・ウッズ体制 セクション概要 "第2次世界大戦後の国際通貨体制を理解する。"

セクション3 外貨準備 セクション概要 ブレトンウッズ体制において制度上必要であった、外貨準備に対する理解を深める。

第13回 外国為替と為替レートの決定理論（授業形式：講義および演習）

予習内容：前回の範囲を教科書で見直す。

予習時間：50分

復習内容：今回の範囲を教科書で復習する。

復習時間：50分

概要 外国為替と為替レートの決定理論を理解する。

セクション1 外国為替と為替レートの決定理論を理解する。セクション概要 "国際決済を支える、外国為替について理解を深める。"

セクション2 為替レートの決定理論（中期）セクション概要 貿易が為替レートに与える影響を理解する。

セクション3 為替レートの決定理論（短期・長期）セクション概要 "短期や長期における為替レートの決定について理解を深める。"

第14回 S-LM-BPモデル1（IS曲線、LM曲線、BP曲線の導出）（授業形式：講義および演習）

予習内容：前回の範囲を教科書で見直す。

予習時間：50分

復習内容：今回の範囲を教科書で復習する。

復習時間：50分

概要 IS-LM-BPモデル1（IS曲線、LM曲線、BP曲線の導出）を理解する。

セクション1 IS曲線の導出 セクション概要 "財市場の均衡条件式であるIS曲線を理解する。"

セクション2 LM曲線の導出 セクション概要 貨幣市場の均衡条件式であるLM曲線を理解する。

セクション3 BP曲線の導出 セクション概要 "国際収支の均衡条件式であるBP曲線を理解する。"

第15回 IS-LM-BPモデル2

（固定為替相場制と変動為替相場制における経済政策の効果）（授業形式：講義および演習）

予習内容：前回の範囲を教科書で見直す。

予習時間：50分

復習内容：今回の範囲を教科書で復習する。

復習時間：50分

概要 "IS-LM-BPモデル2（固定為替相場制と変動為替相場制における経済政策の効果）を理解する。"

セクション1 "固定為替相場制における経済政策1 セクション概要 固定為替相場制における財政政策の効果について理解を深める。

セクション2 "固定為替相場制における経済政策2 セクション概要 固定為替相場制における金融政策と平価の変更の効果について理解を深める。

セクション3 "変動為替相場制における経済政策 セクション概要 変動為替相場制における財政政策と金融政策の効果につい

て理解を深める。

■ ホームページ

■ 実践的な教育内容

-

科目名 :	国際社会と日本【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	International Society and Japan				
担当者 :	星河 武志・丸山 佐和子				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

この講義の目標は、グローバル化の進展する世界経済の現状と諸課題について理解し、分析するための知識とスキルを身につけることです。この講義は大きく2つの部分に分かれます。前半の講義（2～8回）では、企業活動のグローバル化と、関連する貿易政策の枠組みについて解説します。後半の講義（9～15回）では、金融政策や為替の仕組み、国際通貨制度といった枠組みについて解説します。

この授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当授業が授業を実施します。各回の作成者は授業計画の内容に記載の通りです。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

- ① グローバリゼーションを経済的側面から理解する
- ② 企業や個人、日本を取り巻く世界経済の実態と、関連する国際的な制度を理解する
- ③ 国際社会や世界経済の状況を分析するのに必要な知識とスキルを身につける

■ 成績評価方法および基準

- 中間レポート① 25%
- 中間レポート② 25%
- 期末レポート 50%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

レポートの改善点等（よくある間違い、評価が高かったポイントなど）をGoogleClassroomで解説します。

■ 教科書

[ISBN]9784812214312 『国際日本経済論—グローバル化と日本の針路』（熊倉 正修, 昭和堂 : 2015）

-

■ 参考文献

[ISBN]9784641177192 『国際経済学をつかむ 第2版 (テキストボックス[つかむ])』（石川 城太, 有斐閣 : 2013）

[ISBN]4641165610 『入門・日本経済 第6版』（浅子 和美, 有斐閣 : 2020）

このほか、経済産業省の『通商白書』や内閣府の『世界経済の潮流』（旧経済企画庁『世界経済白書』）といった白書・報告書なども参考にしてください。

■ 関連科目

-

■ 授業評価アンケート実施方法

本学の規定に準拠して実施します。

■研究室・メールアドレス

(丸山) 研究室：B館5階 5B, メール：maruyama@eco.kindai.ac.jp

(星河) 研究室：B館7階 7E, メール：hoshikawa@kindai.ac.jp

■オフィスアワー

(丸山) 水曜 2 限

(星河) 水曜 3 限

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 経済のグローバル化と日本 (担当：丸山佐和子) (授業形式：講義および演習)

予習内容：教科書の第1章および第2章を読み、「生産活動」「生産要素」「市場」について確認する

予習時間：30分

復習内容：講義の内容を復習し、経済のグローバル化とはどのようなものかを自分の言葉で説明する

復習時間：60分

- ・グローバル化とは
- ・第2回から第8回までの講義概要
- ・経済学の基礎知識

第2回 日本と世界の経済成長 (担当：丸山佐和子) (授業形式：講義および演習)

予習内容：教科書の第1章および第2章を読み、「SNA」「GDP」「三面等価」について確認する

予習時間：30分

復習内容：講義の内容を復習し、日本の経済成長率の推移を自分の言葉で説明する

復習時間：60分

- ・GDPとは
- ・GDPでみる世界の経済
- ・日本の経済成長と景気循環

第3回 企業の生産活動と海外展開 (担当：丸山佐和子) (授業形式：講義および演習)

予習内容：教科書の第2章および第5章を読み、「会社」「日本的経営」「産業構造」について確認する

予習時間：30分

復習内容：講義の内容を復習し、日本の産業構造の変化を自分の言葉で説明する

復習時間：60分

- ・企業とは
- ・企業活動と産業
- ・企業活動のグローバル化

第4回 日本の貿易構造と海外直接投資 (担当：丸山佐和子) (授業形式：講義および演習)

予習内容：教科書の第5章および第7章を読み、「貿易構造」「海外直接投資」「要素集約度」について確認する

予習時間：30分

復習内容：講義の内容を復習し、企業が海外で生産を行うことのメリットを考える

復習時間：60分

- ・日本の貿易構造の変化
- ・1980年代の日本企業の海外進出
- ・グローバル・バリューチェーンの形成

第5回 貿易政策と世界貿易体制 (担当：丸山佐和子) (授業形式：講義および演習)

予習内容：教科書の第9章、第17章および第18章を読み、「サービス貿易」「関税」「WTO」について確認する

予習時間：30分

復習内容：講義の内容を復習し、「最恵国待遇」と「内国民待遇」を自分の言葉で説明する

復習時間：60分

- ・貿易政策とは
- ・GATT/WTOの基本ルール
- ・WTOの機能

第6回 地域統合と貿易自由化 (担当：丸山佐和子) (授業形式：講義および演習)

予習内容：教科書の第18章を読み、「自由貿易協定」「TPP」「貿易自由化」について確認する

予習時間：30分

復習内容：講義の内容を復習し、日本がFTA/EPAを結ぶことのメリットとデメリットを説明する

復習時間：60分

- ・地域統合とは
- ・日本のFTA/EPA

・地域統合のメリット・デメリット

第7回 EUと欧州単一市場（担当：丸山佐和子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の第16章および第18章を読み、「民主主義」「関税同盟」「原産地規制」について確認する

予習時間：30分

復習内容：講義の内容を復習し、欧州単一市場の「4つの移動の自由」を自分の言葉で説明する

復習時間：60分

- ・EUの仕組み
- ・欧州単一市場の機能
- ・英国のEU離脱

第8回 企業活動から見えるグローバリゼーション（担当：丸山佐和子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：これまでの授業の各回の主なトピックを確認し、わからない点をピックアップする

予習時間：30分

復習内容：これまでの授業のレジュメ・ノートを確認し、主要なキーワードを自分の言葉で説明する

復習時間：60分

- ・戦後の世界経済の変化
- ・日本企業の活動のグローバル化
- ・グローバリゼーションの下での通商政策

第9回 通貨と決済システム（担当：星河武志）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の第3章を読み、「通貨」「決済システム」「中央銀行」について確認する

予習時間：30分

復習内容：講義の内容を復習し、決済システムと中央銀行の役割を自分の言葉で説明する

復習時間：60分

- ・第9回から第14回までの講義概要
- ・銀行と決済システム
- ・中央銀行の役割
- ・国際間の決済

第10回 国際収支とマクロ経済（担当：星河武志）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の第4章を読み、国際収支と「GDP」「ISバランス」「政府財政」の関係について確認する

予習時間：30分

復習内容：講義の内容を復習し、国際収支はマクロ経済とどのように関連があるかを自分の言葉で説明する

復習時間：60分

- ・GDPと経常収支
- ・ISバランスと経常収支
- ・政府財政と経常収支

第11回 外国為替市場（担当：星河武志）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の第11章および第13章を読み、「外国為替レート」「購買力平価」「実質為替レート」について確認する

予習時間：30分

復習内容：講義の内容を復習し、為替レートと購買力平価とはどのようなものかを自分の言葉で説明する

復習時間：60分

- ・外国為替レート
- ・購買力平価（1財のケース）
- ・購買力平価・実質為替レート

第12回 為替レートと金利（担当：星河武志）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の第11章および第12章を読み、「金利」「先物」「金利平価」について確認する

予習時間：30分

復習内容：講義の内容を復習し、金利平価とはどのようなものかを自分の言葉で説明する

復習時間：60分

- ・為替レートと先物取引
- ・金利平価
- ・債券価格

第13回 為替レートと金融政策（担当：星河武志）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の第14章を読み、「金融政策」「為替レート」「マネタリーモデル」について確認する

予習時間：30分

復習内容：講義の内容を復習し、マネタリーモデルとはどのようなものかを自分の言葉で説明する

復習時間：60分

- ・金融政策
- ・貨幣数量説
- ・為替レートのマネタリーモデル

第14回 通貨制度の選択と外国為替市場介入（担当：星河武志）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の第19章を読み、「通貨制度」「外国為替市場介入」「日本の通貨政策」について確認する

予習時間：30分

復習内容：講義の内容を復習し、通貨制度の仕組みとはどのようなものかを自分の言葉で説明する

復習時間：60分

- ・金本位制
- ・固定相場制
- ・通貨制度の選択

第15回 金融の側面から見えるグローバリゼーション（担当：星河武志）（授業形式：講義および演習）

予習内容：これまでの授業の各回の主なトピックを確認し、わからない点をピックアップする

予習時間：30分

復習内容：これまでの授業のノートを確認し、主要なキーワードを自分の言葉で説明する

復習時間：60分

- ・国際資本移動
- ・資本移動規制と租税回避
- ・金融のグローバル化

定期試験は実施しません

（中間・期末レポートには、それぞれ提出期限を設定します。詳細はGoogleClassroomで確認してください。）

■ **ホームページ**

■ **実践的な教育内容**

-

科目名 :	環境と社会【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Environment and Society				
担当者 :	井田 民男				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :	理工応用化学科：学修・教育到達目標（A）に主体的に関与 理工機械工学科：機械工学コース学習・教育目標：A-2, JABEE基準1.2：(a)(b)に関与 理工電気電子通信工学科：学習・教育到達目標D1の達成に付随的に関与 理工社会環境工学科：ディプロマ・ポリシーの(A)、(G)、(I)に主体的に関与、(C)に付随的に関与				

■ 授業概要

地球上において生物は、環境からの影響を受けながら、お互いの相互作用の中で生命活動を営んでいる。この生態系の中にあつて、現代では人間社会の活動が環境に悪影響を及ぼすようになってきた。大気・土壌・水質汚染の問題、衣食住、社会環境の変化など（様々な要因）がこれまで動植物の生命、健康に影響を与えてきた。さらに産業の発展や我々の生活環境の変化は地球温暖化に確実に影響を与えている。2015年9月世界中の政府が合意した国連のSustainable Development Goals(SDGs;持続可能な開発目標)として17のゴールを掲げ、2030年の目標達成に向け動き出している。本講義ではこれら多岐にわたる環境と社会問題を取り上げ、特に最近の社会の環境変化がどのように影響を与えているのかを学び、サイエンスとして幅広い視野でそれらについて学び、持続可能な社会形成に向けた取り組みの在り方や問題意識をもって解決策を学習する。

この授業はコンテンツ作成者の井田民男が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

"地球環境の成り立ちや生態系の基礎知識を学びつつ、人間活動がもたらした環境問題を理解する。さらに、人間が生み出した科学技術が社会や環境に及ぼした影響を理解する。将来に向けて問題意識を持ち、理工学的な視点からの解決策を導くための基盤を作ることを目標とする。さらに、

人の健康、生命の尊さを重んじ、理工の視点から課題の原因と現状について理解を深め、将来に向けて問題意識をもって解決策を提案・発信できるようになることを目標とする

1) 地球規模の課題として、大気汚染、水質、化学物質、最近問題のプラスチックごみの海洋生物への影響などの把握、さらに地球温暖化に伴う気候変動対策の現状や世界の取り組みについて学ぶ。

2) 人を取り巻く社会環境の問題として、都市への人口の集中化、職場環境、危険薬物、衣食住の視点より健康の問題やその改善の取り組みの現状を理解する。

3) 日常生活の中で耳にする機会の多い環境問題についての概要を正しく理解し、自分なりの「持続可能な社会」に対する考えを持つ。

この科目は、SDGsの主にNo. 2、4、7、8、9、11、12、13、14、15、16、17の成長目標の達成に関与しています。

受講者はこの授業を履修することによって、幅広い専門領域における課題の意味を広い歴史観や深い人間観の中で位置付けようとする教養を、身に付けることができるようになります。また、地球規模の環境問題を学習することにより、異質な価値や文化を理解し自国の伝統や文化の意味を再発見する国際感覚を身に付けていることができるようになります。この科目の修得は、本学が定めるディプロマポリシー3と4の達成に関与しています。

さらに、この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的1の達成に関与しています。

この科目の単位修得は電気電子工学科エレクトロニクス・情報通信コースで設定した学習・教育到達目標D1の達成に付随的に関与、ならびに電気電子工学科のディプロマポリシーの2-1の達成に関与している。(電気電子工学科)

この科目の修得は、産業理工学部の定めるディプロマポリシーの2-1の達成に関与しています。(産業理工学部)

■ 成績評価方法および基準

- 小レポート課題及び小テスト（複数回合計＝40点） 40%
- 大レポート課題1（20点） 20%
- 大レポート課題2（20点） 20%
- 大レポート課題3（20点） 20%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

レポートの要点をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■ 教科書

[ISBN]9784339066609 『環境と社会 - 人類が自然と共生するために -』（井田 民男,川村 淳浩,杉浦 公彦 コロナ社：2022）

■ 参考文献

[ISBN]9784339066616 『バイオコクス - 再生可能エネルギー社会の礎となる新しい固体バイオエネルギー -』（井田 民男, コロナ社：2022）

[ISBN]9784121026040 『SDGs（持続可能な開発目標）（中公新書）』（蟹江 憲史, 中央公論新社：2020）

[ISBN]9784759819403 『環境科学入門 第2版: 地球と人類の未来のために』（川合真一郎, 化学同人：2018）

[ISBN]9784782707791 『エネルギーの科学—人類の未来にむけて』（安井伸郎, 三共出版：2018）

[ISBN]9784759815320 『環境倫理入門—地球環境と科学技術の未来を考えるために』（近畿化学協会化学教育研究会, 化学同人：2012）

■ 関連科目

資源とエネルギー、技術と倫理、科学的問題解決法、バイオエネルギー工学、熱力学の基礎、熱力学、鑄造工学、熱流体力学、エネルギー物質科学、水素エネルギー工学、太陽エネルギー工学、バイオエネルギー工学

■ 授業評価アンケート実施方法

学部実施に準拠する。

■ 研究室・メールアドレス

各担当の連絡先は、Classroomにて掲示する。

■ オフィスアワー

メールにて随時受け付ける。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

この講義を履修することにより、人の活動と環境のかかわりを理解する。そして、将来社会人として地球規模の環境から身近で発生する人を取り巻く環境を含め、地球上の動植物の生存に向け多種多様な環境問題について学び、その指標であるSDGsを達成するため世界中の情報の共有化やそれらの改善に取り組む姿勢を養うことを目的としているため、ニュース、新聞等の最新情報をその原因は何かを考え、科学的な解決策を考えながら読んだり、聞いたりしながら社会を学習する。また、この科目は、資源とエネルギー、技術者倫理と大きく関わっているので、その関連性も考えて学習すること。

予習内容：シラバスより「環境と社会」の講義内容の全体像を把握する。

予習時間：60分

復習内容：第1回の講義を聞き、全体像を把握する。

復習時間：60分

第1回 環境と社会を巡って～その1～（授業形式：講義および演習）

予習内容：持続可能な開発目標SDGsを規範について学習する。

予習時間：60分

復習内容：持続可能な開発目標SDGsを規範について再学習する。

復習時間：60分

概要 環境と社会に関する諸問題の解決を目指す科学の講義として位置図ける。世界的な取り組みである「持続可能な開発目標SDGsを規範として、幅広い視野でそれらの現状の理解と改善策に向けた科学の在り方を学習する。

セクション1 環境と社会の目指すところ セクション概要 環境と社会に関連した授業目標、達成目標を理解する。

セクション2 SDGs セクション概要 SDGsに関する環境と社会に関する項目を理解する。

セクション3 科学と文化 セクション概要 科学・文化の始まりについて理解し、持続可能な社会の在り方について理解する。

第2回 環境と社会を巡って～その2～（授業形式：講義および演習）

予習内容：これまで地球上で発生してきた種々の環境問題が社会に及ぼしてきた歴史的な事柄から環境問題について学習する。

予習時間：60分

復習内容：エネルギーと環境の同時解決を図ったCO2リサイクルシステムについて再学習する。

復習時間：60分

概要 環境と社会はエネルギー基盤の上で食糧、人口、経済が入り組んだ複雑な問題を抱えている。特に、人口動態がその鍵を

握っている。ここでは、人口動態予測とエネルギーと環境の同時解決を図ったCO2リサイクルシステム社会、さらに技術の中立性について学習する。

セクション1 人口増加とその予測 セクション概要 世界の人口増加の要因とその予測分析を理解する。

セクション2 CO2リサイクルシステム セクション概要 エネルギーと環境を同時に解決するアイデアと技術開発について学習する。

セクション3 科学と社会 セクション概要 中立な技術開発とその在り方について学習する。

第3回 地球システムを巡って（授業形式：講義および演習）

予習内容：地球システムについて学習する。

予習時間：60分

復習内容：地球システムについて再学習する。

復習時間：60分

概要 サイエンスにおける環境と社会を理解するための地球システムについて学習する。

セクション1 持続可能な再生可能エネルギー セクション概要 持続可能なエネルギーの科学について学習する。

セクション2 再生可能エネルギーの科学1 セクション概要 再生可能エネルギーの科学について学習する。

セクション3 再生可能エネルギーの科学2 セクション概要 エネルギー転換、エクセルギーについて学習する。

第4回 自然に影響を及ぼしている環境問題と社会を巡って（授業形式：講義および演習）

予習内容：環境問題と社会について学習する。

予習時間：60分

復習内容：環境問題と社会について再学習する。

復習時間：60分

概要 自然に影響を及ぼしているエネルギー開発が及ぼす環境への影響と社会について学習する。

セクション1 エネルギーと社会のゆくえ セクション概要 地球の有限性とその行方について学習する。

セクション2 再生可能エネルギーによる自然環境への影響1 セクション概要 風力・洋上エネルギーによる自然環境の現状と課題を学習する。

セクション3 再生可能エネルギーによる自然環境への影響2 セクション概要 バイオエネルギーによる自然環境の現状と課題を学習する。

第5回 生体に影響を及ぼしている環境問題と社会を巡って（授業形式：講義および演習）

予習内容：生体に影響を及ぼしている環境問題と社会について学習する。

予習時間：60分

復習内容：生体に影響を及ぼしている環境問題と社会について再学習する。

復習時間：60分

概要 技術開発が生体に影響を及ぼしている環境問題と社会について学習する。

セクション1 沈黙の春から学ぶ セクション概要 化学物質の自然環境への影響と社会の変貌について学習する。

セクション2 海洋汚染と保全工学 セクション概要 海洋プラスチック、海洋汚染について学習する。

セクション3 放射能汚染と保全工学 セクション概要 放射能汚染と環境保全について学習する。

第6回 地球環境保全に向けた環境と社会を巡って（授業形式：講義および演習）

予習内容：地球環境保全に向けた環境と社会について学習する。

予習時間：60分

復習内容：地球環境保全に向けた環境と社会について再学習する。

復習時間：60分

概要 地球環境保全に向けた環境と社会について学習する。

セクション1 マテリアル循環とエネルギー セクション概要 プラスチック製品等のマテリアル循環とエネルギーについて学習する。

セクション2 環境保全とISO セクション概要 環境保全とISOの意義について学習する。

セクション3 法工学 セクション概要 法工学の必要性和意義について学習する。

第7回 エネルギー資源を取り巻く環境と社会を巡って（授業形式：講義および演習）

予習内容：エネルギー資源を取り巻く環境と社会について学習する。

予習時間：60分

復習内容：エネルギー資源を取り巻く環境と社会について再学習する。

復習時間：60分

概要 エネルギー資源を取り巻く環境と社会について学習する。

セクション1 エネルギー備蓄 セクション概要 持続可能な社会を支えるエネルギー備蓄について学習する。

セクション2 バイオエネルギー セクション概要 持続可能なバイオエネルギーの基礎特性について学習する。

セクション3 核融合エネルギー セクション概要 持続可能な核融合エネルギーの基礎特性について学習する。

第8回 技術開発を取り巻く環境と社会を巡って（授業形式：講義および演習）

予習内容：技術開発を取り巻く環境と社会について学習する。

予習時間：60分

復習内容：技術開発を取り巻く環境と社会について再学習する。

復習時間：60分

概要 技術開発を取り巻く環境と社会について学習する。

セクション1 科学とは セクション概要 科学を根幹から見つめ直し、その必要性と独創性について学習する。

セクション2 地球規模課題対応国際科学技術協力 セクション概要 我が国が取り組むSATREPSを基に科学技術について学習する。

セクション3 ムーンショット型研究開発 セクション概要 我が国が取り組むムーンショットを基に科学技術について学習する。

第9回 環境倫理と技術開発（授業形式：講義および演習）

予習内容：環境倫理について学習する。

予習時間：60分

復習内容：環境倫理について再学習する。

復習時間：60分

概要 環境倫理と技術開発の在り方について学習する。

セクション1 環境哲学 セクション概要 環境哲学の理念とい学問を学習する。

セクション2 環境倫理 セクション概要 環境哲学の理念と学問を学習する。

セクション3 環境倫理と技術開発 セクション概要 環境倫理と技術開発の学問を学習する。

第10回 共生の生態学（授業形式：講義および演習）

予習内容：社会が向かうべき共生の生態学について学習する。

予習時間：60分

復習内容：社会が向かうべき共生の生態学について再学習する。

復習時間：60分

概要 社会が向かうべき共生の生態学について学習する。

セクション1 共生の生態学とは セクション概要 共生の生態学の基礎を学習する。

セクション2 共生システム セクション概要 共生システムの基礎を学習する。

セクション3 共生へ向かって セクション概要 共生の在り方、特に障害者教育について学習する。

第11回 環境保全に向けた社会の在り方（授業形式：講義および演習）

予習内容：エネルギーと環境を取り巻く社会が向かうべく未来の像について学習する。

予習時間：60分

復習内容：エネルギーと環境を取り巻く社会が向かうべく未来の像について再学習する。

復習時間：60分

概要 エネルギーと環境を取り巻く社会が向かうべく未来の像について学習する。

セクション1 持続可能なエネルギー セクション概要 化石エネルギーからバイオエネルギーへのシフトについて学習する。

セクション2 炭素循環 セクション概要 地球システムが有する炭素循環に組み込まれるカーボンニュートラルの概念を学習する。

セクション3 未来自動車 セクション概要 スターリングエンジンについて学習する。

第12回 持続可能な社会形成に向けた取り組み（廃棄物と社会）（授業形式：講義および演習）

予習内容：日常生活、社会活動において廃棄物を資源化について学習する。

予習時間：60分

復習内容：日常生活、社会活動において廃棄物を資源化について再学習する。

復習時間：60分

概要 日常生活、社会活動において廃棄物を資源化することは、重要な課題である。その取り組みについて学習する。

セクション1 廃棄物 セクション概要 廃棄物の現状と課題について学習する。

セクション2 廃棄物処理 セクション概要 廃棄物処理の現状と課題について学習する。

セクション3 廃棄物資源化 セクション概要 廃棄物の資源化の基礎について学習する。特に、食品ロスと汚泥資源の有効活用の取り組みについて学習する。

第13回 持続可能な社会形成に向けた取り組み（水素と社会）（授業形式：講義および演習）

予習内容：水素社会の在り方について学習する。

予習時間：60分

復習内容：水素社会の在り方について再学習する。

復習時間：60分

概要 水素社会の到来は、世界の祈願であり、目指すべく究極の社会基盤であり、その科学について学習する。

セクション1 水素エネルギー セクション概要 水素エネルギーの基礎を学習する。

セクション2 従来型燃料電池 セクション概要 従来型燃料電池の基礎を学習する。

セクション3 新型燃料電池 セクション概要 新型燃料電池の基礎を学習する。

第14回 持続可能な社会形成に向けた取り組み（農業と社会）（授業形式：講義および演習）

予習内容：食糧確保について学習する。

予習時間：60分

復習内容：食糧確保について再学習する。

復習時間：60分

概要 食糧確保は、世界の最大の課題である。食を科学し、その解決策について学習する。

セクション1 農業と気象 セクション概要 農業と気象について学習する。

セクション2 生物環境と農業 セクション概要 温室や植物工場について学習する。

セクション3 農業とエネルギー セクション概要 農業とエネルギーについて学習する。

第15回 持続可能な社会形成に向けた取り組み（バイオエネルギーと社会）（授業形式：講義および演習）

予習内容：バイオマス資源について学習する。

予習時間：60分

復習内容：バイオマス資源について再学習する。

復習時間：60分

概要 持続可能かつ再生可能なエネルギーである次世代固形バイオ燃料であるバイオコークスについて学習する。

セクション1 次世代固形バイオ燃料：バイオコークス セクション概要 次世代固形バイオ燃料：バイオコークスについて学習する。

セクション2 実用化に向けたバイオコークス セクション概要 実用化に向けたバイオコークスについて学習する。

セクション3 長期備蓄型再生可能エネルギー セクション概要 持続可能な長期備蓄型再生可能エネルギーについて学習する。

■ホームページ

近畿大学バイオコークス研究所 <https://www.kindai.ac.jp/bio-coke/>

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 :	技術と倫理【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Technology and Ethics				
担当者 :	東崎 康嘉				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :	理工学部応用化学科：学修・教育到達目標（B）に主体的に関与、 理工学部社会環境工学科：ディプロマ・ポリシーの(A)、(B)に主体的に関与、(F)に付随的に関与				

■ 授業概要

近年、自動車会社及び自動車部品メーカー等による品質不正問題や、先端技術を他国へ漏らす技術流出問題など、技術者の道徳的倫理が問われる問題が多く発生している。(今後とも技術競争の苛烈さが増して技術が高度化していく中で、最も根本的な技術者としての道徳的倫理観が蔑ろにされる状況が危惧される。)

これからの技術者は、持続的な生活基盤を支える環境やエネルギーに配慮し、関連する法規を遵守しながら、自ら生み出す製品の社会的な影響を十分に理解する必要がある。その上で、社会に対して安全で信頼性の高い技術を開発し提供していくことが求められる。

本講では、今後、専門分野を深く修得していく上で、健全な科学技術者のあるべき姿を考え、それを実践していくための正しい道徳観・倫理観を涵養・修得することを主眼とする。この授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施する。各回の作成者は授業計画の内容に記載している。技術と倫理では、理工学部履修要項に準拠し、1/3以上の欠席すなわち5回以上の未受講があった場合は不合格とする。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

グローバル化と標準化が進む現代の科学技術世界において、これからの科学技術者の在り方、基本として持つべき科学技術倫理観を養うことができる。下記に具体的な項目を示す

- 1) 企業の中で必要とされる技術者倫理を身につけることができる
- 2) 製造物責任法を知ることができる
- 3) 科学技術者として必要な倫理を知ることができる
- 4) 品質問題、環境問題、安全問題と情報問題と技術者倫理の関係を知ることができる
- 5) 知的財産権について知ることができる
- 6) リスク問題の対処法を知ることができる

本科目は修得は、学科の定めるディプロマポリシーの達成に関与しています（例）機械工学科ディプロマポリシー 1. 1)）。

■ 成績評価方法および基準

レポート 30%

定期課題レポート 70%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

レポート課題の提出締切終了後に「レポート課題の要点と解説」をGoogle Classroomに掲載します。

■ 教科書

[ISBN]9784759819779 『技術者による実践的工学倫理 第4版 先人の知恵と戦いから学ぶ』（（一社）近畿化学協会 工学倫理研究会, 化学同人：2019)

-

■ 参考文献

■ 関連科目

「技術倫理と知的財産」

■ 授業評価アンケート実施方法

期間内で実施します

■ 研究室・メールアドレス

38号館 tozaki@mech.kindai.ac.jp

38号館N602 fujita@mech.kindai.ac.jp

38号館N504 tanida@mech.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

月曜日1限

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 工学倫理をはじめるとあって（東崎）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書 I 部第1章を読む

予習時間：30分

復習内容：工学倫理がなぜ必要かをまとめる

復習時間：30分

概要 科学技術者の社会における役割と、これから学習していく工学倫理の内容について説明ができる

セクション1 工学倫理を学習する理由 セクション概要 工学倫理を学習する理由を明確にし、その後工学倫理が関連した事件と大学で工学倫理の学習がスタートして経緯を理解する。

セクション2 技術者倫理と技術倫理 セクション概要 工学倫理、技術倫理、技術者倫理の定義を学習し、その違いを明確に理解することができる

セクション3 専門技術者と技術（者）倫理 セクション概要 技術者に求められる素養を理解し、技術者に求められている倫理性も理解することができる。

第2回 技術者倫理が問われる場合（東崎）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書 I 部第2章を読む

予習時間：30分

復習内容：技術者倫理・技術倫理が問われる場合の違いを理解する

復習時間：30分

概要 技術は危険なものであり、技術者倫理が問われる場合はいろいろあることを認識し、過去の教訓を説明することができる

セクション1 技術評価とは 技術は危険なものであるが、受益者（公衆）はその技術がもたらす利便性と危険性を比較して、技術評価をしていることを理解する

セクション2 技術者倫理が問われる場合 技術者倫理が問われる場合はいろいろあることを認識し、それぞれの事例を教訓として学ぶ必要がある

セクション3 最も単純な倫理違反 「工学倫理」の理解が不足し、品質不正、食品偽装、論文ねつ造などの倫理問題が発生していることを学ぶ

第3回 技術者と倫理（東崎）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書 I 部第3章を読む

予習時間：30分

復習内容：技術者に求められる倫理をまとめる

復習時間：30分

概要 日本の技術の特徴、日米の技術者の違いを理解し、どうして技術に高い倫理性が求められるかを説明できる

セクション1 日本の技術 「大衆人気商品」につぎ込んだ小遣いが、「成熟した商業技術」の開発資金となった また、新幹線のように、信頼性と安全性を兼ね備えた技術もあることが説明できる

セクション2 日米の技術者 米国はPEとPh.D、日本は理学修士・工学修士が中心に技術開発を担ってきた過去の技術者が、築きあげた大衆からの尊敬と信頼を維持することが大切であることを知る

セクション3 技術者と倫理 「危険なものを安全に使いこなす知恵」を正しくつかわないと、恐ろしい結果がまっているために、技術者に高い倫理性が求められていることを知る

第4回 専門職と組織人の倫理（東崎）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書 I 部第4章を読む

予習時間：30分

復習内容：組織人であるために必要な事項を書き出す

復習時間：30分

概要 専門職と組織人とは何かを理解し、それぞれの役割と大切にしなければならないことが説明できる

セクション1 専門職であるということ 技術者には専門的能力に加え、高い倫理性が要求される それに反すると大衆の信頼を失い業務ができなくなることを知る

セクション2 技術と信頼 専門職とは「大衆には理解できない職務」を任されている職で信頼されることが必要であることを理解する

セクション3 組織人であるということ 技術者は組織に属して活動する 組織ではなんでも報告・連絡・相談する”ほうれんそう”が大切であることを知る

第5回 倫理問題への対応（東崎）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書Ⅰ部第5章を読む

予習時間：30分

復習内容：公益通報者保護法をまとめる

復習時間：30分

概要 日本の企業の中で行われている倫理問題の対応の現状とその活動、さらには国際的舞台上でのとりくみについて説明ができる

セクション1 日本企業のとりくみ 「小集団活動」を基本とし、「危険予知」「ヒヤリハット」などの手法を用いて、日常活動を点検しあう日本の方式が、工学倫理に対して有効であることを理解する

セクション2 工学倫理にも小集団活動を 倫理意識の徹底、不倫理行動の撲滅、危険予知やヒヤリハット活動を小集団で行うことが重要であることを知る

セクション3 国際的な舞台上でのとりくみ 国際的な工学倫理に単純な正解はない 相手国の事情だけで片づく話でもないグローバル・スタンダードで片づけられる話でもない 違いを理解し合うこと、そしてここでも、話し合うことが大切であることを理解する

第6回 製造物責任と技術者（東崎）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書Ⅰ部第6章を読む

予習時間：30分

復習内容：日本・EC・アメリカのPL制度を比較しまとめる

復習時間：30分

概要 技術者との関連が深いPL法（製造物責任法）の仕組みについて理解し、PL法といかに技術者が対応すべきかを説明できる

セクション1 製造物責任法（PL法）とは PL法では、欠陥をこうむったことさえ立証できれば、損害賠償を請求できるのが特徴であることを理解する

セクション2 企業の海外でのPL訴訟事例とPL法成立経緯 米国には懲罰的賠償制度により、巨額の損害賠償となる 日本では、細川内閣の出現で、製造側、消費者側の妥協がはかられ、PL法が成立することになったことを知る

セクション3 各国との比較とPL法制定後の状況 日米欧でPL法はおおむね内容は共通であるが、「懲罰的賠償」は米国のみに認められている また、米国では弁護士が、被害者に競ってPL訴訟を提案したりすることを知る

第7回 実践的技術者倫理のすすめ（東崎）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書Ⅰ部第7章を読む

予習時間：30分

復習内容：事例研究の注意点をまとめる

復習時間：30分

概要 技術者人生の中で、工学倫理にかかわるような事件に巻き込まれないようにする方法を説明できる

セクション1 実践的技術者倫理 実験などを安全に効率よく実施するための5S活動や、安全推進キーファクター5Mを知る

セクション2 事例から学ぶ1 事例研究とグループ討論が工学倫理を学ぶために、効果的な学習方法であることを知る

セクション3 事例から学ぶ2 事例紹介では、工学倫理の基本は、「危険なものを安全に使いこなす仕事」をしているという明確な自覚を持つことであると再確認することが重要と理解する

第8回 安全と工学倫理（東崎）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書Ⅱ部第1章を読む

予習時間：30分

復習内容：安全推進のキーファクター5Mをまとめる

復習時間：30分

概要 企業で発生する可能性のある安全問題の事例を取り上げ、公衆の安全に対する科学技術者の責任について説明ができる

- セクション1 技術者と安全 実験などを安全に効率よく実施するための5S活動や、安全推進キーファクター5Mを知る
セクション2 各種安全活動 1972年に制定された労働安全衛生法が労働災害の死亡者数を減少させるのに、貢献したことを理解する
セクション3 品質保証と排出物質の安全 PRTR法（化学物質排出把握管理促進法）やRC（レスポンスフル・ケア）活動の内容を理解する

第9回 リスクの評価と工学倫理（東崎）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書Ⅱ部第2章を読む

予習時間：30分

復習内容：技術者がかかわるリスクの例をまとめる

復習時間：30分

概要 環境、安全等、人々をとりまくリスクは多様である これらのリスクに対する科学技術者の責任について記述できる

セクション1 リスクとは リスクの大きさは、被害規模×発生確率 であることを知る

セクション2 リスクとはマネジメントとリスク評価 ①本質安全設計②安全寿命設計③フェイルセーフ設計④損傷許容設計の五つが信頼性設計の代表的な考え方であることを知る

セクション3 リスクへの対応・評価と工学倫理 ①リスクの保有②リスクの削減③リスクの分散④リスクの移転⑤リスクの回避 のいずれかを選択することがリスクへの対応方法であることを理解する

第10回 環境・資源・エネルギー問題（東崎）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書Ⅱ部第3章（～142p）を読む

予習時間：30分

復習内容：環境を考える三つの主張を書き出す

復習時間：30分

概要 世界で大きな問題となっている環境・資源・エネルギー問題について、現在までの状況と技術者がとるべき姿勢について説明できる

セクション1 歴史から見る環境問題 環境容量とは、環境の浄化能力の限界値を表す指標で、許容される排出総量を与える場合と、自然の浄化能力の限界値から考える場合の二つがあることを理解する

セクション2 現在の環境問題 第二次世界大戦後の汚染問題の状況変化を理解する

セクション3 資源とエネルギー問題 世界の一次エネルギー消費量は、1965年から年平均2.6%で増加を続け、2015年には130億トン (toe) を越えた この50年間で、3.5倍の驚異的な伸びを示していることを知る

第11回 資源循環型社会と地球規模の環境問題（東崎）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書Ⅱ部第3章（143p～）を読む

予習時間：30分

復習内容：京都議定書とパリ協定の違いをまとめる

復習時間：30分

概要 資源循環型社会の概念と地球規模の環境問題に対する技術者の使命について説明できる

セクション1 資源循環型社会の概念と倫理問題 廃棄物管理と資源循環のポイントは「3Rイニシアティブ」と「3P（汚染者負担原則、Polluter-Pays Principle）」であることを理解する

セクション2 地球規模の環境問題 地球温暖化ガス係数やオゾン層破壊とフロンとの関係などを理解する

セクション3 地球温暖化問題 温暖化の基本対策は、「緩和」と「適応」の二つであることを知る

第12回 技術者と法規（東崎）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書Ⅱ部第4章を読む

予習時間：30分

復習内容：技術者に関係のある法規をまとめる

復習時間：30分

概要 法規と倫理の関係を整理し、「倫理」問題における法律の役割を考え、法規の役割を説明できる

セクション1 法規とは 技術関係の法規は、「危険なものを安全に使いこなす」ことの専門職である技術者が参画してつくってきた貴重な知恵の集積であることを理解する

セクション2 法規と注意義務 一般の過失と業務上過失に対する刑の違いを知る

セクション3 技術者をとりまく法規の概観 技術者は、自分に関係の深い法規をよく理解しておいて、そのほかのものは必要に応じて調べるのが現実的だ その法規の専門家などによく相談することも大切だ 以上のことを理解する

第13回 知的財産と工学倫理（藤田）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書Ⅱ部第5章を読む

予習時間：30分

復習内容：「発明」「考案」「意匠」の違いをまとめる

復習時間：30分

概要 知的財産権について学習し、その後知的財産権問題の事例を紹介し、知的財産問題と工学倫理の関係を説明できる

セクション1 知的財産権制度について 知的財産権の制度の趣旨を理解し、日本における知的財産政策を理解する

セクション2 知的財産権の国際問題と職務発明 知的財産権の国際的な問題を理解し、組織の中で行う職務発明についての理解を深める

セクション3 不正競争防止法について 公平な競争を阻害する行為の禁止を定めた不正競争防止法に基づく各事例を通して、知的財産保護に対する理解を深める

第14回 バイオテクノロジーと工学倫理（谷田）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書Ⅲ部第1章を読む

予習時間：30分

復習内容：ES細胞とiPS細胞の違いをまとめる

復習時間：30分

概要 人類に計りしれない恵をもたらす可能性があるバイオテクノロジーの持つ危険性とその技術の受け入れ方についての工学倫理の観点から説明できる

セクション1 バイオテクノロジーとは 人類が生物環境や生命を操作する技術を手に入れ始めたことを学ぶ 次に法規がどのような観点で整備されているのか理解する。そのうえで、技術者や人類がどのように技術を受け入れるか考える

セクション2 生命倫理とは 生命倫理を理解し、ヘルシンキ宣言を理解する。そして、個人情報とインフォームドコンセントの重要性を理解する

セクション3 近畿大学の生命倫理規定とは 具体的な生命倫理規定を理解する

第15回 情報技術と工学倫理（谷田）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書Ⅲ部第2章を読む

予習時間：30分

復習内容：ICTの特性についてまとめる

復習時間：30分

概要 最近重要となってきた情報問題の事例を取り上げ、技術者の立場から、情報技術の在り方について説明ができる

セクション1 情報通信技術とは 情報通信技術の広さを学ぶ、次に法規がどのような観点で整備されているのか理解する。そのうえで、技術者や人類がどのように技術を受け入れるか考える

セクション2 ICTに関係する条約と法規とは 情報処理技術に関する法規を理解し、何が犯罪となるのか理解する 情報管理方法を理解する

セクション3 ICTの進歩とこれからの社会へ ICTの将来を考える。事例を知る（温故知新）そして、倫理観取得への心得を学ぶ

定期試験

定期試験は、課題を定めたレポートとする

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 :	生命の科学【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Science of Life				
担当者 :	角谷 晃司				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

ヒトゲノムの解読により我々を含む生命体の謎が解き明かされつつある。また、生命科学を通して生命体の「誕生」、「疾病」そして「死」など、様々な現象が明らかとなってきた。この講義では、近年飛躍的に進歩している生命科学の分野において、我々の身近に関わる、細胞、遺伝子、代謝、食、がんなどについて知っておかなければならない事を、生物学を学んでいない学生に対しても理解できる範囲で紹介する。

この授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。各回の作成者は授業計画の内容に記載のとおりです。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講者はこの授業を履修することによって、医学、薬学、農学、理学を問わず、一般新聞に掲載されるサイエンス記事が理解できるようになることが目標である。

この科目の修得は、本学の定めるディプロマポリシー2.の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

15回すべての講義動画を視聴した学生のみ評価の対象であり、第1回レポート課題 30%

第2回レポート課題 30%

第3回レポート課題 30%

ディスカッションへの参加 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

「レポート課題の提出締切後に「レポート課題の要点と解説」をGoogleClassroomに掲載します。」

■ 教科書

適時プリント配布

■ 参考文献

[ISBN]9784758120005 『生命科学 改訂第3版』（東京大学生命科学教科書編集委員会, 羊土社）

[ISBN]9784807903436 『ウォーレス現代生物学 上』（R.A. ウォーレス, 東京化学同人）

[ISBN]9784807903443 『ウォーレス現代生物学 下』（R.A. ウォーレス, 東京化学同人）

[ISBN]9784315520620 『細胞の分子生物学 第6版』（Bruce Alberts, ニュートンプレス）

[ISBN]9784410281488 『フォトサイエンス生物図録』（数研出版編集部, 数研出版：2023）

■ 関連科目

なし

■ 授業評価アンケート実施方法

学部実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

角谷 晃司 6号館 4階 kakutani@msa.kindai.ac.jp
中村 恭子 38号館 9階 kyoko@phar.kindai.ac.jp
八軒 浩子 7号館 4階 hhachi@phar.kindai.ac.jp
和田 哲幸 7号館 4階 tetsu@phar.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

平日9時～18時、上記研究室で受け付けます。メールでの質問、歓迎します。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 生物の基本概念と基本構造 (担当: 角谷 晃司) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 生物の基本概念と基本構造について予習を行う。

予習時間: 60分

復習内容: 授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間: 60分

概要 生物のもつ2つの対立した特性、多様性と共通性を知ること、生物とは何かをという基本概念と基本構造を学ぶ。

セクション1 生命の多様性と共通性について

セクション概要 異なる生物もすべて生きているのは何故かを考える。

セクション2 細胞とは

セクション概要 細胞の中にある細胞小器官について説明する。

セクション3 原核生物と真核生物の違い

セクション概要 原核生物と真核生物の違いについて説明する。

第2回 生殖細胞 (担当: 角谷 晃司) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 生殖細胞について予習を行う。

予習時間: 60分

復習内容: 授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間: 60分

概要 精子と卵子などの生殖細胞の形成過程やホルモンの働きについて理解する。

セクション1 生殖細胞について

セクション概要 精子と卵子が作られる生殖器について説明する。

セクション2 精子と卵子の形成について

セクション概要 精子と卵子の形成過程を説明する。

セクション3 女性ホルモンの働き

セクション概要 女性ホルモンの働きを説明する。

第3回 生命の多様性 (担当: 角谷 晃司) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 生命の多様性について予習を行う。

予習時間: 60分

復習内容: 授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間: 60分

概要 生物が世代と共に環境に適応する変化(進化)のしくみについて理解する。

セクション1 ヒトの受精と発生

セクション概要 ヒトの受精とヒトの発生初期について説明する。

セクション2 染色体と性の決定

セクション概要 性を決定する染色体について説明する。

セクション3 多様性を生む減数分裂について

セクション概要 体細胞分裂と減数分裂の違いについて説明する。

第4回 生命の設計図 (担当: 八軒 浩子) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: DNAからタンパク質が作られるセントラルドグマについて予習を行う。

予習時間: 60分

復習内容: 授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間: 60分

概要 生命体の設計図と言われるDNAの複製機構、DNAからタンパク質が作られるしくみについて解説する。

セクション1 遺伝子の本体DNA

セクション概要 遺伝子の本体であるDNAについて説明する。

セクション2 DNAの複製

セクション概要 DNAの複製について説明する。

セクション3 遺伝子とタンパク質

セクション概要 DNAの遺伝情報をもとにタンパク質が合成される過程について説明する。

第5回 遺伝子組換え (担当: 八軒 浩子) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 制限酵素やベクターなどを用いる遺伝子組換え技術について予習を行う。

予習時間: 60分

復習内容: 授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間: 60分

概要 遺伝子組換えについて説明する。

セクション1 遺伝子組換え技術

セクション概要 遺伝子組換え技術について説明する。

セクション2 遺伝子操作

セクション概要 遺伝子組換えによる医薬品や作物などについて説明する。

セクション3 遺伝子治療

セクション概要 遺伝子治療について説明する。

第6回 再生医療 (担当: 八軒 浩子) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 幹細胞について予習を行う。

予習時間: 60分

復習内容: 授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間: 60分

概要 機能不全に陥った生体組織などの機能を再建する再生医療について説明する。

セクション1 幹細胞

セクション概要 幹細胞であるES細胞、iPS細胞について説明する。

セクション2 クローン動物の作製

セクション概要 クローン動物について説明する。

セクション3 再生医療

セクション概要 再生医療について説明する。

第7回 代謝経路の基礎 (担当: 中村 恭子) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 食物を摂取した後どのように体内でタンパク質、糖質および脂質が代謝されるのかについて予習を行う。

予習時間: 60分

復習内容: 授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間: 60分

概要 食物がどのように消化されるのかを理解し、特に糖代謝についてどのように制御されているかそして糖尿病について学ぶ。

セクション1 食物分子の分解

セクション概要 タンパク質、糖質および脂肪の消化について学ぶ。

セクション2 糖代謝 (1)

セクション概要 血糖値の制御について学ぶ。

セクション3 糖代謝 (2)

セクション概要 糖尿病について学ぶ。

第8回 細胞周期とがん (担当: 中村 恭子) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 一つの細胞が二つに増殖する過程について予習を行う。

予習時間: 60分

復習内容: 授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間: 60分

概要 細胞がどのように増殖するのか、正常細胞とがん細胞の違いを理解し、がんの成り立ちを学ぶ。

セクション1 細胞周期とは

セクション概要 細胞周期について学ぶ。

セクション2 細胞周期の制御およびチェックポイント機構

セクション概要 細胞周期の制御およびチェックポイント機構に関わる因子について学ぶ。

セクション3 がんの成り立ち

セクション概要 正常細胞、がん細胞およびがんの成り立ちについて学ぶ。

第9回 遺伝の仕組み (担当: 中村 恭子) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 遺伝とはどういうことかについて予習を行う。

予習時間: 60分

復習内容: 授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間: 60分

概要 ヒトおよび植物の遺伝について理解し、特にヒトでの様々な遺伝の種類について学ぶ。

セクション1 ヒトおよび植物の遺伝

セクション概要 ヒトおよび植物の遺伝について学ぶ。

セクション2 優性形質および劣性形質

セクション概要 ヒトにおける優性形質および劣性形質について学ぶ。

セクション3 遺伝性腫瘍

セクション概要 遺伝性腫瘍について学ぶ。

第10回 生体の恒常性 (担当: 和田 哲幸) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 栄養素とは何かについて予習を行う。

予習時間: 60分

復習内容: 授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間: 60分

概要 ヒトはなぜ食べるのか? 健康を考えるうえで、まず思い出すのが“食事”です。健康を維持するための食について理解します。

セクション1 なぜヒトは食べるのか?

セクション概要 なぜヒトは食事をする必要があるのであるのかについて簡単に説明する。

セクション2 栄養素とは何?

セクション概要 3大栄養素の役割について簡単に説明する。

セクション3 消化とは? 吸収とは?

セクション概要 消化と吸収について簡単に説明する。

第11回 生体の恒常性 (担当: 和田 哲幸) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 消化器官の構造と役割について予習を行う。

予習時間: 60分

復習内容: 授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間: 60分

概要 ヒトはなぜ食べるのか? 消化と吸収に関わる消化器系の役割とそのはたらきについて理解する。

セクション1 食べること

セクション概要 口腔から直腸までの消化管のはたらきについて説明する。

セクション2 美味しく食事する!

セクション概要 味を感じる仕組みについて説明する。

セクション3 健康を維持するために

セクション概要 健康長寿を目指す、バランスの取れた食事って?

第12回 生体の恒常性 (担当: 和田 哲幸) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 薬物乱用とは何か、簡単に調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間: 60分

概要 薬物乱用防止について、薬物の本当の怖さとその問題点を理解する。

セクション1 薬物乱用とは何?

セクション概要 薬物乱用について説明する。

セクション2 薬物乱用の規制

セクション概要 法規制の対象となる薬物について説明する。

セクション3 医療用麻薬って何?

セクション概要 医療用麻薬について説明する。

第13回 神経と情報伝達 (担当: 和田 哲幸) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 神経と情報伝達について予習を行う。

予習時間: 60分

復習内容: 授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間: 60分

概要 生体における情報伝達について理解する。

セクション1 恒常性の維持

セクション概要 恒常性の維持について概説する。

セクション2 生体における情報伝達手段 (1)

セクション概要 ホルモンによる体内調節について概説する。

セクション3 生体における情報伝達手段 (2)

セクション概要 神経伝達物質による情報伝達について概説する。

第14回 生体の防御・免疫（担当：角谷 晃司）（授業形式：講義および演習）

予習内容：生体防御のしくみについて予習を行う。

予習時間：60分

復習内容：授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間：60分

概要 生体防御機構である免疫について理解する。

セクション1 免疫にかかわる細胞

セクション概要 免疫にかかわる細胞の種類と自然免疫について概説する。

セクション2 獲得免疫

セクション概要 細胞性免疫と体液性免疫について概説する。

セクション3 免疫にかかわる疾患と治療

セクション概要 花粉症やエイズなど免疫にかかわる疾患とワクチンについて概説する。

第15回 がん（担当：中村 恭子，八軒 浩子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：がんの基礎知識について予習を行う。

予習時間：60分

復習内容：授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間：60分

概要 がんの基礎知識および遺伝子治療について学ぶ。

セクション1 がんの基礎知識

セクション概要 がんとその治療法について学ぶ。

セクション2 遺伝子治療（1）

セクション概要 遺伝子治療および遺伝子治療用ベクターの種類について学ぶ。

セクション3 遺伝子治療（2）

セクション概要 がん遺伝子治療について学ぶ。

レポート課題

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 :	芸術鑑賞入門【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Introduction to Appreciation of Art				
担当者 :	島田 有紀				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

芸術鑑賞とはどのようにすればいいのでしょうか。

もちろん感性を使って鑑賞するのも大切です。しかし芸術は感性だけでなく様々な視点を持つことにより、より深くその面白さを理解することができます。

本授業では日本美術の作品（絵画、工芸、芸能）を取り上げ、その流れを把握すると同時に当時の社会背景や文化、また作品の技法や受容などと共に考察し芸術鑑賞の楽しさを学びます。

授業は作品の図版や文献資料、映像資料などを用いて進めていきます。

コンテンツ作成：島田有紀

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

PBL（課題解決学習）・ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

自主学習支援（e-learning等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

"日本美術作品の鑑賞に必要な基本的な視点を習得することによって、芸術に親しむことを目標とする。この科目の修得は、本学が定めるディプロマポリシー 3の達成に関与しています。"

■ 成績評価方法および基準

レポート課題①、② 40%

学期末期試験レポート 40%

学生間ディスカッション 20%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■ 教科書

特に指定しない。

授業ごとに適宜資料を配布。

■ 参考文献

[ISBN]9784568400656 『増補新装 カラー版日本美術史』（辻 惟雄, 美術出版社：2003）

[ISBN]9784568400625 『カラー版 日本美術史年表』（辻 惟雄, 美術出版社：2002）

[ISBN]9784568400830 『増補新装 カラー版 東洋美術史』（前田耕作, 美術出版社：2012）

■ 関連科目

-

■ 授業評価アンケート実施方法

学部実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

■ オフィスアワー

-

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 作品はどう見るのか（講義形式：講義及び演習）

予習内容：自身が作品を見る際にどのような点に関心があるのかについてまとめておく。

予習時間：30分

復習内容：授業配布の資料をもとに、作品鑑賞の要点を確認しておく。

復習時間：60分

概要 作品が制作された時代背景や文化、文献などがどのように関わっているのか、また絵に描かれているモチーフの読み解き方など、絵画鑑賞の基本を学ぶ。

セクション1 芸術はなぜわからないのか

セクション概要 現在、なぜ芸術がわかりにくくなっているのかについて

セクション2 時代による作品傾向

セクション概要 古代から近代までの日本美術の流れについて

セクション3 作品から読み解く情報

セクション概要 作品から何がわかるのかについて

第2回 20世紀のアート市場はどのように成立をしたのか（講義形式：講義及び演習）

予習内容：現代芸術の概要について予習する。

予習時間：30分

復習内容：授業配布の資料をもとに、現代芸術の位置づけや作品の売買、ポップアートについて確認し、それらを踏まえて多様化する現代芸術の作品鑑賞をする。

復習時間：60分

概要 米国の連邦美術計画などをとりあげ、20世紀以降いかに現代芸術の市場が広がっていったかを学ぶ。

セクション1 西洋美術の流れ

セクション概要 紀元後から近代までの西洋美術の流れについて

セクション2 原風景-伝統的芸術観

セクション概要 伝統的芸術観と共同体について

セクション3 理念なき形式-アメリカ的芸術

セクション概要 アメリカの現代芸術はどのように作られたかについて

セクション4 政治と芸術-ヘゲモニックな芸術利用

セクション概要 現代において芸術とはどのように捉えることができるのかについて

第3回 絵巻物にみる物語表現（講義形式：講義及び演習）

予習内容：日本の物語の概要について予習する。

予習時間：30分

復習内容：授業配布の資料をもとに、絵巻物の特徴やなぜそのような造形になるのか時代背景について確認し、現代の作品（映画や漫画など）とどのように関係し変化したのかを考えながらそれらに関連する作品鑑賞をする。

復習時間：60分

概要 日本美術の中の絵巻物を見ていく。絵巻物は日本独自の絵画表現であり、物語を題材にしたものが多い。その絵巻物の見方や描き方の基本、その独自性について学ぶ。

セクション1 絵巻とは

セクション概要 絵巻の基本や鑑賞方法について

セクション2 《源氏物語絵巻》について

セクション概要 段落式絵巻物について

セクション3 《信貴山縁起絵巻》について

セクション概要 連続式絵巻物について

セクション4 《鳥獣人物戯画》について

セクション概要 詞書のない絵巻物について

第4回 肖像画にみる人物表現（講義形式：講義及び演習）

予習内容：様々な国の肖像画の概要について予習する。

予習時間：30分

復習内容：授業配布の資料をもとに、人物表現の特徴やなぜそのような造形になるのか時代背景、受容について確認し、現代の人物イメージ表現、女性像（SNSに見られるものなど）とどのように関係し変化したのかを考えながらそれらに関連する作品鑑賞をする。

復習時間：60分

概要 西洋の肖像画とは異なり、日本の肖像画には写実表現が少ない。ではなぜ実在の人物を写實的に描かないのか。また日本の人物表現はどのような特徴があるのかを学ぶ。

セクション1 似絵と肖像画とは

セクション概要 似絵と肖像画の基本について

セクション2 似絵の人物表現

セクション概要 人物像の異なる表現について

セクション3 浮世絵の人物表現①

セクション概要 浮世絵の美人画の全身像表現について

セクション4 浮世絵の人物表現②

セクション概要 浮世絵の美人画の顔表現について

第5回 風俗画にみる日本文化①（講義形式：講義及び演習）

予習内容：近世の日本文化の概要について予習する。

予習時間：30分

復習内容：授業配布の資料をもとに、風俗画の特徴やなぜそのような造形になるのか時代背景について確認し、現代の文化や風俗表現（YouTubeやSNSなど）とどのように関係し変化したのかを考えながらそれらに関連する作品鑑賞をする。

復習時間：60分

概要 近世になり日本のなかで風俗画が多く制作されるようにある。では、その風俗画とはどのような成り立ちを持つのか、また当時の人々はどのように生活していたのかなどを学ぶ。

セクション1 洛中洛外図とは

セクション概要 洛中洛外図の基本や鑑賞方法について

セクション2 町をみる洛中洛外図

セクション概要 “都”を描く洛中洛外図について

セクション3 意味を持つ洛中洛外図

セクション概要 “権力”を描く洛中洛外図について

第6回 風俗画にみる日本文化②（講義形式：講義及び演習）

予習内容：近世の日本文化の概要について予習する。

予習時間：30分

復習内容：授業配布の資料をもとに、風俗画の特徴やなぜそのような造形になるのか時代背景について確認し、現代の文化や風俗表現（YouTubeやSNSなど）とどのように関係し変化したのかを考えながらそれらに関連する作品鑑賞をする。

復習時間：60分

概要 近世になり日本のなかで風俗画が多く制作されるようにある。では、その風俗画とはどのような成り立ちを持つのか、また当時の人々はどのように生活していたのかなどを学ぶ。

セクション1 洛中洛外図からの展開

セクション概要 風俗画と洛中洛外図の関係について

セクション2 場所が特定できる風俗画

セクション概要 場所が描かれる風俗画について

セクション3 場所が不特定の風俗画①

セクション概要 出来事が描かれる風俗画について①

セクション4 場所が不特定の風俗画②

セクション概要 出来事が描かれる風俗画について②

第7回 油彩画にみる西洋受容（講義形式：講義及び演習）

予習内容：近代の西洋画、日本画の概要について予習する。

予習時間：30分

復習内容：授業配布の資料をもとに、西洋画の特徴や西洋文化の受容や時代背景について確認し、現代の文化や写実表現（写真やCGなど）とどのように関係し変化したのかを考えながらそれらに関連する作品鑑賞をする。

復習時間：60分

概要 日本では近代から本格的に用いられる西洋の技法、油彩画。では現代では多く国内で見られる油彩画が当時どのように描かれ広まったかを学ぶ。

セクション1 油彩画と日本

セクション概要 近代の油彩画と日本の西洋受容について

セクション2 油彩画の受容と作品①

セクション概要 油彩画の写実性と日本のモチーフの関係について

セクション3 油彩画の受容と作品②

セクション概要 油彩画の色彩表現の変化について

セクション4 油彩画と日本画

セクション概要 油彩画が与えた日本画への影響

第8回 陶磁器にみる日本の意匠（講義形式：講義及び演習）

予習内容：日本の代表的な陶磁器について予習する。

予習時間：30分

復習内容：授業配布の資料をもとに、陶磁器の受容や時代背景について確認し、現代の身の回りにある陶磁器と意匠や受容を含めどのように関係し変化したのかを考えながらそれらに関連する作品鑑賞、または使用をする。

復習時間：60分

概要 日本の各地域では特徴的な陶磁器が制作されている。では、どのような陶磁器作品が制作がされ、受容されたのかを学ぶ。

セクション1 室町時代のやきもの

セクション概要 室町時代に流行する輸入のやきものについて

セクション2 桃山時代のやきもの

セクション概要 桃山時代に流行する国産のやきものについて

セクション3 江戸時代のやきもの

セクション概要 江戸時代のやきものと欧州について

第9回 漆器にみる日本の意匠（講義形式：講義及び演習）

予習内容：日本の代表的な漆器について予習する。

予習時間：30分

復習内容：授業配布の資料をもとに、漆器の受容や時代背景について確認し、現代の身の回りにある漆器と意匠や受容を含めどのように関係し変化したのかを考えながらそれらに関連する作品鑑賞、または使用をする。

復習時間：60分

概要 日本の中で漆器は独自の技法や意匠が生まれ定着をする。では、どのような漆器作品が制作がされ、受容されたのかを学ぶ。

セクション1 漆器とは

セクション概要 日本の漆器の基本について

セクション2 平安～鎌倉時代の漆器

セクション概要 和様の意匠の漆器について

セクション3 室町～桃山時代の漆器

セクション概要 流派と漆器の意匠について

セクション4 江戸時代の漆器

セクション概要 個性的な意匠の漆器について

第10回 服飾にみる意匠① 日本の着物（講義形式：講義及び演習）

予習内容：日本の代表的な着物について予習する。

予習時間：30分

復習内容：授業配布の資料をもとに、着物の受容や時代背景について確認し、現代の身の回りにある着物と意匠や受容、コーディネートを含めどのように関係し変化したのかを考えながらそれらに関連する作品鑑賞、または使用をする。

復習時間：60分

概要 日本の着物が、時代や身分によってによってどのような意匠になっていくのかを学ぶ。

セクション1 平安時代の着物

セクション概要 公家の装束について

セクション2 鎌倉～室町時代の着物

セクション概要 中世の武家の装束について

セクション3 桃山時代の着物

セクション概要 近世の武家の装束について

セクション4 江戸時代の着物

セクション概要 市井の人々の着物について

第11回 服飾にみる意匠② 洋装（講義形式：講義及び演習）

予習内容：日本の代表的な洋服について予習する。

予習時間：30分

復習内容：授業配布の資料をもとに、洋服の受容や時代背景について確認し、現代の身の回りにある洋服のデザインや流行とどのように関係し変化したのかを考えながらそれらに関連する作品鑑賞、または使用をする。

復習時間：60分

概要 近代に入り、洋装が社会背景や身分制度と関わりつつどのように変化をしてきたのかを学ぶ。

セクション1 18世紀以降のファッション

セクション概要 18世紀以降のファッションの変化について

セクション2 需要が広がる既製服

セクション概要 既製服の成立と需要について

セクション3 シャネル①

セクション概要 シャネルデザインの特徴について

セクション4 シャネル②

セクション概要 シャネルデザインの特徴について

セクション5 継承されるファッション

セクション概要 ファッションデザインの継承と革新について

第12回 信仰にみる神仏表現（講義形式：講義及び演習）

予習内容：日本の信仰について予習。

予習時間：30分

復習内容：授業配布の資料をもとに、信仰の受容や時代背景について確認し、現代の信仰表現とどのように関係し変化（来迎図のドローン表現など）したのかを考えながらそれらに関連する作品鑑賞をする。

復習時間：60分

概要 日本の信仰に関する造形がどのように表現され受容されたのかを学ぶ。

セクション1 極楽浄土と地獄 浄土教

セクション概要 浄土教の極楽浄土と地獄表現について

セクション2 装飾と信仰 法華経

セクション概要 法華経の装飾と修行について

セクション3 神と仏 本地垂迹

セクション概要 本地垂迹説と信仰について

セクション4 水墨画と禅 禅宗

セクション概要 禅の修行と水墨画について

第13回 能楽、文楽にみる日本の芸能（講義形式：講義及び演習）

予習内容：日本の芸能史の概要について予習すること。

予習時間：30分

復習内容：授業配布の資料をもとに、芸能の受容や時代背景について確認し、現代の芸能とどのように関係し変化したのかを考えながら原作（漫画やボーカロイド）などを踏まえそれらに関連する作品鑑賞をする。

復習時間：60分

概要 能、狂言、文楽を中心に日本の芸能を学ぶ

セクション1 能の鑑賞

セクション概要 能についての基本や衣装、演目について

セクション2 狂言の鑑賞

セクション概要 狂言についての基本や衣装、演目について

セクション3 文楽の鑑賞

セクション概要 文楽についての基本や人形、演目について

第14回 歌舞伎にみる日本の芸能（講義形式：講義及び演習）

予習内容：日本の芸能史の概要について予習すること。

予習時間：30分

復習内容：授業配布の資料をもとに、芸能の受容や時代背景について確認し、現代の芸能とどのように関係し変化したのかを考えながら原作（漫画やボーカロイド、ゲーム）や現代の芸能（アイドルや演劇）などを踏まえそれらに関連する作品鑑賞をする。

復習時間：60分

概要 歌舞伎を中心に江戸時代の日本の芸能を学ぶ。

セクション1 歌舞伎とは

セクション概要 歌舞伎の成り立ちや基本について

セクション2 歌舞伎と芝居小屋

セクション概要 歌舞伎独特の演出と芝居小屋について

セクション3 古典の歌舞伎

セクション概要 伝統的な古典歌舞伎について

セクション4 現代の歌舞伎

セクション概要 革新的な新作歌舞伎について

第15回 宝塚歌劇団にみる日本の芸能（講義形式：講義及び演習）

予習内容：日本の芸能史の概要について予習すること。

予習時間：30分

復習内容：授業配布の資料をもとに、芸能の受容や時代背景について確認し、現代の芸能とどのように関係し変化したのかを考えながら原作（漫画や映画、ゲーム）や現代の芸能（ミュージカルやアイドル、演劇）などを踏まえそれらに関連する作品鑑賞をする。

復習時間：60分

概要 宝塚歌劇団を中心に近代の日本の芸能を学ぶ。

セクション1 近代と宝塚歌劇団

セクション概要 近代と宝塚歌劇団と成り立ちについて
セクション2 阪急電鉄と宝塚大劇場
セクション概要 劇場のある場所と劇場の効果について
セクション3 宝塚歌劇団の特色①
セクション概要 伝統を基とした劇団の独自性について
セクション4 宝塚歌劇団の特色②
セクション概要 演目の継承と革新性について

.

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 :	心理と行動【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Psychology and Action				
担当者 :	佐藤 望				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

本講義は、15回の授業のうち、心理系専攻の専任教員12名が1回ないしは2回の講義を担当して作成した動画を教材とします。それぞれの専門領域から、心理学の面白さを伝えます。

各回は、3つ程度のセクションに分かれており、それぞれのセクションについて簡単な確認テストがあります。また、中間期に2回のレポート課題があり、すべての回を視聴した後に、最終レポートの提出が課されています。

オンデマンドですので、配信された後は最終日までの間に、いつでも観ることは可能ですが、配信から2週間を期日に出席を取ります。本授業のルールとして、欠席5回以上で単位不認定としますので、週1回のペースで1回ずつ学びを進めることを強くお勧めします。

この授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。各回の作成者は授業計画の内容に記載の通りです。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

心理学における多様な領域での研究知見について、理解すること。

それらの知見によって、自分自身の経験や社会でのできごとを新たな視点で眺めるようになること。

この科目の修得は、本学が定めるディプロマポリシー3.の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

第1回レポート課題 30%

第2回レポート課題 30%

第3回レポート課題 30%

ディスカッションへの参加 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

ClassroomまたはUNIPAを通して、フィードバックをします。

■ 教科書

特に指定しない。

■ 参考文献

[ISBN]9784641221451 『はじめて出会う心理学〔第3版〕(有斐閣アルマ)』(寿一, 長谷川, 有斐閣 : 2020)

[ISBN]9784641220034 『臨床心理学入門 -- 多様なアプローチを越境する(有斐閣アルマ)』(岩壁 茂, 有斐閣 : 2013)

[ISBN]9784781912431 『学習の心理—行動のメカニズムを探る(コンパクト新心理学ライブラリ)』(正子, 実森, サイエンス社 : 2019)

[ISBN]9784762830570 『発達心理学15講』(高橋 一公, 北大路書房 : 2019)

■ 関連科目

特になし。

■ 授業評価アンケート実施方法

KICSルールに従う。

■ 研究室・メールアドレス

総合社会学部7階C研究室
nozomi.satoh@socio.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

月曜日2限

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 心理学とは (担当:堀田 美保)

予習内容: シラバスを見ておく。

予習時間: 30分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

心と行動に関する学問である, 心理学とは何をどのように研究するのかについて, 概要を説明します。

第2回 感覚・知覚・注意 (担当:遠藤 信貴)

予習内容: 感覚・知覚心理学について調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

私たちの心と外界をつなぐ感覚, 外界を捉える知覚の仕組みについて概説します。

第3回 記憶 (担当:遠藤 信貴)

予習内容: 認知心理学について調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

私たちの日常的な行動を根底で支える記憶について, その種類や役割について概説します。

第4回 学習 (担当:漆原 宏次)

予習内容: 学習心理学について調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

私たちの行動がどのように変わるのか, なぜ変わるのか。経験による行動の変化=学習について概説します。

第5回 感情 (担当:大対 香奈子)

予習内容: 感情心理学について調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

感情が心理学でどのように研究されてきたのか, また感情の働きやそのコントロールの方法について概説します。

第6回 神経・生理 (担当:佐藤 望)

予習内容: 神経・生理心理学について調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

こころの働きをつかさどる仕組みについて, 生物学的観点から解説します。

第7回 遺伝・進化 (担当:上野 将敬)

予習内容: 遺伝・進化心理学について調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

人の生物学的側面に注目し, 人や人以外の動物の行動における遺伝子や進化の影響について紹介します。

第8回 対人 (担当:堀田 美保)

予習内容: 対人心理学について調べておく。

予習時間：60分

復習内容：確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間：60分

人と人の中で起こっているやりとり（相互作用）うち、対人行動についての心理を紹介します。

第9回 集団（担当：中川 知宏）

予習内容：集団心理学について調べておく。

予習時間：60分

復習内容：確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間：60分

一人でいる時と集団にいる時では、私たちの行動が変化します。これに関する社会心理学的研究を紹介します。

第10回 生涯発達1（担当：奥野 洋子）

予習内容：発達心理学について調べておく。

予習時間：60分

復習内容：確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間：60分

生涯発達の概要と乳児期から児童期の発達の特徴を説明します。

第11回 生涯発達2（担当：塩崎 麻里子）

予習内容：生涯発達心理学について調べておく。

予習時間：60分

復習内容：確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間：60分

青年期から老年期のこのころの発達について紹介します。

第12回 パーソナリティ（担当：小泉 隆平）

予習内容：パーソナリティ心理学について調べておく。

予習時間：60分

復習内容：確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間：60分

パーソナリティ・知能がどのように理解されてきたか、その理解がどのように役立っているか説明します。

第13回 健康（担当：直井 愛里）

予習内容：健康心理学について調べておく。

予習時間：60分

復習内容：確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間：60分

健康行動に関連する要因を説明し、生活習慣と心身の健康について紹介します。

第14回 臨床（担当：本岡 寛子）

予習内容：臨床心理学について調べておく。

予習時間：60分

復習内容：確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間：60分

このころの問題の理解と解決を助けるためのアセスメントとアプローチについて紹介します。

第15回 産業（担当：佐藤 望）

予習内容：産業心理学について調べておく。

予習時間：60分

復習内容：確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間：60分

心理学で得られている知見を産業場面に応用する例について紹介します。

最終レポート

15回の授業から、数問を出題するので、選択して解答のこと。

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 :	環境科学【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Scientific Study of Environment				
担当者 :	田端 敬三				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

この授業コンテンツは農学部の教員6名により作成されたものです。海洋、河川、森林、草原などの自然環境やそこにくらす生き物の特徴について解説するとともに、農学部独自の観点を加え、漁業、農業、林業など人類が自らの必要物獲得のために環境を利用してきた活動をも視野にいれています。講義は基礎編、水圏（海洋や河川）の環境、森林と環境、農業・牧畜と環境、環境と生態リスクの5つのパートに分かれ、それぞれの分野を専門とする教員が担当します。この授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。各回の作成者は授業計画の内容に記載のとおりです。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

このコンテンツを学習することによって、私たちがとりまく身近な自然環境や生態系についての基礎知識を得るとともに、農業、漁業、林業など人類が自然環境を利用してきた形態について理解することができます。
この科目の修得は、本学の定めるディプロマ・ポリシー2, 3の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

小レポート2回（30%×2回） 60%

期末レポート 40%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

レポートの解説等はGoogle classroomを利用して行う。

■ 教科書

とくに指定しない

■ 参考文献

授業中に指示する

■ 関連科目

-

■ 授業評価アンケート実施方法

大学の実施基準に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

前期担当・田端 敬三 0825N6@kindai.ac.jp 、 平井 研 ng_tidalfat01@nara.kindai.ac.jp

後期担当・田端 敬三 0825N6@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

すべてメールでやり取りを行う。（オフィスアワーは設定しない）

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 基礎編①環境科学とは何か？地球環境とはどのようなものか？（江口充担当）（授業形式：講義および演習）

予習内容：上記テーマに関して関心のあるところを調べておく。

予習時間：60分

復習内容：授業内容について復習しておく。

復習時間：60分

概要 環境科学では環境と人間の関り方を学ぶ。ニュース等で最近よく聞く地球温暖化（詳細は第6回）、酸性雨、オゾン層破壊などの環境問題について触れながら環境科学とはどのような学問分野であるのかを紹介する。併せて環境科学に通底する「環境と倫理」という考え方についての理解を深める。

セクション1 イースター島の教訓：環境と人間の関り

セクション概要 イースター島はかつて緑豊かな島であったが数百年前の人間の入植とともに森林破壊が進み現在に到っても回復していない。環境科学は人間活動が自然環境（生態系）に甚大な影響を与えていることを、我々が認識し始めるところからスタートする。

セクション2 自然の攪乱と人為的干渉

セクション概要 地震、津波、隕石の衝突などの自然の攪乱は地球環境（生態系）が長い年月の間に経験してきたものであり、環境もそれに対応してきている。これを環境（生態系）に対する自然の攪乱と呼ぶ。一方、オゾンホール形成、酸性雨、環境ホルモン（内分泌攪乱物質）などの環境問題は人間活動により最近発生してきた問題である。これを環境（生態系）に対する人為的干渉と呼ぶ。地球の温暖化は長い地球の歴史の中で考えると自然の攪乱ともいえるが、近年、人間活動の活発化により加速されている地球の温暖化は人為的干渉ともいえる。東日本大震災の津波は自然の攪乱であるが、同時に発生した福島原子力発電所の被害と放射能汚染は人為的干渉と言える。この自然の攪乱と人為的干渉を理解しておくことが環境科学を学ぶ上で重要になる。

セクション3 環境と倫理

セクション概要 我々は地球が有限であることを認識しなければいけない。さらに、自分たちの世代だけではなく、未来世代に対して現代世代は責任があること、さらには人間だけではなく環境に存在するありとあらゆる生物種を保護する責務があることを理解する。

第2回 基礎編②生物多様性とは何か（渡邊俊担当）（授業形式：講義および演習）

予習内容：上記テーマに関して関心のあるところを調べておく。

予習時間：60分

復習内容：授業内容について復習しておく。

復習時間：60分

概要 生物界の共通性と多様性の存在は、共通祖先の性質に由来し、また、それは膨大な時間をかけて進行した生物進化と地球環境の歴史の産物であることを理解する。さらには生物多様性の保全の意義を考える。

セクション1 生物界の多様性と共通性

セクション概要 生物は多種多様である。しかし、姿かたちの違いとは裏腹に共通な性質も備えている。まずは、生物界の多様性と共通性を確認する。

セクション2 生物多様性の歴史

セクション概要 生物界の共通性と多様性の存在は、共通祖先の性質に由来し、さらには膨大な時間をかけて進行した生物進化と地球環境の歴史の産物であることを理解する。

セクション3 生物多様性保全の思想的歴史

セクション概要 生物多様性の保全への取り組みを平易に解説することで、このような動きの背景にある基本的な考え方を紹介する。

第3回 基礎編③人類の環境利用の歴史：食料獲得の観点から（鶴田格担当）（授業形式：講義および演習）

予習内容：上記テーマに関して関心のあるところを調べておく。

予習時間：60分

復習内容：授業内容について復習しておく。

復習時間：60分

概要 過去1万年以上の歴史にわたって人類がいかに食料を獲得してきたかという観点から、環境利用の歴史を振り返る。

セクション1 新石器革命以前

セクション概要 新石器革命以前の人類が海、山、森でどのように食料を獲得してきたかを考察する。とくに日本の縄文時代の事例を中心にとりあげて検討する。

セクション2 農業にみる環境利用

セクション概要 新石器革命以降の農業の発展の歴史とその環境利用の特徴について焼畑農業などに焦点を当てながら解説する。

セクション3 現代的な農業・漁業の展開と環境負荷

セクション概要 産業革命以降の食料生産の工業化の歴史を振り返り、現代的な農業や水産業が与える環境負荷について考える。各産業の個別の変化とともに、20世紀以降のグローバルな食料流通の展開をも視野に入れて検討する。

第4回 水圏（海洋・河川・湖沼）の環境①水圏生態系と環境問題（江口充担当）（授業形式：講義および演習）

予習内容：上記テーマに関して関心のあるところを調べておく。

予習時間：60分

復習内容：授業内容について復習しておく。

復習時間：60分

概要 "水圏環境（海洋、河川、湖沼）における水質形成や物質循環のメカニズムを理解し、海洋における環境問題（沿岸域の有機汚濁、海洋プラスチック問題など）への理解を深める。"

セクション1 水圏生態系における物質循環

セクション概要 水圏環境での物質循環プロセスと微生物の役割について紹介する。

セクション2 人間生活と沿岸域の環境問題

セクション概要 様々な人間の生産活動に起因する水圏、特に沿岸域の水質悪化のメカニズムについて理解を深める。

セクション3 海とSDGs

セクション概要 完全養殖とSDGsの関係について紹介し、海洋プラスチック問題や地球のきれいな水に関する問題点をSDGsと関連付けて紹介する。

第5回 水圏（海洋・河川・湖沼）の環境②河川・海洋環境とウナギ（渡邊俊担当）（授業形式：講義および演習）

予習内容：上記テーマに関して関心のあるところを調べておく。

予習時間：60分

復習内容：授業内容について復習しておく。

復習時間：60分

概要 海と川は水圏としてまとめられる。しかし、塩分が違うこれらの環境を魚が行き来するには、浸透圧調節の壁がある。このような壁を乗り越えてでも「なぜ魚は海と川を回遊するか？」をニホンウナギの海と川の大回遊を題材として考える。

セクション1 陸水環境

セクション概要 湖沼と河川の環境を理解し、陸水環境の多様性を認識する。

セクション2 回遊

セクション概要 多くの水圏生物は成長段階や環境変化に応じて生息域を移す。この生息域間の移動が特定の季節や生活史のある段階に対応して定期的にかかる場合、回遊と呼ぶ。この回遊の定義と回遊の多様性を理解する。

セクション3 ニホンウナギの回遊

セクション概要 ニホンウナギの海と川との大回遊を説明し、本種の保全についても考える。

第6回 森林と環境①気候変動と森林（松本光朗担当）（授業形式：講義および演習）

予習内容：上記テーマに関して関心のあるところを調べておく。

予習時間：60分

復習内容：授業内容について復習しておく。

復習時間：60分

概要 森林は大気中の二酸化炭素濃度を調整し気候変動を緩和する機能を持つ。しかし、実態としては熱帯林の破壊などにより排出源にもなっている。このメカニズムと森林管理の実態、対策について解説する。

セクション1 気候変動の現状と将来

セクション概要 気候変動のメカニズムと森林の関係性を解説する。

セクション2 気候変動と熱帯林の破壊

セクション概要 熱帯林の破壊による二酸化炭素の排出について現状と対策を解説する。

セクション3 気候変動と国内の森林管理

セクション概要 国内での森林管理を通じた対策について解説する。

第7回 森林と環境②森林の多面的機能と森林政策（松本光朗担当）（授業形式：講義および演習）

予習内容：上記テーマに関して関心のあるところを調べておく。

予習時間：60分

復習内容：授業内容について復習しておく。

復習時間：60分

概要 森林は国土保全、生物多様性保全、気候変動緩和といった多面的機能を持ち、多面的機能の発揮を目的とした森林管理が行われている。その概要を解説するとともに、具体的な森林管理や政策を紹介する。

セクション1 世界と日本の森林の現状

セクション概要 森林の現状を世界と日本を比較しながら解説する。

セクション2 森林の多面的機能

セクション概要 森林の多面的機能について概説する。

セクション3 多面的機能発揮のための政策

セクション概要 森林の多面的機能の発揮のために実施されている森林政策について紹介する。

第8回 森林と環境③森林保全のための新たな取り組み（松本光朗担当）（授業形式：講義および演習）

予習内容：上記テーマに関して関心のあるところを調べておく。

予習時間：60分

復習内容：授業内容について復習しておく。

復習時間：60分

概要 環境保全を含めた森林の多面的機能の発揮のため、新たに行われ始めた森林管理の政策や取り組みを紹介する。

セクション1 森林経営管理制度と森林環境税

セクション概要 森林管理を進めるために導入された森林経営管理制度とそれを支える森林環境税・譲与税について解説する。

セクション2 森林認証と炭素クレジット

セクション概要 適切な森林管理を認証する仕組みである森林認証と気候変動対策に繋がる炭素クレジット制度を解説する。

セクション3 森林の新しい利用と森林環境教育

セクション概要 森林の新しい角度から活用する方法と国民の森林の理解を促す森林環境教育について解説する。

第9回 農業・牧畜と環境①農地における土壌生態系（飯嶋盛雄担当）（授業形式：講義および演習）

予習内容：上記テーマに関して関心のあるところを調べておく。

予習時間：60分

復習内容：授業内容について復習しておく。

復習時間：60分

概要 農地は、作物生育が良好になるように人為的に改変された土壌環境をもつ。農地土壌の生態系、生物多様性、物質循環について概説するとともに、過剰施肥による環境への影響を考察する。

セクション1 農地土壌の特徴

セクション概要 農地における土壌生態系を、とくに根圏と非根圏環境の違いにより理解する。

セクション2 生物多様性と物質循環

セクション概要 農地における土壌生物の多様性と物質循環を理解する。

セクション3 土壌をめぐる環境問題

セクション概要 過剰施肥による環境への影響について、作物の栽培事例を基に考察する。

第10回 農業・牧畜と環境②農地における環境ストレス（飯嶋盛雄担当）（授業形式：講義および演習）

予習内容：上記テーマに関して関心のあるところを調べておく。

予習時間：60分

復習内容：授業内容について復習しておく。

復習時間：60分

概要 土壌環境が不適になると作物の生産性が低下し、耕作が放棄されることがある。代表的な土壌環境ストレスとして、塩類集積、土壌侵食、洪水と干ばつ被害を取り上げ、それらの特徴と対策を概説する。

セクション1 塩類集積

セクション概要 かんがいによる塩類集積のメカニズムとその対策を理解する。

セクション2 土壌侵食

セクション概要 土壌侵食の農業へのインパクトとその対策を概説する。

セクション3 洪水と干ばつ

セクション概要 農地における洪水と干ばつ被害と、それらへの対策を概説する。

第11回 農業・牧畜と環境③農地開発と環境保全（飯嶋盛雄担当）（授業形式：講義および演習）

予習内容：上記テーマに関して関心のあるところを調べておく。

予習時間：60分

復習内容：授業内容について復習しておく。

復習時間：60分

概要 気候変動が進行しつつある現代の農地開発を、農地環境の持続性と水環境保全の視点から概説する。さらに、今後の新たな農地開発を、豊かさの追求と倫理の視点から考察する。

セクション1 農地の持続性

セクション概要 農地の持続性を概説するとともに、農地の継続的な開発が必然であったことを理解する。

セクション2 気候変動と水環境

セクション概要 気候変動下における氾濫原の農地開発を、とくに水環境変動の視点から概説する。

セクション3 農地開発と保全

セクション概要 農地開発と環境保全に関する今後の課題を考察する。

第12回 農業・牧畜と環境④草原の生態系と牧畜（鶴田格担当）（授業形式：講義および演習）

予習内容：上記テーマに関して関心のあるところを調べておく。

予習時間：60分

復習内容：授業内容について復習しておく。

復習時間：60分

概要 世界最大の生態系の一つである草原を、人類は狩猟や採集そして牧畜のために利用してきた。ここでは、牧畜という生活様式に焦点をあてながら草原利用の過去、現在、将来について検討する。

セクション1 草原の生態系その利用

セクション概要 草原の生態系の特質と草原固有の生物、さらに人為的な介入による草原の維持について考察する。

セクション2 牧畜という生活様式

セクション概要 世界の乾燥地・半乾燥地における牧畜民の生活様式について解説する。

セクション3 現代的な畜産とその環境負荷

セクション概要 現代的な畜産が与える環境負荷と、それを減らすために放牧への回帰が始まっている事実について解説する。

第13回 環境と生態リスク①化学物質と環境汚染（早坂大亮担当）（授業形式：講義および演習）

予習内容：上記テーマに関して関心のあるところを調べておく。

予習時間：60分

復習内容：授業内容について復習しておく。

復習時間：60分

概要 化学物質は我々にさまざまな恩恵をもたらすが、同時に環境負荷の主要因でもある。ここでは、化学物質とかしこく付き合っていく上で重要な「安全・安心・リスク」の3つの概念について解説する。

セクション1 環境問題における化学物質

セクション概要 環境問題における化学物質の基本的事項について概説する。

セクション2 安全・安心・リスクとは？

セクション概要 環境リスクを考える際に求められる視点と各種用語を解説する。

セクション3 リスクコミュニケーションとNIMBY

セクション概要 合理的選択としてのリスクコミュニケーションの重要性とその難しさについて、NIMBY (Not In My BackYard) 問題の事例を踏まえながら解説する。

第14回 環境と生態リスク②環境アセスメント（早坂大亮担当）（授業形式：講義および演習）

予習内容：上記テーマに関して関心のあるところを調べておく。

予習時間：60分

復習内容：授業内容について復習しておく。

復習時間：60分

概要 環境における化学物質のリスクを考える場合、環境毒性学の理解が不可欠である。ここでは、環境毒性学の成り立ちと現状について、事例を交えながら解説する。

セクション1 環境毒性学と公害

セクション概要 環境毒性学が生まれた背景について、公害問題とからめて解説する。

セクション2 生物濃縮・残留性物質

セクション概要 生物濃縮や残留性、高毒性として有名な化学物質のうち、DDT、PCB、ダイオキシン類を事例に、歴史的な背景と生態影響（発ガン性、環境ホルモン作用など）について解説する。

セクション3 POPsへの対応と生活水にひそむリスク

セクション概要 POPs（難分解性有機汚染物質）の定義と各種対策を説明するほか、身近なトピックとして生活水（生活排水・飲料水）の環境リスク問題を解説する。

第15回 環境と生態リスク③外来生物と生物多様性（早坂大亮担当）（授業形式：講義および演習）

予習内容：上記テーマに関して関心のあるところを調べておく。

予習時間：60分

復習内容：授業内容について復習しておく。

復習時間：60分

概要 化学物質以外の環境負荷要因として「外来生物問題」がある。そして、実は化学物質と外来生物は同じ土俵にあるものである。このなぞについて、とくに外来生物の生態リスクに主眼を置いて、事例を交えながら解説する。

セクション1 化学物質と外来生物の共通性

セクション概要 生物多様性国家戦略からみた、外来生物（生態）と化学物質（環境）リスクの共通性について解説するとともに、外来生物の定義や特徴を学ぶ。

セクション2 外来生物の生態学的攪乱

セクション概要 外来生物の生態学的攪乱の実態とその対策について、事例を交えながら解説する。

セクション3 外来生物とのかしこい付き合い方

セクション概要 外来生物法を通して考える、外来生物とのかしこい付き合い方について解説する。

-

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 :	食生活と健康【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Diet and Health				
担当者 :	菱井 早香				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :	理工応用化学科：学修・教育到達目標（B）に付随的に関与 理工機械工学科：機械工学コース学習・教育目標：A-2, JABEE基準1.2：(a)(b)に関与 理工電気電子通信工学科：学習・教育到達目標D1の達成に付随的に関与 理工社会環境工学科：ディプロマ・ポリシーの(A)に主体的に関与、(C)に付随的に関与				

■ 授業概要

日常的に摂取している栄養素の構造や機能、代謝について学ぶ。また、食事の役割や食生活が関連する健康障害、運動と栄養の関連などについて幅広く学ぶことで、食生活を総合的に考える能力を身につける。G-KULed、Google Classroomを活用したオンデマンド講義を行う。Google classroomを使用して、より良い食生活を考えるための学生間ディスカッションを数回行う。各講義の資料作成を担当した教員は以下のとおりである。

- 第1回～3回：近藤教員（農学部食品栄養学科、教授）
- 第4回～6回：森山教員（農学部応用生命化学科、教授）
- 第7回～9回：富田教員（農学部食品栄養学科、准教授）
- 第10回～12回：木戸教員（農学部食品栄養学科、准教授）
- 第13回～15回：明神教員（農学部食品栄養学科、講師）

この授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。各回の作成者は授業計画の内容に記載のとおりです。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）・自主学習支援（e-learning等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

栄養と健康に関する基礎知識を習得できる。バランスの良い健康的な食生活を理解することで日常生活に活かせる能力を身につける。

■ 成績評価方法および基準

- 小テスト 50%
- レポート課題 50%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

Google classroomを通して、課題に関する要点をお知らせする。

■ 教科書

なし

■ 参考文献

- [ISBN]9784758113540 『生化学 第3版(栄養科学イラストレイテッド)』（蘭田 勝, 羊土社：2017）
- [ISBN]9784524241828 『生化学: 人体の構造と機能及び疾病の成り立ち(健康・栄養科学シリーズ)』（一巳, 石堂, 南江堂：2019）
- [ISBN]9784758113656 『食品学I～食べ物と健康—食品の成分と機能を学ぶ(栄養科学イラストレイテッド)』（水品 善之, 羊土社：2021）

■ 関連科目

-

■ 授業評価アンケート実施方法

本学の規程に準拠して実施します。

■ 研究室・メールアドレス

sayaka.hishii@nara.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

質問等は随時対応します。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 タンパク質/アミノ酸の構造・機能・代謝(担当: 近藤 高史)(授業形式: 講義および演習)

予習内容: タンパク質/アミノ酸について調べる。

予習時間: 60分

復習内容: タンパク質/アミノ酸の構造・機能・代謝を復習する

復習時間: 60分

概要 タンパク質/アミノ酸の基本を理解する

セクション1 構造

セクション概要 タンパク質/アミノ酸の構造を説明する

セクション2 機能

セクション概要 タンパク質/アミノ酸の機能を説明する

セクション3 代謝

セクション概要 タンパク質/アミノ酸の代謝を説明する

第2回 糖質の構造・機能・代謝(担当: 近藤 高史)(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 糖質について調べる。

予習時間: 60分

復習内容: 糖質の構造・機能・代謝を復習する。

復習時間: 60分

概要 糖質の基本を理解する

セクション1 構造

セクション概要 糖質の構造を説明する

セクション2 機能

セクション概要 糖質の機能を説明する

セクション3 代謝

セクション概要 糖質の代謝を説明する

第3回 脂質の構造・機能・代謝(担当: 近藤 高史)(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 脂質について調べる。

予習時間: 60分

復習内容: 脂質の構造・機能・代謝を復習する。

復習時間: 60分

概要 脂質の基本を理解する

セクション1 構造

セクション概要 脂質の構造を説明する

セクション2 機能

セクション概要 脂質の機能を説明する

セクション3 代謝

セクション概要 脂質の代謝を説明する

第4回 ビタミンの働き(担当: 森山 達哉)(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 水溶性ビタミン・脂溶性ビタミンの種類や構造、働きについて調べる。

予習時間: 60分

復習内容: 水溶性ビタミン・脂溶性ビタミンの種類や構造、働きについて講義資料・ノートを参考にまとめる。

復習時間: 60分

概要 ビタミンの種類や構造、働きなどについて理解する

セクション1 ビタミンとは?

セクション概要 ビタミンとはどういうものか？
セクション2 水溶性ビタミンの役割・働きセクション概要 水溶性ビタミンの役割・働きを説明する
セクション3 脂溶性ビタミンの役割・働きセクション概要 脂溶性ビタミンの役割・働きを説明する

第5回 ミネラルの働き (担当: 森山 達哉) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: ミネラルの種類や構造、働きについて調べる。
予習時間: 60分
復習内容: ミネラルの種類や構造、働きについて講義資料・ノートを参考にまとめる。
復習時間: 60分

概要 ミネラルの種類や構造、働きなどについて理解する

セクション1 ミネラルとは？

セクション概要 ミネラルとはどういうものか？

セクション2 多量ミネラルの役割・働き

セクション概要 多量ミネラルの役割・働きを説明する

セクション3 微量ミネラルの役割・働き

セクション概要 微量ミネラルの役割・働きを説明する

第6回 非栄養素 (食物繊維、ファイトケミカル等) の働き (担当: 森山 達哉) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 非栄養素 (食物繊維、ファイトケミカル等) の働きについて調べる。
予習時間: 60分
復習内容: 非栄養素 (食物繊維、ファイトケミカル等) の働きについて講義資料・ノートを参考にまとめる。
復習時間: 60分

概要 非栄養素 (食物繊維、ファイトケミカル等) の働きについて理解する

セクション1 非栄養素と栄養素

セクション概要 非栄養素と栄養素の定義について説明する

セクション2 食物繊維の機能

セクション概要 食物繊維の種類や機能について説明する

セクション3 ファイトケミカルの機能

セクション概要 ファイトケミカルの種類や機能を説明する

第7回 バランスの良い食事の組み立て方 (担当: 富田 圭子) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 自分が食べた過去1週間の食事を書き出して、自分の食事摂取傾向を把握しておく。
予習時間: 60分
復習内容: 講義で学んだことを講義資料・ノートを参考にまとめ、自分の食生活を評価する。
復習時間: 60分

概要 バランスの良い食事の組み立て方を理解する

セクション1 食事の役割

セクション概要 食事の役割とは？

セクション2 一汁三菜を理解しよう！

セクション概要 バランスの良い食事の基本構成について説明する

セクション3 自分の食事バランスを知ろう！

セクション概要 年齢・性別・活動量に応じた栄養量について説明する

第8回 おいしさの演出 (担当: 富田 圭子) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 「どういう時においしいと感じるのか」について、調べておく。
予習時間: 60分
復習内容: 講義で学んだことを講義資料・ノートを参考にまとめる。
復習時間: 60分

概要 おいしさにかかわる要因を理解し、食を楽しむ方法について理解する

セクション1 おいしいとは？

セクション概要 おいしさとはどういうものか？

セクション2 おいさと五感

セクション概要 五感を使った美味しさの演出とは？

セクション3 行事・食文化・パーティ

セクション概要 食を楽しむための演出方法を紹介

第9回 心とからだを育む「食育」 (担当: 富田 圭子) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 現代人の食生活の問題点について調べておく。
予習時間: 60分
復習内容: 講義で学んだことを講義資料・ノートを参考にまとめる。
復習時間: 60分

概要 食育の必要性を理解し、自らが食育の担い手になる方法を考える

セクション1 食育の必要性

セクション概要 食生活の現状と課題を説明する

セクション2 学校における食育

セクション概要 各教科と食育のかかわりについて説明する

セクション3 心と身体を育む食育とは？

セクション概要 心と身体を育む食育について説明する

第10回 過栄養による健康障害（担当：木戸 慎介）（授業形式：講義および演習）

予習内容：過栄養（栄養の摂りすぎ）について調べる。

予習時間：30分

復習内容：講義で学んだことを講義資料・ノートを参考にまとめる。

復習時間：30分

概要 過栄養（栄養の摂りすぎ）により引き起こされる病気について理解する

セクション1 過栄養と肥満（メタボ）

セクション概要 過栄養により引き起こされる肥満（メタボ）について説明する

セクション2 過栄養と生活習慣病

セクション概要 過栄養により引き起こされる生活習慣病について説明する

セクション3 過栄養と糖尿病

セクション概要 過栄養により引き起こされる糖尿病について説明する

第11回 低栄養による健康障害（担当：木戸 慎介）（授業形式：講義および演習）

予習内容：低栄養（栄養不足）について調べる。

予習時間：30分

復習内容：講義で学んだことを講義資料・ノートを参考にまとめる。

復習時間：30分

概要 低栄養（栄養不足）により引き起こされる病気について理解する

セクション1 低栄養による健康障害

セクション概要 低栄養により引き起こされる健康障害について概説する

セクション2 低栄養と貧血

セクション概要 低栄養により引き起こされる貧血について説明する

セクション3 低栄養と骨粗鬆症

セクション概要 低栄養により引き起こされる骨粗鬆症について説明する

第12回 食事が関わるその他の健康障害（担当：木戸 慎介）（授業形式：講義および演習）

予習内容：食事・栄養が関わるその他の健康障害について調べる。

予習時間：30分

復習内容：講義で学んだことを講義資料・ノートを参考にまとめる。

復習時間：30分

概要 食事・栄養が関わるその他の健康障害について理解する

セクション1 摂食障害

セクション概要 摂食障害について説明する

セクション2 食物アレルギー

セクション概要 食物アレルギーについて説明する

セクション3 食中毒

セクション概要 食中毒について説明する

第13回 ライフステージと食生活（担当：明神 千穂）（授業形式：講義および演習）

予習内容：それぞれの世代の身体的特徴について調べる

予習時間：30分

復習内容：成人期、高齢期の特徴と食生活の注意点についてまとめる。

復習時間：30分

概要 ヒトのライフステージにおける食生活の特性について理解する

セクション1 さまざまなライフステージ

セクション概要 ヒトのライフステージについて説明する

セクション2 成人期の特性と食生活

セクション概要 成人期の特性と食生活の特徴について説明する

セクション3 高齢期の特性と食生活

セクション概要 高齢期の特性と食生活の特徴について説明する

第14回 運動・スポーツと栄養（担当：明神 千穂）（授業形式：講義および演習）

予習内容：運動・スポーツと栄養について調べる。

予習時間：30分

復習内容：運動・スポーツをするのに必要な栄養や摂取量についてまとめる。

復習時間：30分

概要 運動・スポーツと栄養の関連について理解する

セクション1 スポーツ栄養学

セクション概要 運動・スポーツと栄養の関わりについて説明する

セクション2 運動と栄養

セクション概要 健康増進のための運動と栄養について説明する

セクション3 トレーニング時の栄養補給

セクション概要 スポーツ選手のトレーニング時の栄養について説明する

第15回 災害時の栄養と食生活（担当：明神 千穂）（授業形式：講義および演習）

予習内容：災害時の食に関する問題点について調べる。

予習時間：30分

復習内容：災害時に起こる栄養問題と、自分でできる防災、減災対策を考えまとめる。

復習時間：30分

概要 災害時の栄養と食生活について理解する

セクション1 災害時の栄養問題

セクション概要 被災時におこる栄養問題について説明する

セクション2 災害食・非常食

セクション概要 災害時のために備えておくべき食品について説明する

セクション3 災害時の調理

セクション概要 災害時にできる調理法について説明する

-

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 :	地域と環境の地理学【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Local and Environmental Geography				
担当者 :	戸井田 克己				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

この授業は、法学部、経済学部、経営学部、文芸学部、総合社会学部、国際学部の共通教養科目です。この科目では、環境、すなわち自然環境（地形、気候など）や人文環境（経済、産業、文化、歴史、観光、都市など）との関連を視点にして、日本や世界の諸地域、諸問題について学びます。

この授業は、3人の授業者がオムニバス形式で行います。第1回～第6回は「文化地理」をメインにして戸井田が、第7回～第9回は「経済地理」「行動地理」をメインにして片岡が、第10回～第15回は「都市地理」をメインにして石原が講義します。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講者はこの科目を修得することによって、1) 文化地理学、経済地理学、行動地理学、都市地理学の初歩を学ぶとともに、2) 地理学の重要概念である「地域」と「環境」というものへの理解を深めます。そして、3) 現代日本および現代世界の諸問題を地理学的な視点から考察できる力の基礎を養います。

この科目の修得は、本学の定めるディプロマポリシー 2 の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

レポート課題等 100%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

課題に関する提出物の総評を授業運営ツールでの掲示によって行います。

■ 教科書

特になし。

■ 参考文献

特になし。

■ 関連科目

特になし。

■ 授業評価アンケート実施方法

本学の規程に準拠します。

■ 研究室・メールアドレス

戸井田 (toida@socio.kindai.ac.jp)

石原 (ishihara@socio.kindai.ac.jp)

片岡 (kataokah@kindai.ac.jp)

■ オフィスアワー

戸井田（前期：水曜・3限、後期：水曜・2限）

石原（月曜・2限）

片岡（前期：金曜5限&後期：水曜3限。（諸事由により多々変更あり！！随時B館の掲示板あるいは研究室ドアの掲示物で確認すること！）

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 日本の環境（授業形式：講義および演習）

予習内容：概要と各セクションについて

予習時間：30分

復習内容：今回の授業内容について

復習時間：30分

概要 日本が位置する地域と環境について学ぶ。まず日本の国土の位置と広がりを確認してから、隣国との領土問題について押さえる。また、日本列島を取り巻く潮の流れ（海流）に着目して、海洋国家としての日本の姿についてとらえていく。

セクション1 位置と広がり

セクション概要 日本は東経135度を標準時子午線とし、東西約2時間の時間幅がある。首都東京は北緯約40度にあり、南北約3000kmの幅をもつ。領土は世界62位（約38万km²）だが、水域は世界6位の大きさがある。

セクション2 地域区分—西と東・表と裏

セクション概要 日本の諸地域を大きくくりすると、西日本と東日本、表日本と裏日本の区分のほか、周圈的な区分も可能である。日本をいくつかの観点から地域区分して、それぞれの地域性を考える。

セクション3 列島を取り巻く海流

セクション概要 島国日本には、沿岸を洗ういくつかの海流（暖流、寒流）がある。日本の風土や歴史は、それらの海流から大きな影響を受け育まれてきたものである。

第2回 日本人の主食・米（授業形式：講義および演習）

予習内容：概要と各セクションについて

予習時間：30分

復習内容：今回の授業内容について

復習時間：30分

概要 日本人の主食である米について学ぶ。日本語には米にかかわる多くの語彙があり、日本人との関係の深さを示している。米は、収穫量や栄養価の面で他の穀物にはない優れた性質があり、環境保全の面でも幅広い役割を果たして。

セクション1 イネ—コメ—メシと日本人

セクション概要 日本語には米にまつわる呼称が多く、日本人の米との深いかかわりを示している。日本人の主食である米を、語彙の面から考察する。

セクション2 稲作の文化

セクション概要 米（水稻）は連作できるだけでなく、籾1粒当たりの収量が多く、たんばく質にも富んでいる。これらのことが日本文化の基盤を形作る要因となってきた。

セクション3 稲作—もう一つの役割

セクション概要 稲作には、水循環を遅くし、土壌侵食を防ぐ環境保全機能がある。また、村社会や祭りを維持し、緑の美しい景観を保持する文化・社会保全の機能もある。

第3回 里山とともに生きる（授業形式：講義および演習）

予習内容：概要と各セクションについて

予習時間：30分

復習内容：今回の授業内容について

復習時間：30分

概要 日本人と里山の関係について学ぶ。「昔、おじいさんは山へ柴刈に」という昔話に定番の出だしは、日本人と里山のかかわりの深さを伝えている。里山は「人と自然が共生する場」であり、人は里山を利用することで、里山は人に利用されることで、ともに様々な恩恵を受けてきた。

セクション1 昔、おじいさんは山へ柴刈に

セクション概要 柴刈（シバカリ）とは燃料採取のことで、山で柴刈をしないとかつては炊事も暖もとれなかった。里山は燃料のほか、多くの資源取得の場であった。

セクション2 間伐の意義と役割

セクション概要 里山には間伐が必要不可欠である。ただ放置するだけの森林では、森の生態系が維持されず、ひいては川や海の漁場にも魚たちが集まってこない。

セクション3 森林の公益的機能

セクション概要 森林には水源涵養や土砂災害防止の機能がある。また、生物多様性を維持する場であり、地球温暖化防止にも寄与する。グリーンツーリズムにより、心身を保養する機能もある。

第4回 焼畑にみる知恵（授業形式：講義および演習）

予習内容：概要と各セクションについて

予習時間：30分

復習内容：今回の授業内容について

復習時間：30分

概要 焼畑（ヤキハタ）にみる先人の知恵について考える。焼畑の原型は地味の悪い熱帯地域にあり、そこで生きていくための知恵ある耕作の工夫である。焼畑は、同様に不利な環境下にある日本の山間部などでも行われてきたが、その方法や心得について学ぶ。

セクション1 焼畑の原型は熱帯

セクション概要 焼畑は樹木を焼いた後の灰を肥料とする農法で、土のやせた熱帯を起源とする。日本でも、同様に地味のやせた山間部などで行われてきた知恵ある農法の一つである。

セクション2 焼畑の方法

セクション概要 焼畑は4年を一単位とするものが多く、1年目に穀類、2年目にイモ類、3年目にマメ類といった具合に、年々作物を替えて輪作する。また、1年目の畑をアラコ、2年目をカーシなどと呼ぶ。

セクション3 焼畑の心得

セクション概要 秋に樹木を伐採し、乾燥させたのち、翌春に火入れする。延焼防止のためのホソケミチ（火退け道）の確保や、ヤリヤキ（槍焼き）などの手法を用いるとともに、呪術儀礼によって成功を願う。

セクション4 資料映像①の視聴

セクション概要 NHKビデオ・ニッポンの里山から、「野焼きでよみがえる大草原（熊本県阿蘇山）」を観る。野焼きで燃え残った灰を養分に草が育ち、それを餌に牛が飼育される。

第5回 牧畑にみる知恵（授業形式：講義および演習）

予習内容：概要と各セクションについて

予習時間：30分

復習内容：今回の授業内容について

復習時間：30分

概要 牧畑（マキハタ）にみる先人の知恵について考える。牧畑は近年まで日本海の島嶼部などにみられたが、現在では途絶えてしまった。しかし、その歴史的慣性は今日、牛肉の子牛産地として継承されている。また、ヨーロッパの畑作と類似点があり、その原型である三圃式農法を彷彿させる。

セクション1 牧畑の方法

セクション概要 牧畑は牧と畑を複合した農牧形態であり、牛馬の糞を肥料とする農法である。日本で最後まで残存した隠岐では、牧畑を4区画に分け、作物を輪転させて食料と役牛・役馬を取得した。

セクション2 牧畑のその後

セクション概要 隠岐の牧畑も昭和40年代には終了したが、隠岐はその後も子取り牛の飼育地として、全国の肥育農家に子牛を提供している。「神戸牛」「松阪牛」などのブランド牛も、隠岐生まれである。

セクション3 ヨーロッパ三圃式農法と牧畑

セクション概要 ヨーロッパ三圃式農法は、農耕と家畜飼育を組み合わせたものであり、牧畑に似ている。11世紀の三圃革命で人口が増え、ヨーロッパは十字軍の派遣を始めたほか、やがて大航海時代を迎える。

セクション4 資料映像②の視聴

セクション概要 NHKビデオ・ニッポンの里山から、「花咲く島の放牧地（島根県西ノ島町）」を観る。牛馬が草を食べることで美しい草原が保たれ、様々な生き物が共生している。

第6回 地名が語る環境と地域（授業形式：講義および演習）

予習内容：概要と各セクションについて

予習時間：30分

復習内容：今回の授業内容について

復習時間：30分

概要 地名と環境、地名と地域との関係について学ぶ。土地につけられた刻印である「地名」は、住人たちの了解のもとに、様々な語彙の中から生き残った文化遺産である。その場所がどういった性質を持つ土地であるかを示唆するが、中には現代人がすでに忘れてしまった、災害への警鐘のこもるものもある。

セクション1 地名と環境

セクション概要 地名には、その土地の自然環境や人文環境を反映したものが多い。大阪の道が「筋」と「通」からなり、京都の道が「通」からだけなるのも、両者の自然・人文環境の違いに基づいている。

セクション2 災害地名のいくつか

セクション概要 大阪の地名から「十三」「放出」「河内」など、全国の地名から「シマ」「クラ」「ヒラ」などを取り上げて、災害地名のいくつかについて考えてみる。

セクション3 地名からみる地域性

セクション概要 全国の「谷（タニ）地名」と「沢（サワ）地名」の分布から、地名にみる日本の地域性を考える。両者の漸移帯に「谷（ヤ）地名」が分布する理由についても検討する。

第7回 中心地を地理学する！（経済地理学）（授業形式：講義および演習）

予習内容：概要と各セクションについて

予習時間：30分

復習内容：今回の授業内容について

復習時間：30分

概要 わたしたちが普段行っている「買い物」という行為をとおして、都市（中心地）の立地について理解する。また、「財の到達範囲」や「高次財」・「低次財」をはじめとした中心地理論の基礎的概念や語句を学ぶ。

セクション1 あなたは即答できますか??

セクション概要 経済地理学における重要な基礎理論の一つである立地論とは何かを学ぶ。同時に、立地論の一つである中心地理論の基本的概念や重要語句についても学ぶ。

セクション2 おやつをどこまで買いに行こうかな?

セクション概要 わたしたちが何気なく行っている買い物という行為を振り返り、そこにある「距離」について、あらためてその存在を認識してもらうとともに、「財の到達範囲」、「高次財」・「低次財」をはじめとして、中心地理論の基本的概念や重要語句について学ぶ。

セクション3 さまざまな財を供給する中心地の最適な立地は?

セクション概要財の到達範囲は財の種類により違うため、中心地の立地も供給する財の種類により異なることを学ぶ。以上より、クリスタラーが著した「供給原理に基づく中心地システム」を理解する。

第8回 工業を地理学する！（経済地理学）（授業形式：講義および演習）

予習内容：概要と各セクションについて

予習時間：30分

復習内容：今回の授業内容について

復習時間：30分

概要 わたしたちの身の回りの工業製品について、それらが生産される場所を考えることにより、工業（工場）の立地について理解する。また、「立地三角形」や「原料指数」等、工業立地論の基本的概念や語句を学ぶ。

セクション1 ポテチはどこからやってくる??

セクション概要 わたしたちが普段食べるおやつ「ポテチ」という側面に着目し、ウェーバー工業立地論を理解する。あわせて、工業（工場）の立地に必要な要因等についても学ぶ。

セクション2 立地三角形とは??

セクション概要 ウェーバー工業立地論の第一段階に関する基本的概念について学ぶ。あわせて、「立地三角形」や「原料指数」といった概念を理解する。

セクション3 労働係数とは??集積のメリットとは??

セクション概要 ウェーバー工業立地論の第二・第三段階に関する基本的概念について学ぶ。加えて、立地条件による工業の分類も理解する。

第9回 生活行動を地理学する（授業形式：講義および演習）

予習内容：概要と各セクションについて

予習時間：30分

復習内容：今回の授業内容について

復習時間：30分

概要 わたしたちの毎日の行動を、行動地理学的な視点から捉え直し、生活活動時間・空間について理解する。また、観光やエスニシティ、ジェンダーをはじめとした事象についても行動地理学的観点から分析することにより、それらが契機となり生じる地域の課題を考察する。

セクション1 なぜ通勤自粛になったの? セクション概要 コロナ禍の中で行われた「通勤自粛」という事象を取り上げ、都市における人々の日常生活行動をあらためて考えるとともに、「行動地理学とは何か」について学ぶ。

セクション2 通勤はいつから始まったの? セクション概要 通勤という行為の始まりを理解するとともに、「パス」や「プリズム」といった行動地理学に用いられる基本的概念や重要語句について学ぶ。あわせて、各人の生活活動空間を行動地理学的視点から分析する。

セクション3 行動地理学からわかること セクション概要 観光地における人々の行動、女性の生活活動空間、外国人労働者の生活活動空間を行動地理学的視点から理解し分析することにより、それら事象が契機隣生じる地域の課題について考察する。

第10回 SDGsと地球温暖化防止（授業形式：講義および演習）

予習内容：概要と各セクションについて

予習時間：30分

復習内容：今回の授業内容について

復習時間：30分

概要 2015年に国連で「持続可能な開発目標（SDGs）」が策定された。同年に「パリ協定」も採択されている。地球規模の問題である温暖化の現状を理解し、日本で行われている取組みを把握する。

セクション1 SDGsとは

セクション概要 「持続可能な開発目標（SDGs）」の概要を説明する

セクション2 地球温暖化とその影響

セクション概要 地球規模の問題として温暖化のメカニズムとその影響を説明する

セクション3 地球温暖化防止対策と課題

セクション概要 「パリ協定」と日本で取られている対策の現状を把握する。

第11回 大気環境の保全（授業形式：講義および演習）

予習内容：概要と各セクションについて

予習時間：30分

復習内容：今回の授業内容について

復習時間：30分

概要 日本の大気汚染の歴史的経過を地域環境の改善から確認した上で、近年、新たな課題となっているPM2.5について、気候との関係から東アジアでの対策が必要となっていることを理解する。

セクション1 公害の歴史

セクション概要 四大公害とそのうちの大気汚染公害として位置付けられる四日市ぜんそくを取り上げ説明する。

セクション2 大気汚染の対策と改善

セクション概要 工場への規制のみならず道路や自動車への規制等大気汚染対策の概観を解説する。

セクション3 PM2.5と東アジア

セクション概要 地域の対策が進んだ中、新たな課題としてのPM2.5について、現状と課題を解説する。

第12回 都市の自然環境保全（授業形式：講義および演習）

予習内容：概要と各セクションについて

予習時間：30分

復習内容：今回の授業内容について

復習時間：30分

概要 高度経済成長により日本の三大都市圏は急激な成長を遂げた。大都市圏における自然環境をどのように保全すべきか、緑地保全や都市緑化の観点から考える。

セクション1 都市の緑地構成要素

セクション概要 都市化が進展する中で、どのように緑地としての森林・農地・公園が変化してきたかを把握する。

セクション2 都市農地の保全

セクション概要 都市農地の持つ多面的機能を理解し、保全に向けた課題を把握する。

セクション3 再開発と緑化

セクション概要 再開発に伴う緑化や緑地空間の創出の現状を把握する。

第13回 火山との共生（授業形式：講義および演習）

予習内容：概要と各セクションについて

予習時間：30分

復習内容：今回の授業内容について

復習時間：30分

概要 火山活動は人々の暮らしへ著しい影響を与える一方、様々な恩恵も与えてくれる。実際の火山災害対策の事例も交えながら、共生していくためのモニタリングについても考える。

セクション1 火山の分布

セクション概要 日本は火山国であり、どのように分布しているか把握する。

セクション2 火山ガス災害対策の事例 前編

セクション概要 2000年三宅島火山災害を例に、火山ガス対策がどのように行われたか解説する。

セクション3 火山ガス災害対策の事例 後編

セクション概要 2000年三宅島火山災害を例に、泥流対策等がどのように行われたか解説する。また、火山防災体制について理解する。

第14回 中心市街地の活性化（授業形式：講義および演習）

予習内容：概要と各セクションについて

予習時間：30分

復習内容：今回の授業内容について

復習時間：30分

概要 日本での急激な都市化とモータリゼーションの進展は中心市街地の空洞化をもたらせた。人口減少が進み、中心市街地活性化や買物弱者対策が求められており、現状と対策を解説する。

セクション1 中心市街地の課題

セクション概要 日本での中心市街地が空洞化をもたらされた要因を探る。

セクション2 コンパクトシティ

セクション概要 中心市街地の活性化に向けたコンパクトシティの実現への取組みと課題を理解する。

セクション3 買物弱者対策

セクション概要 高齢社会の到来により買物弱者対策が必要になってきていることを理解する。

第15回 行政の地理（授業形式：講義および演習）

予習内容：概要と各セクションについて

予習時間：30分

復習内容：今回の授業内容について

復習時間：30分

概要 平成の大合併により約3,300あった市町村が約1,300程度までに減少した。合併の規模は都道府県によって異なる。合併による都市構造にどのような変化があったかを理解する。

セクション1 平成の大合併

セクション概要 平成の大合併における都道府県別にみた合併の状況を把握する。

セクション2 都市構造の変化

セクション概要 大規模な市町村合併が行われた場合、都市の構造が変化することを理解する。

セクション3 ローカルガ・バナンス

セクション概要 人口減少や少子高齢化が進む中で、地域の自治を進める上での課題についてふれる。

-

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 :	地域と環境の地理学【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Local and Environmental Geography				
担当者 :	石原 肇				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

この授業は、法学部、経済学部、経営学部、文芸学部、総合社会学部、国際学部の共通教養科目です。この科目では、環境、すなわち自然環境（地形、気候など）や人文環境（経済、産業、文化、歴史、観光、都市など）との関連を視点にして、日本や世界の諸地域、諸問題について学びます。

この授業は、3人の授業者がオムニバス形式で行います。第1回～第6回は「文化地理」をメインにして戸井田が、第7回～第9回は「経済地理」「行動地理」をメインにして片岡が、第10回～第15回は「都市地理」をメインにして石原が講義します。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講者はこの科目を修得することによって、1) 文化地理学、経済地理学、行動地理学、都市地理学の初歩を学ぶとともに、2) 地理学の重要概念である「地域」と「環境」というものへの理解を深めます。そして、3) 現代日本および現代世界の諸問題を地理学的な視点から考察できる力の基礎を養います。

この科目の修得は、本学の定めるディプロマポリシー 2 の達成に關与しています。

■ 成績評価方法および基準

レポート課題等 100%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

課題に関する提出物の総評を授業運営ツールでの掲示によって行います。

■ 教科書

特になし。

■ 参考文献

特になし。

■ 関連科目

特になし。

■ 授業評価アンケート実施方法

本学の規程に準拠します。

■ 研究室・メールアドレス

戸井田 (toida@socio.kindai.ac.jp)

石原 (ishihara@socio.kindai.ac.jp)

片岡 (kataokah@kindai.ac.jp)

■ オフィスアワー

戸井田（前期：水曜・3限、後期：水曜・2限）

石原（月曜・5限）

片岡（前期：金曜5限&後期：水曜3限。（諸事由により多々変更あり！！随時B館の掲示板あるいは研究室ドアの掲示物で確認すること！）

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 日本の環境（授業形式：講義および演習）

予習内容：概要と各セクションについて

予習時間：30分

復習内容：今回の授業内容について

復習時間：30分

概要 日本が位置する地域と環境について学ぶ。まず日本の国土の位置と広がりを確認してから、隣国との領土問題について押さえる。また、日本列島を取り巻く潮の流れ（海流）に着目して、海洋国家としての日本の姿についてとらえていく。

セクション1 位置と広がり

セクション概要 日本は東経135度を標準時子午線とし、東西約2時間の時間幅がある。首都東京は北緯約40度にあり、南北約3000kmの幅をもつ。領土は世界62位（約38万km²）だが、水域は世界6位の大きさがある。

セクション2 地域区分—西と東・表と裏

セクション概要 日本の諸地域を大きくくると、西日本と東日本、表日本と裏日本の区分のほか、周圈的な区分も可能である。日本をいくつかの観点から地域区分して、それぞれの地域性を考える。

セクション3 列島を取り巻く海流

セクション概要 島国日本には、沿岸を洗ういくつかの海流（暖流、寒流）がある。日本の風土や歴史は、それらの海流から大きな影響を受け育まれてきたものである。

第2回 日本人の主食・米（授業形式：講義および演習）

予習内容：概要と各セクションについて

予習時間：30分

復習内容：今回の授業内容について

復習時間：30分

概要 日本人の主食である米について学ぶ。日本語には米にかかわる多くの語彙があり、日本人との関係の深さを示している。米は、収穫量や栄養価の面で他の穀物にはない優れた性質があり、環境保全の面でも幅広い役割を果たしている。

セクション1 イネ—コメ—メシと日本人

セクション概要 日本語には米にまつわる呼称が多く、日本人の米との深いかかわりを示している。日本人の主食である米を、語彙の面から考察する。

セクション2 稲作の文化

セクション概要 米（水稻）は連作できるだけでなく、籾1粒当たりの収量が多く、たんぱく質にも富んでいる。これらのことが日本文化の基盤を形作る要因となってきた。

セクション3 稲作—もう一つの役割

セクション概要 稲作には、水循環を遅くし、土壌侵食を防ぐ環境保全機能がある。また、村社会や祭りを維持し、緑の美しい景観を保持する文化・社会保全の機能もある。

第3回 里山とともに生きる（授業形式：講義および演習）

予習内容：概要と各セクションについて

予習時間：30分

復習内容：今回の授業内容について

復習時間：30分

概要 日本人と里山の関係について学ぶ。「昔、おじいさんは山へ柴刈に」という昔話に定番の出だしは、日本人と里山のかかわりの深さを伝えている。里山は「人と自然が共生する場」であり、人は里山を利用することで、里山は人に利用されることで、ともに様々な恩恵を受けてきた。

セクション1 昔、おじいさんは山へ柴刈に

セクション概要 柴刈（シバカリ）とは燃料採取のことで、山で柴刈をしないとかつては炊事も暖もとれなかった。里山は燃料のほか、多くの資源取得の場であった。

セクション2 間伐の意義と役割

セクション概要 里山には間伐が必要不可欠である。ただ放置するだけの森林では、森の生態系が維持されず、ひいては川や海の漁場にも魚たちが集まってこない。

セクション3 森林の公益的機能

セクション概要 森林には水源涵養や土砂災害防止の機能がある。また、生物多様性を維持する場であり、地球温暖化防止にも寄与する。グリーンツーリズムにより、心身を保養する機能もある。

第4回 焼畑にみる知恵（授業形式：講義および演習）

予習内容：概要と各セクションについて

予習時間：30分

復習内容：今回の授業内容について

復習時間：30分

概要 焼畑（ヤキハタ）にみる先人の知恵について考える。焼畑の原型は地味の悪い熱帯地域にあり、そこで生きていくための知恵ある耕作の工夫である。焼畑は、同様に不利な環境下にある日本の山間部などでも行われてきたが、その方法や心得について学ぶ。

セクション1 焼畑の原型は熱帯

セクション概要 焼畑は樹木を焼いた後の灰を肥料とする農法で、土のやせた熱帯を起源とする。日本でも、同様に地味のやせた山間部などで行われてきた知恵ある農法の一つである。

セクション2 焼畑の方法

セクション概要 焼畑は4年を一単位とするものが多く、1年目に穀類、2年目にイモ類、3年目にマメ類といった具合に、年々作物を替えて輪作する。また、1年目の畑をアラコ、2年目をカーシなどと呼ぶ。

セクション3 焼畑の心得

セクション概要 秋に樹木を伐採し、乾燥させたのち、翌春に火入れする。延焼防止のためのホソケミチ（火退け道）の確保や、ヤリヤキ（槍焼き）などの手法を用いるとともに、呪術儀礼によって成功を願う。

セクション4 資料映像①の視聴

セクション概要 NHKビデオ・ニッポンの里山から、「野焼きでよみがえる大草原（熊本県阿蘇山）」を観る。野焼きで燃え残った灰を養分に草が育ち、それを餌に牛が飼育される。

第5回 牧畑にみる知恵（授業形式：講義および演習）

予習内容：概要と各セクションについて

予習時間：30分

復習内容：今回の授業内容について

復習時間：30分

概要 牧畑（マキハタ）にみる先人の知恵について考える。牧畑は近年まで日本海の島嶼部などにみられたが、現在では途絶えてしまった。しかし、その歴史的慣性は今日、牛肉の子牛産地として継承されている。また、ヨーロッパの畑作と類似点があり、その原型である三圃式農法を彷彿させる。

セクション1 牧畑の方法

セクション概要 牧畑は牧と畑を複合した農牧形態であり、牛馬の糞を肥料とする農法である。日本で最後まで残存した隠岐では、牧畑を4区画に分け、作物を輪転させて食料と役牛・役馬を取得した。

セクション2 牧畑のその後

セクション概要 隠岐の牧畑も昭和40年代には終了したが、隠岐はその後も子取り牛の飼育地として、全国の肥育農家に子牛を提供している。「神戸牛」「松阪牛」などのブランド牛も、隠岐生まれである。

セクション3 ヨーロッパ三圃式農法と牧畑

セクション概要 ヨーロッパ三圃式農法は、農耕と家畜飼育を組み合わせたものであり、牧畑に似ている。11世紀の三圃革命で人口が増え、ヨーロッパは十字軍の派遣を始めたほか、やがて大航海時代を迎える。

セクション4 資料映像②の視聴

セクション概要 NHKビデオ・ニッポンの里山から、「花咲く島の放牧地（島根県西ノ島町）」を観る。牛馬が草を食べることで美しい草原が保たれ、様々な生き物が共生している。

第6回 地名が語る環境と地域（授業形式：講義および演習）

予習内容：概要と各セクションについて

予習時間：30分

復習内容：今回の授業内容について

復習時間：30分

概要 地名と環境、地名と地域との関係について学ぶ。土地につけられた刻印である「地名」は、住人たちの了解のもとに、様々な語彙の中から生き残った文化遺産である。その場所がどういった性質を持つ土地であるかを示唆するが、中には現代人がすでに忘れてしまった、災害への警鐘のこもるものもある。

セクション1 地名と環境

セクション概要 地名には、その土地の自然環境や人文環境を反映したものが多い。大阪の道が「筋」と「通」からなり、京都の道が「通」からだけなるのも、両者の自然・人文環境の違いに基づいている。

セクション2 災害地名のいくつか

セクション概要 大阪の地名から「十三」「放出」「河内」など、全国の地名から「シマ」「クラ」「ヒラ」などを取り上げて、災害地名のいくつかについて考えてみる。

セクション3 地名からみる地域性

セクション概要 全国の「谷（タニ）地名」と「沢（サワ）地名」の分布から、地名にみる日本の地域性を考える。両者の漸移帯に「谷（ヤ）地名」が分布する理由についても検討する。

第7回 中心地を地理学する！（経済地理学）（授業形式：講義および演習）

予習内容：概要と各セクションについて

予習時間：30分

復習内容：今回の授業内容について

復習時間：30分

概要 わたしたちが普段行っている「買い物」という行為をとおして、都市（中心地）の立地について理解する。また、「財の到達範囲」や「高次財」・「低次財」をはじめとした中心地理論の基礎的概念や語句を学ぶ。

セクション1 あなたは即答できますか??

セクション概要 経済地理学における重要な基礎理論の一つである立地論とは何かを学ぶ。同時に、立地論の一つである中心地理論の基本的概念や重要語句についても学ぶ。

セクション2 おやつをどこまで買いに行こうかな?

セクション概要 わたしたちが何気なく行っている買い物という行為を振り返り、そこにある「距離」について、あらためてその存在を認識してもらうとともに、「財の到達範囲」、「高次財」・「低次財」をはじめとして、中心地理論の基本的概念や重要語句について学ぶ。

セクション3 さまざまな財を供給する中心地の最適な立地は?

セクション概要財の到達範囲は財の種類により違うため、中心地の立地も供給する財の種類により異なることを学ぶ。以上より、クリスタラーが著した「供給原理に基づく中心地システム」を理解する。

第8回 工業を地理学する！（経済地理学）（授業形式：講義および演習）

予習内容：概要と各セクションについて

予習時間：30分

復習内容：今回の授業内容について

復習時間：30分

概要 わたしたちの身の回りの工業製品について、それらが生産される場所を考えることにより、工業（工場）の立地について理解する。また、「立地三角形」や「原料指数」等、工業立地論の基本的概念や語句を学ぶ。

セクション1 ポテチはどこからやってくる??

セクション概要 わたしたちが普段食べるおやつ「ポテチ」という側面に着目し、ウェーバー工業立地論を理解する。あわせて、工業（工場）の立地に必要な要因等についても学ぶ。

セクション2 立地三角形とは??

セクション概要 ウェーバー工業立地論の第一段階に関する基本的概念について学ぶ。あわせて、「立地三角形」や「原料指数」といった概念を理解する。

セクション3 労働係数とは??集積のメリットとは??

セクション概要 ウェーバー工業立地論の第二・第三段階に関する基本的概念について学ぶ。加えて、立地条件による工業の分類も理解する。

第9回 生活行動を地理学する（授業形式：講義および演習）

予習内容：概要と各セクションについて

予習時間：30分

復習内容：今回の授業内容について

復習時間：30分

概要 わたしたちの毎日の行動を、行動地理学的な視点から捉え直し、生活活動時間・空間について理解する。また、観光やエスニシティ、ジェンダーをはじめとした事象についても行動地理学的観点から分析することにより、それらが契機となり生じる地域の課題を考察する。

セクション1 なぜ通勤自粛になったの? セクション概要 コロナ禍の中で行われた「通勤自粛」という事象を取り上げ、都市における人々の日常生活行動をあらためて考えるとともに、「行動地理学とは何か」について学ぶ。

セクション2 通勤はいつから始まったの? セクション概要 通勤という行為の始まりを理解するとともに、「パス」や「プリズム」といった行動地理学に用いられる基本的概念や重要語句について学ぶ。あわせて、各人の生活活動空間を行動地理学的視点から分析する。

セクション3 行動地理学からわかること セクション概要 観光地における人々の行動、女性の生活活動空間、外国人労働者の生活活動空間を行動地理学的視点から理解し分析することにより、それら事象が契機隣生じる地域の課題について考察する。

第10回 SDGsと地球温暖化防止（授業形式：講義および演習）

予習内容：概要と各セクションについて

予習時間：30分

復習内容：今回の授業内容について

復習時間：30分

概要 2015年に国連で「持続可能な開発目標（SDGs）」が策定された。同年に「パリ協定」も採択されている。地球規模の問題である温暖化の現状を理解し、日本で行われている取組みを把握する。

セクション1 SDGsとは

セクション概要 「持続可能な開発目標（SDGs）」の概要を説明する

セクション2 地球温暖化とその影響

セクション概要 地球規模の問題として温暖化のメカニズムとその影響を説明する

セクション3 地球温暖化防止対策と課題

セクション概要 「パリ協定」と日本で取られている対策の現状を把握する。

第11回 大気環境の保全（授業形式：講義および演習）

予習内容：概要と各セクションについて

予習時間：30分

復習内容：今回の授業内容について

復習時間：30分

概要 日本の大気汚染の歴史的経過を地域環境の改善から確認した上で、近年、新たな課題となっているPM2.5について、気候との関係から東アジアでの対策が必要となっていることを理解する。

セクション1 公害の歴史

セクション概要 四大公害とそのうちの大気汚染公害として位置付けられる四日市ぜんそくを取り上げ説明する。

セクション2 大気汚染の対策と改善

セクション概要 工場への規制のみならず道路や自動車への規制等大気汚染対策の概観を解説する。

セクション3 PM2.5と東アジア

セクション概要 地域の対策が進んだ中、新たな課題としてのPM2.5について、現状と課題を解説する。

第12回 都市の自然環境保全（授業形式：講義および演習）

予習内容：概要と各セクションについて

予習時間：30分

復習内容：今回の授業内容について

復習時間：30分

概要 高度経済成長により日本の三大都市圏は急激な成長を遂げた。大都市圏における自然環境をどのように保全すべきか、緑地保全や都市緑化の観点から考える。

セクション1 都市の緑地構成要素

セクション概要 都市化が進展する中で、どのように緑地としての森林・農地・公園が変化してきたかを把握する。

セクション2 都市農地の保全

セクション概要 都市農地の持つ多面的機能を理解し、保全に向けた課題を把握する。

セクション3 再開発と緑化

セクション概要 再開発に伴う緑化や緑地空間の創出の現状を把握する。

第13回 火山との共生（授業形式：講義および演習）

予習内容：概要と各セクションについて

予習時間：30分

復習内容：今回の授業内容について

復習時間：30分

概要 火山活動は人々の暮らしへ著しい影響を与える一方、様々な恩恵も与えてくれる。実際の火山災害対策の事例も交えながら、共生していくためのモニタリングについても考える。

セクション1 火山の分布

セクション概要 日本は火山国であり、どのように分布しているか把握する。

セクション2 火山ガス災害対策の事例 前編

セクション概要 2000年三宅島火山災害を例に、火山ガス対策がどのように行われたか解説する。

セクション3 火山ガス災害対策の事例 後編

セクション概要 2000年三宅島火山災害を例に、泥流対策等がどのように行われたか解説する。また、火山防災体制について理解する。

第14回 中心市街地の活性化（授業形式：講義および演習）

予習内容：概要と各セクションについて

予習時間：30分

復習内容：今回の授業内容について

復習時間：30分

概要 日本での急激な都市化とモータリゼーションの進展は中心市街地の空洞化をもたらせた。人口減少が進み、中心市街地活性化や買物弱者対策が求められており、現状と対策を解説する。

セクション1 中心市街地の課題

セクション概要 日本での中心市街地が空洞化をもたらされた要因を探る。

セクション2 コンパクトシティ

セクション概要 中心市街地の活性化に向けたコンパクトシティの実現への取組みと課題を理解する。

セクション3 買物弱者対策

セクション概要 高齢社会の到来により買物弱者対策が必要になってきていることを理解する。

第15回 行政の地理（授業形式：講義および演習）

予習内容：概要と各セクションについて

予習時間：30分

復習内容：今回の授業内容について

復習時間：30分

概要 平成の大合併により約3,300あった市町村が約1,300程度までに減少した。合併の規模は都道府県によって異なる。合併による都市構造にどのような変化があったかを理解する。

セクション1 平成の大合併

セクション概要 平成の大合併における都道府県別にみた合併の状況を把握する。

セクション2 都市構造の変化

セクション概要 大規模な市町村合併が行われた場合、都市の構造が変化することを理解する。

セクション3 ローカルガ・バナンス

セクション概要 人口減少や少子高齢化が進む中で、地域の自治を進める上での課題についてふれる。

-

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 :	生命の科学【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Science of Life				
担当者 :	和田 哲幸				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

ヒトゲノムの解読により我々を含む生命体の謎が解き明かされつつある。また、生命科学を通して生命体の「誕生」、「疾病」そして「死」など、様々な現象が明らかとなってきた。この講義では、近年飛躍的に進歩している生命科学の分野において、我々の身近に関わる、細胞、遺伝子、代謝、食、がんなどについて知っておかなければならない事を、生物学を学んでいない学生に対しても理解できる範囲で紹介する。

この授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。各回の作成者は授業計画の内容に記載のとおりです。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

医学、薬学、農学、理学を問わず、一般新聞に掲載されるサイエンス記事が理解できるようになることが目標である。この科目の修得は、本学の定めるディプロマポリシー1.の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

15回すべての講義動画を視聴した学生のみ評価の対象であり、第1回レポート課題 30%

第2回レポート課題 30%

第3回レポート課題 30%

ディスカッションへの参加 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

「レポート課題の提出締切後に「レポート課題の要点と解説」をGoogleClassroomに掲載します。」

■ 教科書

適時プリント配布

■ 参考文献

[ISBN]9784758120005 『生命科学 改訂第3版』（東京大学生命科学教科書編集委員会, 羊土社）

[ISBN]9784807903436 『ウォーレス現代生物学 上』（R.A. ウォーレス, 東京化学同人）

[ISBN]9784807903443 『ウォーレス現代生物学 下』（R.A. ウォーレス, 東京化学同人）

[ISBN]9784315520620 『細胞の分子生物学 第6版』（Bruce Alberts, ニュートンプレス）

[ISBN]9784410281488 『フォトサイエンス生物図録』（数研出版編集部, 数研出版：2023）

■ 関連科目

なし

■ 授業評価アンケート実施方法

学部実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

角谷 晃司 6号館 4階 kakutani@msa.kindai.ac.jp
中村 恭子 38号館 9階 kyoko@phar.kindai.ac.jp
八軒 浩子 7号館 4階 hhachi@phar.kindai.ac.jp
和田 哲幸 7号館 4階 tetsu@phar.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

平日9時～18時、上記研究室で受け付けます。メールでの質問、歓迎します。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 生物の基本概念と基本構造 (担当: 角谷 晃司) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 生物の基本概念と基本構造について予習を行う。

予習時間: 60分

復習内容: 授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間: 60分

概要 生物のもつ2つの対立した特性、多様性と共通性を知ること、生物とは何かをとという基本概念と基本構造を学ぶ。

セクション1 生命の多様性と共通性について

セクション概要 異なる生物もすべて生きているのは何故かを考える。

セクション2 細胞とは

セクション概要 細胞の中にある細胞小器官について説明する。

セクション3 原核生物と真核生物の違い

セクション概要 原核生物と真核生物の違いについて説明する。

第2回 生殖細胞 (担当: 角谷 晃司) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 生殖細胞について予習を行う。

予習時間: 60分

復習内容: 授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間: 60分

概要 精子と卵子などの生殖細胞の形成過程やホルモンの働きについて理解する。

セクション1 生殖細胞について

セクション概要 精子と卵子が作られる生殖器について説明する。

セクション2 精子と卵子の形成について

セクション概要 精子と卵子の形成過程を説明する。

セクション3 女性ホルモンの働き

セクション概要 女性ホルモンの働きを説明する。

第3回 生命の多様性 (担当: 角谷 晃司) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 生命の多様性について予習を行う。

予習時間: 60分

復習内容: 授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間: 60分

概要 生物が世代と共に環境に適応する変化(進化)のしくみについて理解する。

セクション1 ヒトの受精と発生

セクション概要 ヒトの受精とヒトの発生初期について説明する。

セクション2 染色体と性の決定

セクション概要 性を決定する染色体について説明する。

セクション3 多様性を生む減数分裂について

セクション概要 体細胞分裂と減数分裂の違いについて説明する。

第4回 生命の設計図 (担当: 八軒 浩子) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: DNAからタンパク質が作られるセントラルドグマについて予習を行う。

予習時間: 60分

復習内容: 授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間: 60分

概要 生命体の設計図と言われるDNAの複製機構、DNAからタンパク質が作られるしくみについて解説する。

セクション1 遺伝子の本体DNA

セクション概要 遺伝子の本体であるDNAについて説明する。

セクション2 DNAの複製

セクション概要 DNAの複製について説明する。

セクション3 遺伝子とタンパク質

セクション概要 DNAの遺伝情報をもとにタンパク質が合成される過程について説明する。

第5回 遺伝子組換え (担当: 八軒 浩子) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 制限酵素やベクターなどを用いる遺伝子組換え技術について予習を行う。

予習時間: 60分

復習内容: 授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間: 60分

概要 遺伝子組換えについて説明する。

セクション1 遺伝子組換え技術

セクション概要 遺伝子組換え技術について説明する。

セクション2 遺伝子操作

セクション概要 遺伝子組換えによる医薬品や作物などについて説明する。

セクション3 遺伝子治療

セクション概要 遺伝子治療について説明する。

第6回 再生医療 (担当: 八軒 浩子) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 幹細胞について予習を行う。

予習時間: 60分

復習内容: 授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間: 60分

概要 機能不全に陥った生体組織などの機能を再建する再生医療について説明する。

セクション1 幹細胞

セクション概要 幹細胞であるES細胞、iPS細胞について説明する。

セクション2 クローン動物の作製

セクション概要 クローン動物について説明する。

セクション3 再生医療

セクション概要 再生医療について説明する。

第7回 代謝経路の基礎 (担当: 中村 恭子) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 食物を摂取した後どのように体内でタンパク質、糖質および脂質が代謝されるのかについて予習を行う。

予習時間: 60分

復習内容: 授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間: 60分

概要 食物がどのように消化されるのかを理解し、特に糖代謝についてどのように制御されているかそして糖尿病について学ぶ。

セクション1 食物分子の分解

セクション概要 タンパク質、糖質および脂肪の消化について学ぶ。

セクション2 糖代謝 (1)

セクション概要 血糖値の制御について学ぶ。

セクション3 糖代謝 (2)

セクション概要 糖尿病について学ぶ。

第8回 細胞周期とがん (担当: 中村 恭子) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 一つの細胞が二つに増殖する過程について予習を行う。

予習時間: 60分

復習内容: 授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間: 60分

概要 細胞がどのように増殖するのか、正常細胞とがん細胞の違いを理解し、がんの成り立ちを学ぶ。

セクション1 細胞周期とは

セクション概要 細胞周期について学ぶ。

セクション2 細胞周期の制御およびチェックポイント機構

セクション概要 細胞周期の制御およびチェックポイント機構に関わる因子について学ぶ。

セクション3 がんの成り立ち

セクション概要 正常細胞、がん細胞およびがんの成り立ちについて学ぶ。

第9回 遺伝の仕組み (担当: 中村 恭子) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 遺伝とはどういうことかについて予習を行う。

予習時間: 60分

復習内容: 授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間: 60分

概要 ヒトおよび植物の遺伝について理解し、特にヒトでの様々な遺伝の種類について学ぶ。

セクション1 ヒトおよび植物の遺伝

セクション概要 ヒトおよび植物の遺伝について学ぶ。

セクション2 優性形質および劣性形質

セクション概要 ヒトにおける優性形質および劣性形質について学ぶ。

セクション3 遺伝性腫瘍

セクション概要 遺伝性腫瘍について学ぶ。

第10回 生体の恒常性 (担当: 和田 哲幸) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 栄養素とは何かについて予習を行う。

予習時間: 60分

復習内容: 授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間: 60分

概要 ヒトはなぜ食べるのか? 健康を考えるうえで、まず思い出すのが“食事”です。健康を維持するための食について理解します。

セクション1 なぜヒトは食べるのか?

セクション概要 なぜヒトは食事をする必要があるのかについて簡単に説明する。

セクション2 栄養素とは何?

セクション概要 3大栄養素の役割について簡単に説明する。

セクション3 消化とは? 吸収とは?

セクション概要 消化と吸収について簡単に説明する。

第11回 生体の恒常性 (担当: 和田 哲幸) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 消化器官の構造と役割について予習を行う。

予習時間: 60分

復習内容: 授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間: 60分

概要 ヒトはなぜ食べるのか? 消化と吸収に関わる消化器系の役割とそのはたらきについて理解する。

セクション1 食べること

セクション概要 口腔から直腸までの消化管のはたらきについて説明する。

セクション2 美味しく食事する!

セクション概要 味を感じる仕組みについて説明する。

セクション3 健康を維持するために

セクション概要 健康長寿を目指す、バランスの取れた食事って?

第12回 生体の恒常性 (担当: 和田 哲幸) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 薬物乱用とは何か、簡単に調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間: 60分

概要 薬物乱用防止について、薬物の本当の怖さとその問題点を理解する。

セクション1 薬物乱用とは何?

セクション概要 薬物乱用について説明する。

セクション2 薬物乱用の規制

セクション概要 法規制の対象となる薬物について説明する。

セクション3 医療用麻薬って何?

セクション概要 医療用麻薬について説明する。

第13回 神経と情報伝達 (担当: 和田 哲幸) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 神経と情報伝達について予習を行う。

予習時間: 60分

復習内容: 授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間: 60分

概要 生体における情報伝達について理解する。

セクション1 恒常性の維持

セクション概要 恒常性の維持について概説する。

セクション2 生体における情報伝達手段 (1)

セクション概要 ホルモンによる体内調節について概説する。

セクション3 生体における情報伝達手段 (2)

セクション概要 神経伝達物質による情報伝達について概説する。

第14回 生体の防御・免疫 (担当: 角谷 晃司) (授業形式: 講義および演習)

予習内容：生体防御のしくみについて予習を行う。

予習時間：60分

復習内容：授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間：60分

概要 生体防御機構である免疫について理解する。

セクション1 免疫にかかわる細胞

セクション概要 免疫にかかわる細胞の種類と自然免疫について概説する。

セクション2 獲得免疫

セクション概要 細胞性免疫と体液性免疫について概説する。

セクション3 免疫にかかわる疾患と治療

セクション概要 花粉症やエイズなど免疫にかかわる疾患とワクチンについて概説する。

第15回 がん (担当：中村 恭子, 八軒 浩子) (授業形式：講義および演習)

予習内容：がんの基礎知識について予習を行う。

予習時間：60分

復習内容：授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間：60分

概要 がんの基礎知識および遺伝子治療について学ぶ。

セクション1 がんの基礎知識

セクション概要 がんとその治療法について学ぶ。

セクション2 遺伝子治療 (1)

セクション概要 遺伝子治療および遺伝子治療用ベクターの種類について学ぶ。

セクション3 遺伝子治療 (2)

セクション概要 がん遺伝子治療について学ぶ。

レポート課題

■ ホームページ

■ 実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 :	生命の科学【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Science of Life				
担当者 :	中村 恭子				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

ヒトゲノムの解読により我々を含む生命体の謎が解き明かされつつある。また、生命科学を通して生命体の「誕生」、「疾病」そして「死」など、様々な現象が明らかとなってきた。この講義では、近年飛躍的に進歩している生命科学の分野において、我々の身近に関わる、細胞、遺伝子、代謝、食、がんなどについて知っておかなければならない事を、生物学を学んでいない学生に対しても理解できる範囲で紹介する。

この授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。各回の作成者は授業計画の内容に記載のとおりです。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講者はこの授業を履修することによって、医学、薬学、農学、理学を問わず、一般新聞に掲載されるサイエンス記事が理解できるようになることが目標である。

この科目の修得は、本学の定めるディプロマポリシー2.の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

15回すべての講義動画を視聴した学生のみ評価の対象であり、第1回レポート課題 30%

第2回レポート課題 30%

第3回レポート課題 30%

ディスカッションへの参加 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

「レポート課題の提出締切後に「レポート課題の要点と解説」をGoogleClassroomに掲載します。」

■ 教科書

適時プリント配布

■ 参考文献

[ISBN]9784758120005 『生命科学 改訂第3版』（東京大学生命科学教科書編集委員会, 羊土社）

[ISBN]9784807903436 『ウォーレス現代生物学 上』（R.A. ウォーレス, 東京化学同人）

[ISBN]9784807903443 『ウォーレス現代生物学 下』（R.A. ウォーレス, 東京化学同人）

[ISBN]9784315520620 『細胞の分子生物学 第6版』（Bruce Alberts, ニュートンプレス）

[ISBN]9784410281488 『フォトサイエンス生物図録』（数研出版編集部, 数研出版：2023）

■ 関連科目

なし

■ 授業評価アンケート実施方法

学部実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

角谷 晃司 6号館 4階 kakutani@msa.kindai.ac.jp
中村 恭子 38号館 9階 kyoko@phar.kindai.ac.jp
八軒 浩子 7号館 4階 hhachi@phar.kindai.ac.jp
和田 哲幸 7号館 4階 tetsu@phar.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

平日9時～18時、上記研究室で受け付けます。メールでの質問、歓迎します。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 生物の基本概念と基本構造 (担当: 角谷 晃司) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 生物の基本概念と基本構造について予習を行う。

予習時間: 60分

復習内容: 授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間: 60分

概要 生物のもつ2つの対立した特性、多様性と共通性を知ること、生物とは何かをという基本概念と基本構造を学ぶ。

セクション1 生命の多様性と共通性について

セクション概要 異なる生物もすべて生きているのは何故かを考える。

セクション2 細胞とは

セクション概要 細胞の中にある細胞小器官について説明する。

セクション3 原核生物と真核生物の違い

セクション概要 原核生物と真核生物の違いについて説明する。

第2回 生殖細胞 (担当: 角谷 晃司) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 生殖細胞について予習を行う。

予習時間: 60分

復習内容: 授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間: 60分

概要 精子と卵子などの生殖細胞の形成過程やホルモンの働きについて理解する。

セクション1 生殖細胞について

セクション概要 精子と卵子が作られる生殖器について説明する。

セクション2 精子と卵子の形成について

セクション概要 精子と卵子の形成過程を説明する。

セクション3 女性ホルモンの働き

セクション概要 女性ホルモンの働きを説明する。

第3回 生命の多様性 (担当: 角谷 晃司) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 生命の多様性について予習を行う。

予習時間: 60分

復習内容: 授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間: 60分

概要 生物が世代と共に環境に適応する変化(進化)のしくみについて理解する。

セクション1 ヒトの受精と発生

セクション概要 ヒトの受精とヒトの発生初期について説明する。

セクション2 染色体と性の決定

セクション概要 性を決定する染色体について説明する。

セクション3 多様性を生む減数分裂について

セクション概要 体細胞分裂と減数分裂の違いについて説明する。

第4回 生命の設計図 (担当: 八軒 浩子) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: DNAからタンパク質が作られるセントラルドグマについて予習を行う。

予習時間: 60分

復習内容: 授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間: 60分

概要 生命体の設計図と言われるDNAの複製機構、DNAからタンパク質が作られるしくみについて解説する。

セクション1 遺伝子の本体DNA

セクション概要 遺伝子の本体であるDNAについて説明する。

セクション2 DNAの複製

セクション概要 DNAの複製について説明する。

セクション3 遺伝子とタンパク質

セクション概要 DNAの遺伝情報をもとにタンパク質が合成される過程について説明する。

第5回 遺伝子組換え (担当: 八軒 浩子) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 制限酵素やベクターなどを用いる遺伝子組換え技術について予習を行う。

予習時間: 60分

復習内容: 授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間: 60分

概要 遺伝子組換えについて説明する。

セクション1 遺伝子組換え技術

セクション概要 遺伝子組換え技術について説明する。

セクション2 遺伝子操作

セクション概要 遺伝子組換えによる医薬品や作物などについて説明する。

セクション3 遺伝子治療

セクション概要 遺伝子治療について説明する。

第6回 再生医療 (担当: 八軒 浩子) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 幹細胞について予習を行う。

予習時間: 60分

復習内容: 授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間: 60分

概要 機能不全に陥った生体組織などの機能を再建する再生医療について説明する。

セクション1 幹細胞

セクション概要 幹細胞であるES細胞、iPS細胞について説明する。

セクション2 クローン動物の作製

セクション概要 クローン動物について説明する。

セクション3 再生医療

セクション概要 再生医療について説明する。

第7回 代謝経路の基礎 (担当: 中村 恭子) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 食物を摂取した後どのように体内でタンパク質、糖質および脂質が代謝されるのかについて予習を行う。

予習時間: 60分

復習内容: 授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間: 60分

概要 食物がどのように消化されるのかを理解し、特に糖代謝についてどのように制御されているかそして糖尿病について学ぶ。

セクション1 食物分子の分解

セクション概要 タンパク質、糖質および脂肪の消化について学ぶ。

セクション2 糖代謝 (1)

セクション概要 血糖値の制御について学ぶ。

セクション3 糖代謝 (2)

セクション概要 糖尿病について学ぶ。

第8回 細胞周期とがん (担当: 中村 恭子) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 一つの細胞が二つに増殖する過程について予習を行う。

予習時間: 60分

復習内容: 授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間: 60分

概要 細胞がどのように増殖するのか、正常細胞とがん細胞の違いを理解し、がんの成り立ちを学ぶ。

セクション1 細胞周期とは

セクション概要 細胞周期について学ぶ。

セクション2 細胞周期の制御およびチェックポイント機構

セクション概要 細胞周期の制御およびチェックポイント機構に関わる因子について学ぶ。

セクション3 がんの成り立ち

セクション概要 正常細胞、がん細胞およびがんの成り立ちについて学ぶ。

第9回 遺伝の仕組み (担当: 中村 恭子) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 遺伝とはどういうことかについて予習を行う。

予習時間: 60分

復習内容: 授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間: 60分

概要 ヒトおよび植物の遺伝について理解し、特にヒトでの様々な遺伝の種類について学ぶ。

セクション1 ヒトおよび植物の遺伝

セクション概要 ヒトおよび植物の遺伝について学ぶ。

セクション2 優性形質および劣性形質

セクション概要 ヒトにおける優性形質および劣性形質について学ぶ。

セクション3 遺伝性腫瘍

セクション概要 遺伝性腫瘍について学ぶ。

第10回 生体の恒常性 (担当: 和田 哲幸) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 栄養素とは何かについて予習を行う。

予習時間: 60分

復習内容: 授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間: 60分

概要 ヒトはなぜ食べるのか? 健康を考えるうえで、まず思い出すのが“食事”です。健康を維持するための食について理解します。

セクション1 なぜヒトは食べるのか?

セクション概要 なぜヒトは食事をする必要があるのであるのかについて簡単に説明する。

セクション2 栄養素とは何?

セクション概要 3大栄養素の役割について簡単に説明する。

セクション3 消化とは? 吸収とは?

セクション概要 消化と吸収について簡単に説明する。

第11回 生体の恒常性 (担当: 和田 哲幸) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 消化器官の構造と役割について予習を行う。

予習時間: 60分

復習内容: 授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間: 60分

概要 ヒトはなぜ食べるのか? 消化と吸収に関わる消化器系の役割とそのはたらきについて理解する。

セクション1 食べること

セクション概要 口腔から直腸までの消化管のはたらきについて説明する。

セクション2 美味しく食事する!

セクション概要 味を感じる仕組みについて説明する。

セクション3 健康を維持するために

セクション概要 健康長寿を目指す、バランスの取れた食事って?

第12回 生体の恒常性 (担当: 和田 哲幸) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 薬物乱用とは何か、簡単に調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間: 60分

概要 薬物乱用防止について、薬物の本当の怖さとその問題点を理解する。

セクション1 薬物乱用とは何?

セクション概要 薬物乱用について説明する。

セクション2 薬物乱用の規制

セクション概要 法規制の対象となる薬物について説明する。

セクション3 医療用麻薬って何?

セクション概要 医療用麻薬について説明する。

第13回 神経と情報伝達 (担当: 和田 哲幸) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 神経と情報伝達について予習を行う。

予習時間: 60分

復習内容: 授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間: 60分

概要 生体における情報伝達について理解する。

セクション1 恒常性の維持

セクション概要 恒常性の維持について概説する。

セクション2 生体における情報伝達手段 (1)

セクション概要 ホルモンによる体内調節について概説する。

セクション3 生体における情報伝達手段 (2)

セクション概要 神経伝達物質による情報伝達について概説する。

第14回 生体の防御・免疫（担当：角谷 晃司）（授業形式：講義および演習）

予習内容：生体防御のしくみについて予習を行う。

予習時間：60分

復習内容：授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間：60分

概要 生体防御機構である免疫について理解する。

セクション1 免疫にかかわる細胞

セクション概要 免疫にかかわる細胞の種類と自然免疫について概説する。

セクション2 獲得免疫

セクション概要 細胞性免疫と体液性免疫について概説する。

セクション3 免疫にかかわる疾患と治療

セクション概要 花粉症やエイズなど免疫にかかわる疾患とワクチンについて概説する。

第15回 がん（担当：中村 恭子，八軒 浩子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：がんの基礎知識について予習を行う。

予習時間：60分

復習内容：授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間：60分

概要 がんの基礎知識および遺伝子治療について学ぶ。

セクション1 がんの基礎知識

セクション概要 がんとその治療法について学ぶ。

セクション2 遺伝子治療（1）

セクション概要 遺伝子治療および遺伝子治療用ベクターの種類について学ぶ。

セクション3 遺伝子治療（2）

セクション概要 がん遺伝子治療について学ぶ。

レポート課題

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 :	生命の科学【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Science of Life				
担当者 :	八軒 浩子				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

ヒトゲノムの解読により我々を含む生命体の謎が解き明かされつつある。また、生命科学を通して生命体の「誕生」、「疾病」そして「死」など、様々な現象が明らかとなってきた。この講義では、近年飛躍的に進歩している生命科学の分野において、我々の身近に関わる、細胞、遺伝子、代謝、食、がんなどについて知っておかなければならない事を、生物学を学んでいない学生に対しても理解できる範囲で紹介する。

この授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。各回の作成者は授業計画の内容に記載のとおりです。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講者はこの授業を履修することによって、医学、薬学、農学、理学を問わず、一般新聞に掲載されるサイエンス記事が理解できるようになることが目標である。

この科目の修得は、本学の定めるディプロマポリシー2.の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

回すべての講義動画を視聴した学生のみ評価の対象であり、第1回レポート課題 30%

第2回レポート課題 30%

第3回レポート課題 30%

ディスカッションへの参加 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

レポート課題の提出締切後に「レポート課題の要点と解説」をGoogleClassroomに掲載します。

■ 教科書

適時プリント配布

■ 参考文献

[ISBN]9784758120005 『生命科学 改訂第3版』（東京大学生命科学教科書編集委員会, 羊土社 : 2009）

[ISBN]9784807903436 『ウォーレス現代生物学 上』（ウォーレス, 東京化学同人 : 1991）

[ISBN]9784807903443 『ウォーレス現代生物学 下』（ウォーレス, 東京化学同人 : 1992）

[ISBN]9784315520620 『細胞の分子生物学 第6版』（ALBERTS, ニュートンプレス : 2017）

[ISBN]9784410281488 『フォトサイエンス生物図録』（数研出版編集部, 数研出版 : 2023）

■ 関連科目

なし

■ 授業評価アンケート実施方法

学部実施規程に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

角谷 晃司 6号館 4階 kakutani@msa.kindai.ac.jp
中村 恭子 38号館 9階 kyoko@phar.kindai.ac.jp
和田 哲幸 7号館 4階 tetsu@phar.kindai.ac.jp
八軒 浩子 7号館 4階 hhachi@phar.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

平日9時～18時、上記研究室で受け付けます。メールでの質問、歓迎します。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 生物の基本概念と基本構造 (担当: 角谷 晃司) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 生物の基本概念と基本構造について予習を行う。

予習時間: 60分

復習内容: 授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間: 60分

概要 生物のもつ2つの対立した特性、多様性と共通性を知ること、生物とは何かをという基本概念と基本構造を学ぶ。

セクション1 生命の多様性と共通性について

セクション概要 異なる生物もすべて生きているのは何故かを考える。

セクション2 細胞とは

セクション概要 細胞の中にある細胞小器官について説明する。

セクション3 原核生物と真核生物の違い

セクション概要 原核生物と真核生物の違いについて説明する。

第2回 生殖細胞 (担当: 角谷 晃司) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 生殖細胞について予習を行う。

予習時間: 60分

復習内容: 授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間: 60分

概要 精子と卵子などの生殖細胞の形成過程やホルモンの働きについて理解する。

セクション1 生殖細胞について

セクション概要 精子と卵子が作られる生殖器について説明する。

セクション2 精子と卵子の形成について

セクション概要 精子と卵子の形成過程を説明する。

セクション3 女性ホルモンの働き

セクション概要 女性ホルモンの働きを説明する。

第3回 生命の多様性 (担当: 角谷 晃司) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 生命の多様性について予習を行う。

予習時間: 60分

復習内容: 授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間: 60分

概要 生物が世代と共に環境に適応する変化(進化)のしくみについて理解する。

セクション1 ヒトの受精と発生

セクション概要 ヒトの受精とヒトの発生初期について説明する。

セクション2 染色体と性の決定

セクション概要 性を決定する染色体について説明する。

セクション3 多様性を生む減数分裂について

セクション概要 体細胞分裂と減数分裂の違いについて説明する。

第4回 生命の設計図 (担当: 八軒 浩子) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: DNAからタンパク質が作られるセントラルドグマについて予習を行う。

予習時間: 60分

復習内容: 授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間: 60分

概要 生命体の設計図と言われるDNAの複製機構、DNAからタンパク質が作られるしくみについて解説する。

セクション1 遺伝子の本体DNA

セクション概要 遺伝子の本体であるDNAについて説明する。

セクション2 DNAの複製

セクション概要 DNAの複製について説明する。

セクション3 遺伝子とタンパク質

セクション概要 DNAの遺伝情報をもとにタンパク質が合成される過程について説明する

第5回 遺伝子組換え (担当: 八軒 浩子) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 制限酵素やベクターなどを用いる遺伝子組換え技術について予習を行う。

予習時間: 60分

復習内容: 授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間: 60分

概要 遺伝子組換えについて説明する。

セクション1 遺伝子組換え技術

セクション概要 遺伝子組換え技術について説明する。

セクション2 遺伝子操作

セクション概要 遺伝子組換えによる医薬品や作物などについて説明する。

セクション3 遺伝子治療

セクション概要 遺伝子治療について説明する。

第6回 再生医療 (担当: 八軒 浩子) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 幹細胞について予習を行う。

予習時間: 60分

復習内容: 授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間: 60分

概要 機能不全に陥った生体組織などの機能を再建する再生医療について説明する。

セクション1 幹細胞

セクション概要 幹細胞であるES細胞、iPS細胞について説明する。

セクション2 クローン動物の作製

セクション概要 クローン動物について説明する。

セクション3 再生医療

セクション概要 再生医療について説明する。

第7回 代謝経路の基礎 (担当: 中村 恭子) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 食物を摂取した後どのように体内でタンパク質、糖質および脂質が代謝されるのかについて予習を行う。

予習時間: 60分

復習内容: 授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間: 60分

概要 食物がどのように消化されるのかを理解し、特に糖代謝についてどのように制御されているかそして糖尿病について学ぶ。

セクション1 食物分子の分解

セクション概要 タンパク質、糖質および脂肪の消化について学ぶ。

セクション2 糖代謝 (1)

セクション概要 血糖値の制御について学ぶ。

セクション3 糖代謝 (2)

セクション概要 糖尿病について学ぶ。

第8回 細胞周期とがん (担当: 中村 恭子) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 一つの細胞が二つに増殖する過程について予習を行う

予習時間: 60分

復習内容: 授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間: 60分

概要 細胞がどのように増殖するのか、正常細胞とがん細胞の違いを理解し、がんの成り立ちを学ぶ。

セクション1 細胞周期とは

セクション概要 細胞周期について学ぶ。

セクション2 細胞周期の制御およびチェックポイント機構

セクション概要 細胞周期の制御およびチェックポイント機構に関わる因子について学ぶ

セクション3 がんの成り立ち

セクション概要 正常細胞、がん細胞およびがんの成り立ちについて学ぶ。

第9回 遺伝の仕組み (担当: 中村 恭子) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 遺伝とはどういうことかについて予習を行う。

予習時間: 60分

復習内容: 授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間: 60分

概要 ヒトおよび植物の遺伝について理解し、特にヒトでの様々な遺伝の種類について学ぶ。

セクション1 ヒトおよび植物の遺伝

セクション概要 ヒトおよび植物の遺伝について学ぶ。

セクション2 優性形質および劣性形質

セクション概要 ヒトにおける優性形質および劣性形質について学ぶ。

セクション3 遺伝性腫瘍

セクション概要 遺伝性腫瘍について学ぶ。

第10回 生体の恒常性 (担当: 和田 哲幸) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 栄養素とは何かについて予習を行う。

予習時間: 60分

復習内容: 授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間: 60分

概要 ヒトはなぜ食べるのか? 健康を考えるうえで、まず思い出すのが“食事”です。健康を維持するための食について理解します。

セクション1 なぜヒトは食べるのか?

セクション概要 なぜヒトは食事をする必要があるのかについて簡単に説明する。

セクション2 栄養素とは何?

セクション概要 3大栄養素の役割について簡単に説明する。

セクション3 消化とは? 吸収とは?

セクション概要 消化と吸収について簡単に説明する。

第11回 生体の恒常性 (担当: 和田 哲幸) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 消化器官の構造と役割について予習を行う。

予習時間: 60分

復習内容: 授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間: 60分

概要 ヒトはなぜ食べるのか? 消化と吸収に関わる消化器系の役割とそのはたらきについて理解する。

セクション1 食べること

セクション概要 口腔から直腸までの消化管のはたらきについて説明する。

セクション2 美味しく食事する!

セクション概要 味を感じる仕組みについて説明する。

セクション3 健康を維持するために

セクション概要 健康長寿を目指す、バランスの取れた食事って?

第12回 薬物乱用 (担当: 和田 哲幸) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 薬物乱用とは何か、簡単に調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間: 60分

概要 薬物乱用防止について、薬物の本当の怖さとその問題点を理解する。

セクション1 薬物乱用とは何?

セクション概要 薬物乱用について説明する。

セクション2 薬物乱用の規制

セクション概要 法規制の対象となる薬物について説明する。

セクション3 医療用麻薬って何

セクション概要 医療用麻薬について説明する。

第13回 神経と情報伝達 (担当: 和田 哲幸) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 神経と情報伝達について予習を行う。

予習時間: 60分

復習内容: 授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間: 60分

概要 生体における情報伝達について理解する。

セクション1 恒常性の維持

セクション概要 恒常性の維持について概説する。

セクション2 生体における情報伝達手段 (1)

セクション概要 ホルモンによる体内調節について概説する。

セクション3 生体における情報伝達手段 (2)

セクション概要 神経伝達物質による情報伝達について概説する。

第14回 生体の防御・免疫（担当：角谷 晃司）（授業形式：講義および演習）

予習内容：生体防御のしくみについて予習を行う。

予習時間：60分

復習内容：授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間：60分

概要 生体防御機構である免疫について理解する。

セクション1 免疫にかかわる細胞

セクション概要 免疫にかかわる細胞の種類と自然免疫について概説する。

セクション2 獲得免疫

セクション概要 細胞性免疫と体液性免疫について概説する。

セクション3 免疫にかかわる疾患と治療

セクション概要 花粉症やエイズなど免疫にかかわる疾患とワクチンについて概説する。

第15回 がん（担当：中村 恭子，八軒 浩子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：がんの基礎知識について予習を行う。

予習時間：60分

復習内容：授業中に不明な点については動画資料などを見返す。

復習時間：60分

概要 がんの基礎知識および遺伝子治療について学ぶ。

セクション1 がんの基礎知識

セクション概要 がんとその治療法について学ぶ。

セクション2 遺伝子治療（1）

セクション概要 遺伝子治療および遺伝子治療用ベクターの種類について学ぶ。

セクション3 遺伝子治療（2）

セクション概要 がん遺伝子治療について学ぶ。

レポート課題

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 :	技術と倫理【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Technology and Ethics				
担当者 :	藤田 隆				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :	理工学部応用化学科：学修・教育到達目標（B）に主体的に関与、 理工学部社会環境工学科：ディプロマ・ポリシーの(A)、(B)に主体的に関与、(F)に付随的に関与				

■ 授業概要

近年、自動車会社及び自動車部品メーカー等による品質不正問題や、先端技術を他国へ漏らす技術流出問題など、技術者の道徳的倫理が問われる問題が多く発生している。(今後とも技術競争の苛烈さが増して技術が高度化していく中で、最も根本的な技術者としての道徳的倫理観が蔑ろにされる状況が危惧される。)

これからの技術者は、持続的な生活基盤を支える環境やエネルギーに配慮し、関連する法規を遵守しながら、自ら生み出す製品の社会的な影響を十分に理解する必要がある。その上で、社会に対して安全で信頼性の高い技術を開発し提供していくことが求められる。

本講では、今後、専門分野を深く修得していく上で、健全な科学技術者のあるべき姿を考え、それを実践していくための正しい道徳観・倫理観を涵養・修得することを主眼とする。この授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施する。各回の作成者は授業計画の内容に記載している。技術と倫理では、理工学部履修要項に準拠し、1/3以上の欠席すなわち5回以上の未受講があった場合は不合格とする。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

グローバル化と標準化が進む現代の科学技術世界において、これからの科学技術者の在り方、基本として持つべき科学技術倫理観を養うことができる。下記に具体的な項目を示す

- 1) 企業の中で必要とされる技術者倫理を身につけることができる
- 2) 製造物責任法を知ることができる
- 3) 科学技術者として必要な倫理を知ることができる
- 4) 品質問題、環境問題、安全問題と情報問題と技術者倫理の関係を知ることができる
- 5) 知的財産権について知ることができる
- 6) リスク問題の対処法を知ることができる

本科目は修得は、学科の定めるディプロマポリシーの達成に関与しています（例）機械工学科ディプロマポリシー 1. 1)）。

■ 成績評価方法および基準

レポート 30%

定期課題レポート 70%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

レポート課題の提出締切終了後に「レポート課題の要点と解説」をGoogle Classroomに掲載します。

■ 教科書

[ISBN]9784759819779 『技術者による実践的工学倫理 第4版 先人の知恵と戦いから学ぶ』（（一社）近畿化学協会 工学倫理研究会, 化学同人：2019)

-

■ 参考文献

■ 関連科目

「技術倫理と知的財産」

■ 授業評価アンケート実施方法

期間内で実施します

■ 研究室・メールアドレス

38号館 tozaki@mech.kindai.ac.jp

38号館N602 fujita@mech.kindai.ac.jp

38号館N504 tanida@mech.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

火曜日5限

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 工学倫理をはじめるとあって（東崎）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書Ⅰ部第1章を読む

予習時間：30分

復習内容：工学倫理がなぜ必要かをまとめる

復習時間：30分

概要 科学技術者の社会における役割と、これから学習していく工学倫理の内容について説明ができる

セクション1 工学倫理を学習する理由 セクション概要 工学倫理を学習する理由を明確にし、その後工学倫理が関連した事件と大学で工学倫理の学習がスタートして経緯を理解する。

セクション2 技術者倫理と技術倫理 セクション概要 工学倫理、技術倫理、技術者倫理の定義を学習し、その違いを明確に理解することができる

セクション3 専門技術者と技術（者）倫理 セクション概要 技術者に求められる素養を理解し、技術者に求められている倫理性も理解することができる。

第2回 技術者倫理が問われる場合（東崎）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書Ⅰ部第2章を読む

予習時間：30分

復習内容：技術者倫理・技術倫理が問われる場合の違いを理解する

復習時間：30分

概要 技術は危険なものであり、技術者倫理が問われる場合はいろいろあることを認識し、過去の教訓を説明することができる

セクション1 技術評価とは 技術は危険なものであるが、受益者（公衆）はその技術がもたらす利便性と危険性を比較して、技術評価をしていることを理解する

セクション2 技術者倫理が問われる場合 技術者倫理が問われる場合はいろいろあることを認識し、それぞれの事例を教訓として学ぶ必要がある

セクション3 最も単純な倫理違反 「工学倫理」の理解が不足し、品質不正、食品偽装、論文ねつ造などの倫理問題が発生していることを学ぶ

第3回 技術者と倫理（東崎）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書Ⅰ部第3章を読む

予習時間：30分

復習内容：技術者に求められる倫理をまとめる

復習時間：30分

概要 日本の技術の特徴、日米の技術者の違いを理解し、どうして技術に高い倫理性が求められるかを説明できる

セクション1 日本の技術 「大衆人気商品」につぎ込んだ小遣いが、「成熟した商業技術」の開発資金となった また、新幹線のように、信頼性と安全性を兼ね備えた技術もあることが説明できる

セクション2 日米の技術者 米国はPEとPh.D、日本は理学修士・工学修士が中心に技術開発を担ってきた過去の技術者が、築きあげた大衆からの尊敬と信頼を維持することが大切であることを知る

セクション3 技術者と倫理 「危険なものを安全に使いこなす知恵」を正しくつかわないと、恐ろしい結果がまっているために、技術者に高い倫理性が求められていることを知る

第4回 専門職と組織人の倫理（東崎）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書Ⅰ部第4章を読む

予習時間：30分

復習内容：組織人であるために必要な事項を書き出す

復習時間：30分

概要 専門職と組織人とは何かを理解し、それぞれの役割と大切にしなければならないことが説明できる

セクション1 専門職であるということ 技術者には専門的能力に加え、高い倫理性が要求される それに反すると大衆の信頼を失い業務ができなくなることを知る

セクション2 技術と信頼 専門職とは「大衆には理解できない職務」を任されている職で信頼されることが必要であることを理解する

セクション3 組織人であるということ 技術者は組織に属して活動する 組織ではなんでも報告・連絡・相談する”ほうれんそう”が大切であることを知る

第5回 倫理問題への対応（東崎）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書Ⅰ部第5章を読む

予習時間：30分

復習内容：公益通報者保護法をまとめる

復習時間：30分

概要 日本の企業の中で行われている倫理問題の対応の現状とその活動、さらには国際的舞台上でのとりくみについて説明ができる

セクション1 日本企業のとりくみ 「小集団活動」を基本とし、「危険予知」「ヒヤリハット」などの手法を用いて、日常活動を点検しあう日本の方式が、工学倫理に対して有効であることを理解する

セクション2 工学倫理にも小集団活動を 倫理意識の徹底、不倫理行動の撲滅、危険予知やヒヤリハット活動を小集団で行うことが重要であることを知る

セクション3 国際的な舞台上でのとりくみ 国際的な工学倫理に単純な正解はない 相手国の事情だけで片づく話でもないグローバル・スタンダードで片づけられる話でもない 違いを理解し合うこと、そしてここでも、話し合うことが大切であることを理解する

第6回 製造物責任と技術者（東崎）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書Ⅰ部第6章を読む

予習時間：30分

復習内容：日本・EC・アメリカのPL制度を比較しまとめる

復習時間：30分

概要 技術者との関連が深いPL法（製造物責任法）の仕組みについて理解し、PL法といかに技術者が対応すべきかを説明できる

セクション1 製造物責任法（PL法）とは PL法では、欠陥をこうむったことさえ立証できれば、損害賠償を請求できるのが特徴であることを理解する

セクション2 企業の海外でのPL訴訟事例とPL法成立経緯 米国には懲罰的賠償制度により、巨額の損害賠償となる 日本では、細川内閣の出現で、製造側、消費者側の妥協がはかられ、PL法が成立することになったことを知る

セクション3 各国との比較とPL法制定後の状況 日米欧でPL法はおおむね内容は共通であるが、「懲罰的賠償」は米国のみに認められている また、米国では弁護士が、被害者に競ってPL訴訟を提案したりすることを知る

第7回 実践的技術者倫理のすすめ（東崎）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書Ⅰ部第7章を読む

予習時間：30分

復習内容：事例研究の注意点をまとめる

復習時間：30分

概要 技術者人生の中で、工学倫理にかかわるような事件に巻き込まれないようにする方法を説明できる

セクション1 実践的技術者倫理 実験などを安全に効率よく実施するための5S活動や、安全推進キーファクター5Mを知る

セクション2 事例から学ぶ1 事例研究とグループ討論が工学倫理を学ぶために、効果的な学習方法であることを知る

セクション3 事例から学ぶ2 事例紹介では、工学倫理の基本は、「危険なものを安全に使いこなす仕事」をしているという明確な自覚を持つことであると再確認することが重要と理解する

第8回 安全と工学倫理（東崎）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書Ⅱ部第1章を読む

予習時間：30分

復習内容：安全推進のキーファクター5Mをまとめる

復習時間：30分

概要 企業で発生する可能性のある安全問題の事例を取り上げ、公衆の安全に対する科学技術者の責任について説明ができる

- セクション1 技術者と安全 実験などを安全に効率よく実施するための5S活動や、安全推進キーファクター5Mを知る
セクション2 各種安全活動 1972年に制定された労働安全衛生法が労働災害の死亡者数を減少させるのに、貢献したことを理解する
セクション3 品質保証と排出物質の安全 PRTR法（化学物質排出把握管理促進法）やRC（レスポンスフル・ケア）活動の内容を理解する

第9回 リスクの評価と工学倫理（東崎）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書Ⅱ部第2章を読む

予習時間：30分

復習内容：技術者がかかわるリスクの例をまとめる

復習時間：30分

概要 環境、安全等、人々をとりまくリスクは多様である これらのリスクに対する科学技術者の責任について記述できる

セクション1 リスクとは リスクの大きさは、被害規模×発生確率 であることを知る

セクション2 リスクとはマネジメントとリスク評価 ①本質安全設計②安全寿命設計③フェイルセーフ設計④損傷許容設計の五つが信頼性設計の代表的な考え方であることを知る

セクション3 リスクへの対応・評価と工学倫理 ①リスクの保有②リスクの削減③リスクの分散④リスクの移転⑤リスクの回避 のいずれかを選択することがリスクへの対応方法であることを理解する

第10回 環境・資源・エネルギー問題（東崎）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書Ⅱ部第3章（～142p）を読む

予習時間：30分

復習内容：環境を考える三つの主張を書き出す

復習時間：30分

概要 世界で大きな問題となっている環境・資源・エネルギー問題について、現在までの状況と技術者がとるべき姿勢について説明できる

セクション1 歴史から見る環境問題 環境容量とは、環境の浄化能力の限界値を表す指標で、許容される排出総量を与える場合と、自然の浄化能力の限界値から考える場合の二つがあることを理解する

セクション2 現在の環境問題 第二次世界大戦後の汚染問題の状況変化を理解する

セクション3 資源とエネルギー問題 世界の一次エネルギー消費量は、1965年から年平均2.6%で増加を続け、2015年には130億トン（toe）を越えた この50年間で、3.5倍の驚異的な伸びを示していることを知る

第11回 資源循環型社会と地球規模の環境問題（東崎）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書Ⅱ部第3章（143p～）を読む

予習時間：30分

復習内容：京都議定書とパリ協定の違いをまとめる

復習時間：30分

概要 資源循環型社会の概念と地球規模の環境問題に対する技術者の使命について説明できる

セクション1 資源循環型社会の概念と倫理問題 廃棄物管理と資源循環のポイントは「3Rイニシアティブ」と「3P（汚染者負担原則、Polluter-Pays Principle）」であることを理解する

セクション2 地球規模の環境問題 地球温暖化ガス係数やオゾン層破壊とフロンとの関係などを理解する

セクション3 地球温暖化問題 温暖化の基本対策は、「緩和」と「適応」の二つであることを知る

第12回 技術者と法規（東崎）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書Ⅱ部第4章を読む

予習時間：30分

復習内容：技術者に関係のある法規をまとめる

復習時間：30分

概要 法規と倫理の関係を整理し、「倫理」問題における法律の役割を考え、法規の役割を説明できる

セクション1 法規とは 技術関係の法規は、「危険なものを安全に使いこなす」ことの専門職である技術者が参画してつくってきた貴重な知恵の集積であることを理解する

セクション2 法規と注意義務 一般の過失と業務上過失に対する刑の違いを知る

セクション3 技術者をとりまく法規の概観 技術者は、自分に関係の深い法規をよく理解しておいて、そのほかのものは必要に応じて調べるのが現実的だ その法規の専門家などによく相談することも大切だ 以上のことを理解する

第13回 知的財産と工学倫理（藤田）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書Ⅱ部第5章を読む

予習時間：30分

復習内容：「発明」「考案」「意匠」の違いをまとめる

復習時間：30分

概要 知的財産権について学習し、その後知的財産権問題の事例を紹介し、知的財産問題と工学倫理の関係を説明できる

セクション1 知的財産権制度について 知的財産権の制度の趣旨を理解し、日本における知的財産政策を理解する

セクション2 知的財産権の国際問題と職務発明 知的財産権の国際的な問題を理解し、組織の中で行う職務発明についての理解を深める

セクション3 不正競争防止法について 公平な競争を阻害する行為の禁止を定めた不正競争防止法に基づく各事例を通して、知的財産保護に対する理解を深める

第14回 バイオテクノロジーと工学倫理（谷田）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書Ⅲ部第1章を読む

予習時間：30分

復習内容：ES細胞とiPS細胞の違いをまとめる

復習時間：30分

概要 人類に計りしれない恵をもたらす可能性があるバイオテクノロジーの持つ危険性とその技術の受け入れ方についての工学倫理の観点から説明できる

セクション1 バイオテクノロジーとは 人類が生物環境や生命を操作する技術を手に入れ始めたことを学ぶ 次に法規がどのような観点で整備されているのか理解する。そのうえで、技術者や人類がどのように技術を受け入れるか考える

セクション2 生命倫理とは 生命倫理を理解し、ヘルシンキ宣言を理解する。そして、個人情報とインフォームドコンセントの重要性を理解する

セクション3 近畿大学の生命倫理規定とは 具体的な生命倫理規定を理解する

第15回 情報技術と工学倫理（谷田）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書Ⅲ部第2章を読む

予習時間：30分

復習内容：ICTの特性についてまとめる

復習時間：30分

概要 最近重要となってきた情報問題の事例を取り上げ、技術者の立場から、情報技術の在り方について説明ができる

セクション1 情報通信技術とは 情報通信技術の広さを学ぶ、次に法規がどのような観点で整備されているのか理解する。そのうえで、技術者や人類がどのように技術を受け入れるか考える

セクション2 ICTに関係する条約と法規とは 情報処理技術に関する法規を理解し、何が犯罪となるのか理解する 情報管理方法を理解する

セクション3 ICTの進歩とこれからの社会へ ICTの将来を考える。事例を知る（温故知新）そして、倫理観取得への心得を学ぶ

定期試験

定期試験は、課題を定めたレポートとする

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 :	技術と倫理【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Technology and Ethics				
担当者 :	谷田 公二				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :	理工学部応用化学科：学修・教育到達目標（B）に主体的に関与、 理工学部社会環境工学科：ディプロマ・ポリシーの(A)、(B)に主体的に関与、(F)に付随的に関与				

■ 授業概要

近年、自動車会社及び自動車部品メーカー等による品質不正問題や、先端技術を他国へ漏らす技術流出問題など、技術者の道徳的倫理が問われる問題が多く発生している。(今後とも技術競争の苛烈さが増して技術が高度化していく中で、最も根本的な技術者としての道徳的倫理観が蔑ろにされる状況が危惧される。)

これからの技術者は、持続的な生活基盤を支える環境やエネルギーに配慮し、関連する法規を遵守しながら、自ら生み出す製品の社会的な影響を十分に理解する必要がある。その上で、社会に対して安全で信頼性の高い技術を開発し提供していくことが求められる。

本講では、今後、専門分野を深く修得していく上で、健全な科学技術者のあるべき姿を考え、それを実践していくための正しい道徳観・倫理観を涵養・修得することを主眼とする。この授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施する。各回の作成者は授業計画の内容に記載している。技術と倫理では、理工学部履修要項に準拠し、1/3以上の欠席すなわち5回以上の未受講があった場合は不合格とする。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

グローバル化と標準化が進む現代の科学技術世界において、これからの科学技術者の在り方、基本として持つべき科学技術倫理観を養うことができる。下記に具体的な項目を示す

- 1) 企業の中で必要とされる技術者倫理を身につけることができる
- 2) 製造物責任法を知ることができる
- 3) 科学技術者として必要な倫理を知ることができる
- 4) 品質問題、環境問題、安全問題と情報問題と技術者倫理の関係を知ることができる
- 5) 知的財産権について知ることができる
- 6) リスク問題の対処法を知ることができる

本科目は修得は、学科の定めるディプロマポリシーの達成に関与しています（例）機械工学科ディプロマポリシー 1. 1)）。

■ 成績評価方法および基準

レポート 30%

定期課題レポート 70%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

レポート課題の提出締切終了後に「レポート課題の要点と解説」をGoogle Classroomに掲載します。

■ 教科書

[ISBN]9784759819779 『技術者による実践的工学倫理 第4版 先人の知恵と戦いから学ぶ』（（一社）近畿化学協会 工学倫理研究会, 化学同人：2019)

-

■ 参考文献

■ 関連科目

「技術倫理と知的財産」

■ 授業評価アンケート実施方法

期間内で実施します

■ 研究室・メールアドレス

38号館 tozaki@mech.kindai.ac.jp

38号館N602 fujita@mech.kindai.ac.jp

38号館N504 tanida@mech.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

谷田：水曜日 5限（要アポイントメント）

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 工学倫理をはじめるとあって（東崎）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書Ⅰ部第1章を読む

予習時間：30分

復習内容：工学倫理がなぜ必要かをまとめる

復習時間：30分

概要 科学技術者の社会における役割と、これから学習していく工学倫理の内容について説明ができる

セクション1 工学倫理を学習する理由 セクション概要 工学倫理を学習する理由を明確にし、その後工学倫理が関連した事件と大学で工学倫理の学習がスタートして経緯を理解する。

セクション2 技術者倫理と技術倫理 セクション概要 工学倫理、技術倫理、技術者倫理の定義を学習し、その違いを明確に理解することができる

セクション3 専門技術者と技術（者）倫理 セクション概要 技術者に求められる素養を理解し、技術者に求められている倫理性も理解することができる。

第2回 技術者倫理が問われる場合（東崎）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書Ⅰ部第2章を読む

予習時間：30分

復習内容：技術者倫理・技術倫理が問われる場合の違いを理解する

復習時間：30分

概要 技術は危険なものであり、技術者倫理が問われる場合はいろいろあることを認識し、過去の教訓を説明することができる

セクション1 技術評価とは 技術は危険なものであるが、受益者（公衆）はその技術がもたらす利便性と危険性を比較して、技術評価をしていることを理解する

セクション2 技術者倫理が問われる場合 技術者倫理が問われる場合はいろいろあることを認識し、それぞれの事例を教訓として学ぶ必要がある

セクション3 最も単純な倫理違反 「工学倫理」の理解が不足し、品質不正、食品偽装、論文ねつ造などの倫理問題が発生していることを学ぶ

第3回 技術者と倫理（東崎）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書Ⅰ部第3章を読む

予習時間：30分

復習内容：技術者に求められる倫理をまとめる

復習時間：30分

概要 日本の技術の特徴、日米の技術者の違いを理解し、どうして技術に高い倫理性が求められるかを説明できる

セクション1 日本の技術 「大衆人気商品」につぎ込んだ小遣いが、「成熟した商業技術」の開発資金となった また、新幹線のように、信頼性と安全性を兼ね備えた技術もあることが説明できる

セクション2 日米の技術者 米国はPEとPh.D、日本は理学修士・工学修士が中心に技術開発を担ってきた過去の技術者が、築きあげた大衆からの尊敬と信頼を維持することが大切であることを知る

セクション3 技術者と倫理 「危険なものを安全に使いこなす知恵」を正しくつかわないと、恐ろしい結果がまっているために、技術者に高い倫理性が求められていることを知る

第4回 専門職と組織人の倫理（東崎）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書Ⅰ部第4章を読む

予習時間：30分

復習内容：組織人であるために必要な事項を書き出す

復習時間：30分

概要 専門職と組織人とは何かを理解し、それぞれの役割と大切にしなければならないことが説明できる

セクション1 専門職であるということ 技術者には専門的能力に加え、高い倫理性が要求される それに反すると大衆の信頼を失い業務ができなくなることを知る

セクション2 技術と信頼 専門職とは「大衆には理解できない職務」を任されている職で信頼されることが必要であることを理解する

セクション3 組織人であるということ 技術者は組織に属して活動する 組織ではなんでも報告・連絡・相談する”ほうれんそう”が大切であることを知る

第5回 倫理問題への対応（東崎）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書Ⅰ部第5章を読む

予習時間：30分

復習内容：公益通報者保護法をまとめる

復習時間：30分

概要 日本の企業の中で行われている倫理問題の対応の現状とその活動、さらには国際的舞台上でのとりくみについて説明ができる

セクション1 日本企業のとりくみ 「小集団活動」を基本とし、「危険予知」「ヒヤリハット」などの手法を用いて、日常活動を点検しあう日本の方式が、工学倫理に対して有効であることを理解する

セクション2 工学倫理にも小集団活動を 倫理意識の徹底、不倫理行動の撲滅、危険予知やヒヤリハット活動を小集団で行うことが重要であることを知る

セクション3 国際的な舞台上でのとりくみ 国際的な工学倫理に単純な正解はない 相手国の事情だけで片づく話でもないグローバル・スタンダードで片づけられる話でもない 違いを理解し合うこと、そしてここでも、話し合うことが大切であることを理解する

第6回 製造物責任と技術者（東崎）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書Ⅰ部第6章を読む

予習時間：30分

復習内容：日本・EC・アメリカのPL制度を比較しまとめる

復習時間：30分

概要 技術者との関連が深いPL法（製造物責任法）の仕組みについて理解し、PL法といかに技術者が対応すべきかを説明できる

セクション1 製造物責任法（PL法）とは PL法では、欠陥をこうむったことさえ立証できれば、損害賠償を請求できるのが特徴であることを理解する

セクション2 企業の海外でのPL訴訟事例とPL法成立経緯 米国には懲罰的賠償制度により、巨額の損害賠償となる 日本では、細川内閣の出現で、製造側、消費者側の妥協がはかられ、PL法が成立することになったことを知る

セクション3 各国との比較とPL法制定後の状況 日米欧でPL法はおおむね内容は共通であるが、「懲罰的賠償」は米国のみに認められている また、米国では弁護士が、被害者に競ってPL訴訟を提案したりすることを知る

第7回 実践的技術者倫理のすすめ（東崎）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書Ⅰ部第7章を読む

予習時間：30分

復習内容：事例研究の注意点をまとめる

復習時間：30分

概要 技術者人生の中で、工学倫理にかかわるような事件に巻きこまれないようにする方法を説明できる

セクション1 実践的技術者倫理 実験などを安全に効率よく実施するための5S活動や、安全推進キーファクター5Mを知る

セクション2 事例から学ぶ1 事例研究とグループ討論が工学倫理を学ぶために、効果的な学習方法であることを知る

セクション3 事例から学ぶ2 事例紹介では、工学倫理の基本は、「危険なものを安全に使いこなす仕事」をしているという明確な自覚を持つことであると再確認することが重要と理解する

第8回 安全と工学倫理（東崎）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書Ⅱ部第1章を読む

予習時間：30分

復習内容：安全推進のキーファクター5Mをまとめる

復習時間：30分

概要 企業で発生する可能性のある安全問題の事例を取り上げ、公衆の安全に対する科学技術者の責任について説明ができる

- セクション1 技術者と安全 実験などを安全に効率よく実施するための5S活動や、安全推進キーファクター5Mを知る
セクション2 各種安全活動 1972年に制定された労働安全衛生法が労働災害の死亡者数を減少させるのに、貢献したことを理解する
セクション3 品質保証と排出物質の安全 PRTR法（化学物質排出把握管理促進法）やRC（レスポンスフル・ケア）活動の内容を理解する

第9回 リスクの評価と工学倫理（東崎）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書Ⅱ部第2章を読む

予習時間：30分

復習内容：技術者がかかわるリスクの例をまとめる

復習時間：30分

概要 環境、安全等、人々をとりまくリスクは多様である これらのリスクに対する科学技術者の責任について記述できる

セクション1 リスクとは リスクの大きさは、被害規模×発生確率 であることを知る

セクション2 リスクとはマネジメントとリスク評価 ①本質安全設計②安全寿命設計③フェイルセーフ設計④損傷許容設計の五つが信頼性設計の代表的な考え方であることを知る

セクション3 リスクへの対応・評価と工学倫理 ①リスクの保有②リスクの削減③リスクの分散④リスクの移転⑤リスクの回避 のいずれかを選択することがリスクへの対応方法であることを理解する

第10回 環境・資源・エネルギー問題（東崎）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書Ⅱ部第3章（～142p）を読む

予習時間：30分

復習内容：環境を考える三つの主張を書き出す

復習時間：30分

概要 世界で大きな問題となっている環境・資源・エネルギー問題について、現在までの状況と技術者がとるべき姿勢について説明できる

セクション1 歴史から見る環境問題 環境容量とは、環境の浄化能力の限界値を表す指標で、許容される排出総量を与える場合と、自然の浄化能力の限界値から考える場合の二つがあることを理解する

セクション2 現在の環境問題 第二次世界大戦後の汚染問題の状況変化を理解する

セクション3 資源とエネルギー問題 世界の一次エネルギー消費量は、1965年から年平均2.6%で増加を続け、2015年には130億トン（toe）を越えた この50年間で、3.5倍の驚異的な伸びを示していることを知る

第11回 資源循環型社会と地球規模の環境問題（東崎）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書Ⅱ部第3章（143p～）を読む

予習時間：30分

復習内容：京都議定書とパリ協定の違いをまとめる

復習時間：30分

概要 資源循環型社会の概念と地球規模の環境問題に対する技術者の使命について説明できる

セクション1 資源循環型社会の概念と倫理問題 廃棄物管理と資源循環のポイントは「3Rイニシアティブ」と「3P（汚染者負担原則、Polluter-Pays Principle）」であることを理解する

セクション2 地球規模の環境問題 地球温暖化ガス係数やオゾン層破壊とフロンとの関係などを理解する

セクション3 地球温暖化問題 温暖化の基本対策は、「緩和」と「適応」の二つであることを知る

第12回 技術者と法規（東崎）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書Ⅱ部第4章を読む

予習時間：30分

復習内容：技術者に関係のある法規をまとめる

復習時間：30分

概要 法規と倫理の関係を整理し、「倫理」問題における法律の役割を考え、法規の役割を説明できる

セクション1 法規とは 技術関係の法規は、「危険なものを安全に使いこなす」ことの専門職である技術者が参画してつくってきた貴重な知恵の集積であることを理解する

セクション2 法規と注意義務 一般の過失と業務上過失に対する刑の違いを知る

セクション3 技術者をとりまく法規の概観 技術者は、自分に関係の深い法規をよく理解しておいて、そのほかのものは必要に応じて調べるのが現実的だ その法規の専門家などによく相談することも大切だ 以上のことを理解する

第13回 知的財産と工学倫理（藤田）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書Ⅱ部第5章を読む

予習時間：30分

復習内容：「発明」「考案」「意匠」の違いをまとめる

復習時間：30分

概要 知的財産権について学習し、その後知的財産権問題の事例を紹介し、知的財産問題と工学倫理の関係を説明できる

セクション1 知的財産権制度について 知的財産権の制度の趣旨を理解し、日本における知的財産政策を理解する

セクション2 知的財産権の国際問題と職務発明 知的財産権の国際的な問題を理解し、組織の中で行う職務発明についての理解を深める

セクション3 不正競争防止法について 公平な競争を阻害する行為の禁止を定めた不正競争防止法に基づく各事例を通して、知的財産保護に対する理解を深める

第14回 バイオテクノロジーと工学倫理（谷田）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書Ⅲ部第1章を読む

予習時間：30分

復習内容：ES細胞とiPS細胞の違いをまとめる

復習時間：30分

概要 人類に計りしれない恵をもたらす可能性があるバイオテクノロジーの持つ危険性とその技術の受け入れ方についての工学倫理の観点から説明できる

セクション1 バイオテクノロジーとは 人類が生物環境や生命を操作する技術を手に入れ始めたことを学ぶ 次に法規がどのような観点で整備されているのか理解する。そのうえで、技術者や人類がどのように技術を受け入れるか考える

セクション2 生命倫理とは 生命倫理を理解し、ヘルシンキ宣言を理解する。そして、個人情報とインフォームドコンセントの重要性を理解する

セクション3 近畿大学の生命倫理規定とは 具体的な生命倫理規定を理解する

第15回 情報技術と工学倫理（谷田）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書Ⅲ部第2章を読む

予習時間：30分

復習内容：ICTの特性についてまとめる

復習時間：30分

概要 最近重要となってきた情報問題の事例を取り上げ、技術者の立場から、情報技術の在り方について説明ができる

セクション1 情報通信技術とは 情報通信技術の広さを学ぶ、次に法規がどのような観点で整備されているのか理解する。そのうえで、技術者や人類がどのように技術を受け入れるか考える

セクション2 ICTに関係する条約と法規とは 情報処理技術に関する法規を理解し、何が犯罪となるのか理解する 情報管理方法を理解する

セクション3 ICTの進歩とこれからの社会へ ICTの将来を考える。事例を知る（温故知新）そして、倫理観取得への心得を学ぶ

定期試験

定期試験は、課題を定めたレポートとする

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 :	芸術鑑賞入門【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Introduction to Appreciation of Art				
担当者 :	松岡 知華				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

芸術鑑賞とはどのようにすればいいのでしょうか。

もちろん感性を使って鑑賞するのも大切です。しかし芸術は感性だけでなく様々な視点を持つことにより、より深くその面白さを理解することができます。

本授業では日本美術の作品（絵画、工芸、芸能）を取り上げ、その流れを把握すると同時に当時の社会背景や文化、また作品の技法や受容などと共に考察し芸術鑑賞の楽しさを学びます。

授業は作品の図版や文献資料、映像資料などを用いて進めていきます。

コンテンツ作成：島田有紀

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

PBL（課題解決学習）・ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

自主学習支援（e-learning等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

日本美術作品の鑑賞に必要な基本的な視点を習得することによって、芸術に親しむことを目標とする。この科目の修得は、本学が定めるディプロマポリシー 3の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

中間試験①、② 40%

学期末期試験レポート 40%

学生間ディスカッション 20%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

課題の要点と解説をGoogle Classroomに掲載します。

■ 教科書

特に指定しない。

授業ごとに適宜資料を配布。

■ 参考文献

[ISBN]9784568400656 『増補新装 カラー版日本美術史』（辻 惟雄, 美術出版社：2003）

[ISBN]9784568400625 『カラー版 日本美術史年表』（辻 惟雄, 美術出版社：2002）

[ISBN]9784568400830 『増補新装 カラー版 東洋美術史』（前田耕作, 美術出版社：2012）

■ 関連科目

-

■ 授業評価アンケート実施方法

学部実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

matsuoka_chika[at]kindai.ac.jp

※ [at] は @ に置き換えてください。

■ オフィスアワー

質問等はGoogle Classroomもしくはメールで受け付けます。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 作品はどう見るのか（講義形式：講義及び演習）

予習内容：自身が作品を見る際にどのような点に関心があるのかについてまとめておく。

予習時間：30分

復習内容：授業配布の資料をもとに、作品鑑賞の要点を確認しておく。

復習時間：60分

概要 作品が制作された時代背景や文化、文献などがどのように関わっているのか、また絵に描かれているモチーフの読み解き方など、絵画鑑賞の基本を学ぶ。

セクション1 芸術はなぜわからないのか

セクション概要 現在、なぜ芸術がわかりにくいとなっているのかについて

セクション2 時代による作品傾向

セクション概要 古代から近代までの日本美術の流れについて

セクション3 作品から読み解く情報

セクション概要 作品から何がわかるのかについて

第2回 20世紀のアート市場はどのように成立をしたのか（講義形式：講義及び演習）

予習内容：現代芸術の概要について予習する。

予習時間：30分

復習内容：授業配布の資料をもとに、現代芸術の位置づけや作品の売買、ポップアートについて確認し、それらを踏まえて多様化する現代芸術の作品鑑賞をする。

復習時間：60分

概要 米国の連邦美術計画などをとりあげ、20世紀以降いかに現代芸術の市場が広がっていったかを学ぶ。

セクション1 西洋美術の流れ

セクション概要 紀元後から近代までの西洋美術の流れについて

セクション2 原風景-伝統的芸術観

セクション概要 伝統的芸術観と共同体について

セクション3 理念なき形式-アメリカ的芸術

セクション概要 アメリカの現代芸術はどのように作られたかについて

セクション4 政治と芸術-ヘゲモニックな芸術利用

セクション概要 現代において芸術とはどのように捉えることができるのかについて

第3回 絵巻物にみる物語表現（講義形式：講義及び演習）

予習内容：日本の物語の概要について予習する。

予習時間：30分

復習内容：授業配布の資料をもとに、絵巻物の特徴やなぜそのような造形になるのか時代背景について確認し、現代の作品（映画や漫画など）とどのように関係し変化したのかを考えながらそれらに関連する作品鑑賞をする。

復習時間：60分

概要 日本美術の中の絵巻物を見ていく。絵巻物は日本独自の絵画表現であり、物語を題材にしたものが多い。その絵巻物の見方や描き方の基本、その独自性について学ぶ。

セクション1 絵巻とは

セクション概要 絵巻の基本や鑑賞方法について

セクション2 《源氏物語絵巻》について

セクション概要 段落式絵巻物について

セクション3 《信貴山縁起絵巻》について

セクション概要 連続式絵巻物について

セクション4 《鳥獣人物戯画》について

セクション概要 詞書のない絵巻物について

第4回 肖像画にみる人物表現（講義形式：講義及び演習）

予習内容：様々な国の肖像画の概要について予習する。

予習時間：30分

復習内容：授業配布の資料をもとに、人物表現の特徴やなぜそのような造形になるのか時代背景、受容について確認し、現代の人物イメージ表現、女性像（SNSに見られるものなど）とどのように関係し変化したのかを考えながらそれらに関連する作品鑑賞をする。

復習時間：60分

概要 西洋の肖像画とは異なり、日本の肖像画には写実表現が少ない。ではなぜ実在の人物を写實的に描かないのか。また日本の人物表現はどのような特徴があるのかを学ぶ。

セクション1 似絵と肖像画とは

セクション概要 似絵と肖像画の基本について

セクション2 似絵の人物表現

セクション概要 人物像の異なる表現について

セクション3 浮世絵の人物表現①

セクション概要 浮世絵の美人画の全身像表現について

セクション4 浮世絵の人物表現②

セクション概要 浮世絵の美人画の顔表現について

第5回 風俗画にみる日本文化①（講義形式：講義及び演習）

予習内容：近世の日本文化の概要について予習する。

予習時間：30分

復習内容：授業配布の資料をもとに、風俗画の特徴やなぜそのような造形になるのか時代背景について確認し、現代の文化や風俗表現（YouTubeやSNSなど）とどのように関係し変化したのかを考えながらそれらに関連する作品鑑賞をする。

復習時間：60分

概要 近世になり日本のなかで風俗画が多く制作されるようにある。では、その風俗画とはどのような成り立ちを持つのか、また当時の人々はどのように生活していたのかなどを学ぶ。

セクション1 洛中洛外図とは

セクション概要 洛中洛外図の基本や鑑賞方法について

セクション2 町をみる洛中洛外図

セクション概要 “都”を描く洛中洛外図について

セクション3 意味を持つ洛中洛外図

セクション概要 “権力”を描く洛中洛外図について

第6回 風俗画にみる日本文化②（講義形式：講義及び演習）

予習内容：近世の日本文化の概要について予習する。

予習時間：30分

復習内容：授業配布の資料をもとに、風俗画の特徴やなぜそのような造形になるのか時代背景について確認し、現代の文化や風俗表現（YouTubeやSNSなど）とどのように関係し変化したのかを考えながらそれらに関連する作品鑑賞をする。

復習時間：60分

概要 近世になり日本のなかで風俗画が多く制作されるようにある。では、その風俗画とはどのような成り立ちを持つのか、また当時の人々はどのように生活していたのかなどを学ぶ。

セクション1 洛中洛外図からの展開

セクション概要 風俗画と洛中洛外図の関係について

セクション2 場所が特定できる風俗画

セクション概要 場所が描かれる風俗画について

セクション3 場所が不特定の風俗画①

セクション概要 出来事が描かれる風俗画について①

セクション4 場所が不特定の風俗画②

セクション概要 出来事が描かれる風俗画について②

第7回 油彩画にみる西洋受容（講義形式：講義及び演習）

予習内容：近代の西洋画、日本画の概要について予習する。

予習時間：30分

復習内容：授業配布の資料をもとに、西洋画の特徴や西洋文化の受容や時代背景について確認し、現代の文化や写実表現（写真やCGなど）とどのように関係し変化したのかを考えながらそれらに関連する作品鑑賞をする。

復習時間：60分

概要 日本では近代から本格的に用いられる西洋の技法、油彩画。では現代では多く国内で見られる油彩画が当時どのように描かれ広まったかを学ぶ。

セクション1 油彩画と日本

セクション概要 近代の油彩画と日本の西洋受容について

セクション2 油彩画の受容と作品①

セクション概要 油彩画の写実性と日本のモチーフの関係について

セクション3 油彩画の受容と作品②

セクション概要 油彩画の色彩表現の変化について

セクション4 油彩画と日本画

セクション概要 油彩画が与えた日本画への影響

第8回 陶磁器にみる日本の意匠（講義形式：講義及び演習）

予習内容：日本の代表的な陶磁器について予習する。

予習時間：30分

復習内容：授業配布の資料をもとに、陶磁器の受容や時代背景について確認し、現代の身の回りにおける陶磁器と意匠や受容を含めどのように関係し変化したのかを考えながらそれらに関連する作品鑑賞、または使用をする。

復習時間：60分

概要 日本の各地域では特徴的な陶磁器が制作されている。では、どのような陶磁器作品が制作がされ、受容されたのかを学ぶ。

セクション1 室町時代のやきもの

セクション概要 室町時代に流行する輸入のやきものについて

セクション2 桃山時代のやきもの

セクション概要 桃山時代に流行する国産のやきものについて

セクション3 江戸時代のやきもの

セクション概要 江戸時代のやきものと欧州について

第9回 漆器にみる日本の意匠（講義形式：講義及び演習）

予習内容：日本の代表的な漆器について予習する。

予習時間：30分

復習内容：授業配布の資料をもとに、漆器の受容や時代背景について確認し、現代の身の回りにおける漆器と意匠や受容を含めどのように関係し変化したのかを考えながらそれらに関連する作品鑑賞、または使用をする。

復習時間：60分

概要 日本の中で漆器は独自の技法や意匠が生まれ定着をする。では、どのような漆器作品が制作がされ、受容されたのかを学ぶ。

セクション1 漆器とは

セクション概要 日本の漆器の基本について

セクション2 平安～鎌倉時代の漆器

セクション概要 和様の意匠の漆器について

セクション3 室町～桃山時代の漆器

セクション概要 流派と漆器の意匠について

セクション4 江戸時代の漆器

セクション概要 個性的な意匠の漆器について

第10回 服飾にみる意匠① 日本の着物（講義形式：講義及び演習）

予習内容：日本の代表的な着物について予習する。

予習時間：30分

復習内容：授業配布の資料をもとに、着物の受容や時代背景について確認し、現代の身の回りにおける着物と意匠や受容、コーディネートを含めどのように関係し変化したのかを考えながらそれらに関連する作品鑑賞、または使用をする。

復習時間：60分

概要 日本の着物が、時代や身分によってによってどのような意匠になっていくのかを学ぶ。

セクション1 平安時代の着物

セクション概要 公家の装束について

セクション2 鎌倉～室町時代の着物

セクション概要 中世の武家の装束について

セクション3 桃山時代の着物

セクション概要 近世の武家の装束について

セクション4 江戸時代の着物

セクション概要 市井の人々の着物について

第11回 服飾にみる意匠② 洋装（講義形式：講義及び演習）

予習内容：日本の代表的な洋服について予習する。

予習時間：30分

復習内容：授業配布の資料をもとに、洋服の受容や時代背景について確認し、現代の身の回りにおける洋服のデザインや流行とどのように関係し変化したのかを考えながらそれらに関連する作品鑑賞、または使用をする。

復習時間：60分

概要 近代に入り、洋装が社会背景や身分制度と関わりつつどのように変化をしてきたのかを学ぶ。

セクション1 18世紀以降のファッション

セクション概要 18世紀以降のファッションの変化について

セクション2 需要が広がる既製服

セクション概要 既製服の成立と需要について

セクション3 シャネル①

セクション概要 シャネルデザインの特徴について

セクション4 シャネル②

セクション概要 シャネルデザインの特徴について

セクション5 継承されるファッション

セクション概要 ファッションデザインの継承と革新について

第12回 信仰にみる神仏表現（講義形式：講義及び演習）

予習内容：日本の信仰について予習。

予習時間：30分

復習内容：授業配布の資料をもとに、信仰の受容や時代背景について確認し、現代の信仰表現とどのように関係し変化（来迎図のドローン表現など）したのかを考えながらそれらに関連する作品鑑賞をする。

復習時間：60分

概要 日本の信仰に関する造形がどのように表現され受容されたのかを学ぶ。

セクション1 極楽浄土と地獄 浄土教

セクション概要 浄土教の極楽浄土と地獄表現について

セクション2 装飾と信仰 法華経

セクション概要 法華経の装飾と修行について

セクション3 神と仏 本地垂迹

セクション概要 本地垂迹説と信仰について

セクション4 水墨画と禅 禅宗

セクション概要 禅の修行と水墨画について

第13回 能楽、文楽にみる日本の芸能（講義形式：講義及び演習）

予習内容：日本の芸能史の概要について予習すること。

予習時間：30分

復習内容：授業配布の資料をもとに、芸能の受容や時代背景について確認し、現代の芸能とどのように関係し変化したのかを考えながら原作（漫画やボーカロイド）などを踏まえそれらに関連する作品鑑賞をする。

復習時間：60分

概要 能、狂言、文楽を中心に日本の芸能を学ぶ

セクション1 能の鑑賞

セクション概要 能についての基本や衣装、演目について

セクション2 狂言の鑑賞

セクション概要 狂言についての基本や衣装、演目について

セクション3 文楽の鑑賞

セクション概要 文楽についての基本や人形、演目について

第14回 歌舞伎にみる日本の芸能（講義形式：講義及び演習）

予習内容：日本の芸能史の概要について予習すること。

予習時間：30分

復習内容：授業配布の資料をもとに、芸能の受容や時代背景について確認し、現代の芸能とどのように関係し変化したのかを考えながら原作（漫画やボーカロイド、ゲーム）や現代の芸能（アイドルや演劇）などを踏まえそれらに関連する作品鑑賞をする。

復習時間：60分

概要 歌舞伎を中心に江戸時代の日本の芸能を学ぶ。

セクション1 歌舞伎とは

セクション概要 歌舞伎の成り立ちや基本について

セクション2 歌舞伎と芝居小屋

セクション概要 歌舞伎独特の演出と芝居小屋について

セクション3 古典の歌舞伎

セクション概要 伝統的な古典歌舞伎について

セクション4 現代の歌舞伎

セクション概要 革新的な新作歌舞伎について

第15回 宝塚歌劇団にみる日本の芸能（講義形式：講義及び演習）

予習内容：日本の芸能史の概要について予習すること。

予習時間：30分

復習内容：授業配布の資料をもとに、芸能の受容や時代背景について確認し、現代の芸能とどのように関係し変化したのかを考えながら原作（漫画や映画、ゲーム）や現代の芸能（ミュージカルやアイドル、演劇）などを踏まえそれらに関連する作品鑑賞をする。

復習時間：60分

概要 宝塚歌劇団を中心に近代の日本の芸能を学ぶ。

セクション1 近代と宝塚歌劇団

セクション概要 近代と宝塚歌劇団と成り立ちについて

セクション2 阪急電鉄と宝塚大劇場

セクション概要 劇場のある場所と劇場の効果について

セクション3 宝塚歌劇団の特色①

セクション概要 伝統を基とした劇団の独自性について

セクション4 宝塚歌劇団の特色②

セクション概要 演目の継承と革新性について

.

■ ホームページ

■ 実践的な教育内容

-

科目名 :	現代社会と法【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Law and Modern Society				
担当者 :	村中 洋介				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	前期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :	理工応用化学科：学修・教育到達目標（A）に主体的に関与 理工電気電子通信工学科：学習・教育到達目標D1の達成に付随的に関与 理工社会環境工学科：ディプロマ・ポリシーの(A)、(G)に主体的に関与、(C)に付随的に関与				

■ 授業概要

この授業コンテンツ（動画）は村中が作成したものであり、第1回から第15回まで同一の教員による講義を行っている。

法律学の中でも基本的な法である、憲法、民法、刑法などを中心にその内容を理解する。
社会の中で生きていくうえでの基本的な法的知識の基礎を身につける。

※オンデマンド授業であるため、毎週の受講（動画の視聴）が必須とはならないが、規定に基づき出席の確認を行い、出席状況が3分の2以上あることが求められる（全15回のうち10回以上の出席）。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

PBL（課題解決学習）・ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講者は、この授業と通じて、①法（法学）と社会の関りを認識し、②身近な事柄が法と関わること、法によって私たちの生活の様々な場面が規制されていることを理解するとともに、③身近なトラブルの事例の解決策を探る上での基礎的な知識を身につけることができる。

■ 成績評価方法および基準

中間レポート課題（全2回） 40%

期末レポート課題 60%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

レポート課題の提出締切後に「レポート課題の要点・採点基準と解説」をGoogleClassroomに掲載します。
また、全体的な講評コメントを掲示します。

■ 教科書

[ISBN]479728630X 『嫌いにならない法学入門〔第2版〕』（村中 洋介, 信山社：2023）

■ 参考文献

[ISBN]9784641115668 『地方自治判例百選〔第5版〕：別冊ジュリスト266号（別冊ジュリスト no. 266）』（小幡 純子, 有斐閣：2023）

[ISBN]9784641115651 『民事訴訟法判例百選〔第6版〕：別冊ジュリスト 第265号（別冊ジュリスト 265）』（高田 裕成, 有斐閣：2023）

[ISBN]9784641115620 『民法判例百選I 総則・物権〔第9版〕：別冊ジュリスト 第262号（別冊ジュリスト no. 262）』（潮見 佳男, 有斐閣：2023）

[ISBN]9784641115637 『民法判例百選II 債権〔第9版〕：別冊ジュリスト 第263号（別冊ジュリスト no. 263）』（窪田 充見, 有斐閣：2023）

- [ISBN]9784641115644 『民法判例百選III 親族・相続〔第3版〕：別冊ジュリスト 第264号(別冊ジュリスト no. 264)』(大村 敦志, 有斐閣：2023)
- [ISBN]9784641115606 『行政判例百選I〔第8版〕：別冊ジュリスト 第260号(別冊ジュリスト no. 260)』(斎藤 誠, 有斐閣：2022)
- [ISBN]9784641115613 『行政判例百選II〔第8版〕：別冊ジュリスト 第261号(別冊ジュリスト no. 261)』(斎藤 誠, 有斐閣：2022)
- [ISBN]9784641115507 『刑法判例百選I 総論〔第8版〕：別冊ジュリスト 第250号』(佐伯 仁志, 有斐閣：2020)
- [ISBN]9784641115514 『刑法判例百選II 各論〔第8版〕：別冊ジュリスト 第251号』(佐伯 仁志, 有斐閣：2020)
- [ISBN]9784641115453 『憲法判例百選I 第7版(別冊ジュリスト)』(長谷部 恭男, 有斐閣：2019)
- [ISBN]9784641115460 『憲法判例百選II 第7版(別冊ジュリスト)』(長谷部 恭男, 有斐閣：2019)
- [ISBN]4335301294 『最新重要判例250〔刑法〕 第13版』(前田 雅英, 弘文堂：2023)

■ 関連科目

法学に関連する基本科目

■ 授業評価アンケート実施方法

大学の定める実施要領に基づいて実施する。

■ 研究室・メールアドレス

muranaka@eco.kindai.ac.jp (連絡はSlackではなくメールへ)

■ オフィスアワー

月曜4限 (事前予約制)

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 インTRODクシヨン・法とは何か (授業形式：講義および演習)

予習内容：テキストの該当箇所等を用いて予習する。

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察やテキスト該当箇所等を用いて復習する。

復習時間：60分

セクション1 法学を学ぶということ

セクション2 法の性質

セクション3 法の存在形式と分類

第2回 憲法1 (統治) (授業形式：講義および演習)

予習内容：テキストの該当箇所等を用いて予習する。

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察やテキスト該当箇所等を用いて復習する。

復習時間：60分

セクション1 憲法の歴史と存在意義

セクション2 三権分立

セクション3 地方自治とは何か

第3回 憲法 (人権1) ・人権とは何か (授業形式：講義および演習)

予習内容：テキストの該当箇所等を用いて予習する。

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察やテキスト該当箇所等を用いて復習する。

復習時間：60分

セクション1 人権とは何か・人権の種類

セクション2 人権の制約と保障範囲

セクション3 平等権と幸福追求権

第4回 憲法 (人権2) ・精神的自由 (授業形式：講義および演習)

予習内容：テキストの該当箇所等を用いて予習する。

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察やテキスト該当箇所等を用いて復習する。

復習時間：60分

セクション1 思想良心の自由・信教の自由

セクション2 表現の自由

セクション3 学問の自由・教育を受ける権利

第5回 憲法 (人権3) (授業形式：講義および演習)

予習内容：テキストの該当箇所等を用いて予習する。

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察やテキスト該当箇所等を用いて復習する。

復習時間：60分

- セクション1 経済的自由
- セクション2 社会権
- セクション3 参政権と人身の自由

第6回 民法1（総則）（授業形式：講義および演習）

予習内容：テキストの該当箇所等を用いて予習する。

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察やテキスト該当箇所等を用いて復習する。

復習時間：60分

- セクション1 民法の体系
- セクション2 権利の主体と客体
- セクション3 権利の変動

第7回 民法2（物権・債権）（授業形式：講義および演習）

予習内容：テキストの該当箇所等を用いて予習する。

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察やテキスト該当箇所等を用いて復習する。

復習時間：60分

- セクション1 物権法・所有権
- セクション2 債権と契約
- セクション3 不法行為

第8回 民法3（家族関係・相続）（授業形式：講義および演習）

予習内容：テキストの該当箇所等を用いて予習する。

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察やテキスト該当箇所等を用いて復習する。

復習時間：60分

- セクション1 離婚
- セクション2 子どもの権利
- セクション3 相続問題

第9回 刑法1（授業形式：講義および演習）

予習内容：テキストの該当箇所等を用いて予習する。

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察やテキスト該当箇所等を用いて復習する。

復習時間：60分

- セクション1 刑法の基本・犯罪と刑罰
- セクション2 犯罪の構成要件
- セクション3 違法性阻却事由・責任阻却自由

第10回 刑法2（授業形式：講義および演習）

予習内容：テキストの該当箇所等を用いて予習する。

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察やテキスト該当箇所等を用いて復習する。

復習時間：60分

- セクション1 生命・身体に関する罪
- セクション2 財産に対する罪
- セクション3 社会法益・国家法益に関する罪

第11回 民事訴訟（授業形式：講義および演習）

予習内容：テキストの該当箇所等を用いて予習する。

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察やテキスト該当箇所等を用いて復習する。

復習時間：60分

- セクション1 民事裁判制度の意義
- セクション2 訴訟の流れ
- セクション3 民事訴訟の原則と様々な問題解決手段

第12回 刑事訴訟（授業形式：講義および演習）

予習内容：テキストの該当箇所等を用いて予習する。

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察やテキスト該当箇所等を用いて復習する。

復習時間：60分

- セクション1 刑事手続きの流れ
- セクション2 捜査に関する諸原則
- セクション3 公判の諸原則

第13回 行政法1（組織法・作用法）（授業形式：講義および演習）

予習内容：テキストの該当箇所等を用いて予習する。

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察やテキスト該当箇所等を用いて復習する。

復習時間：60分

- セクション1 行政法の基礎
- セクション2 行政組織
- セクション3 行政作用

第14回 行政法2（救済法）（授業形式：講義および演習）

予習内容：テキストの該当箇所等を用いて予習する。

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察やテキスト該当箇所等を用いて復習する。

復習時間：60分

- セクション1 行政救済法とは
- セクション2 国家補償
- セクション3 行政争訟

第15回 災害と法（授業形式：講義および演習）

予習内容：テキストの該当箇所等を用いて予習する。

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察やテキスト該当箇所等を用いて復習する。

復習時間：60分

- セクション1 災害とは何か? 防災とは何か? 私たちに身近な防災
- セクション2 災害と行政
- セクション3 各種災害に関する法制度と今日の課題

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 :	技術と倫理【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Technology and Ethics				
担当者 :	道岡 武信				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	前期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :	理工学部機械工学科：機械工学コース学習・教育目標：A-3, JABEE基準1.2 : (a)(b)に関与、 理工学部電気電子通信工学科：学習・教育到達目標D1の達成に主体的に関与				

■ 授業概要

近年、自動車会社及び自動車部品メーカー等による品質不正問題や、先端技術を他国へ漏らす技術流出問題など、技術者の道徳的倫理が問われる問題が多く発生している。(今後とも技術競争の苛烈さが増して技術が高度化していく中で、最も根本的な技術者としての道徳的倫理観が蔑ろにされる状況が危惧される。)

これからの技術者は、持続的な生活基盤を支える環境やエネルギーに配慮し、関連する法規を遵守しながら、自ら生み出す製品の社会的な影響を十分に理解する必要がある。その上で、社会に対して安全で信頼性の高い技術を開発し提供していくことが求められる。

本講では、今後、専門分野を深く修得していく上で、健全な科学技術者のあるべき姿を考え、それを実践していくための正しい道徳観・倫理観を涵養・修得することを主眼とする。この授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施する。各回の作成者は授業計画の内容に記載している。技術と倫理では、理工学部履修要項に準拠し、1/3以上の欠席すなわち5回以上の未受講があった場合は不合格とする。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

グローバル化と標準化が進む現代の科学技術世界において、これからの科学技術者の在り方、基本として持つべき科学技術倫理観を養うことができる。下記に具体的な項目を示す

- 1) 企業の中で必要とされる技術者倫理を身につけることができる
- 2) 製造物責任法を知ることができる
- 3) 科学技術者として必要な倫理を知ることができる
- 4) 品質問題、環境問題、安全問題と情報問題と技術者倫理の関係を知ることができる
- 5) 知的財産権について知ることができる
- 6) リスク問題の対処法を知ることができる

本科目は修得は、学科の定めるディプロマポリシーの達成に関与しています（例）機械工学科ディプロマポリシー 1. 1)）。

■ 成績評価方法および基準

レポート 30%

定期課題レポート 70%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

レポート課題の提出締切終了後に「レポート課題の要点と解説」をGoogle Classroomに掲載します。

■ 教科書

[ISBN]9784759819779 『技術者による実践的工学倫理 第4版 先人の知恵と戦いから学ぶ』（（一社）近畿化学協会 工学倫理研究会, 化学同人：2019)

-

■ 参考文献

■ 関連科目

「技術倫理と知的財産」

■ 授業評価アンケート実施方法

期間内で実施します

■ 研究室・メールアドレス

38号館 tozaki@mech.kindai.ac.jp

38号館N604 hirano@mech.kindai.ac.jp

38号館N614 michioka@mech.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

月曜日1限

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 工学倫理をはじめるとあって（東崎）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書Ⅰ部第1章を読む

予習時間：30分

復習内容：工学倫理がなぜ必要かをまとめる

復習時間：30分

概要 科学技術者の社会における役割と、これから学習していく工学倫理の内容について説明ができる

セクション1 工学倫理を学習する理由 セクション概要 工学倫理を学習する理由を明確にし、その後工学倫理が関連した事件と大学で工学倫理の学習がスタートして経緯を理解する。

セクション2 技術者倫理と技術倫理 セクション概要 工学倫理、技術倫理、技術者倫理の定義を学習し、その違いを明確に理解することができる

セクション3 専門技術者と技術（者）倫理 セクション概要 技術者に求められる素養を理解し、技術者に求められている倫理性も理解することができる。

第2回 技術者倫理が問われる場合（東崎）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書Ⅰ部第2章を読む

予習時間：30分

復習内容：技術者倫理・技術倫理が問われる場合の違いを理解する

復習時間：30分

概要 技術は危険なものであり、技術者倫理が問われる場合はいろいろあることを認識し、過去の教訓を説明することができる

セクション1 技術評価とは 技術は危険なものであるが、受益者（公衆）はその技術がもたらす利便性と危険性を比較して、技術評価をしていることを理解する

セクション2 技術者倫理が問われる場合 技術者倫理が問われる場合はいろいろあることを認識し、それぞれの事例を教訓として学ぶ必要がある

セクション3 最も単純な倫理違反 「工学倫理」の理解が不足し、品質不正、食品偽装、論文ねつ造などの倫理問題が発生していることを学ぶ

第3回 技術者と倫理（東崎）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書Ⅰ部第3章を読む

予習時間：30分

復習内容：技術者に求められる倫理をまとめる

復習時間：30分

概要 日本の技術の特徴、日米の技術者の違いを理解し、どうして技術に高い倫理性が求められるかを説明できる

セクション1 日本の技術 「大衆人気商品」につぎ込んだ小遣いが、「成熟した商業技術」の開発資金となった また、新幹線のように、信頼性と安全性を兼ね備えた技術もあることが説明できる

セクション2 日米の技術者 米国はPEとPh.D、日本は理学修士・工学修士が中心に技術開発を担ってきた過去の技術者が、築きあげた大衆からの尊敬と信頼を維持することが大切であることを知る

セクション3 技術者と倫理 「危険なものを安全に使いこなす知恵」を正しくつかわないと、恐ろしい結果がまっているために、技術者に高い倫理性が求められていることを知る

第4回 専門職と組織人の倫理（東崎）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書Ⅰ部第4章を読む

予習時間：30分

復習内容：組織人であるために必要な事項を書き出す

復習時間：30分

概要 専門職と組織人とは何かを理解し、それぞれの役割と大切にしなければならないことが説明できる

セクション1 専門職であるということ 技術者には専門的能力に加え、高い倫理性が要求される それに反すると大衆の信頼を失い業務ができなくなることを知る

セクション2 技術と信頼 専門職とは「大衆には理解できない職務」を任されている職で信頼されることが必要であることを理解する

セクション3 組織人であるということ 技術者は組織に属して活動する 組織ではなんでも報告・連絡・相談する”ほうれんそう”が大切であることを知る

第5回 倫理問題への対応（東崎）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書Ⅰ部第5章を読む

予習時間：30分

復習内容：公益通報者保護法をまとめる

復習時間：30分

概要 日本の企業の中で行われている倫理問題の対応の現状とその活動、さらには国際的舞台上でのとりくみについて説明ができる

セクション1 日本企業のとりくみ 「小集団活動」を基本とし、「危険予知」「ヒヤリハット」などの手法を用いて、日常活動を点検しあう日本の方式が、工学倫理に対して有効であることを理解する

セクション2 工学倫理にも小集団活動を 倫理意識の徹底、不倫理行動の撲滅、危険予知やヒヤリハット活動を小集団で行うことが重要であることを知る

セクション3 国際的な舞台上でのとりくみ 国際的な工学倫理に単純な正解はない 相手国の事情だけで片づく話でもないグローバル・スタンダードで片づけられる話でもない 違いを理解し合うこと、そしてここでも、話し合うことが大切であることを理解する

第6回 製造物責任と技術者（東崎）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書Ⅰ部第6章を読む

予習時間：30分

復習内容：日本・EC・アメリカのPL制度を比較しまとめる

復習時間：30分

概要 技術者との関連が深いPL法（製造物責任法）の仕組みについて理解し、PL法といかに技術者が対応すべきかを説明できる

セクション1 製造物責任法（PL法）とは PL法では、欠陥をこうむったことさえ立証できれば、損害賠償を請求できるのが特徴であることを理解する

セクション2 企業の海外でのPL訴訟事例とPL法成立経緯 米国には懲罰的賠償制度により、巨額の損害賠償となる 日本では、細川内閣の出現で、製造側、消費者側の妥協がはかられ、PL法が成立することになったことを知る

セクション3 各国との比較とPL法制定後の状況 日米欧でPL法はおおむね内容は共通であるが、「懲罰的賠償」は米国のみに認められている また、米国では弁護士が、被害者に競ってPL訴訟を提案したりすることを知る

第7回 実践的技術者倫理のすすめ（東崎）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書Ⅰ部第7章を読む

予習時間：30分

復習内容：事例研究の注意点をまとめる

復習時間：30分

概要 技術者人生の中で、工学倫理にかかわるような事件に巻き込まれないようにする方法を説明できる

セクション1 実践的技術者倫理 実験などを安全に効率よく実施するための5S活動や、安全推進キーファクター5Mを知る

セクション2 事例から学ぶ1 事例研究とグループ討論が工学倫理を学ぶために、効果的な学習方法であることを知る

セクション3 事例から学ぶ2 事例紹介では、工学倫理の基本は、「危険なものを安全に使いこなす仕事」をしているという明確な自覚を持つことであると再確認することが重要と理解する

第8回 安全と工学倫理（東崎）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書Ⅱ部第1章を読む

予習時間：30分

復習内容：安全推進のキーファクター5Mをまとめる

復習時間：30分

概要 企業で発生する可能性のある安全問題の事例を取り上げ、公衆の安全に対する科学技術者の責任について説明ができる

- セクション1 技術者と安全 実験などを安全に効率よく実施するための5S活動や、安全推進キーファクター5Mを知る
セクション2 各種安全活動 1972年に制定された労働安全衛生法が労働災害の死亡者数を減少させるのに、貢献したことを理解する
セクション3 品質保証と排出物質の安全 PRTR法（化学物質排出把握管理促進法）やRC（レスポンスブル・ケア）活動の内容を理解する

第9回 リスクの評価と工学倫理（東崎）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書Ⅱ部第2章を読む

予習時間：30分

復習内容：技術者がかかわるリスクの例をまとめる

復習時間：30分

概要 環境、安全等、人々をとりまくリスクは多様である これらのリスクに対する科学技術者の責任について記述できる

セクション1 リスクとは リスクの大きさは、被害規模×発生確率 であることを知る

セクション2 リスクとはマネジメントとリスク評価 ①本質安全設計②安全寿命設計③フェイルセーフ設計④損傷許容設計の五つが信頼性設計の代表的な考え方であることを知る

セクション3 リスクへの対応・評価と工学倫理 ①リスクの保有②リスクの削減③リスクの分散④リスクの移転⑤リスクの回避 のいずれかを選択することがリスクへの対応方法であることを理解する

第10回 環境・資源・エネルギー問題（東崎）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書Ⅱ部第3章（～142p）を読む

予習時間：30分

復習内容：環境を考える三つの主張を書き出す

復習時間：30分

概要 世界で大きな問題となっている環境・資源・エネルギー問題について、現在までの状況と技術者がとるべき姿勢について説明できる

セクション1 歴史から見る環境問題 環境容量とは、環境の浄化能力の限界値を表す指標で、許容される排出総量を与える場合と、自然の浄化能力の限界値から考える場合の二つがあることを理解する

セクション2 現在の環境問題 第二次世界大戦後の汚染問題の状況変化を理解する

セクション3 資源とエネルギー問題 世界の一次エネルギー消費量は、1965年から年平均2.6%で増加を続け、2015年には130億トン（toe）を越えた この50年間で、3.5倍の驚異的な伸びを示していることを知る

第11回 資源循環型社会と地球規模の環境問題（東崎）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書Ⅱ部第3章（143p～）を読む

予習時間：30分

復習内容：京都議定書とパリ協定の違いをまとめる

復習時間：30分

概要 資源循環型社会の概念と地球規模の環境問題に対する技術者の使命について説明できる

セクション1 資源循環型社会の概念と倫理問題 廃棄物管理と資源循環のポイントは「3Rイニシアティブ」と「3P（汚染者負担原則、Polluter-Pays Principle）」であることを理解する

セクション2 地球規模の環境問題 地球温暖化ガス係数やオゾン層破壊とフロンとの関係などを理解する

セクション3 地球温暖化問題 温暖化の基本対策は、「緩和」と「適応」の二つであることを知る

第12回 技術者と法規（東崎）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書Ⅱ部第4章を読む

予習時間：30分

復習内容：技術者に関係のある法規をまとめる

復習時間：30分

概要 法規と倫理の関係を整理し、「倫理」問題における法律の役割を考え、法規の役割を説明できる

セクション1 法規とは 技術関係の法規は、「危険なものを安全に使いこなす」ことの専門職である技術者が参画してつくってきた貴重な知恵の集積であることを理解する

セクション2 法規と注意義務 一般の過失と業務上過失に対する刑の違いを知る

セクション3 技術者をとりまく法規の概観 技術者は、自分に関係の深い法規をよく理解しておいて、そのほかのものは必要に応じて調べるのが現実的だ その法規の専門家などによく相談することも大切だ 以上のことを理解する

第13回 知的財産と工学倫理（藤田）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書Ⅱ部第5章を読む

予習時間：30分

復習内容：「発明」「考案」「意匠」の違いをまとめる

復習時間：30分

概要 知的財産権について学習し、その後知的財産権問題の事例を紹介し、知的財産問題と工学倫理の関係を説明できる

セクション1 知的財産権制度について 知的財産権の制度の趣旨を理解し、日本における知的財産政策を理解する

セクション2 知的財産権の国際問題と職務発明 知的財産権の国際的な問題を理解し、組織の中で行う職務発明についての理解を深める

セクション3 不正競争防止法について 公平な競争を阻害する行為の禁止を定めた不正競争防止法に基づく各事例を通して、知的財産保護に対する理解を深める

第14回 バイオテクノロジーと工学倫理（谷田）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書Ⅲ部第1章を読む

予習時間：30分

復習内容：ES細胞とiPS細胞の違いをまとめる

復習時間：30分

概要 人類に計りしれない恵をもたらす可能性があるバイオテクノロジーの持つ危険性とその技術の受け入れ方についての工学倫理の観点から説明できる

セクション1 バイオテクノロジーとは 人類が生物環境や生命を操作する技術を手に入れ始めたことを学ぶ 次に法規がどのような観点で整備されているのか理解する。そのうえで、技術者や人類がどのように技術を受け入れるか考える

セクション2 生命倫理とは 生命倫理を理解し、ヘルシンキ宣言を理解する。そして、個人情報とインフォームドコンセントの重要性を理解する

セクション3 近畿大学の生命倫理規定とは 具体的な生命倫理規定を理解する

第15回 情報技術と工学倫理（谷田）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書Ⅲ部第2章を読む

予習時間：30分

復習内容：ICTの特性についてまとめる

復習時間：30分

概要 最近重要となってきた情報問題の事例を取り上げ、技術者の立場から、情報技術の在り方について説明ができる

セクション1 情報通信技術とは 情報通信技術の広さを学ぶ、次に法規がどのような観点で整備されているのか理解する。そのうえで、技術者や人類がどのように技術を受け入れるか考える

セクション2 ICTに関係する条約と法規とは 情報処理技術に関する法規を理解し、何が犯罪となるのか理解する 情報管理方法を理解する

セクション3 ICTの進歩とこれからの社会へ ICTの将来を考える。事例を知る（温故知新）そして、倫理観取得への心得を学ぶ

定期試験

定期試験は、課題を定めたレポートとする

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 :	暮らしのなかの憲法【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Constitution in Everyday Life				
担当者 :	重村 博美				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

「憲法」と聞いて、みなさんはどのような印象をおもちですか。私たちは普段、憲法の内容を意識して生活することは、ほとんどないかと思えます。しかし、その実、憲法は、国の最高法規として、一人ひとりのもつ大事な権利や自由を定め、そしてそれらを守る仕組みを定めている、私たちにはなくてはならない大切な法律です。

そこで本授業では、憲法の基本的な枠組みや考え方を理解していただけるよう、具体的事例（裁判例を含む）の検討を行います。とはいえ、本授業は、暗記中心の学習ではありません。現実に生じている様々な事象の検討を通じて、それら問題を法的にどのように解決すべきか、みなさんには、その法的解決に向けた考え方を習得していただくこととなります。

なお、メディア受講に際しては、受講前の教科書熟読が必須となります。そして受講時は、各自、必要に応じてノートをとってください。と同時に、必要に応じて、条文を参照してください。条文の参照方法は、第1回の授業で説明をしています。

ちなみに、みなさん方の受講に際しては、大学からの受講案内でも示されているように、予め一定の期間を設定して、受講確認がなされる予定です。レポート作成・提出においても、メディア受講は前提（必須）条件となります（単位取得に際しては、10回以上：10回を含む、受講をしていることが必要です。）。加えて、話者の話の内容が判別可能な速度で視聴してください。詳細は、各担当者の案内に従ってください。各自、受講計画を立て、自覚的に、受講いただくことを、切に希望しております。

* 本メディア授業は、下記参考文献『判例で学ぶ日本国憲法』（有信堂）をベースに作成をしています。ただし、本授業は、過去に作成された「第2版」のもので作成しており、2024年春に刊行予定の「第3版」のものとは、内容において一部異なります（異なる部分は、当該文献の第5章・本メディア授業第9回「表現の自由」です。それ以外は、基本的な部分での違いはありません）。

* この授業はコンテンツ作成者重村が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講生は、この授業を受講することにより、①日本国憲法の基本的人権ならびに統治機構の概要を説明し、②憲法問題に対して自身の見解を示すことができるようになります。

■ 成績評価方法および基準

レポート課題（全3回） 60%

学期末試験（レポート課題） 40%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をGoogle Classroomに掲載します。

■ 教科書

指定しない

■ 参考文献

[ISBN]9784842010885 『判例で学ぶ日本国憲法[第三版]』(西村裕三編, 有信堂高文社: 2024)
2024年3月刊行予定

[ISBN]9784865281132 『立憲主義について 成立過程と現代(放送大学叢書)』(佐藤 幸治, 左右社: 2015)

[ISBN]9784000616072 『憲法 第八版』(芦部 信喜, 岩波書店: 2023)

[ISBN]9784641227613 『憲法学読本 第3版』(安西 文雄, 有斐閣: 2018)

[ISBN]9784641115453 『憲法判例百選I 第7版(別冊ジュリスト)』(長谷部 恭男, 有斐閣: 2019)

[ISBN]9784641115460 『憲法判例百選II 第7版(別冊ジュリスト)』(長谷部 恭男, 有斐閣: 2019)

■ 関連科目

「現代社会と法」など

■ 授業評価アンケート実施方法

本学の規定に準拠して実施します。

■ 研究室・メールアドレス

18号館南棟 shigemura@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

火曜日 2 限

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 概要 憲法とはなにか(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 教科書の該当箇所を読み(1・18章)、内容の把握をする

予習時間: 60分

復習内容: 授業内容について自身でまとめる

復習時間: 120分

法律の学習を始めるために必要となる法学・憲法の基礎的事項を学ぶ

セクション1 法とは何か セクション概要 法とは何かについて学ぶ

セクション2 憲法とは何か セクション概要 憲法とは何かについて学ぶ

セクション3 日本国憲法概説 セクション概要 憲法制定過程と基本原則を学ぶ

第2回 立法権と行政権(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 教科書の該当箇所を読み(14・15章)、内容の把握をする

予習時間: 60分

復習内容: 授業内容について自身でまとめる

復習時間: 120分

三権分立のうち、立法権と行政権を学ぶ

セクション1 三権分立とは? セクション概要 三権分立の概説を学ぶ

セクション2 日本の統治機構・立法権 セクション概要 国会の組織と役割を学ぶ

セクション3 日本の統治機構・行政権 セクション概要 内閣の組織と役割を学ぶ

第3回 司法権(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 教科書の該当箇所を読み(16章の1と2)、内容の把握をする

予習時間: 60分

復習内容: 授業内容について自身でまとめる

復習時間: 120分

概要 三権分立のうち、司法権について学ぶ

セクション1 司法権とは? セクション概要 司法権の範囲と限界について学ぶ

セクション2 裁判所組織について セクション概要 裁判所組織と審級について学ぶ

セクション3 裁判官 セクション概要 裁判官の身分保障について学ぶ

第4回 司法審査権(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 教科書の該当箇所を読み(16章の3)、内容の把握をする

予習時間: 60分

復習内容: 授業内容について自身でまとめる

復習時間: 120分

概要 司法審査権について学ぶ

セクション1 司法審査権の目的と方法 セクション概要 司法審査権の目的と方法について学ぶ

セクション2 違憲審査基準 セクション概要 違憲審査基準について学ぶ

セクション3 司法積極主義・消極主義 セクション概要 司法積極主義・消極主義について学ぶ

第5回 基本的人権総論(授業形式: 講義および演習)

予習内容：教科書の該当箇所を読み（1章の3と4）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 基本的人権の総論部分を学ぶ

セクション1 人権の歴史 セクション概要 人権が確立していった過程を学ぶ

セクション2 人権の分類 セクション概要 日本国憲法の人権規定を概括的に学ぶ

セクション3 人権の限界 セクション概要 基本的人権の限界について学ぶ

第6回 幸福追求権（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（2章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 幸福追求権を軸に主張される権利や自由について学ぶ

セクション1 幸福追求権とは？ セクション概要 幸福追求権の概説を学ぶ

セクション2 プライバシーの権利 セクション概要 プライバシーの権利について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 プライバシーの権利の判例から学ぶ

第7回 法の下での平等（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（3章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 憲法が意味する平等とは何かを学ぶ

セクション1 憲法の平等保障規定 セクション概要 日本国憲法が規定する平等規定について学ぶ

セクション2 平等とは？ セクション概要 憲法が示す「平等」の意味について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 平等権に関する基本事例から学ぶ

第8回 信教の自由・政教分離（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（4章の2）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

概要 信教の自由が保障する範囲と政教分離について学ぶ

セクション1 信教の自由とは？ セクション概要 信教の自由が規定された背景を学ぶ

セクション2 政教分離 セクション概要 政教分離原則について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 政教分離の基本事例から学ぶ

第9回 表現の自由（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（5章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 表現の自由がなぜ「優越的地位」にあるといわれるのか学ぶ

セクション1 表現の自由とは？ セクション概要 表現の自由の優越的地位の原則について学ぶ

セクション2 マス・メディアの取材・報道の自由 セクション概要 マス・メディアの取材・報道の自由について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 取材・報道の自由の基本事例から学ぶ

第10回 学問の自由・教育を受ける権利（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（6・10章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 大学における「学問」とはどういうものか学ぶ

セクション1 学問の自由とは？ セクション概要 学問の自由の保障の範囲と限界を学ぶ

セクション2 大学の自治 セクション概要 大学の自治について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 学問の自由の基本判例から学ぶ

第11回 経済活動の自由（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（7章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 私有財産制度について憲法から学ぶ

セクション1 経済活動の自由とは？ セクション概要 経済活動の自由について内容を学ぶ

セクション2 財産権の保障 セクション概要 財産権の保障について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 財産権の保障の基本事例から学ぶ

第12回 人身の自由（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（8章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 刑事疑義者・被告人の権利について学ぶ

セクション1 罪刑法定主義とは？ セクション概要 罪刑法定主義について学ぶ

セクション2 人身の自由 セクション概要 人身の自由の内容について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 人身の自由の基本事例から学ぶ

第13回 生存権（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（9章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 憲法が保障する「健康で文化的な最低限度の生活」とは何かを学ぶ

セクション1 生存権とは？ セクション概要 生存権の法的性格について学ぶ

セクション2 日本の社会保障制度 セクション概要 社会保障制度の種類と内容を概括的に学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 生存権の基本事例から学ぶ

第14回 労働基本権（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（11章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 労働三権について学ぶ。ここでは特に、公務員の労働基本権について学ぶ

セクション1 勤労の権利とは？ セクション概要 労働三権について学ぶ

セクション2 公務員の労働基本権 セクション概要 公務員の労働基本権について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 公務員の労働基本権の基本事例から学ぶ

第15回 参政権（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（13章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 選挙の基本原則について学ぶ

セクション1 参政権とは？ セクション概要 参政権の概要について学ぶ

セクション2 選挙制度の基本原則 セクション概要 選挙の5つの基本原則を学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 基本原則に関する基本事例から学ぶ

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 :	キャリアデザイン【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Career Design				
担当者 :	長尾 裕子				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	前期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :	理工学部応用化学科：学修・教育到達目標（A）に付随的に関与、 理工学部機械工学科：機械工学コース学習・教育目標：A-3, JABEE基準1.2：(a)(b)に関与、 理工学部電気電子通信工学科：学習・教育到達目標D1の達成に付随的に関与、 理工学部社会環境工学科：ディプロマ・ポリシーの(J)に主体的に関与、(A)、(B)に付随的に関与				

■ 授業概要

今後の職業人は、自律したキャリアを歩む必要があります。そのためには、自分自身の価値観や仕事の経験、社会での就労形態などを客観的に見つけ、分析し、自発的なキャリア形成をする力を養っておかなければなりません。また、組織にもそうした自発的なキャリアを歩む個人を上手にマネジメントすることで、貴重な人材資源を活用することが求められています。本授業は、そうした考え方を学ぶための理論的な解説や事例の検討などで構成します。なお、この授業はコンテンツ作成者谷口智彦が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

現代の社会経済環境を認識し、自ら自律的にキャリア形成が行える視点を身につけ、さらに経営的観点からも人材を捉えることで企業等の組織で活躍できる人材として必要な基本的な知識を習得することを目的とします。

■ 成績評価方法および基準

授業に関するレポートや課題提出等（担当教員の指示に従うこと） 100%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

レポート・課題提出等の要点や解説等はG-Classroomにて行います。

■ 教科書

『近大生のためのキャリアデザイン－KICSキャリアデザイン補助教材－（電子書籍）』
<http://www.amazon.co.jp/dp/B09RFDDCJD>

『近大生のためのキャリアデザイン－KICSキャリアデザイン補助教材－（ペーパーバック）』
<https://www.amazon.co.jp/dp/B09S244GSJ>

オンデマンド動画の内容をテキスト化したものです。各回の確認テスト及び授業のレポート課題、将来の就活時など、授業内容を再度見返したい場合に活用できます。

電子書籍はAmazon Kindleアプリにより、スマホ、タブレット、PC等で読むことが可能です。

■ 参考文献

- [ISBN]9784532110017 『人材マネジメント入門 日経文庫B76』（守島 基博, 日本経済新聞出版：2004）
- [ISBN]9784569619415 『働くひとのためのキャリア・デザイン（PHP新書）』（金井 壽宏, PHP研究所：2002）
- [ISBN]9784833419093 『「見どころのある部下」支援法（ワークス人と組織選書）』（谷口智彦, プレジデント社：2009）
- [ISBN]9784833491181 『「いっしょに働きたくなる人」の育て方－マクドナルド、スターバックス、コールドストーンの人材』

研究 (ワークス人と組織選書)』(見館 好隆, プレジデント社: 2010)

■ 関連科目

-

■ 授業評価アンケート実施方法

本学の規程に準拠して実施します

■ 研究室・メールアドレス

nagao3@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

質問等は随時対応します。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

-

第1回 キャリアデザインを学ぶ (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 各自の将来の進路について考えをまとめておく

予習時間: 30分

復習内容: 授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間: 60分

概要 キャリアデザインの授業の目標、進め方、また学ぶ理由など概要を説明します

セクション1 授業の目的と進め方 セクション概要 簡単な自己紹介、および授業の目的と進め方などを説明します

セクション2 キャリアデザインという言葉の意味 セクション概要 「キャリアデザイン」という言葉が意味することを簡単に説明します

セクション3 キャリアデザインを学ぶ理由 セクション概要 なぜキャリアデザインを学ぶ必要があるのか理解します

第2回 キャリアとは何か (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間: 30分

復習内容: 授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間: 60分

概要 キャリアの定義およびキャリアをデザインすることの意味を説明します

セクション1 キャリアの語源 セクション概要 キャリアの語源からその意味を解説します

セクション2 キャリアの定義 セクション概要 主な論者のキャリアの定義を紹介します

セクション3 キャリアをデザインすることの意味 セクション概要 キャリアをデザインするために何をすべきかを説明します

第3回 自分に合った職業・仕事とは何か (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間: 30分

復習内容: 授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間: 60分

概要 自分に合った職業・仕事を選ぶ際の考え方を説明します

セクション1 自分に合った職業・仕事とは何か セクション概要 自分に合った職業や仕事を見つけるにはどう考えればよいか説明します

セクション2 仕事選びの基本的な考え方 セクション概要 仕事選びの理論的な考え方の基本を紹介します

セクション3 職業や仕事の特徴 セクション概要 商品などとの選び方における違いから職業や仕事の特徴を説明します

第4回 「自分のこと」を知る (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間: 30分

復習内容: 授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間: 60分

概要 「自分のこと」を探索するための基本的な考え方を説明します

セクション1 「自分」とは何か セクション概要 「自分」の定義や捉え方を説明します

セクション2 仕事を選ぶうえで自分への問い セクション概要 仕事を選ぶうえで、「自分」をどのように考えればよいか、その問いを提示します

セクション3 「自分」を探るための様々なヒント セクション概要 自分を探るための性格診断などその他の方法を説明します

第5回 社会・雇用環境を知る（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間：30分

復習内容：授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間：60分

概要 今後の日本の社会・雇用環境と就職に関係する指標を説明します

セクション1 日本の社会・雇用環境はどうなるのか セクション概要 日本の人口などこれからの雇用環境がどうなるのかを説明します

セクション2 就職と関係する指標を理解する（1） セクション概要 失業率や非正規社員比率など就職に関係する指標を解説します

セクション3 就職と関係する指標を理解する（2） セクション概要 就職内定率や有効求人倍率など就職に関係する指標を理解します

第6回 労働とお金の関係を理解する（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間：30分

復習内容：授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間：60分

概要 働く環境の中でも特にお金に関する知識を説明します

セクション1 働くうえで重要なお金 セクション概要 社会人の働く理由を説明し、特にお金の位置づけについて確認します

セクション2 賃金の差はどこにあるのか セクション概要 賃金の差がどのような条件で変わるのかについて説明します

セクション3 生涯で必要になるお金 セクション概要 働き始めてから結婚や子育てなど生活に必要なお金について説明します

第7回 業界・職業を知る（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間：30分

復習内容：授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間：60分

概要 業種・業界、職業について、また実際の企業の採用選考のスケジュールを説明します

セクション1 業種・業界について セクション概要 業種や業界の知識、またその調べ方を説明します

セクション2 職業について セクション概要 職業の数や視野の広げ方について説明します

セクション3 就職活動について セクション概要 企業の採用選考、就職活動のスケジュールについて説明します

第8回 職種を知る（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間：30分

復習内容：授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間：60分

概要 自分に合った仕事を選ぶときの職種の考え方について説明します

セクション1 職種について セクション概要 職種とは何かについて説明します

セクション2 文系の職種 セクション概要 文系学部の卒業者が一般に就く職種について説明します

セクション3 理系の職種 セクション概要 理系学部の卒業者が一般に就く職種について説明します

第9回 キャリアの基礎理論を学ぶ（1）（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間：30分

復習内容：授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間：60分

概要 キャリアの基礎理論として「ライフスパン理論」を取り上げ説明します

セクション1 職業における発達とは セクション概要 発達の概念について説明し、それが職業における発達（職業的発達）とどう関連するのかについて説明します

セクション2 ライフスパン理論 セクション概要 職業的発達について体系的に整理したライフスパン理論について説明

します

セクション3 ライフパン理論の意味合い セクション概要 ライフパン理論が大学生にとってどのような意味合いがあるのか説明します

第10回 キャリアの基礎理論を学ぶ(2) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間: 30分

復習内容: 授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間: 60分

概要 キャリアの基礎理論として「キャリアトランジション理論」を取り上げ説明します

セクション1 人生における変化 セクション概要 人生における変化として「転機」について説明します

セクション2 キャリアトランジション理論 セクション概要 人生(キャリア)の変化に適応するための理論として、キャリアトランジション理論について説明します

セクション3 トランジション理論の意味合い セクション概要 トランジション理論が人生においてどのような意味合いがあるのか説明します

第11回 企業とは何か(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間: 30分

復習内容: 授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間: 60分

概要 企業の活動について基本的な捉え方を説明します

セクション1 企業の活動 セクション概要 企業とは何か、また企業が行う活動とはどういったものかについて簡単に説明します

セクション2 企業ごとの違い セクション概要 それぞれの企業の違いはどこにあるのかについて説明します

セクション3 企業における人材 セクション概要 企業において人材がどのような位置づけにあるのか、その意味合について説明します

第12回 企業における人材の活用(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間: 30分

復習内容: 授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間: 60分

概要 企業で働く人材を企業はどう活用するのかについて説明します

セクション1 人材マネジメントとは セクション概要 企業における人材の活用(マネジメント)について説明します

セクション2 人材の獲得と効果を高める要素 セクション概要 人材マネジメントを行うための7つの要素のうち、人材の獲得と人材の活用の中の効果を高める3つの要素について説明します

セクション3 効率を高める要素と人材の尊重 セクション概要 人材マネジメントの中の効率を高める2つの要素と人材の尊重について説明します。また、人材マネジメントがキャリアに与える意味についても解説します

第13回 働くまでの企業との接点(インターンシップ等)(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間: 30分

復習内容: 授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間: 60分

概要 働くまでに企業と接する機会とそうした経験から学ぶことについて説明します。またインターンシップについて説明します

セクション1 企業との接点と活用 セクション概要 学生生活の中で企業と接する機会(企業との接点)とその活用について説明します

セクション2 経験と学習 セクション概要 経験と学習について基本的な考え方を説明します

セクション3 インターンシップ経験 セクション概要 インターンシップの概要とインターンシップ経験での学びについて説明します

第14回 働くまでの企業との接点(アルバイト等)(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間: 30分

復習内容：授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間：60分

概要 アルバイト経験と学びについて説明します

セクション1 アルバイトの位置づけ セクション概要 大学生にとってアルバイトがどのような位置づけにあるのかを説明します

セクション2 アルバイト経験 セクション概要 アルバイトで成長を促す経験とは何かを説明します

セクション3 アルバイトで学ぶこと セクション概要 アルバイト経験を通じて何を学ぶのか説明します

第15回 総まとめ（授業形式：講義および演習）

予習内容：これまでの授業に関わる復習を自分なりに行き、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間：30分

復習内容：これまで授業のまとめとして、自分の進路や将来について考えたことを、整理し、まとめを記述してください。

復習時間：60分

概要 これまでの学びを総合的に考えるために体系的なまとめを説明します

セクション1 まとめ（1） セクション概要 キャリアデザインの授業の全体像を確認し、第1回から第4回までの授業のまとめを説明します

セクション2 まとめ（2） セクション概要 第5回から第8回、また第11回と第12回のまとめを説明します

セクション3 まとめ（3） セクション概要 第9回と第10回、また第13回と第14回のまとめを説明します

■ホームページ

『近大生のためのキャリアデザイン－KICSキャリアデザイン補助教材－（電子書籍）』

<http://www.amazon.co.jp/dp/B09RFDDCJD>

『近大生のためのキャリアデザイン－KICSキャリアデザイン補助教材－（ペーパーバック）』

<https://www.amazon.co.jp/dp/B09S244GSJ>

■実践的な教育内容

-

科目名 :	キャリアデザイン【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Career Design				
担当者 :	湯口 恭子				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :	理工学部応用化学科：学修・教育到達目標（A）に付随的に関与、 理工学部機械工学科：機械工学コース学習・教育目標：A-3, JABEE基準1.2：(a)(b)に関与、 理工学部電気電子通信工学科：学習・教育到達目標D1の達成に付随的に関与、 理工学部社会環境工学科：ディプロマ・ポリシーの(J)に主体的に関与、(A)、(B)に付随的に関与				

■ 授業概要

今後の職業人は、自律したキャリアを歩む必要があります。そのためには、自分自身の価値観や仕事の経験、社会での就労形態などを客観的に見つめ、分析し、自発的なキャリア形成をする力を養っておかなければなりません。また、組織にもそうした自発的なキャリアを歩む個人を上手にマネジメントすることで、貴重な人材資源を活用することが求められています。本授業は、そうした考え方を学ぶための理論的な解説や事例の検討などで構成します。なお、この授業はコンテンツ作成者谷口智彦が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

現代の社会経済環境を認識し、自ら自律的にキャリア形成が行える視点を身につけ、さらに経営的観点からも人材を捉えることで企業等の組織で活躍できる人材として必要な基本的な知識を習得することを目的とします。

■ 成績評価方法および基準

授業に関するレポートや課題提出等（担当教員の指示に従うこと） 100%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

担当教員がレポートや課題の提出などの要点や解説等を掲示板（GoogleClassroom）を利用して掲載するなど提示します。

■ 教科書

『近大生のためのキャリアデザイン－KICSキャリアデザイン補助教材－（電子書籍）』
<http://www.amazon.co.jp/dp/B09RFDDCJD>

『近大生のためのキャリアデザイン－KICSキャリアデザイン補助教材－（ペーパーバック）』
<https://www.amazon.co.jp/dp/B09S244GSJ>

オンデマンド動画の内容をテキスト化したものです。各回の確認テスト及び授業のレポート課題、将来の就活時など、授業内容を再度見返したい場合に活用できます。

電子書籍はAmazon Kindleアプリにより、スマホ、タブレット、PC等で読むことが可能です。

■ 参考文献

- [ISBN]9784532110017 『人材マネジメント入門 日経文庫B76』（守島 基博, 日本経済新聞出版：2004）
- [ISBN]9784569619415 『働くひとのためのキャリア・デザイン（PHP新書）』（金井 壽宏, PHP研究所：2002）
- [ISBN]9784833419093 『「見どころのある部下」支援法（ワークス人と組織選書）』（谷口智彦, プレジデント社：2009）
- [ISBN]9784833491181 『「いっしょに働きたくなる人」の育て方－マクドナルド、スターバックス、コールドストーンの人材』

研究 (ワークス人と組織選書)』(見館 好隆, プレジデント社: 2010)

■ 関連科目

-

■ 授業評価アンケート実施方法

本学の規程に準拠して実施します

■ 研究室・メールアドレス

yuguchi02@jcg.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

質問などは随時、GoogleClassroomやメールで対応いたします。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

-

第1回 キャリアデザインを学ぶ (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 各自の将来の進路について考えをまとめておく

予習時間: 30分

復習内容: 授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間: 60分

概要 キャリアデザインの授業の目標、進め方、また学ぶ理由など概要を説明します

セクション1 授業の目的と進め方 セクション概要 簡単な自己紹介、および授業の目的と進め方などを説明します

セクション2 キャリアデザインという言葉の意味 セクション概要 「キャリアデザイン」という言葉が意味することを簡単に説明します

セクション3 キャリアデザインを学ぶ理由 セクション概要 なぜキャリアデザインを学ぶ必要があるのか理解します

第2回 キャリアとは何か (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間: 30分

復習内容: 授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間: 60分

概要 キャリアの定義およびキャリアをデザインすることの意味を説明します

セクション1 キャリアの語源 セクション概要 キャリアの語源からその意味を解説します

セクション2 キャリアの定義 セクション概要 主な論者のキャリアの定義を紹介します

セクション3 キャリアをデザインすることの意味 セクション概要 キャリアをデザインするために何をすべきかを説明します

第3回 自分に合った職業・仕事とは何か (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間: 30分

復習内容: 授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間: 60分

概要 自分に合った職業・仕事を選ぶ際の考え方を説明します

セクション1 自分に合った職業・仕事とは何か セクション概要 自分に合った職業や仕事を見つけるにはどう考えればよいか説明します

セクション2 仕事選びの基本的な考え方 セクション概要 仕事選びの理論的な考え方の基本を紹介します

セクション3 職業や仕事の特徴 セクション概要 商品などとの選び方における違いから職業や仕事の特徴を説明します

第4回 「自分のこと」を知る (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間: 30分

復習内容: 授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間: 60分

概要 「自分のこと」を探索するための基本的な考え方を説明します

セクション1 「自分」とは何か セクション概要 「自分」の定義や捉え方を説明します

セクション2 仕事を選ぶうえで自分への問い セクション概要 仕事を選ぶうえで、「自分」をどのように考えればよいか、その問いを提示します

セクション3 「自分」を探るための様々なヒント セクション概要 自分を探るための性格診断などその他の方法を説明します

第5回 社会・雇用環境を知る（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間：30分

復習内容：授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間：60分

概要 今後の日本の社会・雇用環境と就職に関係する指標を説明します

セクション1 日本の社会・雇用環境はどうなるのか セクション概要 日本の人口などこれからの雇用環境がどうなるのかを説明します

セクション2 就職と関係する指標を理解する（1） セクション概要 失業率や非正規社員比率など就職に関係する指標を解説します

セクション3 就職と関係する指標を理解する（2） セクション概要 就職内定率や有効求人倍率など就職に関係する指標を理解します

第6回 労働とお金の関係を理解する（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間：30分

復習内容：授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間：60分

概要 働く環境の中でも特にお金に関する知識を説明します

セクション1 働くうえで重要なお金 セクション概要 社会人の働く理由を説明し、特にお金の位置づけについて確認します

セクション2 賃金の差はどこにあるのか セクション概要 賃金の差がどのような条件で変わるのかについて説明します

セクション3 生涯で必要になるお金 セクション概要 働き始めてから結婚や子育てなど生活に必要なお金について説明します

第7回 業界・職業を知る（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間：30分

復習内容：授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間：60分

概要 業種・業界、職業について、また実際の企業の採用選考のスケジュールを説明します

セクション1 業種・業界について セクション概要 業種や業界の知識、またその調べ方を説明します

セクション2 職業について セクション概要 職業の数や視野の広げ方について説明します

セクション3 就職活動について セクション概要 企業の採用選考、就職活動のスケジュールについて説明します

第8回 職種を知る（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間：30分

復習内容：授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間：60分

概要 自分に合った仕事を選ぶときの職種の考え方について説明します

セクション1 職種について セクション概要 職種とは何かについて説明します

セクション2 文系の職種 セクション概要 文系学部の卒業者が一般に就く職種について説明します

セクション3 理系の職種 セクション概要 理系学部の卒業者が一般に就く職種について説明します

第9回 キャリアの基礎理論を学ぶ（1）（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間：30分

復習内容：授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間：60分

概要 キャリアの基礎理論として「ライフスパン理論」を取り上げ説明します

セクション1 職業における発達とは セクション概要 発達の概念について説明し、それが職業における発達（職業的発達）とどう関連するのかについて説明します

セクション2 ライフスパン理論 セクション概要 職業的発達について体系的に整理したライフスパン理論について説明

します

セクション3 ライフパン理論の意味合い セクション概要 ライフパン理論が大学生にとってどのような意味合いがあるのか説明します

第10回 キャリアの基礎理論を学ぶ(2) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間: 30分

復習内容: 授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間: 60分

概要 キャリアの基礎理論として「キャリアトランジション理論」を取り上げ説明します

セクション1 人生における変化 セクション概要 人生における変化として「転機」について説明します

セクション2 キャリアトランジション理論 セクション概要 人生(キャリア)の変化に適応するための理論として、キャリアトランジション理論について説明します

セクション3 トランジション理論の意味合い セクション概要 トランジション理論が人生においてどのような意味合いがあるのか説明します

第11回 企業とは何か(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間: 30分

復習内容: 授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間: 60分

概要 企業の活動について基本的な捉え方を説明します

セクション1 企業の活動 セクション概要 企業とは何か、また企業が行う活動とはどういったものかについて簡単に説明します

セクション2 企業ごとの違い セクション概要 それぞれの企業の違いはどこにあるのかについて説明します

セクション3 企業における人材 セクション概要 企業において人材がどのような位置づけにあるのか、その意味合について説明します

第12回 企業における人材の活用(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間: 30分

復習内容: 授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間: 60分

概要 企業で働く人材を企業はどう活用するのかについて説明します

セクション1 人材マネジメントとは セクション概要 企業における人材の活用(マネジメント)について説明します

セクション2 人材の獲得と効果を高める要素 セクション概要 人材マネジメントを行うための7つの要素のうち、人材の獲得と人材の活用の中の効果を高める3つの要素について説明します

セクション3 効率を高める要素と人材の尊重 セクション概要 人材マネジメントの中の効率を高める2つの要素と人材の尊重について説明します。また、人材マネジメントがキャリアに与える意味についても解説します

第13回 働くまでの企業との接点(インターンシップ等)(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間: 30分

復習内容: 授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間: 60分

概要 働くまでに企業と接する機会とそうした経験から学ぶことについて説明します。またインターンシップについて説明します

セクション1 企業との接点と活用 セクション概要 学生生活の中で企業と接する機会(企業との接点)とその活用について説明します

セクション2 経験と学習 セクション概要 経験と学習について基本的な考え方を説明します

セクション3 インターンシップ経験 セクション概要 インターンシップの概要とインターンシップ経験での学びについて説明します

第14回 働くまでの企業との接点(アルバイト等)(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間: 30分

復習内容：授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間：60分

概要 アルバイト経験と学びについて説明します

セクション1 アルバイトの位置づけ セクション概要 大学生にとってアルバイトがどのような位置づけにあるのかを説明します

セクション2 アルバイト経験 セクション概要 アルバイトで成長を促す経験とは何かを説明します

セクション3 アルバイトで学ぶこと セクション概要 アルバイト経験を通じて何を学ぶのか説明します

第15回 総まとめ（授業形式：講義および演習）

予習内容：これまでの授業に関わる復習を自分なりに行き、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間：30分

復習内容：これまで授業のまとめとして、自分の進路や将来について考えたことを、整理し、まとめを記述してください。

復習時間：60分

概要 これまでの学びを総合的に考えるために体系的なまとめを説明します

セクション1 まとめ（1） セクション概要 キャリアデザインの授業の全体像を確認し、第1回から第4回までの授業のまとめを説明します

セクション2 まとめ（2） セクション概要 第5回から第8回、また第11回と第12回のまとめを説明します

セクション3 まとめ（3） セクション概要 第9回と第10回、また第13回と第14回のまとめを説明します

■ホームページ

『近大生のためのキャリアデザイン－KICSキャリアデザイン補助教材－（電子書籍）』

<http://www.amazon.co.jp/dp/B09RFDDCJD>

『近大生のためのキャリアデザイン－KICSキャリアデザイン補助教材－（ペーパーバック）』

<https://www.amazon.co.jp/dp/B09S244GSJ>

■実践的な教育内容

-

科目名 :	キャリアデザイン【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Career Design				
担当者 :	土肥 眞琴				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

今後の職業人は、自律したキャリアを歩む必要があります。そのためには、自分自身の価値観や仕事の経験、社会での就労形態などを客観的に見つけ、分析し、自発的なキャリア形成をする力を養っておかなければなりません。また、組織にもそうした自発的なキャリアを歩む個人を上手にマネジメントすることで、貴重な人材資源を活用することが求められています。

本授業は、そうした考え方を学ぶための理論的な解説や事例の検討などで構成します。

なお、この授業はコンテンツ作成者谷口智彦が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

現代の社会経済環境を認識し、自ら自律的にキャリア形成が行える視点を身につけ、さらに経営的観点からも人材を捉えることで企業等の組織で活躍できる人材として必要な基本的な知識を習得することを目的とします。

■ 成績評価方法および基準

授業に関するレポートや課題提出等（担当教員の指示に従うこと） 100%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

担当教員がレポートや課題の提出などの要点や解説等を掲示板等を利用して掲載するなど提示します。

■ 教科書

『近大生のためのキャリアデザイン－KICSキャリアデザイン補助教材－（電子書籍）』

<http://www.amazon.co.jp/dp/B09RFDDCJD>

『近大生のためのキャリアデザイン－KICSキャリアデザイン補助教材－（ペーパーバック）』

<https://www.amazon.co.jp/dp/B09S244GSJ>

オンデマンド動画の内容をテキスト化したものです。各回の確認テスト及び授業のレポート課題、将来の就活時など、授業内容を再度見返したい場合に活用できます。

電子書籍はAmazon Kindleアプリにより、スマホ、タブレット、PC等で読むことが可能です。

■ 参考文献

[ISBN]9784532110017 『人材マネジメント入門 日経文庫B76』（守島 基博, 日本経済新聞出版 : 2004）

[ISBN]9784569619415 『働くひとのためのキャリア・デザイン (PHP新書)』（金井 壽宏, PHP研究所 : 2002）

[ISBN]9784833419093 『「見どころのある部下」支援法 (ワークス人と組織選書)』（谷口智彦, プレジデント社 : 2009）

[ISBN]9784833491181 『「いっしょに働きたくなる人」の育て方－マクドナルド、スターバックス、コールドストーンの人材研究 (ワークス人と組織選書)』（見館 好隆, プレジデント社 : 2010）

■ 関連科目

-

■授業評価アンケート実施方法

本学の規程に準拠して実施します

■研究室・メールアドレス

mako3064@kindai.ac.jp

■オフィスアワー

質問・相談等は、Classroomストリーム、メール（mako3064@kindai.ac.jp）で適宜対応します。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

-

第1回 キャリアデザインを学ぶ（授業形式：講義および演習）

予習内容：各自の将来の進路について考えをまとめておく

予習時間：30分

復習内容：授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間：60分

概要 キャリアデザインの授業の目標、進め方、また学ぶ理由など概要を説明します

セクション1 授業の目的と進め方 セクション概要 簡単な自己紹介、および授業の目的と進め方などを説明します

セクション2 キャリアデザインという言葉の意味 セクション概要 「キャリアデザイン」という言葉が意味することを簡単に説明します

セクション3 キャリアデザインを学ぶ理由 セクション概要 なぜキャリアデザインを学ぶ必要があるのか理解します

第2回 キャリアとは何か（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間：30分

復習内容：授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間：60分

概要 キャリアの定義およびキャリアをデザインすることの意味を説明します

セクション1 キャリアの語源 セクション概要 キャリアの語源からその意味を解説します

セクション2 キャリアの定義 セクション概要 主な論者のキャリアの定義を紹介します

セクション3 キャリアをデザインすることの意味 セクション概要 キャリアをデザインするために何をすべきかを説明します

第3回 自分に合った職業・仕事とは何か（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間：30分

復習内容：授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間：60分

概要 自分に合った職業・仕事を選ぶ際の考え方を説明します

セクション1 自分に合った職業・仕事とは何か セクション概要 自分に合った職業や仕事を見つけるにはどう考えればよいか説明します

セクション2 仕事選びの基本的な考え方 セクション概要 仕事選びの理論的な考え方の基本を紹介します

セクション3 職業や仕事の特徴 セクション概要 商品などとの選び方における違いから職業や仕事の特徴を説明します

第4回 「自分のこと」を知る（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間：30分

復習内容：授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間：60分

概要 「自分のこと」を探索するための基本的な考え方を説明します

セクション1 「自分」とは何か セクション概要 「自分」の定義や捉え方を説明します

セクション2 仕事を選ぶうえで自分への問い セクション概要 仕事を選ぶうえで、「自分」をどのように考えればよいか、その問いを提示します

セクション3 「自分」を探るための様々なヒント セクション概要 自分を探るための性格診断などその他の方法を説明します

第5回 社会・雇用環境を知る（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間：30分

復習内容：授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間：60分

概要 今後の日本の社会・雇用環境と就職に関係する指標を説明します

セクション1 日本の社会・雇用環境はどうなるのか セクション概要 日本の人口などこれからの雇用環境がどうなるのかを説明します

セクション2 就職と関係する指標を理解する(1) セクション概要 失業率や非正規社員比率など就職に関係する指標を解説します

セクション3 就職と関係する指標を理解する(2) セクション概要 就職内定率や有効求人倍率など就職に関係する指標を理解します

第6回 労働とお金の関係を理解する(授業形式：講義および演習)

予習内容：授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間：30分

復習内容：授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間：60分

概要 働く環境の中でも特にお金に関する知識を説明します

セクション1 働くうえで重要なお金 セクション概要 社会人の働く理由を説明し、特にお金の位置づけについて確認します

セクション2 賃金の差はどこにあるのか セクション概要 賃金の差がどのような条件で変わるのかについて説明します

セクション3 生涯で必要になるお金 セクション概要 働き始めてから結婚や子育てなど生活に必要なお金について説明します

第7回 業界・職業を知る(授業形式：講義および演習)

予習内容：授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間：30分

復習内容：授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間：60分

概要 業種・業界、職業について、また実際の企業の採用選考のスケジュールを説明します

セクション1 業種・業界について セクション概要 業種や業界の知識、またその調べ方を説明します

セクション2 職業について セクション概要 職業の数や視野の広げ方について説明します

セクション3 就職活動について セクション概要 企業の採用選考、就職活動のスケジュールについて説明します

第8回 職種を知る(授業形式：講義および演習)

予習内容：授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間：30分

復習内容：授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間：60分

概要 自分に合った仕事を選ぶときの職種の考え方について説明します

セクション1 職種について セクション概要 職種とは何かについて説明します

セクション2 文系の職種 セクション概要 文系学部の卒業生が一般に就く職種について説明します

セクション3 理系の職種 セクション概要 理系学部の卒業生が一般に就く職種について説明します

第9回 キャリアの基礎理論を学ぶ(1)(授業形式：講義および演習)

予習内容：授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間：30分

復習内容：授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間：60分

概要 キャリアの基礎理論として「ライフスパン理論」を取り上げ説明します

セクション1 職業における発達とは セクション概要 発達の概念について説明し、それが職業における発達(職業的発達)とどう関連するのかについて説明します

セクション2 ライフスパン理論 セクション概要 職業的発達について体系的に整理したライフスパン理論について説明します

セクション3 ライフスパン理論の意味合い セクション概要 ライフスパン理論が大学生にとってどのような意味合いがあるのか説明します

第10回 キャリアの基礎理論を学ぶ(2) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間: 30分

復習内容: 授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間: 60分

概要 キャリアの基礎理論として「キャリアトランジション理論」を取り上げ説明します

セクション1 人生における変化 セクション概要 人生における変化として「転機」について説明します

セクション2 キャリアトランジション理論 セクション概要 人生(キャリア)の変化に適応するための理論として、キャリアトランジション理論について説明します

セクション3 トランジション理論の意味合い セクション概要 トランジション理論が人生においてどのような意味合いがあるのか説明します

第11回 企業とは何か(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間: 30分

復習内容: 授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間: 60分

概要 企業の活動について基本的な捉え方を説明します

セクション1 企業の活動 セクション概要 企業とは何か、また企業が行う活動とはどういったものかについて簡単に説明します

セクション2 企業ごとの違い セクション概要 それぞれの企業の違いはどこにあるのかについて説明します

セクション3 企業における人材 セクション概要 企業において人材がどのような位置づけにあるのか、その意味合について説明します

第12回 企業における人材の活用(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間: 30分

復習内容: 授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間: 60分

概要 企業で働く人材を企業はどう活用するのかについて説明します

セクション1 人材マネジメントとは セクション概要 企業における人材の活用(マネジメント)について説明します

セクション2 人材の獲得と効果を高める要素 セクション概要 人材マネジメントを行うための7つの要素のうち、人材の獲得と人材の活用の中の効果を高める3つの要素について説明します

セクション3 効率を高める要素と人材の尊重 セクション概要 人材マネジメントの中の効率を高める2つの要素と人材の尊重について説明します。また、人材マネジメントがキャリアに与える意味についても解説します

第13回 働くまでの企業との接点(インターンシップ等)(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間: 30分

復習内容: 授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間: 60分

概要 働くまでに企業と接する機会とそうした経験から学ぶことについて説明します。またインターンシップについて説明します

セクション1 企業との接点と活用 セクション概要 学生生活の中で企業と接する機会(企業との接点)とその活用について説明します

セクション2 経験と学習 セクション概要 経験と学習について基本的な考え方を説明します

セクション3 インターンシップ経験 セクション概要 インターンシップの概要とインターンシップ経験での学びについて説明します

第14回 働くまでの企業との接点(アルバイト等)(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間: 30分

復習内容: 授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間: 60分

概要 アルバイト経験と学びについて説明します

セクション1 アルバイトの位置づけ セクション概要 大学生にとってアルバイトがどのような位置づけにあるのかを説明します
セクション2 アルバイト経験 セクション概要 アルバイトで成長を促す経験とは何かを説明します
セクション3 アルバイトで学ぶこと セクション概要 アルバイト経験を通じて何を学ぶのか説明します

第15回 総まとめ（授業形式：講義および演習）

予習内容：これまでの授業に関わる復習を自分なりに行き、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間：30分

復習内容：これまで授業のまとめとして、自分の進路や将来について考えたことを、整理し、まとめを記述してください。

復習時間：60分

概要 これまでの学びを総合的に考えるために体系的なまとめを説明します

セクション1 まとめ（1） セクション概要 キャリアデザインの授業の全体像を確認し、第1回から第4回までの授業のまとめを説明します

セクション2 まとめ（2） セクション概要 第5回から第8回、また第11回と第12回のまとめを説明します

セクション3 まとめ（3） セクション概要 第9回と第10回、また第13回と第14回のまとめを説明します

■ホームページ

『近大生のためのキャリアデザイン－KICSキャリアデザイン補助教材－（電子書籍）』

<http://www.amazon.co.jp/dp/B09RFDDCJD>

『近大生のためのキャリアデザイン－KICSキャリアデザイン補助教材－（ペーパーバック）』

<https://www.amazon.co.jp/dp/B09S244GSJ>

■実践的な教育内容

-

科目名 :	キャリアデザイン【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Career Design				
担当者 :	砂留 洋子				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :	理工学部応用化学科：学修・教育到達目標（A）に付随的に関与、 理工学部機械工学科：機械工学コース学習・教育目標：A-3, JABEE基準1.2：(a)(b)に関与、 理工学部電気電子通信工学科：学習・教育到達目標D1の達成に付随的に関与、 理工学部社会環境工学科：ディプロマ・ポリシーの(J)に主体的に関与、(A)、(B)に付随的に関与				

■ 授業概要

今後の職業人は、自律したキャリアを歩む必要があります。そのためには、自分自身の価値観や仕事の経験、社会での就労形態などを客観的に見つめ、分析し、自発的なキャリア形成をする力を養っておかなければなりません。また、組織にもそうした自発的なキャリアを歩む個人を上手にマネジメントすることで、貴重な人材資源を活用することが求められています。本授業は、そうした考え方を学ぶための理論的な解説や事例の検討などで構成します。なお、この授業はコンテンツ作成者谷口智彦が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

現代の社会経済環境を認識し、自ら自律的にキャリア形成が行える視点を身につけ、さらに経営的観点からも人材を捉えることで企業等の組織で活躍できる人材として必要な基本的な知識を習得することを目的とします。

■ 成績評価方法および基準

授業に関するレポートや課題提出等 100%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

レポートや課題の提出などの要点や解説等を掲示板等を利用して掲載するなど提示します

■ 教科書

『近大生のためのキャリアデザイン－KICSキャリアデザイン補助教材－（電子書籍）』
<http://www.amazon.co.jp/dp/B09RFDDCJD>

『近大生のためのキャリアデザイン－KICSキャリアデザイン補助教材－（ペーパーバック）』
<https://www.amazon.co.jp/dp/B09S244GSJ>

オンデマンド動画の内容をテキスト化したものです。各回の確認テスト及び授業のレポート課題、将来の就活時など、授業内容を再度見返したい場合に活用できます。

電子書籍はAmazon Kindleアプリにより、スマホ、タブレット、PC等で読むことが可能です。

■ 参考文献

- [ISBN]9784532110017 『人材マネジメント入門 日経文庫B76』（守島 基博, 日本経済新聞出版：2004）
- [ISBN]9784569619415 『働くひとのためのキャリア・デザイン（PHP新書）』（金井 壽宏, PHP研究所：2002）
- [ISBN]9784833419093 『「見どころのある部下」支援法（ワークス人と組織選書）』（谷口智彦, プレジデント社：2009）
- [ISBN]9784833491181 『「いっしょに働きたくなる人」の育て方－マクドナルド、スターバックス、コールドストーンの人材』

研究 (ワークス人と組織選書)』(見館 好隆, プレジデント社: 2010)

■ 関連科目

-

■ 授業評価アンケート実施方法

本学の規程に準拠して実施します

■ 研究室・メールアドレス

sunadome@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

質問等については随時対応します

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

-

第1回 キャリアデザインを学ぶ (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 各自の将来の進路について考えをまとめておく

予習時間: 30分

復習内容: 授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間: 60分

概要 キャリアデザインの授業の目標、進め方、また学ぶ理由など概要を説明します

セクション1 授業の目的と進め方 セクション概要 簡単な自己紹介、および授業の目的と進め方などを説明します

セクション2 キャリアデザインという言葉の意味 セクション概要 「キャリアデザイン」という言葉が意味することを簡単に説明します

セクション3 キャリアデザインを学ぶ理由 セクション概要 なぜキャリアデザインを学ぶ必要があるのか理解します

第2回 キャリアとは何か (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間: 30分

復習内容: 授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間: 60分

概要 キャリアの定義およびキャリアをデザインすることの意味を説明します

セクション1 キャリアの語源 セクション概要 キャリアの語源からその意味を解説します

セクション2 キャリアの定義 セクション概要 主な論者のキャリアの定義を紹介します

セクション3 キャリアをデザインすることの意味 セクション概要 キャリアをデザインするために何をすべきかを説明します

第3回 自分に合った職業・仕事とは何か (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間: 30分

復習内容: 授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間: 60分

概要 自分に合った職業・仕事を選ぶ際の考え方を説明します

セクション1 自分に合った職業・仕事とは何か セクション概要 自分に合った職業や仕事を見つけるにはどう考えればよいか説明します

セクション2 仕事選びの基本的な考え方 セクション概要 仕事選びの理論的な考え方の基本を紹介します

セクション3 職業や仕事の特徴 セクション概要 商品などとの選び方における違いから職業や仕事の特徴を説明します

第4回 「自分のこと」を知る (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間: 30分

復習内容: 授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間: 60分

概要 「自分のこと」を探索するための基本的な考え方を説明します

セクション1 「自分」とは何か セクション概要 「自分」の定義や捉え方を説明します

セクション2 仕事を選ぶうえで自分への問い セクション概要 仕事を選ぶうえで、「自分」をどのように考えればよいか、その問いを提示します

セクション3 「自分」を探るための様々なヒント セクション概要 自分を探るための性格診断などその他の方法を説明します

第5回 社会・雇用環境を知る（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間：30分

復習内容：授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間：60分

概要 今後の日本の社会・雇用環境と就職に関係する指標を説明します

セクション1 日本の社会・雇用環境はどうなるのか セクション概要 日本の人口などこれからの雇用環境がどうなるのかを説明します

セクション2 就職と関係する指標を理解する（1） セクション概要 失業率や非正規社員比率など就職に関係する指標を解説します

セクション3 就職と関係する指標を理解する（2） セクション概要 就職内定率や有効求人倍率など就職に関係する指標を理解します

第6回 労働とお金の関係を理解する（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間：30分

復習内容：授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間：60分

概要 働く環境の中でも特にお金に関する知識を説明します

セクション1 働くうえで重要なお金 セクション概要 社会人の働く理由を説明し、特にお金の位置づけについて確認します

セクション2 賃金の差はどこにあるのか セクション概要 賃金の差がどのような条件で変わるのかについて説明します

セクション3 生涯で必要になるお金 セクション概要 働き始めてから結婚や子育てなど生活に必要なお金について説明します

第7回 業界・職業を知る（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間：30分

復習内容：授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間：60分

概要 業種・業界、職業について、また実際の企業の採用選考のスケジュールを説明します

セクション1 業種・業界について セクション概要 業種や業界の知識、またその調べ方を説明します

セクション2 職業について セクション概要 職業の数や視野の広げ方について説明します

セクション3 就職活動について セクション概要 企業の採用選考、就職活動のスケジュールについて説明します

第8回 職種を知る（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間：30分

復習内容：授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間：60分

概要 自分に合った仕事を選ぶときの職種の考え方について説明します

セクション1 職種について セクション概要 職種とは何かについて説明します

セクション2 文系の職種 セクション概要 文系学部の卒業者が一般に就く職種について説明します

セクション3 理系の職種 セクション概要 理系学部の卒業者が一般に就く職種について説明します

第9回 キャリアの基礎理論を学ぶ（1）（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間：30分

復習内容：授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間：60分

概要 キャリアの基礎理論として「ライフスパン理論」を取り上げ説明します

セクション1 職業における発達とは セクション概要 発達の概念について説明し、それが職業における発達（職業的発達）とどう関連するのかについて説明します

セクション2 ライフスパン理論 セクション概要 職業的発達について体系的に整理したライフスパン理論について説明

します

セクション3 ライフスパン理論の意味合い セクション概要 ライフスパン理論が大学生にとってどのような意味合いがあるのか説明します

第10回 キャリアの基礎理論を学ぶ(2) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間: 30分

復習内容: 授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間: 60分

概要 キャリアの基礎理論として「キャリアトランジション理論」を取り上げ説明します

セクション1 人生における変化 セクション概要 人生における変化として「転機」について説明します

セクション2 キャリアトランジション理論 セクション概要 人生(キャリア)の変化に適応するための理論として、キャリアトランジション理論について説明します

セクション3 トランジション理論の意味合い セクション概要 トランジション理論が人生においてどのような意味合いがあるのか説明します

第11回 企業とは何か(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間: 30分

復習内容: 授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間: 60分

概要 企業の活動について基本的な捉え方を説明します

セクション1 企業の活動 セクション概要 企業とは何か、また企業が行う活動とはどういったものかについて簡単に説明します

セクション2 企業ごとの違い セクション概要 それぞれの企業の違いはどこにあるのかについて説明します

セクション3 企業における人材 セクション概要 企業において人材がどのような位置づけにあるのか、その意味合について説明します

第12回 企業における人材の活用(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間: 30分

復習内容: 授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間: 60分

概要 企業で働く人材を企業はどう活用するのかについて説明します

セクション1 人材マネジメントとは セクション概要 企業における人材の活用(マネジメント)について説明します

セクション2 人材の獲得と効果を高める要素 セクション概要 人材マネジメントを行うための7つの要素のうち、人材の獲得と人材の活用の中の効果を高める3つの要素について説明します

セクション3 効率を高める要素と人材の尊重 セクション概要 人材マネジメントの中の効率を高める2つの要素と人材の尊重について説明します。また、人材マネジメントがキャリアに与える意味についても解説します

第13回 働くまでの企業との接点(インターンシップ等)(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間: 30分

復習内容: 授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間: 60分

概要 働くまでに企業と接する機会とそうした経験から学ぶことについて説明します。またインターンシップについて説明します

セクション1 企業との接点と活用 セクション概要 学生生活の中で企業と接する機会(企業との接点)とその活用について説明します

セクション2 経験と学習 セクション概要 経験と学習について基本的な考え方を説明します

セクション3 インターンシップ経験 セクション概要 インターンシップの概要とインターンシップ経験での学びについて説明します

第14回 働くまでの企業との接点(アルバイト等)(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間: 30分

復習内容：授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間：60分

概要 アルバイト経験と学びについて説明します

セクション1 アルバイトの位置づけ セクション概要 大学生にとってアルバイトがどのような位置づけにあるのかを説明します

セクション2 アルバイト経験 セクション概要 アルバイトで成長を促す経験とは何かを説明します

セクション3 アルバイトで学ぶこと セクション概要 アルバイト経験を通じて何を学ぶのか説明します

第15回 総まとめ（授業形式：講義および演習）

予習内容：これまでの授業に関わる復習を自分なりに行き、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間：30分

復習内容：これまで授業のまとめとして、自分の進路や将来について考えたことを、整理し、まとめを記述してください。

復習時間：60分

概要 これまでの学びを総合的に考えるために体系的なまとめを説明します

セクション1 まとめ（1） セクション概要 キャリアデザインの授業の全体像を確認し、第1回から第4回までの授業のまとめを説明します

セクション2 まとめ（2） セクション概要 第5回から第8回、また第11回と第12回のまとめを説明します

セクション3 まとめ（3） セクション概要 第9回と第10回、また第13回と第14回のまとめを説明します

■ホームページ

『近大生のためのキャリアデザイン－KICSキャリアデザイン補助教材－（電子書籍）』

<http://www.amazon.co.jp/dp/B09RFDDCJD>

『近大生のためのキャリアデザイン－KICSキャリアデザイン補助教材－（ペーパーバック）』

<https://www.amazon.co.jp/dp/B09S244GSJ>

■実践的な教育内容

-

科目名 :	環境と社会【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Environment and Society				
担当者 :	富田 義弘				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	前期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :	理工応用化学科：学修・教育到達目標（A）に主体的に関与 理工機械工学科：機械工学コース学習・教育目標：A-2, JABEE基準1.2：(a)(b)に関与 理工電気電子通信工学科：学習・教育到達目標D1の達成に付随的に関与 理工社会環境工学科：ディプロマ・ポリシーの(A)、(G)、(I)に主体的に関与、(C)に付随的に関与				

■ 授業概要

地球上において生物は、環境からの影響を受けながら、お互いの相互作用の中で生命活動を営んでいる。この生態系の中にあつて、現代では人間社会の活動が環境に悪影響を及ぼすようになってきた。大気・土壌・水質汚染の問題、衣食住、社会環境の変化など（様々な要因）がこれまで動植物の生命、健康に影響を与えてきた。さらに産業の発展や我々の生活環境の変化は地球温暖化に確実に影響を与えている。2015年9月世界中の政府が合意した国連のSustainable Development Goals(SDGs;持続可能な開発目標)として17のゴールを掲げ、2030年の目標達成に向け動き出している。本講義ではこれら多岐にわたる環境と社会問題を取り上げ、特に最近の社会の環境変化がどのように影響を与えているのかを学び、サイエンスとして幅広い視野でそれらについて学び、持続可能な社会形成に向けた取り組みの在り方や問題意識をもって解決策を学習する。

この授業はコンテンツ作成者の井田民男が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

"地球環境の成り立ちや生態系の基礎知識を学びつつ、人間活動がもたらした環境問題を理解する。さらに、人間が生み出した科学技術が社会や環境に及ぼした影響を理解する。将来に向けて問題意識を持ち、理工学的な視点からの解決策を導くための基盤を作ることを目標とする。さらに、

人の健康、生命の尊さを重んじ、理工の視点から課題の原因と現状について理解を深め、将来に向けて問題意識をもって解決策を提案・発信できるようになることを目標とする

1) 地球規模の課題として、大気汚染、水質、化学物質、最近問題のプラスチックごみの海洋生物への影響などの把握、さらに地球温暖化に伴う気候変動対策の現状や世界の取り組みについて学ぶ。

2) 人を取り巻く社会環境の問題として、都市への人口の集中化、職場環境、危険薬物、衣食住の視点より健康の問題やその改善の取り組みの現状を理解する。

3) 日常生活の中で耳にする機会の多い環境問題についての概要を正しく理解し、自分なりの「持続可能な社会」に対する考えを持つ。

この科目は、SDGsの主にNo. 2、4、7、8、9、11、12、13、14、15、16、17の成長目標の達成に関与しています。

受講者はこの授業を履修することによって、幅広い専門領域における課題の意味を広い歴史観や深い人間観の中で位置付けようとする教養を、身に付けることができるようになります。また、地球規模の環境問題を学習することにより、異質な価値や文化を理解し自国の伝統や文化の意味を再発見する国際感覚を身に付けていることができるようになります。この科目の修得は、本学が定めるディプロマポリシー3と4の達成に関与しています。

さらに、この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的1の達成に関与しています。

この科目の単位修得は電気電子工学科エレクトロニクス・情報通信コースで設定した学習・教育到達目標D1の達成に付随的に関与、ならびに電気電子工学科のディプロマポリシーの2-1の達成に関与している。(電気電子工学科)

この科目の修得は、産業理工学部の定めるディプロマポリシーの2-1の達成に関与しています。(産業理工学部)

■ 成績評価方法および基準

- 小レポート課題及び小テスト（複数回合計＝40点） 40%
- 大レポート課題1（20点） 20%
- 大レポート課題2（20点） 20%
- 大レポート課題3（20点） 20%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

レポートの要点をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■ 教科書

[ISBN]9784339066609 『環境と社会 - 人類が自然と共生するために -』（井田 民男,川村 淳浩,杉浦 公彦 コロナ社：2022）

■ 参考文献

[ISBN]9784339066616 『バイオコクス - 再生可能エネルギー社会の礎となる新しい固体バイオエネルギー -』（井田 民男, コロナ社：2022）

[ISBN]9784121026040 『SDGs（持続可能な開発目標）（中公新書）』（蟹江 憲史, 中央公論新社：2020）

[ISBN]9784759819403 『環境科学入門 第2版: 地球と人類の未来のために』（川合真一郎, 化学同人：2018）

[ISBN]9784782707791 『エネルギーの科学—人類の未来にむけて』（安井伸郎, 三共出版：2018）

[ISBN]9784759815320 『環境倫理入門—地球環境と科学技術の未来を考えるために』（近畿化学協会化学教育研究会, 化学同人：2012）

■ 関連科目

資源とエネルギー、技術と倫理、科学的問題解決法、バイオエネルギー工学、熱力学の基礎、熱力学、鑄造工学、熱流体力学、エネルギー物質科学、水素エネルギー工学、太陽エネルギー工学、バイオエネルギー工学

■ 授業評価アンケート実施方法

学部実施に準拠する。

■ 研究室・メールアドレス

各担当の連絡先は、Classroomにて掲示する。

■ オフィスアワー

メールにて随時受け付ける。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

この講義を履修することにより、人の活動と環境のかかわりを理解する。そして、将来社会人として地球規模の環境から身近で発生する人を取り巻く環境を含め、地球上の動植物の生存に向け多種多様な環境問題について学び、その指標であるSDGsを達成するため世界中の情報の共有化やそれらの改善に取り組む姿勢を養うことを目的としているため、ニュース、新聞等の最新情報をその原因は何かを考え、科学的な解決策を考えながら読んだり、聞いたりしながら社会を学習する。また、この科目は、資源とエネルギー、技術者倫理と大きく関わっているので、その関連性も考えて学習すること。

予習内容：シラバスより「環境と社会」の講義内容の全体像を把握する。

予習時間：60分

復習内容：第1回の講義を聞き、全体像を把握する。

復習時間：60分

第1回 環境と社会を巡って～その1～（授業形式：講義および演習）

予習内容：持続可能な開発目標SDGsを規範について学習する。

予習時間：60分

復習内容：持続可能な開発目標SDGsを規範について再学習する。

復習時間：60分

概要 環境と社会に関する諸問題の解決を目指す科学の講義として位置図ける。世界的な取り組みである「持続可能な開発目標SDGsを規範として、幅広い視野でそれらの現状の理解と改善策に向けた科学の在り方を学習する。

セクション1 環境と社会の目指すところ セクション概要 環境と社会に関連した授業目標、達成目標を理解する。

セクション2 SDGs セクション概要 SDGsに関する環境と社会に関する項目を理解する。

セクション3 科学と文化 セクション概要 科学・文化の始まりについて理解し、持続可能な社会の在り方について理解する。

第2回 環境と社会を巡って～その2～（授業形式：講義および演習）

予習内容：これまで地球上で発生してきた種々の環境問題が社会に及ぼしてきた歴史的な事柄から環境問題について学習する。

予習時間：60分

復習内容：エネルギーと環境の同時解決を図ったCO2リサイクルシステムについて再学習する。

復習時間：60分

概要 環境と社会はエネルギー基盤の上で食糧、人口、経済が入り組んだ複雑な問題を抱えている。特に、人口動態がその鍵を

握っている。ここでは、人口動態予測とエネルギーと環境の同時解決を図ったCO2リサイクルシステム社会、さらに技術の中立性について学習する。

セクション1 人口増加とその予測 セクション概要 世界の人口増加の要因とその予測分析を理解する。

セクション2 CO2リサイクルシステム セクション概要 エネルギーと環境を同時に解決するアイデアと技術開発について学習する。

セクション3 科学と社会 セクション概要 中立な技術開発とその在り方について学習する。

第3回 地球システムを巡って（授業形式：講義および演習）

予習内容：地球システムについて学習する。

予習時間：60分

復習内容：地球システムについて再学習する。

復習時間：60分

概要 サイエンスにおける環境と社会を理解するための地球システムについて学習する。

セクション1 持続可能な再生可能エネルギー セクション概要 持続可能なエネルギーの科学について学習する。

セクション2 再生可能エネルギーの科学1 セクション概要 再生可能エネルギーの科学について学習する。

セクション3 再生可能エネルギーの科学2 セクション概要 エネルギー転換、エクセルギーについて学習する。

第4回 自然に影響を及ぼしている環境問題と社会を巡って（授業形式：講義および演習）

予習内容：環境問題と社会について学習する。

予習時間：60分

復習内容：環境問題と社会について再学習する。

復習時間：60分

概要 自然に影響を及ぼしているエネルギー開発が及ぼす環境への影響と社会について学習する。

セクション1 エネルギーと社会のゆくえ セクション概要 地球の有限性とその行方について学習する。

セクション2 再生可能エネルギーによる自然環境への影響1 セクション概要 風力・洋上エネルギーによる自然環境の現状と課題を学習する。

セクション3 再生可能エネルギーによる自然環境への影響2 セクション概要 バイオエネルギーによる自然環境の現状と課題を学習する。

第5回 生体に影響を及ぼしている環境問題と社会を巡って（授業形式：講義および演習）

予習内容：生体に影響を及ぼしている環境問題と社会について学習する。

予習時間：60分

復習内容：生体に影響を及ぼしている環境問題と社会について再学習する。

復習時間：60分

概要 技術開発が生体に影響を及ぼしている環境問題と社会について学習する。

セクション1 沈黙の春から学ぶ セクション概要 化学物質の自然環境への影響と社会の変貌について学習する。

セクション2 海洋汚染と保全工学 セクション概要 海洋プラスチック、海洋汚染について学習する。

セクション3 放射能汚染と保全工学 セクション概要 放射能汚染と環境保全について学習する。

第6回 地球環境保全に向けた環境と社会を巡って（授業形式：講義および演習）

予習内容：地球環境保全に向けた環境と社会について学習する。

予習時間：60分

復習内容：地球環境保全に向けた環境と社会について再学習する。

復習時間：60分

概要 地球環境保全に向けた環境と社会について学習する。

セクション1 マテリアル循環とエネルギー セクション概要 プラスチック製品等のマテリアル循環とエネルギーについて学習する。

セクション2 環境保全とISO セクション概要 環境保全とISOの意義について学習する。

セクション3 法工学 セクション概要 法工学の必要性和意義について学習する。

第7回 エネルギー資源を取り巻く環境と社会を巡って（授業形式：講義および演習）

予習内容：エネルギー資源を取り巻く環境と社会について学習する。

予習時間：60分

復習内容：エネルギー資源を取り巻く環境と社会について再学習する。

復習時間：60分

概要 エネルギー資源を取り巻く環境と社会について学習する。

セクション1 エネルギー備蓄 セクション概要 持続可能な社会を支えるエネルギー備蓄について学習する。

セクション2 バイオエネルギー セクション概要 持続可能なバイオエネルギーの基礎特性について学習する。

セクション3 核融合エネルギー セクション概要 持続可能な核融合エネルギーの基礎特性について学習する。

第8回 技術開発を取り巻く環境と社会を巡って（授業形式：講義および演習）

予習内容：技術開発を取り巻く環境と社会について学習する。

予習時間：60分

復習内容：技術開発を取り巻く環境と社会について再学習する。

復習時間：60分

概要 技術開発を取り巻く環境と社会について学習する。

セクション1 科学とは セクション概要 科学を根幹から見つめ直し、その必要性と独創性について学習する。

セクション2 地球規模課題対応国際科学技術協力 セクション概要 我が国が取り組むSATREPSを基に科学技術について学習する。

セクション3 ムーンショット型研究開発 セクション概要 我が国が取り組むムーンショットを基に科学技術について学習する。

第9回 環境倫理と技術開発（授業形式：講義および演習）

予習内容：環境倫理について学習する。

予習時間：60分

復習内容：環境倫理について再学習する。

復習時間：60分

概要 環境倫理と技術開発の在り方について学習する。

セクション1 環境哲学 セクション概要 環境哲学の理念とい学問を学習する。

セクション2 環境倫理 セクション概要 環境哲学の理念と学問を学習する。

セクション3 環境倫理と技術開発 セクション概要 環境倫理と技術開発の学問を学習する。

第10回 共生の生態学（授業形式：講義および演習）

予習内容：社会が向かうべき共生の生態学について学習する。

予習時間：60分

復習内容：社会が向かうべき共生の生態学について再学習する。

復習時間：60分

概要 社会が向かうべき共生の生態学について学習する。

セクション1 共生の生態学とは セクション概要 共生の生態学の基礎を学習する。

セクション2 共生システム セクション概要 共生システムの基礎を学習する。

セクション3 共生へ向かって セクション概要 共生の在り方、特に障害者教育について学習する。

第11回 環境保全に向けた社会の在り方（授業形式：講義および演習）

予習内容：エネルギーと環境を取り巻く社会が向かうべく未来の像について学習する。

予習時間：60分

復習内容：エネルギーと環境を取り巻く社会が向かうべく未来の像について再学習する。

復習時間：60分

概要 エネルギーと環境を取り巻く社会が向かうべく未来の像について学習する。

セクション1 持続可能なエネルギー セクション概要 化石エネルギーからバイオエネルギーへのシフトについて学習する。

セクション2 炭素循環 セクション概要 地球システムが有する炭素循環に組み込まれるカーボンニュートラルの概念を学習する。

セクション3 未来自動車 セクション概要 スターリングエンジンについて学習する。

第12回 持続可能な社会形成に向けた取り組み（廃棄物と社会）（授業形式：講義および演習）

予習内容：日常生活、社会活動において廃棄を資源化について学習する。

予習時間：60分

復習内容：日常生活、社会活動において廃棄を資源化について再学習する。

復習時間：60分

概要 日常生活、社会活動において廃棄を資源化することは、重要な課題である。その取り組みについて学習する。

セクション1 廃棄物 セクション概要 廃棄物の現状と課題について学習する。

セクション2 廃棄物処理 セクション概要 廃棄物処理の現状と課題について学習する。

セクション3 廃棄物資源化 セクション概要 廃棄物の資源化の基礎について学習する。特に、食品ロスと汚泥資源の有効活用の取り組みについて学習する。

第13回 持続可能な社会形成に向けた取り組み（水素と社会）（授業形式：講義および演習）

予習内容：水素社会の在り方について学習する。

予習時間：60分

復習内容：水素社会の在り方について再学習する。

復習時間：60分

概要 水素社会の到来は、世界の祈願であり、目指すべく究極の社会基盤であり、その科学について学習する。

セクション1 水素エネルギー セクション概要 水素エネルギーの基礎を学習する。

セクション2 従来型燃料電池 セクション概要 従来型燃料電池の基礎を学習する。

セクション3 新型燃料電池 セクション概要 新型燃料電池の基礎を学習する。

第14回 持続可能な社会形成に向けた取り組み（農業と社会）（授業形式：講義および演習）

予習内容：食糧確保について学習する。

予習時間：60分

復習内容：食糧確保について再学習する。

復習時間：60分

概要 食糧確保は、世界の最大の課題である。食を科学し、その解決策について学習する。

セクション1 農業と気象 セクション概要 農業と気象について学習する。

セクション2 生物環境と農業 セクション概要 温室や植物工場について学習する。

セクション3 農業とエネルギー セクション概要 農業とエネルギーについて学習する。

第15回 持続可能な社会形成に向けた取り組み（バイオエネルギーと社会）（授業形式：講義および演習）

予習内容：バイオマス資源について学習する。

予習時間：60分

復習内容：バイオマス資源について再学習する。

復習時間：60分

概要 持続可能かつ再生可能なエネルギーである次世代固形バイオ燃料であるバイオコークスについて学習する。

セクション1 次世代固形バイオ燃料：バイオコークス セクション概要 次世代固形バイオ燃料：バイオコークスについて学習する。

セクション2 実用化に向けたバイオコークス セクション概要 実用化に向けたバイオコークスについて学習する。

セクション3 長期備蓄型再生可能エネルギー セクション概要 持続可能な長期備蓄型再生可能エネルギーについて学習する。

■ホームページ

近畿大学バイオコークス研究所 <https://www.kindai.ac.jp/bio-coke/>

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 :	環境と社会【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Environment and Society				
担当者 :	水野 諭				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	前期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :	理工応用化学科：学修・教育到達目標（A）に主体的に関与 理工機械工学科：機械工学コース学習・教育目標：A-2, JABEE基準1.2：(a)(b)に関与 理工電気電子通信工学科：学習・教育到達目標D1の達成に付随的に関与 理工社会環境工学科：ディプロマ・ポリシーの(A)、(G)、(I)に主体的に関与、(C)に付随的に関与				

■ 授業概要

地球上において生物は、環境からの影響を受けながら、お互いの相互作用の中で生命活動を営んでいる。この生態系の中にあつて、現代では人間社会の活動が環境に悪影響を及ぼすようになってきた。大気・土壌・水質汚染の問題、衣食住、社会環境の変化など（様々な要因）がこれまで動植物の生命、健康に影響を与えてきた。さらに産業の発展や我々の生活環境の変化は地球温暖化に確実に影響を与えている。2015年9月世界中の政府が合意した国連のSustainable Development Goals(SDGs;持続可能な開発目標)として17のゴールを掲げ、2030年の目標達成に向け動き出している。本講義ではこれら多岐にわたる環境と社会問題を取り上げ、特に最近の社会の環境変化がどのように影響を与えているのかを学び、サイエンスとして幅広い視野でそれらについて学び、持続可能な社会形成に向けた取り組みの在り方や問題意識をもって解決策を学習する。

この授業はコンテンツ作成者の井田民男が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

"地球環境の成り立ちや生態系の基礎知識を学びつつ、人間活動がもたらした環境問題を理解する。さらに、人間が生み出した科学技術が社会や環境に及ぼした影響を理解する。将来に向けて問題意識を持ち、理工学的な視点からの解決策を導くための基盤を作ることを目標とする。さらに、

人の健康、生命の尊さを重んじ、理工の視点から課題の原因と現状について理解を深め、将来に向けて問題意識をもって解決策を提案・発信できるようになることを目標とする

1) 地球規模の課題として、大気汚染、水質、化学物質、最近問題のプラスチックごみの海洋生物への影響などの把握、さらに地球温暖化に伴う気候変動対策の現状や世界の取り組みについて学ぶ。

2) 人を取り巻く社会環境の問題として、都市への人口の集中化、職場環境、危険薬物、衣食住の視点より健康の問題やその改善の取り組みの現状を理解する。

3) 日常生活の中で耳にする機会の多い環境問題についての概要を正しく理解し、自分なりの「持続可能な社会」に対する考えを持つ。

この科目は、SDGsの主にNo. 2、4、7、8、9、11、12、13、14、15、16、17の成長目標の達成に関与しています。

受講者はこの授業を履修することによって、幅広い専門領域における課題の意味を広い歴史観や深い人間観の中で位置付けようとする教養を、身に付けることができるようになります。また、地球規模の環境問題を学習することにより、異質な価値や文化を理解し自国の伝統や文化の意味を再発見する国際感覚を身に付けていることができるようになります。この科目の修得は、本学が定めるディプロマポリシー3と4の達成に関与しています。

さらに、この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的1の達成に関与しています。

この科目の単位修得は電気電子工学科エレクトロニクス・情報通信コースで設定した学習・教育到達目標D1の達成に付随的に関与、ならびに電気電子工学科のディプロマポリシーの2-1の達成に関与している。(電気電子工学科)

この科目の修得は、産業理工学部の定めるディプロマポリシーの2-1の達成に関与しています。(産業理工学部)

■ 成績評価方法および基準

- 小レポート課題及び小テスト（複数回合計＝40点） 40%
- 大レポート課題1（20点） 20%
- 大レポート課題2（20点） 20%
- 大レポート課題3（20点） 20%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

レポートの要点をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■ 教科書

[ISBN]9784339066609 『環境と社会 - 人類が自然と共生するために -』（井田 民男,川村 淳浩,杉浦 公彦 コロナ社：2022）

■ 参考文献

[ISBN]9784339066616 『バイオコクス - 再生可能エネルギー社会の礎となる新しい固体バイオエネルギー -』（井田 民男, コロナ社：2022）

[ISBN]9784121026040 『SDGs（持続可能な開発目標）（中公新書）』（蟹江 憲史, 中央公論新社：2020）

[ISBN]9784759819403 『環境科学入門 第2版: 地球と人類の未来のために』（川合真一郎, 化学同人：2018）

[ISBN]9784782707791 『エネルギーの科学—人類の未来にむけて』（安井伸郎, 三共出版：2018）

[ISBN]9784759815320 『環境倫理入門—地球環境と科学技術の未来を考えるために』（近畿化学協会化学教育研究会, 化学同人：2012）

■ 関連科目

資源とエネルギー、技術と倫理、科学的問題解決法、バイオエネルギー工学、熱力学の基礎、熱力学、鑄造工学、熱流体力学、エネルギー物質科学、水素エネルギー工学、太陽エネルギー工学、バイオエネルギー工学

■ 授業評価アンケート実施方法

学部実施に準拠する。

■ 研究室・メールアドレス

各担当の連絡先は、Classroomにて掲示する。

■ オフィスアワー

メールにて随時受け付ける。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

この講義を履修することにより、人の活動と環境のかかわりを理解する。そして、将来社会人として地球規模の環境から身近で発生する人を取り巻く環境を含め、地球上の動植物の生存に向け多種多様な環境問題について学び、その指標であるSDGsを達成するため世界中の情報の共有化やそれらの改善に取り組む姿勢を養うことを目的としているため、ニュース、新聞等の最新情報をその原因は何かを考え、科学的な解決策を考えながら読んだり、聞いたりしながら社会を学習する。また、この科目は、資源とエネルギー、技術者倫理と大きく関わっているので、その関連性も考えて学習すること。

予習内容：シラバスより「環境と社会」の講義内容の全体像を把握する。

予習時間：60分

復習内容：第1回の講義を聞き、全体像を把握する。

復習時間：60分

第1回 環境と社会を巡って～その1～（授業形式：講義および演習）

予習内容：持続可能な開発目標SDGsを規範について学習する。

予習時間：60分

復習内容：持続可能な開発目標SDGsを規範について再学習する。

復習時間：60分

概要 環境と社会に関する諸問題の解決を目指す科学の講義として位置図ける。世界的な取り組みである「持続可能な開発目標SDGsを規範として、幅広い視野でそれらの現状の理解と改善策に向けた科学の在り方を学習する。

セクション1 環境と社会の目指すところ セクション概要 環境と社会に関連した授業目標、達成目標を理解する。

セクション2 SDGs セクション概要 SDGsに関する環境と社会に関する項目を理解する。

セクション3 科学と文化 セクション概要 科学・文化の始まりについて理解し、持続可能な社会の在り方について理解する。

第2回 環境と社会を巡って～その2～（授業形式：講義および演習）

予習内容：これまで地球上で発生してきた種々の環境問題が社会に及ぼしてきた歴史的な事柄から環境問題について学習する。

予習時間：60分

復習内容：エネルギーと環境の同時解決を図ったCO2リサイクルシステムについて再学習する。

復習時間：60分

概要 環境と社会はエネルギー基盤の上で食糧、人口、経済が入り組んだ複雑な問題を抱えている。特に、人口動態がその鍵を

握っている。ここでは、人口動態予測とエネルギーと環境の同時解決を図ったCO2リサイクルシステム社会、さらに技術の中立性について学習する。

セクション1 人口増加とその予測 セクション概要 世界の人口増加の要因とその予測分析を理解する。

セクション2 CO2リサイクルシステム セクション概要 エネルギーと環境を同時に解決するアイデアと技術開発について学習する。

セクション3 科学と社会 セクション概要 中立な技術開発とその在り方について学習する。

第3回 地球システムを巡って（授業形式：講義および演習）

予習内容：地球システムについて学習する。

予習時間：60分

復習内容：地球システムについて再学習する。

復習時間：60分

概要 サイエンスにおける環境と社会を理解するための地球システムについて学習する。

セクション1 持続可能な再生可能エネルギー セクション概要 持続可能なエネルギーの科学について学習する。

セクション2 再生可能エネルギーの科学1 セクション概要 再生可能エネルギーの科学について学習する。

セクション3 再生可能エネルギーの科学2 セクション概要 エネルギー転換、エクセルギーについて学習する。

第4回 自然に影響を及ぼしている環境問題と社会を巡って（授業形式：講義および演習）

予習内容：環境問題と社会について学習する。

予習時間：60分

復習内容：環境問題と社会について再学習する。

復習時間：60分

概要 自然に影響を及ぼしているエネルギー開発が及ぼす環境への影響と社会について学習する。

セクション1 エネルギーと社会のゆくえ セクション概要 地球の有限性とその行方について学習する。

セクション2 再生可能エネルギーによる自然環境への影響1 セクション概要 風力・洋上エネルギーによる自然環境の現状と課題を学習する。

セクション3 再生可能エネルギーによる自然環境への影響2 セクション概要 バイオエネルギーによる自然環境の現状と課題を学習する。

第5回 生体に影響を及ぼしている環境問題と社会を巡って（授業形式：講義および演習）

予習内容：生体に影響を及ぼしている環境問題と社会について学習する。

予習時間：60分

復習内容：生体に影響を及ぼしている環境問題と社会について再学習する。

復習時間：60分

概要 技術開発が生体に影響を及ぼしている環境問題と社会について学習する。

セクション1 沈黙の春から学ぶ セクション概要 化学物質の自然環境への影響と社会の変貌について学習する。

セクション2 海洋汚染と保全工学 セクション概要 海洋プラスチック、海洋汚染について学習する。

セクション3 放射能汚染と保全工学 セクション概要 放射能汚染と環境保全について学習する。

第6回 地球環境保全に向けた環境と社会を巡って（授業形式：講義および演習）

予習内容：地球環境保全に向けた環境と社会について学習する。

予習時間：60分

復習内容：地球環境保全に向けた環境と社会について再学習する。

復習時間：60分

概要 地球環境保全に向けた環境と社会について学習する。

セクション1 マテリアル循環とエネルギー セクション概要 プラスチック製品等のマテリアル循環とエネルギーについて学習する。

セクション2 環境保全とISO セクション概要 環境保全とISOの意義について学習する。

セクション3 法工学 セクション概要 法工学の必要性和意義について学習する。

第7回 エネルギー資源を取り巻く環境と社会を巡って（授業形式：講義および演習）

予習内容：エネルギー資源を取り巻く環境と社会について学習する。

予習時間：60分

復習内容：エネルギー資源を取り巻く環境と社会について再学習する。

復習時間：60分

概要 エネルギー資源を取り巻く環境と社会について学習する。

セクション1 エネルギー備蓄 セクション概要 持続可能な社会を支えるエネルギー備蓄について学習する。

セクション2 バイオエネルギー セクション概要 持続可能なバイオエネルギーの基礎特性について学習する。

セクション3 核融合エネルギー セクション概要 持続可能な核融合エネルギーの基礎特性について学習する。

第8回 技術開発を取り巻く環境と社会を巡って（授業形式：講義および演習）

予習内容：技術開発を取り巻く環境と社会について学習する。

予習時間：60分

復習内容：技術開発を取り巻く環境と社会について再学習する。

復習時間：60分

概要 技術開発を取り巻く環境と社会について学習する。

セクション1 科学とは セクション概要 科学を根幹から見つめ直し、その必要性と独創性について学習する。

セクション2 地球規模課題対応国際科学技術協力 セクション概要 我が国が取り組むSATREPSを基に科学技術について学習する。

セクション3 ムーンショット型研究開発 セクション概要 我が国が取り組むムーンショットを基に科学技術について学習する。

第9回 環境倫理と技術開発（授業形式：講義および演習）

予習内容：環境倫理について学習する。

予習時間：60分

復習内容：環境倫理について再学習する。

復習時間：60分

概要 環境倫理と技術開発の在り方について学習する。

セクション1 環境哲学 セクション概要 環境哲学の理念とい学問を学習する。

セクション2 環境倫理 セクション概要 環境哲学の理念と学問を学習する。

セクション3 環境倫理と技術開発 セクション概要 環境倫理と技術開発の学問を学習する。

第10回 共生の生態学（授業形式：講義および演習）

予習内容：社会が向かうべき共生の生態学について学習する。

予習時間：60分

復習内容：社会が向かうべき共生の生態学について再学習する。

復習時間：60分

概要 社会が向かうべき共生の生態学について学習する。

セクション1 共生の生態学とは セクション概要 共生の生態学の基礎を学習する。

セクション2 共生システム セクション概要 共生システムの基礎を学習する。

セクション3 共生へ向かって セクション概要 共生の在り方、特に障害者教育について学習する。

第11回 環境保全に向けた社会の在り方（授業形式：講義および演習）

予習内容：エネルギーと環境を取り巻く社会が向かうべく未来の像について学習する。

予習時間：60分

復習内容：エネルギーと環境を取り巻く社会が向かうべく未来の像について再学習する。

復習時間：60分

概要 エネルギーと環境を取り巻く社会が向かうべく未来の像について学習する。

セクション1 持続可能なエネルギー セクション概要 化石エネルギーからバイオエネルギーへのシフトについて学習する。

セクション2 炭素循環 セクション概要 地球システムが有する炭素循環に組み込まれるカーボンニュートラルの概念を学習する。

セクション3 未来自動車 セクション概要 スターリングエンジンについて学習する。

第12回 持続可能な社会形成に向けた取り組み（廃棄物と社会）（授業形式：講義および演習）

予習内容：日常生活、社会活動において廃棄物を資源化について学習する。

予習時間：60分

復習内容：日常生活、社会活動において廃棄物を資源化について再学習する。

復習時間：60分

概要 日常生活、社会活動において廃棄物を資源化することは、重要な課題である。その取り組みについて学習する。

セクション1 廃棄物 セクション概要 廃棄物の現状と課題について学習する。

セクション2 廃棄物処理 セクション概要 廃棄物処理の現状と課題について学習する。

セクション3 廃棄物資源化 セクション概要 廃棄物の資源化の基礎について学習する。特に、食品ロスと汚泥資源の有効活用の取り組みについて学習する。

第13回 持続可能な社会形成に向けた取り組み（水素と社会）（授業形式：講義および演習）

予習内容：水素社会の在り方について学習する。

予習時間：60分

復習内容：水素社会の在り方について再学習する。

復習時間：60分

概要 水素社会の到来は、世界の祈願であり、目指すべく究極の社会基盤であり、その科学について学習する。

セクション1 水素エネルギー セクション概要 水素エネルギーの基礎を学習する。

セクション2 従来型燃料電池 セクション概要 従来型燃料電池の基礎を学習する。

セクション3 新型燃料電池 セクション概要 新型燃料電池の基礎を学習する。

第14回 持続可能な社会形成に向けた取り組み（農業と社会）（授業形式：講義および演習）

予習内容：食糧確保について学習する。

予習時間：60分

復習内容：食糧確保について再学習する。

復習時間：60分

概要 食糧確保は、世界の最大の課題である。食を科学し、その解決策について学習する。

セクション1 農業と気象 セクション概要 農業と気象について学習する。

セクション2 生物環境と農業 セクション概要 温室や植物工場について学習する。

セクション3 農業とエネルギー セクション概要 農業とエネルギーについて学習する。

第15回 持続可能な社会形成に向けた取り組み（バイオエネルギーと社会）（授業形式：講義および演習）

予習内容：バイオマス資源について学習する。

予習時間：60分

復習内容：バイオマス資源について再学習する。

復習時間：60分

概要 持続可能かつ再生可能なエネルギーである次世代固形バイオ燃料であるバイオコークスについて学習する。

セクション1 次世代固形バイオ燃料：バイオコークス セクション概要 次世代固形バイオ燃料：バイオコークスについて学習する。

セクション2 実用化に向けたバイオコークス セクション概要 実用化に向けたバイオコークスについて学習する。

セクション3 長期備蓄型再生可能エネルギー セクション概要 持続可能な長期備蓄型再生可能エネルギーについて学習する。

■ホームページ

近畿大学バイオコークス研究所 <https://www.kindai.ac.jp/bio-coke/>

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 :	環境と社会【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Environment and Society				
担当者 :	山本 純之				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	前期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :	理工応用化学科：学修・教育到達目標（A）に主体的に関与 理工機械工学科：機械工学コース学習・教育目標：A-2, JABEE基準1.2：(a)(b)に関与 理工電気電子通信工学科：学習・教育到達目標D1の達成に付随的に関与 理工社会環境工学科：ディプロマ・ポリシーの(A)、(G)、(I)に主体的に関与、(C)に付随的に関与				

■ 授業概要

地球上において生物は、環境からの影響を受けながら、お互いの相互作用の中で生命活動を営んでいる。この生態系の中にあつて、現代では人間社会の活動が環境に悪影響を及ぼすようになってきた。大気・土壌・水質汚染の問題、衣食住、社会環境の変化など（様々な要因）がこれまで動植物の生命、健康に影響を与えてきた。さらに産業の発展や我々の生活環境の変化は地球温暖化に確実に影響を与えている。2015年9月世界中の政府が合意した国連のSustainable Development Goals(SDGs;持続可能な開発目標)として17のゴールを掲げ、2030年の目標達成に向け動き出している。本講義ではこれら多岐にわたる環境と社会問題を取り上げ、特に最近の社会の環境変化がどのように影響を与えているのかを学び、サイエンスとして幅広い視野でそれらについて学び、持続可能な社会形成に向けた取り組みの在り方や問題意識をもって解決策を学習する。

この授業はコンテンツ作成者の井田民男が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

"地球環境の成り立ちや生態系の基礎知識を学びつつ、人間活動がもたらした環境問題を理解する。さらに、人間が生み出した科学技術が社会や環境に及ぼした影響を理解する。将来に向けて問題意識を持ち、理工学的な視点からの解決策を導くための基盤を作ることを目標とする。さらに、

人の健康、生命の尊さを重んじ、理工の視点から課題の原因と現状について理解を深め、将来に向けて問題意識をもって解決策を提案・発信できるようになることを目標とする

1) 地球規模の課題として、大気汚染、水質、化学物質、最近問題のプラスチックごみの海洋生物への影響などの把握、さらに地球温暖化に伴う気候変動対策の現状や世界の取り組みについて学ぶ。

2) 人を取り巻く社会環境の問題として、都市への人口の集中化、職場環境、危険薬物、衣食住の視点より健康の問題やその改善の取り組みの現状を理解する。

3) 日常生活の中で耳にする機会の多い環境問題についての概要を正しく理解し、自分なりの「持続可能な社会」に対する考えを持つ。

この科目は、SDGsの主にNo. 2、4、7、8、9、11、12、13、14、15、16、17の成長目標の達成に関与しています。

受講者はこの授業を履修することによって、幅広い専門領域における課題の意味を広い歴史観や深い人間観の中で位置付けようとする教養を、身に付けることができるようになります。また、地球規模の環境問題を学習することにより、異質な価値や文化を理解し自国の伝統や文化の意味を再発見する国際感覚を身に付けていることができるようになります。この科目の修得は、本学が定めるディプロマポリシー3と4の達成に関与しています。

さらに、この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的1の達成に関与しています。

この科目の単位修得は電気電子工学科エレクトロニクス・情報通信コースで設定した学習・教育到達目標D1の達成に付随的に関与、ならびに電気電子工学科のディプロマポリシーの2-1の達成に関与している。(電気電子工学科)

この科目の修得は、産業理工学部の定めるディプロマポリシーの2-1の達成に関与しています。(産業理工学部)

■ 成績評価方法および基準

小レポート課題及び小テスト（複数回合計＝40点） 40%
大レポート課題1（20点） 20%
大レポート課題2（20点） 20%
大レポート課題3（20点） 20%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

レポートの要点をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■ 教科書

[ISBN]9784339066609 『環境と社会 - 人類が自然と共生するために -』（井田 民男,川村 淳浩,杉浦 公彦 コロナ社：2022）

■ 参考文献

[ISBN]9784339066616 『バイオコークス - 再生可能エネルギー社会の礎となる新しい固体バイオエネルギー -』（井田 民男, コロナ社：2022）

[ISBN]9784121026040 『SDGs（持続可能な開発目標）（中公新書）』（蟹江 憲史, 中央公論新社：2020）

[ISBN]9784759819403 『環境科学入門 第2版: 地球と人類の未来のために』（川合真一郎, 化学同人：2018）

[ISBN]9784782707791 『エネルギーの科学—人類の未来にむけて』（安井伸郎, 三共出版：2018）

[ISBN]9784759815320 『環境倫理入門—地球環境と科学技術の未来を考えるために』（近畿化学協会化学教育研究会, 化学同人：2012）

■ 関連科目

資源とエネルギー、技術と倫理、科学的問題解決法、バイオエネルギー工学、熱力学の基礎、熱力学、鑄造工学、熱流体力学、エネルギー物質科学、水素エネルギー工学、太陽エネルギー工学、バイオエネルギー工学

■ 授業評価アンケート実施方法

学部実施に準拠する。

■ 研究室・メールアドレス

各担当者の連絡先は、Classroomにて掲示する。

■ オフィスアワー

メールにて随時受け付ける。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

この講義を履修することにより、人の活動と環境のかかわりを理解する。そして、将来社会人として地球規模の環境から身近で発生する人を取り巻く環境を含め、地球上の動植物の生存に向け多種多様な環境問題について学び、その指標であるSDGsを達成するため世界中の情報の共有化やそれらの改善に取り組む姿勢を養うことを目的としているため、ニュース、新聞等の最新情報をその原因は何かを考え、科学的な解決策を考えながら読んだり、聞いたりしながら社会を学習する。また、この科目は、資源とエネルギー、技術者倫理と大きく関わっているため、その関連性も考えて学習すること。

予習内容：シラバスより「環境と社会」の講義内容の全体像を把握する。

予習時間：60分

復習内容：第1回の講義を聞き、全体像を把握する。

復習時間：60分

第1回 環境と社会を巡って～その1～（授業形式：講義および演習）

予習内容：持続可能な開発目標SDGsを規範について学習する。

予習時間：60分

復習内容：持続可能な開発目標SDGsを規範について再学習する。

復習時間：60分

概要 環境と社会に関する諸問題の解決を目指す科学の講義として位置図ける。世界的な取り組みである「持続可能な開発目標SDGsを規範として、幅広い視野でそれらの現状の理解と改善策に向けた科学の在り方を学習する。

セクション1 環境と社会の目指すところ セクション概要 環境と社会に関連した授業目標、達成目標を理解する。

セクション2 SDGs セクション概要 SDGsに関する環境と社会に関する項目を理解する。

セクション3 科学と文化 セクション概要 科学・文化の始まりについて理解し、持続可能な社会の在り方について理解する。

第2回 環境と社会を巡って～その2～（授業形式：講義および演習）

予習内容：これまで地球上で発生してきた種々の環境問題が社会に及ぼしてきた歴史的な事柄から環境問題について学習する。

予習時間：60分

復習内容：エネルギーと環境の同時解決を図ったCO2リサイクルシステムについて再学習する。

復習時間：60分

概要 環境と社会はエネルギー基盤の上で食糧、人口、経済が入り組んだ複雑な問題を抱えている。特に、人口動態がその鍵を

握っている。ここでは、人口動態予測とエネルギーと環境の同時解決を図ったCO2リサイクルシステム社会、さらに技術の中立性について学習する。

セクション1 人口増加とその予測 セクション概要 世界の人口増加の要因とその予測分析を理解する。

セクション2 CO2リサイクルシステム セクション概要 エネルギーと環境を同時に解決するアイデアと技術開発について学習する。

セクション3 科学と社会 セクション概要 中立な技術開発とその在り方について学習する。

第3回 地球システムを巡って（授業形式：講義および演習）

予習内容：地球システムについて学習する。

予習時間：60分

復習内容：地球システムについて再学習する。

復習時間：60分

概要 サイエンスにおける環境と社会を理解するための地球システムについて学習する。

セクション1 持続可能な再生可能エネルギー セクション概要 持続可能なエネルギーの科学について学習する。

セクション2 再生可能エネルギーの科学1 セクション概要 再生可能エネルギーの科学について学習する。

セクション3 再生可能エネルギーの科学2 セクション概要 エネルギー転換、エクセルギーについて学習する。

第4回 自然に影響を及ぼしている環境問題と社会を巡って（授業形式：講義および演習）

予習内容：環境問題と社会について学習する。

予習時間：60分

復習内容：環境問題と社会について再学習する。

復習時間：60分

概要 自然に影響を及ぼしているエネルギー開発が及ぼす環境への影響と社会について学習する。

セクション1 エネルギーと社会のゆくえ セクション概要 地球の有限性とその行方について学習する。

セクション2 再生可能エネルギーによる自然環境への影響1 セクション概要 風力・洋上エネルギーによる自然環境の現状と課題を学習する。

セクション3 再生可能エネルギーによる自然環境への影響2 セクション概要 バイオエネルギーによる自然環境の現状と課題を学習する。

第5回 生体に影響を及ぼしている環境問題と社会を巡って（授業形式：講義および演習）

予習内容：生体に影響を及ぼしている環境問題と社会について学習する。

予習時間：60分

復習内容：生体に影響を及ぼしている環境問題と社会について再学習する。

復習時間：60分

概要 技術開発が生体に影響を及ぼしている環境問題と社会について学習する。

セクション1 沈黙の春から学ぶ セクション概要 化学物質の自然環境への影響と社会の変貌について学習する。

セクション2 海洋汚染と保全工学 セクション概要 海洋プラスチック、海洋汚染について学習する。

セクション3 放射能汚染と保全工学 セクション概要 放射能汚染と環境保全について学習する。

第6回 地球環境保全に向けた環境と社会を巡って（授業形式：講義および演習）

予習内容：地球環境保全に向けた環境と社会について学習する。

予習時間：60分

復習内容：地球環境保全に向けた環境と社会について再学習する。

復習時間：60分

概要 地球環境保全に向けた環境と社会について学習する。

セクション1 マテリアル循環とエネルギー セクション概要 プラスチック製品等のマテリアル循環とエネルギーについて学習する。

セクション2 環境保全とISO セクション概要 環境保全とISOの意義について学習する。

セクション3 法工学 セクション概要 法工学の必要性和意義について学習する。

第7回 エネルギー資源を取り巻く環境と社会を巡って（授業形式：講義および演習）

予習内容：エネルギー資源を取り巻く環境と社会について学習する。

予習時間：60分

復習内容：エネルギー資源を取り巻く環境と社会について再学習する。

復習時間：60分

概要 エネルギー資源を取り巻く環境と社会について学習する。

セクション1 エネルギー備蓄 セクション概要 持続可能な社会を支えるエネルギー備蓄について学習する。

セクション2 バイオエネルギー セクション概要 持続可能なバイオエネルギーの基礎特性について学習する。

セクション3 核融合エネルギー セクション概要 持続可能な核融合エネルギーの基礎特性について学習する。

第8回 技術開発を取り巻く環境と社会を巡って（授業形式：講義および演習）

予習内容：技術開発を取り巻く環境と社会について学習する。

予習時間：60分

復習内容：技術開発を取り巻く環境と社会について再学習する。

復習時間：60分

概要 技術開発を取り巻く環境と社会について学習する。

セクション1 科学とは セクション概要 科学を根幹から見つめ直し、その必要性と独創性について学習する。

セクション2 地球規模課題対応国際科学技術協力 セクション概要 我が国が取り組むSATREPSを基に科学技術について学習する。

セクション3 ムーンショット型研究開発 セクション概要 我が国が取り組むムーンショットを基に科学技術について学習する。

第9回 環境倫理と技術開発（授業形式：講義および演習）

予習内容：環境倫理について学習する。

予習時間：60分

復習内容：環境倫理について再学習する。

復習時間：60分

概要 環境倫理と技術開発の在り方について学習する。

セクション1 環境哲学 セクション概要 環境哲学の理念とい学問を学習する。

セクション2 環境倫理 セクション概要 環境哲学の理念を学習する。

セクション3 環境倫理と技術開発 セクション概要 環境倫理と技術開発の学問を学習する。

第10回 共生の生態学（授業形式：講義および演習）

予習内容：社会が向かうべき共生の生態学について学習する。

予習時間：60分

復習内容：社会が向かうべき共生の生態学について再学習する。

復習時間：60分

概要 社会が向かうべき共生の生態学について学習する。

セクション1 共生の生態学とは セクション概要 共生の生態学の基礎を学習する。

セクション2 共生システム セクション概要 共生システムの基礎を学習する。

セクション3 共生へ向かって セクション概要 共生の在り方、特に障害者教育について学習する。

第11回 環境保全に向けた社会の在り方（授業形式：講義および演習）

予習内容：エネルギーと環境を取り巻く社会が向かうべく未来の像について学習する。

予習時間：60分

復習内容：エネルギーと環境を取り巻く社会が向かうべく未来の像について再学習する。

復習時間：60分

概要 エネルギーと環境を取り巻く社会が向かうべく未来の像について学習する。

セクション1 持続可能なエネルギー セクション概要 化石エネルギーからバイオエネルギーへのシフトについて学習する。

セクション2 炭素循環 セクション概要 地球システムが有する炭素循環に組み込まれるカーボンニュートラルの概念を学習する。

セクション3 未来自動車 セクション概要 スターリングエンジンについて学習する。

第12回 持続可能な社会形成に向けた取り組み（廃棄物と社会）（授業形式：講義および演習）

予習内容：日常生活、社会活動において廃棄物を資源化について学習する。

予習時間：60分

復習内容：日常生活、社会活動において廃棄物を資源化について再学習する。

復習時間：60分

概要 日常生活、社会活動において廃棄物を資源化することは、重要な課題である。その取り組みについて学習する。

セクション1 廃棄物 セクション概要 廃棄物の現状と課題について学習する。

セクション2 廃棄物処理 セクション概要 廃棄物処理の現状と課題について学習する。

セクション3 廃棄物資源化 セクション概要 廃棄物の資源化の基礎について学習する。特に、食品ロスと汚泥資源の有効活用の取り組みについて学習する。

第13回 持続可能な社会形成に向けた取り組み（水素と社会）（授業形式：講義および演習）

予習内容：水素社会の在り方について学習する。

予習時間：60分

復習内容：水素社会の在り方について再学習する。

復習時間：60分

概要 水素社会の到来は、世界の祈願であり、目指すべく究極の社会基盤であり、その科学について学習する。

セクション1 水素エネルギー セクション概要 水素エネルギーの基礎を学習する。

セクション2 従来型燃料電池 セクション概要 従来型燃料電池の基礎を学習する。

セクション3 新型燃料電池 セクション概要 新型燃料電池の基礎を学習する。

第14回 持続可能な社会形成に向けた取り組み（農業と社会）（授業形式：講義および演習）

予習内容：食糧確保について学習する。

予習時間：60分

復習内容：食糧確保について再学習する。

復習時間：60分

概要 食糧確保は、世界の最大の課題である。食を科学し、その解決策について学習する。

セクション1 農業と気象 セクション概要 農業と気象について学習する。

セクション2 生物環境と農業 セクション概要 温室や植物工場について学習する。

セクション3 農業とエネルギー セクション概要 農業とエネルギーについて学習する。

第15回 持続可能な社会形成に向けた取り組み（バイオエネルギーと社会）（授業形式：講義および演習）

予習内容：バイオマス資源について学習する。

予習時間：60分

復習内容：バイオマス資源について再学習する。

復習時間：60分

概要 持続可能かつ再生可能なエネルギーである次世代固形バイオ燃料であるバイオコークスについて学習する。

セクション1 次世代固形バイオ燃料：バイオコークス セクション概要 次世代固形バイオ燃料：バイオコークスについて学習する。

セクション2 実用化に向けたバイオコークス セクション概要 実用化に向けたバイオコークスについて学習する。

セクション3 長期備蓄型再生可能エネルギー セクション概要 持続可能な長期備蓄型再生可能エネルギーについて学習する。

■ホームページ

近畿大学バイオコークス研究所 <https://www.kindai.ac.jp/bio-coke/>

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 :	環境と社会【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Environment and Society				
担当者 :	富田 義弘				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :	理工応用化学科：学修・教育到達目標（A）に主体的に関与 理工機械工学科：機械工学コース学習・教育目標：A-2, JABEE基準1.2：(a)(b)に関与 理工電気電子通信工学科：学習・教育到達目標D1の達成に付随的に関与 理工社会環境工学科：ディプロマ・ポリシーの(A)、(G)、(I)に主体的に関与、(C)に付随的に関与				

■ 授業概要

地球上において生物は、環境からの影響を受けながら、お互いの相互作用の中で生命活動を営んでいる。この生態系の中であって、現代では人間社会の活動が環境に悪影響を及ぼすようになってきた。大気・土壌・水質汚染の問題、衣食住、社会環境の変化など（様々な要因）がこれまで動植物の生命、健康に影響を与えてきた。さらに産業の発展や我々の生活環境の変化は地球温暖化に確実に影響を与えている。2015年9月世界中の政府が合意した国連のSustainable Development Goals(SDGs;持続可能な開発目標)として17のゴールを掲げ、2030年の目標達成に向け動き出している。本講義ではこれら多岐にわたる環境と社会問題を取り上げ、特に最近の社会の環境変化がどのように影響を与えているのかを学び、サイエンスとして幅広い視野でそれらについて学び、持続可能な社会形成に向けた取り組みの在り方や問題意識をもって解決策を学習する。

この授業はコンテンツ作成者の井田民男が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

"地球環境の成り立ちや生態系の基礎知識を学びつつ、人間活動がもたらした環境問題を理解する。さらに、人間が生み出した科学技術が社会や環境に及ぼした影響を理解する。将来に向けて問題意識を持ち、理工学的な視点からの解決策を導くための基盤を作ることを目標とする。さらに、

人の健康、生命の尊さを重んじ、理工の視点から課題の原因と現状について理解を深め、将来に向けて問題意識をもって解決策を提案・発信できるようになることを目標とする

1) 地球規模の課題として、大気汚染、水質、化学物質、最近問題のプラスチックごみの海洋生物への影響などの把握、さらに地球温暖化に伴う気候変動対策の現状や世界の取り組みについて学ぶ。

2) 人を取り巻く社会環境の問題として、都市への人口の集中化、職場環境、危険薬物、衣食住の視点より健康の問題やその改善の取り組みの現状を理解する。

3) 日常生活の中で耳にする機会の多い環境問題についての概要を正しく理解し、自分なりの「持続可能な社会」に対する考えを持つ。

この科目は、SDGsの主にNo. 2、4、7、8、9、11、12、13、14、15、16、17の成長目標の達成に関与しています。

受講者はこの授業を履修することによって、幅広い専門領域における課題の意味を広い歴史観や深い人間観の中で位置付けようとする教養を、身に付けることができるようになります。また、地球規模の環境問題を学習することにより、異質な価値や文化を理解し自国の伝統や文化の意味を再発見する国際感覚を身に付けていることができるようになります。この科目の修得は、本学が定めるディプロマポリシー3と4の達成に関与しています。

さらに、この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的1の達成に関与しています。

この科目の単位修得は電気電子工学科エレクトロニクス・情報通信コースで設定した学習・教育到達目標D1の達成に付随的に関与、ならびに電気電子工学科のディプロマポリシーの2-1の達成に関与している。(電気電子工学科)

この科目の修得は、産業理工学部の定めるディプロマポリシーの2-1の達成に関与しています。(産業理工学部)

■ 成績評価方法および基準

小レポート課題及び小テスト（複数回合計＝40点） 40%

大レポート課題1（20点） 20%

大レポート課題2（20点） 20%

大レポート課題3（20点） 20%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

レポートの要点をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■ 教科書

[ISBN]9784339066609 『環境と社会 - 人類が自然と共生するために -』（井田 民男,川村 淳浩,杉浦 公彦 コロナ社：2022）

■ 参考文献

[ISBN]9784339066616 『バイオコークス - 再生可能エネルギー社会の礎となる新しい固体バイオエネルギー -』（井田 民男, コロナ社：2022）

[ISBN]9784121026040 『SDGs（持続可能な開発目標）（中公新書）』（蟹江 憲史, 中央公論新社：2020）

[ISBN]9784759819403 『環境科学入門 第2版: 地球と人類の未来のために』（川合真一郎, 化学同人：2018）

[ISBN]9784782707791 『エネルギーの科学—人類の未来にむけて』（安井伸郎, 三共出版：2018）

[ISBN]9784759815320 『環境倫理入門—地球環境と科学技術の未来を考えるために』（近畿化学協会化学教育研究会, 化学同人：2012）

■ 関連科目

資源とエネルギー、技術と倫理、科学的問題解決法、バイオエネルギー工学、熱力学の基礎、熱力学、鑄造工学、熱流体力学、エネルギー物質科学、水素エネルギー工学、太陽エネルギー工学、バイオエネルギー工学

■ 授業評価アンケート実施方法

学部実施に準拠する。

■ 研究室・メールアドレス

各担当者の連絡先は、Classroomにて掲示する。

■ オフィスアワー

メールにて随時受け付ける。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

この講義を履修することにより、人の活動と環境のかかわりを理解する。そして、将来社会人として地球規模の環境から身近で発生する人を取り巻く環境を含め、地球上の動植物の生存に向け多種多様な環境問題について学び、その指標であるSDGsを達成するため世界中の情報の共有化やそれらの改善に取り組む姿勢を養うことを目的としているため、ニュース、新聞等の最新情報をその原因は何かを考え、科学的な解決策を考えながら読んだり、聞いたりしながら社会を学習する。また、この科目は、資源とエネルギー、技術者倫理と大きく関わっているので、その関連性も考えて学習すること。

予習内容：シラバスより「環境と社会」の講義内容の全体像を把握する。

予習時間：60分

復習内容：第1回の講義を聞き、全体像を把握する。

復習時間：60分

第1回 環境と社会を巡って～その1～（授業形式：講義および演習）

予習内容：持続可能な開発目標SDGsを規範について学習する。

予習時間：60分

復習内容：持続可能な開発目標SDGsを規範について再学習する。

復習時間：60分

概要 環境と社会に関する諸問題の解決を目指す科学の講義として位置図ける。世界的な取り組みである「持続可能な開発目標SDGsを規範として、幅広い視野でそれらの現状の理解と改善策に向けた科学の在り方を学習する。

セクション1 環境と社会の目指すところ セクション概要 環境と社会に関連した授業目標、達成目標を理解する。

セクション2 SDGs セクション概要 SDGsに関する環境と社会に関する項目を理解する。

セクション3 科学と文化 セクション概要 科学・文化の始まりについて理解し、持続可能な社会の在り方について理解する。

第2回 環境と社会を巡って～その2～（授業形式：講義および演習）

予習内容：これまで地球上で発生してきた種々の環境問題が社会に及ぼしてきた歴史的な事柄から環境問題について学習する。

予習時間：60分

復習内容：エネルギーと環境の同時解決を図ったCO2リサイクルシステムについて再学習する。

復習時間：60分

概要 環境と社会はエネルギー基盤の上で食糧、人口、経済が入り組んだ複雑な問題を抱えている。特に、人口動態がその鍵を

握っている。ここでは、人口動態予測とエネルギーと環境の同時解決を図ったCO2リサイクルシステム社会、さらに技術の中立性について学習する。

セクション1 人口増加とその予測 セクション概要 世界の人口増加の要因とその予測分析を理解する。

セクション2 CO2リサイクルシステム セクション概要 エネルギーと環境を同時に解決するアイデアと技術開発について学習する。

セクション3 科学と社会 セクション概要 中立な技術開発とその在り方について学習する。

第3回 地球システムを巡って（授業形式：講義および演習）

予習内容：地球システムについて学習する。

予習時間：60分

復習内容：地球システムについて再学習する。

復習時間：60分

概要 サイエンスにおける環境と社会を理解するための地球システムについて学習する。

セクション1 持続可能な再生可能エネルギー セクション概要 持続可能なエネルギーの科学について学習する。

セクション2 再生可能エネルギーの科学1 セクション概要 再生可能エネルギーの科学について学習する。

セクション3 再生可能エネルギーの科学2 セクション概要 エネルギー転換、エクセルギーについて学習する。

第4回 自然に影響を及ぼしている環境問題と社会を巡って（授業形式：講義および演習）

予習内容：環境問題と社会について学習する。

予習時間：60分

復習内容：環境問題と社会について再学習する。

復習時間：60分

概要 自然に影響を及ぼしているエネルギー開発が及ぼす環境への影響と社会について学習する。

セクション1 エネルギーと社会のゆくえ セクション概要 地球の有限性とその行方について学習する。

セクション2 再生可能エネルギーによる自然環境への影響1 セクション概要 風力・洋上エネルギーによる自然環境の現状と課題を学習する。

セクション3 再生可能エネルギーによる自然環境への影響2 セクション概要 バイオエネルギーによる自然環境の現状と課題を学習する。

第5回 生体に影響を及ぼしている環境問題と社会を巡って（授業形式：講義および演習）

予習内容：生体に影響を及ぼしている環境問題と社会について学習する。

予習時間：60分

復習内容：生体に影響を及ぼしている環境問題と社会について再学習する。

復習時間：60分

概要 技術開発が生体に影響を及ぼしている環境問題と社会について学習する。

セクション1 沈黙の春から学ぶ セクション概要 化学物質の自然環境への影響と社会の変貌について学習する。

セクション2 海洋汚染と保全工学 セクション概要 海洋プラスチック、海洋汚染について学習する。

セクション3 放射能汚染と保全工学 セクション概要 放射能汚染と環境保全について学習する。

第6回 地球環境保全に向けた環境と社会を巡って（授業形式：講義および演習）

予習内容：地球環境保全に向けた環境と社会について学習する。

予習時間：60分

復習内容：地球環境保全に向けた環境と社会について再学習する。

復習時間：60分

概要 地球環境保全に向けた環境と社会について学習する。

セクション1 マテリアル循環とエネルギー セクション概要 プラスチック製品等のマテリアル循環とエネルギーについて学習する。

セクション2 環境保全とISO セクション概要 環境保全とISOの意義について学習する。

セクション3 法工学 セクション概要 法工学の必要性和意義について学習する。

第7回 エネルギー資源を取り巻く環境と社会を巡って（授業形式：講義および演習）

予習内容：エネルギー資源を取り巻く環境と社会について学習する。

予習時間：60分

復習内容：エネルギー資源を取り巻く環境と社会について再学習する。

復習時間：60分

概要 エネルギー資源を取り巻く環境と社会について学習する。

セクション1 エネルギー備蓄 セクション概要 持続可能な社会を支えるエネルギー備蓄について学習する。

セクション2 バイオエネルギー セクション概要 持続可能なバイオエネルギーの基礎特性について学習する。

セクション3 核融合エネルギー セクション概要 持続可能な核融合エネルギーの基礎特性について学習する。

第8回 技術開発を取り巻く環境と社会を巡って（授業形式：講義および演習）

予習内容：技術開発を取り巻く環境と社会について学習する。

予習時間：60分

復習内容：技術開発を取り巻く環境と社会について再学習する。

復習時間：60分

概要 技術開発を取り巻く環境と社会について学習する。

セクション1 科学とは セクション概要 科学を根幹から見つめ直し、その必要性と独創性について学習する。

セクション2 地球規模課題対応国際科学技術協力 セクション概要 我が国が取り組むSATREPSを基に科学技術について学習する。

セクション3 ムーンショット型研究開発 セクション概要 我が国が取り組むムーンショットを基に科学技術について学習する。

第9回 環境倫理と技術開発（授業形式：講義および演習）

予習内容：環境倫理について学習する。

予習時間：60分

復習内容：環境倫理について再学習する。

復習時間：60分

概要 環境倫理と技術開発の在り方について学習する。

セクション1 環境哲学 セクション概要 環境哲学の理念とい学問を学習する。

セクション2 環境倫理 セクション概要 環境哲学の理念を学習する。

セクション3 環境倫理と技術開発 セクション概要 環境倫理と技術開発の学問を学習する。

第10回 共生の生態学（授業形式：講義および演習）

予習内容：社会が向かうべき共生の生態学について学習する。

予習時間：60分

復習内容：社会が向かうべき共生の生態学について再学習する。

復習時間：60分

概要 社会が向かうべき共生の生態学について学習する。

セクション1 共生の生態学とは セクション概要 共生の生態学の基礎を学習する。

セクション2 共生システム セクション概要 共生システムの基礎を学習する。

セクション3 共生へ向かって セクション概要 共生の在り方、特に障害者教育について学習する。

第11回 環境保全に向けた社会の在り方（授業形式：講義および演習）

予習内容：エネルギーと環境を取り巻く社会が向かうべく未来の像について学習する。

予習時間：60分

復習内容：エネルギーと環境を取り巻く社会が向かうべく未来の像について再学習する。

復習時間：60分

概要 エネルギーと環境を取り巻く社会が向かうべく未来の像について学習する。

セクション1 持続可能なエネルギー セクション概要 化石エネルギーからバイオエネルギーへのシフトについて学習する。

セクション2 炭素循環 セクション概要 地球システムが有する炭素循環に組み込まれるカーボンニュートラルの概念を学習する。

セクション3 未来自動車 セクション概要 スターリングエンジンについて学習する。

第12回 持続可能な社会形成に向けた取り組み（廃棄物と社会）（授業形式：講義および演習）

予習内容：日常生活、社会活動において廃棄を資源化について学習する。

予習時間：60分

復習内容：日常生活、社会活動において廃棄を資源化について再学習する。

復習時間：60分

概要 日常生活、社会活動において廃棄を資源化することは、重要な課題である。その取り組みについて学習する。

セクション1 廃棄物 セクション概要 廃棄物の現状と課題について学習する。

セクション2 廃棄物処理 セクション概要 廃棄物処理の現状と課題について学習する。

セクション3 廃棄物資源化 セクション概要 廃棄物の資源化の基礎について学習する。特に、食品ロスと汚泥資源の有効活用の取り組みについて学習する。

第13回 持続可能な社会形成に向けた取り組み（水素と社会）（授業形式：講義および演習）

予習内容：水素社会の在り方について学習する。

予習時間：60分

復習内容：水素社会の在り方について再学習する。

復習時間：60分

概要 水素社会の到来は、世界の祈願であり、目指すべく究極の社会基盤であり、その科学について学習する。

セクション1 水素エネルギー セクション概要 水素エネルギーの基礎を学習する。

セクション2 従来型燃料電池 セクション概要 従来型燃料電池の基礎を学習する。

セクション3 新型燃料電池 セクション概要 新型燃料電池の基礎を学習する。

第14回 持続可能な社会形成に向けた取り組み（農業と社会）（授業形式：講義および演習）

予習内容：食糧確保について学習する。

予習時間：60分

復習内容：食糧確保について再学習する。

復習時間：60分

概要 食糧確保は、世界の最大の課題である。食を科学し、その解決策について学習する。

セクション1 農業と気象 セクション概要 農業と気象について学習する。

セクション2 生物環境と農業 セクション概要 温室や植物工場について学習する。

セクション3 農業とエネルギー セクション概要 農業とエネルギーについて学習する。

第15回 持続可能な社会形成に向けた取り組み（バイオエネルギーと社会）（授業形式：講義および演習）

予習内容：バイオマス資源について学習する。

予習時間：60分

復習内容：バイオマス資源について再学習する。

復習時間：60分

概要 持続可能かつ再生可能なエネルギーである次世代固形バイオ燃料であるバイオコークスについて学習する。

セクション1 次世代固形バイオ燃料：バイオコークス セクション概要 次世代固形バイオ燃料：バイオコークスについて学習する。

セクション2 実用化に向けたバイオコークス セクション概要 実用化に向けたバイオコークスについて学習する。

セクション3 長期備蓄型再生可能エネルギー セクション概要 持続可能な長期備蓄型再生可能エネルギーについて学習する。

■ホームページ

近畿大学バイオコークス研究所 <https://www.kindai.ac.jp/bio-coke/>

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 :	環境と社会【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Environment and Society				
担当者 :	水野 諭				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :	理工応用化学科：学修・教育到達目標（A）に主体的に関与 理工機械工学科：機械工学コース学習・教育目標：A-2, JABEE基準1.2：(a)(b)に関与 理工電気電子通信工学科：学習・教育到達目標D1の達成に付随的に関与 理工社会環境工学科：ディプロマ・ポリシーの(A)、(G)、(I)に主体的に関与、(C)に付随的に関与				

■ 授業概要

地球上において生物は、環境からの影響を受けながら、お互いの相互作用の中で生命活動を営んでいる。この生態系の中にあつて、現代では人間社会の活動が環境に悪影響を及ぼすようになってきた。大気・土壌・水質汚染の問題、衣食住、社会環境の変化など（様々な要因）がこれまで動植物の生命、健康に影響を与えてきた。さらに産業の発展や我々の生活環境の変化は地球温暖化に確実に影響を与えている。2015年9月世界中の政府が合意した国連のSustainable Development Goals(SDGs;持続可能な開発目標)として17のゴールを掲げ、2030年の目標達成に向け動き出している。本講義ではこれら多岐にわたる環境と社会問題を取り上げ、特に最近の社会の環境変化がどのように影響を与えているのかを学び、サイエンスとして幅広い視野でそれらについて学び、持続可能な社会形成に向けた取り組みの在り方や問題意識をもって解決策を学習する。

この授業はコンテンツ作成者の井田民男が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

"地球環境の成り立ちや生態系の基礎知識を学びつつ、人間活動がもたらした環境問題を理解する。さらに、人間が生み出した科学技術が社会や環境に及ぼした影響を理解する。将来に向けて問題意識を持ち、理工学的な視点からの解決策を導くための基盤を作ることを目標とする。さらに、

人の健康、生命の尊さを重んじ、理工の視点から課題の原因と現状について理解を深め、将来に向けて問題意識をもって解決策を提案・発信できるようになることを目標とする

1) 地球規模の課題として、大気汚染、水質、化学物質、最近問題のプラスチックごみの海洋生物への影響などの把握、さらに地球温暖化に伴う気候変動対策の現状や世界の取り組みについて学ぶ。

2) 人を取り巻く社会環境の問題として、都市への人口の集中化、職場環境、危険薬物、衣食住の視点より健康の問題やその改善の取り組みの現状を理解する。

3) 日常生活の中で耳にする機会の多い環境問題についての概要を正しく理解し、自分なりの「持続可能な社会」に対する考えを持つ。

この科目は、SDGsの主にNo. 2、4、7、8、9、11、12、13、14、15、16、17の成長目標の達成に関与しています。

受講者はこの授業を履修することによって、幅広い専門領域における課題の意味を広い歴史観や深い人間観の中で位置付けようとする教養を、身に付けることができるようになります。また、地球規模の環境問題を学習することにより、異質な価値や文化を理解し自国の伝統や文化の意味を再発見する国際感覚を身に付けていることができるようになります。この科目の修得は、本学が定めるディプロマポリシー3と4の達成に関与しています。

さらに、この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的1の達成に関与しています。

この科目の単位修得は電気電子工学科エレクトロニクス・情報通信コースで設定した学習・教育到達目標D1の達成に付随的に関与、ならびに電気電子工学科のディプロマポリシーの2-1の達成に関与している。(電気電子工学科)

この科目の修得は、産業理工学部の定めるディプロマポリシーの2-1の達成に関与しています。(産業理工学部)

■ 成績評価方法および基準

小レポート課題及び小テスト（複数回合計＝40点） 40%
大レポート課題1（20点） 20%
大レポート課題2（20点） 20%
大レポート課題3（20点） 20%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

レポートの要点をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■ 教科書

[ISBN]9784339066609 『環境と社会 - 人類が自然と共生するために -』（井田 民男,川村 淳浩,杉浦 公彦 コロナ社：2022）

■ 参考文献

[ISBN]9784339066616 『バイオコクス - 再生可能エネルギー社会の礎となる新しい固体バイオエネルギー -』（井田 民男, コロナ社：2022）

[ISBN]9784121026040 『SDGs（持続可能な開発目標）（中公新書）』（蟹江 憲史, 中央公論新社：2020）

[ISBN]9784759819403 『環境科学入門 第2版: 地球と人類の未来のために』（川合真一郎, 化学同人：2018）

[ISBN]9784782707791 『エネルギーの科学—人類の未来にむけて』（安井伸郎, 三共出版：2018）

[ISBN]9784759815320 『環境倫理入門—地球環境と科学技術の未来を考えるために』（近畿化学協会化学教育研究会, 化学同人：2012）

■ 関連科目

資源とエネルギー、技術と倫理、科学的問題解決法、バイオエネルギー工学、熱力学の基礎、熱力学、鑄造工学、熱流体力学、エネルギー物質科学、水素エネルギー工学、太陽エネルギー工学、バイオエネルギー工学

■ 授業評価アンケート実施方法

学部実施に準拠する。

■ 研究室・メールアドレス

各担当の連絡先は、Classroomにて掲示する。

■ オフィスアワー

メールにて随時受け付ける。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

この講義を履修することにより、人の活動と環境のかかわりを理解する。そして、将来社会人として地球規模の環境から身近で発生する人を取り巻く環境を含め、地球上の動植物の生存に向け多種多様な環境問題について学び、その指標であるSDGsを達成するため世界中の情報の共有化やそれらの改善に取り組む姿勢を養うことを目的としているため、ニュース、新聞等の最新情報をその原因は何かを考え、科学的な解決策を考えながら読んだり、聞いたりしながら社会を学習する。また、この科目は、資源とエネルギー、技術者倫理と大きく関わっているため、その関連性も考えて学習すること。

予習内容：シラバスより「環境と社会」の講義内容の全体像を把握する。

予習時間：60分

復習内容：第1回の講義を聞き、全体像を把握する。

復習時間：60分

第1回 環境と社会を巡って～その1～（授業形式：講義および演習）

予習内容：持続可能な開発目標SDGsを規範について学習する。

予習時間：60分

復習内容：持続可能な開発目標SDGsを規範について再学習する。

復習時間：60分

概要 環境と社会に関する諸問題の解決を目指す科学の講義として位置図ける。世界的な取り組みである「持続可能な開発目標SDGsを規範として、幅広い視野でそれらの現状の理解と改善策に向けた科学の在り方を学習する。

セクション1 環境と社会の目指すところ セクション概要 環境と社会に関連した授業目標、達成目標を理解する。

セクション2 SDGs セクション概要 SDGsに関する環境と社会に関する項目を理解する。

セクション3 科学と文化 セクション概要 科学・文化の始まりについて理解し、持続可能な社会の在り方について理解する。

第2回 環境と社会を巡って～その2～（授業形式：講義および演習）

予習内容：これまで地球上で発生してきた種々の環境問題が社会に及ぼしてきた歴史的な事柄から環境問題について学習する。

予習時間：60分

復習内容：エネルギーと環境の同時解決を図ったCO2リサイクルシステムについて再学習する。

復習時間：60分

概要 環境と社会はエネルギー基盤の上で食糧、人口、経済が入り組んだ複雑な問題を抱えている。特に、人口動態がその鍵を

握っている。ここでは、人口動態予測とエネルギーと環境の同時解決を図ったCO2リサイクルシステム社会、さらに技術の中立性について学習する。

セクション1 人口増加とその予測 セクション概要 世界の人口増加の要因とその予測分析を理解する。

セクション2 CO2リサイクルシステム セクション概要 エネルギーと環境を同時に解決するアイデアと技術開発について学習する。

セクション3 科学と社会 セクション概要 中立な技術開発とその在り方について学習する。

第3回 地球システムを巡って（授業形式：講義および演習）

予習内容：地球システムについて学習する。

予習時間：60分

復習内容：地球システムについて再学習する。

復習時間：60分

概要 サイエンスにおける環境と社会を理解するための地球システムについて学習する。

セクション1 持続可能な再生可能エネルギー セクション概要 持続可能なエネルギーの科学について学習する。

セクション2 再生可能エネルギーの科学1 セクション概要 再生可能エネルギーの科学について学習する。

セクション3 再生可能エネルギーの科学2 セクション概要 エネルギー転換、エクセルギーについて学習する。

第4回 自然に影響を及ぼしている環境問題と社会を巡って（授業形式：講義および演習）

予習内容：環境問題と社会について学習する。

予習時間：60分

復習内容：環境問題と社会について再学習する。

復習時間：60分

概要 自然に影響を及ぼしているエネルギー開発が及ぼす環境への影響と社会について学習する。

セクション1 エネルギーと社会のゆくえ セクション概要 地球の有限性とその行方について学習する。

セクション2 再生可能エネルギーによる自然環境への影響1 セクション概要 風力・洋上エネルギーによる自然環境の現状と課題を学習する。

セクション3 再生可能エネルギーによる自然環境への影響2 セクション概要 バイオエネルギーによる自然環境の現状と課題を学習する。

第5回 生体に影響を及ぼしている環境問題と社会を巡って（授業形式：講義および演習）

予習内容：生体に影響を及ぼしている環境問題と社会について学習する。

予習時間：60分

復習内容：生体に影響を及ぼしている環境問題と社会について再学習する。

復習時間：60分

概要 技術開発が生体に影響を及ぼしている環境問題と社会について学習する。

セクション1 沈黙の春から学ぶ セクション概要 化学物質の自然環境への影響と社会の変貌について学習する。

セクション2 海洋汚染と保全工学 セクション概要 海洋プラスチック、海洋汚染について学習する。

セクション3 放射能汚染と保全工学 セクション概要 放射能汚染と環境保全について学習する。

第6回 地球環境保全に向けた環境と社会を巡って（授業形式：講義および演習）

予習内容：地球環境保全に向けた環境と社会について学習する。

予習時間：60分

復習内容：地球環境保全に向けた環境と社会について再学習する。

復習時間：60分

概要 地球環境保全に向けた環境と社会について学習する。

セクション1 マテリアル循環とエネルギー セクション概要 プラスチック製品等のマテリアル循環とエネルギーについて学習する。

セクション2 環境保全とISO セクション概要 環境保全とISOの意義について学習する。

セクション3 法工学 セクション概要 法工学の必要性和意義について学習する。

第7回 エネルギー資源を取り巻く環境と社会を巡って（授業形式：講義および演習）

予習内容：エネルギー資源を取り巻く環境と社会について学習する。

予習時間：60分

復習内容：エネルギー資源を取り巻く環境と社会について再学習する。

復習時間：60分

概要 エネルギー資源を取り巻く環境と社会について学習する。

セクション1 エネルギー備蓄 セクション概要 持続可能な社会を支えるエネルギー備蓄について学習する。

セクション2 バイオエネルギー セクション概要 持続可能なバイオエネルギーの基礎特性について学習する。

セクション3 核融合エネルギー セクション概要 持続可能な核融合エネルギーの基礎特性について学習する。

第8回 技術開発を取り巻く環境と社会を巡って（授業形式：講義および演習）

予習内容：技術開発を取り巻く環境と社会について学習する。

予習時間：60分

復習内容：技術開発を取り巻く環境と社会について再学習する。

復習時間：60分

概要 技術開発を取り巻く環境と社会について学習する。

セクション1 科学とは セクション概要 科学を根幹から見つめ直し、その必要性と独創性について学習する。

セクション2 地球規模課題対応国際科学技術協力 セクション概要 我が国が取り組むSATREPSを基に科学技術について学習する。

セクション3 ムーンショット型研究開発 セクション概要 我が国が取り組むムーンショットを基に科学技術について学習する。

第9回 環境倫理と技術開発（授業形式：講義および演習）

予習内容：環境倫理について学習する。

予習時間：60分

復習内容：環境倫理について再学習する。

復習時間：60分

概要 環境倫理と技術開発の在り方について学習する。

セクション1 環境哲学 セクション概要 環境哲学の理念とい学問を学習する。

セクション2 環境倫理 セクション概要 環境哲学の理念と学問を学習する。

セクション3 環境倫理と技術開発 セクション概要 環境倫理と技術開発の学問を学習する。

第10回 共生の生態学（授業形式：講義および演習）

予習内容：社会が向かうべき共生の生態学について学習する。

予習時間：60分

復習内容：社会が向かうべき共生の生態学について再学習する。

復習時間：60分

概要 社会が向かうべき共生の生態学について学習する。

セクション1 共生の生態学とは セクション概要 共生の生態学の基礎を学習する。

セクション2 共生システム セクション概要 共生システムの基礎を学習する。

セクション3 共生へ向かって セクション概要 共生の在り方、特に障害者教育について学習する。

第11回 環境保全に向けた社会の在り方（授業形式：講義および演習）

予習内容：エネルギーと環境を取り巻く社会が向かうべく未来の像について学習する。

予習時間：60分

復習内容：エネルギーと環境を取り巻く社会が向かうべく未来の像について再学習する。

復習時間：60分

概要 エネルギーと環境を取り巻く社会が向かうべく未来の像について学習する。

セクション1 持続可能なエネルギー セクション概要 化石エネルギーからバイオエネルギーへのシフトについて学習する。

セクション2 炭素循環 セクション概要 地球システムが有する炭素循環に組み込まれるカーボンニュートラルの概念を学習する。

セクション3 未来自動車 セクション概要 スターリングエンジンについて学習する。

第12回 持続可能な社会形成に向けた取り組み（廃棄物と社会）（授業形式：講義および演習）

予習内容：日常生活、社会活動において廃棄を資源化について学習する。

予習時間：60分

復習内容：日常生活、社会活動において廃棄を資源化について再学習する。

復習時間：60分

概要 日常生活、社会活動において廃棄を資源化することは、重要な課題である。その取り組みについて学習する。

セクション1 廃棄物 セクション概要 廃棄物の現状と課題について学習する。

セクション2 廃棄物処理 セクション概要 廃棄物処理の現状と課題について学習する。

セクション3 廃棄物資源化 セクション概要 廃棄物の資源化の基礎について学習する。特に、食品ロスと汚泥資源の有効活用の取り組みについて学習する。

第13回 持続可能な社会形成に向けた取り組み（水素と社会）（授業形式：講義および演習）

予習内容：水素社会の在り方について学習する。

予習時間：60分

復習内容：水素社会の在り方について再学習する。

復習時間：60分

概要 水素社会の到来は、世界の祈願であり、目指すべく究極の社会基盤であり、その科学について学習する。

セクション1 水素エネルギー セクション概要 水素エネルギーの基礎を学習する。

セクション2 従来型燃料電池 セクション概要 従来型燃料電池の基礎を学習する。

セクション3 新型燃料電池 セクション概要 新型燃料電池の基礎を学習する。

第14回 持続可能な社会形成に向けた取り組み（農業と社会）（授業形式：講義および演習）

予習内容：食糧確保について学習する。

予習時間：60分

復習内容：食糧確保について再学習する。

復習時間：60分

概要 食糧確保は、世界の最大の課題である。食を科学し、その解決策について学習する。

セクション1 農業と気象 セクション概要 農業と気象について学習する。

セクション2 生物環境と農業 セクション概要 温室や植物工場について学習する。

セクション3 農業とエネルギー セクション概要 農業とエネルギーについて学習する。

第15回 持続可能な社会形成に向けた取り組み（バイオエネルギーと社会）（授業形式：講義および演習）

予習内容：バイオマス資源について学習する。

予習時間：60分

復習内容：バイオマス資源について再学習する。

復習時間：60分

概要 持続可能かつ再生可能なエネルギーである次世代固形バイオ燃料であるバイオコークスについて学習する。

セクション1 次世代固形バイオ燃料：バイオコークス セクション概要 次世代固形バイオ燃料：バイオコークスについて学習する。

セクション2 実用化に向けたバイオコークス セクション概要 実用化に向けたバイオコークスについて学習する。

セクション3 長期備蓄型再生可能エネルギー セクション概要 持続可能な長期備蓄型再生可能エネルギーについて学習する。

■ホームページ

近畿大学バイオコークス研究所 <https://www.kindai.ac.jp/bio-coke/>

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 :	心理と行動【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Psychology and Action				
担当者 :	中道 希容				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	前期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

本講義は、15回の授業のうち、心理系専攻の専任教員12名が1回ないしは2回の講義を担当して作成した動画を教材とします。それぞれの専門領域から、心理学の面白さを伝えます。

各回は、3つ程度のセクションに分かれており、それぞれのセクションについて簡単な確認テストがあります。また、中間期に2回のレポート課題があり、すべての回を視聴した後に、最終レポートの提出が課されています。

オンデマンドですので、配信された後は最終日までの間に、いつでも観ることは可能ですが、配信から2週間を期日に出席を取ります。本授業のルールとして、欠席5回以上で単位不認定としますので、週1回のペースで1回ずつ学びを進めることを強くお勧めします。

この授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。各回の作成者は授業計画の内容に記載の通りです。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

心理学における多様な領域での研究知見について、理解すること。

それらの知見によって、自分自身の経験や社会でのできごとを新たな視点で眺めるようになること。

この科目の修得は、本学が定めるディプロマポリシー3.の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

第1回レポート課題 30%

第2回レポート課題 30%

第3回レポート課題 30%

ディスカッションへの参加 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

ClassroomまたはUNIPAを通して、フィードバックをします。

■ 教科書

特に指定しない。

■ 参考文献

[ISBN]9784641221451 『はじめて出会う心理学〔第3版〕(有斐閣アルマ)』(寿一, 長谷川, 有斐閣 : 2020)

[ISBN]9784641220034 『臨床心理学入門 -- 多様なアプローチを越境する(有斐閣アルマ)』(岩壁 茂, 有斐閣 : 2013)

[ISBN]9784781912431 『学習の心理—行動のメカニズムを探る(コンパクト新心理学ライブラリ)』(正子, 実森, サイエンス社 : 2019)

[ISBN]9784762830570 『発達心理学15講』(高橋 一公, 北大路書房 : 2019)

■ 関連科目

特になし。

■ 授業評価アンケート実施方法

KICSルールに従う。

■ 研究室・メールアドレス

nakamichi@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

質問等はメールとGoogleClassroomのコメント欄で受け付けます。

返答には少し時間のかかる場合があります。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 心理学とは (担当: 堀田 美保)

予習内容: シラバスを見ておく。

予習時間: 30分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

心と行動に関する学問である, 心理学とは何をどのように研究するのかについて, 概要を説明します。

第2回 感覚・知覚・注意 (担当: 遠藤 信貴)

予習内容: 感覚・知覚心理学について調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

私たちの心と外界をつなぐ感覚, 外界を捉える知覚の仕組みについて概説します。

第3回 記憶 (担当: 遠藤 信貴)

予習内容: 認知心理学について調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

私たちの日常的な行動を根底で支える記憶について, その種類や役割について概説します。

第4回 学習 (担当: 漆原 宏次)

予習内容: 学習心理学について調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

私たちの行動がどのように変わるのか, なぜ変わるのか。経験による行動の変化=学習について概説します。

第5回 感情 (担当: 大対 香奈子)

予習内容: 感情心理学について調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

感情が心理学でどのように研究されてきたのか, また感情の働きやそのコントロールの方法について概説します。

第6回 神経・生理 (担当: 佐藤 望)

予習内容: 神経・生理心理学について調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

こころの働きをつかさどる仕組みについて, 生物学的観点から解説します。

第7回 遺伝・進化 (担当: 上野 将敬)

予習内容: 遺伝・進化心理学について調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

人の生物学的側面に注目し, 人や人以外の動物の行動における遺伝子や進化の影響について紹介します。

第8回 対人 (担当: 堀田 美保)

予習内容: 対人心理学について調べておく。

予習時間：60分

復習内容：確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間：60分

人と人の中で起こっているやりとり（相互作用）うち、対人行動についての心理を紹介します。

第9回 集団（担当：中川 知宏）

予習内容：集団心理学について調べておく。

予習時間：60分

復習内容：確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間：60分

一人でいる時と集団にいる時では、私たちの行動が変化します。これに関する社会心理学的研究を紹介します。

第10回 生涯発達1（担当：奥野 洋子）

予習内容：発達心理学について調べておく。

予習時間：60分

復習内容：確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間：60分

生涯発達の概要と乳児期から児童期の発達の特徴を説明します。

第11回 生涯発達2（担当：塩崎 麻里子）

予習内容：生涯発達心理学について調べておく。

予習時間：60分

復習内容：確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間：60分

青年期から老年期のこのころの発達について紹介します。

第12回 パーソナリティ（担当：小泉 隆平）

予習内容：パーソナリティ心理学について調べておく。

予習時間：60分

復習内容：確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間：60分

パーソナリティ・知能がどのように理解されてきたか、その理解がどのように役立っているか説明します。

第13回 健康（担当：直井 愛里）

予習内容：健康心理学について調べておく。

予習時間：60分

復習内容：確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間：60分

健康行動に関連する要因を説明し、生活習慣と心身の健康について紹介します。

第14回 臨床（担当：本岡 寛子）

予習内容：臨床心理学について調べておく。

予習時間：60分

復習内容：確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間：60分

このころの問題の理解と解決を助けるためのアセスメントとアプローチについて紹介します。

第15回 産業（担当：佐藤 望）

予習内容：産業心理学について調べておく。

予習時間：60分

復習内容：確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間：60分

心理学で得られている知見を産業場面に応用する例について紹介します。

最終レポート

15回の授業から、数問を出題するので、選択して解答のこと。

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 :	心理と行動【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Psychology and Action				
担当者 :	風井 浩志				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	前期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

本講義は、15回の授業のうち、心理系専攻の専任教員12名が1回ないしは2回の講義を担当して作成した動画を教材とします。それぞれの専門領域から、心理学の面白さを伝えます。

各回は、3つ程度のセクションに分かれており、それぞれのセクションについて簡単な確認テストがあります。また、中間期に2回のレポート課題があり、すべての回を視聴した後に、最終レポートの提出が課されています。

オンデマンドですので、配信された後は最終日までの間に、いつでも観ることは可能ですが、配信から2週間を期日に出席を取ります。本授業のルールとして、欠席5回以上で単位不認定としますので、週1回のペースで1回ずつ学びを進めることを強くお勧めします。

この授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。各回の作成者は授業計画の内容に記載の通りです。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

心理学における多様な領域での研究知見について、理解すること。

それらの知見によって、自分自身の経験や社会でのできごとを新たな視点で眺めるようになること。

この科目の修得は、本学が定めるディプロマポリシー3.の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

第1回レポート課題 30%

第2回レポート課題 30%

第3回レポート課題 30%

ディスカッションへの参加 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

ClassroomまたはUNIPAを通して、フィードバックをします。

■ 教科書

特に指定しない。

■ 参考文献

[ISBN]9784641221451 『はじめて出会う心理学〔第3版〕(有斐閣アルマ)』(寿一, 長谷川, 有斐閣 : 2020)

[ISBN]9784641220034 『臨床心理学入門 -- 多様なアプローチを越境する(有斐閣アルマ)』(岩壁 茂, 有斐閣 : 2013)

[ISBN]9784781912431 『学習の心理—行動のメカニズムを探る(コンパクト新心理学ライブラリ)』(正子, 実森, サイエンス社 : 2019)

[ISBN]9784762830570 『発達心理学15講』(高橋 一公, 北大路書房 : 2019)

■ 関連科目

特になし。

■ 授業評価アンケート実施方法

KICSルールに従う。

■ 研究室・メールアドレス

1511p5@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

上記メールアドレス宛に御連絡ください。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 心理学とは (担当:堀田 美保)

予習内容: シラバスを見ておく。

予習時間: 30分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

心と行動に関する学問である, 心理学とは何をどのように研究するのかについて, 概要を説明します。

第2回 感覚・知覚・注意 (担当:遠藤 信貴)

予習内容: 感覚・知覚心理学について調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

私たちの心と外界をつなぐ感覚, 外界を捉える知覚の仕組みについて概説します。

第3回 記憶 (担当:遠藤 信貴)

予習内容: 認知心理学について調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

私たちの日常的な行動を根底で支える記憶について, その種類や役割について概説します。

第4回 学習 (担当:漆原 宏次)

予習内容: 学習心理学について調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

私たちの行動がどのように変わるのか, なぜ変わるのか。経験による行動の変化=学習について概説します。

第5回 感情 (担当:大対 香奈子)

予習内容: 感情心理学について調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

感情が心理学でどのように研究されてきたのか, また感情の働きやそのコントロールの方法について概説します。

第6回 神経・生理 (担当:佐藤 望)

予習内容: 神経・生理心理学について調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

こころの働きをつかさどる仕組みについて, 生物学的観点から解説します。

第7回 遺伝・進化 (担当:上野 将敬)

予習内容: 遺伝・進化心理学について調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

人の生物学的側面に注目し, 人や人以外の動物の行動における遺伝子や進化の影響について紹介します。

第8回 対人 (担当:堀田 美保)

予習内容: 対人心理学について調べておく。

予習時間: 60分

復習内容：確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間：60分

人と人の中で起こっているやりとり（相互作用）うち、対人行動についての心理を紹介します。

第9回 集団（担当：中川 知宏）

予習内容：集団心理学について調べておく。

予習時間：60分

復習内容：確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間：60分

一人でいる時と集団にいる時では、私たちの行動が変化します。これに関する社会心理学的研究を紹介します。

第10回 生涯発達1（担当：奥野 洋子）

予習内容：発達心理学について調べておく。

予習時間：60分

復習内容：確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間：60分

生涯発達の概要と乳児期から児童期の発達の特徴を説明します。

第11回 生涯発達2（担当：塩崎 麻里子）

予習内容：生涯発達心理学について調べておく。

予習時間：60分

復習内容：確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間：60分

青年期から老年期のこころの発達について紹介します。

第12回 パーソナリティ（担当：小泉 隆平）

予習内容：パーソナリティ心理学について調べておく。

予習時間：60分

復習内容：確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間：60分

パーソナリティ・知能がどのように理解されてきたか、その理解がどのように役立っているか説明します。

第13回 健康（担当：直井 愛里）

予習内容：健康心理学について調べておく。

予習時間：60分

復習内容：確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間：60分

健康行動に関連する要因を説明し、生活習慣と心身の健康について紹介します。

第14回 臨床（担当：本岡 寛子）

予習内容：臨床心理学について調べておく。

予習時間：60分

復習内容：確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間：60分

こころの問題の理解と解決を助けるためのアセスメントとアプローチについて紹介します。

第15回 産業（担当：佐藤 望）

予習内容：産業心理学について調べておく。

予習時間：60分

復習内容：確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間：60分

心理学で得られている知見を産業場面に応用する例について紹介します。

最終レポート

15回の授業から、数問を出題するので、選択して解答のこと。

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 :	心理と行動【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Psychology and Action				
担当者 :	小原 宏基				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

本講義は、15回の授業のうち、心理系専攻の専任教員12名が1回ないしは2回の講義を担当して作成した動画を教材とします。それぞれの専門領域から、心理学の面白さを伝えます。

各回は、3つ程度のセクションに分かれており、それぞれのセクションについて簡単な確認テストがあります。また、中間期に2回のレポート課題があり、すべての回を視聴した後に、最終レポートの提出が課されています。

オンデマンドですので、配信された後は最終日までの間に、いつでも観ることは可能ですが、配信から2週間を期日に出席を取ります。本授業のルールとして、欠席5回以上で単位不認定としますので、週1回のペースで1回ずつ学びを進めることを強くお勧めします。

この授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。各回の作成者は授業計画の内容に記載の通りです。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

心理学における多様な領域での研究知見について、理解すること。

それらの知見によって、自分自身の経験や社会でのできごとを新たな視点で眺めるようになること。

この科目の修得は、本学が定めるディプロマポリシー3.の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

第1回レポート課題 30%

第2回レポート課題 30%

第3回レポート課題 30%

ディスカッションへの参加 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

ClassroomまたはUNIPAを通して、フィードバックをします。

■ 教科書

特に指定しない。

■ 参考文献

[ISBN]9784641221451 『はじめて出会う心理学〔第3版〕(有斐閣アルマ)』(寿一, 長谷川, 有斐閣 : 2020)

[ISBN]9784641220034 『臨床心理学入門 -- 多様なアプローチを越境する(有斐閣アルマ)』(岩壁 茂, 有斐閣 : 2013)

[ISBN]9784781912431 『学習の心理—行動のメカニズムを探る(コンパクト新心理学ライブラリ)』(正子, 実森, サイエンス社 : 2019)

[ISBN]9784762830570 『発達心理学15講』(高橋 一公, 北大路書房 : 2019)

■ 関連科目

特になし。

■ 授業評価アンケート実施方法

KICSルールに従う。

■ 研究室・メールアドレス

hiroki.ohara@lac.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

特定の時間枠は設定されていないため、必要であれば上記メールアドレスに連絡をしてください。
また返答には少し時間がかかる場合がありますので、ご了承ください。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 心理学とは (担当:堀田 美保)

予習内容: シラバスを見ておく。

予習時間: 30分

復習内容: 確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

心と行動に関する学問である、心理学とは何をどのように研究するのかについて、概要を説明します。

第2回 感覚・知覚・注意 (担当:遠藤 信貴)

予習内容: 感覚・知覚心理学について調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

私たちの心と外界をつなぐ感覚、外界を捉える知覚の仕組みについて概説します。

第3回 記憶 (担当:遠藤 信貴)

予習内容: 認知心理学について調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

私たちの日常的な行動を根底で支える記憶について、その種類や役割について概説します。

第4回 学習 (担当:漆原 宏次)

予習内容: 学習心理学について調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

私たちの行動がどのように変わるのか、なぜ変わるのか。経験による行動の変化=学習について概説します。

第5回 感情 (担当:大対 香奈子)

予習内容: 感情心理学について調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

感情が心理学でどのように研究されてきたのか、また感情の働きやそのコントロールの方法について概説します。

第6回 神経・生理 (担当:佐藤 望)

予習内容: 神経・生理心理学について調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

こころの働きをつかさどる仕組みについて、生物学的観点から解説します。

第7回 遺伝・進化 (担当:上野 将敬)

予習内容: 遺伝・進化心理学について調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

人の生物学的側面に注目し、人や人以外の動物の行動における遺伝子や進化の影響について紹介します。

第8回 対人 (担当:堀田 美保)

予習内容: 対人心理学について調べておく。

予習時間：60分

復習内容：確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間：60分

人と人の中で起こっているやりとり（相互作用）うち、対人行動についての心理を紹介します。

第9回 集団（担当：中川 知宏）

予習内容：集団心理学について調べておく。

予習時間：60分

復習内容：確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間：60分

一人でいる時と集団にいる時では、私たちの行動が変化します。これに関する社会心理学的研究を紹介します。

第10回 生涯発達1（担当：奥野 洋子）

予習内容：発達心理学について調べておく。

予習時間：60分

復習内容：確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間：60分

生涯発達の概要と乳児期から児童期の発達の特徴を説明します。

第11回 生涯発達2（担当：塩崎 麻里子）

予習内容：生涯発達心理学について調べておく。

予習時間：60分

復習内容：確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間：60分

青年期から老年期のこのころの発達について紹介します。

第12回 パーソナリティ（担当：小泉 隆平）

予習内容：パーソナリティ心理学について調べておく。

予習時間：60分

復習内容：確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間：60分

パーソナリティ・知能がどのように理解されてきたか、その理解がどのように役立っているか説明します。

第13回 健康（担当：直井 愛里）

予習内容：健康心理学について調べておく。

予習時間：60分

復習内容：確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間：60分

健康行動に関連する要因を説明し、生活習慣と心身の健康について紹介します。

第14回 臨床（担当：本岡 寛子）

予習内容：臨床心理学について調べておく。

予習時間：60分

復習内容：確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間：60分

このころの問題の理解と解決を助けるためのアセスメントとアプローチについて紹介します。

第15回 産業（担当：佐藤 望）

予習内容：産業心理学について調べておく。

予習時間：60分

復習内容：確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間：60分

心理学で得られている知見を産業場面に応用する例について紹介します。

最終レポート

15回の授業から、数問を出題するので、選択して解答のこと。

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 :	心理と行動【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Psychology and Action				
担当者 :	風井 浩志				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

本講義は、15回の授業のうち、心理系専攻の専任教員12名が1回ないしは2回の講義を担当して作成した動画を教材とします。それぞれの専門領域から、心理学の面白さを伝えます。

各回は、3つ程度のセクションに分かれており、それぞれのセクションについて簡単な確認テストがあります。また、中間期に2回のレポート課題があり、すべての回を視聴した後に、最終レポートの提出が課されています。

オンデマンドですので、配信された後は最終日までの間に、いつでも観ることは可能ですが、配信から2週間を期日に出席を取ります。本授業のルールとして、欠席5回以上で単位不認定としますので、週1回のペースで1回ずつ学びを進めることを強くお勧めします。

この授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。各回の作成者は授業計画の内容に記載の通りです。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

心理学における多様な領域での研究知見について、理解すること。

それらの知見によって、自分自身の経験や社会でのできごとを新たな視点で眺めるようになること。

この科目の修得は、本学が定めるディプロマポリシー3.の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

第1回レポート課題 30%

第2回レポート課題 30%

第3回レポート課題 30%

ディスカッションへの参加 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

ClassroomまたはUNIPAを通して、フィードバックをします。

■ 教科書

特に指定しない。

■ 参考文献

[ISBN]9784641221451 『はじめて出会う心理学〔第3版〕(有斐閣アルマ)』(寿一, 長谷川, 有斐閣 : 2020)

[ISBN]9784641220034 『臨床心理学入門 -- 多様なアプローチを越境する(有斐閣アルマ)』(岩壁 茂, 有斐閣 : 2013)

[ISBN]9784781912431 『学習の心理—行動のメカニズムを探る(コンパクト新心理学ライブラリ)』(正子, 実森, サイエンス社 : 2019)

[ISBN]9784762830570 『発達心理学15講』(高橋 一公, 北大路書房 : 2019)

■ 関連科目

特になし。

■ 授業評価アンケート実施方法

KICSルールに従う。

■ 研究室・メールアドレス

1511p5@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

上記メールアドレス宛に御連絡ください。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 心理学とは (担当: 堀田 美保)

予習内容: シラバスを見ておく。

予習時間: 30分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

心と行動に関する学問である, 心理学とは何をどのように研究するのかについて, 概要を説明します。

第2回 感覚・知覚・注意 (担当: 遠藤 信貴)

予習内容: 感覚・知覚心理学について調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

私たちの心と外界をつなぐ感覚, 外界を捉える知覚の仕組みについて概説します。

第3回 記憶 (担当: 遠藤 信貴)

予習内容: 認知心理学について調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

私たちの日常的な行動を根底で支える記憶について, その種類や役割について概説します。

第4回 学習 (担当: 漆原 宏次)

予習内容: 学習心理学について調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

私たちの行動がどのように変わるのか, なぜ変わるのか。経験による行動の変化=学習について概説します。

第5回 感情 (担当: 大対 香奈子)

予習内容: 感情心理学について調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

感情が心理学でどのように研究されてきたのか, また感情の働きやそのコントロールの方法について概説します。

第6回 神経・生理 (担当: 佐藤 望)

予習内容: 神経・生理心理学について調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

こころの働きをつかさどる仕組みについて, 生物学的観点から解説します。

第7回 遺伝・進化 (担当: 上野 将敬)

予習内容: 遺伝・進化心理学について調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

人の生物学的側面に注目し, 人や人以外の動物の行動における遺伝子や進化の影響について紹介します。

第8回 対人 (担当: 堀田 美保)

予習内容: 対人心理学について調べておく。

予習時間: 60分

復習内容：確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間：60分

人と人の中で起こっているやりとり（相互作用）うち、対人行動についての心理を紹介します。

第9回 集団（担当：中川 知宏）

予習内容：集団心理学について調べておく。

予習時間：60分

復習内容：確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間：60分

一人でいる時と集団にいる時では、私たちの行動が変化します。これに関する社会心理学的研究を紹介します。

第10回 生涯発達1（担当：奥野 洋子）

予習内容：発達心理学について調べておく。

予習時間：60分

復習内容：確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間：60分

生涯発達の概要と乳児期から児童期の発達の特徴を説明します。

第11回 生涯発達2（担当：塩崎 麻里子）

予習内容：生涯発達心理学について調べておく。

予習時間：60分

復習内容：確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間：60分

青年期から老年期のこころの発達について紹介します。

第12回 パーソナリティ（担当：小泉 隆平）

予習内容：パーソナリティ心理学について調べておく。

予習時間：60分

復習内容：確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間：60分

パーソナリティ・知能がどのように理解されてきたか、その理解がどのように役立っているか説明します。

第13回 健康（担当：直井 愛里）

予習内容：健康心理学について調べておく。

予習時間：60分

復習内容：確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間：60分

健康行動に関連する要因を説明し、生活習慣と心身の健康について紹介します。

第14回 臨床（担当：本岡 寛子）

予習内容：臨床心理学について調べておく。

予習時間：60分

復習内容：確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間：60分

こころの問題の理解と解決を助けるためのアセスメントとアプローチについて紹介します。

第15回 産業（担当：佐藤 望）

予習内容：産業心理学について調べておく。

予習時間：60分

復習内容：確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間：60分

心理学で得られている知見を産業場面に応用する例について紹介します。

最終レポート

15回の授業から、数問を出題するので、選択して解答のこと。

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 :	心理と行動【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Psychology and Action				
担当者 :	塩崎 麻里子				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

本講義は、15回の授業のうち、心理系専攻の専任教員12名が1回ないしは2回の講義を担当して作成した動画を教材とします。それぞれの専門領域から、心理学の面白さを伝えます。

各回は、3つ程度のセクションに分かれており、それぞれのセクションについて簡単な確認テストがあります。また、中間期に2回のレポート課題があり、すべての回を視聴した後に、最終レポートの提出が課されています。

オンデマンドですので、配信された後は最終日までの間に、いつでも観ることは可能ですが、配信から2週間を期日に出席を取ります。本授業のルールとして、欠席5回以上で単位不認定としますので、週1回のペースで1回ずつ学びを進めることを強くお勧めします。

この授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。各回の作成者は授業計画の内容に記載の通りです。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

心理学における多様な領域での研究知見について、理解すること。

それらの知見によって、自分自身の経験や社会でのできごとを新たな視点で眺めるようになること。

この科目の修得は、本学が定めるディプロマポリシー3.の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

第1回レポート課題 30%

第2回レポート課題 30%

第3回レポート課題 30%

ディスカッションへの参加 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

ClassroomまたはUNIPAを通して、フィードバックをします。

■ 教科書

特に指定しない。

■ 参考文献

[ISBN]9784641221451 『はじめて出会う心理学〔第3版〕(有斐閣アルマ)』(寿一, 長谷川, 有斐閣 : 2020)

[ISBN]9784641220034 『臨床心理学入門 -- 多様なアプローチを越境する(有斐閣アルマ)』(岩壁 茂, 有斐閣 : 2013)

[ISBN]9784781912431 『学習の心理—行動のメカニズムを探る(コンパクト新心理学ライブラリ)』(正子, 実森, サイエンス社 : 2019)

[ISBN]9784762830570 『発達心理学15講』(高橋 一公, 北大路書房 : 2019)

■ 関連科目

特になし。

■ 授業評価アンケート実施方法

KICSルールに従う。

■ 研究室・メールアドレス

総合社会学部6階H研究室
shiozaki@socio.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

月曜日5限

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 心理学とは (担当:堀田 美保)

予習内容: シラバスを見ておく。

予習時間: 30分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

心と行動に関する学問である, 心理学とは何をどのように研究するのかについて, 概要を説明します。

第2回 感覚・知覚・注意 (担当:遠藤 信貴)

予習内容: 感覚・知覚心理学について調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

私たちの心と外界をつなぐ感覚, 外界を捉える知覚の仕組みについて概説します。

第3回 記憶 (担当:遠藤 信貴)

予習内容: 認知心理学について調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

私たちの日常的な行動を根底で支える記憶について, その種類や役割について概説します。

第4回 学習 (担当:漆原 宏次)

予習内容: 学習心理学について調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

私たちの行動がどのように変わるのか, なぜ変わるのか。経験による行動の変化=学習について概説します。

第5回 感情 (担当:大対 香奈子)

予習内容: 感情心理学について調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

感情が心理学でどのように研究されてきたのか, また感情の働きやそのコントロールの方法について概説します。

第6回 神経・生理 (担当:佐藤 望)

予習内容: 神経・生理心理学について調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

こころの働きをつかさどる仕組みについて, 生物学的観点から解説します。

第7回 遺伝・進化 (担当:上野 将敬)

予習内容: 遺伝・進化心理学について調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

人の生物学的側面に注目し, 人や人以外の動物の行動における遺伝子や進化の影響について紹介します。

第8回 対人 (担当:堀田 美保)

予習内容: 対人心理学について調べておく。

予習時間：60分

復習内容：確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間：60分

人と人の中で起こっているやりとり（相互作用）うち、対人行動についての心理を紹介します。

第9回 集団（担当：中川 知宏）

予習内容：集団心理学について調べておく。

予習時間：60分

復習内容：確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間：60分

一人でいる時と集団にいる時では、私たちの行動が変化します。これに関する社会心理学的研究を紹介します。

第10回 生涯発達1（担当：奥野 洋子）

予習内容：発達心理学について調べておく。

予習時間：60分

復習内容：確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間：60分

生涯発達の概要と乳児期から児童期の発達の特徴を説明します。

第11回 生涯発達2（担当：塩崎 麻里子）

予習内容：生涯発達心理学について調べておく。

予習時間：60分

復習内容：確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間：60分

青年期から老年期のこのころの発達について紹介します。

第12回 パーソナリティ（担当：小泉 隆平）

予習内容：パーソナリティ心理学について調べておく。

予習時間：60分

復習内容：確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間：60分

パーソナリティ・知能がどのように理解されてきたか、その理解がどのように役立っているか説明します。

第13回 健康（担当：直井 愛里）

予習内容：健康心理学について調べておく。

予習時間：60分

復習内容：確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間：60分

健康行動に関連する要因を説明し、生活習慣と心身の健康について紹介します。

第14回 臨床（担当：本岡 寛子）

予習内容：臨床心理学について調べておく。

予習時間：60分

復習内容：確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間：60分

このころの問題の理解と解決を助けるためのアセスメントとアプローチについて紹介します。

第15回 産業（担当：佐藤 望）

予習内容：産業心理学について調べておく。

予習時間：60分

復習内容：確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間：60分

心理学で得られている知見を産業場面に応用する例について紹介します。

最終レポート

15回の授業から、数問を出題するので、選択して解答のこと。

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 :	環境科学【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Scientific Study of Environment				
担当者 :	田端 敬三				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	前期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

この授業コンテンツは農学部教員6名により作成されたものです。海洋、河川、森林、草原などの自然環境やそこにくらす生き物の特徴について解説するとともに、農学部独自の視点を加え、漁業、農業、林業など人類が自らの必要物獲得のために環境を利用してきた活動をも視野にいれています。講義は基礎編、水圏（海洋や河川）の環境、森林と環境、農業・牧畜と環境、環境と生態リスクの5つのパートに分かれ、それぞれの分野を専門とする教員が担当します。この授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。各回の作成者は授業計画の内容に記載のとおりです。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

このコンテンツを学習することによって、私たちがとりまく身近な自然環境や生態系についての基礎知識を得るとともに、農業、漁業、林業など人類が自然環境を利用してきた形態について理解することができます。この科目の修得は、本学の定めるディプロマ・ポリシー2, 3の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

小レポート2回（30%×2回） 60%
 期末レポート 40%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

レポートの解説等はGoogle classroomを利用して行う。

■ 教科書

とくに指定しない

■ 参考文献

授業中に指示する

■ 関連科目

-

■ 授業評価アンケート実施方法

大学の実施基準に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

前期担当・田端 敬三 0825N6@kindai.ac.jp 、 平井 研 ng_tidalflat01@nara.kindai.ac.jp
 後期担当・田端 敬三 0825N6@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

すべてメールでやり取りを行う。（オフィスアワーは設定しない）

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 基礎編①環境科学とは何か？地球環境とはどのようなものか？（江口充担当）（授業形式：講義および演習）

予習内容：上記テーマに関して関心のあるところを調べておく。

予習時間：60分

復習内容：授業内容について復習しておく。

復習時間：60分

概要 環境科学では環境と人間の関り方を学ぶ。ニュース等で最近よく聞く地球温暖化（詳細は第6回）、酸性雨、オゾン層破壊などの環境問題について触れながら環境科学とはどのような学問分野であるのかを紹介する。併せて環境科学に通底する「環境と倫理」という考え方についての理解を深める。

セクション1 イースター島の教訓：環境と人間の関り

セクション概要 イースター島はかつて緑豊かな島であったが数百年前の人間の入植とともに森林破壊が進み現在に到っても回復していない。環境科学は人間活動が自然環境（生態系）に甚大な影響を与えていることを、我々が認識し始めるところからスタートする。

セクション2 自然の攪乱と人為的干渉

セクション概要 地震、津波、隕石の衝突などの自然の攪乱は地球環境（生態系）が長い年月の間に経験してきたものであり、環境もそれに対応してきている。これを環境（生態系）に対する自然の攪乱と呼ぶ。一方、オゾンホール形成、酸性雨、環境ホルモン（内分泌攪乱物質）などの環境問題は人間活動により最近発生してきた問題である。これを環境（生態系）に対する人為的干渉と呼ぶ。地球の温暖化は長い地球の歴史の中で考えると自然の攪乱ともいえるが、近年、人間活動の活発化により加速されている地球の温暖化は人為的干渉ともいえる。東日本大震災の津波は自然の攪乱であるが、同時に発生した福島原子力発電所の被害と放射能汚染は人為的干渉と言える。この自然の攪乱と人為的干渉を理解しておくことが環境科学を学ぶ上で重要になる。

セクション3 環境と倫理

セクション概要 我々は地球が有限であることを認識しなければいけない。さらに、自分たちの世代だけではなく、未来世代に対して現代世代は責任があること、さらには人間だけではなく環境に存在するありとあらゆる生物種を保護する責務があることを理解する。

第2回 基礎編②生物多様性とは何か（渡邊俊担当）（授業形式：講義および演習）

予習内容：上記テーマに関して関心のあるところを調べておく。

予習時間：60分

復習内容：授業内容について復習しておく。

復習時間：60分

概要 生物界の共通性と多様性の存在は、共通祖先の性質に由来し、また、それは膨大な時間をかけて進行した生物進化と地球環境の歴史の産物であることを理解する。さらには生物多様性の保全の意義を考える。

セクション1 生物界の多様性と共通性

セクション概要 生物は多種多様である。しかし、姿かたちの違いとは裏腹に共通な性質も備えている。まずは、生物界の多様性と共通性を確認する。

セクション2 生物多様性の歴史

セクション概要 生物界の共通性と多様性の存在は、共通祖先の性質に由来し、さらには膨大な時間をかけて進行した生物進化と地球環境の歴史の産物であることを理解する。

セクション3 生物多様性保全の思想的歴史

セクション概要 生物多様性の保全への取り組みを平易に解説することで、このような動きの背景にある基本的な考え方を紹介する。

第3回 基礎編③人類の環境利用の歴史：食料獲得の観点から（鶴田格担当）（授業形式：講義および演習）

予習内容：上記テーマに関して関心のあるところを調べておく。

予習時間：60分

復習内容：授業内容について復習しておく。

復習時間：60分

概要 過去1万年以上の歴史にわたって人類がいかに食料を獲得してきたかという観点から、環境利用の歴史を振り返る。

セクション1 新石器革命以前

セクション概要 新石器革命以前の人類が海、山、森でどのように食料を獲得してきたかを考察する。とくに日本の縄文時代の事例を中心にとりあげて検討する。

セクション2 農業にみる環境利用

セクション概要 新石器革命以降の農業の発展の歴史とその環境利用の特徴について焼畑農業などに焦点を当てながら解説する。

セクション3 現代的な農業・漁業の展開と環境負荷

セクション概要 産業革命以降の食料生産の工業化の歴史を振り返り、現代的な農業や水産業が与える環境負荷について考える。各産業の個別の変化とともに、20世紀以降のグローバルな食料流通の展開をも視野に入れて検討する。

第4回 水圏（海洋・河川・湖沼）の環境①水圏生態系と環境問題（江口充担当）（授業形式：講義および演習）

予習内容：上記テーマに関して関心のあるところを調べておく。

予習時間：60分

復習内容：授業内容について復習しておく。

復習時間：60分

概要 "水圏環境（海洋、河川、湖沼）における水質形成や物質循環のメカニズムを理解し、海洋における環境問題（沿岸域の有機汚濁、海洋プラスチック問題など）への理解を深める。"

セクション1 水圏生態系における物質循環

セクション概要 水圏環境での物質循環プロセスと微生物の役割について紹介する。

セクション2 人間生活と沿岸域の環境問題

セクション概要 様々な人間の生産活動に起因する水圏、特に沿岸域の水質悪化のメカニズムについて理解を深める。

セクション3 海とSDGs

セクション概要 完全養殖とSDGsの関係について紹介し、海洋プラスチック問題や地球のきれいな水に関する問題点をSDGsと関連付けて紹介する。

第5回 水圏（海洋・河川・湖沼）の環境②河川・海洋環境とウナギ（渡邊俊担当）（授業形式：講義および演習）

予習内容：上記テーマに関して関心のあるところを調べておく。

予習時間：60分

復習内容：授業内容について復習しておく。

復習時間：60分

概要 海と川は水圏としてまとめられる。しかし、塩分が違うこれらの環境を魚が行き来するには、浸透圧調節の壁がある。このような壁を乗り越えてでも「なぜ魚は海と川を回遊するか？」をニホンウナギの海と川の大回遊を題材として考える。

セクション1 陸水環境

セクション概要 湖沼と河川の環境を理解し、陸水環境の多様性を認識する。

セクション2 回遊

セクション概要 多くの水圏生物は成長段階や環境変化に応じて生息域を移す。この生息域間の移動が特定の季節や生活史のある段階に対応して定期的にかかる場合、回遊と呼ぶ。この回遊の定義と回遊の多様性を理解する。

セクション3 ニホンウナギの回遊

セクション概要 ニホンウナギの海と川との大回遊を説明し、本種の保全についても考える。

第6回 森林と環境①気候変動と森林（松本光朗担当）（授業形式：講義および演習）

予習内容：上記テーマに関して関心のあるところを調べておく。

予習時間：60分

復習内容：授業内容について復習しておく。

復習時間：60分

概要 森林は大気中の二酸化炭素濃度を調整し気候変動を緩和する機能を持つ。しかし、実態としては熱帯林の破壊などにより排出源にもなっている。このメカニズムと森林管理の実態、対策について解説する。

セクション1 気候変動の現状と将来

セクション概要 気候変動のメカニズムと森林の関係性を解説する。

セクション2 気候変動と熱帯林の破壊

セクション概要 熱帯林の破壊による二酸化炭素の排出について現状と対策を解説する。

セクション3 気候変動と国内の森林管理

セクション概要 国内での森林管理を通じた対策について解説する。

第7回 森林と環境②森林の多面的機能と森林政策（松本光朗担当）（授業形式：講義および演習）

予習内容：上記テーマに関して関心のあるところを調べておく。

予習時間：60分

復習内容：授業内容について復習しておく。

復習時間：60分

概要 森林は国土保全、生物多様性保全、気候変動緩和といった多面的機能を持ち、多面的機能の発揮を目的とした森林管理が行われている。その概要を解説するとともに、具体的な森林管理や政策を紹介する。

セクション1 世界と日本の森林の現状

セクション概要 森林の現状を世界と日本を比較しながら解説する。

セクション2 森林の多面的機能

セクション概要 森林の多面的機能について概説する。

セクション3 多面的機能発揮のための政策

セクション概要 森林の多面的機能の発揮のために実施されている森林政策について紹介する。

第8回 森林と環境③森林保全のための新たな取り組み（松本光朗担当）（授業形式：講義および演習）

予習内容：上記テーマに関して関心のあるところを調べておく。

予習時間：60分

復習内容：授業内容について復習しておく。

復習時間：60分

概要 環境保全を含めた森林の多面的機能の発揮のため、新たに行われ始めた森林管理の政策や取り組みを紹介する。

セクション1 森林経営管理制度と森林環境税

セクション概要 森林管理を進めるために導入された森林経営管理制度とそれを支える森林環境税・譲与税について解説する。

セクション2 森林認証と炭素クレジット

セクション概要 適切な森林管理を認証する仕組みである森林認証と気候変動対策に繋がる炭素クレジット制度を解説する。

セクション3 森林の新しい利用と森林環境教育

セクション概要 森林の新しい角度から活用する方法と国民の森林の理解を促す森林環境教育について解説する。

第9回 農業・牧畜と環境①農地における土壌生態系（飯嶋盛雄担当）（授業形式：講義および演習）

予習内容：上記テーマに関して関心のあるところを調べておく。

予習時間：60分

復習内容：授業内容について復習しておく。

復習時間：60分

概要 農地は、作物生育が良好になるように人為的に改変された土壌環境をもつ。農地土壌の生態系、生物多様性、物質循環について概説するとともに、過剰施肥による環境への影響を考察する。

セクション1 農地土壌の特徴

セクション概要 農地における土壌生態系を、とくに根圏と非根圏環境の違いにより理解する。

セクション2 生物多様性と物質循環

セクション概要 農地における土壌生物の多様性と物質循環を理解する。

セクション3 土壌をめぐる環境問題

セクション概要 過剰施肥による環境への影響について、作物の栽培事例を基に考察する。

第10回 農業・牧畜と環境②農地における環境ストレス（飯嶋盛雄担当）（授業形式：講義および演習）

予習内容：上記テーマに関して関心のあるところを調べておく。

予習時間：60分

復習内容：授業内容について復習しておく。

復習時間：60分

概要 土壌環境が不適になると作物の生産性が低下し、耕作が放棄されることがある。代表的な土壌環境ストレスとして、塩類集積、土壌侵食、洪水と干ばつ被害を取り上げ、それらの特徴と対策を概説する。

セクション1 塩類集積

セクション概要 かんがいによる塩類集積のメカニズムとその対策を理解する。

セクション2 土壌侵食

セクション概要 土壌侵食の農業へのインパクトとその対策を概説する。

セクション3 洪水と干ばつ

セクション概要 農地における洪水と干ばつ被害と、それらへの対策を概説する。

第11回 農業・牧畜と環境③農地開発と環境保全（飯嶋盛雄担当）（授業形式：講義および演習）

予習内容：上記テーマに関して関心のあるところを調べておく。

予習時間：60分

復習内容：授業内容について復習しておく。

復習時間：60分

概要 気候変動が進行しつつある現代の農地開発を、農地環境の持続性と水環境保全の視点から概説する。さらに、今後の新たな農地開発を、豊かさの追求と倫理の視点から考察する。

セクション1 農地の持続性

セクション概要 農地の持続性を概説するとともに、農地の継続的な開発が必然であったことを理解する。

セクション2 気候変動と水環境

セクション概要 気候変動下における氾濫原の農地開発を、とくに水環境変動の視点から概説する。

セクション3 農地開発と保全

セクション概要 農地開発と環境保全に関する今後の課題を考察する。

第12回 農業・牧畜と環境④草原の生態系と牧畜（鶴田格担当）（授業形式：講義および演習）

予習内容：上記テーマに関して関心のあるところを調べておく。

予習時間：60分

復習内容：授業内容について復習しておく。

復習時間：60分

概要 世界最大の生態系の一つである草原を、人類は狩猟や採集そして牧畜のために利用してきた。ここでは、牧畜という生活様式に焦点をあてながら草原利用の過去、現在、将来について検討する。

セクション1 草原の生態系その利用

セクション概要 草原の生態系の特質と草原固有の生物、さらに人為的な介入による草原の維持について考察する。

セクション2 牧畜という生活様式

セクション概要 世界の乾燥地・半乾燥地における牧畜民の生活様式について解説する。

セクション3 現代的な畜産とその環境負荷

セクション概要 現代的な畜産が与える環境負荷と、それを減らすために放牧への回帰が始まっている事実について解説する。

第13回 環境と生態リスク①化学物質と環境汚染（早坂大亮担当）（授業形式：講義および演習）

予習内容：上記テーマに関して関心のあるところを調べておく。

予習時間：60分

復習内容：授業内容について復習しておく。

復習時間：60分

概要 化学物質は我々にさまざまな恩恵をもたらすが、同時に環境負荷の主要因でもある。ここでは、化学物質とかしこく付き合っていく上で重要な「安全・安心・リスク」の3つの概念について解説する。

セクション1 環境問題における化学物質

セクション概要 環境問題における化学物質の基本的事項について概説する。

セクション2 安全・安心・リスクとは？

セクション概要 環境リスクを考える際に求められる視点と各種用語を解説する。

セクション3 リスクコミュニケーションとNIMBY

セクション概要 合理的選択としてのリスクコミュニケーションの重要性とその難しさについて、NIMBY (Not In My BackYard) 問題の事例を踏まえながら解説する。

第14回 環境と生態リスク②環境アセスメント（早坂大亮担当）（授業形式：講義および演習）

予習内容：上記テーマに関して関心のあるところを調べておく。

予習時間：60分

復習内容：授業内容について復習しておく。

復習時間：60分

概要 環境における化学物質のリスクを考える場合、環境毒性学の理解が不可欠である。ここでは、環境毒性学の成り立ちと現状について、事例を交えながら解説する。

セクション1 環境毒性学と公害

セクション概要 環境毒性学が生まれた背景について、公害問題とからめて解説する。

セクション2 生物濃縮・残留性物質

セクション概要 生物濃縮や残留性、高毒性として有名な化学物質のうち、DDT、PCB、ダイオキシン類を事例に、歴史的な背景と生態影響（発ガン性、環境ホルモン作用など）について解説する。

セクション3 POPsへの対応と生活水にひそむリスク

セクション概要 POPs（難分解性有機汚染物質）の定義と各種対策を説明するほか、身近なトピックとして生活水（生活排水・飲料水）の環境リスク問題を解説する。

第15回 環境と生態リスク③外来生物と生物多様性（早坂大亮担当）（授業形式：講義および演習）

予習内容：上記テーマに関して関心のあるところを調べておく。

予習時間：60分

復習内容：授業内容について復習しておく。

復習時間：60分

概要 化学物質以外の環境負荷要因として「外来生物問題」がある。そして、実は化学物質と外来生物は同じ土俵にあるものである。このなぞについて、とくに外来生物の生態リスクに主眼を置いて、事例を交えながら解説する。

セクション1 化学物質と外来生物の共通性

セクション概要 生物多様性国家戦略からみた、外来生物（生態）と化学物質（環境）リスクの共通性について解説するとともに、外来生物の定義や特徴を学ぶ。

セクション2 外来生物の生態学的攪乱

セクション概要 外来生物の生態学的攪乱の実態とその対策について、事例を交えながら解説する。

セクション3 外来生物とのかしこい付き合い方

セクション概要 外来生物法を通して考える、外来生物とのかしこい付き合い方について解説する。

-

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 :	食生活と健康【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Diet and Health				
担当者 :	菱井 早香				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	前期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :	理工応用化学科：学修・教育到達目標（B）に付随的に関与 理工機械工学科：機械工学コース学習・教育目標：A-2, JABEE基準1.2：(a)(b)に関与 理工電気電子通信工学科：学習・教育到達目標D1の達成に付随的に関与 理工社会環境工学科：ディプロマ・ポリシーの(A)に主体的に関与、(C)に付随的に関与				

■ 授業概要

日常的に摂取している栄養素の構造や機能、代謝について学ぶ。また、食事の役割や食生活が関連する健康障害、運動と栄養の関連などについて幅広く学ぶことで、食生活を総合的に考える能力を身につける。G-KULed、Google Classroomを活用したオンデマンド講義を行う。Google classroomを使用して、より良い食生活を考えるための学生間ディスカッションを数回行う。各講義の資料作成を担当した教員は以下のとおりである。

- 第1回～3回：近藤教員（農学部食品栄養学科、教授）
- 第4回～6回：森山教員（農学部応用生命化学科、教授）
- 第7回～9回：富田教員（農学部食品栄養学科、准教授）
- 第10回～12回：木戸教員（農学部食品栄養学科、准教授）
- 第13回～15回：明神教員（農学部食品栄養学科、講師）

この授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。各回の作成者は授業計画の内容に記載のとおりです。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）・自主学習支援（e-learning等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

栄養と健康に関する基礎知識を習得できる。バランスの良い健康的な食生活を理解することで日常生活に活かせる能力を身につける。

この科目の修得は、本学部の定めるディプロマ・ポリシー（機械工学コース学習・教育目標：A-2, JABEE基準1.2：(a)(b)に関与、電気電子通信工学科：学習・教育到達目標D1）の達成に付随的に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

- 小テスト 50%
- レポート課題 50%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

Google classroomを通して、課題に関する要点をお知らせする。

■ 教科書

なし

■ 参考文献

- [ISBN]9784758113540 『生化学 第3版(栄養科学イラストレイテッド)』（園田 勝, 羊土社：2017）
- [ISBN]9784524241828 『生化学: 人体の構造と機能及び疾病の成り立ち(健康・栄養科学シリーズ)』（一巳, 石堂, 南江堂：2019）

[ISBN]9784758113656 『食品学I～食べ物と健康―食品の成分と機能を学ぶ(栄養科学イラストレイテッド)』(水品 善之, 羊土社: 2021)

[ISBN]9784524229048 『応用栄養学(改訂第7版)(健康・栄養科学シリーズ)』(令子, 渡邊, 南江堂: 2020)

■ 関連科目

-

■ 授業評価アンケート実施方法

本学の規程に準拠して実施します。

■ 研究室・メールアドレス

sayaka.hishii@nara.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

質問等は随時対応します。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 タンパク質/アミノ酸の構造・機能・代謝(担当: 近藤 高史)(授業形式: 講義および演習)

予習内容: タンパク質/アミノ酸について調べる。

予習時間: 60分

復習内容: タンパク質/アミノ酸の構造・機能・代謝を復習する

復習時間: 60分

概要 タンパク質/アミノ酸の基本を理解する

セクション1 構造

セクション概要 タンパク質/アミノ酸の構造を説明する

セクション2 機能

セクション概要 タンパク質/アミノ酸の機能を説明する

セクション3 代謝

セクション概要 タンパク質/アミノ酸の代謝を説明する

第2回 糖質の構造・機能・代謝(担当: 近藤 高史)(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 糖質について調べる。

予習時間: 60分

復習内容: 糖質の構造・機能・代謝を復習する。

復習時間: 60分

概要 糖質の基本を理解する

セクション1 構造

セクション概要 糖質の構造を説明する

セクション2 機能

セクション概要 糖質の機能を説明する

セクション3 代謝

セクション概要 糖質の代謝を説明する

第3回 脂質の構造・機能・代謝(担当: 近藤 高史)(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 脂質について調べる。

予習時間: 60分

復習内容: 脂質の構造・機能・代謝を復習する。

復習時間: 60分

概要 脂質の基本を理解する

セクション1 構造

セクション概要 脂質の構造を説明する

セクション2 機能

セクション概要 脂質の機能を説明する

セクション3 代謝

セクション概要 脂質の代謝を説明する

第4回 ビタミンの働き(担当: 森山 達哉)(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 水溶性ビタミン・脂溶性ビタミンの種類や構造、働きについて調べる。

予習時間: 60分

復習内容: 水溶性ビタミン・脂溶性ビタミンの種類や構造、働きについて講義資料・ノートを参考にまとめる。

復習時間: 60分

概要 ビタミンの種類や構造、働きなどについて理解する

セクション1 ビタミンとは？

セクション概要 ビタミンとはどういうものか？

セクション2 水溶性ビタミンの役割・働きセクション概要 水溶性ビタミンの役割・働きを説明する

セクション3 脂溶性ビタミンの役割・働きセクション概要 脂溶性ビタミンの役割・働きを説明する

第5回 ミネラルの働き (担当：森山 達哉) (授業形式：講義および演習)

予習内容：ミネラルの種類や構造、働きについて調べる。

予習時間：60分

復習内容：ミネラルの種類や構造、働きについて講義資料・ノートを参考にまとめる。

復習時間：60分

概要 ミネラルの種類や構造、働きなどについて理解する

セクション1 ミネラルとは？

セクション概要 ミネラルとはどういうものか？

セクション2 多量ミネラルの役割・働き

セクション概要 多量ミネラルの役割・働きを説明する

セクション3 微量ミネラルの役割・働き

セクション概要 微量ミネラルの役割・働きを説明する

第6回 非栄養素 (食物繊維、ファイトケミカル等) の働き (担当：森山 達哉) (授業形式：講義および演習)

予習内容：非栄養素 (食物繊維、ファイトケミカル等) の働きについて調べる。

予習時間：60分

復習内容：非栄養素 (食物繊維、ファイトケミカル等) の働きについて講義資料・ノートを参考にまとめる。

復習時間：60分

概要 非栄養素 (食物繊維、ファイトケミカル等) の働きについて理解する

セクション1 非栄養素と栄養素

セクション概要 非栄養素と栄養素の定義について説明する

セクション2 食物繊維の機能

セクション概要 食物繊維の種類や機能について説明する

セクション3 ファイトケミカルの機能

セクション概要 ファイトケミカルの種類や機能を説明する

第7回 バランスの良い食事の組み立て方 (担当：富田 圭子) (授業形式：講義および演習)

予習内容：自分が食べた過去1週間の食事を書き出して、自分の食事摂取傾向を把握しておく。

予習時間：60分

復習内容：講義で学んだことを講義資料・ノートを参考にまとめ、自分の食生活を評価する。

復習時間：60分

概要 バランスの良い食事の組み立て方を理解する

セクション1 食事の役割

セクション概要 食事の役割とは？

セクション2 一汁三菜を理解しよう！

セクション概要 バランスの良い食事の基本構成について説明する

セクション3 自分の食事バランスを知ろう！

セクション概要 年齢・性別・活動量に応じた栄養量について説明する

第8回 おいしさの演出 (担当：富田 圭子) (授業形式：講義および演習)

予習内容：「どういう時においしいと感じるのか」について、調べておく。

予習時間：60分

復習内容：講義で学んだことを講義資料・ノートを参考にまとめる。

復習時間：60分

概要 おいしさにかかわる要因を理解し、食を楽しむ方法について理解する

セクション1 おいしいとは？

セクション概要 おいしさとはどういうものか？

セクション2 おいさと五感

セクション概要 五感を使った美味しさの演出とは？

セクション3 行事・食文化・パーティ

セクション概要 食を楽しむための演出方法を紹介

第9回 心とからだを育む「食育」 (担当：富田 圭子) (授業形式：講義および演習)

予習内容：現代人の食生活の問題点について調べておく。

予習時間：60分

復習内容：講義で学んだことを講義資料・ノートを参考にまとめる。

復習時間：60分

概要 食育の必要性を理解し、自らが食育の担い手になる方法を考える

セクション1 食育の必要性

セクション概要 食生活の現状と課題を説明する

セクション2 学校における食育

セクション概要 各教科と食育のかかわりについて説明する

セクション3 心と身体を育む食育とは？

セクション概要 心と身体を育む食育について説明する

第10回 過栄養による健康障害（担当：木戸 慎介）（授業形式：講義および演習）

予習内容：過栄養（栄養の摂りすぎ）について調べる。

予習時間：30分

復習内容：講義で学んだことを講義資料・ノートを参考にまとめる。

復習時間：30分

概要 過栄養（栄養の摂りすぎ）により引き起こされる病気について理解する

セクション1 過栄養と肥満（メタボ）

セクション概要 過栄養により引き起こされる肥満（メタボ）について説明する

セクション2 過栄養と生活習慣病

セクション概要 過栄養により引き起こされる生活習慣病について説明する

セクション3 過栄養と糖尿病

セクション概要 過栄養により引き起こされる糖尿病について説明する

第11回 低栄養による健康障害（担当：木戸 慎介）（授業形式：講義および演習）

予習内容：低栄養（栄養不足）について調べる。

予習時間：30分

復習内容：講義で学んだことを講義資料・ノートを参考にまとめる。

復習時間：30分

概要 低栄養（栄養不足）により引き起こされる病気について理解する

セクション1 低栄養による健康障害

セクション概要 低栄養により引き起こされる健康障害について概説する

セクション2 低栄養と貧血

セクション概要 低栄養により引き起こされる貧血について説明する

セクション3 低栄養と骨粗鬆症

セクション概要 低栄養により引き起こされる骨粗鬆症について説明する

第12回 食事が関わるその他の健康障害（担当：木戸 慎介）（授業形式：講義および演習）

予習内容：食事・栄養が関わるその他の健康障害について調べる。

予習時間：30分

復習内容：講義で学んだことを講義資料・ノートを参考にまとめる。

復習時間：30分

概要 食事・栄養が関わるその他の健康障害について理解する

セクション1 摂食障害

セクション概要 摂食障害について説明する

セクション2 食物アレルギー

セクション概要 食物アレルギーについて説明する

セクション3 食中毒

セクション概要 食中毒について説明する

第13回 ライフステージと食生活（担当：明神 千穂）（授業形式：講義および演習）

予習内容：それぞれの世代の身体的特徴について調べる

予習時間：30分

復習内容：成人期、高齢期の特徴と食生活の注意点についてまとめる。

復習時間：30分

概要 ヒトのライフステージにおける食生活の特性について理解する

セクション1 さまざまなライフステージ

セクション概要 ヒトのライフステージについて説明する

セクション2 成人期の特性と食生活

セクション概要 成人期の特性と食生活の特徴について説明する

セクション3 高齢期の特性と食生活

セクション概要 高齢期の特性と食生活の特徴について説明する

第14回 運動・スポーツと栄養（担当：明神 千穂）（授業形式：講義および演習）

予習内容：運動・スポーツと栄養について調べる。

予習時間：30分

復習内容：運動・スポーツをするのに必要な栄養や摂取量についてまとめる。

復習時間：30分

概要 運動・スポーツと栄養の関連について理解する

セクション1 スポーツ栄養学

セクション概要 運動・スポーツと栄養の関わりについて説明する

セクション2 運動と栄養

セクション概要 健康増進のための運動と栄養について説明する

セクション3 トレーニング時の栄養補給

セクション概要 スポーツ選手のトレーニング時の栄養について説明する

第15回 災害時の栄養と食生活（担当：明神 千穂）（授業形式：講義および演習）

予習内容：災害時の食に関する問題点について調べる。

予習時間：30分

復習内容：災害時に起こる栄養問題と、自分でできる防災、減災対策を考えまとめる。

復習時間：30分

概要 災害時の栄養と食生活について理解する

セクション1 災害時の栄養問題

セクション概要 被災時におこる栄養問題について説明する

セクション2 災害食・非常食

セクション概要 災害時のために備えておくべき食品について説明する

セクション3 災害時の調理

セクション概要 災害時にできる調理法について説明する

-

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 :	現代社会と法【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Law and Modern Society				
担当者 :	村角 明彦				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	前期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :	理工学部応用化学科：学修・教育到達目標（A）に主体的に関与、 理工学部電気電子通信工学科：学習・教育到達目標D1の達成に付随的に関与、 理工学部社会環境工学科：ディプロマ・ポリシーの(A)、(G)に主体的に関与、(C)に付随的に関与				

■ 授業概要

この授業コンテンツ（動画）は村中が作成したものであり、第1回から第15回まで同一の教員による講義を行っている。

法律学の中でも基本的な法である、憲法、民法、刑法などを中心にその内容を理解する。
社会の中で生きていくうえでの基本的な法的知識の基礎を身につける。

※オンデマンド授業であるため、毎週の受講（動画の視聴）が必須とはならないが、規定に基づき出席の確認を行い、出席状況が3分の2以上あることが求められる（全15回のうち10回以上の出席）。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

PBL（課題解決学習）・ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講者は、この授業と通じて、①法（法学）と社会の関りを認識し、②身近な事柄が法と関わること、法によって私たちの生活の様々な場面が規制されていることを理解するとともに、③身近なトラブルの事例の解決策を探る上での基礎的な知識を身につけることができる。

■ 成績評価方法および基準

中間レポート課題（全2回） 40%

期末レポート課題 60%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

評価基準の公表を行うほか、全体向けの講評を行う。

■ 教科書

[ISBN]479728630X 『嫌いにならない法学入門〔第2版〕』（村中 洋介, 信山社：2023）

■ 参考文献

[ISBN]9784641115668 『地方自治判例百選〔第5版〕：別冊ジュリスト266号（別冊ジュリスト no. 266）』（小幡 純子, 有斐閣：2023）

[ISBN]9784641115651 『民事訴訟法判例百選〔第6版〕：別冊ジュリスト 第265号（別冊ジュリスト 265）』（高田 裕成, 有斐閣：2023）

[ISBN]9784641115620 『民法判例百選I 総則・物権〔第9版〕：別冊ジュリスト 第262号（別冊ジュリスト no. 262）』（潮見 佳男, 有斐閣：2023）

[ISBN]9784641115637 『民法判例百選II 債権〔第9版〕：別冊ジュリスト 第263号（別冊ジュリスト no. 263）』（窪田 充見, 有斐閣：2023）

[ISBN]9784641115644 『民法判例百選III 親族・相続〔第3版〕：別冊ジュリスト 第264号（別冊ジュリスト no. 264）』（大

村 敦志, 有斐閣 : 2023)

[ISBN]9784641115606 『行政判例百選I〔第8版〕: 別冊ジュリスト 第260号 (別冊ジュリスト no. 260)』 (斎藤 誠, 有斐閣 : 2022)

[ISBN]9784641115613 『行政判例百選II〔第8版〕: 別冊ジュリスト 第261号 (別冊ジュリスト no. 261)』 (斎藤 誠, 有斐閣 : 2022)

[ISBN]9784641115507 『刑法判例百選I 総論〔第8版〕: 別冊ジュリスト 第250号』 (佐伯 仁志, 有斐閣 : 2020)

[ISBN]9784641115514 『刑法判例百選II 各論〔第8版〕: 別冊ジュリスト 第251号』 (佐伯 仁志, 有斐閣 : 2020)

[ISBN]9784641115453 『憲法判例百選I 第7版 (別冊ジュリスト)』 (長谷部 恭男, 有斐閣 : 2019)

[ISBN]9784641115460 『憲法判例百選II 第7版 (別冊ジュリスト)』 (長谷部 恭男, 有斐閣 : 2019)

[ISBN]4335301294 『最新重要判例250 [刑法] 第13版』 (前田 雅英, 弘文堂 : 2023)

■ 関連科目

法学に関連する基本科目

■ 授業評価アンケート実施方法

大学の定める実施要領に基づいて実施する。

■ 研究室・メールアドレス

1706H2@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

メールにより随時

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 インTRODクシヨン・法とは何か (授業形式: 講義および演習)

予習内容: テキストの該当箇所等を用いて予習する。

予習時間: 30分

復習内容: シンキングタイムの考察やテキスト該当箇所等を用いて復習する。

復習時間: 60分

セクション1 法学を学ぶということ

セクション2 法の性質

セクション3 法の存在形式と分類

第2回 憲法1 (統治) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: テキストの該当箇所等を用いて予習する。

予習時間: 30分

復習内容: シンキングタイムの考察やテキスト該当箇所等を用いて復習する。

復習時間: 60分

セクション1 憲法の歴史と存在意義

セクション2 三権分立

セクション3 地方自治とは何か

第3回 憲法 (人権1) ・人権とは何か (授業形式: 講義および演習)

予習内容: テキストの該当箇所等を用いて予習する。

予習時間: 30分

復習内容: シンキングタイムの考察やテキスト該当箇所等を用いて復習する。

復習時間: 60分

セクション1 人権とは何か・人権の種類

セクション2 人権の制約と保障範囲

セクション3 平等権と幸福追求権

第4回 憲法 (人権2) ・精神的自由 (授業形式: 講義および演習)

予習内容: テキストの該当箇所等を用いて予習する。

予習時間: 30分

復習内容: シンキングタイムの考察やテキスト該当箇所等を用いて復習する。

復習時間: 60分

セクション1 思想良心の自由・信教の自由

セクション2 表現の自由

セクション3 学問の自由・教育を受ける権利

第5回 憲法 (人権3) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: テキストの該当箇所等を用いて予習する。

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察やテキスト該当箇所等を用いて復習する。

復習時間：60分

- セクション1 経済的自由
- セクション2 社会権
- セクション3 参政権と人身の自由

第6回 民法1（総則）（授業形式：講義および演習）

予習内容：テキストの該当箇所等を用いて予習する。

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察やテキスト該当箇所等を用いて復習する。

復習時間：60分

- セクション1 民法の体系
- セクション2 権利の主体と客体
- セクション3 権利の変動

第7回 民法2（物権・債権）（授業形式：講義および演習）

予習内容：テキストの該当箇所等を用いて予習する。

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察やテキスト該当箇所等を用いて復習する。

復習時間：60分

- セクション1 物権法・所有権
- セクション2 債権と契約
- セクション3 不法行為

第8回 民法3（家族関係・相続）（授業形式：講義および演習）

予習内容：テキストの該当箇所等を用いて予習する。

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察やテキスト該当箇所等を用いて復習する。

復習時間：60分

- セクション1 離婚
- セクション2 子どもの権利
- セクション3 相続問題

第9回 刑法1（授業形式：講義および演習）

予習内容：テキストの該当箇所等を用いて予習する。

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察やテキスト該当箇所等を用いて復習する。

復習時間：60分

- セクション1 刑法の基本・犯罪と刑罰
- セクション2 犯罪の構成要件
- セクション3 違法性阻却事由・責任阻却自由

第10回 刑法2（授業形式：講義および演習）

予習内容：テキストの該当箇所等を用いて予習する。

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察やテキスト該当箇所等を用いて復習する。

復習時間：60分

- セクション1 生命・身体に関する罪
- セクション2 財産に対する罪
- セクション3 社会法益・国家法益に関する罪

第11回 民事訴訟（授業形式：講義および演習）

予習内容：テキストの該当箇所等を用いて予習する。

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察やテキスト該当箇所等を用いて復習する。

復習時間：60分

- セクション1 民事裁判制度の意義
- セクション2 訴訟の流れ
- セクション3 民事訴訟の原則と様々な問題解決手段

第12回 刑事訴訟（授業形式：講義および演習）

予習内容：テキストの該当箇所等を用いて予習する。

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察やテキスト該当箇所等を用いて復習する。

復習時間：60分

セクション1 刑事手続きの流れ

セクション2 捜査に関する諸原則

セクション3 公判の諸原則

第13回 行政法1（組織法・作用法）（授業形式：講義および演習）

予習内容：テキストの該当箇所等を用いて予習する。

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察やテキスト該当箇所等を用いて復習する。

復習時間：60分

セクション1 行政法の基礎

セクション2 行政組織

セクション3 行政作用

第14回 行政法2（救済法）（授業形式：講義および演習）

予習内容：テキストの該当箇所等を用いて予習する。

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察やテキスト該当箇所等を用いて復習する。

復習時間：60分

セクション1 行政救済法とは

セクション2 国家補償

セクション3 行政争訟

第15回 災害と法（授業形式：講義および演習）

予習内容：テキストの該当箇所等を用いて予習する。

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察やテキスト該当箇所等を用いて復習する。

復習時間：60分

セクション1 災害とは何か？ 防災とは何か？ 私たちに身近な防災

セクション2 災害と行政

セクション3 各種災害に関する法制度と今日の課題

■ ホームページ

■ 実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名	現代社会と法【KICSオンデマンド科目】				
英文名	Law and Modern Society				
担当者	西塚 直之				
開講学科	共通教養科目				
単 位	2単位	開講年次		開講期	前期
科目区分	共通教養科目				
備 考	社会環境工学科：ディプロマポリシーの(A), (G)に主体的に関与、(C)に付随的に関与				

■ 授業概要

この授業コンテンツ（動画）は村中先生が作成したものであり、第1回から第15回まで同一の教員による講義を行っている。

法律学の中でも基本的な法である、憲法、民法、刑法などを中心にその内容を理解する。
社会の中で生きていくうえでの基本的な法的知識の基礎を身につける。

※オンデマンド授業であるため、毎週の受講（動画の視聴）が必須とはならないが、規定に基づき出席の確認を行い、出席状況が3分の2以上あることが求められる（全15回のうち10回以上の出席）。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

PBL（課題解決学習）・ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講者は、この授業を通じて、①法（法学）と社会の関りを認識し、②身近な事柄が法と関わること、法によって私たちの生活の様々な場面が規制されていることを理解するとともに、③身近なトラブルの事例の解決策を探る上での基礎的な知識を身につけることができる。

■ 成績評価方法および基準

中間レポート課題（全2回） 40%

期末レポート課題 60%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

レポート課題の提出締切後に「レポート課題の要点・採点基準と解説」をGoogleClassroomに掲載します。

また、全体的な講評コメントを掲示します。

■ 教科書

[ISBN]479728630X 『嫌にならない法学入門〔第2版〕』（村中 洋介, 信山社：2023）

■ 参考文献

[ISBN]9784641115668 『地方自治判例百選〔第5版〕：別冊ジュリスト266号（別冊ジュリスト no. 266）』（小幡 純子, 有斐閣：2023）

[ISBN]9784641115651 『民事訴訟法判例百選〔第6版〕：別冊ジュリスト 第265号（別冊ジュリスト 265）』（高田 裕成, 有斐閣：2023）

[ISBN]9784641115620 『民法判例百選I 総則・物権〔第9版〕：別冊ジュリスト 第262号（別冊ジュリスト no. 262）』（潮見 佳男, 有斐閣：2023）

[ISBN]9784641115637 『民法判例百選II 債権〔第9版〕：別冊ジュリスト 第263号（別冊ジュリスト no. 263）』（窪田 充見, 有斐閣：2023）

[ISBN]9784641115644 『民法判例百選III 親族・相続〔第3版〕：別冊ジュリスト 第264号（別冊ジュリスト no. 264）』（大村 敦志, 有斐閣：2023）

- [ISBN]9784641115606 『行政判例百選I〔第8版〕：別冊ジュリスト 第260号(別冊ジュリスト no. 260)』(斎藤 誠, 有斐閣：2022)
- [ISBN]9784641115613 『行政判例百選II〔第8版〕：別冊ジュリスト 第261号(別冊ジュリスト no. 261)』(斎藤 誠, 有斐閣：2022)
- [ISBN]9784641115507 『刑法判例百選I 総論〔第8版〕：別冊ジュリスト 第250号』(佐伯 仁志, 有斐閣：2020)
- [ISBN]9784641115514 『刑法判例百選II 各論〔第8版〕：別冊ジュリスト 第251号』(佐伯 仁志, 有斐閣：2020)
- [ISBN]9784641115453 『憲法判例百選I 第7版(別冊ジュリスト)』(長谷部 恭男, 有斐閣：2019)
- [ISBN]9784641115460 『憲法判例百選II 第7版(別冊ジュリスト)』(長谷部 恭男, 有斐閣：2019)
- [ISBN]4335301294 『最新重要判例250〔刑法〕 第13版』(前田 雅英, 弘文堂：2023)

■ 関連科目

法学に関連する基本科目

■ 授業評価アンケート実施方法

大学の定める実施要領に基づいて実施する。

■ 研究室・メールアドレス

nishizuka_naoyuki@kindai.ac.jp (連絡はメールのみ)

■ オフィスアワー

メールのみ

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 イントロダクション・法とは何か(授業形式：講義および演習)

予習内容：テキストの該当箇所等を用いて予習する。

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察やテキスト該当箇所等を用いて復習する。

復習時間：60分

セクション1 法学を学ぶということ

セクション2 法の性質

セクション3 法の存在形式と分類

第2回 憲法1(統治)(授業形式：講義および演習)

予習内容：テキストの該当箇所等を用いて予習する。

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察やテキスト該当箇所等を用いて復習する。

復習時間：60分

セクション1 憲法の歴史と存在意義

セクション2 三権分立

セクション3 地方自治とは何か

第3回 憲法(人権1)・人権とは何か(授業形式：講義および演習)

予習内容：テキストの該当箇所等を用いて予習する。

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察やテキスト該当箇所等を用いて復習する。

復習時間：60分

セクション1 人権とは何か・人権の種類

セクション2 人権の制約と保障範囲

セクション3 平等権と幸福追求権

第4回 憲法(人権2)・精神的自由(授業形式：講義および演習)

予習内容：テキストの該当箇所等を用いて予習する。

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察やテキスト該当箇所等を用いて復習する。

復習時間：60分

セクション1 思想良心の自由・信教の自由

セクション2 表現の自由

セクション3 学問の自由・教育を受ける権利

第5回 憲法(人権3)(授業形式：講義および演習)

予習内容：テキストの該当箇所等を用いて予習する。

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察やテキスト該当箇所等を用いて復習する。

復習時間：60分

- セクション1 経済的自由
- セクション2 社会権
- セクション3 参政権と人身の自由

第6回 民法1（総則）（授業形式：講義および演習）

予習内容：テキストの該当箇所等を用いて予習する。

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察やテキスト該当箇所等を用いて復習する。

復習時間：60分

- セクション1 民法の体系
- セクション2 権利の主体と客体
- セクション3 権利の変動

第7回 民法2（物権・債権）（授業形式：講義および演習）

予習内容：テキストの該当箇所等を用いて予習する。

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察やテキスト該当箇所等を用いて復習する。

復習時間：60分

- セクション1 物権法・所有権
- セクション2 債権と契約
- セクション3 不法行為

第8回 民法3（家族関係・相続）（授業形式：講義および演習）

予習内容：テキストの該当箇所等を用いて予習する。

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察やテキスト該当箇所等を用いて復習する。

復習時間：60分

- セクション1 離婚
- セクション2 子どもの権利
- セクション3 相続問題

第9回 刑法1（授業形式：講義および演習）

予習内容：テキストの該当箇所等を用いて予習する。

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察やテキスト該当箇所等を用いて復習する。

復習時間：60分

- セクション1 刑法の基本・犯罪と刑罰
- セクション2 犯罪の構成要件
- セクション3 違法性阻却事由・責任阻却自由

第10回 刑法2（授業形式：講義および演習）

予習内容：テキストの該当箇所等を用いて予習する。

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察やテキスト該当箇所等を用いて復習する。

復習時間：60分

- セクション1 生命・身体に関する罪
- セクション2 財産に対する罪
- セクション3 社会法益・国家法益に関する罪

第11回 民事訴訟（授業形式：講義および演習）

予習内容：テキストの該当箇所等を用いて予習する。

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察やテキスト該当箇所等を用いて復習する。

復習時間：60分

- セクション1 民事裁判制度の意義
- セクション2 訴訟の流れ
- セクション3 民事訴訟の原則と様々な問題解決手段

第12回 刑事訴訟（授業形式：講義および演習）

予習内容：テキストの該当箇所等を用いて予習する。

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察やテキスト該当箇所等を用いて復習する。

復習時間：60分

- セクション1 刑事手続きの流れ
- セクション2 捜査に関する諸原則
- セクション3 公判の諸原則

第13回 行政法1（組織法・作用法）（授業形式：講義および演習）

予習内容：テキストの該当箇所等を用いて予習する。

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察やテキスト該当箇所等を用いて復習する。

復習時間：60分

- セクション1 行政法の基礎
- セクション2 行政組織
- セクション3 行政作用

第14回 行政法2（救済法）（授業形式：講義および演習）

予習内容：テキストの該当箇所等を用いて予習する。

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察やテキスト該当箇所等を用いて復習する。

復習時間：60分

- セクション1 行政救済法とは
- セクション2 国家補償
- セクション3 行政争訟

第15回 災害と法（授業形式：講義および演習）

予習内容：テキストの該当箇所等を用いて予習する。

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察やテキスト該当箇所等を用いて復習する。

復習時間：60分

- セクション1 災害とは何か？ 防災とは何か？ 私たちに身近な防災
- セクション2 災害と行政
- セクション3 各種災害に関する法制度と今日の課題

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 :	現代社会と法【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Law and Modern Society				
担当者 :	村角 明彦				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :	理工学部応用化学科：学修・教育到達目標（A）に主体的に関与、 理工学部電気電子通信工学科：学習・教育到達目標D1の達成に付随的に関与、 理工学部社会環境工学科：ディプロマ・ポリシーの(A)、(G)に主体的に関与、(C)に付随的に関与				

■ 授業概要

この授業コンテンツ（動画）は村中が作成したものであり、第1回から第15回まで同一の教員による講義を行っている。

法律学の中でも基本的な法である、憲法、民法、刑法などを中心にその内容を理解する。
社会の中で生きていくうえでの基本的な法的知識の基礎を身につける。

※オンデマンド授業であるため、毎週の受講（動画の視聴）が必須とはならないが、規定に基づき出席の確認を行い、出席状況が3分の2以上あることが求められる（全15回のうち10回以上の出席）。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

PBL（課題解決学習）・ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講者は、この授業と通じて、①法（法学）と社会の関りを認識し、②身近な事柄が法と関わること、法によって私たちの生活の様々な場面が規制されていることを理解するとともに、③身近なトラブルの事例の解決策を探る上での基礎的な知識を身につけることができる。

■ 成績評価方法および基準

中間レポート課題（全2回） 40%

期末レポート課題 60%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

評価基準の公表を行うほか、全体向けの講評を行う。

■ 教科書

[ISBN]479728630X 『嫌いにならない法学入門〔第2版〕』（村中 洋介, 信山社：2023）

■ 参考文献

[ISBN]9784641115668 『地方自治判例百選〔第5版〕：別冊ジュリスト266号（別冊ジュリスト no. 266）』（小幡 純子, 有斐閣：2023）

[ISBN]9784641115651 『民事訴訟法判例百選〔第6版〕：別冊ジュリスト 第265号（別冊ジュリスト 265）』（高田 裕成, 有斐閣：2023）

[ISBN]9784641115620 『民法判例百選I 総則・物権〔第9版〕：別冊ジュリスト 第262号（別冊ジュリスト no. 262）』（潮見 佳男, 有斐閣：2023）

[ISBN]9784641115637 『民法判例百選II 債権〔第9版〕：別冊ジュリスト 第263号（別冊ジュリスト no. 263）』（窪田 充見, 有斐閣：2023）

[ISBN]9784641115644 『民法判例百選III 親族・相続〔第3版〕：別冊ジュリスト 第264号（別冊ジュリスト no. 264）』（大

村 敦志, 有斐閣 : 2023)

[ISBN]9784641115606 『行政判例百選I〔第8版〕: 別冊ジュリスト 第260号 (別冊ジュリスト no. 260)』 (斎藤 誠, 有斐閣 : 2022)

[ISBN]9784641115613 『行政判例百選II〔第8版〕: 別冊ジュリスト 第261号 (別冊ジュリスト no. 261)』 (斎藤 誠, 有斐閣 : 2022)

[ISBN]9784641115507 『刑法判例百選I 総論〔第8版〕: 別冊ジュリスト 第250号』 (佐伯 仁志, 有斐閣 : 2020)

[ISBN]9784641115514 『刑法判例百選II 各論〔第8版〕: 別冊ジュリスト 第251号』 (佐伯 仁志, 有斐閣 : 2020)

[ISBN]9784641115453 『憲法判例百選I 第7版 (別冊ジュリスト)』 (長谷部 恭男, 有斐閣 : 2019)

[ISBN]9784641115460 『憲法判例百選II 第7版 (別冊ジュリスト)』 (長谷部 恭男, 有斐閣 : 2019)

[ISBN]4335301294 『最新重要判例250 [刑法] 第13版』 (前田 雅英, 弘文堂 : 2023)

■ 関連科目

法学に関連する基本科目

■ 授業評価アンケート実施方法

大学の定める実施要領に基づいて実施する。

■ 研究室・メールアドレス

1706H2@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

メールにより随時

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 インTRODクシヨン・法とは何か (授業形式: 講義および演習)

予習内容: テキストの該当箇所等を用いて予習する。

予習時間: 30分

復習内容: シンキングタイムの考察やテキスト該当箇所等を用いて復習する。

復習時間: 60分

セクション1 法学を学ぶということ

セクション2 法の性質

セクション3 法の存在形式と分類

第2回 憲法1 (統治) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: テキストの該当箇所等を用いて予習する。

予習時間: 30分

復習内容: シンキングタイムの考察やテキスト該当箇所等を用いて復習する。

復習時間: 60分

セクション1 憲法の歴史と存在意義

セクション2 三権分立

セクション3 地方自治とは何か

第3回 憲法 (人権1) ・人権とは何か (授業形式: 講義および演習)

予習内容: テキストの該当箇所等を用いて予習する。

予習時間: 30分

復習内容: シンキングタイムの考察やテキスト該当箇所等を用いて復習する。

復習時間: 60分

セクション1 人権とは何か・人権の種類

セクション2 人権の制約と保障範囲

セクション3 平等権と幸福追求権

第4回 憲法 (人権2) ・精神的自由 (授業形式: 講義および演習)

予習内容: テキストの該当箇所等を用いて予習する。

予習時間: 30分

復習内容: シンキングタイムの考察やテキスト該当箇所等を用いて復習する。

復習時間: 60分

セクション1 思想良心の自由・信教の自由

セクション2 表現の自由

セクション3 学問の自由・教育を受ける権利

第5回 憲法 (人権3) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: テキストの該当箇所等を用いて予習する。

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察やテキスト該当箇所等を用いて復習する。

復習時間：60分

- セクション1 経済的自由
- セクション2 社会権
- セクション3 参政権と人身の自由

第6回 民法1（総則）（授業形式：講義および演習）

予習内容：テキストの該当箇所等を用いて予習する。

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察やテキスト該当箇所等を用いて復習する。

復習時間：60分

- セクション1 民法の体系
- セクション2 権利の主体と客体
- セクション3 権利の変動

第7回 民法2（物権・債権）（授業形式：講義および演習）

予習内容：テキストの該当箇所等を用いて予習する。

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察やテキスト該当箇所等を用いて復習する。

復習時間：60分

- セクション1 物権法・所有権
- セクション2 債権と契約
- セクション3 不法行為

第8回 民法3（家族関係・相続）（授業形式：講義および演習）

予習内容：テキストの該当箇所等を用いて予習する。

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察やテキスト該当箇所等を用いて復習する。

復習時間：60分

- セクション1 離婚
- セクション2 子どもの権利
- セクション3 相続問題

第9回 刑法1（授業形式：講義および演習）

予習内容：テキストの該当箇所等を用いて予習する。

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察やテキスト該当箇所等を用いて復習する。

復習時間：60分

- セクション1 刑法の基本・犯罪と刑罰
- セクション2 犯罪の構成要件
- セクション3 違法性阻却事由・責任阻却自由

第10回 刑法2（授業形式：講義および演習）

予習内容：テキストの該当箇所等を用いて予習する。

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察やテキスト該当箇所等を用いて復習する。

復習時間：60分

- セクション1 生命・身体に関する罪
- セクション2 財産に対する罪
- セクション3 社会法益・国家法益に関する罪

第11回 民事訴訟（授業形式：講義および演習）

予習内容：テキストの該当箇所等を用いて予習する。

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察やテキスト該当箇所等を用いて復習する。

復習時間：60分

- セクション1 民事裁判制度の意義
- セクション2 訴訟の流れ
- セクション3 民事訴訟の原則と様々な問題解決手段

第12回 刑事訴訟（授業形式：講義および演習）

予習内容：テキストの該当箇所等を用いて予習する。

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察やテキスト該当箇所等を用いて復習する。

復習時間：60分

セクション1 刑事手続きの流れ

セクション2 捜査に関する諸原則

セクション3 公判の諸原則

第13回 行政法1（組織法・作用法）（授業形式：講義および演習）

予習内容：テキストの該当箇所等を用いて予習する。

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察やテキスト該当箇所等を用いて復習する。

復習時間：60分

セクション1 行政法の基礎

セクション2 行政組織

セクション3 行政作用

第14回 行政法2（救済法）（授業形式：講義および演習）

予習内容：テキストの該当箇所等を用いて予習する。

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察やテキスト該当箇所等を用いて復習する。

復習時間：60分

セクション1 行政救済法とは

セクション2 国家補償

セクション3 行政争訟

第15回 災害と法（授業形式：講義および演習）

予習内容：テキストの該当箇所等を用いて予習する。

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察やテキスト該当箇所等を用いて復習する。

復習時間：60分

セクション1 災害とは何か？ 防災とは何か？ 私たちに身近な防災

セクション2 災害と行政

セクション3 各種災害に関する法制度と今日の課題

■ ホームページ

■ 実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 :	現代社会と法【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Law and Modern Society				
担当者 :	村宮 淳子				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :	理工学部応用化学科：学修・教育到達目標（A）に主体的に関与、 理工学部電気電子通信工学科：学習・教育到達目標D1の達成に付随的に関与、 理工学部社会環境工学科：ディプロマ・ポリシーの(A)、(G)に主体的に関与、(C)に付随的に関与				

■ 授業概要

この授業コンテンツ（動画）は村中が作成したものであり、第1回から第15回まで同一の教員による講義を行っている。

法律学の中でも基本的な法である、憲法、民法、刑法などを中心にその内容を理解する。
社会の中で生きていくうえでの基本的な法的知識の基礎を身につける。

※オンデマンド授業であるため、毎週の受講（動画の視聴）が必須とはならないが、規定に基づき出席の確認を行い、出席状況が3分の2以上あることが求められる（全15回のうち10回以上の出席）。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

PBL（課題解決学習）・ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講者は、この授業と通じて、①法（法学）と社会の関りを認識し、②身近な事柄が法と関わること、法によって私たちの生活の様々な場面が規制されていることを理解するとともに、③身近なトラブルの事例の解決策を探る上での基礎的な知識を身につけることができる。

■ 成績評価方法および基準

中間レポート課題（全2回） 40%
期末レポート課題 60%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

レポート課題の提出締切後に「レポート課題の要点・採点基準と解説」をGoogleClassroomに掲載します。
また、全体的な講評コメントを掲示します。

■ 教科書

[ISBN]479728630X 『嫌いにならない法学入門〔第2版〕』（村中 洋介, 信山社：2023）

■ 参考文献

[ISBN]9784641115668 『地方自治判例百選〔第5版〕：別冊ジュリスト266号（別冊ジュリスト no. 266）』（小幡 純子, 有斐閣：2023）
[ISBN]9784641115651 『民事訴訟法判例百選〔第6版〕：別冊ジュリスト 第265号（別冊ジュリスト 265）』（高田 裕成, 有斐閣：2023）
[ISBN]9784641115620 『民法判例百選I 総則・物権〔第9版〕：別冊ジュリスト 第262号（別冊ジュリスト no. 262）』（潮見 佳男, 有斐閣：2023）
[ISBN]9784641115637 『民法判例百選II 債権〔第9版〕：別冊ジュリスト 第263号（別冊ジュリスト no. 263）』（窪田 充見, 有斐閣：2023）

- [ISBN]9784641115644 『民法判例百選III 親族・相続〔第3版〕：別冊ジュリスト 第264号(別冊ジュリスト no. 264)』(大村 敦志, 有斐閣：2023)
- [ISBN]9784641115606 『行政判例百選I〔第8版〕：別冊ジュリスト 第260号(別冊ジュリスト no. 260)』(斎藤 誠, 有斐閣：2022)
- [ISBN]9784641115613 『行政判例百選II〔第8版〕：別冊ジュリスト 第261号(別冊ジュリスト no. 261)』(斎藤 誠, 有斐閣：2022)
- [ISBN]9784641115507 『刑法判例百選I 総論〔第8版〕：別冊ジュリスト 第250号』(佐伯 仁志, 有斐閣：2020)
- [ISBN]9784641115514 『刑法判例百選II 各論〔第8版〕：別冊ジュリスト 第251号』(佐伯 仁志, 有斐閣：2020)
- [ISBN]9784641115453 『憲法判例百選I 第7版(別冊ジュリスト)』(長谷部 恭男, 有斐閣：2019)
- [ISBN]9784641115460 『憲法判例百選II 第7版(別冊ジュリスト)』(長谷部 恭男, 有斐閣：2019)
- [ISBN]4335301294 『最新重要判例250〔刑法〕 第13版』(前田 雅英, 弘文堂：2023)

■ 関連科目

法学に関連する基本科目

■ 授業評価アンケート実施方法

大学の定める実施要領に基づいて実施する。

■ 研究室・メールアドレス

muramiya_junko@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

メールにて随時

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 インTRODクシヨン・法とは何か(授業形式：講義および演習)

予習内容：テキストの該当箇所等を用いて予習する。

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察やテキスト該当箇所等を用いて復習する。

復習時間：60分

セクション1 法学を学ぶということ

セクション2 法の性質

セクション3 法の存在形式と分類

第2回 憲法1(統治)(授業形式：講義および演習)

予習内容：テキストの該当箇所等を用いて予習する。

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察やテキスト該当箇所等を用いて復習する。

復習時間：60分

セクション1 憲法の歴史と存在意義

セクション2 三権分立

セクション3 地方自治とは何か

第3回 憲法(人権1)・人権とは何か(授業形式：講義および演習)

予習内容：テキストの該当箇所等を用いて予習する。

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察やテキスト該当箇所等を用いて復習する。

復習時間：60分

セクション1 人権とは何か・人権の種類

セクション2 人権の制約と保障範囲

セクション3 平等権と幸福追求権

第4回 憲法(人権2)・精神的自由(授業形式：講義および演習)

予習内容：テキストの該当箇所等を用いて予習する。

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察やテキスト該当箇所等を用いて復習する。

復習時間：60分

セクション1 思想良心の自由・信教の自由

セクション2 表現の自由

セクション3 学問の自由・教育を受ける権利

第5回 憲法(人権3)(授業形式：講義および演習)

予習内容：テキストの該当箇所等を用いて予習する。

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察やテキスト該当箇所等を用いて復習する。

復習時間：60分

- セクション1 経済的自由
- セクション2 社会権
- セクション3 参政権と人身の自由

第6回 民法1（総則）（授業形式：講義および演習）

予習内容：テキストの該当箇所等を用いて予習する。

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察やテキスト該当箇所等を用いて復習する。

復習時間：60分

- セクション1 民法の体系
- セクション2 権利の主体と客体
- セクション3 権利の変動

第7回 民法2（物権・債権）（授業形式：講義および演習）

予習内容：テキストの該当箇所等を用いて予習する。

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察やテキスト該当箇所等を用いて復習する。

復習時間：60分

- セクション1 物権法・所有権
- セクション2 債権と契約
- セクション3 不法行為

第8回 民法3（家族関係・相続）（授業形式：講義および演習）

予習内容：テキストの該当箇所等を用いて予習する。

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察やテキスト該当箇所等を用いて復習する。

復習時間：60分

- セクション1 離婚
- セクション2 子どもの権利
- セクション3 相続問題

第9回 刑法1（授業形式：講義および演習）

予習内容：テキストの該当箇所等を用いて予習する。

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察やテキスト該当箇所等を用いて復習する。

復習時間：60分

- セクション1 刑法の基本・犯罪と刑罰
- セクション2 犯罪の構成要件
- セクション3 違法性阻却事由・責任阻却自由

第10回 刑法2（授業形式：講義および演習）

予習内容：テキストの該当箇所等を用いて予習する。

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察やテキスト該当箇所等を用いて復習する。

復習時間：60分

- セクション1 生命・身体に関する罪
- セクション2 財産に対する罪
- セクション3 社会法益・国家法益に関する罪

第11回 民事訴訟（授業形式：講義および演習）

予習内容：テキストの該当箇所等を用いて予習する。

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察やテキスト該当箇所等を用いて復習する。

復習時間：60分

- セクション1 民事裁判制度の意義
- セクション2 訴訟の流れ
- セクション3 民事訴訟の原則と様々な問題解決手段

第12回 刑事訴訟（授業形式：講義および演習）

予習内容：テキストの該当箇所等を用いて予習する。

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察やテキスト該当箇所等を用いて復習する。

復習時間：60分

- セクション1 刑事手続きの流れ
- セクション2 捜査に関する諸原則
- セクション3 公判の諸原則

第13回 行政法1（組織法・作用法）（授業形式：講義および演習）

予習内容：テキストの該当箇所等を用いて予習する。

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察やテキスト該当箇所等を用いて復習する。

復習時間：60分

- セクション1 行政法の基礎
- セクション2 行政組織
- セクション3 行政作用

第14回 行政法2（救済法）（授業形式：講義および演習）

予習内容：テキストの該当箇所等を用いて予習する。

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察やテキスト該当箇所等を用いて復習する。

復習時間：60分

- セクション1 行政救済法とは
- セクション2 国家補償
- セクション3 行政争訟

第15回 災害と法（授業形式：講義および演習）

予習内容：テキストの該当箇所等を用いて予習する。

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察やテキスト該当箇所等を用いて復習する。

復習時間：60分

- セクション1 災害とは何か？ 防災とは何か？ 私たちに身近な防災
- セクション2 災害と行政
- セクション3 各種災害に関する法制度と今日の課題

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 :	現代社会と政治【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Politics and Modern Society				
担当者 :	大西 弘子				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	前期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

この授業はコンテンツ作成者新田和宏が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。

<本科目を学ぶ目的>

本科目は、1989年の冷戦終結後30余年におよぶ「新しい政治の世界」のその変容について、基本的な理解を深めることを目的とします。

「グローバル化」・「新自由主義」・「新しい帝国」・「人間の安全保障」・「新しい戦争」・「崩壊国家」・「ガバナンス」・「市民社会」・「行使の民主主義」・「ポピュリズム」・「権威主義体制」・「新しい社会的リスク」・「持続可能性」・「政治改革」・「政治主導」・「権力の集中」・「大統領制化」・「政治的ジェンダー平等」・「生政治」・「監視国歌」等々、これらは「新しい政治の世界」を読み解く重要なキーワードであるが、こうしたキーワードの理解も深めることを目的とします。

<本科目において学ぶことの意義>

本科目を通じて学ぶ意義は、「新しい政治の世界」を理解することにより、わたくしたちがいま生きている、この21世紀前半という時代が、今後どのような方向へ進むべきか、それを見極めることにあります。。

かつて20世紀を代表する政治学者ハロルド・ラスキは、「新しい時代には新しい政治哲学が必要である」と記しました。同様に、わたくしたちは、「21世紀という新しい時代には新しい政治学が必要である」、といえよう。その意味で、21世紀を導く「新しい政治学」は、現代人の必須の学問といえます。

そのためには、2つの「そうぞうりよく」を働かせて載きたいと思います。すなわち、想像力 (imagination) と創造力 (creation)。換言すると、思い浮かべる力と未来を創る力、です。

また、本科目は、SDGsについても、政治学のサイドから取り上げ、SDGsへの理解を深めることにも連動します。

■ 授業形態

メディア授業 (全授業回)

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業 (クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用)

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

本講座を通じて得られるべき到達目標とは次の通りである。

①. 基本文献を読み、これを正確に理解できる読解力。②. 講義を積極的に傾聴 (active listening) できる能力。③. 板書に頼らずとも、自分の頭の中で情報を整理しつつ、ノートがとれる能力。④. 岩波書店から刊行されているオピニオン雑誌『世界』に所収されている政治学関係もしくは政治論の論文を読み、これを正確に理解できる読解力。⑤. 現実の政治現象に対して関心を示しつつ、基礎的な政治学的考察ができる能力。⑥. 政治に対し持論を表現できる能力。

<ディプロマポリシーとの関連>

受講者はこの授業を履修することによって、上記①から⑥の能力を修得することができるようになる。また、この科目の修得は、本学が定めるディプロマポリシー 3 および 4 を体現し、かつその達成に大きく関与している。

■ 成績評価方法および基準

レポート課題 100%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

「レポート課題の提出締切後に「レポート課題の要点と解説」をGoogleClassroomに掲載します。

■教科書

使用しない。

■参考文献

- ①. 新川敏光『政治学』ミネルヴァ書房、2022年 ISBN978-4-623-09454-7
- ②. 佐橋亮『米中対立』中公新書、2021年 ISBN978-4-12-102650-7
池内恵他『ウクライナ戦争と世界のゆくえ』東京大学出版会、2022年 ISBN978-4-13-033305-4
- ③. 岩崎正洋編『ポスト・グローバル化と国家の変容』ナカニシヤ出版、2021年 ISBN978-4-7795-1600-9
- ④. 大田昌秀・佐藤優『沖縄は未来をどう生きるか』岩波書店、2016年 ISBN978-4-00-061144-2
- ⑤. 古関彰一『安全保障とは何か』岩波書店、2013年 ISBN978-4-00-022077-4
- ⑥. 坂本治也編『市民社会論』法律文化社、2017年 ISBN978-4-589-03813-5
- ⑦. 山本圭『現代民主主義』中公新書、2021年 ISBN978-4-12-102631-6
- ⑧. 水島治郎『ポピュリズムとは何か』中公新書、2016年 ISBN978-4-12-102410-7
- ⑨. 佐々木毅『平成デモクラシー』講談社、2013年 ISBN978-4-06-218258-4
- ⑩. 新田和宏他『SDGsでパンデミックを乗り越えよう』近畿大学、2020年
- ⑪. 宮本太郎『共生保障』岩波新書、2017年 ISBN978-4-00-431639-8 C0236
- ⑫. 国立社会保障・人口問題研究所編『日本の人口動向とこれからの社会』東京大学出版会、2017年 ISBN978-4-13-051139-1
- ⑬. 三浦まり編『日本の女性議員』朝日新聞出版、2016年 ISBN978-4-02-263043-8
- ⑭. 吉田徹『くじ引き民主主義』光文社新書、2021年。ISBN978-4-334-04572-2
- ⑮. 木戸衛一『若者が変えるドイツの政治』あけび書房、2022年 ISBN978-4-87154-222-7

■関連科目

持続可能な社会論

特殊講義A

■授業評価アンケート実施方法

本学の規程に準拠して実施します。

■研究室・メールアドレス

0335N5@kindai.ac.jp

■オフィスアワー

Google classroomから随時アクセスしてください。回答までに3日程度かかる場合もありますので了承ください。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 政治（授業形式：講義および演習）

予習内容：予習

Exercise①. これから「現代社会と政治」を学ぶにあたり、重要と思われる政治の課題について、5つ指摘してください。また、その5つが何故に重要なのか、その理由について、それぞれ100～200字でまとめ、ノートに記述してください。

予習時間：90分

復習内容：復習

基本：ノートを読み返しながらか、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足してください。

発展：講義を踏まえ、Exercise①で指摘した5つの重要な政治課題について、思い当たることをノートに付け加えてください。

跳躍：参考文献①を繙き、さらに興味・関心を高めてください。

復習時間：90分

Section 1. 政治とは

Section 2. 政治学という学問

Section 3. 国家とは／政府とは

第2回 冷戦後の「新しい政治の世界」（授業形式：講義および演習）

予習内容：予習

Exercise②. 冷戦の終結にあたり、ミハイロ・ゴルバチョフが果たした役割について、400字にまとめ、ノートに記述してください。

予習時間：90分

復習内容：復習

基本：ノートを読み返しながらか、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足してください。

発展：講義を踏まえ、Exercise①で指摘した5つの重要な政治課題について、思い当たることをノートに付け加えてください。

跳躍：参考文献①を繙き、さらに興味・関心を高めてください。復習

基本：ノートを読み返しながらか、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足してください。

発展：「旧い政治の世界」から「新しい政治の世界」への流れに関して、簡潔な年表をエクセルで作成してください。こうして、基本的な出来事の前後関係を整理しておきます。

復習

基本：ノートを読み返しながらか、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足してください。

発展：「旧い政治の世界」から「新しい政治の世界」への流れに関して、簡潔な年表をエクセルで作成してください。こうして、基本的な出来事の前後関係を整理しておきます。

跳躍：参考文献②を繙き、さらに興味・関心を高めてください。

復習時間：90分

Section 1. 冷戦

Section 2. 冷戦の崩壊と終結

Section 3. 「平和の配当」から「新冷戦」？へ

第3回 グローバル化と新自由主義をめぐる政治（授業形式：講義および演習）

予習内容：予習

Exercise③. 冷戦が終結したとき、日本はバブル景気に沸き「豊かな社会」を享受していました。それでは、バブル景気に沸く日本社会の状況を振り返りながら、その様相を400字でまとめ、ノートに記述してください。バブル景気とその後のバブル景気の終息が、平成時代における日本の政治の背景となります。

予習時間：90分

復習内容：復習

基本：ノートを読み返しながらか、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足してください。

発展：2013年、ローマ法王フランシスコは、「今日においては『排除と格差のある経済を拒否せよ』とも言わなければなりません。この経済は人を殺します」と発言しました。「この経済」とは経済のグローバルと新自由主義経済を指します。講義を踏まえつつ、このローマ法王の発言を、どのように受け止めましたか。400字でまとめ、ノートに記述してください。

跳躍：参考文献③を繙き、さらに興味・関心を高めてください。

復習時間：90分

Section 1. 経済のグローバル化と新自由主義

Section 2. 新自由主義という政治選択

Section 3. 新自由主義の政治的帰結

第4回 冷戦後の国際政治秩序をめぐる政治（授業形式：講義および演習）

予習内容：予習

Exercise④. 2001年9月11日の「9.11テロ」について調べ、その事件の要点を400字でまとめ、ノートに記述してください。この「9.11テロ」が、冷戦後の「平和の配当」を一変させ、「新しい政治の世界」がいわばドリフト運転を強いられることになるのです。

予習時間：90分

復習内容：復習

基本：ノートを読み返しながらか、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足してください。

発展：冷戦後における中国の毎年の国内総生産額と軍事予算費を調べ（1989年から昨年）、その数字をエクセルに入力し、なおかつグラフ化してください。

跳躍：参考文献④を繙き、さらに興味・関心を高めてください。

復習時間：90分

Section 1. 「新しい帝国」米国の登場

Section 2. ゆらぐ冷戦後の国際政治秩序

Section 3. 米国における西半球の安全保障戦略

第5回 「新しい戦争」をめぐる政治（授業形式：講義および演習）

予習内容：予習

Exercise⑤. ユーゴ内戦やシリア内戦などの「新しい戦争」は、残忍な戦争の様相を呈します。何故でしょうか。その要点について400字でまとめ、ノートに記述してください。この点の確認が第5回目の講義の問題意識を高めます。

予習時間：90分

復習内容：復習

基本：ノートを読み返しながらか、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足してください。

発展：2014年、ローマ法王フランシスコは、「戦争は神が創造した最も素晴らしいものを破壊する。戦争は、人間を殺害する」と語りつつ、「地域紛争、大量虐殺、人間の殺害、その他の侵略者やテロリストたちの犯罪」が広がる中、「世界は第三次大戦の状態にある」との懸念を發しました。改めて、講義を踏まえつつ、このローマ法王の発言を、どのように受け止めましたか。400字でまとめ、ノートに記述してください。

跳躍：参考文献⑤を繙き、さらに興味・関心を高めてください。

復習時間：90分

Section 1. 「新しい戦争」

Section 2. シリア内戦と「イスラム国」の出現

Section 3. 「新しい戦争」と崩壊国家

第6回 ガバナンスと市民社会をめぐる政治（授業形式：講義および演習）

予習内容：予習

Exercise⑥. 日本NGOもしくはNPOの中から一つ任意に選び、その財務状況を、会費や出版などの自主財源、寄付、助成、および行政からの委託金や補助金などにわけて調べ、ノートに記述してください。日本の市民社会の一端が理解できると思います。

予習時間：90分

復習内容：復習

基本：ノートを読み返しながらか、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足してください。

発展：講義中に取り上げた、Civicus Monitorによると、日本の市民社会スペースの状況は、ドイツのように「開かれている（Open）」ではなく、その一つ下のグレードである「狭まっている（Narrowed）」です。何故でしょう。その要点を400字でまとめ、ノートに記述してください。

跳躍：参考文献⑥を繙き、さらに興味・関心を高めてください。

復習時間：90分

Section 1. ガバナメントからガバナンスへ

Section 2. 市民社会セクターの台頭

Section 3. 市民社会スペースの縮小

第7回 民主主義をめぐる政治（授業形式：講義および演習）

予習内容：予習

Exercise⑦. SDGsの17のゴールおよび169のターゲットの中で、政治に関するものを選び、これをノートに記述し、なおかつ英文と対比してください。

予習時間：90分

復習内容：復習

基本：ノートを読み返しながらか、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足してください。

発展：いまや自由民主主義体制は危機的状況です。外部（権威主義体制の台頭）からも、内部（ポピュリズムの台頭）からも。そして、もう一つ、内部の内部というべき、自由民主主義そのものが機能不全に陥っています。そのような状況の中で、SDGsは「応答的・包摂的・参加的・代表的な意思決定」を重視しています。何故でしょうか。その要点を400字でまとめ、ノートに記述してください。

跳躍：参考文献⑦を繙き、さらに興味・関心を高めてください。

復習時間：90分

Section 1. 民主主義の理念と実際

Section 2. 上手くいかない民主主義

Section 3. 自由民主主義体制 vs. 権威主義体制

第8回 ポピュリズムをめぐる政治（授業形式：講義および演習）

予習内容：予習

Exercise⑧. ポピュリズムは民主主義（選挙）を踏み台にして台頭しました。しかしながら、踏み台とした民主主義を、ポピュリズムは劣化させる政治的機能をもちます。何故でしょうか。思い当たるところを400字でまとめ、ノートに記述してください

予習時間：90分

復習内容：復習

基本：ノートを読み返しながらか、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足してください。

発展：高度な福祉国家として知られる北欧諸国でもポピュリズムが台頭しました。その背景に、福祉排外主義が影響していると思われます。福祉排外主義の要点を400字でまとめ、ノートに記述してください。

跳躍：参考文献⑧を繙き、さらに興味・関心を高めてください。

復習時間：90分

Section 1. ポピュリズムの台頭と席卷

Section 2. ポピュリズムという政治

Section 3. ポピュリズムが映し出す「新しい政治の世界」の変

第9回 権力の集中と抑制をめぐる政治（授業形式：講義および演習）

予習内容：予習

Exercise⑨. 北海道ニセコ町の「ニセコ町まちづくり基本条例」、および北海道栗山町の「栗山町議会基本条例」をダウンロードし、それぞれ全文を読み、重要と思われる箇所を、マーキングしておいてください。

予習時間：90分

復習内容：復習

基本：ノートを読み返しながらか、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足してください。

発展：平成時代における日本の政治改革は、上手くいったのでしょうか、それとも上手くいかなかったのでしょうか。その評価の要点を400字でまとめ、ノートに記述してください。

跳躍：参考文献⑨を繙き、さらに興味・関心を高めてください。

復習時間：90分

- Section 1. 行政国家と「大統領制化」
- Section 2. 政治改革と政治主導
- Section 3. 地方分権と市民自治をめぐる政治

第10回 SDGsという理念の政治（授業形式：講義および演習）

予習内容：予習

Exercise⑩. 以前取り組んだExercise⑦のおさらいをExercise⑩の予習とします。改めて、SDGsの17のゴールおよび169のターゲットの中で、政治に関するものを選び、これをノートに記述し、なおかつ英文と対比してください。

予習時間：90分

復習内容：復習

基本：ノートを読み返しながらか、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足してください。

発展：SDGsは壮大な理念が先行する政治といえます。SDGsの理念を実現するためには、SDGsが掲げる政治的条件の達成が不可欠であると思われます。その点がまた、自由民主主義体制の再生にも連動します。それでは、行政国家化もしくは「大統領制化」する政治状況にあつて、何故にトップリーダーの応答性と説明責任が重要なのでしょうか。その要点を400字でまとめ、ノートに記述してください。

跳躍：参考文献⑩を繙き、さらに興味・関心を高めてください。

復習時間：90分

- Section 1. SDGsの核にある人権
- Section 2. 「誰一人取り残さない」理念の政治
- Section 3. SDGsが要請する政治的条件

第11回 福祉国家をめぐる政治（授業形式：講義および演習）

予習内容：予習

Exercise⑩. 北欧諸国では、おしなべて「幸福度」の世界ランキングが高いのですが、何故でしょう。その要点を400字でまとめ、ノートに記述してください。

予習時間：90分

復習内容：復習

基本：ノートを読み返しながらか、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足してください。

発展：日本の政治において、大変重要な政治課題であるポスト日本型福祉国家の要点を400字でまとめ、ノートに記述してください。

跳躍：参考文献⑩を繙き、さらに興味・関心を高めてください。

復習時間：90分

- Section 1. 福祉国家
- Section 2. 日本型福祉国家の基本構成
- Section 3. ポスト日本型福祉国家という政治課題

第12回 少子高齢化および人口減少社会をめぐる政治（授業形式：講義および演習）

予習内容：予習

Exercise⑩. 一説によると、日本の人口は西暦3000年に14人になると予測されています。何故に、ここまで人口が減少するのでしょうか。その要因を400字でまとめ、ノートに記述してください。

予習時間：90分

復習内容：復習

基本：ノートを読み返しながらか、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足してください。

発展：少子高齢化の傾向を迎える日本社会は、いまや高齢者一人世帯（「お一人様」）や二人世帯（「老夫婦二人だけ世帯」）が高齢者世帯の半数以上を占める状況にあります。しかも、就職氷河期の影響が将来的に少なくない「生活困窮高齢者」を生み出すとも指摘されています。どのように対応すべきか、大変重要な政治課題であるとともに、大変難しい課題です。ここは思案のしどころです。どう対応すべきか、その政策アイデアの要点を400字でまとめ、ノートに記述してください。

復習時間：90分

- Section 1. 人口減少社会
- Section 2. 少子化という政治課題
- Section 3. 高齢化という政治課題

第13回 ジェンダー平等をめぐる政治（授業形式：講義および演習）

予習内容：予習

Exercise⑩. 「男尊女卑」という言説を調べ、その要点を400字でまとめ、ノートに記述してください。

予習時間：90分

復習内容：復習

基本：ノートを読み返しながらか、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足してください。

発展：講義中にも触れましたが、政治的ジェンダー平等を阻害する要因として、女性議員や候補者に対するハラスメントが絶えないことが上げられます。そこで、そのようなハラスメントを犯罪と見做し、これを取り締まる「政治参加における女性差別

禁止法」(仮)を制定し、かつ刑事罰を設けようという議論を紹介しました。これに対して、もちろん賛否両論があるでしょう。この件を如何に考えますか。その要点を400字でまとめ、ノートに記述してください

跳躍：参考文献⑭を繙き、さらに興味・関心を高めてください。

復習時間：90分

Section 1. SDGsとジェンダー平等

Section 2. SDGsにおける日本のジェンダー平等の達成状況

Section 3. 政治的ジェンダー平等を実現するための条件

第14回 気候変動をめぐるグローバル・ガバナンス（授業形式：講義および演習）

予習内容：予習

Exercise⑭. COP3で採択された「京都議定書」は、1990年を基準年に据え、日本の温暖化効果ガスの削減目標を、マズナス6%としました。それでは、日本はこの目標を達成したのか否か。またその結果の内容を調べて400字でまとめ、ノートに記述してください

予習時間：90分

復習内容：復習

基本：ノートを読み返しながらか、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足してください。

発展：講義中に触れたFFF（Fridays For Future：未来のための金曜日）において、日本は極端にその参加者が少なかったのです。その理由を400字でまとめ、ノートに記述してください

跳躍：参考文献⑭を繙き、さらに興味・関心を高めてください。

復習時間：90分

Section 1. 新しい社会的リスクと低炭素社会

Section 2. 気候変動のグローバル・ガバナンス

Section 3. 気候民主主義

第15回 生政治と監視国家（授業形式：講義および演習）

予習内容：予習

Exercise⑮. パンデミックの対応において、権威主義体制の「優位性」が議論されました。それでは、その議論の要点を400字でまとめ、ノートに記述してください

予習時間：90分

復習内容：復習

基本：ノートを読み返しながらか、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足してください。

発展：冷戦終結から30有余年、「新しい政治の世界」は図らずも自由民主主義体制の危機を招いてしまいました。「可能性の政治学」は、「それにもかかわらず」、自由民主主義体制の再生を、「可能性」として提起する役割があると思います。その際、やはりSDGsがポイントになるように思えます。最後に、SDGsが自由民主主義体制の再生に貢献しえる理由を400字でまとめ、ノートに記述してください

跳躍：参考文献⑮を繙き、さらに興味・関心を高めてください。

復習時間：90分

Section 1. パンデミックと生政治

Section 2. デジタル権威主義体制

Section 3. 可能性の政治学

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 :	現代社会と政治【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Politics and Modern Society				
担当者 :	大西 弘子				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

この授業はコンテンツ作成者新田和宏が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。

<本科目を学ぶ目的>

本科目は、1989年の冷戦終結後30余年におよぶ「新しい政治の世界」のその変容について、基本的な理解を深めることを目的とします。

「グローバル化」・「新自由主義」・「新しい帝国」・「人間の安全保障」・「新しい戦争」・「崩壊国家」・「ガバナンス」・「市民社会」・「行使の民主主義」・「ポピュリズム」・「権威主義体制」・「新しい社会的リスク」・「持続可能性」・「政治改革」・「政治主導」・「権力の集中」・「大統領制化」・「政治的ジェンダー平等」・「生政治」・「監視国歌」等々、これらは「新しい政治の世界」を読み解く重要なキーワードであるが、こうしたキーワードの理解も深めることを目的とします。

<本科目において学ぶことの意義>

本科目を通じて学ぶ意義は、「新しい政治の世界」を理解することにより、わたくしたちがいま生きている、この21世紀前半という時代が、今後どのような方向へ進むべきか、それを見極めることにあります。。

かつて20世紀を代表する政治学者ハロルド・ラスキは、「新しい時代には新しい政治哲学が必要である」と記しました。同様に、わたくしたちは、「21世紀という新しい時代には新しい政治学が必要である」、といえよう。その意味で、21世紀を導く「新しい政治学」は、現代人の必須の学問といえます。

そのためには、2つの「そうぞうりよく」を働かせて戴きたいと思います。すなわち、想像力 (imagination) と創造力 (creation)。換言すると、思い浮かべる力と未来を創る力、です。

また、本科目は、SDGsについても、政治学のサイドから取り上げ、SDGsへの理解を深めることにも連動します。

■ 授業形態

メディア授業 (全授業回)

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業 (クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用)

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

本講座を通じて得られるべき到達目標とは次の通りである。

①. 基本文献を読み、これを正確に理解できる読解力。②. 講義を積極的に傾聴 (active listening) できる能力。③. 板書に頼らずとも、自分の頭の中で情報を整理しつつ、ノートがとれる能力。④. 岩波書店から刊行されているオピニオン雑誌『世界』に所収されている政治学関係もしくは政治論の論文を読み、これを正確に理解できる読解力。⑤. 現実の政治現象に対して関心を示しつつ、基礎的な政治学的考察ができる能力。⑥. 政治に対し持論を表現できる能力。

<ディプロマポリシーとの関連>

受講者はこの授業を履修することによって、上記①から⑥の能力を修得することができるようになる。また、この科目の修得は、本学が定めるディプロマポリシー 3 および 4 を体現し、かつその達成に大きく関与している。

■ 成績評価方法および基準

レポート課題 100%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

「レポート課題の提出締切後に「レポート課題の要点と解説」をGoogleClassroomに掲載します。

■教科書

使用しない。

■参考文献

- ①. 新川敏光『政治学』ミネルヴァ書房、2022年 ISBN978-4-623-09454-7
- ②. 佐橋亮『米中対立』中公新書、2021年 ISBN978-4-12-102650-7
池内恵他『ウクライナ戦争と世界のゆくえ』東京大学出版会、2022年 ISBN978-4-13-033305-4
- ③. 岩崎正洋編『ポスト・グローバル化と国家の変容』ナカニシヤ出版、2021年 ISBN978-4-7795-1600-9
- ④. 大田昌秀・佐藤優『沖縄は未来をどう生きるか』岩波書店、2016年 ISBN978-4-00-061144-2
- ⑤. 古関彰一『安全保障とは何か』岩波書店、2013年 ISBN978-4-00-022077-4
- ⑥. 坂本治也編『市民社会論』法律文化社、2017年 ISBN978-4-589-03813-5
- ⑦. 山本圭『現代民主主義』中公新書、2021年 ISBN978-4-12-102631-6
- ⑧. 水島治郎『ポピュリズムとは何か』中公新書、2016年 ISBN978-4-12-102410-7
- ⑨. 佐々木毅『平成デモクラシー』講談社、2013年 ISBN978-4-06-218258-4
- ⑩. 新田和宏他『SDGsでパンデミックを乗り越えよう』近畿大学、2020年
- ⑪. 宮本太郎『共生保障』岩波新書、2017年 ISBN978-4-00-431639-8 C0236
- ⑫. 国立社会保障・人口問題研究所編『日本の人口動向とこれからの社会』東京大学出版会、2017年 ISBN978-4-13-051139-1
- ⑬. 三浦まり編『日本の女性議員』朝日新聞出版、2016年 ISBN978-4-02-263043-8
- ⑭. 吉田徹『くじ引き民主主義』光文社新書、2021年。ISBN978-4-334-04572-2
- ⑮. 木戸衛一『若者が変えるドイツの政治』あけび書房、2022年 ISBN978-4-87154-222-7

■関連科目

持続可能な社会論

特殊講義A

■授業評価アンケート実施方法

本学の規程に準拠して実施します。

■研究室・メールアドレス

0335N5@kindai.ac.jp

■オフィスアワー

Google classroomから随時アクセスしてください。回答までに3日程度かかる場合もありますので了承ください。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 政治（授業形式：講義および演習）

予習内容：予習

Exercise①. これから「現代社会と政治」を学ぶにあたり、重要と思われる政治の課題について、5つ指摘してください。また、その5つが何故に重要なのか、その理由について、それぞれ100～200字でまとめ、ノートに記述してください。

予習時間：90分

復習内容：復習

基本：ノートを読み返しながらか、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足してください。

発展：講義を踏まえ、Exercise①で指摘した5つの重要な政治課題について、思い当たることをノートに付け加えてください。

跳躍：参考文献①を繙き、さらに興味・関心を高めてください。

復習時間：90分

Section 1. 政治とは

Section 2. 政治学という学問

Section 3. 国家とは／政府とは

第2回 冷戦後の「新しい政治の世界」（授業形式：講義および演習）

予習内容：予習

Exercise②. 冷戦の終結にあたり、ミハイロ・ゴルバチョフが果たした役割について、400字にまとめ、ノートに記述してください。

予習時間：90分

復習内容：復習

基本：ノートを読み返しながらか、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足してください。

発展：講義を踏まえ、Exercise①で指摘した5つの重要な政治課題について、思い当たることをノートに付け加えてください。

跳躍：参考文献①を繙き、さらに興味・関心を高めてください。復習

基本：ノートを読み返しながらか、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足してください。

発展：「旧い政治の世界」から「新しい政治の世界」への流れに関して、簡潔な年表をエクセルで作成してください。こうして、基本的な出来事の前後関係を整理しておきます。

復習

基本：ノートを読み返しながらか、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足してください。

発展：「旧い政治の世界」から「新しい政治の世界」への流れに関して、簡潔な年表をエクセルで作成してください。こうして、基本的な出来事の前後関係を整理しておきます。

跳躍：参考文献②を繙き、さらに興味・関心を高めてください。

復習時間：90分

Section 1. 冷戦

Section 2. 冷戦の崩壊と終結

Section 3. 「平和の配当」から「新冷戦」？へ

第3回 グローバル化と新自由主義をめぐる政治（授業形式：講義および演習）

予習内容：予習

Exercise③. 冷戦が終結したとき、日本はバブル景気に沸き「豊かな社会」を享受していました。それでは、バブル景気に沸く日本社会の状況を振り返りながら、その様相を400字でまとめ、ノートに記述してください。バブル景気とその後のバブル景気の終息が、平成時代における日本の政治の背景となります。

予習時間：90分

復習内容：復習

基本：ノートを読み返しながらか、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足してください。

発展：2013年、ローマ法王フランシスコは、「今日においては『排除と格差のある経済を拒否せよ』とも言わなければなりません。この経済は人を殺します」と発言しました。「この経済」とは経済のグローバルと新自由主義経済を指します。講義を踏まえつつ、このローマ法王の発言を、どのように受け止めましたか。400字でまとめ、ノートに記述してください。

跳躍：参考文献③を繙き、さらに興味・関心を高めてください。

復習時間：90分

Section 1. 経済のグローバル化と新自由主義

Section 2. 新自由主義という政治選択

Section 3. 新自由主義の政治的帰結

第4回 冷戦後の国際政治秩序をめぐる政治（授業形式：講義および演習）

予習内容：予習

Exercise④. 2001年9月11日の「9.11テロ」について調べ、その事件の要点を400字でまとめ、ノートに記述してください。この「9.11テロ」が、冷戦後の「平和の配当」を一変させ、「新しい政治の世界」がいわばドリフト運転を強いられることになるのです。

予習時間：90分

復習内容：復習

基本：ノートを読み返しながらか、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足してください。

発展：冷戦後における中国の毎年の国内総生産額と軍事予算費を調べ（1989年から昨年）、その数字をエクセルに入力し、なおかつグラフ化してください。

跳躍：参考文献④を繙き、さらに興味・関心を高めてください。

復習時間：90分

Section 1. 「新しい帝国」米国の登場

Section 2. ゆらぐ冷戦後の国際政治秩序

Section 3. 米国における西半球の安全保障戦略

第5回 「新しい戦争」をめぐる政治（授業形式：講義および演習）

予習内容：予習

Exercise⑤. ユーゴ内戦やシリア内戦などの「新しい戦争」は、残忍な戦争の様相を呈します。何故でしょうか。その要点について400字でまとめ、ノートに記述してください。この点の確認が第5回目の講義の問題意識を高めます。

予習時間：90分

復習内容：復習

基本：ノートを読み返しながらか、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足してください。

発展：2014年、ローマ法王フランシスコは、「戦争は神が創造した最も素晴らしいものを破壊する。戦争は、人間を殺害する」と語りつつ、「地域紛争、大量虐殺、人間の殺害、その他の侵略者やテロリストたちの犯罪」が広がる中、「世界は第三次大戦の状態にある」との懸念を発しました。改めて、講義を踏まえつつ、このローマ法王の発言を、どのように受け止めましたか。400字でまとめ、ノートに記述してください。

跳躍：参考文献⑤を繙き、さらに興味・関心を高めてください。

復習時間：90分

Section 1. 「新しい戦争」

Section 2. シリア内戦と「イスラム国」の出現

Section 3. 「新しい戦争」と崩壊国家

第6回 ガバナンスと市民社会をめぐる政治（授業形式：講義および演習）

予習内容：予習

Exercise⑥. 日本NGOもしくはNPOの中から一つ任意に選び、その財務状況を、会費や出版などの自主財源、寄付、助成、および行政からの委託金や補助金などにわけて調べ、ノートに記述してください。日本の市民社会の一端が理解できると思います。

予習時間：90分

復習内容：復習

基本：ノートを読み返しながらか、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足してください。

発展：講義中に取り上げた、Civicus Monitorによると、日本の市民社会スペースの状況は、ドイツのように「開かれている（Open）」ではなく、その一つ下のグレードである「狭まっている（Narrowed）」です。何故でしょう。その要点を400字でまとめ、ノートに記述してください。

跳躍：参考文献⑥を繙き、さらに興味・関心を高めてください。

復習時間：90分

Section 1. ガバナメントからガバナンスへ

Section 2. 市民社会セクターの台頭

Section 3. 市民社会スペースの縮小

第7回 民主主義をめぐる政治（授業形式：講義および演習）

予習内容：予習

Exercise⑦. SDGsの17のゴールおよび169のターゲットの中で、政治に関するものを選び、これをノートに記述し、なおかつ英文と対比してください。

予習時間：90分

復習内容：復習

基本：ノートを読み返しながらか、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足してください。

発展：いまや自由民主主義体制は危機的状況です。外部（権威主義体制の台頭）からも、内部（ポピュリズムの台頭）からも。そして、もう一つ、内部の内部というべき、自由民主主義そのものが機能不全に陥っています。そのような状況の中で、SDGsは「応答的・包摂的・参加的・代表的な意思決定」を重視しています。何故でしょうか。その要点を400字でまとめ、ノートに記述してください。

跳躍：参考文献⑦を繙き、さらに興味・関心を高めてください。

復習時間：90分

Section 1. 民主主義の理念と実際

Section 2. 上手くいかない民主主義

Section 3. 自由民主主義体制 vs. 権威主義体制

第8回 ポピュリズムをめぐる政治（授業形式：講義および演習）

予習内容：予習

Exercise⑧. ポピュリズムは民主主義（選挙）を踏み台にして台頭しました。しかしながら、踏み台とした民主主義を、ポピュリズムは劣化させる政治的機能をもちます。何故でしょうか。思い当たるところを400字でまとめ、ノートに記述してください

予習時間：90分

復習内容：復習

基本：ノートを読み返しながらか、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足してください。

発展：高度な福祉国家として知られる北欧諸国でもポピュリズムが台頭しました。その背景に、福祉排外主義が影響していると思われます。福祉排外主義の要点を400字でまとめ、ノートに記述してください。

跳躍：参考文献⑧を繙き、さらに興味・関心を高めてください。

復習時間：90分

Section 1. ポピュリズムの台頭と席卷

Section 2. ポピュリズムという政治

Section 3. ポピュリズムが映し出す「新しい政治の世界」の変

第9回 権力の集中と抑制をめぐる政治（授業形式：講義および演習）

予習内容：予習

Exercise⑨. 。北海道ニセコ町の「ニセコ町まちづくり基本条例」、および北海道栗山町の「栗山町議会基本条例」をダウンロードし、それぞれ全文を読み、重要と思われる箇所を、マーキングしておいてください。

予習時間：90分

復習内容：復習

基本：ノートを読み返しながらか、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足してください。

発展：平成時代における日本の政治改革は、上手くいったのでしょうか、それとも上手くいかなかったのでしょうか。その評価の要点を400字でまとめ、ノートに記述してください。

跳躍：参考文献⑨を繙き、さらに興味・関心を高めてください。

復習時間：90分

- Section 1. 行政国家と「大統領制化」
- Section 2. 政治改革と政治主導
- Section 3. 地方分権と市民自治をめぐる政治

第10回 SDGsという理念の政治（授業形式：講義および演習）

予習内容：予習

Exercise⑩. 以前取り組んだExercise⑦のおさらいをExercise⑩の予習とします。改めて、SDGsの17のゴールおよび169のターゲットの中で、政治に関するものを選び、これをノートに記述し、なおかつ英文と対比してください。

予習時間：90分

復習内容：復習

基本：ノートを読み返しながらか、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足してください。

発展：SDGsは壮大な理念が先行する政治といえます。SDGsの理念を実現するためには、SDGsが掲げる政治的条の達成が不可欠であると思われる。その点かまた、自由民主主義体制の再生にも連動します。それでは、行政国家化もしくは「大統領制化」する政治状況にあって、何故にトップリーダーの応答性と説明責任が重要なのでしょうか。その要点を400字でまとめ、ノートに記述してください。

跳躍：参考文献⑩を繙き、さらに興味・関心を高めてください。

復習時間：90分

- Section 1. SDGsの核にある人権
- Section 2. 「誰一人取り残さない」理念の政治
- Section 3. SDGsが要請する政治的条

第11回 福祉国家をめぐる政治（授業形式：講義および演習）

予習内容：予習

Exercise⑩. 北欧諸国では、おしなべて「幸福度」の世界ランキングが高いのですが、何故でしょう。その要点を400字でまとめ、ノートに記述してください。

予習時間：90分

復習内容：復習

基本：ノートを読み返しながらか、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足してください。

発展：日本の政治において、大変重要な政治課題であるポスト日本型福祉国家の要点を400字でまとめ、ノートに記述してください。

跳躍：参考文献⑩を繙き、さらに興味・関心を高めてください。

復習時間：90分

- Section 1. 福祉国家
- Section 2. 日本型福祉国家の基本構成
- Section 3. ポスト日本型福祉国家という政治課題

第12回 少子高齢化および人口減少社会をめぐる政治（授業形式：講義および演習）

予習内容：予習

Exercise⑩. 一説によると、日本の人口は西暦3000年に14人になると予測されています。何故に、ここまで人口が減少するのでしょう。その要因を400字でまとめ、ノートに記述してください。

予習時間：90分

復習内容：復習

基本：ノートを読み返しながらか、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足してください。

発展：少子高齢化の傾向を迎える日本社会は、いまや高齢者一人世帯（「お一人様」）や二人世帯（「老夫婦二人だけ世帯」）が高齢者世帯の半数以上を占める状況にあります。しかも、就職氷河期の影響が将来的に少なくない「生活困窮高齢者」を生み出すとも指摘されています。どのように対応すべきか、大変重要な政治課題であるとともに、大変難しい課題です。ここは思案のしどころです。どう対応すべきか、その政策アイデアの要点を400字でまとめ、ノートに記述してください。

復習時間：90分

- Section 1. 人口減少社会
- Section 2. 少子化という政治課題
- Section 3. 高齢化という政治課題

第13回 ジェンダー平等をめぐる政治（授業形式：講義および演習）

予習内容：予習

Exercise⑩. 「男尊女卑」という言説を調べ、その要点を400字でまとめ、ノートに記述してください。

予習時間：90分

復習内容：復習

基本：ノートを読み返しながらか、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足してください。

発展：講義中にも触れましたが、政治的ジェンダー平等を阻害する要因として、女性議員や候補者に対するハラスメントが絶えないことが上げられます。そこで、そのようなハラスメントを犯罪と見做し、これを取り締まる「政治参加における女性差別

禁止法」(仮)を制定し、かつ刑事罰を設けようという議論を紹介しました。これに対して、もちろん賛否両論があるでしょう。この件を如何に考えますか。その要点を400字でまとめ、ノートに記述してください

跳躍：参考文献⑭を繙き、さらに興味・関心を高めてください。

復習時間：90分

Section 1. SDGsとジェンダー平等

Section 2. SDGsにおける日本のジェンダー平等の達成状況

Section 3. 政治的ジェンダー平等を実現するための条件

第14回 気候変動をめぐるグローバル・ガバナンス（授業形式：講義および演習）

予習内容：予習

Exercise⑭. COP3で採択された「京都議定書」は、1990年を基準年に据え、日本の温暖化効果ガスの削減目標を、マズナス6%としました。それでは、日本はこの目標を達成したのか否か。またその結果の内容を調べて400字でまとめ、ノートに記述してください

予習時間：90分

復習内容：復習

基本：ノートを読み返しながらか、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足してください。

発展：講義中に触れたFFF（Fridays For Future：未来のための金曜日）において、日本は極端にその参加者が少なかったのです。その理由を400字でまとめ、ノートに記述してください

跳躍：参考文献⑭を繙き、さらに興味・関心を高めてください。

復習時間：90分

Section 1. 新しい社会的リスクと低炭素社会

Section 2. 気候変動のグローバル・ガバナンス

Section 3. 気候民主主義

第15回 生政治と監視国家（授業形式：講義および演習）

予習内容：予習

Exercise⑮. パンデミックの対応において、権威主義体制の「優位性」が議論されました。それでは、その議論の要点を400字でまとめ、ノートに記述してください

予習時間：90分

復習内容：復習

基本：ノートを読み返しながらか、適所にマーキングを行い、関連情報を書き足してください。

発展：冷戦終結から30有余年、「新しい政治の世界」は図らずも自由民主主義体制の危機を招いてしまいました。「可能性の政治学」は、「それにもかかわらず」、自由民主主義体制の再生を、「可能性」として提起する役割があると思います。その際、やはりSDGsがポイントになるように思えます。最後に、SDGsが自由民主主義体制の再生に貢献しえる理由を400字でまとめ、ノートに記述してください

跳躍：参考文献⑮を繙き、さらに興味・関心を高めてください。

復習時間：90分

Section 1. パンデミックと生政治

Section 2. デジタル権威主義体制

Section 3. 可能性の政治学

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 :	心と体の健康【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Physical and Mental Health				
担当者 :	田邊 智				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	前期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

この講義はコンテンツ作成者（田邊智）が作成したコンテンツを用い、各担当教員が授業を実施します。

世界保健機関（WHO）は、健康を「肉体的、精神的、社会的に健全である状態であり、単に疾病がなく病弱ではないというだけではない」と定義しています。つまり、体だけではなく、心や我々の住む社会も同時に健全でなければ、本当の意味で健康であるとはいえません。本講義では「心の健康」とは何か、「体の健康」とは何かを学習するとともに、特に「心および体の健康」と、「運動」「食事」「休息」との関係を科学的データをもとに学ぶことで、健康的な生活を営むためにはどうすれば良いのかを考えます。

なお、この講義では、10回以上の出席を単位認定の条件としております。また、動画視聴時間が短すぎる場合や、複数のウィンドウまたは複数のデバイスを用いて同時視聴した場合は、出席とみなさないことがあります。その点を十分に理解し、受講してください。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講者はこの講義を履修することによって、

- 1) 心の健康とは何か、体の健康とは何かを説明することができる
- 2) 健康と運動との関係を説明することができる
- 3) これらの知識を生かして、健康的な生活を営む力をつけることができる

ようになります。なお、この科目の修得は、本学が定めるディプロマポリシー1の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

レポート 90%

ディスカッション 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

レポート課題の提出締切後に「レポート課題の要点と解説」をGoogleClassroomに掲載します。

■ 教科書

毎回、授業資料をGoogleClassroomを使って配信します。

■ 参考文献

[ISBN]9784810521269 『大学生の健康・スポーツ科学』（大学生の健康・スポーツ科学研究会、道和書院：2014）

[ISBN]9784810521320 『大学生のための「健康」論 健康・運動・スポーツの基礎知識』（岡田 英孝、道和書院：2016）

[ISBN]9784469269796 『実習で学ぶ 健康・運動・スポーツの科学』（大修館書店：2024）

[ISBN]9784469266832 『健康スポーツの科学』（大修館書店：2009）

[ISBN]9784130527040 『教養としての身体運動・健康科学』（東京大学出版会：2009）

[ISBN]9784065180952 『これからの健康とスポーツの科学 第5版（KSスポーツ医科学書）』（講談社：2020）

[ISBN]9784469268171 『大学生のスポーツと健康生活』（大修館書店：2017）

■ 関連科目

生涯スポーツ1、生涯スポーツ2

■ 授業評価アンケート実施方法

本学の規程に準拠して実施します。

■ 研究室・メールアドレス

18号館北館4階（18N408） 田邊研究室 satoru@bus.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

月曜日3限（13:15-14:45）

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 健康とは何か（授業形式：講義および演習）

予習内容：健康とは何かについて考える

予習時間：90分

復習内容：資料を見直して、現在の自分の健康状態を考える

復習時間：90分

健康の定義

ヘルスプロモーションとは

疾病予防と健康管理

第2回 運動の意味（授業形式：講義および演習）

予習内容：これまで自分が行ってきた運動とその動機を考える

予習時間：90分

復習内容：資料を見直して、自分自身の身体機能がどのように変化したかを考える

復習時間：90分

運動不足の健康に与える影響

運動の動機づけ

トレーニングの原理・原則

第3回 筋力と健康（授業形式：講義および演習）

予習内容：これまで自分が行ったことのある筋力トレーニングを考える

予習時間：90分

復習内容：資料を見直して、筋力の増強が身体にもたらす効果を復習するとともに、自分に合った筋力トレーニングを考える

復習時間：90分

骨格筋の構造と機能

加齢による筋力の変化

筋の収縮様式

第4回 有酸素運動と健康（授業形式：講義および演習）

予習内容：これまで自分が行ったことのある有酸素運動を考える

予習時間：90分

復習内容：資料を見直して、有酸素運動が身体にもたらす効果を復習するとともに、自分に合った有酸素運動を考える

復習時間：90分

筋収縮のエネルギー

乳酸は何故できるのか

適切な有酸素運動とは

第5回 生活習慣病と運動（授業形式：講義および演習）

予習内容：生活習慣病とは何か調べる

予習時間：90分

復習内容：資料を見直して、生活習慣病と運動との関係を復習する

復習時間：90分

生活習慣病とは

生活習慣病に対する運動の効果

メタボリックシンドロームとは

第6回 肥満と運動（授業形式：講義および演習）

予習内容：肥満とは何か調べるとともに、自分のBMIおよび体脂肪率を測る

予習時間：90分

復習内容：資料を見直して、自分が理想とする体重になるためにどのような運動をすべきか考える

復習時間：90分

肥満とは

肥満の原因について

肥満と運動との関係について

第7回 食事と健康（授業形式：講義および演習）

予習内容：1週間の食事内容を書き出す

予習時間：90分

復習内容：資料を見直して、自分の食生活について考える

復習時間：90分

五大栄養素について

食生活の変化と課題

ボディイメージと摂食障害

第8回 飲酒と健康（授業形式：講義および演習）

予習内容：自分の周りの人の飲酒状況を調べる

予習時間：90分

復習内容：資料を見直して、飲酒の健康への影響を復習するとともに、飲酒をする際に気をつけるべき事項を考える

復習時間：90分

アルコールの代謝

飲酒による健康被害

飲酒と社会問題

第9回 喫煙と健康（授業形式：講義および演習）

予習内容：自分の周りの喫煙状況を調べる

予習時間：90分

復習内容：資料を見直して、喫煙の健康への影響を復習するとともに、自分やその周りの人々の喫煙を考える

復習時間：90分

たばこの有害成分について

喫煙の健康に与える影響

禁煙の効果

第10回 骨の健康と運動（授業形式：講義および演習）

予習内容：骨粗しょう症とは何か調べる

予習時間：90分

復習内容：資料を見直して、骨代謝および骨強度に影響を与える要因を復習するとともに、自分でできる骨粗しょう症の予防方法を考える

復習時間：90分

骨の役割について

骨の構造と代謝

骨代謝と骨強度に影響を与える要因

第11回 健康管理と感染症の予防（授業形式：講義および演習）

予習内容：感染症とは何か調べる

予習時間：90分

復習内容：資料を見直して、感染症の予防方法を復習する

復習時間：90分

感染症とは

ウイルスによる感染症について

その他の身近にある感染症について

第12回 心の健康とストレス（授業形式：講義および演習）

予習内容：これまで自分が感じたストレスとその対処法を考える

予習時間：90分

復習内容：資料を見直して、運動の抗ストレス効果を復習するとともに、自分がストレスを発散させるのに適した運動を考える

復習時間：90分

ストレスとは

ストレスに対する対処法

運動の抗ストレス効果

第13回 メンタルヘルスと運動（授業形式：講義および演習）

予習内容：メンタルヘルスとは何か調べる

予習時間：90分

復習内容：資料を見直して、メンタルヘルスと運動との関係を復習する

復習時間：90分

青年期の体と心の変化

メンタルヘルスと運動

不眠症とは

第14回 スポーツ中の事故（授業形式：講義および演習）

予習内容：自分の周りでスポーツ中に事故に合った人やケガをした人の状況を調べる

予習時間：90分

復習内容：資料を見直して、ケガの応急処置法および救急処置法を復習する

復習時間：90分

スポーツ中の事故

スポーツ傷害とケガの応急処置

熱中症とその予防

第15回 健康・スポーツのための政策（授業形式：講義および演習）

予習内容：日本の少子高齢化の現状を調べる

予習時間：90分

復習内容：資料を見直して、スポーツ基本法とスポーツ基本計画について復習するとともに、自分の住んでいる市町村のスポーツ推進計画を調べる

復習時間：90分

少子高齢化社会とは

国民健康づくり対策

スポーツ基本計画

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 :	基礎数学【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Fundamental Mathematics				
担当者 :	梶原 康史				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	前期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

様々な大量のデータを収集・分析し、その理論的背景を明らかにするデータ解析は、工学や経済学など様々な分野において重要な役割を果たしている。この授業では、データ解析の基礎について学び、実際に社会においてどのように役立つかを知る。また、そのために必要となる数学の知識や計算力を習得する。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

関数の微分や積分を計算することができ、関数の特性や図形の面積などを計算することができる。データの平均と分散を計算できる。2変数のデータに対して相関係数等を使って関連性を見い出せる。二項分布や正規分布における確率を計算することができる。この科目の修得は、本学が定めるディプロマポリシー2の達成に関与している。

■ 成績評価方法および基準

レポート（3回） 90%
ディスカッション 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

模範答案をGoogle Classroomに掲載します。

■ 教科書

特に指定しない

■ 参考文献

高校等で利用した教科書、参考書等を折りに触れて参照してください。

■ 関連科目

なし

■ 授業評価アンケート実施方法

学部実施規定に準拠して実施します。

■ 研究室・メールアドレス

■ オフィスアワー

事前にメールで問い合わせして下さい。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 関数（授業形式：講義および演習）

予習内容：関数について調べておく

予習時間：60分

復習内容：講義と確認テストの内容を復習する

復習時間：60分

関数の定義やそのグラフの意味について学ぶ。さらに、多項式や有理式で定義される関数について学ぶ。

第2回 三角関数（授業形式：講義および演習）

予習内容：三角関数について調べておく

予習時間：60分

復習内容：講義と確認テストの内容を復習する

復習時間：60分

三角比とそれによって定義される三角関数について学ぶ。さらに、三角関数の周期性や加法定理について学ぶ。

第3回 指数・対数関数（授業形式：講義および演習）

予習内容：指数関数と対数関数について調べておく

予習時間：60分

復習内容：講義と確認テストの内容を復習する

復習時間：60分

指数関数とその逆関数である対数関数について学ぶ。さらに、常用対数や自然対数の底について学ぶ。

第4回 関数の極限（授業形式：講義および演習）

予習内容：関数の極限について調べておく

予習時間：60分

復習内容：講義と確認テストの内容を復習する

復習時間：60分

関数の極限について学ぶ。さらに、極限と代入の関係や、有理式で定義される関数の極限の計算例について知る。

第5回 微分係数と導関数（授業形式：講義および演習）

予習内容：微分係数や導関数について調べておく

予習時間：60分

復習内容：講義と確認テストの内容を復習する

復習時間：60分

接線の傾きと微分係数との関係について知る。また、導関数の定義と、多項式によって定義される関数の導関数について学ぶ。

第6回 導関数の性質（授業形式：講義および演習）

予習内容：様々な関数の導関数について調べておく

予習時間：60分

復習内容：講義と確認テストの内容を復習する

復習時間：60分

導関数の満たす性質について学び、それらを用いた計算方法を身に付ける。さらに、様々な関数の導関数について学ぶ。

第7回 導関数の応用（授業形式：講義および演習）

予習内容：増減表とグラフについて調べておく

予習時間：60分

復習内容：講義と確認テストの内容を復習する

復習時間：60分

関数の増減や極値について学ぶ。さらに、関数の増減表とグラフの書き方を身に付ける。

第8回 不定積分（授業形式：講義および演習）

予習内容：不定積分について調べておく

予習時間：60分

復習内容：講義と確認テストの内容を復習する

復習時間：60分

原始関数や不定積分について学び、その具体的な計算方法を身に付ける。

第9回 定積分（授業形式：講義および演習）

予習内容：定積分について調べておく

予習時間：60分

復習内容：講義と確認テストの内容を復習する

復習時間：60分

定積分について学び、その具体的な計算方法を身に付ける。さらに、定積分と面積の関係について知る。

第10回 1変量データの要約（授業形式：講義および演習）

予習内容：度数分布表・平均・分散について調べておく

予習時間：60分

復習内容：講義と確認テストの内容を復習する

復習時間：60分

(1)データの尺度を区別できるようになる。さらに、度数分布表・ヒストグラムについて学ぶ。(2)代表値と散布度の意味を理解し、計算できるようになる。(3)標準化の計算が出来るようになる。標準化がどのように用いられているか理解する。

第11回 2変数データの要約（授業形式：講義および演習）

予習内容：2変数によって表されるデータについて調べておく

予習時間：60分

復習内容：講義と確認テストの内容を復習する

復習時間：60分

(1)2変数の関係を見出せるようになる。散布図の問題点を知る。(2)2変数の関係を数値化する方法について学ぶ。共分散の問題点について知る。(3)共分散の標準化する方法について学ぶ。相関係数の性質を知る。

第12回 確率の定義と計算（授業形式：講義および演習）

予習内容：確率の定義について調べておく

予習時間：60分

復習内容：講義と確認テストの内容を復習する

復習時間：60分

(1)試行と事象に関する用語について学ぶ。確率の定義について知る。(2)和事象の確率の計算方法について学ぶ。余事象の確率の計算方法について学ぶ。(3)試行の独立について学ぶ。独立な試行の確率の計算方法について学ぶ。

第13回 反復試行の確率と条件付き確率（授業形式：講義および演習）

予習内容：モンティ・ホール問題について調べておく

予習時間：60分

復習内容：講義と確認テストの内容を復習する

復習時間：60分

(1)反復試行がどのような試行であるのか、さらに、その性質について知る。反復試行の確率の求め方について学ぶ。(2)条件付き確率の定義およびその計算方法について学ぶ。事象の独立とは何かを知る。(3)ベイズの定理について学ぶ。ベイズの定理の応用について学ぶ。

第14回 確率分布（授業形式：講義および演習）

予習内容：確率分布について調べておく

予習時間：60分

復習内容：講義と確認テストの内容を復習する

復習時間：60分

(1)確率変数と確率分布の定義について学ぶ。確率変数の期待値と分散について学ぶ。(2)二項分布の定義について学ぶ。二項分布が適用できる例について知る。(3)ポアソン分布の定義について学ぶ。ポアソン分布が適用できる例について知る。

第15回 正規分布（授業形式：講義および演習）

予習内容：正規分布について調べておく

予習時間：60分

復習内容：講義と確認テストの内容を復習する

復習時間：60分

(1)正規分布の定義について学ぶ。正規分布の特徴について知る。(2)標準正規分布について学ぶ。正規分布における確率の計算方法を知る。(3)二項分布と正規分布の関係について知る。二項分布における確率を正規分布近似で求める。

■ ホームページ

■ 実践的な教育内容

-

科目名 :	基礎数学【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Fundamental Mathematics				
担当者 :	梶原 康史				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

様々な大量のデータを収集・分析し、その理論的背景を明らかにするデータ解析は、工学や経済学など様々な分野において重要な役割を果たしている。この授業では、データ解析の基礎について学び、実際に社会においてどのように役立つかを知る。また、そのために必要となる数学の知識や計算力を習得する。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

関数の微分や積分を計算することができ、関数の特性や図形の面積などを計算することができる。データの平均と分散を計算できる。2変数のデータに対して相関係数等を使って関連性を見い出せる。二項分布や正規分布における確率を計算することができる。この科目の修得は、本学が定めるディプロマポリシー2の達成に関与している。

■ 成績評価方法および基準

レポート（3回） 90%
ディスカッション 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

模範答案をGoogle Classroomに掲載します。

■ 教科書

特に指定しない

■ 参考文献

高校等で利用した教科書、参考書等を折りに触れて参照してください。

■ 関連科目

なし

■ 授業評価アンケート実施方法

学部実施規定に準拠して実施します。

■ 研究室・メールアドレス

■ オフィスアワー

事前にメールで問い合わせして下さい。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 関数（授業形式：講義および演習）

予習内容：関数について調べておく

予習時間：60分

復習内容：講義と確認テストの内容を復習する

復習時間：60分

関数の定義やそのグラフの意味について学ぶ。さらに、多項式や有理式で定義される関数について学ぶ。

第2回 三角関数（授業形式：講義および演習）

予習内容：三角関数について調べておく

予習時間：60分

復習内容：講義と確認テストの内容を復習する

復習時間：60分

三角比とそれによって定義される三角関数について学ぶ。さらに、三角関数の周期性や加法定理について学ぶ。

第3回 指数・対数関数（授業形式：講義および演習）

予習内容：指数関数と対数関数について調べておく

予習時間：60分

復習内容：講義と確認テストの内容を復習する

復習時間：60分

指数関数とその逆関数である対数関数について学ぶ。さらに、常用対数や自然対数の底について学ぶ。

第4回 関数の極限（授業形式：講義および演習）

予習内容：関数の極限について調べておく

予習時間：60分

復習内容：講義と確認テストの内容を復習する

復習時間：60分

関数の極限について学ぶ。さらに、極限と代入の関係や、有理式で定義される関数の極限の計算例について知る。

第5回 微分係数と導関数（授業形式：講義および演習）

予習内容：微分係数や導関数について調べておく

予習時間：60分

復習内容：講義と確認テストの内容を復習する

復習時間：60分

接線の傾きと微分係数との関係について知る。また、導関数の定義と、多項式によって定義される関数の導関数について学ぶ。

第6回 導関数の性質（授業形式：講義および演習）

予習内容：様々な関数の導関数について調べておく

予習時間：60分

復習内容：講義と確認テストの内容を復習する

復習時間：60分

導関数の満たす性質について学び、それらを用いた計算方法を身に付ける。さらに、様々な関数の導関数について学ぶ。

第7回 導関数の応用（授業形式：講義および演習）

予習内容：増減表とグラフについて調べておく

予習時間：60分

復習内容：講義と確認テストの内容を復習する

復習時間：60分

関数の増減や極値について学ぶ。さらに、関数の増減表とグラフの書き方を身に付ける。

第8回 不定積分（授業形式：講義および演習）

予習内容：不定積分について調べておく

予習時間：60分

復習内容：講義と確認テストの内容を復習する

復習時間：60分

原始関数や不定積分について学び、その具体的な計算方法を身に付ける。

第9回 定積分（授業形式：講義および演習）

予習内容：定積分について調べておく

予習時間：60分

復習内容：講義と確認テストの内容を復習する

復習時間：60分

定積分について学び、その具体的な計算方法を身に付ける。さらに、定積分と面積の関係について知る。

第10回 1変量データの要約（授業形式：講義および演習）

予習内容：度数分布表・平均・分散について調べておく

予習時間：60分

復習内容：講義と確認テストの内容を復習する

復習時間：60分

(1)データの尺度を区別できるようになる。さらに、度数分布表・ヒストグラムについて学ぶ。(2)代表値と散布度の意味を理解し、計算できるようになる。(3)標準化の計算が出来るようになる。標準化がどのように用いられているか理解する。

第11回 2変数データの要約（授業形式：講義および演習）

予習内容：2変数によって表されるデータについて調べておく

予習時間：60分

復習内容：講義と確認テストの内容を復習する

復習時間：60分

(1)2変数の関係を見出せるようになる。散布図の問題点を知る。(2)2変数の関係を数値化する方法について学ぶ。共分散の問題点について知る。(3)共分散の標準化する方法について学ぶ。相関係数の性質を知る。

第12回 確率の定義と計算（授業形式：講義および演習）

予習内容：確率の定義について調べておく

予習時間：60分

復習内容：講義と確認テストの内容を復習する

復習時間：60分

(1)試行と事象に関する用語について学ぶ。確率の定義について知る。(2)和事象の確率の計算方法について学ぶ。余事象の確率の計算方法について学ぶ。(3)試行の独立について学ぶ。独立な試行の確率の計算方法について学ぶ。

第13回 反復試行の確率と条件付き確率（授業形式：講義および演習）

予習内容：モンティ・ホール問題について調べておく

予習時間：60分

復習内容：講義と確認テストの内容を復習する

復習時間：60分

(1)反復試行がどのような試行であるのか、さらに、その性質について知る。反復試行の確率の求め方について学ぶ。(2)条件付き確率の定義およびその計算方法について学ぶ。事象の独立とは何かを知る。(3)ベイズの定理について学ぶ。ベイズの定理の応用について学ぶ。

第14回 確率分布（授業形式：講義および演習）

予習内容：確率分布について調べておく

予習時間：60分

復習内容：講義と確認テストの内容を復習する

復習時間：60分

(1)確率変数と確率分布の定義について学ぶ。確率変数の期待値と分散について学ぶ。(2)二項分布の定義について学ぶ。二項分布が適用できる例について知る。(3)ポアソン分布の定義について学ぶ。ポアソン分布が適用できる例について知る。

第15回 正規分布（授業形式：講義および演習）

予習内容：正規分布について調べておく

予習時間：60分

復習内容：講義と確認テストの内容を復習する

復習時間：60分

(1)正規分布の定義について学ぶ。正規分布の特徴について知る。(2)標準正規分布について学ぶ。正規分布における確率の計算方法を知る。(3)二項分布と正規分布の関係について知る。二項分布における確率を正規分布近似で求める。

■ ホームページ

■ 実践的な教育内容

-

科目名 :	科学的問題解決法【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Scientific Problem Solving				
担当者 :	芳原 新也				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	前期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :	理工応用化学科：学修・教育到達目標（A）に主体的に関与 理工機械工学科：機械工学コース学習・教育目標：A-2, JABEE基準1.2：(a)(b)に関与 理工電気電子通信工学科：学習・教育到達目標A1の達成に付随的に関与 理工社会環境工学科：ディプロマ・ポリシーの(I)に主体的に関与、(F)に付随的に関与				

■ 授業概要

日常における様々な行為は、広義において問題解決プロセスの履行であると捉えることが出来る。問題解決プロセスにおいて、対象事象及び対象行為に対する5W1Hを明確にすることは欠かせない要件であり、明確にした情報を基にどのような解決プロセス・交渉プロセスを設計するかが問題解決の一番のキーポイントであると言える。本講義では、問題解決に係り必要な基本思想から手法までを学習することを目的とする。

この授業はコンテンツ作成者 芳原新也 が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

問題解決及び交渉実施に必要な論理的思考の習得を目標とする。
この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的3の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

中間レポート課題 30%
ディスカッション参加 30%
期末試験（レポート課題） 40%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

Google Classroomにおける質問・回答により行う。

■ 教科書

[ISBN]9784798160948 『思考法図鑑：ひらめきを生む問題解決・アイデア発想のアプローチ60』（アンド, 翔泳社：2019）

■ 参考文献

[ISBN]9784772414388 『ヒルガードの心理学 第16版』（S. ノーレンホークセマ 他著：2015）
 [ISBN]9784569659367 『プロ弁護士の思考術（PHP新書）』（矢部 正秋, PHP研究所：2007）
 [ISBN]9784798122755 『エンジニアのための図解思考 再入門講座 情報の“本質”を理解するための実践テクニック』（開米 瑞浩, 翔泳社：2010）

■ 関連科目

なし

■ 授業評価アンケート実施方法

本学の規程に準拠して実施します。

■研究室・メールアドレス

22号館3階 芳原准教授室
061565@kindai.ac.jp

■オフィスアワー

月・金 2時間目
訪問する場合は、E-mailであらかじめ連絡すること。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 問題の解決（授業形式：講義および演習）

予習内容：事前に「問題」の定義について調査する。

予習時間：120分

復習内容：「問題の解決手順」について身近な事例で考察する。

復習時間：60分

- ・「問題」とは何かを理解する
- ・「設定した理想」と「認識した現状」がどういったものであるかを理解する。
- ・問題を解決する手順について理解する

第2回 状況の分析（授業形式：講義および演習）

予習内容：「分析」行為を具体的な行動要素に分割して整理する。

予習時間：120分

復習内容：心象の形成についてについて身近な事例で考察する。

復習時間：60分

- ・状況の分析をするための視点について理解する。
- ・事象を心象（イメージ）に変換する過程について理解する。
- ・トップダウン処理とボトムアップ処理について理解する。

第3回 解決案の選択（授業形式：講義および演習）

予習内容：解決案の提案手順について調査する。

予習時間：120分

復習内容：問題解決案の提案を身近な事例で実施し考察する。

復習時間：60分

- ・問題解決案の提案前に行う準備作業について理解する。
- ・問題解決案の選択手順について理解する。
- ・解決案を発案などを行う際の様々な制約について考える。

第4回 様々な思考の偏り（授業形式：講義および演習）

予習内容：認知バイアスについて調査する。

予習時間：120分

復習内容：自身の持つ認知バイアスについて考察する。

復習時間：60分

- ・「仮説の検証」の手順について理解する
- ・認知バイアスについて理解する。
- ・発想・思考の偏りによるトラブルについて考える。

第5回 業務における問題解決（授業形式：講義および演習）

予習内容：「業務」の定義を調査する。

予習時間：120分

復習内容：問題解決に係る行動のプロセスを階層構造を身近な例で考察分析する。

復習時間：60分

- ・問題解決に係る行動のプロセスを階層構造で捉えなおす。
- ・業務の分類について理解する。
- ・「当事者意識」と業務の精度との関係について理解する。

第6回 交渉による状況変更（授業形式：講義および演習）

予習内容：交渉の手順について調査する。

予習時間：120分

復習内容：交渉のポイントについて、身近な例で分析・考察する。

復習時間：60分

- ・交渉を行う目的について理解する。
- ・交渉の手続きについて理解する。

- ・交渉を行う際のポイントを理解する。

第7回 洗脳による状況変更（授業形式：講義および演習）

予習内容：洗脳について調査する。

予習時間：120分

復習内容：強化と罰について身近な例で考察する。

復習時間：60分

- ・洗脳の目的と効果を理解する。
- ・洗脳の手順について理解する。
- ・「強化と罰」の概念とその効果について理解する。

第8回 欲求とストレス（授業形式：講義および演習）

予習内容：欲求とストレスについて調査する。

予習時間：120分

復習内容：ストレスと欲求の管理について身近な例で考察する。

復習時間：60分

- ・ストレスの発生と防衛機制について理解する。
- ・欲求の概念について理解する。
- ・ストレスと欲求の管理について考える。

第9回 感情の活用（授業形式：講義および演習）

予習内容：感情について調査する。

予習時間：120分

復習内容：感情に紐づいた行動について身近な例で考察する。

復習時間：60分

- ・感情の発生機構について理解する。
- ・感情に紐づけられた動作について理解する。
- ・感情及び感情動作の制御について考える。

第10回 印象の活用（授業形式：講義および演習）

予習内容：印象の形成について調査する。

予習時間：120分

復習内容：印象の活用について、身近な例で考察する。

復習時間：60分

- ・印象の形成過程について理解する。
- ・ステレオタイプの影響について理解する。
- ・印象の活用例について知る。

第11回 時間とタスクの管理（授業形式：講義および演習）

予習内容：時間管理について調査する。

予習時間：120分

復習内容：時間とタスクの管理について、身近な例で考察する。

復習時間：60分

- ・作業の分割方法について理解する。
- ・時間の認知及び管理について理解する。
- ・作業管理と時間管理を統合して行う際の手順について理解する。

第12回 優先順位付け（授業形式：講義および演習）

予習内容：優先順位付けについて調査する。

予習時間：120分

復習内容：自身の優先度の設定について考察する。

復習時間：60分

- ・優先順位について理解する。
- ・優先順位の設定に対して影響のある事項について理解する。
- ・優先度の設定について考える。

第13回 環境の整備（授業形式：講義および演習）

予習内容：環境が人に及ぼす影響について調査する。

予習時間：120分

復習内容：環境の整備について身近な例で考察する。

復習時間：60分

- ・人間の意識について理解する。

- ・意識に対する環境の影響について理解する。
- ・環境の整備について考える。

第14回 リスク管理と危機管理（授業形式：講義および演習）

予習内容：リスク管理、危機管理について調査する。

予習時間：120分

復習内容：適切なリスク管理・危機管理について身近な例で考察する。

復習時間：60分

- ・リスク管理と危機管理の関係について理解する。
- ・リスク管理について理解する。
- ・危機管理について理解する。

第15回 金銭と資産（授業形式：講義および演習）

予習内容：資産について調査する。

予習時間：120分

復習内容：資産形成について身近な例で考察する。

復習時間：60分

- ・社会活動と金銭との関係について理解する。
- ・資産と財産について理解する。
- ・資産等の運用について考える。

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 :	科学的問題解決法【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Scientific Problem Solving				
担当者 :	芳原 新也				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :	理工応用化学科：学修・教育到達目標（A）に主体的に関与 理工機械工学科：機械工学コース学習・教育目標：A-2, JABEE基準1.2：(a)(b)に関与 理工電気電子通信工学科：学習・教育到達目標A1の達成に付随的に関与 理工社会環境工学科：ディプロマ・ポリシーの(I)に主体的に関与、(F)に付随的に関与				

■ 授業概要

日常における様々な行為は、広義において問題解決プロセスの履行であると捉えることが出来る。問題解決プロセスにおいて、対象事象及び対象行為に対する5W1Hを明確にすることは欠かせない要件であり、明確にした情報を基にどのような解決プロセス・交渉プロセスを設計するかが問題解決の一番のキーポイントであると言える。本講義では、問題解決に係り必要な基本思想から手法までを学習することを目的とする。

この授業はコンテンツ作成者 芳原新也 が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

問題解決及び交渉実施に必要な論理的思考の習得を目標とする。
この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的3の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

中間レポート課題 30%
ディスカッション参加 30%
期末試験（レポート課題） 40%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

Google Classroomにおける質問・回答により行う。

■ 教科書

[ISBN]9784798160948 『思考法図鑑：ひらめきを生む問題解決・アイデア発想のアプローチ60』（アンド, 翔泳社：2019）

■ 参考文献

[ISBN]9784772414388 『ヒルガードの心理学 第16版』（S. ノーレンホークセマ 他著：2015）
 [ISBN]9784569659367 『プロ弁護士の思考術（PHP新書）』（矢部 正秋, PHP研究所：2007）
 [ISBN]9784798122755 『エンジニアのための図解思考 再入門講座 情報の“本質”を理解するための実践テクニック』（開米 瑞浩, 翔泳社：2010）

■ 関連科目

なし

■ 授業評価アンケート実施方法

本学の規程に準拠して実施します。

■研究室・メールアドレス

22号館3階 芳原准教授室
061565@kindai.ac.jp

■オフィスアワー

月・金 2時間目
訪問する場合は、E-mailであらかじめ連絡すること。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 問題の解決（授業形式：講義および演習）

予習内容：事前に「問題」の定義について調査する。

予習時間：120分

復習内容：「問題の解決手順」について身近な事例で考察する。

復習時間：60分

- ・「問題」とは何かを理解する
- ・「設定した理想」と「認識した現状」がどういったものであるかを理解する。
- ・問題を解決する手順について理解する

第2回 状況の分析（授業形式：講義および演習）

予習内容：「分析」行為を具体的な行動要素に分割して整理する。

予習時間：120分

復習内容：心象の形成についてについて身近な事例で考察する。

復習時間：60分

- ・状況の分析をするための視点について理解する。
- ・事象を心象（イメージ）に変換する過程について理解する。
- ・トップダウン処理とボトムアップ処理について理解する。

第3回 解決案の選択（授業形式：講義および演習）

予習内容：解決案の提案手順について調査する。

予習時間：120分

復習内容：問題解決案の提案を身近な事例で実施し考察する。

復習時間：60分

- ・問題解決案の提案前に行う準備作業について理解する。
- ・問題解決案の選択手順について理解する。
- ・解決案を発案などを行う際の様々な制約について考える。

第4回 様々な思考の偏り（授業形式：講義および演習）

予習内容：認知バイアスについて調査する。

予習時間：120分

復習内容：自身の持つ認知バイアスについて考察する。

復習時間：60分

- ・「仮説の検証」の手順について理解する
- ・認知バイアスについて理解する。
- ・発想・思考の偏りによるトラブルについて考える。

第5回 業務における問題解決（授業形式：講義および演習）

予習内容：「業務」の定義を調査する。

予習時間：120分

復習内容：問題解決に係る行動のプロセスを階層構造を身近な例で考察分析する。

復習時間：60分

- ・問題解決に係る行動のプロセスを階層構造で捉えなおす。
- ・業務の分類について理解する。
- ・「当事者意識」と業務の精度との関係について理解する。

第6回 交渉による状況変更（授業形式：講義および演習）

予習内容：交渉の手順について調査する。

予習時間：120分

復習内容：交渉のポイントについて、身近な例で分析・考察する。

復習時間：60分

- ・交渉を行う目的について理解する。
- ・交渉の手続きについて理解する。

- ・交渉を行う際のポイントを理解する。

第7回 洗脳による状況変更（授業形式：講義および演習）

予習内容：洗脳について調査する。

予習時間：120分

復習内容：強化と罰について身近な例で考察する。

復習時間：60分

- ・洗脳の目的と効果を理解する。
- ・洗脳の手順について理解する。
- ・「強化と罰」の概念とその効果について理解する。

第8回 欲求とストレス（授業形式：講義および演習）

予習内容：欲求とストレスについて調査する。

予習時間：120分

復習内容：ストレスと欲求の管理について身近な例で考察する。

復習時間：60分

- ・ストレスの発生と防衛機制について理解する。
- ・欲求の概念について理解する。
- ・ストレスと欲求の管理について考える。

第9回 感情の活用（授業形式：講義および演習）

予習内容：感情について調査する。

予習時間：120分

復習内容：感情に紐づいた行動について身近な例で考察する。

復習時間：60分

- ・感情の発生機構について理解する。
- ・感情に紐づけられた動作について理解する。
- ・感情及び感情動作の制御について考える。

第10回 印象の活用（授業形式：講義および演習）

予習内容：印象の形成について調査する。

予習時間：120分

復習内容：印象の活用について、身近な例で考察する。

復習時間：60分

- ・印象の形成過程について理解する。
- ・ステレオタイプの影響について理解する。
- ・印象の活用例について知る。

第11回 時間とタスクの管理（授業形式：講義および演習）

予習内容：時間管理について調査する。

予習時間：120分

復習内容：時間とタスクの管理について、身近な例で考察する。

復習時間：60分

- ・作業の分割方法について理解する。
- ・時間の認知及び管理について理解する。
- ・作業管理と時間管理を統合して行う際の手順について理解する。

第12回 優先順位付け（授業形式：講義および演習）

予習内容：優先順位付けについて調査する。

予習時間：120分

復習内容：自身の優先度の設定について考察する。

復習時間：60分

- ・優先順位について理解する。
- ・優先順位の設定に対して影響のある事項について理解する。
- ・優先度の設定について考える。

第13回 環境の整備（授業形式：講義および演習）

予習内容：環境が人に及ぼす影響について調査する。

予習時間：120分

復習内容：環境の整備について身近な例で考察する。

復習時間：60分

- ・人間の意識について理解する。

- ・意識に対する環境の影響について理解する。
- ・環境の整備について考える。

第14回 リスク管理と危機管理（授業形式：講義および演習）

予習内容：リスク管理、危機管理について調査する。

予習時間：120分

復習内容：適切なリスク管理・危機管理について身近な例で考察する。

復習時間：60分

- ・リスク管理と危機管理の関係について理解する。
- ・リスク管理について理解する。
- ・危機管理について理解する。

第15回 金銭と資産（授業形式：講義および演習）

予習内容：資産について調査する。

予習時間：120分

復習内容：資産形成について身近な例で考察する。

復習時間：60分

- ・社会活動と金銭との関係について理解する。
- ・資産と財産について理解する。
- ・資産等の運用について考える。

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 :	世界近現代史【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Modern World History				
担当者 :	和田 英男				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	前期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

人類の歴史としての世界史を扱います。日本の高校世界史の授業を受けていなくても、きちんと予習復習をするとともに教材にとりくむことで、人類の現代社会の成り立ちについての理解を深めることができるようになっていきます。

この授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。各回の作成者は授業計画の内容に記載のとおりです。

それぞれの回は3つのセクションに分かれており、それぞれのセクションについて簡単な確認テストがあります。また学期の途中に2回のレポート課題①②があり、すべての回を視聴した後に、③最終レポートの提出が課されています。

また学期の途中で、Google Classroomを通じたディスカッションの機会を設けます。

この授業では5回以上の欠席者は評価対象外（不受）とします。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

近現代史とは現代社会のなりたちを理解することであり、現代社会の抱える問題の背景を理解することでもあります。これによって、自分たちの参画する社会のこれからを考える視点が養われます。

またグローバル化した現代社会においては、問題をとらえる視点はマクロ・ミクロ両方の視点が必要です。世界近現代史は、世界史とは人類史であるという理解から、このマクロな視点を養うものでもあります。

■ 成績評価方法および基準

レポート1 30%

レポート2 25%

レポート3 25%

最終考察 10%

ディスカッションへの参加 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

レポート課題の提出締切後に「レポート課題の要点と解説」をGoogleClassroomに掲載します。

■ 教科書

Google Classroomを通じて配布します。

■ 参考文献

Google Classroomを通じて紹介します。

■ 関連科目

日本近現代史 国際化と異文化理解

■ 授業評価アンケート実施方法

本学の規程に準拠して実施します。

■研究室・メールアドレス

メールアドレス：2096b7@kindai.ac.jp

メールまたはGoogle Classroomを通じてご連絡下さい。

■オフィスアワー

質問等はGoogle Classroomを通じて適宜対応します。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 世界史とは？近現代史とは？（上田貴子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：Google Classroomにアップされる講義資料を読んで、この回でとりあげるテーマについて問題意識を喚起する。

予習時間：60分

復習内容：確認テストを行って不正解となった部分を確認する。授業中にでた知らない単語や事項について調べておく。

復習時間：120分

- §1 世界史とは？
- §2 時代区分を考える
- §3 近現代とはどんな時代か？

第2回 産業革命と市場経済の形成（中井大介）（授業形式：講義および演習）

予習内容：Google Classroomにアップされる講義資料を読んで、この回でとりあげるテーマについて問題意識を喚起する。

予習時間：60分

復習内容：確認テストを行って不正解となった部分を確認する。授業中にでた知らない単語や事項について調べておく。

復習時間：120分

- §1 産業革命のインパクト
- §2 市場経済と自由主義
- §3 第4次産業革命の時代へ

第3回 近代とネイション（辻河典子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：Google Classroomにアップされる講義資料を読んで、この回でとりあげるテーマについて問題意識を喚起する。

予習時間：60分

復習内容：確認テストを行って不正解となった部分を確認する。授業中にでた知らない単語や事項について調べておく。

復習時間：120分

- §1 ネイションとは何だろう？
- §2 ネイションと近代国家
- §3 ネイションと総力戦の時代

第4回 パクス・ブリタニカと近代のグローバル化（數下信幸）（授業形式：講義および演習）

予習内容：Google Classroomにアップされる講義資料を読んで、この回でとりあげるテーマについて問題意識を喚起する。

予習時間：60分

復習内容：確認テストを行って不正解となった部分を確認する。授業中にでた知らない単語や事項について調べておく。

復習時間：120分

- §1 パクス・ブリタニカとは？
- §2 近代におけるグローバル化とその影響
- §3 ウェスタン・インパクトと近代アジア

第5回 植民地支配と近代インド（數下信幸）（授業形式：講義および演習）

予習内容：Google Classroomにアップされる講義資料を読んで、この回でとりあげるテーマについて問題意識を喚起する。

予習時間：60分

復習内容：確認テストを行って不正解となった部分を確認する。授業中にでた知らない単語や事項について調べておく。

復習時間：120分

- §1 帝国主義と植民地
- §2 インドの植民地化
- §3 植民地支配と近代インド経済

第6回 イスラーム世界の近代：オスマン帝国とトルコ共和国を例として（ダニシマズ・イディリス）（授業形式：講義および演習）

予習内容：Google Classroomにアップされる講義資料を読んで、この回でとりあげるテーマについて問題意識を喚起する。

予習時間：60分

復習内容：確認テストを行って不正解となった部分を確認する。授業中にでた知らない単語や事項について調べておく。

復習時間：120分

- §1 イスラーム世界とは？
- §2 前近代とイスラーム世界

§ 3 事例：オスマン帝国とトルコ共和国の近代化

第7回 東アジアにおける西洋近代の受容（上田貴子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：Google Classroomにアップされる講義資料を読んで、この回でとりあげるテーマについて問題意識を喚起する。

予習時間：60分

復習内容：確認テストを行って不正解となった部分を確認する。授業中にでた知らない単語や事項について調べておく。

復習時間：120分

§ 1 西洋近代の東アジアへの到来

§ 2 西洋近代受容の共通点と相違点

§ 3 二つの国際秩序と日清戦争

第8回 辛亥革命と東アジアの国際関係（阿路思）（授業形式：講義および演習）

予習内容：Google Classroomにアップされる講義資料を読んで、この回でとりあげるテーマについて問題意識を喚起する。

予習時間：60分

復習内容：確認テストを行って不正解となった部分を確認する。授業中にでた知らない単語や事項について調べておく。

復習時間：120分

§ 1 清末立憲思想

§ 2 辛亥革命

§ 3 清朝崩壊後のモンゴル

第9回 移民の19世紀：アメリカ（伊澤正興）（授業形式：講義および演習）

予習内容：Google Classroomにアップされる講義資料を読んで、この回でとりあげるテーマについて問題意識を喚起する。

予習時間：60分

復習内容：確認テストを行って不正解となった部分を確認する。授業中にでた知らない単語や事項について調べておく。

復習時間：120分

§ 1 19世紀の世界経済と移民

§ 2 アメリカの移民政策

§ 3 移民とナショナリズム

第10回 メディアと近現代史（辻河典子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：Google Classroomにアップされる講義資料を読んで、この回でとりあげるテーマについて問題意識を喚起する。

予習時間：60分

復習内容：確認テストを行って不正解となった部分を確認する。授業中にでた知らない単語や事項について調べておく。

復習時間：120分

§ 1 情報・社会・メディア

§ 2 プロパガンダとメディア

§ 3 ドキュメンタリーと歴史学

第11回 戦争と戦後世界（上田貴子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：Google Classroomにアップされる講義資料を読んで、この回でとりあげるテーマについて問題意識を喚起する。

予習時間：60分

復習内容：確認テストを行って不正解となった部分を確認する。授業中にでた知らない単語や事項について調べておく。

復習時間：120分

§ 1 近代の戦争

§ 2 戦争を縛る法律

§ 3 戦争の終結とその後

第12回 分断国家（東アジア）と国際社会（和田英男）（授業形式：講義および演習）

予習内容：Google Classroomにアップされる講義資料を読んで、この回でとりあげるテーマについて問題意識を喚起する。

予習時間：60分

復習内容：確認テストを行って不正解となった部分を確認する。授業中にでた知らない単語や事項について調べておく。

復習時間：120分

§ 1 戦後世界と冷戦

§ 2 戦後の中国大陆と台湾の歩み 1

§ 3 戦後の中国大陆と台湾の歩み 2

第13回 第二次世界大戦後の東西ヨーロッパ：ドイツを例に（石井聡）（授業形式：講義および演習）

予習内容：Google Classroomにアップされる講義資料を読んで、この回でとりあげるテーマについて問題意識を喚起する。

予習時間：60分

復習内容：確認テストを行って不正解となった部分を確認する。授業中にでた知らない単語や事項について調べておく。

復習時間：120分

§ 1 社会主義と社会民主主義

- § 2 西ドイツ社会的市場経済
- § 3 東ドイツ社会主義計画経済

第14回 ジェンダーから歴史を考える（辻河典子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：Google Classroomにアップされる講義資料を読んで、この回でとりあげるテーマについて問題意識を喚起する。

予習時間：60分

復習内容：確認テストを行って不正解となった部分を確認する。授業中にでた知らない単語や事項について調べておく。

復習時間：120分

- § 1 ジェンダー史の成立
- § 2 歴史研究とジェンダーの視点
- § 3 ジェンダーから世界史を考える

第15回 世界近現代史から何を考えるか（上田貴子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：Google Classroomにアップされる講義資料を読んで、この回でとりあげるテーマについて問題意識を喚起する。

予習時間：60分

復習内容：確認テストを行って不正解となった部分を確認する。授業中にでた知らない単語や事項について調べておく。

復習時間：120分

- § 1 近代と人間
- § 2 近代と気候変動
- § 3 これからを見据えるために

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 :	世界近現代史【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Modern World History				
担当者 :	阿 路思				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

人類の歴史としての世界史を扱います。日本の高校世界史の授業を受けていなくても、きちんと予習復習をするとともに教材にとりくむことで、人類の現代社会の成り立ちについての理解を深めることができるようになっていきます。

この授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。各回の作成者は授業計画の内容に記載のとおりです。

それぞれの回は3つのセクションに分かれており、それぞれのセクションについて簡単な確認テストがあります。また学期の途中に2回のレポート課題①②があり、すべての回を視聴した後に、③最終レポートの提出が課されています。

また学期の途中で、Google Classroomを通じたディスカッションの機会を設けます。

この授業では5回以上の欠席者は評価対象外（不受）とします。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

近現代史とは現代社会のなりたちを理解することであり、現代社会の抱える問題の背景を理解することでもあります。これによって、自分たちの参画する社会のこれからを考える視点が養われます。

またグローバル化した現代社会においては、問題をとらえる視点はマクロ・ミクロ両方の視点が必要です。世界近現代史は、世界史とは人類史であるという理解から、このマクロな視点を養うものでもあります。

■ 成績評価方法および基準

レポート1 30%

レポート2 25%

レポート3 25%

最終考察 10%

ディスカッションへの参加 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

レポート課題の提出締切後に「レポート課題の要点と解説」をGoogleClassroomに掲載します。

■ 教科書

Google Classroomを通じて配布します。

■ 参考文献

Google Classroomを通じて紹介します。

■ 関連科目

日本近現代史 国際化と異文化理解

■ 授業評価アンケート実施方法

本学の規程に準拠して実施します。

■研究室・メールアドレス

メールアドレス：221334@kindai.ac.jp

メールまたはGoogle Classroomを通じてご連絡下さい。

■オフィスアワー

質問等はGoogle Classroomを通じて適宜対応します。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 世界史とは？近現代史とは？（上田貴子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：Google Classroomにアップされる講義資料を読んで、この回でとりあげるテーマについて問題意識を喚起する。

予習時間：60分

復習内容：確認テストを行って不正解となった部分を確認する。授業中にでた知らない単語や事項について調べておく。

復習時間：120分

- §1 世界史とは？
- §2 時代区分を考える
- §3 近現代とはどんな時代か？

第2回 産業革命と市場経済の形成（中井大介）（授業形式：講義および演習）

予習内容：Google Classroomにアップされる講義資料を読んで、この回でとりあげるテーマについて問題意識を喚起する。

予習時間：60分

復習内容：確認テストを行って不正解となった部分を確認する。授業中にでた知らない単語や事項について調べておく。

復習時間：120分

- §1 産業革命のインパクト
- §2 市場経済と自由主義
- §3 第4次産業革命の時代へ

第3回 近代とネイション（辻河典子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：Google Classroomにアップされる講義資料を読んで、この回でとりあげるテーマについて問題意識を喚起する。

予習時間：60分

復習内容：確認テストを行って不正解となった部分を確認する。授業中にでた知らない単語や事項について調べておく。

復習時間：120分

- §1 ネイションとは何だろう？
- §2 ネイションと近代国家
- §3 ネイションと総力戦の時代

第4回 パクス・ブリタニカと近代のグローバル化（數下信幸）（授業形式：講義および演習）

予習内容：Google Classroomにアップされる講義資料を読んで、この回でとりあげるテーマについて問題意識を喚起する。

予習時間：60分

復習内容：確認テストを行って不正解となった部分を確認する。授業中にでた知らない単語や事項について調べておく。

復習時間：120分

- §1 パクス・ブリタニカとは？
- §2 近代におけるグローバル化とその影響
- §3 ウェスタン・インパクトと近代アジア

第5回 植民地支配と近代インド（數下信幸）（授業形式：講義および演習）

予習内容：Google Classroomにアップされる講義資料を読んで、この回でとりあげるテーマについて問題意識を喚起する。

予習時間：60分

復習内容：確認テストを行って不正解となった部分を確認する。授業中にでた知らない単語や事項について調べておく。

復習時間：120分

- §1 帝国主義と植民地
- §2 インドの植民地化
- §3 植民地支配と近代インド経済

第6回 イスラーム世界の近代：オスマン帝国とトルコ共和国を例として（ダニシマズ・イディリス）（授業形式：講義および演習）

予習内容：Google Classroomにアップされる講義資料を読んで、この回でとりあげるテーマについて問題意識を喚起する。

予習時間：60分

復習内容：確認テストを行って不正解となった部分を確認する。授業中にでた知らない単語や事項について調べておく。

復習時間：120分

- §1 イスラーム世界とは？
- §2 前近代とイスラーム世界

§ 3 事例：オスマン帝国とトルコ共和国の近代化

第7回 東アジアにおける西洋近代の受容（上田貴子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：Google Classroomにアップされる講義資料を読んで、この回でとりあげるテーマについて問題意識を喚起する。

予習時間：60分

復習内容：確認テストを行って不正解となった部分を確認する。授業中にでた知らない単語や事項について調べておく。

復習時間：120分

§ 1 西洋近代の東アジアへの到来

§ 2 西洋近代受容の共通点と相違点

§ 3 二つの国際秩序と日清戦争

第8回 辛亥革命と東アジアの国際関係（阿路思）（授業形式：講義および演習）

予習内容：Google Classroomにアップされる講義資料を読んで、この回でとりあげるテーマについて問題意識を喚起する。

予習時間：60分

復習内容：確認テストを行って不正解となった部分を確認する。授業中にでた知らない単語や事項について調べておく。

復習時間：120分

§ 1 清末立憲思想

§ 2 辛亥革命

§ 3 清朝崩壊後のモンゴル

第9回 移民の19世紀：アメリカ（伊澤正興）（授業形式：講義および演習）

予習内容：Google Classroomにアップされる講義資料を読んで、この回でとりあげるテーマについて問題意識を喚起する。

予習時間：60分

復習内容：確認テストを行って不正解となった部分を確認する。授業中にでた知らない単語や事項について調べておく。

復習時間：120分

§ 1 19世紀の世界経済と移民

§ 2 アメリカの移民政策

§ 3 移民とナショナリズム

第10回 メディアと近現代史（辻河典子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：Google Classroomにアップされる講義資料を読んで、この回でとりあげるテーマについて問題意識を喚起する。

予習時間：60分

復習内容：確認テストを行って不正解となった部分を確認する。授業中にでた知らない単語や事項について調べておく。

復習時間：120分

§ 1 情報・社会・メディア

§ 2 プロパガンダとメディア

§ 3 ドキュメンタリーと歴史学

第11回 戦争と戦後世界（上田貴子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：Google Classroomにアップされる講義資料を読んで、この回でとりあげるテーマについて問題意識を喚起する。

予習時間：60分

復習内容：確認テストを行って不正解となった部分を確認する。授業中にでた知らない単語や事項について調べておく。

復習時間：120分

§ 1 近代の戦争

§ 2 戦争を縛る法律

§ 3 戦争の終結とその後

第12回 分断国家（東アジア）と国際社会（和田英男）（授業形式：講義および演習）

予習内容：Google Classroomにアップされる講義資料を読んで、この回でとりあげるテーマについて問題意識を喚起する。

予習時間：60分

復習内容：確認テストを行って不正解となった部分を確認する。授業中にでた知らない単語や事項について調べておく。

復習時間：120分

§ 1 戦後世界と冷戦

§ 2 戦後の中国大陆と台湾の歩み 1

§ 3 戦後の中国大陆と台湾の歩み 2

第13回 第二次世界大戦後の東西ヨーロッパ：ドイツを例に（石井聡）（授業形式：講義および演習）

予習内容：Google Classroomにアップされる講義資料を読んで、この回でとりあげるテーマについて問題意識を喚起する。

予習時間：60分

復習内容：確認テストを行って不正解となった部分を確認する。授業中にでた知らない単語や事項について調べておく。

復習時間：120分

§ 1 社会主義と社会民主主義

- § 2 西ドイツ社会的市場経済
- § 3 東ドイツ社会主義計画経済

第14回 ジェンダーから歴史を考える（辻河典子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：Google Classroomにアップされる講義資料を読んで、この回でとりあげるテーマについて問題意識を喚起する。

予習時間：60分

復習内容：確認テストを行って不正解となった部分を確認する。授業中にでた知らない単語や事項について調べておく。

復習時間：120分

- § 1 ジェンダー史の成立
- § 2 歴史研究とジェンダーの視点
- § 3 ジェンダーから世界史を考える

第15回 世界近現代史から何を考えるか（上田貴子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：Google Classroomにアップされる講義資料を読んで、この回でとりあげるテーマについて問題意識を喚起する。

予習時間：60分

復習内容：確認テストを行って不正解となった部分を確認する。授業中にでた知らない単語や事項について調べておく。

復習時間：120分

- § 1 近代と人間
- § 2 近代と気候変動
- § 3 これからを見据えるために

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 :	世界近現代史【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Modern World History				
担当者 :	和田 英男				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

人類の歴史としての世界史を扱います。日本の高校世界史の授業を受けていなくても、きちんと予習復習をするとともに教材にとりくむことで、人類の現代社会の成り立ちについての理解を深めることができるようになっていきます。

この授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。各回の作成者は授業計画の内容に記載のとおりです。

それぞれの回は3つのセクションに分かれており、それぞれのセクションについて簡単な確認テストがあります。また学期の途中に2回のレポート課題①②があり、すべての回を視聴した後に、③最終レポートの提出が課されています。

また学期の途中で、Google Classroomを通じたディスカッションの機会を設けます。

この授業では5回以上の欠席者は評価対象外（不受）とします。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

近現代史とは現代社会のなりたちを理解することであり、現代社会の抱える問題の背景を理解することでもあります。これによって、自分たちの参画する社会のこれからを考える視点が養われます。

またグローバル化した現代社会においては、問題をとらえる視点はマクロ・ミクロ両方の視点が必要です。世界近現代史は、世界史とは人類史であるという理解から、このマクロな視点を養うものでもあります。

■ 成績評価方法および基準

レポート1 30%

レポート2 25%

レポート3 25%

最終考察 10%

ディスカッションへの参加 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

レポート課題の提出締切後に「レポート課題の要点と解説」をGoogleClassroomに掲載します。

■ 教科書

Google Classroomを通じて配布します。

■ 参考文献

Google Classroomを通じて紹介します。

■ 関連科目

日本近現代史 国際化と異文化理解

■ 授業評価アンケート実施方法

本学の規程に準拠して実施します。

■研究室・メールアドレス

メールアドレス：2096b7@kindai.ac.jp

メールまたはGoogle Classroomを通じてご連絡下さい。

■オフィスアワー

質問等はGoogle Classroomを通じて適宜対応します。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 世界史とは？近現代史とは？（上田貴子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：Google Classroomにアップされる講義資料を読んで、この回でとりあげるテーマについて問題意識を喚起する。

予習時間：60分

復習内容：確認テストを行って不正解となった部分を確認する。授業中にでた知らない単語や事項について調べておく。

復習時間：120分

- §1 世界史とは？
- §2 時代区分を考える
- §3 近現代とはどんな時代か？

第2回 産業革命と市場経済の形成（中井大介）（授業形式：講義および演習）

予習内容：Google Classroomにアップされる講義資料を読んで、この回でとりあげるテーマについて問題意識を喚起する。

予習時間：60分

復習内容：確認テストを行って不正解となった部分を確認する。授業中にでた知らない単語や事項について調べておく。

復習時間：120分

- §1 産業革命のインパクト
- §2 市場経済と自由主義
- §3 第4次産業革命の時代へ

第3回 近代とネイション（辻河典子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：Google Classroomにアップされる講義資料を読んで、この回でとりあげるテーマについて問題意識を喚起する。

予習時間：60分

復習内容：確認テストを行って不正解となった部分を確認する。授業中にでた知らない単語や事項について調べておく。

復習時間：120分

- §1 ネイションとは何だろう？
- §2 ネイションと近代国家
- §3 ネイションと総力戦の時代

第4回 パクス・ブリタニカと近代のグローバル化（數下信幸）（授業形式：講義および演習）

予習内容：Google Classroomにアップされる講義資料を読んで、この回でとりあげるテーマについて問題意識を喚起する。

予習時間：60分

復習内容：確認テストを行って不正解となった部分を確認する。授業中にでた知らない単語や事項について調べておく。

復習時間：120分

- §1 パクス・ブリタニカとは？
- §2 近代におけるグローバル化とその影響
- §3 ウェスタン・インパクトと近代アジア

第5回 植民地支配と近代インド（數下信幸）（授業形式：講義および演習）

予習内容：Google Classroomにアップされる講義資料を読んで、この回でとりあげるテーマについて問題意識を喚起する。

予習時間：60分

復習内容：確認テストを行って不正解となった部分を確認する。授業中にでた知らない単語や事項について調べておく。

復習時間：120分

- §1 帝国主義と植民地
- §2 インドの植民地化
- §3 植民地支配と近代インド経済

第6回 イスラーム世界の近代：オスマン帝国とトルコ共和国を例として（ダニシマズ・イディリス）（授業形式：講義および演習）

予習内容：Google Classroomにアップされる講義資料を読んで、この回でとりあげるテーマについて問題意識を喚起する。

予習時間：60分

復習内容：確認テストを行って不正解となった部分を確認する。授業中にでた知らない単語や事項について調べておく。

復習時間：120分

- §1 イスラーム世界とは？
- §2 前近代とイスラーム世界

§ 3 事例：オスマン帝国とトルコ共和国の近代化

第7回 東アジアにおける西洋近代の受容（上田貴子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：Google Classroomにアップされる講義資料を読んで、この回でとりあげるテーマについて問題意識を喚起する。

予習時間：60分

復習内容：確認テストを行って不正解となった部分を確認する。授業中にでた知らない単語や事項について調べておく。

復習時間：120分

§ 1 西洋近代の東アジアへの到来

§ 2 西洋近代受容の共通点と相違点

§ 3 二つの国際秩序と日清戦争

第8回 辛亥革命と東アジアの国際関係（阿路思）（授業形式：講義および演習）

予習内容：Google Classroomにアップされる講義資料を読んで、この回でとりあげるテーマについて問題意識を喚起する。

予習時間：60分

復習内容：確認テストを行って不正解となった部分を確認する。授業中にでた知らない単語や事項について調べておく。

復習時間：120分

§ 1 清末立憲思想

§ 2 辛亥革命

§ 3 清朝崩壊後のモンゴル

第9回 移民の19世紀：アメリカ（伊澤正興）（授業形式：講義および演習）

予習内容：Google Classroomにアップされる講義資料を読んで、この回でとりあげるテーマについて問題意識を喚起する。

予習時間：60分

復習内容：確認テストを行って不正解となった部分を確認する。授業中にでた知らない単語や事項について調べておく。

復習時間：120分

§ 1 19世紀の世界経済と移民

§ 2 アメリカの移民政策

§ 3 移民とナショナリズム

第10回 メディアと近現代史（辻河典子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：Google Classroomにアップされる講義資料を読んで、この回でとりあげるテーマについて問題意識を喚起する。

予習時間：60分

復習内容：確認テストを行って不正解となった部分を確認する。授業中にでた知らない単語や事項について調べておく。

復習時間：120分

§ 1 情報・社会・メディア

§ 2 プロパガンダとメディア

§ 3 ドキュメンタリーと歴史学

第11回 戦争と戦後世界（上田貴子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：Google Classroomにアップされる講義資料を読んで、この回でとりあげるテーマについて問題意識を喚起する。

予習時間：60分

復習内容：確認テストを行って不正解となった部分を確認する。授業中にでた知らない単語や事項について調べておく。

復習時間：120分

§ 1 近代の戦争

§ 2 戦争を縛る法律

§ 3 戦争の終結とその後

第12回 分断国家（東アジア）と国際社会（和田英男）（授業形式：講義および演習）

予習内容：Google Classroomにアップされる講義資料を読んで、この回でとりあげるテーマについて問題意識を喚起する。

予習時間：60分

復習内容：確認テストを行って不正解となった部分を確認する。授業中にでた知らない単語や事項について調べておく。

復習時間：120分

§ 1 戦後世界と冷戦

§ 2 戦後の中国大陆と台湾の歩み 1

§ 3 戦後の中国大陆と台湾の歩み 2

第13回 第二次世界大戦後の東西ヨーロッパ：ドイツを例に（石井聡）（授業形式：講義および演習）

予習内容：Google Classroomにアップされる講義資料を読んで、この回でとりあげるテーマについて問題意識を喚起する。

予習時間：60分

復習内容：確認テストを行って不正解となった部分を確認する。授業中にでた知らない単語や事項について調べておく。

復習時間：120分

§ 1 社会主義と社会民主主義

- § 2 西ドイツ社会的市場経済
- § 3 東ドイツ社会主義計画経済

第14回 ジェンダーから歴史を考える（辻河典子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：Google Classroomにアップされる講義資料を読んで、この回でとりあげるテーマについて問題意識を喚起する。

予習時間：60分

復習内容：確認テストを行って不正解となった部分を確認する。授業中にでた知らない単語や事項について調べておく。

復習時間：120分

- § 1 ジェンダー史の成立
- § 2 歴史研究とジェンダーの視点
- § 3 ジェンダーから世界史を考える

第15回 世界近現代史から何を考えるか（上田貴子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：Google Classroomにアップされる講義資料を読んで、この回でとりあげるテーマについて問題意識を喚起する。

予習時間：60分

復習内容：確認テストを行って不正解となった部分を確認する。授業中にでた知らない単語や事項について調べておく。

復習時間：120分

- § 1 近代と人間
- § 2 近代と気候変動
- § 3 これからを見据えるために

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 :	国際化と異文化理解【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Internationalization and Cross Cultural Understanding				
担当者 :	高橋 梓				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	前期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :	理工応用化学科：学修・教育到達目標（B）に主体的に関与 理工電気電子通信工学科：学習・教育到達目標D2の達成に主体的に関与 理工社会環境工学科：ディプロマ・ポリシーの(A)、(G)に主体的に関与、(C)、(J)、(K)に付随的に関与				

■ 授業概要

この講義では中国・韓国・ドイツ・フランスの文化についての学びを通じ、国際社会の中で他者とともに生きるための方法を見出すことを目的とします。21世紀を生きる我々は、グローバル化の中で多様な価値観に触れています。その一方で各国のローカルな価値観に違和感を覚えたり、異文化圏との積極的な交流に不満を覚えたりする声が目につくようになりました。私たちは「国際化」と「異文化」という大きなテーマを改めて考え直す段階に来ているのではないのでしょうか。そこで本講義では中国・韓国・ドイツ・フランスを専門とする四名の教員が、各国の文化の特徴や問題を解説します。文化を「生きるための工夫」と見なし、他国の日常生活や民族間の摩擦の事例を読み解き、日本文化との共通点や差異を議論することで、国際社会を生きる我々の課題が浮き彫りになるはずで、講義を通じて国際社会を他者とともに生きるための基礎的な能力を獲得しましょう。

この授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。各回の作成者は授業計画の内容に記載のとおりです。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

この講義を受講することで、履修者は、

- ① 自分と他者、あるいは自文化と異文化を比較し、違いや共通点を見出す能力が身につく。
- ② 各回の課題やアクティビティを通じて自分の考えをしっかりとした言葉で伝えられるようになる。
- ③ 各国文化（中国・韓国・ドイツ・フランス）について基礎的な知識を得ることができる。

この科目の修得は、本学の定めるディプロマポリシー4（異質な価値や文化を理解し、自国の伝統や文化の意味を再発見する国際感覚を、身に付けていること）の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

中間レポート① 25%

中間レポート② 25%

期末レポート 50%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

課題の提出締切後に「課題の要点と解説」をGoogleClassroomに掲載します。

■ 教科書

教科書は使用しません。

■ 参考文献

[ISBN]4130322028 『国際文化論』(平野 健一郎, 東京大学出版会: 2000)
[ISBN]4795402310 『国際文化学への第一歩』(静岡文化芸術大学文化政策学部国際文化学科, すずさわ書店: 2013)
[ISBN]4469212709 『カルチュラル・スタディーズへの招待』(本橋 哲也, 大修館書店: 2002)

■関連科目

すべての外国語科目、国際化と異文化理解

■授業評価アンケート実施方法

本学の規程に準拠して実施します。

■研究室・メールアドレス

研究室: EキャンパスC館5階

メールアドレス: azusa.takahashi@jus.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

火曜日 2限

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 第1回 イントロダクション～文化とは何か～(担当: 高橋梓)(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 文化について自分なりのイメージを持っておく

予習時間: 120分

復習内容: 動画で教員の分析を確認する

復習時間: 60分

第1回は文化とは何かという点について、先行研究に基づき概念を確認するとともに、本講義の全体像について概要を説明します。

第2回 第2回 国際文化学とは何か(担当: 高橋梓)(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 参考文献: 平野健一郎『国際文化論』を読む

予習時間: 120分

復習内容: 動画で教員の分析を確認する

復習時間: 60分

第2回は本講義が立脚する国際文化学について説明します。国際関係を文化で見る試みを具体的にどのように進めるべきか確認しましょう。

第3回 第3回 中国の基礎知識・言語(担当: 阿部慎太郎)(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 中国の人口、地域、通貨等についてインターネットやgoogle mapで調べておく

予習時間: 120分

復習内容: 動画で教員の分析を確認する

復習時間: 60分

第3回目からは本講義の第一部「生きるための工夫(アジア編)」となります。

第3、4回は中国の文化について考えていきます。

第3回は、中国の基礎知識(人口、民族、言語、地域、通貨など)について紹介します。

第4回 第4回 中国の食文化(担当: 阿部慎太郎)(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 中華料理について、インターネットで調べておく

予習時間: 120分

復習内容: 動画で教員の分析を確認する

復習時間: 60分

第3、4回は中国の文化について考えていきます。

第4回は、中国の食文化(中華料理、円卓、習慣など)について紹介します。

第5回 第5回 韓国の基礎知識・食文化(担当: 小島大輝)(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 韓国の地理、料理、食習慣について、インターネットで調べておく

予習時間: 120分

復習内容: 動画で教員の分析を確認する

復習時間: 60分

第5、6回は韓国の文化について考えていきます。

第5回は、韓国の基礎知識と食文化(韓国料理、食習慣など)について紹介します。

第6回 第6回 韓国の住居文化とその周辺(担当: 小島大輝)(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 韓国の住居について、インターネットで調べておく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第5、6回は韓国の文化について考えていきます。

第6回は、韓国の住居と暮らし、関連する周辺の文化について紹介します。

第7回 第7回 アジア編～まとめ～「小文字の文化」から国際社会を見る（担当：高橋梓、阿部慎太郎、小島大輝）（授業形式：講義および演習）

予習内容：動画を参照しながらこれまでの講義内容を思い出ししておく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第3～6回で学んだアジア文化の特徴を題材に、文化から国際社会を見ることの意義を議論します。

第8回 第8回 フランスの基礎知識・フランス語圏（担当：高橋梓）（授業形式：講義および演習）

予習内容：フランスの基本情報について書籍やインターネットで調べておく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第8回目からは本講義の第二部「文化と文化のあいだ（ヨーロッパ編）」となります。

第8、9回は中国の文化について考えていきます。

第8回はフランスの基礎知識と、フランス以外でフランス語を使用しているフランス語圏の実態や、フランス国内の少数言語について紹介します。

第9回 第9回 フランスの移民問題（担当：高橋梓）（授業形式：講義および演習）

予習内容：フランスの移民問題について書籍やインターネットで調べておく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第9回はフランスの移民の歴史、現在の状況、社会問題について説明します。

第10回 第10回 ドイツの基礎知識・ドイツ語圏（担当：大喜祐太）（授業形式：講義および演習）

予習内容：ドイツやドイツ語が話される地域の基本情報について書籍やインターネットで調べておく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第10、11回はドイツの文化について考えていきます。

第10回はドイツの基礎知識と、ドイツ以外でドイツ語を使用しているドイツ語圏の実態について、特に多言語国家スイスの言語状況を例にして紹介します。

第11回 第10回 ドイツの移民問題・ドイツ語圏（担当：大喜祐太）（授業形式：講義および演習）

予習内容：ドイツやドイツ語が話される地域の移民問題について書籍やインターネットで調べておく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第10回はドイツやドイツ語が話される地域の移民の歴史、現在の状況、社会問題について説明します。

第12回 第12回 まとめ～ヨーロッパ編～文化と文化のあいだ～（担当：高橋梓、大喜祐太）（授業形式：講義および演習）

予習内容：動画を参照しながらこれまでの講義内容を思い出ししておく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第8～11回で学んだヨーロッパ文化の特徴を題材に、主に文化触変論に基づき考察します。

第13回 第13回 自文化と異文化① プルーストを読む堀辰雄（前篇）（担当：高橋梓）（授業形式：講義および演習）

予習内容：堀辰雄とプルーストについて書籍やインターネットで調べておく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第13回目からは本講義の第三部「文化の接触と変容」となります。

第13回、14回は文学作品を題材として、文化を生きる個人の精神に目を向けます。

第13回は堀辰雄とマルセル・ブルーストが宗教芸術を見る視点に文化の差異を超えた共通点が潜むことを明らかにします。

第14回 第14回 自文化と異文化② ブルーストを読む堀辰雄(後編) (担当:高橋梓) (授業形式:講義および演習)

予習内容:堀辰雄『大和路・信濃路』を読んでおく

予習時間:120分

復習内容:動画で教員の分析を確認する

復習時間:60分

第14回は、前半で明らかにした両文化圏の共通点がなぜ起こるのか、作品分析に基づきながら理由を考察し、自文化と異文化のあいだに潜む普遍的な特性に迫ります。

第15回 第15回 まとめ～国際社会で他者と生きるために(担当:高橋梓、大喜祐太、阿部慎太郎、小島大輝) (授業形式:講義および演習)

予習内容:動画を参照しながらこれまでの講義内容を思い出ししておく

予習時間:120分

復習内容:動画で教員の分析を確認する

復習時間:60分

第15回では、これまでの講義内容を踏まえ、担当教員が日本に根付いた異文化の事例を挙げながら、国際社会の中で他者とともに生きるためのヒントや問題点を議論します。

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 :	日本語の技法【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Skills of Japanese Language				
担当者 :	寺西 裕一				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	前期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

本講義は、それぞれの専門家によるオムニバス形式となっており、多様な日本語の魅力に触れるものとなっている。多角的な視点で日本語の基礎力を身につけられるようになっている。

授業形態は、オンデマンド形式であり、各自映像で自主学習を行い、その後課題に取り組む主体的な学びを促進するものである。

この授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。各回の作成者は授業計画の内容に記載のとおりです。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）・自主学習支援（e-learning等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

「日本語」を使ったコミュニケーションを「話す」「書く」「読む」「聞く」のあらゆる角度から捉え、日本語の特徴や文化的背景も踏まえてその技法を学び、表現力を高めることを目的としている。

またレポート作成をはじめとする大学生活に必要な学びの基礎のみならず、履歴書や自己アピールなどの就職活動、会議やプレゼンテーションなどの社会人生活に必要な実践力をも身につけることを目的としている。

この科目の修得は、本学が定めるディプロマポリシー1.の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

中間レポート 30%

期末レポート 30%

ディスカッション 20%

その他課題 ※詳細については別途Google Classroomでお知らせします。課題の提出があった場合でも、Google Classroomに入っていない場合は成績は付けられません。 20%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

授業内で練習問題を行い、解説及び模範解答を掲示

■ 教科書

別途指示します。

■ 参考文献

[ISBN]4623078779 『知的技法としてのコミュニケーション:「話す力」は「生きる力」』（児島建次郎, ミネルヴァ書房: 2017)

■ 関連科目

日本語の技法、日本語の表現

■ 授業評価アンケート実施方法

規定に従い行います

■研究室・メールアドレス

講師控室 teranishi.yuuichi@p.bus.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

月曜日 13:10～14:50

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 話すための基礎技術（寺西裕一）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第2回 話し上手は聞き上手（寺西裕一）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第3回 パブリックスピーキング（寺西裕一）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第4回 声は人なり（都築由美）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第5回 プレゼンテーション（都築由美）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第6回 日本語の性格1（山王丸有紀）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第7回 日本語の性格2（山王丸有紀）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第8回 敬語（都築由美）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第9回 文法カテゴリと表現性（森久国雄）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第10回 ことばのバリエーション（森久国雄）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第11回 レポートの書き方①（田中教子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第12回 レポートの書き方②（田中教子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第13回 レポートの書き方③（田中教子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第14回 企画書（石橋明子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第15回 メール・手紙（石橋明子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

定期試験を行う

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 :	日本語の技法【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Skills of Japanese Language				
担当者 :	石橋 明子				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	前期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :	理工応用化学科：学修・教育目標（G）に主体的に関与 理工機械工学科：機械工学コース学習・教育目標：A-1, JABEE基準1.2：(a)(b)に関与 理工電気電子通信工学科：学習・教育到達目標D2の達成に付随的に関与 理工社会環境工学科：ディプロマ・ポリシーの(J)に主体的に関与、(C)に付随的に関与				

■ 授業概要

本講義は、それぞれの専門家によるオムニバス形式となっており、多様な日本語の魅力に触れるものとなっている。多角的な視点で日本語の基礎力を身につけられるようになっている。

授業形態は、オンデマンド形式であり、各自映像で自主学習を行い、その後課題に取り組む主体的な学びを促進するものである。

この授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。各回の作成者は授業計画の内容に記載のとおりです。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）・自主学習支援（e-learning等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

「日本語」を使ったコミュニケーションを「話す」「書く」「読む」「聞く」のあらゆる角度から捉え、日本語の特徴や文化的背景も踏まえてその技法を学び、表現力を高めることを目的としている。

またレポート作成をはじめとする大学生活に必要な学びの基礎のみならず、履歴書や自己アピールなどの就職活動、会議やプレゼンテーションなどの社会人生活に必要な実践力をも身につけることを目的としている。

この科目の修得は、本学が定めるディプロマポリシー1.の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

中間レポート 30%

期末レポート 30%

ディスカッション 20%

その他課題 ※詳細については別途Google Classroomでお知らせします。課題の提出があった場合でも、Google Classroomに入っていない場合は成績は付けられません。20%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

別途運営担当教員入力

■ 教科書

別途指示します。

■ 参考文献

[ISBN]4623078779 『知的技法としてのコミュニケーション:「話す力」は「生きる力」』（児島建次郎, ミネルヴァ書房: 2017)

■ 関連科目

日本語の技法、日本語の表現

■ 授業評価アンケート実施方法

規定に従い行います

■ 研究室・メールアドレス

■ オフィスアワー

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 話すための基礎技術（寺西裕一）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第2回 話し上手は聞き上手（寺西裕一）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第3回 パブリックスピーキング（寺西裕一）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第4回 声は人なり（都築由美）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第5回 プレゼンテーション（都築由美）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第6回 日本語の性格1（山王丸有紀）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第7回 日本語の性格2（山王丸有紀）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第8回 敬語（都築由美）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第9回 文法カテゴリーと表現性（森久国雄）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第10回 ことばのバリエーション（森久国雄）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく
予習時間：30分
復習内容：授業内容を復習する
復習時間：30分

第11回 レポートの書き方①（田中教子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく
予習時間：30分
復習内容：授業内容を復習する
復習時間：30分

第12回 レポートの書き方②（田中教子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく
予習時間：30分
復習内容：授業内容を復習する
復習時間：30分

第13回 レポートの書き方③（田中教子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく
予習時間：30分
復習内容：授業内容を復習する
復習時間：30分

第14回 企画書（石橋明子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく
予習時間：30分
復習内容：授業内容を復習する
復習時間：30分

第15回 メール・手紙（石橋明子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく
予習時間：30分
復習内容：授業内容を復習する
復習時間：30分

定期試験を行う

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 :	日本語の技法【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Skills of Japanese Language				
担当者 :	石橋 明子				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	前期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :	理工応用化学科：学修・教育目標（G）に主体的に関与 理工機械工学科：機械工学コース学習・教育目標：A-1, JABEE基準1.2：(a)(b)に関与 理工電気電子通信工学科：学習・教育到達目標D2の達成に付随的に関与 理工社会環境工学科：ディプロマ・ポリシーの(J)に主体的に関与、(C)に付随的に関与				

■ 授業概要

本講義は、それぞれの専門家によるオムニバス形式となっており、多様な日本語の魅力に触れるものとなっている。多角的な視点で日本語の基礎力を身につけられるようになっている。

授業形態は、オンデマンド形式であり、各自映像で自主学習を行い、その後課題に取り組む主体的な学びを促進するものである。

この授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。各回の作成者は授業計画の内容に記載のとおりです。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）・自主学習支援（e-learning等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

「日本語」を使ったコミュニケーションを「話す」「書く」「読む」「聞く」のあらゆる角度から捉え、日本語の特徴や文化的背景も踏まえてその技法を学び、表現力を高めることを目的としている。

またレポート作成をはじめとする大学生活に必要な学びの基礎のみならず、履歴書や自己アピールなどの就職活動、会議やプレゼンテーションなどの社会生活に必要な実践力をも身につけることを目的としている。

この科目の修得は、本学が定めるディプロマポリシー1.の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

中間レポート 30%

期末レポート 30%

ディスカッション 20%

その他課題 ※詳細については別途Google Classroomでお知らせします。課題の提出があった場合でも、Google Classroomに入っていない場合は成績は付けられません。20%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

模範答案をGoogleClassroomに掲載します。

■ 教科書

別途指示します。

■ 参考文献

[ISBN]4623078779 『知的技法としてのコミュニケーション:「話す力」は「生きる力」』（児島建次郎, ミネルヴァ書房: 2017)

■ 関連科目

日本語の技法、日本語の表現

■ 授業評価アンケート実施方法

規定に従い行います

■ 研究室・メールアドレス

ishibashi_akiko@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

classroomまたは、メールでご連絡ください。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 話すための基礎技術（寺西裕一）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第2回 話し上手は聞き上手（寺西裕一）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第3回 パブリックスピーキング（寺西裕一）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第4回 声は人なり（都築由美）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第5回 プレゼンテーション（都築由美）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第6回 日本語の性格1（山王丸有紀）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第7回 日本語の性格2（山王丸有紀）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第8回 敬語（都築由美）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第9回 文法カテゴリと表現性（森久国雄）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第10回 ことばのバリエーション（森久国雄）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第11回 レポートの書き方①（田中教子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第12回 レポートの書き方②（田中教子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第13回 レポートの書き方③（田中教子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第14回 企画書（石橋明子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第15回 メール・手紙（石橋明子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

定期試験を行う

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 :	日本語の技法【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Skills of Japanese Language				
担当者 :	寺西 裕一				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :	理工応用化学科：学修・教育目標（G）に主体的に関与 理工機械工学科：機械工学コース学習・教育目標：A-1, JABEE基準1.2：(a)(b)に関与 理工電気電子通信工学科：学習・教育到達目標D2の達成に付随的に関与 理工社会環境工学科：ディプロマ・ポリシーの(J)に主体的に関与、(C)に付随的に関与				

■ 授業概要

本講義は、それぞれの専門家によるオムニバス形式となっており、多様な日本語の魅力に触れるものとなっている。多角的な視点で日本語の基礎力を身につけられるようになっている。

授業形態は、オンデマンド形式であり、各自映像で自主学習を行い、その後課題に取り組む主体的な学びを促進するものである。

この授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。各回の作成者は授業計画の内容に記載のとおりです。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）・自主学習支援（e-learning等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

「日本語」を使ったコミュニケーションを「話す」「書く」「読む」「聞く」のあらゆる角度から捉え、日本語の特徴や文化的背景も踏まえてその技法を学び、表現力を高めることを目的としている。

またレポート作成をはじめとする大学生活に必要な学びの基礎のみならず、履歴書や自己アピールなどの就職活動、会議やプレゼンテーションなどの社会生活に必要な実践力をも身につけることを目的としている。

この科目の修得は、本学が定めるディプロマポリシー1.の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

中間レポート 30%

期末レポート 30%

ディスカッション 20%

その他課題 ※詳細については別途Google Classroomでお知らせします。課題の提出があった場合でも、Google Classroomに入っていない場合は成績は付けられません。20%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

授業内で練習問題を行い、解説及び模範解答を掲示

■ 教科書

別途指示します。

■ 参考文献

[ISBN]4623078779 『知的技法としてのコミュニケーション:「話す力」は「生きる力」』（児島建次郎, ミネルヴァ書房: 2017)

■ 関連科目

日本語の技法、日本語の表現

■授業評価アンケート実施方法

規定に従い行います

■研究室・メールアドレス

講師控室 teranishi.yuuishi@p.bus.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

月曜日 13:10～14:50

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 話すための基礎技術（寺西裕一）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第2回 話し上手は聞き上手（寺西裕一）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第3回 パブリックスピーキング（寺西裕一）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第4回 声は人なり（都築由美）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第5回 プレゼンテーション（都築由美）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第6回 日本語の性格1（山王丸有紀）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第7回 日本語の性格2（山王丸有紀）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第8回 敬語（都築由美）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第9回 文法カテゴリーと表現性（森久国雄）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第10回 ことばのバリエーション（森久国雄）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第11回 レポートの書き方①（田中教子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第12回 レポートの書き方②（田中教子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第13回 レポートの書き方③（田中教子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第14回 企画書（石橋明子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第15回 メール・手紙（石橋明子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

定期試験を行う

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 :	日本語の技法【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Skills of Japanese Language				
担当者 :	石橋 明子				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :	理工応用化学科：学修・教育目標（G）に主体的に関与 理工機械工学科：機械工学コース学習・教育目標：A-1, JABEE基準1.2：(a)(b)に関与 理工電気電子通信工学科：学習・教育到達目標D2の達成に付随的に関与 理工社会環境工学科：ディプロマ・ポリシーの(J)に主体的に関与、(C)に付随的に関与				

■ 授業概要

本講義は、それぞれの専門家によるオムニバス形式となっており、多様な日本語の魅力に触れるものとなっている。多角的な視点で日本語の基礎力を身につけられるようになっている。

授業形態は、オンデマンド形式であり、各自映像で自主学習を行い、その後課題に取り組む主体的な学びを促進するものである。

この授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。各回の作成者は授業計画の内容に記載のとおりです。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）・自主学習支援（e-learning等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

「日本語」を使ったコミュニケーションを「話す」「書く」「読む」「聞く」のあらゆる角度から捉え、日本語の特徴や文化的背景も踏まえてその技法を学び、表現力を高めることを目的としている。

またレポート作成をはじめとする大学生活に必要な学びの基礎のみならず、履歴書や自己アピールなどの就職活動、会議やプレゼンテーションなどの社会生活に必要な実践力をも身につけることを目的としている。

この科目の修得は、本学が定めるディプロマポリシー1.の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

中間レポート 30%

期末レポート 30%

ディスカッション 20%

その他課題 ※詳細については別途Google Classroomでお知らせします。課題の提出があった場合でも、Google Classroomに入っていない場合は成績は付けられません。20%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

模範答案をGoogleClassroomに掲載します。

■ 教科書

別途指示します。

■ 参考文献

[ISBN]4623078779 『知的技法としてのコミュニケーション:「話す力」は「生きる力」』（児島建次郎, ミネルヴァ書房: 2017)

■ 関連科目

日本語の技法、日本語の表現

■授業評価アンケート実施方法

規定に従い行います

■研究室・メールアドレス

ishibashi_akiko@kindai.ac.jp

■オフィスアワー

classroomまたは、メールでご連絡ください。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 話すための基礎技術（寺西裕一）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第2回 話し上手は聞き上手（寺西裕一）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第3回 パブリックスピーキング（寺西裕一）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第4回 声は人なり（都築由美）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第5回 プレゼンテーション（都築由美）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第6回 日本語の性格1（山王丸有紀）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第7回 日本語の性格2（山王丸有紀）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第8回 敬語（都築由美）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第9回 文法カテゴリと表現性（森久国雄）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第10回 ことばのバリエーション（森久国雄）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第11回 レポートの書き方①（田中教子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第12回 レポートの書き方②（田中教子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第13回 レポートの書き方③（田中教子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第14回 企画書（石橋明子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第15回 メール・手紙（石橋明子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

定期試験を行う

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 :	日本語の技法【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Skills of Japanese Language				
担当者 :	田中 教子				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :	理工応用化学科：学修・教育目標（G）に主体的に関与 理工機械工学科：機械工学コース学習・教育目標：A-1, JABEE基準1.2：(a)(b)に関与 理工電気電子通信工学科：学習・教育到達目標D2の達成に付随的に関与 理工社会環境工学科：ディプロマ・ポリシーの(J)に主体的に関与、(C)に付随的に関与				

■ 授業概要

本講義は、それぞれの専門家によるオムニバス形式となっており、多様な日本語の魅力に触れるものとなっている。多角的な視点で日本語の基礎力を身につけられるようになっている。

授業形態は、オンデマンド形式であり、各自映像で自主学習を行い、その後課題に取り組む主体的な学びを促進するものである。

この授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。各回の作成者は授業計画の内容に記載のとおりです。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）・自主学習支援（e-learning等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

「日本語」を使ったコミュニケーションを「話す」「書く」「読む」「聞く」のあらゆる角度から捉え、日本語の特徴や文化的背景も踏まえてその技法を学び、表現力を高めることを目的としている。

またレポート作成をはじめとする大学生活に必要な学びの基礎のみならず、履歴書や自己アピールなどの就職活動、会議やプレゼンテーションなどの社会生活に必要な実践力をも身につけることを目的としている。

この科目の修得は、本学が定めるディプロマポリシー1.の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

中間レポート 30%

期末レポート 30%

ディスカッション 20%

その他課題 ※詳細については別途Google Classroomでお知らせします。課題の提出があった場合でも、Google Classroomに入っていない場合は成績は付けられません。20%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

授業内で練習問題を行い、解説及び模範解答を掲示

■ 教科書

別途指示します。

■ 参考文献

[ISBN]4623078779 『知的技法としてのコミュニケーション:「話す力」は「生きる力」』（児島建次郎, ミネルヴァ書房: 2017)

■ 関連科目

日本語の技法、日本語の表現

■授業評価アンケート実施方法

規定に従い行います

■研究室・メールアドレス

講師控室

メールアドレス (korinokanata2@yahoo.co.jp)

■オフィスアワー

月曜日 13:10～14:50

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 話すための基礎技術（寺西裕一）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第2回 話し上手は聞き上手（寺西裕一）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第3回 パブリックスピーキング（寺西裕一）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第4回 声は人なり（都築由美）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第5回 プレゼンテーション（都築由美）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第6回 日本語の性格1（山王丸有紀）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第7回 日本語の性格2（山王丸有紀）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第8回 敬語（都築由美）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第9回 文法カテゴリと表現性（森久国雄）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第10回 ことばのバリエーション（森久国雄）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第11回 レポートの書き方①（田中教子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第12回 レポートの書き方②（田中教子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第13回 レポートの書き方③（田中教子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第14回 企画書（石橋明子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第15回 メール・手紙（石橋明子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

定期試験を行う

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 :	データリテラシー入門【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Introduction to Data Literacy				
担当者 :	溝渕 昭二				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

本科目では、来るデータ駆動型社会に向けて進展が期待されているDS（Data Science, データ科学）とAI（Artificial Intelligence, 人工知能）に関する基礎的な知識と技能を修得するための授業を実施する。授業では、まず、DSやAIの現状について紹介する。次に、それらを活用するために理解しておくべき概念や方法について説明する。そして、データを適正に利用するために留意すべき点について説明する。最後に、データの取り扱いについて説明するとともに、実際にツールを使った演習を行う。本科目の授業資料は、担当教員とは別の教員が作成している。各回のタイトル欄に作成者を記載する。

【履修の前提条件】

本科目の履修には、下記のスキルが必要となる。パソコン操作に不慣れな学生は、他の基礎科目で十分なスキルを獲得した上で履修すること。オンデマンド授業のためPC操作のサポートは受けられない。

- ・ファイル名の変更・アップロード・ダウンロードがスムーズに行える。
- ・ファイルの拡張子について熟知している。
- ・圧縮ファイルを適切に解凍できる。
- ・表計算（Excel・Googleスプレッドシート）で関数を挿入できる。
- ・表計算（Excel・Googleスプレッドシート）でシート操作ができる。

【諸注意】

- ・授業の出席方法等のルールは、必ずKICSオンデマンド授業マニュアルを確認すること。
- ・指定された期日までに授業動画を視聴し、かつ確認テストに満点合格すること。授業動画の視聴と確認テストを満点合格することなく、別途出題される課題を提出あるいはテストを実施した場合は、その回の課題あるいはテストの点数は0点とする。
- ・各授業の課題提出期限はGoogleClassroomで指示する。
- ・出席数、欠席数、欠席届の有無は成績評価（不受を含む）には反映しない。ただし、成績評価は、授業への出席（動画視聴期限までの学習）を前提とした課題提出によって行うため授業への出席は必須である。
- ・第1回、第3回から第9回までの授業で「KBマップ」というアプリを使用する。GoogleClassroomで指示された資料で利用方法を確認し、開講後1週間以内にログインできることを確認すること。
- ・第2回と第10回の授業の復習として、Zoomによる他学部と合同のオンラインディスカッションの機会を提供する。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

本科目の到達目標は次のとおりである。

- [1] DSやAIの現状、概念、方法について必要事項を知っている。
- [2] データの取り扱いについて必要事項を知っている。
- [3] データの留意点について必要事項を知っている。

本科目の修得は、本学が定めるディプロマポリシー3の達成に関与している。

■ 成績評価方法および基準

KBマップ課題（第1回、第3回～第8回） 30%

KBマップ課題+テスト（第9回） 20%
練習課題+演習課題（第10回-第15回） 40%
グループディスカッション（第2回授業時間外、第10回授業時間外） 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

第1回、第3回～第9回課題はKBマップのフィードバック機能によりフィードバックする。
第11回～第15回課題は、誤りが多かった事項について授業期間終了後にGoogleClassroomにコメントを掲載する。
グループディスカッションは、課題として提出されたアンケート内容を取りまとめたレポートを開示する。

■ 教科書

教科書はなし。適宜授業資料を配布する。

■ 参考文献

[ISBN]9784065238097 『教養としてのデータサイエンス (データサイエンス入門シリーズ)』 (北川 源四郎, 講談社 : 2021)

■ 関連科目

各学部のデータサイエンスあるいはAIを取り扱った科目

■ 授業評価アンケート実施方法

学部の定めるとおり実施する。

■ 研究室・メールアドレス

nttls_21@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

別途Zoomによる質問対応時間を設ける（詳細はGoogleClassroomに掲示）。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 データ駆動型社会（担当：山元 翔）（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業計画、KICSオンデマンド受講案内、GoogleClassroomの資料をすべて読み込むこと。

予習時間：90分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・IoT、ビッグデータ、AI、ロボット、仮想現実（VR）、拡張現実（AR）
- ・第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会
- ・現代社会におけるデータ科学（DS）と人工知能（AI）への期待と課題
- ・人間の知的活動とAIの関係性
- ・データ・AI活用領域の広がり(生産、消費、文化活動など)
- ・今のAIで出来ることと出来ないこと、AIとビッグデータ
- ・自動化技術
- ・研究開発、調達、製造、物流、販売、マーケティング、サービスなど

第2回 DS・AI活用社会（担当：山元 翔）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第1回授業の内容、難易度を踏まえ、受講計画を作成すること（毎週同じ時間帯に学習時間を確保することを推奨する）。

予習時間：60分

復習内容：第2回の授業内容に関係するグループディスカッションに参加すること（グループディスカッション用事前課題、事後課題あり）。

復習時間：180分

- ・流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等におけるデータ・AI活用事例紹介
- ・仮説検証、知識発見、原因究明、計画策定、判断支援、活動代替、新規生成など

第3回 DS・AI利活用（担当：山元 翔）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第3回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・AI等を活用した新しいビジネスモデル
- ・AI最新技術の活用例
- ・人工知能、データ科学のビジネス機会
- ・人工知能、データ科学の社会的課題
- ・データを起点としたものの見方、人間の知的活動を起点としたものの見方

第4回 様々なデータ表現 (担当: 山元 翔) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 第4回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間: 60分

復習内容: KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間: 180分

- ・ 2進数, 16進数
- ・ 数値, 文字, 画像, 音声
- ・ 1次データ, 2次データ, メタデータ, アノテーション
- ・ 構造化データ, 非構造化データ
- ・ 非構造化データ処理: 言語処理, 画像/動画処理, 音声/音楽処理など
- ・ オープンデータ

第5回 データの利活用と注意 (担当: 山元 翔) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 第5回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間: 60分

復習内容: KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間: 180分

- ・ データサイエンスのサイクル
- ・ 個人の不健全な状況の回避: ネット依存症, ゲーム中毒, テクノストレス等
- ・ 被害者・加害者にならないための知識, なったときの対応, 誹謗中傷・炎上, ネットいじめ
- ・ 適切な対象が適切に情報を取得できること: 情報格差, アクセシビリティ
- ・ プライバシー

第6回 社会におけるデータの取り扱い - 個々人の注意 - (担当: 山元 翔) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 第6回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間: 60分

復習内容: KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間: 120分

- ・ 情報の信頼性の判断, デマ・流言, メディアリテラシー
- ・ 社会としての危機管理: システムダウンによる影響範囲の把握と対応
- ・ ELSI (Ethical, Legal and Social Issues)
- ・ データ・AI活用における負の事例紹介
- ・ データ倫理: データのねつ造, 改ざん, 盗用, プライバシー保護
- ・ AI社会原則 (公平性, 説明責任, 透明性, 人間中心の判断)
- ・ データバイアス, アルゴリズムバイアス
- ・ AIサービスの責任論

第7回 社会におけるデータの取り扱い - 社会全体の注意 - (担当: 山元 翔) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 第7回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間: 60分

復習内容: KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間: 120分

- ・ 知的財産権: 著作権と産業財産権, 著作権, 創作とライセンス表示, 国際化 (ベルヌ条約)
- ・ 肖像権・パブリシティ権
- ・ 個人情報保護: 個人情報 (個人識別符号の説明を含む), 匿名加工情報, 自己情報コントロール権, OECD プライバシーガイドライン, EU 法 (保護規則) と忘れられる権利, オプトアウト

第8回 データを守る上での留意事項 (担当: 山元 翔) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 第8回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間: 60分

復習内容: KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間: 120分

- ・ 情報セキュリティ: 機密性, 完全性, 可用性
- ・ 匿名加工情報, 暗号化, パスワード, 悪意ある情報搾取
- ・ 情報漏洩等によるセキュリティ事故の事例紹介

第9回 AI・データ利活用の基礎知識 (テスト課題) (担当: 山元 翔) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 第1回から第8回までの授業内容を復習し, 未提出のKBマップ課題があればすべて完成して提出しておくこと。

予習時間: 120分

復習内容: 理解が不十分だった学習項目について確認しておくこと。

復習時間: 90分

これまでの内容を踏まえて、今後DSの考え方にに基づきAIを利活用する上での基礎知識が身についたかを確認するテストを実施する。

第10回 データを集める（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：Excel、Googleスプレッドシートの基本操作を確認しておくこと。第10回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：第10回の授業内容に関係するグループディスカッションに参加すること（グループディスカッション用事前課題・事後課題あり）。

復習時間：180分

- ・データの種類（量的変数、質的変数）
- ・母集団と標本抽出（国勢調査、アンケート調査、全数調査、単純無作為抽出、層別抽出、多段抽出）
- ・観測データに含まれる誤差の扱い
- ・打ち切りや脱落を含むデータ

第11回 データを扱う（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第11回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データ解析ツール（スプレッドシート）
- ・表形式のデータ（CSV）

第12回 データを操る（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第12回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データの集計（和）
- ・データの並び替え、ランキング

第13回 データを見る（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第13回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データ表現（棒グラフ、折線グラフ、散布図、ヒートマップ）
- ・データの図表表現（チャート化）
- ・不適切なグラフ表現（チャートジャンク、不必要な視覚的要素）
- ・統計情報の正しい理解（誇張表現に惑わされない）
- ・優れた可視化事例の紹介（可視化することによって新たな気づきがあった事例など）

第14回 データを読む（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第14回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データの分布(ヒストグラム)
- ・層別の必要なデータ
- ・代表値（平均値、中央値、最頻値）
- ・代表値の性質の違い（実社会では平均値＝最頻値でないことが多い）
- ・データのばらつき（分散、標準偏差、偏差値）
- ・データの集計（平均）

第15回 データを読み解く（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第15回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・相関と因果（相関係数、擬似相関、交絡）
- ・クロス集計表、分割表、相関係数行列、散布図行列
- ・データの比較（条件をそろえた比較、処理の前後での比較、A/Bテスト）

- ホームページ
- 実践的な教育内容

科目名 :	ビジネスモデルとマネジメント【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Business Model and Management				
担当者 :	森山 真光				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

情報化と企業活動に関する分析を行うために必要な基礎的は用語・概念を学びます。さらに実務経験者の講演や資料から、実際にビジネスモデルやマネジメントの分析を行い理解を深めます。この授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。各回の作成者は授業計画の内容に記載の通りです。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講者は、この授業を履修することによって

1) 企業活動に関する分析を行うために必要な基礎的な用語・概念を理解できるようになります。

■ 成績評価方法および基準

中間課題 50%

学生間ディスカッション 10%

最終課題 40%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

レポート課題の提出締切後に「レポート課題の要点と解説」をGoogle Classroomに掲載します。

■ 教科書

講義資料を適宜配布します。

■ 参考文献

[ISBN]9784798122977 『ビジネスモデル・ジェネレーション ビジネスモデル設計書』（アレックス・オスターワルダー, 翔泳社 : 2012)

[ISBN]9784799325551 『新しい経営学』（三谷 宏治, ディスカヴァー・トゥエンティワン : 2019)

[ISBN]9784478012727 『ビジネスモデルを見える化する ピクト図解』（板橋悟, ダイヤモンド社）

■ 関連科目

経営学、マーケティング論、リーダーシップ論、組織論、流通論

■ 授業評価アンケート実施方法

本学の規程に準拠して実施します。

■ 研究室・メールアドレス

森山准教授室(E-319)・moriyama{at}info.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

火曜日1時限目

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 ビジネスモデルの概要【富田・橋本】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布する講義資料を参考にビジネスモデルの概要について読み、わからない語句や理解が困難な箇所を抜き出すこと。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返しビジネスモデルの概要を整理すること。

復習時間：60分

ビジネスモデルの概要、ビジネスモデルの4要素、ピクト図解と代表的なビジネスモデルについて説明する。

第2回 ビジネスモデルの4要素：ターゲット顧客と価値の提供【富田・橋本】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布する講義資料を参考にビジネスモデルにおける「ターゲット顧客と価値の提供」を読み、わからない語句や理解が困難な箇所を抜き出すこと。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返し、ビジネスモデルにおける、ターゲット顧客と価値の提供、そのマネジメントについて整理すること。

復習時間：60分

ビジネスモデルの4要素、WHOにあたるターゲット（顧客）とWHATにあたるバリュー（提供価値）について、マネジメント手法を交えて説明する。

第3回 ビジネスモデルの4要素：価値の提供体制と競争力【富田・橋本】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布する講義資料を参考にビジネスモデルにおける「価値の提供体制と競争力」を読み、わからない語句や理解が困難な箇所を抜き出すこと。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返しビジネスモデルにおける、価値の提供体制と競争力、そのマネジメントについて整理すること。

復習時間：60分

ビジネスモデルの4要素、HOWにあたるケイパビリティ：価値の提供体制と競争力について、マネジメント手法を交えて説明する。

第4回 ビジネスモデルの4要素：収益モデルとマネジメント【富田・橋本】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布する講義資料を参考にビジネスモデルにおける「収益モデルとマネジメント」を読み、わからない語句や理解が困難な箇所を抜き出すこと。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返しビジネスモデルにおける、収益モデルとそのマネジメントについて整理すること。

復習時間：60分

ビジネスモデルの4要素、WHYにあたる収益モデルおよびマネジメントについて説明する。

第5回 ビジネスモデルキャンパスの活用【富田・橋本】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布した講義資料を参考にビジネスモデルキャンパスについてわからない語句や理解が困難な箇所を抜き出すこと。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返しビジネスモデルキャンパスについて整理すること。

復習時間：60分

ビジネスモデルキャンパスを用いて、顧客との関係性、収益性の理解、価値提供手段、外的要因、競争要因について説明する。

第6回 ビジネスモデル改善への外的原動力その①【榊原】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布した講義資料を参考にESGについてわからない語句や理解が困難な箇所を抜き出すこと。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返しESGについて整理すること。

復習時間：60分

ビジネスモデル改善への外的原動力としてESG（企業活動に対する世界的な社会規範）について説明する。

第7回 ビジネスモデル改善への外的原動力その②【榊原】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布した講義資料を参考に企業への投資についてわからない語句や理解が困難な箇所を抜き出すこと。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返し投資家による直接的な働きかけについて整理すること。

復習時間：60分

ビジネスモデル改善への外的原動力として投資家による直接的な働きかけについて説明する。

第8回 ビジネスモデル進化その1【榊原】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布した講義資料を参考にビジネスモデルの進化についてわからない語句や理解が困難な箇所を抜き出すこと。

と。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返しビジネスモデルの進化について整理すること。

復習時間：60分

社会の変化とビジネスモデルの変遷について説明する。

第9回 ビジネスモデル進化その2【榊原】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布した講義資料を参考にビジネスモデルの進化についてわからない語句や理解が困難な箇所を抜き出すこと。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返しビジネスモデルの進化について整理すること。

復習時間：60分

ビジネスモデルの現在の立ち位置と今後の展望について説明する。

第10回 企業活動・企業の法務【森山】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布した講義資料を参考に企業活動・企業の法務についてわからない語句や理解が困難な箇所を抜き出すこと。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返し企業活動・企業の法務について整理すること。

復習時間：60分

ビジネスモデルとマネジメントの事例紹介に先立って、企業活動や経営管理に関する考え方、企業活動に法律や企業の規範に関する考え方について説明する。

第11回 リスクマネジメントとマネジメントシステム【富田・橋本】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布した講義資料を参考にリスクマネジメントとマネジメントシステムについてわからない語句や理解が困難な箇所を抜き出すこと。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返しリスクマネジメントとマネジメントシステムについて整理すること。

復習時間：60分

事業活動で直面するリスクに対応するマネジメント手法、リスクマネジメントやマネジメントシステムについて説明する。

第12回 ビジネスモデルとマネジメントの事例紹介その1(1)【森山】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布した講義資料を参考に講演する企業の情報収集をすること。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返しビジネスモデルキャンパス・ピクト図解を整理すること。

復習時間：60分

企業の実務経験者の講演からビジネスモデルとマネジメントの事例を紹介する。

第13回 ビジネスモデルとマネジメントの事例紹介その1(2)【森山】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布した講義資料を参考に講演する企業の情報収集をすること。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返しビジネスモデルキャンパス・ピクト図解を整理すること。

復習時間：60分

企業の実務経験者の講演からビジネスモデルとマネジメントの事例を紹介し、解説を加える。

第14回 ビジネスモデルとマネジメントの事例紹介その2(1)【森山】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布した講義資料を参考に講演する企業の情報収集をすること。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返しビジネスモデルキャンパス・ピクト図解を整理すること。

復習時間：60分

企業の実務経験者の講演からビジネスモデルとマネジメントの事例を紹介する。

第15回 ビジネスモデルとマネジメントの事例紹介その2(2)【森山】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布した講義資料を参考に講演する企業の情報収集をすること。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返しビジネスモデルキャンパス・ピクト図解を整理すること。到達目標の達成状況を参照しつつ全体を復習すること。

復習時間：60分

企業の実務経験者の講演からビジネスモデルとマネジメントの事例を紹介し、解説を加える。最後に、本授業で学んだ情報化と企業活動に関する分析を行うために必要な基礎的な用語・概念などの知識について振り返る。

■ ホームページ

■実践的な教育内容

オムニバス形式で多様な企業等から講師を招いて行う授業

科目名 :	技術と倫理【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Technology and Ethics				
担当者 :	木村 裕一				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :	機械工学コース学習・教育目標 : A-3, JABEE基準1.2 : (a)(b)に関与				

■ 授業概要

情報系に関わる研究者及び技術者が扱うデータは、医療情報を含む個人情報、財産や電子的認証に係る情報など、その改竄や漏洩によって深刻な損失が発生する可能性があり、法的或いはこれに準じた形式によって倫理の遵守が求められている。

このため、情報工学に携わる者には、情報技術に於ける倫理に関して、その社会的背景や技術的な内容に対する広範な理解が求められる。

そこで本講では、情報技術に関わる倫理について講ずる。倫理的な枠組みに留まらず、その背景となっている技術要素への概観、利用者個人が守るべき事項についても言及する。

又、発展が著しい情報工学領域では、最新の技術を取り込みこれを使い熟すという研究的な姿勢が求められる。そこで、研究上の倫理についても言及する。

ディスカッションの機会を設け、そこでの議論の内容を踏まえたレポートを課し、これに基づいて評価する。従って、ディスカッションには積極的に参加すること。又、課題は必ず期限までに提出すること。

本講は、KICSオンデマンド科目として実施するので、講義の内容は、G-KULeDからの講義の動画の提供と、Google Classroom 経由での講義の進捗に講じた講義に関する情報等の提供を組み合わせたものとなる。従って、両システムを支障無く利用できることを前提として講義を進める。

尚、本講は、木村 裕一が作成したコンテンツを使用し、本講を担当する教員が授業を実施する。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

本講によって、情報工学技術の研究開発、及び利用に係る倫理についての知識を獲得することが出来る。

■ 成績評価方法および基準

レポート 80%

ディスカッションでの活動 20%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

提出されたレポートに基づいて、レポート締め切り後の適当な時期にGoogle Classroom経由でコメントする。

■ 教科書

資料は講義中に適宜指定する。

■ 参考文献

特に指定しない。

■関連科目

基礎的な内容から講ずるので、特に指定しない。

■授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して実施

■研究室・メールアドレス

E-222

ukimura@info.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

火曜日の4限目。但し、教授室へはセキュリティーゲートを通過する必要があるので、予めメール等で訪問を伝えること。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 情報社会における倫理の技術的な背景（授業形式：講義および演習）

予習内容：情報倫理とインターネットとの関係について、各自でイメージを持っておくこと。

予習時間：60分

復習内容：予習で持ったイメージが、今回の講義でどのように変わったかについて考察すること。

復習時間：120分

高速且つ高機能化するインターネット及びコンピューターの情報技術の現状を説明することを通して、情報における技術と倫理について概観すると共に、その必要性を講ずる。

インターネットは、その普及性や高速性故に社会基盤となっており、様々な用途に供されている。またコンピューターは、インターネットからの大量の情報を十分高速に処理することが出来るだけの能力を備えたものが安価に入手できるようになっている。

そこで今回は、ネットワークやコンピューターの技術的な背景について説明することを通して、情報技術が応用されている領域を伝えることで、本講の内容を概観する。また、発信者が特定し難いという匿名性は、インターネットの利便性を高める一方で、情報の発信源が特定できない点が問題となり得ることから、これにも言及する。

第2回 情報倫理を理解するためのネットワーク及びコンピューター技術（授業形式：講義および演習）

予習内容：30年ほど前、インターネットの普及が始まった当時と現在とを比較し、日常生活や社会活動でインターネット経由で利用可能となったサービスとして、どのようなものがあるかを列挙しておく。

予習時間：60分

復習内容：ネットワークの高速大容量化が、ネットワークの利便性をどのように向上させてきているか、纏める。

復習時間：120分

情報に係る技術倫理を身に付けなければならなくなった背景には、ネットワーク及びコンピューターの高機能化があり、これを理解するには、その技術的な背景への理解が求められる。

そこで、ネットワーク及びコンピューターを構成する技術要素について説明する。特に今回はネットワークについて言及し、続いてコンピューターについて講義を進める。

第3回 情報倫理を理解するためのネットワーク技術と特にコンピューター技術（授業形式：講義および演習）

予習内容：1970年頃の電卓と、現在のコンピューターを、機能及び出来ることで何が変わったのか調べる。

予習時間：60分

復習内容：コンピューターの発達、ネットワークを介した情報の遣り取りをどのように高機能化してきたかについて纏める。

復習時間：120分

第2回に続いて、情報倫理を理解するために必要となる技術要素として、コンピューターの発展に関して講ずる。

第4回 インターネットで提供されるサービス（授業形式：講義および演習）

予習内容：インターネットを経由して利用しているサービスを一つ挙げ、これがどうやって実現されているか考えておく。

予習時間：60分

復習内容：各サービスの内容を自分で説明できるようにする。

復習時間：120分

ここまでで、インターネットをかいた情報伝達の高機能化を実現した技術的な背景について俯瞰してきた。そこで今回は、実際にインターネットで提供されているサービスを幾つか説明する。

インターネットを利用するとは、これらのサービスを使用することに他ならない。従って、インターネットで提供されるサービスに対する知識は、情報倫理を理解するために必要である。

第5回 ネットワークでの犯罪（授業形式：講義および演習）

予習内容：インターネットでの不正犯罪行為を一つ、その内容について調べておくこと

予習時間：60分

復習内容：講義で示した不正行為に対する防止策を考える。

復習時間：120分

今回は、インターネットで発生する不正或いは犯罪の幾つかの類型を提示する。

情報倫理を遵守する一つの側面として、不正なネットワーク利用の抑止がある。そこで、どのような不正行為が行われているかを例示し、その背景について説明を加える。

第6回 インターネットワークにおけるセキュリティを維持するための技術（授業形式：講義および演習）

予習内容：暗号化とはどのようなものなのか、どのように実現しているのかについて調べる。

予習時間：60分

復習内容：講義で扱った暗号化技術を纏める。

復習時間：120分

インターネットネットワークの広範な可用性を確保するためには、インターネット上を流れる情報が他者に見られないことがないようにする、いわゆるセキュリティ技術の成熟と実装が前提となっている。そこで今回は、セキュリティ技術として代表的且つ基本的なものである暗号化について解説する。

第7回 インターネットの利用者が守るべきこと（授業形式：講義および演習）

予習内容：受講者自身がインターネットの利用において日常的に留意していることを列挙する。

予習時間：60分

復習内容：講義の内容に基づいて、インターネットの利用に対して日常的に留意すべき点がどのように変えなければならないかについて考察する。

復習時間：120分

インターネットを構成する技術によって情報が守られていることはここまで伝えてきた通りであるが、これだけでは不十分であり、インターネットを利用する者が個人で守らなければならない事項が幾つかあることから、これについて講ずる。

第8回 インターネットにおける情報伝達での倫理（授業形式：講義および演習）

予習内容：SNNを使う際に日常で注意していることを書き出しておく。

予習時間：60分

復習内容：インターネットでの情報伝達で守るべきことについて纏める。

復習時間：120分

インターネットを介して様々な様態で情報を遣り取りできる。これは多様な情報伝達を実現している点で便利である一方で、様々な「事件」を発生してもいる。そこで本講では、インターネットでの情報伝達での倫理について講ずる。合わせて、インターネットでの情報の伝達で守らなければならない事にも言及する。

第9回 個人情報の保護（授業形式：講義および演習）

予習内容：インターネットの利用によって漏洩する可能性がある個人情報の種類と、漏洩した場合の危険性について列挙しておく。

予習時間：60分

復習内容：講義の内容に基づいて、個人情報保護の仕組みについて理解する。

復習時間：120分

個人情報は、その個人に属する固有の情報であり、許可無く使用することは個人の権利を侵害することとなる。

ここまでの講義で、インターネットはその普及性や高速性によって利便性が確保されるようになった結果、社会基盤の一角を構成するようになって来たことを伝えたが、一方で、個人の情報が漏洩する危険を孕んでおり、法的にも保護されている。そこで今回は、個人情報保護について講ずる。

又、個人情報の一つであり且つ厳密な取り扱いが求められる医療情報に対しては、特例的に自由な使用が、条件付きではあるが認められている。その背景も講ずる。

第10回 知的所有権の保護（授業形式：講義および演習）

予習内容：知的所有権とはどういったものかについて調べ、イメージを持つ。

予習時間：60分

復習内容：知的所有権の内容やそれらに対する法的な保護について纏める。

復習時間：120分

情報に関する技術を研究開発する側にとって重要となる、知的財産やその所有権について講ずる。

第11回 研究の倫理と生命倫理（授業形式：講義および演習）

予習内容：研究および生命に対する倫理とはどういったものかについてのイメージを持つておく。

予習時間：60分

復習内容：本講に基づいて、研究倫理、生命倫理とはどういったものかについて纏める。

復習時間：120分

研究教育のための機関である大学においては、研究に係る倫理への理解は厳しく求められるものである。

そこで今回は、研究の倫理について講ずる。研究結果に対する改竄や捏造がなぜ認められないのかについて説明する。

又、情報工学の代表的な応用先として医学領域があるが、生命に関わることから、その倫理の遵守に対しては厳格な定めがあり、生命倫理と呼ばれている。本講では生命倫理についても説明する。

第12回 技術倫理を守るための法とビッグデータの活用（授業形式：講義および演習）

予習内容：臨床研究法の法文を手に入れ、読んでみる。

予習時間：60分

復習内容：臨床研究法の運用について纏める。

復習時間：120分

技術倫理を守るための法律が制定されており、技術者にはこれらの理解が求められる。そこで今回は、情報工学を含む医工学研究に対して制定されている臨床研究法を例に取り、その作り込みや運用について説明する。

又、インターネットの普及及びその高速化は、インターネットを介して大量のデータを収集できるようになり、そこから消費者の動向や生活様式と病態との関係といった有益な情報を抽出することが出来るようになってきている。ビッグデータの利用である。今回はこれを可能とした技術的背景を踏まえつつ、その内容についても説明する。

第13回 技術者の倫理（授業形式：講義および演習）

予習内容：技術者に求められる倫理とはどういったものであろうか？ 考えておく。

予習時間：60分

復習内容：技術者に求められる倫理について、自分の言葉でその必要性などを語れるようになる。

復習時間：120分

ここまでは情報領域における倫理について述べてきたが、情報を含む技術開発全般における倫理について理解することで、より現実的な情報倫理を身に付けることが出来る。本講では、技術者に求められる倫理について講ずる。

第14回 技術者に求められる倫理の実際（授業形式：講義および演習）

予習内容：製造物責任とはどういったものか調べる。

予習時間：60分

復習内容：技術倫理の実践で求められる事項について纏める。

復習時間：120分

製造物責任、安全やリスクの評価など、前講で述べた技術倫理を実際に実現していくに当たっての諸点について講ずる。

第15回 情報倫理の纏め（授業形式：講義および演習）

予習内容：ここまでの講義で分からなかった点を明確にして講義に臨み、質問すること。

予習時間：60分

復習内容：情報に関する技術倫理とはどういった事項で構成されているのか、説明できるようになりましたか？

復習時間：120分

本講では、ここまでで講じてきた情報倫理について総括する。

■ ホームページ

■ 実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 :	国際社会と日本【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	International Society and Japan				
担当者 :	松下 聖				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	前期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :	理工学部応用化学科：学修・教育到達目標（B）に主体的に関与、 理工学部機械工学科：機械工学コース学習・教育目標：A-1, JABEE基準1.2：(a)(b)に関与、 理工学部電気電子通信工学科：学習・教育到達目標D2の達成に主体的に関与、 理工学部社会環境工学科：ディプロマ・ポリシーの(A)、(G)、(J)に主体的に関与、(K)に付随的に関与				

■ 授業概要

この講義の目標は、グローバル化の進展する世界経済の現状と諸課題について理解し、分析するための知識とスキルを身につけることです。この講義は大きく2つの部分に分かれます。前半の講義（2～8回）では、企業活動のグローバル化と、関連する貿易政策の枠組みについて解説します。後半の講義（9～15回）では、金融政策や為替の仕組み、国際通貨制度といった枠組みについて解説します。

この授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当授業が授業を実施します。各回の作成者は授業計画の内容に記載の通りです。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

この科目の到達目標は以下の3点です。

- ① グローバリゼーションを経済的側面から理解する
- ② 企業や個人、日本を取り巻く世界経済の実態と、関連する国際的な制度を理解する
- ③ 国際社会や世界経済の状況を分析するのに必要な知識とスキルを身につける

この科目の修得は、本学が定めるディプロマポリシー2の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

中間レポート① 25%

中間レポート② 25%

期末レポート 50%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

レポートの改善点等（よくある間違い、評価が高かったポイントなど）をGoogleClassroomで解説します。

■ 教科書

[ISBN]9784812214312 『国際日本経済論—グローバル化と日本の針路』（熊倉 正修, 昭和堂：2015）

-

■ 参考文献

[ISBN]9784641177192 『国際経済学をつかむ 第2版 (テキストブックス[つかむ])』（石川 城太, 有斐閣：2013）

[ISBN]4641165610 『入門・日本経済 第6版』（浅子 和美, 有斐閣：2020）

このほか、経済産業省の『通商白書』や内閣府の『世界経済の潮流』（旧経済企画庁『世界経済白書』）といった白書・報告書なども参考にしてください。

■ 関連科目

-

■ 授業評価アンケート実施方法

本学の規定に準拠して実施します。

■ 研究室・メールアドレス

18号館S340 メール：matsushita_sei@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

月曜2限

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 経済のグローバル化と日本（担当：丸山佐和子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の第1章および第2章を読み、「生産活動」「生産要素」「市場」について確認する

予習時間：30分

復習内容：講義の内容を復習し、経済のグローバル化とはどのようなものかを自分の言葉で説明する

復習時間：60分

- ・グローバル化とは
- ・第2回から第8回までの講義概要
- ・経済学の基礎知識

第2回 日本と世界の経済成長（担当：丸山佐和子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の第1章および第2章を読み、「SNA」「GDP」「三面等価」について確認する

予習時間：30分

復習内容：講義の内容を復習し、日本の経済成長率の推移を自分の言葉で説明する

復習時間：60分

- ・GDPとは
- ・GDPでみる世界の経済
- ・日本の経済成長と景気循環

第3回 企業の生産活動と海外展開（担当：丸山佐和子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の第2章および第5章を読み、「会社」「日本的経営」「産業構造」について確認する

予習時間：30分

復習内容：講義の内容を復習し、日本の産業構造の変化を自分の言葉で説明する

復習時間：60分

- ・企業とは
- ・企業活動と産業
- ・企業活動のグローバル化

第4回 日本の貿易構造と海外直接投資（担当：丸山佐和子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の第5章および第7章を読み、「貿易構造」「海外直接投資」「要素集約度」について確認する

予習時間：30分

復習内容：講義の内容を復習し、企業が海外で生産を行うことのメリットを考える

復習時間：60分

- ・日本の貿易構造の変化
- ・1980年代の日本企業の海外進出
- ・グローバル・バリューチェーンの形成

第5回 貿易政策と世界貿易体制（担当：丸山佐和子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の第9章、第17章および第18章を読み、「サービス貿易」「関税」「WTO」について確認する

予習時間：30分

復習内容：講義の内容を復習し、「最恵国待遇」と「内国民待遇」を自分の言葉で説明する

復習時間：60分

- ・貿易政策とは
- ・GATT/WTOの基本ルール
- ・WTOの機能

第6回 地域統合と貿易自由化（担当：丸山佐和子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の第18章を読み、「自由貿易協定」「TPP」「貿易自由化」について確認する

予習時間：30分

復習内容：講義の内容を復習し、日本がFTA/EPAを結ぶことのメリットとデメリットを説明する

復習時間：60分

- ・地域統合とは
- ・日本のFTA/EPA
- ・地域統合のメリット・デメリット

第7回 EUと欧州単一市場（担当：丸山佐和子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の第16章および第18章を読み、「民主主義」「関税同盟」「原産地規制」について確認する

予習時間：30分

復習内容：講義の内容を復習し、欧州単一市場の「4つの移動の自由」を自分の言葉で説明する

復習時間：60分

- ・EUの仕組み
- ・欧州単一市場の機能
- ・英国のEU離脱

第8回 企業活動から見えるグローバリゼーション（担当：丸山佐和子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：これまでの授業の各回の主なトピックを確認し、わからない点をピックアップする

予習時間：30分

復習内容：これまでの授業のレジュメ・ノートを確認し、主要なキーワードを自分の言葉で説明する

復習時間：60分

- ・戦後の世界経済の変化
- ・日本企業の活動のグローバル化
- ・グローバリゼーションの下での通商政策

第9回 通貨と決済システム（担当：星河武志）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の第3章を読み、「通貨」「決済システム」「中央銀行」について確認する

予習時間：30分

復習内容：講義の内容を復習し、決済システムと中央銀行の役割を自分の言葉で説明する

復習時間：60分

- ・第9回から第14回までの講義概要
- ・銀行と決済システム
- ・中央銀行の役割
- ・国際間の決済

第10回 国際収支とマクロ経済（担当：星河武志）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の第4章を読み、国際収支と「GDP」「ISバランス」「政府財政」の関係について確認する

予習時間：30分

復習内容：講義の内容を復習し、国際収支はマクロ経済とどのように関連があるかを自分の言葉で説明する

復習時間：60分

- ・GDPと経常収支
- ・ISバランスと経常収支
- ・政府財政と経常収支

第11回 外国為替市場（担当：星河武志）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の第11章および第13章を読み、「外国為替レート」「購買力平価」「実質為替レート」について確認する

予習時間：30分

復習内容：講義の内容を復習し、為替レートと購買力平価とはどのようなものかを自分の言葉で説明する

復習時間：60分

- ・外国為替レート
- ・購買力平価（1財のケース）
- ・購買力平価・実質為替レート

第12回 為替レートと金利（担当：星河武志）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の第11章および第12章を読み、「金利」「先物」「金利平価」について確認する

予習時間：30分

復習内容：講義の内容を復習し、金利平価とはどのようなものかを自分の言葉で説明する

復習時間：60分

- ・為替レートと先物取引
- ・金利平価
- ・債券価格

第13回 為替レートと金融政策（担当：星河武志）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の第14章を読み、「金融政策」「為替レート」「マネタリーモデル」について確認する

予習時間：30分

復習内容：講義の内容を復習し、マネタリーモデルとはどのようなものかを自分の言葉で説明する

復習時間：60分

- ・金融政策
- ・貨幣数量説
- ・為替レートのマネタリーモデル

第14回 通貨制度の選択と外国為替市場介入（担当：星河武志）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の第19章を読み、「通貨制度」「外国為替市場介入」「日本の通貨政策」について確認する

予習時間：30分

復習内容：講義の内容を復習し、通貨制度の仕組みとはどのようなものかを自分の言葉で説明する

復習時間：60分

- ・金本位制
- ・固定相場制
- ・通貨制度の選択

第15回 金融の側面から見えるグローバリゼーション（担当：星河武志）（授業形式：講義および演習）

予習内容：これまでの授業の各回の主なトピックを確認し、わからない点をピックアップする

予習時間：30分

復習内容：これまでの授業のノートを確認し、主要なキーワードを自分の言葉で説明する

復習時間：60分

- ・国際資本移動
- ・資本移動規制と租税回避
- ・金融のグローバル化

定期試験は実施しません

（中間・期末レポートには、それぞれ提出期限を設定します。詳細はGoogleClassroomで確認してください。）

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 :	国際社会と日本【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	International Society and Japan				
担当者 :	松下 聖				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :	理工学部応用化学科：学修・教育到達目標（B）に主体的に関与、 理工学部機械工学科：機械工学コース学習・教育目標：A-1, JABEE基準1.2：(a)(b)に関与、 理工学部電気電子通信工学科：学習・教育到達目標D2の達成に主体的に関与、 理工学部社会環境工学科：ディプロマ・ポリシーの(A)、(G)、(J)に主体的に関与、(K)に付随的に関与				

■ 授業概要

この講義の目標は、グローバル化の進展する世界経済の現状と諸課題について理解し、分析するための知識とスキルを身につけることです。この講義は大きく2つの部分に分かれます。前半の講義（2～8回）では、企業活動のグローバル化と、関連する貿易政策の枠組みについて解説します。後半の講義（9～15回）では、金融政策や為替の仕組み、国際通貨制度といった枠組みについて解説します。

この授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当授業が授業を実施します。各回の作成者は授業計画の内容に記載の通りです。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

- ① グローバリゼーションを経済的側面から理解する
- ② 企業や個人、日本を取り巻く世界経済の実態と、関連する国際的な制度を理解する
- ③ 国際社会や世界経済の状況を分析するのに必要な知識とスキルを身につける

■ 成績評価方法および基準

- 中間レポート① 25%
- 中間レポート② 25%
- 期末レポート 50%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

レポートの改善点等（よくある間違い、評価が高かったポイントなど）をGoogleClassroomで解説します。

■ 教科書

[ISBN]9784812214312 『国際日本経済論—グローバル化と日本の針路』（熊倉 正修, 昭和堂：2015）

-

■ 参考文献

- [ISBN]9784641177192 『国際経済学をつかむ 第2版 (テキストブックス[つかむ])』（石川 城太, 有斐閣：2013）
- [ISBN]4641165610 『入門・日本経済 第6版』（浅子 和美, 有斐閣：2020）

このほか、経済産業省の『通商白書』や内閣府の『世界経済の潮流』（旧経済企画庁『世界経済白書』）といった白書・報告書なども参考にしてください。

■ 関連科目

-

■授業評価アンケート実施方法

本学の規定に準拠して実施します。

■研究室・メールアドレス

18号館S340 メール：matsushita_sei@kindai.ac.jp

■オフィスアワー

月曜 2 限

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 経済のグローバリゼーションと日本（担当：丸山佐和子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の第1章および第2章を読み、「生産活動」「生産要素」「市場」について確認する

予習時間：30分

復習内容：講義の内容を復習し、経済のグローバリゼーションとはどのようなものかを自分の言葉で説明する

復習時間：60分

- ・グローバリゼーションとは
- ・第2回から第8回までの講義概要
- ・経済学の基礎知識

第2回 日本と世界の経済成長（担当：丸山佐和子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の第1章および第2章を読み、「SNA」「GDP」「三面等価」について確認する

予習時間：30分

復習内容：講義の内容を復習し、日本の経済成長率の推移を自分の言葉で説明する

復習時間：60分

- ・GDPとは
- ・GDPでみる世界の経済
- ・日本の経済成長と景気循環

第3回 企業の生産活動と海外展開（担当：丸山佐和子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の第2章および第5章を読み、「会社」「日本的経営」「産業構造」について確認する

予習時間：30分

復習内容：講義の内容を復習し、日本の産業構造の変化を自分の言葉で説明する

復習時間：60分

- ・企業とは
- ・企業活動と産業
- ・企業活動のグローバル化

第4回 日本の貿易構造と海外直接投資（担当：丸山佐和子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の第5章および第7章を読み、「貿易構造」「海外直接投資」「要素集約度」について確認する

予習時間：30分

復習内容：講義の内容を復習し、企業が海外で生産を行うことのメリットを考える

復習時間：60分

- ・日本の貿易構造の変化
- ・1980年代の日本企業の海外進出
- ・グローバル・バリューチェーンの形成

第5回 貿易政策と世界貿易体制（担当：丸山佐和子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の第9章、第17章および第18章を読み、「サービス貿易」「関税」「WTO」について確認する

予習時間：30分

復習内容：講義の内容を復習し、「最恵国待遇」と「内国民待遇」を自分の言葉で説明する

復習時間：60分

- ・貿易政策とは
- ・GATT/WTOの基本ルール
- ・WTOの機能

第6回 地域統合と貿易自由化（担当：丸山佐和子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の第18章を読み、「自由貿易協定」「TPP」「貿易自由化」について確認する

予習時間：30分

復習内容：講義の内容を復習し、日本がFTA/EPAを結ぶことのメリットとデメリットを説明する

復習時間：60分

- ・地域統合とは

- ・日本のFTA/EPA
- ・地域統合のメリット・デメリット

第7回 EUと欧州単一市場（担当：丸山佐和子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の第16章および第18章を読み、「民主主義」「関税同盟」「原産地規制」について確認する

予習時間：30分

復習内容：講義の内容を復習し、欧州単一市場の「4つの移動の自由」を自分の言葉で説明する

復習時間：60分

- ・EUの仕組み
- ・欧州単一市場の機能
- ・英国のEU離脱

第8回 企業活動から見えるグローバリゼーション（担当：丸山佐和子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：これまでの授業の各回の主なトピックを確認し、わからない点をピックアップする

予習時間：30分

復習内容：これまでの授業のレジュメ・ノートを確認し、主要なキーワードを自分の言葉で説明する

復習時間：60分

- ・戦後の世界経済の変化
- ・日本企業の活動のグローバル化
- ・グローバリゼーションの下での通商政策

第9回 通貨と決済システム（担当：星河武志）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の第3章を読み、「通貨」「決済システム」「中央銀行」について確認する

予習時間：30分

復習内容：講義の内容を復習し、決済システムと中央銀行の役割を自分の言葉で説明する

復習時間：60分

- ・第9回から第14回までの講義概要
- ・銀行と決済システム
- ・中央銀行の役割
- ・国際間の決済

第10回 国際収支とマクロ経済（担当：星河武志）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の第4章を読み、国際収支と「GDP」「ISバランス」「政府財政」の関係について確認する

予習時間：30分

復習内容：講義の内容を復習し、国際収支はマクロ経済とどのように関連があるかを自分の言葉で説明する

復習時間：60分

- ・GDPと経常収支
- ・ISバランスと経常収支
- ・政府財政と経常収支

第11回 外国為替市場（担当：星河武志）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の第11章および第13章を読み、「外国為替レート」「購買力平価」「実質為替レート」について確認する

予習時間：30分

復習内容：講義の内容を復習し、為替レートと購買力平価とはどのようなものかを自分の言葉で説明する

復習時間：60分

- ・外国為替レート
- ・購買力平価（1財のケース）
- ・購買力平価・実質為替レート

第12回 為替レートと金利（担当：星河武志）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の第11章および第12章を読み、「金利」「先物」「金利平価」について確認する

予習時間：30分

復習内容：講義の内容を復習し、金利平価とはどのようなものかを自分の言葉で説明する

復習時間：60分

- ・為替レートと先物取引
- ・金利平価
- ・債券価格

第13回 為替レートと金融政策（担当：星河武志）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の第14章を読み、「金融政策」「為替レート」「マネタリーモデル」について確認する

予習時間：30分

復習内容：講義の内容を復習し、マネタリーモデルとはどのようなものかを自分の言葉で説明する

復習時間：60分

- ・金融政策
- ・貨幣数量説
- ・為替レートのマネタリーモデル

第14回 通貨制度の選択と外国為替市場介入（担当：星河武志）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の第19章を読み、「通貨制度」「外国為替市場介入」「日本の通貨政策」について確認する

予習時間：30分

復習内容：講義の内容を復習し、通貨制度の仕組みとはどのようなものかを自分の言葉で説明する

復習時間：60分

- ・金本位制
- ・固定相場制
- ・通貨制度の選択

第15回 金融の側面から見えるグローバリゼーション（担当：星河武志）（授業形式：講義および演習）

予習内容：これまでの授業の各回の主なトピックを確認し、わからない点をピックアップする

予習時間：30分

復習内容：これまでの授業のノートを確認し、主要なキーワードを自分の言葉で説明する

復習時間：60分

- ・国際資本移動
- ・資本移動規制と租税回避
- ・金融のグローバル化

定期試験は実施しません

（中間・期末レポートには、それぞれ提出期限を設定します。詳細はGoogleClassroomで確認してください。）

■ **ホームページ**

■ **実践的な教育内容**

-

科目名 :	健康とスポーツの科学【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Health and Sports Sciences				
担当者 :	栗山 晶代				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	前期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :	理工学部応用化学科：学修・教育到達目標（B）に付随的に関与、 理工学部電気電子通信工学科：学習・教育到達目標D1の達成に付随的に関与、 理工学部社会環境工学科：ディプロマ・ポリシーの(A)に主体的に関与、(C)に付随的に関与				

■ 授業概要

本講義では、生涯にわたり健康的でより豊かな生活の実現に必要な知識や技能を生活の中で実現する方法について学ぶ。文明がいちだんと発達する中で、健康障害が指摘され、現代社会に関わりながら学生生活を送る皆さんにとって、本講義は年齢や専門に関わりなく、必須の教養科目であると考えている。本講義の目的は、現代社会において心身の調和を図り、健康・体力を保持増進するとともに、生活における健康と運動の意義、運動とからだや心の健康の関係、健康的な生活を送るための行動を科学的に理解し、生活に応用する能力を身につけることである。

この授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。各回の作成者は授業計画の内容に記載のとおりです。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

現代社会における様々な健康スポーツ事象をもとに、自己の身体的・精神的・社会的健康の獲得についてどのように関わっているのかを視点にさまざまな角度から学び理解する。さらにスポーツ活動は健康の増進・維持を図ることであり、生きがい感を得ることができ、身体運動を体験することで「身体」の再認識とスポーツを通じたコミュニケーションが健康スポーツ科学に課せられたもう一つの役割であることを学び理解する。

この科目の修得は、本学の定めるディプロマ・ポリシー1、ディプロマ・ポリシー4の達成に関与している。

■ 成績評価方法および基準

レポートと各回の受講および確認テストの回答 100%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

レポートを出した翌回の授業時間にGoogleクラスルームで解説する

■ 教科書

特になし

■ 参考文献

各回の資料に記載する

■ 関連科目

生涯スポーツ1、生涯スポーツ2

■ 授業評価アンケート実施方法

学部実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

担当教員（栗山 晶代）：kuriyama.a@p.bus.kindai.ac.jpまでメールで連絡してください。

■ オフィスアワー

質問は、メール連絡かクラスルームで受け付けます。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 現代生活と健康：健康とは何か（担当：西田先生）（授業形式：講義および演習）

予習内容：健康とはどのようなものかを自らの経験等を基にして考えるとともに、世界保健機関HP等を参照し、世界的な健康の定義について事前に調べノートにまとめる。

予習時間：60分

復習内容：座りすぎがもたらすリスクについて授業内容をふり返り、自分や家族の座位時間について確認し、どのように座りすぎを減らしていくかの考えをノートにまとめる。

復習時間：60分

平均寿命や健康寿命、疾病状況や死亡原因など健康という概念を理解する上で必須となる各種資料を確認し、健康を包括的に捉える。また、心身の健康を育むために望ましい行動を理解する。

- ・健康をどのように捉えるか
- ・健康被害をもたらす行動
- ・健康とスポーツとの相互関係

第2回 現代生活と疾病：感染症と慢性疾患（担当：佐川先生）（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で示される資料をもとに自身の1日のエネルギー消費量を調べる。

予習時間：60分

復習内容：授業資料を参考に、新型コロナウイルスの感染経路と感染対策についてあらためて考える。

復習時間：60分

わが国において1750年以前は結核などの感染症による死者が多かったが、現在では生活習慣病に代表される慢性疾患によるものが多くを占めている。このような現状に対応すべく国が策定している健康増進策について概観する。また感染症の原因となる病原体と感染経路、予防法について理解する。

- ・わが国の疾病構造と健康増進政策
- ・現代生活と慢性疾患
- ・感染症の種類とその予防

第3回 食と健康：健康的な食生活を営む（担当：佐川先生）（授業形式：講義および演習）

予習内容：1週間の食事内容を書き出す。

予習時間：60分

復習内容：食事バランスガイドを用いて自身の食事内容をチェックし、不十分な場合はその改善策を考える。

復習時間：60分

健康日本21（二次）と日本人の食事摂取基準をもとに日本人の食生活の特徴について理解し、食事バランスガイドを用いて自身の食事内容をチェックする。またストレスなどによって生じる摂食障害について学ぶ。また食事管理が徹底されるアスリート食を参考に自身の食事内容の改善点を探る。

- ・栄養素とその働き
- ・日本人の食事から自身の食事を見直す
- ・現代生活と摂食障害
- ・スポーツ栄養の実践

第4回 健康のための運動：メンタルヘルスの改善・向上（担当：西田先生）（授業形式：講義および演習）

予習内容：心の健康とはどのようなものか自らの経験等を基にして考えるとともに、心の健康が悪化したときの状態やその改善方法について事前に調べノートにまとめる。

予習時間：60分

復習内容：運動実践と心の健康との関係について授業内容をふり返り、習慣的な運動を実践するためには、どのような工夫が必要かについての考えをノートにまとめる。

復習時間：60分

メンタルヘルスの問題は人々の生活に多面的に悪影響を与えることおよび習慣的な運動実践はポジティブなメンタルヘルスに貢献することを理解し、積極的な健康行動を促進できるようになる。

- ・現代人のメンタルヘルスの実態について
- ・運動によるメンタルヘルス改善・向上
- ・アクティブなライフスタイルへの行動変容

第5回 現代生活と健康障害 一運動不足による健康被害一（担当：熊本先生）（授業形式：講義および演習）

予習内容：あなたの日頃の生活習慣（睡眠時間、朝食の有無、間食の有無、身体活動量など）について考える。

予習時間：60分

復習内容：あなたの現在および思い出せる限りの昔の身長と体重から、それぞれの体格指数BMIを計算し、その変遷について考察する。

復習時間：60分

現代社会で生活する私たちにどのような健康上の問題が起きているのか。およそ20歳前後の大学生が学んでおくべき、現代日本人において健康障害（もはや健康被害というべき状態）について学修する。

- ・生活習慣病とは
- ・メタボリックシンドローム
- ・ロコモ・サルコペニア・骨粗鬆症・フレイル

第6回 健康のための運動 一わが国の健康づくり施策一（担当：熊本先生）（授業形式：講義および演習）

予習内容：これまでの身体活動量と心身の健康との関係について考える。

予習時間：60分

復習内容：現在の一週間あたりの身体活動量を計算する。また、週あたりの目標（23メッツ・時）に足りない場合は、毎日の生活で無理なく何ができるのかを考える。

復習時間：60分

生活習慣病のリスクを回避し、健康的にこの生を全うしていくための、毎日・毎週の身体活動量について学修する。

- ・「健康づくりのための身体活動基準2013」
- ・毎日の身体活動量
- ・運動の身体活動量

第7回 体力づくりのための運動：筋の構造と機能、筋収縮のエネルギー代謝（担当：田邊先生）（授業形式：講義および演習）

予習内容：ヒトの体のどこに、どのような筋肉があるのかを調べる。

予習時間：60分

復習内容：有酸素運動と無酸素運動の違いについて復習するとともに、普段、自分が行っている運動が有酸素運動なのか、それとも無酸素運動なのかを考える。

復習時間：60分

骨格筋の構造や筋収縮のメカニズムを学ぶとともに、筋の収縮に必要なエネルギー代謝について学習する。また、加齢にともなう筋力の変化や、高齢者におけるレジスタンストレーニングとサプリメント摂取による筋量の変化について理解する。

- ・筋の構造と機能
- ・筋収縮のエネルギー代謝
- ・加齢と筋力

第8回 体力づくりのための運動：体力とは何か（担当：橋本先生）（授業形式：講義および演習）

予習内容：これまで自分の行ってきた体カトレーニングについて振り返り、何のためにどのように行ってきたかを整理する。

予習時間：60分

復習内容：今後、どのような体カトレーニングを行いたいかを考え、実際にトレーニングメニューを作成する。

復習時間：60分

「体カ」のとりえ方を理解し、「体カトレーニング」を計画し、実際に行う上で必要な知識、方法について理解を深める。

- ・体力とは
- ・体カトレーニングの原理・原則
- ・体カトレーニングのあり方

第9回 スポーツのためのトレーニング：レジスタンストレーニング（担当：岡田先生）（授業形式：講義および演習）

予習内容：ウエイトトレーニングをフォームの重要性について調べる。

予習時間：60分

復習内容：動画を視聴し、自身のトレーニングフォームを確認する。

復習時間：60分

レジスタンストレーニング（主にフリーウエイト）に安全で効果的な方法を学ぶと共に、より専門的な知識やテクニックの実技を通して習得する。特にビッグ3（ハンγκクリーン・スクワット・デットリフト）を中心に、より実戦的な筋力・筋肥大・筋パワーの向上を目指し、競技力向上に役立てるトレーニング法について学ぶ。

- ・ハンγκクリーン
- ・スクワット

- ・デットリフト

第10回 スポーツのためのトレーニング：エンデュランストレーニング（担当：田中ひかる先生）（授業形式：講義および演習）

予習内容：全身持久性体力、最大酸素摂取量を予測する方法、健康のための持久性トレーニングの効果およびエンデュランストレーニングについて予習する。

予習時間：60分

復習内容：全身持久性体力を把握した上で、有酸素運動について理解し、健康・スポーツにおける持久性トレーニングの効果を復習する。

復習時間：60分

エンデュランス（持久性）トレーニングは、持久性運動能力が特に必要とされるスポーツはもちろん、すべてのスポーツに必要な不可欠である。本講義は、全身持久性体力を把握した上で、有酸素運動について理解する。そして、健康・スポーツにおける持久性トレーニングの効果を理解し、個人にあった持久性トレーニングを考え、実践できるようにする。

- ・全身持久性体力とは
- ・有酸素運動について
- ・エンデュランストレーニング

第11回 スポーツのためのトレーニング：メンタルトレーニング（担当：田中ゆふ先生）（授業形式：講義および演習）

予習内容：スポーツにおいて必要なメンタルとは何かについて調べる。特に、動機づけ、目標設定の効果、リラクゼーション、集中力、ポジティブシンキングについて調べる

予習時間：60分

復習内容：授業内容について要点をノートにまとめ整理すること。心理的競技能力、動機づけ、目標設定の効果、逆U字理論、自律神経系の機能、リラクゼーション、集中力、ポジティブシンキングについて詳細に説明できるようにすること。さらには、実際のスポーツや日常生活で実践してみて感想を書きとめる。また、授業で紹介した内容以外の効果的な手法についても検討する。

復習時間：60分

スポーツで良いパフォーマンス発揮をするために重要となる心理面について、その重要性和種々のトレーニング方法や理論について説明をする。特に、「やる気」の高め方、リラクゼーション、ポジティブシンキング、集中力について理解し、競技だけでなく日常生活でも実践できるようになることを目標とした講義を展開する。

- ・スポーツメンタルトレーニングとは？
- ・目標設定と動機付け
- ・様々なメンタルトレーニングの技法

第12回 スポーツ傷害と応急処置（担当：田中ひかる先生）（授業形式：講義および演習）

予習内容：スポーツ傷害および、熱中症の予防と対策や、BLSの重要性について調べる。

予習時間：60分

復習内容：スポーツ傷害の予防と対応策を考える。運動時に多い熱中症の予防と対策について理解し、さらには、一次救命（BLS）の重要性とアルゴリズムについて理解し、実践できるようにする。

復習時間：60分

スポーツ傷害はスポーツ外傷と、スポーツ障害の総称であり、その予防と対応策を考える。運動時に多い熱中症の予防と対策について理解し、さらには、一次救命（BLS）の重要性とアルゴリズムについて理解し、実践できるようにすることを目的とする。

- ・スポーツ傷害とその対策
- ・熱中症とその対策
- ・一次救命処置（BLS）-CPRとAED-

第13回 スポーツと社会（担当：光山先生）（授業形式：講義および演習）

予習内容：日本において、国がどのように競技力向上を目指しているかを調べる。

予習時間：60分

復習内容：オリンピック、パラリンピック開催がもたらすメリット・デメリットを考える。

復習時間：60分

国は、スポーツ政策や、大規模なスポーツ大会を通じて、人々が、誰とでも気軽にスポーツに親しみ、スポーツを楽しむことのできる社会や環境の充実に掲げている。

- ・生涯スポーツ
- ・オリンピック・パラリンピック
- ・スポーツ庁・ナショナルトレーニングセンター

第14回 スポーツとビジネス（担当：大島先生）（授業形式：講義および演習）

予習内容：12球団の財務状況の動向を調べる。

予習時間：60分

復習内容：日本ハムのビジネスについて参考文献から理解する。

復習時間：60分

スポーツによって生まれる価値を商品やサービスにして販売し、収益を生み出す活動＝スポーツビジネスを学習する。スポーツが地域貢献や持続可能な開発目標（SDGs）も踏まえながら社会に貢献していることを理解する。

- ・プロ野球のビジネスモデル
- ・ファンサービスとスポーツコミュニティの改善・向上
- ・スポーツビジネスと経営理念の変容

第15回 スポーツの倫理（担当：光山先生）（授業形式：講義および演習）

予習内容：身近なスポーツにおいて、どのような競技スポーツ、レクリエーションスポーツがあるか調べる。

予習時間：60分

復習内容：日々の生活で、どのようにリーダーシップが取れるかを考える。

復習時間：60分

学校の正課授業である「体育」と課外授業としての「部活動」、そして、「スポーツ」のそれぞれの目的や定義の違いを考え、コーチング現場において時代に合った指導者が取るべきリーダーシップを考える。

- ・学校体育（課外活動）とスポーツ
- ・競技スポーツとレクリエーションスポーツ
- ・現場での指導者がとるべき時代に合ったリーダーシップ

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 :	健康とスポーツの科学【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Health and Sports Sciences				
担当者 :	柄木田 健太				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :	理工学部応用化学科：学修・教育到達目標（B）に付随的に関与、 理工学部電気電子通信工学科：学習・教育到達目標D1の達成に付随的に関与、 理工学部社会環境工学科：ディプロマ・ポリシーの(A)に主体的に関与、(C)に付随的に関与				

■ 授業概要

本講義では、生涯にわたり健康的でより豊かな生活の実現に必要な知識や技能を生活の中で実現する方法について学ぶ。文明がいちだんと発達する中で、健康障害が指摘され、現代社会に関わりながら学生生活を送る皆さんにとって、本講義は年齢や専門に関わりなく、必須の教養科目であると考えている。本講義の目的は、現代社会において心身の調和を図り、健康・体力を保持増進するとともに、生活における健康と運動の意義、運動とからだや心の健康の関係、健康的な生活を送るための行動を科学的に理解し、生活に応用する能力を身につけることである。

この授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。各回の作成者は授業計画の内容に記載のとおりです。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

現代社会における様々な健康スポーツ事象をもとに、自己の身体的・精神的・社会的健康の獲得についてどのように関わっているのかを視点にさまざまな角度から学び理解する。さらにスポーツ活動は健康の増進・維持を図ることであり、生きがい感を得ることができ、身体運動を体験することで「身体」の再認識とスポーツを通じたコミュニケーションが健康スポーツ科学に課せられたもう一つの役割であることを学び理解する。

この科目の修得は、本学の定めるディプロマ・ポリシー1、ディプロマ・ポリシー4の達成に関与している。

■ 成績評価方法および基準

レポートと各回の受講および確認テストの回答 100%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

Google classroomまたはUNIPAを使用

■ 教科書

特になし

■ 参考文献

各回の資料に記載する

■ 関連科目

生涯スポーツ1、生涯スポーツ2

■ 授業評価アンケート実施方法

学部実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

■ オフィスアワー

質問等は随時対応します

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 現代生活と健康：健康とは何か（担当：西田先生）（授業形式：講義および演習）

予習内容：健康とはどのようなものかを自らの経験等を基にして考えるとともに、世界保健機関HP等を参照し、世界的な健康の定義について事前に調べノートにまとめる。

予習時間：60分

復習内容：座りすぎがもたらすリスクについて授業内容をふり返し、自分や家族の座位時間について確認し、どのように座りすぎを減らしていくかの考えをノートにまとめる。

復習時間：60分

平均寿命や健康寿命、疾病状況や死亡原因など健康という概念を理解する上で必須となる各種資料を確認し、健康を包括的に捉える。また、心身の健康を育むために望ましい行動を理解する。

- ・健康をどのように捉えるか
- ・健康被害をもたらす行動
- ・健康とスポーツとの相互関係

第2回 現代生活と疾病：感染症と慢性疾患（担当：佐川先生）（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で示される資料をもとに自身の1日のエネルギー消費量を調べる。

予習時間：60分

復習内容：授業資料を参考に、新型コロナウイルスの感染経路と感染対策についてあらためて考える。

復習時間：60分

わが国において1750年以前は結核などの感染症による死者が多かったが、現在では生活習慣病に代表される慢性疾患によるものが多くを占めている。このような現状に対応すべく国が策定している健康増進策について概観する。また感染症の原因となる病原体と感染経路、予防法について理解する。

- ・わが国の疾病構造と健康増進政策
- ・現代生活と慢性疾患
- ・感染症の種類とその予防

第3回 食と健康：健康的な食生活を営む（担当：佐川先生）（授業形式：講義および演習）

予習内容：1週間の食事内容を書き出す。

予習時間：60分

復習内容：食事バランスガイドを用いて自身の食事内容をチェックし、不十分な場合はその改善策を考える。

復習時間：60分

健康日本21（二次）と日本人の食事摂取基準をもとに日本人の食生活の特徴について理解し、食事バランスガイドを用いて自身の食事内容をチェックする。またストレスなどによって生じる摂食障害について学ぶ。また食事管理が徹底されるアスリート食を参考に自身の食事内容の改善点を探る。

- ・栄養素とその働き
- ・日本人の食事から自身の食事を見直す
- ・現代生活と摂食障害
- ・スポーツ栄養の実践

第4回 健康のための運動：メンタルヘルスの改善・向上（担当：西田先生）（授業形式：講義および演習）

予習内容：心の健康とはどのようなものか自らの経験等を基にして考えるとともに、心の健康が悪化したときの状態やその改善方法について事前に調べノートにまとめる。

予習時間：60分

復習内容：運動実践と心の健康との関係について授業内容をふり返し、習慣的な運動を実践するためには、どのような工夫が必要かについての考えをノートにまとめる。

復習時間：60分

メンタルヘルスの問題は人々の生活に多面的に悪影響を与えることおよび習慣的な運動実践はポジティブなメンタルヘルスに貢献することを理解し、積極的な健康行動を促進できるようになる。

- ・現代人のメンタルヘルスの実態について
- ・運動によるメンタルヘルス改善・向上
- ・アクティブなライフスタイルへの行動変容

第5回 現代生活と健康障害 一運動不足による健康被害一（担当：熊本先生）（授業形式：講義および演習）

予習内容：あなたの日頃の生活習慣（睡眠時間、朝食の有無、間食の有無、身体活動量など）について考える。

予習時間：60分

復習内容：あなたの現在および思い出せる限りの昔の身長と体重から、それぞれの体格指数BMIを計算し、その変遷について考察する。

復習時間：60分

現代社会で生活する私たちにどのような健康上の問題が起きているのか。およそ20歳前後の大学生が学んでおくべき、現代日本人において健康障害（もはや健康被害というべき状態）について学修する。

- ・生活習慣病とは
- ・メタボリックシンドローム
- ・ロコモ・サルコペニア・骨粗鬆症・フレイル

第6回 健康のための運動 一わが国の健康づくり施策一（担当：熊本先生）（授業形式：講義および演習）

予習内容：これまでの身体活動量と心身の健康との関係について考える。

予習時間：60分

復習内容：現在の一週間あたりの身体活動量を計算する。また、週あたりの目標（23メッツ・時）に足りない場合は、毎日の生活で無理なく何ができるのかを考える。

復習時間：60分

生活習慣病のリスクを回避し、健康的にこの生を全うしていくための、毎日・毎週の身体活動量について学修する。

- ・「健康づくりのための身体活動基準2013」
- ・毎日の身体活動量
- ・運動の身体活動量

第7回 体力づくりのための運動：筋の構造と機能、筋収縮のエネルギー代謝（担当：田邊先生）（授業形式：講義および演習）

予習内容：ヒトの体のどこに、どのような筋肉があるのかを調べる。

予習時間：60分

復習内容：有酸素運動と無酸素運動の違いについて復習するとともに、普段、自分が行っている運動が有酸素運動なのか、それとも無酸素運動なのかを考える。

復習時間：60分

骨格筋の構造や筋収縮のメカニズムを学ぶとともに、筋の収縮に必要なエネルギー代謝について学習する。また、加齢にともなう筋力の変化や、高齢者におけるレジスタンストレーニングとサプリメント摂取による筋量の変化について理解する。

- ・筋の構造と機能
- ・筋収縮のエネルギー代謝
- ・加齢と筋力

第8回 体力づくりのための運動：体力とは何か（担当：橋本先生）（授業形式：講義および演習）

予習内容：これまで自分の行ってきた体カトレーニングについて振り返り、何のためにどのように行ってきたかを整理する。

予習時間：60分

復習内容：今後、どのような体カトレーニングを行いたいかを考え、実際にトレーニングメニューを作成する。

復習時間：60分

「体カ」のとりえ方を理解し、「体カトレーニング」を計画し、実際に行う上で必要な知識、方法について理解を深める。

- ・体力とは
- ・体カトレーニングの原理・原則
- ・体カトレーニングのあり方

第9回 スポーツのためのトレーニング：レジスタンストレーニング（担当：岡田先生）（授業形式：講義および演習）

予習内容：ウエイトトレーニングをフォームの重要性について調べる。

予習時間：60分

復習内容：動画を視聴し、自身のトレーニングフォームを確認する。

復習時間：60分

レジスタンストレーニング（主にフリーウエイト）に安全で効果的な方法を学ぶと共に、より専門的な知識やテクニックの実技を通して習得する。特にビッグ3（ハンγκクリーン・スクワット・デットリフト）を中心に、より実戦的な筋力・筋肥大・筋パワーの向上を目指し、競技力向上に役立つトレーニング法について学ぶ。

- ・ハンγκクリーン
- ・スクワット

- ・デットリフト

第10回 スポーツのためのトレーニング：エンデュランストレーニング（担当：田中ひかる先生）（授業形式：講義および演習）

予習内容：全身持久性体力、最大酸素摂取量を予測する方法、健康のための持久性トレーニングの効果およびエンデュランストレーニングについて予習する。

予習時間：60分

復習内容：全身持久性体力を把握した上で、有酸素運動について理解し、健康・スポーツにおける持久性トレーニングの効果を復習する。

復習時間：60分

エンデュランス（持久性）トレーニングは、持久性運動能力が特に必要とされるスポーツはもちろん、すべてのスポーツに必要な不可欠である。本講義は、全身持久性体力を把握した上で、有酸素運動について理解する。そして、健康・スポーツにおける持久性トレーニングの効果を理解し、個人にあった持久性トレーニングを考え、実践できるようにする。

- ・全身持久性体力とは
- ・有酸素運動について
- ・エンデュランストレーニング

第11回 スポーツのためのトレーニング：メンタルトレーニング（担当：田中ゆふ先生）（授業形式：講義および演習）

予習内容：スポーツにおいて必要なメンタルとは何かについて調べる。特に、動機づけ、目標設定の効果、リラクゼーション、集中力、ポジティブシンキングについて調べる

予習時間：60分

復習内容：授業内容について要点をノートにまとめ整理すること。心理的競技能力、動機づけ、目標設定の効果、逆U字理論、自律神経系の機能、リラクゼーション、集中力、ポジティブシンキングについて詳細に説明できるようにすること。さらには、実際のスポーツや日常生活で実践してみて感想を書きとめる。また、授業で紹介した内容以外の効果的な手法についても検討する。

復習時間：60分

スポーツで良いパフォーマンス発揮をするために重要となる心理面について、その重要性和種々のトレーニング方法や理論について説明をする。特に、「やる気」の高め方、リラクゼーション、ポジティブシンキング、集中力について理解し、競技だけでなく日常生活でも実践できるようになることを目標とした講義を展開する。

- ・スポーツメンタルトレーニングとは？
- ・目標設定と動機付け
- ・様々なメンタルトレーニングの技法

第12回 スポーツ傷害と応急処置（担当：田中ひかる先生）（授業形式：講義および演習）

予習内容：スポーツ傷害および、熱中症の予防と対策や、BLSの重要性について調べる。

予習時間：60分

復習内容：スポーツ傷害の予防と対応策を考える。運動時に多い熱中症の予防と対策について理解し、さらには、一次救命（BLS）の重要性とアルゴリズムについて理解し、実践できるようにする。

復習時間：60分

スポーツ傷害はスポーツ外傷と、スポーツ障害の総称であり、その予防と対応策を考える。運動時に多い熱中症の予防と対策について理解し、さらには、一次救命（BLS）の重要性とアルゴリズムについて理解し、実践できるようにすることを目的とする。

- ・スポーツ傷害とその対策
- ・熱中症とその対策
- ・一次救命処置（BLS）-CPRとAED-

第13回 スポーツと社会（担当：光山先生）（授業形式：講義および演習）

予習内容：日本において、国がどのように競技力向上を目指しているかを調べる。

予習時間：60分

復習内容：オリンピック、パラリンピック開催がもたらすメリット・デメリットを考える。

復習時間：60分

国は、スポーツ政策や、大規模なスポーツ大会を通じて、人々が、誰とでも気軽にスポーツに親しみ、スポーツを楽しむことのできる社会や環境の充実に掲げている。

- ・生涯スポーツ
- ・オリンピック・パラリンピック
- ・スポーツ庁・ナショナルトレーニングセンター

第14回 スポーツとビジネス（担当：大島先生）（授業形式：講義および演習）

予習内容：12球団の財務状況の動向を調べる。

予習時間：60分

復習内容：日本ハムのビジネスについて参考文献から理解する。

復習時間：60分

スポーツによって生まれる価値を商品やサービスにして販売し、収益を生み出す活動＝スポーツビジネスを学習する。スポーツが地域貢献や持続可能な開発目標（SDGs）も踏まえながら社会に貢献していることを理解する。

- ・プロ野球のビジネスモデル
- ・ファンサービスとスポーツコミュニティの改善・向上
- ・スポーツビジネスと経営理念の変容

第15回 スポーツの倫理（担当：光山先生）（授業形式：講義および演習）

予習内容：身近なスポーツにおいて、どのような競技スポーツ、レクリエーションスポーツがあるか調べる。

予習時間：60分

復習内容：日々の生活で、どのようにリーダーシップが取れるかを考える。

復習時間：60分

学校の正課授業である「体育」と課外授業としての「部活動」、そして、「スポーツ」のそれぞれの目的や定義の違いを考え、コーチング現場において時代に合った指導者が取るべきリーダーシップを考える。

- ・学校体育（課外活動）とスポーツ
- ・競技スポーツとレクリエーションスポーツ
- ・現場での指導者がとるべき時代に合ったリーダーシップ

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 :	健康とスポーツの科学【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Health and Sports Sciences				
担当者 :	栗山 晶代				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :	理工学部応用化学科：学修・教育到達目標（B）に付随的に関与、 理工学部電気電子通信工学科：学習・教育到達目標D1の達成に付随的に関与、 理工学部社会環境工学科：ディプロマ・ポリシーの(A)に主体的に関与、(C)に付随的に関与				

■ 授業概要

本講義では、生涯にわたり健康的でより豊かな生活の実現に必要な知識や技能を生活の中で実現する方法について学ぶ。文明がいちだんと発達する中で、健康障害が指摘され、現代社会に関わりながら学生生活を送る皆さんにとって、本講義は年齢や専門に関わりなく、必須の教養科目であると考えている。本講義の目的は、現代社会において心身の調和を図り、健康・体力を保持増進するとともに、生活における健康と運動の意義、運動とからだや心の健康の関係、健康的な生活を送るための行動を科学的に理解し、生活に応用する能力を身につけることである。

この授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。各回の作成者は授業計画の内容に記載のとおりです。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

現代社会における様々な健康スポーツ事象をもとに、自己の身体的・精神的・社会的健康の獲得についてどのように関わっているのかを視点にさまざまな角度から学び理解する。さらにスポーツ活動は健康の増進・維持を図ることであり、生きがい感を得ることができ、身体運動を体験することで「身体」の再認識とスポーツを通じたコミュニケーションが健康スポーツ科学に課せられたもう一つの役割であることを学び理解する。

この科目の修得は、本学の定めるディプロマ・ポリシー1、ディプロマ・ポリシー4の達成に関与している。

■ 成績評価方法および基準

レポートと各回の受講および確認テストの回答 100%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

レポートを出した翌回の授業時間にGoogleクラスルームで解説する

■ 教科書

特になし

■ 参考文献

各回の資料に記載する

■ 関連科目

生涯スポーツ1、生涯スポーツ2

■ 授業評価アンケート実施方法

学部実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

担当教員（栗山 晶代）：kuriyama.a@p.bus.kindai.ac.jpまでメールで連絡してください。

■ オフィスアワー

質問は、メール連絡かクラスルームで受け付けます。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 現代生活と健康：健康とは何か（担当：西田先生）（授業形式：講義および演習）

予習内容：健康とはどのようなものかを自らの経験等を基にして考えるとともに、世界保健機関HP等を参照し、世界的な健康の定義について事前に調べノートにまとめる。

予習時間：60分

復習内容：座りすぎがもたらすリスクについて授業内容をふり返し、自分や家族の座位時間について確認し、どのように座りすぎを減らしていくかの考えをノートにまとめる。

復習時間：60分

平均寿命や健康寿命、疾病状況や死亡原因など健康という概念を理解する上で必須となる各種資料を確認し、健康を包括的に捉える。また、心身の健康を育むために望ましい行動を理解する。

- ・健康をどのように捉えるか
- ・健康被害をもたらす行動
- ・健康とスポーツとの相互関係

第2回 現代生活と疾病：感染症と慢性疾患（担当：佐川先生）（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で示される資料をもとに自身の1日のエネルギー消費量を調べる。

予習時間：60分

復習内容：授業資料を参考に、新型コロナウイルスの感染経路と感染対策についてあらためて考える。

復習時間：60分

わが国において1750年以前は結核などの感染症による死者が多かったが、現在では生活習慣病に代表される慢性疾患によるものが多くを占めている。このような現状に対応すべく国が策定している健康増進策について概観する。また感染症の原因となる病原体と感染経路、予防法について理解する。

- ・わが国の疾病構造と健康増進政策
- ・現代生活と慢性疾患
- ・感染症の種類とその予防

第3回 食と健康：健康的な食生活を営む（担当：佐川先生）（授業形式：講義および演習）

予習内容：1週間の食事内容を書き出す。

予習時間：60分

復習内容：食事バランスガイドを用いて自身の食事内容をチェックし、不十分な場合はその改善策を考える。

復習時間：60分

健康日本21（二次）と日本人の食事摂取基準をもとに日本人の食生活の特徴について理解し、食事バランスガイドを用いて自身の食事内容をチェックする。またストレスなどによって生じる摂食障害について学ぶ。また食事管理が徹底されるアスリート食を参考に自身の食事内容の改善点を探る。

- ・栄養素とその働き
- ・日本人の食事から自身の食事を見直す
- ・現代生活と摂食障害
- ・スポーツ栄養の実際

第4回 健康のための運動：メンタルヘルスの改善・向上（担当：西田先生）（授業形式：講義および演習）

予習内容：心の健康とはどのようなものか自らの経験等を基にして考えるとともに、心の健康が悪化したときの状態やその改善方法について事前に調べノートにまとめる。

予習時間：60分

復習内容：運動実践と心の健康との関係について授業内容をふり返し、習慣的な運動を実践するためには、どのような工夫が必要かについての考えをノートにまとめる。

復習時間：60分

メンタルヘルスの問題は人々の生活に多面的に悪影響を与えることおよび習慣的な運動実践はポジティブなメンタルヘルスに貢献することを理解し、積極的な健康行動を促進できるようになる。

- ・現代人のメンタルヘルスの実態について
- ・運動によるメンタルヘルス改善・向上
- ・アクティブなライフスタイルへの行動変容

第5回 現代生活と健康障害 一運動不足による健康被害一（担当：熊本先生）（授業形式：講義および演習）

予習内容：あなたの日頃の生活習慣（睡眠時間、朝食の有無、間食の有無、身体活動量など）について考える。

予習時間：60分

復習内容：あなたの現在および思い出せる限りの昔の身長と体重から、それぞれの体格指数BMIを計算し、その変遷について考察する。

復習時間：60分

現代社会で生活する私たちにどのような健康上の問題が起きているのか。およそ20歳前後の大学生が学んでおくべき、現代日本人において健康障害（もはや健康被害というべき状態）について学修する。

- ・生活習慣病とは
- ・メタボリックシンドローム
- ・ロコモ・サルコペニア・骨粗鬆症・フレイル

第6回 健康のための運動 一わが国の健康づくり施策一（担当：熊本先生）（授業形式：講義および演習）

予習内容：これまでの身体活動量と心身の健康との関係について考える。

予習時間：60分

復習内容：現在の一週間あたりの身体活動量を計算する。また、週あたりの目標（23メッツ・時）に足りない場合は、毎日の生活で無理なく何ができるのかを考える。

復習時間：60分

生活習慣病のリスクを回避し、健康的にこの生を全うしていくための、毎日・毎週の身体活動量について学修する。

- ・「健康づくりのための身体活動基準2013」
- ・毎日の身体活動量
- ・運動の身体活動量

第7回 体力づくりのための運動：筋の構造と機能、筋収縮のエネルギー代謝（担当：田邊先生）（授業形式：講義および演習）

予習内容：ヒトの体のどこに、どのような筋肉があるのかを調べる。

予習時間：60分

復習内容：有酸素運動と無酸素運動の違いについて復習するとともに、普段、自分が行っている運動が有酸素運動なのか、それとも無酸素運動なのかを考える。

復習時間：60分

骨格筋の構造や筋収縮のメカニズムを学ぶとともに、筋の収縮に必要なエネルギー代謝について学習する。また、加齢にともなう筋力の変化や、高齢者におけるレジスタンストレーニングとサプリメント摂取による筋量の変化について理解する。

- ・筋の構造と機能
- ・筋収縮のエネルギー代謝
- ・加齢と筋力

第8回 体力づくりのための運動：体力とは何か（担当：橋本先生）（授業形式：講義および演習）

予習内容：これまで自分の行ってきた体カトレーニングについて振り返り、何のためにどのように行ってきたかを整理する。

予習時間：60分

復習内容：今後、どのような体カトレーニングを行いたいかを考え、実際にトレーニングメニューを作成する。

復習時間：60分

「体カ」のとらえ方を理解し、「体カトレーニング」を計画し、実際に行う上で必要な知識、方法について理解を深める。

- ・体力とは
- ・体カトレーニングの原理・原則
- ・体カトレーニングのあり方

第9回 スポーツのためのトレーニング：レジスタンストレーニング（担当：岡田先生）（授業形式：講義および演習）

予習内容：ウエイトトレーニングをフォームの重要性について調べる。

予習時間：60分

復習内容：動画を視聴し、自身のトレーニングフォームを確認する。

復習時間：60分

レジスタンストレーニング（主にフリーウエイト）に安全で効果的な方法を学ぶと共に、より専門的な知識やテクニックの実技を通して習得する。特にビック3（ハンγκクリーン・スクワット・デットリフト）を中心に、より実戦的な筋力・筋肥大・筋パワーの向上を目指し、競技力向上に役立てるトレーニング法について学ぶ。

- ・ハンγκクリーン
- ・スクワット

- ・デットリフト

第10回 スポーツのためのトレーニング：エンデュランストレーニング（担当：田中ひかる先生）（授業形式：講義および演習）

予習内容：全身持久性体力、最大酸素摂取量を予測する方法、健康のための持久性トレーニングの効果およびエンデュランストレーニングについて予習する。

予習時間：60分

復習内容：全身持久性体力を把握した上で、有酸素運動について理解し、健康・スポーツにおける持久性トレーニングの効果を復習する。

復習時間：60分

エンデュランス（持久性）トレーニングは、持久性運動能力が特に必要とされるスポーツはもちろん、すべてのスポーツに必要な不可欠である。本講義は、全身持久性体力を把握した上で、有酸素運動について理解する。そして、健康・スポーツにおける持久性トレーニングの効果を理解し、個人にあった持久性トレーニングを考え、実践できるようにする。

- ・全身持久性体力とは
- ・有酸素運動について
- ・エンデュランストレーニング

第11回 スポーツのためのトレーニング：メンタルトレーニング（担当：田中ゆふ先生）（授業形式：講義および演習）

予習内容：スポーツにおいて必要なメンタルとは何かについて調べる。特に、動機づけ、目標設定の効果、リラクゼーション、集中力、ポジティブシンキングについて調べる

予習時間：60分

復習内容：授業内容について要点をノートにまとめ整理すること。心理的競技能力、動機づけ、目標設定の効果、逆U字理論、自律神経系の機能、リラクゼーション、集中力、ポジティブシンキングについて詳細に説明できるようにすること。さらには、実際のスポーツや日常生活で実践してみて感想を書きとめる。また、授業で紹介した内容以外の効果的な手法についても検討する。

復習時間：60分

スポーツで良いパフォーマンスを発揮するために重要となる心理面について、その重要性和種々のトレーニング方法や理論について説明をする。特に、「やる気」の高め方、リラクゼーション、ポジティブシンキング、集中力について理解し、競技だけでなく日常生活でも実践できるようになることを目標とした講義を展開する。

- ・スポーツメンタルトレーニングとは？
- ・目標設定と動機付け
- ・様々なメンタルトレーニングの技法

第12回 スポーツ傷害と応急処置（担当：田中ひかる先生）（授業形式：講義および演習）

予習内容：スポーツ傷害および、熱中症の予防と対策や、BLSの重要性について調べる。

予習時間：60分

復習内容：スポーツ傷害の予防と対応策を考える。運動時に多い熱中症の予防と対策について理解し、さらには、一次救命（BLS）の重要性とアルゴリズムについて理解し、実践できるようにする。

復習時間：60分

スポーツ傷害はスポーツ外傷と、スポーツ障害の総称であり、その予防と対応策を考える。運動時に多い熱中症の予防と対策について理解し、さらには、一次救命（BLS）の重要性とアルゴリズムについて理解し、実践できるようにすることを目的とする。

- ・スポーツ傷害とその対策
- ・熱中症とその対策
- ・一次救命処置（BLS）-CPRとAED-

第13回 スポーツと社会（担当：光山先生）（授業形式：講義および演習）

予習内容：日本において、国がどのように競技力向上を目指しているかを調べる。

予習時間：60分

復習内容：オリンピック、パラリンピック開催がもたらすメリット・デメリットを考える。

復習時間：60分

国は、スポーツ政策や、大規模なスポーツ大会を通じて、人々が、誰とでも気軽にスポーツに親しみ、スポーツを楽しむことのできる社会や環境の充実に掲げている。

- ・生涯スポーツ
- ・オリンピック・パラリンピック
- ・スポーツ庁・ナショナルトレーニングセンター

第14回 スポーツとビジネス（担当：大島先生）（授業形式：講義および演習）

予習内容：12球団の財務状況の動向を調べる。

予習時間：60分

復習内容：日本ハムのビジネスについて参考文献から理解する。

復習時間：60分

スポーツによって生まれる価値を商品やサービスにして販売し、収益を生み出す活動＝スポーツビジネスを学習する。スポーツが地域貢献や持続可能な開発目標（SDGs）も踏まえながら社会に貢献していることを理解する。

- ・プロ野球のビジネスモデル
- ・ファンサービスとスポーツコミュニティの改善・向上
- ・スポーツビジネスと経営理念の変容

第15回 スポーツの倫理（担当：光山先生）（授業形式：講義および演習）

予習内容：身近なスポーツにおいて、どのような競技スポーツ、レクリエーションスポーツがあるか調べる。

予習時間：60分

復習内容：日々の生活で、どのようにリーダーシップが取れるかを考える。

復習時間：60分

学校の正課授業である「体育」と課外授業としての「部活動」、そして、「スポーツ」のそれぞれの目的や定義の違いを考え、コーチング現場において時代に合った指導者が取るべきリーダーシップを考える。

- ・学校体育（課外活動）とスポーツ
- ・競技スポーツとレクリエーションスポーツ
- ・現場での指導者がとるべき時代に合ったリーダーシップ

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 :	心と体の健康【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Physical and Mental Health				
担当者 :	田邊 智				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

この講義はコンテンツ作成者（田邊智）が作成したコンテンツを用い、各担当教員が授業を実施します。

世界保健機関（WHO）は、健康を「肉体的、精神的、社会的に健全である状態であり、単に疾病がなく病弱ではないというだけではない」と定義しています。つまり、体だけではなく、心や我々の住む社会も同時に健全でなければ、本当の意味で健康であるとはいえません。本講義では「心の健康」とは何か、「体の健康」とは何かを学習するとともに、特に「心および体の健康」と、「運動」「食事」「休息」との関係を科学的データをもとに学ぶことで、健康的な生活を営むためにはどうすれば良いのかを考えます。

なお、この講義では、10回以上の出席を単位認定の条件としております。また、動画視聴時間が短すぎる場合や、複数のウィンドウまたは複数のデバイスを用いて同時視聴した場合は、出席とみなさないことがあります。その点を十分に理解し、受講してください。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講者はこの講義を履修することによって、

- 1) 心の健康とは何か、体の健康とは何かを説明することができる
- 2) 健康と運動との関係を説明することができる
- 3) これらの知識を生かして、健康的な生活を営む力をつけることができる

ようになります。なお、この科目の修得は、本学が定めるディプロマポリシー1の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

レポート 90%

ディスカッション 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

レポート課題の提出締切後に「レポート課題の要点と解説」をGoogleClassroomに掲載します。

■ 教科書

毎回、授業資料をGoogleClassroomを使って配信します。

■ 参考文献

[ISBN]9784810521269 『大学生の健康・スポーツ科学』（大学生の健康・スポーツ科学研究会、道和書院：2014）

[ISBN]9784810521320 『大学生のための「健康」論 健康・運動・スポーツの基礎知識』（岡田 英孝、道和書院：2016）

[ISBN]9784469269796 『実習で学ぶ 健康・運動・スポーツの科学』（大修館書店：2024）

[ISBN]9784469266832 『健康スポーツの科学』（大修館書店：2009）

[ISBN]9784130527040 『教養としての身体運動・健康科学』（東京大学出版会：2009）

[ISBN]9784065180952 『これからの健康とスポーツの科学 第5版（KSスポーツ医科学書）』（講談社：2020）

[ISBN]9784469268171 『大学生のスポーツと健康生活』（大修館書店：2017）

■ 関連科目

生涯スポーツ1、生涯スポーツ2

■ 授業評価アンケート実施方法

本学の規程に準拠して実施します。

■ 研究室・メールアドレス

18号館北館4階（18N408） 田邊研究室 satoru@bus.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

月曜日3限（13:15-14:45）

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 健康とは何か（授業形式：講義および演習）

予習内容：健康とは何かについて考える

予習時間：90分

復習内容：資料を見直して、現在の自分の健康状態を考える

復習時間：90分

健康の定義

ヘルスプロモーションとは

疾病予防と健康管理

第2回 運動の意味（授業形式：講義および演習）

予習内容：これまで自分が行ってきた運動とその動機を考える

予習時間：90分

復習内容：資料を見直して、自分自身の身体機能がどのように変化したかを考える

復習時間：90分

運動不足の健康に与える影響

運動の動機づけ

トレーニングの原理・原則

第3回 筋力と健康（授業形式：講義および演習）

予習内容：これまで自分が行ったことのある筋力トレーニングを考える

予習時間：90分

復習内容：資料を見直して、筋力の増強が身体にもたらす効果を復習するとともに、自分に合った筋力トレーニングを考える

復習時間：90分

骨格筋の構造と機能

加齢による筋力の変化

筋の収縮様式

第4回 有酸素運動と健康（授業形式：講義および演習）

予習内容：これまで自分が行ったことのある有酸素運動を考える

予習時間：90分

復習内容：資料を見直して、有酸素運動が身体にもたらす効果を復習するとともに、自分に合った有酸素運動を考える

復習時間：90分

筋収縮のエネルギー

乳酸は何故できるのか

適切な有酸素運動とは

第5回 生活習慣病と運動（授業形式：講義および演習）

予習内容：生活習慣病とは何か調べる

予習時間：90分

復習内容：資料を見直して、生活習慣病と運動との関係を復習する

復習時間：90分

生活習慣病とは

生活習慣病に対する運動の効果

メタボリックシンドロームとは

第6回 肥満と運動（授業形式：講義および演習）

予習内容：肥満とは何か調べるとともに、自分のBMIおよび体脂肪率を測る

予習時間：90分

復習内容：資料を見直して、自分が理想とする体重になるためにどのような運動をすべきか考える

復習時間：90分

肥満とは

肥満の原因について

肥満と運動との関係について

第7回 食事と健康（授業形式：講義および演習）

予習内容：1週間の食事内容を書き出す

予習時間：90分

復習内容：資料を見直して、自分の食生活について考える

復習時間：90分

五大栄養素について

食生活の変化と課題

ボディイメージと摂食障害

第8回 飲酒と健康（授業形式：講義および演習）

予習内容：自分の周りの人の飲酒状況を調べる

予習時間：90分

復習内容：資料を見直して、飲酒の健康への影響を復習するとともに、飲酒をする際に気をつけるべき事項を考える

復習時間：90分

アルコールの代謝

飲酒による健康被害

飲酒と社会問題

第9回 喫煙と健康（授業形式：講義および演習）

予習内容：自分の周りの喫煙状況を調べる

予習時間：90分

復習内容：資料を見直して、喫煙の健康への影響を復習するとともに、自分やその周りの人々の喫煙を考える

復習時間：90分

たばこの有害成分について

喫煙の健康に与える影響

禁煙の効果

第10回 骨の健康と運動（授業形式：講義および演習）

予習内容：骨粗しょう症とは何か調べる

予習時間：90分

復習内容：資料を見直して、骨代謝および骨強度に影響を与える要因を復習するとともに、自分でできる骨粗しょう症の予防方法を考える

復習時間：90分

骨の役割について

骨の構造と代謝

骨代謝と骨強度に影響を与える要因

第11回 健康管理と感染症の予防（授業形式：講義および演習）

予習内容：感染症とは何か調べる

予習時間：90分

復習内容：資料を見直して、感染症の予防方法を復習する

復習時間：90分

感染症とは

ウイルスによる感染症について

その他の身近にある感染症について

第12回 心の健康とストレス（授業形式：講義および演習）

予習内容：これまで自分が感じたストレスとその対処法を考える

予習時間：90分

復習内容：資料を見直して、運動の抗ストレス効果を復習するとともに、自分がストレスを発散させるのに適した運動を考える

復習時間：90分

ストレスとは

ストレスに対する対処法

運動の抗ストレス効果

第13回 メンタルヘルスと運動（授業形式：講義および演習）

予習内容：メンタルヘルスとは何か調べる

予習時間：90分

復習内容：資料を見直して、メンタルヘルスと運動との関係を復習する

復習時間：90分

青年期の体と心の変化

メンタルヘルスと運動

不眠症とは

第14回 スポーツ中の事故（授業形式：講義および演習）

予習内容：自分の周りでスポーツ中に事故に合った人やケガをした人の状況を調べる

予習時間：90分

復習内容：資料を見直して、ケガの応急処置法および救急処置法を復習する

復習時間：90分

スポーツ中の事故

スポーツ傷害とケガの応急処置

熱中症とその予防

第15回 健康・スポーツのための政策（授業形式：講義および演習）

予習内容：日本の少子高齢化の現状を調べる

予習時間：90分

復習内容：資料を見直して、スポーツ基本法とスポーツ基本計画について復習するとともに、自分の住んでいる市町村のスポーツ推進計画を調べる

復習時間：90分

少子高齢化社会とは

国民健康づくり対策

スポーツ基本計画

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 :	国際化と異文化理解【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Internationalization and Cross Cultural Understanding				
担当者 :	阿部 慎太郎				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	前期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :	理工応用化学科：学修・教育到達目標（B）に主体的に関与 理工電気電子通信工学科：学習・教育到達目標D2の達成に主体的に関与 理工社会環境工学科：ディプロマ・ポリシーの(A)、(G)に主体的に関与、(C)、(J)、(K)に付随的に関与				

■ 授業概要

この講義では中国・韓国・ドイツ・フランスの文化についての学びを通じ、国際社会の中で他者とともに生きるための方法を見出すことを目的とします。21世紀を生きる我々は、グローバル化の中で多様な価値観に触れています。その一方で各国のローカルな価値観に違和感を覚えたり、異文化圏との積極的な交流に不満を覚えたりする声が目につくようになりました。私たちは「国際化」と「異文化」という大きなテーマを改めて考え直す段階に来ているのではないのでしょうか。そこで本講義では中国・韓国・ドイツ・フランスを専門とする四名の教員が、各国の文化の特徴や問題を解説します。文化を「生きるための工夫」と見なし、他国の日常生活や民族間の摩擦の事例を読み解き、日本文化との共通点や差異を議論することで、国際社会を生きる我々の課題が浮き彫りになるはずで、講義を通じて国際社会を他者とともに生きるための基礎的な能力を獲得しましょう。

この授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。各回の作成者は授業計画の内容に記載のとおりです。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

この講義を受講することで、履修者は、

- ① 自分と他者、あるいは自文化と異文化を比較し、違いや共通点を見出す能力が身につく。
- ② 各回の課題やアクティビティを通じて自分の考えをしっかりとした言葉で伝えられるようになる。
- ③ 各国文化（中国・韓国・ドイツ・フランス）について基礎的な知識を得ることができる。

この科目の修得は、本学の定めるディプロマポリシー4（異質な価値や文化を理解し、自国の伝統や文化の意味を再発見する国際感覚を、身に付けていること）の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

中間レポート① 25%

中間レポート② 25%

期末レポート 50%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

課題の提出締切後に「課題の要点と解説」をGoogleClassroomに掲載します。

■ 教科書

教科書は使用しません。

■ 参考文献

[ISBN]4130322028 『国際文化論』(平野 健一郎, 東京大学出版会: 2000)

[ISBN]4795402310 『国際文化学への第一歩』(静岡文化芸術大学文化政策学部国際文化学科, すずさわ書店: 2013)

[ISBN]4469212709 『カルチュラル・スタディーズへの招待』(本橋 哲也, 大修館書店: 2002)

■関連科目

すべての外国語科目、国際化と異文化理解

■授業評価アンケート実施方法

本学の規程に準拠して実施します。

■研究室・メールアドレス

研究室: EキャンパスC館5階

メールアドレス: azusa.takahashi@jus.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

火曜日 2限

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 第1回 イントロダクション～文化とは何か～(担当: 高橋梓)(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 文化について自分なりのイメージを持っておく

予習時間: 120分

復習内容: 動画で教員の分析を確認する

復習時間: 60分

第1回は文化とは何かという点について、先行研究に基づき概念を確認するとともに、本講義の全体像について概要を説明します。

第2回 第2回 国際文化学とは何か(担当: 高橋梓)(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 参考文献: 平野健一郎『国際文化論』を読む

予習時間: 120分

復習内容: 動画で教員の分析を確認する

復習時間: 60分

第2回は本講義が立脚する国際文化学について説明します。国際関係を文化で見る試みを具体的にどのように進めるべきか確認しましょう。

第3回 第3回 中国の基礎知識・言語(担当: 阿部慎太郎)(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 中国の人口、地域、通貨等についてインターネットやgoogle mapで調べておく

予習時間: 120分

復習内容: 動画で教員の分析を確認する

復習時間: 60分

第3回目からは本講義の第一部「生きるための工夫(アジア編)」となります。

第3、4回は中国の文化について考えていきます。

第3回は、中国の基礎知識(人口、民族、言語、地域、通貨など)について紹介します。

第4回 第4回 中国の食文化(担当: 阿部慎太郎)(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 中華料理について、インターネットで調べておく

予習時間: 120分

復習内容: 動画で教員の分析を確認する

復習時間: 60分

第3、4回は中国の文化について考えていきます。

第4回は、中国の食文化(中華料理、円卓、習慣など)について紹介します。

第5回 第5回 韓国の基礎知識・食文化(担当: 小島大輝)(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 韓国の地理、料理、食習慣について、インターネットで調べておく

予習時間: 120分

復習内容: 動画で教員の分析を確認する

復習時間: 60分

第5、6回は韓国の文化について考えていきます。

第5回は、韓国の基礎知識と食文化(韓国料理、食習慣など)について紹介します。

第6回 第6回 韓国の住居文化とその周辺(担当: 小島大輝)(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 韓国の住居について、インターネットで調べておく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第5、6回は韓国の文化について考えていきます。

第6回は、韓国の住居と暮らし、関連する周辺の文化について紹介します。

第7回 第7回 アジア編～まとめ～「小文字の文化」から国際社会を見る（担当：高橋梓、阿部慎太郎、小島大輝）（授業形式：講義および演習）

予習内容：動画を参照しながらこれまでの講義内容を思い出ししておく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第3～6回で学んだアジア文化の特徴を題材に、文化から国際社会を見ることの意義を議論します。

第8回 第8回 フランスの基礎知識・フランス語圏（担当：高橋梓）（授業形式：講義および演習）

予習内容：フランスの基本情報について書籍やインターネットで調べておく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第8回目からは本講義の第二部「文化と文化のあいだ（ヨーロッパ編）」となります。

第8、9回は中国の文化について考えていきます。

第8回はフランスの基礎知識と、フランス以外でフランス語を使用しているフランス語圏の実態や、フランス国内の少数言語について紹介します。

第9回 第9回 フランスの移民問題（担当：高橋梓）（授業形式：講義および演習）

予習内容：フランスの移民問題について書籍やインターネットで調べておく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第9回はフランスの移民の歴史、現在の状況、社会問題について説明します。

第10回 第10回 ドイツの基礎知識・ドイツ語圏（担当：大喜祐太）（授業形式：講義および演習）

予習内容：ドイツやドイツ語が話される地域の基本情報について書籍やインターネットで調べておく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第10、11回はドイツの文化について考えていきます。

第10回はドイツの基礎知識と、ドイツ以外でドイツ語を使用しているドイツ語圏の実態について、特に多言語国家スイスの言語状況を例にして紹介します。

第11回 第10回 ドイツの移民問題・ドイツ語圏（担当：大喜祐太）（授業形式：講義および演習）

予習内容：ドイツやドイツ語が話される地域の移民問題について書籍やインターネットで調べておく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第10回はドイツやドイツ語が話される地域の移民の歴史、現在の状況、社会問題について説明します。

第12回 第12回 まとめ～ヨーロッパ編～文化と文化のあいだ～（担当：高橋梓、大喜祐太）（授業形式：講義および演習）

予習内容：動画を参照しながらこれまでの講義内容を思い出ししておく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第8～11回で学んだヨーロッパ文化の特徴を題材に、主に文化触変論に基づき考察します。

第13回 第13回 自文化と異文化① プルーストを読む堀辰雄（前篇）（担当：高橋梓）（授業形式：講義および演習）

予習内容：堀辰雄とプルーストについて書籍やインターネットで調べておく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第13回目からは本講義の第三部「文化の接触と変容」となります。

第13回、14回は文学作品を題材として、文化を生きる個人の精神に目を向けます。

第13回は堀辰雄とマルセル・ブルーストが宗教芸術を見る視点に文化の差異を超えた共通点が潜むことを明らかにします。

第14回 第14回 自文化と異文化② ブルーストを読む堀辰雄（後編）（担当：高橋梓）（授業形式：講義および演習）

予習内容：堀辰雄『大和路・信濃路』を読んでおく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第14回は、前半で明らかにした両文化圏の共通点がなぜ起こるのか、作品分析に基づきながら理由を考察し、自文化と異文化のあいだに潜む普遍的な特性に迫ります。

第15回 第15回 まとめ～国際社会で他者と生きるために（担当：高橋梓、大喜祐太、阿部慎太郎、小島大輝）（授業形式：講義および演習）

予習内容：動画を参照しながらこれまでの講義内容を思い出ししておく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第15回では、これまでの講義内容を踏まえ、担当教員が日本に寝付いた異文化の事例を挙げながら、国際社会の中で他者とともに生きるためのヒントや問題点を議論します。

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 :	国際化と異文化理解【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Internationalization and Cross Cultural Understanding				
担当者 :	阿部 慎太郎				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :	理工応用化学科：学修・教育到達目標（B）に主体的に関与 理工電気電子通信工学科：学習・教育到達目標D2の達成に主体的に関与 理工社会環境工学科：ディプロマ・ポリシーの(A)、(G)に主体的に関与、(C)、(J)、(K)に付随的に関与				

■ 授業概要

この講義では中国・韓国・ドイツ・フランスの文化についての学びを通じ、国際社会の中で他者とともに生きるための方法を見出すことを目的とします。21世紀を生きる我々は、グローバル化の中で多様な価値観に触れています。その一方で各国のローカルな価値観に違和感を覚えたり、異文化圏との積極的な交流に不満を覚えたりする声が目につくようになりました。私たちは「国際化」と「異文化」という大きなテーマを改めて考え直す段階に来ているのではないのでしょうか。そこで本講義では中国・韓国・ドイツ・フランスを専門とする四名の教員が、各国の文化の特徴や問題を解説します。文化を「生きるための工夫」と見なし、他国の日常生活や民族間の摩擦の事例を読み解き、日本文化との共通点や差異を議論することで、国際社会を生きる我々の課題が浮き彫りになるはずで、講義を通じて国際社会を他者とともに生きるための基礎的な能力を獲得しましょう。

この授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。各回の作成者は授業計画の内容に記載のとおりです。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

この講義を受講することで、履修者は、

- ① 自分と他者、あるいは自文化と異文化を比較し、違いや共通点を見出す能力が身につく。
- ② 各回の課題やアクティビティを通じて自分の考えをしっかりとした言葉で伝えられるようになる。
- ③ 各国文化（中国・韓国・ドイツ・フランス）について基礎的な知識を得ることができる。

この科目の修得は、本学の定めるディプロマポリシー4（異質な価値や文化を理解し、自国の伝統や文化の意味を再発見する国際感覚を、身に付けていること）の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

中間レポート① 25%

中間レポート② 25%

期末レポート 50%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

課題の提出締切後に「課題の要点と解説」をGoogleClassroomに掲載します。

■ 教科書

教科書は使用しません。

■ 参考文献

[ISBN]4130322028 『国際文化論』(平野 健一郎, 東京大学出版会: 2000)
[ISBN]4795402310 『国際文化学への第一歩』(静岡文化芸術大学文化政策学部国際文化学科, すずさわ書店: 2013)
[ISBN]4469212709 『カルチュラル・スタディーズへの招待』(本橋 哲也, 大修館書店: 2002)

■関連科目

すべての外国語科目、国際化と異文化理解

■授業評価アンケート実施方法

本学の規程に準拠して実施します。

■研究室・メールアドレス

研究室: EキャンパスC館5階

メールアドレス: shintaro.abe@jus.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

火曜日 2限

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 第1回 イントロダクション～文化とは何か～(担当: 高橋梓)(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 文化について自分なりのイメージを持っておく

予習時間: 120分

復習内容: 動画で教員の分析を確認する

復習時間: 60分

第1回は文化とは何かという点について、先行研究に基づき概念を確認するとともに、本講義の全体像について概要を説明します。

第2回 第2回 国際文化学とは何か(担当: 高橋梓)(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 参考文献: 平野健一郎『国際文化論』を読む

予習時間: 120分

復習内容: 動画で教員の分析を確認する

復習時間: 60分

第2回は本講義が立脚する国際文化学について説明します。国際関係を文化で見る試みを具体的にどのように進めるべきか確認しましょう。

第3回 第3回 中国の基礎知識・言語(担当: 阿部慎太郎)(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 中国の人口、地域、通貨等についてインターネットやgoogle mapで調べておく

予習時間: 120分

復習内容: 動画で教員の分析を確認する

復習時間: 60分

第3回目からは本講義の第一部「生きるための工夫(アジア編)」となります。

第3、4回は中国の文化について考えていきます。

第3回は、中国の基礎知識(人口、民族、言語、地域、通貨など)について紹介します。

第4回 第4回 中国の食文化(担当: 阿部慎太郎)(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 中華料理について、インターネットで調べておく

予習時間: 120分

復習内容: 動画で教員の分析を確認する

復習時間: 60分

第3、4回は中国の文化について考えていきます。

第4回は、中国の食文化(中華料理、円卓、習慣など)について紹介します。

第5回 第5回 韓国の基礎知識・食文化(担当: 小島大輝)(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 韓国の地理、料理、食習慣について、インターネットで調べておく

予習時間: 120分

復習内容: 動画で教員の分析を確認する

復習時間: 60分

第5、6回は韓国の文化について考えていきます。

第5回は、韓国の基礎知識と食文化(韓国料理、食習慣など)について紹介します。

第6回 第6回 韓国の住居文化とその周辺(担当: 小島大輝)(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 韓国の住居について、インターネットで調べておく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第5、6回は韓国の文化について考えていきます。

第6回は、韓国の住居と暮らし、関連する周辺の文化について紹介します。

第7回 第7回 アジア編～まとめ～「小文字の文化」から国際社会を見る（担当：高橋梓、阿部慎太郎、小島大輝）（授業形式：講義および演習）

予習内容：動画を参照しながらこれまでの講義内容を思い出ししておく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第3～6回で学んだアジア文化の特徴を題材に、文化から国際社会を見ることの意義を議論します。

第8回 第8回 フランスの基礎知識・フランス語圏（担当：高橋梓）（授業形式：講義および演習）

予習内容：フランスの基本情報について書籍やインターネットで調べておく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第8回目からは本講義の第二部「文化と文化のあいだ（ヨーロッパ編）」となります。

第8、9回は中国の文化について考えていきます。

第8回はフランスの基礎知識と、フランス以外でフランス語を使用しているフランス語圏の実態や、フランス国内の少数言語について紹介します。

第9回 第9回 フランスの移民問題（担当：高橋梓）（授業形式：講義および演習）

予習内容：フランスの移民問題について書籍やインターネットで調べておく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第9回はフランスの移民の歴史、現在の状況、社会問題について説明します。

第10回 第10回 ドイツの基礎知識・ドイツ語圏（担当：大喜祐太）（授業形式：講義および演習）

予習内容：ドイツやドイツ語が話される地域の基本情報について書籍やインターネットで調べておく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第10、11回はドイツの文化について考えていきます。

第10回はドイツの基礎知識と、ドイツ以外でドイツ語を使用しているドイツ語圏の実態について、特に多言語国家スイスの言語状況を例にして紹介します。

第11回 第10回 ドイツの移民問題・ドイツ語圏（担当：大喜祐太）（授業形式：講義および演習）

予習内容：ドイツやドイツ語が話される地域の移民問題について書籍やインターネットで調べておく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第10回はドイツやドイツ語が話される地域の移民の歴史、現在の状況、社会問題について説明します。

第12回 第12回 まとめ～ヨーロッパ編～文化と文化のあいだ～（担当：高橋梓、大喜祐太）（授業形式：講義および演習）

予習内容：動画を参照しながらこれまでの講義内容を思い出ししておく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第8～11回で学んだヨーロッパ文化の特徴を題材に、主に文化触変論に基づき考察します。

第13回 第13回 自文化と異文化① プルーストを読む堀辰雄（前篇）（担当：高橋梓）（授業形式：講義および演習）

予習内容：堀辰雄とプルーストについて書籍やインターネットで調べておく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第13回目からは本講義の第三部「文化の接触と変容」となります。

第13回、14回は文学作品を題材として、文化を生きる個人の精神に目を向けます。

第13回は堀辰雄とマルセル・ブルーストが宗教芸術を見る視点に文化の差異を超えた共通点が潜むことを明らかにします。

第14回 第14回 自文化と異文化② ブルーストを読む堀辰雄(後編) (担当:高橋梓) (授業形式:講義および演習)

予習内容:堀辰雄『大和路・信濃路』を読んでおく

予習時間:120分

復習内容:動画で教員の分析を確認する

復習時間:60分

第14回は、前半で明らかにした両文化圏の共通点がなぜ起こるのか、作品分析に基づきながら理由を考察し、自文化と異文化のあいだに潜む普遍的な特性に迫ります。

第15回 第15回 まとめ～国際社会で他者と生きるために(担当:高橋梓、大喜祐太、阿部慎太郎、小島大輝) (授業形式:講義および演習)

予習内容:動画を参照しながらこれまでの講義内容を思い出ししておく

予習時間:120分

復習内容:動画で教員の分析を確認する

復習時間:60分

第15回では、これまでの講義内容を踏まえ、担当教員が日本に寝付いた異文化の事例を挙げながら、国際社会の中で他者とともに生きるためのヒントや問題点を議論します。

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 :	国際化と異文化理解【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Internationalization and Cross Cultural Understanding				
担当者 :	高橋 梓				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :	理工応用化学科：学修・教育到達目標（B）に主体的に関与 理工電気電子通信工学科：学習・教育到達目標D2の達成に主体的に関与 理工社会環境工学科：ディプロマ・ポリシーの(A)、(G)に主体的に関与、(C)、(J)、(K)に付随的に関与				

■ 授業概要

この講義では中国・韓国・ドイツ・フランスの文化についての学びを通じ、国際社会の中で他者とともに生きるための方法を見出すことを目的とします。21世紀を生きる我々は、グローバル化の中で多様な価値観に触れています。その一方で各国のローカルな価値観に違和感を覚えたり、異文化圏との積極的な交流に不満を覚えたりする声が目につくようになりました。私たちは「国際化」と「異文化」という大きなテーマを改めて考え直す段階に来ているのではないのでしょうか。そこで本講義では中国・韓国・ドイツ・フランスを専門とする四名の教員が、各国の文化の特徴や問題を解説します。文化を「生きるための工夫」と見なし、他国の日常生活や民族間の摩擦の事例を読み解き、日本文化との共通点や差異を議論することで、国際社会を生きる我々の課題が浮き彫りになるはずで、講義を通じて国際社会を他者とともに生きるための基礎的な能力を獲得しましょう。

この授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。各回の作成者は授業計画の内容に記載のとおりです。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

この講義を受講することで、履修者は、

- ① 自分と他者、あるいは自文化と異文化を比較し、違いや共通点を見出す能力が身につく。
- ② 各回の課題やアクティビティを通じて自分の考えをしっかりとした言葉で伝えられるようになる。
- ③ 各国文化（中国・韓国・ドイツ・フランス）について基礎的な知識を得ることができる。

この科目の修得は、本学の定めるディプロマポリシー4（異質な価値や文化を理解し、自国の伝統や文化の意味を再発見する国際感覚を、身に付けていること）の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

中間レポート① 25%

中間レポート② 25%

期末レポート 50%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

課題の提出締切後に「課題の要点と解説」をGoogleClassroomに掲載します。

■ 教科書

教科書は使用しません。

■ 参考文献

[ISBN]4130322028 『国際文化論』(平野 健一郎, 東京大学出版会: 2000)

[ISBN]4795402310 『国際文化学への第一歩』(静岡文化芸術大学文化政策学部国際文化学科, すずさわ書店: 2013)

[ISBN]4469212709 『カルチュラル・スタディーズへの招待』(本橋 哲也, 大修館書店: 2002)

■関連科目

すべての外国語科目、国際化と異文化理解

■授業評価アンケート実施方法

本学の規程に準拠して実施します。

■研究室・メールアドレス

研究室: EキャンパスC館5階

メールアドレス: azusa.takahashi@jus.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

火曜日 2限

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 第1回 イントロダクション～文化とは何か～(担当: 高橋梓)(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 文化について自分なりのイメージを持っておく

予習時間: 120分

復習内容: 動画で教員の分析を確認する

復習時間: 60分

第1回は文化とは何かという点について、先行研究に基づき概念を確認するとともに、本講義の全体像について概要を説明します。

第2回 第2回 国際文化学とは何か(担当: 高橋梓)(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 参考文献: 平野健一郎『国際文化論』を読む

予習時間: 120分

復習内容: 動画で教員の分析を確認する

復習時間: 60分

第2回は本講義が立脚する国際文化学について説明します。国際関係を文化で見る試みを具体的にどのように進めるべきか確認しましょう。

第3回 第3回 中国の基礎知識・言語(担当: 阿部慎太郎)(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 中国の人口、地域、通貨等についてインターネットやgoogle mapで調べておく

予習時間: 120分

復習内容: 動画で教員の分析を確認する

復習時間: 60分

第3回目からは本講義の第一部「生きるための工夫(アジア編)」となります。

第3、4回は中国の文化について考えていきます。

第3回は、中国の基礎知識(人口、民族、言語、地域、通貨など)について紹介します。

第4回 第4回 中国の食文化(担当: 阿部慎太郎)(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 中華料理について、インターネットで調べておく

予習時間: 120分

復習内容: 動画で教員の分析を確認する

復習時間: 60分

第3、4回は中国の文化について考えていきます。

第4回は、中国の食文化(中華料理、円卓、習慣など)について紹介します。

第5回 第5回 韓国の基礎知識・食文化(担当: 小島大輝)(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 韓国の地理、料理、食習慣について、インターネットで調べておく

予習時間: 120分

復習内容: 動画で教員の分析を確認する

復習時間: 60分

第5、6回は韓国の文化について考えていきます。

第5回は、韓国の基礎知識と食文化(韓国料理、食習慣など)について紹介します。

第6回 第6回 韓国の住居文化とその周辺(担当: 小島大輝)(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 韓国の住居について、インターネットで調べておく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第5、6回は韓国の文化について考えていきます。

第6回は、韓国の住居と暮らし、関連する周辺の文化について紹介します。

第7回 第7回 アジア編～まとめ～「小文字の文化」から国際社会を見る（担当：高橋梓、阿部慎太郎、小島大輝）（授業形式：講義および演習）

予習内容：動画を参照しながらこれまでの講義内容を思い出ししておく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第3～6回で学んだアジア文化の特徴を題材に、文化から国際社会を見ることの意義を議論します。

第8回 第8回 フランスの基礎知識・フランス語圏（担当：高橋梓）（授業形式：講義および演習）

予習内容：フランスの基本情報について書籍やインターネットで調べておく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第8回目からは本講義の第二部「文化と文化のあいだ（ヨーロッパ編）」となります。

第8、9回は中国の文化について考えていきます。

第8回はフランスの基礎知識と、フランス以外でフランス語を使用しているフランス語圏の実態や、フランス国内の少数言語について紹介します。

第9回 第9回 フランスの移民問題（担当：高橋梓）（授業形式：講義および演習）

予習内容：フランスの移民問題について書籍やインターネットで調べておく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第9回はフランスの移民の歴史、現在の状況、社会問題について説明します。

第10回 第10回 ドイツの基礎知識・ドイツ語圏（担当：大喜祐太）（授業形式：講義および演習）

予習内容：ドイツやドイツ語が話される地域の基本情報について書籍やインターネットで調べておく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第10、11回はドイツの文化について考えていきます。

第10回はドイツの基礎知識と、ドイツ以外でドイツ語を使用しているドイツ語圏の実態について、特に多言語国家スイスの言語状況を例にして紹介します。

第11回 第10回 ドイツの移民問題・ドイツ語圏（担当：大喜祐太）（授業形式：講義および演習）

予習内容：ドイツやドイツ語が話される地域の移民問題について書籍やインターネットで調べておく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第10回はドイツやドイツ語が話される地域の移民の歴史、現在の状況、社会問題について説明します。

第12回 第12回 まとめ～ヨーロッパ編～文化と文化のあいだ～（担当：高橋梓、大喜祐太）（授業形式：講義および演習）

予習内容：動画を参照しながらこれまでの講義内容を思い出ししておく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第8～11回で学んだヨーロッパ文化の特徴を題材に、主に文化触変論に基づき考察します。

第13回 第13回 自文化と異文化① プルーストを読む堀辰雄（前篇）（担当：高橋梓）（授業形式：講義および演習）

予習内容：堀辰雄とプルーストについて書籍やインターネットで調べておく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第13回目からは本講義の第三部「文化の接触と変容」となります。

第13回、14回は文学作品を題材として、文化を生きる個人の精神に目を向けます。

第13回は堀辰雄とマルセル・ブルーストが宗教芸術を見る視点に文化の差異を超えた共通点が潜むことを明らかにします。

第14回 第14回 自文化と異文化② ブルーストを読む堀辰雄(後編) (担当:高橋梓) (授業形式:講義および演習)

予習内容:堀辰雄『大和路・信濃路』を読んでおく

予習時間:120分

復習内容:動画で教員の分析を確認する

復習時間:60分

第14回は、前半で明らかにした両文化圏の共通点がなぜ起こるのか、作品分析に基づきながら理由を考察し、自文化と異文化のあいだに潜む普遍的な特性に迫ります。

第15回 第15回 まとめ～国際社会で他者と生きるために(担当:高橋梓、大喜祐太、阿部慎太郎、小島大輝) (授業形式:講義および演習)

予習内容:動画を参照しながらこれまでの講義内容を思い出ししておく

予習時間:120分

復習内容:動画で教員の分析を確認する

復習時間:60分

第15回では、これまでの講義内容を踏まえ、担当教員が日本に根付いた異文化の事例を挙げながら、国際社会の中で他者とともに生きるためのヒントや問題点を議論します。

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 :	ビジネスモデルとマネジメント【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Business Model and Management				
担当者 :	富田 佳宏				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :	理工学部応用化学科：学修・教育到達目標（B）に主体的に関与、 理工学部機械工学科：機械工学コース学習・教育目標：A-1, JABEE基準1.2：(a)(b)に関与、 理工学部電気電子通信工学科：学習・教育到達目標D2の達成に主体的に関与、 理工学部社会環境工学科：ディプロマ・ポリシーの(D)に主体的に関与、(C)、(J)、(K)に付随的に関与				

■ 授業概要

情報化と企業活動に関する分析を行うために必要な基礎的は用語・概念を学びます。さらに実務経験者の講演や資料から、実際にビジネスモデルやマネジメントの分析を行い理解を深めます。この授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。各回の作成者は授業計画の内容に記載の通りです。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講者は、この授業を履修することによって

1) 企業活動に関する分析を行うために必要な基礎的な用語・概念を理解できるようになります。

■ 成績評価方法および基準

中間課題 50%

学生間ディスカッション 10%

最終課題 40%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

レポート課題の提出締切後に「レポート課題の要点と解説」をGoogle Classroomに掲載します。

■ 教科書

講義資料を適宜配布します。

■ 参考文献

[ISBN]9784798122977 『ビジネスモデル・ジェネレーション ビジネスモデル設計書』（アレックス・オスターワルダー，翔泳社：2012）

[ISBN]9784799325551 『新しい経営学』（三谷 宏治，ディスカヴァー・トゥエンティワン：2019）

[ISBN]9784478012727 『ビジネスモデルが見える化する ピクト図解』（板橋悟，ダイヤモンド社）

■ 関連科目

経営学、マーケティング論、リーダーシップ論、組織論、流通論

■ 授業評価アンケート実施方法

本学の規程に準拠して実施します。

■ 研究室・メールアドレス

非常勤講師 富田佳宏 1906b4@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

非常勤講師につき、Google Classroom やメールで連絡ください

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 ビジネスモデルの概要【富田・橋本】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布する講義資料を参考にビジネスモデルの概要について読み、わからない語句や理解が困難な箇所を抜き出すこと。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返しビジネスモデルの概要を整理すること。

復習時間：60分

ビジネスモデルの概要、ビジネスモデルの4要素、ピクト図解と代表的なビジネスモデルについて説明する。

第2回 ビジネスモデルの4要素：ターゲット顧客と価値の提供【富田・橋本】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布する講義資料を参考にビジネスモデルにおける「ターゲット顧客と価値の提供」を読み、わからない語句や理解が困難な箇所を抜き出すこと。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返し、ビジネスモデルにおける、ターゲット顧客と価値の提供、そのマネジメントについて整理すること。

復習時間：60分

ビジネスモデルの4要素、WHOにあたるターゲット（顧客）とWHATにあたるバリュー（提供価値）について、マネジメント手法を交えて説明する。

第3回 ビジネスモデルの4要素：価値の提供体制と競争力【富田・橋本】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布する講義資料を参考にビジネスモデルにおける「価値の提供体制と競争力」を読み、わからない語句や理解が困難な箇所を抜き出すこと。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返しビジネスモデルにおける、価値の提供体制と競争力、そのマネジメントについて整理すること。

復習時間：60分

ビジネスモデルの4要素、HOWにあたるケイパビリティ：価値の提供体制と競争力について、マネジメント手法を交えて説明する。

第4回 ビジネスモデルの4要素：収益モデルとマネジメント【富田・橋本】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布する講義資料を参考にビジネスモデルにおける「収益モデルとマネジメント」を読み、わからない語句や理解が困難な箇所を抜き出すこと。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返しビジネスモデルにおける、収益モデルとそのマネジメントについて整理すること。

復習時間：60分

ビジネスモデルの4要素、WHYにあたる収益モデルおよびマネジメントについて説明する。

第5回 ビジネスモデルキャンパスの活用【富田・橋本】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布した講義資料を参考にビジネスモデルキャンパスについてわからない語句や理解が困難な箇所を抜き出すこと。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返しビジネスモデルキャンパスについて整理すること。

復習時間：60分

ビジネスモデルキャンパスを用いて、顧客との関係性、収益性の理解、価値提供手段、外的要因、競争要因について説明する。

第6回 ビジネスモデル改善への外的原動力その①【榊原】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布した講義資料を参考にESGについてわからない語句や理解が困難な箇所を抜き出すこと。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返しESGについて整理すること。

復習時間：60分

ビジネスモデル改善への外的原動力としてESG（企業活動に対する世界的な社会規範）について説明する。

第7回 ビジネスモデル改善への外的原動力その②【榊原】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布した講義資料を参考に企業への投資についてわからない語句や理解が困難な箇所を抜き出すこと。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返し投資家による直接的な働きかけについて整理すること。

復習時間：60分

ビジネスモデル改善への外的原動力として投資家による直接的な働きかけについて説明する。

第8回 ビジネスモデル進化その1【榊原】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布した講義資料を参考にビジネスモデルの進化についてわからない語句や理解が困難な箇所を抜き出すこと。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返しビジネスモデルの進化について整理すること。

復習時間：60分

社会の変化とビジネスモデルの変遷について説明する。

第9回 ビジネスモデル進化その2【榊原】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布した講義資料を参考にビジネスモデルの進化についてわからない語句や理解が困難な箇所を抜き出すこと。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返しビジネスモデルの進化について整理すること。

復習時間：60分

ビジネスモデルの現在の立ち位置と今後の展望について説明する。

第10回 企業活動・企業の法務【森山】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布した講義資料を参考に企業活動・企業の法務についてわからない語句や理解が困難な箇所を抜き出すこと。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返し企業活動・企業の法務について整理すること。

復習時間：60分

ビジネスモデルとマネジメントの事例紹介に先立って、企業活動や経営管理に関する考え方、企業活動に法律や企業の規範に関する考え方について説明する。

第11回 リスクマネジメントとマネジメントシステム【富田・橋本】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布した講義資料を参考にリスクマネジメントとマネジメントシステムについてわからない語句や理解が困難な箇所を抜き出すこと。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返しリスクマネジメントとマネジメントシステムについて整理すること。

復習時間：60分

事業活動で直面するリスクに対応するマネジメント手法、リスクマネジメントやマネジメントシステムについて説明する。

第12回 ビジネスモデルとマネジメントの事例紹介その1(1)【森山】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布した講義資料を参考に講演する企業の情報収集をすること。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返しビジネスモデルキャンパス・ピクト図解を整理すること。

復習時間：60分

企業の実務経験者の講演からビジネスモデルとマネジメントの事例を紹介する。

第13回 ビジネスモデルとマネジメントの事例紹介その1(2)【森山】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布した講義資料を参考に講演する企業の情報収集をすること。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返しビジネスモデルキャンパス・ピクト図解を整理すること。

復習時間：60分

企業の実務経験者の講演からビジネスモデルとマネジメントの事例を紹介し、解説を加える。

第14回 ビジネスモデルとマネジメントの事例紹介その2(1)【森山】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布した講義資料を参考に講演する企業の情報収集をすること。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返しビジネスモデルキャンパス・ピクト図解を整理すること。

復習時間：60分

企業の実務経験者の講演からビジネスモデルとマネジメントの事例を紹介する。

第15回 ビジネスモデルとマネジメントの事例紹介その2(2)【森山】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布した講義資料を参考に講演する企業の情報収集をすること。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返しビジネスモデルキャンパス・ピクト図解を整理すること。到達目標の達成状況を参照しつつ全体を復習すること。

復習時間：60分

企業の実務経験者の講演からビジネスモデルとマネジメントの事例を紹介し、解説を加える。最後に、本授業で学んだ情報化と企業活動に関する分析を行うために必要な基礎的な用語・概念などの知識について振り返る。

■ ホームページ

■ 実践的な教育内容

オムニバス形式で多様な企業等から講師を招いて行う授業

科目名 :	ビジネスモデルとマネジメント【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Business Model and Management				
担当者 :	橋本 和彦				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :	理工学部応用化学科：学修・教育到達目標（B）に主体的に関与、 理工学部機械工学科：機械工学コース学習・教育目標：A-1, JABEE基準1.2：(a)(b)に関与、 理工学部電気電子通信工学科：学習・教育到達目標D2の達成に主体的に関与、 理工学部社会環境工学科：ディプロマ・ポリシーの(D)に主体的に関与、(C)、(J)、(K)に付随的に関与				

■ 授業概要

情報化と企業活動に関する分析を行うために必要な基礎的は用語・概念を学びます。さらに実務経験者の講演や資料から、実際にビジネスモデルやマネジメントの分析を行い理解を深めます。この授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。各回の作成者は授業計画の内容に記載の通りです。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講者は、この授業を履修することによって

1) 企業活動に関する分析を行うために必要な基礎的な用語・概念を理解できるようになります。

■ 成績評価方法および基準

中間課題 50%

学生間ディスカッション 10%

最終課題 40%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

レポート課題の提出締切後に「レポート課題の要点と解説」をGoogle Classroomに掲載します。

■ 教科書

講義資料を適宜配布します。

■ 参考文献

[ISBN]9784798122977 『ビジネスモデル・ジェネレーション ビジネスモデル設計書』（アレックス・オスターワルダー，翔泳社：2012）

[ISBN]9784799325551 『新しい経営学』（三谷 宏治，ディスカヴァー・トゥエンティワン：2019）

[ISBN]9784478012727 『ビジネスモデルを見える化する ピクト図解』（板橋悟，ダイヤモンド社）

■ 関連科目

経営学、マーケティング論、リーダーシップ論、組織論、流通論

■ 授業評価アンケート実施方法

本学の規程に準拠して実施します。

■ 研究室・メールアドレス

非常勤講師 橋本和彦 kazuhiko.hashimoto@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

非常勤講師につき、Google Classroom やメールで連絡ください。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 ビジネスモデルの概要【富田・橋本】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布する講義資料を参考にビジネスモデルの概要について読み、わからない語句や理解が困難な箇所を抜き出すこと。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返しビジネスモデルの概要を整理すること。

復習時間：60分

ビジネスモデルの概要、ビジネスモデルの4要素、ピクト図解と代表的なビジネスモデルについて説明する。

第2回 ビジネスモデルの4要素：ターゲット顧客と価値の提供【富田・橋本】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布する講義資料を参考にビジネスモデルにおける「ターゲット顧客と価値の提供」を読み、わからない語句や理解が困難な箇所を抜き出すこと。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返し、ビジネスモデルにおける、ターゲット顧客と価値の提供、そのマネジメントについて整理すること。

復習時間：60分

ビジネスモデルの4要素、WHOにあたるターゲット（顧客）とWHATにあたるバリュー（提供価値）について、マネジメント手法を交えて説明する。

第3回 ビジネスモデルの4要素：価値の提供体制と競争力【富田・橋本】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布する講義資料を参考にビジネスモデルにおける「価値の提供体制と競争力」を読み、わからない語句や理解が困難な箇所を抜き出すこと。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返しビジネスモデルにおける、価値の提供体制と競争力、そのマネジメントについて整理すること。

復習時間：60分

ビジネスモデルの4要素、HOWにあたるケイパビリティ：価値の提供体制と競争力について、マネジメント手法を交えて説明する。

第4回 ビジネスモデルの4要素：収益モデルとマネジメント【富田・橋本】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布する講義資料を参考にビジネスモデルにおける「収益モデルとマネジメント」を読み、わからない語句や理解が困難な箇所を抜き出すこと。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返しビジネスモデルにおける、収益モデルとそのマネジメントについて整理すること。

復習時間：60分

ビジネスモデルの4要素、WHYにあたる収益モデルおよびマネジメントについて説明する。

第5回 ビジネスモデルキャンパスの活用【富田・橋本】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布した講義資料を参考にビジネスモデルキャンパスについてわからない語句や理解が困難な箇所を抜き出すこと。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返しビジネスモデルキャンパスについて整理すること。

復習時間：60分

ビジネスモデルキャンパスを用いて、顧客との関係性、収益性の理解、価値提供手段、外的要因、競争要因について説明する。

第6回 ビジネスモデル改善への外的原動力その①【榊原】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布した講義資料を参考にESGについてわからない語句や理解が困難な箇所を抜き出すこと。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返しESGについて整理すること。

復習時間：60分

ビジネスモデル改善への外的原動力としてESG（企業活動に対する世界的な社会規範）について説明する。

第7回 ビジネスモデル改善への外的原動力その②【榊原】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布した講義資料を参考に企業への投資についてわからない語句や理解が困難な箇所を抜き出すこと。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返し投資家による直接的な働きかけについて整理すること。

復習時間：60分

ビジネスモデル改善への外的原動力として投資家による直接的な働きかけについて説明する。

第8回 ビジネスモデル進化その1【榊原】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布した講義資料を参考にビジネスモデルの進化についてわからない語句や理解が困難な箇所を抜き出すこと。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返しビジネスモデルの進化について整理すること。

復習時間：60分

社会の変化とビジネスモデルの変遷について説明する。

第9回 ビジネスモデル進化その2【榊原】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布した講義資料を参考にビジネスモデルの進化についてわからない語句や理解が困難な箇所を抜き出すこと。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返しビジネスモデルの進化について整理すること。

復習時間：60分

ビジネスモデルの現在の立ち位置と今後の展望について説明する。

第10回 企業活動・企業の法務【森山】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布した講義資料を参考に企業活動・企業の法務についてわからない語句や理解が困難な箇所を抜き出すこと。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返し企業活動・企業の法務について整理すること。

復習時間：60分

ビジネスモデルとマネジメントの事例紹介に先立って、企業活動や経営管理に関する考え方、企業活動に法律や企業の規範に関する考え方について説明する。

第11回 リスクマネジメントとマネジメントシステム【富田・橋本】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布した講義資料を参考にリスクマネジメントとマネジメントシステムについてわからない語句や理解が困難な箇所を抜き出すこと。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返しリスクマネジメントとマネジメントシステムについて整理すること。

復習時間：60分

事業活動で直面するリスクに対応するマネジメント手法、リスクマネジメントやマネジメントシステムについて説明する。

第12回 ビジネスモデルとマネジメントの事例紹介その1(1)【森山】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布した講義資料を参考に講演する企業の情報収集をすること。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返しビジネスモデルキャンパス・ピクト図解を整理すること。

復習時間：60分

企業の実務経験者の講演からビジネスモデルとマネジメントの事例を紹介する。

第13回 ビジネスモデルとマネジメントの事例紹介その1(2)【森山】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布した講義資料を参考に講演する企業の情報収集をすること。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返しビジネスモデルキャンパス・ピクト図解を整理すること。

復習時間：60分

企業の実務経験者の講演からビジネスモデルとマネジメントの事例を紹介し、解説を加える。

第14回 ビジネスモデルとマネジメントの事例紹介その2(1)【森山】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布した講義資料を参考に講演する企業の情報収集をすること。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返しビジネスモデルキャンパス・ピクト図解を整理すること。

復習時間：60分

企業の実務経験者の講演からビジネスモデルとマネジメントの事例を紹介する。

第15回 ビジネスモデルとマネジメントの事例紹介その2(2)【森山】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布した講義資料を参考に講演する企業の情報収集をすること。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返しビジネスモデルキャンパス・ピクト図解を整理すること。到達目標の達成状況を参照しつつ全体を復習すること。

復習時間：60分

企業の実務経験者の講演からビジネスモデルとマネジメントの事例を紹介し、解説を加える。最後に、本授業で学んだ情報化と企業活動に関する分析を行うために必要な基礎的な用語・概念などの知識について振り返る。

■ ホームページ

■ 実践的な教育内容

オムニバス形式で多様な企業等から講師を招いて行う授業

科目名 :	キャリアデザイン【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Career Design				
担当者 :	土肥 眞琴				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	前期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :	理工学部応用化学科：学修・教育到達目標（A）に付随的に関与、 理工学部機械工学科：機械工学コース学習・教育目標：A-3, JABEE基準1.2：(a)(b)に関与、 理工学部電気電子通信工学科：学習・教育到達目標D1の達成に付随的に関与、 理工学部社会環境工学科：ディプロマ・ポリシーの(J)に主体的に関与、(A)、(B)に付随的に関与				

■ 授業概要

今後の職業人は、自律したキャリアを歩む必要があります。そのためには、自分自身の価値観や仕事の経験、社会での就労形態などを客観的に見つめ、分析し、自発的なキャリア形成をする力を養っておかなければなりません。また、組織にもそうした自発的なキャリアを歩む個人を上手にマネジメントすることで、貴重な人材資源を活用することが求められています。本授業は、そうした考え方を学ぶための理論的な解説や事例の検討などで構成します。なお、この授業はコンテンツ作成者谷口智彦が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

現代の社会経済環境を認識し、自ら自律的にキャリア形成が行える視点を身につけ、さらに経営的観点からも人材を捉えることで企業等の組織で活躍できる人材として必要な基本的な知識を習得することを目的とします。

■ 成績評価方法および基準

授業に関するレポートや課題提出等（担当教員の指示に従うこと） 100%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

担当教員がレポートや課題の提出などの要点や解説等を掲示板等を利用して掲載するなど提示します。

■ 教科書

『近大生のためのキャリアデザイン－KICSキャリアデザイン補助教材－（電子書籍）』
<http://www.amazon.co.jp/dp/B09RFDDCJD>

『近大生のためのキャリアデザイン－KICSキャリアデザイン補助教材－（ペーパーバック）』
<https://www.amazon.co.jp/dp/B09S244GSJ>

オンデマンド動画の内容をテキスト化したものです。各回の確認テスト及び授業のレポート課題、将来の就活時など、授業内容を再度見返したい場合に活用できます。

電子書籍はAmazon Kindleアプリにより、スマホ、タブレット、PC等で読むことが可能です。

■ 参考文献

- [ISBN]9784532110017 『人材マネジメント入門 日経文庫B76』（守島 基博, 日本経済新聞出版：2004）
- [ISBN]9784569619415 『働くひとのためのキャリア・デザイン（PHP新書）』（金井 壽宏, PHP研究所：2002）
- [ISBN]9784833419093 『「見どころのある部下」支援法（ワークス人と組織選書）』（谷口智彦, プレジデント社：2009）
- [ISBN]9784833491181 『「いっしょに働きたくなる人」の育て方－マクドナルド、スターバックス、コールドストーンの人材』

研究 (ワークス人と組織選書)』(見館 好隆, プレジデント社: 2010)

■ 関連科目

-

■ 授業評価アンケート実施方法

本学の規程に準拠して実施します

■ 研究室・メールアドレス

mako3064@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

質問・相談等はClassroomのストリーム、メール (mako3064@kindai.ac.jp)で適宜対応します。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

-

第1回 キャリアデザインを学ぶ (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 各自の将来の進路について考えをまとめておく

予習時間: 30分

復習内容: 授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間: 60分

概要 キャリアデザインの授業の目標、進め方、また学ぶ理由など概要を説明します

セクション1 授業の目的と進め方 セクション概要 簡単な自己紹介、および授業の目的と進め方などを説明します

セクション2 キャリアデザインという言葉の意味 セクション概要 「キャリアデザイン」という言葉が意味することを簡単に説明します

セクション3 キャリアデザインを学ぶ理由 セクション概要 なぜキャリアデザインを学ぶ必要があるのか理解します

第2回 キャリアとは何か (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間: 30分

復習内容: 授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間: 60分

概要 キャリアの定義およびキャリアをデザインすることの意味を説明します

セクション1 キャリアの語源 セクション概要 キャリアの語源からその意味を解説します

セクション2 キャリアの定義 セクション概要 主な論者のキャリアの定義を紹介します

セクション3 キャリアをデザインすることの意味 セクション概要 キャリアをデザインするために何をすべきかを説明します

第3回 自分に合った職業・仕事とは何か (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間: 30分

復習内容: 授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間: 60分

概要 自分に合った職業・仕事を選ぶ際の考え方を説明します

セクション1 自分に合った職業・仕事とは何か セクション概要 自分に合った職業や仕事を見つけるにはどう考えればよいか説明します

セクション2 仕事選びの基本的な考え方 セクション概要 仕事選びの理論的な考え方の基本を紹介します

セクション3 職業や仕事の特徴 セクション概要 商品などとの選び方における違いから職業や仕事の特徴を説明します

第4回 「自分のこと」を知る (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間: 30分

復習内容: 授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間: 60分

概要 「自分のこと」を探索するための基本的な考え方を説明します

セクション1 「自分」とは何か セクション概要 「自分」の定義や捉え方を説明します

セクション2 仕事を選ぶうえで自分への問い セクション概要 仕事を選ぶうえで、「自分」をどのように考えればよいか、その問いを提示します

セクション3 「自分」を探るための様々なヒント セクション概要 自分を探るための性格診断などその他の方法を説明します

第5回 社会・雇用環境を知る（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間：30分

復習内容：授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間：60分

概要 今後の日本の社会・雇用環境と就職に関係する指標を説明します

セクション1 日本の社会・雇用環境はどうなるのか セクション概要 日本の人口などこれからの雇用環境がどうなるのかを説明します

セクション2 就職と関係する指標を理解する（1） セクション概要 失業率や非正規社員比率など就職に関係する指標を解説します

セクション3 就職と関係する指標を理解する（2） セクション概要 就職内定率や有効求人倍率など就職に関係する指標を理解します

第6回 労働とお金の関係を理解する（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間：30分

復習内容：授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間：60分

概要 働く環境の中でも特にお金に関する知識を説明します

セクション1 働くうえで重要なお金 セクション概要 社会人の働く理由を説明し、特にお金の位置づけについて確認します

セクション2 賃金の差はどこにあるのか セクション概要 賃金の差がどのような条件で変わるのかについて説明します

セクション3 生涯で必要になるお金 セクション概要 働き始めてから結婚や子育てなど生活に必要なお金について説明します

第7回 業界・職業を知る（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間：30分

復習内容：授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間：60分

概要 業種・業界、職業について、また実際の企業の採用選考のスケジュールを説明します

セクション1 業種・業界について セクション概要 業種や業界の知識、またその調べ方を説明します

セクション2 職業について セクション概要 職業の数や視野の広げ方について説明します

セクション3 就職活動について セクション概要 企業の採用選考、就職活動のスケジュールについて説明します

第8回 職種を知る（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間：30分

復習内容：授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間：60分

概要 自分に合った仕事を選ぶときの職種の考え方について説明します

セクション1 職種について セクション概要 職種とは何かについて説明します

セクション2 文系の職種 セクション概要 文系学部の卒業者が一般に就く職種について説明します

セクション3 理系の職種 セクション概要 理系学部の卒業者が一般に就く職種について説明します

第9回 キャリアの基礎理論を学ぶ（1）（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間：30分

復習内容：授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間：60分

概要 キャリアの基礎理論として「ライフスパン理論」を取り上げ説明します

セクション1 職業における発達とは セクション概要 発達の概念について説明し、それが職業における発達（職業的発達）とどう関連するのかについて説明します

セクション2 ライフスパン理論 セクション概要 職業的発達について体系的に整理したライフスパン理論について説明

します

セクション3 ライフスパン理論の意味合い セクション概要 ライフスパン理論が大学生にとってどのような意味合いがあるのか説明します

第10回 キャリアの基礎理論を学ぶ(2) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間: 30分

復習内容: 授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間: 60分

概要 キャリアの基礎理論として「キャリアトランジション理論」を取り上げ説明します

セクション1 人生における変化 セクション概要 人生における変化として「転機」について説明します

セクション2 キャリアトランジション理論 セクション概要 人生(キャリア)の変化に適応するための理論として、キャリアトランジション理論について説明します

セクション3 トランジション理論の意味合い セクション概要 トランジション理論が人生においてどのような意味合いがあるのか説明します

第11回 企業とは何か(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間: 30分

復習内容: 授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間: 60分

概要 企業の活動について基本的な捉え方を説明します

セクション1 企業の活動 セクション概要 企業とは何か、また企業が行う活動とはどういったものかについて簡単に説明します

セクション2 企業ごとの違い セクション概要 それぞれの企業の違いはどこにあるのかについて説明します

セクション3 企業における人材 セクション概要 企業において人材がどのような位置づけにあるのか、その意味合について説明します

第12回 企業における人材の活用(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間: 30分

復習内容: 授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間: 60分

概要 企業で働く人材を企業はどう活用するのかについて説明します

セクション1 人材マネジメントとは セクション概要 企業における人材の活用(マネジメント)について説明します

セクション2 人材の獲得と効果を高める要素 セクション概要 人材マネジメントを行うための7つの要素のうち、人材の獲得と人材の活用の中の効果を高める3つの要素について説明します

セクション3 効率を高める要素と人材の尊重 セクション概要 人材マネジメントの中の効率を高める2つの要素と人材の尊重について説明します。また、人材マネジメントがキャリアに与える意味についても解説します

第13回 働くまでの企業との接点(インターンシップ等)(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間: 30分

復習内容: 授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間: 60分

概要 働くまでに企業と接する機会とそうした経験から学ぶことについて説明します。またインターンシップについて説明します

セクション1 企業との接点と活用 セクション概要 学生生活の中で企業と接する機会(企業との接点)とその活用について説明します

セクション2 経験と学習 セクション概要 経験と学習について基本的な考え方を説明します

セクション3 インターンシップ経験 セクション概要 インターンシップの概要とインターンシップ経験での学びについて説明します

第14回 働くまでの企業との接点(アルバイト等)(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間: 30分

復習内容：授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間：60分

概要 アルバイト経験と学びについて説明します

セクション1 アルバイトの位置づけ セクション概要 大学生にとってアルバイトがどのような位置づけにあるのかを説明します

セクション2 アルバイト経験 セクション概要 アルバイトで成長を促す経験とは何かを説明します

セクション3 アルバイトで学ぶこと セクション概要 アルバイト経験を通じて何を学ぶのか説明します

第15回 総まとめ（授業形式：講義および演習）

予習内容：これまでの授業に関わる復習を自分なりに行き、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間：30分

復習内容：これまで授業のまとめとして、自分の進路や将来について考えたことを、整理し、まとめを記述してください。

復習時間：60分

概要 これまでの学びを総合的に考えるために体系的なまとめを説明します

セクション1 まとめ（1） セクション概要 キャリアデザインの授業の全体像を確認し、第1回から第4回までの授業のまとめを説明します

セクション2 まとめ（2） セクション概要 第5回から第8回、また第11回と第12回のまとめを説明します

セクション3 まとめ（3） セクション概要 第9回と第10回、また第13回と第14回のまとめを説明します

■ホームページ

『近大生のためのキャリアデザイン－KICSキャリアデザイン補助教材－（電子書籍）』

<http://www.amazon.co.jp/dp/B09RFDDCJD>

『近大生のためのキャリアデザイン－KICSキャリアデザイン補助教材－（ペーパーバック）』

<https://www.amazon.co.jp/dp/B09S244GSJ>

■実践的な教育内容

-

科目名 :	ビジネスモデルとマネジメント【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Business Model and Management				
担当者 :	森山 真光				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :	理工学部応用化学科：学修・教育到達目標（B）に主体的に関与、 理工学部機械工学科：機械工学コース学習・教育目標：A-1, JABEE基準1.2：(a)(b)に関与、 理工学部電気電子通信工学科：学習・教育到達目標D2の達成に主体的に関与、 理工学部社会環境工学科：ディプロマ・ポリシーの(D)に主体的に関与、(C)、(J)、(K)に付随的に関与				

■ 授業概要

情報化と企業活動に関する分析を行うために必要な基礎的は用語・概念を学びます。さらに実務経験者の講演や資料から、実際にビジネスモデルやマネジメントの分析を行い理解を深めます。この授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。各回の作成者は授業計画の内容に記載の通りです。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講者は、この授業を履修することによって

1) 企業活動に関する分析を行うために必要な基礎的な用語・概念を理解できるようになります。

■ 成績評価方法および基準

中間課題 50%

学生間ディスカッション 10%

最終課題 40%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

レポート課題の提出締切後に「レポート課題の要点と解説」をGoogle Classroomに掲載します。

■ 教科書

講義資料を適宜配布します。

■ 参考文献

[ISBN]9784798122977 『ビジネスモデル・ジェネレーション ビジネスモデル設計書』（アレックス・オスターワルダー，翔泳社：2012）

[ISBN]9784799325551 『新しい経営学』（三谷 宏治，ディスカヴァー・トゥエンティワン：2019）

[ISBN]9784478012727 『ビジネスモデルが見える化する ピクト図解』（板橋悟，ダイヤモンド社）

■ 関連科目

経営学、マーケティング論、リーダーシップ論、組織論、流通論

■ 授業評価アンケート実施方法

本学の規程に準拠して実施します。

■ 研究室・メールアドレス

森山准教授室(E-319)・moriyama{at}info.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

火曜日1時限目

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 ビジネスモデルの概要【富田・橋本】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布する講義資料を参考にビジネスモデルの概要について読み、わからない語句や理解が困難な箇所を抜き出すこと。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返しビジネスモデルの概要を整理すること。

復習時間：60分

ビジネスモデルの概要、ビジネスモデルの4要素、ピクト図解と代表的なビジネスモデルについて説明する。

第2回 ビジネスモデルの4要素：ターゲット顧客と価値の提供【富田・橋本】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布する講義資料を参考にビジネスモデルにおける「ターゲット顧客と価値の提供」を読み、わからない語句や理解が困難な箇所を抜き出すこと。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返し、ビジネスモデルにおける、ターゲット顧客と価値の提供、そのマネジメントについて整理すること。

復習時間：60分

ビジネスモデルの4要素、WHOにあたるターゲット（顧客）とWHATにあたるバリュー（提供価値）について、マネジメント手法を交えて説明する。

第3回 ビジネスモデルの4要素：価値の提供体制と競争力【富田・橋本】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布する講義資料を参考にビジネスモデルにおける「価値の提供体制と競争力」を読み、わからない語句や理解が困難な箇所を抜き出すこと。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返しビジネスモデルにおける、価値の提供体制と競争力、そのマネジメントについて整理すること。

復習時間：60分

ビジネスモデルの4要素、HOWにあたるケイパビリティ：価値の提供体制と競争力について、マネジメント手法を交えて説明する。

第4回 ビジネスモデルの4要素：収益モデルとマネジメント【富田・橋本】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布する講義資料を参考にビジネスモデルにおける「収益モデルとマネジメント」を読み、わからない語句や理解が困難な箇所を抜き出すこと。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返しビジネスモデルにおける、収益モデルとそのマネジメントについて整理すること。

復習時間：60分

ビジネスモデルの4要素、WHYにあたる収益モデルおよびマネジメントについて説明する。

第5回 ビジネスモデルキャンパスの活用【富田・橋本】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布した講義資料を参考にビジネスモデルキャンパスについてわからない語句や理解が困難な箇所を抜き出すこと。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返しビジネスモデルキャンパスについて整理すること。

復習時間：60分

ビジネスモデルキャンパスを用いて、顧客との関係性、収益性の理解、価値提供手段、外的要因、競争要因について説明する。

第6回 ビジネスモデル改善への外的原動力その①【榊原】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布した講義資料を参考にESGについてわからない語句や理解が困難な箇所を抜き出すこと。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返しESGについて整理すること。

復習時間：60分

ビジネスモデル改善への外的原動力としてESG（企業活動に対する世界的な社会規範）について説明する。

第7回 ビジネスモデル改善への外的原動力その②【榊原】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布した講義資料を参考に企業への投資についてわからない語句や理解が困難な箇所を抜き出すこと。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返し投資家による直接的な働きかけについて整理すること。

復習時間：60分

ビジネスモデル改善への外的原動力として投資家による直接的な働きかけについて説明する。

第8回 ビジネスモデル進化その1【榊原】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布した講義資料を参考にビジネスモデルの進化についてわからない語句や理解が困難な箇所を抜き出すこと。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返しビジネスモデルの進化について整理すること。

復習時間：60分

社会の変化とビジネスモデルの変遷について説明する。

第9回 ビジネスモデル進化その2【榊原】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布した講義資料を参考にビジネスモデルの進化についてわからない語句や理解が困難な箇所を抜き出すこと。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返しビジネスモデルの進化について整理すること。

復習時間：60分

ビジネスモデルの現在の立ち位置と今後の展望について説明する。

第10回 企業活動・企業の法務【森山】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布した講義資料を参考に企業活動・企業の法務についてわからない語句や理解が困難な箇所を抜き出すこと。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返し企業活動・企業の法務について整理すること。

復習時間：60分

ビジネスモデルとマネジメントの事例紹介に先立って、企業活動や経営管理に関する考え方、企業活動に法律や企業の規範に関する考え方について説明する。

第11回 リスクマネジメントとマネジメントシステム【富田・橋本】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布した講義資料を参考にリスクマネジメントとマネジメントシステムについてわからない語句や理解が困難な箇所を抜き出すこと。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返しリスクマネジメントとマネジメントシステムについて整理すること。

復習時間：60分

事業活動で直面するリスクに対応するマネジメント手法、リスクマネジメントやマネジメントシステムについて説明する。

第12回 ビジネスモデルとマネジメントの事例紹介その1(1)【森山】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布した講義資料を参考に講演する企業の情報収集をすること。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返しビジネスモデルキャンパス・ピクト図解を整理すること。

復習時間：60分

企業の実務経験者の講演からビジネスモデルとマネジメントの事例を紹介する。

第13回 ビジネスモデルとマネジメントの事例紹介その1(2)【森山】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布した講義資料を参考に講演する企業の情報収集をすること。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返しビジネスモデルキャンパス・ピクト図解を整理すること。

復習時間：60分

企業の実務経験者の講演からビジネスモデルとマネジメントの事例を紹介し、解説を加える。

第14回 ビジネスモデルとマネジメントの事例紹介その2(1)【森山】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布した講義資料を参考に講演する企業の情報収集をすること。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返しビジネスモデルキャンパス・ピクト図解を整理すること。

復習時間：60分

企業の実務経験者の講演からビジネスモデルとマネジメントの事例を紹介する。

第15回 ビジネスモデルとマネジメントの事例紹介その2(2)【森山】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布した講義資料を参考に講演する企業の情報収集をすること。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返しビジネスモデルキャンパス・ピクト図解を整理すること。到達目標の達成状況を参照しつつ全体を復習すること。

復習時間：60分

企業の実務経験者の講演からビジネスモデルとマネジメントの事例を紹介し、解説を加える。最後に、本授業で学んだ情報化と企業活動に関する分析を行うために必要な基礎的な用語・概念などの知識について振り返る。

■ ホームページ

■ 実践的な教育内容

オムニバス形式で多様な企業等から講師を招いて行う授業

科目名 :	データリテラシー入門【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Introduction to Data Literacy				
担当者 :	山内 康弘				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

本科目では、来るデータ駆動型社会に向けて進展が期待されているDS（Data Science, データ科学）とAI（Artificial Intelligence, 人工知能）に関する基礎的な知識と技能を修得するための授業を実施する。授業では、まず、DSやAIの現状について紹介する。次に、それらを活用するために理解しておくべき概念や方法について説明する。そして、データを適正に利用するために留意すべき点について説明する。最後に、データの取り扱いについて説明するとともに、実際にツールを使った演習を行う。本科目の授業資料は、担当教員とは別の教員が作成している。各回のタイトル欄に作成者を記載する。

【履修の前提条件】

本科目の履修には、下記のスキルが必要となる。パソコン操作に不慣れな学生は、他の基礎科目で十分なスキルを獲得した上で履修すること。オンデマンド授業のためPC操作のサポートは受けられない。

- ・ファイル名の変更・アップロード・ダウンロードがスムーズに行える。
- ・ファイルの拡張子について熟知している。
- ・圧縮ファイルを適切に解凍できる。
- ・表計算（Excel・Googleスプレッドシート）で関数を挿入できる。
- ・表計算（Excel・Googleスプレッドシート）でシート操作ができる。

【諸注意】

- ・授業の出席方法等のルールは、必ずKICSオンデマンド授業マニュアルを確認すること。
- ・指定された期日までに授業動画を視聴し、かつ確認テストに満点合格すること。授業動画の視聴と確認テストを満点合格することなく、別途出題される課題を提出あるいはテストを実施した場合は、その回の課題あるいはテストの点数は0点とする。
- ・各授業の課題提出期限はGoogleClassroomで指示する。
- ・出席数、欠席数、欠席届の有無は成績評価（不受を含む）には反映しない。ただし、成績評価は、授業への出席（動画視聴期限までの学習）を前提とした課題提出によって行うため授業への出席は必須である。
- ・第1回、第3回から第9回までの授業で「KBマップ」というアプリを使用する。GoogleClassroomで指示された資料で利用方法を確認し、開講後1週間以内にログインできることを確認すること。
- ・第2回と第10回の授業の復習として、Zoomによる他学部と合同のオンラインディスカッションの機会を提供する。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

本科目の到達目標は次のとおりである。

- [1] DSやAIの現状、概念、方法について必要事項を知っている。
- [2] データの取り扱いについて必要事項を知っている。
- [3] データの留意点について必要事項を知っている。

本科目の修得は、本学が定めるディプロマポリシー3の達成に関与している。

■ 成績評価方法および基準

KBマップ課題（第1回、第3回～第8回） 30%

KBマップ課題+テスト（第9回） 20%
練習課題+演習課題（第10回-第15回） 40%
グループディスカッション（第2回授業時間外、第10回授業時間外） 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

第1回、第3回～第9回課題はKBマップのフィードバック機能によりフィードバックする。
第11回～第15回課題は、誤りが多かった事項について授業期間終了後にGoogleClassroomにコメントを掲載する。
グループディスカッションは、課題として提出されたアンケート内容を取りまとめたレポートを開示する。

■ 教科書

教科書はなし。適宜授業資料を配布する。

■ 参考文献

[ISBN]9784065238097 『教養としてのデータサイエンス (データサイエンス入門シリーズ)』 (北川 源四郎, 講談社 : 2021)

■ 関連科目

各学部のデータサイエンスあるいはAIを取り扱った科目

■ 授業評価アンケート実施方法

学部の定めるとおり実施する。

■ 研究室・メールアドレス

nttts_21@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

別途Zoomによる質問対応時間を設ける（詳細はGoogleClassroomに掲示）。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 データ駆動型社会（担当：山元 翔）（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業計画、KICSオンデマンド受講案内、GoogleClassroomの資料をすべて読み込むこと。

予習時間：90分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・IoT、ビッグデータ、AI、ロボット、仮想現実（VR）、拡張現実（AR）
- ・第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会
- ・現代社会におけるデータ科学（DS）と人工知能（AI）への期待と課題
- ・人間の知的活動とAIの関係性
- ・データ・AI活用領域の広がり(生産、消費、文化活動など)
- ・今のAIで出来ることと出来ないこと、AIとビッグデータ
- ・自動化技術
- ・研究開発、調達、製造、物流、販売、マーケティング、サービスなど

第2回 DS・AI活用社会（担当：山元 翔）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第1回授業の内容、難易度を踏まえ、受講計画を作成すること（毎週同じ時間帯に学習時間を確保することを推奨する）。

予習時間：60分

復習内容：第2回の授業内容に関係するグループディスカッションに参加すること（グループディスカッション用事前課題、事後課題あり）。

復習時間：180分

- ・流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等におけるデータ・AI活用事例紹介
- ・仮説検証、知識発見、原因究明、計画策定、判断支援、活動代替、新規生成など

第3回 DS・AI利活用（担当：山元 翔）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第3回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・AI等を活用した新しいビジネスモデル
- ・AI最新技術の活用例
- ・人工知能、データ科学のビジネス機会
- ・人工知能、データ科学の社会的課題
- ・データを起点としたものの見方、人間の知的活動を起点としたものの見方

第4回 様々なデータ表現 (担当: 山元 翔) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 第4回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間: 60分

復習内容: KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間: 180分

- ・2進数, 16進数
- ・数値, 文字, 画像, 音声
- ・1次データ, 2次データ, メタデータ, アノテーション
- ・構造化データ, 非構造化データ
- ・非構造化データ処理: 言語処理, 画像/動画処理, 音声/音楽処理など
- ・オープンデータ

第5回 データの利活用と注意 (担当: 山元 翔) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 第5回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間: 60分

復習内容: KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間: 180分

- ・データサイエンスのサイクル
- ・個人の不健全な状況の回避: ネット依存症, ゲーム中毒, テクノストレス等
- ・被害者・加害者にならないための知識, なったときの対応, 誹謗中傷・炎上, ネットいじめ
- ・適切な対象が適切に情報を取得できること: 情報格差, アクセシビリティ
- ・プライバシー

第6回 社会におけるデータの取り扱い - 個々人の注意 - (担当: 山元 翔) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 第6回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間: 60分

復習内容: KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間: 120分

- ・情報の信頼性の判断, デマ・流言, メディアリテラシー
- ・社会としての危機管理: システムダウンによる影響範囲の把握と対応
- ・ELSI (Ethical, Legal and Social Issues)
- ・データ・AI活用における負の事例紹介
- ・データ倫理: データのねつ造, 改ざん, 盗用, プライバシー保護
- ・AI社会原則 (公平性, 説明責任, 透明性, 人間中心の判断)
- ・データバイアス, アルゴリズムバイアス
- ・AIサービスの責任論

第7回 社会におけるデータの取り扱い - 社会全体の注意 - (担当: 山元 翔) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 第7回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間: 60分

復習内容: KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間: 120分

- ・知的財産権: 著作権と産業財産権, 著作権, 創作とライセンス表示, 国際化 (ベルヌ条約)
- ・肖像権・パブリシティ権
- ・個人情報保護: 個人情報 (個人識別符号の説明を含む), 匿名加工情報, 自己情報コントロール権, OECD プライバシーガイドライン, EU 法 (保護規則) と忘れられる権利, オプトアウト

第8回 データを守る上での留意事項 (担当: 山元 翔) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 第8回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間: 60分

復習内容: KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間: 120分

- ・情報セキュリティ: 機密性, 完全性, 可用性
- ・匿名加工情報, 暗号化, パスワード, 悪意ある情報搾取
- ・情報漏洩等によるセキュリティ事故の事例紹介

第9回 AI・データ利活用の基礎知識 (テスト課題) (担当: 山元 翔) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 第1回から第8回までの授業内容を復習し, 未提出のKBマップ課題があればすべて完成して提出しておくこと。

予習時間: 120分

復習内容: 理解が不十分だった学習項目について確認しておくこと。

復習時間: 90分

これまでの内容を踏まえて、今後DSの考え方にに基づきAIを利活用する上での基礎知識が身についたかを確認するテストを実施する。

第10回 データを集める（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：Excel、Googleスプレッドシートの基本操作を確認しておくこと。第10回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：第10回の授業内容に関するグループディスカッションに参加すること（グループディスカッション用事前課題・事後課題あり）。

復習時間：180分

- ・データの種類（量的変数、質的変数）
- ・母集団と標本抽出（国勢調査、アンケート調査、全数調査、単純無作為抽出、層別抽出、多段抽出）
- ・観測データに含まれる誤差の扱い
- ・打ち切りや脱落を含むデータ

第11回 データを扱う（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第11回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データ解析ツール（スプレッドシート）
- ・表形式のデータ（CSV）

第12回 データを操る（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第12回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データの集計（和）
- ・データの並び替え、ランキング

第13回 データを見る（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第13回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データ表現（棒グラフ、折線グラフ、散布図、ヒートマップ）
- ・データの図表表現（チャート化）
- ・不適切なグラフ表現（チャートジャンク、不必要な視覚的要素）
- ・統計情報の正しい理解（誇張表現に惑わされない）
- ・優れた可視化事例の紹介（可視化することによって新たな気づきがあった事例など）

第14回 データを読む（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第14回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データの分布(ヒストグラム)
- ・層別の必要なデータ
- ・代表値（平均値、中央値、最頻値）
- ・代表値の性質の違い（実社会では平均値＝最頻値でないことが多い）
- ・データのばらつき（分散、標準偏差、偏差値）
- ・データの集計（平均）

第15回 データを読み解く（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第15回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・相関と因果（相関係数、擬似相関、交絡）
- ・クロス集計表、分割表、相関係数行列、散布図行列
- ・データの比較（条件をそろえた比較、処理の前後での比較、A/Bテスト）

- ホームページ
- 実践的な教育内容

-

科目名 :	データリテラシー入門【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Introduction to Data Literacy				
担当者 :	谷口 智彦				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

本科目では、来るデータ駆動型社会に向けて進展が期待されているDS（Data Science, データ科学）とAI（Artificial Intelligence, 人工知能）に関する基礎的な知識と技能を修得するための授業を実施する。授業では、まず、DSやAIの現状について紹介する。次に、それらを活用するために理解しておくべき概念や方法について説明する。そして、データを適正に利用するために留意すべき点について説明する。最後に、データの取り扱いについて説明するとともに、実際にツールを使った演習を行う。本科目の授業資料は、担当教員とは別の教員が作成している。各回のタイトル欄に作成者を記載する。

【履修の前提条件】

本科目の履修には、下記のスキルが必要となる。パソコン操作に不慣れな学生は、他の基礎科目で十分なスキルを獲得した上で履修すること。オンデマンド授業のためPC操作のサポートは受けられない。

- ・ファイル名の変更・アップロード・ダウンロードがスムーズに行える。
- ・ファイルの拡張子について熟知している。
- ・圧縮ファイルを適切に解凍できる。
- ・表計算（Excel・Googleスプレッドシート）で関数を挿入できる。
- ・表計算（Excel・Googleスプレッドシート）でシート操作ができる。

【諸注意】

- ・授業の出席方法等のルールは、必ずKICSオンデマンド授業マニュアルを確認すること。
- ・指定された期日までに授業動画を視聴し、かつ確認テストに満点合格すること。授業動画の視聴と確認テストを満点合格することなく、別途出題される課題を提出あるいはテストを実施した場合は、その回の課題あるいはテストの点数は0点とする。
- ・各授業の課題提出期限はGoogleClassroomで指示する。
- ・出席数、欠席数、欠席届の有無は成績評価（不受を含む）には反映しない。ただし、成績評価は、授業への出席（動画視聴期限までの学習）を前提とした課題提出によって行うため授業への出席は必須である。
- ・第1回、第3回から第9回までの授業で「KBマップ」というアプリを使用する。GoogleClassroomで指示された資料で利用方法を確認し、開講後1週間以内にログインできることを確認すること。
- ・第2回と第10回の授業の復習として、Zoomによる他学部と合同のオンラインディスカッションの機会を提供する。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

本科目の到達目標は次のとおりである。

- [1] DSやAIの現状、概念、方法について必要事項を知っている。
- [2] データの取り扱いについて必要事項を知っている。
- [3] データの留意点について必要事項を知っている。

本科目の修得は、本学が定めるディプロマポリシー3の達成に関与している。

■ 成績評価方法および基準

KBマップ課題（第1回、第3回～第8回） 30%

KBマップ課題+テスト（第9回） 20%
練習課題+演習課題（第10回-第15回） 40%
グループディスカッション（第2回授業時間外、第10回授業時間外） 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

第1回、第3回～第9回課題はKBマップのフィードバック機能によりフィードバックする。
第11回～第15回課題は、誤りが多かった事項について授業期間終了後にGoogleClassroomにコメントを掲載する。
グループディスカッションは、課題として提出されたアンケート内容を取りまとめたレポートを開示する。

■ 教科書

教科書はなし。適宜授業資料を配布する。

■ 参考文献

[ISBN]9784065238097 『教養としてのデータサイエンス (データサイエンス入門シリーズ)』（北川 源四郎, 講談社：2021)

■ 関連科目

各学部のデータサイエンスあるいはAIを取り扱った科目

■ 授業評価アンケート実施方法

学部の定めるとおり実施する。

■ 研究室・メールアドレス

nttls_21@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

別途Zoomによる質問対応時間を設ける（詳細はGoogleClassroomに掲示）。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 データ駆動型社会（担当：山元 翔）（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業計画、KICSオンデマンド受講案内、GoogleClassroomの資料をすべて読み込むこと。

予習時間：90分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・IoT、ビッグデータ、AI、ロボット、仮想現実（VR）、拡張現実（AR）
- ・第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会
- ・現代社会におけるデータ科学（DS）と人工知能（AI）への期待と課題
- ・人間の知的活動とAIの関係性
- ・データ・AI活用領域の広がり(生産、消費、文化活動など)
- ・今のAIで出来ることと出来ないこと、AIとビッグデータ
- ・自動化技術
- ・研究開発、調達、製造、物流、販売、マーケティング、サービスなど

第2回 DS・AI活用社会（担当：山元 翔）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第1回授業の内容、難易度を踏まえ、受講計画を作成すること（毎週同じ時間帯に学習時間を確保することを推奨する）。

予習時間：60分

復習内容：第2回の授業内容に関係するグループディスカッションに参加すること（グループディスカッション用事前課題、事後課題あり）。

復習時間：180分

- ・流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等におけるデータ・AI活用事例紹介
- ・仮説検証、知識発見、原因究明、計画策定、判断支援、活動代替、新規生成など

第3回 DS・AI利活用（担当：山元 翔）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第3回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・AI等を活用した新しいビジネスモデル
- ・AI最新技術の活用例
- ・人工知能、データ科学のビジネス機会
- ・人工知能、データ科学の社会的課題
- ・データを起点としたものの見方、人間の知的活動を起点としたものの見方

第4回 様々なデータ表現 (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第4回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・2進数, 16進数
- ・数値, 文字, 画像, 音声
- ・1次データ, 2次データ, メタデータ, アノテーション
- ・構造化データ, 非構造化データ
- ・非構造化データ処理：言語処理, 画像/動画処理, 音声/音楽処理など
- ・オープンデータ

第5回 データの利活用と注意 (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第5回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・データサイエンスのサイクル
- ・個人の不健全な状況の回避：ネット依存症, ゲーム中毒, テクノストレス等
- ・被害者・加害者にならないための知識, なったときの対応, 誹謗中傷・炎上, ネットいじめ
- ・適切な対象が適切に情報を取得できること：情報格差, アクセシビリティ
- ・プライバシー

第6回 社会におけるデータの取り扱い - 個々人の注意 - (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第6回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：120分

- ・情報の信頼性の判断, デマ・流言, メディアリテラシー
- ・社会としての危機管理：システムダウンによる影響範囲の把握と対応
- ・ELSI (Ethical, Legal and Social Issues)
- ・データ・AI活用における負の事例紹介
- ・データ倫理：データのねつ造, 改ざん, 盗用, プライバシー保護
- ・AI社会原則 (公平性, 説明責任, 透明性, 人間中心の判断)
- ・データバイアス, アルゴリズムバイアス
- ・AIサービスの責任論

第7回 社会におけるデータの取り扱い - 社会全体の注意 - (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第7回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：120分

- ・知的財産権：著作権と産業財産権, 著作権, 創作とライセンス表示, 国際化 (ベルヌ条約)
- ・肖像権・パブリシティ権
- ・個人情報保護：個人情報 (個人識別符号の説明を含む), 匿名加工情報, 自己情報コントロール権, OECD プライバシーガイドライン, EU 法 (保護規則) と忘れられる権利, オプトアウト

第8回 データを守る上での留意事項 (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第8回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：120分

- ・情報セキュリティ：機密性, 完全性, 可用性
- ・匿名加工情報, 暗号化, パスワード, 悪意ある情報搾取
- ・情報漏洩等によるセキュリティ事故の事例紹介

第9回 AI・データ利活用の基礎知識 (テスト課題) (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第1回から第8回までの授業内容を復習し, 未提出のKBマップ課題があればすべて完成して提出しておくこと。

予習時間：120分

復習内容：理解が不十分だった学習項目について確認しておくこと。

復習時間：90分

これまでの内容を踏まえて、今後DSの考え方にに基づきAIを利活用する上での基礎知識が身についたかを確認するテストを実施する。

第10回 データを集める (担当：溝渕 昭二) (授業形式：講義および演習)

予習内容：Excel、Googleスプレッドシートの基本操作を確認しておくこと。第10回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：第10回の授業内容に関係するグループディスカッションに参加すること（グループディスカッション用事前課題・事後課題あり）。

復習時間：180分

- ・データの種類（量的変数、質的変数）
- ・母集団と標本抽出（国勢調査、アンケート調査、全数調査、単純無作為抽出、層別抽出、多段抽出）
- ・観測データに含まれる誤差の扱い
- ・打ち切りや脱落を含むデータ

第11回 データを扱う (担当：溝渕 昭二) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第11回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データ解析ツール（スプレッドシート）
- ・表形式のデータ（CSV）

第12回 データを操る (担当：溝渕 昭二) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第12回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データの集計（和）
- ・データの並び替え、ランキング

第13回 データを見る (担当：溝渕 昭二) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第13回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データ表現（棒グラフ、折線グラフ、散布図、ヒートマップ）
- ・データの図表表現（チャート化）
- ・不適切なグラフ表現（チャートジャンク、不必要な視覚的要素）
- ・統計情報の正しい理解（誇張表現に惑わされない）
- ・優れた可視化事例の紹介（可視化することによって新たな気づきがあった事例など）

第14回 データを読む (担当：溝渕 昭二) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第14回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データの分布(ヒストグラム)
- ・層別の必要なデータ
- ・代表値（平均値、中央値、最頻値）
- ・代表値の性質の違い（実社会では平均値＝最頻値でないことが多い）
- ・データのばらつき（分散、標準偏差、偏差値）
- ・データの集計（平均）

第15回 データを読み解く (担当：溝渕 昭二) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第15回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・相関と因果（相関係数、擬似相関、交絡）
- ・クロス集計表、分割表、相関係数行列、散布図行列
- ・データの比較（条件をそろえた比較、処理の前後での比較、A/Bテスト）

- ホームページ
- 実践的な教育内容

-

科目名	データリテラシー入門【KICSオンデマンド科目】				
英文名	Introduction to Data Literacy				
担当者	森本 健志				
開講学科	共通教養科目				
単 位	2単位	開講年次		開講期	後期
科目区分	共通教養科目				
備 考	電気電子通信工学科：学習・教育到達目標B3の達成に付随的に関与、応用化学科：学修・教育目標（H）に付随的に関与、社会環境工学科：ディプロマポリシーの(C)に主体的に関与				

■ 授業概要

本科目では、来るデータ駆動型社会に向けて進展が期待されているDS（Data Science, データ科学）とAI（Artificial Intelligence, 人工知能）に関する基礎的な知識と技能を修得するための授業を実施する。授業では、まず、DSやAIの現状について紹介する。次に、それらを活用するために理解しておくべき概念や方法について説明する。そして、データを適正に利用するために留意すべき点について説明する。最後に、データの取り扱いについて説明するとともに、実際にツールを使った演習を行う。本科目の授業資料は、担当教員とは別の教員が作成している。各回のタイトル欄に作成者を記載する。

【履修の前提条件】

本科目の履修には、下記のスキルが必要となる。パソコン操作に不慣れな学生は、他の基礎科目で十分なスキルを獲得した上で履修すること。オンデマンド授業のためPC操作のサポートは受けられない。

- ・ファイル名の変更・アップロード・ダウンロードがスムーズに行える。
- ・ファイルの拡張子について熟知している。
- ・圧縮ファイルを適切に解凍できる。
- ・表計算（Excel・Googleスプレッドシート）で関数を挿入できる。
- ・表計算（Excel・Googleスプレッドシート）でシート操作ができる。

【諸注意】

- ・授業の出席方法等のルールは、必ずKICSオンデマンド授業マニュアルを確認すること。
- ・指定された期日までに授業動画を視聴し、かつ確認テストに満点合格すること。授業動画の視聴と確認テストを満点合格することなく、別途出題される課題を提出あるいはテストを実施した場合は、その回の課題あるいはテストの点数は0点とする。
- ・各授業の課題提出期限はGoogleClassroomで指示する。
- ・出席数、欠席数、欠席届の有無は成績評価（不受を含む）には反映しない。ただし、成績評価は、授業への出席（動画視聴期限までの学習）を前提とした課題提出によって行うため授業への出席は必須である。
- ・第1回、第3回から第9回までの授業で「KBマップ」というアプリを使用する。GoogleClassroomで指示された資料で利用方法を確認し、開講後1週間以内にログインできることを確認すること。
- ・第2回と第10回の授業の復習として、Zoomによる他学部と合同のオンラインディスカッションの機会を提供する。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

本科目の到達目標は次のとおりである。

- [1] DSやAIの現状、概念、方法について必要事項を知っている。
- [2] データの取り扱いについて必要事項を知っている。
- [3] データの留意点について必要事項を知っている。

本科目の修得は、本学が定めるディプロマポリシー3の達成に関与している。

■ 成績評価方法および基準

KBマップ課題（第1回、第3回～第8回） 30%
KBマップ課題+テスト（第9回） 20%
練習課題+演習課題（第10回-第15回） 40%
グループディスカッション（第2回授業時間外、第10回授業時間外） 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

第1回、第3回～第9回課題はKBマップのフィードバック機能によりフィードバックする。
第11回～第15回課題は、誤りが多かった事項について授業期間終了後にGoogleClassroomにコメントを掲載する。
グループディスカッションは、課題として提出されたアンケート内容を取りまとめたレポートを開示する。

■ 教科書

教科書はなし。適宜授業資料を配布する。

■ 参考文献

[ISBN]9784065238097 『教養としてのデータサイエンス (データサイエンス入門シリーズ)』 (北川 源四郎, 講談社 : 2021)

■ 関連科目

各学部のデータサイエンスあるいはAIを取り扱った科目

■ 授業評価アンケート実施方法

学部の定めるとおり実施する。

■ 研究室・メールアドレス

nttls_21@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

別途Zoomによる質問対応時間を設ける（詳細はGoogleClassroomに掲示）。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 データ駆動型社会（担当：山元 翔）（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業計画、KICSオンデマンド受講案内、GoogleClassroomの資料をすべて読み込むこと。

予習時間：90分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・IoT、ビッグデータ、AI、ロボット、仮想現実（VR）、拡張現実（AR）
- ・第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会
- ・現代社会におけるデータ科学（DS）と人工知能（AI）への期待と課題
- ・人間の知的活動とAIの関係性
- ・データ・AI活用領域の広がり(生産、消費、文化活動など)
- ・今のAIで出来ることと出来ないこと、AIとビッグデータ
- ・自動化技術
- ・研究開発、調達、製造、物流、販売、マーケティング、サービスなど

第2回 DS・AI活用社会（担当：山元 翔）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第1回授業の内容、難易度を踏まえ、受講計画を作成すること（毎週同じ時間帯に学習時間を確保することを推奨する）。

予習時間：60分

復習内容：第2回の授業内容に関するグループディスカッションに参加すること（グループディスカッション用事前課題、事後課題あり）。

復習時間：180分

- ・流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等におけるデータ・AI利活用事例紹介
- ・仮説検証、知識発見、原因究明、計画策定、判断支援、活動代替、新規生成など

第3回 DS・AI利活用（担当：山元 翔）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第3回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・AI等を活用した新しいビジネスモデル
- ・AI最新技術の活用例
- ・人工知能、データ科学のビジネス機会
- ・人工知能、データ科学の社会的課題

- ・データを起点としたものの見方、人間の知的活動を起点としたものの見方

第4回 様々なデータ表現 (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第4回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・2進数, 16進数
- ・数値, 文字, 画像, 音声
- ・1次データ, 2次データ, メタデータ, アノテーション
- ・構造化データ, 非構造化データ
- ・非構造化データ処理：言語処理, 画像/動画処理, 音声/音楽処理など
- ・オープンデータ

第5回 データの利活用と注意 (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第5回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・データサイエンスのサイクル
- ・個人の不健全な状況の回避：ネット依存症, ゲーム中毒, テクノストレス等
- ・被害者・加害者にならないための知識, なったときの対応, 誹謗中傷・炎上, ネットいじめ
- ・適切な対象が適切に情報を取得できること：情報格差, アクセシビリティ
- ・プライバシー

第6回 社会におけるデータの取り扱い - 個々人の注意 - (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第6回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：120分

- ・情報の信頼性の判断, デマ・流言, メディアリテラシー
- ・社会としての危機管理：システムダウンによる影響範囲の把握と対応
- ・ELSI (Ethical, Legal and Social Issues)
- ・データ・AI活用における負の事例紹介
- ・データ倫理：データのねつ造, 改ざん, 盗用, プライバシー保護
- ・AI社会原則 (公平性, 説明責任, 透明性, 人間中心の判断)
- ・データバイアス, アルゴリズムバイアス
- ・AIサービスの責任論

第7回 社会におけるデータの取り扱い - 社会全体の注意 - (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第7回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：120分

- ・知的財産権：著作権と産業財産権, 著作権, 創作とライセンス表示, 国際化 (ベルヌ条約)
- ・肖像権・パブリシティ権
- ・個人情報保護：個人情報 (個人識別符号の説明を含む), 匿名加工情報, 自己情報コントロール権, OECD プライバシーガイドライン, EU 法 (保護規則) と忘れられる権利, オプトアウト

第8回 データを守る上での留意事項 (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第8回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：120分

- ・情報セキュリティ：機密性, 完全性, 可用性
- ・匿名加工情報, 暗号化, パスワード, 悪意ある情報搾取
- ・情報漏洩等によるセキュリティ事故の事例紹介

第9回 AI・データ利活用の基礎知識 (テスト課題) (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第1回から第8回までの授業内容を復習し, 未提出のKBマップ課題があればすべて完成して提出しておくこと。

予習時間：120分

復習内容：理解が不十分だった学習項目について確認しておくこと。

復習時間：90分

これまでの内容を踏まえて、今後DSの考え方にに基づきAIを利活用する上での基礎知識が身についたかを確認するテストを実施する。

第10回 データを集める (担当：溝渕 昭二) (授業形式：講義および演習)

予習内容：Excel、Googleスプレッドシートの基本操作を確認しておくこと。第10回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：第10回の授業内容に関するグループディスカッションに参加すること（グループディスカッション用事前課題・事後課題あり）。

復習時間：180分

- ・データの種類（量的変数、質的変数）
- ・母集団と標本抽出（国勢調査、アンケート調査、全数調査、単純無作為抽出、層別抽出、多段抽出）
- ・観測データに含まれる誤差の扱い
- ・打ち切りや脱落を含むデータ

第11回 データを扱う (担当：溝渕 昭二) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第11回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データ解析ツール（スプレッドシート）
- ・表形式のデータ（CSV）

第12回 データを操る (担当：溝渕 昭二) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第12回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データの集計（和）
- ・データの並び替え、ランキング

第13回 データを見る (担当：溝渕 昭二) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第13回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データ表現（棒グラフ、折線グラフ、散布図、ヒートマップ）
- ・データの図表表現（チャート化）
- ・不適切なグラフ表現（チャートジャンク、不必要な視覚的要素）
- ・統計情報の正しい理解（誇張表現に惑わされない）
- ・優れた可視化事例の紹介（可視化することによって新たな気づきがあった事例など）

第14回 データを読む (担当：溝渕 昭二) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第14回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データの分布(ヒストグラム)
- ・層別の必要なデータ
- ・代表値（平均値、中央値、最頻値）
- ・代表値の性質の違い（実社会では平均値＝最頻値でないことが多い）
- ・データのばらつき（分散、標準偏差、偏差値）
- ・データの集計（平均）

第15回 データを読み解く (担当：溝渕 昭二) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第15回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・相関と因果（相関係数、擬似相関、交絡）
- ・クロス集計表、分割表、相関係数行列、散布図行列

・データの比較（条件をそろえた比較、処理の前後での比較、A/Bテスト）

■ ホームページ

■ 実践的な教育内容

-

科目名	データリテラシー入門【KICSオンデマンド科目】				
英文名	Introduction to Data Literacy				
担当者	佐野 こそえ				
開講学科	共通教養科目				
単 位	2単位	開講年次		開講期	後期
科目区分	共通教養科目				
備 考					

■ 授業概要

本科目では、来るデータ駆動型社会に向けて進展が期待されているDS（Data Science, データ科学）とAI（Artificial Intelligence, 人工知能）に関する基礎的な知識と技能を修得するための授業を実施する。授業では、まず、DSやAIの現状について紹介する。次に、それらを活用するために理解しておくべき概念や方法について説明する。そして、データを適正に利用するために留意すべき点について説明する。最後に、データの取り扱いについて説明するとともに、実際にツールを使った演習を行う。本科目の授業資料は、担当教員とは別の教員が作成している。各回のタイトル欄に作成者を記載する。

【履修の前提条件】

本科目の履修には、下記のスキルが必要となる。パソコン操作に不慣れな学生は、他の基礎科目で十分なスキルを獲得した上で履修すること。オンデマンド授業のためPC操作のサポートは受けられない。

- ・ファイル名の変更・アップロード・ダウンロードがスムーズに行える。
- ・ファイルの拡張子について熟知している。
- ・圧縮ファイルを適切に解凍できる。
- ・表計算（Excel・Googleスプレッドシート）で関数を挿入できる。
- ・表計算（Excel・Googleスプレッドシート）でシート操作ができる。

【諸注意】

- ・授業の出席方法等のルールは、必ずKICSオンデマンド授業マニュアルを確認すること。
- ・指定された期日までに授業動画を視聴し、かつ確認テストに満点合格すること。授業動画の視聴と確認テストを満点合格することなく、別途出題される課題を提出あるいはテストを実施した場合は、その回の課題あるいはテストの点数は0点とする。
- ・各授業の課題提出期限はGoogleClassroomで指示する。
- ・出席数、欠席数、欠席届の有無は成績評価（不受を含む）には反映しない。ただし、成績評価は、授業への出席（動画視聴期限までの学習）を前提とした課題提出によって行うため授業への出席は必須である。
- ・第1回、第3回から第9回までの授業で「KBマップ」というアプリを使用する。GoogleClassroomで指示された資料で利用方法を確認し、開講後1週間以内にログインできることを確認すること。
- ・第2回と第10回の授業の復習として、Zoomによる他学部と合同のオンラインディスカッションの機会を提供する。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

本科目の到達目標は次のとおりである。

- [1] DSやAIの現状、概念、方法について必要事項を知っている。
- [2] データの取り扱いについて必要事項を知っている。
- [3] データの留意点について必要事項を知っている。

本科目の修得は、本学が定めるディプロマポリシー3の達成に関与している。

■ 成績評価方法および基準

KBマップ課題（第1回、第3回～第8回） 30%

KBマップ課題+テスト（第9回） 20%
練習課題+演習課題（第10回-第15回） 40%
グループディスカッション（第2回授業時間外、第10回授業時間外） 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

第1回、第3回～第9回課題はKBマップのフィードバック機能によりフィードバックする。
第11回～第15回課題は、誤りが多かった事項について授業期間終了後にGoogleClassroomにコメントを掲載する。
グループディスカッションは、課題として提出されたアンケート内容を取りまとめたレポートを開示する。

■ 教科書

教科書はなし。適宜授業資料を配布する。

■ 参考文献

[ISBN]9784065238097 『教養としてのデータサイエンス (データサイエンス入門シリーズ)』 (北川 源四郎, 講談社 : 2021)

■ 関連科目

各学部のデータサイエンスあるいはAIを取り扱った科目

■ 授業評価アンケート実施方法

学部の定めるとおり実施する。

■ 研究室・メールアドレス

nttls_21@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

別途Zoomによる質問対応時間を設ける（詳細はGoogleClassroomに掲示）。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 データ駆動型社会（担当：山元 翔）（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業計画、KICSオンデマンド受講案内、GoogleClassroomの資料をすべて読み込むこと。

予習時間：90分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・IoT、ビッグデータ、AI、ロボット、仮想現実（VR）、拡張現実（AR）
- ・第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会
- ・現代社会におけるデータ科学（DS）と人工知能（AI）への期待と課題
- ・人間の知的活動とAIの関係性
- ・データ・AI活用領域の広がり(生産、消費、文化活動など)
- ・今のAIで出来ることと出来ないこと、AIとビッグデータ
- ・自動化技術
- ・研究開発、調達、製造、物流、販売、マーケティング、サービスなど

第2回 DS・AI活用社会（担当：山元 翔）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第1回授業の内容、難易度を踏まえ、受講計画を作成すること（毎週同じ時間帯に学習時間を確保することを推奨する）。

予習時間：60分

復習内容：第2回の授業内容に関係するグループディスカッションに参加すること（グループディスカッション用事前課題、事後課題あり）。

復習時間：180分

- ・流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等におけるデータ・AI活用事例紹介
- ・仮説検証、知識発見、原因究明、計画策定、判断支援、活動代替、新規生成など

第3回 DS・AI利活用（担当：山元 翔）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第3回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・AI等を活用した新しいビジネスモデル
- ・AI最新技術の活用例
- ・人工知能、データ科学のビジネス機会
- ・人工知能、データ科学の社会的課題
- ・データを起点としたものの見方、人間の知的活動を起点としたものの見方

第4回 様々なデータ表現 (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第4回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・2進数, 16進数
- ・数値, 文字, 画像, 音声
- ・1次データ, 2次データ, メタデータ, アノテーション
- ・構造化データ, 非構造化データ
- ・非構造化データ処理：言語処理, 画像/動画処理, 音声/音楽処理など
- ・オープンデータ

第5回 データの利活用と注意 (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第5回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・データサイエンスのサイクル
- ・個人の不健全な状況の回避：ネット依存症, ゲーム中毒, テクノストレス等
- ・被害者・加害者にならないための知識, なったときの対応, 誹謗中傷・炎上, ネットいじめ
- ・適切な対象が適切に情報を取得できること：情報格差, アクセシビリティ
- ・プライバシー

第6回 社会におけるデータの取り扱い - 個々人の注意 - (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第6回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：120分

- ・情報の信頼性の判断, デマ・流言, メディアリテラシー
- ・社会としての危機管理：システムダウンによる影響範囲の把握と対応
- ・ELSI (Ethical, Legal and Social Issues)
- ・データ・AI活用における負の事例紹介
- ・データ倫理：データのねつ造, 改ざん, 盗用, プライバシー保護
- ・AI社会原則 (公平性, 説明責任, 透明性, 人間中心の判断)
- ・データバイアス, アルゴリズムバイアス
- ・AIサービスの責任論

第7回 社会におけるデータの取り扱い - 社会全体の注意 - (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第7回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：120分

- ・知的財産権：著作権と産業財産権, 著作権, 創作とライセンス表示, 国際化 (ベルヌ条約)
- ・肖像権・パブリシティ権
- ・個人情報保護：個人情報 (個人識別符号の説明を含む), 匿名加工情報, 自己情報コントロール権, OECD プライバシーガイドライン, EU 法 (保護規則) と忘れられる権利, オプトアウト

第8回 データを守る上での留意事項 (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第8回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：120分

- ・情報セキュリティ：機密性, 完全性, 可用性
- ・匿名加工情報, 暗号化, パスワード, 悪意ある情報搾取
- ・情報漏洩等によるセキュリティ事故の事例紹介

第9回 AI・データ利活用の基礎知識 (テスト課題) (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第1回から第8回までの授業内容を復習し, 未提出のKBマップ課題があればすべて完成して提出しておくこと。

予習時間：120分

復習内容：理解が不十分だった学習項目について確認しておくこと。

復習時間：90分

これまでの内容を踏まえて、今後DSの考え方にに基づきAIを利活用する上での基礎知識が身についたかを確認するテストを実施する。

第10回 データを集める（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：Excel、Googleスプレッドシートの基本操作を確認しておくこと。第10回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：第10回の授業内容に関するグループディスカッションに参加すること（グループディスカッション用事前課題・事後課題あり）。

復習時間：180分

- ・データの種類（量的変数、質的変数）
- ・母集団と標本抽出（国勢調査、アンケート調査、全数調査、単純無作為抽出、層別抽出、多段抽出）
- ・観測データに含まれる誤差の扱い
- ・打ち切りや脱落を含むデータ

第11回 データを扱う（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第11回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データ解析ツール（スプレッドシート）
- ・表形式のデータ（CSV）

第12回 データを操る（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第12回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データの集計（和）
- ・データの並び替え、ランキング

第13回 データを見る（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第13回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データ表現（棒グラフ、折線グラフ、散布図、ヒートマップ）
- ・データの図表表現（チャート化）
- ・不適切なグラフ表現（チャートジャンク、不必要な視覚的要素）
- ・統計情報の正しい理解（誇張表現に惑わされない）
- ・優れた可視化事例の紹介（可視化することによって新たな気づきがあった事例など）

第14回 データを読む（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第14回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データの分布(ヒストグラム)
- ・層別の必要なデータ
- ・代表値（平均値、中央値、最頻値）
- ・代表値の性質の違い（実社会では平均値＝最頻値でないことが多い）
- ・データのばらつき（分散、標準偏差、偏差値）
- ・データの集計（平均）

第15回 データを読み解く（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第15回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・相関と因果（相関係数、擬似相関、交絡）
- ・クロス集計表、分割表、相関係数行列、散布図行列
- ・データの比較（条件をそろえた比較、処理の前後での比較、A/Bテスト）

- ホームページ
- 実践的な教育内容

-

科目名 :	データリテラシー入門【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Introduction to Data Literacy				
担当者 :	川崎 直人				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

本科目では、来るデータ駆動型社会に向けて進展が期待されているDS（Data Science, データ科学）とAI（Artificial Intelligence, 人工知能）に関する基礎的な知識と技能を修得するための授業を実施する。授業では、まず、DSやAIの現状について紹介する。次に、それらを活用するために理解しておくべき概念や方法について説明する。そして、データを適正に利用するために留意すべき点について説明する。最後に、データの取り扱いについて説明するとともに、実際にツールを使った演習を行う。本科目の授業資料は、担当教員とは別の教員が作成している。各回のタイトル欄に作成者を記載する。

【履修の前提条件】

本科目の履修には、下記のスキルが必要となる。パソコン操作に不慣れな学生は、他の基礎科目で十分なスキルを獲得した上で履修すること。オンデマンド授業のためPC操作のサポートは受けられない。

- ・ファイル名の変更・アップロード・ダウンロードがスムーズに行える。
- ・ファイルの拡張子について熟知している。
- ・圧縮ファイルを適切に解凍できる。
- ・表計算（Excel・Googleスプレッドシート）で関数を挿入できる。
- ・表計算（Excel・Googleスプレッドシート）でシート操作ができる。

【諸注意】

- ・授業の出席方法等のルールは、必ずKICSオンデマンド授業マニュアルを確認すること。
- ・指定された期日までに授業動画を視聴し、かつ確認テストに満点合格すること。授業動画の視聴と確認テストを満点合格することなく、別途出題される課題を提出あるいはテストを実施した場合は、その回の課題あるいはテストの点数は0点とする。
- ・各授業の課題提出期限はGoogleClassroomで指示する。
- ・出席数、欠席数、欠席届の有無は成績評価（不受を含む）には反映しない。ただし、成績評価は、授業への出席（動画視聴期限までの学習）を前提とした課題提出によって行うため授業への出席は必須である。
- ・第1回、第3回から第9回までの授業で「KBマップ」というアプリを使用する。GoogleClassroomで指示された資料で利用方法を確認し、開講後1週間以内にログインできることを確認すること。
- ・第2回と第10回の授業の復習として、Zoomによる他学部と合同のオンラインディスカッションの機会を提供する。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

本科目の到達目標は次のとおりである。

- [1] DSやAIの現状、概念、方法について必要事項を知っている。
- [2] データの取り扱いについて必要事項を知っている。
- [3] データの留意点について必要事項を知っている。

本科目の修得は、本学が定めるディプロマポリシー3の達成に関与している。

■ 成績評価方法および基準

KBマップ課題（第1回、第3回～第8回） 30%

KBマップ課題+テスト（第9回） 20%
練習課題+演習課題（第10回-第15回） 40%
グループディスカッション（第2回授業時間外、第10回授業時間外） 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

第1回、第3回～第9回課題はKBマップのフィードバック機能によりフィードバックする。
第11回～第15回課題は、誤りが多かった事項について授業期間終了後にGoogleClassroomにコメントを掲載する。
グループディスカッションは、課題として提出されたアンケート内容を取りまとめたレポートを開示する。

■ 教科書

教科書はなし。適宜授業資料を配布する。

■ 参考文献

[ISBN]9784065238097 『教養としてのデータサイエンス (データサイエンス入門シリーズ)』 (北川 源四郎, 講談社 : 2021)

■ 関連科目

各学部のデータサイエンスあるいはAIを取り扱った科目

■ 授業評価アンケート実施方法

学部の定めるとおり実施する。

■ 研究室・メールアドレス

nttls_21@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

別途Zoomによる質問対応時間を設ける（詳細はGoogleClassroomに掲示）。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 データ駆動型社会（担当：山元 翔）（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業計画、KICSオンデマンド受講案内、GoogleClassroomの資料をすべて読み込むこと。

予習時間：90分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・IoT、ビッグデータ、AI、ロボット、仮想現実（VR）、拡張現実（AR）
- ・第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会
- ・現代社会におけるデータ科学（DS）と人工知能（AI）への期待と課題
- ・人間の知的活動とAIの関係性
- ・データ・AI活用領域の広がり(生産、消費、文化活動など)
- ・今のAIで出来ることと出来ないこと、AIとビッグデータ
- ・自動化技術
- ・研究開発、調達、製造、物流、販売、マーケティング、サービスなど

第2回 DS・AI活用社会（担当：山元 翔）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第1回授業の内容、難易度を踏まえ、受講計画を作成すること（毎週同じ時間帯に学習時間を確保することを推奨する）。

予習時間：60分

復習内容：第2回の授業内容に関係するグループディスカッションに参加すること（グループディスカッション用事前課題、事後課題あり）。

復習時間：180分

- ・流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等におけるデータ・AI活用事例紹介
- ・仮説検証、知識発見、原因究明、計画策定、判断支援、活動代替、新規生成など

第3回 DS・AI利活用（担当：山元 翔）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第3回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・AI等を活用した新しいビジネスモデル
- ・AI最新技術の活用例
- ・人工知能、データ科学のビジネス機会
- ・人工知能、データ科学の社会的課題
- ・データを起点としたものの見方、人間の知的活動を起点としたものの見方

第4回 様々なデータ表現 (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第4回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・2進数, 16進数
- ・数値, 文字, 画像, 音声
- ・1次データ, 2次データ, メタデータ, アノテーション
- ・構造化データ, 非構造化データ
- ・非構造化データ処理：言語処理、画像/動画処理、音声/音楽処理など
- ・オープンデータ

第5回 データの利活用と注意 (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第5回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・データサイエンスのサイクル
- ・個人の不健全な状況の回避：ネット依存症、ゲーム中毒、テクノストレス等
- ・被害者・加害者にならないための知識、なったときの対応、誹謗中傷・炎上、ネットいじめ
- ・適切な対象が適切に情報を取得できること：情報格差、アクセシビリティ
- ・プライバシー

第6回 社会におけるデータの取り扱い - 個々人の注意 - (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第6回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：120分

- ・情報の信頼性の判断、デマ・流言、メディアリテラシー
- ・社会としての危機管理：システムダウンによる影響範囲の把握と対応
- ・ELSI (Ethical, Legal and Social Issues)
- ・データ・AI活用における負の事例紹介
- ・データ倫理：データのねつ造、改ざん、盗用、プライバシー保護
- ・AI社会原則 (公平性、説明責任、透明性、人間中心の判断)
- ・データバイアス、アルゴリズムバイアス
- ・AIサービスの責任論

第7回 社会におけるデータの取り扱い - 社会全体の注意 - (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第7回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：120分

- ・知的財産権：著作権と産業財産権、著作権、創作とライセンス表示、国際化 (ベルヌ条約)
- ・肖像権・パブリシティ権
- ・個人情報保護：個人情報 (個人識別符号の説明を含む)、匿名加工情報、自己情報コントロール権、OECD プライバシーガイドライン、EU 法 (保護規則) と忘れられる権利、オプトアウト

第8回 データを守る上での留意事項 (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第8回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：120分

- ・情報セキュリティ：機密性、完全性、可用性
- ・匿名加工情報、暗号化、パスワード、悪意ある情報搾取
- ・情報漏洩等によるセキュリティ事故の事例紹介

第9回 AI・データ利活用の基礎知識 (テスト課題) (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第1回から第8回までの授業内容を復習し、未提出のKBマップ課題があればすべて完成して提出しておくこと。

予習時間：120分

復習内容：理解が不十分だった学習項目について確認しておくこと。

復習時間：90分

これまでの内容を踏まえて、今後DSの考え方にに基づきAIを利活用する上での基礎知識が身についたかを確認するテストを実施する。

第10回 データを集める（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：Excel、Googleスプレッドシートの基本操作を確認しておくこと。第10回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：第10回の授業内容に関するグループディスカッションに参加すること（グループディスカッション用事前課題・事後課題あり）。

復習時間：180分

- ・データの種類（量的変数、質的変数）
- ・母集団と標本抽出（国勢調査、アンケート調査、全数調査、単純無作為抽出、層別抽出、多段抽出）
- ・観測データに含まれる誤差の扱い
- ・打ち切りや脱落を含むデータ

第11回 データを扱う（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第11回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データ解析ツール（スプレッドシート）
- ・表形式のデータ（CSV）

第12回 データを操る（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第12回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データの集計（和）
- ・データの並び替え、ランキング

第13回 データを見る（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第13回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データ表現（棒グラフ、折線グラフ、散布図、ヒートマップ）
- ・データの図表表現（チャート化）
- ・不適切なグラフ表現（チャートジャンク、不必要な視覚的要素）
- ・統計情報の正しい理解（誇張表現に惑わされない）
- ・優れた可視化事例の紹介（可視化することによって新たな気づきがあった事例など）

第14回 データを読む（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第14回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データの分布(ヒストグラム)
- ・層別の必要なデータ
- ・代表値（平均値、中央値、最頻値）
- ・代表値の性質の違い（実社会では平均値＝最頻値でないことが多い）
- ・データのばらつき（分散、標準偏差、偏差値）
- ・データの集計（平均）

第15回 データを読み解く（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第15回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・相関と因果（相関係数、擬似相関、交絡）
- ・クロス集計表、分割表、相関係数行列、散布図行列
- ・データの比較（条件をそろえた比較、処理の前後での比較、A/Bテスト）

- ホームページ
- 実践的な教育内容

科目名 :	データリテラシー入門【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Introduction to Data Literacy				
担当者 :	八角 聡仁				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

本科目では、来るデータ駆動型社会に向けて進展が期待されているDS（Data Science, データ科学）とAI（Artificial Intelligence, 人工知能）に関する基礎的な知識と技能を修得するための授業を実施する。授業では、まず、DSやAIの現状について紹介する。次に、それらを活用するために理解しておくべき概念や方法について説明する。そして、データを適正に利用するために留意すべき点について説明する。最後に、データの取り扱いについて説明するとともに、実際にツールを使った演習を行う。本科目の授業資料は、担当教員とは別の教員が作成している。各回のタイトル欄に作成者を記載する。

【履修の前提条件】

本科目の履修には、下記のスキルが必要となる。パソコン操作に不慣れな学生は、他の基礎科目で十分なスキルを獲得した上で履修すること。オンデマンド授業のためPC操作のサポートは受けられない。

- ・ファイル名の変更・アップロード・ダウンロードがスムーズに行える。
- ・ファイルの拡張子について熟知している。
- ・圧縮ファイルを適切に解凍できる。
- ・表計算（Excel・Googleスプレッドシート）で関数を挿入できる。
- ・表計算（Excel・Googleスプレッドシート）でシート操作ができる。

【諸注意】

- ・授業の出席方法等のルールは、必ずKICSオンデマンド授業マニュアルを確認すること。
- ・指定された期日までに授業動画を視聴し、かつ確認テストに満点合格すること。授業動画の視聴と確認テストを満点合格することなく、別途出題される課題を提出あるいはテストを実施した場合は、その回の課題あるいはテストの点数は0点とする。
- ・各授業の課題提出期限はGoogleClassroomで指示する。
- ・出席数、欠席数、欠席届の有無は成績評価（不受を含む）には反映しない。ただし、成績評価は、授業への出席（動画視聴期限までの学習）を前提とした課題提出によって行うため授業への出席は必須である。
- ・第1回、第3回から第9回までの授業で「KBマップ」というアプリを使用する。GoogleClassroomで指示された資料で利用方法を確認し、開講後1週間以内にログインできることを確認すること。
- ・第2回と第10回の授業の復習として、Zoomによる他学部と合同のオンラインディスカッションの機会を提供する。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

本科目の到達目標は次のとおりである。

- [1] DSやAIの現状、概念、方法について必要事項を知っている。
- [2] データの取り扱いについて必要事項を知っている。
- [3] データの留意点について必要事項を知っている。

本科目の修得は、本学が定めるディプロマポリシー3の達成に関与している。

■ 成績評価方法および基準

KBマップ課題（第1回、第3回～第8回） 30%

KBマップ課題+テスト（第9回） 20%
練習課題+演習課題（第10回-第15回） 40%
グループディスカッション（第2回授業時間外、第10回授業時間外） 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

第1回、第3回～第9回課題はKBマップのフィードバック機能によりフィードバックする。
第11回～第15回課題は、誤りが多かった事項について授業期間終了後にGoogleClassroomにコメントを掲載する。
グループディスカッションは、課題として提出されたアンケート内容を取りまとめたレポートを開示する。

■ 教科書

教科書はなし。適宜授業資料を配布する。

■ 参考文献

[ISBN]9784065238097 『教養としてのデータサイエンス (データサイエンス入門シリーズ)』（北川 源四郎，講談社：2021）

■ 関連科目

各学部のデータサイエンスあるいはAIを取り扱った科目

■ 授業評価アンケート実施方法

学部の定めるとおり実施する。

■ 研究室・メールアドレス

nttls_21@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

別途Zoomによる質問対応時間を設ける（詳細はGoogleClassroomに掲示）。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 データ駆動型社会（担当：山元 翔）（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業計画、KICSオンデマンド受講案内、GoogleClassroomの資料をすべて読み込むこと。

予習時間：90分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・IoT、ビッグデータ、AI、ロボット、仮想現実（VR）、拡張現実（AR）
- ・第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会
- ・現代社会におけるデータ科学（DS）と人工知能（AI）への期待と課題
- ・人間の知的活動とAIの関係性
- ・データ・AI活用領域の広がり(生産、消費、文化活動など)
- ・今のAIで出来ることと出来ないこと、AIとビッグデータ
- ・自動化技術
- ・研究開発、調達、製造、物流、販売、マーケティング、サービスなど

第2回 DS・AI活用社会（担当：山元 翔）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第1回授業の内容、難易度を踏まえ、受講計画を作成すること（毎週同じ時間帯に学習時間を確保することを推奨する）。

予習時間：60分

復習内容：第2回の授業内容に関係するグループディスカッションに参加すること（グループディスカッション用事前課題、事後課題あり）。

復習時間：180分

- ・流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等におけるデータ・AI活用事例紹介
- ・仮説検証、知識発見、原因究明、計画策定、判断支援、活動代替、新規生成など

第3回 DS・AI利活用（担当：山元 翔）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第3回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・AI等を活用した新しいビジネスモデル
- ・AI最新技術の活用例
- ・人工知能、データ科学のビジネス機会
- ・人工知能、データ科学の社会的課題
- ・データを起点としたものの見方、人間の知的活動を起点としたものの見方

第4回 様々なデータ表現 (担当: 山元 翔) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 第4回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間: 60分

復習内容: KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間: 180分

- ・ 2進数, 16進数
- ・ 数値, 文字, 画像, 音声
- ・ 1次データ, 2次データ, メタデータ, アノテーション
- ・ 構造化データ, 非構造化データ
- ・ 非構造化データ処理: 言語処理, 画像/動画処理, 音声/音楽処理など
- ・ オープンデータ

第5回 データの利活用と注意 (担当: 山元 翔) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 第5回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間: 60分

復習内容: KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間: 180分

- ・ データサイエンスのサイクル
- ・ 個人の不健全な状況の回避: ネット依存症, ゲーム中毒, テクノストレス等
- ・ 被害者・加害者にならないための知識, なったときの対応, 誹謗中傷・炎上, ネットいじめ
- ・ 適切な対象が適切に情報を取得できること: 情報格差, アクセシビリティ
- ・ プライバシー

第6回 社会におけるデータの取り扱い - 個々人の注意 - (担当: 山元 翔) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 第6回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間: 60分

復習内容: KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間: 120分

- ・ 情報の信頼性の判断, デマ・流言, メディアリテラシー
- ・ 社会としての危機管理: システムダウンによる影響範囲の把握と対応
- ・ ELSI (Ethical, Legal and Social Issues)
- ・ データ・AI活用における負の事例紹介
- ・ データ倫理: データのねつ造, 改ざん, 盗用, プライバシー保護
- ・ AI社会原則 (公平性, 説明責任, 透明性, 人間中心の判断)
- ・ データバイアス, アルゴリズムバイアス
- ・ AIサービスの責任論

第7回 社会におけるデータの取り扱い - 社会全体の注意 - (担当: 山元 翔) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 第7回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間: 60分

復習内容: KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間: 120分

- ・ 知的財産権: 著作権と産業財産権, 著作権, 創作とライセンス表示, 国際化 (ベルヌ条約)
- ・ 肖像権・パブリシティ権
- ・ 個人情報保護: 個人情報 (個人識別符号の説明を含む), 匿名加工情報, 自己情報コントロール権, OECD プライバシーガイドライン, EU 法 (保護規則) と忘れられる権利, オプトアウト

第8回 データを守る上での留意事項 (担当: 山元 翔) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 第8回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間: 60分

復習内容: KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間: 120分

- ・ 情報セキュリティ: 機密性, 完全性, 可用性
- ・ 匿名加工情報, 暗号化, パスワード, 悪意ある情報搾取
- ・ 情報漏洩等によるセキュリティ事故の事例紹介

第9回 AI・データ利活用の基礎知識 (テスト課題) (担当: 山元 翔) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 第1回から第8回までの授業内容を復習し, 未提出のKBマップ課題があればすべて完成して提出しておくこと。

予習時間: 120分

復習内容: 理解が不十分だった学習項目について確認しておくこと。

復習時間: 90分

これまでの内容を踏まえて、今後DSの考え方にに基づきAIを利活用する上での基礎知識が身についたかを確認するテストを実施する。

第10回 データを集める（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：Excel、Googleスプレッドシートの基本操作を確認しておくこと。第10回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：第10回の授業内容に関するグループディスカッションに参加すること（グループディスカッション用事前課題・事後課題あり）。

復習時間：180分

- ・データの種類（量的変数、質的変数）
- ・母集団と標本抽出（国勢調査、アンケート調査、全数調査、単純無作為抽出、層別抽出、多段抽出）
- ・観測データに含まれる誤差の扱い
- ・打ち切りや脱落を含むデータ

第11回 データを扱う（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第11回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データ解析ツール（スプレッドシート）
- ・表形式のデータ（CSV）

第12回 データを操る（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第12回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データの集計（和）
- ・データの並び替え、ランキング

第13回 データを見る（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第13回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データ表現（棒グラフ、折線グラフ、散布図、ヒートマップ）
- ・データの図表表現（チャート化）
- ・不適切なグラフ表現（チャートジャンク、不必要な視覚的要素）
- ・統計情報の正しい理解（誇張表現に惑わされない）
- ・優れた可視化事例の紹介（可視化することによって新たな気づきがあった事例など）

第14回 データを読む（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第14回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データの分布(ヒストグラム)
- ・層別の必要なデータ
- ・代表値（平均値、中央値、最頻値）
- ・代表値の性質の違い（実社会では平均値＝最頻値でないことが多い）
- ・データのばらつき（分散、標準偏差、偏差値）
- ・データの集計（平均）

第15回 データを読み解く（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第15回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・相関と因果（相関係数、擬似相関、交絡）
- ・クロス集計表、分割表、相関係数行列、散布図行列
- ・データの比較（条件をそろえた比較、処理の前後での比較、A/Bテスト）

- ホームページ
- 実践的な教育内容

-

科目名 :	データリテラシー入門【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Introduction to Data Literacy				
担当者 :	保本 正芳				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

本科目では、来るデータ駆動型社会に向けて進展が期待されているDS（Data Science, データ科学）とAI（Artificial Intelligence, 人工知能）に関する基礎的な知識と技能を修得するための授業を実施する。授業では、まず、DSやAIの現状について紹介する。次に、それらを活用するために理解しておくべき概念や方法について説明する。そして、データを適正に利用するために留意すべき点について説明する。最後に、データの取り扱いについて説明するとともに、実際にツールを使った演習を行う。本科目の授業資料は、担当教員とは別の教員が作成している。各回のタイトル欄に作成者を記載する。

【履修の前提条件】

本科目の履修には、下記のスキルが必要となる。パソコン操作に不慣れな学生は、他の基礎科目で十分なスキルを獲得した上で履修すること。オンデマンド授業のためPC操作のサポートは受けられない。

- ・ファイル名の変更・アップロード・ダウンロードがスムーズに行える。
- ・ファイルの拡張子について熟知している。
- ・圧縮ファイルを適切に解凍できる。
- ・表計算（Excel・Googleスプレッドシート）で関数を挿入できる。
- ・表計算（Excel・Googleスプレッドシート）でシート操作ができる。

【諸注意】

- ・授業の出席方法等のルールは、必ずKICSオンデマンド授業マニュアルを確認すること。
- ・指定された期日までに授業動画を視聴し、かつ確認テストに満点合格すること。授業動画の視聴と確認テストを満点合格することなく、別途出題される課題を提出あるいはテストを実施した場合は、その回の課題あるいはテストの点数は0点とする。
- ・各授業の課題提出期限はGoogleClassroomで指示する。
- ・出席数、欠席数、欠席届の有無は成績評価（不受を含む）には反映しない。ただし、成績評価は、授業への出席（動画視聴期限までの学習）を前提とした課題提出によって行うため授業への出席は必須である。
- ・第1回、第3回から第9回までの授業で「KBマップ」というアプリを使用する。GoogleClassroomで指示された資料で利用方法を確認し、開講後1週間以内にログインできることを確認すること。
- ・第2回と第10回の授業の復習として、Zoomによる他学部と合同のオンラインディスカッションの機会を提供する。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

本科目の到達目標は次のとおりである。

- [1] DSやAIの現状、概念、方法について必要事項を知っている。
- [2] データの取り扱いについて必要事項を知っている。
- [3] データの留意点について必要事項を知っている。

本科目の修得は、本学が定めるディプロマポリシー3の達成に関与している。

■ 成績評価方法および基準

KBマップ課題（第1回、第3回～第8回） 30%

KBマップ課題+テスト（第9回） 20%
練習課題+演習課題（第10回-第15回） 40%
グループディスカッション（第2回授業時間外、第10回授業時間外） 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

第1回、第3回～第9回課題はKBマップのフィードバック機能によりフィードバックする。
第11回～第15回課題は、誤りが多かった事項について授業期間終了後にGoogleClassroomにコメントを掲載する。
グループディスカッションは、課題として提出されたアンケート内容を取りまとめたレポートを開示する。

■ 教科書

教科書はなし。適宜授業資料を配布する。

■ 参考文献

[ISBN]9784065238097 『教養としてのデータサイエンス (データサイエンス入門シリーズ)』（北川 源四郎, 講談社：2021)

■ 関連科目

各学部のデータサイエンスあるいはAIを取り扱った科目

■ 授業評価アンケート実施方法

学部の定めるとおり実施する。

■ 研究室・メールアドレス

nttls_21@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

別途Zoomによる質問対応時間を設ける（詳細はGoogleClassroomに掲示）。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 データ駆動型社会（担当：山元 翔）（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業計画、KICSオンデマンド受講案内、GoogleClassroomの資料をすべて読み込むこと。

予習時間：90分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・IoT、ビッグデータ、AI、ロボット、仮想現実（VR）、拡張現実（AR）
- ・第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会
- ・現代社会におけるデータ科学（DS）と人工知能（AI）への期待と課題
- ・人間の知的活動とAIの関係性
- ・データ・AI活用領域の広がり(生産、消費、文化活動など)
- ・今のAIで出来ることと出来ないこと、AIとビッグデータ
- ・自動化技術
- ・研究開発、調達、製造、物流、販売、マーケティング、サービスなど

第2回 DS・AI活用社会（担当：山元 翔）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第1回授業の内容、難易度を踏まえ、受講計画を作成すること（毎週同じ時間帯に学習時間を確保することを推奨する）。

予習時間：60分

復習内容：第2回の授業内容に関係するグループディスカッションに参加すること（グループディスカッション用事前課題、事後課題あり）。

復習時間：180分

- ・流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等におけるデータ・AI活用事例紹介
- ・仮説検証、知識発見、原因究明、計画策定、判断支援、活動代替、新規生成など

第3回 DS・AI利活用（担当：山元 翔）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第3回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・AI等を活用した新しいビジネスモデル
- ・AI最新技術の活用例
- ・人工知能、データ科学のビジネス機会
- ・人工知能、データ科学の社会的課題
- ・データを起点としたものの見方、人間の知的活動を起点としたものの見方

第4回 様々なデータ表現 (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第4回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・2進数, 16進数
- ・数値, 文字, 画像, 音声
- ・1次データ, 2次データ, メタデータ, アノテーション
- ・構造化データ, 非構造化データ
- ・非構造化データ処理：言語処理, 画像/動画処理, 音声/音楽処理など
- ・オープンデータ

第5回 データの利活用と注意 (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第5回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・データサイエンスのサイクル
- ・個人の不健全な状況の回避：ネット依存症, ゲーム中毒, テクノストレス等
- ・被害者・加害者にならないための知識, なったときの対応, 誹謗中傷・炎上, ネットいじめ
- ・適切な対象が適切に情報を取得できること：情報格差, アクセシビリティ
- ・プライバシー

第6回 社会におけるデータの取り扱い - 個々人の注意 - (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第6回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：120分

- ・情報の信頼性の判断, デマ・流言, メディアリテラシー
- ・社会としての危機管理：システムダウンによる影響範囲の把握と対応
- ・ELSI (Ethical, Legal and Social Issues)
- ・データ・AI活用における負の事例紹介
- ・データ倫理：データのねつ造, 改ざん, 盗用, プライバシー保護
- ・AI社会原則 (公平性, 説明責任, 透明性, 人間中心の判断)
- ・データバイアス, アルゴリズムバイアス
- ・AIサービスの責任論

第7回 社会におけるデータの取り扱い - 社会全体の注意 - (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第7回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：120分

- ・知的財産権：著作権と産業財産権, 著作権, 創作とライセンス表示, 国際化 (ベルヌ条約)
- ・肖像権・パブリシティ権
- ・個人情報保護：個人情報 (個人識別符号の説明を含む), 匿名加工情報, 自己情報コントロール権, OECD プライバシーガイドライン, EU 法 (保護規則) と忘れられる権利, オプトアウト

第8回 データを守る上での留意事項 (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第8回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：120分

- ・情報セキュリティ：機密性, 完全性, 可用性
- ・匿名加工情報, 暗号化, パスワード, 悪意ある情報搾取
- ・情報漏洩等によるセキュリティ事故の事例紹介

第9回 AI・データ利活用の基礎知識 (テスト課題) (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第1回から第8回までの授業内容を復習し, 未提出のKBマップ課題があればすべて完成して提出しておくこと。

予習時間：120分

復習内容：理解が不十分だった学習項目について確認しておくこと。

復習時間：90分

これまでの内容を踏まえて、今後DSの考え方にに基づきAIを利活用する上での基礎知識が身についたかを確認するテストを実施する。

第10回 データを集める (担当：溝渕 昭二) (授業形式：講義および演習)

予習内容：Excel、Googleスプレッドシートの基本操作を確認しておくこと。第10回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：第10回の授業内容に関係するグループディスカッションに参加すること（グループディスカッション用事前課題・事後課題あり）。

復習時間：180分

- ・データの種類（量的変数、質的変数）
- ・母集団と標本抽出（国勢調査、アンケート調査、全数調査、単純無作為抽出、層別抽出、多段抽出）
- ・観測データに含まれる誤差の扱い
- ・打ち切りや脱落を含むデータ

第11回 データを扱う (担当：溝渕 昭二) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第11回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データ解析ツール（スプレッドシート）
- ・表形式のデータ（CSV）

第12回 データを操る (担当：溝渕 昭二) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第12回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データの集計（和）
- ・データの並び替え、ランキング

第13回 データを見る (担当：溝渕 昭二) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第13回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データ表現（棒グラフ、折線グラフ、散布図、ヒートマップ）
- ・データの図表表現（チャート化）
- ・不適切なグラフ表現（チャートジャンク、不必要な視覚的要素）
- ・統計情報の正しい理解（誇張表現に惑わされない）
- ・優れた可視化事例の紹介（可視化することによって新たな気づきがあった事例など）

第14回 データを読む (担当：溝渕 昭二) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第14回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データの分布(ヒストグラム)
- ・層別の必要なデータ
- ・代表値（平均値、中央値、最頻値）
- ・代表値の性質の違い（実社会では平均値＝最頻値でないことが多い）
- ・データのばらつき（分散、標準偏差、偏差値）
- ・データの集計（平均）

第15回 データを読み解く (担当：溝渕 昭二) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第15回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・相関と因果（相関係数、擬似相関、交絡）
- ・クロス集計表、分割表、相関係数行列、散布図行列
- ・データの比較（条件をそろえた比較、処理の前後での比較、A/Bテスト）

■ ホームページ

■ 実践的な教育内容

-

科目名 :	データリテラシー入門【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Introduction to Data Literacy				
担当者 :	金澤 雄介				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

本科目では、来るデータ駆動型社会に向けて進展が期待されているDS（Data Science, データ科学）とAI（Artificial Intelligence, 人工知能）に関する基礎的な知識と技能を修得するための授業を実施する。授業では、まず、DSやAIの現状について紹介する。次に、それらを活用するために理解しておくべき概念や方法について説明する。そして、データを適正に利用するために留意すべき点について説明する。最後に、データの取り扱いについて説明するとともに、実際にツールを使った演習を行う。本科目の授業資料は、担当教員とは別の教員が作成している。各回のタイトル欄に作成者を記載する。

【履修の前提条件】

本科目の履修には、下記のスキルが必要となる。パソコン操作に不慣れな学生は、他の基礎科目で十分なスキルを獲得した上で履修すること。オンデマンド授業のためPC操作のサポートは受けられない。

- ・ファイル名の変更・アップロード・ダウンロードがスムーズに行える。
- ・ファイルの拡張子について熟知している。
- ・圧縮ファイルを適切に解凍できる。
- ・表計算（Excel・Googleスプレッドシート）で関数を挿入できる。
- ・表計算（Excel・Googleスプレッドシート）でシート操作ができる。

【諸注意】

- ・授業の出席方法等のルールは、必ずKICSオンデマンド授業マニュアルを確認すること。
- ・指定された期日までに授業動画を視聴し、かつ確認テストに満点合格すること。授業動画の視聴と確認テストを満点合格することなく、別途出題される課題を提出あるいはテストを実施した場合は、その回の課題あるいはテストの点数は0点とする。
- ・各授業の課題提出期限はGoogleClassroomで指示する。
- ・出席数、欠席数、欠席届の有無は成績評価（不受を含む）には反映しない。ただし、成績評価は、授業への出席（動画視聴期限までの学習）を前提とした課題提出によって行うため授業への出席は必須である。
- ・第1回、第3回から第9回までの授業で「KBマップ」というアプリを使用する。GoogleClassroomで指示された資料で利用方法を確認し、開講後1週間以内にログインできることを確認すること。
- ・第2回と第10回の授業の復習として、Zoomによる他学部と合同のオンラインディスカッションの機会を提供する。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

本科目の到達目標は次のとおりである。

- [1] DSやAIの現状、概念、方法について必要事項を知っている。
- [2] データの取り扱いについて必要事項を知っている。
- [3] データの留意点について必要事項を知っている。

本科目の修得は、本学が定めるディプロマポリシー3の達成に関与している。

■ 成績評価方法および基準

KBマップ課題（第1回、第3回～第8回） 30%

KBマップ課題+テスト（第9回） 20%
練習課題+演習課題（第10回-第15回） 40%
グループディスカッション（第2回授業時間外、第10回授業時間外） 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

第1回、第3回～第9回課題はKBマップのフィードバック機能によりフィードバックする。
第11回～第15回課題は、誤りが多かった事項について授業期間終了後にGoogleClassroomにコメントを掲載する。
グループディスカッションは、課題として提出されたアンケート内容を取りまとめたレポートを開示する。

■ 教科書

教科書はなし。適宜授業資料を配布する。

■ 参考文献

[ISBN]9784065238097 『教養としてのデータサイエンス (データサイエンス入門シリーズ)』 (北川 源四郎, 講談社 : 2021)

■ 関連科目

各学部のデータサイエンスあるいはAIを取り扱った科目

■ 授業評価アンケート実施方法

学部の定めるとおり実施する。

■ 研究室・メールアドレス

nttls_21@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

別途Zoomによる質問対応時間を設ける（詳細はGoogleClassroomに掲示）。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 データ駆動型社会（担当：山元 翔）（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業計画、KICSオンデマンド受講案内、GoogleClassroomの資料をすべて読み込むこと。

予習時間：90分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・IoT、ビッグデータ、AI、ロボット、仮想現実（VR）、拡張現実（AR）
- ・第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会
- ・現代社会におけるデータ科学（DS）と人工知能（AI）への期待と課題
- ・人間の知的活動とAIの関係性
- ・データ・AI活用領域の広がり(生産、消費、文化活動など)
- ・今のAIで出来ることと出来ないこと、AIとビッグデータ
- ・自動化技術
- ・研究開発、調達、製造、物流、販売、マーケティング、サービスなど

第2回 DS・AI活用社会（担当：山元 翔）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第1回授業の内容、難易度を踏まえ、受講計画を作成すること（毎週同じ時間帯に学習時間を確保することを推奨する）。

予習時間：60分

復習内容：第2回の授業内容に関係するグループディスカッションに参加すること（グループディスカッション用事前課題、事後課題あり）。

復習時間：180分

- ・流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等におけるデータ・AI活用事例紹介
- ・仮説検証、知識発見、原因究明、計画策定、判断支援、活動代替、新規生成など

第3回 DS・AI利活用（担当：山元 翔）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第3回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・AI等を活用した新しいビジネスモデル
- ・AI最新技術の活用例
- ・人工知能、データ科学のビジネス機会
- ・人工知能、データ科学の社会的課題
- ・データを起点としたものの見方、人間の知的活動を起点としたものの見方

第4回 様々なデータ表現 (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第4回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・2進数, 16進数
- ・数値, 文字, 画像, 音声
- ・1次データ, 2次データ, メタデータ, アノテーション
- ・構造化データ, 非構造化データ
- ・非構造化データ処理：言語処理, 画像/動画処理, 音声/音楽処理など
- ・オープンデータ

第5回 データの利活用と注意 (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第5回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・データサイエンスのサイクル
- ・個人の不健全な状況の回避：ネット依存症, ゲーム中毒, テクノストレス等
- ・被害者・加害者にならないための知識, なったときの対応, 誹謗中傷・炎上, ネットいじめ
- ・適切な対象が適切に情報を取得できること：情報格差, アクセシビリティ
- ・プライバシー

第6回 社会におけるデータの取り扱い - 個々人の注意 - (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第6回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：120分

- ・情報の信頼性の判断, デマ・流言, メディアリテラシー
- ・社会としての危機管理：システムダウンによる影響範囲の把握と対応
- ・ELSI (Ethical, Legal and Social Issues)
- ・データ・AI活用における負の事例紹介
- ・データ倫理：データのねつ造, 改ざん, 盗用, プライバシー保護
- ・AI社会原則 (公平性, 説明責任, 透明性, 人間中心の判断)
- ・データバイアス, アルゴリズムバイアス
- ・AIサービスの責任論

第7回 社会におけるデータの取り扱い - 社会全体の注意 - (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第7回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：120分

- ・知的財産権：著作権と産業財産権, 著作権, 創作とライセンス表示, 国際化 (ベルヌ条約)
- ・肖像権・パブリシティ権
- ・個人情報保護：個人情報 (個人識別符号の説明を含む), 匿名加工情報, 自己情報コントロール権, OECD プライバシーガイドライン, EU 法 (保護規則) と忘れられる権利, オプトアウト

第8回 データを守る上での留意事項 (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第8回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：120分

- ・情報セキュリティ：機密性, 完全性, 可用性
- ・匿名加工情報, 暗号化, パスワード, 悪意ある情報搾取
- ・情報漏洩等によるセキュリティ事故の事例紹介

第9回 AI・データ利活用の基礎知識 (テスト課題) (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第1回から第8回までの授業内容を復習し, 未提出のKBマップ課題があればすべて完成して提出しておくこと。

予習時間：120分

復習内容：理解が不十分だった学習項目について確認しておくこと。

復習時間：90分

これまでの内容を踏まえて、今後DSの考え方にに基づきAIを利活用する上での基礎知識が身についたかを確認するテストを実施する。

第10回 データを集める（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：Excel、Googleスプレッドシートの基本操作を確認しておくこと。第10回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：第10回の授業内容に関するグループディスカッションに参加すること（グループディスカッション用事前課題・事後課題あり）。

復習時間：180分

- ・データの種類（量的変数、質的変数）
- ・母集団と標本抽出（国勢調査、アンケート調査、全数調査、単純無作為抽出、層別抽出、多段抽出）
- ・観測データに含まれる誤差の扱い
- ・打ち切りや脱落を含むデータ

第11回 データを扱う（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第11回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データ解析ツール（スプレッドシート）
- ・表形式のデータ（CSV）

第12回 データを操る（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第12回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データの集計（和）
- ・データの並び替え、ランキング

第13回 データを見る（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第13回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データ表現（棒グラフ、折線グラフ、散布図、ヒートマップ）
- ・データの図表表現（チャート化）
- ・不適切なグラフ表現（チャートジャンク、不必要な視覚的要素）
- ・統計情報の正しい理解（誇張表現に惑わされない）
- ・優れた可視化事例の紹介（可視化することによって新たな気づきがあった事例など）

第14回 データを読む（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第14回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データの分布(ヒストグラム)
- ・層別の必要なデータ
- ・代表値（平均値、中央値、最頻値）
- ・代表値の性質の違い（実社会では平均値＝最頻値でないことが多い）
- ・データのばらつき（分散、標準偏差、偏差値）
- ・データの集計（平均）

第15回 データを読み解く（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第15回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・相関と因果（相関係数、擬似相関、交絡）
- ・クロス集計表、分割表、相関係数行列、散布図行列
- ・データの比較（条件をそろえた比較、処理の前後での比較、A/Bテスト）

- ホームページ
- 実践的な教育内容

-

科目名 :	データリテラシー入門【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Introduction to Data Literacy				
担当者 :	田邊 義隆				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

本科目では、来るデータ駆動型社会に向けて進展が期待されているDS（Data Science, データ科学）とAI（Artificial Intelligence, 人工知能）に関する基礎的な知識と技能を修得するための授業を実施する。授業では、まず、DSやAIの現状について紹介する。次に、それらを活用するために理解しておくべき概念や方法について説明する。そして、データを適正に利用するために留意すべき点について説明する。最後に、データの取り扱いについて説明するとともに、実際にツールを使った演習を行う。本科目の授業資料は、担当教員とは別の教員が作成している。各回のタイトル欄に作成者を記載する。

【履修の前提条件】

本科目の履修には、下記のスキルが必要となる。パソコン操作に不慣れな学生は、他の基礎科目で十分なスキルを獲得した上で履修すること。オンデマンド授業のためPC操作のサポートは受けられない。

- ・ファイル名の変更・アップロード・ダウンロードがスムーズに行える。
- ・ファイルの拡張子について熟知している。
- ・圧縮ファイルを適切に解凍できる。
- ・表計算（Excel・Googleスプレッドシート）で関数を挿入できる。
- ・表計算（Excel・Googleスプレッドシート）でシート操作ができる。

【諸注意】

- ・授業の出席方法等のルールは、必ずKICSオンデマンド授業マニュアルを確認すること。
- ・指定された期日までに授業動画を視聴し、かつ確認テストに満点合格すること。授業動画の視聴と確認テストを満点合格することなく、別途出題される課題を提出あるいはテストを実施した場合は、その回の課題あるいはテストの点数は0点とする。
- ・各授業の課題提出期限はGoogleClassroomで指示する。
- ・出席数、欠席数、欠席届の有無は成績評価（不受を含む）には反映しない。ただし、成績評価は、授業への出席（動画視聴期限までの学習）を前提とした課題提出によって行うため授業への出席は必須である。
- ・第1回、第3回から第9回までの授業で「KBマップ」というアプリを使用する。GoogleClassroomで指示された資料で利用方法を確認し、開講後1週間以内にログインできることを確認すること。
- ・第2回と第10回の授業の復習として、Zoomによる他学部と合同のオンラインディスカッションの機会を提供する。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

本科目の到達目標は次のとおりである。

- [1] DSやAIの現状、概念、方法について必要事項を知っている。
- [2] データの取り扱いについて必要事項を知っている。
- [3] データの留意点について必要事項を知っている。

本科目の修得は、本学が定めるディプロマポリシー3の達成に関与している。

■ 成績評価方法および基準

KBマップ課題（第1回、第3回～第8回） 30%

KBマップ課題+テスト（第9回） 20%
練習課題+演習課題（第10回-第15回） 40%
グループディスカッション（第2回授業時間外、第10回授業時間外） 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

第1回、第3回～第9回課題はKBマップのフィードバック機能によりフィードバックする。
第11回～第15回課題は、誤りが多かった事項について授業期間終了後にGoogleClassroomにコメントを掲載する。
グループディスカッションは、課題として提出されたアンケート内容を取りまとめたレポートを開示する。

■ 教科書

教科書はなし。適宜授業資料を配布する。

■ 参考文献

[ISBN]9784065238097 『教養としてのデータサイエンス (データサイエンス入門シリーズ)』 (北川 源四郎, 講談社 : 2021)

■ 関連科目

各学部のデータサイエンスあるいはAIを取り扱った科目

■ 授業評価アンケート実施方法

学部の定めるとおり実施する。

■ 研究室・メールアドレス

nttls_21@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

別途Zoomによる質問対応時間を設ける（詳細はGoogleClassroomに掲示）。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 データ駆動型社会（担当：山元 翔）（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業計画、KICSオンデマンド受講案内、GoogleClassroomの資料をすべて読み込むこと。

予習時間：90分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・IoT、ビッグデータ、AI、ロボット、仮想現実（VR）、拡張現実（AR）
- ・第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会
- ・現代社会におけるデータ科学（DS）と人工知能（AI）への期待と課題
- ・人間の知的活動とAIの関係性
- ・データ・AI活用領域の広がり(生産、消費、文化活動など)
- ・今のAIで出来ることと出来ないこと、AIとビッグデータ
- ・自動化技術
- ・研究開発、調達、製造、物流、販売、マーケティング、サービスなど

第2回 DS・AI活用社会（担当：山元 翔）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第1回授業の内容、難易度を踏まえ、受講計画を作成すること（毎週同じ時間帯に学習時間を確保することを推奨する）。

予習時間：60分

復習内容：第2回の授業内容に関係するグループディスカッションに参加すること（グループディスカッション用事前課題、事後課題あり）。

復習時間：180分

- ・流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等におけるデータ・AI活用事例紹介
- ・仮説検証、知識発見、原因究明、計画策定、判断支援、活動代替、新規生成など

第3回 DS・AI利活用（担当：山元 翔）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第3回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・AI等を活用した新しいビジネスモデル
- ・AI最新技術の活用例
- ・人工知能、データ科学のビジネス機会
- ・人工知能、データ科学の社会的課題
- ・データを起点としたものの見方、人間の知的活動を起点としたものの見方

第4回 様々なデータ表現 (担当: 山元 翔) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 第4回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間: 60分

復習内容: KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間: 180分

- ・ 2進数, 16進数
- ・ 数値, 文字, 画像, 音声
- ・ 1次データ, 2次データ, メタデータ, アノテーション
- ・ 構造化データ, 非構造化データ
- ・ 非構造化データ処理: 言語処理, 画像/動画処理, 音声/音楽処理など
- ・ オープンデータ

第5回 データの利活用と注意 (担当: 山元 翔) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 第5回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間: 60分

復習内容: KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間: 180分

- ・ データサイエンスのサイクル
- ・ 個人の不健全な状況の回避: ネット依存症, ゲーム中毒, テクノストレス等
- ・ 被害者・加害者にならないための知識, なったときの対応, 誹謗中傷・炎上, ネットいじめ
- ・ 適切な対象が適切に情報を取得できること: 情報格差, アクセシビリティ
- ・ プライバシー

第6回 社会におけるデータの取り扱い - 個々人の注意 - (担当: 山元 翔) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 第6回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間: 60分

復習内容: KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間: 120分

- ・ 情報の信頼性の判断, デマ・流言, メディアリテラシー
- ・ 社会としての危機管理: システムダウンによる影響範囲の把握と対応
- ・ ELSI (Ethical, Legal and Social Issues)
- ・ データ・AI活用における負の事例紹介
- ・ データ倫理: データのねつ造, 改ざん, 盗用, プライバシー保護
- ・ AI社会原則 (公平性, 説明責任, 透明性, 人間中心の判断)
- ・ データバイアス, アルゴリズムバイアス
- ・ AIサービスの責任論

第7回 社会におけるデータの取り扱い - 社会全体の注意 - (担当: 山元 翔) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 第7回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間: 60分

復習内容: KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間: 120分

- ・ 知的財産権: 著作権と産業財産権, 著作権, 創作とライセンス表示, 国際化 (ベルヌ条約)
- ・ 肖像権・パブリシティ権
- ・ 個人情報保護: 個人情報 (個人識別符号の説明を含む), 匿名加工情報, 自己情報コントロール権, OECD プライバシーガイドライン, EU 法 (保護規則) と忘れられる権利, オプトアウト

第8回 データを守る上での留意事項 (担当: 山元 翔) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 第8回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間: 60分

復習内容: KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間: 120分

- ・ 情報セキュリティ: 機密性, 完全性, 可用性
- ・ 匿名加工情報, 暗号化, パスワード, 悪意ある情報搾取
- ・ 情報漏洩等によるセキュリティ事故の事例紹介

第9回 AI・データ利活用の基礎知識 (テスト課題) (担当: 山元 翔) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 第1回から第8回までの授業内容を復習し, 未提出のKBマップ課題があればすべて完成して提出しておくこと。

予習時間: 120分

復習内容: 理解が不十分だった学習項目について確認しておくこと。

復習時間: 90分

これまでの内容を踏まえて、今後DSの考え方にに基づきAIを利活用する上での基礎知識が身についたかを確認するテストを実施する。

第10回 データを集める（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：Excel、Googleスプレッドシートの基本操作を確認しておくこと。第10回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：第10回の授業内容に関するグループディスカッションに参加すること（グループディスカッション用事前課題・事後課題あり）。

復習時間：180分

- ・データの種類（量的変数、質的変数）
- ・母集団と標本抽出（国勢調査、アンケート調査、全数調査、単純無作為抽出、層別抽出、多段抽出）
- ・観測データに含まれる誤差の扱い
- ・打ち切りや脱落を含むデータ

第11回 データを扱う（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第11回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データ解析ツール（スプレッドシート）
- ・表形式のデータ（CSV）

第12回 データを操る（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第12回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データの集計（和）
- ・データの並び替え、ランキング

第13回 データを見る（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第13回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データ表現（棒グラフ、折線グラフ、散布図、ヒートマップ）
- ・データの図表表現（チャート化）
- ・不適切なグラフ表現（チャートジャンク、不必要な視覚的要素）
- ・統計情報の正しい理解（誇張表現に惑わされない）
- ・優れた可視化事例の紹介（可視化することによって新たな気づきがあった事例など）

第14回 データを読む（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第14回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データの分布(ヒストグラム)
- ・層別の必要なデータ
- ・代表値（平均値、中央値、最頻値）
- ・代表値の性質の違い（実社会では平均値＝最頻値でないことが多い）
- ・データのばらつき（分散、標準偏差、偏差値）
- ・データの集計（平均）

第15回 データを読み解く（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第15回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・相関と因果（相関係数、擬似相関、交絡）
- ・クロス集計表、分割表、相関係数行列、散布図行列
- ・データの比較（条件をそろえた比較、処理の前後での比較、A/Bテスト）

- ホームページ
- 実践的な教育内容

科目名 :	データリテラシー入門【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Introduction to Data Literacy				
担当者 :	鶴田 格				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

本科目では、来るデータ駆動型社会に向けて進展が期待されているDS（Data Science, データ科学）とAI（Artificial Intelligence, 人工知能）に関する基礎的な知識と技能を修得するための授業を実施する。授業では、まず、DSやAIの現状について紹介する。次に、それらを活用するために理解しておくべき概念や方法について説明する。そして、データを適正に利用するために留意すべき点について説明する。最後に、データの取り扱いについて説明するとともに、実際にツールを使った演習を行う。本科目の授業資料は、担当教員とは別の教員が作成している。各回のタイトル欄に作成者を記載する。

【履修の前提条件】

本科目の履修には、下記のスキルが必要となる。パソコン操作に不慣れな学生は、他の基礎科目で十分なスキルを獲得した上で履修すること。オンデマンド授業のためPC操作のサポートは受けられない。

- ・ファイル名の変更・アップロード・ダウンロードがスムーズに行える。
- ・ファイルの拡張子について熟知している。
- ・圧縮ファイルを適切に解凍できる。
- ・表計算（Excel・Googleスプレッドシート）で関数を挿入できる。
- ・表計算（Excel・Googleスプレッドシート）でシート操作ができる。

【諸注意】

- ・授業の出席方法等のルールは、必ずKICSオンデマンド授業マニュアルを確認すること。
- ・指定された期日までに授業動画を視聴し、かつ確認テストに満点合格すること。授業動画の視聴と確認テストを満点合格することなく、別途出題される課題を提出あるいはテストを実施した場合は、その回の課題あるいはテストの点数は0点とする。
- ・各授業の課題提出期限はGoogleClassroomで指示する。
- ・出席数、欠席数、欠席届の有無は成績評価（不受を含む）には反映しない。ただし、成績評価は、授業への出席（動画視聴期限までの学習）を前提とした課題提出によって行うため授業への出席は必須である。
- ・第1回、第3回から第9回までの授業で「KBマップ」というアプリを使用する。GoogleClassroomで指示された資料で利用方法を確認し、開講後1週間以内にログインできることを確認すること。
- ・第2回と第10回の授業の復習として、Zoomによる他学部と合同のオンラインディスカッションの機会を提供する。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

本科目の到達目標は次のとおりである。

- [1] DSやAIの現状、概念、方法について必要事項を知っている。
- [2] データの取り扱いについて必要事項を知っている。
- [3] データの留意点について必要事項を知っている。

本科目の修得は、本学が定めるディプロマポリシー3の達成に関与している。

■ 成績評価方法および基準

KBマップ課題（第1回、第3回～第8回） 30%

KBマップ課題+テスト（第9回） 20%
練習課題+演習課題（第10回-第15回） 40%
グループディスカッション（第2回授業時間外、第10回授業時間外） 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

第1回、第3回～第9回課題はKBマップのフィードバック機能によりフィードバックする。
第11回～第15回課題は、誤りが多かった事項について授業期間終了後にGoogleClassroomにコメントを掲載する。
グループディスカッションは、課題として提出されたアンケート内容を取りまとめたレポートを開示する。

■ 教科書

教科書はなし。適宜授業資料を配布する。

■ 参考文献

[ISBN]9784065238097 『教養としてのデータサイエンス (データサイエンス入門シリーズ)』 (北川 源四郎, 講談社 : 2021)

■ 関連科目

各学部のデータサイエンスあるいはAIを取り扱った科目

■ 授業評価アンケート実施方法

学部の定めるとおり実施する。

■ 研究室・メールアドレス

nttts_21@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

別途Zoomによる質問対応時間を設ける（詳細はGoogleClassroomに掲示）。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 データ駆動型社会（担当：山元 翔）（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業計画、KICSオンデマンド受講案内、GoogleClassroomの資料をすべて読み込むこと。

予習時間：90分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・IoT、ビッグデータ、AI、ロボット、仮想現実（VR）、拡張現実（AR）
- ・第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会
- ・現代社会におけるデータ科学（DS）と人工知能（AI）への期待と課題
- ・人間の知的活動とAIの関係性
- ・データ・AI活用領域の広がり(生産、消費、文化活動など)
- ・今のAIで出来ることと出来ないこと、AIとビッグデータ
- ・自動化技術
- ・研究開発、調達、製造、物流、販売、マーケティング、サービスなど

第2回 DS・AI活用社会（担当：山元 翔）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第1回授業の内容、難易度を踏まえ、受講計画を作成すること（毎週同じ時間帯に学習時間を確保することを推奨する）。

予習時間：60分

復習内容：第2回の授業内容に関係するグループディスカッションに参加すること（グループディスカッション用事前課題、事後課題あり）。

復習時間：180分

- ・流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等におけるデータ・AI活用事例紹介
- ・仮説検証、知識発見、原因究明、計画策定、判断支援、活動代替、新規生成など

第3回 DS・AI利活用（担当：山元 翔）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第3回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・AI等を活用した新しいビジネスモデル
- ・AI最新技術の活用例
- ・人工知能、データ科学のビジネス機会
- ・人工知能、データ科学の社会的課題
- ・データを起点としたものの見方、人間の知的活動を起点としたものの見方

第4回 様々なデータ表現 (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第4回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・2進数, 16進数
- ・数値, 文字, 画像, 音声
- ・1次データ, 2次データ, メタデータ, アノテーション
- ・構造化データ, 非構造化データ
- ・非構造化データ処理：言語処理, 画像/動画処理, 音声/音楽処理など
- ・オープンデータ

第5回 データの利活用と注意 (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第5回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・データサイエンスのサイクル
- ・個人の不健全な状況の回避：ネット依存症, ゲーム中毒, テクノストレス等
- ・被害者・加害者にならないための知識, なったときの対応, 誹謗中傷・炎上, ネットいじめ
- ・適切な対象が適切に情報を取得できること：情報格差, アクセシビリティ
- ・プライバシー

第6回 社会におけるデータの取り扱い - 個々人の注意 - (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第6回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：120分

- ・情報の信頼性の判断, デマ・流言, メディアリテラシー
- ・社会としての危機管理：システムダウンによる影響範囲の把握と対応
- ・ELSI (Ethical, Legal and Social Issues)
- ・データ・AI活用における負の事例紹介
- ・データ倫理：データのねつ造, 改ざん, 盗用, プライバシー保護
- ・AI社会原則 (公平性, 説明責任, 透明性, 人間中心の判断)
- ・データバイアス, アルゴリズムバイアス
- ・AIサービスの責任論

第7回 社会におけるデータの取り扱い - 社会全体の注意 - (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第7回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：120分

- ・知的財産権：著作権と産業財産権, 著作権, 創作とライセンス表示, 国際化 (ベルヌ条約)
- ・肖像権・パブリシティ権
- ・個人情報保護：個人情報 (個人識別符号の説明を含む), 匿名加工情報, 自己情報コントロール権, OECD プライバシーガイドライン, EU 法 (保護規則) と忘れられる権利, オプトアウト

第8回 データを守る上での留意事項 (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第8回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：120分

- ・情報セキュリティ：機密性, 完全性, 可用性
- ・匿名加工情報, 暗号化, パスワード, 悪意ある情報搾取
- ・情報漏洩等によるセキュリティ事故の事例紹介

第9回 AI・データ利活用の基礎知識 (テスト課題) (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第1回から第8回までの授業内容を復習し, 未提出のKBマップ課題があればすべて完成して提出しておくこと。

予習時間：120分

復習内容：理解が不十分だった学習項目について確認しておくこと。

復習時間：90分

これまでの内容を踏まえて、今後DSの考え方にに基づきAIを利活用する上での基礎知識が身についたかを確認するテストを実施する。

第10回 データを集める（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：Excel、Googleスプレッドシートの基本操作を確認しておくこと。第10回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：第10回の授業内容に関係するグループディスカッションに参加すること（グループディスカッション用事前課題・事後課題あり）。

復習時間：180分

- ・データの種類（量的変数、質的変数）
- ・母集団と標本抽出（国勢調査、アンケート調査、全数調査、単純無作為抽出、層別抽出、多段抽出）
- ・観測データに含まれる誤差の扱い
- ・打ち切りや脱落を含むデータ

第11回 データを扱う（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第11回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データ解析ツール（スプレッドシート）
- ・表形式のデータ（CSV）

第12回 データを操る（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第12回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データの集計（和）
- ・データの並び替え、ランキング

第13回 データを見る（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第13回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データ表現（棒グラフ、折線グラフ、散布図、ヒートマップ）
- ・データの図表表現（チャート化）
- ・不適切なグラフ表現（チャートジャンク、不必要な視覚的要素）
- ・統計情報の正しい理解（誇張表現に惑わされない）
- ・優れた可視化事例の紹介（可視化することによって新たな気づきがあった事例など）

第14回 データを読む（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第14回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データの分布(ヒストグラム)
- ・層別の必要なデータ
- ・代表値（平均値、中央値、最頻値）
- ・代表値の性質の違い（実社会では平均値＝最頻値でないことが多い）
- ・データのばらつき（分散、標準偏差、偏差値）
- ・データの集計（平均）

第15回 データを読み解く（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第15回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・相関と因果（相関係数、擬似相関、交絡）
- ・クロス集計表、分割表、相関係数行列、散布図行列
- ・データの比較（条件をそろえた比較、処理の前後での比較、A/Bテスト）

- ホームページ
- 実践的な教育内容

-

科目名 :	現代の社会論【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Modern Synousiacs				
担当者 :	有田 亘				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	前期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

本講義は、総合社会学部・社会マスメディア系専攻の教員等がオムニバス形式で社会学やマスメディア論といった各教員の専門領域から「現代の社会」を論じます。この授業を通じて、社会学やマスメディア論といった視点から現代の社会の「とらえ方」を学ぶことを目的とします。

本講義は「オンデマンド型」（録画配信）により行います。

※この授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。各回の作成者は授業計画の内容に記載のとおりです。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

以下の3つを目標とします。

1. 社会学の視点から現代の社会における諸問題・課題をとらえ、考えることができる。
2. マスメディア論の視点から現代の社会における諸問題・課題をとらえ、考えることができる。
3. 社会学、マスメディア論双方の視点から、これからの社会のあり方を考えることができる。

■ 成績評価方法および基準

課題レポート（2回） 60%

ディスカッション（2回） 10%

学期末レポート（1回） 30%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

レポート課題の提出締切後に「レポート課題の要点と解説」を Google Classroom に掲載します。

■ 教科書

授業中に適時紹介します。

■ 参考文献

授業中に適時紹介します。

■ 関連科目

-

■ 授業評価アンケート実施方法

本学の規程に準拠して実施します。

■ 研究室・メールアドレス

wataru.arita@lac.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

非常勤講師ですので、学内に研究室はありません。授業の機会やメールにて随時対応いたします。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 現代における世俗化と宗教―「スカーフ」論争に着目して（安達 智史）（授業形式：講義および演習）

予習内容：今回扱うトピックに関して自己学習をする。

予習時間：60分

復習内容：シンキングタイムの考察をしたり、動画を見返すことで復習する。

復習時間：60分

概要 本講義では、「現代社会における世俗化と宗教の関係」をめぐる理解を深めることを目的としている。そのため、「文明の衝突」「イスラモフォビア」「スカーフ論争」といった、今日の西洋社会におけるイスラームをめぐる問題について議論をおこなう。具体的には、女性たち自身の「声」に基づきつつ、女性ムスリム（＝イスラーム教徒）のスカーフ着用／未着用の意味について解説する。そこから、現代西洋社会のムスリムの若者が、世俗的空間にいかに対応しているのかについて論じる。以上を通じて、「ポスト世俗化」と呼ばれる、グローバル社会化に求められる新たな社会認識についての理解を促す。

セクション1 世俗化、宗教、スカーフ論争

セクション概要 本講義全体のテーマである「世俗化」と「宗教」をめぐる問題について理解を共有する。具体的には、ムスリム女性が着用するヒジャブをめぐる問題（＝スカーフ論争）に焦点を合わせながら、近代西洋社会においてムスリムがいかに対応されているのかを説明する。

セクション2 多文化社会イギリスとムスリム

セクション概要 本講義の対象となる、「多文化社会」イギリスの現状について説明する。

セクション3 ヒジャブ「着用」の意味

セクション概要 ムスリム女性のスカーフ着用が、彼女たち自身から、どのように説明されているのかを議論する。それにより、西洋近代とイスラームが、いかに両立しているのかを解説する。

セクション4 ヒジャブ「未着用」の意味

セクション概要 スカーフを着用しないことが、イスラームのなかでいかに正当化されているのかを説明する。そこから全体をまとめ、「ポスト世俗化」という新たな認識枠組みの重要性を解説する。

第2回 移民から見る現代社会（岡野 英之）（授業形式：講義および演習）

予習内容：今回扱うトピックに関して自己学習をする。

予習時間：60分

復習内容：シンキングタイムの考察をしたり、動画を見返すことで復習する。

復習時間：60分

概要 日本における「移民問題」として外国人労働者を考える。

セクション1 国際的には「移民」はどのように定義されているのか。

セクション概要 移民とは、どのような人々のことか。国際的な定義を考える。

セクション2 日本ではどのような外国人が暮らしているのか。

セクション概要 日本ではどのような外国人が暮らしているのか。

セクション3 日本はどのように労働力を確保しているのか。「技術実習」「留学」、日系ブラジル人

セクション概要 日本はどのように労働力を確保しているのか。

第3回 「アニメ聖地巡礼」「ゾンビ」を研究し、そこから得られた成果を活かして「VRコンテンツ」を作成している件（岡本 健）（授業形式：講義および演習）

予習内容：今回扱うトピックに関して自己学習をする。

予習時間：60分

復習内容：シンキングタイムの考察をしたり、動画を見返すことで復習する。

復習時間：60分

概要 自分が興味のある現代文化や現代社会における現象を学術的に研究することの面白さと、そこから得られた成果を応用して実践する例を示します。

セクション1 コンテンツツーリズム研究（アニメ聖地巡礼）

セクション概要 社会現象を調査する方法やそこから得られる成果を学ぶ

セクション2 メディア・コンテンツ研究（ゾンビ）

セクション概要 メディア・コンテンツを分析する方法やそこから得られる成果を学ぶ

セクション3 コンテンツを創って社会に作用する実学

セクション概要 研究した成果を実践に活かす試みから「実学」について学ぶ

第4回 国際ジャーナリズムに近づく（金井 啓子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：今回扱うトピックに関して自己学習をする。

予習時間：60分

復習内容：シンキングタイムの考察をしたり、動画を見返すことで復習する。

復習時間：60分

概要 ジャーナリズムとは何なのでしょう。なぜ必要なのでしょう。情報はどうすればより効果的に伝わるのでしょうか。

外資系の通信社で記者・エディター・ニュース翻訳者を務めた経験を持つ担当者がお話をします。

セクション1 常識を疑う

セクション概要 「私の常識=皆の常識」なのか？自分が当たり前だと思っていることが、日本国内や海外でどのくらい通用するのか、実例を挙げながら確認していきます。

セクション2 効果的に情報発信するには

セクション概要 どうすれば自分が発信したい情報を受け取ってほしい相手に受信してもらえるのか？情報発信をするにあたって知っておくべきことを、ジャーナリズムを参考にしながら学んでいきます。

セクション3 海外に目を向ける

セクション概要 海外に興味を持ったり外国語を学ぶと、どのようなメリットがあるのかということ、実生活に結び付けながら考えていきます。

第5回 家族の社会学（齋藤 暁子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：今回扱うトピックに関して自己学習をする。

予習時間：60分

復習内容：シンキングタイムの考察をしたり、動画を見返すことで復習する。

復習時間：60分

概要 私たちが当たり前と思っている家族について社会学の視点から考えてみる

セクション1 家族とは何か

セクション概要 家族を定義してみよう

セクション2 現代の家族

セクション概要 統計データや先行研究から現代の家族の特徴をとらえる

セクション3 家族へのアプローチ

セクション概要 現代家族のとらえ方を家族社会学の議論から紹介する

第6回 放送について（杉浦 徹）（授業形式：講義および演習）

予習内容：今回扱うトピックに関して自己学習をする。

予習時間：60分

復習内容：シンキングタイムの考察をしたり、動画を見返すことで復習する。

復習時間：60分

概要 放送（テレビ・ラジオ）に関する基礎的な知識を学ぶ

セクション1 日本のテレビの歴史

セクション概要 技術的な発展を中心としたテレビの歴史

セクション2 放送に関わる法律と放送の種類

セクション概要 法的なルールと放送の種類について

セクション3 番組表と視聴率

セクション概要 放送局の番組編成について

セクション4 放送局のビジネス

セクション概要 放送局の収益方法について

セクション5 放送の役割と気をつけるべきこと

セクション概要 放送の役割とコンプライアンス等について

第7回 環境をアートで考える（鈴木 光祐）（授業形式：講義および演習）

予習内容：今回扱うトピックに関して自己学習をする。

予習時間：60分

復習内容：シンキングタイムの考察をしたり、動画を見返すことで復習する。

復習時間：60分

概要 人類の活動が地球の環境を後戻りできないほど攪乱している状況を学び、その中で生きるということについて考える。

セクション1 環境の不可逆性

セクション概要 地球の環境がももにはもどらないことを考える

セクション2 人新世を表現する

セクション概要 人新世を考えるための表現

セクション3 未来のあり方を考える

セクション概要 攪乱された環境の中でモノのあり方を考える

第8回 自由な社会に生きる難しさ（鈴木 伸太郎）（授業形式：講義および演習）

予習内容：今回扱うトピックに関して自己学習をする。

予習時間：60分

復習内容：シンキングタイムの考察をしたり、動画を見返すことで復習する。

復習時間：60分

概要 自由な社会に生きていても、それだけで幸せになるわけではない。むしろ、自由な社会でこそ、それぞれの人が自分の人

生に期待したことが裏切られる機会が増えると言える。私たちはそのような現代風な苦悩について理解を深め、期待が時々裏切られることについて、一種の免疫を手に入れて、上手に対処する術を身につけることが大切である。

セクション1 選択の自由の拡大

セクション概要 誰もが自由を望む。しかし、自由には悩みがつきまとう。例えば1日自由な時間を過ごしていいとなったら、何をやるだろう？個人差はあるが、自由な1日の始まりに際して、さんざん迷ってしまうような人もいる。なぜかと言えば、1つのことをしたら、他のことはできない。楽しいと思ってどこかに出かけても、実は期待通したほど楽しくなかったということもある。そうしたら、1日を無駄にしてしまったことを悔やむ気持ちになる。そういうことにならないようにするにはどうしたらいいのだろうか？休日の過ごし方について言えることは、買い物についても同じように言える。基本的には職業や結婚相手のような重大な選択についても同じように言える。思い通りに選択しても、自分の予想と違うとか、期待通りにならない、などのことはいくらでも起こりうる。「失敗してしまったら困る」と思う分だけ、迷いや悩みが生ずる。自由な社会に生きるには、自由な選択を上手に生かしていく知恵が必要である。

セクション2 期待と現実のギャップ

セクション概要 何かを買ったときに、それが期待通りのものではなかったという経験は誰にでもある。残念だし、お金が無駄になったと思うと辛い気持ちにもなる。どんな選択に際しても、誰もが期待を抱くが、期待通りにならない場合の辛さは、場合によって異なる。期待が当然と思われる度合いに応じて、裏切られるときに苦しくなったり、ネガティブな気持ちに陥ったりする。スマホを買ったら不良品だったという場合などは、怒りが湧いてくる。当然合格すると思って受けた大学が不合格になったときには、大変なショックに見舞われるかもしれない。同じ不合格でも、「記念受験」のつもりなら、期待があまり高くないので、あまり落胆せずに冷静に受け止められるだろう。健康で長生きすることが当然と思っていたのに、若くして健康を害してしまった場合も、健康を損ねた事実にもまして、人生に対する当然の期待が裏切られたことによって、深い悲しみに襲われるだろう。このような怒りや落ち込みや悲しみは、現代社会特有の苦悩である。人生が順調に進んでいると、人生に対する期待が高まるので、それだけ期待通りにいかない場合の落胆が大きくなる。このようなメカニズムをよく認識しているかどうかによって、落胆や苦悩に対する耐性が違ってくる。豊かで自由な社会の中で苦悩を抱えるというのは矛盾するようだが、決してそうではない。豊かで自由であることに伴う苦悩があることをよく認識する必要がある。

セクション3 豊かな社会を生きるスキル

セクション概要 自分に納得の行く選択をするために大事なことは、自分の抱く気持ちにできるだけ敏感になることである。理詰めで考えただけでは、決断は難しい。自分の気持ちが決断の後押しをしてくれる。現代では、理詰めを考えることが重視されてしまっているため、「自分は率直に言って何が好きか」ということがすぐに分からなくなっている人も少なくない。自分が好きかどうか、自分に必要なものかそうでないかが曖昧なまま、いろいろな雑多なものを部屋に溜め込んでいる人も多い。豊かな社会に生きる私たちは、基本的な期待を抱いて人生に臨んでいる。その期待が裏切られたときに感じる苦しさについても、現代特有の苦悩の現れとして冷静に受け止める必要がある。そして、自らの期待の高さが苦悩を生んだということを認識する必要がある。他の人とそのことについて話し合ったりすることは、自分の狭い現実の解釈を乗り越えるきっかけにもなるだろう。

第9回 差別が差別を生むメカニズム (辻 電平) (授業形式：講義および演習)

予習内容：今回扱うトピックに関して自己学習をする。

予習時間：60分

復習内容：シンキングタイムの考察をしたり、動画を見返すことで復習する。

復習時間：60分

概要 統計情報に基づいて、特定の人々に不利な扱いがなされることを「統計的差別」という。たとえば、男女別の就業割合の統計を見ると、女性の就業割合は年齢層を問わず男性より低い。そこで、労働者の採用や昇進において、男性を優遇しようとするのは、企業としては合理的な選択かもしれないが、差別でもある。では、このような差別はどのようにして維持されるのだろうか？そのメカニズムを簡単なモデルを構築して考える。そして、モデルから考えられる差別からの出口とは？

セクション1 統計的差別とは何か。労働市場における統計的差別の現状

セクション概要 統計的差別について、その定義と解説を行う。また、例として、労働市場における男女の扱いの違いについて現状を解説する。

セクション2 採用における男女差別のメカニズムを考えるモデル

セクション概要 採用の統計的差別に関するモデルについて説明し、差別が差別を生むメカニズムについて理解する。

セクション3 モデルから考える採用の男女差別からの出口

セクション概要 作成したモデルを使って、どのようにすれば統計的差別が解消できるかを考えていく。

第10回 倫理から現代の社会をみる (西尾 雄志) (授業形式：講義および演習)

予習内容：今回扱うトピックに関して自己学習をする。

予習時間：60分

復習内容：シンキングタイムの考察をしたり、動画を見返すことで復習する。

復習時間：60分

概要 現代社会の特徴のひとつは、グローバル化です。このグローバル社会における倫理のあり方を、公正さをめぐるサルと人間、人間の持つ利他性やボランティアを通して検討します。それにあたり、ケースメソッドの手法を交えて考えるので、みなさんも実際に考えてみてください。

セクション1 公正さをめぐるサルと人間

セクション概要 公正とはなにか？公正さは人間界のみにあるものか？サルは公正さを求めるのか、動物行動学の観察も踏まえて考える。

セクション2 人間は利己的？ 利他的？

セクション概要 人間は利己的か、それとも利他的か？ 人間はどのようなときに利他的に振る舞い、どのようなときに利己的に振る舞うのか。そしてその違いはなにか、進化論的な視点も交えて考える。

セクション3 グローバル時代の倫理のあり方

セクション概要 グローバル時代の倫理のあり方を、愛と仲間とボランティアを通して考える。

第11回 現代の就職・採用試験事情（西口 善則）（授業形式：講義および演習）

予習内容：今回扱うトピックに関して自己学習をする。

予習時間：60分

復習内容：シンキングタイムの考察をしたり、動画を見返すことで復習する。

復習時間：60分

概要 大学卒業と同時に多くの人は就職し、社会人となる。そのために行わなければならないのが就職活動である。近年の就職戦線は年々早期化し、その内容も複雑で様々な選考・試験が導入されている。この就職活動を突破しなければ志望企業には就職できない。そこで、この回ではこの就職戦線の実態を紹介し、効果的な就職活動を行うためには何が必要か。何をすべきかをアドバイス・指導していく。

セクション1 近年の就職戦線

セクション概要 就職戦線の全体像を把握する。①近年の就職状況はどうなっているのか。②就職活動の時期はいつか。③どんな流れになっているのか。

セクション2 採用試験の種類と傾向

セクション概要 採用試験において各社が導入している各種選考・試験を把握する。①エントリーの仕方や書類選考について。②筆記試験の種類とその傾向について。③面接試験の種類とその傾向について。

セクション3 就職活動に向けてすべきこと

セクション概要 就職活動に向けてこれから何をすべきか。各種選考・試験に向けてこれから準備・対策すべきこと、心構えなどを理解する。

第12回 新聞から世の中を見る（二木 一夫）（授業形式：講義および演習）

予習内容：今回扱うトピックに関して自己学習をする。

予習時間：60分

復習内容：シンキングタイムの考察をしたり、動画を見返すことで復習する。

復習時間：60分

概要 世の中に関心を持つための新聞の読み方を知る。

セクション1 その日一番のニュース

セクション概要 手取り早く社会を知るには、新聞の顔の「社説」と「1面コラム」。

セクション2 時代を俯瞰する「鳥の目」

セクション概要 平成がどんな時代かを考えるのに役立つのは特集記事。

セクション3 問題を深掘りする「虫の目」

セクション概要 隠れた問題を掘り起こし読者に知らせるのも新聞の役割。

第13回 有事対応から（松本 行真）（授業形式：講義および演習）

予習内容：今回扱うトピックに関して自己学習をする。

予習時間：60分

復習内容：シンキングタイムの考察をしたり、動画を見返すことで復習する。

復習時間：60分

概要 2011年3月の東日本大震災を事例に、災害等の有事において地域社会がどう対応してきたかをいくつかの視点で考えます。

セクション1 震災前後のいわき市薄磯区

セクション概要 津波被災があった福島県いわき市薄磯区の震災前後の状況を確認します。

セクション2 「まち」のコンセプトを決める

セクション概要 本セクションでは薄磯区の復興まちづくりの過程でどのような活動や問題が生じたのか。区会・復興協議委員会という住民主体の組織への参与観察を通じて確認します。

セクション3 「まち」をつくる

セクション概要 本セクションでは薄磯区のハードの復興がある程度定まった（2015年度）後に生じた諸問題を確認します。

第14回 ことばのデザイン（山本 良二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：今回扱うトピックに関して自己学習をする。

予習時間：60分

復習内容：シンキングタイムの考察をしたり、動画を見返すことで復習する。

復習時間：60分

概要 文章をうまく書ける人、わかりやすく話せる人、そういう人たちは「ことばのデザイン」がじょうずなのだと思えます。この授業では、「キャッチフレーズ」を例にしてことばのデザインについての基本を学びます。

セクション1 ことばをデザインするとは？

セクション概要 その必要性和重要性について

セクション2 その2つのプロセス

セクション概要 「何」を、「どのように」言うか？

セクション3 実例紹介とまとめ

セクション概要 実例をもとに考える

第15回 現代社会における自然と怪奇現象（パトリック・ソフィア・リカフィカ）（授業形式：講義および演習）

予習内容：今回扱うトピックに関して自己学習をする。

予習時間：60分

復習内容：シンキングタイムの考察をしたり、動画を見返すことで復習する。

復習時間：60分

概要 我々人間とその周囲に存在する自然・怪奇現象を理解する思考を身につける講義である。現代国際社会において不可欠である多様な視点、批判的思考、科学的知識、人類・地球・宇宙の関係、人間と自然に関連する知識など高度な能力を身につける。

セクション1 科学の世界

セクション概要 基礎科学をはじめ自然における様々な現象・事象を科学の観点から疑問視し、常識と科学的知識をもって積極的に理解を得る。

セクション2 批判的に考える現代人

セクション概要 科学の知識を生かし疑似科学と非科学も考え、様々な現象と批判的な思考を磨くようにする。

セクション3 人類の視野を拡大

セクション概要 天文学について学習し、人間を含む自然や未知の宇宙の意味を深め、幅広い知識を身につける。

-

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 :	現代の社会論【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Modern Synousiacs				
担当者 :	有田 亘				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

本講義は、総合社会学部・社会マスメディア系専攻の教員等がオムニバス形式で社会学やマスメディア論といった各教員の専門領域から「現代の社会」を論じます。この授業を通じて、社会学やマスメディア論といった視点から現代の社会の「とらえ方」を学ぶことを目的とします。

本講義は「オンデマンド型」（録画配信）により行います。

※この授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。各回の作成者は授業計画の内容に記載のとおりです。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

以下の3つを目標とします。

1. 社会学の視点から現代の社会における諸問題・課題をとらえ、考えることができる。
2. マスメディア論の視点から現代の社会における諸問題・課題をとらえ、考えることができる。
3. 社会学、マスメディア論双方の視点から、これからの社会のあり方を考えることができる。

■ 成績評価方法および基準

課題レポート（2回） 60%

ディスカッション（2回） 10%

学期末レポート（1回） 30%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

レポート課題の提出締切後に「レポート課題の要点と解説」を Google Classroom に掲載します。

■ 教科書

授業中に適時紹介します。

■ 参考文献

授業中に適時紹介します。

■ 関連科目

-

■ 授業評価アンケート実施方法

本学の規程に準拠して実施します。

■ 研究室・メールアドレス

wataru.arita@lac.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

非常勤講師ですので、学内に研究室はありません。メールにて随時対応いたします。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 現代における世俗化と宗教―「スカーフ」論争に着目して（安達 智史）（授業形式：講義および演習）

予習内容：今回扱うトピックに関して自己学習をする。

予習時間：60分

復習内容：シンキングタイムの考察をしたり、動画を見返すことで復習する。

復習時間：60分

概要 本講義では、「現代社会における世俗化と宗教の関係」をめぐる理解を深めることを目的としている。そのため、「文明の衝突」「イスラモフォビア」「スカーフ論争」といった、今日の西洋社会におけるイスラームをめぐる問題について議論をおこなう。具体的には、女性たち自身の「声」に基づきつつ、女性ムスリム（＝イスラーム教徒）のスカーフ着用／未着用の意味について解説する。そこから、現代西洋社会のムスリムの若者が、世俗的空間にいかに対応しているのかについて論じる。以上を通じて、「ポスト世俗化」と呼ばれる、グローバル社会化に求められる新たな社会認識についての理解を促す。

セクション1 世俗化、宗教、スカーフ論争

セクション概要 本講義全体のテーマである「世俗化」と「宗教」をめぐる問題について理解を共有する。具体的には、ムスリム女性が着用するヒジャブをめぐる問題（＝スカーフ論争）に焦点を合わせながら、近代西洋社会においてムスリムがいかに対応されているのかを説明する。

セクション2 多文化社会イギリスとムスリム

セクション概要 本講義の対象となる、「多文化社会」イギリスの現状について説明する。

セクション3 ヒジャブ「着用」の意味

セクション概要 ムスリム女性のスカーフ着用が、彼女たち自身から、どのように説明されているのかを議論する。それにより、西洋近代とイスラームが、いかに両立しうるのかを解説する。

セクション4 ヒジャブ「未着用」の意味

セクション概要 スカーフを着用しないことが、イスラームのなかでいかに正当化されているのかを説明する。そこから全体をまとめ、「ポスト世俗化」という新たな認識枠組みの重要性を解説する。

第2回 移民から見る現代社会（岡野 英之）（授業形式：講義および演習）

予習内容：今回扱うトピックに関して自己学習をする。

予習時間：60分

復習内容：シンキングタイムの考察をしたり、動画を見返すことで復習する。

復習時間：60分

概要 日本における「移民問題」として外国人労働者を考える。

セクション1 国際的には「移民」はどのように定義されているのか。

セクション概要 移民とは、どのような人々のことか。国際的な定義を考える。

セクション2 日本ではどのような外国人が暮らしているのか。

セクション概要 日本ではどのような外国人が暮らしているのか。

セクション3 日本はどのように労働力を確保しているのか。「技術実習」「留学」、日系ブラジル人

セクション概要 日本はどのように労働力を確保しているのか。

第3回 「アニメ聖地巡礼」「ゾンビ」を研究し、そこから得られた成果を活かして「VRコンテンツ」を作成している件（岡本 健）（授業形式：講義および演習）

予習内容：今回扱うトピックに関して自己学習をする。

予習時間：60分

復習内容：シンキングタイムの考察をしたり、動画を見返すことで復習する。

復習時間：60分

概要 自分が興味のある現代文化や現代社会における現象を学術的に研究することの面白さと、そこから得られた成果を応用して実践する例を示します。

セクション1 コンテンツツーリズム研究（アニメ聖地巡礼）

セクション概要 社会現象を調査する方法やそこから得られる成果を学ぶ

セクション2 メディア・コンテンツ研究（ゾンビ）

セクション概要 メディア・コンテンツを分析する方法やそこから得られる成果を学ぶ

セクション3 コンテンツを創って社会に作用する実学

セクション概要 研究した成果を実践に活かす試みから「実学」について学ぶ

第4回 国際ジャーナリズムに近づく（金井 啓子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：今回扱うトピックに関して自己学習をする。

予習時間：60分

復習内容：シンキングタイムの考察をしたり、動画を見返すことで復習する。

復習時間：60分

概要 ジャーナリズムとは何なのでしょう。なぜ必要なのでしょう。情報はどうすればより効果的に伝わるのでしょうか。

外資系の通信社で記者・エディター・ニュース翻訳者を務めた経験を持つ担当者がお話をします。

セクション1 常識を疑う

セクション概要 「私の常識=皆の常識」なのか？自分が当たり前だと思っていることが、日本国内や海外でどのくらい通用するのか、実例を挙げながら確認していきます。

セクション2 効果的に情報発信するには

セクション概要 どうすれば自分が発信したい情報を受け取ってほしい相手に受信してもらえるのか？情報発信をするにあたって知っておくべきことを、ジャーナリズムを参考にしながら学んでいきます。

セクション3 海外に目を向ける

セクション概要 海外に興味を持ったり外国語を学ぶと、どのようなメリットがあるのかということ、実生活に結び付けながら考えていきます。

第5回 家族の社会学（齋藤 暁子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：今回扱うトピックに関して自己学習をする。

予習時間：60分

復習内容：シンキングタイムの考察をしたり、動画を見返すことで復習する。

復習時間：60分

概要 私たちが当たり前と思っている家族について社会学の視点から考えてみる

セクション1 家族とは何か

セクション概要 家族を定義してみよう

セクション2 現代の家族

セクション概要 統計データや先行研究から現代の家族の特徴をとらえる

セクション3 家族へのアプローチ

セクション概要 現代家族のとらえ方を家族社会学の議論から紹介する

第6回 放送について（杉浦 徹）（授業形式：講義および演習）

予習内容：今回扱うトピックに関して自己学習をする。

予習時間：60分

復習内容：シンキングタイムの考察をしたり、動画を見返すことで復習する。

復習時間：60分

概要 放送（テレビ・ラジオ）に関する基礎的な知識を学ぶ

セクション1 日本のテレビの歴史

セクション概要 技術的な発展を中心としたテレビの歴史

セクション2 放送に関わる法律と放送の種類

セクション概要 法的なルールと放送の種類について

セクション3 番組表と視聴率

セクション概要 放送局の番組編成について

セクション4 放送局のビジネス

セクション概要 放送局の収益方法について

セクション5 放送の役割と気をつけるべきこと

セクション概要 放送の役割とコンプライアンス等について

第7回 環境をアートで考える（鈴木 光祐）（授業形式：講義および演習）

予習内容：今回扱うトピックに関して自己学習をする。

予習時間：60分

復習内容：シンキングタイムの考察をしたり、動画を見返すことで復習する。

復習時間：60分

概要 人類の活動が地球の環境を後戻りできないほど攪乱している状況を学び、その中で生きるということについて考える。

セクション1 環境の不可逆性

セクション概要 地球の環境がももにはもどらないことを考える

セクション2 人新世を表現する

セクション概要 人新世を考えるための表現

セクション3 未来のあり方を考える

セクション概要 攪乱された環境の中でモノのあり方を考える

第8回 自由な社会に生きる難しさ（鈴木 伸太郎）（授業形式：講義および演習）

予習内容：今回扱うトピックに関して自己学習をする。

予習時間：60分

復習内容：シンキングタイムの考察をしたり、動画を見返すことで復習する。

復習時間：60分

概要 自由な社会に生きていても、それだけで幸せになるわけではない。むしろ、自由な社会でこそ、それぞれの人が自分の人

生に期待したことが裏切られる機会が増えると言える。私たちはそのような現代風な苦悩について理解を深め、期待が時々裏切られることについて、一種の免疫を手に入れて、上手に対処する術を身につけることが大切である。

セクション1 選択の自由の拡大

セクション概要 誰もが自由を望む。しかし、自由には悩みがつきまとう。例えば1日自由な時間を過ごしていいとなったら、何をしよう？個人差はあるが、自由な1日の始まりに際して、さんざん迷ってしまうような人もいる。なぜかと言えば、1つのことをしたら、他のことはできない。楽しいと思ってどこかに出かけても、実は期待通したほど楽しくなかったということもある。そうしたら、1日を無駄にしてしまったことを悔やむ気持ちになる。そういうことにならないようにするにはどうしたらいいのだろうか？休日の過ごし方について言えることは、買い物についても同じように言える。基本的には職業や結婚相手のような重大な選択についても同じように言える。思い通りに選択しても、自分の予想と違うとか、期待通りにならない、などのことはいくらでも起こりうる。「失敗してしまったら困る」と思う分だけ、迷いや悩みが生ずる。自由な社会に生きるには、自由な選択を上手に生かしていく知恵が必要である。

セクション2 期待と現実のギャップ

セクション概要 何かを買ったときに、それが期待通りのものではなかったという経験は誰にでもある。残念だし、お金が無駄になったと思うと辛い気持ちにもなる。どんな選択に際しても、誰もが期待を抱くが、期待通りにならない場合の辛さは、場合によって異なる。期待が当然と思われる度合いに応じて、裏切られるときに苦しくなったり、ネガティブな気持ちに陥ったりする。スマホを買ったら不良品だったという場合などは、怒りが湧いてくる。当然合格すると思って受けた大学が不合格になったときには、大変なショックに見舞われるかもしれない。同じ不合格でも、「記念受験」のつもりなら、期待があまり高くないので、あまり落胆せずに冷静に受け止められるだろう。健康で長生きすることが当然と思っていたのに、若くして健康を害してしまった場合も、健康を損ねた事実にもまして、人生に対する当然の期待が裏切られたことによって、深い悲しみに襲われるだろう。このような怒りや落ち込みや悲しみは、現代社会特有の苦悩である。人生が順調に進んでいると、人生に対する期待が高まるので、それだけ期待通りにいかない場合の落胆が大きくなる。このようなメカニズムをよく認識しているかどうかによって、落胆や苦悩に対する耐性が違ってくる。豊かで自由な社会の中で苦悩を抱えるというのは矛盾するようだが、決してそうではない。豊かで自由であることに伴う苦悩があることをよく認識する必要がある。

セクション3 豊かな社会を生きるスキル

セクション概要 自分に納得の行く選択をするために大事なことは、自分の抱く気持ちにできるだけ敏感になることである。理詰めだけで考えただけでは、決断は難しい。自分の気持ちが決断の後押しをしてくれる。現代では、理詰めにかんがえることが重視されてしまっているため、「自分は率直に言って何が好きか」ということがすぐに分からなくなっている人も少なくない。自分が好きかどうか、自分に必要なものかそうでないかが曖昧なまま、いろいろな雑多なものを部屋に溜め込んでいる人も多い。豊かな社会に生きる私たちは、基本的な期待を抱いて人生に臨んでいる。その期待が裏切られたときに感じる苦しさについても、現代特有の苦悩の現れとして冷静に受け止める必要がある。そして、自らの期待の高さが苦悩を生んだということを認識する必要がある。他の人とそのことについて話し合ったりすることは、自分の狭い現実の解釈を乗り越えるきっかけにもなるだろう。

第9回 差別が差別を生むメカニズム (辻 電平) (授業形式：講義および演習)

予習内容：今回扱うトピックに関して自己学習をする。

予習時間：60分

復習内容：シンキングタイムの考察をしたり、動画を見返すことで復習する。

復習時間：60分

概要 統計情報に基づいて、特定の人々に不利な扱いがなされることを「統計的差別」という。たとえば、男女別の就業割合の統計を見ると、女性の就業割合は年齢層を問わず男性より低い。そこで、労働者の採用や昇進において、男性を優遇しようとするのは、企業としては合理的な選択かもしれないが、差別でもある。では、このような差別はどのようにして維持されるのだろうか？そのメカニズムを簡単なモデルを構築して考える。そして、モデルから考えられる差別からの出口とは？

セクション1 統計的差別とは何か。労働市場における統計的差別の現状

セクション概要 統計的差別について、その定義と解説を行う。また、例として、労働市場における男女の扱いの違いについて現状を解説する。

セクション2 採用における男女差別のメカニズムを考えるモデル

セクション概要 採用の統計的差別に関するモデルについて説明し、差別が差別を生むメカニズムについて理解する。

セクション3 モデルから考える採用の男女差別からの出口

セクション概要 作成したモデルを使って、どのようにすれば統計的差別が解消できるかを考えていく。

第10回 倫理から現代の社会をみる (西尾 雄志) (授業形式：講義および演習)

予習内容：今回扱うトピックに関して自己学習をする。

予習時間：60分

復習内容：シンキングタイムの考察をしたり、動画を見返すことで復習する。

復習時間：60分

概要 現代社会の特徴のひとつは、グローバル化です。このグローバル社会における倫理のあり方を、公正さをめぐるサルと人間、人間の持つ利他性やボランティアを通して検討します。それにあたり、ケースメソッドの手法を交えて考えるので、みなさんも実際に考えてみてください。

セクション1 公正さをめぐるサルと人間

セクション概要 公正とはなにか？公正さは人間界のみにあるものか？サルは公正さを求めるのか、動物行動学の観察も踏まえて考える。

セクション2 人間は利己的？ 利他的？

セクション概要 人間は利己的か、それとも利他的か？ 人間はどのようなときに利他的に振る舞い、どのようなときに利己的に振る舞うのか。そしてその違いはなにか、進化論的な視点も交えて考える。

セクション3 グローバル時代の倫理のあり方

セクション概要 グローバル時代の倫理のあり方を、愛と仲間とボランティアを通して考える。

第11回 現代の就職・採用試験事情（西口 善則）（授業形式：講義および演習）

予習内容：今回扱うトピックに関して自己学習をする。

予習時間：60分

復習内容：シンキングタイムの考察をしたり、動画を見返すことで復習する。

復習時間：60分

概要 大学卒業と同時に多くの人は就職し、社会人となる。そのために行わなければならないのが就職活動である。近年の就職戦線は年々早期化し、その内容も複雑で様々な選考・試験が導入されている。この就職活動を突破しなければ志望企業には就職できない。そこで、この回ではこの就職戦線の実態を紹介し、効果的な就職活動を行うためには何が必要か。何をすべきかをアドバイス・指導していく。

セクション1 近年の就職戦線

セクション概要 就職戦線の全体像を把握する。①近年の就職状況はどうなっているのか。②就職活動の時期はいつか。③どんな流れになっているのか。

セクション2 採用試験の種類と傾向

セクション概要 採用試験において各社が導入している各種選考・試験を把握する。①エントリーの仕方や書類選考について。②筆記試験の種類とその傾向について。③面接試験の種類とその傾向について。

セクション3 就職活動に向けてすべきこと

セクション概要 就職活動に向けてこれから何をすべきか。各種選考・試験に向けてこれから準備・対策すべきこと、心構えなどを理解する。

第12回 新聞から世の中を見る（二木 一夫）（授業形式：講義および演習）

予習内容：今回扱うトピックに関して自己学習をする。

予習時間：60分

復習内容：シンキングタイムの考察をしたり、動画を見返すことで復習する。

復習時間：60分

概要 世の中に関心を持つための新聞の読み方を知る。

セクション1 その日一番のニュース

セクション概要 手っ取り早く社会を知るには、新聞の顔の「社説」と「1面コラム」。

セクション2 時代を俯瞰する「鳥の目」

セクション概要 平成がどんな時代かを考えるのに役立つのは特集記事。

セクション3 問題を深掘りする「虫の目」

セクション概要 隠れた問題を掘り起こし読者に知らせるのも新聞の役割。

第13回 有事対応から（松本 行真）（授業形式：講義および演習）

予習内容：今回扱うトピックに関して自己学習をする。

予習時間：60分

復習内容：シンキングタイムの考察をしたり、動画を見返すことで復習する。

復習時間：60分

概要 2011年3月の東日本大震災を事例に、災害等の有事において地域社会がどう対応してきたかをいくつかの視点で考えます。

セクション1 震災前後のいわき市薄磯区

セクション概要 津波被災があった福島県いわき市薄磯区の震災前後の状況を確認します。

セクション2 「まち」のコンセプトを決める

セクション概要 本セクションでは薄磯区の復興まちづくりの過程でどのような活動や問題が生じたのか。区会・復興協議委員会という住民主体の組織への参与観察を通じて確認します。

セクション3 「まち」をつくる

セクション概要 本セクションでは薄磯区のハードの復興がある程度定まった（2015年度）後に生じた諸問題を確認します。

第14回 ことばのデザイン（山本 良二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：今回扱うトピックに関して自己学習をする。

予習時間：60分

復習内容：シンキングタイムの考察をしたり、動画を見返すことで復習する。

復習時間：60分

概要 文章をうまく書ける人、わかりやすく話せる人、そういう人たちは「ことばのデザイン」がじょうずなのだと思えます。この授業では、「キャッチフレーズ」を例にしてことばのデザインについての基本を学びます。

セクション1 ことばをデザインするとは？

セクション概要 その必要性和重要性について

セクション2 その2つのプロセス

セクション概要 「何」を、「どのように」言うか？

セクション3 実例紹介とまとめ

セクション概要 実例をもとに考える

第15回 現代社会における自然と怪奇現象（パトリック・ソフィア・リカフィカ）（授業形式：講義および演習）

予習内容：今回扱うトピックに関して自己学習をする。

予習時間：60分

復習内容：シンキングタイムの考察をしたり、動画を見返すことで復習する。

復習時間：60分

概要 我々人間とその周囲に存在する自然・怪奇現象を理解する思考を身につける講義である。現代国際社会において不可欠である多様な視点、批判的思考、科学的知識、人類・地球・宇宙の関係、人間と自然に関連する知識など高度な能力を身につける。

セクション1 科学の世界

セクション概要 基礎科学をはじめ自然における様々な現象・事象を科学の観点から疑問視し、常識と科学的知識をもって積極的に理解を得る。

セクション2 批判的に考える現代人

セクション概要 科学の知識を生かし疑似科学と非科学も考え、様々な現象と批判的な思考を磨くようにする。

セクション3 人類の視野を拡大

セクション概要 天文学について学習し、人間を含む自然や未知の宇宙の意味を深め、幅広い知識を身につける。

-

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 :	データリテラシー入門【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Introduction to Data Literacy				
担当者 :	井田 泰人				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

本科目では、来るデータ駆動型社会に向けて進展が期待されているDS（Data Science, データ科学）とAI（Artificial Intelligence, 人工知能）に関する基礎的な知識と技能を修得するための授業を実施する。授業では、まず、DSやAIの現状について紹介する。次に、それらを活用するために理解しておくべき概念や方法について説明する。そして、データを適正に利用するために留意すべき点について説明する。最後に、データの取り扱いについて説明するとともに、実際にツールを使った演習を行う。本科目の授業資料は、担当教員とは別の教員が作成している。各回のタイトル欄に作成者を記載する。

【履修の前提条件】

本科目の履修には、下記のスキルが必要となる。パソコン操作に不慣れな学生は、他の基礎科目で十分なスキルを獲得した上で履修すること。オンデマンド授業のためPC操作のサポートは受けられない。

- ・ファイル名の変更・アップロード・ダウンロードがスムーズに行える。
- ・ファイルの拡張子について熟知している。
- ・圧縮ファイルを適切に解凍できる。
- ・表計算（Excel・Googleスプレッドシート）で関数を挿入できる。
- ・表計算（Excel・Googleスプレッドシート）でシート操作ができる。

【諸注意】

- ・授業の出席方法等のルールは、必ずKICSオンデマンド授業マニュアルを確認すること。
- ・指定された期日までに授業動画を視聴し、かつ確認テストに満点合格すること。授業動画の視聴と確認テストを満点合格することなく、別途出題される課題を提出あるいはテストを実施した場合は、その回の課題あるいはテストの点数は0点とする。
- ・各授業の課題提出期限はGoogleClassroomで指示する。
- ・出席数、欠席数、欠席届の有無は成績評価（不受を含む）には反映しない。ただし、成績評価は、授業への出席（動画視聴期限までの学習）を前提とした課題提出によって行うため授業への出席は必須である。
- ・第1回、第3回から第9回までの授業で「KBマップ」というアプリを使用する。GoogleClassroomで指示された資料で利用方法を確認し、開講後1週間以内にログインできることを確認すること。
- ・第2回と第10回の授業の復習として、Zoomによる他学部と合同のオンラインディスカッションの機会を提供する。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

本科目の到達目標は次のとおりである。

- [1] DSやAIの現状、概念、方法について必要事項を知っている。
- [2] データの取り扱いについて必要事項を知っている。
- [3] データの留意点について必要事項を知っている。

本科目の修得は、本学が定めるディプロマポリシー3の達成に関与している。

■ 成績評価方法および基準

KBマップ課題（第1回、第3回～第8回） 30%

KBマップ課題+テスト（第9回） 20%
練習課題+演習課題（第10回-第15回） 40%
グループディスカッション（第2回授業時間外、第10回授業時間外） 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

第1回、第3回～第9回課題はKBマップのフィードバック機能によりフィードバックする。
第11回～第15回課題は、誤りが多かった事項について授業期間終了後にGoogleClassroomにコメントを掲載する。
グループディスカッションは、課題として提出されたアンケート内容を取りまとめたレポートを開示する。

■ 教科書

教科書はなし。適宜授業資料を配布する。

■ 参考文献

[ISBN]9784065238097 『教養としてのデータサイエンス (データサイエンス入門シリーズ)』 (北川 源四郎, 講談社 : 2021)

■ 関連科目

各学部のデータサイエンスあるいはAIを取り扱った科目

■ 授業評価アンケート実施方法

学部の定めるとおり実施する。

■ 研究室・メールアドレス

nttls_21@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

別途Zoomによる質問対応時間を設ける（詳細はGoogleClassroomに掲示）。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 データ駆動型社会（担当：山元 翔）（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業計画、KICSオンデマンド受講案内、GoogleClassroomの資料をすべて読み込むこと。

予習時間：90分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・IoT、ビッグデータ、AI、ロボット、仮想現実（VR）、拡張現実（AR）
- ・第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会
- ・現代社会におけるデータ科学（DS）と人工知能（AI）への期待と課題
- ・人間の知的活動とAIの関係性
- ・データ・AI活用領域の広がり(生産、消費、文化活動など)
- ・今のAIで出来ることと出来ないこと、AIとビッグデータ
- ・自動化技術
- ・研究開発、調達、製造、物流、販売、マーケティング、サービスなど

第2回 DS・AI活用社会（担当：山元 翔）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第1回授業の内容、難易度を踏まえ、受講計画を作成すること（毎週同じ時間帯に学習時間を確保することを推奨する）。

予習時間：60分

復習内容：第2回の授業内容に関係するグループディスカッションに参加すること（グループディスカッション用事前課題、事後課題あり）。

復習時間：180分

- ・流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等におけるデータ・AI活用事例紹介
- ・仮説検証、知識発見、原因究明、計画策定、判断支援、活動代替、新規生成など

第3回 DS・AI利活用（担当：山元 翔）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第3回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・AI等を活用した新しいビジネスモデル
- ・AI最新技術の活用例
- ・人工知能、データ科学のビジネス機会
- ・人工知能、データ科学の社会的課題
- ・データを起点としたものの見方、人間の知的活動を起点としたものの見方

第4回 様々なデータ表現 (担当: 山元 翔) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 第4回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間: 60分

復習内容: KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間: 180分

- ・ 2進数, 16進数
- ・ 数値, 文字, 画像, 音声
- ・ 1次データ, 2次データ, メタデータ, アノテーション
- ・ 構造化データ, 非構造化データ
- ・ 非構造化データ処理: 言語処理, 画像/動画処理, 音声/音楽処理など
- ・ オープンデータ

第5回 データの利活用と注意 (担当: 山元 翔) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 第5回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間: 60分

復習内容: KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間: 180分

- ・ データサイエンスのサイクル
- ・ 個人の不健全な状況の回避: ネット依存症, ゲーム中毒, テクノストレス等
- ・ 被害者・加害者にならないための知識, なったときの対応, 誹謗中傷・炎上, ネットいじめ
- ・ 適切な対象が適切に情報を取得できること: 情報格差, アクセシビリティ
- ・ プライバシー

第6回 社会におけるデータの取り扱い - 個々人の注意 - (担当: 山元 翔) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 第6回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間: 60分

復習内容: KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間: 120分

- ・ 情報の信頼性の判断, デマ・流言, メディアリテラシー
- ・ 社会としての危機管理: システムダウンによる影響範囲の把握と対応
- ・ ELSI (Ethical, Legal and Social Issues)
- ・ データ・AI活用における負の事例紹介
- ・ データ倫理: データのねつ造, 改ざん, 盗用, プライバシー保護
- ・ AI社会原則 (公平性, 説明責任, 透明性, 人間中心の判断)
- ・ データバイアス, アルゴリズムバイアス
- ・ AIサービスの責任論

第7回 社会におけるデータの取り扱い - 社会全体の注意 - (担当: 山元 翔) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 第7回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間: 60分

復習内容: KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間: 120分

- ・ 知的財産権: 著作権と産業財産権, 著作権, 創作とライセンス表示, 国際化 (ベルヌ条約)
- ・ 肖像権・パブリシティ権
- ・ 個人情報保護: 個人情報 (個人識別符号の説明を含む), 匿名加工情報, 自己情報コントロール権, OECD プライバシーガイドライン, EU 法 (保護規則) と忘れられる権利, オプトアウト

第8回 データを守る上での留意事項 (担当: 山元 翔) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 第8回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間: 60分

復習内容: KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間: 120分

- ・ 情報セキュリティ: 機密性, 完全性, 可用性
- ・ 匿名加工情報, 暗号化, パスワード, 悪意ある情報搾取
- ・ 情報漏洩等によるセキュリティ事故の事例紹介

第9回 AI・データ利活用の基礎知識 (テスト課題) (担当: 山元 翔) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 第1回から第8回までの授業内容を復習し, 未提出のKBマップ課題があればすべて完成して提出しておくこと。

予習時間: 120分

復習内容: 理解が不十分だった学習項目について確認しておくこと。

復習時間: 90分

これまでの内容を踏まえて、今後DSの考え方にに基づきAIを利活用する上での基礎知識が身についたかを確認するテストを実施する。

第10回 データを集める（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：Excel、Googleスプレッドシートの基本操作を確認しておくこと。第10回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：第10回の授業内容に関係するグループディスカッションに参加すること（グループディスカッション用事前課題・事後課題あり）。

復習時間：180分

- ・データの種類（量的変数、質的変数）
- ・母集団と標本抽出（国勢調査、アンケート調査、全数調査、単純無作為抽出、層別抽出、多段抽出）
- ・観測データに含まれる誤差の扱い
- ・打ち切りや脱落を含むデータ

第11回 データを扱う（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第11回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データ解析ツール（スプレッドシート）
- ・表形式のデータ（CSV）

第12回 データを操る（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第12回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データの集計（和）
- ・データの並び替え、ランキング

第13回 データを見る（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第13回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データ表現（棒グラフ、折線グラフ、散布図、ヒートマップ）
- ・データの図表表現（チャート化）
- ・不適切なグラフ表現（チャートジャンク、不必要な視覚的要素）
- ・統計情報の正しい理解（誇張表現に惑わされない）
- ・優れた可視化事例の紹介（可視化することによって新たな気づきがあった事例など）

第14回 データを読む（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第14回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データの分布(ヒストグラム)
- ・層別の必要なデータ
- ・代表値（平均値、中央値、最頻値）
- ・代表値の性質の違い（実社会では平均値＝最頻値でないことが多い）
- ・データのばらつき（分散、標準偏差、偏差値）
- ・データの集計（平均）

第15回 データを読み解く（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第15回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・相関と因果（相関係数、擬似相関、交絡）
- ・クロス集計表、分割表、相関係数行列、散布図行列
- ・データの比較（条件をそろえた比較、処理の前後での比較、A/Bテスト）

- ホームページ
- 実践的な教育内容

-

科目名 :	暮らしのなかの憲法【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Constitution in Everyday Life				
担当者 :	重村 博美				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

「憲法」と聞いて、みなさんはどのような印象をおもちですか。私たちは普段、憲法の内容を意識して生活することは、ほとんどないかと思えます。しかし、その実、憲法は、国の最高法規として、一人ひとりのもつ大事な権利や自由を定め、そしてそれらを守る仕組みを定めている、私たちにはなくてはならない大切な法律です。

そこで本授業では、憲法の基本的な枠組みや考え方を理解していただけるよう、具体的事例（裁判例を含む）の検討を行います。とはいえ、本授業は、暗記中心の学習ではありません。現実に生じている様々な事象の検討を通じて、それら問題を法的にどのように解決すべきか、みなさんには、その法的解決に向けた考え方を習得していただくこととなります。

なお、メディア受講に際しては、受講前の教科書熟読が必須となります。そして受講時は、各自、必要に応じてノートをとってください。と同時に、必要に応じて、条文を参照してください。条文の参照方法は、第1回の授業で説明をしています。

ちなみに、みなさん方の受講に際しては、大学からの受講案内でも示されているように、予め一定の期間を設定して、受講確認がなされる予定です。レポート作成・提出においても、メディア受講は前提（必須）条件となります（単位取得に際しては、10回以上：10回を含む、受講をしていることが必要です。）。加えて、話者の話の内容が判別可能な速度で視聴してください。詳細は、各担当者の案内に従ってください。各自、受講計画を立て、自覚的に、受講いただくことを、切に希望しております。

* 本メディア授業は、下記参考文献『判例で学ぶ日本国憲法』（有信堂）をベースに作成をしています。ただし、本授業は、過去に作成された「第2版」のもので作成しており、2024年春に刊行予定の「第3版」のものとは、内容において一部異なります（異なる部分は、当該文献の第5章・本メディア授業第9回「表現の自由」です。それ以外は、基本的な部分での違いはありません）。

* この授業はコンテンツ作成者重村が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講生は、この授業を受講することにより、①日本国憲法の基本的人権ならびに統治機構の概要を説明し、②憲法問題に対して自身の見解を示すことができるようになります。

■ 成績評価方法および基準

レポート課題（全3回） 60%

学期末試験（レポート課題） 40%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をGoogle Classroomに掲載します。

■ 教科書

指定しない

■ 参考文献

[ISBN]9784842010885 『判例で学ぶ日本国憲法[第三版]』(西村裕三編, 有信堂高文社: 2024)
2024年3月刊行予定

[ISBN]9784865281132 『立憲主義について 成立過程と現代(放送大学叢書)』(佐藤 幸治, 左右社: 2015)

[ISBN]9784000616072 『憲法 第八版』(芦部 信喜, 岩波書店: 2023)

[ISBN]9784641227613 『憲法学読本 第3版』(安西 文雄, 有斐閣: 2018)

[ISBN]9784641115453 『憲法判例百選I 第7版(別冊ジュリスト)』(長谷部 恭男, 有斐閣: 2019)

[ISBN]9784641115460 『憲法判例百選II 第7版(別冊ジュリスト)』(長谷部 恭男, 有斐閣: 2019)

■ 関連科目

「現代社会と法」など

■ 授業評価アンケート実施方法

本学の規定に準拠して実施します。

■ 研究室・メールアドレス

18号館南棟 shigemura@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

火曜日 2 限

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 概要 憲法とはなにか(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 教科書の該当箇所を読み(1・18章)、内容の把握をする

予習時間: 60分

復習内容: 授業内容について自身でまとめる

復習時間: 120分

法律の学習を始めるために必要となる法学・憲法の基礎的事項を学ぶ

セクション1 法とは何か セクション概要 法とは何かについて学ぶ

セクション2 憲法とは何か セクション概要 憲法とは何かについて学ぶ

セクション3 日本国憲法概説 セクション概要 憲法制定過程と基本原則を学ぶ

第2回 立法権と行政権(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 教科書の該当箇所を読み(14・15章)、内容の把握をする

予習時間: 60分

復習内容: 授業内容について自身でまとめる

復習時間: 120分

三権分立のうち、立法権と行政権を学ぶ

セクション1 三権分立とは? セクション概要 三権分立の概説を学ぶ

セクション2 日本の統治機構・立法権 セクション概要 国会の組織と役割を学ぶ

セクション3 日本の統治機構・行政権 セクション概要 内閣の組織と役割を学ぶ

第3回 司法権(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 教科書の該当箇所を読み(16章の1と2)、内容の把握をする

予習時間: 60分

復習内容: 授業内容について自身でまとめる

復習時間: 120分

概要 三権分立のうち、司法権について学ぶ

セクション1 司法権とは? セクション概要 司法権の範囲と限界について学ぶ

セクション2 裁判所組織について セクション概要 裁判所組織と審級について学ぶ

セクション3 裁判官 セクション概要 裁判官の身分保障について学ぶ

第4回 司法審査権(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 教科書の該当箇所を読み(16章の3)、内容の把握をする

予習時間: 60分

復習内容: 授業内容について自身でまとめる

復習時間: 120分

概要 司法審査権について学ぶ

セクション1 司法審査権の目的と方法 セクション概要 司法審査権の目的と方法について学ぶ

セクション2 違憲審査基準 セクション概要 違憲審査基準について学ぶ

セクション3 司法積極主義・消極主義 セクション概要 司法積極主義・消極主義について学ぶ

第5回 基本的人権総論(授業形式: 講義および演習)

予習内容：教科書の該当箇所を読み（1章の3と4）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 基本的人権の総論部分を学ぶ

セクション1 人権の歴史 セクション概要 人権が確立していった過程を学ぶ

セクション2 人権の分類 セクション概要 日本国憲法の人権規定を概括的に学ぶ

セクション3 人権の限界 セクション概要 基本的人権の限界について学ぶ

第6回 幸福追求権（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（2章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 幸福追求権を軸に主張される権利や自由について学ぶ

セクション1 幸福追求権とは？ セクション概要 幸福追求権の概説を学ぶ

セクション2 プライバシーの権利 セクション概要 プライバシーの権利について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 プライバシーの権利の判例から学ぶ

第7回 法の下での平等（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（3章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 憲法が意味する平等とは何かを学ぶ

セクション1 憲法の平等保障規定 セクション概要 日本国憲法が規定する平等規定について学ぶ

セクション2 平等とは？ セクション概要 憲法が示す「平等」の意味について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 平等権に関する基本事例から学ぶ

第8回 信教の自由・政教分離（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（4章の2）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

概要 信教の自由が保障する範囲と政教分離について学ぶ

セクション1 信教の自由とは？ セクション概要 信教の自由が規定された背景を学ぶ

セクション2 政教分離 セクション概要 政教分離原則について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 政教分離の基本事例から学ぶ

第9回 表現の自由（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（5章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 表現の自由がなぜ「優越的地位」にあるといわれるのか学ぶ

セクション1 表現の自由とは？ セクション概要 表現の自由の優越的地位の原則について学ぶ

セクション2 マス・メディアの取材・報道の自由 セクション概要 マス・メディアの取材・報道の自由について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 取材・報道の自由の基本事例から学ぶ

第10回 学問の自由・教育を受ける権利（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（6・10章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 大学における「学問」とはどういうものか学ぶ

セクション1 学問の自由とは？ セクション概要 学問の自由の保障の範囲と限界を学ぶ

セクション2 大学の自治 セクション概要 大学の自治について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 学問の自由の基本判例から学ぶ

第11回 経済活動の自由（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（7章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 私有財産制度について憲法から学ぶ

セクション1 経済活動の自由とは？ セクション概要 経済活動の自由について内容を学ぶ

セクション2 財産権の保障 セクション概要 財産権の保障について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 財産権の保障の基本事例から学ぶ

第12回 人身の自由（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（8章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 刑事疑義者・被告人の権利について学ぶ

セクション1 罪刑法定主義とは？ セクション概要 罪刑法定主義について学ぶ

セクション2 人身の自由 セクション概要 人身の自由の内容について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 人身の自由の基本事例から学ぶ

第13回 生存権（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（9章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 憲法が保障する「健康で文化的な最低限度の生活」とは何かを学ぶ

セクション1 生存権とは？ セクション概要 生存権の法的性格について学ぶ

セクション2 日本の社会保障制度 セクション概要 社会保障制度の種類と内容を概括的に学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 生存権の基本事例から学ぶ

第14回 労働基本権（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（11章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 労働三権について学ぶ。ここでは特に、公務員の労働基本権について学ぶ

セクション1 勤労の権利とは？ セクション概要 労働三権について学ぶ

セクション2 公務員の労働基本権 セクション概要 公務員の労働基本権について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 公務員の労働基本権の基本事例から学ぶ

第15回 参政権（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（13章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 選挙の基本原則について学ぶ

セクション1 参政権とは？ セクション概要 参政権の概要について学ぶ

セクション2 選挙制度の基本原則 セクション概要 選挙の5つの基本原則を学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 基本原則に関する基本事例から学ぶ

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 :	暮らしのなかの憲法【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Constitution in Everyday Life				
担当者 :	重村 博美				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

「憲法」と聞いて、みなさんはどのような印象をおもちですか。私たちは普段、憲法の内容を意識して生活することは、ほとんどないかと思います。しかし、その実、憲法は、国の最高法規として、一人ひとりのもつ大事な権利や自由を定め、そしてそれらを守る仕組みを定めている、私たちにはなくてはならない大切な法律です。

そこで本授業では、憲法の基本的な枠組みや考え方を理解していただけるよう、具体的事例（裁判例を含む）の検討を行います。とはいえ、本授業は、暗記中心の学習ではありません。現実に生じている様々な事象の検討を通じて、それら問題を法的にどのように解決すべきか、みなさんには、その法的解決に向けた考え方を習得していただくこととなります。

なお、メディア受講に際しては、受講前の教科書熟読が必須となります。そして受講時は、各自、必要に応じてノートをとってください。と同時に、必要に応じて、条文を参照してください。条文の参照方法は、第1回の授業で説明をしています。

ちなみに、みなさん方の受講に際しては、大学からの受講案内でも示されているように、予め一定の期間を設定して、受講確認がなされる予定です。レポート作成・提出においても、メディア受講は前提（必須）条件となります（単位取得に際しては、10回以上：10回を含む、受講をしていることが必要です。）。加えて、話者の話の内容が判別可能な速度で視聴してください。詳細は、各担当者の案内に従ってください。各自、受講計画を立て、自覚的に、受講いただくことを、切に希望しております。

* 本メディア授業は、下記参考文献『判例で学ぶ日本国憲法』（有信堂）をベースに作成をしています。ただし、本授業は、過去に作成された「第2版」のもので作成しており、2024年春に刊行予定の「第3版」のものとは、内容において一部異なります（異なる部分は、当該文献の第5章・本メディア授業第9回「表現の自由」です。それ以外は、基本的な部分での違いはありません）。

* この授業はコンテンツ作成者重村が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講生は、この授業を受講することにより、①日本国憲法の基本的人権ならびに統治機構の概要を説明し、②憲法問題に対して自身の見解を示すことができるようになります。

■ 成績評価方法および基準

レポート課題（全3回） 60%

学期末試験（レポート課題） 40%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をGoogle Classroomに掲載します。

■ 教科書

指定しない

■ 参考文献

[ISBN]9784842010885 『判例で学ぶ日本国憲法[第三版]』(西村裕三編, 有信堂高文社: 2024)
2024年3月刊行予定

[ISBN]9784865281132 『立憲主義について 成立過程と現代(放送大学叢書)』(佐藤 幸治, 左右社: 2015)

[ISBN]9784000616072 『憲法 第八版』(芦部 信喜, 岩波書店: 2023)

[ISBN]9784641227613 『憲法学読本 第3版』(安西 文雄, 有斐閣: 2018)

[ISBN]9784641115453 『憲法判例百選I 第7版(別冊ジュリスト)』(長谷部 恭男, 有斐閣: 2019)

[ISBN]9784641115460 『憲法判例百選II 第7版(別冊ジュリスト)』(長谷部 恭男, 有斐閣: 2019)

■ 関連科目

「現代社会と法」など

■ 授業評価アンケート実施方法

本学の規定に準拠して実施します。

■ 研究室・メールアドレス

18号館南棟 shigemura@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

火曜日 2限

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 概要 憲法とはなにか(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 教科書の該当箇所を読み(1・18章)、内容の把握をする

予習時間: 60分

復習内容: 授業内容について自身でまとめる

復習時間: 120分

法律の学習を始めるために必要となる法学・憲法の基礎的事項を学ぶ

セクション1 法とは何か セクション概要 法とは何かについて学ぶ

セクション2 憲法とは何か セクション概要 憲法とは何かについて学ぶ

セクション3 日本国憲法概説 セクション概要 憲法制定過程と基本原則を学ぶ

第2回 立法権と行政権(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 教科書の該当箇所を読み(14・15章)、内容の把握をする

予習時間: 60分

復習内容: 授業内容について自身でまとめる

復習時間: 120分

三権分立のうち、立法権と行政権を学ぶ

セクション1 三権分立とは? セクション概要 三権分立の概説を学ぶ

セクション2 日本の統治機構・立法権 セクション概要 国会の組織と役割を学ぶ

セクション3 日本の統治機構・行政権 セクション概要 内閣の組織と役割を学ぶ

第3回 司法権(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 教科書の該当箇所を読み(16章の1と2)、内容の把握をする

予習時間: 60分

復習内容: 授業内容について自身でまとめる

復習時間: 120分

概要 三権分立のうち、司法権について学ぶ

セクション1 司法権とは? セクション概要 司法権の範囲と限界について学ぶ

セクション2 裁判所組織について セクション概要 裁判所組織と審級について学ぶ

セクション3 裁判官 セクション概要 裁判官の身分保障について学ぶ

第4回 司法審査権(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 教科書の該当箇所を読み(16章の3)、内容の把握をする

予習時間: 60分

復習内容: 授業内容について自身でまとめる

復習時間: 120分

概要 司法審査権について学ぶ

セクション1 司法審査権の目的と方法 セクション概要 司法審査権の目的と方法について学ぶ

セクション2 違憲審査基準 セクション概要 違憲審査基準について学ぶ

セクション3 司法積極主義・消極主義 セクション概要 司法積極主義・消極主義について学ぶ

第5回 基本的人権総論(授業形式: 講義および演習)

予習内容：教科書の該当箇所を読み（1章の3と4）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 基本的人権の総論部分を学ぶ

セクション1 人権の歴史 セクション概要 人権が確立していった過程を学ぶ

セクション2 人権の分類 セクション概要 日本国憲法の人権規定を概括的に学ぶ

セクション3 人権の限界 セクション概要 基本的人権の限界について学ぶ

第6回 幸福追求権（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（2章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 幸福追求権を軸に主張される権利や自由について学ぶ

セクション1 幸福追求権とは？ セクション概要 幸福追求権の概説を学ぶ

セクション2 プライバシーの権利 セクション概要 プライバシーの権利について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 プライバシーの権利の判例から学ぶ

第7回 法の下での平等（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（3章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 憲法が意味する平等とは何かを学ぶ

セクション1 憲法の平等保障規定 セクション概要 日本国憲法が規定する平等規定について学ぶ

セクション2 平等とは？ セクション概要 憲法が示す「平等」の意味について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 平等権に関する基本事例から学ぶ

第8回 信教の自由・政教分離（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（4章の2）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

概要 信教の自由が保障する範囲と政教分離について学ぶ

セクション1 信教の自由とは？ セクション概要 信教の自由が規定された背景を学ぶ

セクション2 政教分離 セクション概要 政教分離原則について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 政教分離の基本事例から学ぶ

第9回 表現の自由（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（5章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 表現の自由がなぜ「優越的地位」にあるといわれるのか学ぶ

セクション1 表現の自由とは？ セクション概要 表現の自由の優越的地位の原則について学ぶ

セクション2 マス・メディアの取材・報道の自由 セクション概要 マス・メディアの取材・報道の自由について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 取材・報道の自由の基本事例から学ぶ

第10回 学問の自由・教育を受ける権利（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（6・10章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 大学における「学問」とはどういうものか学ぶ

セクション1 学問の自由とは？ セクション概要 学問の自由の保障の範囲と限界を学ぶ

セクション2 大学の自治 セクション概要 大学の自治について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 学問の自由の基本判例から学ぶ

第11回 経済活動の自由（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（7章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 私有財産制度について憲法から学ぶ

セクション1 経済活動の自由とは？ セクション概要 経済活動の自由について内容を学ぶ

セクション2 財産権の保障 セクション概要 財産権の保障について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 財産権の保障の基本事例から学ぶ

第12回 人身の自由（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（8章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 刑事疑義者・被告人の権利について学ぶ

セクション1 罪刑法定主義とは？ セクション概要 罪刑法定主義について学ぶ

セクション2 人身の自由 セクション概要 人身の自由の内容について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 人身の自由の基本事例から学ぶ

第13回 生存権（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（9章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 憲法が保障する「健康で文化的な最低限度の生活」とは何かを学ぶ

セクション1 生存権とは？ セクション概要 生存権の法的性格について学ぶ

セクション2 日本の社会保障制度 セクション概要 社会保障制度の種類と内容を概括的に学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 生存権の基本事例から学ぶ

第14回 労働基本権（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（11章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 労働三権について学ぶ。ここでは特に、公務員の労働基本権について学ぶ

セクション1 勤労の権利とは？ セクション概要 労働三権について学ぶ

セクション2 公務員の労働基本権 セクション概要 公務員の労働基本権について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 公務員の労働基本権の基本事例から学ぶ

第15回 参政権（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（13章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 選挙の基本原則について学ぶ

セクション1 参政権とは？ セクション概要 参政権の概要について学ぶ

セクション2 選挙制度の基本原則 セクション概要 選挙の5つの基本原則を学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 基本原則に関する基本事例から学ぶ

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 :	暮らしのなかの憲法【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Constitution in Everyday Life				
担当者 :	重村 博美				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	前期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

「憲法」と聞いて、みなさんはどのような印象をおもちですか。私たちは普段、憲法の内容を意識して生活することは、ほとんどないかと思えます。しかし、その実、憲法は、国の最高法規として、一人ひとりのもつ大事な権利や自由を定め、そしてそれらを守る仕組みを定めている、私たちにはなくてはならない大切な法律です。

そこで本授業では、憲法の基本的な枠組みや考え方を理解していただけるよう、具体的事例（裁判例を含む）の検討を行います。とはいえ、本授業は、暗記中心の学習ではありません。現実に生じている様々な事象の検討を通じて、それら問題を法的にどのように解決すべきか、みなさんには、その法的解決に向けた考え方を習得していただくこととなります。

なお、メディア受講に際しては、受講前の教科書熟読が必須となります。そして受講時は、各自、必要に応じてノートをとってください。と同時に、必要に応じて、条文を参照してください。条文の参照方法は、第1回の授業で説明をしています。

ちなみに、みなさん方の受講に際しては、大学からの受講案内でも示されているように、予め一定の期間を設定して、受講確認がなされる予定です。レポート作成・提出においても、メディア受講は前提（必須）条件となります（単位取得に際しては、10回以上：10回を含む、受講をしていることが必要です。）。加えて、話者の話の内容が判別可能な速度で視聴してください。詳細は、各担当者の案内に従ってください。各自、受講計画を立て、自覚的に、受講いただくことを、切に希望しております。

* 本メディア授業は、下記参考文献『判例で学ぶ日本国憲法』（有信堂）をベースに作成をしています。ただし、本授業は、過去に作成された「第2版」のもので作成しており、2024年春に刊行予定の「第3版」のものとは、内容において一部異なります（異なる部分は、当該文献の第5章・本メディア授業第9回「表現の自由」です。それ以外は、基本的な部分での違いはありません）。

* この授業はコンテンツ作成者重村が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講生は、この授業を受講することにより、①日本国憲法の基本的な人権ならびに統治機構の概要を説明し、②憲法問題に対して自身の見解を示すことができるようになります。

■ 成績評価方法および基準

レポート課題（全3回） 60%

学期末試験（レポート課題） 40%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をGoogle Classroomに掲載します。

■ 教科書

指定しない

■ 参考文献

[ISBN]9784842010885 『判例で学ぶ日本国憲法[第三版]』(西村裕三編, 有信堂高文社: 2024)

2024年3月刊行予定

[ISBN]9784865281132 『立憲主義について 成立過程と現代(放送大学叢書)』(佐藤 幸治, 左右社: 2015)

[ISBN]9784000616072 『憲法 第八版』(芦部 信喜, 岩波書店: 2023)

[ISBN]9784641227613 『憲法学読本 第3版』(安西 文雄, 有斐閣: 2018)

[ISBN]9784641115453 『憲法判例百選I 第7版(別冊ジュリスト)』(長谷部 恭男, 有斐閣: 2019)

[ISBN]9784641115460 『憲法判例百選II 第7版(別冊ジュリスト)』(長谷部 恭男, 有斐閣: 2019)

■ 関連科目

「現代社会と法」など

■ 授業評価アンケート実施方法

本学の規定に準拠して実施します。

■ 研究室・メールアドレス

18号館南棟 shigemura@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

火曜日 2限

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 概要 憲法とはなにか(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 教科書の該当箇所を読み(1・18章)、内容の把握をする

予習時間: 60分

復習内容: 授業内容について自身でまとめる

復習時間: 120分

法律の学習を始めるために必要となる法学・憲法の基礎的事項を学ぶ

セクション1 法とは何か セクション概要 法とは何かについて学ぶ

セクション2 憲法とは何か セクション概要 憲法とは何かについて学ぶ

セクション3 日本国憲法概説 セクション概要 憲法制定過程と基本原則を学ぶ

第2回 立法権と行政権(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 教科書の該当箇所を読み(14・15章)、内容の把握をする

予習時間: 60分

復習内容: 授業内容について自身でまとめる

復習時間: 120分

三権分立のうち、立法権と行政権を学ぶ

セクション1 三権分立とは? セクション概要 三権分立の概説を学ぶ

セクション2 日本の統治機構・立法権 セクション概要 国会の組織と役割を学ぶ

セクション3 日本の統治機構・行政権 セクション概要 内閣の組織と役割を学ぶ

第3回 司法権(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 教科書の該当箇所を読み(16章の1と2)、内容の把握をする

予習時間: 60分

復習内容: 授業内容について自身でまとめる

復習時間: 120分

概要 三権分立のうち、司法権について学ぶ

セクション1 司法権とは? セクション概要 司法権の範囲と限界について学ぶ

セクション2 裁判所組織について セクション概要 裁判所組織と審級について学ぶ

セクション3 裁判官 セクション概要 裁判官の身分保障について学ぶ

第4回 司法審査権(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 教科書の該当箇所を読み(16章の3)、内容の把握をする

予習時間: 60分

復習内容: 授業内容について自身でまとめる

復習時間: 120分

概要 司法審査権について学ぶ

セクション1 司法審査権の目的と方法 セクション概要 司法審査権の目的と方法について学ぶ

セクション2 違憲審査基準 セクション概要 違憲審査基準について学ぶ

セクション3 司法積極主義・消極主義 セクション概要 司法積極主義・消極主義について学ぶ

第5回 基本的人権総論(授業形式: 講義および演習)

予習内容：教科書の該当箇所を読み（1章の3と4）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 基本的人権の総論部分を学ぶ

セクション1 人権の歴史 セクション概要 人権が確立していった過程を学ぶ

セクション2 人権の分類 セクション概要 日本国憲法の人権規定を概括的に学ぶ

セクション3 人権の限界 セクション概要 基本的人権の限界について学ぶ

第6回 幸福追求権（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（2章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 幸福追求権を軸に主張される権利や自由について学ぶ

セクション1 幸福追求権とは？ セクション概要 幸福追求権の概説を学ぶ

セクション2 プライバシーの権利 セクション概要 プライバシーの権利について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 プライバシーの権利の判例から学ぶ

第7回 法の下での平等（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（3章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 憲法が意味する平等とは何かを学ぶ

セクション1 憲法の平等保障規定 セクション概要 日本国憲法が規定する平等規定について学ぶ

セクション2 平等とは？ セクション概要 憲法が示す「平等」の意味について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 平等権に関する基本事例から学ぶ

第8回 信教の自由・政教分離（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（4章の2）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

概要 信教の自由が保障する範囲と政教分離について学ぶ

セクション1 信教の自由とは？ セクション概要 信教の自由が規定された背景を学ぶ

セクション2 政教分離 セクション概要 政教分離原則について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 政教分離の基本事例から学ぶ

第9回 表現の自由（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（5章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 表現の自由がなぜ「優越的地位」にあるといわれるのか学ぶ

セクション1 表現の自由とは？ セクション概要 表現の自由の優越的地位の原則について学ぶ

セクション2 マス・メディアの取材・報道の自由 セクション概要 マス・メディアの取材・報道の自由について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 取材・報道の自由の基本事例から学ぶ

第10回 学問の自由・教育を受ける権利（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（6・10章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 大学における「学問」とはどういうものか学ぶ

セクション1 学問の自由とは？ セクション概要 学問の自由の保障の範囲と限界を学ぶ

セクション2 大学の自治 セクション概要 大学の自治について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 学問の自由の基本判例から学ぶ

第11回 経済活動の自由（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（7章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 私有財産制度について憲法から学ぶ

セクション1 経済活動の自由とは？ セクション概要 経済活動の自由について内容を学ぶ

セクション2 財産権の保障 セクション概要 財産権の保障について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 財産権の保障の基本事例から学ぶ

第12回 人身の自由（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（8章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 刑事疑義者・被告人の権利について学ぶ

セクション1 罪刑法定主義とは？ セクション概要 罪刑法定主義について学ぶ

セクション2 人身の自由 セクション概要 人身の自由の内容について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 人身の自由の基本事例から学ぶ

第13回 生存権（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（9章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 憲法が保障する「健康で文化的な最低限度の生活」とは何かを学ぶ

セクション1 生存権とは？ セクション概要 生存権の法的性格について学ぶ

セクション2 日本の社会保障制度 セクション概要 社会保障制度の種類と内容を概括的に学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 生存権の基本事例から学ぶ

第14回 労働基本権（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（11章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 労働三権について学ぶ。ここでは特に、公務員の労働基本権について学ぶ

セクション1 勤労の権利とは？ セクション概要 労働三権について学ぶ

セクション2 公務員の労働基本権 セクション概要 公務員の労働基本権について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 公務員の労働基本権の基本事例から学ぶ

第15回 参政権（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（13章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 選挙の基本原則について学ぶ

セクション1 参政権とは？ セクション概要 参政権の概要について学ぶ

セクション2 選挙制度の基本原則 セクション概要 選挙の5つの基本原則を学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 基本原則に関する基本事例から学ぶ

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 :	暮らしのなかの憲法【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Constitution in Everyday Life				
担当者 :	重村 博美				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	前期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

「憲法」と聞いて、みなさんはどのような印象をおもちですか。私たちは普段、憲法の内容を意識して生活することは、ほとんどないかと思えます。しかし、その実、憲法は、国の最高法規として、一人ひとりのもつ大事な権利や自由を定め、そしてそれらを守る仕組みを定めている、私たちにはなくてはならない大切な法律です。

そこで本授業では、憲法の基本的な枠組みや考え方を理解していただけるよう、具体的事例（裁判例を含む）の検討を行います。とはいえ、本授業は、暗記中心の学習ではありません。現実に生じている様々な事象の検討を通じて、それら問題を法的にどのように解決すべきか、みなさんには、その法的解決に向けた考え方を習得していただくこととなります。

なお、メディア受講に際しては、受講前の教科書熟読が必須となります。そして受講時は、各自、必要に応じてノートをとってください。と同時に、必要に応じて、条文を参照してください。条文の参照方法は、第1回の授業で説明をしています。

ちなみに、みなさん方の受講に際しては、大学からの受講案内でも示されているように、予め一定の期間を設定して、受講確認がなされる予定です。レポート作成・提出においても、メディア受講は前提（必須）条件となります（単位取得に際しては、10回以上：10回を含む、受講をしていることが必要です。）。加えて、話者の話の内容が判別可能な速度で視聴してください。詳細は、各担当者の案内に従ってください。各自、受講計画を立て、自覚的に、受講いただくことを、切に希望しております。

* 本メディア授業は、下記参考文献『判例で学ぶ日本国憲法』（有信堂）をベースに作成をしています。ただし、本授業は、過去に作成された「第2版」のもので作成しており、2024年春に刊行予定の「第3版」のものとは、内容において一部異なります（異なる部分は、当該文献の第5章・本メディア授業第9回「表現の自由」です。それ以外は、基本的な部分での違いはありません）。

* この授業はコンテンツ作成者重村が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講生は、この授業を受講することにより、①日本国憲法の基本的な人権ならびに統治機構の概要を説明し、②憲法問題に対して自身の見解を示すことができるようになります。

■ 成績評価方法および基準

レポート課題（全3回） 60%

学期末試験（レポート課題） 40%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をGoogle Classroomに掲載します。

■ 教科書

指定しない

■ 参考文献

[ISBN]9784842010885 『判例で学ぶ日本国憲法[第三版]』(西村裕三編, 有信堂高文社: 2024)
2024年3月刊行予定

[ISBN]9784865281132 『立憲主義について 成立過程と現代(放送大学叢書)』(佐藤 幸治, 左右社: 2015)

[ISBN]9784000616072 『憲法 第八版』(芦部 信喜, 岩波書店: 2023)

[ISBN]9784641227613 『憲法学読本 第3版』(安西 文雄, 有斐閣: 2018)

[ISBN]9784641115453 『憲法判例百選I 第7版(別冊ジュリスト)』(長谷部 恭男, 有斐閣: 2019)

[ISBN]9784641115460 『憲法判例百選II 第7版(別冊ジュリスト)』(長谷部 恭男, 有斐閣: 2019)

■ 関連科目

「現代社会と法」など

■ 授業評価アンケート実施方法

本学の規定に準拠して実施します。

■ 研究室・メールアドレス

18号館南棟 shigemura@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

火曜日 2限

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 概要 憲法とはなにか(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 教科書の該当箇所を読み(1・18章)、内容の把握をする

予習時間: 60分

復習内容: 授業内容について自身でまとめる

復習時間: 120分

法律の学習を始めるために必要となる法学・憲法の基礎的事項を学ぶ

セクション1 法とは何か セクション概要 法とは何かについて学ぶ

セクション2 憲法とは何か セクション概要 憲法とは何かについて学ぶ

セクション3 日本国憲法概説 セクション概要 憲法制定過程と基本原則を学ぶ

第2回 立法権と行政権(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 教科書の該当箇所を読み(14・15章)、内容の把握をする

予習時間: 60分

復習内容: 授業内容について自身でまとめる

復習時間: 120分

三権分立のうち、立法権と行政権を学ぶ

セクション1 三権分立とは? セクション概要 三権分立の概説を学ぶ

セクション2 日本の統治機構・立法権 セクション概要 国会の組織と役割を学ぶ

セクション3 日本の統治機構・行政権 セクション概要 内閣の組織と役割を学ぶ

第3回 司法権(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 教科書の該当箇所を読み(16章の1と2)、内容の把握をする

予習時間: 60分

復習内容: 授業内容について自身でまとめる

復習時間: 120分

概要 三権分立のうち、司法権について学ぶ

セクション1 司法権とは? セクション概要 司法権の範囲と限界について学ぶ

セクション2 裁判所組織について セクション概要 裁判所組織と審級について学ぶ

セクション3 裁判官 セクション概要 裁判官の身分保障について学ぶ

第4回 司法審査権(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 教科書の該当箇所を読み(16章の3)、内容の把握をする

予習時間: 60分

復習内容: 授業内容について自身でまとめる

復習時間: 120分

概要 司法審査権について学ぶ

セクション1 司法審査権の目的と方法 セクション概要 司法審査権の目的と方法について学ぶ

セクション2 違憲審査基準 セクション概要 違憲審査基準について学ぶ

セクション3 司法積極主義・消極主義 セクション概要 司法積極主義・消極主義について学ぶ

第5回 基本的人権総論(授業形式: 講義および演習)

予習内容：教科書の該当箇所を読み（1章の3と4）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 基本的人権の総論部分を学ぶ

セクション1 人権の歴史 セクション概要 人権が確立していった過程を学ぶ

セクション2 人権の分類 セクション概要 日本国憲法の人権規定を概括的に学ぶ

セクション3 人権の限界 セクション概要 基本的人権の限界について学ぶ

第6回 幸福追求権（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（2章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 幸福追求権を軸に主張される権利や自由について学ぶ

セクション1 幸福追求権とは？ セクション概要 幸福追求権の概説を学ぶ

セクション2 プライバシーの権利 セクション概要 プライバシーの権利について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 プライバシーの権利の判例から学ぶ

第7回 法の下での平等（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（3章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 憲法が意味する平等とは何かを学ぶ

セクション1 憲法の平等保障規定 セクション概要 日本国憲法が規定する平等規定について学ぶ

セクション2 平等とは？ セクション概要 憲法が示す「平等」の意味について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 平等権に関する基本事例から学ぶ

第8回 信教の自由・政教分離（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（4章の2）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

概要 信教の自由が保障する範囲と政教分離について学ぶ

セクション1 信教の自由とは？ セクション概要 信教の自由が規定された背景を学ぶ

セクション2 政教分離 セクション概要 政教分離原則について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 政教分離の基本事例から学ぶ

第9回 表現の自由（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（5章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 表現の自由がなぜ「優越的地位」にあるといわれるのか学ぶ

セクション1 表現の自由とは？ セクション概要 表現の自由の優越的地位の原則について学ぶ

セクション2 マス・メディアの取材・報道の自由 セクション概要 マス・メディアの取材・報道の自由について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 取材・報道の自由の基本事例から学ぶ

第10回 学問の自由・教育を受ける権利（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（6・10章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 大学における「学問」とはどういうものか学ぶ

セクション1 学問の自由とは？ セクション概要 学問の自由の保障の範囲と限界を学ぶ

セクション2 大学の自治 セクション概要 大学の自治について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 学問の自由の基本判例から学ぶ

第11回 経済活動の自由（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（7章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 私有財産制度について憲法から学ぶ

セクション1 経済活動の自由とは？ セクション概要 経済活動の自由について内容を学ぶ

セクション2 財産権の保障 セクション概要 財産権の保障について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 財産権の保障の基本事例から学ぶ

第12回 人身の自由（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（8章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 刑事疑義者・被告人の権利について学ぶ

セクション1 罪刑法定主義とは？ セクション概要 罪刑法定主義について学ぶ

セクション2 人身の自由 セクション概要 人身の自由の内容について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 人身の自由の基本事例から学ぶ

第13回 生存権（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（9章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 憲法が保障する「健康で文化的な最低限度の生活」とは何かを学ぶ

セクション1 生存権とは？ セクション概要 生存権の法的性格について学ぶ

セクション2 日本の社会保障制度 セクション概要 社会保障制度の種類と内容を概括的に学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 生存権の基本事例から学ぶ

第14回 労働基本権（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（11章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 労働三権について学ぶ。ここでは特に、公務員の労働基本権について学ぶ

セクション1 勤労の権利とは？ セクション概要 労働三権について学ぶ

セクション2 公務員の労働基本権 セクション概要 公務員の労働基本権について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 公務員の労働基本権の基本事例から学ぶ

第15回 参政権（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（13章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 選挙の基本原則について学ぶ

セクション1 参政権とは？ セクション概要 参政権の概要について学ぶ

セクション2 選挙制度の基本原則 セクション概要 選挙の5つの基本原則を学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 基本原則に関する基本事例から学ぶ

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 :	キャリアデザイン【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Career Design				
担当者 :	松本 誠一				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	前期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

今後の職業人は、自律したキャリアを歩む必要があります。そのためには、自分自身の価値観や仕事の経験、社会での就労形態などを客観的に見つけ、分析し、自発的なキャリア形成をする力を養っておかなければなりません。また、組織にもそうした自発的なキャリアを歩む個人を上手にマネジメントすることで、貴重な人材資源を活用することが求められています。

本授業は、そうした考え方を学ぶための理論的な解説や事例の検討などで構成します。

なお、この授業はコンテンツ作成者谷口智彦が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

現代の社会経済環境を認識し、自ら自律的にキャリア形成が行える視点を身につけ、さらに経営的観点からも人材を捉えることで企業等の組織で活躍できる人材として必要な基本的な知識を習得することを目的とします。

■ 成績評価方法および基準

授業に関するレポートや課題提出等（担当教員の指示に従うこと） 100%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

担当教員がレポートや課題の提出などの要点や解説等を掲示板等を利用して掲載するなど提示します。

■ 教科書

『近大生のためのキャリアデザイン－KICSキャリアデザイン補助教材－（電子書籍）』

<http://www.amazon.co.jp/dp/B09RFDDCJD>

『近大生のためのキャリアデザイン－KICSキャリアデザイン補助教材－（ペーパーバック）』

<https://www.amazon.co.jp/dp/B09S244GSJ>

オンデマンド動画の内容をテキスト化したものです。各回の確認テスト及び授業のレポート課題、将来の就活時など、授業内容を再度見返したい場合に活用できます。

電子書籍はAmazon Kindleアプリにより、スマホ、タブレット、PC等で読むことが可能です。

■ 参考文献

[ISBN]9784532110017 『人材マネジメント入門 日経文庫B76』（守島 基博, 日本経済新聞出版 : 2004）

[ISBN]9784569619415 『働くひとのためのキャリア・デザイン (PHP新書)』（金井 壽宏, PHP研究所 : 2002）

[ISBN]9784833419093 『「見どころのある部下」支援法 (ワークス人と組織選書)』（谷口智彦, プレジデント社 : 2009）

[ISBN]9784833491181 『「いっしょに働きたくなる人」の育て方－マクドナルド、スターバックス、コールドストーンの人材研究 (ワークス人と組織選書)』（見館 好隆, プレジデント社 : 2010）

■ 関連科目

-

■授業評価アンケート実施方法

本学の規程に準拠して実施します

■研究室・メールアドレス

tomohiko.taniguchi@bus.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

火曜日4限

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

-

第1回 キャリアデザインを学ぶ（授業形式：講義および演習）

予習内容：各自の将来の進路について考えをまとめておく

予習時間：30分

復習内容：授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間：60分

概要 キャリアデザインの授業の目標、進め方、また学ぶ理由など概要を説明します

セクション1 授業の目的と進め方 セクション概要 簡単な自己紹介、および授業の目的と進め方などを説明します

セクション2 キャリアデザインという言葉の意味 セクション概要 「キャリアデザイン」という言葉が意味することを簡単に説明します

セクション3 キャリアデザインを学ぶ理由 セクション概要 なぜキャリアデザインを学ぶ必要があるのか理解します

第2回 キャリアとは何か（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間：30分

復習内容：授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間：60分

概要 キャリアの定義およびキャリアをデザインすることの意味を説明します

セクション1 キャリアの語源 セクション概要 キャリアの語源からその意味を解説します

セクション2 キャリアの定義 セクション概要 主な論者のキャリアの定義を紹介します

セクション3 キャリアをデザインすることの意味 セクション概要 キャリアをデザインするために何をすべきかを説明します

第3回 自分に合った職業・仕事とは何か（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間：30分

復習内容：授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間：60分

概要 自分に合った職業・仕事を選ぶ際の考え方を説明します

セクション1 自分に合った職業・仕事とは何か セクション概要 自分に合った職業や仕事を見つけるにはどう考えればよいか説明します

セクション2 仕事選びの基本的な考え方 セクション概要 仕事選びの理論的な考え方の基本を紹介します

セクション3 職業や仕事の特徴 セクション概要 商品などとの選び方における違いから職業や仕事の特徴を説明します

第4回 「自分のこと」を知る（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間：30分

復習内容：授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間：60分

概要 「自分のこと」を探索するための基本的な考え方を説明します

セクション1 「自分」とは何か セクション概要 「自分」の定義や捉え方を説明します

セクション2 仕事を選ぶうえで自分への問い セクション概要 仕事を選ぶうえで、「自分」をどのように考えればよいか、その問いを提示します

セクション3 「自分」を探るための様々なヒント セクション概要 自分を探るための性格診断などその他の方法を説明します

第5回 社会・雇用環境を知る（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間：30分

復習内容：授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間：60分

概要 今後の日本の社会・雇用環境と就職に関係する指標を説明します

セクション1 日本の社会・雇用環境はどうなるのか セクション概要 日本の人口などこれからの雇用環境がどうなるのかを説明します

セクション2 就職と関係する指標を理解する(1) セクション概要 失業率や非正規社員比率など就職に関係する指標を解説します

セクション3 就職と関係する指標を理解する(2) セクション概要 就職内定率や有効求人倍率など就職に関係する指標を理解します

第6回 労働とお金の関係を理解する(授業形式：講義および演習)

予習内容：授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間：30分

復習内容：授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間：60分

概要 働く環境の中でも特にお金に関する知識を説明します

セクション1 働くうえで重要なお金 セクション概要 社会人の働く理由を説明し、特にお金の位置づけについて確認します

セクション2 賃金の差はどこにあるのか セクション概要 賃金の差がどのような条件で変わるのかについて説明します

セクション3 生涯で必要になるお金 セクション概要 働き始めてから結婚や子育てなど生活に必要なお金について説明します

第7回 業界・職業を知る(授業形式：講義および演習)

予習内容：授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間：30分

復習内容：授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間：60分

概要 業種・業界、職業について、また実際の企業の採用選考のスケジュールを説明します

セクション1 業種・業界について セクション概要 業種や業界の知識、またその調べ方を説明します

セクション2 職業について セクション概要 職業の数や視野の広げ方について説明します

セクション3 就職活動について セクション概要 企業の採用選考、就職活動のスケジュールについて説明します

第8回 職種を知る(授業形式：講義および演習)

予習内容：授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間：30分

復習内容：授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間：60分

概要 自分に合った仕事を選ぶときの職種の考え方について説明します

セクション1 職種について セクション概要 職種とは何かについて説明します

セクション2 文系の職種 セクション概要 文系学部の卒業者が一般に就く職種について説明します

セクション3 理系の職種 セクション概要 理系学部の卒業者が一般に就く職種について説明します

第9回 キャリアの基礎理論を学ぶ(1)(授業形式：講義および演習)

予習内容：授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間：30分

復習内容：授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間：60分

概要 キャリアの基礎理論として「ライフスパン理論」を取り上げ説明します

セクション1 職業における発達とは セクション概要 発達の概念について説明し、それが職業における発達(職業的発達)とどう関連するのかについて説明します

セクション2 ライフスパン理論 セクション概要 職業的発達について体系的に整理したライフスパン理論について説明します

セクション3 ライフスパン理論の意味合い セクション概要 ライフスパン理論が大学生にとってどのような意味合いがあるのか説明します

第10回 キャリアの基礎理論を学ぶ（2）（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間：30分

復習内容：授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間：60分

概要 キャリアの基礎理論として「キャリアトランジション理論」を取り上げ説明します

セクション1 人生における変化 セクション概要 人生における変化として「転機」について説明します

セクション2 キャリアトランジション理論 セクション概要 人生（キャリア）の変化に適応するための理論として、キャリアトランジション理論について説明します

セクション3 トランジション理論の意味合い セクション概要 トランジション理論が人生においてどのような意味合いがあるのか説明します

第11回 企業とは何か（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間：30分

復習内容：授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間：60分

概要 企業の活動について基本的な捉え方を説明します

セクション1 企業の活動 セクション概要 企業とは何か、また企業が行う活動とはどういったものかについて簡単に説明します

セクション2 企業ごとの違い セクション概要 それぞれの企業の違いはどこにあるのかについて説明します

セクション3 企業における人材 セクション概要 企業において人材がどのような位置づけにあるのか、その意味合について説明します

第12回 企業における人材の活用（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間：30分

復習内容：授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間：60分

概要 企業で働く人材を企業はどう活用するのかについて説明します

セクション1 人材マネジメントとは セクション概要 企業における人材の活用（マネジメント）について説明します

セクション2 人材の獲得と効果を高める要素 セクション概要 人材マネジメントを行うための7つの要素のうち、人材の獲得と人材の活用の中の効果を高める3つの要素について説明します

セクション3 効率を高める要素と人材の尊重 セクション概要 人材マネジメントの中の効率を高める2つの要素と人材の尊重について説明します。また、人材マネジメントがキャリアに与える意味についても解説します

第13回 働くまでの企業との接点（インターンシップ等）（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間：30分

復習内容：授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間：60分

概要 働くまでに企業と接する機会とそうした経験から学ぶことについて説明します。またインターンシップについて説明します

セクション1 企業との接点と活用 セクション概要 学生生活の中で企業と接する機会（企業との接点）とその活用について説明します

セクション2 経験と学習 セクション概要 経験と学習について基本的な考え方を説明します

セクション3 インターンシップ経験 セクション概要 インターンシップの概要とインターンシップ経験での学びについて説明します

第14回 働くまでの企業との接点（アルバイト等）（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間：30分

復習内容：授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間：60分

概要 アルバイト経験と学びについて説明します

セクション1 アルバイトの位置づけ セクション概要 大学生にとってアルバイトがどのような位置づけにあるのかを説明します
セクション2 アルバイト経験 セクション概要 アルバイトで成長を促す経験とは何かを説明します
セクション3 アルバイトで学ぶこと セクション概要 アルバイト経験を通じて何を学ぶのか説明します

第15回 総まとめ（授業形式：講義および演習）

予習内容：これまでの授業に関わる復習を自分なりに行き、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間：30分

復習内容：これまで授業のまとめとして、自分の進路や将来について考えたことを、整理し、まとめを記述してください。

復習時間：60分

概要 これまでの学びを総合的に考えるために体系的なまとめを説明します

セクション1 まとめ（1） セクション概要 キャリアデザインの授業の全体像を確認し、第1回から第4回までの授業のまとめを説明します

セクション2 まとめ（2） セクション概要 第5回から第8回、また第11回と第12回のまとめを説明します

セクション3 まとめ（3） セクション概要 第9回と第10回、また第13回と第14回のまとめを説明します

■ホームページ

『近大生のためのキャリアデザイン－KICSキャリアデザイン補助教材－（電子書籍）』

<http://www.amazon.co.jp/dp/B09RFDDCJD>

『近大生のためのキャリアデザイン－KICSキャリアデザイン補助教材－（ペーパーバック）』

<https://www.amazon.co.jp/dp/B09S244GSJ>

■実践的な教育内容

-

科目名 :	キャリアデザイン【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Career Design				
担当者 :	李 超				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	前期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :	理工学部応用化学科：学修・教育到達目標（A）に付随的に関与、 理工学部機械工学科：機械工学コース学習・教育目標：A-3, JABEE基準1.2：(a)(b)に関与、 理工学部電気電子通信工学科：学習・教育到達目標D1の達成に付随的に関与、 理工学部社会環境工学科：ディプロマ・ポリシーの(J)に主体的に関与、(A)、(B)に付随的に関与				

■ 授業概要

今後の職業人は、自律したキャリアを歩む必要があります。そのためには、自分自身の価値観や仕事の経験、社会での就労形態などを客観的に見つめ、分析し、自発的なキャリア形成をする力を養っておかなければなりません。また、組織にもそうした自発的なキャリアを歩む個人を上手にマネジメントすることで、貴重な人材資源を活用することが求められています。本授業は、そうした考え方を学ぶための理論的な解説や事例の検討などで構成します。なお、この授業はコンテンツ作成者谷口智彦が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

現代の社会経済環境を認識し、自ら自律的にキャリア形成が行える視点を身につけ、さらに経営的観点からも人材を捉えることで企業等の組織で活躍できる人材として必要な基本的な知識を習得することを目的とします。

■ 成績評価方法および基準

授業に関するレポートや課題提出等（担当教員の指示に従うこと） 100%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

担当教員がレポートや課題の提出などの要点や解説等を掲示板等を利用して掲載するなど提示します。

■ 教科書

『近大生のためのキャリアデザイン－KICSキャリアデザイン補助教材－（電子書籍）』
<http://www.amazon.co.jp/dp/B09RFDDCJD>

『近大生のためのキャリアデザイン－KICSキャリアデザイン補助教材－（ペーパーバック）』
<https://www.amazon.co.jp/dp/B09S244GSJ>

オンデマンド動画の内容をテキスト化したものです。各回の確認テスト及び授業のレポート課題、将来の就活時など、授業内容を再度見返したい場合に活用できます。

電子書籍はAmazon Kindleアプリにより、スマホ、タブレット、PC等で読むことが可能です。

■ 参考文献

- [ISBN]9784532110017 『人材マネジメント入門 日経文庫B76』（守島 基博, 日本経済新聞出版：2004）
- [ISBN]9784569619415 『働くひとのためのキャリア・デザイン（PHP新書）』（金井 壽宏, PHP研究所：2002）
- [ISBN]9784833419093 『「見どころのある部下」支援法（ワークス人と組織選書）』（谷口智彦, プレジデント社：2009）
- [ISBN]9784833491181 『「いっしょに働きたくなる人」の育て方－マクドナルド、スターバックス、コールドストーンの人材』

研究 (ワークス人と組織選書)』(見館 好隆, プレジデント社: 2010)

■ 関連科目

-

■ 授業評価アンケート実施方法

本学の規程に準拠して実施します

■ 研究室・メールアドレス

21-715

richou@bus.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

木曜・3限

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

-

第1回 キャリアデザインを学ぶ (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 各自の将来の進路について考えをまとめておく

予習時間: 30分

復習内容: 授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間: 60分

概要 キャリアデザインの授業の目標、進め方、また学ぶ理由など概要を説明します

セクション1 授業の目的と進め方 セクション概要 簡単な自己紹介、および授業の目的と進め方などを説明します

セクション2 キャリアデザインという言葉の意味 セクション概要 「キャリアデザイン」という言葉が意味することを簡単に説明します

セクション3 キャリアデザインを学ぶ理由 セクション概要 なぜキャリアデザインを学ぶ必要があるのか理解します

第2回 キャリアとは何か (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間: 30分

復習内容: 授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間: 60分

概要 キャリアの定義およびキャリアをデザインすることの意味を説明します

セクション1 キャリアの語源 セクション概要 キャリアの語源からその意味を解説します

セクション2 キャリアの定義 セクション概要 主な論者のキャリアの定義を紹介します

セクション3 キャリアをデザインすることの意味 セクション概要 キャリアをデザインするために何をすべきかを説明します

第3回 自分に合った職業・仕事とは何か (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間: 30分

復習内容: 授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間: 60分

概要 自分に合った職業・仕事を選ぶ際の考え方を説明します

セクション1 自分に合った職業・仕事とは何か セクション概要 自分に合った職業や仕事を見つけるにはどう考えればよいか説明します

セクション2 仕事選びの基本的な考え方 セクション概要 仕事選びの理論的な考え方の基本を紹介します

セクション3 職業や仕事の特徴 セクション概要 商品などとの選び方における違いから職業や仕事の特徴を説明します

第4回 「自分のこと」を知る (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間: 30分

復習内容: 授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間: 60分

概要 「自分のこと」を探索するための基本的な考え方を説明します

セクション1 「自分」とは何か セクション概要 「自分」の定義や捉え方を説明します

セクション2 仕事を選ぶうえで自分への問い セクション概要 仕事を選ぶうえで、「自分」をどのように考えればよいの

か、その問いを提示します

セクション3 「自分」を探るための様々なヒント セクション概要 自分を探るための性格診断などその他の方法を説明します

第5回 社会・雇用環境を知る（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間：30分

復習内容：授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間：60分

概要 今後の日本の社会・雇用環境と就職に関係する指標を説明します

セクション1 日本の社会・雇用環境はどうなるのか セクション概要 日本の人口などこれからの雇用環境がどうなるのかを説明します

セクション2 就職と関係する指標を理解する（1） セクション概要 失業率や非正規社員比率など就職に関係する指標を解説します

セクション3 就職と関係する指標を理解する（2） セクション概要 就職内定率や有効求人倍率など就職に関係する指標を理解します

第6回 労働とお金の関係を理解する（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間：30分

復習内容：授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間：60分

概要 働く環境の中でも特にお金に関する知識を説明します

セクション1 働くうえで重要なお金 セクション概要 社会人の働く理由を説明し、特にお金の位置づけについて確認します

セクション2 賃金の差はどこにあるのか セクション概要 賃金の差がどのような条件で変わるのかについて説明します

セクション3 生涯で必要になるお金 セクション概要 働き始めてから結婚や子育てなど生活に必要なお金について説明します

第7回 業界・職業を知る（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間：30分

復習内容：授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間：60分

概要 業種・業界、職業について、また実際の企業の採用選考のスケジュールを説明します

セクション1 業種・業界について セクション概要 業種や業界の知識、またその調べ方を説明します

セクション2 職業について セクション概要 職業の数や視野の広げ方について説明します

セクション3 就職活動について セクション概要 企業の採用選考、就職活動のスケジュールについて説明します

第8回 職種を知る（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間：30分

復習内容：授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間：60分

概要 自分に合った仕事を選ぶときの職種の考え方について説明します

セクション1 職種について セクション概要 職種とは何かについて説明します

セクション2 文系の職種 セクション概要 文系学部の卒業者が一般に就く職種について説明します

セクション3 理系の職種 セクション概要 理系学部の卒業者が一般に就く職種について説明します

第9回 キャリアの基礎理論を学ぶ（1）（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間：30分

復習内容：授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間：60分

概要 キャリアの基礎理論として「ライフスパン理論」を取り上げ説明します

セクション1 職業における発達とは セクション概要 発達の概念について説明し、それが職業における発達（職業的発達）とどう関連するのかについて説明します

セクション2 ライフスパン理論 セクション概要 職業的発達について体系的に整理したライフスパン理論について説明します

セクション3 ライフスパン理論の意味合い セクション概要 ラーフスパン理論が大学生にとってどのような意味合いがあるのか説明します

第10回 キャリアの基礎理論を学ぶ(2) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間: 30分

復習内容: 授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間: 60分

概要 キャリアの基礎理論として「キャリアトランジション理論」を取り上げ説明します

セクション1 人生における変化 セクション概要 人生における変化として「転機」について説明します

セクション2 キャリアトランジション理論 セクション概要 人生(キャリア)の変化に適応するための理論として、キャリアトランジション理論について説明します

セクション3 トランジション理論の意味合い セクション概要 トランジション理論が人生においてどのような意味合いがあるのか説明します

第11回 企業とは何か(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間: 30分

復習内容: 授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間: 60分

概要 企業の活動について基本的な捉え方を説明します

セクション1 企業の活動 セクション概要 企業とは何か、また企業が行う活動とはどういったものかについて簡単に説明します

セクション2 企業ごとの違い セクション概要 それぞれの企業の違いはどこにあるのかについて説明します

セクション3 企業における人材 セクション概要 企業において人材がどのような位置づけにあるのか、その意味合について説明します

第12回 企業における人材の活用(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間: 30分

復習内容: 授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間: 60分

概要 企業で働く人材を企業はどう活用するのかについて説明します

セクション1 人材マネジメントとは セクション概要 企業における人材の活用(マネジメント)について説明します

セクション2 人材の獲得と効果を高める要素 セクション概要 人材マネジメントを行うための7つの要素のうち、人材の獲得と人材の活用の中の効果を高める3つの要素について説明します

セクション3 効率を高める要素と人材の尊重 セクション概要 人材マネジメントの中の効率を高める2つの要素と人材の尊重について説明します。また、人材マネジメントがキャリアに与える意味についても解説します

第13回 働くまでの企業との接点(インターンシップ等)(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間: 30分

復習内容: 授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間: 60分

概要 働くまでに企業と接する機会とそうした経験から学ぶことについて説明します。またインターンシップについて説明します

セクション1 企業との接点と活用 セクション概要 学生生活の中で企業と接する機会(企業との接点)とその活用について説明します

セクション2 経験と学習 セクション概要 経験と学習について基本的な考え方を説明します

セクション3 インターンシップ経験 セクション概要 インターンシップの概要とインターンシップ経験での学びについて説明します

第14回 働くまでの企業との接点(アルバイト等)(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間：30分

復習内容：授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間：60分

概要 アルバイト経験と学びについて説明します

セクション1 アルバイトの位置づけ セクション概要 大学生にとってアルバイトがどのような位置づけにあるのかを説明します

セクション2 アルバイト経験 セクション概要 アルバイトで成長を促す経験とは何かを説明します

セクション3 アルバイトで学ぶこと セクション概要 アルバイト経験を通じて何を学ぶのか説明します

第15回 総まとめ（授業形式：講義および演習）

予習内容：これまでの授業に関わる復習を自分なりに行き、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間：30分

復習内容：これまで授業のまとめとして、自分の進路や将来について考えたことを、整理し、まとめを記述してください。

復習時間：60分

概要 これまでの学びを総合的に考えるために体系的なまとめを説明します

セクション1 まとめ（1） セクション概要 キャリアデザインの授業の全体像を確認し、第1回から第4回までの授業のまとめを説明します

セクション2 まとめ（2） セクション概要 第5回から第8回、また第11回と第12回のまとめを説明します

セクション3 まとめ（3） セクション概要 第9回と第10回、また第13回と第14回のまとめを説明します

■ホームページ

『近大生のためのキャリアデザイン－KICSキャリアデザイン補助教材－（電子書籍）』

<http://www.amazon.co.jp/dp/B09RFDDCJD>

『近大生のためのキャリアデザイン－KICSキャリアデザイン補助教材－（ペーパーバック）』

<https://www.amazon.co.jp/dp/B09S244GSJ>

■実践的な教育内容

-

科目名 :	心理と行動【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Psychology and Action				
担当者 :	小原 宏基				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	前期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

本講義は、15回の授業のうち、心理系専攻の専任教員12名が1回ないしは2回の講義を担当して作成した動画を教材とします。それぞれの専門領域から、心理学の面白さを伝えます。

各回は、3つ程度のセクションに分かれており、それぞれのセクションについて簡単な確認テストがあります。また、中間期に2回のレポート課題があり、すべての回を視聴した後に、最終レポートの提出が課されています。

オンデマンドですので、配信された後は最終日までの間に、いつでも観ることは可能ですが、配信から2週間を期日に出席を取ります。本授業のルールとして、欠席5回以上で単位不認定としますので、週1回のペースで1回ずつ学びを進めることを強くお勧めします。

この授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。各回の作成者は授業計画の内容に記載の通りです。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

心理学における多様な領域での研究知見について、理解すること。

それらの知見によって、自分自身の経験や社会でのできごとを新たな視点で眺めるようになること。

この科目の修得は、本学が定めるディプロマポリシー3.の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

第1回レポート課題 30%

第2回レポート課題 30%

第3回レポート課題 30%

ディスカッションへの参加 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

ClassroomまたはUNIPAを通して、フィードバックをします。

■ 教科書

特に指定しない。

■ 参考文献

[ISBN]9784641221451 『はじめて出会う心理学〔第3版〕(有斐閣アルマ)』(寿一, 長谷川, 有斐閣 : 2020)

[ISBN]9784641220034 『臨床心理学入門 -- 多様なアプローチを越境する(有斐閣アルマ)』(岩壁 茂, 有斐閣 : 2013)

[ISBN]9784781912431 『学習の心理—行動のメカニズムを探る(コンパクト新心理学ライブラリ)』(正子, 実森, サイエンス社 : 2019)

[ISBN]9784762830570 『発達心理学15講』(高橋 一公, 北大路書房 : 2019)

■ 関連科目

特になし。

■ 授業評価アンケート実施方法

KICSルールに従う。

■ 研究室・メールアドレス

hiroki.ohara@lac.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

特定の時間枠は設定されていないため、必要であれば上記メールアドレスに連絡をしてください。

また返答には少し時間がかかる場合がありますので、ご了承ください。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 心理学とは (担当: 堀田 美保)

予習内容: シラバスを見ておく。

予習時間: 30分

復習内容: 確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

心と行動に関する学問である、心理学とは何をどのように研究するのかについて、概要を説明します。

第2回 感覚・知覚・注意 (担当: 遠藤 信貴)

予習内容: 感覚・知覚心理学について調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

私たちの心と外界をつなぐ感覚、外界を捉える知覚の仕組みについて概説します。

第3回 記憶 (担当: 遠藤 信貴)

予習内容: 認知心理学について調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

私たちの日常的な行動を根底で支える記憶について、その種類や役割について概説します。

第4回 学習 (担当: 漆原 宏次)

予習内容: 学習心理学について調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

私たちの行動がどのように変わるのか、なぜ変わるのか。経験による行動の変化=学習について概説します。

第5回 感情 (担当: 大対 香奈子)

予習内容: 感情心理学について調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

感情が心理学でどのように研究されてきたのか、また感情の働きやそのコントロールの方法について概説します。

第6回 神経・生理 (担当: 佐藤 望)

予習内容: 神経・生理心理学について調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

こころの働きをつかさどる仕組みについて、生物学的観点から解説します。

第7回 遺伝・進化 (担当: 上野 将敬)

予習内容: 遺伝・進化心理学について調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

人の生物学的側面に注目し、人や人以外の動物の行動における遺伝子や進化の影響について紹介します。

第8回 対人 (担当: 堀田 美保)

予習内容: 対人心理学について調べておく。

予習時間：60分

復習内容：確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間：60分

人と人の中で起こっているやりとり（相互作用）うち、対人行動についての心理を紹介します。

第9回 集団（担当：中川 知宏）

予習内容：集団心理学について調べておく。

予習時間：60分

復習内容：確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間：60分

一人でいる時と集団にいる時では、私たちの行動が変化します。これに関する社会心理学的研究を紹介します。

第10回 生涯発達1（担当：奥野 洋子）

予習内容：発達心理学について調べておく。

予習時間：60分

復習内容：確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間：60分

生涯発達の概要と乳児期から児童期の発達の特徴を説明します。

第11回 生涯発達2（担当：塩崎 麻里子）

予習内容：生涯発達心理学について調べておく。

予習時間：60分

復習内容：確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間：60分

青年期から老年期のこのころの発達について紹介します。

第12回 パーソナリティ（担当：小泉 隆平）

予習内容：パーソナリティ心理学について調べておく。

予習時間：60分

復習内容：確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間：60分

パーソナリティ・知能がどのように理解されてきたか、その理解がどのように役立っているか説明します。

第13回 健康（担当：直井 愛里）

予習内容：健康心理学について調べておく。

予習時間：60分

復習内容：確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間：60分

健康行動に関連する要因を説明し、生活習慣と心身の健康について紹介します。

第14回 臨床（担当：本岡 寛子）

予習内容：臨床心理学について調べておく。

予習時間：60分

復習内容：確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間：60分

このころの問題の理解と解決を助けるためのアセスメントとアプローチについて紹介します。

第15回 産業（担当：佐藤 望）

予習内容：産業心理学について調べておく。

予習時間：60分

復習内容：確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間：60分

心理学で得られている知見を産業場面に応用する例について紹介します。

最終レポート

15回の授業から、数問を出題するので、選択して解答のこと。

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 :	地域と環境の地理学【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Local and Environmental Geography				
担当者 :	片岡 博美				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	前期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

この授業は、法学部、経済学部、経営学部、文芸学部、総合社会学部、国際学部の共通教養科目です。この科目では、環境、すなわち自然環境（地形、気候など）や人文環境（経済、産業、文化、歴史、観光、都市など）との関連を視点にして、日本や世界の諸地域、諸問題について学びます。

この授業は、3人の授業者がオムニバス形式で行います。第1回～第6回は「文化地理」をメインにして戸井田が、第7回～第9回は「経済地理」「行動地理」をメインにして片岡が、第10回～第15回は「都市地理」をメインにして石原が講義します。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講者はこの科目を修得することによって、1) 文化地理学、経済地理学、行動地理学、都市地理学の初歩を学ぶとともに、2) 地理学の重要概念である「地域」と「環境」というものへの理解を深めます。そして、3) 現代日本および現代世界の諸問題を地理学的な視点から考察できる力の基礎を養います。

この科目の修得は、本学の定めるディプロマポリシー 2 の達成に關与しています。

■ 成績評価方法および基準

レポート課題等 100%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

課題に関する提出物の総評を授業運営ツールでの掲示によって行います。

■ 教科書

特になし。

■ 参考文献

特になし。

■ 関連科目

特になし。

■ 授業評価アンケート実施方法

本学の規程に準拠します。

■ 研究室・メールアドレス

戸井田 (toida@socio.kindai.ac.jp)

石原 (ishihara@socio.kindai.ac.jp)

片岡 (kataokah@kindai.ac.jp)

■ オフィスアワー

戸井田（前期：水曜・3限、後期：水曜・2限）

石原（月曜・2限）

片岡（前期：金曜5限&後期：水曜3限。（諸事由により多々変更あり！！随時B館の掲示板あるいは研究室ドアの掲示物で確認すること！）

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 日本の環境（授業形式：講義および演習）

予習内容：概要と各セクションについて

予習時間：30分

復習内容：今回の授業内容について

復習時間：30分

概要 日本が位置する地域と環境について学ぶ。まず日本の国土の位置と広がりを確認してから、隣国との領土問題について押さえる。また、日本列島を取り巻く潮の流れ（海流）に着目して、海洋国家としての日本の姿についてとらえていく。

セクション1 位置と広がり

セクション概要 日本は東経135度を標準時子午線とし、東西約2時間の時間幅がある。首都東京は北緯約40度にあり、南北約3000kmの幅をもつ。領土は世界62位（約38万km²）だが、水域は世界6位の大きさがある。

セクション2 地域区分—西と東・表と裏

セクション概要 日本の諸地域を大きくくりすると、西日本と東日本、表日本と裏日本の区分のほか、周圈的な区分も可能である。日本をいくつかの観点から地域区分して、それぞれの地域性を考える。

セクション3 列島を取り巻く海流

セクション概要 島国日本には、沿岸を洗ういくつかの海流（暖流、寒流）がある。日本の風土や歴史は、それらの海流から大きな影響を受け育まれてきたものである。

第2回 日本人の主食・米（授業形式：講義および演習）

予習内容：概要と各セクションについて

予習時間：30分

復習内容：今回の授業内容について

復習時間：30分

概要 日本人の主食である米について学ぶ。日本語には米にかかわる多くの語彙があり、日本人との関係の深さを示している。米は、収穫量や栄養価の面で他の穀物にはない優れた性質があり、環境保全の面でも幅広い役割を果たして。

セクション1 イネ—コメ—メシと日本人

セクション概要 日本語には米にまつわる呼称が多く、日本人の米との深いかかわりを示している。日本人の主食である米を、語彙の面から考察する。

セクション2 稲作の文化

セクション概要 米（水稻）は連作できるだけでなく、籾1粒当たりの収量が多く、たんぱく質にも富んでいる。これらのことが日本文化の基盤を形作る要因となってきた。

セクション3 稲作—もう一つの役割

セクション概要 稲作には、水循環を遅くし、土壌侵食を防ぐ環境保全機能がある。また、村社会や祭りを維持し、緑の美しい景観を保持する文化・社会保全の機能もある。

第3回 里山とともに生きる（授業形式：講義および演習）

予習内容：概要と各セクションについて

予習時間：30分

復習内容：今回の授業内容について

復習時間：30分

概要 日本人と里山の関係について学ぶ。「昔、おじいさんは山へ柴刈に」という昔話に定番の出だしは、日本人と里山のかかわりの深さを伝えている。里山は「人と自然が共生する場」であり、人は里山を利用することで、里山は人に利用されることで、ともに様々な恩恵を受けてきた。

セクション1 昔、おじいさんは山へ柴刈に

セクション概要 柴刈（シバカリ）とは燃料採取のことで、山で柴刈をしないとかつては炊事も暖もとれなかった。里山は燃料のほか、多くの資源取得の場であった。

セクション2 間伐の意義と役割

セクション概要 里山には間伐が必要不可欠である。ただ放置するだけの森林では、森の生態系が維持されず、ひいては川や海の漁場にも魚たちが集まってこない。

セクション3 森林の公益的機能

セクション概要 森林には水源涵養や土砂災害防止の機能がある。また、生物多様性を維持する場であり、地球温暖化防止にも寄与する。グリーンツーリズムにより、心身を保養する機能もある。

第4回 焼畑にみる知恵（授業形式：講義および演習）

予習内容：概要と各セクションについて

予習時間：30分

復習内容：今回の授業内容について

復習時間：30分

概要 焼畑（ヤキハタ）にみる先人の知恵について考える。焼畑の原型は地味の悪い熱帯地域にあり、そこで生きていくための知恵ある耕作の工夫である。焼畑は、同様に不利な環境下にある日本の山間部などでも行われてきたが、その方法や心得について学ぶ。

セクション1 焼畑の原型は熱帯

セクション概要 焼畑は樹木を焼いた後の灰を肥料とする農法で、土のやせた熱帯を起源とする。日本でも、同様に地味のやせた山間部などで行われてきた知恵ある農法の一つである。

セクション2 焼畑の方法

セクション概要 焼畑は4年を一単位とするものが多く、1年目に穀類、2年目にイモ類、3年目にマメ類といった具合に、年々作物を替えて輪作する。また、1年目の畑をアラコ、2年目をカーシなどと呼ぶ。

セクション3 焼畑の心得

セクション概要 秋に樹木を伐採し、乾燥させたのち、翌春に火入れする。延焼防止のためのホソケミチ（火退け道）の確保や、ヤリヤキ（槍焼き）などの手法を用いるとともに、呪術儀礼によって成功を願う。

セクション4 資料映像①の視聴

セクション概要 NHKビデオ・ニッポンの里山から、「野焼きでよみがえる大草原（熊本県阿蘇山）」を観る。野焼きで燃え残った灰を養分に草が育ち、それを餌に牛が飼育される。

第5回 牧畑にみる知恵（授業形式：講義および演習）

予習内容：概要と各セクションについて

予習時間：30分

復習内容：今回の授業内容について

復習時間：30分

概要 牧畑（マキハタ）にみる先人の知恵について考える。牧畑は近年まで日本海の島嶼部などにみられたが、現在では途絶えてしまった。しかし、その歴史的慣性は今日、牛肉の子牛産地として継承されている。また、ヨーロッパの畑作と類似点があり、その原型である三圃式農法を彷彿させる。

セクション1 牧畑の方法

セクション概要 牧畑は牧と畑を複合した農牧形態であり、牛馬の糞を肥料とする農法である。日本で最後まで残存した隠岐では、牧畑を4区画に分け、作物を輪転させて食料と役牛・役馬を取得した。

セクション2 牧畑のその後

セクション概要 隠岐の牧畑も昭和40年代には終了したが、隠岐はその後も子取り牛の飼育地として、全国の肥育農家に子牛を提供している。「神戸牛」「松阪牛」などのブランド牛も、隠岐生まれである。

セクション3 ヨーロッパ三圃式農法と牧畑

セクション概要 ヨーロッパ三圃式農法は、農耕と家畜飼育を組み合わせたものであり、牧畑に似ている。11世紀の三圃革命で人口が増え、ヨーロッパは十字軍の派遣を始めたほか、やがて大航海時代を迎える。

セクション4 資料映像②の視聴

セクション概要 NHKビデオ・ニッポンの里山から、「花咲く島の放牧地（島根県西ノ島町）」を観る。牛馬が草を食べることで美しい草原が保たれ、様々な生き物が共生している。

第6回 地名が語る環境と地域（授業形式：講義および演習）

予習内容：概要と各セクションについて

予習時間：30分

復習内容：今回の授業内容について

復習時間：30分

概要 地名と環境、地名と地域との関係について学ぶ。土地につけられた刻印である「地名」は、住人たちの了解のもとに、様々な語彙の中から生き残った文化遺産である。その場所がどういった性質を持つ土地であるかを示唆するが、中には現代人がすでに忘れてしまった、災害への警鐘のこもるものもある。

セクション1 地名と環境

セクション概要 地名には、その土地の自然環境や人文環境を反映したものが多い。大阪の道が「筋」と「通」からなり、京都の道が「通」からだけなるのも、両者の自然・人文環境の違いに基づいている。

セクション2 災害地名のいくつか

セクション概要 大阪の地名から「十三」「放出」「河内」など、全国の地名から「シマ」「クラ」「ヒラ」などを取り上げて、災害地名のいくつかについて考えてみる。

セクション3 地名からみる地域性

セクション概要 全国の「谷（タニ）地名」と「沢（サワ）地名」の分布から、地名にみる日本の地域性を考える。両者の漸移帯に「谷（ヤ）地名」が分布する理由についても検討する。

第7回 中心地を地理学する！（経済地理学）（授業形式：講義および演習）

予習内容：概要と各セクションについて

予習時間：30分

復習内容：今回の授業内容について

復習時間：30分

概要 わたしたちが普段行っている「買い物」という行為をとおして、都市（中心地）の立地について理解する。また、「財の到達範囲」や「高次財」・「低次財」をはじめとした中心地理論の基礎的概念や語句を学ぶ。

セクション1 あなたは即答できますか??

セクション概要 経済地理学における重要な基礎理論の一つである立地論とは何かを学ぶ。同時に、立地論の一つである中心地理論の基本的概念や重要語句についても学ぶ。

セクション2 おやつをどこまで買いに行こうかな?

セクション概要 わたしたちが何気なく行っている買い物という行為を振り返り、そこにある「距離」について、あらためてその存在を認識してもらうとともに、「財の到達範囲」、「高次財」・「低次財」をはじめとして、中心地理論の基本的概念や重要語句について学ぶ。

セクション3 さまざまな財を供給する中心地の最適な立地は?

セクション概要財の到達範囲は財の種類により違うため、中心地の立地も供給する財の種類により異なることを学ぶ。以上より、クリスタラーが著した「供給原理に基づく中心地システム」を理解する。

第8回 工業を地理学する！（経済地理学）（授業形式：講義および演習）

予習内容：概要と各セクションについて

予習時間：30分

復習内容：今回の授業内容について

復習時間：30分

概要 わたしたちの身の回りの工業製品について、それらが生産される場所を考えることにより、工業（工場）の立地について理解する。また、「立地三角形」や「原料指数」等、工業立地論の基本的概念や語句を学ぶ。

セクション1 ポテチはどこからやってくる??

セクション概要 わたしたちが普段食べるおやつ「ポテチ」という側面に着目し、ウェーバー工業立地論を理解する。あわせて、工業（工場）の立地に必要な要因等についても学ぶ。

セクション2 立地三角形とは??

セクション概要 ウェーバー工業立地論の第一段階に関する基本的概念について学ぶ。あわせて、「立地三角形」や「原料指数」といった概念を理解する。

セクション3 労働係数とは??集積のメリットとは??

セクション概要 ウェーバー工業立地論の第二・第三段階に関する基本的概念について学ぶ。加えて、立地条件による工業の分類も理解する。

第9回 生活行動を地理学する（授業形式：講義および演習）

予習内容：概要と各セクションについて

予習時間：30分

復習内容：今回の授業内容について

復習時間：30分

概要 わたしたちの毎日の行動を、行動地理学的な視点から捉え直し、生活活動時間・空間について理解する。また、観光やエスニシティ、ジェンダーをはじめとした事象についても行動地理学的観点から分析することにより、それらが契機となり生じる地域の課題を考察する。

セクション1 なぜ通勤自粛になったの? セクション概要 コロナ禍の中で行われた「通勤自粛」という事象を取り上げ、都市における人々の日常生活行動をあらためて考えるとともに、「行動地理学とは何か」について学ぶ。

セクション2 通勤はいつから始まったの? セクション概要 通勤という行為の始まりを理解するとともに、「パス」や「プリズム」といった行動地理学に用いられる基本的概念や重要語句について学ぶ。あわせて、各人の生活活動空間を行動地理学的視点から分析する。

セクション3 行動地理学からわかること セクション概要 観光地における人々の行動、女性の生活活動空間、外国人労働者の生活活動空間を行動地理学的視点から理解し分析することにより、それら事象が契機隣生じる地域の課題について考察する。

第10回 SDGsと地球温暖化防止（授業形式：講義および演習）

予習内容：概要と各セクションについて

予習時間：30分

復習内容：今回の授業内容について

復習時間：30分

概要 2015年に国連で「持続可能な開発目標（SDGs）」が策定された。同年に「パリ協定」も採択されている。地球規模の問題である温暖化の現状を理解し、日本で行われている取組みを把握する。

セクション1 SDGsとは

セクション概要 「持続可能な開発目標（SDGs）」の概要を説明する

セクション2 地球温暖化とその影響

セクション概要 地球規模の問題として温暖化のメカニズムとその影響を説明する

セクション3 地球温暖化防止対策と課題

セクション概要 「パリ協定」と日本で取られている対策の現状を把握する。

第11回 大気環境の保全（授業形式：講義および演習）

予習内容：概要と各セクションについて

予習時間：30分

復習内容：今回の授業内容について

復習時間：30分

概要 日本の大気汚染の歴史的経過を地域環境の改善から確認した上で、近年、新たな課題となっているPM2.5について、気候との関係から東アジアでの対策が必要となっていることを理解する。

セクション1 公害の歴史

セクション概要 四大公害とそのうちの大気汚染公害として位置付けられる四日市ぜんそくを取り上げ説明する。

セクション2 大気汚染の対策と改善

セクション概要 工場への規制のみならず道路や自動車への規制等大気汚染対策の概観を解説する。

セクション3 PM2.5と東アジア

セクション概要 地域の対策が進んだ中、新たな課題としてのPM2.5について、現状と課題を解説する。

第12回 都市の自然環境保全（授業形式：講義および演習）

予習内容：概要と各セクションについて

予習時間：30分

復習内容：今回の授業内容について

復習時間：30分

概要 高度経済成長により日本の三大都市圏は急激な成長を遂げた。大都市圏における自然環境をどのように保全すべきか、緑地保全や都市緑化の観点から考える。

セクション1 都市の緑地構成要素

セクション概要 都市化が進展する中で、どのように緑地としての森林・農地・公園が変化してきたかを把握する。

セクション2 都市農地の保全

セクション概要 都市農地の持つ多面的機能を理解し、保全に向けた課題を把握する。

セクション3 再開発と緑化

セクション概要 再開発に伴う緑化や緑地空間の創出の現状を把握する。

第13回 火山との共生（授業形式：講義および演習）

予習内容：概要と各セクションについて

予習時間：30分

復習内容：今回の授業内容について

復習時間：30分

概要 火山活動は人々の暮らしへ著しい影響を与える一方、様々な恩恵も与えてくれる。実際の火山災害対策の事例も交えながら、共生していくためのモニタリングについても考える。

セクション1 火山の分布

セクション概要 日本は火山国であり、どのように分布しているか把握する。

セクション2 火山ガス災害対策の事例 前編

セクション概要 2000年三宅島火山災害を例に、火山ガス対策がどのように行われたか解説する。

セクション3 火山ガス災害対策の事例 後編

セクション概要 2000年三宅島火山災害を例に、泥流対策等がどのように行われたか解説する。また、火山防災体制について理解する。

第14回 中心市街地の活性化（授業形式：講義および演習）

予習内容：概要と各セクションについて

予習時間：30分

復習内容：今回の授業内容について

復習時間：30分

概要 日本での急激な都市化とモータリゼーションの進展は中心市街地の空洞化をもたらせた。人口減少が進み、中心市街地活性化や買物弱者対策が求められており、現状と対策を解説する。

セクション1 中心市街地の課題

セクション概要 日本での中心市街地が空洞化をもたらされた要因を探る。

セクション2 コンパクトシティ

セクション概要 中心市街地の活性化に向けたコンパクトシティの実現への取組みと課題を理解する。

セクション3 買物弱者対策

セクション概要 高齢社会の到来により買物弱者対策が必要になってきていることを理解する。

第15回 行政の地理（授業形式：講義および演習）

予習内容：概要と各セクションについて

予習時間：30分

復習内容：今回の授業内容について

復習時間：30分

概要 平成の大合併により約3,300あった市町村が約1,300程度までに減少した。合併の規模は都道府県によって異なる。合併による都市構造にどのような変化があったかを理解する。

セクション1 平成の大合併

セクション概要 平成の大合併における都道府県別にみた合併の状況を把握する。

セクション2 都市構造の変化

セクション概要 大規模な市町村合併が行われた場合、都市の構造が変化することを理解する。

セクション3 ローカルガ・バナンス

セクション概要 人口減少や少子高齢化が進む中で、地域の自治を進める上での課題についてふれる。

-

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 :	現代社会と法【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Law and Modern Society				
担当者 :	村宮 淳子				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	前期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :	理工学部応用化学科：学修・教育到達目標（A）に主体的に関与、 理工学部電気電子通信工学科：学習・教育到達目標D1の達成に付随的に関与、 理工学部社会環境工学科：ディプロマ・ポリシーの(A)、(G)に主体的に関与、(C)に付随的に関与				

■ 授業概要

この授業コンテンツ（動画）は村中が作成したものであり、第1回から第15回まで同一の教員による講義を行っている。

法律学の中でも基本的な法である、憲法、民法、刑法などを中心にその内容を理解する。
社会の中で生きていくうえでの基本的な法的知識の基礎を身につける。

※オンデマンド授業であるため、毎週の受講（動画の視聴）が必須とはならないが、規定に基づき出席の確認を行い、出席状況が3分の2以上あることが求められる（全15回のうち10回以上の出席）。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

PBL（課題解決学習）・ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講者は、この授業と通じて、①法（法学）と社会の関りを認識し、②身近な事柄が法と関わること、法によって私たちの生活の様々な場面が規制されていることを理解するとともに、③身近なトラブルの事例の解決策を探る上での基礎的な知識を身につけることができる。

■ 成績評価方法および基準

中間レポート課題（全2回） 40%

期末レポート課題 60%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

レポート課題の提出締切後に「レポート課題の要点・採点基準と解説」をGoogleClassroomに掲載します。
また、全体的な講評コメントを掲示します。

■ 教科書

[ISBN]479728630X 『嫌いにならない法学入門〔第2版〕』（村中 洋介, 信山社：2023）

■ 参考文献

[ISBN]9784641115668 『地方自治判例百選〔第5版〕：別冊ジュリスト266号（別冊ジュリスト no. 266）』（小幡 純子, 有斐閣：2023）

[ISBN]9784641115651 『民事訴訟法判例百選〔第6版〕：別冊ジュリスト 第265号（別冊ジュリスト 265）』（高田 裕成, 有斐閣：2023）

[ISBN]9784641115620 『民法判例百選I 総則・物権〔第9版〕：別冊ジュリスト 第262号（別冊ジュリスト no. 262）』（潮見 佳男, 有斐閣：2023）

[ISBN]9784641115637 『民法判例百選II 債権〔第9版〕：別冊ジュリスト 第263号（別冊ジュリスト no. 263）』（窪田 充見, 有斐閣：2023）

- [ISBN]9784641115644 『民法判例百選III 親族・相続〔第3版〕：別冊ジュリスト 第264号(別冊ジュリスト no. 264)』(大村 敦志, 有斐閣：2023)
- [ISBN]9784641115606 『行政判例百選I〔第8版〕：別冊ジュリスト 第260号(別冊ジュリスト no. 260)』(斎藤 誠, 有斐閣：2022)
- [ISBN]9784641115613 『行政判例百選II〔第8版〕：別冊ジュリスト 第261号(別冊ジュリスト no. 261)』(斎藤 誠, 有斐閣：2022)
- [ISBN]9784641115507 『刑法判例百選I 総論〔第8版〕：別冊ジュリスト 第250号』(佐伯 仁志, 有斐閣：2020)
- [ISBN]9784641115514 『刑法判例百選II 各論〔第8版〕：別冊ジュリスト 第251号』(佐伯 仁志, 有斐閣：2020)
- [ISBN]9784641115453 『憲法判例百選I 第7版(別冊ジュリスト)』(長谷部 恭男, 有斐閣：2019)
- [ISBN]9784641115460 『憲法判例百選II 第7版(別冊ジュリスト)』(長谷部 恭男, 有斐閣：2019)
- [ISBN]4335301294 『最新重要判例250〔刑法〕 第13版』(前田 雅英, 弘文堂：2023)

■ 関連科目

法学に関連する基本科目

■ 授業評価アンケート実施方法

大学の定める実施要領に基づいて実施する。

■ 研究室・メールアドレス

muramiya_junko@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

メールにて随時

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 インTRODクシヨン・法とは何か(授業形式：講義および演習)

予習内容：テキストの該当箇所等を用いて予習する。

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察やテキスト該当箇所等を用いて復習する。

復習時間：60分

セクション1 法学を学ぶということ

セクション2 法の性質

セクション3 法の存在形式と分類

第2回 憲法1(統治)(授業形式：講義および演習)

予習内容：テキストの該当箇所等を用いて予習する。

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察やテキスト該当箇所等を用いて復習する。

復習時間：60分

セクション1 憲法の歴史と存在意義

セクション2 三権分立

セクション3 地方自治とは何か

第3回 憲法(人権1)・人権とは何か(授業形式：講義および演習)

予習内容：テキストの該当箇所等を用いて予習する。

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察やテキスト該当箇所等を用いて復習する。

復習時間：60分

セクション1 人権とは何か・人権の種類

セクション2 人権の制約と保障範囲

セクション3 平等権と幸福追求権

第4回 憲法(人権2)・精神的自由(授業形式：講義および演習)

予習内容：テキストの該当箇所等を用いて予習する。

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察やテキスト該当箇所等を用いて復習する。

復習時間：60分

セクション1 思想良心の自由・信教の自由

セクション2 表現の自由

セクション3 学問の自由・教育を受ける権利

第5回 憲法(人権3)(授業形式：講義および演習)

予習内容：テキストの該当箇所等を用いて予習する。

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察やテキスト該当箇所等を用いて復習する。

復習時間：60分

- セクション1 経済的自由
- セクション2 社会権
- セクション3 参政権と人身の自由

第6回 民法1（総則）（授業形式：講義および演習）

予習内容：テキストの該当箇所等を用いて予習する。

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察やテキスト該当箇所等を用いて復習する。

復習時間：60分

- セクション1 民法の体系
- セクション2 権利の主体と客体
- セクション3 権利の変動

第7回 民法2（物権・債権）（授業形式：講義および演習）

予習内容：テキストの該当箇所等を用いて予習する。

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察やテキスト該当箇所等を用いて復習する。

復習時間：60分

- セクション1 物権法・所有権
- セクション2 債権と契約
- セクション3 不法行為

第8回 民法3（家族関係・相続）（授業形式：講義および演習）

予習内容：テキストの該当箇所等を用いて予習する。

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察やテキスト該当箇所等を用いて復習する。

復習時間：60分

- セクション1 離婚
- セクション2 子どもの権利
- セクション3 相続問題

第9回 刑法1（授業形式：講義および演習）

予習内容：テキストの該当箇所等を用いて予習する。

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察やテキスト該当箇所等を用いて復習する。

復習時間：60分

- セクション1 刑法の基本・犯罪と刑罰
- セクション2 犯罪の構成要件
- セクション3 違法性阻却事由・責任阻却自由

第10回 刑法2（授業形式：講義および演習）

予習内容：テキストの該当箇所等を用いて予習する。

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察やテキスト該当箇所等を用いて復習する。

復習時間：60分

- セクション1 生命・身体に関する罪
- セクション2 財産に対する罪
- セクション3 社会法益・国家法益に関する罪

第11回 民事訴訟（授業形式：講義および演習）

予習内容：テキストの該当箇所等を用いて予習する。

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察やテキスト該当箇所等を用いて復習する。

復習時間：60分

- セクション1 民事裁判制度の意義
- セクション2 訴訟の流れ
- セクション3 民事訴訟の原則と様々な問題解決手段

第12回 刑事訴訟（授業形式：講義および演習）

予習内容：テキストの該当箇所等を用いて予習する。

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察やテキスト該当箇所等を用いて復習する。

復習時間：60分

セクション1 刑事手続きの流れ

セクション2 捜査に関する諸原則

セクション3 公判の諸原則

第13回 行政法1（組織法・作用法）（授業形式：講義および演習）

予習内容：テキストの該当箇所等を用いて予習する。

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察やテキスト該当箇所等を用いて復習する。

復習時間：60分

セクション1 行政法の基礎

セクション2 行政組織

セクション3 行政作用

第14回 行政法2（救済法）（授業形式：講義および演習）

予習内容：テキストの該当箇所等を用いて予習する。

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察やテキスト該当箇所等を用いて復習する。

復習時間：60分

セクション1 行政救済法とは

セクション2 国家補償

セクション3 行政争訟

第15回 災害と法（授業形式：講義および演習）

予習内容：テキストの該当箇所等を用いて予習する。

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察やテキスト該当箇所等を用いて復習する。

復習時間：60分

セクション1 災害とは何か? 防災とは何か? 私たちに身近な防災

セクション2 災害と行政

セクション3 各種災害に関する法制度と今日の課題

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 :	世界近現代史【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Modern World History				
担当者 :	阿 路思				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	前期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

人類の歴史としての世界史を扱います。日本の高校世界史の授業を受けていなくても、きちんと予習復習をするとともに教材にとりくむことで、人類の現代社会の成り立ちについての理解を深めることができるようになっていきます。

この授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。各回の作成者は授業計画の内容に記載のとおりです。

それぞれの回は3つのセクションに分かれており、それぞれのセクションについて簡単な確認テストがあります。また学期の途中に2回のレポート課題①②があり、すべての回を視聴した後に、③最終レポートの提出が課されています。

また学期の途中で、Google Classroomを通じたディスカッションの機会を設けます。

この授業では5回以上の欠席者は評価対象外（不受）とします。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

近現代史とは現代社会のなりたちを理解することであり、現代社会の抱える問題の背景を理解することでもあります。これによって、自分たちの参画する社会のこれからを考える視点が養われます。

またグローバル化した現代社会においては、問題をとらえる視点はマクロ・ミクロ両方の視点が必要です。世界近現代史は、世界史とは人類史であるという理解から、このマクロな視点を養うものでもあります。

■ 成績評価方法および基準

レポート1 30%

レポート2 25%

レポート3 25%

最終考察 10%

ディスカッションへの参加 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

レポート課題の提出締切後に「レポート課題の要点と解説」をGoogleClassroomに掲載します。

■ 教科書

Google Classroomを通じて配布します。

■ 参考文献

Google Classroomを通じて紹介します。

■ 関連科目

日本近現代史 国際化と異文化理解

■ 授業評価アンケート実施方法

本学の規程に準拠して実施します。

■研究室・メールアドレス

メールアドレス：221334@kindai.ac.jp
メールまたはGoogle Classroomを通じてご連絡下さい。

■オフィスアワー

質問等はGoogle Classroomを通じて適宜対応します。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 世界史とは？近現代史とは？（上田貴子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：Google Classroomにアップされる講義資料を読んで、この回でとりあげるテーマについて問題意識を喚起する。

予習時間：60分

復習内容：確認テストを行って不正解となった部分を確認する。授業中にでた知らない単語や事項について調べておく。

復習時間：120分

- §1 世界史とは？
- §2 時代区分を考える
- §3 近現代とはどんな時代か？

第2回 産業革命と市場経済の形成（中井大介）（授業形式：講義および演習）

予習内容：Google Classroomにアップされる講義資料を読んで、この回でとりあげるテーマについて問題意識を喚起する。

予習時間：60分

復習内容：確認テストを行って不正解となった部分を確認する。授業中にでた知らない単語や事項について調べておく。

復習時間：120分

- §1 産業革命のインパクト
- §2 市場経済と自由主義
- §3 第4次産業革命の時代へ

第3回 近代とネイション（辻河典子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：Google Classroomにアップされる講義資料を読んで、この回でとりあげるテーマについて問題意識を喚起する。

予習時間：60分

復習内容：確認テストを行って不正解となった部分を確認する。授業中にでた知らない単語や事項について調べておく。

復習時間：120分

- §1 ネイションとは何だろう？
- §2 ネイションと近代国家
- §3 ネイションと総力戦の時代

第4回 パクス・ブリタニカと近代のグローバル化（數下信幸）（授業形式：講義および演習）

予習内容：Google Classroomにアップされる講義資料を読んで、この回でとりあげるテーマについて問題意識を喚起する。

予習時間：60分

復習内容：確認テストを行って不正解となった部分を確認する。授業中にでた知らない単語や事項について調べておく。

復習時間：120分

- §1 パクス・ブリタニカとは？
- §2 近代におけるグローバル化とその影響
- §3 ウェスタン・インパクトと近代アジア

第5回 植民地支配と近代インド（數下信幸）（授業形式：講義および演習）

予習内容：Google Classroomにアップされる講義資料を読んで、この回でとりあげるテーマについて問題意識を喚起する。

予習時間：60分

復習内容：確認テストを行って不正解となった部分を確認する。授業中にでた知らない単語や事項について調べておく。

復習時間：120分

- §1 帝国主義と植民地
- §2 インドの植民地化
- §3 植民地支配と近代インド経済

第6回 イスラーム世界の近代：オスマン帝国とトルコ共和国を例として（ダニシマズ・イディリス）（授業形式：講義および演習）

予習内容：Google Classroomにアップされる講義資料を読んで、この回でとりあげるテーマについて問題意識を喚起する。

予習時間：60分

復習内容：確認テストを行って不正解となった部分を確認する。授業中にでた知らない単語や事項について調べておく。

復習時間：120分

- §1 イスラーム世界とは？
- §2 前近代とイスラーム世界

§ 3 事例：オスマン帝国とトルコ共和国の近代化

第7回 東アジアにおける西洋近代の受容（上田貴子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：Google Classroomにアップされる講義資料を読んで、この回でとりあげるテーマについて問題意識を喚起する。

予習時間：60分

復習内容：確認テストを行って不正解となった部分を確認する。授業中にでた知らない単語や事項について調べておく。

復習時間：120分

§ 1 西洋近代の東アジアへの到来

§ 2 西洋近代受容の共通点と相違点

§ 3 二つの国際秩序と日清戦争

第8回 辛亥革命と東アジアの国際関係（阿路思）（授業形式：講義および演習）

予習内容：Google Classroomにアップされる講義資料を読んで、この回でとりあげるテーマについて問題意識を喚起する。

予習時間：60分

復習内容：確認テストを行って不正解となった部分を確認する。授業中にでた知らない単語や事項について調べておく。

復習時間：120分

§ 1 清末立憲思想

§ 2 辛亥革命

§ 3 清朝崩壊後のモンゴル

第9回 移民の19世紀：アメリカ（伊澤正興）（授業形式：講義および演習）

予習内容：Google Classroomにアップされる講義資料を読んで、この回でとりあげるテーマについて問題意識を喚起する。

予習時間：60分

復習内容：確認テストを行って不正解となった部分を確認する。授業中にでた知らない単語や事項について調べておく。

復習時間：120分

§ 1 19世紀の世界経済と移民

§ 2 アメリカの移民政策

§ 3 移民とナショナリズム

第10回 メディアと近現代史（辻河典子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：Google Classroomにアップされる講義資料を読んで、この回でとりあげるテーマについて問題意識を喚起する。

予習時間：60分

復習内容：確認テストを行って不正解となった部分を確認する。授業中にでた知らない単語や事項について調べておく。

復習時間：120分

§ 1 情報・社会・メディア

§ 2 プロパガンダとメディア

§ 3 ドキュメンタリーと歴史学

第11回 戦争と戦後世界（上田貴子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：Google Classroomにアップされる講義資料を読んで、この回でとりあげるテーマについて問題意識を喚起する。

予習時間：60分

復習内容：確認テストを行って不正解となった部分を確認する。授業中にでた知らない単語や事項について調べておく。

復習時間：120分

§ 1 近代の戦争

§ 2 戦争を縛る法律

§ 3 戦争の終結とその後

第12回 分断国家（東アジア）と国際社会（和田英男）（授業形式：講義および演習）

予習内容：Google Classroomにアップされる講義資料を読んで、この回でとりあげるテーマについて問題意識を喚起する。

予習時間：60分

復習内容：確認テストを行って不正解となった部分を確認する。授業中にでた知らない単語や事項について調べておく。

復習時間：120分

§ 1 戦後世界と冷戦

§ 2 戦後の中国大陆と台湾の歩み 1

§ 3 戦後の中国大陆と台湾の歩み 2

第13回 第二次世界大戦後の東西ヨーロッパ：ドイツを例に（石井聡）（授業形式：講義および演習）

予習内容：Google Classroomにアップされる講義資料を読んで、この回でとりあげるテーマについて問題意識を喚起する。

予習時間：60分

復習内容：確認テストを行って不正解となった部分を確認する。授業中にでた知らない単語や事項について調べておく。

復習時間：120分

§ 1 社会主義と社会民主主義

- § 2 西ドイツ社会的市場経済
- § 3 東ドイツ社会主義計画経済

第14回 ジェンダーから歴史を考える（辻河典子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：Google Classroomにアップされる講義資料を読んで、この回でとりあげるテーマについて問題意識を喚起する。

予習時間：60分

復習内容：確認テストを行って不正解となった部分を確認する。授業中にでた知らない単語や事項について調べておく。

復習時間：120分

- § 1 ジェンダー史の成立
- § 2 歴史研究とジェンダーの視点
- § 3 ジェンダーから世界史を考える

第15回 世界近現代史から何を考えるか（上田貴子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：Google Classroomにアップされる講義資料を読んで、この回でとりあげるテーマについて問題意識を喚起する。

予習時間：60分

復習内容：確認テストを行って不正解となった部分を確認する。授業中にでた知らない単語や事項について調べておく。

復習時間：120分

- § 1 近代と人間
- § 2 近代と気候変動
- § 3 これからを見据えるために

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 :	ビジネスモデルとマネジメント【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Business Model and Management				
担当者 :	森山 真光				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	前期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :	理工応用化学科：学修・教育目標（B）に主体的に関与 理工機械工学科：機械工学コース学習・教育目標：A-1, JABEE基準1.2：(a)(b)に関与 理工電気電子通信工学科：学習・教育到達目標D2の達成に主体的に関与 理工社会環境工学科：ディプロマ・ポリシーの(D)に主体的に関与、(C)、(J)、(K)に付随的に関与				

■ 授業概要

情報化と企業活動に関する分析を行うために必要な基礎的は用語・概念を学びます。さらに実務経験者の講演や資料から、実際にビジネスモデルやマネジメントの分析を行い理解を深めます。この授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。各回の作成者は授業計画の内容に記載の通りです。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講者は、この授業を履修することによって

1) 企業活動に関する分析を行うために必要な基礎的な用語・概念を理解できるようになります。

■ 成績評価方法および基準

中間課題 50%

学生間ディスカッション 10%

最終課題 40%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

レポート課題の提出締切後に「レポート課題の要点と解説」をGoogle Classroomに掲載します。

■ 教科書

講義資料を適宜配布します。

■ 参考文献

[ISBN]9784798122977 『ビジネスモデル・ジェネレーション ビジネスモデル設計書』（アレックス・オスターワルダー，翔泳社：2012）

[ISBN]9784799325551 『新しい経営学』（三谷 宏治，ディスカヴァー・トゥエンティワン：2019）

[ISBN]9784478012727 『ビジネスモデルが見える化する ピクト図解』（板橋悟，ダイヤモンド社）

■ 関連科目

経営学、マーケティング論、リーダーシップ論、組織論、流通論

■ 授業評価アンケート実施方法

本学の規程に準拠して実施します。

■ 研究室・メールアドレス

森山准教授室(E-319)・moriyama{at}info.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

金曜日2時限目

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 ビジネスモデルの概要【富田・橋本】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布する講義資料を参考にビジネスモデルの概要について読み、わからない語句や理解が困難な箇所を抜き出すこと。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返しビジネスモデルの概要を整理すること。

復習時間：60分

ビジネスモデルの概要、ビジネスモデルの4要素、ピクト図解と代表的なビジネスモデルについて説明する。

第2回 ビジネスモデルの4要素：ターゲット顧客と価値の提供【富田・橋本】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布する講義資料を参考にビジネスモデルにおける「ターゲット顧客と価値の提供」を読み、わからない語句や理解が困難な箇所を抜き出すこと。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返し、ビジネスモデルにおける、ターゲット顧客と価値の提供、そのマネジメントについて整理すること。

復習時間：60分

ビジネスモデルの4要素、WHOにあたるターゲット（顧客）とWHATにあたるバリュー（提供価値）について、マネジメント手法を交えて説明する。

第3回 ビジネスモデルの4要素：価値の提供体制と競争力【富田・橋本】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布する講義資料を参考にビジネスモデルにおける「価値の提供体制と競争力」を読み、わからない語句や理解が困難な箇所を抜き出すこと。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返しビジネスモデルにおける、価値の提供体制と競争力、そのマネジメントについて整理すること。

復習時間：60分

ビジネスモデルの4要素、HOWにあたるケイパビリティ：価値の提供体制と競争力について、マネジメント手法を交えて説明する。

第4回 ビジネスモデルの4要素：収益モデルとマネジメント【富田・橋本】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布する講義資料を参考にビジネスモデルにおける「収益モデルとマネジメント」を読み、わからない語句や理解が困難な箇所を抜き出すこと。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返しビジネスモデルにおける、収益モデルとそのマネジメントについて整理すること。

復習時間：60分

ビジネスモデルの4要素、WHYにあたる収益モデルおよびマネジメントについて説明する。

第5回 ビジネスモデルキャンパスの活用【富田・橋本】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布した講義資料を参考にビジネスモデルキャンパスについてわからない語句や理解が困難な箇所を抜き出すこと。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返しビジネスモデルキャンパスについて整理すること。

復習時間：60分

ビジネスモデルキャンパスを用いて、顧客との関係性、収益性の理解、価値提供手段、外的要因、競争要因について説明する。

第6回 ビジネスモデル改善への外的原動力その①【榊原】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布した講義資料を参考にESGについてわからない語句や理解が困難な箇所を抜き出すこと。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返しESGについて整理すること。

復習時間：60分

ビジネスモデル改善への外的原動力としてESG（企業活動に対する世界的な社会規範）について説明する。

第7回 ビジネスモデル改善への外的原動力その②【榊原】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布した講義資料を参考に企業への投資についてわからない語句や理解が困難な箇所を抜き出すこと。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返し投資家による直接的な働きかけについて整理すること。

復習時間：60分

ビジネスモデル改善への外的原動力として投資家による直接的な働きかけについて説明する。

第8回 ビジネスモデル進化その1【榊原】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布した講義資料を参考にビジネスモデルの進化についてわからない語句や理解が困難な箇所を抜き出すこと。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返しビジネスモデルの進化について整理すること。

復習時間：60分

社会の変化とビジネスモデルの変遷について説明する。

第9回 ビジネスモデル進化その2【榊原】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布した講義資料を参考にビジネスモデルの進化についてわからない語句や理解が困難な箇所を抜き出すこと。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返しビジネスモデルの進化について整理すること。

復習時間：60分

ビジネスモデルの現在の立ち位置と今後の展望について説明する。

第10回 企業活動・企業の法務【森山】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布した講義資料を参考に企業活動・企業の法務についてわからない語句や理解が困難な箇所を抜き出すこと。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返し企業活動・企業の法務について整理すること。

復習時間：60分

ビジネスモデルとマネジメントの事例紹介に先立って、企業活動や経営管理に関する考え方、企業活動に法律や企業の規範に関する考え方について説明する。

第11回 リスクマネジメントとマネジメントシステム【富田・橋本】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布した講義資料を参考にリスクマネジメントとマネジメントシステムについてわからない語句や理解が困難な箇所を抜き出すこと。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返しリスクマネジメントとマネジメントシステムについて整理すること。

復習時間：60分

事業活動で直面するリスクに対応するマネジメント手法、リスクマネジメントやマネジメントシステムについて説明する。

第12回 ビジネスモデルとマネジメントの事例紹介その1(1)【森山】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布した講義資料を参考に講演する企業の情報収集をすること。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返しビジネスモデルキャンパス・ピクト図解を整理すること。

復習時間：60分

企業の実務経験者の講演からビジネスモデルとマネジメントの事例を紹介する。

第13回 ビジネスモデルとマネジメントの事例紹介その1(2)【森山】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布した講義資料を参考に講演する企業の情報収集をすること。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返しビジネスモデルキャンパス・ピクト図解を整理すること。

復習時間：60分

企業の実務経験者の講演からビジネスモデルとマネジメントの事例を紹介し、解説を加える。

第14回 ビジネスモデルとマネジメントの事例紹介その2(1)【森山】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布した講義資料を参考に講演する企業の情報収集をすること。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返しビジネスモデルキャンパス・ピクト図解を整理すること。

復習時間：60分

企業の実務経験者の講演からビジネスモデルとマネジメントの事例を紹介する。

第15回 ビジネスモデルとマネジメントの事例紹介その2(2)【森山】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布した講義資料を参考に講演する企業の情報収集をすること。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返しビジネスモデルキャンパス・ピクト図解を整理すること。到達目標の達成状況を参照しつつ全体を復習すること。

復習時間：60分

企業の実務経験者の講演からビジネスモデルとマネジメントの事例を紹介し、解説を加える。最後に、本授業で学んだ情報化と企業活動に関する分析を行うために必要な基礎的な用語・概念などの知識について振り返る。

■ ホームページ

■ 実践的な教育内容

オムニバス形式で多様な企業等から講師を招いて行う授業

科目名 :	ビジネスモデルとマネジメント【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Business Model and Management				
担当者 :	富田 佳宏				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	前期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :	理工学部応用化学科：学修・教育到達目標（B）に主体的に関与、 理工学部機械工学科：機械工学コース学習・教育目標：A-1, JABEE基準1.2：(a)(b)に関与、 理工学部電気電子通信工学科：学習・教育到達目標D2の達成に主体的に関与、 理工学部社会環境工学科：ディプロマ・ポリシーの(D)に主体的に関与、(C)、(J)、(K)に付随的に関与				

■ 授業概要

情報化と企業活動に関する分析を行うために必要な基礎的は用語・概念を学びます。さらに実務経験者の講演や資料から、実際にビジネスモデルやマネジメントの分析を行い理解を深めます。この授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。各回の作成者は授業計画の内容に記載の通りです。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講者は、この授業を履修することによって

1) 企業活動に関する分析を行うために必要な基礎的な用語・概念を理解できるようになります。

■ 成績評価方法および基準

中間課題 50%

学生間ディスカッション 10%

最終課題 40%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

レポート課題の提出締切後に「レポート課題の要点と解説」をGoogle Classroomに掲載します。

■ 教科書

講義資料を適宜配布します。

■ 参考文献

[ISBN]9784798122977 『ビジネスモデル・ジェネレーション ビジネスモデル設計書』（アレックス・オスターワルダー，翔泳社：2012）

[ISBN]9784799325551 『新しい経営学』（三谷 宏治，ディスカヴァー・トゥエンティワン：2019）

[ISBN]9784478012727 『ビジネスモデルが見える化する ピクト図解』（板橋悟，ダイヤモンド社）

■ 関連科目

経営学、マーケティング論、リーダーシップ論、組織論、流通論

■ 授業評価アンケート実施方法

本学の規程に準拠して実施します。

■ 研究室・メールアドレス

非常勤講師 富田佳宏 1906b4@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

非常勤講師につき、Google Classroom やメールで連絡ください

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 ビジネスモデルの概要【富田・橋本】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布する講義資料を参考にビジネスモデルの概要について読み、わからない語句や理解が困難な箇所を抜き出すこと。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返しビジネスモデルの概要を整理すること。

復習時間：60分

ビジネスモデルの概要、ビジネスモデルの4要素、ピクト図解と代表的なビジネスモデルについて説明する。

第2回 ビジネスモデルの4要素：ターゲット顧客と価値の提供【富田・橋本】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布する講義資料を参考にビジネスモデルにおける「ターゲット顧客と価値の提供」を読み、わからない語句や理解が困難な箇所を抜き出すこと。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返し、ビジネスモデルにおける、ターゲット顧客と価値の提供、そのマネジメントについて整理すること。

復習時間：60分

ビジネスモデルの4要素、WHOにあたるターゲット（顧客）とWHATにあたるバリュー（提供価値）について、マネジメント手法を交えて説明する。

第3回 ビジネスモデルの4要素：価値の提供体制と競争力【富田・橋本】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布する講義資料を参考にビジネスモデルにおける「価値の提供体制と競争力」を読み、わからない語句や理解が困難な箇所を抜き出すこと。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返しビジネスモデルにおける、価値の提供体制と競争力、そのマネジメントについて整理すること。

復習時間：60分

ビジネスモデルの4要素、HOWにあたるケイパビリティ：価値の提供体制と競争力について、マネジメント手法を交えて説明する。

第4回 ビジネスモデルの4要素：収益モデルとマネジメント【富田・橋本】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布する講義資料を参考にビジネスモデルにおける「収益モデルとマネジメント」を読み、わからない語句や理解が困難な箇所を抜き出すこと。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返しビジネスモデルにおける、収益モデルとそのマネジメントについて整理すること。

復習時間：60分

ビジネスモデルの4要素、WHYにあたる収益モデルおよびマネジメントについて説明する。

第5回 ビジネスモデルキャンパスの活用【富田・橋本】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布した講義資料を参考にビジネスモデルキャンパスについてわからない語句や理解が困難な箇所を抜き出すこと。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返しビジネスモデルキャンパスについて整理すること。

復習時間：60分

ビジネスモデルキャンパスを用いて、顧客との関係性、収益性の理解、価値提供手段、外的要因、競争要因について説明する。

第6回 ビジネスモデル改善への外的原動力その①【榊原】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布した講義資料を参考にESGについてわからない語句や理解が困難な箇所を抜き出すこと。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返しESGについて整理すること。

復習時間：60分

ビジネスモデル改善への外的原動力としてESG（企業活動に対する世界的な社会規範）について説明する。

第7回 ビジネスモデル改善への外的原動力その②【榊原】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布した講義資料を参考に企業への投資についてわからない語句や理解が困難な箇所を抜き出すこと。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返し投資家による直接的な働きかけについて整理すること。

復習時間：60分

ビジネスモデル改善への外的原動力として投資家による直接的な働きかけについて説明する。

第8回 ビジネスモデル進化その1【榊原】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布した講義資料を参考にビジネスモデルの進化についてわからない語句や理解が困難な箇所を抜き出すこと。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返しビジネスモデルの進化について整理すること。

復習時間：60分

社会の変化とビジネスモデルの変遷について説明する。

第9回 ビジネスモデル進化その2【榊原】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布した講義資料を参考にビジネスモデルの進化についてわからない語句や理解が困難な箇所を抜き出すこと。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返しビジネスモデルの進化について整理すること。

復習時間：60分

ビジネスモデルの現在の立ち位置と今後の展望について説明する。

第10回 企業活動・企業の法務【森山】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布した講義資料を参考に企業活動・企業の法務についてわからない語句や理解が困難な箇所を抜き出すこと。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返し企業活動・企業の法務について整理すること。

復習時間：60分

ビジネスモデルとマネジメントの事例紹介に先立って、企業活動や経営管理に関する考え方、企業活動に法律や企業の規範に関する考え方について説明する。

第11回 リスクマネジメントとマネジメントシステム【富田・橋本】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布した講義資料を参考にリスクマネジメントとマネジメントシステムについてわからない語句や理解が困難な箇所を抜き出すこと。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返しリスクマネジメントとマネジメントシステムについて整理すること。

復習時間：60分

事業活動で直面するリスクに対応するマネジメント手法、リスクマネジメントやマネジメントシステムについて説明する。

第12回 ビジネスモデルとマネジメントの事例紹介その1(1)【森山】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布した講義資料を参考に講演する企業の情報収集をすること。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返しビジネスモデルキャンパス・ピクト図解を整理すること。

復習時間：60分

企業の実務経験者の講演からビジネスモデルとマネジメントの事例を紹介する。

第13回 ビジネスモデルとマネジメントの事例紹介その1(2)【森山】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布した講義資料を参考に講演する企業の情報収集をすること。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返しビジネスモデルキャンパス・ピクト図解を整理すること。

復習時間：60分

企業の実務経験者の講演からビジネスモデルとマネジメントの事例を紹介し、解説を加える。

第14回 ビジネスモデルとマネジメントの事例紹介その2(1)【森山】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布した講義資料を参考に講演する企業の情報収集をすること。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返しビジネスモデルキャンパス・ピクト図解を整理すること。

復習時間：60分

企業の実務経験者の講演からビジネスモデルとマネジメントの事例を紹介する。

第15回 ビジネスモデルとマネジメントの事例紹介その2(2)【森山】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布した講義資料を参考に講演する企業の情報収集をすること。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返しビジネスモデルキャンパス・ピクト図解を整理すること。到達目標の達成状況を参照しつつ全体を復習すること。

復習時間：60分

企業の実務経験者の講演からビジネスモデルとマネジメントの事例を紹介し、解説を加える。最後に、本授業で学んだ情報化と企業活動に関する分析を行うために必要な基礎的な用語・概念などの知識について振り返る。

■ ホームページ

■ 実践的な教育内容

オムニバス形式で多様な企業等から講師を招いて行う授業

科目名 :	暮らしのなかの起業入門【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Introductory Course on Entrepreneurship				
担当者 :	文能 照之				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	前期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :	理工応用化学科：学修・教育到達目標（B）に付随的に関与 理工電気電子通信工学科：学習・教育到達目標D2の達成に付随的に関与 理工社会環境工学科：ディプロマ・ポリシーの(A)に主体的に関与				

■ 授業概要

インターネットが普及したことにより、私たちの生活は利便性が一層高まり、豊かさを実感できるものとなっています。大学教育のなかにメディア授業が取り入れられたことは、学生の皆さんの自由度を高めているのではないのでしょうか。インターネットは、「時間」と「場所」の制約を取り除いてくれるため、自由な時間を有効に活用することができる時代になっているのです。また、特技や専門的知識を持った多くの方と繋がることもインターネットはいとも容易に実現してくれます。そのため、アイデア、経験や趣味を活かして起業に取り組む方も増えています。

本授業は、「起業」を特別なものとして取り扱うのではなく、誰もがチャレンジできるものとして位置付け、その基本的な事項を学修することを目的とします。企業に勤務することになった場合でも、常に新しい製品・サービスを創造することが求められる今、起業の仕組みや留意点について理解しておくことは、新事業創出の任務を担う際に有効となります。その意味で、起業は今後の生活を豊かなものとするための選択の幅を広げてくれるのです。授業では、起業についての知識とともに、事業活動を通して自らの夢を実現している起業家の実践例を通して、受講者が自身のキャリアについても検討することを期待しています。

【受講に当たっての留意点】

15回すべての受講を終えなかった場合、レポートを提出しても単位は付与しません。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講者は、この授業を履修することによって、

- 1) 起業や新事業創出の意味と必要性
- 2) 起業や新事業創出を実現するために求められる基本的な事項
- 3) 起業家の実践例とキャリア

について学び、起業と社会・経済とのかかわりについて理解できるようになります。

この科目の履修は、本学が定めるディプロマポリシー 1の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

学生間ディスカッション 20%

レポート 80%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

レポート課題の提出締切後に「レポート課題の要点と解説」をGoogleClassroomに掲載します。

■ 教科書

各回資料を配布します。

■ 参考文献

[ISBN]9784502178412 『アントレプレナーシップ教科書』（松重 和美, 中央経済社 : 2016)

[ISBN]9784822259754 『起業の科学 スタートアップサイエンス』（田所 雅之, 日経BP : 2017)
[ISBN]9784478109502 『起業大全 スタートアップを科学する9つのフレームワーク』（田所 雅之, ダイヤモンド社 : 2020)
[ISBN]9784830949708 『はじめて学ぶ人のための経営学入門 [バージョン 2] (文真堂ブックス)』（信之, 片岡, 文真堂 : 2018)
[ISBN]9784502394713 『新しいビジネスをつくる』（加護野 忠男, 碩学舎 : 2021)
[ISBN]9784798167381 『ビジネスモデル・キャンパス徹底攻略ガイド 企業、チーム、個人を成功に導く「ビジネスモデル設計書」』（今津 美樹, 翔泳社 : 2020)
上記のほか必要に応じて紹介します。

■関連科目

現代社会と倫理、現代社会と法、ビジネス実務講座、国際化と異文化理解、情報処理基礎、データリテラシー入門、キャリアデザイン

■授業評価アンケート実施方法

本学の規程に準拠して実施します。

■研究室・メールアドレス

東大阪キャンパス 2 1 号館 8 階・tbunno<at>bus.kindai.ac.jp、送信時には<at>を@に変換してください。

■オフィスアワー

金曜日 3 時限（質問がある場合は、メールを通じて受け付けます）

■授業計画の内容及び時間外学修の内容及び時間

第1回 授業総論（授業形式：講義および演習）

予習内容：起業の意味や必要性について調べる。

予習時間：90分

復習内容：大学における起業家教育の目的についてまとめる。

復習時間：90分

【講師：経営学部教授 文能 照之】

・授業内容と学修方法

【外部講師：株式会社パースペクティブ・メディア 代表取締役 小口 日出彦氏】

・起業とは

・起業というライフスタイル

第2回 起業家マインドの重要性（授業形式：講義および演習）

予習内容：アントレプレナーシップについて調べる。

予習時間：90分

復習内容：イノベーションの事例についてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：株式会社01START 代表取締役 芝先 恵介氏】

・アントレプレナーシップ（起業家精神）とは

・イノベーションとは

・起業とイノベーション

第3回 企業の役割と経営指針（授業形式：講義および演習）

予習内容：企業の役割について調べる。

予習時間：90分

復習内容：企業のミッション・ビジョン・バリューについてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：株式会社01START 代表取締役 芝先 恵介氏】

・企業の社会的役割

・企業の社会的責任

・ミッション、ビジョン、バリューとは

第4回 経営に必要とされる資源（授業形式：講義および演習）

予習内容：経営に必要とされる、ヒト・モノ・カネについて調べる。

予習時間：90分

復習内容：経営を続けるために経営資源の活用方法についてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：株式会社01START 代表取締役 芝先 恵介氏】

・経営の基本とは

・経営資源とは

第5回 アイデアをビジネスに変える（授業形式：講義および演習）

予習内容：アイデアの出し方について調べる。

予習時間：90分

復習内容：効果的なアイデアの発想法やアイデアの膨らませ方、収束の仕方についてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：株式会社01START 代表取締役 芝先 恵介氏】

- ・ビジネスを生み出すために
- ・ビジネスアイデアの発想法
- ・オズボーンのチェックリストを活用した事例

第6回 チーム作りと評価（授業形式：講義および演習）

予習内容：経営にチーム作りが必要な理由、及びチーム作りの方法について調べる。

予習時間：90分

復習内容：メンバーの有する能力を生かすためのチーム作りの方法についてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：株式会社01START 代表取締役 芝先 恵介氏】

- ・サイドプロジェクトではじめる
- ・スタートアップに必要な人材
- ・解決したい課題について

第7回 事業構想（前半）（授業形式：講義および演習）

予習内容：事業アイデアを形にするための方法について調べる。

予習時間：90分

復習内容：ビジネスモデル・キャンパスの活用方法についてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：株式会社01START 代表取締役 芝先 恵介氏】

- ・事業アイデアを形にするビジネスモデル・キャンパスとは
- ・ビジネスモデル・キャンパスの要素を理解する【お客様にかかわる収入】

第8回 事業構想（後半）（授業形式：講義および演習）

予習内容：事例企業のビジネスモデルについて調べ、ビジネスモデル・キャンパスを作成する。

予習時間：90分

復習内容：授業で提示されたビジネスモデル・キャンパスをもとに、その活用方法についてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：株式会社01START 代表取締役 芝先 恵介氏】

- ・ビジネスモデル・キャンパスの要素を理解する。【活動とコスト】
- ・事例企業を参考にしてビジネスモデル・キャンパスを作成する

第9回 事業の実現①（内製）（授業形式：講義および演習）

予習内容：企業内部において必要となるコミュニケーションについて調べる。

予習時間：90分

復習内容：コミュニケーションを高めるための方策についてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：グッドニュース情報発信塾 塾長 大谷 邦郎氏】

- ・賛同を得て、応援してもらうためのコミュニケーション
- ・事業協力者に向けたプレゼンテーション

第10回 事業の実現②（外注）（授業形式：講義および演習）

予習内容：外部企業等との関係において必要となるコミュニケーションについて調べる。

予習時間：90分

復習内容：コミュニケーションを高めるための方策についてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：株式会社パーシヴァル ファウンダー 川辺 友之氏】

- ・外部資源の有効活用
- ・クラウドファンディングの活用

第11回 近畿大学卒起業家体験談①（授業形式：講義および演習）

予習内容：企業の設立経緯や事業内容について調べる。

予習時間：90分

復習内容：起業動機や事業目的を通して、代表者が実現したいことについてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：180株式会社 代表取締役 上仲 昌吾氏】

個性（DNA）を磨く

- ・個性を理解する
- ・個性の見つけ方
- ・個性をデザインする

第12回 近畿大学卒起業家体験談②（授業形式：講義および演習）

予習内容：企業の設立経緯や事業内容について調べる。

予習時間：90分

復習内容：起業動機や事業目的を通して、代表者が実現したいことについてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：株式会社音動 代表取締役 鳥山 郷氏】

起業というエゴイズムから社会との共創まで

- ・起業する機会と環境
- ・起業する機会と環境
- ・多様性とこれから

第13回 近畿大学卒起業家体験談③（授業形式：講義および演習）

予習内容：企業の設立経緯や事業内容について調べる。

予習時間：90分

復習内容：事業承継の動機や事業目的を通して、代表者が実現したいことについてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：錦城護謨株式会社 代表取締役社長 太田 泰造氏】

経営現場のリアル（価値創造）

- ・錦城護謨の事業内容ご紹介
- ・老舗企業が取り組む新規事業
- ・企業にとって一番大事なもの

第14回 近畿大学卒起業家体験談④（授業形式：講義および演習）

予習内容：企業の設立経緯や事業内容について調べる。

予習時間：90分

復習内容：起業動機や事業目的を通して、代表者が実現したいことについてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：リノベる株式会社 代表取締役社長 山下 智弘氏、株式会社 Schoo 代表取締役社長CEO 森 健志郎氏】

- ・リノベる株式会社・・・「リノベる」の起業まで
- ・株式会社Schoo・・・起業のきっかけ・起業からこれまで
- ・起業家対談

第15回 授業総括（授業形式：講義および演習）

予習内容：これまでの学修内容について復習する。

予習時間：90分

復習内容：社会・経済における起業の意味、必要性についてまとめる。

復習時間：90分

【講師：経営学部教授 文能 照之】

- ・起業に必要とされるマインドと基礎知識
- ・起業の目的とライフプラン
- ・起業の実現に向けて

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業
オムニバス形式で多様な企業等から講師を招いて行う授業

科目名 :	キャリアデザイン【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Career Design				
担当者 :	長尾 裕子				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :	理工学部応用化学科：学修・教育到達目標（A）に付随的に関与、 理工学部機械工学科：機械工学コース学習・教育目標：A-3, JABEE基準1.2：(a)(b)に関与、 理工学部電気電子通信工学科：学習・教育到達目標D1の達成に付随的に関与、 理工学部社会環境工学科：ディプロマ・ポリシーの(J)に主体的に関与、(A)、(B)に付随的に関与				

■ 授業概要

今後の職業人は、自律したキャリアを歩む必要があります。そのためには、自分自身の価値観や仕事の経験、社会での就労形態などを客観的に見つけ、分析し、自発的なキャリア形成をする力を養っておかなければなりません。また、組織にもそうした自発的なキャリアを歩む個人を上手にマネジメントすることで、貴重な人材資源を活用することが求められています。本授業は、そうした考え方を学ぶための理論的な解説や事例の検討などで構成します。なお、この授業はコンテンツ作成者谷口智彦が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

現代の社会経済環境を認識し、自ら自律的にキャリア形成が行える視点を身につけ、さらに経営的観点からも人材を捉えることで企業等の組織で活躍できる人材として必要な基本的な知識を習得することを目的とします。

■ 成績評価方法および基準

授業に関するレポートや課題提出等（担当教員の指示に従うこと） 100%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

レポート・課題提出等の要点や解説等はG-Classroomにて行います。

■ 教科書

『近大生のためのキャリアデザイン－KICSキャリアデザイン補助教材－（電子書籍）』
<http://www.amazon.co.jp/dp/B09RFDDCJD>

『近大生のためのキャリアデザイン－KICSキャリアデザイン補助教材－（ペーパーバック）』
<https://www.amazon.co.jp/dp/B09S244GSJ>

オンデマンド動画の内容をテキスト化したものです。各回の確認テスト及び授業のレポート課題、将来の就活時など、授業内容を再度見返したい場合に活用できます。

電子書籍はAmazon Kindleアプリにより、スマホ、タブレット、PC等で読むことが可能です。

■ 参考文献

- [ISBN]9784532110017 『人材マネジメント入門 日経文庫B76』（守島 基博, 日本経済新聞出版：2004）
- [ISBN]9784569619415 『働くひとのためのキャリア・デザイン（PHP新書）』（金井 壽宏, PHP研究所：2002）
- [ISBN]9784833419093 『「見どころのある部下」支援法（ワークス人と組織選書）』（谷口智彦, プレジデント社：2009）
- [ISBN]9784833491181 『「いっしょに働きたくなる人」の育て方－マクドナルド、スターバックス、コールドストーンの人材』

研究 (ワークス人と組織選書)』(見館 好隆, プレジデント社: 2010)

■ 関連科目

-

■ 授業評価アンケート実施方法

本学の規程に準拠して実施します

■ 研究室・メールアドレス

nagao3@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

質問等は随時対応します。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

-

第1回 キャリアデザインを学ぶ (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 各自の将来の進路について考えをまとめておく

予習時間: 30分

復習内容: 授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間: 60分

概要 キャリアデザインの授業の目標、進め方、また学ぶ理由など概要を説明します

セクション1 授業の目的と進め方 セクション概要 簡単な自己紹介、および授業の目的と進め方などを説明します

セクション2 キャリアデザインという言葉の意味 セクション概要 「キャリアデザイン」という言葉が意味することを簡単に説明します

セクション3 キャリアデザインを学ぶ理由 セクション概要 なぜキャリアデザインを学ぶ必要があるのか理解します

第2回 キャリアとは何か (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間: 30分

復習内容: 授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間: 60分

概要 キャリアの定義およびキャリアをデザインすることの意味を説明します

セクション1 キャリアの語源 セクション概要 キャリアの語源からその意味を解説します

セクション2 キャリアの定義 セクション概要 主な論者のキャリアの定義を紹介します

セクション3 キャリアをデザインすることの意味 セクション概要 キャリアをデザインするために何をすべきかを説明します

第3回 自分に合った職業・仕事とは何か (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間: 30分

復習内容: 授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間: 60分

概要 自分に合った職業・仕事を選ぶ際の考え方を説明します

セクション1 自分に合った職業・仕事とは何か セクション概要 自分に合った職業や仕事を見つけるにはどう考えればよいか説明します

セクション2 仕事選びの基本的な考え方 セクション概要 仕事選びの理論的な考え方の基本を紹介します

セクション3 職業や仕事の特徴 セクション概要 商品などとの選び方における違いから職業や仕事の特徴を説明します

第4回 「自分のこと」を知る (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間: 30分

復習内容: 授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間: 60分

概要 「自分のこと」を探索するための基本的な考え方を説明します

セクション1 「自分」とは何か セクション概要 「自分」の定義や捉え方を説明します

セクション2 仕事を選ぶうえで自分への問い セクション概要 仕事を選ぶうえで、「自分」をどのように考えればよいか、その問いを提示します

セクション3 「自分」を探るための様々なヒント セクション概要 自分を探るための性格診断などその他の方法を説明します

第5回 社会・雇用環境を知る（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間：30分

復習内容：授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間：60分

概要 今後の日本の社会・雇用環境と就職に関係する指標を説明します

セクション1 日本の社会・雇用環境はどうなるのか セクション概要 日本の人口などこれからの雇用環境がどうなるのかを説明します

セクション2 就職と関係する指標を理解する（1） セクション概要 失業率や非正規社員比率など就職に関係する指標を解説します

セクション3 就職と関係する指標を理解する（2） セクション概要 就職内定率や有効求人倍率など就職に関係する指標を理解します

第6回 労働とお金の関係を理解する（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間：30分

復習内容：授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間：60分

概要 働く環境の中でも特にお金に関する知識を説明します

セクション1 働くうえで重要なお金 セクション概要 社会人の働く理由を説明し、特にお金の位置づけについて確認します

セクション2 賃金の差はどこにあるのか セクション概要 賃金の差がどのような条件で変わるのかについて説明します

セクション3 生涯で必要になるお金 セクション概要 働き始めてから結婚や子育てなど生活に必要なお金について説明します

第7回 業界・職業を知る（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間：30分

復習内容：授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間：60分

概要 業種・業界、職業について、また実際の企業の採用選考のスケジュールを説明します

セクション1 業種・業界について セクション概要 業種や業界の知識、またその調べ方を説明します

セクション2 職業について セクション概要 職業の数や視野の広げ方について説明します

セクション3 就職活動について セクション概要 企業の採用選考、就職活動のスケジュールについて説明します

第8回 職種を知る（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間：30分

復習内容：授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間：60分

概要 自分に合った仕事を選ぶときの職種の考え方について説明します

セクション1 職種について セクション概要 職種とは何かについて説明します

セクション2 文系の職種 セクション概要 文系学部の卒業者が一般に就く職種について説明します

セクション3 理系の職種 セクション概要 理系学部の卒業者が一般に就く職種について説明します

第9回 キャリアの基礎理論を学ぶ（1）（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間：30分

復習内容：授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間：60分

概要 キャリアの基礎理論として「ライフスパン理論」を取り上げ説明します

セクション1 職業における発達とは セクション概要 発達の概念について説明し、それが職業における発達（職業的発達）とどう関連するのかについて説明します

セクション2 ライフスパン理論 セクション概要 職業的発達について体系的に整理したライフスパン理論について説明

します

セクション3 ライフスパン理論の意味合い セクション概要 ライフスパン理論が大学生にとってどのような意味合いがあるのか説明します

第10回 キャリアの基礎理論を学ぶ(2) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間: 30分

復習内容: 授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間: 60分

概要 キャリアの基礎理論として「キャリアトランジション理論」を取り上げ説明します

セクション1 人生における変化 セクション概要 人生における変化として「転機」について説明します

セクション2 キャリアトランジション理論 セクション概要 人生(キャリア)の変化に適応するための理論として、キャリアトランジション理論について説明します

セクション3 トランジション理論の意味合い セクション概要 トランジション理論が人生においてどのような意味合いがあるのか説明します

第11回 企業とは何か(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間: 30分

復習内容: 授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間: 60分

概要 企業の活動について基本的な捉え方を説明します

セクション1 企業の活動 セクション概要 企業とは何か、また企業が行う活動とはどういったものかについて簡単に説明します

セクション2 企業ごとの違い セクション概要 それぞれの企業の違いはどこにあるのかについて説明します

セクション3 企業における人材 セクション概要 企業において人材がどのような位置づけにあるのか、その意味合について説明します

第12回 企業における人材の活用(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間: 30分

復習内容: 授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間: 60分

概要 企業で働く人材を企業はどう活用するのかについて説明します

セクション1 人材マネジメントとは セクション概要 企業における人材の活用(マネジメント)について説明します

セクション2 人材の獲得と効果を高める要素 セクション概要 人材マネジメントを行うための7つの要素のうち、人材の獲得と人材の活用の中の効果を高める3つの要素について説明します

セクション3 効率を高める要素と人材の尊重 セクション概要 人材マネジメントの中の効率を高める2つの要素と人材の尊重について説明します。また、人材マネジメントがキャリアに与える意味についても解説します

第13回 働くまでの企業との接点(インターンシップ等)(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間: 30分

復習内容: 授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間: 60分

概要 働くまでに企業と接する機会とそうした経験から学ぶことについて説明します。またインターンシップについて説明します

セクション1 企業との接点と活用 セクション概要 学生生活の中で企業と接する機会(企業との接点)とその活用について説明します

セクション2 経験と学習 セクション概要 経験と学習について基本的な考え方を説明します

セクション3 インターンシップ経験 セクション概要 インターンシップの概要とインターンシップ経験での学びについて説明します

第14回 働くまでの企業との接点(アルバイト等)(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間: 30分

復習内容：授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間：60分

概要 アルバイト経験と学びについて説明します

セクション1 アルバイトの位置づけ セクション概要 大学生にとってアルバイトがどのような位置づけにあるのかを説明します

セクション2 アルバイト経験 セクション概要 アルバイトで成長を促す経験とは何かを説明します

セクション3 アルバイトで学ぶこと セクション概要 アルバイト経験を通じて何を学ぶのか説明します

第15回 総まとめ（授業形式：講義および演習）

予習内容：これまでの授業に関わる復習を自分なりに行き、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間：30分

復習内容：これまで授業のまとめとして、自分の進路や将来について考えたことを、整理し、まとめを記述してください。

復習時間：60分

概要 これまでの学びを総合的に考えるために体系的なまとめを説明します

セクション1 まとめ（1） セクション概要 キャリアデザインの授業の全体像を確認し、第1回から第4回までの授業のまとめを説明します

セクション2 まとめ（2） セクション概要 第5回から第8回、また第11回と第12回のまとめを説明します

セクション3 まとめ（3） セクション概要 第9回と第10回、また第13回と第14回のまとめを説明します

■ホームページ

『近大生のためのキャリアデザイン－KICSキャリアデザイン補助教材－（電子書籍）』

<http://www.amazon.co.jp/dp/B09RFDDCJD>

『近大生のためのキャリアデザイン－KICSキャリアデザイン補助教材－（ペーパーバック）』

<https://www.amazon.co.jp/dp/B09S244GSJ>

■実践的な教育内容

-

科目名 :	キャリアデザイン【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Career Design				
担当者 :	浅田 真理子				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

今後の職業人は、自律したキャリアを歩む必要があります。そのためには、自分自身の価値観や仕事の経験、社会での就労形態などを客観的に見つけ、分析し、自発的なキャリア形成をする力を養っておかなければなりません。また、組織にもそうした自発的なキャリアを歩む個人を上手にマネジメントすることで、貴重な人材資源を活用することが求められています。

本授業は、そうした考え方を学ぶための理論的な解説や事例の検討などで構成します。

なお、この授業はコンテンツ作成者谷口智彦が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

現代の社会経済環境を認識し、自ら自律的にキャリア形成が行える視点を身につけ、さらに経営的観点からも人材を捉えることで企業等の組織で活躍できる人材として必要な基本的な知識を習得することを目的とします。

■ 成績評価方法および基準

授業に関するレポートや課題提出等（担当教員の指示に従うこと） 100%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

担当教員がレポートや課題の提出などの要点や解説等を掲示板等を利用して掲載するなど提示します。

■ 教科書

『近大生のためのキャリアデザイン－KICSキャリアデザイン補助教材－（電子書籍）』

<http://www.amazon.co.jp/dp/B09RFDDCJD>

『近大生のためのキャリアデザイン－KICSキャリアデザイン補助教材－（ペーパーバック）』

<https://www.amazon.co.jp/dp/B09S244GSJ>

オンデマンド動画の内容をテキスト化したものです。各回の確認テスト及び授業のレポート課題、将来の就活時など、授業内容を再度見返したい場合に活用できます。

電子書籍はAmazon Kindleアプリにより、スマホ、タブレット、PC等で読むことが可能です。

■ 参考文献

[ISBN]9784532110017 『人材マネジメント入門 日経文庫B76』（守島 基博, 日本経済新聞出版 : 2004）

[ISBN]9784569619415 『働くひとのためのキャリア・デザイン (PHP新書)』（金井 壽宏, PHP研究所 : 2002）

[ISBN]9784833419093 『「見どころのある部下」支援法 (ワークス人と組織選書)』（谷口智彦, プレジデント社 : 2009）

[ISBN]9784833491181 『「いっしょに働きたくなる人」の育て方－マクドナルド、スターバックス、コールドストーンの人材研究 (ワークス人と組織選書)』（見館 好隆, プレジデント社 : 2010）

■ 関連科目

-

■ 授業評価アンケート実施方法

本学の規程に準拠して実施します

■ 研究室・メールアドレス

21号館講師控室
1015c2@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

金曜日昼休み

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

-

第1回 キャリアデザインを学ぶ（授業形式：講義および演習）

予習内容：各自の将来の進路について考えをまとめておく

予習時間：30分

復習内容：授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間：60分

概要 キャリアデザインの授業の目標、進め方、また学ぶ理由など概要を説明します

セクション1 授業の目的と進め方 セクション概要 簡単な自己紹介、および授業の目的と進め方などを説明します

セクション2 キャリアデザインという言葉の意味 セクション概要 「キャリアデザイン」という言葉が意味することを簡単に説明します

セクション3 キャリアデザインを学ぶ理由 セクション概要 なぜキャリアデザインを学ぶ必要があるのか理解します

第2回 キャリアとは何か（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間：30分

復習内容：授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間：60分

概要 キャリアの定義およびキャリアをデザインすることの意味を説明します

セクション1 キャリアの語源 セクション概要 キャリアの語源からその意味を解説します

セクション2 キャリアの定義 セクション概要 主な論者のキャリアの定義を紹介します

セクション3 キャリアをデザインすることの意味 セクション概要 キャリアをデザインするために何をすべきかを説明します

第3回 自分に合った職業・仕事とは何か（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間：30分

復習内容：授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間：60分

概要 自分に合った職業・仕事を選ぶ際の考え方を説明します

セクション1 自分に合った職業・仕事とは何か セクション概要 自分に合った職業や仕事を見つけるにはどう考えればよいか説明します

セクション2 仕事選びの基本的な考え方 セクション概要 仕事選びの理論的な考え方の基本を紹介します

セクション3 職業や仕事の特徴 セクション概要 商品などとの選び方における違いから職業や仕事の特徴を説明します

第4回 「自分のこと」を知る（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間：30分

復習内容：授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間：60分

概要 「自分のこと」を探索するための基本的な考え方を説明します

セクション1 「自分」とは何か セクション概要 「自分」の定義や捉え方を説明します

セクション2 仕事を選ぶうえで自分への問い セクション概要 仕事を選ぶうえで、「自分」をどのように考えればよいか、その問いを提示します

セクション3 「自分」を探るための様々なヒント セクション概要 自分を探るための性格診断などその他の方法を説明します

第5回 社会・雇用環境を知る（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間：30分

復習内容：授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間：60分

概要 今後の日本の社会・雇用環境と就職に関係する指標を説明します

セクション1 日本の社会・雇用環境はどうなるのか セクション概要 日本の人口などこれからの雇用環境がどうなるのかを説明します

セクション2 就職と関係する指標を理解する（1） セクション概要 失業率や非正規社員比率など就職に関係する指標を解説します

セクション3 就職と関係する指標を理解する（2） セクション概要 就職内定率や有効求人倍率など就職に関係する指標を理解します

第6回 労働とお金の関係を理解する（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間：30分

復習内容：授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間：60分

概要 働く環境の中でも特にお金に関する知識を説明します

セクション1 働くうえで重要なお金 セクション概要 社会人の働く理由を説明し、特にお金の位置づけについて確認します

セクション2 賃金の差はどこにあるのか セクション概要 賃金の差がどのような条件で変わるのかについて説明します

セクション3 生涯で必要になるお金 セクション概要 働き始めてから結婚や子育てなど生活に必要なお金について説明します

第7回 業界・職業を知る（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間：30分

復習内容：授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間：60分

概要 業種・業界、職業について、また実際の企業の採用選考のスケジュールを説明します

セクション1 業種・業界について セクション概要 業種や業界の知識、またその調べ方を説明します

セクション2 職業について セクション概要 職業の数や視野の広げ方について説明します

セクション3 就職活動について セクション概要 企業の採用選考、就職活動のスケジュールについて説明します

第8回 職種を知る（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間：30分

復習内容：授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間：60分

概要 自分に合った仕事を選ぶときの職種の考え方について説明します

セクション1 職種について セクション概要 職種とは何かについて説明します

セクション2 文系の職種 セクション概要 文系学部の卒業者が一般に就く職種について説明します

セクション3 理系の職種 セクション概要 理系学部の卒業者が一般に就く職種について説明します

第9回 キャリアの基礎理論を学ぶ（1）（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間：30分

復習内容：授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間：60分

概要 キャリアの基礎理論として「ライフスパン理論」を取り上げ説明します

セクション1 職業における発達とは セクション概要 発達の概念について説明し、それが職業における発達（職業的発達）とどう関連するのかについて説明します

セクション2 ライフスパン理論 セクション概要 職業的発達について体系的に整理したライフスパン理論について説明します

セクション3 ライフスパン理論の意味合い セクション概要 ライフスパン理論が大学生にとってどのような意味合いがある

のか説明します

第10回 キャリアの基礎理論を学ぶ（2）（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間：30分

復習内容：授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間：60分

概要 キャリアの基礎理論として「キャリアアトランジション理論」を取り上げ説明します

セクション1 人生における変化 セクション概要 人生における変化として「転機」について説明します

セクション2 キャリアアトランジション理論 セクション概要 人生（キャリア）の変化に適応するための理論として、キャリアアトランジション理論について説明します

セクション3 トランジション理論の意味合い セクション概要 トランジション理論が人生においてどのような意味合いがあるのか説明します

第11回 企業とは何か（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間：30分

復習内容：授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間：60分

概要 企業の活動について基本的な捉え方を説明します

セクション1 企業の活動 セクション概要 企業とは何か、また企業が行う活動とはどういったものかについて簡単に説明します

セクション2 企業ごとの違い セクション概要 それぞれの企業の違いはどこにあるのかについて説明します

セクション3 企業における人材 セクション概要 企業において人材がどのような位置づけにあるのか、その意味合について説明します

第12回 企業における人材の活用（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間：30分

復習内容：授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間：60分

概要 企業で働く人材を企業はどう活用するのかについて説明します

セクション1 人材マネジメントとは セクション概要 企業における人材の活用（マネジメント）について説明します

セクション2 人材の獲得と効果を高める要素 セクション概要 人材マネジメントを行うための7つの要素のうち、人材の獲得と人材の活用の中の効果を高める3つの要素について説明します

セクション3 効率を高める要素と人材の尊重 セクション概要 人材マネジメントの中の効率を高める2つの要素と人材の尊重について説明します。また、人材マネジメントがキャリアに与える意味についても解説します

第13回 働くまでの企業との接点（インターンシップ等）（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間：30分

復習内容：授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間：60分

概要 働くまでに企業と接する機会とそうした経験から学ぶことについて説明します。またインターンシップについて説明します

セクション1 企業との接点と活用 セクション概要 学生生活の中で企業と接する機会（企業との接点）とその活用について説明します

セクション2 経験と学習 セクション概要 経験と学習について基本的な考え方を説明します

セクション3 インターンシップ経験 セクション概要 インターンシップの概要とインターンシップ経験での学びについて説明します

第14回 働くまでの企業との接点（アルバイト等）（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間：30分

復習内容：授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間：60分

概要 アルバイト経験と学びについて説明します

セクション1 アルバイトの位置づけ セクション概要 大学生にとってアルバイトがどのような位置づけにあるのかを説明します

セクション2 アルバイト経験 セクション概要 アルバイトで成長を促す経験とは何かを説明します

セクション3 アルバイトで学ぶこと セクション概要 アルバイト経験を通じて何を学ぶのか説明します

第15回 総まとめ（授業形式：講義および演習）

予習内容：これまでの授業に関わる復習を自分なりに行き、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間：30分

復習内容：これまで授業のまとめとして、自分の進路や将来について考えたことを、整理し、まとめを記述してください。

復習時間：60分

概要 これまでの学びを総合的に考えるために体系的なまとめを説明します

セクション1 まとめ（1） セクション概要 キャリアデザインの授業の全体像を確認し、第1回から第4回までの授業のまとめを説明します

セクション2 まとめ（2） セクション概要 第5回から第8回、また第11回と第12回のまとめを説明します

セクション3 まとめ（3） セクション概要 第9回と第10回、また第13回と第14回のまとめを説明します

■ホームページ

『近大生のためのキャリアデザイン－KICSキャリアデザイン補助教材－（電子書籍）』

<http://www.amazon.co.jp/dp/B09RFDDCJD>

『近大生のためのキャリアデザイン－KICSキャリアデザイン補助教材－（ペーパーバック）』

<https://www.amazon.co.jp/dp/B09S244GSJ>

■実践的な教育内容

-

科目名 :	キャリアデザイン【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Career Design				
担当者 :	李 超				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

今後の職業人は、自律したキャリアを歩む必要があります。そのためには、自分自身の価値観や仕事の経験、社会での就労形態などを客観的に見つけ、分析し、自発的なキャリア形成をする力を養っておかなければなりません。また、組織にもそうした自発的なキャリアを歩む個人を上手にマネジメントすることで、貴重な人材資源を活用することが求められています。

本授業は、そうした考え方を学ぶための理論的な解説や事例の検討などで構成します。

なお、この授業はコンテンツ作成者谷口智彦が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

現代の社会経済環境を認識し、自ら自律的にキャリア形成が行える視点を身につけ、さらに経営的観点からも人材を捉えることで企業等の組織で活躍できる人材として必要な基本的な知識を習得することを目的とします。

■ 成績評価方法および基準

授業に関するレポートや課題提出等（担当教員の指示に従うこと） 100%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

担当教員がレポートや課題の提出などの要点や解説等を掲示板等を利用して掲載するなど提示します。

■ 教科書

『近大生のためのキャリアデザイン－KICSキャリアデザイン補助教材－（電子書籍）』

<http://www.amazon.co.jp/dp/B09RFDDCJD>

『近大生のためのキャリアデザイン－KICSキャリアデザイン補助教材－（ペーパーバック）』

<https://www.amazon.co.jp/dp/B09S244GSJ>

オンデマンド動画の内容をテキスト化したものです。各回の確認テスト及び授業のレポート課題、将来の就活時など、授業内容を再度見返したい場合に活用できます。

電子書籍はAmazon Kindleアプリにより、スマホ、タブレット、PC等で読むことが可能です。

■ 参考文献

[ISBN]9784532110017 『人材マネジメント入門 日経文庫B76』（守島 基博, 日本経済新聞出版 : 2004）

[ISBN]9784569619415 『働くひとのためのキャリア・デザイン (PHP新書)』（金井 壽宏, PHP研究所 : 2002）

[ISBN]9784833419093 『「見どころのある部下」支援法 (ワークス人と組織選書)』（谷口智彦, プレジデント社 : 2009）

[ISBN]9784833491181 『「いっしょに働きたくなる人」の育て方－マクドナルド、スターバックス、コールドストーンの人材研究 (ワークス人と組織選書)』（見館 好隆, プレジデント社 : 2010）

■ 関連科目

-

■ 授業評価アンケート実施方法

本学の規程に準拠して実施します

■ 研究室・メールアドレス

21-715

richou@bus.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

木曜3限

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

-

第1回 キャリアデザインを学ぶ（授業形式：講義および演習）

予習内容：各自の将来の進路について考えをまとめておく

予習時間：30分

復習内容：授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間：60分

概要 キャリアデザインの授業の目標、進め方、また学ぶ理由など概要を説明します

セクション1 授業の目的と進め方 セクション概要 簡単な自己紹介、および授業の目的と進め方などを説明します

セクション2 キャリアデザインという言葉の意味 セクション概要 「キャリアデザイン」という言葉が意味することを簡単に説明します

セクション3 キャリアデザインを学ぶ理由 セクション概要 なぜキャリアデザインを学ぶ必要があるのか理解します

第2回 キャリアとは何か（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間：30分

復習内容：授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間：60分

概要 キャリアの定義およびキャリアをデザインすることの意味を説明します

セクション1 キャリアの語源 セクション概要 キャリアの語源からその意味を解説します

セクション2 キャリアの定義 セクション概要 主な論者のキャリアの定義を紹介します

セクション3 キャリアをデザインすることの意味 セクション概要 キャリアをデザインするために何をすべきかを説明します

第3回 自分に合った職業・仕事とは何か（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間：30分

復習内容：授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間：60分

概要 自分に合った職業・仕事を選ぶ際の考え方を説明します

セクション1 自分に合った職業・仕事とは何か セクション概要 自分に合った職業や仕事を見つけるにはどう考えればよいか説明します

セクション2 仕事選びの基本的な考え方 セクション概要 仕事選びの理論的な考え方の基本を紹介します

セクション3 職業や仕事の特徴 セクション概要 商品などとの選び方における違いから職業や仕事の特徴を説明します

第4回 「自分のこと」を知る（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間：30分

復習内容：授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間：60分

概要 「自分のこと」を探索するための基本的な考え方を説明します

セクション1 「自分」とは何か セクション概要 「自分」の定義や捉え方を説明します

セクション2 仕事を選ぶうえでの自分への問い セクション概要 仕事を選ぶうえで、「自分」をどのように考えればよいか、その問いを提示します

セクション3 「自分」を探るための様々なヒント セクション概要 自分を探るための性格診断などその他の方法を説明します

第5回 社会・雇用環境を知る（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間：30分

復習内容：授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間：60分

概要 今後の日本の社会・雇用環境と就職に関係する指標を説明します

セクション1 日本の社会・雇用環境はどうなるのか セクション概要 日本の人口などこれからの雇用環境がどうなるのかを説明します

セクション2 就職と関係する指標を理解する（1） セクション概要 失業率や非正規社員比率など就職に関係する指標を解説します

セクション3 就職と関係する指標を理解する（2） セクション概要 就職内定率や有効求人倍率など就職に関係する指標を理解します

第6回 労働とお金の関係を理解する（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間：30分

復習内容：授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間：60分

概要 働く環境の中でも特にお金に関する知識を説明します

セクション1 働くうえで重要なお金 セクション概要 社会人の働く理由を説明し、特にお金の位置づけについて確認します

セクション2 賃金の差はどこにあるのか セクション概要 賃金の差がどのような条件で変わるのかについて説明します

セクション3 生涯で必要になるお金 セクション概要 働き始めてから結婚や子育てなど生活に必要なお金について説明します

第7回 業界・職業を知る（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間：30分

復習内容：授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間：60分

概要 業種・業界、職業について、また実際の企業の採用選考のスケジュールを説明します

セクション1 業種・業界について セクション概要 業種や業界の知識、またその調べ方を説明します

セクション2 職業について セクション概要 職業の数や視野の広げ方について説明します

セクション3 就職活動について セクション概要 企業の採用選考、就職活動のスケジュールについて説明します

第8回 職種を知る（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間：30分

復習内容：授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間：60分

概要 自分に合った仕事を選ぶときの職種の考え方について説明します

セクション1 職種について セクション概要 職種とは何かについて説明します

セクション2 文系の職種 セクション概要 文系学部の卒業者が一般に就く職種について説明します

セクション3 理系の職種 セクション概要 理系学部の卒業者が一般に就く職種について説明します

第9回 キャリアの基礎理論を学ぶ（1）（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間：30分

復習内容：授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間：60分

概要 キャリアの基礎理論として「ライフスパン理論」を取り上げ説明します

セクション1 職業における発達とは セクション概要 発達の概念について説明し、それが職業における発達（職業的発達）とどう関連するのかについて説明します

セクション2 ライフスパン理論 セクション概要 職業的発達について体系的に整理したライフスパン理論について説明します

セクション3 ライフスパン理論の意味合い セクション概要 ライフスパン理論が大学生にとってどのような意味合いがある

のか説明します

第10回 キャリアの基礎理論を学ぶ（2）（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間：30分

復習内容：授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間：60分

概要 キャリアの基礎理論として「キャリアアトランジション理論」を取り上げ説明します

セクション1 人生における変化 セクション概要 人生における変化として「転機」について説明します

セクション2 キャリアアトランジション理論 セクション概要 人生（キャリア）の変化に適応するための理論として、キャリアアトランジション理論について説明します

セクション3 トランジション理論の意味合い セクション概要 トランジション理論が人生においてどのような意味合いがあるのか説明します

第11回 企業とは何か（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間：30分

復習内容：授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間：60分

概要 企業の活動について基本的な捉え方を説明します

セクション1 企業の活動 セクション概要 企業とは何か、また企業が行う活動とはどういったものかについて簡単に説明します

セクション2 企業ごとの違い セクション概要 それぞれの企業の違いはどこにあるのかについて説明します

セクション3 企業における人材 セクション概要 企業において人材がどのような位置づけにあるのか、その意味合について説明します

第12回 企業における人材の活用（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間：30分

復習内容：授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間：60分

概要 企業で働く人材を企業はどう活用するのかについて説明します

セクション1 人材マネジメントとは セクション概要 企業における人材の活用（マネジメント）について説明します

セクション2 人材の獲得と効果を高める要素 セクション概要 人材マネジメントを行うための7つの要素のうち、人材の獲得と人材の活用の中の効果を高める3つの要素について説明します

セクション3 効率を高める要素と人材の尊重 セクション概要 人材マネジメントの中の効率を高める2つの要素と人材の尊重について説明します。また、人材マネジメントがキャリアに与える意味についても解説します

第13回 働くまでの企業との接点（インターンシップ等）（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間：30分

復習内容：授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間：60分

概要 働くまでに企業と接する機会とそうした経験から学ぶことについて説明します。またインターンシップについて説明します

セクション1 企業との接点と活用 セクション概要 学生生活の中で企業と接する機会（企業との接点）とその活用について説明します

セクション2 経験と学習 セクション概要 経験と学習について基本的な考え方を説明します

セクション3 インターンシップ経験 セクション概要 インターンシップの概要とインターンシップ経験での学びについて説明します

第14回 働くまでの企業との接点（アルバイト等）（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業に関わる内容について、実際に新聞や書籍、雑誌、インターネットなどで情報を調べ、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間：30分

復習内容：授業内で提示された各「問い」について、自分なりに考え、記述してください。

復習時間：60分

概要 アルバイト経験と学びについて説明します

セクション1 アルバイトの位置づけ セクション概要 大学生にとってアルバイトがどのような位置づけにあるのかを説明します

セクション2 アルバイト経験 セクション概要 アルバイトで成長を促す経験とは何かを説明します

セクション3 アルバイトで学ぶこと セクション概要 アルバイト経験を通じて何を学ぶのか説明します

第15回 総まとめ（授業形式：講義および演習）

予習内容：これまでの授業に関わる復習を自分なりに行き、自分の将来と結び付けて事前に考えることを行ってください。

予習時間：30分

復習内容：これまで授業のまとめとして、自分の進路や将来について考えたことを、整理し、まとめを記述してください。

復習時間：60分

概要 これまでの学びを総合的に考えるために体系的なまとめを説明します

セクション1 まとめ（1） セクション概要 キャリアデザインの授業の全体像を確認し、第1回から第4回までの授業のまとめを説明します

セクション2 まとめ（2） セクション概要 第5回から第8回、また第11回と第12回のまとめを説明します

セクション3 まとめ（3） セクション概要 第9回と第10回、また第13回と第14回のまとめを説明します

■ホームページ

『近大生のためのキャリアデザイン－KICSキャリアデザイン補助教材－（電子書籍）』

<http://www.amazon.co.jp/dp/B09RFDDCJD>

『近大生のためのキャリアデザイン－KICSキャリアデザイン補助教材－（ペーパーバック）』

<https://www.amazon.co.jp/dp/B09S244GSJ>

■実践的な教育内容

-

科目名 :	心理と行動【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Psychology and Action				
担当者 :	中道 希容				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

本講義は、15回の授業のうち、心理系専攻の専任教員12名が1回ないしは2回の講義を担当して作成した動画を教材とします。それぞれの専門領域から、心理学の面白さを伝えます。

各回は、3つ程度のセクションに分かれており、それぞれのセクションについて簡単な確認テストがあります。また、中間期に2回のレポート課題があり、すべての回を視聴した後に、最終レポートの提出が課されています。

オンデマンドですので、配信された後は最終日までの間に、いつでも観ることは可能ですが、配信から2週間を期日に出席を取ります。本授業のルールとして、欠席5回以上で単位不認定としますので、週1回のペースで1回ずつ学びを進めることを強くお勧めします。

この授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。各回の作成者は授業計画の内容に記載の通りです。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

心理学における多様な領域での研究知見について、理解すること。

それらの知見によって、自分自身の経験や社会でのできごとを新たな視点で眺めるようになること。

この科目の修得は、本学が定めるディプロマポリシー3.の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

第1回レポート課題 30%

第2回レポート課題 30%

第3回レポート課題 30%

ディスカッションへの参加 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

ClassroomまたはUNIPAを通して、フィードバックをします。

■ 教科書

特に指定しない。

■ 参考文献

[ISBN]9784641221451 『はじめて出会う心理学〔第3版〕(有斐閣アルマ)』(寿一, 長谷川, 有斐閣 : 2020)

[ISBN]9784641220034 『臨床心理学入門 -- 多様なアプローチを越境する(有斐閣アルマ)』(岩壁 茂, 有斐閣 : 2013)

[ISBN]9784781912431 『学習の心理—行動のメカニズムを探る(コンパクト新心理学ライブラリ)』(正子, 実森, サイエンス社 : 2019)

[ISBN]9784762830570 『発達心理学15講』(高橋 一公, 北大路書房 : 2019)

■ 関連科目

特になし。

■ 授業評価アンケート実施方法

KICSルールに従う。

■ 研究室・メールアドレス

nakamichi@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

質問等はメールとGoogleClassroomのコメント欄で受け付けます。

返答には少し時間のかかる場合があります。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 心理学とは (担当: 堀田 美保)

予習内容: シラバスを見ておく。

予習時間: 30分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

心と行動に関する学問である, 心理学とは何をどのように研究するのかについて, 概要を説明します。

第2回 感覚・知覚・注意 (担当: 遠藤 信貴)

予習内容: 感覚・知覚心理学について調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

私たちの心と外界をつなぐ感覚, 外界を捉える知覚の仕組みについて概説します。

第3回 記憶 (担当: 遠藤 信貴)

予習内容: 認知心理学について調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

私たちの日常的な行動を根底で支える記憶について, その種類や役割について概説します。

第4回 学習 (担当: 漆原 宏次)

予習内容: 学習心理学について調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

私たちの行動がどのように変わるのか, なぜ変わるのか。経験による行動の変化=学習について概説します。

第5回 感情 (担当: 大対 香奈子)

予習内容: 感情心理学について調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

感情が心理学でどのように研究されてきたのか, また感情の働きやそのコントロールの方法について概説します。

第6回 神経・生理 (担当: 佐藤 望)

予習内容: 神経・生理心理学について調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

こころの働きをつかさどる仕組みについて, 生物学的観点から解説します。

第7回 遺伝・進化 (担当: 上野 将敬)

予習内容: 遺伝・進化心理学について調べておく。

予習時間: 60分

復習内容: 確認テストをして, 大事な部分をまとめておく。

復習時間: 60分

人の生物学的側面に注目し, 人や人以外の動物の行動における遺伝子や進化の影響について紹介します。

第8回 対人 (担当: 堀田 美保)

予習内容: 対人心理学について調べておく。

予習時間：60分

復習内容：確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間：60分

人と人の中で起こっているやりとり（相互作用）うち、対人行動についての心理を紹介します。

第9回 集団（担当：中川 知宏）

予習内容：集団心理学について調べておく。

予習時間：60分

復習内容：確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間：60分

一人でいる時と集団にいる時では、私たちの行動が変化します。これに関する社会心理学的研究を紹介します。

第10回 生涯発達1（担当：奥野 洋子）

予習内容：発達心理学について調べておく。

予習時間：60分

復習内容：確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間：60分

生涯発達の概要と乳児期から児童期の発達の特徴を説明します。

第11回 生涯発達2（担当：塩崎 麻里子）

予習内容：生涯発達心理学について調べておく。

予習時間：60分

復習内容：確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間：60分

青年期から老年期のこのころの発達について紹介します。

第12回 パーソナリティ（担当：小泉 隆平）

予習内容：パーソナリティ心理学について調べておく。

予習時間：60分

復習内容：確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間：60分

パーソナリティ・知能がどのように理解されてきたか、その理解がどのように役立っているか説明します。

第13回 健康（担当：直井 愛里）

予習内容：健康心理学について調べておく。

予習時間：60分

復習内容：確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間：60分

健康行動に関連する要因を説明し、生活習慣と心身の健康について紹介します。

第14回 臨床（担当：本岡 寛子）

予習内容：臨床心理学について調べておく。

予習時間：60分

復習内容：確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間：60分

このころの問題の理解と解決を助けるためのアセスメントとアプローチについて紹介します。

第15回 産業（担当：佐藤 望）

予習内容：産業心理学について調べておく。

予習時間：60分

復習内容：確認テストをして、大事な部分をまとめておく。

復習時間：60分

心理学で得られている知見を産業場面に応用する例について紹介します。

最終レポート

15回の授業から、数問を出題するので、選択して解答のこと。

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 :	地域と環境の地理学【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Local and Environmental Geography				
担当者 :	片岡 博美				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

この授業は、法学部、経済学部、経営学部、文芸学部、総合社会学部、国際学部の共通教養科目です。この科目では、環境、すなわち自然環境（地形、気候など）や人文環境（経済、産業、文化、歴史、観光、都市など）との関連を視点にして、日本や世界の諸地域、諸問題について学びます。

この授業は、3人の授業者がオムニバス形式で行います。第1回～第6回は「文化地理」をメインにして戸井田が、第7回～第9回は「経済地理」「行動地理」をメインにして片岡が、第10回～第15回は「都市地理」をメインにして石原が講義します。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講者はこの科目を修得することによって、1) 文化地理学、経済地理学、行動地理学、都市地理学の初歩を学ぶとともに、2) 地理学の重要概念である「地域」と「環境」というものへの理解を深めます。そして、3) 現代日本および現代世界の諸問題を地理学的な視点から考察できる力の基礎を養います。

この科目の修得は、本学の定めるディプロマポリシー 2 の達成に關与しています。

■ 成績評価方法および基準

レポート課題等 100%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

課題に関する提出物の総評を授業運営ツールでの掲示によって行います。

■ 教科書

特になし。

■ 参考文献

特になし。

■ 関連科目

特になし。

■ 授業評価アンケート実施方法

本学の規程に準拠します。

■ 研究室・メールアドレス

戸井田 (toida@socio.kindai.ac.jp)

石原 (ishihara@socio.kindai.ac.jp)

片岡 (kataokah@kindai.ac.jp)

■ オフィスアワー

戸井田（前期：水曜・3限、後期：水曜・2限）

石原（月曜・2限）

片岡（前期：金曜5限&後期：水曜3限。（諸事由により多々変更あり！！随時B館の掲示板あるいは研究室ドアの掲示物で確認すること！）

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 日本の環境（授業形式：講義および演習）

予習内容：概要と各セクションについて

予習時間：30分

復習内容：今回の授業内容について

復習時間：30分

概要 日本が位置する地域と環境について学ぶ。まず日本の国土の位置と広がりを確認してから、隣国との領土問題について押さえる。また、日本列島を取り巻く潮の流れ（海流）に着目して、海洋国家としての日本の姿についてとらえていく。

セクション1 位置と広がり

セクション概要 日本は東経135度を標準時子午線とし、東西約2時間の時間幅がある。首都東京は北緯約40度にあり、南北約3000kmの幅をもつ。領土は世界62位（約38万km²）だが、水域は世界6位の大きさがある。

セクション2 地域区分—西と東・表と裏

セクション概要 日本の諸地域を大きくくりすると、西日本と東日本、表日本と裏日本の区分のほか、周圈的な区分も可能である。日本をいくつかの観点から地域区分して、それぞれの地域性を考える。

セクション3 列島を取り巻く海流

セクション概要 島国日本には、沿岸を洗ういくつかの海流（暖流、寒流）がある。日本の風土や歴史は、それらの海流から大きな影響を受け育まれてきたものである。

第2回 日本人の主食・米（授業形式：講義および演習）

予習内容：概要と各セクションについて

予習時間：30分

復習内容：今回の授業内容について

復習時間：30分

概要 日本人の主食である米について学ぶ。日本語には米にかかわる多くの語彙があり、日本人との関係の深さを示している。米は、収穫量や栄養価の面で他の穀物にはない優れた性質があり、環境保全の面でも幅広い役割を果たして。

セクション1 イネ—コメ—メシと日本人

セクション概要 日本語には米にまつわる呼称が多く、日本人の米との深いかかわりを示している。日本人の主食である米を、語彙の面から考察する。

セクション2 稲作の文化

セクション概要 米（水稻）は連作できるだけでなく、籾1粒当たりの収量が多く、たんぱく質にも富んでいる。これらのことが日本文化の基盤を形作る要因となってきた。

セクション3 稲作—もう一つの役割

セクション概要 稲作には、水循環を遅くし、土壌侵食を防ぐ環境保全機能がある。また、村社会や祭りを維持し、緑の美しい景観を保持する文化・社会保全の機能もある。

第3回 里山とともに生きる（授業形式：講義および演習）

予習内容：概要と各セクションについて

予習時間：30分

復習内容：今回の授業内容について

復習時間：30分

概要 日本人と里山の関係について学ぶ。「昔、おじいさんは山へ柴刈に」という昔話に定番の出だしは、日本人と里山のかかわりの深さを伝えている。里山は「人と自然が共生する場」であり、人は里山を利用することで、里山は人に利用されることで、ともに様々な恩恵を受けてきた。

セクション1 昔、おじいさんは山へ柴刈に

セクション概要 柴刈（シバカリ）とは燃料採取のことで、山で柴刈をしないとかつては炊事も暖もとれなかった。里山は燃料のほか、多くの資源取得の場であった。

セクション2 間伐の意義と役割

セクション概要 里山には間伐が必要不可欠である。ただ放置するだけの森林では、森の生態系が維持されず、ひいては川や海の漁場にも魚たちが集まってこない。

セクション3 森林の公益的機能

セクション概要 森林には水源涵養や土砂災害防止の機能がある。また、生物多様性を維持する場であり、地球温暖化防止にも寄与する。グリーンツーリズムにより、心身を保養する機能もある。

第4回 焼畑にみる知恵（授業形式：講義および演習）

予習内容：概要と各セクションについて

予習時間：30分

復習内容：今回の授業内容について

復習時間：30分

概要 焼畑（ヤキハタ）にみる先人の知恵について考える。焼畑の原型は地味の悪い熱帯地域にあり、そこで生きていくための知恵ある耕作の工夫である。焼畑は、同様に不利な環境下にある日本の山間部などでも行われてきたが、その方法や心得について学ぶ。

セクション1 焼畑の原型は熱帯

セクション概要 焼畑は樹木を焼いた後の灰を肥料とする農法で、土のやせた熱帯を起源とする。日本でも、同様に地味のやせた山間部などで行われてきた知恵ある農法の一つである。

セクション2 焼畑の方法

セクション概要 焼畑は4年を一単位とするものが多く、1年目に穀類、2年目にイモ類、3年目にマメ類といった具合に、年々作物を替えて輪作する。また、1年目の畑をアラコ、2年目をカーシなどと呼ぶ。

セクション3 焼畑の心得

セクション概要 秋に樹木を伐採し、乾燥させたのち、翌春に火入れする。延焼防止のためのホソケミチ（火退け道）の確保や、ヤリヤキ（槍焼き）などの手法を用いるとともに、呪術儀礼によって成功を願う。

セクション4 資料映像①の視聴

セクション概要 NHKビデオ・ニッポンの里山から、「野焼きでよみがえる大草原（熊本県阿蘇山）」を観る。野焼きで燃え残った灰を養分に草が育ち、それを餌に牛が飼育される。

第5回 牧畑にみる知恵（授業形式：講義および演習）

予習内容：概要と各セクションについて

予習時間：30分

復習内容：今回の授業内容について

復習時間：30分

概要 牧畑（マキハタ）にみる先人の知恵について考える。牧畑は近年まで日本海の島嶼部などにみられたが、現在では途絶えてしまった。しかし、その歴史的慣性は今日、牛肉の子牛産地として継承されている。また、ヨーロッパの畑作と類似点があり、その原型である三圃式農法を彷彿させる。

セクション1 牧畑の方法

セクション概要 牧畑は牧と畑を複合した農牧形態であり、牛馬の糞を肥料とする農法である。日本で最後まで残存した隠岐では、牧畑を4区画に分け、作物を輪転させて食料と役牛・役馬を取得した。

セクション2 牧畑のその後

セクション概要 隠岐の牧畑も昭和40年代には終了したが、隠岐はその後も子取り牛の飼育地として、全国の肥育農家に子牛を提供している。「神戸牛」「松阪牛」などのブランド牛も、隠岐生まれである。

セクション3 ヨーロッパ三圃式農法と牧畑

セクション概要 ヨーロッパ三圃式農法は、農耕と家畜飼育を組み合わせたものであり、牧畑に似ている。11世紀の三圃革命で人口が増え、ヨーロッパは十字軍の派遣を始めたほか、やがて大航海時代を迎える。

セクション4 資料映像②の視聴

セクション概要 NHKビデオ・ニッポンの里山から、「花咲く島の放牧地（島根県西ノ島町）」を観る。牛馬が草を食べることで美しい草原が保たれ、様々な生き物が共生している。

第6回 地名が語る環境と地域（授業形式：講義および演習）

予習内容：概要と各セクションについて

予習時間：30分

復習内容：今回の授業内容について

復習時間：30分

概要 地名と環境、地名と地域との関係について学ぶ。土地につけられた刻印である「地名」は、住人たちの了解のもとに、様々な語彙の中から生き残った文化遺産である。その場所がどういった性質を持つ土地であるかを示唆するが、中には現代人がすでに忘れてしまった、災害への警鐘のこもるものもある。

セクション1 地名と環境

セクション概要 地名には、その土地の自然環境や人文環境を反映したものが多い。大阪の道が「筋」と「通」からなり、京都の道が「通」からだけなるのも、両者の自然・人文環境の違いに基づいている。

セクション2 災害地名のいくつか

セクション概要 大阪の地名から「十三」「放出」「河内」など、全国の地名から「シマ」「クラ」「ヒラ」などを取り上げて、災害地名のいくつかについて考えてみる。

セクション3 地名からみる地域性

セクション概要 全国の「谷（タニ）地名」と「沢（サワ）地名」の分布から、地名にみる日本の地域性を考える。両者の漸移帯に「谷（ヤ）地名」が分布する理由についても検討する。

第7回 中心地を地理学する！（経済地理学）（授業形式：講義および演習）

予習内容：概要と各セクションについて

予習時間：30分

復習内容：今回の授業内容について

復習時間：30分

概要 わたしたちが普段行っている「買い物」という行為をとおして、都市（中心地）の立地について理解する。また、「財の到達範囲」や「高次財」・「低次財」をはじめとした中心地理論の基礎的概念や語句を学ぶ。

セクション1 あなたは即答できますか??

セクション概要 経済地理学における重要な基礎理論の一つである立地論とは何かを学ぶ。同時に、立地論の一つである中心地理論の基本的概念や重要語句についても学ぶ。

セクション2 おやつをどこまで買いに行こうかな?

セクション概要 わたしたちが何気なく行っている買い物という行為を振り返り、そこにある「距離」について、あらためてその存在を認識してもらうとともに、「財の到達範囲」、「高次財」・「低次財」をはじめとして、中心地理論の基本的概念や重要語句について学ぶ。

セクション3 さまざまな財を供給する中心地の最適な立地は?

セクション概要財の到達範囲は財の種類により違うため、中心地の立地も供給する財の種類により異なることを学ぶ。以上より、クリスタラーが著した「供給原理に基づく中心地システム」を理解する。

第8回 工業を地理学する！（経済地理学）（授業形式：講義および演習）

予習内容：概要と各セクションについて

予習時間：30分

復習内容：今回の授業内容について

復習時間：30分

概要 わたしたちの身の回りの工業製品について、それらが生産される場所を考えることにより、工業（工場）の立地について理解する。また、「立地三角形」や「原料指数」等、工業立地論の基本的概念や語句を学ぶ。

セクション1 ポテチはどこからやってくる??

セクション概要 わたしたちが普段食べるおやつ「ポテチ」という側面に着目し、ウェーバー工業立地論を理解する。あわせて、工業（工場）の立地に必要な要因等についても学ぶ。

セクション2 立地三角形とは??

セクション概要 ウェーバー工業立地論の第一段階に関する基本的概念について学ぶ。あわせて、「立地三角形」や「原料指数」といった概念を理解する。

セクション3 労働係数とは??集積のメリットとは??

セクション概要 ウェーバー工業立地論の第二・第三段階に関する基本的概念について学ぶ。加えて、立地条件による工業の分類も理解する。

第9回 生活行動を地理学する（授業形式：講義および演習）

予習内容：概要と各セクションについて

予習時間：30分

復習内容：今回の授業内容について

復習時間：30分

概要 わたしたちの毎日の行動を、行動地理学的な視点から捉え直し、生活活動時間・空間について理解する。また、観光やエスニシティ、ジェンダーをはじめとした事象についても行動地理学的観点から分析することにより、それらが契機となり生じる地域の課題を考察する。

セクション1 なぜ通勤自粛になったの? セクション概要 コロナ禍の中で行われた「通勤自粛」という事象を取り上げ、都市における人々の日常生活行動をあらためて考えるとともに、「行動地理学とは何か」について学ぶ。

セクション2 通勤はいつから始まったの? セクション概要 通勤という行為の始まりを理解するとともに、「パス」や「プリズム」といった行動地理学に用いられる基本的概念や重要語句について学ぶ。あわせて、各人の生活活動空間を行動地理学的視点から分析する。

セクション3 行動地理学からわかること セクション概要 観光地における人々の行動、女性の生活活動空間、外国人労働者の生活活動空間を行動地理学的視点から理解し分析することにより、それら事象が契機隣生じる地域の課題について考察する。

第10回 SDGsと地球温暖化防止（授業形式：講義および演習）

予習内容：概要と各セクションについて

予習時間：30分

復習内容：今回の授業内容について

復習時間：30分

概要 2015年に国連で「持続可能な開発目標（SDGs）」が策定された。同年に「パリ協定」も採択されている。地球規模の問題である温暖化の現状を理解し、日本で行われている取組みを把握する。

セクション1 SDGsとは

セクション概要 「持続可能な開発目標（SDGs）」の概要を説明する

セクション2 地球温暖化とその影響

セクション概要 地球規模の問題として温暖化のメカニズムとその影響を説明する

セクション3 地球温暖化防止対策と課題

セクション概要 「パリ協定」と日本で取られている対策の現状を把握する。

第11回 大気環境の保全（授業形式：講義および演習）

予習内容：概要と各セクションについて

予習時間：30分

復習内容：今回の授業内容について

復習時間：30分

概要 日本の大気汚染の歴史的経過を地域環境の改善から確認した上で、近年、新たな課題となっているPM2.5について、気候との関係から東アジアでの対策が必要となっていることを理解する。

セクション1 公害の歴史

セクション概要 四大公害とそのうちの大気汚染公害として位置付けられる四日市ぜんそくを取り上げ説明する。

セクション2 大気汚染の対策と改善

セクション概要 工場への規制のみならず道路や自動車への規制等大気汚染対策の概観を解説する。

セクション3 PM2.5と東アジア

セクション概要 地域の対策が進んだ中、新たな課題としてのPM2.5について、現状と課題を解説する。

第12回 都市の自然環境保全（授業形式：講義および演習）

予習内容：概要と各セクションについて

予習時間：30分

復習内容：今回の授業内容について

復習時間：30分

概要 高度経済成長により日本の三大都市圏は急激な成長を遂げた。大都市圏における自然環境をどのように保全すべきか、緑地保全や都市緑化の観点から考える。

セクション1 都市の緑地構成要素

セクション概要 都市化が進展する中で、どのように緑地としての森林・農地・公園が変化してきたかを把握する。

セクション2 都市農地の保全

セクション概要 都市農地の持つ多面的機能を理解し、保全に向けた課題を把握する。

セクション3 再開発と緑化

セクション概要 再開発に伴う緑化や緑地空間の創出の現状を把握する。

第13回 火山との共生（授業形式：講義および演習）

予習内容：概要と各セクションについて

予習時間：30分

復習内容：今回の授業内容について

復習時間：30分

概要 火山活動は人々の暮らしへ著しい影響を与える一方、様々な恩恵も与えてくれる。実際の火山災害対策の事例も交えながら、共生していくためのモニタリングについても考える。

セクション1 火山の分布

セクション概要 日本は火山国であり、どのように分布しているか把握する。

セクション2 火山ガス災害対策の事例 前編

セクション概要 2000年三宅島火山災害を例に、火山ガス対策がどのように行われたか解説する。

セクション3 火山ガス災害対策の事例 後編

セクション概要 2000年三宅島火山災害を例に、泥流対策等がどのように行われたか解説する。また、火山防災体制について理解する。

第14回 中心市街地の活性化（授業形式：講義および演習）

予習内容：概要と各セクションについて

予習時間：30分

復習内容：今回の授業内容について

復習時間：30分

概要 日本での急激な都市化とモータリゼーションの進展は中心市街地の空洞化をもたらせた。人口減少が進み、中心市街地活性化や買物弱者対策が求められており、現状と対策を解説する。

セクション1 中心市街地の課題

セクション概要 日本での中心市街地が空洞化をもたらされた要因を探る。

セクション2 コンパクトシティ

セクション概要 中心市街地の活性化に向けたコンパクトシティの実現への取組みと課題を理解する。

セクション3 買物弱者対策

セクション概要 高齢社会の到来により買物弱者対策が必要になってきていることを理解する。

第15回 行政の地理（授業形式：講義および演習）

予習内容：概要と各セクションについて

予習時間：30分

復習内容：今回の授業内容について

復習時間：30分

概要 平成の大合併により約3,300あった市町村が約1,300程度までに減少した。合併の規模は都道府県によって異なる。合併による都市構造にどのような変化があったかを理解する。

セクション1 平成の大合併

セクション概要 平成の大合併における都道府県別にみた合併の状況を把握する。

セクション2 都市構造の変化

セクション概要 大規模な市町村合併が行われた場合、都市の構造が変化することを理解する。

セクション3 ローカルガ・バナンス

セクション概要 人口減少や少子高齢化が進む中で、地域の自治を進める上での課題についてふれる。

-

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 :	ビジネスモデルとマネジメント【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Business Model and Management				
担当者 :	榊原 可人				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :	理工学部応用化学科：学修・教育到達目標（B）に主体的に関与、 理工学部機械工学科：機械工学コース学習・教育目標：A-1, JABEE基準1.2：(a)(b)に関与、 理工学部電気電子通信工学科：学習・教育到達目標D2の達成に主体的に関与、 理工学部社会環境工学科：ディプロマ・ポリシーの(D)に主体的に関与、(C)、(J)、(K)に付随的に関与				

■ 授業概要

情報化と企業活動に関する分析を行うために必要な基礎的は用語・概念を学びます。さらに実務経験者の講演や資料から、実際にビジネスモデルやマネジメントの分析を行い理解を深めます。この授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。各回の作成者は授業計画の内容に記載の通りです。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講者は、この授業を履修することによって

1) 企業活動に関する分析を行うために必要な基礎的な用語・概念を理解できるようになります。

■ 成績評価方法および基準

中間課題 50%

学生間ディスカッション 10%

最終課題 40%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

レポート課題の提出締切後に「レポート課題の要点と解説」をGoogle Classroomに掲載します。

■ 教科書

講義資料を適宜配布します。

■ 参考文献

[ISBN]9784798122977 『ビジネスモデル・ジェネレーション ビジネスモデル設計書』（アレックス・オスターワルダー，翔泳社：2012）

[ISBN]9784799325551 『新しい経営学』（三谷 宏治，ディスカヴァー・トゥエンティワン：2019）

[ISBN]9784478012727 『ビジネスモデルを見える化する ピクト図解』（板橋悟，ダイヤモンド社）

■ 関連科目

経営学、マーケティング論、リーダーシップ論、組織論、流通論

■ 授業評価アンケート実施方法

本学の規程に準拠して実施します。

■ 研究室・メールアドレス

非常勤講師 榊原可人 ysakaki-k@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

非常勤講師につき、メール等で連絡してください

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 ビジネスモデルの概要【富田・橋本】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布する講義資料を参考にビジネスモデルの概要について読み、わからない語句や理解が困難な箇所を抜き出すこと。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返しビジネスモデルの概要を整理すること。

復習時間：60分

ビジネスモデルの概要、ビジネスモデルの4要素、ピクト図解と代表的なビジネスモデルについて説明する。

第2回 ビジネスモデルの4要素：ターゲット顧客と価値の提供【富田・橋本】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布する講義資料を参考にビジネスモデルにおける「ターゲット顧客と価値の提供」を読み、わからない語句や理解が困難な箇所を抜き出すこと。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返し、ビジネスモデルにおける、ターゲット顧客と価値の提供、そのマネジメントについて整理すること。

復習時間：60分

ビジネスモデルの4要素、WHOにあたるターゲット（顧客）とWHATにあたるバリュー（提供価値）について、マネジメント手法を交えて説明する。

第3回 ビジネスモデルの4要素：価値の提供体制と競争力【富田・橋本】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布する講義資料を参考にビジネスモデルにおける「価値の提供体制と競争力」を読み、わからない語句や理解が困難な箇所を抜き出すこと。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返しビジネスモデルにおける、価値の提供体制と競争力、そのマネジメントについて整理すること。

復習時間：60分

ビジネスモデルの4要素、HOWにあたるケイパビリティ：価値の提供体制と競争力について、マネジメント手法を交えて説明する。

第4回 ビジネスモデルの4要素：収益モデルとマネジメント【富田・橋本】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布する講義資料を参考にビジネスモデルにおける「収益モデルとマネジメント」を読み、わからない語句や理解が困難な箇所を抜き出すこと。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返しビジネスモデルにおける、収益モデルとそのマネジメントについて整理すること。

復習時間：60分

ビジネスモデルの4要素、WHYにあたる収益モデルおよびマネジメントについて説明する。

第5回 ビジネスモデルキャンパスの活用【富田・橋本】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布した講義資料を参考にビジネスモデルキャンパスについてわからない語句や理解が困難な箇所を抜き出すこと。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返しビジネスモデルキャンパスについて整理すること。

復習時間：60分

ビジネスモデルキャンパスを用いて、顧客との関係性、収益性の理解、価値提供手段、外的要因、競争要因について説明する。

第6回 ビジネスモデル改善への外的原動力その①【榊原】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布した講義資料を参考にESGについてわからない語句や理解が困難な箇所を抜き出すこと。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返しESGについて整理すること。

復習時間：60分

ビジネスモデル改善への外的原動力としてESG（企業活動に対する世界的な社会規範）について説明する。

第7回 ビジネスモデル改善への外的原動力その②【榊原】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布した講義資料を参考に企業への投資についてわからない語句や理解が困難な箇所を抜き出すこと。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返し投資家による直接的な働きかけについて整理すること。

復習時間：60分

ビジネスモデル改善への外的原動力として投資家による直接的な働きかけについて説明する。

第8回 ビジネスモデル進化その1【榊原】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布した講義資料を参考にビジネスモデルの進化についてわからない語句や理解が困難な箇所を抜き出すこと。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返しビジネスモデルの進化について整理すること。

復習時間：60分

社会の変化とビジネスモデルの変遷について説明する。

第9回 ビジネスモデル進化その2【榊原】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布した講義資料を参考にビジネスモデルの進化についてわからない語句や理解が困難な箇所を抜き出すこと。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返しビジネスモデルの進化について整理すること。

復習時間：60分

ビジネスモデルの現在の立ち位置と今後の展望について説明する。

第10回 企業活動・企業の法務【森山】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布した講義資料を参考に企業活動・企業の法務についてわからない語句や理解が困難な箇所を抜き出すこと。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返し企業活動・企業の法務について整理すること。

復習時間：60分

ビジネスモデルとマネジメントの事例紹介に先立って、企業活動や経営管理に関する考え方、企業活動に法律や企業の規範に関する考え方について説明する。

第11回 リスクマネジメントとマネジメントシステム【富田・橋本】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布した講義資料を参考にリスクマネジメントとマネジメントシステムについてわからない語句や理解が困難な箇所を抜き出すこと。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返しリスクマネジメントとマネジメントシステムについて整理すること。

復習時間：60分

事業活動で直面するリスクに対応するマネジメント手法、リスクマネジメントやマネジメントシステムについて説明する。

第12回 ビジネスモデルとマネジメントの事例紹介その1(1)【森山】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布した講義資料を参考に講演する企業の情報収集をすること。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返しビジネスモデルキャンパス・ピクト図解を整理すること。

復習時間：60分

企業の実務経験者の講演からビジネスモデルとマネジメントの事例を紹介する。

第13回 ビジネスモデルとマネジメントの事例紹介その1(2)【森山】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布した講義資料を参考に講演する企業の情報収集をすること。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返しビジネスモデルキャンパス・ピクト図解を整理すること。

復習時間：60分

企業の実務経験者の講演からビジネスモデルとマネジメントの事例を紹介し、解説を加える。

第14回 ビジネスモデルとマネジメントの事例紹介その2(1)【森山】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布した講義資料を参考に講演する企業の情報収集をすること。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返しビジネスモデルキャンパス・ピクト図解を整理すること。

復習時間：60分

企業の実務経験者の講演からビジネスモデルとマネジメントの事例を紹介する。

第15回 ビジネスモデルとマネジメントの事例紹介その2(2)【森山】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布した講義資料を参考に講演する企業の情報収集をすること。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返しビジネスモデルキャンパス・ピクト図解を整理すること。到達目標の達成状況を参照しつつ全体を復習すること。

復習時間：60分

企業の実務経験者の講演からビジネスモデルとマネジメントの事例を紹介し、解説を加える。最後に、本授業で学んだ情報化と企業活動に関する分析を行うために必要な基礎的な用語・概念などの知識について振り返る。

■ ホームページ

■ 実践的な教育内容

オムニバス形式で多様な企業等から講師を招いて行う授業

科目名 :	心と体の健康【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Physical and Mental Health				
担当者 :	辻 和哉				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	前期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

この講義はコンテンツ作成者（田邊智）が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。

世界保健機関（WHO）は、健康を「肉体的、精神的、社会的に健全である状態であり、単に疾病がなく病弱ではないというだけではない」と定義しています。つまり、体だけではなく、心や我々の住む社会も同時に健全でなければ、本当の意味で健康であるとはいえません。本講義では「心の健康」とは何か、「体の健康」とは何かを学習するとともに、特に「心および体の健康」と、「運動」「食事」「休息」との関係を科学的データをもとに学ぶことで、健康的な生活を営むためにはどうすれば良いのかを考えます。

なお、この講義では、10回以上の出席を単位認定の条件としており、動画視聴時間が極端に短い場合、複数のウィンドウまたは複数のデバイスを用いて同時視聴した場合、出席とみなさないことがあるので、十分に注意してください。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講者はこの講義を履修することによって、

- 1) 心の健康とは何か、体の健康とは何かを説明することができる
- 2) 健康と運動との関係を説明することができる
- 3) これらの知識を生かして、健康的な生活を営む力をつけることができるようになります。

■ 成績評価方法および基準

レポート 90%

ディスカッション 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

レポート課題の提出締切後に「レポート課題の要点と解説」をGoogleClassroomに掲載します。

■ 教科書

毎回、授業資料をGoogleClassroomを使って配信します。

■ 参考文献

[ISBN]9784810521269 『大学生の健康・スポーツ科学』（大学生の健康・スポーツ科学研究会、道徳書院：2014）

[ISBN]9784810521320 『大学生のための「健康」論 健康・運動・スポーツの基礎知識』（岡田 英孝、道徳書院：2016）

[ISBN]9784469269796 『実習で学ぶ 健康・運動・スポーツの科学』（大修館書店：2024）

[ISBN]9784469266832 『健康スポーツの科学』（大修館書店：2009）

[ISBN]9784130527040 『教養としての身体運動・健康科学』（東京大学出版会：2009）

[ISBN]9784065180952 『これからの健康とスポーツの科学 第5版（KSスポーツ医科学書）』（講談社：2020）

[ISBN]9784469268171 『大学生のスポーツと健康生活』（大修館書店：2017）

■ 関連科目

生涯スポーツ1、生涯スポーツ2

■ 授業評価アンケート実施方法

本学の規程に準拠して実施します。

■ 研究室・メールアドレス

kazuya.tsuji@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

「レポート課題の提出締切後に「レポート課題の要点と解説」をGoogleClassroomに掲載します。」

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 健康とは何か（授業形式：講義および演習）

予習内容：健康とは何かについて考える

予習時間：90分

復習内容：資料を見直して、現在の自分の健康状態を考える

復習時間：90分

健康の定義

ヘルスプロモーションとは

疾病予防と健康管理

第2回 運動の意味（授業形式：講義および演習）

予習内容：これまで自分が行ってきた運動とその動機を考える

予習時間：90分

復習内容：資料を見直して、自分自身の身体機能がどのように変化したかを考える

復習時間：90分

運動不足の健康に与える影響

運動の動機づけ

トレーニングの原理・原則

第3回 筋力と健康（授業形式：講義および演習）

予習内容：骨格筋の構造と機能 加齢による筋力の変化

筋の収縮様式

予習時間：90分

復習内容：資料を見直して、筋力の増強が身体にもたらす効果を復習するとともに、自分に合った筋力トレーニングを考える

復習時間：90分

骨格筋の構造と機能

加齢による筋力の変化

筋の収縮様式

第4回 有酸素運動と健康（授業形式：講義および演習）

予習内容：これまで自分が行ったことのある有酸素運動を考える

予習時間：90分

復習内容：資料を見直して、有酸素運動が身体にもたらす効果を復習するとともに、自分に合った有酸素運動を考える(

復習時間：90分

筋収縮のエネルギー

乳酸は何故できるのか

適切な有酸素運動とは

第5回 生活習慣病と運動（授業形式：講義および演習）

予習内容：生活習慣病とは何か調べる

予習時間：90分

復習内容：資料を見直して、生活習慣病と運動との関係を復習する

復習時間：90分

生活習慣病とは

生活習慣病に対する運動の効果

メタボリックシンドロームとは

第6回 肥満と運動（授業形式：講義および演習）

予習内容：肥満とは何か調べるとともに、自分のBMIおよび体脂肪率を測る

予習時間：90分

復習内容：資料を見直して、自分が理想とする体重になるためにどのような運動をすべきか考える

復習時間：90分
肥満とは
肥満の原因について
肥満と運動との関係について

第7回 食事と健康（授業形式：講義および演習）

予習内容：1週間の食事内容を書き出す
予習時間：90分
復習内容：資料を見直して、自分の食生活について考える
復習時間：90分
五大栄養素について
食生活の変化と課題
ボディイメージと摂食障害

第8回 飲酒と健康（授業形式：講義および演習）

予習内容：自分の周りの人の飲酒状況を調べる
予習時間：90分
復習内容：資料を見直して、飲酒の健康への影響を復習するとともに、飲酒をする際に気をつけるべき事項を考える
復習時間：90分
アルコールの代謝
飲酒による健康被害
飲酒と社会問題

第9回 喫煙と健康（授業形式：講義および演習）

予習内容：自分の周りの喫煙状況を調べる
予習時間：90分
復習内容：資料を見直して、喫煙の健康への影響を復習するとともに、自分やその周りの人々の喫煙を考える
復習時間：90分
たばこの有害成分について
喫煙の健康に与える影響
禁煙の効果

第10回 骨の健康と運動（授業形式：講義および演習）

予習内容：骨粗しょう症とは何か調べる
予習時間：90分
復習内容：資料を見直して、骨代謝および骨強度に影響を与える要因を復習するとともに、自分でできる骨粗しょう症の予防方法を考える
復習時間：90分
骨の役割について
骨の構造と代謝
骨代謝と骨強度に影響を与える要因

第11回 健康管理と感染症の予防（授業形式：講義および演習）

予習内容：感染症とは何か調べる
予習時間：90分
復習内容：資料を見直して、感染症の予防方法を復習する
復習時間：90分
感染症とは
ウイルスによる感染症について
その他の身近にある感染症について

第12回 心の健康とストレス（授業形式：講義および演習）

予習内容：これまで自分が感じたストレスとその対処法を考える
予習時間：90分
復習内容：資料を見直して、運動の抗ストレス効果を復習するとともに、自分がストレスを発散させるのに適した運動を考える
復習時間：90分
ストレスとは
ストレスに対する対処法
運動の抗ストレス効果

第13回 メンタルヘルスと運動（授業形式：講義および演習）

予習内容：メンタルヘルスとは何か調べる

予習時間：90分

復習内容：資料を見直して、メンタルヘルスと運動との関係を復習する

復習時間：90分

青年期の体と心の変化

メンタルヘルスと運動

不眠症とは

第14回 スポーツ中の事故（授業形式：講義および演習）

予習内容：自分の周りでスポーツ中に事故に合った人やケガをした人の状況を調べる(90分)

予習時間：90分

復習内容：資料を見直して、ケガの応急処置法および救急処置法を復習する

復習時間：90分

スポーツ中の事故

スポーツ傷害とケガの応急処置

熱中症とその予防

第15回 健康・スポーツのための政策（授業形式：講義および演習）

予習内容：日本の少子高齢化の現状を調べる

予習時間：90分

復習内容：資料を見直して、スポーツ基本法とスポーツ基本計画について復習するとともに、自分の住んでいる市町村のスポーツ推進計画を調べる

復習時間：90分

少子高齢化社会とは

国民健康づくり対策

スポーツ基本計画

レポート

■ ホームページ

■ 実践的な教育内容

-

科目名 :	データリテラシー入門【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Introduction to Data Literacy				
担当者 :	谷口 智彦				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :		開講年次 :		開講期 :	前期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

本科目では、来るデータ駆動型社会に向けて進展が期待されているDS（Data Science, データ科学）とAI（Artificial Intelligence, 人工知能）に関する基礎的な知識と技能を修得するための授業を実施する。授業では、まず、DSやAIの現状について紹介する。次に、それらを活用するために理解しておくべき概念や方法について説明する。そして、データを適正に利用するために留意すべき点について説明する。最後に、データの取り扱いについて説明するとともに、実際にツールを使った演習を行う。本科目の授業資料は、担当教員とは別の教員が作成している。各回のタイトル欄に作成者を記載する。

【履修の前提条件】

本科目の履修には、下記のスキルが必要となる。パソコン操作に不慣れな学生は、他の基礎科目で十分なスキルを獲得した上で履修すること。オンデマンド授業のためPC操作のサポートは受けられない。

- ・ファイル名の変更・アップロード・ダウンロードがスムーズに行える。
- ・ファイルの拡張子について熟知している。
- ・圧縮ファイルを適切に解凍できる。
- ・表計算（Excel・Googleスプレッドシート）で関数を挿入できる。
- ・表計算（Excel・Googleスプレッドシート）でシート操作ができる。

【諸注意】

- ・授業の出席方法等のルールは、必ずKICSオンデマンド授業マニュアルを確認すること。
- ・指定された期日までに授業動画を視聴し、かつ確認テストに満点合格すること。授業動画の視聴と確認テストを満点合格することなく、別途出題される課題を提出あるいはテストを実施した場合は、その回の課題あるいはテストの点数は0点とする。
- ・各授業の課題提出期限はGoogleClassroomで指示する。
- ・出席数、欠席数、欠席届の有無は成績評価（不受を含む）には反映しない。ただし、成績評価は、授業への出席（動画視聴期限までの学習）を前提とした課題提出によって行うため授業への出席は必須である。
- ・第1回、第3回から第9回までの授業で「KBマップ」というアプリを使用する。GoogleClassroomで指示された資料で利用方法を確認し、開講後1週間以内にログインできることを確認すること。
- ・第2回と第10回の授業の復習として、Zoomによる他学部と合同のオンラインディスカッションの機会を提供する。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

本科目の到達目標は次のとおりである。

- [1] DSやAIの現状、概念、方法について必要事項を知っている。
- [2] データの取り扱いについて必要事項を知っている。
- [3] データの留意点について必要事項を知っている。

本科目の修得は、本学が定めるディプロマポリシー3の達成に関与している。

■ 成績評価方法および基準

KBマップ課題（第1回、第3回～第8回） 30%

KBマップ課題+テスト（第9回） 20%
練習課題+演習課題（第10回-第15回） 40%
グループディスカッション（第2回授業時間外、第10回授業時間外） 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

第1回、第3回～第9回課題はKBマップのフィードバック機能によりフィードバックする。
第11回～第15回課題は、誤りが多かった事項について授業期間終了後にGoogleClassroomにコメントを掲載する。
グループディスカッションは、課題として提出されたアンケート内容を取りまとめたレポートを開示する。

■ 教科書

教科書はなし。適宜授業資料を配布する。

■ 参考文献

[ISBN]9784065238097 『教養としてのデータサイエンス (データサイエンス入門シリーズ)』 (北川 源四郎, 講談社 : 2021)

■ 関連科目

各学部のデータサイエンスあるいはAIを取り扱った科目

■ 授業評価アンケート実施方法

学部の定めるとおり実施する。

■ 研究室・メールアドレス

nttls_21@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

別途Zoomによる質問対応時間を設ける（詳細はGoogleClassroomに掲示）。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 データ駆動型社会（担当：山元 翔）（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業計画、KICSオンデマンド受講案内、GoogleClassroomの資料をすべて読み込むこと。

予習時間：90分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・IoT、ビッグデータ、AI、ロボット、仮想現実（VR）、拡張現実（AR）
- ・第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会
- ・現代社会におけるデータ科学（DS）と人工知能（AI）への期待と課題
- ・人間の知的活動とAIの関係性
- ・データ・AI活用領域の広がり(生産、消費、文化活動など)
- ・今のAIで出来ることと出来ないこと、AIとビッグデータ
- ・自動化技術
- ・研究開発、調達、製造、物流、販売、マーケティング、サービスなど

第2回 DS・AI活用社会（担当：山元 翔）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第1回授業の内容、難易度を踏まえ、受講計画を作成すること（毎週同じ時間帯に学習時間を確保することを推奨する）。

予習時間：60分

復習内容：第2回の授業内容に関係するグループディスカッションに参加すること（グループディスカッション用事前課題、事後課題あり）。

復習時間：180分

- ・流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等におけるデータ・AI活用事例紹介
- ・仮説検証、知識発見、原因究明、計画策定、判断支援、活動代替、新規生成など

第3回 DS・AI利活用（担当：山元 翔）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第3回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・AI等を活用した新しいビジネスモデル
- ・AI最新技術の活用例
- ・人工知能、データ科学のビジネス機会
- ・人工知能、データ科学の社会的課題
- ・データを起点としたものの見方、人間の知的活動を起点としたものの見方

第4回 様々なデータ表現 (担当: 山元 翔) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 第4回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間: 60分

復習内容: KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間: 180分

- ・ 2進数, 16進数
- ・ 数値, 文字, 画像, 音声
- ・ 1次データ, 2次データ, メタデータ, アノテーション
- ・ 構造化データ, 非構造化データ
- ・ 非構造化データ処理: 言語処理, 画像/動画処理, 音声/音楽処理など
- ・ オープンデータ

第5回 データの利活用と注意 (担当: 山元 翔) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 第5回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間: 60分

復習内容: KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間: 180分

- ・ データサイエンスのサイクル
- ・ 個人の不健全な状況の回避: ネット依存症, ゲーム中毒, テクノストレス等
- ・ 被害者・加害者にならないための知識, なったときの対応, 誹謗中傷・炎上, ネットいじめ
- ・ 適切な対象が適切に情報を取得できること: 情報格差, アクセシビリティ
- ・ プライバシー

第6回 社会におけるデータの取り扱い - 個々人の注意 - (担当: 山元 翔) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 第6回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間: 60分

復習内容: KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間: 120分

- ・ 情報の信頼性の判断, デマ・流言, メディアリテラシー
- ・ 社会としての危機管理: システムダウンによる影響範囲の把握と対応
- ・ ELSI (Ethical, Legal and Social Issues)
- ・ データ・AI活用における負の事例紹介
- ・ データ倫理: データのねつ造, 改ざん, 盗用, プライバシー保護
- ・ AI社会原則 (公平性, 説明責任, 透明性, 人間中心の判断)
- ・ データバイアス, アルゴリズムバイアス
- ・ AIサービスの責任論

第7回 社会におけるデータの取り扱い - 社会全体の注意 - (担当: 山元 翔) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 第7回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間: 60分

復習内容: KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間: 120分

- ・ 知的財産権: 著作権と産業財産権, 著作権, 創作とライセンス表示, 国際化 (ベルヌ条約)
- ・ 肖像権・パブリシティ権
- ・ 個人情報保護: 個人情報 (個人識別符号の説明を含む), 匿名加工情報, 自己情報コントロール権, OECD プライバシーガイドライン, EU 法 (保護規則) と忘れられる権利, オプトアウト

第8回 データを守る上での留意事項 (担当: 山元 翔) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 第8回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間: 60分

復習内容: KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間: 120分

- ・ 情報セキュリティ: 機密性, 完全性, 可用性
- ・ 匿名加工情報, 暗号化, パスワード, 悪意ある情報搾取
- ・ 情報漏洩等によるセキュリティ事故の事例紹介

第9回 AI・データ利活用の基礎知識 (テスト課題) (担当: 山元 翔) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 第1回から第8回までの授業内容を復習し, 未提出のKBマップ課題があればすべて完成して提出しておくこと。

予習時間: 120分

復習内容: 理解が不十分だった学習項目について確認しておくこと。

復習時間: 90分

これまでの内容を踏まえて、今後DSの考え方にに基づきAIを利活用する上での基礎知識が身についたかを確認するテストを実施する。

第10回 データを集める（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：Excel、Googleスプレッドシートの基本操作を確認しておくこと。第10回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：第10回の授業内容に関係するグループディスカッションに参加すること（グループディスカッション用事前課題・事後課題あり）。

復習時間：180分

- ・データの種類（量的変数、質的変数）
- ・母集団と標本抽出（国勢調査、アンケート調査、全数調査、単純無作為抽出、層別抽出、多段抽出）
- ・観測データに含まれる誤差の扱い
- ・打ち切りや脱落を含むデータ

第11回 データを扱う（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第11回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データ解析ツール（スプレッドシート）
- ・表形式のデータ（CSV）

第12回 データを操る（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第12回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データの集計（和）
- ・データの並び替え、ランキング

第13回 データを見る（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第13回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データ表現（棒グラフ、折線グラフ、散布図、ヒートマップ）
- ・データの図表表現（チャート化）
- ・不適切なグラフ表現（チャートジャンク、不必要な視覚的要素）
- ・統計情報の正しい理解（誇張表現に惑わされない）
- ・優れた可視化事例の紹介（可視化することによって新たな気づきがあった事例など）

第14回 データを読む（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第14回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データの分布(ヒストグラム)
- ・層別の必要なデータ
- ・代表値（平均値、中央値、最頻値）
- ・代表値の性質の違い（実社会では平均値＝最頻値でないことが多い）
- ・データのばらつき（分散、標準偏差、偏差値）
- ・データの集計（平均）

第15回 データを読み解く（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第15回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・相関と因果（相関係数、擬似相関、交絡）
- ・クロス集計表、分割表、相関係数行列、散布図行列
- ・データの比較（条件をそろえた比較、処理の前後での比較、A/Bテスト）

- ホームページ
- 実践的な教育内容

-

科目名	データリテラシー入門【KICSオンデマンド科目】				
英文名	Introduction to Data Literacy				
担当者	井田 泰人				
開講学科	共通教養科目				
単 位	2単位	開講年次		開講期	前期
科目区分	(通信) メディア科目				
備 考					

■ 授業概要

本科目では、来るデータ駆動型社会に向けて進展が期待されているDS（Data Science, データ科学）とAI（Artificial Intelligence, 人工知能）に関する基礎的な知識と技能を修得するための授業を実施する。授業では、まず、DSやAIの現状について紹介する。次に、それらを活用するために理解しておくべき概念や方法について説明する。そして、データを適正に利用するために留意すべき点について説明する。最後に、データの取り扱いについて説明するとともに、実際にツールを使った演習を行う。本科目の授業資料は、担当教員とは別の教員が作成している。各回のタイトル欄に作成者を記載する。

【履修の前提条件】

本科目の履修には、下記のスキルが必要となる。パソコン操作に不慣れな学生は、他の基礎科目で十分なスキルを獲得した上で履修すること。オンデマンド授業のためPC操作のサポートは受けられない。

- ・ファイル名の変更・アップロード・ダウンロードがスムーズに行える。
- ・ファイルの拡張子について熟知している。
- ・圧縮ファイルを適切に解凍できる。
- ・表計算（Excel・Googleスプレッドシート）で関数を挿入できる。
- ・表計算（Excel・Googleスプレッドシート）でシート操作ができる。

【諸注意】

- ・授業の出席方法等のルールは、必ずKICSオンデマンド授業マニュアルを確認すること。
- ・指定された期日までに授業動画を視聴し、かつ確認テストに満点合格すること。授業動画の視聴と確認テストを満点合格することなく、別途出題される課題を提出あるいはテストを実施した場合は、その回の課題あるいはテストの点数は0点とする。
- ・各授業の課題提出期限はGoogleClassroomで指示する。
- ・出席数、欠席数、欠席届の有無は成績評価（不受を含む）には反映しない。ただし、成績評価は、授業への出席（動画視聴期限までの学習）を前提とした課題提出によって行うため授業への出席は必須である。
- ・第1回、第3回から第9回までの授業で「KBマップ」というアプリを使用する。GoogleClassroomで指示された資料で利用方法を確認し、開講後1週間以内にログインできることを確認すること。
- ・第2回と第10回の授業の復習として、Zoomによる他学部と合同のオンラインディスカッションの機会を提供する。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

本科目の到達目標は次のとおりである。

- [1] DSやAIの現状、概念、方法について必要事項を知っている。
- [2] データの取り扱いについて必要事項を知っている。
- [3] データの留意点について必要事項を知っている。

本科目の修得は、本学が定めるディプロマポリシー3の達成に関与している。

■ 成績評価方法および基準

KBマップ課題（第1回、第3回～第8回） 30%

KBマップ課題+テスト（第9回） 20%
練習課題+演習課題（第10回-第15回） 40%
グループディスカッション（第2回授業時間外、第10回授業時間外） 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

第1回、第3回～第9回課題はKBマップのフィードバック機能によりフィードバックする。
第11回～第15回課題は、誤りが多かった事項について授業期間終了後にGoogleClassroomにコメントを掲載する。
グループディスカッションは、課題として提出されたアンケート内容を取りまとめたレポートを開示する。

■ 教科書

教科書はなし。適宜授業資料を配布する。

■ 参考文献

[ISBN]9784065238097 『教養としてのデータサイエンス (データサイエンス入門シリーズ)』 (北川 源四郎, 講談社 : 2021)

■ 関連科目

各学部のデータサイエンスあるいはAIを取り扱った科目

■ 授業評価アンケート実施方法

学部の定めるとおり実施する。

■ 研究室・メールアドレス

nttls_21@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

別途Zoomによる質問対応時間を設ける（詳細はGoogleClassroomに掲示）。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 データ駆動型社会（担当：山元 翔）（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業計画、KICSオンデマンド受講案内、GoogleClassroomの資料をすべて読み込むこと。

予習時間：90分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・IoT、ビッグデータ、AI、ロボット、仮想現実（VR）、拡張現実（AR）
- ・第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会
- ・現代社会におけるデータ科学（DS）と人工知能（AI）への期待と課題
- ・人間の知的活動とAIの関係性
- ・データ・AI活用領域の広がり(生産、消費、文化活動など)
- ・今のAIで出来ることと出来ないこと、AIとビッグデータ
- ・自動化技術
- ・研究開発、調達、製造、物流、販売、マーケティング、サービスなど

第2回 DS・AI活用社会（担当：山元 翔）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第1回授業の内容、難易度を踏まえ、受講計画を作成すること（毎週同じ時間帯に学習時間を確保することを推奨する）。

予習時間：60分

復習内容：第2回の授業内容に関係するグループディスカッションに参加すること（グループディスカッション用事前課題、事後課題あり）。

復習時間：180分

- ・流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等におけるデータ・AI活用事例紹介
- ・仮説検証、知識発見、原因究明、計画策定、判断支援、活動代替、新規生成など

第3回 DS・AI利活用（担当：山元 翔）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第3回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・AI等を活用した新しいビジネスモデル
- ・AI最新技術の活用例
- ・人工知能、データ科学のビジネス機会
- ・人工知能、データ科学の社会的課題
- ・データを起点としたものの見方、人間の知的活動を起点としたものの見方

第4回 様々なデータ表現 (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第4回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・2進数, 16進数
- ・数値, 文字, 画像, 音声
- ・1次データ, 2次データ, メタデータ, アノテーション
- ・構造化データ, 非構造化データ
- ・非構造化データ処理：言語処理、画像/動画処理、音声/音楽処理など
- ・オープンデータ

第5回 データの利活用と注意 (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第5回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・データサイエンスのサイクル
- ・個人の不健全な状況の回避：ネット依存症、ゲーム中毒、テクノストレス等
- ・被害者・加害者にならないための知識、なったときの対応、誹謗中傷・炎上、ネットいじめ
- ・適切な対象が適切に情報を取得できること：情報格差、アクセシビリティ
- ・プライバシー

第6回 社会におけるデータの取り扱い - 個々人の注意 - (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第6回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：120分

- ・情報の信頼性の判断、デマ・流言、メディアリテラシー
- ・社会としての危機管理：システムダウンによる影響範囲の把握と対応
- ・ELSI (Ethical, Legal and Social Issues)
- ・データ・AI活用における負の事例紹介
- ・データ倫理：データのねつ造、改ざん、盗用、プライバシー保護
- ・AI社会原則 (公平性、説明責任、透明性、人間中心の判断)
- ・データバイアス、アルゴリズムバイアス
- ・AIサービスの責任論

第7回 社会におけるデータの取り扱い - 社会全体の注意 - (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第7回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：120分

- ・知的財産権：著作権と産業財産権、著作権、創作とライセンス表示、国際化 (ベルヌ条約)
- ・肖像権・パブリシティ権
- ・個人情報保護：個人情報 (個人識別符号の説明を含む)、匿名加工情報、自己情報コントロール権、OECD プライバシーガイドライン、EU 法 (保護規則) と忘れられる権利、オプトアウト

第8回 データを守る上での留意事項 (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第8回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：120分

- ・情報セキュリティ：機密性、完全性、可用性
- ・匿名加工情報、暗号化、パスワード、悪意ある情報搾取
- ・情報漏洩等によるセキュリティ事故の事例紹介

第9回 AI・データ利活用の基礎知識 (テスト課題) (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第1回から第8回までの授業内容を復習し、未提出のKBマップ課題があればすべて完成して提出しておくこと。

予習時間：120分

復習内容：理解が不十分だった学習項目について確認しておくこと。

復習時間：90分

これまでの内容を踏まえて、今後DSの考え方にに基づきAIを利活用する上での基礎知識が身についたかを確認するテストを実施する。

第10回 データを集める（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：Excel、Googleスプレッドシートの基本操作を確認しておくこと。第10回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：第10回の授業内容に関係するグループディスカッションに参加すること（グループディスカッション用事前課題・事後課題あり）。

復習時間：180分

- ・データの種類（量的変数、質的変数）
- ・母集団と標本抽出（国勢調査、アンケート調査、全数調査、単純無作為抽出、層別抽出、多段抽出）
- ・観測データに含まれる誤差の扱い
- ・打ち切りや脱落を含むデータ

第11回 データを扱う（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第11回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データ解析ツール（スプレッドシート）
- ・表形式のデータ（CSV）

第12回 データを操る（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第12回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データの集計（和）
- ・データの並び替え、ランキング

第13回 データを見る（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第13回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データ表現（棒グラフ、折線グラフ、散布図、ヒートマップ）
- ・データの図表表現（チャート化）
- ・不適切なグラフ表現（チャートジャンク、不必要な視覚的要素）
- ・統計情報の正しい理解（誇張表現に惑わされない）
- ・優れた可視化事例の紹介（可視化することによって新たな気づきがあった事例など）

第14回 データを読む（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第14回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データの分布(ヒストグラム)
- ・層別の必要なデータ
- ・代表値（平均値、中央値、最頻値）
- ・代表値の性質の違い（実社会では平均値＝最頻値でないことが多い）
- ・データのばらつき（分散、標準偏差、偏差値）
- ・データの集計（平均）

第15回 データを読み解く（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第15回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・相関と因果（相関係数、擬似相関、交絡）
- ・クロス集計表、分割表、相関係数行列、散布図行列
- ・データの比較（条件をそろえた比較、処理の前後での比較、A/Bテスト）

- ホームページ
- 実践的な教育内容

科目名 :	データリテラシー入門【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Introduction to Data Literacy				
担当者 :	井田 泰人				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	(通信) メディア科目				
備 考 :					

■ 授業概要

本科目では、来るデータ駆動型社会に向けて進展が期待されているDS（Data Science, データ科学）とAI（Artificial Intelligence, 人工知能）に関する基礎的な知識と技能を修得するための授業を実施する。授業では、まず、DSやAIの現状について紹介する。次に、それらを活用するために理解しておくべき概念や方法について説明する。そして、データを適正に利用するために留意すべき点について説明する。最後に、データの取り扱いについて説明するとともに、実際にツールを使った演習を行う。本科目の授業資料は、担当教員とは別の教員が作成している。各回のタイトル欄に作成者を記載する。

【履修の前提条件】

本科目の履修には、下記のスキルが必要となる。パソコン操作に不慣れな学生は、他の基礎科目で十分なスキルを獲得した上で履修すること。オンデマンド授業のためPC操作のサポートは受けられない。

- ・ファイル名の変更・アップロード・ダウンロードがスムーズに行える。
- ・ファイルの拡張子について熟知している。
- ・圧縮ファイルを適切に解凍できる。
- ・表計算（Excel・Googleスプレッドシート）で関数を挿入できる。
- ・表計算（Excel・Googleスプレッドシート）でシート操作ができる。

【諸注意】

- ・授業の出席方法等のルールは、必ずKICSオンデマンド授業マニュアルを確認すること。
- ・指定された期日までに授業動画を視聴し、かつ確認テストに満点合格すること。授業動画の視聴と確認テストを満点合格することなく、別途出題される課題を提出あるいはテストを実施した場合は、その回の課題あるいはテストの点数は0点とする。
- ・各授業の課題提出期限はGoogleClassroomで指示する。
- ・出席数、欠席数、欠席届の有無は成績評価（不受を含む）には反映しない。ただし、成績評価は、授業への出席（動画視聴期限までの学習）を前提とした課題提出によって行うため授業への出席は必須である。
- ・第1回、第3回から第9回までの授業で「KBマップ」というアプリを使用する。GoogleClassroomで指示された資料で利用方法を確認し、開講後1週間以内にログインできることを確認すること。
- ・第2回と第10回の授業の復習として、Zoomによる他学部と合同のオンラインディスカッションの機会を提供する。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

本科目の到達目標は次のとおりである。

- [1] DSやAIの現状、概念、方法について必要事項を知っている。
- [2] データの取り扱いについて必要事項を知っている。
- [3] データの留意点について必要事項を知っている。

本科目の修得は、本学が定めるディプロマポリシー3の達成に関与している。

■ 成績評価方法および基準

KBマップ課題（第1回、第3回～第8回） 30%

KBマップ課題+テスト（第9回） 20%
練習課題+演習課題（第10回-第15回） 40%
グループディスカッション（第2回授業時間外、第10回授業時間外） 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

第1回、第3回～第9回課題はKBマップのフィードバック機能によりフィードバックする。
第11回～第15回課題は、誤りが多かった事項について授業期間終了後にGoogleClassroomにコメントを掲載する。
グループディスカッションは、課題として提出されたアンケート内容を取りまとめたレポートを開示する。

■ 教科書

教科書はなし。適宜授業資料を配布する。

■ 参考文献

[ISBN]9784065238097 『教養としてのデータサイエンス (データサイエンス入門シリーズ)』 (北川 源四郎, 講談社 : 2021)

■ 関連科目

各学部のデータサイエンスあるいはAIを取り扱った科目

■ 授業評価アンケート実施方法

学部の定めるとおり実施する。

■ 研究室・メールアドレス

nttls_21@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

別途Zoomによる質問対応時間を設ける（詳細はGoogleClassroomに掲示）。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 データ駆動型社会（担当：山元 翔）（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業計画、KICSオンデマンド受講案内、GoogleClassroomの資料をすべて読み込むこと。

予習時間：90分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・IoT、ビッグデータ、AI、ロボット、仮想現実（VR）、拡張現実（AR）
- ・第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会
- ・現代社会におけるデータ科学（DS）と人工知能（AI）への期待と課題
- ・人間の知的活動とAIの関係性
- ・データ・AI活用領域の広がり(生産、消費、文化活動など)
- ・今のAIで出来ることと出来ないこと、AIとビッグデータ
- ・自動化技術
- ・研究開発、調達、製造、物流、販売、マーケティング、サービスなど

第2回 DS・AI活用社会（担当：山元 翔）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第1回授業の内容、難易度を踏まえ、受講計画を作成すること（毎週同じ時間帯に学習時間を確保することを推奨する）。

予習時間：60分

復習内容：第2回の授業内容に関係するグループディスカッションに参加すること（グループディスカッション用事前課題、事後課題あり）。

復習時間：180分

- ・流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等におけるデータ・AI活用事例紹介
- ・仮説検証、知識発見、原因究明、計画策定、判断支援、活動代替、新規生成など

第3回 DS・AI利活用（担当：山元 翔）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第3回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・AI等を活用した新しいビジネスモデル
- ・AI最新技術の活用例
- ・人工知能、データ科学のビジネス機会
- ・人工知能、データ科学の社会的課題
- ・データを起点としたものの見方、人間の知的活動を起点としたものの見方

第4回 様々なデータ表現 (担当: 山元 翔) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 第4回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間: 60分

復習内容: KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間: 180分

- ・2進数, 16進数
- ・数値, 文字, 画像, 音声
- ・1次データ, 2次データ, メタデータ, アノテーション
- ・構造化データ, 非構造化データ
- ・非構造化データ処理: 言語処理, 画像/動画処理, 音声/音楽処理など
- ・オープンデータ

第5回 データの利活用と注意 (担当: 山元 翔) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 第5回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間: 60分

復習内容: KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間: 180分

- ・データサイエンスのサイクル
- ・個人の不健全な状況の回避: ネット依存症, ゲーム中毒, テクノストレス等
- ・被害者・加害者にならないための知識, なったときの対応, 誹謗中傷・炎上, ネットいじめ
- ・適切な対象が適切に情報を取得できること: 情報格差, アクセシビリティ
- ・プライバシー

第6回 社会におけるデータの取り扱い - 個々人の注意 - (担当: 山元 翔) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 第6回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間: 60分

復習内容: KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間: 120分

- ・情報の信頼性の判断, デマ・流言, メディアリテラシー
- ・社会としての危機管理: システムダウンによる影響範囲の把握と対応
- ・ELSI (Ethical, Legal and Social Issues)
- ・データ・AI活用における負の事例紹介
- ・データ倫理: データのねつ造, 改ざん, 盗用, プライバシー保護
- ・AI社会原則 (公平性, 説明責任, 透明性, 人間中心の判断)
- ・データバイアス, アルゴリズムバイアス
- ・AIサービスの責任論

第7回 社会におけるデータの取り扱い - 社会全体の注意 - (担当: 山元 翔) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 第7回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間: 60分

復習内容: KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間: 120分

- ・知的財産権: 著作権と産業財産権, 著作権, 創作とライセンス表示, 国際化 (ベルヌ条約)
- ・肖像権・パブリシティ権
- ・個人情報保護: 個人情報 (個人識別符号の説明を含む), 匿名加工情報, 自己情報コントロール権, OECD プライバシーガイドライン, EU 法 (保護規則) と忘れられる権利, オプトアウト

第8回 データを守る上での留意事項 (担当: 山元 翔) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 第8回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間: 60分

復習内容: KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間: 120分

- ・情報セキュリティ: 機密性, 完全性, 可用性
- ・匿名加工情報, 暗号化, パスワード, 悪意ある情報搾取
- ・情報漏洩等によるセキュリティ事故の事例紹介

第9回 AI・データ利活用の基礎知識 (テスト課題) (担当: 山元 翔) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 第1回から第8回までの授業内容を復習し, 未提出のKBマップ課題があればすべて完成して提出しておくこと。

予習時間: 120分

復習内容: 理解が不十分だった学習項目について確認しておくこと。

復習時間: 90分

これまでの内容を踏まえて、今後DSの考え方にに基づきAIを利活用する上での基礎知識が身についたかを確認するテストを実施する。

第10回 データを集める（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：Excel、Googleスプレッドシートの基本操作を確認しておくこと。第10回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：第10回の授業内容に関するグループディスカッションに参加すること（グループディスカッション用事前課題・事後課題あり）。

復習時間：180分

- ・データの種類（量的変数、質的変数）
- ・母集団と標本抽出（国勢調査、アンケート調査、全数調査、単純無作為抽出、層別抽出、多段抽出）
- ・観測データに含まれる誤差の扱い
- ・打ち切りや脱落を含むデータ

第11回 データを扱う（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第11回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データ解析ツール（スプレッドシート）
- ・表形式のデータ（CSV）

第12回 データを操る（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第12回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データの集計（和）
- ・データの並び替え、ランキング

第13回 データを見る（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第13回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データ表現（棒グラフ、折線グラフ、散布図、ヒートマップ）
- ・データの図表表現（チャート化）
- ・不適切なグラフ表現（チャートジャンク、不必要な視覚的要素）
- ・統計情報の正しい理解（誇張表現に惑わされない）
- ・優れた可視化事例の紹介（可視化することによって新たな気づきがあった事例など）

第14回 データを読む（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第14回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データの分布(ヒストグラム)
- ・層別の必要なデータ
- ・代表値（平均値、中央値、最頻値）
- ・代表値の性質の違い（実社会では平均値＝最頻値でないことが多い）
- ・データのばらつき（分散、標準偏差、偏差値）
- ・データの集計（平均）

第15回 データを読み解く（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第15回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・相関と因果（相関係数、擬似相関、交絡）
- ・クロス集計表、分割表、相関係数行列、散布図行列
- ・データの比較（条件をそろえた比較、処理の前後での比較、A/Bテスト）

- ホームページ
- 実践的な教育内容

-

科目名 :	データリテラシー入門【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Introduction to Data Literacy				
担当者 :	福田 健太郎				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	前期
科目区分 :	(通信) メディア科目				
備 考 :					

■ 授業概要

本科目では、来るデータ駆動型社会に向けて進展が期待されているDS（Data Science, データ科学）とAI（Artificial Intelligence, 人工知能）に関する基礎的な知識と技能を修得するための授業を実施する。授業では、まず、DSやAIの現状について紹介する。次に、それらを活用するために理解しておくべき概念や方法について説明する。そして、データを適正に利用するために留意すべき点について説明する。最後に、データの取り扱いについて説明するとともに、実際にツールを使った演習を行う。本科目の授業資料は、担当教員とは別の教員が作成している。各回のタイトル欄に作成者を記載する。

【履修の前提条件】

本科目の履修には、下記のスキルが必要となる。パソコン操作に不慣れな学生は、他の基礎科目で十分なスキルを獲得した上で履修すること。オンデマンド授業のためPC操作のサポートは受けられない。

- ・ファイル名の変更・アップロード・ダウンロードがスムーズに行える。
- ・ファイルの拡張子について熟知している。
- ・圧縮ファイルを適切に解凍できる。
- ・表計算（Excel・Googleスプレッドシート）で関数を挿入できる。
- ・表計算（Excel・Googleスプレッドシート）でシート操作ができる。

【諸注意】

- ・授業の出席方法等のルールは、必ずKICSオンデマンド授業マニュアルを確認すること。
- ・指定された期日までに授業動画を視聴し、かつ確認テストに満点合格すること。授業動画の視聴と確認テストを満点合格することなく、別途出題される課題を提出あるいはテストを実施した場合は、その回の課題あるいはテストの点数は0点とする。
- ・各授業の課題提出期限はGoogleClassroomで指示する。
- ・出席数、欠席数、欠席届の有無は成績評価（不受を含む）には反映しない。ただし、成績評価は、授業への出席（動画視聴期限までの学習）を前提とした課題提出によって行うため授業への出席は必須である。
- ・第1回、第3回から第9回までの授業で「KBマップ」というアプリを使用する。GoogleClassroomで指示された資料で利用方法を確認し、開講後1週間以内にログインできることを確認すること。
- ・第2回と第10回の授業の復習として、Zoomによる他学部と合同のオンラインディスカッションの機会を提供する。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

本科目の到達目標は次のとおりである。

- [1] DSやAIの現状、概念、方法について必要事項を知っている。
- [2] データの取り扱いについて必要事項を知っている。
- [3] データの留意点について必要事項を知っている。

本科目の修得は、本学が定めるディプロマポリシー3の達成に関与している。

■ 成績評価方法および基準

KBマップ課題（第1回、第3回～第8回） 30%

KBマップ課題+テスト（第9回） 20%
練習課題+演習課題（第10回-第15回） 40%
グループディスカッション（第2回授業時間外、第10回授業時間外） 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

第1回、第3回～第9回課題はKBマップのフィードバック機能によりフィードバックする。
第11回～第15回課題は、誤りが多かった事項について授業期間終了後にGoogleClassroomにコメントを掲載する。
グループディスカッションは、課題として提出されたアンケート内容を取りまとめたレポートを開示する。

■ 教科書

教科書はなし。適宜授業資料を配布する。

■ 参考文献

[ISBN]9784065238097 『教養としてのデータサイエンス (データサイエンス入門シリーズ)』 (北川 源四郎, 講談社 : 2021)

■ 関連科目

各学部のデータサイエンスあるいはAIを取り扱った科目

■ 授業評価アンケート実施方法

学部の定めるとおり実施する。

■ 研究室・メールアドレス

nttls_21@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

別途Zoomによる質問対応時間を設ける（詳細はGoogleClassroomに掲示）。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 データ駆動型社会（担当：山元 翔）（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業計画、KICSオンデマンド受講案内、GoogleClassroomの資料をすべて読み込むこと。

予習時間：90分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・IoT、ビッグデータ、AI、ロボット、仮想現実（VR）、拡張現実（AR）
- ・第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会
- ・現代社会におけるデータ科学（DS）と人工知能（AI）への期待と課題
- ・人間の知的活動とAIの関係性
- ・データ・AI活用領域の広がり(生産、消費、文化活動など)
- ・今のAIで出来ることと出来ないこと、AIとビッグデータ
- ・自動化技術
- ・研究開発、調達、製造、物流、販売、マーケティング、サービスなど

第2回 DS・AI活用社会（担当：山元 翔）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第1回授業の内容、難易度を踏まえ、受講計画を作成すること（毎週同じ時間帯に学習時間を確保することを推奨する）。

予習時間：60分

復習内容：第2回の授業内容に関係するグループディスカッションに参加すること（グループディスカッション用事前課題、事後課題あり）。

復習時間：180分

- ・流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等におけるデータ・AI活用事例紹介
- ・仮説検証、知識発見、原因究明、計画策定、判断支援、活動代替、新規生成など

第3回 DS・AI利活用（担当：山元 翔）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第3回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・AI等を活用した新しいビジネスモデル
- ・AI最新技術の活用例
- ・人工知能、データ科学のビジネス機会
- ・人工知能、データ科学の社会的課題
- ・データを起点としたものの見方、人間の知的活動を起点としたものの見方

第4回 様々なデータ表現 (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第4回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・2進数, 16進数
- ・数値, 文字, 画像, 音声
- ・1次データ, 2次データ, メタデータ, アノテーション
- ・構造化データ, 非構造化データ
- ・非構造化データ処理：言語処理, 画像/動画処理, 音声/音楽処理など
- ・オープンデータ

第5回 データの利活用と注意 (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第5回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・データサイエンスのサイクル
- ・個人の不健全な状況の回避：ネット依存症, ゲーム中毒, テクノストレス等
- ・被害者・加害者にならないための知識, なったときの対応, 誹謗中傷・炎上, ネットいじめ
- ・適切な対象が適切に情報を取得できること：情報格差, アクセシビリティ
- ・プライバシー

第6回 社会におけるデータの取り扱い - 個々人の注意 - (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第6回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：120分

- ・情報の信頼性の判断, デマ・流言, メディアリテラシー
- ・社会としての危機管理：システムダウンによる影響範囲の把握と対応
- ・ELSI (Ethical, Legal and Social Issues)
- ・データ・AI活用における負の事例紹介
- ・データ倫理：データのねつ造, 改ざん, 盗用, プライバシー保護
- ・AI社会原則 (公平性, 説明責任, 透明性, 人間中心の判断)
- ・データバイアス, アルゴリズムバイアス
- ・AIサービスの責任論

第7回 社会におけるデータの取り扱い - 社会全体の注意 - (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第7回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：120分

- ・知的財産権：著作権と産業財産権, 著作権, 創作とライセンス表示, 国際化 (ベルヌ条約)
- ・肖像権・パブリシティ権
- ・個人情報保護：個人情報 (個人識別符号の説明を含む), 匿名加工情報, 自己情報コントロール権, OECD プライバシーガイドライン, EU 法 (保護規則) と忘れられる権利, オプトアウト

第8回 データを守る上での留意事項 (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第8回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：120分

- ・情報セキュリティ：機密性, 完全性, 可用性
- ・匿名加工情報, 暗号化, パスワード, 悪意ある情報搾取
- ・情報漏洩等によるセキュリティ事故の事例紹介

第9回 AI・データ利活用の基礎知識 (テスト課題) (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第1回から第8回までの授業内容を復習し, 未提出のKBマップ課題があればすべて完成して提出しておくこと。

予習時間：120分

復習内容：理解が不十分だった学習項目について確認しておくこと。

復習時間：90分

これまでの内容を踏まえて、今後DSの考え方にに基づきAIを利活用する上での基礎知識が身についたかを確認するテストを実施する。

第10回 データを集める（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：Excel、Googleスプレッドシートの基本操作を確認しておくこと。第10回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：第10回の授業内容に関係するグループディスカッションに参加すること（グループディスカッション用事前課題・事後課題あり）。

復習時間：180分

- ・データの種類（量的変数、質的変数）
- ・母集団と標本抽出（国勢調査、アンケート調査、全数調査、単純無作為抽出、層別抽出、多段抽出）
- ・観測データに含まれる誤差の扱い
- ・打ち切りや脱落を含むデータ

第11回 データを扱う（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第11回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データ解析ツール（スプレッドシート）
- ・表形式のデータ（CSV）

第12回 データを操る（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第12回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データの集計（和）
- ・データの並び替え、ランキング

第13回 データを見る（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第13回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データ表現（棒グラフ、折線グラフ、散布図、ヒートマップ）
- ・データの図表表現（チャート化）
- ・不適切なグラフ表現（チャートジャンク、不必要な視覚的要素）
- ・統計情報の正しい理解（誇張表現に惑わされない）
- ・優れた可視化事例の紹介（可視化することによって新たな気づきがあった事例など）

第14回 データを読む（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第14回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データの分布(ヒストグラム)
- ・層別の必要なデータ
- ・代表値（平均値、中央値、最頻値）
- ・代表値の性質の違い（実社会では平均値＝最頻値でないことが多い）
- ・データのばらつき（分散、標準偏差、偏差値）
- ・データの集計（平均）

第15回 データを読み解く（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第15回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・相関と因果（相関係数、擬似相関、交絡）
- ・クロス集計表、分割表、相関係数行列、散布図行列
- ・データの比較（条件をそろえた比較、処理の前後での比較、A/Bテスト）

- ホームページ
- 実践的な教育内容

科目名 :	データリテラシー入門【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Introduction to Data Literacy				
担当者 :	福田 健太郎				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	(通信) メディア科目				
備 考 :					

■ 授業概要

本科目では、来るデータ駆動型社会に向けて進展が期待されているDS（Data Science, データ科学）とAI（Artificial Intelligence, 人工知能）に関する基礎的な知識と技能を修得するための授業を実施する。授業では、まず、DSやAIの現状について紹介する。次に、それらを活用するために理解しておくべき概念や方法について説明する。そして、データを適正に利用するために留意すべき点について説明する。最後に、データの取り扱いについて説明するとともに、実際にツールを使った演習を行う。本科目の授業資料は、担当教員とは別の教員が作成している。各回のタイトル欄に作成者を記載する。

【履修の前提条件】

本科目の履修には、下記のスキルが必要となる。パソコン操作に不慣れな学生は、他の基礎科目で十分なスキルを獲得した上で履修すること。オンデマンド授業のためPC操作のサポートは受けられない。

- ・ファイル名の変更・アップロード・ダウンロードがスムーズに行える。
- ・ファイルの拡張子について熟知している。
- ・圧縮ファイルを適切に解凍できる。
- ・表計算（Excel・Googleスプレッドシート）で関数を挿入できる。
- ・表計算（Excel・Googleスプレッドシート）でシート操作ができる。

【諸注意】

- ・授業の出席方法等のルールは、必ずKICSオンデマンド授業マニュアルを確認すること。
- ・指定された期日までに授業動画を視聴し、かつ確認テストに満点合格すること。授業動画の視聴と確認テストを満点合格することなく、別途出題される課題を提出あるいはテストを実施した場合は、その回の課題あるいはテストの点数は0点とする。
- ・各授業の課題提出期限はGoogleClassroomで指示する。
- ・出席数、欠席数、欠席届の有無は成績評価（不受を含む）には反映しない。ただし、成績評価は、授業への出席（動画視聴期限までの学習）を前提とした課題提出によって行うため授業への出席は必須である。
- ・第1回、第3回から第9回までの授業で「KBマップ」というアプリを使用する。GoogleClassroomで指示された資料で利用方法を確認し、開講後1週間以内にログインできることを確認すること。
- ・第2回と第10回の授業の復習として、Zoomによる他学部と合同のオンラインディスカッションの機会を提供する。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

本科目の到達目標は次のとおりである。

- [1] DSやAIの現状、概念、方法について必要事項を知っている。
- [2] データの取り扱いについて必要事項を知っている。
- [3] データの留意点について必要事項を知っている。

本科目の修得は、本学が定めるディプロマポリシー3の達成に関与している。

■ 成績評価方法および基準

KBマップ課題（第1回、第3回～第8回） 30%

KBマップ課題+テスト（第9回） 20%
練習課題+演習課題（第10回-第15回） 40%
グループディスカッション（第2回授業時間外、第10回授業時間外） 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

第1回、第3回～第9回課題はKBマップのフィードバック機能によりフィードバックする。
第11回～第15回課題は、誤りが多かった事項について授業期間終了後にGoogleClassroomにコメントを掲載する。
グループディスカッションは、課題として提出されたアンケート内容を取りまとめたレポートを開示する。

■ 教科書

教科書はなし。適宜授業資料を配布する。

■ 参考文献

[ISBN]9784065238097 『教養としてのデータサイエンス (データサイエンス入門シリーズ)』 (北川 源四郎, 講談社 : 2021)

■ 関連科目

各学部のデータサイエンスあるいはAIを取り扱った科目

■ 授業評価アンケート実施方法

学部の定めるとおり実施する。

■ 研究室・メールアドレス

nttls_21@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

別途Zoomによる質問対応時間を設ける（詳細はGoogleClassroomに掲示）。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 データ駆動型社会（担当：山元 翔）（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業計画、KICSオンデマンド受講案内、GoogleClassroomの資料をすべて読み込むこと。

予習時間：90分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・IoT、ビッグデータ、AI、ロボット、仮想現実（VR）、拡張現実（AR）
- ・第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会
- ・現代社会におけるデータ科学（DS）と人工知能（AI）への期待と課題
- ・人間の知的活動とAIの関係性
- ・データ・AI活用領域の広がり(生産、消費、文化活動など)
- ・今のAIで出来ることと出来ないこと、AIとビッグデータ
- ・自動化技術
- ・研究開発、調達、製造、物流、販売、マーケティング、サービスなど

第2回 DS・AI活用社会（担当：山元 翔）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第1回授業の内容、難易度を踏まえ、受講計画を作成すること（毎週同じ時間帯に学習時間を確保することを推奨する）。

予習時間：60分

復習内容：第2回の授業内容に関係するグループディスカッションに参加すること（グループディスカッション用事前課題、事後課題あり）。

復習時間：180分

- ・流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等におけるデータ・AI活用事例紹介
- ・仮説検証、知識発見、原因究明、計画策定、判断支援、活動代替、新規生成など

第3回 DS・AI利活用（担当：山元 翔）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第3回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・AI等を活用した新しいビジネスモデル
- ・AI最新技術の活用例
- ・人工知能、データ科学のビジネス機会
- ・人工知能、データ科学の社会的課題
- ・データを起点としたものの見方、人間の知的活動を起点としたものの見方

第4回 様々なデータ表現 (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第4回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・2進数, 16進数
- ・数値, 文字, 画像, 音声
- ・1次データ, 2次データ, メタデータ, アノテーション
- ・構造化データ, 非構造化データ
- ・非構造化データ処理：言語処理, 画像/動画処理, 音声/音楽処理など
- ・オープンデータ

第5回 データの利活用と注意 (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第5回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・データサイエンスのサイクル
- ・個人の不健全な状況の回避：ネット依存症, ゲーム中毒, テクノストレス等
- ・被害者・加害者にならないための知識, なったときの対応, 誹謗中傷・炎上, ネットいじめ
- ・適切な対象が適切に情報を取得できること：情報格差, アクセシビリティ
- ・プライバシー

第6回 社会におけるデータの取り扱い - 個々人の注意 - (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第6回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：120分

- ・情報の信頼性の判断, デマ・流言, メディアリテラシー
- ・社会としての危機管理：システムダウンによる影響範囲の把握と対応
- ・ELSI (Ethical, Legal and Social Issues)
- ・データ・AI活用における負の事例紹介
- ・データ倫理：データのねつ造, 改ざん, 盗用, プライバシー保護
- ・AI社会原則 (公平性, 説明責任, 透明性, 人間中心の判断)
- ・データバイアス, アルゴリズムバイアス
- ・AIサービスの責任論

第7回 社会におけるデータの取り扱い - 社会全体の注意 - (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第7回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：120分

- ・知的財産権：著作権と産業財産権, 著作権, 創作とライセンス表示, 国際化 (ベルヌ条約)
- ・肖像権・パブリシティ権
- ・個人情報保護：個人情報 (個人識別符号の説明を含む), 匿名加工情報, 自己情報コントロール権, OECD プライバシーガイドライン, EU 法 (保護規則) と忘れられる権利, オプトアウト

第8回 データを守る上での留意事項 (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第8回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：120分

- ・情報セキュリティ：機密性, 完全性, 可用性
- ・匿名加工情報, 暗号化, パスワード, 悪意ある情報搾取
- ・情報漏洩等によるセキュリティ事故の事例紹介

第9回 AI・データ利活用の基礎知識 (テスト課題) (担当：山元 翔) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第1回から第8回までの授業内容を復習し, 未提出のKBマップ課題があればすべて完成して提出しておくこと。

予習時間：120分

復習内容：理解が不十分だった学習項目について確認しておくこと。

復習時間：90分

これまでの内容を踏まえて、今後DSの考え方にに基づきAIを利活用する上での基礎知識が身についたかを確認するテストを実施する。

第10回 データを集める（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：Excel、Googleスプレッドシートの基本操作を確認しておくこと。第10回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：第10回の授業内容に関係するグループディスカッションに参加すること（グループディスカッション用事前課題・事後課題あり）。

復習時間：180分

- ・データの種類（量的変数、質的変数）
- ・母集団と標本抽出（国勢調査、アンケート調査、全数調査、単純無作為抽出、層別抽出、多段抽出）
- ・観測データに含まれる誤差の扱い
- ・打ち切りや脱落を含むデータ

第11回 データを扱う（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第11回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データ解析ツール（スプレッドシート）
- ・表形式のデータ（CSV）

第12回 データを操る（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第12回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データの集計（和）
- ・データの並び替え、ランキング

第13回 データを見る（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第13回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データ表現（棒グラフ、折線グラフ、散布図、ヒートマップ）
- ・データの図表表現（チャート化）
- ・不適切なグラフ表現（チャートジャンク、不必要な視覚的要素）
- ・統計情報の正しい理解（誇張表現に惑わされない）
- ・優れた可視化事例の紹介（可視化することによって新たな気づきがあった事例など）

第14回 データを読む（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第14回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データの分布(ヒストグラム)
- ・層別の必要なデータ
- ・代表値（平均値、中央値、最頻値）
- ・代表値の性質の違い（実社会では平均値＝最頻値でないことが多い）
- ・データのばらつき（分散、標準偏差、偏差値）
- ・データの集計（平均）

第15回 データを読み解く（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第15回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・相関と因果（相関係数、擬似相関、交絡）
- ・クロス集計表、分割表、相関係数行列、散布図行列
- ・データの比較（条件をそろえた比較、処理の前後での比較、A/Bテスト）

- ホームページ
- 実践的な教育内容

-

科目名	データリテラシー入門【KICSオンデマンド科目】				
英文名	Introduction to Data Literacy				
担当者	森本 健志				
開講学科	共通教養科目				
単 位	2単位	開講年次		開講期	前期
科目区分	共通教養科目				
備 考	電気電子通信工学科：学習・教育到達目標B3の達成に付随的に関与、 応用化学科：学修・教育目標（H）に付随的に関与、 社会環境工学科：ディプロマポリシーの(C)に主体的に関与				

■ 授業概要

本科目では、来るデータ駆動型社会に向けて進展が期待されているDS（Data Science, データ科学）とAI（Artificial Intelligence, 人工知能）に関する基礎的な知識と技能を修得するための授業を実施する。授業では、まず、DSやAIの現状について紹介する。次に、それらを活用するために理解しておくべき概念や方法について説明する。そして、データを適正に利用するために留意すべき点について説明する。最後に、データの取り扱いについて説明するとともに、実際にツールを使った演習を行う。本科目の授業資料は、担当教員とは別の教員が作成している。各回のタイトル欄に作成者を記載する。

【履修の前提条件】

本科目の履修には、下記のスキルが必要となる。パソコン操作に不慣れな学生は、他の基礎科目で十分なスキルを獲得した上で履修すること。オンデマンド授業のためPC操作のサポートは受けられない。

- ・ファイル名の変更・アップロード・ダウンロードがスムーズに行える。
- ・ファイルの拡張子について熟知している。
- ・圧縮ファイルを適切に解凍できる。
- ・表計算（Excel・Googleスプレッドシート）で関数を挿入できる。
- ・表計算（Excel・Googleスプレッドシート）でシート操作ができる。

【諸注意】

- ・授業の出席方法等のルールは、必ずKICSオンデマンド授業マニュアルを確認すること。
- ・指定された期日までに授業動画を視聴し、かつ確認テストに満点合格すること。授業動画の視聴と確認テストを満点合格することなく、別途出題される課題を提出あるいはテストを実施した場合は、その回の課題あるいはテストの点数は0点とする。
- ・各授業の課題提出期限はGoogleClassroomで指示する。
- ・出席数、欠席数、欠席届の有無は成績評価（不受を含む）には反映しない。ただし、成績評価は、授業への出席（動画視聴期限までの学習）を前提とした課題提出によって行うため授業への出席は必須である。
- ・第1回、第3回から第9回までの授業で「KBマップ」というアプリを使用する。GoogleClassroomで指示された資料で利用方法を確認し、開講後1週間以内にログインできることを確認すること。
- ・第2回と第10回の授業の復習として、Zoomによる他学部と合同のオンラインディスカッションの機会を提供する。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

本科目の到達目標は次のとおりである。

- [1] DSやAIの現状、概念、方法について必要事項を知っている。
- [2] データの取り扱いについて必要事項を知っている。
- [3] データの留意点について必要事項を知っている。

本科目の修得は、本学が定めるディプロマポリシー3の達成に関与している。

■ 成績評価方法および基準

- KBマップ課題（第1回、第3回～第8回） 30%
- KBマップ課題+テスト（第9回） 20%
- 練習課題+演習課題（第10回～第15回） 40%
- グループディスカッション（第2回授業時間外、第10回授業時間外） 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

- 第1回、第3回～第9回課題はKBマップのフィードバック機能によりフィードバックする。
- 第11回～第15回課題は、誤りが多かった事項について授業期間終了後にGoogleClassroomにコメントを掲載する。
- グループディスカッションは、課題として提出されたアンケート内容を取りまとめたレポートを開示する。

■ 教科書

- 教科書はなし。適宜授業資料を配布する。

■ 参考文献

- [ISBN]9784065238097 『教養としてのデータサイエンス (データサイエンス入門シリーズ)』 (北川 源四郎, 講談社 : 2021)

■ 関連科目

- 各学部のデータサイエンスあるいはAIを取り扱った科目

■ 授業評価アンケート実施方法

- 学部の定めるとおり実施する。

■ 研究室・メールアドレス

- nttls_21@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

- 別途Zoomによる質問対応時間を設ける（詳細はGoogleClassroomに掲示）。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 データ駆動型社会（担当：山元 翔）（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業計画、KICSオンデマンド受講案内、GoogleClassroomの資料をすべて読み込むこと。

予習時間：90分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・IoT、ビッグデータ、AI、ロボット、仮想現実（VR）、拡張現実（AR）
- ・第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会
- ・現代社会におけるデータ科学（DS）と人工知能（AI）への期待と課題
- ・人間の知的活動とAIの関係性
- ・データ・AI活用領域の広がり(生産、消費、文化活動など)
- ・今のAIで出来ることと出来ないこと、AIとビッグデータ
- ・自動化技術
- ・研究開発、調達、製造、物流、販売、マーケティング、サービスなど

第2回 DS・AI活用社会（担当：山元 翔）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第1回授業の内容、難易度を踏まえ、受講計画を作成すること（毎週同じ時間帯に学習時間を確保することを推奨する）。

予習時間：60分

復習内容：第2回の授業内容に関係するグループディスカッションに参加すること（グループディスカッション用事前課題、事後課題あり）。

復習時間：180分

- ・流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等におけるデータ・AI利活用事例紹介
- ・仮説検証、知識発見、原因究明、計画策定、判断支援、活動代替、新規生成など

第3回 DS・AI利活用（担当：山元 翔）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第3回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・AI等を活用した新しいビジネスモデル
- ・AI最新技術の活用例

- ・人工知能、データ科学のビジネス機会
- ・人工知能、データ科学の社会的課題
- ・データを起点としたものの見方、人間の知的活動を起点としたものの見方

第4回 様々なデータ表現 (担当: 山元 翔) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 第4回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間: 60分

復習内容: KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間: 180分

- ・2進数, 16進数
- ・数値, 文字, 画像, 音声
- ・1次データ, 2次データ, メタデータ, アノテーション
- ・構造化データ, 非構造化データ
- ・非構造化データ処理: 言語処理, 画像/動画処理, 音声/音楽処理など
- ・オープンデータ

第5回 データの利活用と注意 (担当: 山元 翔) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 第5回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間: 60分

復習内容: KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間: 180分

- ・データサイエンスのサイクル
- ・個人の不健全な状況の回避: ネット依存症, ゲーム中毒, テクノストレス等
- ・被害者・加害者にならないための知識, なったときの対応, 誹謗中傷・炎上, ネットいじめ
- ・適切な対象が適切に情報を取得できること: 情報格差, アクセシビリティ
- ・プライバシー

第6回 社会におけるデータの取り扱い - 個々人の注意 - (担当: 山元 翔) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 第6回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間: 60分

復習内容: KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間: 120分

- ・情報の信頼性の判断, デマ・流言, メディアリテラシー
- ・社会としての危機管理: システムダウンによる影響範囲の把握と対応
- ・ELSI (Ethical, Legal and Social Issues)
- ・データ・AI活用における負の事例紹介
- ・データ倫理: データのねつ造, 改ざん, 盗用, プライバシー保護
- ・AI社会原則 (公平性, 説明責任, 透明性, 人間中心の判断)
- ・データバイアス, アルゴリズムバイアス
- ・AIサービスの責任論

第7回 社会におけるデータの取り扱い - 社会全体の注意 - (担当: 山元 翔) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 第7回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間: 60分

復習内容: KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間: 120分

- ・知的財産権: 著作権と産業財産権, 著作権, 創作とライセンス表示, 国際化 (ベルヌ条約)
- ・肖像権・パブリシティ権
- ・個人情報保護: 個人情報 (個人識別符号の説明を含む), 匿名加工情報, 自己情報コントロール権, OECD プライバシーガイドライン, EU 法 (保護規則) と忘れられる権利, オプトアウト

第8回 データを守る上での留意事項 (担当: 山元 翔) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 第8回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間: 60分

復習内容: KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間: 120分

- ・情報セキュリティ: 機密性, 完全性, 可用性
- ・匿名加工情報, 暗号化, パスワード, 悪意ある情報搾取
- ・情報漏洩等によるセキュリティ事故の事例紹介

第9回 AI・データ利活用の基礎知識 (テスト課題) (担当: 山元 翔) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 第1回から第8回までの授業内容を復習し, 未提出のKBマップ課題があればすべて完成して提出しておくこと。

予習時間：120分

復習内容：理解が不十分だった学習項目について確認しておくこと。

復習時間：90分

これまでの内容を踏まえて、今後DSの考え方にに基づきAIを利活用する上での基礎知識が身についたかを確認するテストを実施する。

第10回 データを集める（担当：溝淵 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：Excel、Googleスプレッドシートの基本操作を確認しておくこと。第10回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：第10回の授業内容に関するグループディスカッションに参加すること（グループディスカッション用事前課題・事後課題あり）。

復習時間：180分

- ・データの種類（量的変数、質的変数）
- ・母集団と標本抽出（国勢調査、アンケート調査、全数調査、単純無作為抽出、層別抽出、多段抽出）
- ・観測データに含まれる誤差の扱い
- ・打ち切りや脱落を含むデータ

第11回 データを扱う（担当：溝淵 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第11回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データ解析ツール（スプレッドシート）
- ・表形式のデータ（CSV）

第12回 データを操る（担当：溝淵 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第12回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データの集計（和）
- ・データの並び替え、ランキング

第13回 データを見る（担当：溝淵 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第13回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データ表現（棒グラフ、折線グラフ、散布図、ヒートマップ）
- ・データの図表表現（チャート化）
- ・不適切なグラフ表現（チャートジャンク、不必要な視覚的要素）
- ・統計情報の正しい理解（誇張表現に惑わされない）
- ・優れた可視化事例の紹介（可視化することによって新たな気づきがあった事例など）

第14回 データを読む（担当：溝淵 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第14回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データの分布（ヒストグラム）
- ・層別の必要なデータ
- ・代表値（平均値、中央値、最頻値）
- ・代表値の性質の違い（実社会では平均値＝最頻値でないことが多い）
- ・データのばらつき（分散、標準偏差、偏差値）
- ・データの集計（平均）

第15回 データを読み解く（担当：溝淵 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第15回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・相関と因果（相関係数、擬似相関、交絡）
- ・クロス集計表、分割表、相関係数行列、散布図行列
- ・データの比較（条件をそろえた比較、処理の前後での比較、A/Bテスト）

■ ホームページ

■ 実践的な教育内容

-

科目名 :	データリテラシー入門【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Introduction to Data Literacy				
担当者 :	佐野 こそえ				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	開講年次 :	開講期 :	必修選択の別 :		
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

本科目では、来るデータ駆動型社会に向けて進展が期待されているDS（Data Science, データ科学）とAI（Artificial Intelligence, 人工知能）に関する基礎的な知識と技能を修得するための授業を実施する。授業では、まず、DSやAIの現状について紹介する。次に、それらを活用するために理解しておくべき概念や方法について説明する。そして、データを適正に利用するために留意すべき点について説明する。最後に、データの取り扱いについて説明するとともに、実際にツールを使った演習を行う。本科目の授業資料は、担当教員とは別の教員が作成している。各回のタイトル欄に作成者を記載する。

【履修の前提条件】

本科目の履修には、下記のスキルが必要となる。パソコン操作に不慣れな学生は、他の基礎科目で十分なスキルを獲得した上で履修すること。オンデマンド授業のためPC操作のサポートは受けられない。

- ・ファイル名の変更・アップロード・ダウンロードがスムーズに行える。
- ・ファイルの拡張子について熟知している。
- ・圧縮ファイルを適切に解凍できる。
- ・表計算（Excel・Googleスプレッドシート）で関数を挿入できる。
- ・表計算（Excel・Googleスプレッドシート）でシート操作ができる。

【諸注意】

- ・授業の出席方法等のルールは、必ずKICSオンデマンド授業マニュアルを確認すること。
- ・指定された期日までに授業動画を視聴し、かつ確認テストに満点合格すること。授業動画の視聴と確認テストを満点合格することなく、別途出題される課題を提出あるいはテストを実施した場合は、その回の課題あるいはテストの点数は0点とする。
- ・各授業の課題提出期限はGoogleClassroomで指示する。
- ・出席数、欠席数、欠席届の有無は成績評価（不受を含む）には反映しない。ただし、成績評価は、授業への出席（動画視聴期限までの学習）を前提とした課題提出によって行うため授業への出席は必須である。
- ・第1回、第3回から第9回までの授業で「KBマップ」というアプリを使用する。GoogleClassroomで指示された資料で利用方法を確認し、開講後1週間以内にログインできることを確認すること。
- ・第2回と第10回の授業の復習として、Zoomによる他学部と合同のオンラインディスカッションの機会を提供する。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

本科目の到達目標は次のとおりである。

- [1] DSやAIの現状、概念、方法について必要事項を知っている。
- [2] データの取り扱いについて必要事項を知っている。
- [3] データの留意点について必要事項を知っている。

本科目の修得は、本学が定めるディプロマポリシー3の達成に関与している。

■ 成績評価方法および基準

KBマップ課題（第1回、第3回～第8回） 30%

KBマップ課題+テスト（第9回） 20%
練習課題+演習課題（第10回-第15回） 40%
グループディスカッション（第2回授業時間外、第10回授業時間外） 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

第1回、第3回～第9回課題はKBマップのフィードバック機能によりフィードバックする。
第11回～第15回課題は、誤りが多かった事項について授業期間終了後にGoogleClassroomにコメントを掲載する。
グループディスカッションは、課題として提出されたアンケート内容を取りまとめたレポートを開示する。

■ 教科書

教科書はなし。適宜授業資料を配布する。

■ 参考文献

[ISBN]9784065238097 『教養としてのデータサイエンス (データサイエンス入門シリーズ)』 (北川 源四郎, 講談社 : 2021)

■ 関連科目

各学部のデータサイエンスあるいはAIを取り扱った科目

■ 授業評価アンケート実施方法

学部の定めるとおり実施する。

■ 研究室・メールアドレス

nttts_21@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

別途Zoomによる質問対応時間を設ける（詳細はGoogleClassroomに掲示）。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 データ駆動型社会（担当：山元 翔）（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業計画、KICSオンデマンド受講案内、GoogleClassroomの資料をすべて読み込むこと。

予習時間：90分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・IoT、ビッグデータ、AI、ロボット、仮想現実（VR）、拡張現実（AR）
- ・第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会
- ・現代社会におけるデータ科学（DS）と人工知能（AI）への期待と課題
- ・人間の知的活動とAIの関係性
- ・データ・AI活用領域の広がり(生産、消費、文化活動など)
- ・今のAIで出来ることと出来ないこと、AIとビッグデータ
- ・自動化技術
- ・研究開発、調達、製造、物流、販売、マーケティング、サービスなど

第2回 DS・AI活用社会（担当：山元 翔）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第1回授業の内容、難易度を踏まえ、受講計画を作成すること（毎週同じ時間帯に学習時間を確保することを推奨する）。

予習時間：60分

復習内容：第2回の授業内容に関係するグループディスカッションに参加すること（グループディスカッション用事前課題、事後課題あり）。

復習時間：180分

- ・流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等におけるデータ・AI活用事例紹介
- ・仮説検証、知識発見、原因究明、計画策定、判断支援、活動代替、新規生成など

第3回 DS・AI利活用（担当：山元 翔）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第3回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・AI等を活用した新しいビジネスモデル
- ・AI最新技術の活用例
- ・人工知能、データ科学のビジネス機会
- ・人工知能、データ科学の社会的課題
- ・データを起点としたものの見方、人間の知的活動を起点としたものの見方

第4回 様々なデータ表現 (担当: 山元 翔) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 第4回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間: 60分

復習内容: KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間: 180分

- ・ 2進数, 16進数
- ・ 数値, 文字, 画像, 音声
- ・ 1次データ, 2次データ, メタデータ, アノテーション
- ・ 構造化データ, 非構造化データ
- ・ 非構造化データ処理: 言語処理, 画像/動画処理, 音声/音楽処理など
- ・ オープンデータ

第5回 データの利活用と注意 (担当: 山元 翔) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 第5回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間: 60分

復習内容: KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間: 180分

- ・ データサイエンスのサイクル
- ・ 個人の不健全な状況の回避: ネット依存症, ゲーム中毒, テクノストレス等
- ・ 被害者・加害者にならないための知識, なったときの対応, 誹謗中傷・炎上, ネットいじめ
- ・ 適切な対象が適切に情報を取得できること: 情報格差, アクセシビリティ
- ・ プライバシー

第6回 社会におけるデータの取り扱い - 個々人の注意 - (担当: 山元 翔) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 第6回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間: 60分

復習内容: KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間: 120分

- ・ 情報の信頼性の判断, デマ・流言, メディアリテラシー
- ・ 社会としての危機管理: システムダウンによる影響範囲の把握と対応
- ・ ELSI (Ethical, Legal and Social Issues)
- ・ データ・AI活用における負の事例紹介
- ・ データ倫理: データのねつ造, 改ざん, 盗用, プライバシー保護
- ・ AI社会原則 (公平性, 説明責任, 透明性, 人間中心の判断)
- ・ データバイアス, アルゴリズムバイアス
- ・ AIサービスの責任論

第7回 社会におけるデータの取り扱い - 社会全体の注意 - (担当: 山元 翔) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 第7回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間: 60分

復習内容: KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間: 120分

- ・ 知的財産権: 著作権と産業財産権, 著作権, 創作とライセンス表示, 国際化 (ベルヌ条約)
- ・ 肖像権・パブリシティ権
- ・ 個人情報保護: 個人情報 (個人識別符号の説明を含む), 匿名加工情報, 自己情報コントロール権, OECD プライバシーガイドライン, EU 法 (保護規則) と忘れられる権利, オプトアウト

第8回 データを守る上での留意事項 (担当: 山元 翔) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 第8回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間: 60分

復習内容: KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間: 120分

- ・ 情報セキュリティ: 機密性, 完全性, 可用性
- ・ 匿名加工情報, 暗号化, パスワード, 悪意ある情報搾取
- ・ 情報漏洩等によるセキュリティ事故の事例紹介

第9回 AI・データ利活用の基礎知識 (テスト課題) (担当: 山元 翔) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 第1回から第8回までの授業内容を復習し, 未提出のKBマップ課題があればすべて完成して提出しておくこと。

予習時間: 120分

復習内容: 理解が不十分だった学習項目について確認しておくこと。

復習時間: 90分

これまでの内容を踏まえて、今後DSの考え方にに基づきAIを活用する上での基礎知識が身についたかを確認するテストを実施する。

第10回 データを集める（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：Excel、Googleスプレッドシートの基本操作を確認しておくこと。第10回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：第10回の授業内容に関係するグループディスカッションに参加すること（グループディスカッション用事前課題・事後課題あり）。

復習時間：180分

- ・データの種類（量的変数、質的変数）
- ・母集団と標本抽出（国勢調査、アンケート調査、全数調査、単純無作為抽出、層別抽出、多段抽出）
- ・観測データに含まれる誤差の扱い
- ・打ち切りや脱落を含むデータ

第11回 データを扱う（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第11回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データ解析ツール（スプレッドシート）
- ・表形式のデータ（CSV）

第12回 データを操る（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第12回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データの集計（和）
- ・データの並び替え、ランキング

第13回 データを見る（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第13回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データ表現（棒グラフ、折線グラフ、散布図、ヒートマップ）
- ・データの図表表現（チャート化）
- ・不適切なグラフ表現（チャートジャンク、不必要な視覚的要素）
- ・統計情報の正しい理解（誇張表現に惑わされない）
- ・優れた可視化事例の紹介（可視化することによって新たな気づきがあった事例など）

第14回 データを読む（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第14回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データの分布(ヒストグラム)
- ・層別の必要なデータ
- ・代表値（平均値、中央値、最頻値）
- ・代表値の性質の違い（実社会では平均値＝最頻値でないことが多い）
- ・データのばらつき（分散、標準偏差、偏差値）
- ・データの集計（平均）

第15回 データを読み解く（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第15回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・相関と因果（相関係数、擬似相関、交絡）
- ・クロス集計表、分割表、相関係数行列、散布図行列
- ・データの比較（条件をそろえた比較、処理の前後での比較、A/Bテスト）

- ホームページ
- 実践的な教育内容

-

科目名 :	データリテラシー入門【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Introduction to Data Literacy				
担当者 :	鶴田 格				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	開講年次 :	開講期 :	必修選択の別 :		
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

本科目では、来るデータ駆動型社会に向けて進展が期待されているDS（Data Science, データ科学）とAI（Artificial Intelligence, 人工知能）に関する基礎的な知識と技能を修得するための授業を実施する。授業では、まず、DSやAIの現状について紹介する。次に、それらを活用するために理解しておくべき概念や方法について説明する。そして、データを適正に利用するために留意すべき点について説明する。最後に、データの取り扱いについて説明するとともに、実際にツールを使った演習を行う。本科目の授業資料は、担当教員とは別の教員が作成している。各回のタイトル欄に作成者を記載する。

【履修の前提条件】

本科目の履修には、下記のスキルが必要となる。パソコン操作に不慣れな学生は、他の基礎科目で十分なスキルを獲得した上で履修すること。オンデマンド授業のためPC操作のサポートは受けられない。

- ・ファイル名の変更・アップロード・ダウンロードがスムーズに行える。
- ・ファイルの拡張子について熟知している。
- ・圧縮ファイルを適切に解凍できる。
- ・表計算（Excel・Googleスプレッドシート）で関数を挿入できる。
- ・表計算（Excel・Googleスプレッドシート）でシート操作ができる。

【諸注意】

- ・授業の出席方法等のルールは、必ずKICSオンデマンド授業マニュアルを確認すること。
- ・指定された期日までに授業動画を視聴し、かつ確認テストに満点合格すること。授業動画の視聴と確認テストを満点合格することなく、別途出題される課題を提出あるいはテストを実施した場合は、その回の課題あるいはテストの点数は0点とする。
- ・各授業の課題提出期限はGoogleClassroomで指示する。
- ・出席数、欠席数、欠席届の有無は成績評価（不受を含む）には反映しない。ただし、成績評価は、授業への出席（動画視聴期限までの学習）を前提とした課題提出によって行うため授業への出席は必須である。
- ・第1回、第3回から第9回までの授業で「KBマップ」というアプリを使用する。GoogleClassroomで指示された資料で利用方法を確認し、開講後1週間以内にログインできることを確認すること。
- ・第2回と第10回の授業の復習として、Zoomによる他学部と合同のオンラインディスカッションの機会を提供する。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

本科目の到達目標は次のとおりである。

- [1] DSやAIの現状、概念、方法について必要事項を知っている。
- [2] データの取り扱いについて必要事項を知っている。
- [3] データの留意点について必要事項を知っている。

本科目の修得は、本学が定めるディプロマポリシー3の達成に関与している。

■ 成績評価方法および基準

KBマップ課題（第1回、第3回～第8回） 30%

KBマップ課題+テスト（第9回） 20%
練習課題+演習課題（第10回-第15回） 40%
グループディスカッション（第2回授業時間外、第10回授業時間外） 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

第1回、第3回～第9回課題はKBマップのフィードバック機能によりフィードバックする。
第11回～第15回課題は、誤りが多かった事項について授業期間終了後にGoogleClassroomにコメントを掲載する。
グループディスカッションは、課題として提出されたアンケート内容を取りまとめたレポートを開示する。

■ 教科書

教科書はなし。適宜授業資料を配布する。

■ 参考文献

[ISBN]9784065238097 『教養としてのデータサイエンス (データサイエンス入門シリーズ)』 (北川 源四郎, 講談社 : 2021)

■ 関連科目

各学部のデータサイエンスあるいはAIを取り扱った科目

■ 授業評価アンケート実施方法

学部の定めるとおり実施する。

■ 研究室・メールアドレス

nttls_21@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

別途Zoomによる質問対応時間を設ける（詳細はGoogleClassroomに掲示）。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 データ駆動型社会（担当：山元 翔）（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業計画、KICSオンデマンド受講案内、GoogleClassroomの資料をすべて読み込むこと。

予習時間：90分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・IoT、ビッグデータ、AI、ロボット、仮想現実（VR）、拡張現実（AR）
- ・第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会
- ・現代社会におけるデータ科学（DS）と人工知能（AI）への期待と課題
- ・人間の知的活動とAIの関係性
- ・データ・AI活用領域の広がり(生産、消費、文化活動など)
- ・今のAIで出来ることと出来ないこと、AIとビッグデータ
- ・自動化技術
- ・研究開発、調達、製造、物流、販売、マーケティング、サービスなど

第2回 DS・AI活用社会（担当：山元 翔）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第1回授業の内容、難易度を踏まえ、受講計画を作成すること（毎週同じ時間帯に学習時間を確保することを推奨する）。

予習時間：60分

復習内容：第2回の授業内容に関係するグループディスカッションに参加すること（グループディスカッション用事前課題、事後課題あり）。

復習時間：180分

- ・流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等におけるデータ・AI活用事例紹介
- ・仮説検証、知識発見、原因究明、計画策定、判断支援、活動代替、新規生成など

第3回 DS・AI利活用（担当：山元 翔）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第3回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・AI等を活用した新しいビジネスモデル
- ・AI最新技術の活用例
- ・人工知能、データ科学のビジネス機会
- ・人工知能、データ科学の社会的課題
- ・データを起点としたものの見方、人間の知的活動を起点としたものの見方

第4回 様々なデータ表現 (担当: 山元 翔) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 第4回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間: 60分

復習内容: KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間: 180分

- ・ 2進数, 16進数
- ・ 数値, 文字, 画像, 音声
- ・ 1次データ, 2次データ, メタデータ, アノテーション
- ・ 構造化データ, 非構造化データ
- ・ 非構造化データ処理: 言語処理, 画像/動画処理, 音声/音楽処理など
- ・ オープンデータ

第5回 データの利活用と注意 (担当: 山元 翔) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 第5回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間: 60分

復習内容: KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間: 180分

- ・ データサイエンスのサイクル
- ・ 個人の不健全な状況の回避: ネット依存症, ゲーム中毒, テクノストレス等
- ・ 被害者・加害者にならないための知識, なったときの対応, 誹謗中傷・炎上, ネットいじめ
- ・ 適切な対象が適切に情報を取得できること: 情報格差, アクセシビリティ
- ・ プライバシー

第6回 社会におけるデータの取り扱い - 個々人の注意 - (担当: 山元 翔) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 第6回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間: 60分

復習内容: KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間: 120分

- ・ 情報の信頼性の判断, デマ・流言, メディアリテラシー
- ・ 社会としての危機管理: システムダウンによる影響範囲の把握と対応
- ・ ELSI (Ethical, Legal and Social Issues)
- ・ データ・AI活用における負の事例紹介
- ・ データ倫理: データのねつ造, 改ざん, 盗用, プライバシー保護
- ・ AI社会原則 (公平性, 説明責任, 透明性, 人間中心の判断)
- ・ データバイアス, アルゴリズムバイアス
- ・ AIサービスの責任論

第7回 社会におけるデータの取り扱い - 社会全体の注意 - (担当: 山元 翔) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 第7回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間: 60分

復習内容: KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間: 120分

- ・ 知的財産権: 著作権と産業財産権, 著作権, 創作とライセンス表示, 国際化 (ベルヌ条約)
- ・ 肖像権・パブリシティ権
- ・ 個人情報保護: 個人情報 (個人識別符号の説明を含む), 匿名加工情報, 自己情報コントロール権, OECD プライバシーガイドライン, EU 法 (保護規則) と忘れられる権利, オプトアウト

第8回 データを守る上での留意事項 (担当: 山元 翔) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 第8回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間: 60分

復習内容: KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間: 120分

- ・ 情報セキュリティ: 機密性, 完全性, 可用性
- ・ 匿名加工情報, 暗号化, パスワード, 悪意ある情報搾取
- ・ 情報漏洩等によるセキュリティ事故の事例紹介

第9回 AI・データ利活用の基礎知識 (テスト課題) (担当: 山元 翔) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 第1回から第8回までの授業内容を復習し, 未提出のKBマップ課題があればすべて完成して提出しておくこと。

予習時間: 120分

復習内容: 理解が不十分だった学習項目について確認しておくこと。

復習時間: 90分

これまでの内容を踏まえて、今後DSの考え方にに基づきAIを利活用する上での基礎知識が身についたかを確認するテストを実施する。

第10回 データを集める (担当：溝渕 昭二) (授業形式：講義および演習)

予習内容：Excel、Googleスプレッドシートの基本操作を確認しておくこと。第10回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：第10回の授業内容に関するグループディスカッションに参加すること（グループディスカッション用事前課題・事後課題あり）。

復習時間：180分

- ・データの種類（量的変数、質的変数）
- ・母集団と標本抽出（国勢調査、アンケート調査、全数調査、単純無作為抽出、層別抽出、多段抽出）
- ・観測データに含まれる誤差の扱い
- ・打ち切りや脱落を含むデータ

第11回 データを扱う (担当：溝渕 昭二) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第11回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データ解析ツール（スプレッドシート）
- ・表形式のデータ（CSV）

第12回 データを操る (担当：溝渕 昭二) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第12回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データの集計（和）
- ・データの並び替え、ランキング

第13回 データを見る (担当：溝渕 昭二) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第13回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データ表現（棒グラフ、折線グラフ、散布図、ヒートマップ）
- ・データの図表表現（チャート化）
- ・不適切なグラフ表現（チャートジャンク、不必要な視覚的要素）
- ・統計情報の正しい理解（誇張表現に惑わされない）
- ・優れた可視化事例の紹介（可視化することによって新たな気づきがあった事例など）

第14回 データを読む (担当：溝渕 昭二) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第14回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データの分布(ヒストグラム)
- ・層別の必要なデータ
- ・代表値（平均値、中央値、最頻値）
- ・代表値の性質の違い（実社会では平均値＝最頻値でないことが多い）
- ・データのばらつき（分散、標準偏差、偏差値）
- ・データの集計（平均）

第15回 データを読み解く (担当：溝渕 昭二) (授業形式：講義および演習)

予習内容：第15回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・相関と因果（相関係数、擬似相関、交絡）
- ・クロス集計表、分割表、相関係数行列、散布図行列
- ・データの比較（条件をそろえた比較、処理の前後での比較、A/Bテスト）

- ホームページ
- 実践的な教育内容

-

科目名 :	データリテラシー入門【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Introduction to Data Literacy				
担当者 :	井田 泰人				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	開講年次 :	開講期 :	必修選択の別 :		
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

本科目では、来るデータ駆動型社会に向けて進展が期待されているDS（Data Science, データ科学）とAI（Artificial Intelligence, 人工知能）に関する基礎的な知識と技能を修得するための授業を実施する。授業では、まず、DSやAIの現状について紹介する。次に、それらを活用するために理解しておくべき概念や方法について説明する。そして、データを適切に利用するために留意すべき点について説明する。最後に、データの取り扱いについて説明するとともに、実際にツールを使った演習を行う。本科目の授業資料は、担当教員とは別の教員が作成している。各回のタイトル欄に作成者を記載する。

【履修の前提条件】

本科目の履修には、下記のスキルが必要となる。パソコン操作に不慣れな学生は、他の基礎科目で十分なスキルを獲得した上で履修すること。オンデマンド授業のためPC操作のサポートは受けられない。

- ・ファイル名の変更・アップロード・ダウンロードがスムーズに行える。
- ・ファイルの拡張子について熟知している。
- ・圧縮ファイルを適切に解凍できる。
- ・表計算（Excel・Googleスプレッドシート）で関数を挿入できる。
- ・表計算（Excel・Googleスプレッドシート）でシート操作ができる。

【諸注意】

- ・授業の出席方法等のルールは、必ずKICSオンデマンド授業マニュアルを確認すること。
- ・指定された期日までに授業動画を視聴し、かつ確認テストに満点合格すること。授業動画の視聴と確認テストを満点合格することなく、別途出題される課題を提出あるいはテストを実施した場合は、その回の課題あるいはテストの点数は0点とする。
- ・各授業の課題提出期限はGoogleClassroomで指示する。
- ・出席数、欠席数、欠席届の有無は成績評価（不受を含む）には反映しない。ただし、成績評価は、授業への出席（動画視聴期限までの学習）を前提とした課題提出によって行うため授業への出席は必須である。
- ・第1回、第3回から第9回までの授業で「KBマップ」というアプリを使用する。GoogleClassroomで指示された資料で利用方法を確認し、開講後1週間以内にログインできることを確認すること。
- ・第2回と第10回の授業の復習として、Zoomによる他学部と合同のオンラインディスカッションの機会を提供する。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

本科目の到達目標は次のとおりである。

- [1] DSやAIの現状、概念、方法について必要事項を知っている。
- [2] データの取り扱いについて必要事項を知っている。
- [3] データの留意点について必要事項を知っている。

本科目の修得は、本学が定めるディプロマポリシー3の達成に関与している。

■ 成績評価方法および基準

KBマップ課題（第1回、第3回～第8回） 30%

KBマップ課題+テスト（第9回） 20%
練習課題+演習課題（第10回-第15回） 40%
グループディスカッション（第2回授業時間外、第10回授業時間外） 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

第1回、第3回～第9回課題はKBマップのフィードバック機能によりフィードバックする。
第11回～第15回課題は、誤りが多かった事項について授業期間終了後にGoogleClassroomにコメントを掲載する。
グループディスカッションは、課題として提出されたアンケート内容を取りまとめたレポートを開示する。

■ 教科書

教科書はなし。適宜授業資料を配布する。

■ 参考文献

[ISBN]9784065238097 『教養としてのデータサイエンス (データサイエンス入門シリーズ)』 (北川 源四郎, 講談社 : 2021)

■ 関連科目

各学部のデータサイエンスあるいはAIを取り扱った科目

■ 授業評価アンケート実施方法

学部の定めるとおり実施する。

■ 研究室・メールアドレス

nttls_21@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

別途Zoomによる質問対応時間を設ける（詳細はGoogleClassroomに掲示）。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 データ駆動型社会（担当：山元 翔）（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業計画、KICSオンデマンド受講案内、GoogleClassroomの資料をすべて読み込むこと。

予習時間：90分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・IoT、ビッグデータ、AI、ロボット、仮想現実（VR）、拡張現実（AR）
- ・第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会
- ・現代社会におけるデータ科学（DS）と人工知能（AI）への期待と課題
- ・人間の知的活動とAIの関係性
- ・データ・AI活用領域の広がり(生産、消費、文化活動など)
- ・今のAIで出来ることと出来ないこと、AIとビッグデータ
- ・自動化技術
- ・研究開発、調達、製造、物流、販売、マーケティング、サービスなど

第2回 DS・AI活用社会（担当：山元 翔）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第1回授業の内容、難易度を踏まえ、受講計画を作成すること（毎週同じ時間帯に学習時間を確保することを推奨する）。

予習時間：60分

復習内容：第2回の授業内容に関係するグループディスカッションに参加すること（グループディスカッション用事前課題、事後課題あり）。

復習時間：180分

- ・流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等におけるデータ・AI活用事例紹介
- ・仮説検証、知識発見、原因究明、計画策定、判断支援、活動代替、新規生成など

第3回 DS・AI利活用（担当：山元 翔）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第3回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間：180分

- ・AI等を活用した新しいビジネスモデル
- ・AI最新技術の活用例
- ・人工知能、データ科学のビジネス機会
- ・人工知能、データ科学の社会的課題
- ・データを起点としたものの見方、人間の知的活動を起点としたものの見方

第4回 様々なデータ表現 (担当: 山元 翔) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 第4回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間: 60分

復習内容: KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間: 180分

- ・ 2進数, 16進数
- ・ 数値, 文字, 画像, 音声
- ・ 1次データ, 2次データ, メタデータ, アノテーション
- ・ 構造化データ, 非構造化データ
- ・ 非構造化データ処理: 言語処理, 画像/動画処理, 音声/音楽処理など
- ・ オープンデータ

第5回 データの利活用と注意 (担当: 山元 翔) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 第5回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間: 60分

復習内容: KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間: 180分

- ・ データサイエンスのサイクル
- ・ 個人の不健全な状況の回避: ネット依存症, ゲーム中毒, テクノストレス等
- ・ 被害者・加害者にならないための知識, なったときの対応, 誹謗中傷・炎上, ネットいじめ
- ・ 適切な対象が適切に情報を取得できること: 情報格差, アクセシビリティ
- ・ プライバシー

第6回 社会におけるデータの取り扱い - 個々人の注意 - (担当: 山元 翔) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 第6回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間: 60分

復習内容: KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間: 120分

- ・ 情報の信頼性の判断, デマ・流言, メディアリテラシー
- ・ 社会としての危機管理: システムダウンによる影響範囲の把握と対応
- ・ ELSI (Ethical, Legal and Social Issues)
- ・ データ・AI活用における負の事例紹介
- ・ データ倫理: データのねつ造, 改ざん, 盗用, プライバシー保護
- ・ AI社会原則 (公平性, 説明責任, 透明性, 人間中心の判断)
- ・ データバイアス, アルゴリズムバイアス
- ・ AIサービスの責任論

第7回 社会におけるデータの取り扱い - 社会全体の注意 - (担当: 山元 翔) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 第7回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間: 60分

復習内容: KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間: 120分

- ・ 知的財産権: 著作権と産業財産権, 著作権, 創作とライセンス表示, 国際化 (ベルヌ条約)
- ・ 肖像権・パブリシティ権
- ・ 個人情報保護: 個人情報 (個人識別符号の説明を含む), 匿名加工情報, 自己情報コントロール権, OECD プライバシーガイドライン, EU 法 (保護規則) と忘れられる権利, オプトアウト

第8回 データを守る上での留意事項 (担当: 山元 翔) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 第8回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間: 60分

復習内容: KBマップ課題を完成して提出する。

復習時間: 120分

- ・ 情報セキュリティ: 機密性, 完全性, 可用性
- ・ 匿名加工情報, 暗号化, パスワード, 悪意ある情報搾取
- ・ 情報漏洩等によるセキュリティ事故の事例紹介

第9回 AI・データ利活用の基礎知識 (テスト課題) (担当: 山元 翔) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 第1回から第8回までの授業内容を復習し, 未提出のKBマップ課題があればすべて完成して提出しておくこと。

予習時間: 120分

復習内容: 理解が不十分だった学習項目について確認しておくこと。

復習時間: 90分

これまでの内容を踏まえて、今後DSの考え方にに基づきAIを利活用する上での基礎知識が身についたかを確認するテストを実施する。

第10回 データを集める（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：Excel、Googleスプレッドシートの基本操作を確認しておくこと。第10回の詳細に記載しているキーワードについて確認しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：第10回の授業内容に関係するグループディスカッションに参加すること（グループディスカッション用事前課題・事後課題あり）。

復習時間：180分

- ・データの種類（量的変数、質的変数）
- ・母集団と標本抽出（国勢調査、アンケート調査、全数調査、単純無作為抽出、層別抽出、多段抽出）
- ・観測データに含まれる誤差の扱い
- ・打ち切りや脱落を含むデータ

第11回 データを扱う（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第11回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データ解析ツール（スプレッドシート）
- ・表形式のデータ（CSV）

第12回 データを操る（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第12回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データの集計（和）
- ・データの並び替え、ランキング

第13回 データを見る（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第13回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データ表現（棒グラフ、折線グラフ、散布図、ヒートマップ）
- ・データの図表表現（チャート化）
- ・不適切なグラフ表現（チャートジャンク、不必要な視覚的要素）
- ・統計情報の正しい理解（誇張表現に惑わされない）
- ・優れた可視化事例の紹介（可視化することによって新たな気づきがあった事例など）

第14回 データを読む（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第14回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・データの分布(ヒストグラム)
- ・層別の必要なデータ
- ・代表値（平均値、中央値、最頻値）
- ・代表値の性質の違い（実社会では平均値＝最頻値でないことが多い）
- ・データのばらつき（分散、標準偏差、偏差値）
- ・データの集計（平均）

第15回 データを読み解く（担当：溝渕 昭二）（授業形式：講義および演習）

予習内容：第15回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること。

予習時間：60分

復習内容：GoogleClassroomの資料を確認して課題を完成して提出すること(xlsxの拡張子のファイルを提出のこと)。

復習時間：180分

- ・相関と因果（相関係数、擬似相関、交絡）
- ・クロス集計表、分割表、相関係数行列、散布図行列
- ・データの比較（条件をそろえた比較、処理の前後での比較、A/Bテスト）

- ホームページ
- 実践的な教育内容

-

科目名 :	ビジネスモデルとマネジメント【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Business Model and Management				
担当者 :	榊原 可人				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :		開講年次 :		開講期 :	前期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :	理工学部応用化学科：学修・教育到達目標（B）に主体的に関与、 理工学部機械工学科：機械工学コース学習・教育目標：A-1, JABEE基準1.2：(a)(b)に関与、 理工学部電気電子通信工学科：学習・教育到達目標D2の達成に主体的に関与、 理工学部社会環境工学科：ディプロマ・ポリシーの(D)に主体的に関与、(C)、(J)、(K)に付随的に関与				

■ 授業概要

情報化と企業活動に関する分析を行うために必要な基礎的は用語・概念を学びます。さらに実務経験者の講演や資料から、実際にビジネスモデルやマネジメントの分析を行い理解を深めます。この授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。各回の作成者は授業計画の内容に記載の通りです。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講者は、この授業を履修することによって

1) 企業活動に関する分析を行うために必要な基礎的な用語・概念を理解できるようになります。

■ 成績評価方法および基準

中間課題 50%

学生間ディスカッション 10%

最終課題 40%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

レポート課題の提出締切後に「レポート課題の要点と解説」をGoogle Classroomに掲載します。

■ 教科書

講義資料を適宜配布します。

■ 参考文献

[ISBN]9784798122977 『ビジネスモデル・ジェネレーション ビジネスモデル設計書』（アレックス・オスターワルダー，翔泳社：2012）

[ISBN]9784799325551 『新しい経営学』（三谷 宏治，ディスカヴァー・トゥエンティワン：2019）

[ISBN]9784478012727 『ビジネスモデルを見える化する ピクト図解』（板橋悟，ダイヤモンド社）

■ 関連科目

経営学、マーケティング論、リーダーシップ論、組織論、流通論

■ 授業評価アンケート実施方法

本学の規程に準拠して実施します。

■ 研究室・メールアドレス

非常勤講師 榊原可人 ysakaki-k@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

非常勤講師につき、メール等で連絡してください

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 ビジネスモデルの概要【富田・橋本】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布する講義資料を参考にビジネスモデルの概要について読み、わからない語句や理解が困難な箇所を抜き出すこと。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返しビジネスモデルの概要を整理すること。

復習時間：60分

ビジネスモデルの概要、ビジネスモデルの4要素、ピクト図解と代表的なビジネスモデルについて説明する。

第2回 ビジネスモデルの4要素：ターゲット顧客と価値の提供【富田・橋本】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布する講義資料を参考にビジネスモデルにおける「ターゲット顧客と価値の提供」を読み、わからない語句や理解が困難な箇所を抜き出すこと。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返し、ビジネスモデルにおける、ターゲット顧客と価値の提供、そのマネジメントについて整理すること。

復習時間：60分

ビジネスモデルの4要素、WHOにあたるターゲット（顧客）とWHATにあたるバリュー（提供価値）について、マネジメント手法を交えて説明する。

第3回 ビジネスモデルの4要素：価値の提供体制と競争力【富田・橋本】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布する講義資料を参考にビジネスモデルにおける「価値の提供体制と競争力」を読み、わからない語句や理解が困難な箇所を抜き出すこと。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返しビジネスモデルにおける、価値の提供体制と競争力、そのマネジメントについて整理すること。

復習時間：60分

ビジネスモデルの4要素、HOWにあたるケイパビリティ：価値の提供体制と競争力について、マネジメント手法を交えて説明する。

第4回 ビジネスモデルの4要素：収益モデルとマネジメント【富田・橋本】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布する講義資料を参考にビジネスモデルにおける「収益モデルとマネジメント」を読み、わからない語句や理解が困難な箇所を抜き出すこと。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返しビジネスモデルにおける、収益モデルとそのマネジメントについて整理すること。

復習時間：60分

ビジネスモデルの4要素、WHYにあたる収益モデルおよびマネジメントについて説明する。

第5回 ビジネスモデルキャンパスの活用【富田・橋本】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布した講義資料を参考にビジネスモデルキャンパスについてわからない語句や理解が困難な箇所を抜き出すこと。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返しビジネスモデルキャンパスについて整理すること。

復習時間：60分

ビジネスモデルキャンパスを用いて、顧客との関係性、収益性の理解、価値提供手段、外的要因、競争要因について説明する。

第6回 ビジネスモデル改善への外的原動力その①【榊原】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布した講義資料を参考にESGについてわからない語句や理解が困難な箇所を抜き出すこと。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返しESGについて整理すること。

復習時間：60分

ビジネスモデル改善への外的原動力としてESG（企業活動に対する世界的な社会規範）について説明する。

第7回 ビジネスモデル改善への外的原動力その②【榊原】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布した講義資料を参考に企業への投資についてわからない語句や理解が困難な箇所を抜き出すこと。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返し投資家による直接的な働きかけについて整理すること。

復習時間：60分

ビジネスモデル改善への外的原動力として投資家による直接的な働きかけについて説明する。

第8回 ビジネスモデル進化その1【榊原】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布した講義資料を参考にビジネスモデルの進化についてわからない語句や理解が困難な箇所を抜き出すこと。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返しビジネスモデルの進化について整理すること。

復習時間：60分

社会の変化とビジネスモデルの変遷について説明する。

第9回 ビジネスモデル進化その2【榊原】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布した講義資料を参考にビジネスモデルの進化についてわからない語句や理解が困難な箇所を抜き出すこと。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返しビジネスモデルの進化について整理すること。

復習時間：60分

ビジネスモデルの現在の立ち位置と今後の展望について説明する。

第10回 企業活動・企業の法務【森山】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布した講義資料を参考に企業活動・企業の法務についてわからない語句や理解が困難な箇所を抜き出すこと。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返し企業活動・企業の法務について整理すること。

復習時間：60分

ビジネスモデルとマネジメントの事例紹介に先立って、企業活動や経営管理に関する考え方、企業活動に法律や企業の規範に関する考え方について説明する。

第11回 リスクマネジメントとマネジメントシステム【富田・橋本】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布した講義資料を参考にリスクマネジメントとマネジメントシステムについてわからない語句や理解が困難な箇所を抜き出すこと。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返しリスクマネジメントとマネジメントシステムについて整理すること。

復習時間：60分

事業活動で直面するリスクに対応するマネジメント手法、リスクマネジメントやマネジメントシステムについて説明する。

第12回 ビジネスモデルとマネジメントの事例紹介その1(1)【森山】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布した講義資料を参考に講演する企業の情報収集をすること。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返しビジネスモデルキャンパス・ピクト図解を整理すること。

復習時間：60分

企業の実務経験者の講演からビジネスモデルとマネジメントの事例を紹介する。

第13回 ビジネスモデルとマネジメントの事例紹介その1(2)【森山】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布した講義資料を参考に講演する企業の情報収集をすること。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返しビジネスモデルキャンパス・ピクト図解を整理すること。

復習時間：60分

企業の実務経験者の講演からビジネスモデルとマネジメントの事例を紹介し、解説を加える。

第14回 ビジネスモデルとマネジメントの事例紹介その2(1)【森山】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布した講義資料を参考に講演する企業の情報収集をすること。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返しビジネスモデルキャンパス・ピクト図解を整理すること。

復習時間：60分

企業の実務経験者の講演からビジネスモデルとマネジメントの事例を紹介する。

第15回 ビジネスモデルとマネジメントの事例紹介その2(2)【森山】（授業形式：講義および演習）

予習内容：授業で配布した講義資料を参考に講演する企業の情報収集をすること。

予習時間：30分

復習内容：講義ノートを読み返しビジネスモデルキャンパス・ピクト図解を整理すること。到達目標の達成状況を参照しつつ全体を復習すること。

復習時間：60分

企業の実務経験者の講演からビジネスモデルとマネジメントの事例を紹介し、解説を加える。最後に、本授業で学んだ情報化と企業活動に関する分析を行うために必要な基礎的な用語・概念などの知識について振り返る。

■ ホームページ

■ 実践的な教育内容

オムニバス形式で多様な企業等から講師を招いて行う授業

科目名 :	暮らしのなかの憲法【KICSオンデマンド科目】						
英文名 :	Constitution in Everyday Life						
担当者 :	二宮 貴美						
開講学科 :	共通教養科目						
単 位 :		開講年次 :		開講期 :		必修選択の別 :	
科目区分 :	共通教養科目						
備 考 :							

■ 授業概要

「憲法」と聞いて、みなさんはどのような印象をおもちですか。私たちは普段、憲法の内容を意識して生活することは、ほとんどないかと思えます。しかし、その実、憲法は、国の最高法規として、一人ひとりのもつ大事な権利や自由を定め、そしてそれらを守る仕組みを定めている、私たちにはなくてはならない大切な法律です。

そこで本授業では、憲法の基本的な枠組みや考え方を理解していただけるよう、具体的事例（裁判例を含む）の検討を行います。とはいえ、本授業は、暗記中心の学習ではありません。現実に生じている様々な事象の検討を通じて、それら問題を法的にどのように解決すべきか、みなさんには、その法的解決に向けた考え方を習得していただくこととなります。

なお、メディア受講に際しては、受講前の教科書熟読が必須となります。そして受講時は、各自、必要に応じてノートをとってください。と同時に、必要に応じて、条文を参照してください。条文の参照方法は、第1回の授業で説明をしています。

ちなみに、みなさん方の受講に際しては、大学からの受講案内でも示されているように、予め一定の期間を設定して、受講確認がなされる予定です。レポート作成・提出においても、メディア受講は前提（必須）条件となります（単位取得に際しては、10回以上：10回を含む、受講をしていることが必要です。）。加えて、話者の話の内容が判別可能な速度で視聴してください。詳細は、各担当者の案内に従ってください。各自、受講計画を立て、自覚的に、受講いただくことを、切に希望しております。

* 本メディア授業は、下記参考文献『判例で学ぶ日本国憲法』（有信堂）をベースに作成をしています。ただし、本授業は、過去に作成された「第2版」のもので作成しており、2024年春に刊行予定の「第3版」のものとは、内容において一部異なります（異なる部分は、当該文献の第5章・本メディア授業第9回「表現の自由」です。それ以外は、基本的な部分での違いはありません）。

* この授業はコンテンツ作成者重村が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogle Classroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講生は、この授業を受講することにより、①日本国憲法の基本的人権ならびに統治機構の概要を説明し、②憲法問題に対して自身の見解を示すことができるようになります。

■ 成績評価方法および基準

レポート課題（全3回） 60%

学期末試験（レポート課題） 40%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をGoogle Classroomに掲載します。

■ 教科書

指定しない

■ 参考文献

[ISBN]9784842010885 『判例で学ぶ日本国憲法[第三版]』(西村裕三編, 有信堂高文社: 2024)
2024年3月刊行予定

[ISBN]9784865281132 『立憲主義について 成立過程と現代(放送大学叢書)』(佐藤 幸治, 左右社: 2015)

[ISBN]9784000616072 『憲法 第八版』(芦部 信喜, 岩波書店: 2023)

[ISBN]9784641227613 『憲法学読本 第3版』(安西 文雄, 有斐閣: 2018)

[ISBN]9784641115453 『憲法判例百選I 第7版(別冊ジュリスト)』(長谷部 恭男, 有斐閣: 2019)

[ISBN]9784641115460 『憲法判例百選II 第7版(別冊ジュリスト)』(長谷部 恭男, 有斐閣: 2019)

■ 関連科目

「現代社会と法」など

■ 授業評価アンケート実施方法

本学の規定に準拠して実施します。

■ 研究室・メールアドレス

ninomiya_kimi@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

メールにより対応する

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 概要 憲法とはなにか(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 教科書の該当箇所を読み(1・18章)、内容の把握をする

予習時間: 60分

復習内容: 授業内容について自身でまとめる

復習時間: 120分

法律の学習を始めるために必要となる法学・憲法の基礎的事項を学ぶ

セクション1 法とは何か セクション概要 法とは何かについて学ぶ

セクション2 憲法とは何か セクション概要 憲法とは何かについて学ぶ

セクション3 日本国憲法概説 セクション概要 憲法制定過程と基本原則を学ぶ

第2回 立法権と行政権(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 教科書の該当箇所を読み(14・15章)、内容の把握をする

予習時間: 60分

復習内容: 授業内容について自身でまとめる

復習時間: 120分

三権分立のうち、立法権と行政権を学ぶ

セクション1 三権分立とは? セクション概要 三権分立の概説を学ぶ

セクション2 日本の統治機構・立法権 セクション概要 国会の組織と役割を学ぶ

セクション3 日本の統治機構・行政権 セクション概要 内閣の組織と役割を学ぶ

第3回 司法権(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 教科書の該当箇所を読み(16章の1と2)、内容の把握をする

予習時間: 60分

復習内容: 授業内容について自身でまとめる

復習時間: 120分

概要 三権分立のうち、司法権について学ぶ

セクション1 司法権とは? セクション概要 司法権の範囲と限界について学ぶ

セクション2 裁判所組織について セクション概要 裁判所組織と審級について学ぶ

セクション3 裁判官 セクション概要 裁判官の身分保障について学ぶ

第4回 司法審査権(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 教科書の該当箇所を読み(16章の3)、内容の把握をする

予習時間: 60分

復習内容: 授業内容について自身でまとめる

復習時間: 120分

概要 司法審査権について学ぶ

セクション1 司法審査権の目的と方法 セクション概要 司法審査権の目的と方法について学ぶ

セクション2 違憲審査基準 セクション概要 違憲審査基準について学ぶ

セクション3 司法積極主義・消極主義 セクション概要 司法積極主義・消極主義について学ぶ

第5回 基本的人権総論(授業形式: 講義および演習)

予習内容：教科書の該当箇所を読み（1章の3と4）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 基本的人権の総論部分を学ぶ

セクション1 人権の歴史 セクション概要 人権が確立していった過程を学ぶ

セクション2 人権の分類 セクション概要 日本国憲法の人権規定を概括的に学ぶ

セクション3 人権の限界 セクション概要 基本的人権の限界について学ぶ

第6回 幸福追求権（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（2章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 幸福追求権を軸に主張される権利や自由について学ぶ

セクション1 幸福追求権とは？ セクション概要 幸福追求権の概説を学ぶ

セクション2 プライバシーの権利 セクション概要 プライバシーの権利について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 プライバシーの権利の判例から学ぶ

第7回 法の下での平等（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（3章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 憲法が意味する平等とは何かを学ぶ

セクション1 憲法の平等保障規定 セクション概要 日本国憲法が規定する平等規定について学ぶ

セクション2 平等とは？ セクション概要 憲法が示す「平等」の意味について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 平等権に関する基本事例から学ぶ

第8回 信教の自由・政教分離（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（4章の2）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 信教の自由が保障する範囲と政教分離について学ぶ

セクション1 信教の自由とは？ セクション概要 信教の自由が規定された背景を学ぶ

セクション2 政教分離 セクション概要 政教分離原則について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 政教分離の基本事例から学ぶ

第9回 表現の自由（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（5章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 表現の自由がなぜ「優越的地位」にあるといわれるのか学ぶ

セクション1 表現の自由とは？ セクション概要 表現の自由の優越的地位の原則について学ぶ

セクション2 マス・メディアの取材・報道の自由 セクション概要 マス・メディアの取材・報道の自由について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 取材・報道の自由の基本事例から学ぶ

第10回 学問の自由・教育を受ける権利（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（6・10章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 大学における「学問」とはどういうものか学ぶ

セクション1 学問の自由とは？ セクション概要 学問の自由の保障の範囲と限界を学ぶ

セクション2 大学の自治 セクション概要 大学の自治について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 学問の自由の基本判例から学ぶ

第11回 経済活動の自由（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（7章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 私有財産制度について憲法から学ぶ

セクション1 経済活動の自由とは？ セクション概要 経済活動の自由について内容を学ぶ

セクション2 財産権の保障 セクション概要 財産権の保障について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 財産権の保障の基本事例から学ぶ

第12回 人身の自由（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（8章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 刑事疑義者・被告人の権利について学ぶ

セクション1 罪刑法定主義とは？ セクション概要 罪刑法定主義について学ぶ

セクション2 人身の自由 セクション概要 人身の自由の内容について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 人身の自由の基本事例から学ぶ

第13回 生存権（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（9章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 憲法が保障する「健康で文化的な最低限度の生活」とは何かを学ぶ

セクション1 生存権とは？ セクション概要 生存権の法的性格について学ぶ

セクション2 日本の社会保障制度 セクション概要 社会保障制度の種類と内容を概括的に学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 生存権の基本事例から学ぶ

第14回 労働基本権（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（11章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 労働三権について学ぶ。ここでは特に、公務員の労働基本権について学ぶ

セクション1 勤労の権利とは？ セクション概要 労働三権について学ぶ

セクション2 公務員の労働基本権 セクション概要 公務員の労働基本権について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 公務員の労働基本権の基本事例から学ぶ

第15回 参政権（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（13章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 選挙の基本原則について学ぶ

セクション1 参政権とは？ セクション概要 参政権の概要について学ぶ

セクション2 選挙制度の基本原則 セクション概要 選挙の5つの基本原則を学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 基本原則に関する基本事例から学ぶ

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 :	国際化と異文化理解【KICSオンデマンド科目】						
英文名 :	Internationalization and Cross Cultural Understanding						
担当者 :	大喜 祐太						
開講学科 :	共通教養科目						
単 位 :		開講年次 :		開講期 :		必修選択の別 :	
科目区分 :	共通教養科目						
備 考 :	理工応用化学科：学修・教育到達目標（B）に主体的に関与 理工電気電子通信工学科：学習・教育到達目標D2の達成に主体的に関与 理工社会環境工学科：ディプロマ・ポリシーの(A)、(G)に主体的に関与、(C)、(J)、(K)に付随的に関与						

■ 授業概要

この講義では中国・韓国・ドイツ・フランスの文化についての学びを通じ、国際社会の中で他者とともに生きるための方法を見出すことを目的とします。21世紀を生きる我々は、グローバル化の中で多様な価値観に触れています。その一方で各国のローカルな価値観に違和感を覚えたり、異文化圏との積極的な交流に不満を覚えたりする声が目につくようになりました。私たちは「国際化」と「異文化」という大きなテーマを改めて考え直す段階に来ているのではないのでしょうか。そこで本講義では中国・韓国・ドイツ・フランスを専門とする四名の教員が、各国の文化の特徴や問題を解説します。文化を「生きるための工夫」と見なし、他国の日常生活や民族間の摩擦の事例を読み解き、日本文化との共通点や差異を議論することで、国際社会を生きる我々の課題が浮き彫りになるはずで、講義を通じて国際社会を他者とともに生きるための基礎的な能力を獲得しましょう。

この授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。各回の作成者は授業計画の内容に記載のとおりです。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

この講義を受講することで、履修者は、

- ① 自分と他者、あるいは自文化と異文化を比較し、違いや共通点を見出す能力が身につく。
- ② 各回の課題やアクティビティを通じて自分の考えをしっかりとした言葉で伝えられるようになる。
- ③ 各国文化（中国・韓国・ドイツ・フランス）について基礎的な知識を得ることができる。

この科目の修得は、本学の定めるディプロマポリシー4（異質な価値や文化を理解し、自国の伝統や文化の意味を再発見する国際感覚を、身に付けていること）の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

中間レポート① 25%

中間レポート② 25%

期末レポート 50%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

課題の提出締切後に「課題の要点と解説」をGoogleClassroomに掲載します。

■ 教科書

教科書は使用しません。

■ 参考文献

[ISBN]4130322028 『国際文化論』(平野 健一郎, 東京大学出版会: 2000)

[ISBN]4795402310 『国際文化学への第一歩』(静岡文化芸術大学文化政策学部国際文化学科, すずさわ書店: 2013)

[ISBN]4469212709 『カルチュラル・スタディーズへの招待』(本橋 哲也, 大修館書店: 2002)

■関連科目

すべての外国語科目、国際化と異文化理解

■授業評価アンケート実施方法

本学の規程に準拠して実施します。

■研究室・メールアドレス

研究室: EキャンパスG館5階

メールアドレス: daigi@socio.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

木曜2限

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 第1回 イントロダクション～文化とは何か～(担当: 高橋梓)(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 文化について自分なりのイメージを持っておく

予習時間: 120分

復習内容: 動画で教員の分析を確認する

復習時間: 60分

第1回は文化とは何かという点について、先行研究に基づき概念を確認するとともに、本講義の全体像について概要を説明します。

第2回 第2回 国際文化学とは何か(担当: 高橋梓)(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 参考文献: 平野健一郎『国際文化論』を読む

予習時間: 120分

復習内容: 動画で教員の分析を確認する

復習時間: 60分

第2回は本講義が立脚する国際文化学について説明します。国際関係を文化で見る試みを具体的にどのように進めるべきか確認しましょう。

第3回 第3回 中国の基礎知識・言語(担当: 阿部慎太郎)(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 中国の人口、地域、通貨等についてインターネットやgoogle mapで調べておく

予習時間: 120分

復習内容: 動画で教員の分析を確認する

復習時間: 60分

第3回目からは本講義の第一部「生きるための工夫(アジア編)」となります。

第3、4回は中国の文化について考えていきます。

第3回は、中国の基礎知識(人口、民族、言語、地域、通貨など)について紹介します。

第4回 第4回 中国の食文化(担当: 阿部慎太郎)(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 中華料理について、インターネットで調べておく

予習時間: 120分

復習内容: 動画で教員の分析を確認する

復習時間: 60分

第3、4回は中国の文化について考えていきます。

第4回は、中国の食文化(中華料理、円卓、習慣など)について紹介します。

第5回 第5回 韓国の基礎知識・食文化(担当: 小島大輝)(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 韓国の地理、料理、食習慣について、インターネットで調べておく

予習時間: 120分

復習内容: 動画で教員の分析を確認する

復習時間: 60分

第5、6回は韓国の文化について考えていきます。

第5回は、韓国の基礎知識と食文化(韓国料理、食習慣など)について紹介します。

第6回 第6回 韓国の住居文化とその周辺(担当: 小島大輝)(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 韓国の住居について、インターネットで調べておく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第5、6回は韓国の文化について考えていきます。

第6回は、韓国の住居と暮らし、関連する周辺の文化について紹介します。

第7回 第7回 アジア編～まとめ～「小文字の文化」から国際社会を見る（担当：高橋梓、阿部慎太郎、小島大輝）（授業形式：講義および演習）

予習内容：動画を参照しながらこれまでの講義内容を思い出ししておく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第3～6回で学んだアジア文化の特徴を題材に、文化から国際社会を見ることの意義を議論します。

第8回 第8回 フランスの基礎知識・フランス語圏（担当：高橋梓）（授業形式：講義および演習）

予習内容：フランスの基本情報について書籍やインターネットで調べておく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第8回目からは本講義の第二部「文化と文化のあいだ（ヨーロッパ編）」となります。

第8、9回は中国の文化について考えていきます。

第8回はフランスの基礎知識と、フランス以外でフランス語を使用しているフランス語圏の実態や、フランス国内の少数言語について紹介します。

第9回 第9回 フランスの移民問題（担当：高橋梓）（授業形式：講義および演習）

予習内容：フランスの移民問題について書籍やインターネットで調べておく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第9回はフランスの移民の歴史、現在の状況、社会問題について説明します。

第10回 第10回 ドイツの基礎知識・ドイツ語圏（担当：大喜祐太）（授業形式：講義および演習）

予習内容：ドイツやドイツ語が話される地域の基本情報について書籍やインターネットで調べておく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第10、11回はドイツの文化について考えていきます。

第10回はドイツの基礎知識と、ドイツ以外でドイツ語を使用しているドイツ語圏の実態について、特に多言語国家スイスの言語状況を例にして紹介します。

第11回 第10回 ドイツの移民問題・ドイツ語圏（担当：大喜祐太）（授業形式：講義および演習）

予習内容：ドイツやドイツ語が話される地域の移民問題について書籍やインターネットで調べておく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第10回はドイツやドイツ語が話される地域の移民の歴史、現在の状況、社会問題について説明します。

第12回 第12回 まとめ～ヨーロッパ編～文化と文化のあいだ～（担当：高橋梓、大喜祐太）（授業形式：講義および演習）

予習内容：動画を参照しながらこれまでの講義内容を思い出ししておく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第8～11回で学んだヨーロッパ文化の特徴を題材に、主に文化触変論に基づき考察します。

第13回 第13回 自文化と異文化① プルーストを読む堀辰雄（前篇）（担当：高橋梓）（授業形式：講義および演習）

予習内容：堀辰雄とプルーストについて書籍やインターネットで調べておく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第13回目からは本講義の第三部「文化の接触と変容」となります。

第13回、14回は文学作品を題材として、文化を生きる個人の精神に目を向けます。

第13回は堀辰雄とマルセル・ブルーストが宗教芸術を見る視点に文化の差異を超えた共通点が潜むことを明らかにします。

第14回 第14回 自文化と異文化② ブルーストを読む堀辰雄(後編) (担当：高橋梓) (授業形式：講義および演習)

予習内容：堀辰雄『大和路・信濃路』を読んでおく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第14回は、前半で明らかにした両文化圏の共通点がなぜ起こるのか、作品分析に基づきながら理由を考察し、自文化と異文化のあいだに潜む普遍的な特性に迫ります。

第15回 第15回 まとめ～国際社会で他者と生きるために(担当：高橋梓、大喜祐太、阿部慎太郎、小島大輝) (授業形式：講義および演習)

予習内容：動画を参照しながらこれまでの講義内容を思い出しておく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第15回では、これまでの講義内容を踏まえ、担当教員が日本に根付いた異文化の事例を挙げながら、国際社会の中で他者とともに生きるためのヒントや問題点を議論します。

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 :	日本語の技法【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Skills of Japanese Language				
担当者 :	森久 国雄				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	開講年次 :	開講期 :	必修選択の別 :		
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :	理工応用化学科：学修・教育目標（G）に主体的に関与 理工機械工学科：機械工学コース学習・教育目標：A-1, JABEE基準1.2：(a)(b)に関与 理工電気電子通信工学科：学習・教育到達目標D2の達成に付随的に関与 理工社会環境工学科：ディプロマ・ポリシーの(J)に主体的に関与、(C)に付随的に関与				

■ 授業概要

本講義は、それぞれの専門家によるオムニバス形式となっており、多様な日本語の魅力に触れるものとなっている。多角的な視点で日本語の基礎力を身につけられるようになっている。

授業形態は、オンデマンド形式であり、各自映像で自主学習を行い、その後課題に取り組む主体的な学びを促進するものである。

この授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。各回の作成者は授業計画の内容に記載のとおりです。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）・自主学習支援（e-learning等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

「日本語」を使ったコミュニケーションを「話す」「書く」「読む」「聞く」のあらゆる角度から捉え、日本語の特徴や文化的背景も踏まえてその技法を学び、表現力を高めることを目的としている。

またレポート作成をはじめとする大学生活に必要な学びの基礎のみならず、履歴書や自己アピールなどの就職活動、会議やプレゼンテーションなどの社会人生活に必要な実践力をも身につけることを目的としている。

この科目の修得は、本学が定めるディプロマポリシー1.の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

中間レポート 30%

期末レポート 30%

ディスカッション 20%

その他課題 ※詳細については別途Google Classroomでお知らせします。課題の提出があった場合でも、Google Classroomに入っていない場合は成績は付けられません。20%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

GoogleClassroomを活用します。授業期間中の諸課題については、その都度コメントを掲載します。期末レポートについては、提出締切後に解説を掲載します。

■ 教科書

別途指示します。

■ 参考文献

[ISBN]4623078779 『知的技法としてのコミュニケーション:「話す力」は「生きる力」』（児島建次郎, ミネルヴァ書房: 2017)

■ 関連科目

日本語の技法、日本語の表現

■ 授業評価アンケート実施方法

規定に従い行います

■ 研究室・メールアドレス

morihisa_kunio@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

質問等はメールにて随時対応します。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 話すための基礎技術（寺西裕一）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第2回 話し上手は聞き上手（寺西裕一）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第3回 パブリックスピーキング（寺西裕一）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第4回 声は人なり（都築由美）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第5回 プレゼンテーション（都築由美）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第6回 日本語の性格1（山王丸有紀）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第7回 日本語の性格2（山王丸有紀）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第8回 敬語（都築由美）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第9回 文法カテゴリと表現性（森久国雄）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第10回 ことばのバリエーション（森久国雄）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第11回 レポートの書き方①（田中教子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第12回 レポートの書き方②（田中教子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第13回 レポートの書き方③（田中教子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第14回 企画書（石橋明子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第15回 メール・手紙（石橋明子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

定期試験を行う

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 :	日本語の技法【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Skills of Japanese Language				
担当者 :	小原 貴子				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	開講年次 :	開講期 :	必修選択の別 :		
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :	理工応用化学科：学修・教育目標（G）に主体的に関与 理工機械工学科：機械工学コース学習・教育目標：A-1, JABEE基準1.2：(a)(b)に関与 理工電気電子通信工学科：学習・教育到達目標D2の達成に付随的に関与 理工社会環境工学科：ディプロマ・ポリシーの(J)に主体的に関与、(C)に付随的に関与				

■ 授業概要

本講義は、それぞれの専門家によるオムニバス形式となっており、多様な日本語の魅力に触れるものとなっている。多角的な視点で日本語の基礎力を身につけられるようになっている。

授業形態は、オンデマンド形式であり、各自映像で自主学習を行い、その後課題に取り組む主体的な学びを促進するものである。

この授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。各回の作成者は授業計画の内容に記載のとおりです。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）・自主学習支援（e-learning等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

「日本語」を使ったコミュニケーションを「話す」「書く」「読む」「聞く」のあらゆる角度から捉え、日本語の特徴や文化的背景も踏まえてその技法を学び、表現力を高めることを目的としている。

またレポート作成をはじめとする大学生活に必要な学びの基礎のみならず、履歴書や自己アピールなどの就職活動、会議やプレゼンテーションなどの社会生活に必要な実践力をも身につけることを目的としている。

この科目の修得は、本学が定めるディプロマポリシー1.の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

中間レポート 30%

期末レポート 30%

ディスカッション 20%

その他課題 ※詳細については別途Google Classroomでお知らせします。課題の提出があった場合でも、Google Classroomに入っていない場合は成績は付けられません。20%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

GoogleClassroomにて返却

■ 教科書

別途指示します。

■ 参考文献

[ISBN]4623078779 『知的技法としてのコミュニケーション:「話す力」は「生きる力」』（児島建次郎, ミネルヴァ書房: 2017)

■ 関連科目

日本語の技法、日本語の表現

■授業評価アンケート実施方法

規定に従い行います

■研究室・メールアドレス

takako0987@kindai.ac.jp

■オフィスアワー

メールか GoogleClassroomの限定公開のコメントで連絡をとる

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 話すための基礎技術（寺西裕一）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第2回 話し上手は聞き上手（寺西裕一）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第3回 パブリックスピーキング（寺西裕一）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第4回 声は人なり（都築由美）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第5回 プレゼンテーション（都築由美）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第6回 日本語の性格1（山王丸有紀）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第7回 日本語の性格2（山王丸有紀）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第8回 敬語（都築由美）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第9回 文法カテゴリーと表現性（森久国雄）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第10回 ことばのバリエーション（森久国雄）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第11回 レポートの書き方①（田中教子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第12回 レポートの書き方②（田中教子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第13回 レポートの書き方③（田中教子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第14回 企画書（石橋明子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第15回 メール・手紙（石橋明子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

定期試験を行う

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 :	日本語の技法【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Skills of Japanese Language				
担当者 :	河崎 絵美				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	開講年次 :	開講期 :	必修選択の別 :		
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :	理工応用化学科：学修・教育目標（G）に主体的に関与 理工機械工学科：機械工学コース学習・教育目標：A-1, JABEE基準1.2：(a)(b)に関与 理工電気電子通信工学科：学習・教育到達目標D2の達成に付随的に関与 理工社会環境工学科：ディプロマ・ポリシーの(J)に主体的に関与、(C)に付随的に関与				

■ 授業概要

本講義は、それぞれの専門家によるオムニバス形式となっており、多様な日本語の魅力に触れるものとなっている。多角的な視点で日本語の基礎力を身につけられるようになっている。

授業形態は、オンデマンド形式であり、各自映像で自主学習を行い、その後課題に取り組む主体的な学びを促進するものである。

この授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。各回の作成者は授業計画の内容に記載のとおりです。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）・自主学習支援（e-learning等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

「日本語」を使ったコミュニケーションを「話す」「書く」「読む」「聞く」のあらゆる角度から捉え、日本語の特徴や文化的背景も踏まえてその技法を学び、表現力を高めることを目的としている。

またレポート作成をはじめとする大学生活に必要な学びの基礎のみならず、履歴書や自己アピールなどの就職活動、会議やプレゼンテーションなどの社会人生活に必要な実践力をも身につけることを目的としている。

この科目の修得は、本学が定めるディプロマポリシー1.の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

中間レポート 30%

期末レポート 30%

ディスカッション 20%

その他課題 ※詳細については別途Google Classroomでお知らせします。課題の提出があった場合でも、Google Classroomに入っていない場合は成績は付けられません。 20%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

Googleclassroomに課題提出後、コメントを送信致します。

■ 教科書

別途指示します。

■ 参考文献

[ISBN]4623078779 『知的技法としてのコミュニケーション:「話す力」は「生きる力」』（児島建次郎, ミネルヴァ書房: 2017)

■ 関連科目

日本語の技法、日本語の表現

■授業評価アンケート実施方法

規定に従い行います

■研究室・メールアドレス

emi.kawasaki@lac.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

月曜1限の時間にGoogleclassroomあるいはEmailで対応いたします。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 話すための基礎技術（寺西裕一）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第2回 話し上手は聞き上手（寺西裕一）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第3回 パブリックスピーキング（寺西裕一）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第4回 声は人なり（都築由美）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第5回 プレゼンテーション（都築由美）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第6回 日本語の性格1（山王丸有紀）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第7回 日本語の性格2（山王丸有紀）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第8回 敬語（都築由美）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第9回 文法カテゴリーと表現性（森久国雄）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第10回 ことばのバリエーション（森久国雄）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第11回 レポートの書き方①（田中教子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第12回 レポートの書き方②（田中教子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第13回 レポートの書き方③（田中教子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第14回 企画書（石橋明子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第15回 メール・手紙（石橋明子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

定期試験を行う

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 :	日本語の技法【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Skills of Japanese Language				
担当者 :	藤井 和子				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	開講年次 :	開講期 :	必修選択の別 :		
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :	理工応用化学科：学修・教育目標（G）に主体的に関与 理工機械工学科：機械工学コース学習・教育目標：A-1, JABEE基準1.2：(a)(b)に関与 理工電気電子通信工学科：学習・教育到達目標D2の達成に付随的に関与 理工社会環境工学科：ディプロマ・ポリシーの(J)に主体的に関与、(C)に付随的に関与				

■ 授業概要

本講義は、それぞれの専門家によるオムニバス形式となっており、多様な日本語の魅力に触れるものとなっている。多角的な視点で日本語の基礎力を身につけられるようになっている。

授業形態は、オンデマンド形式であり、各自映像で自主学習を行い、その後課題に取り組む主体的な学びを促進するものである。

この授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。各回の作成者は授業計画の内容に記載のとおりです。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）・自主学習支援（e-learning等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

「日本語」を使ったコミュニケーションを「話す」「書く」「読む」「聞く」のあらゆる角度から捉え、日本語の特徴や文化的背景も踏まえてその技法を学び、表現力を高めることを目的としている。

またレポート作成をはじめとする大学生活に必要な学びの基礎のみならず、履歴書や自己アピールなどの就職活動、会議やプレゼンテーションなどの社会生活に必要な実践力をも身につけることを目的としている。

この科目の修得は、本学が定めるディプロマポリシー1.の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

中間レポート 30%

期末レポート 30%

ディスカッション 20%

その他課題 ※詳細については別途Google Classroom（nc7hewk）でお知らせします。課題の提出があった場合でも、Google Classroomに入っていない場合は成績は付けられません。 20%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

Googleクラスルームで行います コードnc7hewkでGoogleClassroomに参加してください。

■ 教科書

別途指示します。

■ 参考文献

[ISBN]4623078779 『知的技法としてのコミュニケーション:「話す力」は「生きる力」』（児島建次郎, ミネルヴァ書房: 2017)

■ 関連科目

日本語の技法、日本語の表現

■授業評価アンケート実施方法

規定に従い行います

■研究室・メールアドレス

研究室 なし k-fujii@kindai.ac.jp

■オフィスアワー

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 話すための基礎技術（寺西裕一）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第2回 話し上手は聞き上手（寺西裕一）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第3回 パブリックスピーキング（寺西裕一）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第4回 声は人なり（都築由美）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第5回 プレゼンテーション（都築由美）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第6回 日本語の性格1（山王丸有紀）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第7回 日本語の性格2（山王丸有紀）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第8回 敬語（都築由美）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第9回 文法カテゴリーと表現性（森久国雄）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第10回 ことばのバリエーション（森久国雄）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第11回 レポートの書き方①（田中教子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第12回 レポートの書き方②（田中教子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第13回 レポートの書き方③（田中教子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第14回 企画書（石橋明子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第15回 メール・手紙（石橋明子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

定期試験を行う

■ ホームページ

■ 実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 :	暮らしのなかの起業入門【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Introductory Course on Entrepreneurship				
担当者 :	芝先 恵介				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	開講年次 :	開講期 :	前期	必修選択の別 :	
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :	理工応用化学科 : 学修・教育到達目標 (B) に付随的に関与 理工電気電子通信工学科 : 学習・教育到達目標D2の達成に付随的に関与 理工社会環境工学科 : ディプロマ・ポリシーの(A)に主体的に関与				

■授業概要

インターネットが普及したことにより、私たちの生活は利便性が一層高まり、豊かさを実感できるものとなっています。大学教育のなかにメディア授業が取り入れられたことは、学生の皆さんの自由度を高めているのではないのでしょうか。インターネットは、「時間」と「場所」の制約を取り除いてくれるため、自由な時間を有効に活用することができる時代になっているのです。また、特技や専門的知識を持った多くの方と繋がることもインターネットはいとも容易に実現してくれます。そのため、アイデア、経験や趣味を活かして起業に取り組む方も増えています。

本授業は、「起業」を特別なものとして取り扱うのではなく、誰もがチャレンジできるものとして位置付け、その基本的な事項を学修することを目的とします。企業に勤務することになった場合でも、常に新しい製品・サービスを創造することが求められる今、起業の仕組みや留意点について理解しておくことは、新事業創出の任務を担う際に有効となります。その意味で、起業は今後の生活を豊かなものとするための選択の幅を広げてくれるのです。授業では、起業についての知識とともに、事業活動を通して自らの夢を実現している起業家の実践例を通して、受講者が自身のキャリアについても検討することを期待しています。

【受講に当たっての留意点】

15回すべての受講を終えなかった場合、レポートを提出しても単位は付与しません。

■授業形態

メディア授業（全授業回）

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講者は、この授業を履修することによって、

- 1) 起業や新事業創出の意味と必要性
- 2) 起業や新事業創出を実現するために求められる基本的な事項
- 3) 起業家の実践例とキャリア

について学び、起業と社会・経済とのかかわりについて理解できるようになります。

この科目の履修は、本学が定めるディプロマポリシー 1 の達成に関与しています。

■成績評価方法および基準

学生間ディスカッション 20%

レポート 80%

■試験・課題に対するフィードバック方法

レポート課題の提出締切後に「レポート課題の要点と解説」をGoogleClassroomに掲載します。

■教科書

各回資料を配布します。

■参考文献

[ISBN]9784502178412 『アントレプレナーシップ教科書』（松重 和美, 中央経済社 : 2016)

[ISBN]9784822259754 『起業の科学 スタートアップサイエンス』（田所 雅之, 日経BP : 2017)
[ISBN]9784478109502 『起業大全 スタートアップを科学する9つのフレームワーク』（田所 雅之, ダイヤモンド社 : 2020)
[ISBN]9784830949708 『はじめて学ぶ人のための経営学入門 [バージョン 2] (文真堂ブックス)』（信之, 片岡, 文真堂 : 2018)
[ISBN]9784502394713 『新しいビジネスをつくる』（加護野 忠男, 碩学舎 : 2021)
[ISBN]9784798167381 『ビジネスモデル・キャンパス徹底攻略ガイド 企業、チーム、個人を成功に導く「ビジネスモデル設計書」』（今津 美樹, 翔泳社 : 2020)
上記のほか必要に応じて紹介します。

■ 関連科目

現代社会と倫理、現代社会と法、ビジネス実務講座、国際化と異文化理解、情報処理基礎、データリテラシー入門、キャリアデザイン

■ 授業評価アンケート実施方法

本学の規程に準拠して実施します。

■ 研究室・メールアドレス

keisuke.shibasaki@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

質問等は随時対応します

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 授業総論（授業形式：講義および演習）

予習内容：起業の意味や必要性について調べる。

予習時間：90分

復習内容：大学における起業家教育の目的についてまとめる。

復習時間：90分

【講師：経営学部教授 文能 照之】

・授業内容と学修方法

【外部講師：株式会社パースペクティブ・メディア 代表取締役 小口 日出彦氏】

・起業とは

・起業というライフスタイル

第2回 起業家マインドの重要性（授業形式：講義および演習）

予習内容：アントレプレナーシップについて調べる。

予習時間：90分

復習内容：イノベーションの事例についてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：株式会社01START 代表取締役 芝先 恵介氏】

・アントレプレナーシップ（起業家精神）とは

・イノベーションとは

・起業とイノベーション

第3回 企業の役割と経営指針（授業形式：講義および演習）

予習内容：企業の役割について調べる。

予習時間：90分

復習内容：企業のミッション・ビジョン・バリューについてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：株式会社01START 代表取締役 芝先 恵介氏】

・企業の社会的役割

・企業の社会的責任

・ミッション、ビジョン、バリューとは

第4回 経営に必要とされる資源（授業形式：講義および演習）

予習内容：経営に必要とされる、ヒト・モノ・カネについて調べる。

予習時間：90分

復習内容：経営を続けるために経営資源の活用方法についてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：株式会社01START 代表取締役 芝先 恵介氏】

・経営の基本とは

・経営資源とは

第5回 アイデアをビジネスに変える（授業形式：講義および演習）

予習内容：アイデアの出し方について調べる。

予習時間：90分

復習内容：効果的なアイデアの発想法やアイデアの膨らませ方、収束の仕方についてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：株式会社01START 代表取締役 芝先 恵介氏】

- ・ビジネスを生み出すために
- ・ビジネスアイデアの発想法
- ・オズボーンのチェックリストを活用した事例

第6回 チーム作りと評価（授業形式：講義および演習）

予習内容：経営にチーム作りが必要な理由、及びチーム作りの方法について調べる。

予習時間：90分

復習内容：メンバーの有する能力を生かすためのチーム作りの方法についてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：株式会社01START 代表取締役 芝先 恵介氏】

- ・サイドプロジェクトではじめる
- ・スタートアップに必要な人材
- ・解決したい課題について

第7回 事業構想（前半）（授業形式：講義および演習）

予習内容：事業アイデアを形にするための方法について調べる。

予習時間：90分

復習内容：ビジネスモデル・キャンパスの活用方法についてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：株式会社01START 代表取締役 芝先 恵介氏】

- ・事業アイデアを形にするビジネスモデル・キャンパスとは
- ・ビジネスモデル・キャンパスの要素を理解する【お客様にかかわる収入】

第8回 事業構想（後半）（授業形式：講義および演習）

予習内容：事例企業のビジネスモデルについて調べ、ビジネスモデル・キャンパスを作成する。

予習時間：90分

復習内容：授業で提示されたビジネスモデル・キャンパスをもとに、その活用方法についてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：株式会社01START 代表取締役 芝先 恵介氏】

- ・ビジネスモデル・キャンパスの要素を理解する。【活動とコスト】
- ・事例企業を参考にしてビジネスモデル・キャンパスを作成する

第9回 事業の実現①（内製）（授業形式：講義および演習）

予習内容：企業内部において必要となるコミュニケーションについて調べる。

予習時間：90分

復習内容：コミュニケーションを高めるための方策についてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：グッドニュース情報発信塾 塾長 大谷 邦郎氏】

- ・賛同を得て、応援してもらうためのコミュニケーション
- ・事業協力者に向けたプレゼンテーション

第10回 事業の実現②（外注）（授業形式：講義および演習）

予習内容：外部企業等との関係において必要となるコミュニケーションについて調べる。

予習時間：90分

復習内容：コミュニケーションを高めるための方策についてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：株式会社パーシヴァル ファウンダー 川辺 友之氏】

- ・外部資源の有効活用
- ・クラウドファンディングの活用

第11回 近畿大学卒起業家体験談①（授業形式：講義および演習）

予習内容：企業の設立経緯や事業内容について調べる。

予習時間：90分

復習内容：起業動機や事業目的を通して、代表者が実現したいことについてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：180株式会社 代表取締役 上仲 昌吾氏】

個性（DNA）を磨く

- ・個性を理解する
- ・個性の見つけ方
- ・個性をデザインする

第12回 近畿大学卒起業家体験談②（授業形式：講義および演習）

予習内容：企業の設立経緯や事業内容について調べる。

予習時間：90分

復習内容：起業動機や事業目的を通して、代表者が実現したいことについてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：株式会社音動 代表取締役 鳥山 郷氏】

起業というエゴイズムから社会との共創まで

- ・起業する機会と環境
- ・起業する機会と環境
- ・多様性とこれから

第13回 近畿大学卒起業家体験談③（授業形式：講義および演習）

予習内容：企業の設立経緯や事業内容について調べる。

予習時間：90分

復習内容：事業承継の動機や事業目的を通して、代表者が実現したいことについてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：錦城護謨株式会社 代表取締役社長 太田 泰造氏】

経営現場のリアル（価値創造）

- ・錦城護謨の事業内容ご紹介
- ・老舗企業が取り組む新規事業
- ・企業にとって一番大事なもの

第14回 近畿大学卒起業家体験談④（授業形式：講義および演習）

予習内容：企業の設立経緯や事業内容について調べる。

予習時間：90分

復習内容：起業動機や事業目的を通して、代表者が実現したいことについてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：リノベる株式会社 代表取締役社長 山下 智弘氏、株式会社 Schoo 代表取締役社長CEO 森 健志郎氏】

- ・リノベる株式会社・・・「リノベる」の起業まで
- ・株式会社Schoo・・・起業のきっかけ・起業からこれまで
- ・起業家対談

第15回 授業総括（授業形式：講義および演習）

予習内容：これまでの学修内容について復習する。

予習時間：90分

復習内容：社会・経済における起業の意味、必要性についてまとめる。

復習時間：90分

【講師：経営学部教授 文能 照之】

- ・起業に必要とされるマインドと基礎知識
- ・起業の目的とライフプラン
- ・起業の実現に向けて

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業
オムニバス形式で多様な企業等から講師を招いて行う授業

科目名 :	住みよい社会と福祉【KICSオンデマンド科目】						
英文名 :	Welfare and Society Better to Live in						
担当者 :	馬淵 敦士						
開講学科 :	共通教養科目						
単 位 :		開講年次 :		開講期 :		必修選択の別 :	
科目区分 :	共通教養科目						
備 考 :	理工応用化学科：学修・教育到達目標（A）に主体的に関与 理工機械工学科：機械工学コース学習・教育目標：A-1, JABEE基準1.2：(a)(b)に関与 理工電気電子通信工学科：学習・教育到達目標D2の達成に主体的に関与 理工社会環境工学科：ディプロマ・ポリシーの(A)、(G)に主体的に関与、(C)に付随的に関与						

■ 授業概要

「住みよい社会」とはどのような社会でしょうか。また、「福祉」とはどのようなイメージをもっているでしょうか。

「住みよい社会」を目指すには、現状がどうであるのかを理解し、その課題を把握し、解決していく視点が必要です。

さまざまな視点からの困りごとや、その解決について考えていくことができるようになってもらいたいと考えています。

なお、話の内容が判別可能な速度で視聴してください。各自、受講計画を立て、自主的に、受講いただきたいです。
(この授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。)

■ 授業形態

メディア授業（授業回の半数以上がメディア授業／それ以外は、対面授業）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的1（個人の自由と平等を尊重し、社会において担うべき責任を理解し、公正に判断する能力を養う。）の達成に関与する。

■ 成績評価方法および基準

中間レポート 50%

期末レポート 50%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をGoogleClassroomに掲載します。

■ 教科書

指定しない

■ 参考文献

特になし

■ 関連科目

なし

■ 授業評価アンケート実施方法

学部実施規定に準拠して行う。

■研究室・メールアドレス

mabuchi@kindai.ac.jp

■オフィスアワー

メールにて受け付けます。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 オリエンテーション/合理的配慮について

予習内容：シラバスを読む

予習時間：5分

復習内容：シンキングタイムの考察を行う。

復習時間：5分

オリエンテーション

全15回に行う内容の概略を説明する。

セクション1 福祉とは

セクション2 合理的配慮とは

セクション3 差別解消への取り組み

第2回 視覚障がい者と福祉

予習内容：視覚障がい者全般に関連する新聞記事などを読む

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察を行う。

復習時間：30分

セクション1 視覚障がい者とは？

セクション2 視覚障がい者への支援

セクション3 盲導犬の理解

第3回 聴覚障がい者と福祉

予習内容：聴覚障がい者全般に関連する新聞記事などを読む

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察を行う。

復習時間：30分

セクション1 聴覚障がいとは？

セクション2 聴覚障がい者の困りごとと支援

セクション3 電話リレーサービスとは

第4回 肢体不自由者と福祉

予習内容：肢体不自由者全般に関連する新聞記事などを読む

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察を行う。

復習時間：30分

セクション1 肢体不自由とは？

セクション2 肢体不自由者の困りごとと支援

セクション3 車いすでの旅行

第5回 知的障がい者と福祉

予習内容：知的障がい者全般に関連する新聞記事などを読む

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察を行う。

復習時間：30分

セクション1 知的障がい者とは？

セクション2 知的障がい者の困りごとと支援

セクション3 インクルーシブ教育とは

第6回 精神障がい者と福祉

予習内容：精神障がい者全般に関連する新聞記事などを読む

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察を行う。

復習時間：30分

セクション1 精神障がいとは？

- セクション2 精神障がい者の現状
セクション3 精神障がい者への対応

第7回 発達障がい者と福祉その1

予習内容：発達障がい者全般に関連する新聞記事などを読む

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察を行う。

復習時間：30分

- セクション1 発達障がいとは？
セクション2 小児期のADHD事例
セクション3 小児期のADHD事例その後

第8回 発達障がい者と福祉その2

予習内容：発達障がい者全般に関連する新聞記事などを読む

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察を行う。

復習時間：30分

- セクション1 成人期のADHD事例
セクション2 ASDの事例
セクション3 発達障がいへの合理的配慮

第9回 虐待について

予習内容：虐待全般に関連する新聞記事などを読む

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察を行う。

復習時間：30分

- セクション1 虐待とは？
セクション2 不適切なケア
セクション3 虐待防止への取り組み

第10回 認知症高齢者について

予習内容：認知症に関連する新聞記事などを読む

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察を行う。

復習時間：30分

- セクション1 認知症の原因疾患について
セクション2 認知症の症状について
セクション3 認知症高齢者への接し方

第11回 生活困窮者に関する取り組み

予習内容：生活困窮者に関連する新聞記事などを読む

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察を行う。

復習時間：30分

- セクション1 生活困窮者とは？
セクション2 生活困窮者の現状
セクション3 生活困窮者への支援

第12回 ヤングケアラーに関する取り組み

予習内容：ヤングケアラーに関連する新聞記事などを読む

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察を行う。

復習時間：30分

- セクション1 ヤングケアラーとは？
セクション2 ヤングケアラーの現状
セクション3 ヤングケアラーへの支援

第13回 LGBTに関する取り組み

予習内容：LGBTに関連する新聞記事などを読む

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察を行う。

復習時間：30分

- セクション1 LGBTとは？
- セクション2 SOGIとは？
- セクション3 LGBTへの具体的な取り組み

第14回 バリアフリーとユニバーサルデザイン

予習内容：バリアフリーとユニバーサルデザインに関連する新聞記事などを読む

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察を行う。

復習時間：30分

- セクション1 物理的バリアフリーとは？
- セクション2 心のバリアフリーとは？
- セクション3 ユニバーサルデザインとは？

第15回 まとめ・地域福祉について

予習内容：地域福祉に関連する新聞記事などを読む

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察を行う。

復習時間：30分

- セクション1 地域福祉とは？
- セクション2 地域福祉コーディネーターとは？
- セクション3 地域で支え合うということ

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 :	暮らしのなかの憲法【KICSオンデマンド科目】						
英文名 :	Constitution in Everyday Life						
担当者 :	二宮 貴美						
開講学科 :	共通教養科目						
単 位 :		開講年次 :		開講期 :		必修選択の別 :	
科目区分 :	共通教養科目						
備 考 :							

■ 授業概要

「憲法」と聞いて、みなさんはどのような印象をおもちですか。私たちは普段、憲法の内容を意識して生活することは、ほとんどないかと思えます。しかし、その実、憲法は、国の最高法規として、一人ひとりのもつ大事な権利や自由を定め、そしてそれらを守る仕組みを定めている、私たちにはなくてはならない大切な法律です。

そこで本授業では、憲法の基本的な枠組みや考え方を理解していただけるよう、具体的事例（裁判例を含む）の検討を行います。とはいえ、本授業は、暗記中心の学習ではありません。現実に生じている様々な事象の検討を通じて、それら問題を法的にどのように解決すべきか、みなさんには、その法的解決に向けた考え方を習得していただくこととなります。

なお、メディア受講に際しては、受講前の教科書熟読が必須となります。そして受講時は、各自、必要に応じてノートをとってください。と同時に、必要に応じて、条文を参照してください。条文の参照方法は、第1回の授業で説明をしています。

ちなみに、みなさん方の受講に際しては、大学からの受講案内でも示されているように、予め一定の期間を設定して、受講確認がなされる予定です。レポート作成・提出においても、メディア受講は前提（必須）条件となります（単位取得に際しては、10回以上：10回を含む、受講をしていることが必要です。）。加えて、話者の話の内容が判別可能な速度で視聴してください。詳細は、各担当者の案内に従ってください。各自、受講計画を立て、自覚的に、受講いただくことを、切に希望しております。

* 本メディア授業は、下記参考文献『判例で学ぶ日本国憲法』（有信堂）をベースに作成をしています。ただし、本授業は、過去に作成された「第2版」のもので作成しており、2024年春に刊行予定の「第3版」のものとは、内容において一部異なります（異なる部分は、当該文献の第5章・本メディア授業第9回「表現の自由」です。それ以外は、基本的な部分での違いはありません）。

* この授業はコンテンツ作成者重村が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講生は、この授業を受講することにより、①日本国憲法の基本的人権ならびに統治機構の概要を説明し、②憲法問題に対して自身の見解を示すことができるようになります。

■ 成績評価方法および基準

レポート課題（全3回） 60%

学期末試験（レポート課題） 40%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をGoogle Classroomに掲載します。

■ 教科書

指定しない

■ 参考文献

[ISBN]9784842010885 『判例で学ぶ日本国憲法[第三版]』(西村裕三編, 有信堂高文社: 2024)
2024年3月刊行予定

[ISBN]9784865281132 『立憲主義について 成立過程と現代(放送大学叢書)』(佐藤 幸治, 左右社: 2015)

[ISBN]9784000616072 『憲法 第八版』(芦部 信喜, 岩波書店: 2023)

[ISBN]9784641227613 『憲法学読本 第3版』(安西 文雄, 有斐閣: 2018)

[ISBN]9784641115453 『憲法判例百選I 第7版(別冊ジュリスト)』(長谷部 恭男, 有斐閣: 2019)

[ISBN]9784641115460 『憲法判例百選II 第7版(別冊ジュリスト)』(長谷部 恭男, 有斐閣: 2019)

■ 関連科目

「現代社会と法」など

■ 授業評価アンケート実施方法

本学の規定に準拠して実施します。

■ 研究室・メールアドレス

ninomiya_kimi@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

メールにより対応する

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 概要 憲法とはなにか(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 教科書の該当箇所を読み(1・18章)、内容の把握をする

予習時間: 60分

復習内容: 授業内容について自身でまとめる

復習時間: 120分

法律の学習を始めるために必要となる法学・憲法の基礎的事項を学ぶ

セクション1 法とは何か セクション概要 法とは何かについて学ぶ

セクション2 憲法とは何か セクション概要 憲法とは何かについて学ぶ

セクション3 日本国憲法概説 セクション概要 憲法制定過程と基本原則を学ぶ

第2回 立法権と行政権(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 教科書の該当箇所を読み(14・15章)、内容の把握をする

予習時間: 60分

復習内容: 授業内容について自身でまとめる

復習時間: 120分

三権分立のうち、立法権と行政権を学ぶ

セクション1 三権分立とは? セクション概要 三権分立の概説を学ぶ

セクション2 日本の統治機構・立法権 セクション概要 国会の組織と役割を学ぶ

セクション3 日本の統治機構・行政権 セクション概要 内閣の組織と役割を学ぶ

第3回 司法権(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 教科書の該当箇所を読み(16章の1と2)、内容の把握をする

予習時間: 60分

復習内容: 授業内容について自身でまとめる

復習時間: 120分

概要 三権分立のうち、司法権について学ぶ

セクション1 司法権とは? セクション概要 司法権の範囲と限界について学ぶ

セクション2 裁判所組織について セクション概要 裁判所組織と審級について学ぶ

セクション3 裁判官 セクション概要 裁判官の身分保障について学ぶ

第4回 司法審査権(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 教科書の該当箇所を読み(16章の3)、内容の把握をする

予習時間: 60分

復習内容: 授業内容について自身でまとめる

復習時間: 120分

概要 司法審査権について学ぶ

セクション1 司法審査権の目的と方法 セクション概要 司法審査権の目的と方法について学ぶ

セクション2 違憲審査基準 セクション概要 違憲審査基準について学ぶ

セクション3 司法積極主義・消極主義 セクション概要 司法積極主義・消極主義について学ぶ

第5回 基本的人権総論(授業形式: 講義および演習)

予習内容：教科書の該当箇所を読み（1章の3と4）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 基本的人権の総論部分を学ぶ

セクション1 人権の歴史 セクション概要 人権が確立していった過程を学ぶ

セクション2 人権の分類 セクション概要 日本国憲法の人権規定を概括的に学ぶ

セクション3 人権の限界 セクション概要 基本的人権の限界について学ぶ

第6回 幸福追求権（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（2章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 幸福追求権を軸に主張される権利や自由について学ぶ

セクション1 幸福追求権とは？ セクション概要 幸福追求権の概説を学ぶ

セクション2 プライバシーの権利 セクション概要 プライバシーの権利について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 プライバシーの権利の判例から学ぶ

第7回 法の下での平等（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（3章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 憲法が意味する平等とは何かを学ぶ

セクション1 憲法の平等保障規定 セクション概要 日本国憲法が規定する平等規定について学ぶ

セクション2 平等とは？ セクション概要 憲法が示す「平等」の意味について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 平等権に関する基本事例から学ぶ

第8回 信教の自由・政教分離（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（4章の2）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 信教の自由が保障する範囲と政教分離について学ぶ

セクション1 信教の自由とは？ セクション概要 信教の自由が規定された背景を学ぶ

セクション2 政教分離 セクション概要 政教分離原則について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 政教分離の基本事例から学ぶ

第9回 表現の自由（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（5章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 表現の自由がなぜ「優越的地位」にあるといわれるのか学ぶ

セクション1 表現の自由とは？ セクション概要 表現の自由の優越的地位の原則について学ぶ

セクション2 マス・メディアの取材・報道の自由 セクション概要 マス・メディアの取材・報道の自由について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 取材・報道の自由の基本事例から学ぶ

第10回 学問の自由・教育を受ける権利（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（6・10章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 大学における「学問」とはどういうものか学ぶ

セクション1 学問の自由とは？ セクション概要 学問の自由の保障の範囲と限界を学ぶ

セクション2 大学の自治 セクション概要 大学の自治について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 学問の自由の基本判例から学ぶ

第11回 経済活動の自由（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（7章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 私有財産制度について憲法から学ぶ

セクション1 経済活動の自由とは？ セクション概要 経済活動の自由について内容を学ぶ

セクション2 財産権の保障 セクション概要 財産権の保障について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 財産権の保障の基本事例から学ぶ

第12回 人身の自由（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（8章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 刑事疑義者・被告人の権利について学ぶ

セクション1 罪刑法定主義とは？ セクション概要 罪刑法定主義について学ぶ

セクション2 人身の自由 セクション概要 人身の自由の内容について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 人身の自由の基本事例から学ぶ

第13回 生存権（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（9章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 憲法が保障する「健康で文化的な最低限度の生活」とは何かを学ぶ

セクション1 生存権とは？ セクション概要 生存権の法的性格について学ぶ

セクション2 日本の社会保障制度 セクション概要 社会保障制度の種類と内容を概括的に学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 生存権の基本事例から学ぶ

第14回 労働基本権（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（11章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 労働三権について学ぶ。ここでは特に、公務員の労働基本権について学ぶ

セクション1 勤労の権利とは？ セクション概要 労働三権について学ぶ

セクション2 公務員の労働基本権 セクション概要 公務員の労働基本権について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 公務員の労働基本権の基本事例から学ぶ

第15回 参政権（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（13章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 選挙の基本原則について学ぶ

セクション1 参政権とは？ セクション概要 参政権の概要について学ぶ

セクション2 選挙制度の基本原則 セクション概要 選挙の5つの基本原則を学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 基本原則に関する基本事例から学ぶ

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 :	国際化と異文化理解【KICSオンデマンド科目】						
英文名 :	Internationalization and Cross Cultural Understanding						
担当者 :	大喜 祐太						
開講学科 :	共通教養科目						
単 位 :		開講年次 :		開講期 :		必修選択の別 :	
科目区分 :	共通教養科目						
備 考 :	理工応用化学科：学修・教育到達目標（B）に主体的に関与 理工電気電子通信工学科：学習・教育到達目標D2の達成に主体的に関与 理工社会環境工学科：ディプロマ・ポリシーの(A)、(G)に主体的に関与、(C)、(J)、(K)に付随的に関与						

■ 授業概要

この講義では中国・韓国・ドイツ・フランスの文化についての学びを通じ、国際社会の中で他者とともに生きるための方法を見出すことを目的とします。21世紀を生きる我々は、グローバル化の中で多様な価値観に触れています。その一方で各国のローカルな価値観に違和感を覚えたり、異文化圏との積極的な交流に不満を覚えたりする声が目につくようになりました。私たちは「国際化」と「異文化」という大きなテーマを改めて考え直す段階に来ているのではないのでしょうか。そこで本講義では中国・韓国・ドイツ・フランスを専門とする四名の教員が、各国の文化の特徴や問題を解説します。文化を「生きるための工夫」と見なし、他国の日常生活や民族間の摩擦の事例を読み解き、日本文化との共通点や差異を議論することで、国際社会を生きる我々の課題が浮き彫りになるはずで、講義を通じて国際社会を他者とともに生きるための基礎的な能力を獲得しましょう。

この授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。各回の作成者は授業計画の内容に記載のとおりです。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

この講義を受講することで、履修者は、

- ① 自分と他者、あるいは自文化と異文化を比較し、違いや共通点を見出す能力が身につく。
- ② 各回の課題やアクティビティを通じて自分の考えをしっかりとした言葉で伝えられるようになる。
- ③ 各国文化（中国・韓国・ドイツ・フランス）について基礎的な知識を得ることができる。

この科目の修得は、本学の定めるディプロマポリシー4（異質な価値や文化を理解し、自国の伝統や文化の意味を再発見する国際感覚を、身に付けていること）の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

中間レポート① 25%

中間レポート② 25%

期末レポート 50%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

課題の提出締切後に「課題の要点と解説」をGoogleClassroomに掲載します。

■ 教科書

教科書は使用しません。

■ 参考文献

[ISBN]4130322028 『国際文化論』 (平野 健一郎, 東京大学出版会 : 2000)

[ISBN]4795402310 『国際文化学への第一歩』 (静岡文化芸術大学文化政策学部国際文化学科, すずさわ書店 : 2013)

[ISBN]4469212709 『カルチュラル・スタディーズへの招待』 (本橋 哲也, 大修館書店 : 2002)

■ 関連科目

すべての外国語科目、国際化と異文化理解

■ 授業評価アンケート実施方法

本学の規程に準拠して実施します。

■ 研究室・メールアドレス

研究室 : EキャンパスG館5階

メールアドレス : daigi@socio.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

木曜2限

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 第1回 インTRODクシヨン ~ 文化とは何か~ (担当: 高橋梓) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 文化について自分なりのイメージを持っておく

予習時間: 120分

復習内容: 動画で教員の分析を確認する

復習時間: 60分

第1回は文化とは何かという点について、先行研究に基づき概念を確認するとともに、本講義の全体像について概要を説明します。

第2回 第2回 国際文化学とは何か (担当: 高橋梓) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 参考文献: 平野健一郎『国際文化論』を読む

予習時間: 120分

復習内容: 動画で教員の分析を確認する

復習時間: 60分

第2回は本講義が立脚する国際文化学について説明します。国際関係を文化で見る試みを具体的にどのように進めるべきか確認しましょう。

第3回 第3回 中国の基礎知識・言語 (担当: 阿部慎太郎) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 中国の人口、地域、通貨等についてインターネットやgoogle mapで調べておく

予習時間: 120分

復習内容: 動画で教員の分析を確認する

復習時間: 60分

第3回目からは本講義の第一部「生きるための工夫(アジア編)」となります。

第3、4回は中国の文化について考えていきます。

第3回は、中国の基礎知識(人口、民族、言語、地域、通貨など)について紹介します。

第4回 第4回 中国の食文化 (担当: 阿部慎太郎) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 中華料理について、インターネットで調べておく

予習時間: 120分

復習内容: 動画で教員の分析を確認する

復習時間: 60分

第3、4回は中国の文化について考えていきます。

第4回は、中国の食文化(中華料理、円卓、習慣など)について紹介します。

第5回 第5回 韓国の基礎知識・食文化 (担当: 小島大輝) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 韓国の地理、料理、食習慣について、インターネットで調べておく

予習時間: 120分

復習内容: 動画で教員の分析を確認する

復習時間: 60分

第5、6回は韓国の文化について考えていきます。

第5回は、韓国の基礎知識と食文化(韓国料理、食習慣など)について紹介します。

第6回 第6回 韓国の住居文化とその周辺 (担当: 小島大輝) (授業形式: 講義および演習)

予習内容: 韓国の住居について、インターネットで調べておく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第5、6回は韓国の文化について考えていきます。

第6回は、韓国の住居と暮らし、関連する周辺の文化について紹介します。

第7回 第7回 アジア編～まとめ～「小文字の文化」から国際社会を見る（担当：高橋梓、阿部慎太郎、小島大輝）（授業形式：講義および演習）

予習内容：動画を参照しながらこれまでの講義内容を思い出ししておく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第3～6回で学んだアジア文化の特徴を題材に、文化から国際社会を見ることの意義を議論します。

第8回 第8回 フランスの基礎知識・フランス語圏（担当：高橋梓）（授業形式：講義および演習）

予習内容：フランスの基本情報について書籍やインターネットで調べておく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第8回目からは本講義の第二部「文化と文化のあいだ（ヨーロッパ編）」となります。

第8、9回は中国の文化について考えていきます。

第8回はフランスの基礎知識と、フランス以外でフランス語を使用しているフランス語圏の実態や、フランス国内の少数言語について紹介します。

第9回 第9回 フランスの移民問題（担当：高橋梓）（授業形式：講義および演習）

予習内容：フランスの移民問題について書籍やインターネットで調べておく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第9回はフランスの移民の歴史、現在の状況、社会問題について説明します。

第10回 第10回 ドイツの基礎知識・ドイツ語圏（担当：大喜祐太）（授業形式：講義および演習）

予習内容：ドイツやドイツ語が話される地域の基本情報について書籍やインターネットで調べておく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第10、11回はドイツの文化について考えていきます。

第10回はドイツの基礎知識と、ドイツ以外でドイツ語を使用しているドイツ語圏の実態について、特に多言語国家スイスの言語状況を例にして紹介します。

第11回 第10回 ドイツの移民問題・ドイツ語圏（担当：大喜祐太）（授業形式：講義および演習）

予習内容：ドイツやドイツ語が話される地域の移民問題について書籍やインターネットで調べておく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第10回はドイツやドイツ語が話される地域の移民の歴史、現在の状況、社会問題について説明します。

第12回 第12回 まとめ～ヨーロッパ編～文化と文化のあいだ～（担当：高橋梓、大喜祐太）（授業形式：講義および演習）

予習内容：動画を参照しながらこれまでの講義内容を思い出ししておく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第8～11回で学んだヨーロッパ文化の特徴を題材に、主に文化触変論に基づき考察します。

第13回 第13回 自文化と異文化① プルーストを読む堀辰雄（前篇）（担当：高橋梓）（授業形式：講義および演習）

予習内容：堀辰雄とプルーストについて書籍やインターネットで調べておく

予習時間：120分

復習内容：動画で教員の分析を確認する

復習時間：60分

第13回目からは本講義の第三部「文化の接触と変容」となります。

第13回、14回は文学作品を題材として、文化を生きる個人の精神に目を向けます。

第13回は堀辰雄とマルセル・ブルーストが宗教芸術を見る視点に文化の差異を超えた共通点が潜むことを明らかにします。

第14回 第14回 自文化と異文化② ブルーストを読む堀辰雄(後編) (担当:高橋梓) (授業形式:講義および演習)

予習内容:堀辰雄『大和路・信濃路』を読んでおく

予習時間:120分

復習内容:動画で教員の分析を確認する

復習時間:60分

第14回は、前半で明らかにした両文化圏の共通点がなぜ起こるのか、作品分析に基づきながら理由を考察し、自文化と異文化のあいだに潜む普遍的な特性に迫ります。

第15回 第15回 まとめ～国際社会で他者と生きるために(担当:高橋梓、大喜祐太、阿部慎太郎、小島大輝) (授業形式:講義および演習)

予習内容:動画を参照しながらこれまでの講義内容を思い出ししておく

予習時間:120分

復習内容:動画で教員の分析を確認する

復習時間:60分

第15回では、これまでの講義内容を踏まえ、担当教員が日本に根付いた異文化の事例を挙げながら、国際社会の中で他者とともに生きるためのヒントや問題点を議論します。

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 :	日本語の技法【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Skills of Japanese Language				
担当者 :	山王丸 有紀				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	開講年次 :	開講期 :	必修選択の別 :		
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :	理工応用化学科：学修・教育目標（G）に主体的に関与 理工機械工学科：機械工学コース学習・教育目標：A-1, JABEE基準1.2：(a)(b)に関与 理工電気電子通信工学科：学習・教育到達目標D2の達成に付随的に関与 理工社会環境工学科：ディプロマ・ポリシーの(J)に主体的に関与、(C)に付随的に関与				

■ 授業概要

本講義は、それぞれの専門家によるオムニバス形式となっており、多様な日本語の魅力に触れるものとなっている。多角的な視点で日本語の基礎力を身につけられるようになっている。

授業形態は、オンデマンド形式であり、各自映像で自主学習を行い、その後課題に取り組む主体的な学びを促進するものである。

この授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。各回の作成者は授業計画の内容に記載のとおりです。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）・自主学習支援（e-learning等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

「日本語」を使ったコミュニケーションを「話す」「書く」「読む」「聞く」のあらゆる角度から捉え、日本語の特徴や文化的背景も踏まえてその技法を学び、表現力を高めることを目的としている。

またレポート作成をはじめとする大学生活に必要な学びの基礎のみならず、履歴書や自己アピールなどの就職活動、会議やプレゼンテーションなどの社会人生活に必要な実践力をも身につけることを目的としている。

この科目の修得は、本学が定めるディプロマポリシー1.の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

中間レポート 30%

期末レポート 30%

ディスカッション 20%

その他課題 ※詳細については別途Google Classroomでお知らせします。課題の提出があった場合でも、Google Classroomに入っていない場合は成績は付けられません。20%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

中間レポート、ディスカッション、その他課題については、GoogleClassroomにてその都度解説します。

期末レポート課題は、提出締切後に「レポート課題の要点と解説」をGoogleClassroomに掲載します。

■ 教科書

別途指示します。

■ 参考文献

[ISBN]4623078779 『知的技法としてのコミュニケーション:「話す力」は「生きる力」』（児島建次郎, ミネルヴァ書房: 2017)

■ 関連科目

日本語の技法、日本語の表現

■授業評価アンケート実施方法

規定に従い行います

■研究室・メールアドレス

21号館2階講師控室 sannoumaru14@kindai.ac.jp

■オフィスアワー

メールかクラスルームからお願いします。

(対応しづらい時間帯についてはクラスルームでご連絡する予定です)

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 話すための基礎技術（寺西裕一）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第2回 話し上手は聞き上手（寺西裕一）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第3回 パブリックスピーキング（寺西裕一）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第4回 声は人なり（都築由美）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第5回 プレゼンテーション（都築由美）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第6回 日本語の性格1（山王丸有紀）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第7回 日本語の性格2（山王丸有紀）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第8回 敬語（都築由美）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第9回 文法カテゴリーと表現性（森久国雄）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第10回 ことばのバリエーション（森久国雄）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第11回 レポートの書き方①（田中教子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第12回 レポートの書き方②（田中教子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第13回 レポートの書き方③（田中教子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第14回 企画書（石橋明子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第15回 メール・手紙（石橋明子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

定期試験を行う

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 :	日本語の技法【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Skills of Japanese Language				
担当者 :	森久 国雄				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	開講年次 :	開講期 :	必修選択の別 :		
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :	理工応用化学科：学修・教育目標（G）に主体的に関与 理工機械工学科：機械工学コース学習・教育目標：A-1, JABEE基準1.2：(a)(b)に関与 理工電気電子通信工学科：学習・教育到達目標D2の達成に付随的に関与 理工社会環境工学科：ディプロマ・ポリシーの(J)に主体的に関与、(C)に付随的に関与				

■ 授業概要

本講義は、それぞれの専門家によるオムニバス形式となっており、多様な日本語の魅力に触れるものとなっている。多角的な視点で日本語の基礎力を身につけられるようになっている。

授業形態は、オンデマンド形式であり、各自映像で自主学习を行い、その後課題に取り組む主体的な学びを促進するものである。

この授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。各回の作成者は授業計画の内容に記載のとおりです。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）・自主学习支援（e-learning等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

「日本語」を使ったコミュニケーションを「話す」「書く」「読む」「聞く」のあらゆる角度から捉え、日本語の特徴や文化的背景も踏まえてその技法を学び、表現力を高めることを目的としている。

またレポート作成をはじめとする大学生活に必要な学びの基礎のみならず、履歴書や自己アピールなどの就職活動、会議やプレゼンテーションなどの社会人生活に必要な実践力をも身につけることを目的としている。

この科目の修得は、本学が定めるディプロマポリシー1.の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

中間レポート 30%

期末レポート 30%

ディスカッション 20%

その他課題 ※詳細については別途Google Classroomでお知らせします。課題の提出があった場合でも、Google Classroomに入っていない場合は成績は付けられません。 20%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

GoogleClassroomを活用します。授業期間中の諸課題については、その都度コメントを掲載します。期末レポートについては、提出締切後に解説を掲載します。

■ 教科書

別途指示します。

■ 参考文献

[ISBN]4623078779 『知的技法としてのコミュニケーション:「話す力」は「生きる力」』（児島建次郎, ミネルヴァ書房: 2017)

■ 関連科目

日本語の技法、日本語の表現

■ 授業評価アンケート実施方法

規定に従い行います

■ 研究室・メールアドレス

morihisa_kunio@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

質問等はメールにて随時対応します。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 話すための基礎技術（寺西裕一）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第2回 話し上手は聞き上手（寺西裕一）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第3回 パブリックスピーキング（寺西裕一）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第4回 声は人なり（都築由美）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第5回 プレゼンテーション（都築由美）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第6回 日本語の性格1（山王丸有紀）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第7回 日本語の性格2（山王丸有紀）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第8回 敬語（都築由美）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第9回 文法カテゴリと表現性（森久国雄）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第10回 ことばのバリエーション（森久国雄）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第11回 レポートの書き方①（田中教子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第12回 レポートの書き方②（田中教子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第13回 レポートの書き方③（田中教子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第14回 企画書（石橋明子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第15回 メール・手紙（石橋明子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

定期試験を行う

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 :	日本語の技法【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Skills of Japanese Language				
担当者 :	小原 貴子				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	開講年次 :	開講期 :	必修選択の別 :		
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :	理工応用化学科：学修・教育目標（G）に主体的に関与 理工機械工学科：機械工学コース学習・教育目標：A-1, JABEE基準1.2：(a)(b)に関与 理工電気電子通信工学科：学習・教育到達目標D2の達成に付随的に関与 理工社会環境工学科：ディプロマ・ポリシーの(J)に主体的に関与、(C)に付随的に関与				

■ 授業概要

本講義は、それぞれの専門家によるオムニバス形式となっており、多様な日本語の魅力に触れるものとなっている。多角的な視点で日本語の基礎力を身につけられるようになっている。

授業形態は、オンデマンド形式であり、各自映像で自主学習を行い、その後課題に取り組む主体的な学びを促進するものである。

この授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。各回の作成者は授業計画の内容に記載のとおりです。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）・自主学習支援（e-learning等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

「日本語」を使ったコミュニケーションを「話す」「書く」「読む」「聞く」のあらゆる角度から捉え、日本語の特徴や文化的背景も踏まえてその技法を学び、表現力を高めることを目的としている。

またレポート作成をはじめとする大学生活に必要な学びの基礎のみならず、履歴書や自己アピールなどの就職活動、会議やプレゼンテーションなどの社会生活に必要な実践力をも身につけることを目的としている。

この科目の修得は、本学が定めるディプロマポリシー1.の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

中間レポート 30%

期末レポート 30%

ディスカッション 20%

その他課題 ※詳細については別途Google Classroomでお知らせします。課題の提出があった場合でも、Google Classroomに入っていない場合は成績は付けられません。20%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

GoogleClassroomにて返却

■ 教科書

別途指示します。

■ 参考文献

[ISBN]4623078779 『知的技法としてのコミュニケーション:「話す力」は「生きる力」』（児島建次郎, ミネルヴァ書房: 2017)

■ 関連科目

日本語の技法、日本語の表現

■授業評価アンケート実施方法

規定に従い行います

■研究室・メールアドレス

takako0987@kindai.ac.jp

■オフィスアワー

メールか GoogleClassroomの限定公開のコメントで連絡をとる

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 話すための基礎技術（寺西裕一）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第2回 話し上手は聞き上手（寺西裕一）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第3回 パブリックスピーキング（寺西裕一）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第4回 声は人なり（都築由美）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第5回 プレゼンテーション（都築由美）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第6回 日本語の性格1（山王丸有紀）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第7回 日本語の性格2（山王丸有紀）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第8回 敬語（都築由美）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第9回 文法カテゴリーと表現性（森久国雄）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第10回 ことばのバリエーション（森久国雄）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第11回 レポートの書き方①（田中教子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第12回 レポートの書き方②（田中教子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第13回 レポートの書き方③（田中教子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第14回 企画書（石橋明子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第15回 メール・手紙（石橋明子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

定期試験を行う

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 :	日本語の技法【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Skills of Japanese Language				
担当者 :	河崎 絵美				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	開講年次 :	開講期 :	必修選択の別 :		
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :	理工応用化学科：学修・教育目標（G）に主体的に関与 理工機械工学科：機械工学コース学習・教育目標：A-1, JABEE基準1.2：(a)(b)に関与 理工電気電子通信工学科：学習・教育到達目標D2の達成に付随的に関与 理工社会環境工学科：ディプロマ・ポリシーの(J)に主体的に関与、(C)に付随的に関与				

■ 授業概要

本講義は、それぞれの専門家によるオムニバス形式となっており、多様な日本語の魅力に触れるものとなっている。多角的な視点で日本語の基礎力を身につけられるようになっている。

授業形態は、オンデマンド形式であり、各自映像で自主学習を行い、その後課題に取り組む主体的な学びを促進するものである。

この授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。各回の作成者は授業計画の内容に記載のとおりです。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）・自主学習支援（e-learning等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

「日本語」を使ったコミュニケーションを「話す」「書く」「読む」「聞く」のあらゆる角度から捉え、日本語の特徴や文化的背景も踏まえてその技法を学び、表現力を高めることを目的としている。

またレポート作成をはじめとする大学生活に必要な学びの基礎のみならず、履歴書や自己アピールなどの就職活動、会議やプレゼンテーションなどの社会人生活に必要な実践力をも身につけることを目的としている。

この科目の修得は、本学が定めるディプロマポリシー1.の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

中間レポート 30%

期末レポート 30%

ディスカッション 20%

その他課題 ※詳細については別途Google Classroomでお知らせします。課題の提出があった場合でも、Google Classroomに入っていない場合は成績は付けられません。 20%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

課題提出後にGoogleclassroomにコメントを送信致します。

■ 教科書

別途指示します。

■ 参考文献

[ISBN]4623078779 『知的技法としてのコミュニケーション:「話す力」は「生きる力」』（児島建次郎, ミネルヴァ書房: 2017)

■ 関連科目

日本語の技法、日本語の表現

■授業評価アンケート実施方法

規定に従い行います

■研究室・メールアドレス

emi.kawasaki@lac.kindai.ac.jp

■オフィスアワー

月曜1限にGoogleclassroomあるいはemailで対応いたします。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 話すための基礎技術（寺西裕一）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第2回 話し上手は聞き上手（寺西裕一）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第3回 パブリックスピーキング（寺西裕一）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第4回 声は人なり（都築由美）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第5回 プレゼンテーション（都築由美）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第6回 日本語の性格1（山王丸有紀）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第7回 日本語の性格2（山王丸有紀）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第8回 敬語（都築由美）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第9回 文法カテゴリーと表現性（森久国雄）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第10回 ことばのバリエーション（森久国雄）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第11回 レポートの書き方①（田中教子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第12回 レポートの書き方②（田中教子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第13回 レポートの書き方③（田中教子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第14回 企画書（石橋明子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第15回 メール・手紙（石橋明子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

定期試験を行う

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 :	日本語の技法【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Skills of Japanese Language				
担当者 :	藤井 和子				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	開講年次 :	開講期 :	必修選択の別 :		
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :	理工応用化学科：学修・教育目標（G）に主体的に関与 理工機械工学科：機械工学コース学習・教育目標：A-1, JABEE基準1.2：(a)(b)に関与 理工電気電子通信工学科：学習・教育到達目標D2の達成に付随的に関与 理工社会環境工学科：ディプロマ・ポリシーの(J)に主体的に関与、(C)に付随的に関与				

■ 授業概要

本講義は、それぞれの専門家によるオムニバス形式となっており、多様な日本語の魅力に触れるものとなっている。多角的な視点で日本語の基礎力を身につけられるようになっている。

授業形態は、オンデマンド形式であり、各自映像で自主学習を行い、その後課題に取り組む主体的な学びを促進するものである。

この授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。各回の作成者は授業計画の内容に記載のとおりです。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）・自主学習支援（e-learning等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

「日本語」を使ったコミュニケーションを「話す」「書く」「読む」「聞く」のあらゆる角度から捉え、日本語の特徴や文化的背景も踏まえてその技法を学び、表現力を高めることを目的としている。

またレポート作成をはじめとする大学生活に必要な学びの基礎のみならず、履歴書や自己アピールなどの就職活動、会議やプレゼンテーションなどの社会生活に必要な実践力をも身につけることを目的としている。

この科目の修得は、本学が定めるディプロマポリシー1.の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

中間レポート 30%

期末レポート 30%

ディスカッション 20%

その他課題 ※詳細については別途Google Classroomでお知らせします。課題の提出があった場合でも、Google Classroomに入っていない場合は成績は付けられません。 20%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

GoogleClassroomで行います。クラスコード nc7hewkで参加してください。

■ 教科書

別途指示します。

■ 参考文献

[ISBN]4623078779 『知的技法としてのコミュニケーション:「話す力」は「生きる力」』（児島建次郎, ミネルヴァ書房: 2017)

■ 関連科目

日本語の技法、日本語の表現

■授業評価アンケート実施方法

規定に従い行います

■研究室・メールアドレス

k-fujii@kindai.ac.jp 研究室 なし

■オフィスアワー

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 話すための基礎技術（寺西裕一）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第2回 話し上手は聞き上手（寺西裕一）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第3回 パブリックスピーキング（寺西裕一）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第4回 声は人なり（都築由美）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第5回 プレゼンテーション（都築由美）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第6回 日本語の性格1（山王丸有紀）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第7回 日本語の性格2（山王丸有紀）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第8回 敬語（都築由美）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第9回 文法カテゴリーと表現性（森久国雄）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第10回 ことばのバリエーション（森久国雄）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第11回 レポートの書き方①（田中教子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第12回 レポートの書き方②（田中教子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第13回 レポートの書き方③（田中教子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第14回 企画書（石橋明子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

第15回 メール・手紙（石橋明子）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教材に目を通しておく

予習時間：30分

復習内容：授業内容を復習する

復習時間：30分

定期試験を行う

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 :	暮らしのなかの起業入門【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Introductory Course on Entrepreneurship				
担当者 :	文能 照之				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	開講年次 :	開講期 :	必修選択の別 :		
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :	理工応用化学科 : 学修・教育到達目標 (B) に付随的に関与 理工電気電子通信工学科 : 学習・教育到達目標D2の達成に付随的に関与 理工社会環境工学科 : ディプロマ・ポリシーの(A)に主体的に関与				

■ 授業概要

インターネットが普及したことにより、私たちの生活は利便性が一層高まり、豊かさを実感できるものとなっています。大学教育のなかにメディア授業が取り入れられたことは、学生の皆さんの自由度を高めているのではないのでしょうか。インターネットは、「時間」と「場所」の制約を取り除いてくれるため、自由な時間を有効に活用することができる時代になっているのです。また、特技や専門的知識を持った多くの方と繋がることもインターネットはいとも容易に実現してくれます。そのため、アイデア、経験や趣味を活かして起業に取り組む方も増えています。

本授業は、「起業」を特別なものとして取り扱うのではなく、誰もがチャレンジできるものとして位置付け、その基本的な事項を学修することを目的とします。企業に勤務することになった場合でも、常に新しい製品・サービスを創造することが求められる今、起業の仕組みや留意点について理解しておくことは、新事業創出の任務を担う際に有効となります。その意味で、起業は今後の生活を豊かなものとするための選択の幅を広げてくれるのです。授業では、起業についての知識とともに、事業活動を通して自らの夢を実現している起業家の実践例を通して、受講者が自身のキャリアについても検討することを期待しています。

【受講に当たっての留意点】

15回すべての受講を終えなかった場合、レポートを提出しても単位は付与しません。

■ 授業形態

メディア授業 (全授業回)

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業 (クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用)

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講者は、この授業を履修することによって、

- 1) 起業や新事業創出の意味と必要性
- 2) 起業や新事業創出を実現するために求められる基本的な事項
- 3) 起業家の実践例とキャリア

について学び、起業と社会・経済とのかかわりについて理解できるようになります。

この科目の履修は、本学が定めるディプロマポリシー 1 の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

学生間ディスカッション 20%

レポート 80%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

レポート課題の提出締切後に「レポート課題の要点と解説」をGoogleClassroomに掲載します。

■ 教科書

各回資料を配布します。

■ 参考文献

[ISBN]9784502178412 『アントレプレナーシップ教科書』 (松重 和美, 中央経済社 : 2016)

[ISBN]9784822259754 『起業の科学 スタートアップサイエンス』（田所 雅之, 日経BP : 2017)
[ISBN]9784478109502 『起業大全 スタートアップを科学する9つのフレームワーク』（田所 雅之, ダイヤモンド社 : 2020)
[ISBN]9784830949708 『はじめて学ぶ人のための経営学入門 [バージョン 2] (文真堂ブックス)』（信之, 片岡, 文真堂 : 2018)
[ISBN]9784502394713 『新しいビジネスをつくる』（加護野 忠男, 碩学舎 : 2021)
[ISBN]9784798167381 『ビジネスモデル・キャンパス徹底攻略ガイド 企業、チーム、個人を成功に導く「ビジネスモデル設計書」』（今津 美樹, 翔泳社 : 2020)
上記のほか必要に応じて紹介します。

■関連科目

現代社会と倫理、現代社会と法、ビジネス実務講座、国際化と異文化理解、情報処理基礎、データリテラシー入門、キャリアデザイン

■授業評価アンケート実施方法

本学の規程に準拠して実施します。

■研究室・メールアドレス

東大阪キャンパス 2 1 号館 8 階・tbunno<at>bus.kindai.ac.jp、送信時には<at>を@に変換してください。

■オフィスアワー

金曜日 3 時限（質問がある場合は、メールを通じて受け付けます）

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 授業総論（授業形式：講義および演習）

予習内容：起業の意味や必要性について調べる。

予習時間：90分

復習内容：大学における起業家教育の目的についてまとめる。

復習時間：90分

【講師：経営学部教授 文能 照之】

・授業内容と学修方法

【外部講師：株式会社パースペクティブ・メディア 代表取締役 小口 日出彦氏】

・起業とは

・起業というライフスタイル

第2回 起業家マインドの重要性（授業形式：講義および演習）

予習内容：アントレプレナーシップについて調べる。

予習時間：90分

復習内容：イノベーションの事例についてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：株式会社01START 代表取締役 芝先 恵介氏】

・アントレプレナーシップ（起業家精神）とは

・イノベーションとは

・起業とイノベーション

第3回 企業の役割と経営指針（授業形式：講義および演習）

予習内容：企業の役割について調べる。

予習時間：90分

復習内容：企業のミッション・ビジョン・バリューについてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：株式会社01START 代表取締役 芝先 恵介氏】

・企業の社会的役割

・企業の社会的責任

・ミッション、ビジョン、バリューとは

第4回 経営に必要とされる資源（授業形式：講義および演習）

予習内容：経営に必要とされる、ヒト・モノ・カネについて調べる。

予習時間：90分

復習内容：経営を続けるために経営資源の活用方法についてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：株式会社01START 代表取締役 芝先 恵介氏】

・経営の基本とは

・経営資源とは

第5回 アイデアをビジネスに変える（授業形式：講義および演習）

予習内容：アイデアの出し方について調べる。

予習時間：90分

復習内容：効果的なアイデアの発想法やアイデアの膨らませ方、収束の仕方についてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：株式会社01START 代表取締役 芝先 恵介氏】

- ・ビジネスを生み出すために
- ・ビジネスアイデアの発想法
- ・オズボーンのチェックリストを活用した事例

第6回 チーム作りと評価（授業形式：講義および演習）

予習内容：経営にチーム作りが必要な理由、及びチーム作りの方法について調べる。

予習時間：90分

復習内容：メンバーの有する能力を生かすためのチーム作りの方法についてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：株式会社01START 代表取締役 芝先 恵介氏】

- ・サイドプロジェクトではじめる
- ・スタートアップに必要な人材
- ・解決したい課題について

第7回 事業構想（前半）（授業形式：講義および演習）

予習内容：事業アイデアを形にするための方法について調べる。

予習時間：90分

復習内容：ビジネスモデル・キャンパスの活用方法についてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：株式会社01START 代表取締役 芝先 恵介氏】

- ・事業アイデアを形にするビジネスモデル・キャンパスとは
- ・ビジネスモデル・キャンパスの要素を理解する【お客様にかかわる収入】

第8回 事業構想（後半）（授業形式：講義および演習）

予習内容：事例企業のビジネスモデルについて調べ、ビジネスモデル・キャンパスを作成する。

予習時間：90分

復習内容：授業で提示されたビジネスモデル・キャンパスをもとに、その活用方法についてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：株式会社01START 代表取締役 芝先 恵介氏】

- ・ビジネスモデル・キャンパスの要素を理解する。【活動とコスト】
- ・事例企業を参考にしてビジネスモデル・キャンパスを作成する

第9回 事業の実現①（内製）（授業形式：講義および演習）

予習内容：企業内部において必要となるコミュニケーションについて調べる。

予習時間：90分

復習内容：コミュニケーションを高めるための方策についてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：グッドニュース情報発信塾 塾長 大谷 邦郎氏】

- ・賛同を得て、応援してもらうためのコミュニケーション
- ・事業協力者に向けたプレゼンテーション

第10回 事業の実現②（外注）（授業形式：講義および演習）

予習内容：外部企業等との関係において必要となるコミュニケーションについて調べる。

予習時間：90分

復習内容：コミュニケーションを高めるための方策についてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：株式会社パーシヴァル ファウンダー 川辺 友之氏】

- ・外部資源の有効活用
- ・クラウドファンディングの活用

第11回 近畿大学卒起業家体験談①（授業形式：講義および演習）

予習内容：企業の設立経緯や事業内容について調べる。

予習時間：90分

復習内容：起業動機や事業目的を通して、代表者が実現したいことについてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：180株式会社 代表取締役 上仲 昌吾氏】

個性（DNA）を磨く

- ・個性を理解する
- ・個性の見つけ方
- ・個性をデザインする

第12回 近畿大学卒起業家体験談②（授業形式：講義および演習）

予習内容：企業の設立経緯や事業内容について調べる。

予習時間：90分

復習内容：起業動機や事業目的を通して、代表者が実現したいことについてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：株式会社音動 代表取締役 鳥山 郷氏】

起業というエゴイズムから社会との共創まで

- ・起業する機会と環境
- ・起業する機会と環境
- ・多様性とこれから

第13回 近畿大学卒起業家体験談③（授業形式：講義および演習）

予習内容：企業の設立経緯や事業内容について調べる。

予習時間：90分

復習内容：事業承継の動機や事業目的を通して、代表者が実現したいことについてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：錦城護謨株式会社 代表取締役社長 太田 泰造氏】

経営現場のリアル（価値創造）

- ・錦城護謨の事業内容ご紹介
- ・老舗企業が取り組む新規事業
- ・企業にとって一番大事なもの

第14回 近畿大学卒起業家体験談④（授業形式：講義および演習）

予習内容：企業の設立経緯や事業内容について調べる。

予習時間：90分

復習内容：起業動機や事業目的を通して、代表者が実現したいことについてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：リノベる株式会社 代表取締役社長 山下 智弘氏、株式会社 Schoo 代表取締役社長CEO 森 健志郎氏】

- ・リノベる株式会社・・・「リノベる」の起業まで
- ・株式会社Schoo・・・起業のきっかけ・起業からこれまで
- ・起業家対談

第15回 授業総括（授業形式：講義および演習）

予習内容：これまでの学修内容について復習する。

予習時間：90分

復習内容：社会・経済における起業の意味、必要性についてまとめる。

復習時間：90分

【講師：経営学部教授 文能 照之】

- ・起業に必要とされるマインドと基礎知識
- ・起業の目的とライフプラン
- ・起業の実現に向けて

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業
オムニバス形式で多様な企業等から講師を招いて行う授業

科目名 :	暮らしのなかの起業入門【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Introductory Course on Entrepreneurship				
担当者 :	芝先 恵介				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :		開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :	理工応用化学科：学修・教育到達目標（B）に付随的に関与 理工電気電子通信工学科：学習・教育到達目標D2の達成に付随的に関与 理工社会環境工学科：ディプロマ・ポリシーの(A)に主体的に関与				

■ 授業概要

インターネットが普及したことにより、私たちの生活は利便性が一層高まり、豊かさを実感できるものとなっています。大学教育のなかにメディア授業が取り入れられたことは、学生の皆さんの自由度を高めているのではないのでしょうか。インターネットは、「時間」と「場所」の制約を取り除いてくれるため、自由な時間を有効に活用することができる時代になっているのです。また、特技や専門的知識を持った多くの方と繋がることもインターネットはいとも容易に実現してくれます。そのため、アイデア、経験や趣味を活かして起業に取り組む方も増えています。

本授業は、「起業」を特別なものとして取り扱うのではなく、誰もがチャレンジできるものとして位置付け、その基本的な事項を学修することを目的とします。企業に勤務することになった場合でも、常に新しい製品・サービスを創造することが求められる今、起業の仕組みや留意点について理解しておくことは、新事業創出の任務を担う際に有効となります。その意味で、起業は今後の生活を豊かなものとするための選択の幅を広げてくれるのです。授業では、起業についての知識とともに、事業活動を通して自らの夢を実現している起業家の実践例を通して、受講者が自身のキャリアについても検討することを期待しています。

【受講に当たっての留意点】

15回すべての受講を終えなかった場合、レポートを提出しても単位は付与しません。

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講者は、この授業を履修することによって、

- 1) 起業や新事業創出の意味と必要性
- 2) 起業や新事業創出を実現するために求められる基本的な事項
- 3) 起業家の実践例とキャリア

について学び、起業と社会・経済とのかかわりについて理解できるようになります。

この科目の履修は、本学が定めるディプロマポリシー 1 の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

学生間ディスカッション 20%

レポート 80%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

レポート課題の提出締切後に「レポート課題の要点と解説」をGoogleClassroomに掲載します。

■ 教科書

各回資料を配布します。

■ 参考文献

[ISBN]9784502178412 『アントレプレナーシップ教科書』（松重 和美，中央経済社：2016）

[ISBN]9784822259754 『起業の科学 スタートアップサイエンス』（田所 雅之, 日経BP : 2017)
[ISBN]9784478109502 『起業大全 スタートアップを科学する9つのフレームワーク』（田所 雅之, ダイヤモンド社 : 2020)
[ISBN]9784830949708 『はじめて学ぶ人のための経営学入門 [バージョン 2] (文真堂ブックス)』（信之, 片岡, 文真堂 : 2018)
[ISBN]9784502394713 『新しいビジネスをつくる』（加護野 忠男, 碩学舎 : 2021)
[ISBN]9784798167381 『ビジネスモデル・キャンパス徹底攻略ガイド 企業、チーム、個人を成功に導く「ビジネスモデル設計書」』（今津 美樹, 翔泳社 : 2020)
上記のほか必要に応じて紹介します。

■関連科目

現代社会と倫理、現代社会と法、ビジネス実務講座、国際化と異文化理解、情報処理基礎、データリテラシー入門、キャリアデザイン

■授業評価アンケート実施方法

本学の規程に準拠して実施します。

■研究室・メールアドレス

keisuke.shibasaki@kindai.ac.jp.

■オフィスアワー

質問等は随時対応します

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 授業総論（授業形式：講義および演習）

予習内容：起業の意味や必要性について調べる。

予習時間：90分

復習内容：大学における起業家教育の目的についてまとめる。

復習時間：90分

【講師：経営学部教授 文能 照之】

・授業内容と学修方法

【外部講師：株式会社パースペクティブ・メディア 代表取締役 小口 日出彦氏】

・起業とは

・起業というライフスタイル

第2回 起業家マインドの重要性（授業形式：講義および演習）

予習内容：アントレプレナーシップについて調べる。

予習時間：90分

復習内容：イノベーションの事例についてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：株式会社01START 代表取締役 芝先 恵介氏】

・アントレプレナーシップ（起業家精神）とは

・イノベーションとは

・起業とイノベーション

第3回 企業の役割と経営指針（授業形式：講義および演習）

予習内容：企業の役割について調べる。

予習時間：90分

復習内容：企業のミッション・ビジョン・バリューについてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：株式会社01START 代表取締役 芝先 恵介氏】

・企業の社会的役割

・企業の社会的責任

・ミッション、ビジョン、バリューとは

第4回 経営に必要とされる資源（授業形式：講義および演習）

予習内容：経営に必要とされる、ヒト・モノ・カネについて調べる。

予習時間：90分

復習内容：経営を続けるために経営資源の活用方法についてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：株式会社01START 代表取締役 芝先 恵介氏】

・経営の基本とは

・経営資源とは

第5回 アイデアをビジネスに変える（授業形式：講義および演習）

予習内容：アイデアの出し方について調べる。

予習時間：90分

復習内容：効果的なアイデアの発想法やアイデアの膨らませ方、収束の仕方についてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：株式会社01START 代表取締役 芝先 恵介氏】

- ・ビジネスを生み出すために
- ・ビジネスアイデアの発想法
- ・オズボーンのチェックリストを活用した事例

第6回 チーム作りと評価（授業形式：講義および演習）

予習内容：経営にチーム作りが必要な理由、及びチーム作りの方法について調べる。

予習時間：90分

復習内容：メンバーの有する能力を生かすためのチーム作りの方法についてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：株式会社01START 代表取締役 芝先 恵介氏】

- ・サイドプロジェクトではじめる
- ・スタートアップに必要な人材
- ・解決したい課題について

第7回 事業構想（前半）（授業形式：講義および演習）

予習内容：事業アイデアを形にするための方法について調べる。

予習時間：90分

復習内容：ビジネスモデル・キャンパスの活用方法についてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：株式会社01START 代表取締役 芝先 恵介氏】

- ・事業アイデアを形にするビジネスモデル・キャンパスとは
- ・ビジネスモデル・キャンパスの要素を理解する【お客様にかかわる収入】

第8回 事業構想（後半）（授業形式：講義および演習）

予習内容：事例企業のビジネスモデルについて調べ、ビジネスモデル・キャンパスを作成する。

予習時間：90分

復習内容：授業で提示されたビジネスモデル・キャンパスをもとに、その活用方法についてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：株式会社01START 代表取締役 芝先 恵介氏】

- ・ビジネスモデル・キャンパスの要素を理解する。【活動とコスト】
- ・事例企業を参考にしてビジネスモデル・キャンパスを作成する

第9回 事業の実現①（内製）（授業形式：講義および演習）

予習内容：企業内部において必要となるコミュニケーションについて調べる。

予習時間：90分

復習内容：コミュニケーションを高めるための方策についてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：グッドニュース情報発信塾 塾長 大谷 邦郎氏】

- ・賛同を得て、応援してもらうためのコミュニケーション
- ・事業協力者に向けたプレゼンテーション

第10回 事業の実現②（外注）（授業形式：講義および演習）

予習内容：外部企業等との関係において必要となるコミュニケーションについて調べる。

予習時間：90分

復習内容：コミュニケーションを高めるための方策についてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：株式会社パーシヴァル ファウンダー 川辺 友之氏】

- ・外部資源の有効活用
- ・クラウドファンディングの活用

第11回 近畿大学卒起業家体験談①（授業形式：講義および演習）

予習内容：企業の設立経緯や事業内容について調べる。

予習時間：90分

復習内容：起業動機や事業目的を通して、代表者が実現したいことについてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：180株式会社 代表取締役 上仲 昌吾氏】

個性（DNA）を磨く

- ・個性を理解する
- ・個性の見つけ方
- ・個性をデザインする

第12回 近畿大学卒起業家体験談②（授業形式：講義および演習）

予習内容：企業の設立経緯や事業内容について調べる。

予習時間：90分

復習内容：起業動機や事業目的を通して、代表者が実現したいことについてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：株式会社音動 代表取締役 鳥山 郷氏】

起業というエゴイズムから社会との共創まで

- ・起業する機会と環境
- ・起業する機会と環境
- ・多様性とこれから

第13回 近畿大学卒起業家体験談③（授業形式：講義および演習）

予習内容：企業の設立経緯や事業内容について調べる。

予習時間：90分

復習内容：事業承継の動機や事業目的を通して、代表者が実現したいことについてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：錦城護謨株式会社 代表取締役社長 太田 泰造氏】

経営現場のリアル（価値創造）

- ・錦城護謨の事業内容ご紹介
- ・老舗企業が取り組む新規事業
- ・企業にとって一番大事なもの

第14回 近畿大学卒起業家体験談④（授業形式：講義および演習）

予習内容：企業の設立経緯や事業内容について調べる。

予習時間：90分

復習内容：起業動機や事業目的を通して、代表者が実現したいことについてまとめる。

復習時間：90分

【外部講師：リノベる株式会社 代表取締役社長 山下 智弘氏、株式会社 Schoo 代表取締役社長CEO 森 健志郎氏】

- ・リノベる株式会社・・・「リノベる」の起業まで
- ・株式会社Schoo・・・起業のきっかけ・起業からこれまで
- ・起業家対談

第15回 授業総括（授業形式：講義および演習）

予習内容：これまでの学修内容について復習する。

予習時間：90分

復習内容：社会・経済における起業の意味、必要性についてまとめる。

復習時間：90分

【講師：経営学部教授 文能 照之】

- ・起業に必要とされるマインドと基礎知識
- ・起業の目的とライフプラン
- ・起業の実現に向けて

■ ホームページ

■ 実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業
オムニバス形式で多様な企業等から講師を招いて行う授業

科目名 :	住みよい社会と福祉【KICSオンデマンド科目】						
英文名 :	Welfare and Society Better to Live in						
担当者 :	広瀬 美千代						
開講学科 :	共通教養科目						
単 位 :		開講年次 :		開講期 :		必修選択の別 :	
科目区分 :	共通教養科目						
備 考 :							

■ 授業概要

人々の生活に起こりうる問題を社会的に認識し、社会福祉との関連を捉え、社会問題への方策を考えることを促す。また、社会福祉の基本的理念、価値、方法や基礎となる法律・制度を理解することを目的とする。授業は社会福祉の対象や、支援の方法を理解できるように、新聞の記事などを紹介しながらプリント記入で整理していく。

■ 授業形態

対面授業（授業回の半数以上が対面授業／それ以外は、メディア授業）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート・グループワーク

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

自主学習支援（e-learning等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

- ・我が国の社会問題を正しく認識し、必要な福祉の理念や制度を理解する。
 - ・福祉サービスや支援専門職の特性を理解する。
 - ・高齢者・児童・障害者福祉、社会保障・公的扶助の特徴を理解する。
- この科目の修得は、本学科の定めるディプロマポリシー1、3、7の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

試験 80%
課題 10%
授業内におけるグループワーク参加や小レポート作成の程度 10%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

翌週の授業で解答などを解説します。

■ 教科書

使用しません。

■ 参考文献

適宜紹介する

■ 関連科目

なし

■ 授業評価アンケート実施方法

学部実施規定に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

naduki1125@yahoo.co.jp

■ オフィスアワー

金曜日昼休み

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 社会福祉とは

予習内容：福祉のニュースを見ておく

予習時間：60分

復習内容：プリントを確認しておく。

復習時間：60分

社会問題を表す用語とその意味を理解する。社会学と社会福祉学の違いから社会福祉の目的と概念を理解する。また身近に起こりうる問題に関してどのような問題が起こり、それに対してどのように解決していくのが適切であるか討議することで、具体的に考えることを促す。プリントで確認する。

第2回 ソーシャルネットワークの概念を知る

予習内容：地域や町内会活動を調べる

予習時間：60分

復習内容：プリントを確認しておく。

復習時間：60分

専門職としての社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士の役割や特徴を学習する。社会福祉の理念を理解する。地域福祉の実際を理解する。

第3回 人々の生活とQOL,自立、ノーマライゼーション

予習内容：福祉問題を調べておく

予習時間：60分

復習内容：プリントを確認しておく。

復習時間：60分

日本の福祉の歴史的展開における自立、QOL,ノーマライゼーションなどの概念を理解し、今日の問題を検討する示唆を得る。

第4回 社会福祉の動向

予習内容：人権問題を調べておく

予習時間：60分

復習内容：プリントを確認しておく。

復習時間：60分

人間の基本的要求とニーズについて理解し、それを満たすための制度や専門職の業務を学ぶ。福祉の動向を学び、現代における社会福祉の方法論を理解する。記事やニュースの解説から問題の把握と共に支援者の目的、役割、意識を理解する

第5回 高齢者福祉論(1)

予習内容：高齢者の生活にある問題を考えておく

予習時間：60分

復習内容：プリントを確認しておく。

復習時間：60分

- ・高齢者のニーズについて理解し、それを満たすための制度や専門職を学習する。
- ・少子高齢社会の特徴や、要介護・元気高齢者への支援の方法、我が国の施策の概要を学ぶ。

第6回 高齢者福祉論(2)

予習内容：介護の問題を調べる

予習時間：60分

復習内容：プリントを確認しておく。

復習時間：60分

介護保険制度の基本的仕組みを学習し、サービスの種類とその具体的事例を理解する。

第7回 障害者福祉論(1)

予習内容：障害者の生活問題を調べる

予習時間：60分

復習内容：プリントを確認しておく。

復習時間：60分

- ・障害者の抱える問題を考える。
- ・三大障害の特徴や支える法律を学ぶ。
- ・障害の定義と区分
- ・障害者差別の現実について理解する。

第8回 障害者福祉論(2)

予習内容：身近なバリアフリーを考える

予習時間：60分

復習内容：プリントを確認しておく。

復習時間：60分

- ・バリアフリーの概念、歴史的展開、施策、事例を学習する。

第9回 児童福祉

予習内容：児童虐待の新聞記事を読む

予習時間：60分

復習内容：プリントを確認しておく。

復習時間：60分

- ・我が国におけるひとり親家庭の問題を考える
- ・児童虐待の実態とその制度、支援する専門職を学ぶ
- ・基本的な施設と役割を理解する

第10回 発達障害

予習内容：発達障害者の問題を考える

予習時間：60分

復習内容：プリントを確認しておく。

復習時間：60分

発達障害の種類、特徴や生活問題、その支援方法などについて学習する。

バリアフリーの法案を知る

第11回 社会保障制度の展開（1）

予習内容：社会保険に関して調べる。

予習時間：60分

復習内容：プリントを確認しておく。

復習時間：60分

- ・我が国の社会保険制度の概要
- ・年金制度、医療制度、雇用保険、労災の特徴について理解する

第12回 社会保障の展開（2）

予習内容：生活保護に関する新聞を読む

予習時間：60分

復習内容：プリントを確認しておく。

復習時間：60分

- ・学生納付特例制度について理解する
- ・年金制度について理解する

第13回 生活困窮者支援

予習内容：今までの学習内容を振り返る

予習時間：60分

復習内容：試験内容を確認する。

復習時間：60分

- ・孤立や孤独の実態を知る
- ・生活困窮者の要因を知る
- ・生活保護の実態を知る

第14回 福祉コミュニケーション

予習内容：人間関係のコミュニケーションについて考えておく。

予習時間：60分

復習内容：プリントを確認しておく。

復習時間：60分

- ・相談援助における基本的原則
- ・事例で対人援助コミュニケーションのあり方を学ぶ

第15回 ソーシャルワークと連携

予習内容：社会福祉に関する文献を読む

予習時間：60分

復習内容：プリントを確認しておく。

復習時間：60分

- ・社会福祉の基本的理念、制度、価値、ソーシャルワークの基本を復習する
- ・課題を考える

定期試験

授業で習った生きづらい人の生活上のニーズ、社会福祉の基本的理念、方法論、政策、制度の概念について出題する。

- ホームページ
- 実践的な教育内容

-

科目名 :	住みよい社会と福祉【KICSオンデマンド科目】						
英文名 :	Welfare and Society Better to Live in						
担当者 :	馬淵 敦士						
開講学科 :	共通教養科目						
単 位 :		開講年次 :		開講期 :		必修選択の別 :	
科目区分 :	共通教養科目						
備 考 :	理工学部応用化学科：学修・教育到達目標（A）に主体的に関与、 理工学部機械工学科：機械工学コース学習・教育目標：A-1, JABEE基準1.2：(a)(b)に関与、 理工学部電気電子通信工学科：学習・教育到達目標D2の達成に主体的に関与、 理工学部社会環境工学科：ディプロマ・ポリシーの(A)、(G)に主体的に関与、(C)に付随的に関与						

■ 授業概要

「住みよい社会」とはどのような社会でしょうか。また、「福祉」とはどのようなイメージをもっているでしょうか。

「住みよい社会」を目指すには、現状がどうであるのかを理解し、その課題を把握し、解決していく視点が必要です。

さまざまな視点からの困りごとや、その解決について考えていくことができるようになってもらいたいと考えています。

なお、話の内容が判別可能な速度で視聴してください。各自、受講計画を立て、自主的に、受講いただきたいです。
 （この授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。）

■ 授業形態

メディア授業（授業回の半数以上がメディア授業／それ以外は、対面授業）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的1（個人の自由と平等を尊重し、社会において担うべき責任を理解し、公正に判断する能力を養う。）の達成に関与する。

■ 成績評価方法および基準

中間レポート 50%

期末レポート 50%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をGoogleClassroomに掲載します。

■ 教科書

指定しない

■ 参考文献

特になし

■ 関連科目

なし

■ 授業評価アンケート実施方法

学部実施規定に準拠して行う。

■研究室・メールアドレス

mabuchi@kindai.ac.jp

■オフィスアワー

メールにて受け付けます。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 オリエンテーション/合理的配慮について

予習内容：シラバスを読む

予習時間：5分

復習内容：シンキングタイムの考察を行う。

復習時間：5分

オリエンテーション

全15回に行う内容の概略を説明する。

セクション1 福祉とは

セクション2 合理的配慮とは

セクション3 差別解消への取り組み

第2回 視覚障がい者と福祉

予習内容：視覚障がい者全般に関連する新聞記事などを読む

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察を行う。

復習時間：30分

セクション1 視覚障がい者とは？

セクション2 視覚障がい者への支援

セクション3 盲導犬の理解

第3回 聴覚障がい者と福祉

予習内容：聴覚障がい者全般に関連する新聞記事などを読む

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察を行う。

復習時間：30分

セクション1 聴覚障がいとは？

セクション2 聴覚障がい者の困りごとと支援

セクション3 電話リレーサービスとは

第4回 肢体不自由者と福祉

予習内容：肢体不自由者全般に関連する新聞記事などを読む

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察を行う。

復習時間：30分

セクション1 肢体不自由とは？

セクション2 肢体不自由者の困りごとと支援

セクション3 車いすでの旅行

第5回 知的障がい者と福祉

予習内容：知的障がい者全般に関連する新聞記事などを読む

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察を行う。

復習時間：30分

セクション1 知的障がい者とは？

セクション2 知的障がい者の困りごとと支援

セクション3 インクルーシブ教育とは

第6回 精神障がい者と福祉

予習内容：精神障がい者全般に関連する新聞記事などを読む

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察を行う。

復習時間：30分

セクション1 精神障がいとは？

- セクション2 精神障がい者の現状
セクション3 精神障がい者への対応

第7回 発達障がい者と福祉その1

予習内容：発達障がい者全般に関連する新聞記事などを読む

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察を行う。

復習時間：30分

- セクション1 発達障がいとは？
セクション2 小児期のADHD事例
セクション3 小児期のADHD事例その後

第8回 発達障がい者と福祉その2

予習内容：発達障がい者全般に関連する新聞記事などを読む

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察を行う。

復習時間：30分

- セクション1 成人期のADHD事例
セクション2 ASDの事例
セクション3 発達障がいへの合理的配慮

第9回 虐待について

予習内容：虐待全般に関連する新聞記事などを読む

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察を行う。

復習時間：30分

- セクション1 虐待とは？
セクション2 不適切なケア
セクション3 虐待防止への取り組み

第10回 認知症高齢者について

予習内容：認知症に関連する新聞記事などを読む

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察を行う。

復習時間：30分

- セクション1 認知症の原因疾患について
セクション2 認知症の症状について
セクション3 認知症高齢者への接し方

第11回 生活困窮者に関する取り組み

予習内容：生活困窮者に関連する新聞記事などを読む

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察を行う。

復習時間：30分

- セクション1 生活困窮者とは？
セクション2 生活困窮者の現状
セクション3 生活困窮者への支援

第12回 ヤングケアラーに関する取り組み

予習内容：ヤングケアラーに関連する新聞記事などを読む

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察を行う。

復習時間：30分

- セクション1 ヤングケアラーとは？
セクション2 ヤングケアラーの現状
セクション3 ヤングケアラーへの支援

第13回 LGBTに関する取り組み

予習内容：LGBTに関連する新聞記事などを読む

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察を行う。

復習時間：30分

- セクション1 LGBTとは？
- セクション2 SOGIとは？
- セクション3 LGBTへの具体的な取り組み

第14回 バリアフリーとユニバーサルデザイン

予習内容：バリアフリーとユニバーサルデザインに関連する新聞記事などを読む

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察を行う。

復習時間：30分

- セクション1 物理的バリアフリーとは？
- セクション2 心のバリアフリーとは？
- セクション3 ユニバーサルデザインとは？

第15回 まとめ・地域福祉について

予習内容：地域福祉に関連する新聞記事などを読む

予習時間：30分

復習内容：シンキングタイムの考察を行う。

復習時間：30分

- セクション1 地域福祉とは？
- セクション2 地域福祉コーディネーターとは？
- セクション3 地域で支え合うということ

■ホームページ

■実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 :	暮らしのなかの憲法【KICSオンデマンド科目】						
英文名 :	Constitution in Everyday Life						
担当者 :	西塚 直之						
開講学科 :	共通教養科目						
単 位 :		開講年次 :		開講期 :		必修選択の別 :	
科目区分 :	共通教養科目						
備 考 :	理工応用化学科:学修・教育到達目標(A)に主体的に関与 理工電気電子通信工学科:学習・教育到達目標D1の達成に付随的に関与 理工社会環境工学科:ディプロマ・ポリシーの(A)、(G)に主体的に関与、(C)、(I)に付随的に関与						

■授業概要

「憲法」と聞いて、みなさんはどのような印象をおもちですか。私たちは普段、憲法が存在を意識して生活することは、ほとんどないかと思えます。しかし、その実、憲法は、国の最高法規として、一人ひとりのもつ大事な権利や自由を定め、そしてそれらを守る仕組みを定めている、私たちにはなくてはならない大切な法律です。

そこで本授業では、憲法の基本的な枠組みや考え方などを理解していただけるよう、具体的事例(裁判例を含む)の検討を行います。とはいえ、本授業は、暗記中心の学習ではありません。現実には生じている様々な事象の検討を通じて、それら問題を法的にどのように解決すべきか、みなさんには、その法的解決に向けた考え方を習得していただくこととなります。

なお、メディア受講に際しては、受講前の教科書熟読が必須となります。そして受講時は、各自、必要に応じてノートをとってください。と同時に、必要に応じて、条文を参照してください。条文の参照方法は、第1回の授業で説明をしています。

ちなみに、みなさん方の受講に際しては、大学からの受講案内でも示されているように、予め一定の期間を設定して、受講確認がなされる予定です。レポート作成・提出においても、メディア受講は前提(必須)条件となります(単位取得に際しては、10回以上:10回を含む、受講をしていることが必要です。)。加えて、話者の話の内容が判別可能な速度で視聴してください。詳細は、各担当者の案内に従ってください。各自、受講計画を立て、自覚的に、受講いただくことを、切に希望しております。

*本メディア授業は、下記参考文献『判例で学ぶ日本国憲法』(有信堂)をベースに作成をしています。ただし、本授業は、過去に作成された「第2版」のもので作成しており、2024年春に刊行予定の「第3版」のものとは、内容において一部異なります(異なる部分は、当該文献の第5章・本メディア授業第9回「表現の自由」です。それ以外は、基本的な部分での違いはありません)。

*この授業はコンテンツ作成者重村先生が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。

■授業形態

メディア授業(全授業回)

■アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業(クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogle Classroom等を活用)

■使用言語

日本語

■到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講生は、この授業を受講することにより、①日本国憲法の基本的人権ならびに統治機構の概要を説明し、②憲法問題に対して自身の見解を示すことができるようになります。

■成績評価方法および基準

レポート課題(全3回) 60%

学期末試験(レポート課題) 40%

■試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をGoogle Classroomに掲載します。

■教科書

指定しない

■参考文献

- [ISBN]9784842010885 『判例で学ぶ日本国憲法[第三版]』(西村裕三編, 有信堂高文社: 2024)
2024年3月刊行予定
- [ISBN]9784865281132 『立憲主義について 成立過程と現代(放送大学叢書)』(佐藤 幸治, 左右社: 2015)
- [ISBN]9784000616072 『憲法 第八版』(芦部 信喜, 岩波書店: 2023)
- [ISBN]9784641227613 『憲法学読本 第3版』(安西 文雄, 有斐閣: 2018)
- [ISBN]9784641115453 『憲法判例百選I 第7版(別冊ジュリスト)』(長谷部 恭男, 有斐閣: 2019)
- [ISBN]9784641115460 『憲法判例百選II 第7版(別冊ジュリスト)』(長谷部 恭男, 有斐閣: 2019)

■関連科目

「現代社会と法」など

■授業評価アンケート実施方法

本学の規定に準拠して実施します。

■研究室・メールアドレス

nishizuka_naoyuki@kindai.ac.jp

■オフィスアワー

メールのみ

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 概要 憲法とはなにか(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 教科書の該当箇所を読み(1・18章)、内容の把握をする

予習時間: 60分

復習内容: 授業内容について自身でまとめる

復習時間: 120分

法律の学習を始めるために必要となる法学・憲法の基礎的事項を学ぶ

セクション1 法とは何か セクション概要 法とは何かについて学ぶ

セクション2 憲法とは何か セクション概要 憲法とは何かについて学ぶ

セクション3 日本国憲法概説 セクション概要 憲法制定過程と基本原則を学ぶ

第2回 立法権と行政権(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 教科書の該当箇所を読み(14・15章)、内容の把握をする

予習時間: 60分

復習内容: 授業内容について自身でまとめる

復習時間: 120分

三権分立のうち、立法権と行政権を学ぶ

セクション1 三権分立とは? セクション概要 三権分立の概説を学ぶ

セクション2 日本の統治機構・立法権 セクション概要 国会の組織と役割を学ぶ

セクション3 日本の統治機構・行政権 セクション概要 内閣の組織と役割を学ぶ

第3回 司法権(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 教科書の該当箇所を読み(16章の1と2)、内容の把握をする

予習時間: 60分

復習内容: 授業内容について自身でまとめる

復習時間: 120分

概要 三権分立のうち、司法権について学ぶ

セクション1 司法権とは? セクション概要 司法権の範囲と限界について学ぶ

セクション2 裁判所組織について セクション概要 裁判所組織と審級について学ぶ

セクション3 裁判官 セクション概要 裁判官の身分保障について学ぶ

第4回 司法審査権(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 教科書の該当箇所を読み(16章の3)、内容の把握をする

予習時間: 60分

復習内容: 授業内容について自身でまとめる

復習時間: 120分

概要 司法審査権について学ぶ

セクション1 司法審査権の目的と方法 セクション概要 司法審査権の目的と方法について学ぶ

セクション2 違憲審査基準 セクション概要 違憲審査基準について学ぶ

セクション3 司法積極主義・消極主義 セクション概要 司法積極主義・消極主義について学ぶ

第5回 基本的人権総論（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（1章の3と4）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 基本的人権の総論部分を学ぶ

セクション1 人権の歴史 セクション概要 人権が確立していった過程を学ぶ

セクション2 人権の分類 セクション概要 日本国憲法の人権規定を概括的に学ぶ

セクション3 人権の限界 セクション概要 基本的人権の限界について学ぶ

第6回 幸福追求権（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（2章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 幸福追求権を軸に主張される権利や自由について学ぶ

セクション1 幸福追求権とは？ セクション概要 幸福追求権の概説を学ぶ

セクション2 プライバシーの権利 セクション概要 プライバシーの権利について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 プライバシーの権利の判例から学ぶ

第7回 法の下での平等（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（3章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 憲法が意味する平等とは何かを学ぶ

セクション1 憲法の平等保障規定 セクション概要 日本国憲法が規定する平等規定について学ぶ

セクション2 平等とは？ セクション概要 憲法が示す「平等」の意味について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 平等権に関する基本事例から学ぶ

第8回 信教の自由・政教分離（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（4章の2）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

概要 信教の自由が保障する範囲と政教分離について学ぶ

セクション1 信教の自由とは？ セクション概要 信教の自由が規定された背景を学ぶ

セクション2 政教分離 セクション概要 政教分離原則について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 政教分離の基本事例から学ぶ

第9回 表現の自由（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（5章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 表現の自由がなぜ「優越的地位」にあるといわれるのか学ぶ

セクション1 表現の自由とは？ セクション概要 表現の自由の優越的地位の原則について学ぶ

セクション2 マス・メディアの取材・報道の自由 セクション概要 マス・メディアの取材・報道の自由について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 取材・報道の自由の基本事例から学ぶ

第10回 学問の自由・教育を受ける権利（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（6・10章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 大学における「学問」とはどういうものか学ぶ

セクション1 学問の自由とは？ セクション概要 学問の自由の保障の範囲と限界を学ぶ

セクション2 大学の自治 セクション概要 大学の自治について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 学問の自由の基本判例から学ぶ

第11回 経済活動の自由（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（7章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 私有財産制度について憲法から学ぶ

セクション1 経済活動の自由とは？ セクション概要 経済活動の自由について内容を学ぶ

セクション2 財産権の保障 セクション概要 財産権の保障について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 財産権の保障の基本事例から学ぶ

第12回 人身の自由（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（8章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 刑事疑義者・被告人の権利について学ぶ

セクション1 罪刑法定主義とは？ セクション概要 罪刑法定主義について学ぶ

セクション2 人身の自由 セクション概要 人身の自由の内容について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 人身の自由の基本事例から学ぶ

第13回 生存権（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（9章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 憲法が保障する「健康で文化的な最低限度の生活」とは何かを学ぶ

セクション1 生存権とは？ セクション概要 生存権の法的性格について学ぶ

セクション2 日本の社会保障制度 セクション概要 社会保障制度の種類と内容を概括的に学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 生存権の基本事例から学ぶ

第14回 労働基本権（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（11章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 労働三権について学ぶ。ここでは特に、公務員の労働基本権について学ぶ

セクション1 勤労の権利とは？ セクション概要 労働三権について学ぶ

セクション2 公務員の労働基本権 セクション概要 公務員の労働基本権について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 公務員の労働基本権の基本事例から学ぶ

第15回 参政権（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（13章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 選挙の基本原則について学ぶ

セクション1 参政権とは？ セクション概要 参政権の概要について学ぶ

セクション2 選挙制度の基本原則 セクション概要 選挙の5つの基本原則を学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 基本原則に関する基本事例から学ぶ

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 :	暮らしのなかの憲法【KICSオンデマンド科目】						
英文名 :	Constitution in Everyday Life						
担当者 :	西塚 直之						
開講学科 :	共通教養科目						
単 位 :		開講年次 :		開講期 :		必修選択の別 :	
科目区分 :	共通教養科目						
備 考 :	理工応用化学科:学修・教育到達目標(A)に主体的に関与 理工電気電子通信工学科:学習・教育到達目標D1の達成に付随的に関与 理工社会環境工学科:ディプロマ・ポリシーの(A)、(G)に主体的に関与、(C)、(I)に付随的に関与						

■ 授業概要

「憲法」と聞いて、みなさんはどのような印象をおもちですか。私たちは普段、憲法が存在を意識して生活することは、ほとんどないかと思えます。しかし、その実、憲法は、国の最高法規として、一人ひとりのもつ大事な権利や自由を定め、そしてそれらを守る仕組みを定めている、私たちにはなくてはならない大切な法律です。

そこで本授業では、憲法の基本的な枠組みや考え方などを理解していただけるよう、具体的事例(裁判例を含む)の検討を行います。とはいえ、本授業は、暗記中心の学習ではありません。現実には生じている様々な事象の検討を通じて、それら問題を法的にどのように解決すべきか、みなさんには、その法的解決に向けた考え方を習得していただくこととなります。

なお、メディア受講に際しては、受講前の教科書熟読が必須となります。そして受講時は、各自、必要に応じてノートをとってください。と同時に、必要に応じて、条文を参照してください。条文の参照方法は、第1回の授業で説明をしています。

ちなみに、みなさん方の受講に際しては、大学からの受講案内でも示されているように、予め一定の期間を設定して、受講確認がなされる予定です。レポート作成・提出においても、メディア受講は前提(必須)条件となります(単位取得に際しては、10回以上:10回を含む、受講をしていることが必要です。)。加えて、話者の話の内容が判別可能な速度で視聴してください。詳細は、各担当者の案内に従ってください。各自、受講計画を立て、自覚的に、受講いただくことを、切に希望しております。

*本メディア授業は、下記参考文献『判例で学ぶ日本国憲法』(有信堂)をベースに作成をしています。ただし、本授業は、過去に作成された「第2版」のもので作成しており、2024年春に刊行予定の「第3版」のものとは、内容において一部異なります(異なる部分は、当該文献の第5章・本メディア授業第9回「表現の自由」です。それ以外は、基本的な部分での違いはありません)。

*この授業はコンテンツ作成者重村先生が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。

■ 授業形態

メディア授業(全授業回)

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業(クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogle Classroom等を活用)

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

受講生は、この授業を受講することにより、①日本国憲法の基本的人権ならびに統治機構の概要を説明し、②憲法問題に対して自身の見解を示すことができるようになります。

■ 成績評価方法および基準

レポート課題(全3回) 60%

学期末試験(レポート課題) 40%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をGoogle Classroomに掲載します。

■ 教科書

指定しない

■参考文献

- [ISBN]9784842010885 『判例で学ぶ日本国憲法[第三版]』(西村裕三編, 有信堂高文社: 2024)
2024年3月刊行予定
- [ISBN]9784865281132 『立憲主義について 成立過程と現代(放送大学叢書)』(佐藤 幸治, 左右社: 2015)
- [ISBN]9784000616072 『憲法 第八版』(芦部 信喜, 岩波書店: 2023)
- [ISBN]9784641227613 『憲法学読本 第3版』(安西 文雄, 有斐閣: 2018)
- [ISBN]9784641115453 『憲法判例百選I 第7版(別冊ジュリスト)』(長谷部 恭男, 有斐閣: 2019)
- [ISBN]9784641115460 『憲法判例百選II 第7版(別冊ジュリスト)』(長谷部 恭男, 有斐閣: 2019)

■関連科目

「現代社会と法」など

■授業評価アンケート実施方法

本学の規定に準拠して実施します。

■研究室・メールアドレス

nishizuka_naoyuki@kindai.ac.jp

■オフィスアワー

メールのみ

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 概要 憲法とはなにか(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 教科書の該当箇所を読み(1・18章)、内容の把握をする

予習時間: 60分

復習内容: 授業内容について自身でまとめる

復習時間: 120分

法律の学習を始めるために必要となる法学・憲法の基礎的事項を学ぶ

セクション1 法とは何か セクション概要 法とは何かについて学ぶ

セクション2 憲法とは何か セクション概要 憲法とは何かについて学ぶ

セクション3 日本国憲法概説 セクション概要 憲法制定過程と基本原則を学ぶ

第2回 立法権と行政権(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 教科書の該当箇所を読み(14・15章)、内容の把握をする

予習時間: 60分

復習内容: 授業内容について自身でまとめる

復習時間: 120分

三権分立のうち、立法権と行政権を学ぶ

セクション1 三権分立とは? セクション概要 三権分立の概説を学ぶ

セクション2 日本の統治機構・立法権 セクション概要 国会の組織と役割を学ぶ

セクション3 日本の統治機構・行政権 セクション概要 内閣の組織と役割を学ぶ

第3回 司法権(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 教科書の該当箇所を読み(16章の1と2)、内容の把握をする

予習時間: 60分

復習内容: 授業内容について自身でまとめる

復習時間: 120分

概要 三権分立のうち、司法権について学ぶ

セクション1 司法権とは? セクション概要 司法権の範囲と限界について学ぶ

セクション2 裁判所組織について セクション概要 裁判所組織と審級について学ぶ

セクション3 裁判官 セクション概要 裁判官の身分保障について学ぶ

第4回 司法審査権(授業形式: 講義および演習)

予習内容: 教科書の該当箇所を読み(16章の3)、内容の把握をする

予習時間: 60分

復習内容: 授業内容について自身でまとめる

復習時間: 120分

概要 司法審査権について学ぶ

セクション1 司法審査権の目的と方法 セクション概要 司法審査権の目的と方法について学ぶ

セクション2 違憲審査基準 セクション概要 違憲審査基準について学ぶ

セクション3 司法積極主義・消極主義 セクション概要 司法積極主義・消極主義について学ぶ

第5回 基本的人権総論（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（1章の3と4）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 基本的人権の総論部分を学ぶ

セクション1 人権の歴史 セクション概要 人権が確立していった過程を学ぶ

セクション2 人権の分類 セクション概要 日本国憲法の人権規定を概括的に学ぶ

セクション3 人権の限界 セクション概要 基本的人権の限界について学ぶ

第6回 幸福追求権（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（2章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 幸福追求権を軸に主張される権利や自由について学ぶ

セクション1 幸福追求権とは？ セクション概要 幸福追求権の概説を学ぶ

セクション2 プライバシーの権利 セクション概要 プライバシーの権利について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 プライバシーの権利の判例から学ぶ

第7回 法の下での平等（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（3章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 憲法が意味する平等とは何かを学ぶ

セクション1 憲法の平等保障規定 セクション概要 日本国憲法が規定する平等規定について学ぶ

セクション2 平等とは？ セクション概要 憲法が示す「平等」の意味について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 平等権に関する基本事例から学ぶ

第8回 信教の自由・政教分離（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（4章の2）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

概要 信教の自由が保障する範囲と政教分離について学ぶ

セクション1 信教の自由とは？ セクション概要 信教の自由が規定された背景を学ぶ

セクション2 政教分離 セクション概要 政教分離原則について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 政教分離の基本事例から学ぶ

第9回 表現の自由（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（5章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 表現の自由がなぜ「優越的地位」にあるといわれるのか学ぶ

セクション1 表現の自由とは？ セクション概要 表現の自由の優越的地位の原則について学ぶ

セクション2 マス・メディアの取材・報道の自由 セクション概要 マス・メディアの取材・報道の自由について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 取材・報道の自由の基本事例から学ぶ

第10回 学問の自由・教育を受ける権利（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（6・10章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 大学における「学問」とはどういうものか学ぶ

セクション1 学問の自由とは？ セクション概要 学問の自由の保障の範囲と限界を学ぶ

セクション2 大学の自治 セクション概要 大学の自治について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 学問の自由の基本判例から学ぶ

第11回 経済活動の自由（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（7章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 私有財産制度について憲法から学ぶ

セクション1 経済活動の自由とは？ セクション概要 経済活動の自由について内容を学ぶ

セクション2 財産権の保障 セクション概要 財産権の保障について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 財産権の保障の基本事例から学ぶ

第12回 人身の自由（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（8章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 刑事疑義者・被告人の権利について学ぶ

セクション1 罪刑法定主義とは？ セクション概要 罪刑法定主義について学ぶ

セクション2 人身の自由 セクション概要 人身の自由の内容について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 人身の自由の基本事例から学ぶ

第13回 生存権（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（9章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 憲法が保障する「健康で文化的な最低限度の生活」とは何かを学ぶ

セクション1 生存権とは？ セクション概要 生存権の法的性格について学ぶ

セクション2 日本の社会保障制度 セクション概要 社会保障制度の種類と内容を概括的に学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 生存権の基本事例から学ぶ

第14回 労働基本権（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（11章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 労働三権について学ぶ。ここでは特に、公務員の労働基本権について学ぶ

セクション1 勤労の権利とは？ セクション概要 労働三権について学ぶ

セクション2 公務員の労働基本権 セクション概要 公務員の労働基本権について学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 公務員の労働基本権の基本事例から学ぶ

第15回 参政権（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書の該当箇所を読み（13章）、内容の把握をする

予習時間：60分

復習内容：授業内容について自身でまとめる

復習時間：120分

概要 選挙の基本原則について学ぶ

セクション1 参政権とは？ セクション概要 参政権の概要について学ぶ

セクション2 選挙制度の基本原則 セクション概要 選挙の5つの基本原則を学ぶ

セクション3 判例をみる セクション概要 基本原則に関する基本事例から学ぶ

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 :	現代経済の課題【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Problems of Modern Economics				
担当者 :	仲井 翔				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :		開講年次 :		開講期 :	前期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

「授業形態：オンデマンド」

初めて経済学を学ぶ人のために、経済学をわかりやすく解説します。また、日本や世界の経済がどのような課題を抱えているかを考えます。

この授業は、コンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。各回の作成者は授業計画の内容に記載のとおりです。

本授業の制作担当：安高優司・山内康弘（両者とも経済学部）

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

「学習・教育目標」

- ・経済の仕組みを理解すること
- ・現代の日本経済が抱えるさまざまな問題を把握すること

「到達目標」

- ・新聞やニュースに出る経済関連の話題が理解でき、自分の意見が述べられること。

この授業は経済学部の定めるディプロマポリシーの達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

レポート課題 100%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

GoogleClassroomなどのコミュニケーションツールを用いて解説や結果を通知します。

■ 教科書

[ISBN]9784087474077 『痛快! 経済学 (集英社文庫)』 (中谷 巖, 集英社 : 2002)

■ 参考文献

[ISBN]9784532353278 『佐和教授 はじめての経済講義』 (佐和 隆光, 日本経済新聞出版社 : 2008)

[ISBN]9784532110147 『はじめての経済学〈上〉 (日経文庫)』 (元重, 伊藤, 日本経済新聞出版 : 2004)

■ 関連科目

-

■ 授業評価アンケート実施方法

本学の規定に準拠して実施します。

■ 研究室・メールアドレス

nakaishoh@yahoo.co.jp

■ オフィスアワー

質問等は随時対応します

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

各回とも以下のとおり。

予習内容：予習：テーマに関する新聞記事やネット記事などを読んでおくこと

予習時間：30分

復習内容：復習：授業で出てきた概念や用語を教科書等の文献で再確認しておくこと

復習時間：60分

第1回 経済学とは何か（担当：安高優司）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書や参考文献等の該当部分を自習しておく。

予習時間：60分

復習内容：レジュメを見直して内容の理解度を確認する。

復習時間：30分

概要 経済学とはどのような学問であるのかを概説する。

セクション1 経済学のめざすもの セクション概要 経済学という言葉の意味や目的を知る。

セクション2 一物一価の法則 セクション概要 一物一価という考え方を知る。

セクション3 代替品 セクション概要 代替品の重要性を考える。

第2回 需要と供給を学ぶ（担当：安高優司）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書や参考文献等の該当部分を自習しておく。

予習時間：60分

復習内容：レジュメを見直して内容の理解度を確認する。

復習時間：30分

概要 経済学の基本である市場価格がどのようにして決まるかを理解する。

セクション1 市場とは何か セクション概要 市場の意味と機能を概説する。

セクション2 市場価格の決まり方 セクション概要 需要曲線と供給曲線の意味を理解する。

セクション3 需要の価格弾力性 セクション概要 価格弾力性の意味と市場への影響を知る。

第3回 経済学の誕生（担当：安高優司）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書や参考文献等の該当部分を自習しておく。

予習時間：60分

復習内容：レジュメを見直して内容の理解度を確認する。

復習時間：30分

概要 アダム・スミスから始まった経済学の成り立ちを学ぶ。

セクション1 古典派経済学 セクション概要 古典派経済学とその基本的考え方を知る。

セクション2 比較優位の原理 セクション概要 比較優位の考え方を学ぶ。

セクション3 社会主義経済 セクション概要 資本主義と社会主義の違いを理解する。

第4回 新古典派経済学への進化（担当：安高優司）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書や参考文献等の該当部分を自習しておく。

予習時間：60分

復習内容：レジュメを見直して内容の理解度を確認する。

復習時間：30分

概要 古典派経済学から新古典派経済学へと科学として進化した経済学の発展を理解する。

セクション1 科学とは何か セクション概要 科学に進化するという意味を理解する。

セクション2 新古典派経済学と限界革命 セクション概要 新古典派の「限界」という考え方を理解する。

セクション3 新古典派の最大化問題 セクション概要 新古典派経済学の基本的な考え方を理解する。

第5回 ケインズの登場（担当：安高優司）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書や参考文献等の該当部分を自習しておく。

予習時間：60分

復習内容：レジュメを見直して内容の理解度を確認する。

復習時間：30分

概要 市場を重視する新古典派経済学と、それを修正するケインズ経済学が誕生した背景を学ぶ。

セクション1 新古典派とケインズ セクション概要 新古典派に対するケインズの考え方を知る。

セクション2 マクロ経済学の概念 セクション概要 GDPの概念と計算方法を理解する。

セクション3 豊かさや幸せの関係 セクション概要 経済的豊かさの意味を考える。

第6回 市場は万能ではない（担当：安高優司）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書や参文献等の該当部分を自習しておく。

予習時間：60分

復習内容：レジュメを見直して内容の理解度を確認する。

復習時間：30分

概要 ケインズ経済学（マクロ経済学）の基本的な考え方を理解する。

セクション1 不況はなぜおこる セクション概要 実物経済における不況のメカニズムを理解する。

セクション2 財政政策による景気対策 セクション概要 財政政策の仕組みを学ぶ。

セクション3 金融政策と中央銀行 セクション概要 金融政策の仕組みを学ぶ。

第7回 政府にも限界がある（担当：安高優司）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書や参文献等の該当部分を自習しておく。

予習時間：60分

復習内容：レジュメを見直して内容の理解度を確認する。

復習時間：30分

概要 ケインズ経済学の限界と市場主義への揺り戻しの要因を把握する。

セクション1 税金の徴収 セクション概要 税金の種類と徴収方法を知る。

セクション2 国税と地方税 セクション概要 国税と地方税の違いを理解する。

セクション3 財政赤字と財政再建 セクション概要 財政赤字の現状と解消の可能性を考える。

第8回 効率性と改革（担当：安高優司）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書や参文献等の該当部分を自習しておく。

予習時間：60分

復習内容：レジュメを見直して内容の理解度を確認する。

復習時間：30分

概要 政府の関与が肥大化した経済に対して、効率化が求められるようになった状況を理解する。

セクション1 効率性とは何か セクション概要 経済学における「効率」の意味を考える。

セクション2 官から民へ セクション概要 国営企業民営化の経緯と目的を考える。

セクション3 構造改革とは何か セクション概要 構造改革は何を目指したのかを考える。

セクション4 パレート効率性と改革 セクション概要 経済学的な効率と現実の改革について考える。

第9回 雇用形態の多様化（担当：安高優司）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書や参文献等の該当部分を自習しておく。

予習時間：60分

復習内容：レジュメを見直して内容の理解度を確認する。

復習時間：30分

概要 低成長時代に入り、雇用のあり方や働き方が変化してきた状況を把握する。

セクション1 日本型雇用慣行 セクション概要 日本の雇用制度の特徴を知る。

セクション2 日本型雇用慣行の変化 セクション概要 従来の雇用慣行に生じている変化を理解する。

セクション3 ニート・フリーター現象 セクション概要 非正規雇用問題や働き方改革について考える。

第10回 高齢化と社会保障（担当：山内康弘）（授業形式：講義および演習）

予習内容：インターネットや文献を探して該当する情報を収集しておく。

予習時間：60分

復習内容：レジュメを見直して内容の理解度を確認する。

復習時間：30分

概要 年金・医療・介護を中心に公的な社会保障の意義について理解する。

セクション1 社会保障とは何か セクション概要 社会保障の意義について考える。

セクション2 公的年金の概念 セクション概要 長生きのリスクとしての年金の意義を把握する。

セクション3 医療・介護の経済学 セクション概要 医療・介護の特徴と保険の意義を理解する。

第11回 少子化と子育て支援（担当：山内康弘）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書や参文献等の該当部分を自習しておく。

予習時間：60分

復習内容：インターネットや文献を探して該当する情報を収集しておく。

復習時間：30分

概要 少子高齢化が進むなかでの子育て支援を考える。

セクション1 少子化と子育て支援 セクション概要 少子化の実態と子育て支援について考える。

セクション2 貧困と低所得層支援 セクション概要 貧困の実態と支援方法について考える。

セクション3 これからの社会保障 セクション概要 今後の社会保障のあり方について考える。

第12回 日本の地域経済問題（担当：安高優司）（授業形式：講義および演習）

予習内容：インターネットや文献を探して該当する情報を収集しておく。

予習時間：60分

復習内容：レジュメを見直して内容の理解度を確認する。

復習時間：30分

概要 現代日本の地域経済が抱える問題を理解する。

セクション1 人口減少 セクション概要 人口減少の実態と問題点を把握する。

セクション2 東京への人口・経済力の集中 セクション概要 東京一極集中の実態と問題点を把握する。

セクション3 地方消滅・地方創生 セクション概要 地方の生き残り方策について考える。

セクション4 日本の産業構造と地域格差 セクション概要 地域の産業構造の違いと地域格差を考える。

第13回 戦後日本経済を振り返る①（担当：安高優司）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書や参文献等の該当部分を自習しておく。

予習時間：60分

復習内容：レジュメを見直して内容の理解度を確認する。

復習時間：30分

概要 戦後復興期から高度成長期にかけての日本経済の発展を概観する。

セクション1 戦後復興期～高度成長期 セクション概要 戦後の日本経済の高度成長までを概観する。

セクション2 安定成長期 セクション概要 ニクソンショック、オイルショックなどを振り返る。

セクション3 バブル経済とその崩壊 セクション概要 バブル景気とその崩壊の過程を理解する。

第14回 戦後日本経済を振り返る②（担当：安高優司）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書や参文献等の該当部分を自習しておく。

予習時間：60分

復習内容：レジュメを見直して内容の理解度を確認する。

復習時間：30分

概要 安定成長期からバブル崩壊を経て低成長に至る日本経済の推移を概観する。

セクション1 バブル崩壊の影響 セクション概要 バブル後の日本経済の変化を把握する。

セクション2 平成不況と金融危機 セクション概要 金融危機による平成不況の長期化を振り返る。

セクション3 平成不況からの脱却 セクション概要 平成不況からの脱却から最近までを振り返る。

第15回 日本経済のこれから（担当：安高優司）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書や参文献等の該当部分を自習しておく。

予習時間：60分

復習内容：レジュメを見直して内容の理解度を確認する。

復習時間：30分

概要 これからの日本経済がめざすべき方向を考える。

セクション1 人口急増と大量生産 セクション概要 人口増加による地球環境の悪化を認識する。

セクション2 持続可能な社会をめざして セクション概要 大量消費社会の見直しの必要性を考える。

セクション3 日本に期待される役割 セクション概要 これからの日本経済の目指す方向を考える。

レポート課題

受講した内容に関するレポート課題を受講期間内に複数回実施する。

■ ホームページ

■ 実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業

科目名 :	現代経済の課題【KICSオンデマンド科目】				
英文名 :	Problems of Modern Economics				
担当者 :	仲井 翔				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :		開講年次 :		開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要

「授業形態：オンデマンド」

初めて経済学を学ぶ人のために、経済学をわかりやすく解説します。また、日本や世界の経済がどのような課題を抱えているかを考えます。

この授業は、コンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施します。各回の作成者は授業計画の内容に記載のとおりです。

本授業の制作担当：安高優司・山内康弘（両者とも経済学部）

■ 授業形態

メディア授業（全授業回）

■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 到達目標およびディプロマポリシーとの関連

「学習・教育目標」

- ・経済の仕組みを理解すること
- ・現代の日本経済が抱えるさまざまな問題を把握すること

「到達目標」

- ・新聞やニュースに出る経済関連の話題が理解でき、自分の意見が述べられること。

この授業は経済学部の定めるディプロマポリシーの達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

レポート課題 100%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

GoogleClassroomなどのコミュニケーションツールを用いて解説や結果を通知します。

■ 教科書

[ISBN]9784087474077 『痛快! 経済学 (集英社文庫)』 (中谷 巖, 集英社 : 2002)

■ 参考文献

[ISBN]9784532353278 『佐和教授 はじめての経済講義』 (佐和 隆光, 日本経済新聞出版社 : 2008)

[ISBN]9784532110147 『はじめての経済学〈上〉 (日経文庫)』 (元重, 伊藤, 日本経済新聞出版 : 2004)

■ 関連科目

-

■ 授業評価アンケート実施方法

本学の規定に準拠して実施します。

■ 研究室・メールアドレス

nakaishoh@yahoo.co.jp

■ オフィスアワー

質問等は随時対応します

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

各回とも以下のとおり。

予習内容：予習：テーマに関する新聞記事やネット記事などを読んでおくこと

予習時間：30分

復習内容：復習：授業で出てきた概念や用語を教科書等の文献で再確認しておくこと

復習時間：60分

第1回 経済学とは何か（担当：安高優司）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書や参考文献等の該当部分を自習しておく。

予習時間：60分

復習内容：レジュメを見直して内容の理解度を確認する。

復習時間：30分

概要 経済学とはどのような学問であるのかを概説する。

セクション1 経済学のめざすもの セクション概要 経済学という言葉の意味や目的を知る。

セクション2 一物一価の法則 セクション概要 一物一価という考え方を知る。

セクション3 代替品 セクション概要 代替品の重要性を考える。

第2回 需要と供給を学ぶ（担当：安高優司）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書や参考文献等の該当部分を自習しておく。

予習時間：60分

復習内容：レジュメを見直して内容の理解度を確認する。

復習時間：30分

概要 経済学の基本である市場価格がどのようにして決まるかを理解する。

セクション1 市場とは何か セクション概要 市場の意味と機能を概説する。

セクション2 市場価格の決まり方 セクション概要 需要曲線と供給曲線の意味を理解する。

セクション3 需要の価格弾力性 セクション概要 価格弾力性の意味と市場への影響を知る。

第3回 経済学の誕生（担当：安高優司）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書や参考文献等の該当部分を自習しておく。

予習時間：60分

復習内容：レジュメを見直して内容の理解度を確認する。

復習時間：30分

概要 アダム・スミスから始まった経済学の成り立ちを学ぶ。

セクション1 古典派経済学 セクション概要 古典派経済学とその基本的考え方を知る。

セクション2 比較優位の原理 セクション概要 比較優位の考え方を学ぶ。

セクション3 社会主義経済 セクション概要 資本主義と社会主義の違いを理解する。

第4回 新古典派経済学への進化（担当：安高優司）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書や参考文献等の該当部分を自習しておく。

予習時間：60分

復習内容：レジュメを見直して内容の理解度を確認する。

復習時間：30分

概要 古典派経済学から新古典派経済学へと科学として進化した経済学の発展を理解する。

セクション1 科学とは何か セクション概要 科学に進化するという意味を理解する。

セクション2 新古典派経済学と限界革命 セクション概要 新古典派の「限界」という考え方を理解する。

セクション3 新古典派の最大化問題 セクション概要 新古典派経済学の基本的な考え方を理解する。

第5回 ケインズの登場（担当：安高優司）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書や参考文献等の該当部分を自習しておく。

予習時間：60分

復習内容：レジュメを見直して内容の理解度を確認する。

復習時間：30分

概要 市場を重視する新古典派経済学と、それを修正するケインズ経済学が誕生した背景を学ぶ。

セクション1 新古典派とケインズ セクション概要 新古典派に対するケインズの考え方を知る。

セクション2 マクロ経済学の概念 セクション概要 GDPの概念と計算方法を理解する。

セクション3 豊かさと幸せの関係 セクション概要 経済的豊かさの意味を考える。

第6回 市場は万能ではない（担当：安高優司）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書や参文献等の該当部分を自習しておく。

予習時間：60分

復習内容：レジュメを見直して内容の理解度を確認する。

復習時間：30分

概要 ケインズ経済学（マクロ経済学）の基本的な考え方を理解する。

セクション1 不況はなぜおこる セクション概要 実物経済における不況のメカニズムを理解する。

セクション2 財政政策による景気対策 セクション概要 財政政策の仕組みを学ぶ。

セクション3 金融政策と中央銀行 セクション概要 金融政策の仕組みを学ぶ。

第7回 政府にも限界がある（担当：安高優司）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書や参文献等の該当部分を自習しておく。

予習時間：60分

復習内容：レジュメを見直して内容の理解度を確認する。

復習時間：30分

概要 ケインズ経済学の限界と市場主義への揺り戻しの要因を把握する。

セクション1 税金の徴収 セクション概要 税金の種類と徴収方法を知る。

セクション2 国税と地方税 セクション概要 国税と地方税の違いを理解する。

セクション3 財政赤字と財政再建 セクション概要 財政赤字の現状と解消の可能性を考える。

第8回 効率性と改革（担当：安高優司）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書や参文献等の該当部分を自習しておく。

予習時間：60分

復習内容：レジュメを見直して内容の理解度を確認する。

復習時間：30分

概要 政府の関与が肥大化した経済に対して、効率化が求められるようになった状況を理解する。

セクション1 効率性とは何か セクション概要 経済学における「効率」の意味を考える。

セクション2 官から民へ セクション概要 国営企業民営化の経緯と目的を考える。

セクション3 構造改革とは何か セクション概要 構造改革は何を目指したのかを考える。

セクション4 バレート効率性と改革 セクション概要 経済学的な効率と現実の改革について考える。

第9回 雇用形態の多様化（担当：安高優司）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書や参文献等の該当部分を自習しておく。

予習時間：60分

復習内容：レジュメを見直して内容の理解度を確認する。

復習時間：30分

概要 低成長時代に入り、雇用のあり方や働き方が変化してきた状況を把握する。

セクション1 日本型雇用慣行 セクション概要 日本の雇用制度の特徴を知る。

セクション2 日本型雇用慣行の変化 セクション概要 従来の雇用慣行に生じている変化を理解する。

セクション3 ニート・フリーター現象 セクション概要 非正規雇用問題や働き方改革について考える。

第10回 高齢化と社会保障（担当：山内康弘）（授業形式：講義および演習）

予習内容：インターネットや文献を探して該当する情報を収集しておく。

予習時間：60分

復習内容：レジュメを見直して内容の理解度を確認する。

復習時間：30分

概要 年金・医療・介護を中心に公的な社会保障の意義について理解する。

セクション1 社会保障とは何か セクション概要 社会保障の意義について考える。

セクション2 公的年金の概念 セクション概要 長生きのリスクとしての年金の意義を把握する。

セクション3 医療・介護の経済学 セクション概要 医療・介護の特徴と保険の意義を理解する。

第11回 少子化と子育て支援（担当：山内康弘）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書や参文献等の該当部分を自習しておく。

予習時間：60分

復習内容：インターネットや文献を探して該当する情報を収集しておく。

復習時間：30分

概要 少子高齢化が進むなかでの子育て支援を考える。

セクション1 少子化と子育て支援 セクション概要 少子化の実態と子育て支援について考える。

セクション2 貧困と低所得層支援 セクション概要 貧困の実態と支援方法について考える。

セクション3 これからの社会保障 セクション概要 今後の社会保障のあり方について考える。

第12回 日本の地域経済問題（担当：安高優司）（授業形式：講義および演習）

予習内容：インターネットや文献を探して該当する情報を収集しておく。

予習時間：60分

復習内容：レジュメを見直して内容の理解度を確認する。

復習時間：30分

概要 現代日本の地域経済が抱える問題を理解する。

セクション1 人口減少 セクション概要 人口減少の実態と問題点を把握する。

セクション2 東京への人口・経済力の集中 セクション概要 東京一極集中の実態と問題点を把握する。

セクション3 地方消滅・地方創生 セクション概要 地方の生き残り方策について考える。

セクション4 日本の産業構造と地域格差 セクション概要 地域の産業構造の違いと地域格差を考える。

第13回 戦後日本経済を振り返る①（担当：安高優司）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書や参文献等の該当部分を自習しておく。

予習時間：60分

復習内容：レジュメを見直して内容の理解度を確認する。

復習時間：30分

概要 戦後復興期から高度成長期にかけての日本経済の発展を概観する。

セクション1 戦後復興期～高度成長期 セクション概要 戦後の日本経済の高度成長までを概観する。

セクション2 安定成長期 セクション概要 ニクソンショック、オイルショックなどを振り返る。

セクション3 バブル経済とその崩壊 セクション概要 バブル景気とその崩壊の過程を理解する。

第14回 戦後日本経済を振り返る②（担当：安高優司）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書や参文献等の該当部分を自習しておく。

予習時間：60分

復習内容：レジュメを見直して内容の理解度を確認する。

復習時間：30分

概要 安定成長期からバブル崩壊を経て低成長に至る日本経済の推移を概観する。

セクション1 バブル崩壊の影響 セクション概要 バブル後の日本経済の変化を把握する。

セクション2 平成不況と金融危機 セクション概要 金融危機による平成不況の長期化を振り返る。

セクション3 平成不況からの脱却 セクション概要 平成不況からの脱却から最近までを振り返る。

第15回 日本経済のこれから（担当：安高優司）（授業形式：講義および演習）

予習内容：教科書や参文献等の該当部分を自習しておく。

予習時間：60分

復習内容：レジュメを見直して内容の理解度を確認する。

復習時間：30分

概要 これからの日本経済がめざすべき方向を考える。

セクション1 人口急増と大量生産 セクション概要 人口増加による地球環境の悪化を認識する。

セクション2 持続可能な社会をめざして セクション概要 大量消費社会の見直しの必要性を考える。

セクション3 日本に期待される役割 セクション概要 これからの日本経済の目指す方向を考える。

レポート課題

受講した内容に関するレポート課題を受講期間内に複数回実施する。

■ ホームページ

■ 実践的な教育内容

経営者、技術者、研究者、行政官等の当該授業科目に関連した実務経験がある教員が行う授業